

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 722 集

さわ だ  
沢田Ⅲ遺跡発掘調査報告書

三陸沿岸道路建設事業関連遺跡発掘調査

(第1分冊 本文・分析・表)

2021

国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所

(公財) 岩手県文化振興事業団

# 沢田Ⅲ遺跡発掘調査報告書

三陸沿岸道路建設事業関連遺跡発掘調査

(第1分冊 本文・分析・表)



## 序

本県には、旧石器時代をはじめとする1万箇所を超す遺跡や貴重な埋蔵文化財が数多く残されています。それらは、地域の風土と歴史が生み出した遺産であり、本県の歴史や文化、伝統を正しく理解するのに欠くことのできない歴史資料です。同時に、それらは県民のみならず国民的財産であり、将来にわたって大切に保存し、活用を図らなければなりません。

一方、豊かな県土づくりには公共事業や社会資本整備が必要ですが、それらの開発にあたっては、環境との調和はもちろんのこと、地中に埋もれ、その土地とともにある埋蔵文化財保護との調和も求められるところです。当事業団埋蔵文化財センターは、設立以来、岩手県教育委員会の指導と調整のもとに、開発事業によってやむを得ず消滅する遺跡の緊急発掘調査を行い、その調査の記録を保存する措置をとってまいりました。

本報告書は、三陸沿岸道路建設に関連して、平成25年度・平成26年度の延べ2箇年に発掘調査を実施した沢田Ⅲ遺跡の成果をまとめたものです。調査の結果、縄文時代の竪穴住居跡や貯蔵穴からなる集落跡、古代の集落跡、鉄生産に関連する工房跡・炉跡などが確認されました。また、当該時期における自然環境や食料事情、集落の立地について考えることのできる動物遺存体、植物遺存体が多数出土し、貴重な資料を得ることができました。

本書が広く活用され、埋蔵文化財についての関心や理解につながると同時に、その保護や活用、学術研究、教育活動などに役立てられれば幸いです。

最後になりましたが、発掘調査並びに報告書作成にあたり、ご理解とご協力をいただきました国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所、山田町教育委員会をはじめとする関係各位に対し、深く感謝の意を表します。

令和3年3月

公益財団法人岩手県文化振興事業団  
理事長 高橋 嘉行

## 例 言

- 1 本報告書は、岩手県下閉伊郡山田町山田第3地割33-1ほかに所在する沢田Ⅲ遺跡さわだの発掘調査成果を収録したものである。
- 2 本遺跡の発掘調査は三陸沿岸道路建設事業に伴う事前の緊急発掘調査である。調査は岩手県教育委員会の調整を経て、国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所の委託を受けた（公財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターが実施した。
- 3 岩手県遺跡台帳における遺跡コード・遺跡略号は次のとおりである。  
遺跡コード：L G 94-0024、遺跡略号：S D Ⅲ-13（平成25年度）・S D Ⅲ-14（平成26年度）
- 4 発掘調査期間・調査面積・担当者は次のとおりである。  
【平成25年度】調査期間：平成25年4月9日～12月6日 面積：6,000㎡  
担 当 者：阿部勝則・佐藤淳一・廣瀬時習・鈴木博之  
【平成26年度】調査期間：平成26年4月8日～11月28日 面積：3,600㎡  
担 当 者：阿部勝則・佐藤淳一・河本純一・佐藤あゆみ・中島康佑・南野龍太郎
- 5 室内整理期間・担当者は次のとおりである。  
【平成25年度】整理期間：平成25年11月1日～平成26年3月31日  
担 当 者：阿部勝則・廣瀬時習・佐藤淳一・鈴木博之  
【平成26年度】整理期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日  
担 当 者：阿部勝則・金子昭彦・河本純一・佐藤あゆみ  
【平成27年度】整理期間：平成27年4月16日～平成28年3月31日  
担 当 者：阿部勝則・佐藤あゆみ  
【平成28年度】整理期間：平成28年4月1日～28日、6月1日～平成29年3月31日  
担 当 者：阿部勝則  
【平成29年度】整理期間：平成29年4月3日～平成30年3月30日  
担 当 者：阿部勝則・丸山直美  
【平成30年度】整理期間：平成30年4月2日～平成31年3月29日  
担 当 者：阿部勝則  
【令和元年度】整理期間：平成31年4月1日～令和2年3月31日  
担 当 者：阿部勝則  
【令和2年度】整理期間：令和2年4月1日～10月15日、令和3年1月4日～29日  
担 当 者：阿部勝則
- 6 本報告書の執筆分担は次のとおりである。  
Ⅰ：国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所、  
Ⅱ・Ⅲ：阿部、Ⅳ・Ⅴ：阿部・廣瀬・河本・佐藤、Ⅵ：鑑定委託先の原稿。報告書の編集・校正：阿部
- 7 各種委託業務は次の機関等に依頼した。  
基準点測量：株式会社鈴木測量設計（平成25年度）・釜石測量設計株式会社（平成26年度）  
空中写真撮影：東邦航空株式会社  
表土掘削：株式会社小山田組  
石器・石製品の石質肉眼鑑定：花崗岩研究会

石器実測：株式会社ラング

各種分析・鑑定、金属製品の保存処理等については、Ⅲ 2 室内整理に詳述した。

- 8 野外調査及び室内整理にあたり、以下の機関等からご協力いただいた（順不同・敬称略）。  
山田町教育委員会、井上雅孝、宇部則保、川向聖子、菅野紀子、小林 克、佐藤敏幸、杉本 良、  
高橋静歩、竹下将男、田村正樹、長谷川 眞、八重樫忠郎、八木光則、米田 寛
- 9 本遺跡の出土遺物及び諸記録類は、岩手県立埋蔵文化財センターで保管している。
- 10 これまでに、調査成果の一部を現地説明会資料、調査概報等において公表しているが、本書の記載内容を正式なものとする。

## 凡 例

- 1 本報告書は3分冊になっている。3分冊の内訳は以下のとおりである。  
第1分冊（本文・分析・表）：本文・表と分析原稿は、本冊に収めた。なお、Ⅱ・Ⅲ・Ⅵに係る図版は、本冊に収録した。  
第2分冊（図版）：Ⅳに係る図版（遺構・遺物）は、全て本冊に収めた。  
第3分冊（写真図版）：写真図版は、全て本冊に収めた。
- 2 図版の凡例は第2分冊、写真図版の凡例は第3分冊に示した。それに拠らないものは、各図・写真図版に凡例を示している。
- 3 本書では国土地理院発行5万分の1地形図「大槌」、同2万5千分の1地形図「陸中山田」を使用した。
- 4 本調査・報告で使用した座標値は、平面直角座標第X系（世界測地系）に基づいている。
- 5 遺構図等の方位は真北を示している。
- 6 図には各図にスケールを入れた。
- 7 土層注記は、『新版標準土色帳』（1990年版、小山正忠・竹原秀雄編・著）を使用した。
- 8 本書の記載は、遺構・遺物に分けて記載した。図版・写真図版の構成も同様である。

### 遺構

竪穴住居跡（縄文・古代）、竪穴状遺構、土坑、溝跡、炉跡・焼土遺構、鉄生産関連遺構：炉跡・工房跡、炭窯跡、その他の順で種類ごとに掲載した。

### 遺物

土器（縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・陶磁器）、土製品、石器、石製品、金属製品、銭貨、鉄滓類、動物遺存体、植物遺存体、自然遺物の順で種類ごとに出土地点・層位（下→上）を基準に番号を付し、掲載した。遺物の掲載番号は、掲載順に連番とし、種別ごとに1から始まっている。図版・写真図版も同一番号とした。図版は、種別ごとの図と別に出土地点別の遺物集成図も作成した。

### 観察表

掲載遺構には、溝跡、その他の遺構を除き、観察表を付した。

掲載遺物には全て観察表を付した。観察表内の（数値）は残存値、[数値]は推定値・復元値である。

# 目 次

## 分冊構成

第1分冊 本文・分析・表

第2分冊 図版（遺構・遺物）

第3分冊 写真図版（遺構・遺物）

（第1分冊）

本文目次

I	調査に至る経過	1
II	遺跡の位置と立地	2
1	遺跡の位置と地理的環境	2
2	遺跡の立地と周辺の地形・地質	2
3	周辺の遺跡	6
4	基本層序	11
III	調査・整理の方法	14
1	野外調査	14
2	室内整理	21
IV	検出遺構と出土遺物	26
1	検出遺構	26
(1)	検出遺構の概要	26
(2)	竪穴住居跡 縄文時代	26
(3)	竪穴住居跡 古代	81
(4)	竪穴状遺構	95
(5)	土坑類	100
(6)	溝跡	103
(7)	炉跡・焼土遺構	103
(8)	鉄生産関連遺構：炉跡・工房跡	106
(9)	炭窯跡	118
(10)	その他	123
(11)	遺物包含層	129
2	出土遺物	142
(1)	出土遺物の概要	142
(2)	縄文土器・弥生土器	142
(3)	土師器・須恵器	148
(4)	陶磁器	151
(5)	土製品	151
(6)	石器	152

(7) 石 製 品 .....	154
(8) 金 属 製 品 .....	155
(9) 錢 貨 .....	155
(10) 炉 壁 .....	155
(11) 鉄 滓 類 .....	156
(12) 動 物 遺 存 体 .....	156
(13) 植 物 遺 存 体 .....	156
(14) 自 然 遺 物 .....	157
V 分 析 ・ 鑑 定 .....	302
1 放射 性 炭 素 年 代 側 定 (1)・(2)・(3)・(4) .....	302・305・308・313
2 火 山 灰 の 分 析 .....	316
3 鉄 滓 類 の 分 析 (1)・(2) .....	319・341
4 動 物 遺 存 体 の 分 析 .....	365
5 植 物 遺 存 体 の 分 析 (1)・(2)・(3) .....	424・427・435
6 炭 化 材 の 樹 種 分 析 (1)・(2) .....	457・459
7 琥 珀 の 分 析 .....	461
8 黒 曜 石 の 分 析 .....	466
9 ア ス フ ァ ル ト の 分 析 .....	472
10 土 器 の 胎 土 観 察 .....	475
VI 総 括 .....	481
1 縄 文 時 代 .....	481
(1) 遺 構 .....	481
(2) 遺 物 .....	489
2 古 代 .....	498
(1) 遺 構 .....	498
(2) 遺 物 .....	502
3 中 世 .....	516
(1) 遺 構 .....	516
(2) 遺 物 .....	516
4 自 然 科 学 的 分 析 ・ 鑑 定 結 果 と 調 査 の 所 見 .....	516
5 ま と め .....	518
報 告 書 抄 録 .....	523

## 図 版 目 次

II	第 2 図 遺 跡 周 辺 の 地 形 分 類 図 .....	4	
第 1 図 遺 跡 位 置 図 .....	3	第 3 図 遺 跡 周 辺 の 地 質 分 類 図 .....	5



第4図	周辺の遺跡分布図	9	第571図	縄文土器集成図：	
第5図	調査区と周辺の地形図・基本層序	12		中期前葉・中葉・後葉	494
<b>III</b>					
第6図	調査区の地区割・調査区位置図	15	第572図	縄文土器集成図：中期後葉	495
<b>IV</b>					
第7図～第561図※第2分冊に収録					
<b>VI</b>					
第562図	縄文時代前期の遺構分布図	483	第573図	縄文土器集成図：中期末葉	496
第563図	縄文時代中期の遺構分布図	484	第574図	古代の鉄生産関連遺構変遷図	501
第564図	縄文時代中期の竪穴住居跡分布図(1)	485	第575図	古代の土器集成図：第I期(1/3)	504
第565図	縄文時代中期の竪穴住居跡分布図(2)	486	第576図	古代の土器集成図：第I期(2/3)	505
第566図	複式炉集成図	487	第577図	古代の土器集成図：第I期(3/3)	506
第567図	縄文時代の石製品と 竪穴住居跡内出土位置図	488	第578図	古代の土器集成図：第II期(1/2)	507
第568図	縄文土器集成図：前期前葉	491	第579図	古代の土器集成図：第II期(2/2)	508
第569図	縄文土器集成図：前期中葉	492	第580図	古代の土器集成図：第III期、 遺構分布図(第I期・第II期)	509
第570図	縄文土器集成図：前期後葉・末葉	493	第581図	古代の土器変遷図：第I期(1/2)	510
			第582図	古代の土器変遷図：第I期(2/2)	511
			第583図	古代の土器変遷図：第II期(1/2)	512
			第584図	古代の土器変遷図：第II期(2/2)	513
			第585図	周辺の地形と遺跡	519

## 表 目 次

第1表	周辺の遺跡一覧表	7	第26表	陶磁器観察表	240
第2表	遺構一覧表	17	第27表	土製品(縄文)観察表	241
第3表	竪穴住居跡(縄文)観察表	130	第28表	土製品(古代)観察表	243
第4表	竪穴住居跡(古代)観察表	133	第29表	羽口観察表	244
第5表	竪穴状遺構観察表	134	第30表	石器分類表	245
第6表	土坑観察表	135	第31表	石質表記一覧表	246
第7表	炉跡・焼土遺構観察表	139	第32表	石器観察表	247
第8表	鉄生産関連炉跡観察表	140	第33表	石器掲載一覧表	289
第9表	鉄生産関連工房跡観察表	141	第34表	石製品観察表	290
第10表	炭窯跡観察表	141	第35表	金属製品観察表	292
第11表	遺構種・地点別遺物重量表	158	第36表	銭貨観察表	293
第12表	土器重量表	159	第37表	炉壁観察表	293
第13表	剥片重量表	163	第38表	鉄滓類観察表	294
第14表	羽口・炉壁・炭化材・木製品重量表	164	第39表	動物遺存体観察表(1)ウニ綱・多毛綱・ 顎脚綱・軟甲綱・腹足綱・二枚貝綱	295
第15表	遺構種・地点別鉄滓類重量表	165	第40表	動物遺存体観察表(2)軟骨魚綱・ 硬骨魚綱	296
第16表	鉄滓類重量表	166	第41表	動物遺存体観察表(3)両生綱・爬虫綱・ 鳥綱・哺乳綱	299
第17表	動物遺存体・植物遺存体重量表	170	第42表	植物遺存体観察表	301
第18表	遺構別掲載遺物一覧表	171	第43表	自然遺物観察表	301
第19表	地点別掲載遺物一覧表	177	第44表	竪穴住居跡の新旧関係表	482
第20表	遺構・地点別出土石器一覧表	183	第45表	古代の土器組成表	514
第21表	縄文土器観察表の凡例表	192	第46表	放射性炭素年代測定値一覧表	516
第22表	縄文土器観察表	193			
第23表	弥生土器観察表	234			
第24表	土師器観察表	235			
第25表	須恵器観察表	239			

## I 調査に至る経過

沢田Ⅲ遺跡は、一般国道45号三陸沿岸道路事業（山田～宮古）の事業区域内に存在することから発掘調査を実施することとなったものである。

三陸沿岸道路は、宮城、岩手、青森の各県の太平洋沿岸を結ぶ延長359kmの自動車専用道路で、東日本大震災からの早期復興に向けたリーディングプロジェクトとして、平成23年度にこれまで事業化されていた区間も含め、全線事業化された復興道路である。

当該遺跡に係る埋蔵文化財の取り扱いについては、平成24年11月9日付け国東整陸一調第1005号により、三陸国道事務所長から岩手県教育委員会生涯学習文化財課長あてに試掘調査を依頼し、平成25年2月26日に試掘調査を行い、平成25年3月4日付け教生第1675号により、工事に先立って発掘調査が必要と回答がなされたものである。

その結果を踏まえて、岩手県教育委員会と協議を行い、平成25年4月1日付け、及び平成26年4月1日付けで公益財団法人岩手県文化振興事業団と委託契約を締結し、発掘調査を実施することとなった。

（国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所）

## Ⅱ 遺跡の位置と立地

### 1 遺跡の位置と地理的環境

#### (1) 山田町の位置

本遺跡の所在する下閉伊郡山田町は岩手県の沿岸のほぼ中央に位置し、北側と西側は宮古市、南は大槌町に接し、東側は太平洋に面している。面積約263.45km<sup>2</sup>、人口17,077人である（平成25年5月1日現在）。三陸海岸のほぼ中央に位置し、漁業・港湾・観光を柱に発展を目指す町である（註1）。

1889（明治22）年に町村制が施行され、1955（昭和30）年に山田町と船越、織笠、大沢、豊間根の4村が合併し、現在の山田町となった。2011年3月11日に発生した東日本大震災・津波以前は、カキ・ホタテの養殖、サケ定置網漁が行われ、山田湾・船越湾では養殖漁業が盛んで殻付きカキは全国一位の生産量であった。三陸縦貫自動車道山田道路が2002（平成14）年に開通している。本遺跡の調査原因の三陸沿岸道路山田宮古道路は、震災後に事業化されたものである。

#### (2) 沢田Ⅲ遺跡の位置

沢田Ⅲ遺跡は、下閉伊郡山田町山田第3地割33-1ほかに所在し、山田町の中心街より北側にあり、山田北小学校の北西約0.3kmに位置する。関口川を下った地点の海岸線からの直線距離は約0.8kmである。同地点は、北緯39度28分52秒、東経141度57分1秒付近に位置する。また、国土交通省国土地理院発行5万分の1地形図「大槌」(NJ-54-13-4)、同2万5千分の1地形図「陸中山田」(NJ-54-13-4-1)の図幅に属する（第1図）。

### 2 遺跡の立地と周辺の地形・地質

#### (1) 山田町の地形・地質

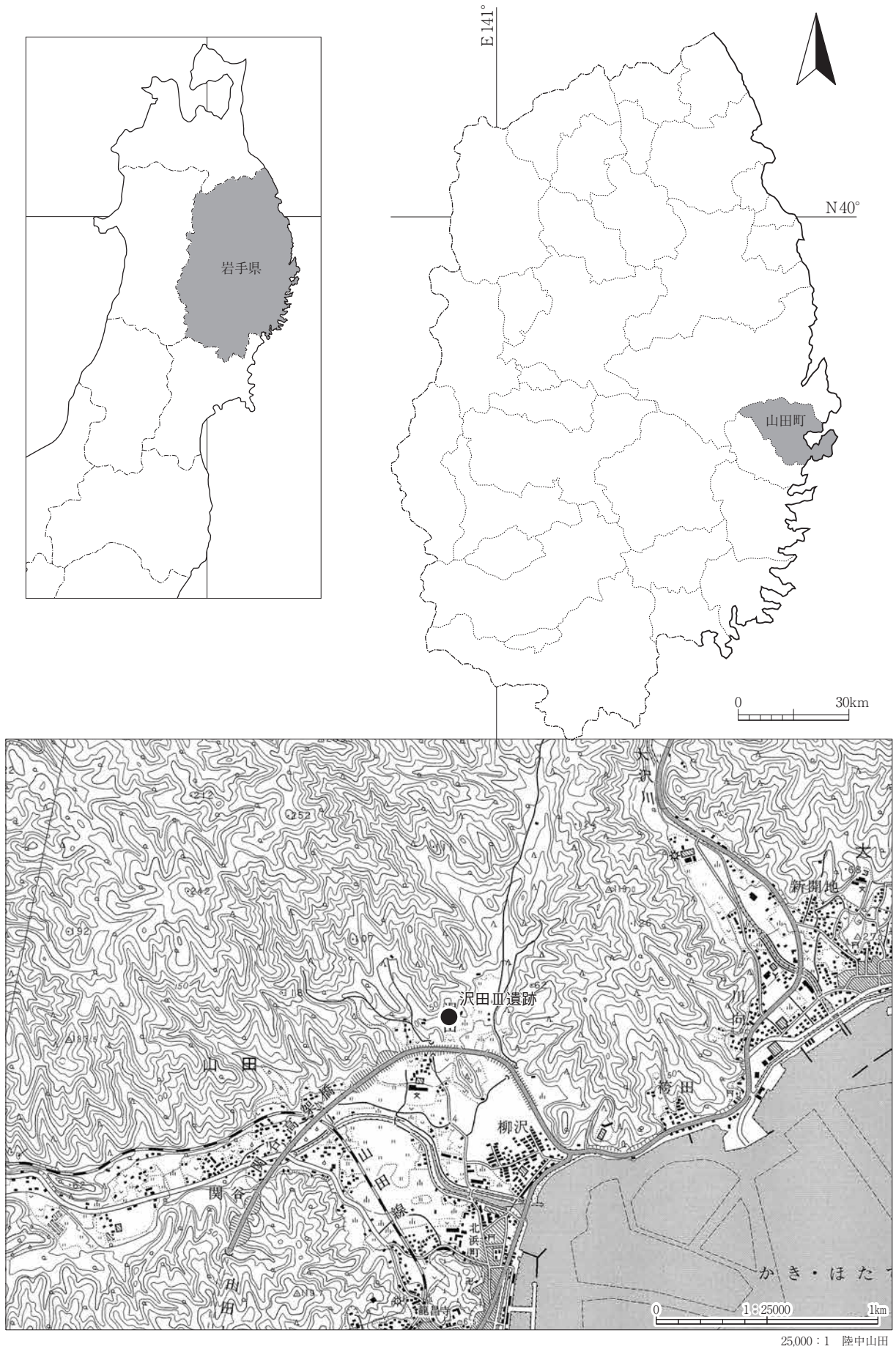
山田町の地形を概観すると、西側に北上高地が南北に連なり、東側は太平洋に面し、山田湾・船越湾の二つの湾を有している。西側の北上高地は高森山（標高1,160m）を最高峰に西から東に傾斜している。東側は、西側に位置する山地から流れる豊間根川流域の豊間根地区、関口川・織笠川が流れ込む山田湾周辺の大沢・山田・織笠地区、そして船越半島などに大別される。現在の集落も、およそこれらの河川の流域沿いの低地に形成されている。

地形的には、西側の山地と、その山地を水源とする河川によって山田湾周辺に形成された小規模な段丘や低地に大別される。山地は、地質的に西側の大起伏山地（古生層）、東側の小起伏山地と丘陵の風化花崗岩層（いわゆるマサ土）を基盤とする宮古花崗岩地帯（中生代白亜紀）に大別される（第2・3図）。

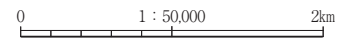
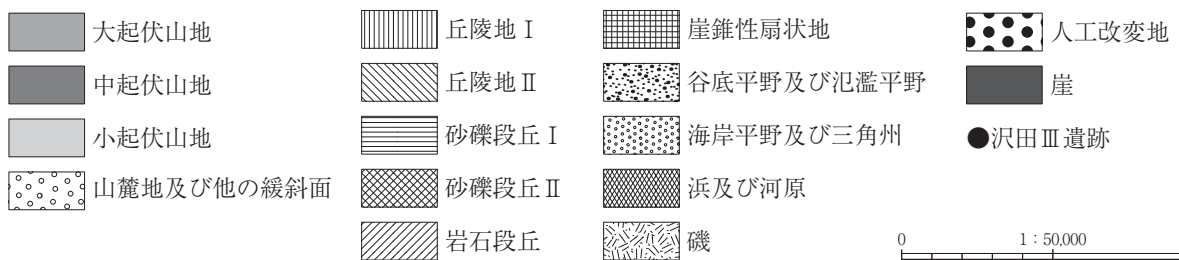
#### (2) 沢田Ⅲ遺跡周辺の地形・地質

沢田Ⅲ遺跡は、山田湾の北西側に位置し、西側からのびる山地の先端とその南側に形成された低地に跨った範囲に及んでいる。基盤層は、風化花崗岩層（いわゆるマサ土）で、谷部には基盤層の上に黄褐色土層の火山灰起源の粘質土層が堆積する。腐植土層の黒色土・黒褐色土は、急斜面を除く全域に形成され、特に谷部・低地部に厚く堆積する傾向が確認された。

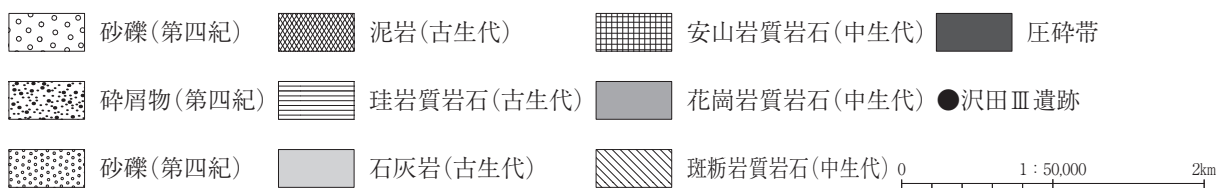
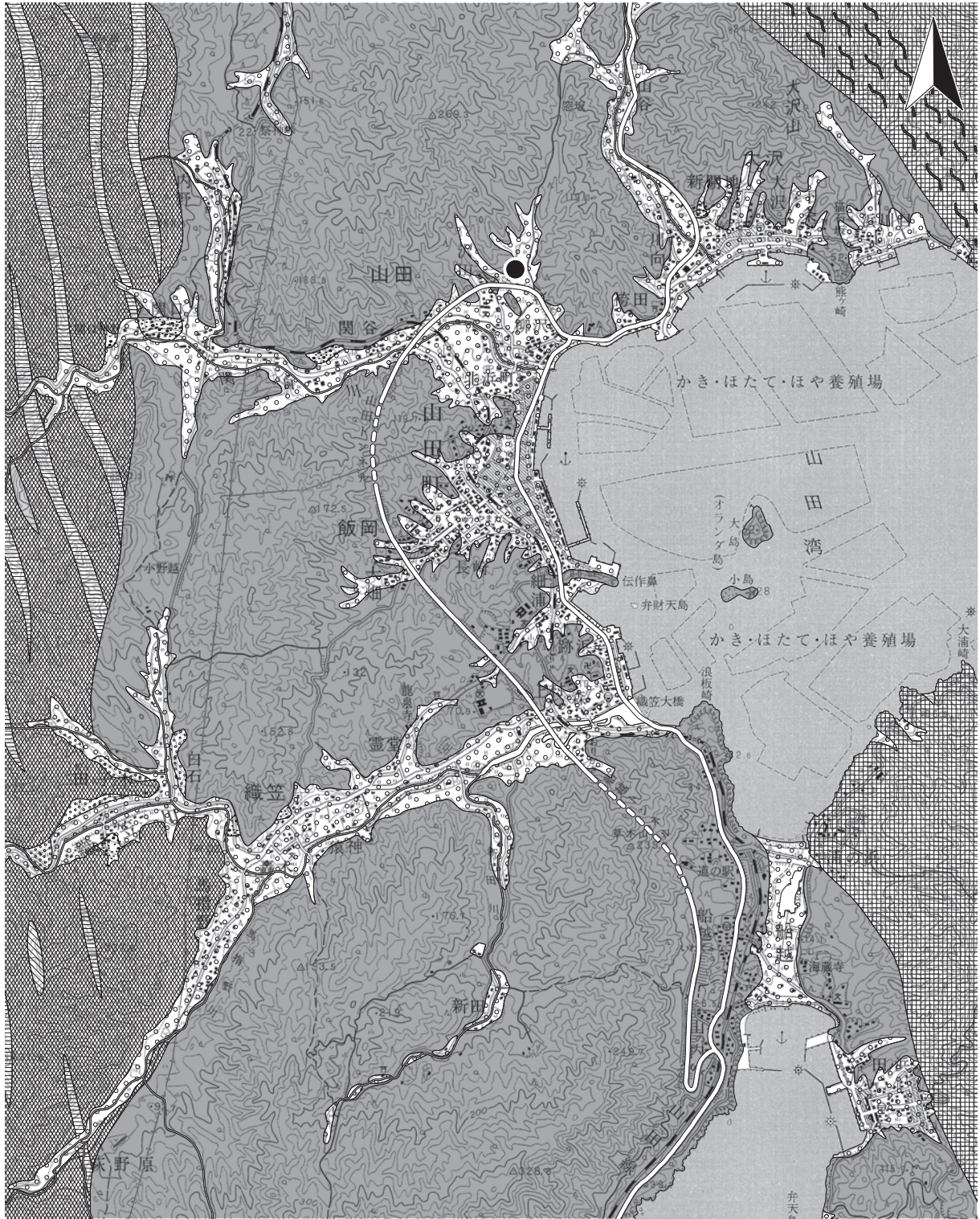
調査区の標高は、約30～10mである。調査区の範囲は、東西約120m、南北約120m、面積9,600m<sup>2</sup>



第1図 遺跡位置図



第2図 遺跡周辺の地形分類図



第3図 遺跡周辺の地質分類図

である。調査区の微地形は、尾根部（標高30～20m）・谷部（標高20～15m）・低地部（標高15～10m）に大別される。遺跡の現況は山林と畑地である。尾根部と谷部が山林で、低地部が山林・畑地として利用されていた。遺跡の南側は、かつては水田として利用されていたようである。

### 3 周辺の遺跡

#### （1）山田町の遺跡と文化財

山田町の遺跡数は、517遺跡にのぼる（註2）。第4図・第1表は、岩手県遺跡台帳検索システムH30に掲載されているもので、本遺跡周辺に分布する遺跡を図示したものである。それに加えて、近年の三陸沿岸道路山田宮古道路建設事業に係り、分布調査などで新たに把握され、登録された遺跡も掲載した。図幅内（南北20km、東西16km）に登録されているのは300遺跡を数える。

山田町の町域は、その地形的特徴から、北から豊間根・大沢・山田・織笠・船越の五つの地区に分かれており、町内の遺跡の分布調査も地区ごとに実施されている。分布調査の結果、町内の登録遺跡総数は517となり、そのうち製鉄遺跡が387遺跡（78.5%）と高い比率を占める。さらに岩手県内における製鉄遺跡数650（2003年時点）のなかで、山田町内の製鉄遺跡総数は、387（59.5%）と高い比率を占める（註3）。このように製鉄遺跡の占める割合が高いことが山田町の遺跡の特徴である。これは、砂鉄という鉄生産の原料採取に適していた、鉄分を含む宮古花崗岩地帯を基盤とする山田町の地形・地質と密接に関連している。

また、山田町の大島（オランダ島）・船越海岸は、タブノキの北限自生地であり、大沢の臥竜梅（推定樹齢約300年）は県指定文化財（天然記念物）、房の沢古墳群の蕨手刀などの出土品は県指定文化財（考古資料）である。浜街道沿いに設けられた町域に現存する4つの一里塚、すなわち北から石峠一里塚、田名部一里塚、礼堂一里塚、萩野平一里塚は一括で町指定文化財（平成25年現在）である。以下、本遺跡の調査を開始した平成25年までに報告されている調査成果を中心に概観する。

#### （2）山田町の調査遺跡の履歴

ここでは、沢田Ⅲ遺跡に関連する、縄文時代の集落遺跡、古代の集落遺跡、鉄生産関連遺跡、中世の遺構・遺物などに絞って、これまで山田町内で実施されてきた調査遺跡（報告書刊行分）の履歴を概観し、調査成果の位置づけに備えたい。

これまで（平成25年時点）、山田町内で調査が行われ、報告書が刊行されたのは、18遺跡（16冊）である。調査機関別では、県埋蔵文化財センター13遺跡（11冊）：細浦Ⅰ・Ⅱ遺跡、湾台Ⅱ・Ⅲ遺跡、上村遺跡、大畑Ⅰ・Ⅱ遺跡、山ノ内Ⅱ・Ⅲ遺跡、沢田Ⅰ・Ⅱ遺跡、房の沢Ⅳ遺跡、柳沢Ⅱ遺跡。山田町教育委員会5遺跡（5冊）：猿神遺跡、紅山B遺跡、細浦Ⅵ遺跡、後山Ⅰ遺跡、新道具塚である。それ以降に調査・刊行された遺跡の成果については、適宜参照していくことにする。

##### 縄文時代

縄文時代の集落跡は、沢田Ⅰ・Ⅱ遺跡などで調査された。時期的には、縄文時代前期・中期で、なかでも前期前半・中期後半に属する事例が多い。前期前半では、十和田中楸テフラとの係わりで良好な資料が蓄積されている（註4）。遺構は、竪穴住居跡・フラスコ状土坑・陥し穴状遺構などがある。竪穴住居跡は、前期は方形基調、中期は円形基調で、前期では長方形基調の大型住居跡（いわゆるロングハウス）が沢田Ⅰ遺跡で確認されている。貯蔵穴と推定されるフラスコ状土坑は、竪穴住居跡と併せて集落を構成する基本要素のひとつである。今後は、各遺構の立地の傾向を把握していくことが必要であろう。

縄文時代の集落は、前期から中期まで同一箇所集落が形成される傾向がある。時期的には、大木2

第1表 周辺の遺跡一覧表(1)

掲載No.	遺跡名	種別※1	時代※2	遺構・遺物※3	掲載No.	遺跡名	種別※1	時代※2	遺構・遺物※3
1	金堀場 I	生	不	鉄	79	紅山B	集	縄	縄
2	金堀場	生	不	鉄	80	紅山A	散	縄	縄、石
3	漆洞	散、製	縄、不	縄、鉄	81	袴田 II	散	縄	縄
4	馬鞍沢	散、製	縄、不	縄、鉄	82	袴田 I	散	縄	縄
5	寅ヶ沢	製	不	鉄	83	浜川目沢田 III	集	縄	縄
6	内野	集、製	縄、古、不	縄、土、鉄、羽	84	浜川目沢田 II	集	縄	縄
7	内野 II	製	不	鉄	85	浜川目沢田 I	散	縄	縄(前・中・後・晩)
8	オマツ沢	製	不	鉄	86	多門	製	縄	スラッグ
9	内野 III	製	不	羽	87	関口 I	集、製	縄、不	縄、石、鉄
10	内野 IV	散、製	縄、不	縄、鉄	88	関口 III	製	不	鉄
11	熊倉沢 III	散	縄	縄	89	関口 II	散	縄	縄
12	足毛沢	生	不	鉄	90	上野畑	散	縄	縄
13	祭神峠	製	不	鉄、羽	91	上野台 II	散	縄	縄、石、土、須
14	祭神峠 I	製	不	鉄	92	上野台 I	散、製	縄、不	縄、鉄
15	祭神峠 II	製	不	鉄	93	上野台 III	散、製	縄、不	縄、鉄
16	祭神峠 III	製	不	鉄	94	大洞沢	製	不	鉄
17	高寺沢	生	不	鉄	95	上野台 V	散、製	縄、不	縄、鉄、羽
18	高寺沢 I	生	不	鉄	96	上野台 VI	製	不	鉄
19	ヨツボ沢 II	製	不	鉄	97	上野台 IV	製	不	鉄
20	ヨツボ沢 I	製	不	鉄	98	関谷 VI	製	不	鉄
21	ヨツボ沢	製	不	鉄	99	小野越沢	散、製	縄、不	縄、鉄
22	ヨツボ沢 III	製	不	鉄	100	小野越沢 II	製	不	鉄、羽
23	ボナン沢 IV	製	不	鉄	101	小野越沢 I	製	不	鉄
24	ボナン沢 III	製	不	鉄、羽	102	大平 IV	製	不	鉄、羽
25	ボナン沢 II	製	不	鉄	103	大平 III	製	不	鉄
26	ボナン沢 I	製	不	鉄、羽	104	大平 V	製	不	鉄
27	ボナン沢 VI	製	不	鉄	105	大平 II	製	不	鉄
28	ボナン沢	製	不	鉄、羽	106	大平	製	不	鉄
29	長洞 III	製	不	鉄	107	大平 I	散、製	縄、不	縄、鉄
30	長洞 IV	製	不	鉄	108	小野峠	製	不	鉄
31	長洞 II	製	不	鉄、羽	109	小野峠 II	製	不	鉄
32	長洞 I	散、製	縄、不	縄、鉄	110	小野峠 I	製	不	鉄
33	長洞	散、製	縄、不	縄、鉄	111	小野峠 III	製	不	鉄
34	天井間木戸 IV	製	不	鉄、羽	112	隠畑	製	不	鉄
35	天井間木戸 III	散、製	縄、不	縄、鉄	113	隠畑 I	製	不	鉄
36	天井間木戸 V	散、製	縄、不	縄、鉄、羽	114	ランボウ沢 I	製	不	鉄
37	天井間木戸 II	製	不	鉄	115	ランボウ沢	製	不	鉄
38	天井間木戸 I	散、製	縄、不	縄、鉄	116	中山沢 I	製	不	鉄
39	天井間木戸	製	不	鉄	117	中山沢	製	不	鉄
40	天井間木戸 VIII	製	不	鉄	118	白石熊倉	散、製	縄、不	縄、鉄
41	天井間木戸 VII	製	不	鉄、羽	119	白石赤松越	散、製	縄、不	縄、鉄
42	天井間木戸 VI	製	不	鉄	120	白石赤松越 IV	製	不	鉄
43	天井間木戸 IX	散、製	縄、不	縄、鉄、羽	121	白石赤松越 III	製	不	鉄
44	関谷 I	散、製	縄、不	縄、鉄	122	白石赤松越 I	製	不	鉄
45	房の沢 V	散、製	縄、不	縄、鉄	123	白石赤松越 II	製	不	鉄
46	房の沢 I	散、製	縄、不	縄、鉄	124	赤松峠	散、製	縄、弥、不	縄、弥、鉄
47	沢田 V	製	不	鉄	125	沢田沢 III	製	不	鉄、羽
48	房の沢 VII	散、製	縄、不	石、鉄	126	沢田沢	製	不	鉄
49	房の沢 VI	散、製	縄、不	縄、鉄	127	沢田沢 I	製	不	鉄
50	房の沢館	城	中	郭、砦、特殊空堀、経石	128	沢田沢 II	散	縄	土抗群、縄
51	房の沢 II	散、製	縄、不	縄、鉄	129	礼堂一里塚	一里塚	近	一里塚
52	房の沢 III	散	縄	縄	130	礼堂	散、製	縄、不	縄、鉄
53	房の沢 IV	散、古	縄、古	縄、鉄製品、土、須	131	礼堂 I	散	縄	縄、石
54	沢田 VI	散	縄	縄	132	織笠館	城、製	中、不	郭、空堀、鉄、羽
55	沢田 I	集	縄、弥、古	縄、土、須	133	猿神	集	縄	縄、土
56	沢田 II	散、城、製	縄、中、不	縄、郭、空堀、鉄	134	猿神 I	製	不	鉄
57	沢田 IV	散、城、製	縄、中、不	縄、郭、砦、空堀、鉄	135	白石 VII	製	不	鉄
58	沢田 III	散	縄	縄	136	白石 VIII	散、製	縄、不	鉄
59	問木戸 III	散、製	縄、不	縄、鉄	137	白石 II	散、製	縄、不	縄、鉄
60	問木戸 V	散、製	縄、不	縄、鉄、羽	138	白石 VI	散、製	縄、不	縄、鉄、羽
61	問木戸 IV	集、一里塚	縄、近	縄	139	白石 I	集、製	縄、不	縄、鉄
62	問木戸 I	散	縄	縄	140	白石 V	製	不	鉄、羽
63	問木戸 II	散	縄	縄	141	白石 IV	製	不	鉄
64	問木戸 VI	製	不	鉄	142	白石 III	散	縄	縄
65	山の神	製	不	鉄	143	廻立 II	製	不	鉄
66	山の神 I	散	縄	縄	144	廻立	集、製	縄、不	縄、鉄
67	柳沢 IV	散	縄	縄	145	廻立 I	製	不	鉄
68	柳沢 III	散	縄	縄、土	146	コダノ沢	散、製	縄、不	縄、鉄
69	柳沢 II	散、城、製	縄、中、不	縄、鉄	147	田茂沢	集、製	縄、不	縄、土、灰釉、鉄
70	柳沢 I	散、製	縄、不	縄、鉄	148	日当 IV	散、城	縄、中	堀切、郭、縄
71	山谷	散	縄	縄	149	日当 II	散	縄	縄
72	新開地 II	散	縄	縄	150	日当 I	集、製	縄、弥、不	縄、弥、鉄
73	新開地 I	散	縄	縄	151	日当 III	散、製	縄、不	縄、鉄
74	新開地	散	縄	縄、石	152	日陰	散	縄	縄
75	川向 III	散	縄	縄	153	日陰 I	製	不	鉄
76	川向 II	散	縄	縄	154	日陰 II	散、製	縄、不	縄、鉄
77	川向 I	散	縄	縄	155	日陰 III	製	不	鉄
78	大沢館	城	中	郭、二重・三重空堀	156	ツチゴエ沢	製	不	鉄

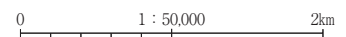
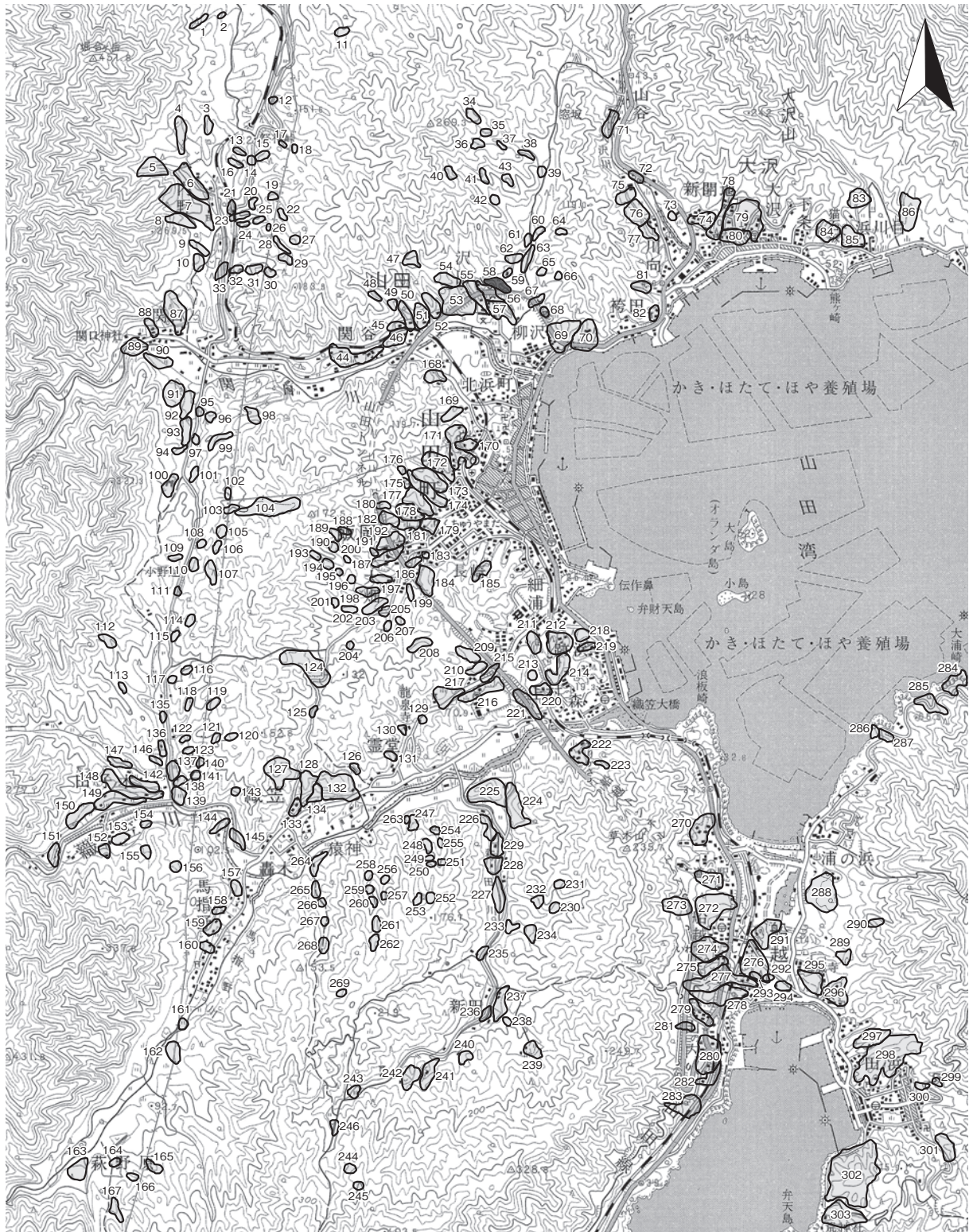


3 周辺の遺跡

第1表 周辺の遺跡一覧表(2)

掲載No.	遺跡名	種別※1	時代※2	遺構・遺物※3	掲載No.	遺跡名	種別※1	時代※2	遺構・遺物※3
157	馬指野	製	不	鉄	231	薄地沢Ⅰ	製	不	鉄
158	馬指野Ⅰ	製	不	鉄、羽	232	薄地沢Ⅱ	散、製	縄、不	縄、鉄
159	馬指野Ⅱ	散、製	縄、不	縄、鉄	233	ウドウツチ	散、製	縄、不	縄、鉄
160	馬指野Ⅲ	製	不	鉄	234	ウドウツチⅠ	製	不	鉄
161	萩野平Ⅰ	集、製	縄、弥、不	縄、弥、鉄	235	山波	散、製	縄、不	縄、鉄
162	萩野平Ⅱ	集、製	縄、不	縄、鉄	236	新田Ⅰ	集、製	縄、不	縄、土、中世陶器、鉄器、鉄
163	萩野平Ⅲ	集	縄	縄	237	新田Ⅱ	散、製	縄、不	縄、土、鉄
164	萩野平一里塚	一里塚	近	一里塚	238	新田Ⅲ	製	不	鉄
165	御山沢	散	縄	縄	239	豊面沢	散、製	縄、不	縄、鉄
166	宮古沢	製	不	鉄	240	大石平	散	縄	縄、石
167	宮古沢Ⅰ	製	不	鉄	241	猿喰沢	散、製	縄、不	縄、鉄
168	関谷Ⅲ	散、製	縄、不	縄、鉄	242	天王平	集、製	縄、不	縄、弥、鉄
169	関谷Ⅳ	散、製	縄、不	縄、鉄	243	ドロボウツ	製	不	鉄
170	関谷Ⅴ	散、製	縄、不	縄、鉄	244	押立石	製	不	鉄
171	八幡館	城	中	郭、空堀	245	押立石Ⅰ	製	不	鉄
172	長崎Ⅰ	散、城	縄、中	郭、縄	246	押立石Ⅱ	散	縄	縄
173	長崎Ⅱ	散、城	縄、中	郭、縄	247	中野南	製	不	鉄
174	長崎Ⅲ	城	中	郭、空堀、砦	248	中野南Ⅰ	散	縄	縄
175	小沢Ⅵ	製	不	鉄	249	中野南Ⅱ	散、製	縄、不	縄、鉄
176	小沢Ⅶ	製	不	鉄	250	中野南Ⅲ	製	不	鉄、羽
177	長崎Ⅳ	城	中	平場、空堀	251	中野南Ⅳ	散、製	縄、不	縄、鉄
178	小沢Ⅰ	散、製	縄、不	縄、鉄	252	中野南Ⅴ	散、製	縄、弥、不	縄、弥、鉄
179	小沢Ⅱ	散	縄	縄	253	中野南Ⅵ	散、製	弥、不	弥、鉄、羽
180	小沢Ⅲ	散、製	縄、不	縄、鉄	254	中野	製	不	鉄、羽
181	小沢Ⅳ	製	不	鉄	255	中野Ⅰ	製	不	鉄
182	小沢Ⅴ	製	不	鉄	256	中野Ⅱ	製	不	鉄
183	飯岡Ⅰ	城	中	郭	257	中野Ⅲ	製	不	鉄
184	飯岡Ⅱ	城	中	郭、空堀、砦	258	中野Ⅳ	製	不	鉄
185	飯岡Ⅲ	散	縄	不明	259	中野Ⅴ	散、製	縄、不	縄、鉄
186	飯岡Ⅳ	散	縄	不明	260	中野Ⅵ	製	不	鉄
187	大畑Ⅰ	散	縄	縄	261	中野Ⅶ	製	不	鉄
188	大畑Ⅲ	製	不	鉄	262	中野Ⅷ	製	不	鉄
189	大畑Ⅳ	製	不	鉄	263	中野Ⅸ	製	不	鉄
190	大畑Ⅴ	製	不	鉄	264	轟木	集	縄	縄、土
191	大畑Ⅵ	製	不	鉄	265	轟木Ⅰ	製	不	鉄、羽
192	大畑Ⅱ	散、城	縄、古、中	空堀、縄、須	266	轟木Ⅱ	製	不	鉄
193	長野Ⅶ	製	不	鉄	267	轟木Ⅲ	製	不	鉄
194	長野Ⅷ	製	不	鉄	268	轟木Ⅳ	散、製	縄、不	縄、鉄、羽
195	長野Ⅵ	製	不	鉄	269	轟木Ⅴ	製	不	鉄
196	長野Ⅳ	製	不	鉄	270	長林	散、製	縄、不	縄、鉄
197	長野Ⅰ	散、製	縄、不	縄、鉄	271	長林Ⅰ	製	不	平場、鉄
198	長野Ⅱ	散、製	縄、不	縄、鉄	272	焼山	製	不	平場、鉄
199	長野Ⅲ	散、製	縄、不	縄、鉄	273	焼山Ⅰ	製	不	平場、鉄
200	長野Ⅴ	製	不	鉄	274	湾台Ⅲ	散、製	縄、古	製鉄炉、縄、石
201	赤松Ⅳ	散、製	縄、不	縄、鉄、羽	275	湾台Ⅱ	散、製	縄、弥、古	縄、弥、石、鉄、羽
202	赤松Ⅰ	散、製	縄、不	縄、鉄、羽	276	湾台Ⅰ	集	縄	縄、石
203	赤松Ⅱ	散、製	縄、不	縄、鉄	277	船越西館	散、城、製	縄、中、不	郭、空堀、砦、古碑、縄、鉄
204	赤松Ⅵ	散、製	縄、不	縄、鉄	278	山ノ内Ⅰ	城	中	郭、平場、土塁、堀
205	赤松Ⅶ	散	縄	縄	279	山ノ内Ⅱ	集、製	縄、古	製鉄炉、縄、鉄
206	赤松Ⅴ	散、製	縄、不	縄、鉄	280	山ノ内Ⅲ	集、製	縄、古	製鉄炉、縄、鉄
207	赤松Ⅲ	製	不	鉄、羽	281	山ノ内Ⅳ	製	不	平場、鉄
208	細浦Ⅱ	散	縄	縄	282	滝の沢	散	縄	縄
209	細浦Ⅰ	散、製	縄、弥、不	縄、弥、鉄	283	家の沢	散	不	不明
210	細浦Ⅲ	散	縄	縄	284	大浦崎	貝塚、生、製	縄、不	貝層、縄、焼石、灰、鉄
211	細浦Ⅳ	散	縄	縄	285	糸巻沢	散、生	縄、不	石組遺構、縄
212	細浦Ⅵ	散、製	縄、古、不	縄、土、鉄	286	白石浜	散、生	縄、不	石組遺構、縄
213	細浦Ⅶ	製	不	鉄	287	白石沢	散	縄	縄
214	細浦Ⅴ	散、城	縄、中	郭、縄	288	新道貝塚	貝塚、製	縄、不	縄、鉄
215	後山Ⅰ	散、製	縄、弥、不	製鉄炉、縄、石、土、鉄、羽	289	クク井	散	縄	縄
216	後山Ⅱ	散	縄	縄	290	クク井Ⅰ	製	不	平場、鉄
217	後山Ⅲ	集、製	縄、弥、不	縄、弥、土、鉄	291	船越館	散、城	縄、中	縄、郭
218	跡浜Ⅰ	散	縄	縄	292	船越Ⅳ	散	縄	縄
219	跡浜Ⅱ	散	縄	縄	293	船越Ⅲ	散	縄	縄
220	上	集	縄、弥	縄、弥	294	船越Ⅴ	散	縄	縄
221	上村	散、製	縄、不	製鉄炉、縄	295	船越御所	散、城	縄、中	郭、空堀、砦、縄
222	草木	散、製	縄、不	縄、鉄	296	岩ヶ沢	集	縄	縄
223	草木Ⅰ	製	不	鉄	297	早川	散、製	縄、不	縄、石、鉄
224	越田	散、貝塚、製	古、不	貝塚、土、鉄、貝	298	田の浜館	城	中	郭、空堀、砦
225	坊主山Ⅱ	城	中	郭、堀	299	大洞Ⅰ	散	縄	縄
226	坊主山Ⅰ	集	縄	縄	300	大洞貝塚	貝塚、集	縄	縄
227	根井沢Ⅰ	散	縄	縄	301	漆畑	製	不	平場、鉄
228	根井沢Ⅱ	散、製	縄、不	縄、鉄	302	小田の御所	散、城	縄、中	郭、空堀、古碑、縄
229	根井沢Ⅲ	散、製	縄、不	縄、土、鉄	303	荒神	製	不	平場、鉄
230	薄地沢	製	不	鉄、羽					

※表の内容は岩手県遺跡情報検索システム(H30)より抜刷・編集  
 ※1 生=生産遺跡、散=散布地、製=製鉄跡、集=集落跡、古=古墳群、城=城館跡 ※2 縄=縄文、弥=弥生、古=古代、中=中世、近=近世、不=不明  
 ※3 縄=縄文土器、弥=弥生土器、土=土師器、須=須恵器、石=石器、鉄=鉄滓、羽=羽口



第4図 周辺の遺跡分布図

式～10式期に及ぶ事例が多い。動物遺存体は、山ノ内Ⅱ遺跡・沢田Ⅱ遺跡で出土事例がある。

また、特殊な遺構として、埋甕（底部穿孔埋甕）がある。これまで、山田町では、船越地区で3個、沢田Ⅰ遺跡から1個、新道具塚から1個の計5個が確認されていた（註5）。平成26年度の調査では、浜川目沢田Ⅰ遺跡で2個確認されたほか、他遺跡でも複数個体の調査事例が確認されており、これまで類例の少なかった沿岸部での貴重な調査事例の正式報告が、今後待たれる。

豊間根新田Ⅰ遺跡で361基の陥し穴状遺構が確認された。山を背にして河川沿いの低地に立地する同遺跡は、これまでの山地丘陵に位置する調査事例の遺跡とは異なる立地であり、山田町内及び沿岸部における陥し穴状遺構の設けられる場所について、新たな知見を提示するものである（註6）。

#### 古代

古代の集落跡は、沢田Ⅰ・Ⅱ、大畑Ⅰ・Ⅱ、山ノ内Ⅱ・Ⅲの遺跡で確認されている。古代の竪穴住居跡は、沢田Ⅰ・Ⅱ遺跡で、縄文時代前期・中期の集落跡と同様の立地で確認され、奈良時代と平安時代の竪穴住居跡では、カマドの方向が異なることが指摘されている。

古代で注目されるのは、房の沢Ⅳ遺跡として調査が行われた房の沢古墳群である。1996（平成8）年・1997（平成9）年の2箇年に調査が行われた。古墳35基、土壙墓6基、馬墓4基などが、副葬品の蕨手刀など刀剣類33振りとともに、山田湾を望む東側斜面地でまとまって確認された。沿岸部では、宮古市長根Ⅰ遺跡（長根古墳群）に次ぐ末期古墳の調査事例として貴重な成果を提示した（註7）。

鉄生産関連遺構は、上村、大畑Ⅰ・Ⅱ、山ノ内Ⅱ・Ⅲ遺跡、後山Ⅰ遺跡が代表的である。製鉄炉・製錬炉・鍛冶炉・排滓場・炭窯跡などの各要素で構成されている。確認された遺跡の基盤層は風化花崗岩層である。後山Ⅰ遺跡では、29基の製鉄炉跡が確認された。製鉄炉の年代観は、放射性炭素年代測定・熱残留地磁気測定等も踏まえ、12世紀代（平安時代末期・奥州藤原氏の時代）と報告されている（註8）。山田町内のこれまでの遺跡調査では、当該時期の遺構・遺物は確認されていないが、注目されてよい事例と思われる。

#### 中世

八幡館跡、柳沢Ⅱ遺跡などの調査が行われているが、詳細は不明である。平成25・26年度調査の事例であるが、焼山遺跡では、平安時代のみならず、中世の鉄生産関連遺構が確認されている（註9）。

#### 近世

間木戸一里塚の調査事例がある。2基1対の塚のうち、東側の塚1は東西11m、南北12mの円形で比高は2.7～4mである。西側の塚2は西半分を現町道で消失しているが、東塚と同等の規模と推測される。調査の結果、芯材として大きな礫を使用し、土の積み上げと突き固めを繰り返しながら構築し、裾には基部の土砂流出を防ぐため、角礫を巡らすなどの構築方法が明らかになった。道路幅は5m前後（2～3間）と推測されている。一里塚自体は、間木戸Ⅳ遺跡に含まれるが、調査で縄文時代中期中葉の遺物が出土しており、間木戸Ⅱ遺跡の調査成果との整合性が認められる（註10）。

#### 沢田Ⅲ遺跡とその周辺

沢田Ⅲ遺跡は、山田湾の北西側、山地と低地の境界部に立地する。低地は山田湾に注ぎこむ関口川両岸に広がる沖積地であり、かつては、山田湾の海岸線が山地の裾まで入り込んでいた可能性もある。関口川の北側の山地には、複数の遺跡が連なって分布する。西から、房の沢Ⅳ遺跡（1996・1997・2015年調査）、沢田Ⅰ遺跡（1994・1995・1996・1997・1999年調査）、沢田Ⅱ遺跡（1996年調査）、沢田Ⅲ遺跡（2013・2014年調査）、間木戸Ⅰ遺跡（2013・2014・2015年調査）、間木戸Ⅱ遺跡（2013年調査）、間木戸Ⅴ遺跡（2013年調査）である。1990年代に行われた房の沢Ⅳ遺跡、沢田Ⅰ・Ⅱ遺跡は、三陸沿岸道路山田道路建設に係わるもので、その東側に位置する沢田Ⅲ・間木戸Ⅰ・Ⅱ・Ⅴ遺跡は、震災後の2013～2015年にかけて行われた宮古南・山田間の三陸沿岸道路建設に伴うものである。各

遺跡とも縄文時代・古代の大規模な集落跡で、各遺跡の範囲を限る境界は、谷・沢などの現況によるが、当地で同時代に隣接して生活した人々は、さまざまな交流をしており、今後は、個別の調査成果報告を俯瞰した当地に連なる遺跡群の総括が求められよう。

なお、沢田Ⅲ遺跡は、山田地区に所在する遺跡で、分布調査では、種別は散布地、時代は縄文とされていたが（註11）、今回の調査で、縄文・古代の複合・集落遺跡であること、鉄生産関連遺構が存在することが確認された。

また、沢田Ⅲ遺跡では、調査開始前にC区尾根上に花崗岩を素材とする、「熊野山 文久三（1863）亥 願主 □松・□□□」（※□松は長松か。□□□は長之介か。文久3年の干支は癸亥（みずのとい））の銘が刻まれた石碑（高さ65.0cm、最大幅37.0cm、厚さ21cm）が横たわっていた。同地点東斜面には、お稲荷様を祀った祠もあったが、調査開始後に地権者により調査区域外に移転している。沢田Ⅲ遺跡では、今回の調査成果として提示する縄文時代・古代・中世以外にも、近世以降・現代まで、人々が様々なかたちで土地を利用していた痕跡が確認できた。



石碑の拓図（S=1/8）

## 4 基本層序

### （1）遺跡の微地形と土層の堆積状況

沢田Ⅲ遺跡は、調査区が南北約120m×東西約200mで、大きく北東から南西方向に傾斜している。調査区内の微地形は、尾根部（C区）・谷部（B区）・低地部（A区）に3箇所に分かれる。遺跡の現況は、尾根部・谷部は山林、低地は畑地である。尾根部と谷部が連続する地形で、南側に向かって開けている。尾根部は南北に向かって延び、東側は沢田沢に解析された低地が広がる。西側は対面する尾根との間で形成された埋没谷で、その南側には低地が広がる。谷部は、沢田沢に向かって流れる、かつての埋没沢の流路が複雑に入り込んでいた。そのため、尾根上と谷部で基本土層の確認を行い、遺物包含層の有無と遺構検出面を確認した。地点により若干の差がみられるが、各観察地点の土層の堆積状況と基本層序は次のとおりである（第5図）。

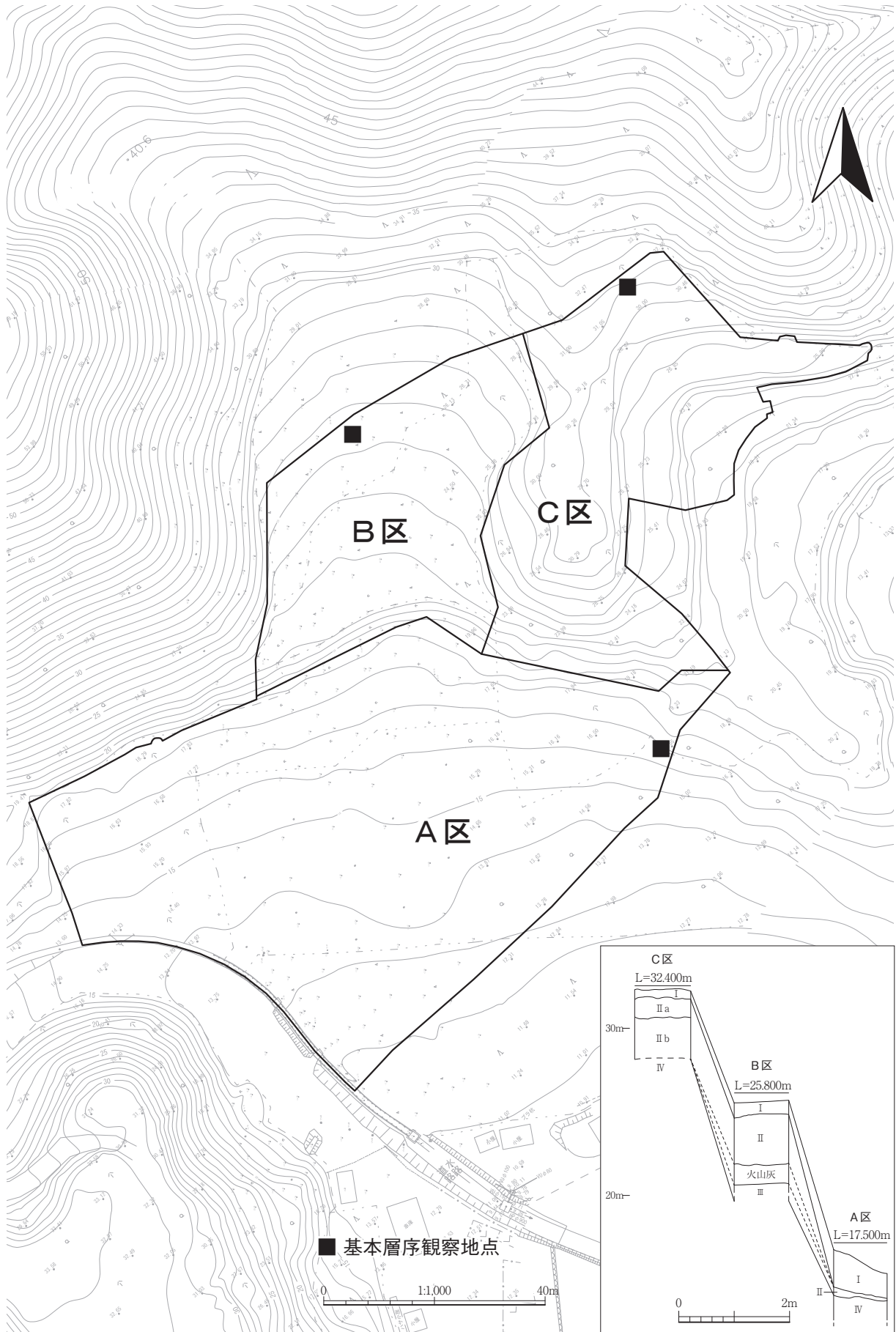
調査区内の土層堆積をみると、尾根部の上ではI層直下でIV層が確認され、谷部ではI層直下でⅢ層が確認された。よってⅢ層またはIV層が遺構検出面となった。斜面裾や谷部ではI層直下にII層の堆積が確認された。II層中で焼土遺構や若干の遺物を確認したことから、谷部では、II層上面を1次検出面、Ⅲ層上面を2次検出面とし、II層が厚く堆積するところは段階的に掘り下げて遺構の確認を行った。急斜面（南谷部）では、I層直下がⅢ層またはIV層で、本来の堆積物は斜面下に流出したと推測された。

おおむね古代の遺構はII層中で確認できており、縄文時代の遺構はII層中で確認できた他、Ⅲ～IV層で確認している。床・底面はⅢ層・IV層を掘り込んでいるものが多い。

### （2）基本層序

I層 10YR2/2 黒褐色 層厚10～110cm 砂質シルト 締まり疎 現表土（盛土、漸移層含）。

II層 10YR3/4 暗褐色 層厚20～120cm 砂質シルト 地点により遺物包含層・無遺物層など複数に分層される。締まり中（谷部に厚く堆積する。一次遺構検出面）。



第5図 調査区と周辺の地形図・基本層序

Ⅲ層 10YR5/6 黄褐色 層厚20～40cm 粘土 締まり密 いわゆる地山（尾根部からの谷部にかけて確認される。二次遺構検出面）。色調により2層（Ⅲa・Ⅲb）に細分される。

Ⅳ層 10YR8/2 灰黄褐色 層厚50cm以上 いわゆるマサ土 基盤の花崗岩層に続く最終遺構検出面。

#### 註

- (1) 令和元年11月1日時点の山田町の人口は15,349人。岩手県山田町ホームページ (<https://www.town.yamada.iwate.jp>) 参照。
- (2) 山田町教育委員会 2003
- (3) 岩手県教育委員会 2006
- (4) 沢田 I 遺跡の調査成果及びそれに基づいた星 2002の研究成果を参照。
- (5) 阿部 2008
- (6) 岩手埋文 2015『豊間根新田 I 遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第642集
- (7) 財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 1998
- (8) 山田町教育委員会 2002『細浦Ⅵ・後山 I 遺跡発掘調査報告書』
- (9) 岩手埋文 2016『焼山遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第651集
- (10) 山田町教育委員会 2015、間木戸一里塚は平成24年に史跡指定解除、平成25年に記録保存を目的に発掘調査が行われた。
- (11) 山田町教育委員会 2002『山田町内遺跡詳細分布調査報告書Ⅲ 山田・織笠地区』

#### 引用・参考文献

##### 【論文等】

- 阿部勝則 2008「埋蔵 東北地方」『総覧 縄文土器』アム・プロモーション  
 星 雅之 2002「縄文時代前期十和田中振テフラ降下期集落の検討－岩手県山田町沢田 I 遺跡の考察－」『紀要』XXI、(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

##### 【報告書等】

- 岩手県企画開発室 1974『北上山系開発地域 土地分類基本調査 大槌・霞露ヶ岳 国土調査』  
 岩手県教育委員会 2006『岩手の製鉄遺跡－岩手県内重要遺跡詳細分布調査報告書－』岩手県文化財調査報告書第122集  
 岩手県埋蔵文化財センター※財団法人岩手県埋蔵文化財センター(昭和52年から)、(財)岩手県文化振興事業団(昭和60年から)、(公財)岩手県文化振興事業団(平成23年から)  
 1992『細浦Ⅰ・Ⅱ遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第169集  
 1994『湾台Ⅱ・Ⅲ遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第186集  
 1994『上村遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第202集  
 1995『大畑Ⅰ・Ⅱ遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第218集  
 1996『山ノ内Ⅱ遺跡発掘調査報告書 第1次・第2次』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第249集  
 1997『山ノ内Ⅲ遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第250集  
 1997『沢田Ⅱ遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第268集  
 1998『房の沢Ⅳ遺跡発掘調査報告書 第1次・第2次・第3次』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第287集  
 2000『沢田Ⅰ遺跡発掘調査報告書 第1・2・3・4次』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第318集  
 2000『沢田Ⅰ遺跡発掘調査報告書 第5次』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第342集  
 2002『柳沢Ⅱ遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第401集  
 2015『豊間根新田Ⅰ遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第642集  
 2016『焼山遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第651集  
 山田町教育委員会 1994『猿神遺跡発掘調査報告書』山田町埋蔵文化財調査報告書第1集  
 山田町教育委員会 1999『新道具塚発掘調査報告書』山田町埋蔵文化財調査報告書第2集  
 山田町教育委員会 1999『紅山B遺跡発掘調査報告書』山田町埋蔵文化財調査報告書第3集  
 山田町教育委員会 2000『山田町内遺跡詳細分布調査報告書Ⅰ 大沢地区』山田町埋蔵文化財調査報告書第4集  
 山田町教育委員会 2001『山田町内遺跡詳細分布調査報告書Ⅱ 豊間根地区』山田町埋蔵文化財調査報告書第5集  
 山田町教育委員会 2002『細浦Ⅵ遺跡・後山Ⅰ遺跡発掘調査概報』山田町埋蔵文化財調査報告書第6集  
 山田町教育委員会 2002『山田町内遺跡詳細分布調査報告書Ⅲ 山田・織笠地区』山田町埋蔵文化財調査報告書第7集  
 山田町教育委員会 2002『新道具塚発掘調査報告書』山田町埋蔵文化財調査報告書第8集  
 山田町教育委員会 2003『山田町内遺跡詳細分布調査報告書Ⅳ 船越地区』山田町埋蔵文化財調査報告書第9集  
 山田町教育委員会 2002『細浦Ⅵ・後山Ⅰ遺跡発掘調査報告書』山田町埋蔵文化財調査報告書第9集※第10集であったか。  
 山田町教育委員会 2003『山田町内遺跡地図－平成11～14年度遺跡詳細分布調査事業の成果－』山田町埋蔵文化財調査報告書第11集  
 山田町教育委員会 2004『埋蔵文化財展 めざせ海を駆け抜けた蝦夷たちよ よみがえる闇の古代史』展示図録  
 山田町教育委員会 2008『新道具塚発掘調査報告書』山田町埋蔵文化財調査報告書第12集  
 山田町教育委員会 2015『間木戸一里塚発掘調査報告書』山田町埋蔵文化財調査報告書第14集

### Ⅲ 調査・整理の方法

#### 1 野外調査

##### (1) 調査区の設定とグリッド名称

調査区の地区割にあたっては、平面直角座標（第X系：世界測地系）に合わせた基準点1・基準点2を中心にして、調査区全体にメッシュがかかるようにグリッドを設定した。設定した基準点の座標は世界測地系であり、座標値（グリッド杭）は以下のとおりである。

##### 平成25年調査6点

基準点1	X = -56916.000	Y = 96160.000	H = 30.053m (ⅡD10a)
基準点2	X = -56960.000	Y = 96080.000	H = 17.359m (ⅣB1a)
補点1	X = -56880.000	Y = 96160.000	H = 30.955m (ⅡD1a)
補点2	X = -56900.000	Y = 96140.000	H = 25.357m (ⅡC6f)
補点3	X = -56920.000	Y = 96120.000	H = 22.938m (ⅢC1a)
補点4	X = -56960.000	Y = 96160.000	H = 14.786m (ⅣD1a)

##### 平成26年調査4点

補点G1	X = -56952.000	Y = 96120.000	H = 16.112m (ⅢC9a)
補点G2	X = -56976.000	Y = 96120.000	H = 14.406m (ⅣC5a)
補点G3	X = -56976.000	Y = 96160.000	H = 13.545m (ⅣD5a)
補点G4	X = -56948.000	Y = 96168.000	H = 15.996m (ⅢD8c)

この基準点2点・補点8点を基準としてグリッドを設定した。原点（X = -56840.000、Y = 96040.000）を北西側隅にして、40m四方の大グリッドを設定し、さらに4m四方の小グリッドを設定した。グリッド名は、大グリッドは北から南に向かってⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ（ローマ数字）…、西から東に向かってA・B・C・D（アルファベット大文字）…とし、小グリッドは北から南に向かって1・2・3…10（アラビア数字）、西から東に向かってa・b・c…j（アルファベット小文字）とした。それぞれの組み合わせでⅠA1a・ⅠB1bグリッドの区画名を付し、区画左上の杭を用いて区画のグリッド名称を表した。

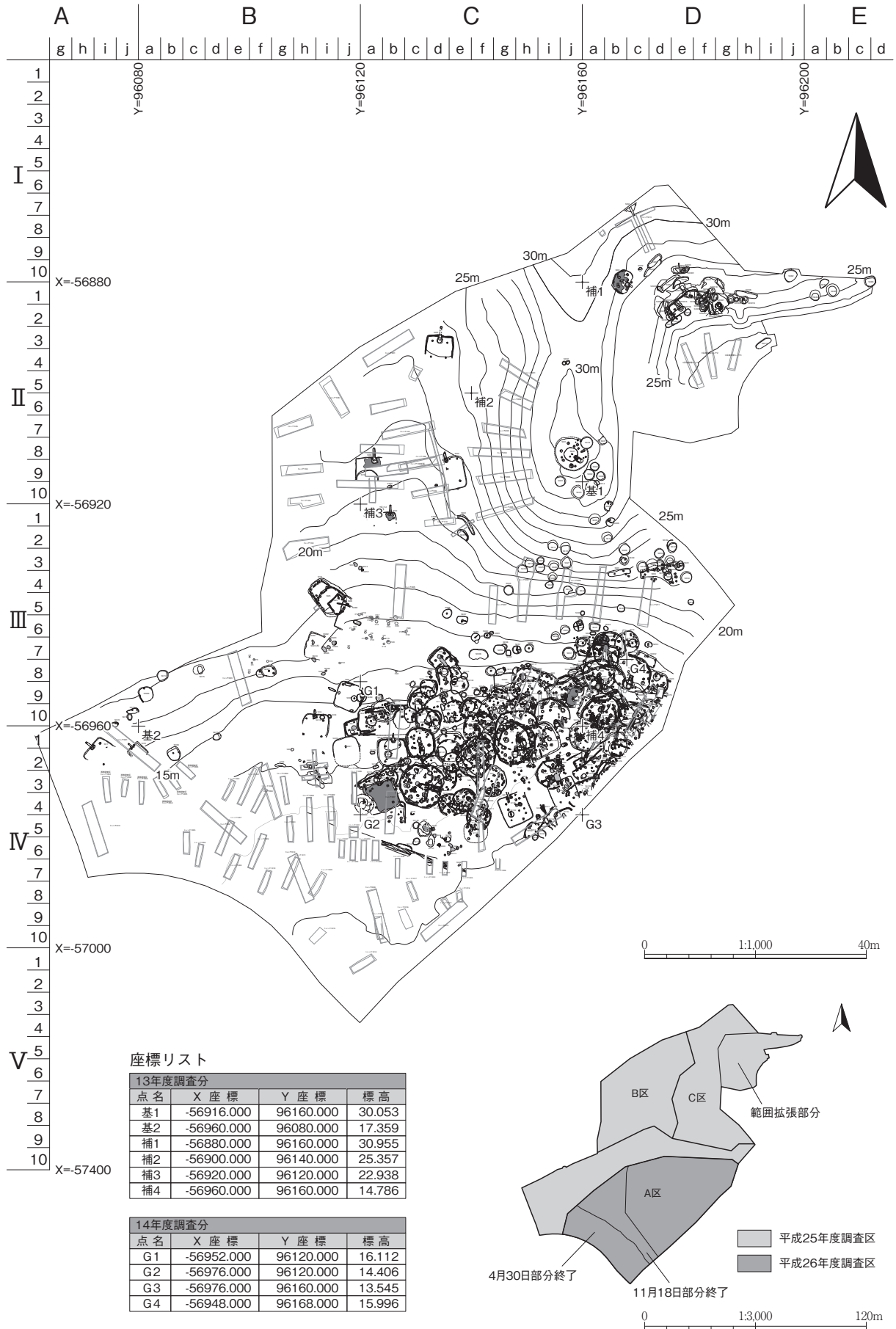
また、調査区が広範囲であることから、微地形により低地・谷・尾根と大きく三つに分かれる調査区をそれぞれ便宜的にA区（低地）・B区（谷）・C区（尾根）と呼び、調査に際しても使用した（第6図）。

##### (2) 遺構の名称

検出された遺構の名称は、遺構の種類に応じてアルファベットで略号化し、検出順にそれぞれ番号を付けて、S I 01・S K 02のように命名した。調査の過程や終了後に検討した結果、遺構ではないと判断した遺構番号や、遺構の種類を変更した遺構番号は、混乱を防止するために欠番とした。報告にあたっては現場で命名した遺構名をそのまま使用しているため一部欠番を生じている。本調査で使用した遺構略号・遺構名・遺構種別は別に記したとおりである。なお、遺構名の一覧表は第2表に記した。

S I：竪穴住居跡、S K I：竪穴状遺構、S K：土坑類、S D：溝跡、S W：炭窯跡、S N：炉跡・焼土遺構、S X：その他、S X I：鉄生産関連工房跡、S X W：鉄生産関連炉跡、S W：炭窯跡。

平成25年度・平成26年度調査遺構の種別・数量を以下に記す。担当は、第2表を参照されたい。



第6図 調査区の地区割・調査区位置図



### 平成25年度調査

竪穴住居跡：S I 01～25 (25)、竪穴状遺構：S K I 01～08 (8)、土坑類：S K 01～90 (90)、溝跡：S D 01 (1)、炉跡・焼土遺構：S N 01～14 (12) ※09・14欠番、鉄生産関連炉跡：S X W 01～26 (19) ※02・11・12・13・14・20・25欠番、炭窯跡：S W 01～13 (13)、工房跡：S X I 01～04 (3) ※03欠番、その他：S X 01～06 (6)、柱穴状土坑：P 1～31 (31)

### 平成26年度調査

竪穴住居跡：S I 26～124 (99)、竪穴状遺構：S K I 09～15 (7)、土坑類：S K 91～163 (72) ※101欠番、炉跡・焼土遺構：S N 15～44 (30)、鉄生産関連炉跡：S X W 27 (1)、工房跡：S X I 05 (1)、その他：S X 07～11 (5)、柱穴状土坑：PP101～116 (16)

### (3) 試掘・粗掘と遺構検出

当初、幅1～2m、長さ5～10mのトレンチを地形に応じて任意の場所に入れ、土層の堆積状況を把握した。試掘溝の設定にあたっては、計71本：T1～15 (A区)、T101～110 (B区)、T201～21 (C～B区)、T1001～1035 (A区) の試掘を行った。試掘の結果、急斜面地で遺構・遺物が存在する可能性が低いと判断された区域は、試掘調査のみで調査を終えている。それ以外の区域においては、試掘にもとづいて面的に表土掘削を行った。調査区全体の表土の厚さは20～100cm程あり、区域により層厚が異なったが、試掘により、包含する遺物がほとんどないことを確認した後に重機により表土除去を行った。

遺構検出は人力で行った。尾根上はⅢ層の黄褐色土層(一次検出)またはⅣ層マサ土層(二次検出)で検出を行い、谷部ではⅡ層黒褐色土層(一次検出)またはⅢ層黄褐色土層(二次検出)で検出を行った。

### (4) 遺 構 精 査

検出された遺構は、原則として竪穴住居跡や工房跡など大形の遺構の場合は4分法、土坑類は2分法で行った。精査の各段階において必要図面の作成や写真撮影を適宜行っている。

遺構内出土の遺物は、埋土で可能な限り分層して取り上げ、床面出土の遺物は写真撮影・図面作成後に取り上げた。遺構外出土の遺物については、原則としてグリッドごとに出土した層位を記して取り上げ、適宜、写真撮影・図面作成を行った。また、現場での記録作成では、上記の図面・写真以外にField・Card(以下F・Cと略す)を使用して、遺跡の調査経過や遺構の精査の進捗状況を記録した。

鉄生産関連炉跡や竪穴住居跡の炉跡については、土壌を採取し、乾燥・篩い掛け等の作業を行い、微細遺物の採取に務めた。この作業により得られた微細遺物に鍛造剥片や獣魚骨や貝類などがある。

### (5) 実測・写真撮影

平面実測は、光波トランシットを用い、電子平板(遺構くん)を用いて図化作業を行った。基準点及びグリッド設定した区画に打設した基準の杭に光波測量機器を設置して測定した記録である。遺物出土状況などについては、写真測量により図化した図面である。電子平板による図化においては、基準高をもとに絶対高で測った。断面実測については、任意の高さを基に設定した水糸を基準として手取りで計測を行った。断面図の縮尺は、竪穴住居跡・土坑類・炭窯跡などは1/20縮尺を基本として図化し、鉄生産関連炉跡・炉跡・焼土遺構など小規模な遺構は必要に応じて1/10縮尺で図化し、マイラー用紙に記録した。

写真撮影は、35mmモノクロームとデジタルカメラ1台、モノクローム6×9cm判1台を使用して調

第2表 遺構一覧表

遺構名	調査年次	担当	遺構名	調査年次	担当	遺構名	調査年次	担当	遺構名	調査年次	担当	遺構名	調査年次	担当
SI01	13	廣瀬	SI79	14	佐藤	SK18	13	阿部	SK96	14	佐藤あ	SN12	13	佐藤
SI02	13	廣瀬	SI80	14	佐藤	SK19	13	阿部	SK97	14	河本	SN13	13	佐藤
SI03	13	阿部	SI81	14	阿部	SK20	13	阿部	SK98	14	佐藤	SN15	14	河本
SI04	13	鈴木	SI82	14	佐藤あ	SK21	13	廣瀬	SK99	14	阿部	SN16	14	河本
SI05	13	鈴木	SI83	14	阿部	SK22	13	廣瀬	SK100	14	河本	SN17	14	河本
SI06	13	阿部	SI84	14	佐藤あ	SK23	13	佐藤	SK102	14	佐藤あ	SN18	14	阿部
SI07	13	阿部	SI85	14	佐藤あ	SK24	13	阿部	SK103	14	阿部	SN19	14	河本
SI08	13	佐藤	SI86	14	阿部	SK25	13	阿部	SK104	14	佐藤	SN20	14	佐藤
SI09	13	鈴木	SI87	14	阿部	SK26	13	阿部	SK105	14	佐藤	SN21	14	佐藤
SI10	13	鈴木	SI88	14	佐藤	SK27	13	阿部	SK106	14	佐藤	SN22	14	佐藤
SI11	13	佐藤	SI89	14	佐藤	SK28	13	阿部	SK107	14	佐藤	SN23	14	佐藤
SI12	13	阿部	SI90	14	佐藤	SK29	13	佐藤	SK108	14	阿部	SN24	14	阿部
SI13	13	阿部	SI91	14	佐藤	SK30	13	佐藤	SK109	14	佐藤	SN25	14	阿部
SI14	13	佐藤	SI92	14	佐藤	SK31	13	佐藤	SK110	14	佐藤あ	SN26	14	阿部
SI15	13	阿部	SI93	14	佐藤・河本	SK32	13	佐藤	SK111	14	佐藤	SN27	14	佐藤
SI16	13	佐藤・鈴木	SI94	14	阿部	SK33	13	佐藤	SK112	14	佐藤	SN28	14	阿部
SI17	13	佐藤	SI95	14	佐藤あ	SK34	13	佐藤	SK113	14	佐藤	SN29	14	河本
SI18	13	鈴木	SI96	14	佐藤あ	SK35	13	佐藤	SK114	14	佐藤あ	SN30	14	佐藤
SI19	13	廣瀬	SI97	14	佐藤・河本	SK36	13	佐藤	SK115	14	佐藤	SN31	14	佐藤あ
SI20	13	佐藤	SI98	14	佐藤あ	SK37	13	佐藤	SK116	14	阿部	SN32	14	佐藤
SI21	13	廣瀬	SI99	14	佐藤・河本	SK38	13	阿部？	SK117	14	阿部	SN33	14	佐藤あ
SI22	13	佐藤	SI100	14	佐藤	SK39	13	佐藤	SK118	14	佐藤	SN34	14	中島
SI23	13	阿部	SI101	14	佐藤	SK40	13	阿部	SK119	14	佐藤	SN35	14	中島
SI24	13	阿部	SI102	14	河本	SK41	13	阿部	SK120	14	佐藤	SN36	14	中島
SI25	13	佐藤	SI103	14	河本	SK42	13	阿部	SK121	14	佐藤	SN37	14	阿部
SI26	13	鈴木	SI104	14	河本	SK43	13	阿部	SK122	14	佐藤	SN38	14	河本
SI27	13	鈴木	SI105	14	阿部	SK44	13	阿部	SK123	14	佐藤	SN39	14	河本
SI28	13	鈴木	SI106	14	阿部	SK45	13	阿部	SK124	14	佐藤あ	SN40	14	河本
SI29	14	佐藤あ	SI107	14	阿部	SK46	13	佐藤	SK125	14	佐藤あ	SN41	14	河本
SI30	14	佐藤あ	SI108	14	阿部	SK47	13	阿部	SK126	14	阿部	SN42	14	佐藤
SI31	14	佐藤	SI109	14	阿部	SK48	13	阿部	SK127	14	阿部	SN43	14	河本
SI32	14	河本	SI110	14	河本	SK49	13	阿部	SK128	14	阿部	SN44	14	阿部
SI33	14	阿部	SI111	14	阿部・河本	SK50	13	阿部	SK129	14	佐藤	SXI01	13	廣瀬
SI34	14	阿部	SI112	14	阿部・河本	SK51	13	阿部	SK130	14	佐藤	SXI02	13	廣瀬
SI35	14	阿部	SI113	14	佐藤	SK52	13	阿部	SK131	14	佐藤あ	SXI04	13	廣瀬
SI36	14	佐藤	SI114	14	佐藤	SK53	13	佐藤	SK132	14	阿部	SXI05	14	阿部
SI37	14	河本	SI115	14	阿部	SK54	13	阿部	SK133	14	佐藤	SXW01	13	廣瀬
SI38	14	河本	SI116	14	阿部	SK55	13	佐藤	SK134	14	佐藤	SXW02	13	廣瀬
SI39	14	河本	SI117	14	阿部	SK56	13	佐藤	SK135	14	河本	SXW03	13	廣瀬
SI40	14	佐藤	SI118	14	阿部	SK57	13	佐藤	SK136	14	河本	SXW04	13	廣瀬
SI41	14	佐藤あ	SI119	14	阿部	SK58	13	佐藤	SK137	14	河本	SXW05	13	廣瀬
SI42	14	佐藤	SI120	14	阿部	SK59	13	佐藤	SK138	14	河本	SXW06	13	廣瀬
SI43	14	佐藤	SI121	14	中島	SK60	13	佐藤	SK139	14	河本	SXW07	13	廣瀬
SI44	14	阿部	SI122	14	中島	SK61	13	佐藤	SK140	14	佐藤	SXW08・18	13	廣瀬
SI45	14	佐藤あ	SI123	14	中島	SK62	13	佐藤	SK141	14	佐藤	SXW09・17	13	廣瀬
SI46	14	佐藤あ	SI124	14	中島	SK63	13	佐藤	SK142	14	佐藤	SXW10	13	廣瀬
SI47	14	佐藤あ	SKI01	13	鈴木	SK64	13	佐藤	SK143	14	佐藤	SXW15	13	廣瀬
SI48	14	河本	SKI02	13	佐藤	SK65	13	佐藤	SK144	14	河本	SXW16	13	廣瀬
SI49	14	佐藤あ	SKI03	13	佐藤	SK66	13	佐藤	SK145	14	河本	SXW19	13	阿部・廣瀬
SI50	14	佐藤あ	SKI04	13	佐藤	SK67	13	佐藤	SK146	14	阿部	SXW21	13	廣瀬
SI51	14	佐藤	SKI05	13	阿部	SK68	13	佐藤	SK147	14	河本	SXW22	13	廣瀬
SI52	14	阿部	SKI06	13	鈴木	SK69	13	佐藤	SK148	14	河本	SXW23	13	廣瀬
SI53	14	佐藤	SKI07	13	佐藤	SK70	13	佐藤	SK149	14	河本	SXW24	13	廣瀬
SI54	14	河本	SKI08	13	佐藤	SK71	13	阿部	SK150	14	河本	SXW27	14	阿部
SI55	14	河本	SKI09	14	佐藤	SK72	13	佐藤	SK151	14	阿部	SW01	13	廣瀬
SI56	14	河本	SKI10	14	阿部	SK73	13	鈴木	SK152	14	阿部	SW02	13	廣瀬
SI57	14	佐藤	SKI11	14	河本	SK74	13	佐藤	SK153	14	佐藤	SW03	13	廣瀬
SI58	14	佐藤あ	SKI12	14	佐藤あ	SK75	13	佐藤	SK154	14	佐藤	SW04	13	廣瀬
SI59	14	佐藤	SKI13	14	佐藤	SK76	13	佐藤	SK155	14	佐藤	SW05	13	廣瀬
SI60	14	佐藤	SKI14	14	阿部	SK77	13	阿部	SK156	14	佐藤	SW06	13	廣瀬
SI61	14	佐藤あ	SKI15	14	河本	SK78	13	阿部	SK157	14	阿部	SW07	13	廣瀬
SI62	14	佐藤あ	SK01	13	鈴木	SK79	13	阿部	SK158	14	阿部	SW08	13	廣瀬
SI63	14	佐藤	SK02	13	廣瀬	SK80	13	佐藤	SK159	14	阿部	SW09	13	阿部・廣瀬
SI64	14	佐藤	SK03	13	廣瀬	SK81	13	佐藤	SK160	14	中島	SW10	13	廣瀬
SI65	14	佐藤	SK04	13	廣瀬	SK82	13	阿部	SK161	14	阿部	SW11	13	廣瀬
SI66	14	佐藤あ	SK05	13	廣瀬	SK83	13	阿部	SK162	14	中島	SW12	13	廣瀬
SI67	14	佐藤	SK06	13	廣瀬	SK84	13	阿部	SK163	14	中島	SW13	13	廣瀬
SI68	14	河本	SK07	13	廣瀬	SK85	13	阿部？	SD01	13	鈴木	SX01	13	廣瀬
SI69	14	佐藤	SK08	13	廣瀬	SK86	13	阿部	SN01	13	佐藤	SX02	13	廣瀬
SI70	14	河本	SK09	13	廣瀬	SK87	13	阿部	SN02	13	佐藤	SX03	13	鈴木
SI71	14	阿部	SK10	13	廣瀬	SK88	13	鈴木	SN03	13	佐藤	SX04	13	佐藤
SI72	14	阿部	SK11	13	廣瀬	SK89	13	佐藤	SN04	13	佐藤	SX05	13	廣瀬
SI73	14	河本	SK12	13	廣瀬	SK90	13	佐藤	SN05	13	佐藤	SX06	13	鈴木
SI74	14	佐藤	SK13	13	廣瀬	SK91	14	佐藤	SN06	13	佐藤	SX07	14	阿部
SI75	14	阿部	SK14	13	廣瀬	SK92	14	河本	SN07	13	佐藤	SX08	14	佐藤
SI76	14	佐藤あ	SK15	13	阿部	SK93	14	河本	SN08	13	佐藤	SX09	14	佐藤
SI77	14	佐藤	SK16	13	阿部	SK94	14	河本	SN10	13	佐藤	SX10	14	阿部
SI78	14	佐藤・河本	SK17	13	阿部	SK95	14	河本	SN11	13	鈴木	SX11	14	河本

## 1 野外調査

査員が行った。デジタルデータはRAWデータとJPEGデータを同時に作成した。撮影に際しては、整理時の混乱を避けるために撮影カードを使用した。実際の撮影は、各種遺構の埋土堆積状況、掘り上げ状況、遺物の出土状況などについて行った。また、調査終了段階でセスナ飛行機による航空写真撮影を行った。

### (6) 土層注記

断面図作成後に土層注記を行った。観察項目は、色調・土性・締まり・混入物などである。基本的には『新版標準土色帳』（1990年版、小山正忠・竹原秀雄編・著）をもとに行っているが、締まりは、密・やや密・中・やや疎・疎、の5段階で判断した。個々の遺構の埋土堆積状況は、自然か人為かの判断と、埋没している土の起源を把握することを課題とした。層名は調査区内に見られる基本的な土層をローマ数字（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）、遺構内埋土をアラビア数字（1・2・3）で表した。層位の細分の必要が生じた場合は、小文字のアルファベットを付し、I a・I b・I c・・・などと表わした。

なお、複数の調査員による記載があるため、表記等に若干のばらつきがあるが、掲載にあたっては、誤記を訂正した他は、あえて統一せずに現場での表記をそのまま掲載した。

### (7) 土壌水洗

縄文時代・古代の竪穴住居跡の炉・カマド、炉跡・焼土遺構においては、動物遺存体・植物遺存体が存在する可能性、古代の鉄生産関連遺構、古代の炉跡・焼土遺構においては、鉄生産が行われた可能性を考慮し、住居跡の埋土下位（床上3cm程度）の埋土、住居跡の炉跡の埋土及び焼土・カマドの埋土及び焼土を採取した。古代の鉄生産関連遺構が検出された区域については、個々の遺構の土壌採取の他に、遺構検出面において50cm四方の区割を設けて土壌を採取した。採取した土壌は、水洗い・天日での乾燥・篩（5mm・3mm・1mm）による仕分け・必要により磁着作業を行った。この工程を経て得られた遺物には、土器・石器の細片や鉄滓類・鍛造剥片・砂鉄、動物遺存体・植物遺存体などがある。動物遺存体・植物遺存体が目視で確認できた遺構については、埋土ごと採取し、土壌水洗を行って、選別を行った。

### (8) 調査の経過

#### 平成25年度調査

調査期間は4月9日～12月6日で、調査員3名、作業員の登録人数は当初35人で始まり、約30人体制で日々調査を行った。以下に調査経過を簡略に記す。

#### 調査経過

- 4月9日（火）午後から資材搬入、現場設営
- 4月22日（月）基準点測量（鈴木測量設計）
- 6月12日（水）避難訓練実施
- 9月20日（金）現地協議（三陸国道事務所）
- 10月26日（土）現地説明会、参加者70人
- 11月18日（月）航空写真撮影（東邦航空株式会社）
- 12月2日（月）終了確認
- 12月6日（金）調査終了、撤収

#### 調査の進捗状況

具体的な調査の進行状況を記す。調査対象区域は、本調査対象範囲として示された6,000㎡である。

なお、調査開始時点で調査区北東端の立木の未伐採区約200㎡は伐採の目途がたっておらず、調査に着手できない状況であった。

まず、現況でC区南北尾根の東斜面に建っていた祠と尾根上に横転していた石碑について記す。

C区の南北尾根の端部において、表土中に横転した状態で石碑が確認された（写真図版11）。調査開始前の立木の伐採時に移動・横転したものと推測された。確認状況から、南向きに建てられていた可能性がある。また、石碑が尾根上にあったとすれば、尾根の下に旧道が通っていた可能性もある。

石碑の法量は、高さ65.0cm、幅37.0cm、厚さ21cm、形状は不整な三角形で、石材は花崗岩である。「熊野山 文久三亥九月 願主 長□ □□□」の碑文が刻まれている。19世紀中頃の文久三（1863）年癸亥（みずのとい）の石碑である。

また、C区の南北尾根の東側斜面において、東向きに建てられていた祠があった。台石もある。いわゆるお稲荷様を祀ったもので、祠の正面から向かって右側に明治16（1883）年癸未（みずのとひつじ）の年号が確認できた。祠正面から向かって左側に願主の名が三名刻まれていた。聞き取りによれば、現地主のM氏が現在の土地を購入した際はすでに祀ってあったとのことであり、由来の詳細は不明である。調査開始後、地主のM氏によって調査区域外に移設している。

4月は、雑物撤去・試掘を行い、特にA区の低地部において多くの遺構・遺物が出土することが予想された。調査は、土捨場の関係等を考慮し、C区→B区→A区の順に行うこととし、C区から重機による表土除去・遺構検出を開始した。

4月後半に基準点測量を行い、調査範囲の確認を行った。その結果、調査対象範囲は9,400㎡、立木の未伐採区200㎡を加えると9,600㎡の面積があることが判明した。調査範囲に変更はないものの対象面積に誤り（6,000㎡⇒9,600㎡）があったのである。この面積増は、遺構密度と併せて、実際の調査の進捗状況に大きな影響を与えることとなった。

5月は、A区の遺構精査とB区の試掘を行った。A区では、南谷の奥から鉄生産関連遺構の痕跡が確認された。6月に入り、同地点の遺構精査を継続しつつ、B区の表土掘削を行った。6月中旬から7月末まで鉄生産関連遺構群の調査を中心に行った。この間の土捨場は、調査区東側の事業予定地内に仮置きした。

6月12日の避難訓練は、事務所設置場所が津波浸水区域であったため、実施したものである。

8月初旬、C区の南斜面からA区にかけての遺構精査を開始し、B区においても遺物包含層が確認されたため、調査予定期間に調査対象面積9,600㎡の調査終了は困難であることが見込まれた。そのため、9月20日に今年度の調査完了範囲について、県教委立ち会いの下、委託者と協議を行った。その結果、当初の調査対象面積6,000㎡を終了面積とし、調査区西側から北側（A区・C区）にかけての範囲を引き渡す要望が委託者より提示されたが、A区西側の調査が未着手であり、かつ遺構密度が濃く、調査が難航することが想定されたため、北側（B区・C区）に範囲を変更した調査対象面積6,000㎡を今年度の調査完了範囲として委託者に引き渡すこととなった。以後、この範囲の調査終了を目途に調査を進めた。この間の土捨場は、調査区西側の事業予定地内に仮置きした。

9月下旬になり、未伐採区200㎡の伐採も行われたことから、10月18日に表土掘削を行い、遺構検出を行った。その結果、SXW19・SW06の東側に継続する部分と、新たにフラスコ状土坑5基を斜面部に検出した。この部分については、現地説明会の後に調査を再開した。10月16日（火）は、台風16号の接近に伴う荒天により、現場作業を中止している。

10月26日（土）に現地説明会を行った。参加者は70名であった。相次いで日本に接近した台風27・28号の影響で10月20日から約7日間雨天が続き、開催が危ぶまれたが、無事に行うことができた。

## 1 野外調査

以後、調査を継続して行い、12月まで調査期間を延長することとして、12月2日に終了確認を行い、調査区B・C区6,000㎡の調査完了を確認し、残る3,600㎡については次年度の継続調査となることを確認した。野外作業と並行して採取した土壌の水洗・仕分け等の作業を事務所内で適宜行った。また、事業予定地内で調査区範囲外とされていた、鉄生産関連炉跡の下位の斜面において、廃滓場の存在の可能性が指摘されたため、試掘調査により確認を行い、廃滓場は存在していないことを確認した。

12月6日（金）、調査を終えた区域の深い土坑などを中心に埋め戻しなどを行い、今年度の調査を終え、現場の養生を行い、資材を搬出し、現場を撤収した。

調査の進め方は、全体総括を阿部が行い、C区を廣瀬・鈴木、B区を廣瀬・鈴木、A区を阿部・佐藤が主に担当して行った。各遺構の調査担当者は、第2表に記したとおりである。

### 平成26年度調査

調査期間は4月9日～11月28日である。調査員4名、作業員の登録人数は、当初37人で始まり、8月以降5人減員し、約30人体制で日々調査を行った。以下に調査経過を簡略に記す。

#### 調査経過

- 4月8日（火）午後から資材搬入、現場設営
- 4月15日（火）避難訓練実施
- 4月30日（水）基準点測量（釜石測量設計株式会社）
- 4月30日（水）部分終了確認（500㎡）
- 9月6日（土）現地説明会、参加者130人
- 11月18日（火）部分終了確認（630㎡）
- 11月21日（金）航空写真撮影（東邦航空株式会社）
- 11月27日（木）終了確認（2,470㎡）。平成26年度計3,600㎡
- 11月28日（金）調査終了、撤収

#### 調査の進捗状況

具体的な調査の進行状況を記す。調査対象区域は、平成25年度調査で未了となった低地部（A区）3,600㎡である。まず、調査開始前の3月17日の現地確認の際、今年度調査区内において調査早期終了箇所（調査区西側500㎡）が委託者側から提示され、4月・6月の早期引き渡しりが求められた。そのため、それに対応しながら調査を進めることとなった。

4月は、すでに平成25年度調査時に表土掘削を終えている調査区北側より検出・精査を開始した。調査区南側に土捨場が設けられたこと、調査区が北から南に傾斜していることから、北側より南側に向かって調査を進める方針とした。これら遺構精査と並行して、早期引き渡しり要望箇所として提示された調査区西側について試掘調査を行った。その結果、当該箇所500㎡については、遺構・遺物が確認されなかったことから4月30日に部分終了確認を行い、調査を終了し、引き渡しを行った。

5・6・7・8月は、遺構精査・実測とともに残土処理を継続して行った。

9月6日（土）、調査の全体像が提示できる状態になったことから、現地説明会を行った。参加者は130名であった。10月も継続して調査を行った。この間、台風18号・19号の影響で調査区内が一時的に冠水したが、復旧作業を行いつつ、調査を行った。11月になって、4月に部分終了確認を行い、引き渡しした箇所に隣接する箇所500㎡について、仮設道路を造り直すために再び早期引き渡しりの要望があったことから、18日（火）に部分終了確認を行い、630㎡の引き渡しを行った。11月27日（木）に残る2,470㎡の終了確認を行い、28日に調査を終え、撤収した。

調査の進め方は、全体総括を阿部が行い、おおむねに西側から東側にかけて佐藤（淳）・河本・阿

部・佐藤（あ）が主に担当して行った。各遺構の調査担当者は、第2表に記したとおりである。

### （9）広 報 活 動

本報告に先立ち、以下に記す機会において概要を報告している。内容は本報告が優先する。

- ・平成25年10月26日：現地説明会資料「沢田Ⅲ遺跡－縄文時代中期の集落跡・古代の鉄生産関連遺構－」
- ・平成26年2月28日：「繰り返し行われた鉄づくり 沢田Ⅲ遺跡」『わらびて』129号、岩手県立埋蔵文化財センター所報
- ・平成26年3月24日：「沢田Ⅲ遺跡」（『平成26年度発掘調査報告書』第630集）
- ・平成26年9月6日：現地説明会資料「沢田Ⅲ遺跡－縄文時代中期の集落跡・古代の集落跡－」
- ・平成27年2月14日：遺跡報告会：「沢田Ⅲ遺跡（山田町）－縄文時代の食－」『第17回遺跡報告会』
- ・平成27年3月23日：「沢田Ⅲ遺跡」（『平成27年度発掘調査報告書』第647集）
- ・平成27年6月15日：「被災地の発掘調査現場から② 沢田Ⅲ遺跡」『いわて文化財』第263号
- ・平成30年9月30日：「沢田Ⅲ遺跡」『復興発掘調査展in山田町』
- ・平成30年10月31日：「被災地の発掘調査現場から⑬ 沢田Ⅲ遺跡」『いわて文化財』第276号
- ・令和2年6月30日：「沿岸の遺跡から出土する和銅開珎」『わらびて』142号

## 2 室 内 整 理

野外調査で得られた遺物、実測図、写真などの各種資料は、室内整理の段階で次のように処理し、整理を行い、報告書作成とともに資料化を行った。

### （1）遺構に関わる記録

実測図は遺構ごとに分類し、点検を行い、必要に応じて第2原図を作成した。電子平板で測量したデータについては、現場で入手した情報：Sitファイルをそのまま保存することとし、手作業で作図した図を読み込んで電子データ化し、パソコンを用いてトレース・図版作成を行った。撮影されたフィルムはネガアルバムに密着写真と一組にして収納し、写真のデジタルデータも保管を行った。

いずれの得られた記録・情報についても、センターの内規に従って収納・保存を行っている。

### （2）遺物の整理

遺物は野外及び当センター整理室で水洗した後、出土地点・層位ごとに仕分を行い、重量を計測し、登録作業を実施した。その後、土器については、細片は別として、出土地点・層位等を登録した遺物No.を全破片に注記した後、遺構単位、グリッド単位で接合・復元作業を行った。なお各調査員による遺物取り上げ時の表記の異同（例えば、ⅢC1a・1bとⅢC1abは同意）は、統一せずに出土地点の表記としてそのまま使用した。遺物の実測図は実大とし、トレースは遺物の状況に応じて実大あるいは縮小して図化した。石質・炭化材樹種・放射性炭素年代測定などの各種分析、金属製品の保存処理は外部の専門家に委託した。遺物の写真撮影はセンター内の専門技師1名が行った。

### （3）遺物の選別・図化の基準

遺物の整理・報告にあたっての作業・記録作成は以下の方針で進めた。報告書に掲載された遺物は出土した遺物の全てではなく、整理のなかで設定した基準を基に選別した一部の資料である。以下に

選別基準を明示する。また、資料化は図化・写真が全てではない。不掲載資料についても可能な限り数的処理を行い、出土資料全体の傾向を把握するためのデータとした。

a 土器・土製品

はじめに仕分け・登録を行い、出土地点別に重量計測を行った。土器の接合と並行して、遺物の選別を進めた。接合した土器については、原則としては計測値（器高・口径・底径）1箇所以上計測可能なもの（器形が把握できるもの）を立体土器として登録し、図化した。破片資料は、径5cm以上の口縁部破片を優先的に選択したが、内容により一部胴部破片や小片も選んだ。以上の資料について、該当する土器の型式名を記録して数的処理を行った。底部破片は、底部圧痕・調整痕の確認できた破片を選別し図化した。

土製品は、出土した全点を対象として、仕分け・登録作業・計測・分類、必要に応じて接合作業を行い、全点について、観察表・図・写真を掲載した。素材による分類から、羽口は土製品として扱った。

b 石器・石製品

石器・石製品は、出土した全点を対象に個々に仕分け・登録作業・計測・分類を行い、全点の観察表を掲載した。一部資料について図・写真を掲載し、それ以外の石器・石製品は観察表による出土地点・計測値・石質の情報提示に留めた。図化の基準は、遺構内出土遺物を優先した。

c 陶磁器

陶磁器は、出土した全点を対象として、個々に仕分け・登録作業・計測・分類を行い、さらに一部資料について図化を行った。図化の基準は、遺構内出土遺物及び19世紀代までの陶磁器を可能な限り図化することにした。

d 金属製品

金属製品は、出土した全点を対象として、個々に仕分け・登録作業・計測・分類を行い、全点の観察表・図・写真を掲載した。金属製品は一部を除き、保存処理を行った。

e 銭貨

銭貨は、出土した全点を対象として、個々に仕分け・登録作業・計測・分類を行い、全点の観察表・図・写真を掲載した。

f 鉄滓類

鉄滓類は、以下の作業工程で分類作業を行い、重量表を掲載した。また、出土地点別に代表的な遺物について写真を掲載した。

作業工程

外観の観察によって、他の遺物と鉄滓類を分類し、鉄滓類としたものについては、磁着作業を行い、磁着の有無を確認し、磁着有鉄滓・磁着無鉄滓に大別した。磁着有鉄滓については、さらにメタルチェッカーの反応について確認作業を行い、鉄の含有率について調べ、鉄塊系遺物とそうでない鉄滓類に分類した。強力磁石（タジマツール製ピックアップ）とメタルチェッカー（埋蔵文化財用特殊金属探知機（鉄塊系遺物対応調整）／形式：MR-50B（L型））については、当センターの製鉄関連遺跡（宮古市島田Ⅱ遺跡：第450集など）の整理・報告において使用されたものと同じものを使用した。採取した土壌は、水洗し、乾燥ふるい選別法を行い、各段階（5mm・3mm・1mm）に分けられた資料について、仕分け・磁着作業を行い、粒状滓・鍛造剥片・砂鉄の抽出を行った。なお、分類した鉄滓類については、任意に抽出した一部資料（鉄滓類・鍛造剥片・砂鉄）について、専門機関による成分分析を行った。

第一段階：外観観察・磁着作業などにより、鉄関連遺物として他の遺物と分類する。

・鉄製品（金属製品として報告）

- ・鍛造剥片（本分類）
- ・鉄滓類（本分類）
- ・羽口（土製品として報告）

第二段階：鉄滓類の磁着の有無とメタル度により分類する。

強力磁石で磁着の有無を確認し、磁着有の鉄滓については、メタルチェッカーによるメタル度の反応による細分を行った。結果として次の4つに大別することができた。このように分類された全ての資料について、出土地点別に仕分けした後、重量計測を行った結果を外観観察による所見とともに観察表に掲載した。表の分類は上記の分類内容を優先した。

○強力磁石により、鉄滓の磁着の有無を確認する。

- ・磁着有 → 磁着有の鉄滓
- ・磁着無 → 磁着無の鉄滓

○磁着有の鉄滓について、メタルチェッカーでメタル度の反応を確認する。

- ・メタルチェッカー大反応 → 鉄塊系遺物
- ・メタルチェッカー中反応 → 鉄滓（鉄含有率強）
- ・メタルチェッカー小反応 → 鉄滓（鉄含有率弱）

仕分け・分類された鉄滓類と報告内容

- ・鉄滓類

[化学的分類]

[外観観察による分類]

- ・磁着無の鉄滓 → 製鉄滓・鍛冶滓（炉底滓・炉内滓・流動滓）
- ・磁着有の鉄滓
  - ・鉄塊系遺物 → 鍛冶滓
  - ・鉄滓（鉄含有率強） → 鍛冶滓（炉底滓・炉内滓・流動滓）
  - ・鉄滓（鉄含有率弱） → 鍛冶滓（炉底滓・炉内滓・流動滓）
- ・粒状滓 → 鍛冶滓
- ・鍛造剥片 → 鍛冶滓

報告においては、分類した各種鉄滓類について、自然科学的分類、外観的な特徴、重量や組成比率、出土地点・出土状況などの傾向について記載し、想定される鉄生産の工程について言及した。

- ・観察表での表記

- ・ I. 流動滓
  - A. およそ3 cm以上の塊状のもの。
  - B. およそ3 cm未満の細かく割れたもの。
  - C. 棒状の形状をもつもので、長径・長さには差異がある。
- ・ II. 炉内滓
  - A. 炉内滓・炉底の砂粒などの付着のないもの。
  - B. 炉底滓・炉底部分にあたると考えられる下部に砂粒などの底面の形状を残すもの。

#### g 動物遺存体

貝類・獣骨類がある。現場で採取した資料ごとに現地及び室内で乾燥ふるい選別法を行った。その後、重量計測を行い、登録作業を行った。動物遺存体の同定・分析は、全点を外部の専門機関に委託して行い、その結果をV 分析・鑑定に掲載した。代表的な資料を写真掲載とした。作業工程は以下の通り。

- ・採取した袋ごとに水洗。
- ・乾燥ふるい選別（5 mm→3 mm→1 mm）。



- ・重量計測。容量は未計測。
- ・仕分：二枚貝・巻貝・ウニ・獣骨・魚骨・土器・石器・炭化物に細分し、種別ごとに重量計測。  
※二枚貝：同定可能試料選別。巻貝：同定可能試料選別。獣骨・魚骨：同定可能試料選別。
- ・出土地点・層位ごとに試料を整理し、台帳を作成して、分析試料として提出。

#### h 植物遺存体

炭化種実と炭化材がある。炭化種実・炭化材ともに個々に仕分け・登録作業・計測・分類を行った。炭化種実・炭化材とも観察表・写真掲載とし、樹種名・重量を掲載した。なお、遺構内出土の資料を中心に、数点を抽出し、種実同定・樹種同定・放射性炭素年代測定などを外部の専門機関に委託して行い、その結果をV 分析・鑑定に掲載した。代表的な資料のみ写真掲載とした。作業工程は以下のとおりである。

- ・採取した袋ごとに乾燥ふるい選別（5mm→3mm→1mm）。
- ・重量計測。容量は未計測。
- ・出土地点・層位ごとに試料を整理し、台帳を作成して、分析試料として提出。

#### i 分析・鑑定

分析・鑑定は、次の内容について外部機関に委託して行い、報告書等成果を本報告書に掲載した。また、土器の胎土観察は河本純一氏に依頼した。各分析結果と調査の所見は、総括で触れている。

- ・石質：花崗岩研究会（代表柳沢忠昭）
- ・炭化材樹種（肉眼）：阿部利吉（元岩手県木炭協会会員）
- ・石器実測：株式会社ラング
- ・放射性炭素年代測定：株式会社加速器分析研究所
- ・火山灰：パリノ・サーヴェイ株式会社
- ・鉄滓類：JFEテクノロジー株式会社
- ・動物遺存体：パリノ・サーヴェイ株式会社
- ・植物遺存体：古代の森研究舎、パリノ・サーヴェイ株式会社
- ・炭化材樹種：古代の森研究舎
- ・琥珀：（公財）元興寺文化財研究所
- ・黒曜石：パリノ・サーヴェイ株式会社
- ・アスファルト：株式会社古環境研究所
- ・胎土観察：河本純一（（公財）大阪府文化財センター）
- ・金属製品保存処理：（財）大阪文化財協会

#### （4）報告書の編集・原稿執筆

原稿は、I 調査に至る経過は、委託者に依頼した原稿、V 分析・鑑定は、委託業者の原稿を編集・掲載した。II・IIIは、阿部、IVの遺構の事実記載は、阿部・廣瀬・河本・佐藤あゆみが各担当分を執筆し、それ以外は、調査担当者が残した図面・写真・フィールド・カードに基づいて阿部が記載した。なお、土層注記・遺物の取上げ・写真撮影の方法など、調査の方向性を提示したものの実際の調査では十分に統一できなかった部分がある。報告書では、体裁について最小限の統一を図った他は、現場での記録をそのまま掲載することにした。その理解を助けるため、各遺構の調査担当者を第2表 遺構一覧表に明示した。IVの遺物の事実記載は、阿部・佐藤あゆみ（土師器）が分担した。

VI 総括の記載は、阿部・廣瀬（2. 古代、（1）遺構、b. 平安時代の鉄生産関連遺構）・佐藤あ

ゆみ（2. 古代、(1) 遺構、b. 古墳時代後期から奈良時代の集落、(2) 遺物、a. 土師器・須恵器）が分担した。阿部以外の執筆者は文末に執筆者名を記した。報告書の編集・校正は阿部が行った。

### （5）整理の経過

#### 平成25年度

室内整理の期間は、平成25年11月1日～平成26年3月31日で実施した。11・12月は、遺物水洗・土壌水洗・各種遺物の仕分などを行った。1・2月は、鉄滓類の仕分・土壌からの鍛造剥片などの抽出作業を行った。2・3月は、石質鑑定、注記・接合、図面の点検・合成・トレース作業を進めながら、各種データ整理、遺構写真の整理などを行った。

#### 平成26年度

室内整理の期間は、平成26年4月1日～平成27年3月31日で実施した。4～10月は、土器の接合・復元・掲載遺物の選択・登録作業などの作業を行った。11・12月は、遺物水洗・土壌水洗・各種遺物の仕分を行った。1・2月は、石質鑑定、土器の仕分・重量計測、鉄滓類の仕分、土壌からの鍛造剥片などの抽出作業を行った。3月は、注記と接合、石器の登録、鉄滓類の仕分作業、図面の点検・合成、遺構写真の整理などを行った。

#### 平成27年度

室内整理の期間は、平成27年4月16日～平成28年3月31日で実施した。4～10月は、土器の接合・復元・掲載遺物の選択・登録作業、拓本作成、石器の登録作業、鉄滓類の仕分作業を行い、並行して、図面の点検・合成・トレース作業などを進めた。11・12月は拓本作成、1～3月は土器の実測作業・羽口の登録作業、金属製品の写真撮影を行った。

#### 平成28年度

室内整理の期間は、平成28年4月1日～28日、6月1日～平成29年3月31日で実施した。作業内容は、主に遺構トレース・遺物実測を行った。

#### 平成29年度

室内整理の期間は、平成29年4月3日～平成30年3月30日で実施した。作業内容は、主に遺構・遺物のトレースを行った。

#### 平成30年度

室内整理の期間は、平成30年4月2日～平成31年3月29日で実施した。作業内容は、主に遺構トレース・遺物実測・遺物トレース・遺物写真撮影・図版作成・表作成・原稿執筆を行った。

#### 令和元年度

室内整理の期間は、平成31年4月1日～令和2年3月31日で実施した。作業内容は、主に遺構トレース・遺物実測・遺物トレース・遺物写真撮影・図版作成・写真図版作成・表作成・原稿執筆を行った。

#### 令和2年度

室内整理の期間は、令和2年4月1日～10月15日、令和3年1月4日～29日で実施した。作業内容は、図版作成・写真図版作成・表作成・割付・原稿執筆・編集・収納などを行った。

## IV 検出遺構と出土遺物

### 1 検出遺構

#### (1) 検出遺構の概要

検出した遺構は、縄文時代の竪穴住居跡98棟、古代の竪穴住居跡26棟、竪穴状遺構15棟、土坑162基、炉跡・焼土遺構42基、鉄生産関連炉跡20基、工房跡4棟、炭窯跡13基、その他（地点貝層など）11基、柱穴47個、遺物包含層である。各遺構とも、低地部（A区）を中心に尾根部（C区）、谷部（B区）にまとまりをもって分布する。以下、遺構毎に詳述する。

#### (2) 竪穴住居跡 縄文時代

縄文時代の竪穴住居跡98棟（13年度調査で11棟、14年度調査で87棟）を調査した。竪穴住居跡は低地部（C区）を中心に分布し、著しく重複する。時期は、前期と中期があり、中期後葉から末葉に属するものが多い。各竪穴住居跡の位置・計測値などは、第3表 竪穴住居跡観察表を参照されたい。

#### S I 01竪穴住居跡

遺構（第19・20図、写真図版15）

[位置・検出状況] C区、II C 8 j ~ II D 9 a グリッド。IV層面で暗褐色土の広がりとして検出した。

[重複関係] S K 18・21土坑と重複する。S I 01竪穴住居跡がS K 18土坑を切り、S K 21土坑に切られると推測される。S K 18土坑(旧) → S I 01竪穴住居跡(新) → S K 21土坑(最新) の関係がある。

[規模・平面形] 床面の残存部位から径6.0mと推定される。平面形は円形基調と推定される。

[埋土・堆積状況] 埋土の堆積状況は不明である。1層は表土との注記だが、検出時に確認した暗褐色土の範囲が竪穴住居跡の広がりにはほぼ一致する。この地点は後世に大幅に削られており、竪穴住居跡の窪地に堆積した埋土が床面付近まで削られたことにより、残された埋土が露出し、表土化したと推定される。

[壁・床面] 明瞭な壁の立ち上がりは確認できなかった。床面はIV層を掘り込んでつくられている。

[柱穴・配置] PP 1 ~ 17の17個を検出した。深さ50 ~ 60cmの規模の柱穴6本（PP 1・4・6・7・9・11）を支柱穴とする配置が想定される。PP 1・2・3は同一地点でつくり替えられている。

[炉] 複式炉1基を検出した。大きさは180×85cmで、石囲炉と掘り込み部の二つに区画されている。内部に明瞭な焼土の痕跡は確認できなかった。石組に使用された礫の主な石材は花崗岩である。

[その他の付属施設] なし。

遺物（第249・481、504（集成）図、写真図版165・344）

[出土状況] 縄文土器1,373.4g、石器が出土した。中央付近の床面から土器No.1・2が出土している。

[縄文土器] 深鉢2点（1・2）。

[石器] 磨石B類1点（4942）。

時期 遺構の形状と出土遺物などから縄文時代中期後葉（大木9式期）と推測される。

#### S I 03竪穴住居跡

遺構（第21・22図、写真図版16・17）

[位置・検出状況] C区、I D10b・II D1bグリッド。尾根上から東斜面の表土除去後、IV層で検出作業を行った際に黒褐色土中にアサリ片が混じった状態で検出した。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 径4.2×3.2mで、円形基調と推定される。斜面下位の東側を消失している。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・暗褐色土・灰黄褐色土で構成される。全体としては自然堆積と考えられるが、竪穴住居跡の廃絶後の埋土中の窪地の傾斜に沿って廃棄された貝層2地点(A・B)を確認した。竪穴の南側からA地点、西側からB地点に廃棄されたものと推測された。貝層は6層混土貝層である。

[壁・床面] 壁・床はIV層を掘り込んでつくられている。壁高は最大100cmである。西側半分を中心に橙色の貼床が施されていた。南側には壁溝が廻る。斜面下位の東側の壁・床は削平され、消失している。

[柱穴・配置] PP1～5の5個を検出した。炉の脇にあるPP4・5が、支柱穴となるPP1・2・3より規模がやや小さい。5本柱の配置と推測される。

[炉] 竪穴の中心より東側で石囲炉1基を検出した。大きさは95×90cm、石組は東側の一部に残存し、なかに厚さ最大15cmの焼土が形成されていた。東側に掘り込み部を伴う複式炉だった可能性もある。

[その他の付属施設] なし。

遺物(第249～251・469・474・481・495、504(集成)図、写真図版165～168・337・339・344・353・368～371・373・376)

[出土状況] 縄文土器28,806.4g、石器、石製品、動物遺存体135,574.08gが出土した。土器No.1～9が出土した。動物遺存体は2地点(A・Bブロック)で確認した。Aブロックは径125×120cm、厚さ30cmで、床面から壁際に10cmほど埋土が堆積した後に南側から廃棄されていた。Bブロックは径100×50cm、厚さ10cmで、床上に20cmほど埋土が堆積した後に西側から廃棄されていた。内訳は、Aブロック重量123,568.56g、Bブロックは重量11,751.18g、ともにアサリ・ウミナナ主体だが、ウミナナの比率はBブロックがAブロックより高い傾向にある。

[縄文土器] 深鉢28点(3～30)。

[石器] 石鏃1点(2302)、両極石器2点(3077・3078)、磨石B類2点(4943・4944)。

[石製品] 垂飾品2点(5768・5769)。

[動物遺存体] ウニ・巻貝・二枚貝：ウニ類殻・棘(7005・7001)、ユキノカサガイ殻(7021)、ヒメコザラ殻(7022・7023)、アワビ類殻(7025)、クボガイ殻(7028)、コシダカガンダラ殻(7029)、イシダタミ殻(7030)、サンショウガイ殻(7033)、エゾサンショウ殻(7034)、スガイ殻・蓋(7035・7036)、ムカデガイ類(7043)、オウウヨウラク?殻(7048)、クロスジムシロ殻(7056)、キセルガイ類(7057)、ベッコウマイマイ類殻(7060)、コペルトフネガイ殻左右(7061・7062)、イガイ殻右(7066)、ムラサキイコ殻左右(7067・7068)、マガキ殻左右(7074・7075)、ウメノハナガイ殻左右(7077・7078)、チリハギガイ殻左(7079)、ミルクイ殻左右(7084・7085)、クチバガイ殻左右(7086・7087)、ヒメシラトリ殻左右(7088・7089)、シラトリモドキ殻左右(7090・7091)、ウネナシトマヤ殻右(7096)、アサリ殻左右(7101・7102)、マツカゼガイ殻右(7105)、ウチムラサキ殻左右(7106・7107)、チヂミイワホリガイ殻左(7108)、アカフジツボ殻(7011)、チシマフジツボ殻(7014)。魚骨：アイナメ属?前上顎骨左(7185)、カレイ類尾椎(7295)。詳細は、V 鑑定・鑑定を参照のこと。

時期 遺構の形状と出土遺物などから縄文時代中期後葉(大木9式期)と推測される。放射性炭素年代測定を実施した結果、<sup>14</sup>C年代4140±30yrBP、2σ暦年代範囲2874calBC-2622calBC(95.45%)の測定値が出ている。

### S I 12 竪穴住居跡

#### 遺構 (第23図、写真図版18)

[位置・検出状況] A区、ⅢD 8 c～9 d グリッド。尾根の裾にあたる南斜面においてⅣ層面で検出した。北側から東側にかけて円形基調の暗褐色土の広がりを確認し、住居跡を想定して十字にベルトをかけて掘り下げ、床面と思われる平坦面、炉跡と思われる石組を確認し、住居跡と認識した。

[重複関係] 西側にあるS I 13 竪穴住居跡に切られている。新旧関係は断面観察で確認した。また、S K 23 土坑に切られており、住居内で確認されたS K 78 土坑を切っていたと推測される。

[規模・平面形] 本来の規模・形状は不明である。残存する部分で、径4.0×3.3mほどで、平面形は不明だが、多角形を呈するようである。炉の位置が住居跡の中軸線上にあると推定される。

[埋土・堆積状況] 暗褐色土を主体とする。分層が困難な単層であった。

[壁・床面] 北側と東側で壁を確認した。壁高は最大60cmである。東側に壁溝が廻る。

[柱穴・配置] PP 1～13の13個を検出した。PP 1・2・3・8・6が主柱穴となる配置が考えられる。炉が位置する中軸線の延長線上に位置するPP 1と残る4本が対称になる5本の配置である。

[炉] 複式炉1基(旧炉)と石囲炉1基(新炉)を検出した。土器埋設炉と石囲炉からなる複式炉(旧炉)は、大きさ120×70cm、焼土の厚さは8cmである。土器埋設炉は土器の胴部を使用している。石囲炉(新炉)は、大きさ70×65cm、焼土の厚さは3cmである。

[その他の付属施設] なし。

#### 遺物 (第252・253・469・474・492、505・506 (集成) 図、写真図版168・169・337・339・351)

[出土状況] 縄文土器16,315.7g、石器、石製品が出土した。炉の埋設土器(31)、床上出土の土器(32)がある。床上出土の土器は、複式炉とPP 1を結ぶ竪穴の中軸線上で確認された。埋設土器の可能性も考えたが、掘り方は確認できなかった。土器はやや傾いた状態で出土し、土器内は暗褐色土が堆積していた。

[縄文土器] 深鉢13点(31～33・35～44)、壺1点(34)。

[石器] 石鏃4点(2312～2315)、両極石器1点(3080)。

[石製品] 石剣1点(5716)。

時期 遺構の形状と出土遺物などから縄文時代中期後葉(大木9式期)と推測される。

### S I 13 竪穴住居跡

#### 遺構 (第24～26図、写真図版19・20)

[位置・検出状況] A区、ⅢD 8 b・8 c グリッド。Ⅳ層面で暗褐色土の広がりとして検出した。S K I 02 竪穴状遺構の精査時に南側に暗褐色土の広がりを確認し、竪穴住居を想定してベルトを十字にかけて精査を行った。S I 12 竪穴住居跡との新旧関係は、精査中に断面観察により把握したものである。

[重複関係] 西側でS I 12 竪穴住居跡を切っている。北側でS K I 02 竪穴状遺構、西側で古代のS I 11 竪穴住居跡に切られている。床面はⅢ・Ⅳ層だが、竪穴住居内の炉の下位はⅣ層ではなく、Ⅱ層起源の堆積土が確認されており、炉の下位にも別の遺構が存在することが想定された。

[規模・平面形] 径6.7×6.3m以上と推定される。竪穴住居跡の南側は斜面下位で壁・床を明瞭に確認できなかった。円形基調だが、壁が直線的な部分もあり、多角形状を呈するようである。

[埋土・堆積状況] 暗褐色土・黄褐色土・にぶい黄褐色土を主体とし、床上に微量の炭化物層を確認した。

[壁・床面] 壁・床はⅢ・Ⅳ層を掘り込んでいる。西側と南側の床面がやや下がり、傾斜している。同地点に繰り返し遺構が掘り込まれたことにより、地盤が軟弱になり、自然に沈下した可能性があ

る。床面は平坦で炉の周囲を中心に一部に貼床が施されている。北壁から東壁に壁溝が廻る。

[柱穴・配置] PP 1～9の9個を検出した。複式炉の中心を通る中軸線を挟んで対称となる8本の配置である。外側に位置するPP 1・2・5・6の4本は、深さ70cm前後と規模がやや大きく、埋土の状況が暗褐色の柱当たりと黄褐色の掘り方の様相を呈する。内側の中軸線に近いPP 3・4・7・8の4本は、深さが40cm前後と規模がやや小さくなる。PP 9は住居のほぼ中心に位置している。

[炉] 複式炉1基を検出した。石囲炉3箇所(中央から1・2・3と命名)と掘り込み部1箇所の4つの区画から成る。大きさは、全長210cm、最大幅110cmに及ぶ。石組の石は主に花崗岩が使用される。石組部2の西側に貼床が施され、下位に埋設土器を確認した。土器の口縁部が内側を向き、土器内部と周辺に形成された焼土から複式炉に伴う土器埋設炉と判断した。また、複式炉の中軸線上に地床炉がある。

[その他の付属施設] 奥壁左側の壁に風化して脆くなった花崗岩製の石棒が立てかけられていた。

遺物 (第253～256・453・454・469～471・474・476・481・482・484・491・493・496、506・507(集成) 図、写真図版169～172・328・329・337～340・344・346・351・352・354)

[出土状況] 縄文土器7,324.5g、土製品、石器、石製品が出土した。複式炉の石囲炉2の西側に横位に埋設された埋設土器(45・46)は、入れ子状態で2個体を確認した。竪穴の奥壁左側に立てかけられた状態で石棒(石器No.1(5701))が出土した。その他、石器No.2・3が出土している。

[縄文土器] 深鉢39点(45～77、79～83、85)、両耳付壺1点(78)、深鉢の台?1点(84)。

[土製品] キノコ形土製品1点(2008)、円盤状土製品2点(2031・2032)。

[石器] 石鏃8点(2316・2318～2324)、石錐1点(2897)、石匙1点(2944)、両極石器1点(3083)、異形石器1点(4450)、磨石B類2点(4958・4959)、凹石1点(5403)。

[石製品] 石棒1点(5701)、石剣1点(5717)、磨製石斧ミニチュア1点(5795)。

時期 遺構の形状と出土遺物などから縄文時代中期末葉(大木10式期)と推測される。8層出土の炭化物について放射性炭素年代測定を行った結果、<sup>14</sup>C年代4150±30yrBP、2σ暦年代範囲2675calBC-2457calBC(95.0%)の測定値が出ている。

## S I 14竪穴住居跡

遺構(第27図、写真図版21)

[位置・検出状況] A区、ⅢD 6b・6c・7b・7cグリッド。尾根裾のIV層面で黒褐色土の広がりとして検出した。

[重複関係] 住居中央付近はS K 71土坑に切られている。また、古代のS I 11竪穴住居跡に切られており、南側ではS I 15竪穴住居跡を切っている。またS K 77土坑を切っている。

[規模・平面形] 径3.9mの不整な円形である。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・暗褐色土を主体とする。住居中央付近は、S K 71土坑に切られていた。

[壁・床面] 壁・床はⅢ・Ⅳ層を掘り込んでつくられている。壁高は30cmである。床面精査時に炉跡の東側に固く締まる明黄褐色土の広がりを確認した。住居精査時には貼床としての認識は無かったが、住居の精査終了後に精査を行った結果、下位からS K 77土坑が確認された。S K 77土坑はS I 14竪穴住居跡の構築時に削られ、竪穴の構築時に貼床が施されたのかもしれない。

[柱穴・配置] PP 1～13の13個を検出した。配置は不明である。住居の規模に対応して規模が小さい。

[炉] 石囲炉1基を検出した。東側の石組を欠く。大きさは65×45cmで、焼土の厚さは最大7cmである。

[その他の付属施設] なし。

遺物 (第257・258・454・484・485、507・508(集成) 図、写真図版172・173・329・346)

## 1 検出遺構

[出土状況] 縄文土器25,895.2g、土製品、石器が出土した。

[縄文土器] 深鉢11点 (86～96)、深鉢1点 (97/S I 14・15)。

[土製品] 円盤状土製品1点 (2033)。

[石器] 凹石2点 (5404・5405)。

時期 遺構の形状と出土遺物などから縄文時代中期末葉(大木10式期)と推測される。

### S I 15 竪穴住居跡

遺構 (第28・29図、写真図版21)

[位置・検出状況] A区、ⅢD 7 a・7 b・8 bグリッド。Ⅳ層面でにぶい黄褐色と褐色土の広がりとして検出した。

[重複関係] 東側でS I 14竪穴住居跡に切られ、西側で古代のS I 11竪穴住居跡に切られている。住居内北側の貼床除去後にS K 88土坑を確認した。S I 13竪穴住居跡との新旧関係は不明で、縄文時代の遺構では、S K 88土坑(旧)→S I 15竪穴住居跡(新)→S I 14竪穴住居跡(最新)の新旧関係がある。

[規模・平面形] 6.6×6.0mと推定される。平面形は円形基調である。

[埋土・堆積状況] にぶい黄褐色土・褐色土・灰黄褐色土の互層である。ベルトB-B'の上位1～3層は、重複する古代のS I 11竪穴住居跡の埋土であったと推定される。

[壁・床面] 壁・床はⅣ層を掘り込んでつくられている。床面はほぼ平坦で一部に貼床が施される。壁高は、斜面上位側で最大80cmである。北西側と東側の一部に壁溝が廻る。

[柱穴・配置] PP 1～34の34個を検出した。複数回の配置が想定されるが、PP 1・7・10・16・19を主柱穴とした配置が考えられる。

[炉] 複式炉1基を検出した。地床炉1箇所・石囲炉2箇所(1・2)・掘り込み部1箇所で、大きさは250×80cm、焼土の厚さは最大10cmである。地床炉には一部に石組が伴うが、囲むまでに至っていない。地床炉の焼土は石囲炉1内に延びている。石囲炉2の東西の石組は外側から斜位に埋め込まれている。

[その他の付属施設] 剥片がまとまって出土した地点がある。明確な掘り込みは確認できていない。

遺物 (第258・259・436・474・475・485、508(集成)図、写真図版173・174・317・339・340・346)

[出土状況] 縄文土器39,473.1g、弥生土器、石器が出土した。剥片は住居内北東側からまとまって3点出土した。剥片集中遺構と思われる。剥片の石材は頁岩である。

[縄文土器] 深鉢18点 (98～111・113～116)、深鉢ミニチュア1点 (112)。

[弥生土器] 甕1点 (1771)。

[石器] 両極石器1点 (3084)、剥片3点 (4440～4442)、凹石1点 (5406)。

時期 遺構の形状と出土遺物などから縄文時代中期末葉(大木10式期)と推測される。

### S I 18・26・27・28 竪穴住居跡 (旧遺構名：S I 18①・②・③・④ 竪穴住居跡)

遺構 (第30・31図、写真図版22)

[位置・検出状況] A区とB区の境界付近、ⅢB 4 h～5 jグリッド。Ⅱ層の精査中に竪穴住居と思われる平面形を検出し、精査を行った。精査を進めるなかで複数の竪穴が重複していることが判明する。1棟の竪穴住居跡として精査を進めた結果、ベルトの土層観察と段差として認識した床面数などから遺構数を判断し、精査時には、S I 18①・②・③・④として命名し、遺物も取り上げているが、本報告ではS I 18・26・27・28として、まとめて報告する。

[重複関係] S I 18竪穴住居跡→S I 26竪穴住居跡→S I 27竪穴住居跡→S I 28竪穴住居跡の関係が、

断面図から読み取れる。斜面上位から下位に向って、建て替えが行われていたと判断される。斜面下位の南東側の壁・床は消失している。S I 18・26・27・28竪穴住居跡は、それぞれ床面に段差があり、高低差が認められる。また、S I 27・28竪穴住居跡は、S K 88土坑（陥し穴？）に切られている。

[規模・平面形] 平面形・土層堆積の断面から二つに大別できる。S I 18・26竪穴住居跡は、壁が曲線的で、北西・南東方向に長軸を持つ楕円形を基調とし、平面の形状が類似し、連続する。S I 27・28竪穴住居跡は、壁が直線的な方形基調の竪穴住居跡で、S I 18・26竪穴住居跡の形状と類似性がなく、別遺構の重複とするのが妥当か。S I 18・26竪穴住居跡には壁溝と壁柱穴が廻る。

[埋土・堆積状況] におい黄褐色土・暗褐色土を主体とする。

[壁・床面] 壁は直線的に立ち上がり、床もほぼ平坦である。S I 18竪穴住居跡の壁高は110cmである。壁溝はS I 26・27竪穴住居跡にみられる。いずれも幅10～25cm、深さ15～20cmである。

[柱穴・配置] 各住居とも壁際に柱穴を検出しているが、配置などは不明である。

[炉] 検出した範囲では確認できなかった。不明である。

[その他の付属施設] なし。

遺物（第260～264・454・469・471、508～510（集成）図、写真図版174～178・329・337・338）

[出土状況] 縄文土器61,560.7g、土製品、石器が出土した。

[縄文土器] 深鉢49点（117～165）。

[土製品] 円盤状土製品1点（2034）。

[石器] 石鏃5点（2327～2331）、石匙3点（2945～2947）。

時期 遺構の形状と出土遺物などから縄文時代前期後葉（大木5式期）と推測される。

### S I 19竪穴住居跡

遺構（第32図、写真図版22）

[位置・検出状況] B区の谷部、II C 9 aグリッド。II層の精査中に試掘溝を入れ、断面で黒色土の落ち込みを確認し、その後に平面形を把握した。試掘を行った際に竪穴住居跡の南側を消失している。

[重複関係] 古代のS I 09竪穴住居跡に切られる。

[規模・平面形] 径4.0m程の円形基調と推定される。

[埋土・堆積状況] 黒色土・黒褐色土を主体とする。

[壁・床面] 壁・床はII層を掘り込んでつくられている。残存する北壁の高さは45cmである。

[柱穴・配置] なし。不明である。

[炉] なし。不明である。

[その他の付属施設] なし。

遺物（第265・266・469・497、510・511（集成）図、写真図版178～180・337・355）

[出土状況] 縄文土器18,697.0g、石器、石製品が出土した。

[縄文土器] 深鉢19点（166～185）。

[石器] 石鏃4点（2334～2337）。

[石製品] 男根状石製品1点（5807）。

時期 遺構の形状と出土遺物などから縄文時代前期後葉（大木5式期）と推測される。

### S I 20竪穴住居跡

遺構（第33図、写真図版22）



[位置・検出状況] A区、ⅢB 6 h・7 h・7 i グリッド。Ⅱ層面で黒褐色土の広がりを検出した。  
[重複関係] なし。  
[規模・平面形] 径4.7×2.0m以上と推定される。平面形は方形基調と推定されるが、詳細は不明である。  
[埋土・堆積状況] 黒褐色土を主体とする。  
[壁・床面] 壁・床の状態は不明である。床面はⅡ層の黒褐色土を掘り込んでつくられていた。  
[柱穴・配置] 不明である。  
[炉] 地床炉1基を検出した。大きさは125×90cmで、焼土の厚さは最大10cmである。  
[その他の付属施設] 東側で確認されたS N03・04・05・06焼土遺構も一連のものと仮定すると、確認した竪穴は、本来は長方形を呈する大型住居跡の西端であった可能性もある。  
**遺物** (第267・469・471、511 (集成) 図、写真図版180・337・338)  
[出土状況] 縄文土器3,458.2g、石器が出土した。  
[縄文土器] 深鉢2点 (186・187)。  
[石器] 石鏃1点 (2340)、石匙1点 (2948)。  
**時期** 遺構の形状と出土遺物などから縄文時代前期後葉 (大木5式期) と推測される。

### S I 23竪穴住居跡

**遺構** (第33図、写真図版22)

[位置・検出状況] A区、ⅢD 8 d・9 d グリッド。S I 12竪穴住居跡の精査中に西側で灰黄褐色土の広がりを検出した。精査を行い、竪穴住居跡の壁・床の痕跡と判断した。東側は調査区域外にかかる。  
[重複関係] S I 12竪穴住居跡に切られ、S K 79土坑に切られる。  
[規模・平面形] 北壁・床の一部を確認したのみで、規模・平面形の詳細は不明である。  
[埋土・堆積状況] 灰黄褐色土を主体とする。  
[壁・床面] 壁・床はⅣ層を掘り込んでつくられている。  
[柱穴・配置] 不明である。  
[炉] 不明である。  
[その他の付属施設] なし。  
**遺物** (第267、511 (集成) 図、写真図版180)  
[出土状況] 縄文土器1,003.5gが出土した。  
[縄文土器] 深鉢1点 (188)。  
**時期** 遺構の形状と出土遺物などから縄文時代中期後葉 (大木9式期) と推測される。

### S I 24竪穴住居跡

**遺構** (第34図、写真図版23)

[位置・検出状況] A区、ⅢD 9 c・9 d・10 c・10 d グリッド。Ⅳ層で黒色土の広がりとして検出した。中世のS K I 05竪穴状遺構の精査時に下位に別遺構が存在することを把握したため、S K I 05竪穴状遺構の精査終了後に精査を開始した。東側は調査区域外にかかる。北側の壁・床の一部の検出となった。  
[重複関係] S I 24竪穴住居跡の調査時、南側にS I 24竪穴住居跡に切られる別遺構があると予想していた。調査した結果、S I 30竪穴住居跡の出土遺物はS I 24竪穴住居跡の出土遺物より時期的に新しかったため、新旧関係の認識を改めた。南側ではS I 30竪穴住居跡に切られていたようで、後の解釈となったが、ベルトC-C'埋土5層が、S I 30竪穴住居跡の埋土であった可能性がある。

[規模・平面形] 径3.5m以上と推定される。平面形は円形基調と推定される。

[埋土・堆積状況] 黒色土を主体とする。

[壁・床面] 壁・床はIV層を掘り込んでいる。壁高は最大50cmである。一部に貼床が施されていた。

[柱穴・配置] PP 1～3を確認したが、配置などは不明である。

[炉] 不明である。

[その他の付属施設] なし。

遺物 (第267・268・454・469・471・483・485、511 (集成) 図、写真図版180・181・329・337・338・345・346)

[出土状況] 縄文土器29,276.2g、土製品、石器が出土した。土器№1 (192)・2 (190)・3 (189) が床上から出土している。

[縄文土器] 深鉢14点 (189～202)。

[土製品] 円盤状土製品1点 (2035)。

[石器] 石鏃3点 (2345～2347)、石匙1点 (2949)、敲石1点 (5335)、凹石1点 (5407)。

時期 遺構の形状と出土遺物などから縄文時代中期後葉 (大木9式期) と推測される。

### S I 30 竪穴住居跡

遺構 (第35・36図、写真図版24)

[位置・検出状況] A区、ⅢD9c～10dグリッド。西壁の一部が調査区域外にかかる。S I 24竪穴住居跡の南側で切られる別遺構として検出し、S I 24竪穴住居跡の精査終了後に精査を開始した。

[重複関係] 古代のS I 06・29竪穴住居跡に切られる。また、S I 24竪穴住居跡の精査時に当遺構の存在を確認していたが、S I 30竪穴住居跡の出土遺物が、S I 24竪穴住居跡の出土遺物より時期が新しかったことから、S I 24竪穴住居跡 (旧) → S I 30竪穴住居跡 (新) の新旧関係があると判断した。

[規模・平面形] 重複により一部失われている部分がある。規模は、およそ5.0×5.9mを測る。平面形は、壁が直線的であることから、五角形もしくは六角形の多角形を呈すると推定される。

[埋土・堆積状況] 床面直上に炭粒や焼土粒を含んだ暗褐色シルト (5層)、その上に炭を多く含む黒色シルト (3層) が堆積する。炉付近には焼土の塊も含む。埋土上位の褐色～黒褐色シルト (1・2層) にはマサ土が混入する。自然堆積と考えられるが、部分的に炭や焼土ブロックを多く含む。

[壁・床面] 壁は北側がIV層、南側は下位の遺構 (後にS I 45・46と命名) を掘り込み、外傾して立ち上がる。壁高は約110cmを測る。床面は、北側はIV層、下位の遺構埋土である砂混じりの灰白色シルトとして検出した。若干低くなり凸凹もある。北側に幅26cm、深さ17cmの直線的な壁溝を検出した。

[柱穴・配置] PP 1～9を検出した。炉を中心とする竪穴の中軸線を挟んで対称に2本ずつ配されるPP 1～4が主柱穴と考えられる。柱穴の埋土は炭粒が混じる黒褐色シルトが主体である。PP 6～9は、北側壁溝内で検出し、主柱穴より小さく、壁の角度に沿って深く掘られている。壁柱穴は、竪穴北側の急勾配な斜面側に位置しており、壁溝とともに土止めを意図した施設の可能性がある。

[炉] 南壁寄りに複式炉1基を検出した。石囲炉1・2と掘り込み部の構造で壁際に近い部位ほど階段状に低くなる。大きさは175×80cm、焼土の厚さは5cmである。石囲炉1は方形で燃焼面は床面より5cmほど低い。石囲炉2は長方形で燃焼面の上は粉状の炭で覆われていた。掘り込み部はS I 29竪穴住居跡の煙道で南側を壊され、残存する北側の底面に径10～20cmの礫が敷き詰められていた。

[その他の付属施設] PP 1に切られる土坑 (pit1) 1基を検出した。

遺物 (第269・270・454・469、512 (集成) 図、写真図版182・183・329・337)

[出土状況] 縄文土器21,154.2g、土製品、石器が出土した。北側の床面から土器P 1 (212壺)・2 (214

深鉢)・3(213深鉢)が出土している。

[縄文土器] 壺1点(212)、深鉢4点(213～216)、深鉢1点(217/S I 30～32)。

[土製品] 円盤状土製品1点(2037)。

[石器] 石鏃1点(2353)。

**時期** 遺構の形状と出土遺物などから縄文時代中期末葉(大木10式期)に帰属すると考えられる。P1土器内の炭化物について放射性炭素年代測定を行った結果、<sup>14</sup>C年代3990±30yrBP、2σ暦年年代範囲2573calBC-2467calBC(95.4%)の測定値が出ている。

(佐藤あゆみ)

### S I 31 竪穴住居跡

**遺構**(第37図、写真図版25)

[位置・検出状況] A区の西側、ⅢD10a・10bグリッド。Ⅱ～Ⅲ層で黒色土の広がりとして検出した。北側のⅢC9a・9bグリッドは、13年度調査でⅢ層まで掘り下げていた。南側のⅢC10a・10bグリッドは、14年度調査でⅡ層からの遺構検出となった。

[重複関係] 本竪穴住居跡を切る遺構は無い。下位から後にS I 53竪穴住居跡などが検出されている。

[規模・平面形] 径4.2×4.4mの円形基調である。

[埋土・堆積状況] 黒色土・黒褐色土を主体とする。

[壁・床面] 壁はⅡ層から掘り込まれ、床はⅢ層を掘り込んでいる。壁高は最大55cmである。

[柱穴・配置] PP1～8を検出した。壁際に並ぶPP2・3・8・5が支柱穴の配置として考えられるが、炉の位置との関係では、やや歪な感がある。

[炉] 竪穴の南側に石囲炉1基を検出した。壁との間に掘り込み部は無く、石組は北側のみで、南側は石組を欠き、抜き取り痕も確認できなかった。大きさは径80×60cm、焼土の厚さは5cmである。

[その他の付属施設] なし。

**遺物**(第270～273・453・454・474・482、512・513(集成)図、写真図版183～186・328・329・339・344)

[出土状況] 縄文土器54,010.4g、土製品、石器が出土した。炉の上位と周辺から土器が出土している。

[縄文土器] 深鉢27点(218～244)、227は小型の深鉢である。

[土製品] 斧状土製品1点(2014)、円盤状土製品3点(2038～2040)。

[石器] 両極石器2点(3091・3092)、磨石B類1点(4986)。

**時期** 遺構の形状と出土遺物から縄文時代中期後葉(大木9式期)と推測される。

### S I 32 竪穴住居跡

**遺構**(第38図、写真図版26)

[位置・検出状況] A区の中央、ⅢC7d・8d・8eグリッド。Ⅲ層で方形基調の暗褐色土の広がりとして検出した。南側は複数遺構との重複で、形状を明確に認識できていない。

[重複関係] 南側でS I 43・51竪穴住居跡と重複し、切られている。

[規模・平面形] 長軸方向で4.3m、短軸で3.9mである。北西-南東方向に長軸を持つ長方形と推測される。斜面下位である南東側は、遺構の重複により失われている。

[埋土・堆積状況] 暗褐色土を主体とする単層で、壁際に明黄褐色土が確認できる。

[壁・床面] 壁・床はⅢ層を掘り込んでつくられている。壁高は最大25cmである。壁溝・柱配置から、数度の建て替えがあったと想定される。

[柱穴・配置] PP 1～7・9～13の12個を検出した。詳細は不明だが、PP 1・4・6・13・7は直線的に並ぶ。PP 6の対になる配置としては、S I 43-PP 4の位置がほぼ該当しそうである。

[炉] 竪穴の中軸線上に連なるように地床炉2基を検出した。炉1は、大きさ70×60cm、焼土の厚さ4cm、炉2は、大きさ175×65cm、焼土の厚さ5cmである。平面形は円形や楕円形を基調とするが、やや不整である。確認できなかった南側も中軸線上に焼土が分布するものと推測される。

[その他の付属施設] なし。

遺物（第273、513（集成）図、写真図版186）

[出土状況] 縄文土器3,165.6gが出土した。

[縄文土器] 深鉢2点（245・246）。

時期 遺構の形状と出土遺物などから縄文時代前期後葉（大木5式期）と推測される。

### S I 34竪穴住居跡

遺構（第39・40図、写真図版27）

[位置・検出状況] A区、ⅢD 8 a・9 aグリッド。ⅢD 8 a～8 c付近までの一帯でⅣ層を掘り込んだ遺構の埋土が認められ、その重複関係を確認するベルトを数本設定して掘り下げた。

[重複関係] 東側トレンチの土層観察により、本遺構が別遺構（後のS I 66埋土）を切っていることを確認した。また、古代のS I 33竪穴住居跡とS K 96・99土坑（新）に切られている。

[規模・平面形] 残存する範囲で、およそ6.1×5.1mを測る。平面形は円形から多角形を呈する。

[埋土・堆積状況] 土層断面から最初の堆積は、東側から西側に向かって始まったと判断できる。そのため床面直上に堆積する土層は、東側と西側では異なる。東側床面に堆積するのは暗褐色～褐色シルト（22・23層）でマサ土は含まない。東側の堆積土は、本遺構の東側に隣接し、重複する竪穴等の遺構埋土に起因する可能性がある。一方中央から北西側の床面に堆積するのはマサ土を主体とした灰黄褐色シルト（10c層）である。土坑群が点在する風化花崗岩を基盤とした北側急斜面地より供給されたマサ土が流れ込んだものと考えられる。一部で廃棄焼土（26層）が認められるが、全体に斜交ラミナ状を形成し、自然堆積の様相を示す。10c層は10層や10a・10b層に類似する。これらの間に堆積する11層や12層は、マサ土を主体とする10c層～10層が、数回にわたって堆積したことを示唆する。10c層下位の14層は、暗褐色土とマサ土が薄い互層となっており、マサ土が厚く堆積する10c層とは対照的である。

[壁・床面] 壁・床面ともに北側がⅣ層、南側は別遺構（S I 66埋土）を掘り込みつくられている。壁は、直立に立ち上がり、北壁の一部で上部が約70cm奥に掘り込まれ、段状になる。壁高は約170cmを測る。床面は、平坦で硬く締まる。北側で検出した壁溝は、幅31cm、深さ28cmを測る。壁溝は急斜面に接する北側のみで確認しており、土止めを想定して構築された施設の可能性がある。

[柱穴・配置] PP 1～10の10個を検出した。炉を中心に対称に3本配置されるPP 1～6の6本が主柱穴と考えられる。PP 1とPP 2は北側の壁際に並ぶ。深さは約50～70cm、平面形は楕円形を呈する。

[炉] 南壁に石囲炉3箇所と掘り込み部からなる複式炉1基を検出した。大きさは200×100cmで、各部位の使用面は石囲炉1から掘り込み部に向かって階段状に低くなる。石囲炉1は方形で焼成面は床面より8cmほど低い。焼土の厚さは5cmである。石囲炉2は東側の石組が内側に倒れ、歪んだ方形である。石囲炉3は一部の礫が底面に陥落するが、方形と推定される。掘り込み部はS K 96・99土坑に壊されているが、残存する底面は硬化し、焼土粒が広がる範囲がある。奥壁側の床面で大きさ約69×58cm、厚さ約3cmの焼土を確認した。燃焼面は平坦で硬い。

[その他の付属施設] なし。

遺物 (第273・274・455・470・474・476・496・497、513 (集成) 図、写真図版186・187・329・338～340・354・355)

[出土状況] 縄文土器44,503.8g、土製品、石器、石製品が出土した。床面からは、深鉢口縁部 (255) 等が出土している。

[縄文土器] 深鉢19点 (254～272)、259はミニチュア土器である。

[土製品] 円盤状土製品2点 (2043・2044)。

[石器] 石錐1点 (2898)、両極石器1点 (3098)、磨製石斧1点 (4531)。

[石製品] 磨製石斧ミニチュア1点 (5787)、棒状石製品1点 (5808)。

時期 遺構の形状と出土遺物から縄文時代中期末葉 (大木10式期) に帰属すると考えられる。

(佐藤あゆみ)

### S I 35 竪穴住居跡

遺構 (第41・42図、写真図版28・29)

[位置・検出状況] A区、ⅢC 8 i～10 j グリッド。Ⅱ層で黒褐色土の広がりとして検出した。

[重複関係] 西側でS I 38 竪穴住居跡と重複する。

[規模・平面形] 径4.5～6m程の不整な楕円形基調である。一部の壁が直線的に廻る。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土を主体とする。

[壁・床面] 壁・床はⅢ～Ⅳ層を掘り込んでいる。壁高は最大40cmである。北側の壁を中心に一部に壁溝が廻る。壁溝の幅20cm、深さ10cmである。壁溝の状況から数回の建て替えがあった可能性がある。住居の東側半部を中心に貼床が確認された。炉・焼土も貼床の上で確認された。

[柱穴・配置] PP 1～6を検出した。PP 1・2・3・4の4本が主柱穴と考えられる。

[炉] 2基検出した。南側の複式炉は地床炉+土器埋設石囲炉+掘り込み部で、大きき200×100cm、焼土の厚さ5cmで、石囲炉西側に埋設土器を確認した。石囲炉には径10～15cm大の礫が敷かれた状態であった。北側の石囲炉は、大きき40×30cm、焼土の厚さ5cmである。2基の炉の間にも焼土が形成されている。

[その他の付属施設] なし。

遺物 (第274・275・453・455・469・479・480・483・496、514 (集成) 図、写真図版187・328・329・337・343・345・354)

[出土状況] 縄文土器50,506.6g、土製品、石器、石製品が出土した。炉の埋設土器 (273) がある。

[縄文土器] 深鉢19点 (273～286・288～292)、うち小型の深鉢が2点 (274・282) ある。壺1点 (287)。

[土製品] 斧状土製品1点 (2015)、円盤状土製品2点 (2045・2046)。

[石器] 石鏃2点 (2363・2365)、磨石A類2点 (4649・4650)、敲石1点 (5341)。

[石製品] 玦状耳飾1点 (5775)。縄文時代前期の所産であり、混入したものと考えられる。

時期 遺構の形状と出土遺物から縄文時代中期末葉 (大木10式期) と推測される。5 b層出土の炭化物について放射性炭素年代測定を行った結果、<sup>14</sup>C年代4040±30yrBP、2σ暦年年代範囲2622calBC-2476calBC (95.4%) の測定値が出ている。

### S I 37 竪穴住居跡

遺構 (第43・44図、写真図版30)

[位置・検出状況] A区、ⅢC 8 i・9 i グリッド。Ⅲ・Ⅳ層において、暗灰黄色～黒褐色土の広がりとして検出した。掘り下げた段階で、床面の高さの違いや炉の位置から3棟の住居が存在すると考え、それぞれに住居として名称（S I 37・38・39 竪穴住居跡）を付けた。

[重複関係] 下位の遺構（後のS I 55・56・68、S K 116・117）を切り、S I 38・39 竪穴住居跡、S K 103 土坑に切られる。

[規模・平面形] 残存部分で、長軸6.1m、短軸6.0m、壁高64cm。方形を基調とするものと推定される。

[埋土・堆積状況] 上位は暗灰黄色土、中位は灰黄褐色土、下位は暗灰黄色土。主として人為的に埋め戻されていると思われるが、北西側埋土中～上位（Ⅱ-2層）については自然堆積がみられる。

[壁・床面] Ⅲ・Ⅳ層と重複する遺構埋土を掘り込んで壁・床面がつくられている。床面の残存範囲は、ほぼ平坦である。厚みが僅かで、平面的な広がりには明確に捉えきれなかったが、土層断面の観察から貼床（7層）を確認した。北東～西側にかけて幅19cm、深さ13cmの壁溝が断続的に廻る。

[柱穴・配置] PP 1～8・11の9個を検出した。支柱穴はPP 1・2・4・6・7・8で、中軸線を挟んで3本が対称に並ぶ6本配置と考えられる。

[炉] 住居の南側で石囲炉1基、土器埋設炉1基を検出した。石囲炉はS I 39 竪穴住居跡による削平を受けているが、残存状況から、大きさ85×75cmの方形基調と推定される。土器埋設炉は、大きさ26×25cmで、深鉢形土器の胴部上半を逆位で埋設している。いずれの炉も焼土の形成はごく僅かである。個別の炉の可能性と各部位の位置関係から複式炉だった可能性もある。

[その他の付属施設] なし。

遺物（第275・276・455・474・496、514（集成）図、写真図版188・329・339・354）

[出土状況] 縄文土器土23,498.6g、土製品、石器、石製品が出土した。炉の埋設土器（295）がある。

[縄文土器] 深鉢13点（295～306・308）、うち1点（306）は小型の深鉢、浅鉢？1点（307）。

[土製品] 円盤状土製品3点（2047～2049）。

[石器] 不定形石器1点（3307）。

[石製品] 磨製石斧ミニチュア1点（5788）。

時期 遺構の形状と炉の埋設土器の特徴から縄文時代中期末葉（大木10式期）と推測される。

（河本純一）

### S I 38 竪穴住居跡

遺構（第45図、写真図版31）

[位置・検出状況] A区、ⅢC 8 h～9 i グリッド。Ⅲ・Ⅳ層において、灰黄褐色土の広がりとして検出した。掘り下げた段階で、床面の高さの違いや炉の位置から3棟の住居が存在すると考え、それぞれに住居として名称（S I 37・38・39 竪穴住居跡）を付けた。

[重複関係] S I 37 竪穴住居跡を切り、S I 35・39 竪穴住居跡に切られる。

[規模・平面形] 残存する範囲で、長軸3.3m、短軸2.5m、円形基調と推定される。

[埋土・堆積状況] 上位は灰黄褐色土、中位は黒褐色土、下位は炭粒を顕著に含む黒色土。下位は住居が焼失した際に堆積し、中～上位は人為的に埋め戻されていると思われる。埋土下位に炭粒を顕著に含む層が認められ、焼失した竪穴住居跡と考えられる。

[壁・床面] Ⅲ・Ⅳ層および隣接する遺構の埋土を掘り込んで壁・床面がつくられている。壁高69cm。床面はほぼ平坦である。北西側の長さ90cm、幅19cm、深さ7cmの溝状の窪みは、壁溝の可能性はある。

[柱穴・配置] PP 1～6の6個を検出した。支柱穴はPP 1・3・5で、中軸線を挟んで1対および中

軸線上に1本存在する3本配置の可能性が考えられる。

[炉] 石囲炉1基を検出した。住居の中央やや東側に構築されている。方形基調と推定され、大きさは50×43cm、焼土の厚さは4cmである。

[その他の付属施設] なし。

遺物 (第276・455、514 (集成) 図、写真図版188・189・329)

[出土状況] 縄文土器13,088.6g、土製品が出土した。床面から土器A(309・310)・B(311)が出土している。土器A・Bは、住居の北西側で廃絶時に床面に置かれていた可能性が考えられる。

[縄文土器] 深鉢6点(309～314)。

[土製品] 円盤状土製品1点(2050)。

時期 遺構の形状、重複関係、出土遺物などから縄文時代中期末葉(大木10式期)と推測される。

(河本純一)

### S I 39 竪穴住居跡

遺構 (第46・47図、写真図版32)

[位置・検出状況] A区、ⅢC 8 h～9 i グリッド。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出した。掘り下げた段階で、床面の高さの違いや炉の位置から3棟の住居が存在すると考え、それぞれに住居として名称(S I 37・38・39 竪穴住居跡)を付けた。

[重複関係] S I 37・38と下位の遺構(後のS I 55・56・68)を切り、S K 103土坑に切られる。

[規模・平面形] 残存する範囲で、長軸7.0m、短軸4.5m、方形基調と推定される。

[埋土・堆積状況] 上～中位は黒褐色土、下位は灰黄褐色土。人為的に埋め戻されていると思われる。

[壁・床面] Ⅲ層と隣接する遺構埋土を切り込んで壁・床面がつくられている。壁高77cm。床面はほぼ平坦で、南側に若干下がる。S I 37 竪穴住居跡の石囲炉が構築され、窪みとなった地点の周辺に貼床が施される。現地調査の段階では、埋土5層下面を床面と捉えていたが、断面図等の検討から5層上面が床面だった可能性も考えられる。北側に長さ75cm、幅22cm、深さ14cmの壁溝状の窪みがある。

[柱穴・配置] 住居西側を中心にPP 1～20の20個を検出した。主柱穴およびその配置は不明である。

[炉] 住居の中央やや北側に地床炉1基を検出した。大きさは41×38cm、焼土の厚さは4cmである。

[その他の付属施設] なし。

遺物 (第277・278・443・455・469・474、515 (集成) 図、写真図版189・322・329・337・339)

[出土状況] 縄文土器44,404.0g、土師器、土製品、石器が出土した。土師器は混入したものである。

[縄文土器] 深鉢17点(315～334)、3点(321・322・329)は小型深鉢、深鉢1点(335 / S I 39・40)。

[土師器] 甕? 1点(1857)。

[土製品] 円盤状土製品9点(2051～2059)。

[石器] 石鏃1点(2375)、両極石器1点(3106)。

時期 遺構の形状、重複関係、出土遺物などから縄文時代中期末葉(大木10式期)と推測される。

(河本純一)

### S I 40 竪穴住居跡

遺構 (第47図、写真図版32)

[位置・検出状況] A区の西側、ⅢC 9 c・9 d グリッド。Ⅱ層で暗色土の広がりとして検出した。

[重複関係] 下位から別遺構(後のS I 59・60など)が検出された。S I 40 竪穴住居跡が新しい。

[規模・平面形] 径3.2mの円形基調である。

[埋土・堆積状況] 暗褐色土を主体とする。2層暗褐色土層が多量の炭化物を含み、堅穴全体に堆積していた。焼失した痕跡と推測する。下位から焼土が確認された。

[壁・床面] 壁・床はⅡ～Ⅲ層を掘り込んでいる。壁高は最大30cmである。北側の壁を中心に一部に壁溝が廻る。壁溝の幅20～10cm、深さ5cmである。

[柱穴・配置] PP 1～5を検出した。

[炉] 石囲炉1・2と掘り込み部からなる複式炉1基を検出した。掘り込み部は記録作成の下手際で下場を欠いている。大きさは170×75cm。石囲炉1内に厚さ4cmほどの焼土が形成されていた。

[その他の付属施設] なし。

**遺物** (第278・279、515 (集成) 図、写真図版189・190)

[出土状況] 縄文土器19,070.8g、動物遺存体398.3gが出土した。中央付近から土器P 1 (336)・P 2 (338)・P 3 ※出土地点の記録なし (337)・P 4 (該当土器不掲載) が出土し、炉の北東側で動物遺存体 (貝) が出土している。動物遺存体は小片のため、掲載したものはない。

[縄文土器] 深鉢5点 (336～340)。

**時期** 遺構の形状、出土遺物などから縄文時代中期末葉 (大木10式期) と推測される。埋土中位出土の炭化物について放射性炭素年代測定を行った結果、<sup>14</sup>C年代 3950±30yrBP、2σ暦年年代範囲 2498calBC-2393calBC (95.4%) の測定値が出ている。

#### S I 41 堅穴住居跡

**遺構** (第48図、写真図版32)

[位置・検出状況] A区、ⅢD 9 cグリッド。S I 30堅穴住居跡の北側に黒褐色土の広がりを検出し、S I 30堅穴住居跡に切られる堅穴と認識して精査に着手した。

[重複関係] S I 13・24・30堅穴住居跡、S K 102土坑と重複し、切られる。また、出土遺物から判断して後に検出したS I 96堅穴住居跡にも切られていたようである。

[規模・平面形] 重複により南西側が失われている。規模は、残存部でおよそ3.8×4.7mを測る。残存する範囲は弧状を呈する。北側は重複遺構の影響から壁の立ち上がりが不明瞭で、一部掘り過ぎている。

[埋土・堆積状況] 床面直上に堆積するのは、褐色シルトと黄褐色シルト (4・5層) である。中央部は、ブロック状の褐色土が含まれる。人為的な堆積は認められず、自然堆積と考えられる。

[壁・床面] 壁はⅣ層を掘り込み、外傾し立ち上がる。壁高は約110cmを測る。床面は、Ⅳ層を掘り込み、北側が高くなるが、全体的に締まり、地山のⅣ層が全面に露出する。

[柱穴・配置] 3個検出した。配置は不明である。

[炉] 検出されなかった。

[その他の付属施設] なし。

**遺物** (第279・499、515 (集成) 図、写真図版190・356)

[出土状況] 縄文土器2,005.4g、金属製品が出土した。金属製品は混入したものと考えられる。

[縄文土器] 深鉢3点 (342～344)、小型深鉢1点 (341)。

[金属製品] 鉄鏃? 1点 (6001)。

**時期** 遺構の形状、新旧関係や出土遺物などから縄文時代前期後葉以降の可能性が考えられる。

(佐藤あゆみ)



### S I 43 竪穴住居跡

遺構（第49図、写真図版33）

[位置・検出状況] A区、ⅢC 8 d・8 e・9 d グリッド。Ⅱ層で暗褐色土の広がりとして検出した。

[重複関係] 北側でS I 32 竪穴住居跡と重複する。S I 43 竪穴住居跡が新しい。

[規模・平面形] 径2.5×3.5m以上の長方形基調と推測される。斜面下位に当たる南側は消失している。

[埋土・堆積状況] 暗褐色土を主体とする。

[壁・床面] 壁・床はⅢ～Ⅳ層を掘り込んでいる。壁高は最大30cmである。北側の壁を中心に壁溝が廻る。壁溝の幅40cm、深さ15cmである。

[柱穴・配置] PP 1～6 を検出した。配置は不明である。

[炉] 円形基調の石囲炉 1 基を検出した。大きさは65×55cm。石が無かった箇所に抜き取り痕は確認できていない。炉の内部は床面よりやや窪み、厚さ5cmの焼土が形成されていた。

[その他の付属施設] なし。

遺物（第280、515（集成）図、写真図版191）

[出土状況] 縄文土器3,582.0g が出土した。前期と中期の土器が出土している。

[縄文土器] 深鉢4点（352～355）。

時期 遺構の形状と出土遺物などから縄文時代中期中葉（大木8 a 式期）と推測される。

### S I 45 竪穴住居跡

遺構（第50図、写真図版33）

[位置・検出状況] A区、ⅢD 10 c グリッド。S I 30 竪穴住居跡の床面精査時に不明瞭であるが、円形気味のプランを検出した。

[重複関係] S I 30・47 竪穴住居跡、S K 110 土坑と重複し、切られている。

[規模・平面形] 規模は、残存部でおよそ5.3×3.8mを測る。平面形は、円形を呈すると考えられる。

[埋土・堆積状況] 床面直上に堆積するのは、黄褐色シルト（4層）である。北側の壁際には、地山の黄褐色土が混入する褐色シルト（5層）が認められる。全体的に風化花崗岩粒を含む。自然堆積と考えられる。

[壁・床面] 壁はⅡ層を掘り込み、外傾し立ち上がる。壁高は約45cmを測る。床面はⅣ層を掘り込み、おおむね平坦である。

[柱穴・配置] PP 1～3 の3個を検出した。配置は不明である。

[炉] 検出されなかった。失われた南側にあったと推定される。

[その他の付属施設] なし。

遺物（第280、515（集成）図、写真図版191）

[出土状況] 縄文土器3,151.7g 出土した。北西の埋土から骨片が出土しているが、細片のため種類は不明である。最下層内には、使用痕の認められない自然礫が複数出土している。

[縄文土器] 深鉢3点（358～360）。

時期 遺構の形状、新旧関係、出土遺物などから縄文時代前期後葉（大木5 式期）の可能性が考えられる。  
(佐藤あゆみ)

### S I 46 竪穴住居跡

遺構（第51図、写真図版33）

[位置・検出状況] A区、ⅣD 1 c グリッド。S I 29 竪穴住居跡の精査終了後、床面下を掘り下げた

際に黒褐色の広がりとして検出した。東側半分は調査区域外にかかる。

[重複関係] S I 58・62竪穴住居跡と重複し、切られている。S I 46竪穴住居跡(旧)→S I 62竪穴住居跡(新)→S I 58竪穴住居跡(最新)の重複関係がある。S I 29・30竪穴住居跡にも切られている。

[規模・平面形] 規模は、残存部でおよそ6.2×3.0mを測る。平面形は、円形を呈すると考えられる。

[埋土・堆積状況] 床面直上で北側に褐色シルト(8層)、中央ににぶい黄褐色シルト(7層)が堆積する。S I 62竪穴住居跡と接する南側の床面直上に焼土(11層)が認められる。全体的には自然堆積だが、埋土中位に焼土が混入する褐色シルト(6層)など、一部人為的な様相を示す。

[壁・床面] 壁はⅢ層を掘り込み、直立に立ち上がる。壁高は約100cmを測る。床面はⅢ層を掘り込み、北側が若干高くなるが、全体的に硬く締まり、Ⅲ層が露出する。

[柱穴・配置] PP 1～3の3個を検出した。配置は不明である。

[炉] 断面でのみ確認した。焼土の厚さは7cmである。

[その他の付属施設] なし。

遺物(第280・281・455・476・497、516(集成)図、写真図版191・329・340・354)

[出土状況] 縄文土器25,753.0g、土製品、石器、石製品が出土した。

[縄文土器] 深鉢6点(361～366)、深鉢1点(367/S I 46・54)。

[土製品] 円盤状土製品1点(2061)。

[石器] 異形石器1点(4452)。

[石製品] 板状石製品1点(5800)。

時期 遺構の形状、新旧関係や出土遺物などから縄文時代前期前葉から後葉の可能性が考えられる。

(佐藤あゆみ)

### S I 47竪穴住居跡

遺構(第52図、写真図版33)

[位置・検出状況] A区、ⅢD10c、ⅣD1cグリッド。S I 30竪穴住居跡の複式炉の精査時に重複する石囲炉を検出した。竪穴全体の検出は、不明瞭な黒褐色土範囲を平面から把握することが難しく、土層断面の観察から、竪穴の範囲を認識した。

[重複関係] S I 29・30竪穴住居跡とS K 110土坑に切られる。S I 30竪穴住居跡の精査時に本遺構の石囲炉がS I 29竪穴住居跡に壊されていたことを確認し、新旧関係を把握した。

[規模・平面形] 規模は、残存部でおよそ4.7×1.4mを測る。平面形は円形基調と考えられる。遺構の重複によって南側を失っており、東側は、別遺構との重複で壁の立ち上がりが不明瞭であった。

[埋土・堆積状況] 床面直上に堆積するのは、暗褐色シルト(3a・4層)である。埋土中位～上位には、炭粒と灰白色砂質土や明黄褐色土がブロック状に含まれており、人為的な様相を呈する。

[壁・床面] 壁・床面とも、北側はⅢ層、南側はS I 46竪穴住居跡の埋土を掘り込み、つくられている。壁は直立に立ち上がる。壁高は約45cmを測る。床面は、若干凹凸があるが、おおむね平坦である。

[柱穴・配置] 2個検出した。いずれも堆積土に炭粒を含む。配置は不明である。

[炉] 石囲炉1基を検出した。大きさは50×40cmである。S I 29竪穴住居跡と重複しており、南側を失っているが、円形を呈していたと考えられる。花崗岩を用いた石組の中には、燃焼面は残っていなかったが、焼土や炭粒を含む暗褐色シルトが堆積している。石組は掘り方を伴う。

[その他の付属施設] なし。

遺物(第281、516(集成)図、写真図版192)

[出土状況] 縄文土器9,456.6 gが出土した。石囲炉北側の床面に約30×60cmの扁平な礫が置かれていた。

[縄文土器] 深鉢4点(368～371)。

時期 遺構の形状、新旧関係や出土遺物などから縄文時代中期後葉(大木9式期)と考えられる。

(佐藤あゆみ)

### S I 49 竪穴住居跡

遺構(第53図、写真図版34)

[位置・検出状況] III D 10 a グリッド。II層が斑に入る黒褐色土の広がりを検出し、精査に着手した。

[重複関係] S I 29・30竪穴住居跡、S K I 10竪穴状遺構と重複し、本遺構が切られる。精査を開始した当初は、S K 114土坑の底面を本遺構の床面と想定したが、それよりも高い位置から石囲炉が検出されたことから、S K 114土坑と重複していたことを認識した。またS I 61竪穴住居跡を切っている。

[規模・平面形] 重複が激しく、炉周辺以外は失われている。残存する規模は、およそ4.2×3.2mを測る。平面形は、全容が不明である。南側の床面は、II層によって切られ、消失している。

[埋土・堆積状況] 床面直上に堆積するのは、粘性が弱い暗褐色シルト(4層)である。埋土上位には、II層土が混じる黒褐色土が堆積する。おおむね自然堆積と考えられる。

[壁・床面] 壁の検出は一部だが、外傾して立ち上がる。壁高は約20cmを測る。床面はS I 61竪穴住居跡の埋土を掘り込み、重複部分はIV層マサ土が露出する。南側が若干低くなり凹凸があり、硬さは弱い。

[柱穴・配置] 5個検出したが、規則的な配置は認められない。

[炉] 石囲炉1基を検出した。石組に径10～30cm程の花崗岩を用いている。平面形は楕円で、約90×110cmを測る。焼土の厚さは3cmである。石囲炉の西側は重複するS I 61竪穴住居跡の埋土で、脆弱なマサ土の上に構築されたため周辺より低く陥落する。燃烧面は、床面より若干高く、石組中央に径約50cmの範囲で認められた。石組は床面に直接礫を設置した状態である。

[その他の付属施設] なし。

遺物(第281・472・485、516(集成)図、写真図版192・338・346)

[出土状況] 縄文土器5,821.9 g、石器が出土している。

[縄文土器] 深鉢3点(373～375)。

[石器] 石匙1点(2956)、凹石1点(5414)。

時期 遺構の形状、新旧関係、出土遺物から縄文時代中期末葉(大木10式期)以降の可能性が考えられる。

(佐藤あゆみ)

### S I 51 竪穴住居跡

遺構(第54図、写真図版34)

[位置・検出状況] A区の西側、III C 8 d・9 e グリッド。II層で黒褐色土の広がりとして検出した。遺構の重複により、西側・南側は失われており、北東側のみの検出となった。

[重複関係] 西側でS I 43竪穴住居跡、南側でS K 100土坑と重複する。S I 51竪穴住居跡の炉がS I 43竪穴住居跡の壁溝の上に位置する。S I 43竪穴住居跡(旧)→S I 51竪穴住居跡(新)の関係と推測する。

[規模・平面形] 径4.0m以内の円形基調と推定される。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土を主体とする。

[壁・床面] 壁・床はII層を掘り込んでいる。壁高は最大10cmである。北東側の壁・床の検出である。

[柱穴・配置] PP 1・4・5の3個を検出した。配置は不明である。

[炉] 石囲炉を1基検出した。65×45cmの方形基調の石囲炉で、内部に焼土が形成されている。焼土の厚さは5cmほどで、石囲炉の内部が床面より下がる構造である。

[その他の付属施設] なし。

**遺物** (第281、516 (集成) 図、写真図版192)

[出土状況] 縄文土器939.9gが出土した。縄文時代前期と中期の土器が出土している。

[縄文土器] 深鉢2点 (378・379)。

**時期** 遺構の形状、重複関係、出土遺物などから縄文時代中期と推測される。

### S I 53 竪穴住居跡

**遺構** (第55図、写真図版34)

[位置・検出状況] A区の西側、ⅢC10a・10b・Ⅳc1aグリッド。Ⅱ～Ⅲ層で黒色土の広がりとして検出した。斜面下方の南側の壁・床が消失している。

[重複関係] S I 31 竪穴住居跡に切られていた。S I 79 竪穴住居跡にも切られていたようである。

[規模・平面形] 径5.2×9.0m程の長方形を呈する。等高線に沿って長軸を設定している。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土を主体とする。

[壁・床面] 壁・床はⅡ～Ⅲ層を掘り込んでいる。壁高は最大50cmである。長軸方向の壁溝が3条確認できることから、建て替えがあったと推測される。

[柱穴・配置] PP1～7を検出した。PP1・2・4が主柱穴を構成した可能性がある。

[炉] 大小7基の焼土を検出した。炉1・炉2が比較的大きい。大きさは85×50cmの明赤褐色の焼土で、厚さ7～8cmである。炉1は、S I 31 竪穴住居跡に切られる焼土として、すでに確認していたものである。

[その他の付属施設] なし。

**遺物** (第282・283・470・472・474、516 (集成) 図、写真図版192・193・338・339)

[出土状況] 縄文土器24,702.7g、石器が出土した。

[縄文土器] 深鉢16点 (385～400)。

[石器] 石錐1点 (2900)、石匙1点 (2957)、不定形石器1点 (3337)。

**時期** 遺構の形状、重複関係、出土遺物などから縄文時代前期末葉 (大木6式期) と推測される。

### S I 54 竪穴住居跡

**遺構** (第56図、写真図版35)

[位置・検出状況] A区、ⅢC9f～9gグリッド。Ⅲ層において灰黄褐色土の広がりとして検出した。検出時の輪郭および堆積状況の検討から、3棟の住居が存在すると考え、それぞれに住居として名称 (S I 54・55・70 竪穴住居跡) を付けた。

[重複関係] S I 55・70 竪穴住居跡を切り、S I 73 竪穴住居跡に切られる。

[規模・平面形] 残存する範囲で、長軸2.5m、短軸2.4m、壁高67cm。円形基調と推定される。

[埋土・堆積状況] 上位は灰黄褐色～にぶい黄褐色土、中位は黒褐色～黄褐色土、下位は炭粒を顕著に含む黒褐色土。下位は住居が焼失した際に堆積し、中～上位は人為的に埋め戻されていると思われる。埋土下位に炭粒を顕著に含む層が認められ、焼失した竪穴住居跡と考えられる。

[壁・床面] Ⅱ・Ⅲ層および隣接する遺構の埋土を切り込んで壁・平坦な床面がつくられている。

[柱穴・配置] PP1～4の4個を検出した。主柱穴およびその配置は不明である。

[炉] 明確に炉と考えられる施設は検出できなかった。S I 73 竪穴住居跡の構築時に削平されたか、

もしくは住居中央部で検出した埋土に炭・焼土を含むPP2がその機能を有していた可能性がある。

[その他の付属施設] なし。

遺物 (第283・284、517 (集成) 図、写真図版193・194)

[出土状況] 縄文土器12,336.0gが出土した。

[縄文土器] 深鉢9点 (401～409)、404はミニチュアである。深鉢1点 (410/S I 54・55)。

時期 遺構の形状、重複関係、出土遺物などから縄文時代中期後葉 (大木9式期) と推測される。

(河本純一)

### S I 55 竪穴住居跡

遺構 (第56図、写真図版35)

[位置・検出状況] A区、ⅢC 9 g グリッド。Ⅲ層において灰黄褐色土の広がりとして検出した。検出時の輪郭および堆積状況の検討から、3棟の住居が存在すると考え、それぞれに住居として名称 (S I 54・55・70 竪穴住居跡) を付けた。

[重複関係] S I 37・39・54・56・70 竪穴住居跡に切られる。

[規模・平面形] 残存する範囲で、長軸1.6m、短軸1.2m、壁高54cm。平面形は不明である。

[埋土・堆積状況] 上位は灰黄褐色土、中位は黒褐色～灰黄褐色土、下位はにぶい黄褐色土。人為的に埋め戻されていると思われる。

[壁・床面] Ⅲ層を切り込んで壁・床面がつくられている。床面は平坦だが、南西側が傾斜して下がる。

[柱穴・配置] 柱穴は検出されなかった。

[炉] 明確に炉と考えられる施設は検出できなかった。S I 39・70の構築時に削平されたと推定される。

[その他の付属施設] なし。

遺物 (第284・454、517 (集成) 図、写真図版194・328)

[出土状況] 縄文土器8,475.0g、土製品が出土した。

[縄文土器] 深鉢3点 (411～413)、深鉢1点 (414/S I 55・65・73)。

[土製品] 棒状土製品1点 (2019)。

時期 遺構の形状、重複関係、出土遺物などから縄文時代中期後葉 (大木9式期) と推測される。

(河本純一)

### S I 56 竪穴住居跡

遺構 (第57・58図、写真図版35)

[位置・検出状況] A区、ⅢC 9 g～10 h グリッド。Ⅲ層の掘削中に黒褐色土が堆積する壁溝および焼土を検出したことから、住居として名称を付けた。

[重複関係] S I 55 竪穴住居跡・S K 137 土坑を切り、S I 37・39・68・71・73 竪穴住居跡に切られる。S I 72 竪穴住居跡との切り合い関係は不明である。

[規模・平面形] 残存する範囲で、長軸4.3m、短軸3.5m、壁高49cm。北側に残る壁溝の形状から、多角形を基調とするものと推定される。

[埋土・堆積状況] 上位は灰黄褐色土、中位は黒褐色土、下位はにぶい黄褐色～灰黄褐色土。人為的に埋め戻されていると思われる。

[壁・床面] Ⅲ層と隣接する遺構の埋土を切り込んで壁・床面がつくられている。床面はほぼ平坦である。北～北西側にかけて幅23cm、深さ13cmの壁溝が廻る。

[柱穴・配置] PP 1～26・28の27個を検出した。主柱穴およびその配置は不明である。

[炉] 地床炉2基を検出した。地床炉1は住居の中央に構築されている。大きさは60×24cm、焼土の厚さは5cmである。地床炉2は住居の南側に構築されている。南側をS I 71竪穴住居跡によって削平されており、残存する大きさは32×7cm、焼土の厚さは7cmである。

[その他の付属施設] なし。

遺物（第284、517（集成）図、写真図版194）

[出土状況] 縄文土器3,285.9gが出土した。前期から後期までの土器が出土している。

[縄文土器] 深鉢2点（415・417）、壺1点（416）、深鉢1点（418／S I 56・73）。

時期 遺構の形状、重複関係、出土遺物などから縄文時代中期と推測される。

（河本純一）

### S I 57竪穴住居跡

遺構（第58図、写真図版34）

[位置・検出状況] A区、ⅢB10j、ⅣB1jグリッド。Ⅱ～Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして確認した。

[重複関係] 東側でS I 53竪穴住居跡と重複し、切られている。

[規模・平面形] 2.8×2.5m以上の長方形と推定される。等高線に沿って長軸方向を設定している。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土を主体とする。

[壁・床面] 壁・床はⅡ～Ⅲ層を掘り込んでつくられている。壁高は最大10cmである。幅20×15cm、深さ10cmほどの壁溝が廻る。

[柱穴・配置] PP 1～3を検出した。PP 1・3が対になる。PP 2の対になる柱が壁溝と端部にあるとすると、炉を挟んで対称になる配置である。

[炉] 地床炉3基を検出した。炉1はS I 53竪穴住居跡に切られている。炉3は径70cmほどの不整な円形で、明赤褐色の焼土が最大8cmの厚さで形成される。竪穴住居跡の中軸線上に位置している。

[その他の付属施設] なし。

遺物（第284・285・485、517（集成）図、写真図版194・195・346）

[出土状況] 縄文土器12,132.4g、石器が出土した。

[縄文土器] 深鉢8点（419～426）。

[石器] 凹石1点（5416）。

時期 遺構の形状、重複関係、出土遺物などから縄文時代前期後葉（大木5式期）と推測される。

### S I 58竪穴住居跡

遺構（第59図、写真図版35）

[位置・検出状況] A区、ⅣD1b・2bグリッド。S I 29竪穴住居跡の精査終了後、S I 29竪穴住居跡の床面下から多量の遺物が出土するため、ベルトを設定し掘り下げを行った。北側は、黒褐色の弧状プランが検出されたが、南側は不明瞭であった。

[重複関係] S I 29・49・62竪穴住居跡と重複し、S I 29・49竪穴住居跡に切られる。S I 62(旧)→S I 58→S I 49(新)→S I 29竪穴住居跡(最新)の重複関係がある。

[規模・平面形] 規模は、およそ4.4×4.5mを測る。平面形は円形を呈する。

[埋土・堆積状況] 床面直上は、中央付近で焼土や黄褐色土ブロックを含む暗褐色シルト（10層）、炉の西側に焼土粒や炭粒を含む黒褐色シルト（12層）が堆積する。東側の床面直上には柔らかい灰黄褐

色シルト（9層）が堆積し、床面直上の堆積は各所で様相が異なる。埋土中に縄文前期や中期の土器片等が含まれ、全体的に混入物が多く、人為堆積と考えられる。

[壁・床面] 壁・床面ともにⅢ層、S I 62 竪穴住居跡の埋土を掘り込んでつくられている。壁は直立に立ち上がる。壁高は約100cmを測る。床面は、南西部分の硬さが認められずに掘り過ぎているが、それ以外は硬く締まる。炉の西側が低くなり、床面に炭粒や焼土が散在する。

[柱穴・配置] PP 1～5 の5個を検出した。PP 2・3・4・5 の配置と考えられ、PP 2 とPP 5 の間に下位で確認されたS I 62-PP10を加えた五角形の配置であった可能性がある。

[炉] 石囲炉1基を検出した。大きさは90×80cm。花崗岩の石を使用し、50cmほどの巨礫もある。燃烧面の上に堆積する明赤褐色シルト（1層）を当初燃烧面と認識していたが、1層除去後に締まりのある焼土を検出した。燃烧面は床面と同じ高さで、焼土の厚さは5cmである。炉全体に土坑状の掘り方を伴う。

[その他の付属施設] なし。

遺物（第285～287・453・455、517・518（集成）図、写真図版195・196・328・329）

[出土状況] 縄文土器58,470.7g、土製品が出土した。埋土全体から遺物が出土し、出土量が多い。床面から、小型の深鉢（427）等が出土している。前期と中期の土器が出土している。

[縄文土器] 深鉢30点（427～456）。427・438・439・447は小型である。

[土製品] キノコ形土製品1点（2009）、円盤状土製品4点（2070～2073）。

時期 遺構の形状、新旧関係や出土遺物から縄文時代中期中葉～後葉（大木8b～9式期）と考えられる。  
（佐藤あゆみ）

## S I 59 竪穴住居跡

遺構（第60図、写真図版36）

[位置・検出状況] A区、ⅢC 9c・9d グリッド。Ⅱ～Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出した。S I 40 竪穴住居跡の南西側の壁・床面で見えていたもので、S I 40 竪穴住居跡の精査終了後に精査を開始した。

[重複関係] S I 40 竪穴住居跡に切られる。また、精査中に南側でS I 60 竪穴住居跡に切られていることが判明した。S I 59 竪穴住居跡（旧）→S I 40・60 竪穴住居跡（新）の関係がある。

[規模・平面形] 径5.5×3.5mの楕円形と推定される。

[埋土・堆積状況] 1層黒褐色土はS I 59・60 竪穴住居跡を覆っている土層、6層暗褐色土・7・8層褐色土はS I 59 竪穴住居跡埋土である。土層断面観察でS I 59・60 竪穴住居跡の新旧関係を把握した。

[壁・床面] 壁・床はⅢ～Ⅳ層を掘り込んでいる。壁高は50cmである。北側の壁を中心に壁溝が廻る。壁溝の幅15cm、深さ10cmである。

[柱穴・配置] PP 1～6 を検出した。配置は不明だが、PP 1・4 が支柱穴を構成する可能性がある。

[炉] 北側で焼土を1箇所検出したが、炉跡かどうかは不明である。S I 60 竪穴住居跡と重複する南側に存在していた可能性がある。

[その他の付属施設] なし。

遺物（第287・455・501、518（集成）図、写真図版196・329・357）

[出土状況] 縄文土器13,853.5g、土製品、金属製品が出土している。金属製品は混入したもので、重複するS I 42 竪穴住居跡に伴うものかもしれない。

[縄文土器] 深鉢3点（457～459）。

[土製品] 円盤状土製品5点（2074～2078）。

[金属製品] 板状製品1点（6052）。

**時期** 遺構の形状、重複関係、出土遺物から縄文時代中期中葉から後葉（大木8～9式期）と推測される。

### S I 60 竪穴住居跡

**遺構**（第61図、写真図版36）

[位置・検出状況] A区、ⅢC9c～10dグリッド。Ⅱ～Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出した。S I 59竪穴住居跡を精査中にS I 60竪穴住居跡の存在を確認し、認識を改めて調査を進めたものである。

[重複関係] 古代のS I 42竪穴住居跡と重複し、東側の壁・床を切られている。S K 104土坑によって切られていた。また、S I 59竪穴住居跡を切って、つくられている。

[規模・平面形] 径3.5mの円形基調と推定される。一部の壁が直線的である。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土、炭化物・焼土ブロックを含む黒色土を主体とする。

[壁・床面] 壁・床はⅣ層を掘り込んでいる。壁高は30cmである。北側の壁を中心に壁溝が廻る。壁溝の幅15cm、深さ5cmである。

[柱穴・配置] PP 1～11を検出した。PP 1・3・6・8・9・11の6本を支柱穴とする配置で、PP 3は炉の中軸線の延長上に位置し、炉を中心に対称となる配置である。PP 3は、調査時にはS I 59竪穴住居跡に伴う柱穴として解釈されているが、S I 60竪穴住居跡に伴う可能性もあると判断し、図示した。

[炉] 南西側に石囲炉1 + 石囲炉2で構成される複式炉1基を検出した。大きさは105×50cm。石囲炉1に焼土が形成され、石囲炉の外側にも焼土が形成されている。赤褐色土の焼土で、厚さ1cmである。

[その他の付属施設] なし。

**遺物**（第288・289・455・469・479、518・519（集成）図、写真図版197・198・329・337・342）

[出土状況] 縄文土器30,977.5g、土製品、石器が出土した。竪穴住居跡の北側PP 3の上位で、倒置された深鉢（460）を発見した。位置は、炉の中軸線の延長線上で北側は壁溝が切れた地点であり、何らかの意味をもって住居廃絶後に置かれたと推測される。他に床面中央付近から土器No.1（464）が出土した。

[縄文土器] 深鉢3点（460～462/S I 59・60）、深鉢9点（463～471）、深鉢1点（472/S I 60・69）。

[土製品] 円盤状土製品6点（2079～2084）。

[石器] 石鏃1点（2424）、石錘1点（4629）。

**時期** 出土遺物と遺構の重複関係などから縄文時代中期中葉から末葉（大木9～10式期）と推測される。床面直上の炭化物について放射性炭素年代測定を行った結果、<sup>14</sup>C年代3930±30yrBP、2σ暦年年代範囲2489calBC-2334calBC（91.7%）の測定値が出ている。

### S I 61 竪穴住居跡

**遺構**（第62～65図、写真図版37・38）

[位置・検出状況] A区、ⅢD9a～ⅣD1bグリッド。多量のマサ土と炭を含む黒褐色・暗褐色の範囲を検出した。範囲の広さから、規模の大きい竪穴の存在を想定して精査に着手した。

[重複関係] S I 06・33・44・49・82竪穴住居跡、S K I 09竪穴状遺構に切られる。S I 61→S I 82→S I 33→S I 44→S K I 09（新）、S I 61→S I 49→S I 06（新）の重複関係がある。土層観察により、S I 82竪穴住居跡より古いと判断したが、作業の進行上、本遺構の精査を優先した。

[規模・平面形] 重複により一部を失っている。規模は、およそ6.6×6.4mを測る。平面形は、複式炉側の壁が直線的でカマボコ形を呈する。柱穴配置と壁溝の形から、拡張が行われたと推測され、南壁が直線的な形状であることから、拡張前（古期）は、五角もしくは六角形の多角形を呈していた可能性がある。

[埋土・堆積状況] 床面直上に黄褐色土を含む粘性の弱い暗褐色シルト（14層）が堆積する。一部に



は、この下に古期の整地に伴う貼床と考えられる黄褐色シルト（17層）が認められる。埋土下位から中位には、径0.5～4cm程のマサ土粒～塊（12層）が厚く堆積し、崩落等が局所的に起きた可能性が考えられる。上位に堆積するにぶい黄褐色シルト（3層）も粒子の細かいマサ土が主体で、間に黒褐色シルト（6層）と明黄褐色シルト（4層）を挟むため時間幅が想定される。4層は炉の上部にのみ認められ、細礫が混じる黄褐色土が薄く堆積する。表面が硬く、炉周辺の上部にのみ検出されたため、炉の直上に堆積した脆弱な埋土を後世の人が強固に整地した可能性、例えば、本遺構より新しいS I 49堅穴住居跡に関係する可能性がある。埋土中位に確認された黒褐色シルト（9層）は、炭化材や土器片・礫を多量に含み、土器片は、おおむね縄文時代中期中葉に位置づけられるもので、本遺構の帰属時期より古い。堅穴全体にレンズ状に堆積していることから自然堆積と捉えたいが、炭化材が多く含まれることから、付近に縄文時代中期中葉の焼失住居など火災の痕跡を想定したものの、類似する遺構は認められず、検討が必要である。層中には部分的に人為的な要素も窺える状況である。

[壁・床面] 壁はⅢ層を掘り込み、一部で外傾するが、おおむね直立に立ち上がる。壁高は約120cmを測る。床面はⅢ層を掘り込み、炉周辺が若干低くなるが、おおむね平坦で硬く締まる。一部で黄褐色シルト（17層）の貼床が施されるが、建て替えによる古期施設の整地と考えられる。壁溝は、壁全体を巡る、幅27cm、深さ33cmを測る新規の壁溝、北壁内側に巡る直線的な形状で比較的浅い古期の壁溝がある。

[柱穴・配置] 25個を検出した。各柱穴の堆積土と重複・位置関係から2時期以上の変遷が考えられる。新規の柱穴は、PP1・2・8・9・10・15・23で、PP1・2は、土層観察から廃絶時に開口していたことが判明している。古期の柱穴は、PP3・6・11・12・13・14・16?で、埋土に炭が混じり、埋土上位の土が硬く締まり、人為的な埋め戻しが考えられる。PP24～26は貼床除去後に検出した。PP25の上面には貼床が検出されたが、PP25埋土と貼床の間には焼土が検出されているため、古期柱穴と同時期に機能していたか判断し難く、それよりも古い施設の可能性も考えられる。

[炉] 南壁側に複式炉1基を検出した。地床炉+石囲炉1+石囲炉2+掘り込み部の構造で、大きさは220×120cmである。炉の上部に堆積する9a層は礫を多く含み、炉付近が床面から若干低い。地床炉は厚さ約6cmの焼土が形成され、表面が硬く焼けていた。石囲炉1は、石組の礫の多くが陥落または抜き取られている。焼土2基（古期焼土1・2）を複式炉より北側床面で検出した。貼床に覆われており、堅穴の廃絶時は使用されていないと考えられる。両方とも浅い掘り方が認められる。古期焼土1下部の掘り方埋土から骨粉が多く出土した。

[その他の付属施設] なし。

遺物（第290・291・453・455・456・471・474・486・495・496、519・520（集成）図、写真図版199・200・328～330・338・339・347・353・354）

[出土状況] 縄文土器133,268.9g、土製品、石器、石製品が出土した。出土状況を平面図化していないが、土層観察ベルトD-D'内で確認できるとおり、土器は貼床（17層）上面に置かれていた。炉石上面から深鉢（473）が出土している。玦状耳飾1点は縄文時代前期の所産であり、混入したものと判断したい。

[縄文土器] 深鉢18点（473～479・483・484・486～494）、壺1点（480）、小型深鉢3点（481・482・485）。

[土製品] 三角罎形土製品1点（2004）、斧状土製品1点（2016）、円盤状土製品18点（2085～2102）。

[石器] 石錐1点（2902）、不定形石器1点（3356）、凹石1点（5421）。

[石製品] 垂飾品1点（5770）、玦状耳飾1点（5776）、磨製石斧ミニチュア2点（5789・5790）。

時期 遺構の形状、新旧関係と出土遺物から縄文時代中期末葉（大木10式期）に帰属すると考えられる。

（佐藤あゆみ）

## S I 62 竪穴住居跡

遺構（第65図、写真図版39）

[位置・検出状況] A区、IV D 1 b・1 c・2 b グリッド。北東側の一部が調査区域外にかかる。S I 58 竪穴住居跡の精査時に重複する遺構として認識し、調査区域の壁の土層観察により検出した。

[重複関係] S I 46・58 竪穴住居跡と重複し、S I 58 竪穴住居跡に切られる。S I 46 竪穴住居跡(旧)→S I 62 竪穴住居跡→S I 58 竪穴住居跡(新)の重複関係がある。

[規模・平面形] 東側が調査区域外にかかる。規模は、残存部でおよそ3.3×3.1mを測る。平面形の全容は不明だが、残存部で弧状を呈しており、円形基調と推定される。南西側の壁・床は消失している。

[埋土・堆積状況] 床面直上に堆積するのは、黄褐色土ブロックを多量に含んだ褐色シルト(6層)である。埋土中位には、締まりが疎い黒褐色シルト(4層)が堆積する。4層には焼土や灰黄褐色土がブロックで含まれ、人為的な様相である。一部で人為的な堆積が認められるが、おおむね自然堆積と考えられる。

[壁・床面] 壁はⅢ層を掘り込み、外傾し立ち上がる。壁高は約40cmを測る。床面はⅢ層を掘り込む。南側が低くなるが、凹凸は無く硬さがある。

[柱穴・配置] 10個を検出した。規則的な配置は認められない。

[炉] 検出されなかった。

[その他の付属施設] なし。

遺物（第292・456・475、520（集成）図、写真図版200・330・339）

[出土状況] 縄文土器11,097.1g、土製品、石器が出土した。

[縄文土器] 深鉢4点（495～499）。

[土製品] 円盤状土製品1点（2103）。

[石器] 不定形石器1点（3361）。

時期 遺構の形状、新旧関係や出土遺物などから縄文時代前期後葉（大木5式期）と考えられる。

（佐藤あゆみ）

## S I 64 竪穴住居跡

遺構（第66図、写真図版39）

[位置・検出状況] A区の西側、Ⅲ C 9 e・10 d・10 e グリッド。古代のS I 42 竪穴住居跡の精査中、Ⅱ～Ⅲ層の床面で黒褐色土の広がりとして検出した。S I 42 竪穴住居跡の精査終了後に精査を開始した。

[重複関係] S I 42 竪穴住居跡に切られる。またS I 59 竪穴住居跡を切っている。

[規模・平面形] 径4.0m前後である。直線的な壁も見られることから多角形を呈するかもしれない。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土を主体とする。

[壁・床面] 壁は不明瞭で、床はⅢ層を掘り込んでいる。西側の壁高は10cmほどである。北側と南側の壁の一部に壁溝が廻る。壁溝の幅15～20cm、深さ10cmである。

[柱穴・配置] PP 1～8を検出した。PP 1・3、4・7、5・6は、中軸線を挟み対称的な配置である。

[炉] 南側に石囲炉1・2からなる複式炉1基を検出した。大きさは130×80cmで、平面では図示されていないが、石囲炉2は緩く落ち込む。石囲炉1の内外に赤褐色の焼土が形成されている。厚さは3cmである。

[その他の付属施設] なし。

遺物（第292・293・476・486、520・521（集成）図、写真図版201・202・341・347）

[出土状況] 縄文土器17,326.8g、石器が出土した。PP 2と北壁の間から土器No.1（506）が出土している。

[縄文土器] 深鉢11点（502～512）、深鉢1点（513/S I 64・65）。

[石器] 磨製石斧1点(4543)。凹石1点(5422)。

時期 遺構の形状、重複関係、出土遺物などから縄文時代中期末葉(大木10式期)と推測される。

### S I 65 竪穴住居跡

遺構(第67図、写真図版39)

[位置・検出状況] A区の西側、ⅢC9e～10fグリッド。Ⅱ層で黒色土・黒褐色土の広がりとして検出した。東側・南側を遺構の重複で欠く。

[重複関係] 西側でS I 64竪穴住居跡と重複し、切られる。東側ではS I 73竪穴住居跡に切れ、南側ではS I 78竪穴住居跡に切られている。

[規模・平面形] 径4mの円形基調と推定される。一部直線的な壁から多角形であった可能性もある。

[埋土・堆積状況] 黒色土・黒褐色土を主体とする。

[壁・床面] 壁・床はⅢ・Ⅳ層を掘り込んでいる。壁高は70cmである。壁溝は一部途切れる箇所もあるが、2重となっている。東側に拡張した可能性があるが、炉の位置を基準にするとやや歪な感じがある。

[柱穴・配置] PP1～3を検出したが、不規則であり、配置は不明である。

[炉] 南西側に石囲炉1基を検出した。径55×35cmの長方形で、内部の焼土の厚さは5cmである。

[その他の付属施設] なし。

遺物(第293～295・456、521(集成)図、写真図版202・203・330)

[出土状況] 縄文土器30,617.0g、土製品が出土した。

[縄文土器] 深鉢19点(514～532)。

[土製品] 円盤状土製品1点(2104)。

時期 遺構の形状、重複関係、出土遺物などから縄文時代中期後葉(大木9式期)と推測される。

### S I 66 竪穴住居跡

遺構(第68・69図、写真図版40)

[位置・検出状況] A区、ⅢD8c～9bグリッド。S I 34竪穴住居跡の床面精査時に褐色～暗褐色シルトのプランを検出した。プランの一部が直線的であったこと、S I 35竪穴住居跡と重複する西側にも壁溝のプランが続くことから、大形住居いわゆるロングハウスを想定して、精査に着手した。

[重複関係] S I 34・35・61・85・95・98竪穴住居跡、S K I 12竪穴状遺構、S K I 102土坑と重複し、これらの遺構に切られている。S I 66→S I 98→S I 95→S I 85→S I 34→S I 61竪穴住居跡(新)、S I 66竪穴住居跡(旧)→S K I 12竪穴状遺構→S I 35竪穴住居跡(新)の重複関係がある。

[規模・平面形] 南西側を遺構の重複により失っている。規模は、およそ14.1×5.2mを測る。平面形は、両端が弧状となり、楕円形を呈する。

[埋土・堆積状況] 床面直上に堆積するのは、暗褐色シルト(12層)である。北壁際には、崩落土と考えられる褐色シルト(13～16層)が認められ、自然堆積と考えられる。

[壁・床面] 壁はⅢ・Ⅳ層を掘り込み、外傾し立ち上がる。壁高は約150cmを測る。床面はⅢ・Ⅳ層を掘り込む。西側は遺構の重複のため、使用時の床面を失っているが、残存部は平坦で硬く締まる。北側壁に幅41cm、深さ33cmの壁・溝が廻り、東角で壁溝が浅くなり、途切れている。

[柱穴・配置] 12個を検出した。残存部で検出できたPP1～3、5～8、11の8個は、支柱穴を構成していた一部と考えられる。S I 35重複部分は、深く掘られていたと考えられるPP5・6のみを確認した。これらは、長軸に沿って等間隔に2本1対で設置され、6×2本の配置になっていたと推察される。

[炉] 地床炉2基を検出した。いずれも直径約70cmの円形で、焼土の厚さは約5cmである。住居跡の長軸の中心線上に並ぶ配置で、床面が失われている西側にも同様の地床炉が存在していた可能性が高い。

[その他の付属施設] なし。

**遺物** (第295・456、521 (集成) 図、写真図版203・204・330)

[出土状況] 縄文土器18,232.1g、土製品が出土した。精査当初、S I 95・98竪穴住居跡の重複を認識していなかったため、これらの遺構に帰属する遺物が混入している可能性が考えられる。

[縄文土器] ミニチュアの深鉢1点 (533)、深鉢9点 (534～542)、深鉢1点 (543/S I 66・67)。

[土製品] 円盤状土製品2点 (2105・2106)。

**時期** 遺物は前期後葉から末葉 (大木5～6式期)、中期後葉から末葉 (大木9～10式期) が混在する。遺構の形状からは縄文時代前期の可能性がある。

(佐藤あゆみ)

### S I 67竪穴住居跡

**遺構** (第70図、写真図版41)

[位置・検出状況] A区、ⅢC10dグリッド。古代のS I 42竪穴住居跡の精査中に床面のⅢ層で黒褐色土の広がりをも別遺構として認識していた。S I 42竪穴住居跡の精査終了後に精査を開始した。

[重複関係] S I 42竪穴住居跡に切られ、S N30炉跡とS I 77竪穴住居跡を切っている。

[規模・平面形] 径2.9mの円形基調である。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土を主体とする。

[壁・床面] 壁・床はⅣ層を掘り込んでいる。壁高は最大15cmである。北東側に壁溝が廻る。壁溝の幅10～15cm、深さ5cmである。

[柱穴・配置] PP1～4を検出した。炉の中軸線を中心にPP1・2、PP3・4が対称に配置される。

[炉] 石囲炉+掘り込み部の複式炉1基を検出した。大きさは90×50cmである。石囲炉の内側に厚さ4cmの赤褐色の焼土が形成されている。掘り込み部は平面では図示されていないが、断面では5cm程緩く窪む。一辺の一部に石が組まれている。石囲炉の焼成面も5cm程床面より窪んでいる。

[その他の付属施設] なし。

**遺物** (第296・456、521 (集成) 図、写真図版204・330)

[出土状況] 縄文土器12,260.6g、土製品が出土した。

[縄文土器] 深鉢4点 (544～547)、546は小型の深鉢である。

[土製品] 円盤状土製品1点 (2107)。

**時期** 遺構の形状、重複関係や出土遺物などから縄文時代中期後葉 (大木9式期) と推測される。

### S I 68竪穴住居跡

**遺構** (第71図、写真図版42)

[位置・検出状況] A区、ⅢC9h・10hグリッド。Ⅱ層の掘削中に土器埋設炉を検出した。その高さで平面精査を行ったところ、周囲でピットを検出し、土層断面の観察で住居の立ち上がりと考えられる形状を確認できたことから、住居として名称を付けた。

[重複関係] S I 56・72竪穴住居跡を切り、S I 37・39・71竪穴住居跡に切られる。

[規模・平面形] 残存部で長軸3.1m、短軸2.6mである。平面形は不明である。

[埋土・堆積状況] 灰黄褐色土が堆積し、遺物や礫を顕著に含むことから、人為的に埋め戻されている。

ると考えられる。

[壁・床面] II層および隣接する遺構の埋土を切り込んで壁・床面がつくられている。壁高18cm。床面は掘り過ぎた部分が多く、不明なところもあるが、残存範囲からはおよそ平坦であったと考えられる。

[柱穴・配置] PP 1～5の5個を検出した。住居北側を中心に確認しているが、配置等は不明である。

[炉] 土器埋設炉を2基検出した。土器埋設炉1は住居の中央やや東側に構築されている。深鉢形土器を横位で埋設し、口縁部側を除く土器の周囲に石を廻らせている。大きさは168×94cm、焼土の厚さは8cmである。土器埋設炉2は住居の中央やや南側に構築されている。深鉢形土器を横位で埋設し、口縁部側を除く土器の周囲に石を廻らせている。大きさは116×68cm、焼土の厚さは5cmである。

[その他の付属施設] なし。

遺物 (第296・297、522 (集成) 図、写真図版204・205)

[出土状況] 縄文土器9,941.7gが出土した。炉の埋設土器(548)と炉に一部重なる状態で土器p 1(550)が出土している。548は斜位に炉に埋設されていた土器で、口縁部を斜めに欠く。

[縄文土器] 深鉢4点(548～551)。

時期 遺構の形状、重複関係、出土遺物などから縄文時代中期末葉(大木10式期)と推測される。

(河本純一)

### S I 69 竪穴住居跡

遺構 (第72図、写真図版41)

[位置・検出状況] A区、ⅢC 10b・10cグリッド。II層で黒褐色土の広がりとして検出した。斜面下位の南側の壁・床は消失している。

[重複関係] 東側でS I 79竪穴住居跡と重複し、切られている。

[規模・平面形] 径3.5m前後の円形基調と推定される。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土を主体とする。

[壁・床面] 壁・床はIV層を掘り込んでいる。壁高は最大40cmである。北側の壁を中心に一部に壁溝が廻る。壁溝の幅10cm、深さ5cmである。

[柱穴・配置] 検出できなかった。

[炉] 石囲炉1基を検出した。径40cmの円形基調の石囲炉で、内部に赤褐色の焼土が形成されている。厚さは最大3cmである。焼成面は、周囲の床より5cmほど下がっている。

[その他の付属施設] なし。

遺物 (第297、522 (集成) 図、写真図版205)

[出土状況] 縄文土器11,285.5gが出土した。炉に一部重なる状態でp 1(552)が出土している。

[縄文土器] 深鉢4点(552～555)。

時期 遺構の形状、重複関係、出土遺物などから縄文時代中期末葉(大木10式期)と推測される。

### S I 70 竪穴住居跡

遺構 (第73図、写真図版42)

[位置・検出状況] A区、ⅢC 9f・9gグリッド。S I 54竪穴住居跡の精査中に、この住居とは別の壁溝が存在することが分かり、住居として名称を付けた。

[重複関係] S I 55竪穴住居跡を切り、S I 54竪穴住居跡に切られる。

[規模・平面形] 残存する範囲で、長軸3.0m、短軸2.6m。北側に残る壁溝の形状から、円形を基調と

するものと推定される。

[埋土・堆積状況] 上位は灰黄褐色土、中位は黒褐色土、下位はにぶい黄褐色土。埋土の残りが僅かなため、自然堆積か人為堆積かは判断できない。

[壁・床面] Ⅲ層および隣接する遺構の埋土を切り込んで壁・床面がつくられている。壁高35cm。床面は残存範囲からおよそ平坦であったと考えられる。北東～西側に幅17cm、深さ33cmの壁溝が廻る。

[柱穴・配置] PP 1～9の9個を検出した。主柱穴およびその配置は不明である。

[炉] 検出できなかった。S I 54・73竪穴住居跡の構築時に削平されたものと推定される。

[その他の付属施設] なし。

遺物（第469、522（集成）図、写真図版337）

[出土状況] 石器が出土した。

[石器] 石鏃1点（2438）。

時期 時期を判断できる遺物が出土していないが、遺構の重複関係などから縄文時代中期と推測される。

（河本純一）

### S I 71竪穴住居跡

遺構（第74～76図、写真図版43）

[位置・検出状況] A区の東側、ⅢC10g～ⅣC1hグリッド。Ⅱ層で黒色土の広がりとして検出した。

[重複関係] S I 72竪穴住居跡を切っていることは、断面の土層観察で確認した。S I 75竪穴住居跡に切られていることは、断面観察及びS I 71竪穴住居跡の炉の検出状況から判断した。これらの遺構の関係は、S I 72竪穴住居跡（旧）→S I 71竪穴住居跡（新）→S I 75竪穴住居跡（最新）の新旧関係がある。

[規模・平面形] 径7.2×7.82m、楕円形である。一部の壁が直線的で、多角形を呈していた可能性がある。

[埋土・堆積状況] 黒色土・黒褐色土・暗褐色土を主体とする。

[壁・床面] 壁・床はⅣ層を掘り込んでいる。壁高は最大60cmである。一部確認できない部分もあるが、幅20cm、深さ15cmほどの壁溝が廻る。

[柱穴・配置] PP 1～12を検出した。PP 3・2・6・7・5・1・4が主柱穴と考えられる。炉2を通る中軸線を基準に対称となる配置で、規模はPP 1・2・3・4が大きく、PP 5・6と中軸線上に位置するPP 7がやや小さい。PP 1・6・2は柱当たりと掘り方の痕跡を埋土に遺している。炉のつくり替えに伴う2時期分の柱配置は確認できなかった。

[炉] 住居の南側で上下関係をもつ複式炉2基を検出した。炉1（新）は、地床炉+掘り込み部で、地床炉と掘り込み部の間に長い礫を設置している。大きさは220×120cm、焼土の厚さ2cmである。炉2（旧）は、炉1の精査中、炉1がつくられた明黄褐色土の下位にある炉として確認した炉で、土器埋設炉+掘り込み部で正立で埋められた埋設土器の周囲と掘り込み部の底面に焼土が形成されていた。大きさは225×80cm、焼土の厚さ2cmである。掘り込み部の焼土の上に礫が置かれていた。

[その他の付属施設] なし。

遺物（第298・299・456・471・477・480・483・486・495、522・523（集成）図、写真図版206・207・330・338・341・343・345・347・353）

[出土状況] 縄文土器40,803.1g、土製品、石器、石製品が出土した。炉の埋設土器（556）がある。石器1（4714）・2（5353）がPP 1の南側から出土している。

[縄文土器] 深鉢13点（556～568）。556は炉の埋設土器である。うち558・563の2点は小型の深鉢、561の1点はミニチュアである。

[土製品] 円盤状土製品1点(2108)。

[石器] 石錐1点(2904)、磨製石斧2点(4545・4546)、磨石A類1点(4714)、敲石1点(5353)、凹石1点(5425)。

[石製品] 垂飾品1点(5771)。

時期 遺構の形状、重複関係、出土遺物などから縄文時代中期末葉(大木10式期)と推測される。

### S I 72 竪穴住居跡

遺構(第77・78図、写真図版44)

[位置・検出状況] A区の東側、ⅢC9i～ⅣC1jグリッド。Ⅱ層で黒色土の広がりとして検出した。S I 71竪穴住居跡の精査時にS I 71竪穴住居跡に切られる竪穴住居跡として存在を確認した。

[重複関係] S I 71・86竪穴住居跡と重複する。S I 71竪穴住居跡に切られている。S I 86竪穴住居跡との新旧関係は明確ではなかったが、S I 86竪穴住居跡が新しい可能性がある。

[規模・平面形] 遺構が重複する南側は壁・床等を明瞭に検出できなかった。径7mほどの円形基調と判断されるが、直線的な壁もあり、多角形を呈していたのかもしれない。

[埋土・堆積状況] 黒色土・暗褐色土を主体とする。

[壁・床面] 壁・床はⅣ層を掘り込んでいる。壁高は最大60cmである。西側から北側に幅20～25cm、深さ5cm程の壁溝が廻る。

[柱穴・配置] PP1～19を検出した。PP11・10・8・5・3・2が主柱穴と考えられる。PP1・12、PP4・9、これにPP13を加えた配置も考えられる。PP18・19は複式炉に伴う小柱穴の可能性もあり、炉に伴う掘り込み部を確認できていないが、構造的にはPP18・19まで含むと考えることも可能である。

[炉] 石囲炉が三つ連なる複式炉1基を検出した。大きき250×100cmで、石囲炉1・2の全面に厚さ5cmの焼土が形成されている。炉の周囲には貼床が施されている。石囲炉3と南側の壁には距離があり、掘り込み部は確認できなかったが、PP18・19まで炉の範囲が広がっていた可能性もある。

[その他の付属施設] なし。

遺物(第299～301・456・471・475・477・484・486、523(集成)図、写真図版207・208・330・338・340・341・345・347)

[出土状況] 縄文土器68,155.6g、土製品、石器が出土した。

[縄文土器] 深鉢22点(569～590)。うち582・589の2点はミニチュアである。

[土製品] 円盤状土製品5点(2109～2113)。

[石器] 石錐1点(2905)、不定形石器1点(3371)、磨製石斧2点(4549・4551)、敲石1点(5354)、凹石1点(5429)。

時期 遺構の形状、重複関係、出土遺物などから縄文時代中期末葉(大木10式期)と推測される。

### S I 73 竪穴住居跡

遺構(第79・80図、写真図版45)

[位置・検出状況] A区、ⅢC9f～ⅣC1gグリッド。S I 70竪穴住居跡の精査中に、その床面で当住居の輪郭を検出し、住居として名称を付けた。

[重複関係] S I 54・56・71・78竪穴住居跡を切る。

[規模・平面形] 長軸7.0m、残存する短軸6.4m、円形を基調とするが、壁に直線的な箇所も見られ、多角形に近い様相を呈する。

[埋土・堆積状況] 上位は灰黄色～灰黄褐色砂、中位は黒褐色土、下位は暗灰黄色～褐灰色土。レンズ状の堆積から、主に自然堆積によって埋没したものと考えられる。なお、下～中位埋土は土、上位埋土は砂と、堆積物に顕著な違いがあり、堆積する要因が下～中位と上位とで異なっている可能性が考えられる。

[壁・床面] Ⅲ層および隣接する遺構の埋土を切り込んで壁・床面がつくられている。壁高57cm。床面はほぼ平坦である。

[柱穴・配置] PP 1～30の30個を検出した。主柱穴はPP 1・3・5・6および現地調査の段階ではS I 78竪穴住居跡に帰属すると捉えていたS I 78-PP10を加え、中軸線を挟んで2本が対称に並び中軸線上に1本存在する5本配置の可能性が考えられる。

[炉] 土器埋設炉1基を検出した。住居の中央やや南東側に構築されている。深鉢形土器を2個体、ともに斜位で埋設している。大きさは110×100cm、焼土の厚さは12cmである。

[その他の付属施設] なし。

遺物 (第302・456・469・474・477、524 (集成) 図、写真図版209・330・337・339・341)

[出土状況] 縄文土器28,827.9g、土製品、石器が出土した。炉の埋設土器 (592・593) がある。

[縄文土器] 深鉢1点 (591/S I 72・73)。深鉢5点 (592～596)、深鉢1点 (597/S I 73・ⅢC 9 f)。

[土製品] 円盤状土製品1点 (2114)。

[石器] 石鏃1点 (2445)、両極石器1点 (3147)、磨製石斧1点 (4553)。

時期 遺構の形状、重複関係、出土遺物などから縄文時代中期末葉 (大木10式期) と推測される。

(河本純一)

### S I 75竪穴住居跡

遺構 (第81～84図、写真図版46)

[位置・検出状況] A区の東側、ⅢC 10g～ⅣC 2hグリッド。Ⅱ層で黒色土の広がりとして検出した。すでにⅡ層中で古代のS I 52竪穴住居跡を調査中に下位に存在する竪穴住居跡の存在を認識しており、S I 52竪穴住居跡の精査終了後に掘り下げて、精査を開始した。

[重複関係] 北側でS I 71竪穴住居跡と重複する。S I 71竪穴住居跡を切っている。南側の炉の部分でS K 132土坑と重複する。S K 132土坑は、複式炉と重複しており、平面及び断面観察からS I 75の炉跡 (旧) → S K 132土坑 (新) の新旧関係と判断した。

[規模・平面形] 径8.5～7m程の円形基調だが、一部の壁が直線的で、多角形を呈する形状であった可能性もある。

[埋土・堆積状況] 黒色土・暗褐色土を主体とする。

[壁・床面] 壁・床はⅣ層を掘り込んでいる。壁高は最大50cmである。全体に壁溝が廻る。壁溝の様相から2時期の建て替えが想定される。

[柱穴・配置] PP 1～36を検出した。PP 1・2・9・6・8が主柱穴と考えられる。PP 1・2・5は柱当たりと掘り方が確認できる。炉の中軸線の延長上に位置するPP 9は規模がやや小さい。

[炉] 南側に複式炉1基を検出した。石囲炉1・2と掘り込み部が伴う構造である。石囲炉2は、S K 132と切られ、壊されており、詳細は不明である。石囲炉1と石囲炉2の内側全面に焼土が形成されている。焼土の厚さは4cm程である。炉の周囲には、一部に貼床が施されている。炉の大きさは、ハの字形で300×200cmである。東側の掘り込み部が西側より開く。北側にも地床炉が数箇所点在する。

[その他の付属施設] なし。

遺物 (第282・302・303・474～476・480、524・525 (集成) 図、写真図版192・209・210・339・340・343・385)



[出土状況] 縄文土器38,009.8g、石器、植物遺存体が出土した。北側の壁際から土器1・2(600)が出土している。住居北側の床面から炭化したクリを主とする植物遺存体(炭化種実)が広範囲に出土した。範囲は約300×200cmの不整な形状である。PP2の西側から剥片6点がまとまって出土している。

[縄文土器] 深鉢1点(383/S I 52・75)。深鉢16点(598～613)。うち605の1点は小型の深鉢。

[石器] 両極石器1点(3148)、剥片6点(4443～4448)、磨石A類2点(4744・4745)。

[植物遺存体] クリ果皮・子葉(7632・7635・7636・7638～7640)・子葉(7633・7641～7644)・子葉(食痕?)(7634・7637・7645～7647)・果皮(7648～7651)、トチノキ子葉(7652)。詳細は、V分析・鑑定を参照されたい。

**時期** 遺構の形状、重複関係、出土遺物などから縄文時代中期末葉(大木10式期)と推測される。埋土6層出土の炭化物について放射性炭素年代測定を行った結果、<sup>14</sup>C年代4020±30yrBP、2σ暦年年代範囲2581calBC-2471calBC(95.4%)の測定値が出ている。

### S I 76 竪穴住居跡

**遺構** (第84図、写真図版47)

[位置・検出状況] A区、IV D 2 b グリッド。全体の殆どが調査区域外にかかる。S I 58 竪穴住居跡の調査終了後、II層を掘り下げ中に土器を含む黒褐色土の広がりを検出した。断面の形状や床面の硬さ等から竪穴と判断し、精査を進めた。

[重複関係] S I 50・58・62 竪穴住居跡と重複し、S I 50 竪穴住居跡に切られている。これらの遺構は、S I 62 竪穴住居跡→S I 58 竪穴住居跡→S I 76 竪穴住居跡→S I 50 竪穴住居跡(新)の新旧関係がある。

[規模・平面形] 規模は、残存部で約1.9×1.3mを測る。平面形の全容は不明で、残存部が弧状を呈する。

[埋土・堆積状況] 床面直上に堆積するのは、黄褐色土が混入する暗褐色シルト(5層)である。埋土中位に堆積する2 a 層・4層には、土器片を多く含む。人為的な埋土は認められず自然堆積と考えられる。

[壁・床面] 壁はS I 62・117 竪穴住居跡の埋土を掘り込み、外傾して立ち上がる。壁高は約30cmを測る。床面は、後に存在が確認されたS I 117 竪穴住居跡埋土を掘り込み、残存部は平坦で硬く締まる。

[柱穴・配置] 1個を検出した。配置は不明である。

[炉] 検出されなかった。

[その他の付属施設] なし。

**遺物** (第303、525(集成)図、写真図版210)

[出土状況] 縄文土器5,703.6gが出土した。

[縄文土器] 深鉢2点(614・615)。

**時期** 遺構の形状、新旧関係、出土遺物などから縄文時代中期後葉(大木9式期)と考えられる。

(佐藤あゆみ)

### S I 77 竪穴住居跡

**遺構** (第85図、写真図版47)

[位置・検出状況] A区、III C 10 c～IV C 1 d グリッド。IV層で黒褐色土の広がりとして検出した。

[重複関係] S I 67・79・80 竪穴住居跡と重複し、切られている。

[規模・平面形] 径4.5～6m程の不整な楕円形基調である。一部の壁が直線的に廻る。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土を主体とする。

[壁・床面] 壁・床はIV層を掘り込んである。壁高は最大35cmである。北側の壁を中心に壁溝が廻る。

壁溝の幅10～30cm、深さ5～10cmである。

[柱穴・配置] PP1～7を検出した。PP1・2・3・4・5・6の6本が支柱穴と考えられ、炉の中心を通る中軸線を挟んで対称となる配置である。

[炉] 石囲炉1基を中心より南側で検出した。径70×55cmの楕円形で、内部には厚さ2cmの赤褐色の焼土が形成されている。石囲炉内は周囲の床面より5～8cm程掘り窪められ、下がっている。

[その他の付属施設] なし。

**遺物** (第303～305・456・471、525 (集成) 図、写真図版210・211・330・338)

[出土状況] 縄文土器20,492.4g、土製品、石器が出土した。炉に近接して径60cmほどの扁平な垂角礫が出土した。

[縄文土器] 深鉢14点 (616～619・621～630)、うち617の1点は小型深鉢である。壺1点 (620)。

深鉢1点 (631 / S I 77・IV C 1 d)。

[土製品] 円盤状土製品1点 (2115)。

[石器] 石錐1点 (2906)。

**時期** 遺構の形状、重複関係、出土遺物などから縄文時代中期後葉 (大木9式期) と推測される。

### S I 78 竪穴住居跡

**遺構** (第86～88図、写真図版48)

[位置・検出状況] A区、ⅢC10e～IVC1fグリッド。S I 73竪穴住居跡の精査中に、その床面で当住居の輪郭を検出し、住居として名称を付けた。

[重複関係] S I 102竪穴住居跡を切り、S I 73竪穴住居跡に切られる。

[規模・平面形] 残存する範囲で、長軸5.9m、短軸5.5m。隅丸方形基調と推定される。

[埋土・堆積状況] 上位は灰黄褐色土、中位は褐灰色土、下位は灰黄褐色～黒褐色土。レンズ状の堆積から、主に自然堆積によって埋没したものと考えられる。

[壁・床面] Ⅲ層および隣接する遺構の埋土を切り込んで壁・床面がつくられている。壁高62cm。床面は平坦だが、南側に若干下がる。南～東側を除く住居の周囲に幅22cm、深さ9cmの壁溝が断続的に廻る。

[柱穴・配置] 住居北側にPP1～46の46個を検出した。支柱穴はPP1～4・8・13または現地調査の段階でS I 73-PP6と把握した柱穴で、炉を通る中軸線を挟んで3本が対称に並ぶ6本配置と考えられる。あるいは調査の段階でS I 102-PP12・17とした2本を含む8本配置の可能性もある。

[炉] 住居の南側に石囲炉1・2と掘り込み部の構造と推定される複式炉1基を検出した。廃絶後に壊されているようだが、大きさは201×117cm、焼土の厚さは最大8cmである。この複式炉の焼土の下位にも別の掘り込みと焼土が存在し、炉がつくり替えられた可能性がある。複式炉の北側で確認した花崗岩を主とする礫群は、複式炉から抜き取られ、集積された炉石の可能性も考えられる。

[その他の付属施設] なし。

**遺物** (第305・306・456・469・471・480・488、525・526 (集成) 図、写真図版211・212・330・337・338・343・348)

[出土状況] 縄文土器54,807.6g、土製品、石器が出土した。

[縄文土器] 深鉢18点 (632～646、648～650)、ミニチュア深鉢1点 (647)。

[土製品] 円盤状土製品11点 (2116～2126)。

[石器] 石鏃1点 (2450)、石錐1点 (2907)、磨石A類1点 (4758)、石皿1点 (5499)。

**時期** 遺構の形状、重複関係、出土遺物などから縄文時代中期後葉 (大木9式期) と推測される。

(河本純一)

### S I 79 竪穴住居跡

遺構（第88図、写真図版47）

[位置・検出状況] A区西側、ⅢC10cグリッド。Ⅱ層で黒色土の広がりとして検出した。

[重複関係] S I 69・77竪穴住居跡と重複し、これらの遺構を切っている。S I 79竪穴住居跡が新しい。

[規模・平面形] 径2.5×2.9mで、直線的な壁が見られることから、多角形を呈すると推測する。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土を主体とする。

[壁・床面] 壁・床はⅣ層を掘り込んでいる。壁高は最大20cmである。床はほぼ平坦である。

[柱穴・配置] PP 1～5を検出した。PP 1・2・3・4または5からなる4本配置と考えられる。

[炉] 中心から東側に石囲炉1基を検出した。一辺約50cmの方形基調で、東端に大型の礫が用いられている。石囲炉内部は周囲の床面より8cm下がり、赤褐色の焼成面が形成される。焼土の厚さは3cmである。

[その他の付属施設] なし。

遺物（第306・307・457、526（集成）図、写真図版212・330）

[出土状況] 縄文土器5,811.4g、土製品が出土した。床面で土器No.1（該当土器不明）が出土している。

[縄文土器] 深鉢3点（651～653）。

[土製品] 円盤状土製品1点（2127）。

時期 遺構の形状、重複関係、出土遺物などから縄文時代中期末葉（大木10式期）と推測される。

### S I 80 竪穴住居跡

遺構（第89・90図、写真図版49）

[位置・検出状況] A区西側、ⅣC1c～2dグリッド。Ⅱ層で黒褐色土の広がりとして検出した。

[重複関係] S I 77竪穴住居跡と重複し、切っている。

[規模・平面形] 径5.5×5.3mで、個々の壁が直線的に廻っており、多角形を呈するものと推定される。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土を主体とする。自然堆積の様相を示す。

[壁・床面] 壁・床はⅣ層を掘り込んでいる。壁高は最大50cmである。幅30～20cm、深さ15～25cmの壁溝が廻る。

[柱穴・配置] PP 1～20を検出した。規模の大きなPP 1・2・3・4を主とし、やや規模の小さなPP15・16・10・20を加えた8本の配置と考えられる。炉の中心を通る中軸線を挟んで対称になる配置である。

[炉] 南側に石囲炉1・2と掘り込み部からなる複式炉1基を検出した。大きさは230×90cmである。石囲炉の北側にある浅いピットに用途を類推できる痕跡は確認できず、一連のものか不明である。石囲炉1・2の境界に礫が横位に置かれ、焼土は石囲炉1と2にまたがって形成されている。明赤褐色土の焼土で厚さ6cmである。石囲炉2は南西側の底面に亜角礫が敷かれている。掘り込み部の上端の一部にも大小の礫が置かれている。各部位とも周囲の床面より底面が下がっている。

[その他の付属施設] なし。

遺物（第307～310・457・472・477・478・491、526・527（集成）図、写真図版213～215・330・338・341・351）

[出土状況] 縄文土器60,735.7g、土製品、石器、石製品が出土した。竪穴の北側から土器No.1（655）が出土している。深鉢の口縁部付近で、器高8cm程度が残存する。

[縄文土器] 深鉢17点（654～665・667～671）、壺1点（666）。

[土製品] 円盤状土製品6点（2128～2133）。

[石器] 石匙1点（2961）、磨製石斧3点（4555～4557）。

[石製品] 石棒1点(5708)。

時期 遺構の形状、重複関係、出土遺物などから縄文時代中期末葉(大木10式期)と推測される。

### S I 81 竪穴住居跡

遺構(第91図、写真図版50)

[位置・検出状況] A区東側、IV C 2 f ~ 4 g グリッド。トレンチ1025の断面観察で竪穴状の壁・床を確認しており、その後、II層で黒褐色土と灰黄褐色土の広がりとして検出した。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 詳細は不明だが、径5.5mほどの円形基調と推定されるが、やや不整である。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土と灰黄褐色土を主体とする。

[壁・床面] 壁・床はII~III層を掘り込んでいる。壁高は最大50cmである。西壁際の一部に壁溝が廻る。

[柱穴・配置] 炉の周辺にPP 1 ~ 41を検出した。配置は不明である。

[炉] 南側で複式炉1基を検出した。不明瞭だが、石囲炉+掘り込み部からなる複式炉と判断した。石囲炉は径190×80cm程の方形で、東側の石を欠く。焼土は中央寄りに50×40cmの範囲で形成されている。焼土の厚さは6cmである。掘り込み部は100×70cmの楕円形である。深さは5~10cmと浅い。

[その他の付属施設] なし。

遺物(第310・454・478、527(集成)図、写真図版215・216・328・342)

[出土状況] 縄文土器10,030.7g、土製品、石器が出土した。

[縄文土器] 深鉢5点(672~674・676・677)、浅鉢?1点(675)。

[土製品] 環状土製品1点(2018)。

[石器] 磨製石斧1点(4558)。

時期 遺構の形状、重複関係、出土遺物などから縄文時代中期後葉(大木9式期)と推測される。

### S I 82 竪穴住居跡

遺構(第92図、写真図版51)

[位置・検出状況] A区東側、III C 10 j ~ IV D 2 a グリッド。S I 61竪穴住居跡の精査時に南側壁の立ち上がりを確認するため設定したトレンチの土層観察でS I 61竪穴住居跡を切る竪穴として確認したが、作業の進行上、S I 61竪穴住居跡を先行して調査したため当竪穴の北側の壁・床を消失した。

[重複関係] S I 61竪穴住居跡(旧)→S I 82竪穴住居跡(新)の関係がある。

[規模・平面形] 径5.6mの円形基調と推測される。

[埋土・堆積状況] 灰黄褐色土・にぶい黄褐色土を主体とする。

[壁・床面] 壁・床はII層を掘り込んでいる。壁高は最大30cmである。石囲炉の周辺に顕著な黄褐色(5層)の貼床を確認した。床面の認識は難しく、北側の床は一部掘り過ぎた部分がある。

[柱穴・配置] PP 1 ~ 6を検出した。石囲炉を通る中軸線を挟んで対称になるが、やや歪である。

[炉] 石囲炉1基を検出した。径100×75cmの長方形である。焼土は石囲炉内の全面と外側に確認できた。焼土の厚さは6cmである。

[その他の付属施設] なし。

遺物(第311・312・457・469・472・475・478・486・488・496、528(集成)図、写真図版216~218・330・337・338・340・342・347・348・354)

[出土状況] 縄文土器41,949.2g、土製品、石器、石製品が出土した。床面で土器No.1(681)・石器No.

## 1 検出遺構

1 (5501) が出土している。玦状耳飾は、前期に帰属するもので、混入したものと思われる。

[縄文土器] 深鉢16点 (678～693)、深鉢ミニチュア1点 (694)。

[土製品] 円盤状土製品3点 (2134～2136)。

[石器] 石鎌1点 (2452)、石匙1点 (2963)、不定形石器1点 (3388)、磨製石斧1点 (4559)、凹石1点 (5434)、石皿1点 (5501)。

[石製品] 玦状耳飾1点 (5777)、磨製石斧ミニチュア1点 (5791)。

時期 遺構の形状、重複関係、出土遺物などから縄文時代中期末葉（大木10式期）と推測される。

### S I 83 竪穴住居跡

遺構 (第93図、写真図版52)

[位置・検出状況] A区東側、IV C 3 h グリッド。II～III層面で黑色土の広がりとして検出した。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 詳細は不明だが、径3.5m以上と推定される。

[埋土・堆積状況] 黑色土を主体とする。

[壁・床面] 壁・床はIII層を掘り込んでいる。壁高は15～20cmである。

[柱穴・配置] 石囲炉の周辺にPP 1～6を検出した。配置は不明である。

[炉] 石囲炉1基を検出した。径70×50cmの長方形である。焼土は石組内のほぼ全面に形成されている。焼土の厚さは3cmである。石組の石は真つすぐに埋設されている。

[その他の付属施設] なし。

遺物 (第282・313、528 (集成) 図、写真図版192・218)

[出土状況] 縄文土器9,588.8gが出土した。北側から土器1 (696)、炉上面から土器2 (697) が出土した。

[縄文土器] 深鉢1点 (384 / S I 52・83)。深鉢5点 (695～699)。

時期 遺構の形状、出土遺物などから縄文時代中期後葉（大木9式期）と推測される。

### S I 84 竪穴住居跡

遺構 (第94図、写真図版52)

[位置・検出状況] A区、III D 9 b～10 c グリッド。S I 46 竪穴住居跡の調査終了後に西側を掘り下げ、石囲炉と床面を検出した。本遺構より古い S I 96 竪穴住居跡と並行して精査を行った。

[重複関係] S I 30・47・61 竪穴住居跡と重複し、切られる。これらの遺構の関係は、S I 84 竪穴住居跡→S I 47 竪穴住居跡→S I 61 竪穴住居跡→S I 30 竪穴住居跡（最新）の重複関係がある。

[規模・平面形] 重複で大半を失っている。規模は、残存部で5.1×1.6mを測る。平面形は不明である。

[埋土・堆積状況] 床面直上には、黄褐色シルト（2層）が堆積する。全体に風化花崗岩粒を含む。検出範囲が小さく、全容は不明であるが、人為的な埋土は認められず自然堆積と考えられる。

[壁・床面] 壁はIV層を掘り込み、外傾し立ち上がる。壁高は約40cmを測る。床面はIII・IV層を掘り込む。大半を重複により失っているが、残存部では平坦で硬く締まる。一部に幅25cm、深さ16cmの壁溝が巡る。

[柱穴・配置] 検出されなかった。

[炉] 東壁寄りに石囲炉1基を検出した。花崗岩を用いた石組は、S I 61 竪穴住居跡との重複で西側を失っているが、方形と推測する。大きさは85×55cm、焼土の厚さは約5cmで、焼成面が良く焼けて、炉内北西部で赤味を増す。焼成面は床面より6cm前後低い。炉全体に土坑状の掘り方を伴う。

[その他の付属施設] なし。

遺物（第313、529（集成）図、写真図版218）

[出土状況] 縄文土器5,405.9gが出土した。

[縄文土器] 深鉢1点（700）。

時期 遺構の形状、新旧関係などから縄文時代中期と考えられる。

（佐藤あゆみ）

### S I 85 竪穴住居跡

遺構（第94図、写真図版52）

[位置・検出状況] A区、ⅢD9aグリッド。S I 35竪穴住居跡の壁に本遺構の立ち上がりを認めており、S I 61竪穴住居跡の精査時に範囲を検出し、S I 35・61竪穴住居跡の精査終了後に精査に着手した。

[重複関係] S I 35・44・61竪穴住居跡、S K 96土坑と重複し、切られる。これらの遺構の新旧関係は、S I 85竪穴住居跡→S I 61竪穴住居跡→S I 35竪穴住居跡→S I 44竪穴住居跡→S K 96土坑（最新）の重複関係がある。下位にS I 95竪穴住居跡・S K I 12竪穴状遺構があり、本遺構が新しい。

[規模・平面形] 規模は、残存部でおよそ4.1×3.0mを測る。平面形は円形か。詳細は不明である。

[埋土・堆積状況] 床面直上に堆積するのは、黒褐色シルト（6層）、暗褐色シルト（7層）である。埋土下位から中位には、径の粗い風化花崗岩粒が含まれる。自然堆積と考えられる。

[壁・床面] 壁は、Ⅲ層とS I 95竪穴住居跡・S K I 12竪穴状遺構の埋土を掘り込み、外傾し立ち上がる。壁高は約80cmを測る。床面は、Ⅲ層とS K I 12竪穴状遺構の埋土を掘り込み、平坦で硬く締まる。

[柱穴・配置] 1個を検出した。配置は不明である。

[炉] 検出されなかったが、床面中央部に炭の広がる範囲を検出した。

[その他の付属施設] なし。

遺物 縄文土器6,177.8gが出土したが、小片のため掲載していない。

時期 遺構の形状、新旧関係などから縄文時代中期と考えられる。

（佐藤あゆみ）

### S I 86 竪穴住居跡

遺構（第95・96図、写真図版53）

[位置・検出状況] A区の東側、ⅣC1i・2jグリッド。Ⅱ層で黒褐色土の広がりとして検出した。遺構の重複が激しく、壁と壁溝の一部を検出したにすぎない。

[重複関係] 北側でS I 71竪穴住居跡と重複する。明確ではないがS I 86竪穴住居跡が新しい可能性がある。北東側にS I 82竪穴住居跡が位置するが、S I 82竪穴住居跡が新しい。

[規模・平面形] 詳細は不明だが、径6.0～6.5mの円形基調と推定される。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土を主体とする。

[壁・床面] 壁・床はⅡ～Ⅲ層を掘り込んでいる。壁高は最大50cmである。西側と北側の一部に壁溝が廻る。壁溝の幅は20cm、深さは5～10cmである。

[柱穴・配置] PP1～8を検出した。PP1・2・3・4・6・7の6本の配置と推定される。PP1・6など柱当たりと掘り方の痕跡を埋土に遺す柱穴もある。

[炉] 複式炉1基を検出した。石囲炉1・2と掘り込み部で構成され、大きさは200×90cmである。石囲炉1の全面に焼成面が形成されている。焼土の厚さは3cmである。石囲炉2の底面に大小の礫が敷き詰められ、平坦面が形成されていた。両脇には大型の扁平な礫が外傾して設置され、両側に貼床が施される。

[その他の付属施設] なし。

遺物 (第313・469・475・478・482、529 (集成) 図、写真図版218・337・340・342・344)

[出土状況] 縄文土器19,279.4g、石器が出土した。PP2の周辺で土器・石器がまとまって出土した。

[縄文土器] 深鉢2点 (702・703)、壺1点 (701)。

[石器] 石鏃1点 (2459)、不定形石器1点 (3394)、磨製石斧2点 (4560・4562)、磨石B類1点 (5043)。

時期 遺構の形状、重複関係、出土遺物などから縄文時代中期末葉 (大木10式期) と推測される。

### S I 88 竪穴住居跡

遺構 (第97～100図、写真図版54・55)

[位置・検出状況] A区、IV C 2 c～4 d グリッド。Ⅲ層で褐色土の広がりとして検出した。掘り下げた段階で壁溝の形状や炉の位置から2棟の住居が存在すると考え、それぞれ名称 (S I 88・104) を付けた。

[重複関係] S I 97・104 竪穴住居跡に切られる。S I 100 竪穴住居跡との切り合い関係は不明である。

[規模・平面形] 直径7.8m、円形基調だが、壁と壁溝に直線的な箇所もあり、多角形に近い様相を呈する。

[埋土・堆積状況] 上位は褐色土、下位はにぶい黄褐色土。埋土の残りが僅かなため、自然堆積か人為堆積かは判断できない。

[壁・床面] Ⅲ層を切り込んで壁・床面がつくられている。壁高26cmである。床面はS I 104 竪穴住居跡による削平のため不明な部分が多いが、残存範囲からはおよそ平坦であったと考えられる。南西側を除く住居の周囲に幅19cm、深さ17cmの壁溝が断続的に廻る。部分的ではあるが、壁溝が2重に廻るようにみられるところもあり、建て替えがおこなわれた可能性も考えられる。

[柱穴・配置] PP 1～37の37個を検出した。主柱穴はPP 1・3～8・10であり、中軸線を挟んで4本が対称に並ぶ8本配置と考えられる。

[炉] 住居の東側に複式炉1基、中央やや西側に地床炉1基を検出した。複式炉は、残存状況から石囲炉+掘り込み部と推定される。大きき210×110cm、焼土の厚さは2cmである。炉の縁取り石に接合すると台石になるものがあり、炉の構築材として転用した様子がうかがえる。地床炉は、南西側をS I 104の複式炉によって削平されており、残存する大ききは36×30cm、焼土の厚さは約1cmである。

[その他の付属施設] なし。

遺物 (第313～321・457・471・478・486・493・496、529～531 (集成) 図、写真図版218～226・330・338・342・347・352・354)

[出土状況] 縄文土器131,151.8g、土製品、石器、石製品が出土している。

[縄文土器] 深鉢47点 (704～750)、深鉢2点 (751・752/S I 88・104)。

[土製品] 円盤状土製品2点 (2137・2138)。

[石器] 石錐1点 (2911)、磨製石斧1点 (4564)、凹石1点 (5442)。

[石製品] 石剣1点 (5720)、磨製石斧ミニチュア1点 (5792)。

時期 遺構の形状、重複関係、出土遺物などから縄文時代中期末葉 (大木10式期) と推測される。

(河本純一)

### S I 89 竪穴住居跡

遺構 (第100・101図、写真図版56)

[位置・検出状況] A区、IV C 1 d～2 e グリッド。Ⅱ層の掘削中に石囲炉と周囲から柱穴や壁溝を検出した。その配置が住居の可能性を想定させるもので、住居として名称を付けた。

[重複関係] S I 90・93・97・102・103 竪穴住居跡を切る。また、北側で S K 134 土坑と重複している。  
[規模・平面形] 残存する範囲で、長軸6.0m、短軸5.8m、壁高35cm。円形を基調とするが、壁に直線的なところも見られ、多角形に近い様相を呈する。

[埋土・堆積状況] 上位は褐色土、下位はにぶい黄褐色土。埋土に遺物や礫を顕著に含むことから、人為的に埋め戻されていると考えられる。

[壁・床面] Ⅲ層および隣接する遺構の埋土を切り込んで壁・床面がつくられている。床面は平坦である。北東側および北西側に幅18cm、深さ20cmの壁溝の可能性も考えられる溝状の窪みがみられる。

[柱穴・配置] PP 1～11の11個を検出した。主柱穴はPP 1（または2）・4～6・8・10であり、中軸線を挟んで4本が対称に並ぶ8本配置の可能性が推定されるが、PP 1（または2）・10と対になる主柱穴は、S I 90・97の埋土と区別できなかったためか、その存在は把握できなかった。

[炉] 住居の中央やや東側に土器埋設石囲炉1基を検出した。円形基調で、大きさは88×76cm、焼土の厚さ6cmである。石囲炉に深鉢形土器を斜位で埋設している。炉の北側には貼床が施されている。

[その他の付属施設] なし。

遺物（第322・475、532（集成）図、写真図版227・340）

[出土状況] 縄文土器10,638.1g、石器が出土した。炉の埋設土器（753）がある。

[縄文土器] 深鉢3点（753～755）、深鉢1点（756/S I 89・93）。

[石器] 不定形石器1点（3407/S I 89・93）。

時期 遺構の形状、重複関係、出土遺物などから縄文時代中期末葉（大木10式期）と推測される。

（河本純一）

## S I 90 竪穴住居跡

遺構（第102図、写真図版57）

[位置・検出状況] A区、IV C 2 d～3 e グリッド。S I 89・97 竪穴住居跡の精査中に、これらの住居とは別の炉と壁溝が存在することが分かり、住居として名称を付けた。

[重複関係] S I 93・103 竪穴住居跡を切り、S I 89・97 竪穴住居跡に切られる。また、S I 90 竪穴住居跡の床面の東側には、後に S I 103 竪穴住居跡とした下位にある遺構の輪郭が見えている。

[規模・平面形] 長軸3.7m、短軸3.6m、壁高10cm。円形を基調とするが、壁と壁溝に直線的なところも見られ、多角形に近い様相を呈する。

[埋土・堆積状況] 褐色土が堆積している。自然堆積か人為堆積かは判断できない。

[壁・床面] Ⅲ層と重複する遺構の埋土を切り込んで壁・床面がつくられている。床面はほぼ平坦である。北側および南西～南東側にかけて幅11cm、深さ10cmの壁溝が断続的に廻る。

[柱穴・配置] 住居西側を中心にPP 1～3の3個を検出した。主柱穴はPP 1・3であり、中軸線を挟んで1対および中軸線上に1本の3本配置の可能性が推定されるが、PP 3と対になる主柱穴は、S I 103 竪穴住居跡の埋土と区別できなかったためか、その存在は把握できなかった。

[炉] 住居の南側に複式炉1基を検出した。構造は石囲炉1・2と掘り込み部で、大きさは158×97cm、石囲炉1と2に明赤褐色の焼土が形成されている。焼土の厚さは2cm程度である。断面図で見ると、石囲炉1と2の焼成面には約5cmの高低差がある。炉の内部は、周囲の床面より低く掘り下げられている。掘り込み部は、壁に近い方が台形状に広がり、炉の中心線上と両端部に小柱穴を伴う。

[その他の付属施設] なし。

遺物（第322、532（集成）図・写真図版227）



[出土状況] 縄文土器1,883.2gが出土した。

[縄文土器] 深鉢2点(757・758)。

時期 遺構の形状、重複関係、出土遺物などから縄文時代中期と推測される。

(河本純一)

### S I 91 竪穴住居跡

遺構(第103図、写真図版58)

[位置・検出状況] A区の西側、IV C 2 b・3 a・3 bグリッド。II層で黒色土の広がりとして確認した。南西側は遺構の重複により、壁・床等を消失している。

[重複関係] 南西側で、古代のS I 71竪穴住居跡に切られている。北側でS K 143土坑と重複する。下位のS K 140土坑を切っている。

[規模・平面形] 径3.5m程の円形基調である。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・暗褐色土を主体とする。

[壁・床面] 壁・床はIV層を掘り込んでいる。壁高は不明である。壁溝は遺構の重複箇所以外は確認されており、全周していたようである。壁溝の幅10～20cm、深さ10cmである。住居の東側半部を中心に貼床が確認された。炉・焼土も貼床の上で確認されている。

[柱穴・配置] PP 1～6を検出したが、配置は不明である。

[炉] 東側に複式炉1基を検出した。石囲炉+掘り込み部で構成され、大きさは100×75cmである。石組内部の赤褐色の焼土は厚さ2cmである。石囲炉は15cm、掘り込み部は床面より約20cm下がっている。

[その他の付属施設] なし。

遺物(第322・323・471・472、532(集成)図、写真図版227・228・338)

[出土状況] 縄文土器13,686.8g、石器が出土した。床面から土器No.1(759)・2(760)が出土している。

[縄文土器] 深鉢6点(759～764)。

[石器] 石錐1点(2912)、石匙1点(2965)。

時期 遺構の形状、重複関係、出土遺物などから縄文時代中期末葉(大木10式期)と推測される。

### S I 92 竪穴住居跡

遺構(第104図、写真図版58)

[位置・検出状況] A区の西側、IV C 2 b～3 cグリッド。II層で黒褐色の広がりとして検出した。別の遺構と重複する南東側は、明確に壁・溝を認識することはできなかった。

[重複関係] 北側でS I 80竪穴住居跡・S K 142土坑と重複する。南側でS I 88竪穴住居跡を切っている。

[規模・平面形] 径4.5～6mの不整な楕円形基調である。一部の壁が直線的に廻る。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土を主体とする。

[壁・床面] 壁・床はIV層を掘り込んでいる。壁高は30cmほどである。一部に壁溝が廻る。

[柱穴・配置] PP 1～4・6の5個を検出したが、配置は不明である。

[炉] 石囲炉1基を検出した。石囲炉は4つの大礫で方形に生まれ、大きさは一辺55cmである。内部に形成された明赤褐色の焼土の厚さは5cmである。

[その他の付属施設] なし。

遺物(第323・324・471・487、532(集成)図、写真図版228・338・347)

[出土状況] 縄文土器15,928.4g、石器が出土した。

[縄文土器] 深鉢7点 (765～771)。

[石器] 石錐1点 (2913)、凹石1点 (5443)。

時期 遺構の形状、重複関係、出土遺物などから縄文時代中期末葉（大木10式期）と推測される。

### S I 93 竪穴住居跡

遺構 (第105図、写真図版56)

[位置・検出状況] A区、IV C 1 d～2 e グリッド。S I 89 竪穴住居跡の精査中に、この住居とは別の炉と壁溝が存在することが分かり、住居として名称を付けた。

[重複関係] S I 89・90・103 竪穴住居跡に切られる。

[規模・平面形] 残存する範囲で、長軸4.2m、短軸4.0m、S I 89 竪穴住居跡による削平のため壁は残っていない。西側に残る壁溝の形状から、平面形は円形を基調とするものと推定される。

[埋土・堆積状況] 埋土はS I 89 竪穴住居跡による削平のため失われている。

[壁・床面] III層を切り込んで壁・床面がつくられている。床面はS I 89 竪穴住居跡による削平のため不明な部分が多いが、およそ平坦であったと思われる。北から南西側に壁溝が断続的に廻る。

[柱穴・配置] 住居北側を中心にPP 1～3の3個を検出した。主柱穴およびその配置は不明である。

[炉] 住居の東側に複式炉1基、北東側に土器埋設炉1基を検出した。ともにS I 89 竪穴住居跡の石囲炉によって部分的に壊されている。複式炉の構造は石囲炉+掘り込み部と推定されるが、掘り込み部は削平を受けており、詳細は不明である。残存する大きさは181×66cm、焼土の厚さは2cmである。土器埋設炉は深鉢形土器を斜位で埋設し、残存する大きさは34×31cm、焼土の厚さは10cmである。

[その他の付属施設] なし。

遺物 (第324、532 (集成) 図、写真図版229)

[出土状況] 縄文土器4,244.0gが出土した。炉の埋設土器 (772) がある。

[縄文土器] 深鉢2点 (772・773)。

時期 遺構の形状、重複関係、出土遺物などから縄文時代中期末葉（大木10式期）と推測される。

(河本純一)

### S I 94 竪穴住居跡

遺構 (第106図、写真図版59)

[位置・検出状況] A区、IV C 2 h グリッド。S I 75 竪穴住居跡の精査時に周辺のクリーニング時に焼土と石組からなる炉を確認したことから、竪穴住居跡として精査を行った。

[重複関係] S I 75 竪穴住居跡とS K 151 土坑と重複する。S I 75 竪穴住居跡に切られていたか。

[規模・平面形] 南側と西側を重複で失っている。残存する規模は約2mで、平面形は不明である。

[埋土・堆積状況] 不明である。

[壁・床面] 壁は不明である。床面はIV層を掘り込んでつくられている。

[柱穴・配置] 炉の周辺に6個を検出した。配置は不明である。

[炉] 石囲炉1基を検出した。大きさは40×40cmで不整な円形を呈する。焼土の厚さは約4cmである。

[その他の付属施設] なし。

遺物 (第324、533 (集成) 図、写真図版229)

[出土状況] 縄文土器353.3gが出土した。

[縄文土器] 深鉢1点 (774)。

時期 遺構の新旧関係や出土遺物から縄文時代中期前葉から中葉（大木7～8 a 式期）と考えられる。

### S I 95 竪穴住居跡

遺構（第106図、写真図版59）

[位置・検出状況] A区、ⅢD 8 a・9 a グリッド。S I 66 竪穴住居跡の精査時に縄文時代中期中葉の土器片がまとまって出土する範囲を確認した。壁溝の範囲の検出と土層断面の観察から、S I 66 竪穴住居跡を切る竪穴として認識し、精査に着手した。

[重複関係] S I 31・35・44・61・66 竪穴住居跡、S K 96 土坑と重複する。これらの遺構の新旧関係は、S I 95 竪穴住居跡がS I 66 竪穴住居跡を切り、S I 35・44・61 竪穴住居跡、S K 96 土坑に切られている。

[規模・平面形] 南側と西側を重複により失っている。規模は、残存部でおよそ3.8×4.4mを測る。平面形の全容は不明であるが、円形を呈すると考えられる。

[埋土・堆積状況] 床面直上に堆積するのは、明黄褐色土が混じる褐色シルトが（5層）一部で認められるが、黄褐色土と炭粒を含んだ黒褐色土（4層）が主体となる。自然堆積と考えられる。

[壁・床面] 壁は、土層断面でのみ壁の立ち上がりを検出した。S I 66 竪穴住居跡の埋土を掘り込み、外傾して立ち上がり、壁高は約30cmと推測される。床面はⅢ層を掘り込む。重複により失われている部分があるが、残存部は平坦で硬く締まる。壁際を壁溝が巡る。幅27cm、深さ25cmを測る。

[柱穴・配置] 1個検出した。配置は不明である。

[炉] 地床炉を検出した。大きさは、径50cmの不整形円で、焼土の厚さは約7cmである。浅い掘り方が伴う。

[その他の付属施設] なし。

遺物（第324・325・480・482、533（集成）図、写真図版229・343・344）

[出土状況] 縄文土器8,306.4g、石器が出土した。床面から石器No.1（4796）・2（5064）が出土している。

[縄文土器] 深鉢5点（775～779）。

[石器] 磨石A類1点（4796）、磨石B類1点（5064）。

時期 遺構の新旧関係、出土遺物などから縄文時代中期中葉（大木8 a 式期）と考えられる。

（佐藤あゆみ）

### S I 96 竪穴住居跡

遺構（第107図、写真図版60）

[位置・検出状況] A区、ⅢD 9 b グリッド。S I 45・84 竪穴住居跡と重複する遺構として認識し、S I 66 竪穴住居跡との共通土層断面により、S I 66 竪穴住居跡に切られる竪穴として検出した。竪穴の南側は重複する遺構に切られて失われており、北側の壁・床などの一部の検出となった。

[重複関係] 複数の遺構に切られる。これらの遺構の新旧関係は、S I 96 竪穴住居跡（旧）→S I 66 竪穴住居跡→S I 45 竪穴住居跡→S I 84 竪穴住居跡→S I 61 竪穴住居跡（最新）の重複関係がある。

[規模・平面形] 大半を重複により失っている。規模は、残存部でおよそ3.6×1.9mを測る。平面形の全容は不明であるが、方形を基調とすると推測される。

[埋土・堆積状況] 床面直上に黄褐色土ブロックを含むにぶい黄褐色シルト（18層）、壁際にⅢ層に似る黄褐色シルト（19層）が堆積する。埋土下に径約10～20cmの礫が含まれる。自然堆積と考えられる。

[壁・床面] 壁はⅢ層を掘り込み内傾し立ち上がる。壁高は約45cmを測る。床面はⅢ層を掘り込む。北側の一部を掘り過ぎていますが、残存部は平坦で硬く締まる。壁溝は、幅30cm、深さ27cmを測る。

[柱穴・配置] 5個検出した。配置は不明である。床面には、柱穴状の掘り込みが複数見られるが、

壁際に偏るものが多く、壁溝の一部と考えられる。PP3・5は壁溝に伴うものか。

[炉] 不明である。

[その他の付属施設] なし。

遺物 (第325・472・479、533 (集成) 図、写真図版229・338・342)

[出土状況] 縄文土器5,778.8g、石器が出土した。

[縄文土器] 深鉢1点 (780)。

[石器] 石匙1点 (2967)、磨製石斧1点 (4566)。

時期 遺構の新旧関係や出土遺物などから縄文時代中期前葉 (大木7b式) と推測される。

(佐藤あゆみ)

### S I 97 竪穴住居跡

遺構 (第108図、写真図版59)

[位置・検出状況] IV C 2 d ~ 3 e グリッド。II層の掘削中に石囲炉を検出し、その高さで平面精査を行った結果、周囲で柱穴・壁溝を検出し、配置が住居の可能性が考えられたため、住居として名称を付けた。

[重複関係] S I 88・90竪穴住居跡を切り、S I 89竪穴住居跡に切られる。

[規模・平面形] 残存する範囲で、長軸4.2m、短軸4.1m。東側に残る壁溝の形状やピットの位置から、円形を基調とする可能性が考えられる。

[埋土・堆積状況] 上位は黒色土、下位は暗褐色土。自然堆積か人為堆積かは判断できない。

[壁・床面] III層と隣接する遺構の埋土を切り込んで壁・床面がつくられている。壁高26cm。床面はほぼ平坦である。南東から東側にかけて幅22cm、深さ20cmの壁溝が廻る。

[柱穴・配置] PP1~5の5個を検出した。主柱穴は、炉の中心を通る中軸線を挟んで対となるPP1・5の2本、現地調査の段階でS I 88-PP27と認識した中軸線上の1本の3本配置と考えられる。

[炉] 住居の中央やや東側に土器埋設炉1基を検出した。大きさ83×60cm、焼土の厚さ8~10cmで、深鉢形土器を斜位で埋設している。周囲に散在する礫は、本来石囲炉の石組が、壊されたものか。

[その他の付属施設] なし。

遺物 (第325・489・492、533 (集成) 図、写真図版229・230・349・351)

[出土状況] 縄文土器5,225.3g、石器、石製品が出土した。土器埋設炉の埋設土器 (781) がある。

[縄文土器] 深鉢3点 (781~783)、深鉢ミニチュア1点 (784)。

[石器] 石皿1点 (5505)。

[石製品] 石棒2点 (5709・5710)。

時期 遺構の形状、重複関係、出土遺物などから縄文時代中期末葉 (大木10式期) と推測される。

(河本純一)

### S I 98 竪穴住居跡

遺構 (第109図、写真図版60)

[位置・検出状況] A区、III D 8 a ~ 9 b グリッド。S I 66・95の土層観察ベルトを除去した後、本遺構の壁溝を検出した。そのため壁の立ち上がりを失っている。

[重複関係] S I 34・95竪穴住居跡と重複し、切られる。これらの遺構は、S I 98竪穴住居跡 (旧) → S I 95竪穴住居跡 (新) → S I 34竪穴住居跡 (最新) の重複関係がある。

[規模・平面形] 大半を重複する遺構により失っている。規模は、残存部でおよそ4.6×2.7mを測る。

平面形の全容は不明であるが、円形を呈すると考えられる。

[埋土・堆積状況] 床面直上には、径4～15cmの礫を含んだ黒褐色シルト（②層）が堆積する。壁際には、Ⅲ層と考えられる黄褐色土と炭粒が混じる褐色シルト（③層）が堆積する。

[壁・床面] 壁はⅣ層・S I 66竪穴住居跡埋土を掘り込み、外傾し立ち上がる。土層断面でのみ確認した。床面はⅢ・Ⅳ層を掘り込み、S I 66竪穴住居跡の土層観察ベルト除去後に検出したもので、S I 66竪穴住居跡と床面レベルがほぼ同じである。北側に幅19cm、深さ32cmの壁溝が廻る。

[柱穴・配置] 検出されなかった。

[炉] 検出されなかった。

[その他の付属施設] 埋設土器を確認した。胴部約1/3、高さ10cm程の深鉢の破片が正立状態で検出され、掘り方も認められたため、付属する埋設土器と判断した。掘り方埋土には、焼土ブロックや炭粒を含む。

遺物（第325、533（集成）図、写真図版230）

[出土状況] 縄文土器537.9gが出土した。埋設土器（785）が確認された。

[縄文土器] 深鉢1点（785）。

時期 遺構の新旧関係や出土遺物などから縄文時代中期中葉（大木8a式期）と考えられる。

（佐藤あゆみ）

### S I 99竪穴住居跡

遺構（第110・111図、写真図版61）

[位置・検出状況] A区、ⅣC 3 e～4 fグリッド。Ⅱ層において暗灰黄色土の広がりとして検出した。

[重複関係] S I 101竪穴住居跡を切り、S I 111竪穴住居跡に切られる。

[規模・平面形] 長軸4.3m、短軸4.2m以上。円形を基調とする。

[埋土・堆積状況] 上位は暗灰黄色～黒褐色土、中位は灰黄褐色～暗灰黄色土、下位は黒褐色土。埋土下～中位は遺物を顕著に含み、一度に埋まっていることから人為的に埋め戻されたもの、上位はレンズ状の堆積から自然に堆積したものと考えられる。

[壁・床面] Ⅱ・Ⅲ層および隣接する遺構の埋土を切り込んでつくられている。壁高33cm。床面はほぼ平坦である。南西側および南東側を除く住居の周囲に幅22cm、深さ15cmの壁溝が廻る。

[柱穴・配置] PP 1～28の28個を検出した。主柱穴はPP 2・4・6・7であり、中軸線を挟んで2本が対称に並ぶ4本配置と考えられる。

[炉] 住居の中央やや東側に石囲炉+掘り込み部の複式炉1基を検出した。大きさは101×79cm、焼土の厚さ3cmである。石囲炉に伴う埋設土器は、深鉢形土器の口縁部～胴部を斜位で埋設している。

[その他の付属施設] 住居の北東側で扁平な花崗岩を用いた立石を検出した。

遺物（第326、534（集成）図、写真図版230）

[出土状況] 縄文土器8,987.5gが出土した。複式炉の埋設土器（786）、床直からの出土土器（787）がある。

[縄文土器] 深鉢2点（786・787）、深鉢1点（788/S I 99・101）。

時期 遺構の形状、新旧関係や出土遺物などから縄文時代中期末葉（大木10式期）と考えられる。

（河本純一）

### S I 100竪穴住居跡

遺構（第109図、写真図版60）

- [位置・検出状況] A区西側、IV C 1 d・2 dグリッド。Ⅱ層で暗褐色の広がりとして検出した。
- [重複関係] 東側でS I 90・93竪穴住居跡、南側でS I 88・97竪穴住居跡に切られている。これらの竪穴住居跡に切られて、残存していた一部分のみの確認となった。
- [規模・平面形] 不明である。円形基調か。
- [埋土・堆積状況] 暗褐色土を主体とするが、埋土の下位部分である。
- [壁・床面] 壁・床はⅣ層を掘り込んでいる。壁高は不明である。残存する床はほぼ平坦である。
- [柱穴・配置] PP 1～4を検出したが、配置は不明である。
- [炉] 不明である。
- [その他の付属施設] なし。

**遺物** (第326、534 (集成) 図、写真図版231)

[出土状況] 縄文土器460.8 gが出土した。

[縄文土器] 深鉢2点 (789・790)。

**時期** 重複関係と出土遺物などから縄文時代中期と推測される。

### S I 101竪穴住居跡

**遺構** (第112・113図、写真図版60)

- [位置・検出状況] A区、IV C 4 d・4 eグリッド。Ⅲ層で黄褐色土と黒褐色土の広がりとして検出した。
- [重複関係] S I 99竪穴住居跡に切られる。
- [規模・平面形] 長軸4.0m、短軸3.9m以上。円形を基調とする。
- [埋土・堆積状況] 上位は黄褐色土、中位は暗褐色土、下位は黒褐色土。埋土中位に土器を顕著に含むことから、人為的に埋め戻されていると考えられる。
- [壁・床面] 壁・床はⅢ層を切り込んでつくられている。壁高21cm。床面はほぼ平坦で、南側に若干下がる傾斜をもつ。北から南西側にかけて幅26cm、深さ20cmの壁溝が廻る。
- [柱穴・配置] PP 1～17の17個を検出した。主柱穴はPP 1～3であり、中軸線を挟んで1対および中軸線のやや南側に1本存在する、3本配置と考えられる。
- [炉] 住居の東側に複式炉1基を検出した。構造は土器埋設炉+石囲炉+石囲炉+掘り込み部で、土器埋設炉は深鉢形土器の胴部上半を逆位で埋設している。大きさは187×75cm、焼土の厚さ2cmである。
- [その他の付属施設] 埋設土器を2基検出した。埋設土器1は住居の北側に位置し、深鉢形土器の底部を正位で埋設している。埋設土器2は住居の西側に位置し、深鉢形土器の底部を正位で埋設している。
- 遺物** (第327～329・457・472・479・490、534・535 (集成) 図、写真図版231～233・330・338・342・350)
- [出土状況] 縄文土器36,845.8 g、土製品、石器が出土した。炉の埋設土器 (792) と床面の埋設土器2基 (No.1: 791、No.2: 取り上げ時の記載と出土地点が不一致のため不明) がある。竪穴の南西側の埋土中位から集中して出土した土器は、住居廃絶後の窪みに投棄されたものと考えられる。
- [縄文土器] 深鉢15点 (791～805)。
- [土製品] 円盤状土製品1点 (2139)。
- [石器] 石匙1点 (2968)、磨製石斧1点 (4567)、石皿1点 (5506)。
- 時期** 遺構の形状、新旧関係や出土遺物などから縄文時代中期末葉 (大木10式期) と考えられる。

(河本純一)

### S I 102 竪穴住居跡

遺構（第114～117図、写真図版62）

[位置・検出状況] A区、IV C 1 e～3 f グリッド。S I 78 竪穴住居跡の精査中に、その床面で当住居の輪郭を検出し、住居として名称を付けた。

[重複関係] S I 103・110 竪穴住居跡を切り、S I 78・89 竪穴住居跡に切られる。S I 81 竪穴住居跡との切り合い関係は不明である。

[規模・平面形] 長軸7.2m、短軸6.1m。円形を基調とするが、壁と壁溝に直線的なところも見られ、多角形に近い様相を呈する。

[埋土・堆積状況] 上位は暗灰黄色～褐灰色土、中位は灰黄褐色土、下位は黒褐色～灰黄褐色土。埋土に遺物や礫を顕著に含むことから、人為的に埋め戻されていると考えられる。

[壁・床面] III層および隣接する遺構埋土を切り込んで壁・床面がつくられている。壁高31cm。床面はほぼ平坦で、厚みが僅かだが、土層断面の観察で貼床が施されていることを確認した（24層）。西側と南から南東側を除く住居の周囲に幅15cm、深さ24cmの壁溝が廻る。

[柱穴・配置] PP 1～27の27個を検出した。主柱穴はPP 1～8であり、中軸線を挟んで4本が対称に並ぶ8本配置と考えられる。

[炉] 住居の中央やや南西側に複式炉1基、中央やや北側に地床炉3基を検出した。複式炉の構造は石囲炉+石囲炉+掘り込み部で、大きさ215×99cm、焼土の厚さ7cmである。地床炉1は、大きさ106×84cm、焼土の厚さ4cmである。地床炉2は、大きさ57×32cm、焼土の厚さ2cmである。地床炉3は、大きさ29×15cm、焼土の形成はごく僅かであり、ほとんど厚みをもたない。

[その他の付属施設] なし。

遺物（第330・331・469・472・487・490・497、535（集成）図、写真図版233・234・337・338・347・350・354）

[出土状況] 縄文土器27,643.8g、石器、石製品が出土した。

[縄文土器] 深鉢17点（806～822）。

[石器] 石鏃1点（2469）、石匙1点（2969）、凹石1点（5444）、石皿1点（5507）。

[石製品] 板状石製品1点（5801）。

時期 遺構の形状、新旧関係や出土遺物などから縄文時代中期末葉（大木10式期）と考えられる。

（河本純一）

### S I 103 竪穴住居跡

遺構（第117～120図、写真図版63・64）

[位置・検出状況] A区、IV C 1 e～3 f グリッド。S I 102 竪穴住居跡の精査中に、土層断面の観察からS I 102の下位に当住居が存在することが分かり、住居として名称を付けた。

[重複関係] S I 93・110 竪穴住居跡を切り、S I 89・90・102 竪穴住居跡に切られる。

[規模・平面形] 長軸5.8m、短軸5.6m。円形を基調とするが、壁溝に直線的なところも見られ、多角形に近い様相を呈する。

[埋土・堆積状況] 上位は黒褐色～褐灰色土、中位は明黄褐色ブロック土やブロック状焼土を顕著に含む褐灰色～灰黄褐色土、下位は炭粒を顕著に含む黒色土。埋土下～中位は炭粒・焼土を顕著に含む層が認められ、住居が焼失した際に堆積し、埋土上位は人為的に埋め戻されたと思われる。炭化材が住居の中心から放射状に検出されており、垂木などの屋根材が焼け落ちた可能性が考えられる。

[壁・床面] II・III層と隣接する遺構埋土を切り込んで壁・平坦な床面がつくられている。壁高28cm。幅21cm、深さ17cmの壁溝が廻る。

[柱穴・配置] PP 1～31の31個を検出した。主柱穴はPP 1～6・8・9で、中軸線を挟んで4本が対称に並ぶ8本配置と考えられる。

[炉] 複式炉1基を検出した。住居の南東側に構築されている。S I 102竪穴住居跡による削平を受けており、残存する構造は石囲炉+掘り込み部である。大きさは190×135cm、焼土の厚さ1cmである。

[その他の付属施設] なし。

遺物（第331、535（集成）図、写真図版234）

[出土状況] 縄文土器1,843.9g、炭化材が出土した。樹種分析の結果、クリとの結果を得ている。

[縄文土器] 深鉢3点（823～825）。

時期 遺構の形状、新旧関係や出土遺物などから縄文時代中期と考えられる。出土した炭化材について放射性炭素年代測定を行った結果、 $^{14}\text{C}$ 年代 $4040 \pm 30\text{yrBP}$ 、 $2\sigma$ 暦年代範囲2625calBC-2476calBC（95.4%）の測定値が出ている。

（河本純一）

### S I 104竪穴住居跡

遺構（第97・121・122図、写真図版65・66）

[位置・検出状況] A区、IV C 2 c～4 dグリッド。III層において、黒褐色土および褐色土の広がりとして検出した。掘り下げた段階で、壁溝の形状や炉の位置から2棟の住居が存在すると考え、それぞれに住居として名称（S I 88・104）を付けた。住居東半の輪郭、複式炉の位置など、下位にあるS I 88竪穴住居跡と共通する部分が多く、S I 88竪穴住居跡を元に建て替えた可能性が考えられる。

[重複関係] S I 88竪穴住居跡を切り、S I 92竪穴住居跡に切られる。S I 100竪穴住居跡との切り合い関係は不明である。

[規模・平面形] 長軸7.0m、短軸5.6m。半円形を基調とする。

[埋土・堆積状況] 上位は暗褐色～黒褐色土、中位は暗褐色～黒褐色土、下位は褐色土。埋土中位に土器を顕著に含むことから、人為的に埋め戻されていると考えられる。

[壁・床面] III層と隣接する遺構埋土を切り込んで壁・床面がつくられている。壁高48cm。床面は平坦だが、東側に若干傾斜して下がる。北西側を除く住居の周囲に幅15cm、深さ17cmの壁溝が廻る。

[柱穴・配置] PP 1～7・9～11の10個を検出した。主柱穴はPP 2～7であり、中軸線を挟んで3本が対称に並ぶ6本配置と考えられるが、東側の1対については、中軸線に対し若干南側へ偏る。

[炉] 住居の西側で複式炉1基を検出した。構造は石囲炉1・2と掘り込み部である。石囲炉2と掘り込み部との間に10cmの高低差があり、段によって両者が分けられている。大きさは227×108cm、焼土の厚さは3cmである。なお、複式炉の上部には土器がまとまって投棄されていた。

[その他の付属施設] なし。

遺物（第331・497・498、535・536（集成）図、写真図版234・235・355）

[出土状況] 縄文土器6,446.9g、石製品が出土した。住居の西側中軸線上で、人為的に置かれていたと思われる径27cmと径22cmの花崗岩の円礫2個と、その下位に置かれていた長さ22cmの細長い礫を検出した。細長い礫は、整理時に確認できなかったもので、掲載していない。住居の中央やや南側の埋土中位および複式炉内埋土から土器が集中して出土し、複式炉の北東端側からは石製品が出土した。

[縄文土器] 深鉢4点（826～829）。



[石製品] 棒状石製品 1 点 (5809)、円礫 2 点 (5813・5814)。

**時期** 遺構の形状、新旧関係や出土遺物などから縄文時代中期末葉（大木10式期）と考えられる。出土した石囲炉西側の炭化材 1 について放射性炭素年代測定を行った結果、<sup>14</sup>C 年代3930±30yrBP、2σ 暦年年代範囲2487calBC-2336calBC (93.0%) の測定値が出ている。

(河本純一)

### S I 106 竪穴住居跡

**遺構** (第123図、写真図版67)

[位置・検出状況] A区の東側、IV C 4 g・4 h グリッド。IV層で黒色土の広がりとして検出した。石囲炉を確認したことから、竪穴住居跡として精査を進めた。

[重複関係] S K 152土坑と重複するが、S K 152土坑が旧く、S I 106竪穴住居跡が新しい。

[規模・平面形] 壁の状況は不明である。柱配置から径 4 m 以上と推定される。平面形は不明である。

[埋土・堆積状況] 黒色土を主体とする。

[壁・床面] 壁・床はIV層を掘り込んでいる。壁は南側で立ち上がりの一部確認できたのみである。

[柱穴・配置] PP 1～8を検出したが、配置は不明である。

[炉] 石囲炉及び焼土を検出した。掘り込み部のような付属施設は確認できなかった。石囲炉内外に焼土の広がりを確認した。石囲炉の内側は一部が焼土化していた。大きさ65×55cm、焼土の厚さ 2 cm である。石囲炉の外側に形成された焼土上に礫 2 個を確認したが、関係は不明である。

[その他の付属施設] なし。

**遺物** (第332・457・469・492、536 (集成) 図、写真図版235・330・337・351)

[出土状況] 縄文土器20,923.5 g、土製品、石器、石製品が出土した。炉の南東側に埋設土器 (832) を確認しており、住居跡に伴うものとして取り上げた。

[縄文土器] 深鉢 7 点 (832～838)。

[土製品] 円盤状土製品 1 点 (2140)。

[石器] 石鏃 1 点 (2474)。

[石製品] 小型石棒 1 点 (5715)。

**時期** 遺構の形状と出土遺物などから縄文時代中期末葉（大木10式期）と推測される。

### S I 107 竪穴住居跡

**遺構** (第124図、写真図版67)

[位置・検出状況] A区の東側、IV C 2 g・3 h グリッド。S I 75竪穴住居跡の精査時に南側に石囲炉の一部を確認したことから、竪穴住居跡の存在を想定して調査を行った。IV層で石囲炉・柱穴を検出した。

[重複関係] 北側でS I 75竪穴住居跡に切られていた。

[規模・平面形] 柱配置から、径3.0m以上と推定されるが、詳細は不明である。

[埋土・堆積状況] 不明である。

[壁・床面] 壁の状態は不明である。床はIV層を掘り込んでいる。

[柱穴・配置] PP 1～5を検出した。炉跡の周辺に位置する配置から主柱穴の可能性はある。

[炉] 石囲炉 1 基を検出した。北側はS I 75竪穴住居跡に切られており、南側のみの確認である。確認できた石囲炉内に焼土は確認できていない。南側で3つの礫で組まれており、大きさ45×30cmである。

[その他の付属施設] なし。

遺物（第332、536（集成）図、写真図版235）

[出土状況] 縄文土器29.8gが出土した。

[縄文土器] 深鉢1点（839）。

時期 遺構の重複関係と出土遺物などから縄文時代中期と推測される。

### S I 108 竪穴住居跡

遺構（第124図、写真図版67）

[位置・検出状況] A区の南側、IV D 2 a グリッド。S I 82 竪穴住居跡に切られる南側のⅡ層を掘り下げたところ、黒色土の広がり、石囲炉と壁の一部を確認し、竪穴住居跡として調査した。

[重複関係] 北側でS I 82 竪穴住居跡に切られる。

[規模・平面形] 径3.0m以上と推定される。平面形は不明である。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土を主体とする。

[壁・床面] 壁・床はⅡ層を掘り込んでいる。壁高は20cmほどか。

[柱穴・配置] 検出できなかった。不明である。

[炉] 竪穴住居跡の南側に設けられたと推測される位置に複式炉1基を検出した。石囲炉1 + 石囲炉2から構成され、大きさ180×70cmで、石囲炉1の内部に厚さ5cmの焼土が形成されていた。石囲炉2の内側に石敷が組まれていた。被熱痕はない。石囲炉2と壁の間に掘り込み部は確認できなかった。

[その他の付属施設] なし。

遺物（第332・472、536（集成）図、写真図版235・338）

[出土状況] 縄文土器片5,366.9g、石器が出土した。

[縄文土器] 深鉢2点（840・841）。

[石器] 石匙1点（2970）。

時期 遺構の重複関係と出土遺物などから縄文時代中期と推測される。

### S I 109 竪穴住居跡

遺構（第125図、写真図版67）

[位置・検出状況] A区の東側、Ⅲ C 1 j・IV D 1 a グリッド。S I 82 竪穴住居跡の炉の精査中に、炉の下位に別の炉が存在することを確認し、周囲も掘り下げたところ、IV層で炉と柱穴を確認した。

[重複関係] S I 82 竪穴住居跡の下位にある竪穴住居跡であり、S I 82 竪穴住居跡に切られている。

[規模・平面形] 不明である。

[埋土・堆積状況] 不明である。

[壁・床面] 壁・床の詳細は不明である。

[柱穴・配置] 炉の北東側に4個検出した。炉の中軸線を中心に対称となる配置の可能性がある。

[炉] 石組と焼土から構成される炉を検出したが、全体の形状は判然としない。地床炉 + 石囲炉の構成からなる複式炉であった可能性がある。地床炉と石囲炉の境界には長い礫が横位に設置されている。大きさは40×30cm、焼土の厚さは5cmほどである。

[その他の付属施設] なし。

遺物（第332、536（集成）図、写真図版235）

[出土状況] 縄文土器片1,722.0gが出土した。

[縄文土器] 深鉢2点（842・843）。

時期 遺構の形状と出土遺物などから縄文時代中期と推測される。

### S I 110 竪穴住居跡

遺構 (第126・127図、写真図版68)

[位置・検出状況] A区、IV C 1 e～2 f グリッド。S I 103 竪穴住居跡の精査中に、この住居とは別の炉と壁溝が存在することが分かり、住居として名称を付けた。

[重複関係] S I 102・103 竪穴住居跡に切られる。

[規模・平面形] 長軸4.1m、短軸4.0m。S I 102・103 竪穴住居跡による削平のため壁は残っていない。残る壁溝の形状から、方形を基調とするものと推定される。

[埋土・堆積状況] 埋土はS I 102・103 竪穴住居跡による削平のため失われている。

[壁・床面] Ⅲ層を切り込んで壁・床面がつくられている。床面はS I 102による削平のため不明な部分が多いが、およそ平坦であったと思われる。西から南西側と南東側に幅25cm、深さ9cmの壁溝が廻る。

[柱穴・配置] PP 1～5の5個を検出した。住居北側を中心に検出されたが配置などは不明である。

[炉] 複式炉1基、土器埋設炉1基を検出した。ともにS I 102・103 竪穴住居跡によって壊されている。複式炉は住居の南西側に構築されている。わずかな縁取り石とその掘り方および焼土が残るのみで、構造は石囲炉+石囲炉と推定される。大きさは105×65cm、焼土の厚さは3cmである。土器埋設炉は複式炉の南東側に接するように構築されており、深鉢形土器を横位で埋設している。大きさは、残存する範囲で44×30cm、焼土の厚さは1cmである。

[その他の付属施設] なし。

遺物 (第333、536 (集成) 図、写真図版235)

[出土状況] 縄文土器1,054.4gが出土した。

[縄文土器] 深鉢1点 (844)。

時期 遺構の形状と出土遺物などから縄文時代中期末葉 (大木10式期) と推測される。

(河本純一)

### S I 111 竪穴住居跡

遺構 (第128図、写真図版69)

[位置・検出状況] A区、IV C 4 e～5 f グリッド。トレンチ1025の掘削中に石囲炉を検出した。その高さで平面精査をおこなったところ、周囲でピットおよび壁溝を検出し、その配置が住居の可能性を考えさせるものであったので、住居として名称を付けた。

[重複関係] S I 99 竪穴住居跡を切り、S I 112 竪穴住居跡に切られる。

[規模・平面形] 長軸4.4m、短軸4.3m。隅丸方形を基調とし、南西側はやや丸みを帯びる。

[埋土・堆積状況] 上位は黄灰色～褐灰色土、中位は黒褐色土、下位は褐灰色～黒褐色土。人為的に埋め戻されていると思われる。

[壁・床面] Ⅱ・Ⅲ層および隣接する遺構の埋土を切り込んで壁・床面がつくられている。壁高35cm。床面はほぼ平坦だが、南東側に若干下がる傾斜をもつ。幅22cm、深さ20cmの壁溝が廻る。

[柱穴・配置] PP 1～8・10～17の16個を検出した。支柱穴はPP 1・2・4・5であり、中軸線を挟んで2本が対称に並ぶ。PP 3はやや浅い。

[炉] 複式炉1基を検出した。住居の北側に構築されている。構造は石囲炉+石囲炉+掘り込み部である。大きさは162×98cm、焼土の厚さは3～4cmである。

[その他の付属施設] なし。

遺物 (第333、536 (集成) 図、写真図版236)

[出土状況] 縄文土器7,679.0 gが出土した。

[縄文土器] 深鉢2点 (845・846)。

時期 遺構の形状と出土遺物などから縄文時代中期末葉 (大木10式期) と推測される。

(河本純一)

### S I 112 竪穴住居跡

遺構 (第129図、写真図版70)

[位置・検出状況] A区、IV C 5 e～6 e グリッド。II層の掘削中に石囲炉を検出し、同じ高さで周囲からピットを検出し、その配置が住居の可能性を考えさせるものであったので、住居として名称を付けた。

[重複関係] S I 111 竪穴住居跡を切る。

[規模・平面形] 土層断面の観察から、径約4.3mの円形を基調とするものと推定される。

[埋土・堆積状況] 上位は黒褐色土、中位は暗灰色土、下位は灰黄褐色土。周辺地形の傾斜とは逆方向から堆積物が流入している様子から、人為的に埋め戻されていると考えられる。

[壁・床面] II層および隣接する遺構の埋土を切り込んで壁・床面がつくられている。壁高46cmである。床面はほぼ平坦だが、南側に若干下がる傾斜をもつ。

[柱穴・配置] PP 1～11の11個を検出した。主柱穴はPP 1～3であり、中軸線を挟んで1対および中軸線上に1本存在する、3本配置と考えられる。

[炉] 住居の南東側に石囲炉1基を検出した。方形基調で、大きさは61×44cm、焼土の厚さ6cmである。

[その他の付属施設] なし。

遺物 (第333～335・454・481、536・537 (集成) 図、写真図版236・237・328・343)

[出土状況] 縄文土器23,961.3 g、土製品、石器が出土した。住居の中央やや西側で廃絶時に床面に置かれていたと考えられる土器群を検出した (土器群1・2)。

[縄文土器] 深鉢14点 (847～860)。

[土製品] 棒状土製品1点 (2020)。

[石器] 磨石A類1点 (4810)。

時期 遺構の形状と出土遺物などから縄文時代中期末葉 (大木10式期) と推測される。

(河本純一)

### S I 113 竪穴住居跡

遺構 (第130図、写真図版71)

[位置・検出状況] A区の西側、III B 3 j～IV C 4 b グリッド。II層で黒色土の広がりとして検出した。古代のS I 74 竪穴住居跡の精査時に床面で焼土を確認し、下位に存在する別遺構として認識した。

[重複関係] 南側で古代のS I 74 竪穴住居跡と重複し、切られる。また、S I 91 竪穴住居跡・S K 143 土坑と重複する。東側はS I 88・92 竪穴住居跡と重複する。

[規模・平面形] 7.0×5.0m以上の長方形で、等高線に沿って長軸を設定する大形住居跡と推定される。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土を主体とする。断面図は作図していない。

[壁・床面] 壁・床はIV層を掘り込んでいる。壁高は約20cmである。北側の壁を中心に一部に壁溝が廻る。壁溝の幅15～20cm、深さ5cmである。

[柱穴・配置] PP 1～23を検出した。長軸方向の北壁と南壁に沿って並ぶ配置の可能性はある。  
[炉] 地床炉4個を検出した。大きさは160～65cmと大小あるが、竪穴の長軸となる東西方向に並んでいる。明赤褐色から橙色の焼土で、厚さ3～10cmである。  
[その他の付属施設] なし。  
遺物（第335・472・474・487、537（集成）図、写真図版237・338・339・347）  
[出土状況] 縄文土器1,616.9g、石器が出土した。  
[縄文土器] 深鉢1点（861）。  
[石器] 石匙1点（2972）、石鏡1点（3054）、凹石2点（5448・5449）。  
時期 遺構の重複関係と出土遺物などから縄文時代前期後半と推測される。

### S I 114竪穴住居跡

遺構（第131図、写真図版71）

[位置・検出状況] A区の西側、IV C 4 a～5 bグリッド。II層で黒褐色土の広がりとして検出した。別遺構と重複する西側と斜面下位になる南側の壁・床等は、明瞭に認識できなかった。  
[重複関係] 西側でS I 74竪穴住居跡に切られる。  
[規模・平面形] 径3.5×2.1m以上の方形基調と推定されるが、詳細は不明である。  
[埋土・堆積状況] 黒褐色土を主体とする。  
[壁・床面] 壁・床はIV層を掘り込んでいる。壁高は10cmほどである。北側・東側に壁溝が廻る。壁溝の幅10～30cm、深さ5cmである。  
[柱穴・配置] PP 1～7を検出した。PP 2・3・7が並ぶ。3と7の間にも柱穴があったか。PP 5・6はPP 2・3と対になる配置である。  
[炉] PP 2・3の間に地床炉1基を検出した。径80×50cmで、明赤褐色の焼土が3cmほど形成されている。  
[その他の付属施設] なし。  
遺物（第335・497、537（集成）図、写真図版238・354）  
[出土状況] 縄文土器2,851.7g、石製品が出土した。床面から土器No.1（862）・2（863）が出土している。  
[縄文土器] 深鉢3点（862～864）。  
[石製品] 板状石製品1点（5802）。  
時期 遺構の形状、重複関係、出土遺物などから縄文時代前期末葉（大木6式期）と推測される。

### S I 115竪穴住居跡

遺構（第132・133図、写真図版72）

[位置・検出状況] A区の東側、IV C 2 i・3 iグリッド。S I 86竪穴住居跡の精査中に同竪穴南側で別遺構の輪郭が見えており、精査終了後、II～III層で黒褐色土の広がりとして検出した。  
[重複関係] 断面観察から、東側に位置するS I 120竪穴住居跡など前期に属する竪穴住居跡より新しいと判断した。北側でS I 86竪穴住居跡と重なるが、S I 86竪穴住居跡に切られていると推測する。  
[規模・平面形] 径5～5.5mの円形基調で、直線的な壁の状態から多角形を呈していた可能性もある。  
[埋土・堆積状況] 黒褐色土を主体とする。  
[壁・床面] 壁・床はIV層を掘り込んでいる。壁高は最大30cmである。壁溝は、幅20～25cm、深さ20cm程である。床面の一部、炉跡の中心とした範囲に貼床を確認している。貼床の下位から浅い土坑を確認しており、本遺構に伴うものとして図化した。本遺構に伴うものではない可能性がある。

[柱穴・配置] PP 1～21を検出した。PP 1・2・3・19の4本が主柱穴と考えられる。PP10も住居跡の炉の中軸線の延長上の位置する柱穴で、規模がやや小さい。炉の掘り込み部の壁際端部にもPP 4・5の規模のやや小さい小柱穴が位置する。PP19は貼床除去後に確認したものだが、貼床と判断した部分と柱穴埋土2層との識別ができなかったのかもしれない。

[炉] 複式炉1基を検出した。石囲炉1+石囲炉2+掘り込み部で構成され、大きさは200×140cmである。焼土は、石囲炉1内と石囲炉2の石囲炉1寄りの位置に形成されている。厚さは3cmである。

[その他の付属施設] 竪穴の中心付近で埋設土器を確認している。炉の長軸の内側にあるが、石組と離れており、周辺に焼土などが確認されなかったことから、炉跡とは別遺構として精査した。

遺物（第336～338・454・475、537・538（集成）図、写真図版238～241・328・340）

[出土状況] 縄文土器28,808.3g、土製品、石器が出土した。竪穴中心付近の埋設土器（865）がある。

[縄文土器] 深鉢11点（865～869・871～876）、壺1点（870）。

[土製品] 棒状土製品1点（2021）。

[石器] 不定形石器1点（3434）。

時期 遺構の形状、重複関係、出土遺物などから縄文時代中期末葉（大木10式期）と推測される。

### S I 116竪穴住居跡

遺構（第134図、写真図版73）

[位置・検出状況] A区の東側、IV C 4 i・4 j グリッド。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出した。大半が南側調査区にかかる。床面と思われる平坦面で炉跡を確認し、住居跡と判断した。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 全体形状は不明だが、短軸3.5～4mの長方形住居跡の一端を検出した可能性がある。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・黒色土を主体とする。

[壁・床面] 壁・床はⅣ層を掘り込んでいる。壁高は最大50cmである。北側に壁溝が廻っている。幅20～30cm。深さ10cmである。

[柱穴・配置] 検出した範囲では確認できていない。

[炉] 地床炉1基を検出した。短径50×長径80cm以上の楕円形と推定される。焼土の厚さ5cmである。詳細は不明だが、住居の中軸線上に位置している可能性がある。

[その他の付属施設] なし。

遺物（第338・472、538（集成）図、写真図版241・338）

[出土状況] 縄文土器6,437.8g、石器が出土している。

[縄文土器] 深鉢5点（877～881）。

[石器] 石匙1点（2975）。

時期 遺構の形状と出土遺物などから縄文時代前期後葉（大木5式期）と推測される。

### S I 117竪穴住居跡

遺構（第135・136図、写真図版73）

[位置・検出状況] A区、IV D 2 a～3 b グリッド。Ⅲ層で暗褐色土から黒褐色土の広がりとして検出した。古代のS I 50竪穴住居跡の精査段階で、壁・床面に地山となるⅢ・Ⅳ層が確認できなかったことから、下位に縄文時代の遺構の存在を想定した。南側大半が調査区外にかかるため、詳細不明である。

[重複関係] S I 118・119・120竪穴住居跡と重複するが、新旧関係は判然としない。

[規模・平面形] 壁溝の形状から、径4 m以上の方形基調の竪穴住居跡と推測される。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土を主体とする。

[壁・床面] 壁・床はⅣ層を掘り込んでいる。詳細は不明である。西側から北側にかけて壁溝が廻っている。幅10～15cm。深さ10cmである。

[柱穴・配置] PP 1～12を検出した。配置は不明である。

[炉] 検出できなかった。

[その他の付属施設] なし。

遺物（第339、538（集成）図、写真図版241）

[出土状況] 縄文土器片1,644.3 gが出土している。

[縄文土器] 深鉢3点（882～884）。

時期 遺構の形状と出土遺物などから縄文時代前期中葉（大木4式期）と推測される。

### S I 118竪穴住居跡

遺構（第135・136図、写真図版73）

[位置・検出状況] A区、ⅣC 3 j・4 j・ⅣD 3 aグリッド。Ⅲ層で黒色土の広がりとして検出した。大半が南側調査区にかかるため、詳細は不明である。

[重複関係] S I 117・119・120竪穴住居跡と重複する。新旧関係は判然としない。

[規模・平面形] 壁溝の形状から、径4 m以上の方形基調の竪穴住居跡と推測される。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土を主体とする。

[壁・床面] 壁・床はⅢ層を掘り込んでいる。詳細は不明である。西側から北側にかけて壁溝が廻っている。幅10～15cm。深さ5 cmほどである。

[柱穴・配置] PP 1～12を検出した。配置は不明である。

[炉] 地床炉1基を検出した。95×65cmの不整な楕円形で、焼土の厚さは6 cmである。

[その他の付属施設] なし。

遺物（第339、538（集成）図、写真図版241）

[出土状況] 縄文土器4,898.9 gが出土した。

[縄文土器] 深鉢3点（885～887）、深鉢1点（888／S I 118・ⅣC 3 j）。

時期 遺構の形状と出土遺物などから縄文時代前期後葉（大木5式期）と推測される。

### S I 119竪穴住居跡

遺構（第135・136図、写真図版73）

[位置・検出状況] A区、ⅣC 2 j～ⅣD 3 aグリッド。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出した。重複が激しく、遺存状態が良くないため、詳細は不明である。

[重複関係] S I 117・118・120竪穴住居跡と重複する。新旧関係は判然としない。

[規模・平面形] 壁溝の形状から、径4 m以上の方形基調の竪穴住居跡と推測される。長軸は北西－南東方向で、南東方向は調査区域外に延びる可能性もあるが、斜面下位の南東側は消失したと推定される。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土を主体とする。

[壁・床面] 壁・床はⅢ層を掘り込んでいる。北側に幅約10cm、深さ約5 cmの壁溝が廻っている。

[柱穴・配置] PP 1～11を検出した。配置などは不明である。

[炉] 西側で地床炉2基を検出した。径20～30cmの不整な形状である。

[その他の付属施設] なし。

**遺物** 縄文土器264.4 gが出土した。小片のため掲載遺物はない。

**時期** 遺構の形状から縄文時代前期と推測される。

### S I 120 竪穴住居跡

**遺構** (第135図、写真図版73)

[位置・検出状況] A区、IV C 2 j・IV D 2 a グリッド。Ⅲ～Ⅳ層で黒色土の広がりとして検出した。直線的な壁溝から竪穴住居跡の可能性を考え、壁の南東側を住居跡の範囲として調査した。

[重複関係] S I 117・118・119 竪穴住居跡と重複する。新旧関係は判然としない。

[規模・平面形] 2本の溝跡から、径6 m以上の方形基調の竪穴住居跡と推測される。

[埋土・堆積状況] 黒色土を主体とする。

[壁・床面] 壁の状態は不明である。床はⅢ層を掘り込んでいる。北側に幅約15～10cm、深さ約5cmの壁溝が廻っている。

[柱穴・配置] PP 1 を検出した。配置などは不明である。

[炉] 確認できていない。

[その他の付属施設] なし。

**遺物** (第339、538 (集成) 図、写真図版241)

[出土状況] 縄文土器片439.9 gが出土した。

[縄文土器] 深鉢1点 (889)。

**時期** 遺構の形状と出土遺物などから縄文時代前期と推測される

### S I 121 竪穴住居跡

**遺構** (第137図、写真図版73)

[位置・検出状況] A区、IV C 4 i グリッド。Ⅲ層で暗褐色土の広がりとして検出した。

[重複関係] S I 122・123 竪穴住居跡と重複する可能性がある。南東側でS I 116 竪穴住居跡と重複する。

[規模・平面形] 壁溝のみの確認であり、詳細は不明である。

[埋土・堆積状況] 壁溝の埋土は暗褐色土を主体とする。

[壁・床面] 壁の状態は不明である。床はⅢ層を掘り込んでいる。壁溝は幅30～40cm、深さ20cmである。

[柱穴・配置] 検出した範囲では確認できていない。

[炉] 不明である。

[その他の付属施設] なし。

**遺物** 縄文土器55.2 gが出土した。小片のため掲載遺物はない。

**時期** 遺構の形状から縄文時代前期と推測される。

### S I 122 竪穴住居跡

**遺構** (第137図、写真図版73)

[位置・検出状況] A区、IV C 4 i グリッド。Ⅲ層で壁溝のみを確認した。詳細は不明である。

[重複関係] S I 122・123 竪穴住居跡と重複する可能性がある。南東側でS I 116 竪穴住居跡と重複する。

[規模・平面形] 全体形状は不明である。

[埋土・堆積状況] 暗褐色土を主体とする。



[壁・床面] 壁の状態は不明である。床はⅢ層を掘り込んでいる。壁溝は幅20～30cm。深さ10cmである。

[柱穴・配置] 検出した範囲では確認できていない。

[炉] 不明である。

[その他の付属施設] なし。

遺物 縄文土器片19.8gが出土した。小片のため掲載遺物はない。

時期 遺構の形状から縄文時代前期と推測される。

### S I 123 竪穴住居跡

遺構 (第137図、写真図版73)

[位置・検出状況] A区の東側、IV C 5 i グリッド。Ⅲ層で壁溝のみを確認した。

[重複関係] S I 124 竪穴住居跡・S K 160 土坑と重複する。新旧関係は不明である。

[規模・平面形] 全体形状は不明である。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・黒色土を主体とする。

[壁・床面] 壁の状態は不明である。床はⅢ層を掘り込んでいる。壁溝は幅15cm。深さ10cmである。

[柱穴・配置] 検出した範囲では確認できていない。

[炉] 不明である。

[その他の付属施設] なし。

遺物 (第339、538 (集成) 図、写真図版241)

[出土状況] 縄文土器片128.3gが出土した。

[縄文土器] 深鉢1点 (890)。

時期 遺構の形状と出土遺物などから縄文時代前期と推測される。

### S I 124 竪穴住居跡

遺構 (第137図、写真図版73)

[位置・検出状況] A区の東側、IV C 5 h グリッド。Ⅲ層で壁・溝など黒褐色の広がりとして検出した。

[重複関係] S K 160 土坑と重複し、S I 124 竪穴住居跡が新しい可能性がある。S I 123 竪穴住居跡との新旧関係は不明である。

[規模・平面形] 全体形状は不明だが、確認した一辺は約3.3mで、方形もしくは長方形の住居跡の可能性はある。長方形の住居跡とした場合、東側の調査区域外に向かって長軸方向が延びると推測する。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土を主体とする。

[壁・床面] 壁の状態は不明で、床はⅢ層を掘り込み、西側に幅15～40cm、深さ約10cmの壁溝が廻る。

[柱穴・配置] PP 1～6を検出した。配置は不明である。

[炉] 不明である。

[その他の付属施設] なし。

遺物 出土していない。

時期 遺構の形状から縄文時代前期と推測される。

### (3) 竪穴住居跡 古代

26棟（13年度調査で14棟、14年度調査で12棟）を調査した。C区尾根及び東谷部2棟・B区谷部4棟・A区低地部20棟に分布する。時期は、古墳時代後期から奈良時代を中心とする時期と考えられる。各竪穴住居跡の位置・計測値などは、第4表 竪穴住居跡観察表を参照されたい。

#### S I 02竪穴住居跡

**遺構**（第138図、写真図版74）

[位置・検出状況] C区の谷部北側、I D 7 c グリッド。II層で黒褐色土の広がりとして検出した。遺構の大半は北側調査区域外にかかる。中央付近に入れたトレンチで確認した平坦面を床面と判断した。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 不明である。調査した範囲は、小さいながら竪穴住居跡の南東端であると判断した。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土が主体である。

[壁・床面] 壁・床はII層を掘り込んでいる。確認した床面は、ほぼ平坦である。壁高は最大30cmである。

[柱穴・配置] 調査した範囲では確認できていない。不明である。

[カマド] 調査した範囲では確認できていない。不明である。

[その他の付属施設] なし。

**遺物**（第437、547（集成）図、写真図版318）

[出土状況] 土師器546.5gが出土した。埋土2～3層で竪穴の壁際隅から壺（1801）が出土した。

[土師器] 壺1点（1801）。

**時期** 遺構の形状と出土遺物から古代（7世紀末～8世紀前半）と推測される。

#### S I 04竪穴住居跡

**遺構**（第138・139図、写真図版74）

[位置・検出状況] B区の東側、II C 8 d～10 e グリッド。トレンチで、II層で黒褐色土の広がりとして確認した。北側に確認したカマド・煙道の存在から古代の竪穴住居跡と判断した。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 長軸5.9mである。平面形は隅丸方形と推定されるが、西側は不明瞭であった。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土を主体とする。

[壁・床面] 壁・床はII層を掘り込んでいる。北側の壁高は最大30cmである。

[柱穴・配置] 南側でPP 1・2を確認した。北側では柱穴を確認できなかった。平面形の四隅を結ぶ対角線上に柱が位置する可能性があるが、詳細は不明である。

[カマド] 北壁のほぼ中央に袖石・天井石が、ほぼ元位置で残されていた。燃焼部は径50×35cm、焼土の厚さは5cmである。煙道は径45cm、長さ150cmで、煙出口の大きさは径35×25cm、深さ27cmである。

[その他の付属施設] なし。

**遺物**（第437・438・450・496・502、547（集成）図、写真図版318・319・326・354・358）

[出土状況] 土師器3,606.5g、須恵器、石製品、銭貨などが出土した。カマド周辺から土師器No.1～5※1（1804）・2（1802）・4（1803）が出土した。珧状耳飾は縄文時代の遺物で混入したものである。

[土師器] 甕6点（1802～1804・1806～1808）、坏3点（1805・1809・1810）。

[須恵器] 椀1点（1951）。

[石製品] 块状耳飾 1 点 (5774)。縄文時代の遺物で混入したものだが参考までに掲載する。

[銭貨] 和銅開珎 3 点 (6102～6104)。

**時期** 遺構の形状と出土遺物から古代（7世紀末～8世紀前半）と推測される。床面出土の炭化物について放射性炭素年代測定を行った結果、<sup>14</sup>C年代1360±20yrBP、2σ暦年年代範囲641calAD-685calAD（95.4%）の測定値が出ている。

### S I 05 竪穴住居跡

**遺構**（第139・140図、写真図版75）

[位置・検出状況] B区の北側、II C 3 d・4 e グリッド。II層で黒褐色土の広がりとして検出した。斜面下位の南側が明瞭であったが、北側に煙道とカマドを確認したことから古代の竪穴住居跡と判断した。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 5.0×3.7m以上、平面形は隅丸方形と推定される。斜面下位の南側を消失している。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土を主体とする。

[壁・床面] 壁・床はII層を掘り込んでいる。壁高は最大25cmである。壁溝は、幅15～25cm、深さ10cmである。床面は平坦である。土層の6層を貼床の痕跡と判断している。

[柱穴・配置] PP 1～4を確認した。四隅を結ぶ対角線上に配置された4本柱と推定される。

[カマド] 北壁中央に袖部分と天井が崩落した状態で検出した。燃焼部は径50×45cm、焼土の厚さ8cmである。煙道は径30cm、長さ150cmの大きさと削り貫かれている。煙出口は径35cm、深さ55cmである。

[その他の付属施設] なし。

**遺物**（第438・501、547（集成）図、写真図版319・357）

[出土状況] 土師器1,651.2g、金属製品が出土した。土師器No.1（1811）・2（1812）が出土している。

[土師器] 椀 1 点（1811）、甕 3 点（1812～1814）、坏 1 点（1815）、小型の甕 1 点（1816）。

[金属製品] 棒状鉄製品 1 点（6055）。

**時期** 遺構の形状と出土遺物から古代（7世紀末～8世紀前半）と推測される。

### S I 06 竪穴住居跡

**遺構**（第141図、写真図版76）

[位置・検出状況] A区の東側、III D 9 b～10 c グリッド。II層で黒褐色土の広がりとして検出した。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 3.4×3.3mである。平面形は隅丸方形である。トレンチで東壁の一部を消失している。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土を主体とする。

[壁・床面] 壁・床はII層を掘り込んでいる。壁高は最大65cmで、規模は小さいが深く掘り込まれている。

[柱穴・配置] PP 1を確認した。配置は不明である。

[カマド] 北西壁の隅に天井石・袖石がほぼ元位置をとどめていた。燃焼部は、径50cm、焼土の厚さ約7cmで、燃焼面の上に甕が倒立で置かれていた。煙道は径20cm、長さ115cmの大きさと削り貫かれている。検出面からの深さは100cmほどある。煙出口の大きさは、径35cm、深さ54cmである。

[その他の付属施設] なし。

**遺物**（第439・450、547（集成）図、写真図版319・320・326）

[出土状況] 土師器1,881.2g、須恵器が出土した。カマド内燃焼部で甕（1817）が倒立で出土している。

[土師器] 小型の甕 4 点（1817～1820）、壺 1 点（1821）、坏 2 点（1822・1823）。

[須恵器] 坏1点 (1952)。

時期 遺構の状態と出土遺物から古代 (7世紀末～8世紀前半) と推測される。

### S I 07 竪穴住居跡

遺構 (第142図、写真図版77)

[位置・検出状況] A区の東側、ⅢD 3 b・4 b・4 c グリッド。Ⅳ層でにぶい黄褐色土の広がりとして検出した。カマドを確認していないが、調査時の命名のまま竪穴住居跡として報告する。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 斜面下位は削られて、消失していたが、4.2×1.0m以上の隅丸方形と推測される。

[埋土・堆積状況] にぶい黄褐色土と灰黄褐色土を主体とする。

[壁・床面] 壁・床はⅣ層を掘り込んでいる。壁高は北側で40cmである。

[柱穴・配置] PP 1～4を確認したが、配置などは不明である。

[カマド] 確認できていない。不明である。

[その他の付属施設] なし。

遺物 土師器69.2g出土したが、小片のため掲載遺物はない。

時期 不明である。

### S I 08 竪穴住居跡

遺構 (第142図、写真図版77)

[位置・検出状況] A区の東側、ⅢD 3 c～4 e グリッド。S K 19・20土坑などの精査中にⅣ層で暗灰黄色の広がりとして検出した。竪穴状遺構に類するが、調査時の命名のまま竪穴住居跡として報告する。

[重複関係] S K 19・20・31・32・35土坑と重複している。これらの土坑群は縄文時代であり、これらの土坑群を切っていたと推測される。実際の調査では、土坑の調査中に竪穴住居跡の存在を確認している。

[規模・平面形] 7.0×4.2m以上と推定される。平面形は方形基調と推定したが、北壁・東壁とも土坑群との重複で、正確な形状を認識できてない。斜面下である南側の壁・床は削られて、消失している。

[埋土・堆積状況] 暗灰色土を主体とする。

[壁・床面] 壁・床はⅣ層を掘り込んでいる。壁高は不明である。

[柱穴・配置] PP 1～19を確認した。配置は不明だが、壁際に配置される傾向がある。

[カマド] 確認できていない。不明である。

[その他の付属施設] なし。

遺物 縄文土器246.2g出土したが、小片のため掲載遺物はない。

時期 遺構の形状から古代以降か。詳細は不明である。

### S I 09 竪穴住居跡

遺構 (第143図、写真図版77)

[位置・検出状況] B区の西側、ⅡB 9 j、ⅡC 8 a・9 a グリッド。トレンチで遺構の存在を認識し、Ⅱ層で暗褐色土・黒褐色土の広がりとして検出したことから、竪穴住居跡として精査した。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 4.5×3.5m以上の隅丸方形と推定されるが、斜面下位の南側は消失しているようである。

[埋土・堆積状況] 暗褐色土・黒色土を主体とする。

## 1 検出遺構

[壁・床面] 壁・床はⅡ層を掘り込んでいる。壁高は最大15cmである。カマドを中心とした竪穴住居跡の北側中央付近に締まりのある黒褐色土の広がり（4層）を確認している。貼床と判断される。

[柱穴・配置] 確認できていない。

[カマド] 北壁のほぼ中央に粘土のまとまりを確認した。燃烧部は周囲より10～5cm程窪み、径40×25cm、焼土の厚さ6cmである。煙道は北側に延びており、大きさは径40cm、長さは170cmである。

[その他の付属施設] なし。

遺物（第439、547（集成）図、写真図版320）

[出土状況] 土師器1,605.9gが出土した。カマド周辺から土器№1（1824）・2（1825）が出土した。

[土師器] 坏2点（1824・1827）、甕2点（1825・1826）。

時期 遺構の形状と出土遺物から古代（7世紀前葉～中葉）と推測される。

### S I 10竪穴住居跡

遺構（第144図、写真図版78）

[位置・検出状況] B区の南側、ⅢC 1 bグリッド。Ⅱ層で黒褐色土の広がりとして検出した。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 2.5×1.5m以上と推定される。平面形は隅丸方形と推定されるが、竪穴住居跡の北西隅を確認したのみであり、全体の規模・形状は不明である。

[埋土・堆積状況] 黒色土を主体とする。

[壁・床面] 壁・床はⅣ層を掘り込んでいる。壁高は最大15cmである。カマド周辺で確認した締まりのある黒褐色土の広がり（12層）を貼床と判断した。

[柱穴・配置] 不明である。

[カマド] 北壁中央よりやや東寄り、カマドが崩落した粘土の広がりを検出した。燃烧部の範囲は20×15cm、焼土の厚さ5cmである。カマド内から倒立で出土した甕は、支脚として使用されたと推測される。煙道は径30cm、長さ130cmに刳り貫かれ、煙出し口の大きさは径約25cm、深さ30cmである。

[その他の付属施設] なし。

遺物（第440・476、547（集成）図、写真図版320・340）

[出土状況] 土師器671.8g、石器が出土した。カマド内から倒立の状態の甕（1828）が出土した。

[土師器] 小型の甕1点（1828）。

[石器] 異形石器1点（4449）。縄文時代の遺物で混入したものであるが参考までに掲載する。

時期 遺構の重複関係と出土遺物から古代（7世紀前葉～中葉）と推測される。

### S I 11竪穴住居跡

遺構（第145図、写真図版78）

[位置・検出状況] A区の東側、ⅢD 7 a～8 bグリッド。Ⅲ層で黒色土の広がりとして検出した。

[重複関係] 縄文時代のS I 15竪穴住居跡を切っていた。古代のS K I 03竪穴状遺構と重複している。

[規模・平面形] 5.6×4.5m以上と推定される。平面形は隅丸方形と推定される。

[埋土・堆積状況] 黒色土・黒褐色土を主体とする。

[壁・床面] 壁・床はⅢ層を掘り込んでいる。壁高は最大50cmである。床面は平坦である。6層の暗褐色土が貼床と推定された。幅10～20cm、深さ10cmの壁溝が廻る。

[柱穴・配置] PP 1～3の3個を確認した。四隅を結ぶ対角線上に位置する配置と推測される。

[カマド] 西壁の中央に設けられている。燃烧部は径40×35cm、焼土の厚さ7cmである。焼土上の扁平な礫は天井石と推測される。袖部分は礫と粘土が遺されていた。煙道は、本来、刳り貫かれていたと思われるが、上位は削られており、溝状に遺る下位部分のみ確認した。規模は、幅30cm、長さは150cmである。

[その他の付属施設] なし。

遺物（第440、548（集成）図、写真図版320）

[出土状況] 土師器1,071.1gが出土した。

[土師器] 甕1点（1829）、小型の甕1点（1830）、坏1点（1831）。

時期 遺構の重複関係と出土遺物から古代（7世紀末～8世紀前半）と推測される。

### S I 16 竪穴住居跡

遺構（第146図、写真図版79）

[位置・検出状況] A区の西側、IV A 1 j～IV B 2 aグリッド。トレンチ1を入れた際に焼土・土師器などを確認したことから竪穴住居跡の存在を想定した。トレンチで一部南東側の床面、壁を失っている。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 2.9×2.8mほどの方形基調と推定される。

[埋土・堆積状況] 黒色土を主体とする。

[壁・床面] 壁・床はⅡ層を掘り込んでいる。床は平坦である。壁高は最大30cmである。

[柱穴・配置] PP1を確認したが、壁と重なる位置であり、本竪穴住居跡に伴うものかは不明である。

[カマド] 斜面上方の北西側に袖部分と中央に燃烧部を確認した。焼土は、径15cm、厚さ4cmである。煙道は長さ60cm、径20cmに刳り貫かれ、煙出し部分が一段下がる。煙出し口は径20cm、深さ56cmである。

[その他の付属施設] なし。

遺物（第440、548（集成）図、写真図版320）

[出土状況] 縄文土器267.9g、土師器658.2gが出土した。縄文土器は混入したもので、小片である。

[土師器] 甕1点（1832）。

時期 遺構の重複関係と出土遺物から古代（7世紀末～8世紀前半）と推測される。

### S I 17 竪穴住居跡

遺構（第147図、写真図版79）

[位置・検出状況] A区の西側、IV A 1 h～2 iグリッド。Ⅱ層で黒色土の広がりとして確認した。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 4.7×3.0mで、平面形は方形基調と推定される。斜面下位の南西側は消失している。

[埋土・堆積状況] 黒色土を主体とする。

[壁・床面] 壁・床はⅡ層を掘り込んでいる。壁高は北壁で30cmである。住居跡の北側部分を中心に貼床と推定される土層（4層）を断面で確認した。

[柱穴・配置] PP1～2の2個を確認した。四隅を結ぶ対角線上に位置していた可能性がある。

[カマド] 西壁の中央付近に位置している。袖の両側部分が遺り、燃烧部は周囲より5cmほど窪んでいる。焼土の範囲は径25cm、厚さ5cmである。煙道の規模は径30cm、長さ120cmに刳り貫かれており、煙出し部分に向かって傾斜し、一段下がる構造である。煙出し口の大きさは、径30cm、深さ57cmである。

[その他の付属施設] なし。

遺物（第440・501、548（集成）図、写真図版320・357）

[出土状況] 土師器45.7 g、金属製品が出土した。

[土師器] 甕 1 点 (1833)。

[金属製品] 棒状鉄製品 1 点 (6056)。

時期 遺構の形状と出土遺物から古代と推測される。

### S I 21 竪穴住居跡

遺構 (第148・149図、写真図版80)

[位置・検出状況] C区北東谷部、II D 1 d～2 f グリッド。II層で黒褐色土の広がりとして検出した。北東谷部の鉄生産関連遺構の精査段階のトレンチ調査で、下位の竪穴状の遺構として確認した。

[重複関係] S I 21 竪穴住居跡 (旧) の上位に S X W 16・22・23 鉄生産関連炉跡 (新) が構築されている。

[規模・平面形] 6.3×5.9mの方形基調と推定される。斜面下位の南側は消失している。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土を主体とする。

[壁・床面] 壁・床はII層を掘り込んでいる。壁高は最大70cmである。北西から南西壁の一部に壁溝が廻っている。幅20～25cm、深さ15cmほどである。

[柱穴・配置] PP 1～3を確認した。四隅を結ぶ対角線上に並ぶ配置と推測される。

[カマド] 斜面上方の北東壁中央で、袖石と構築土、焼土を確認した。周辺からカマドの構成礫として使用された可能性がある礫が出土している。焼土の大きさは、径70×55cm、厚さ5cmで、煙道は径70～50cm、長さ180cmの穴が割り貫かれ、煙出し部分は、やや下がる。煙出し口は、径35×30cm、深さ95cmである。

[その他の付属施設] なし。

遺物 (第441、548 (集成) 図、写真図版321)

[出土状況] 土師器2,125.3 gが出土した。カマドの北側床面から土師器の甑 (1834) が出土している。

[土師器] 甑 1 点 (1834)、坏 2 点 (1835・1836)。

時期 遺構の形状と出土遺物から古代 (7世紀前葉～中葉) と推測される。埋土下位の炭化物について放射性炭素年代測定を行った結果、<sup>14</sup>C年代870±20yrBP、2σ暦年年代範囲1151calAD-1220calAD (80.8%) の測定値が出ている。

### S I 22 竪穴住居跡

遺構 (第150図、写真図版81)

[位置・検出状況] A区、III B 9 i～10 j グリッド。II～III層で黒色土の広がりとして検出した。

[重複関係] S K 90・89土坑と重複する。S I 22 竪穴住居跡が新しい。

[規模・平面形] 5.0×4.85mの隅丸方形である。竪穴住居跡の下部に近い部分のみの検出である。

[埋土・堆積状況] 黒色土を主体すると推定される。3層黒褐色土は貼床の痕跡として認識した。

[壁・床面] 壁・床はIII層を掘り込んでいる。壁高は10cm以上である。北壁・東壁の一部に壁溝が廻る。

[柱穴・配置] PP 1～2を確認したが、配置は不明である。

[カマド] 西壁の中央付近で焼土を確認した。カマドの痕跡は遺っていない。燃焼部の焼土は、径50×40cm、厚さ8cmである。西側で確認した幅35cm、長さ170cmの溝状の掘り方が煙道の痕跡と推測した。

[その他の付属施設] なし。

遺物 (第441、548 (集成) 図、写真図版321)

[出土状況] 土師器496.6 gが出土した。

[土師器] 甕小型1点(1837)。

時期 遺構の形状と出土遺物から古代と推測される。

### S I 25 竪穴住居跡

遺構(第151図、写真図版82)

[位置・検出状況] A区の南西側、IV C 1 a～2 c グリッド。II層で黒色土の広がりとして確認した。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 5.7×5.2m、隅丸方形と推定される。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土を主体とする。

[壁・床面] 壁・床はII・III層を掘り込んでいる。壁高は最大40cmである。カマド周辺に貼床状の硬化面(6層にぶい黄褐色土)を確認した。カマドのある北壁に壁溝が廻る。幅20～25cm、深さ5cmである。

[柱穴・配置] 5個確認した。四隅を結ぶ対角線上に位置するPP 2・3・4・5の4本配置と推定される。

[カマド] 北壁のほぼ中央で確認した。袖石と構築土の一部が遺っていた。燃焼部の焼土は、径35×30cmで、厚さ5cmである。北側で確認した幅30cm、長さ90cmの溝状の張り出しが、煙道の痕跡と推測される。

[その他の付属施設] なし。

遺物(第268・441・483・502、548(集成)図、写真図版181・321・345・358)

[出土状況] 縄文土器16,085.0g、土師器604.5g、石器、銭貨が出土した。

[縄文土器] 深鉢4点(203～206)。混入したものだが、参考までに掲載する。

[土師器] 坏1点(1838)、甕1点(1839)、壺?1点(1840)。

[石器] 敲打石1点(5337)。

[銭貨] 祥符元寶1点(6107)。

時期 遺構の形状と出土遺物から古代(7世紀前葉～中葉)と推測される。煙道出土の炭化物について放射性炭素年代測定を行った結果、<sup>14</sup>C年代1360±20yrBP、2σ暦年年代範囲642calAD-686calAD(95.4%)の測定値が出ている。

### S I 29 竪穴住居跡

遺構(第152図、写真図版83)

[位置・検出状況] A区南側、IV D 1 b・1 c グリッド。II層で黒褐色土の広がりとして検出した。

[重複関係] S I 06竪穴住居跡の下位に位置し、切られている。下位から縄文時代の竪穴住居跡を検出した。特にS I 30竪穴住居跡の複式炉跡を切る状態で、S I 29竪穴住居跡の煙出し穴部分を検出した。

[規模・平面形] 南東部の一部は調査区域外にかかる。規模は約4.0×4.3mで、平面形は方形を呈する。

[埋土・堆積状況] 床面直上に褐色土が混入する暗褐色シルト(5層)が堆積する。壁際には締まりが疎い黒褐色シルト(4層)が堆積する。自然堆積と考えられる。8層を貼床と判断した。

[壁・床面] 壁は、重複する遺構埋土を掘り込み、外傾もしくは直立に立ち上がり、壁高は約90cmを測る。床面も重複する遺構埋土を掘り込み、黒褐色土とにぶい黄褐色マサ土が斑に認められる。おおむね床面全面に貼床が認められ、硬く平坦に締まる。カマド部分を除く壁際に幅20cm、深さ35cmの壁溝が巡る。

[柱穴・配置] 4個検出し、これらが主柱の配置と考えられる。床面よりほんやり暗く柔らかな範囲を柱穴と認識した。規模・埋土・堆積状況はほぼ類似しており、堆積土は黒褐色土を主体とする。

[カマド] 北壁中央で黄褐色土ブロックを含む黒褐色土の範囲を確認した。両袖の芯材に巨礫を1個ずつ用いている。燃焼面は床面より10cm前後高く、南側の焼成は良好で、北側奥の焼土は柔らかく汚



れていた。カマド右側床面には、構築土の黄褐色土ブロックや径15～20cm程の礫が散在する。煙道部の堆積土は締まりが疎く、黄褐色土や炭混じりの暗褐色土ブロックを含む人為的な様相を示す。

[その他の付属施設] なし。

**遺物** (第269・442・454・458・499、548 (集成) 図、写真図版181・182・321・329・331・356)

[出土状況] 縄文土器17,589.0g、土師器3,489.9g、土製品、鉄製品、鉄滓類469.2g、動物遺存体が出土した。縄文土器は混入したものである。出土層位の記載に埋土上～中位が多いのは、埋土の残存状況の認識が甘く、床面付近まで埋土中位と認識して精査したことによる。出土層位の記載は変更していないが、層位は埋土下位の出土資料と判断できる。南西壁付近で小規模な貝層を検出した。

[縄文土器] 深鉢4点 (207～211)。

[土師器] 甕3点 (1841・1845・1849)、坏3点 (1842・1851・1852)、高坏1点 (1843)、壺4点 (1844・1846・1848・1850)、大型の坏1点 (1847)。

[土製品] 円盤状土製品1点 (2036)、紡錘車1点 (2201)。

[金属製品] 鎌1点 (6010)。

[動物遺存体] ゴカイ類 (7009)。

**時期** 遺構の形状と出土遺物から古代 (7世紀前葉～中葉) に帰属すると考えられる。埋土下位出土の炭化物について放射性炭素年代測定を行った結果、<sup>14</sup>C年代690±20yrBP、2σ暦年年代範囲1270calAD-1306calAD (75.9%) の測定値が出ている。

(佐藤あゆみ)

### S I 33 竪穴住居跡

**遺構** (第153図、写真図版84)

[位置・検出状況] A区の東側、ⅢD9a～10bグリッド。Ⅱ層でにぶい黄褐色土の広がりとして検出した。SK96・99土坑の精査中に、土坑に切られる柱穴、煙道と推測される横穴を確認して調査を進めた。

[重複関係] SK96・99土坑と重複し、本遺構が切られている。

[規模・平面形] 4.7×4.4m以上の隅丸方形と推定される。

[埋土・堆積状況] 上位ににぶい黄褐色土、下位に堆積する黒褐色土を主体とする。

[壁・床面] 壁・床はⅡ層を掘り込んでいる。壁高は最大30cmである。カマド周辺と思われる北側の一部に貼床状の硬化面を確認している。壁は斜面下位の南側に向かって、やや傾斜している。

[柱穴・配置] PP1～9を確認した。配置は不明である。

[カマド] SK99土坑の精査時、北側に延びる横穴と煙出しと推定される穴を確認したことから、竪穴北側にカマドが設けられ、SK99土坑によりカマドが壊されたと判断した。SK99土坑の東側に貼床状の痕跡を確認している。煙道は径30cm、長さは約90cmで、煙出し口は径45×40cm、深さ35cmである。

[その他の付属施設] なし。

**遺物** (第273・443・454・455・476・501、548 (集成) 図、写真図版186・321・322・329・340・356)

[出土状況] 縄文土器13,499.0g、土師器片595.3g、土製品、石器、金属製品が出土した。西壁際から動物遺存体 (貝殻3.4g、骨21.4g) が少量出土している。

[縄文土器] 深鉢6点 (247～249、251～253)。混入したものだが参考までに掲載する。

[土師器] 甕2点 (1853・1855)、坏1点 (1854)。

[土製品] 円盤状土製品2点 (2041・2042)。

[石器] 異形石器1点 (4451)。縄文時代の遺物で混入したものだが参考までに掲載する。

[金属製品] 棒状製品1点(6057)。

時期 遺構の形状と出土遺物から古代(7世紀前葉～中葉)と推測される。

### S I 36 竪穴住居跡

遺構(第154図、写真図版85)

[位置・検出状況] A区西側、ⅢB10h～ⅣB1iグリッド。Ⅱ～Ⅲ層で黒色土の広がりとして検出した。

[重複関係] SK98土坑と重複する。

[規模・平面形] 一辺約4.8mの隅丸方形と推定される。斜面下位にあたる南側の壁・床は消失している。

[埋土・堆積状況] 黒色土を主体とする。

[壁・床面] 壁・床はⅡ・Ⅲ層を掘り込んでいる。壁高は最大35cmである。

[柱穴・配置] PP1～4を確認した。やや歪だが、四隅を結ぶ対角線上に位置する4本柱と推定される。

[カマド] 北壁のほぼ中央で、袖石と構築土の一部を確認した。燃焼部の焼土は、径35cmで、厚さ5cmである。煙り出し口は確認できなかったが、幅40cm、長さ90cmの溝状の張り出しを煙道の痕跡と判断した。

[その他の付属施設] なし。

遺物(第275・443・469、548(集成)図、写真図版187・322・337)

[出土状況] 縄文土器14,653.3g、土師器45.3gが出土した。縄文土器と石器は混入したものである。

[縄文土器] 深鉢2点(293・294)。混入したものだが参考までに掲載する。

[土師器] 甕1点(1856)。

[石器] 石鏃1点(2366)。縄文時代の遺物で混入したものだが参考までに掲載する。

時期 出土遺物と遺構の形状から古代と推測される。

### S I 42 竪穴住居跡

遺構(第155・156図、写真図版86)

[位置・検出状況] A区の中央付近、ⅢC9d～10eグリッド。Ⅱ層で黒色土の広がりとして検出した。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 6.8×6.35m、隅丸方形と推定される。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土を主体とする。

[壁・床面] 壁・床はⅡ・Ⅲ層を掘り込んでいる。壁高は最大55cmである。

[柱穴・配置] PP1～7を確認した。PP2・6・7・4の4本が四隅を結ぶ対角線上に位置する配置である。

[カマド] 北壁の中央やや東寄りで袖の一部が遺っていた。燃焼部の焼土は径50×35cm、厚さ約3cmである。煙道は40cm、長さ95cmで、煙出し側に向かって上る。煙出し口は径30×25cm、深さ50cmである。

[その他の付属施設] なし。

遺物(第279・280・443・455・499、549(集成)図、写真図版190・322・329・356)

[出土状況] 縄文土器24,792.1g、土師器4,222.0g、土製品、金属製品が出土した。

[縄文土器] 深鉢7点(345～351)。混入したものだが参考までに掲載する。

[土師器] 甕3点(1858・1863・1865)、壺1点(1859)、坏3点(1862・1866・1867)、坏か?1点(1864)、甕2点(1860・1861/S I 42・48)。

[土製品] 円盤状土製品1点(2060)。縄文時代の遺物で混入したものだが参考までに掲載する。

[金属製品] 刀子1点(6012)。

時期 出土遺物と遺構の形状から古代（7世紀前葉～中葉）と推測される。

#### S I 44 竪穴住居跡

遺構（第156図、写真図版87）

[位置・検出状況] A区の東側、ⅢD 9 a～10 a グリッド。Ⅱ層で黒色土の広がりとして検出した。

[重複関係] 下位から縄文時代の遺構が検出されている。

[規模・平面形] 4.2×4.1m、隅丸方形と推定される。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土を主体とする。南東側1.5×1.0mの範囲に径20～10cmの亜角礫の集積範囲を確認した。壁際に近い礫が上位に位置しており、竪穴の埋没中に外側から廃棄されたものと判断した。

[壁・床面] 壁・床はⅡ層を掘り込んでいる。壁高は最大45cmである。床はほぼ平坦である。

[柱穴・配置] PP 1を確認した。配置は不明である。

[カマド] 確認されなかった。

[その他の付属施設] なし。

遺物（第280・444・469・470、549（集成）図、写真図版191・322・337・338）

[出土状況] 縄文土器11,096.9 g、土師器415.0 g、石器が出土した。

[縄文土器] 深鉢2点（356・357）。埋土から出土した。混入したものだが参考までに掲載する。

[土師器] 坏2点（1868・1869）、小型の甕1点（1870）。

[石器] 石鏃1点（2395）、石錐1点（2899）。縄文時代の遺物で混入したものだが参考までに掲載する。

時期 出土遺物と遺構の形状から古代（9世紀代）と推測される。

#### S I 48 竪穴住居跡

遺構（第157・158図、写真図版88・89）

[位置・検出状況] A区、ⅣC 1 e～2 g グリッド。トレンチ1025で竪穴中央付近の床面を掘り貫いている。Ⅱ層中で黄灰色土の広がりとして検出し、カマドの存在を確認して古代の住居とし認識した。

[重複関係] S K 111 土坑、S I 102・103 竪穴住居跡をはじめ、多くの縄文時代の遺構が下位に存在する。

[規模・平面形] 両辺4.8m、方形を呈し、主軸方向はN-31°-Wである。

[埋土・堆積状況] 上位は黄灰色土、中～下位は黒褐色土。人為的に埋め戻されている。なお、北側では埋土下位（4・8層）に獣骨を含み、埋土中位（7層）に貝殻を顕著に含む。

[壁・床面] Ⅱ層を切り込んで壁・床面がつくられている。床面はほぼ平坦である。壁高は55cmである。

[柱穴・配置] PP 1～4の4個を検出した。支柱穴はPP 1～3で、中軸線を挟んで対称に並ぶ4本配置だが、PP 3と対になる支柱穴は、トレンチ1025の掘削により、その存在を把握できなかった。

[カマド] 削り貫き式のカマド1基を北西側で検出した。燃焼部の規模は80×72cm、焼土の厚さ5cm。煙道は長さ118cm、幅39cm。煙出の規模は41×37cm、深さ41cmである。袖・支脚に花崗岩を用いている。

[その他の付属施設] なし。

遺物（第281・444・455・499、549（集成）図、写真図版192・322・323・329・356・368・372・377・378・381・383）

[出土状況] 縄文土器7,286.4 g、土師器3,044.5 g、金属製品、動物遺存体2,713.7 gが出土した。土器A（1872）・B（1873）は大型の坏である。動物遺存体は、貝殻はアサリ・イガイ主体で、獣骨よりも上位に堆積している。海獣・ニホンジカを含む獣骨は、解剖学的位置を保っておらず、肢骨が多いようだが下顎骨もみられる。住居廃絶後の窪みに投棄されたものと考えられる。縄文土器・土製品も混入している。

[縄文土器] 深鉢1点(372)。混入したものだが参考までに掲載する。

[土師器] 甕1点(1871)、坏4点(1872・1873・1876・1877)、壺1点(1874)、甕(小型)1点(1875)、椀1点(1878)。

[土製品] 円盤状土製品2点(2062・2063)。

[金属製品] 鋤鍬先1点(6006)、刀子1点(6013)。

[動物遺存体] カニ類可動指1点(7018)、ボラ腹椎1点(7146)、鳥綱上腕骨左1点(7333)、アシカ類上腕骨1点(7382)・橈骨1点(7383)、海獣類?不明1点(7385)、ニホンジカ下顎骨1点(7488)・上腕骨左1点(7492)・中手骨(7496)・大腿骨左右(7501・7502)・脛骨左右(7504・7505)・距骨左(7513)・踵骨(7515)・中心+第4足根骨左右(7517・7518)・中足骨左(7506・7507)・中足骨右(7509・7511)・末節骨(7521)、大型獣類椎骨(7432)、獣類歯牙(7437)・肋骨(7440)・胸骨(7444)・大腿骨(7445)。

**時期** 遺構の形状と出土遺物から古代(7世紀前葉~中葉)と推測される。埋土中位貝層A出土の炭化物について放射性炭素年代測定を行った結果、 $^{14}\text{C}$ 年代 $1880 \pm 20\text{yrBP}$ 、 $2\sigma$ 暦年代範囲 $439\text{calAD}-595\text{calAD}$ (95.4%)の測定値が出ている。

(河本純一)

## S I 50 竪穴住居跡

**遺構** (第159図、写真図版90)

[位置・検出状況] A区東側、IV D 2 a~3 b グリッド。東側半分が調査区域外にかかる。II層で黒褐色土の広がりとして検出した。精査中は埋土上位から縄文土器が多量に出土したが、床面付近から土師器や鉄滓が出土したことから古代の竪穴住居跡と認識したものである。

[重複関係] 本竪穴住居を切る遺構はなかった。下位から縄文時代の遺構を確認している。

[規模・平面形] 過半は調査区域外にかかる。残存部の規模は $5.5 \times 2.0\text{m}$ 以上、方形基調と推定される。

[埋土・堆積状況] 床面直上に褐色土が混入する暗褐色シルト(2層)が堆積する。壁際に堆積する締まりの弱い黒褐色シルト(3層)は崩落土と判断される。全体的に自然堆積と考えられる。

[壁・床面] 壁は外傾し立ち上がる。壁高は約80cmである。床面は、S I 117 竪穴住居跡の埋土を掘り込んでいるためか、平坦だが締まりが疎い。北側壁際に壁溝を検出した。幅13cm、深さ15cmを測る。

[柱穴・配置] 1個検出した。他の柱穴は調査区域外に存在すると考えられる。

[カマド] 検出されなかった。

[その他の付属施設] なし。

**遺物** (第281・445・451・455・485・499・501、549(集成)図、写真図版192・323・327・329・346・356・357)

[出土状況] 縄文土器8,805.6g、土師器746.3g、陶磁器39.5g、土製品、石器、金属製品、羽口11.0gが出土した。羽口は小片のため掲載していない。縄文土器の出土量が多いが、混入したものである。

[縄文土器] 深鉢2点(376・377)。混入したものだが参考までに掲載する。

[土師器] 甕1点(1879)、甕?1点(1880)、坏1点(1881)。

[陶磁器] 甕1点(1971)。中世陶器であり、混入したものであるが参考までに掲載する。

[土製品] 円盤状土製品1点(2064)。縄文時代の遺物で混入したものだが参考までに掲載する。

[石器] 凹石1点(5415)。

[金属製品] 刀子1点(6014)、釣針?1点(6044)。

**時期** 遺構の形状と出土遺物から古代(7世紀前葉~中葉)に帰属すると考えられる。

(佐藤あゆみ)

### S I 52 竪穴住居跡

遺構（第160・161図、写真図版90・91）

[位置・検出状況] A区、ⅢC10h～ⅣC2iグリッド。Ⅱ層で黒褐色土の広がりとして検出した。

[重複関係] 本竪穴住居跡を切る遺構は無い。下位で縄文時代のS I 71・75竪穴住居跡を確認した。

[規模・平面形] 6.5×6.2mで、隅丸方形と推定される。

[埋土・堆積状況] 黒色土を主体とする。

[壁・床面] 壁・床はⅡ・Ⅲ層を掘り込んでいる。壁高は最大65cmである。カマド周辺の両側に幅10～15cm、深さ10cmの壁溝が廻る。5層の黒褐色土を貼床と認識し、下位6層を別遺構（後のS I 75竪穴住居跡）と認識した。床面上で確認した焼土・炭化材から、焼失住居だった可能性がある。

[柱穴・配置] PP1～4を確認した。四隅を結ぶ対角線上に位置する4本柱の配置と推定される。

[カマド] 北壁のほぼ中央で確認した。天井は、壁側を除いて崩落し、袖が遺されていた。燃焼部の焼土は、径30×40cmで、厚さ4cmほどである。煙道は、幅30cm、長さ100cmの大きさで割り貫かれている。煙道側に向かって傾斜が上っていく構造である。煙出し口は径35×30cm、深さ45cmである。

[その他の付属施設] 北壁のカマドの西側に40×30cm程の小規模な張り出しがある。

遺物（第281・445・450・476・499・502、549（集成）図、写真図版192・323・326・329・340・356・358）

[出土状況] 縄文土器17,590.8g、土師器1,619.7g、須恵器、土製品、石器、金属製品、銭貨が出土した。縄文土器は土師器の10倍の量が出土している。縄文土器・土製品・石器などは混入したものである。

[縄文土器] 深鉢ミニチュア1点（380）、深鉢2点（381・382）。

[土師器] 甕（小型）1点（1882）、甕1点（1883）、坏3点（1884～1886）。

[須恵器] 長頸瓶1点（1953）。

[土製品] 円盤状土製品5点（2065～2069）。

[石器] 磨製石斧1点（4536）。

[金属製品] 鋤鍬先1点（6007）。

[銭貨] 熙寧元寶1点（6116）。

時期 遺構の形状と出土遺物から古代（7世紀前葉～中葉）と推測される。埋土3層No.5の炭化物について放射性炭素年代測定を行った結果、<sup>14</sup>C年代1360±20yrBP、2σ暦年代範囲638calAD-685calAD（95.4%）の測定値が出ている。

### S I 63 竪穴住居跡

遺構（第162・163図、写真図版92）

[位置・検出状況] A区の南西側、ⅣC3d～4fグリッド。トレンチ1025の断面に壁・床の一部を確認し、竪穴住居跡の存在を想定した後、Ⅱ層で黒褐色土の広がりとして検出し、平面形状を確認した。

[重複関係] 本遺構の下位から多数の縄文時代の竪穴住居跡を検出した。S K111土坑と重複している。

[規模・平面形] 7.5×6.5m、隅丸方形と推定される。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土を主体とする。

[壁・床面] 壁・床はⅡ層を掘り込む。壁高は最大25cmである。3層黒色土を貼床と認識した。

[柱穴・配置] PP1～4を確認した。四隅を結ぶ対角線上に位置する4本柱の配置と推定される。

[カマド] 北壁のほぼ中央で袖石と構築土の一部を検出した。燃焼部の焼土は径60×45cmで、厚さ5cmである。幅30cm、長さ130cmの溝状の張り出しが煙道の痕跡と推測される。煙出し部分の底面が一段下がる。

[その他の付属施設] なし。

遺物（第292・445、549（集成）図、写真図版200・323・385）

[出土状況] 縄文土器5,657.3g、土師器1,812.3g、自然遺物4.56gが出土した。自然遺物はコハクで東側床面から出土している。縄文土器は混入したものである。

[縄文土器] 深鉢2点（500・501）。混入したものだが参考までに掲載する。

[土師器] 坏1点（1887）、甕1点（1888）、壺1点（1889）、高坏1点（1890）。

[自然遺物] コハク1点（7701）。産地同定の結果は、V 分析・鑑定を参照されたい。

時期 遺構の形状と出土遺物から古代（7世紀前葉～中葉）と推測される。

### S I 74 竪穴住居跡

遺構（第164・165図、写真図版93）

[位置・検出状況] A区の南西側、IV C 3 a～4 bグリッド。II層で黒褐色土の広がりとして検出した。西側でS X 10貝層廃棄土坑に切られ、西側の壁・床の一部が消失している。

[重複関係] 北側でS K 121土坑に切られ、西側でS X 10貝層廃棄土坑に切られている。S X 10廃棄土坑がS I 74竪穴住居跡の貼床を切っていたが、調査した順番はS I 74竪穴住居跡が早い。

[規模・平面形] 5.7×5.7m、隅丸方形と推定される。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・黒色土を主体とする。

[壁・床面] 壁・床はII・III層を掘り込んでいる。壁高は最大50cmである。床面ほぼ全体に貼床状の硬化面（4層黒褐色土）を確認している。

[柱穴・配置] PP 1～4を確認した。四隅を結ぶ対角線上に位置する4本柱の配置と推定される。

[カマド] 北壁のほぼ中央で確認した。袖石と構築土の一部が遺っていた。燃烧部の焼土は、径30cmで、厚さ5cmほどである。煙道は、幅40cm、長さ170cmの大きさで刳り貫かれている。煙出し口に向かって傾斜が下がる構造である。煙出し口は径35cmである。深さは90cmであった。

[その他の付属施設] なし。

遺物（第445・446・450・453・470・475・486・499・503、550（集成）図、写真図版323・324・326・328・338・340・347・356・359・361）

[出土状況] 土師器5,698.1g、須恵器、土製品、石器、金属製品、銭貨、鉄滓類が出土した。カマドのある北壁側で土器No.1（1894・1895）・2（1896）・3（1897・1898）・4（1899）が出土している。

[土師器] 甕5点（1892・1899・1900・1902・1904）、坏2点（1893・1898）、坏（小型）1点（1894）、椀2点（1895・1897）、壺2点（1896・1903）、甕（小型）1点（1901）、坏1点（1891/S I 73・74）。

[須恵器] 長頸瓶1点（1954）。

[土製品] 三角壺形土製品1点（2005）。縄文時代の遺物で混入したものだが参考までに掲載する。

[石器] 尖頭器様石器1点（2845）、不定形石器1点（3373）、凹石1点（5431）。

[金属製品] 鞘尻1点（6003）、鋤鋏先1点（6008）、刀子1点（6015）。

[銭貨] 慶元通寶1点（6130）。

[鉄滓類] 1点（6301）。

時期 遺構の形状と出土遺物から古代（7世紀末～8世紀前半）と推測される。

### S I 87 竪穴住居跡

遺構（第166・167図、写真図版94・95）

[位置・検出状況] A区の南東側、IV C 4 g～5 hグリッド。グリッド単位でII層を掘り下げ中に黒

色土の広がりとして検出した。北壁と煙道の一部は、IV C 3 g グリッド掘り下げ時に消失している。

[重複関係] 本竪穴住居跡を切る遺構は無かった。下位からは縄文時代の遺構を検出している。

[規模・平面形] 5.6×5.1mで、隅丸方形と推定される。

[埋土・堆積状況] 黒色土を主体とする。

[壁・床面] 壁・床はII層を掘り込んでいる。壁高は最大20cmである。

[柱穴・配置] PP 1～4を確認した。四隅を結ぶ対角線上に位置する4本柱の配置と推定される。

[カマド] 北壁の中央で袖石と構築土の一部を確認した。燃焼部は径25cm、焼土の厚さ5cmである。北側で確認した幅35cm、長さ70cmの溝状の張り出しが、煙道の痕跡と推測されるが、北端部を失っている。

[その他の付属施設] なし。

**遺物** (第446・447、550 (集成) 図、写真図版324・325)

[出土状況] 土師器2,329.1gが出土した。カマドのある北壁側から土器No.1 (1906)・2 (1905)・3 (1907) が出土した。

[土師器] 甕2点 (1905・1906)、小型甕1点 (1907)、坏1点 (1908)。

**時期** 遺構の形状と出土遺物から古代 (7世紀前葉～中葉) と推測される。

### S I 105竪穴住居跡

**遺構** (第168・169図、写真図版96)

[位置・検出状況] A区の南東側、IV C 3 i～4 j グリッド。II層で黒色土の広がりとして検出した。

[重複関係] 本竪穴住居跡の下位からS I 115竪穴住居跡など縄文時代の遺構を検出している。

[規模・平面形] 一辺約4.9mの隅丸方形と推定される。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土を主体とする。

[壁・床面] 壁・床はII層を掘り込み、南側に向かって緩く傾斜している。壁高は最大20cmである。

[柱穴・配置] PP 1～4を確認した。四隅を結ぶ対角線上に位置する4本柱の配置と推定される。

[カマド] 北壁のほぼ中央で確認した。袖石と構築土の一部が遺っていた。燃焼部の焼土は、径70×40cmで、厚さ5cmである。北側で確認した幅35cm、長さ130cmの溝状の張り出しが煙道の痕跡と推測される。

[その他の付属施設] カマドのある北壁西側で25×40cmの小規模な張り出しを確認した。竪穴の北壁東側でPit 1を確認した。径20cm、深さ20cmの浅い窪みで、上位で粘土層、下位に焼土層が形成されていた。

**遺物** (第332・447・448・458・490・500、550 (集成) 図、写真図版235・325・331・350・356)

[出土状況] 縄文土器5,804.5g、土師器1,926.4g、土製品、石器、金属製品が出土した。PP 4の南東側に径5～10cm大の礫群がまとまって出土したが、石器は含まれていない。縄文土器は混入したものである。

[縄文土器] 深鉢1点 (830)。混入したものだが参考までに掲載する。

[土師器] 壺2点 (1909・1911)、坏1点 (1910)、高坏1点 (1912)、甕3点 (1913・1919・1920)、椀2点 (1914・1915)、高坏 (ミニチュア) 1点 (1916)、坏 (大型) 1点 (1917)、甕 (小型) 1点 (1918)。

[土製品] 紡錘車2点 (2202・2203)。

[石器] 石皿1点 (5508)。

[金属製品] 釘1点 (6022)。

**時期** 遺構の形状と出土遺物から古代 (7世紀前葉～中葉) と推測される。埋土出土の炭化物について放射性炭素年代測定を行った結果、<sup>14</sup>C年代1460±20yrBP、2σ暦年年代範囲565calAD-645calAD (95.4%) の測定値が出ている。

#### (4) 竪穴状遺構

15棟（13年度調査で8棟、14年度調査で7棟）を調査した。時期は古代・中世の他、縄文時代や不明のものもある。各竪穴状遺構の位置・計測値は、第5表 竪穴状遺構観察表を参照されたい。

##### SK I 01 竪穴状遺構

遺構（第170図、写真図版97）

[位置・検出状況] B区南東側、ⅢC 2 e グリッド。トレンチでⅢ層中に壁・床面を確認し、調査した。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 径2.35mで、2.5m前後の円形基調と推定される。南西側は消失している。

[埋土・堆積状況] 暗褐色土・褐色土を主体とする。

[壁・床面] 壁・床はⅢ層を掘り込んでいる。壁高は最大60cm。7層褐色土は、貼床の可能性がある。

[柱穴・配置] なし。

遺物（第340図、写真図版242）

[出土状況] 縄文土器60.7gが出土した。

[縄文土器] 深鉢1点（891）。

時期 出土遺物と遺構の重複関係などから縄文時代以降の可能性はある。

##### SK I 02 竪穴状遺構

遺構（第170図、写真図版97）

[位置・検出状況] A区東側、ⅢD 7 c～8 d グリッド。Ⅳ層で黒色土の広がりとして検出した。

[重複関係] 南側ではS I 13竪穴住居跡を切っている。

[規模・平面形] 径3.8×2.0mの長方形である。

[埋土・堆積状況] 黒色土を主体とする。

[壁・床面] 壁・床はⅣ層を掘り込んでいる。壁高は最大50cmである。

[柱穴・配置] PP 1～5を検出した。PP 4が極端に浅い以外、深さ40cm以上の柱穴が壁際に配置される。

遺物（第340図、写真図版242・368～372）

[出土状況] 縄文土器6,221.5g、動物遺存体は2箇所（a・b）から出土した。竪穴状遺構の廃絶後の窪地に廃棄されたものである。aは590.5g、bは4,051.1g、その他としたものが5,231.18gある。

[縄文土器] 深鉢3点（892～894）。

[動物遺存体] イボキサゴ（7032）、ヒレガイ（7046）、ヒメムシロ（7055）、トリガイ（7080）、イソシジミ類（7092・7093）、ニシン科・尾椎（7134）。

時期 出土遺物と遺構の形状、重複関係などから中世以降の可能性があると推測される。

##### SK I 03 竪穴状遺構

遺構（第170図、写真図版97）

[位置・検出状況] A区東側、ⅢC 7 j・ⅢD 7 a グリッド。Ⅳ層で暗褐色土の広がりとして検出した。

[重複関係] SK I 03-PP17がSK 55土坑埋土を掘り込んでつくられ、SK 55土坑を切っている。

[規模・平面形] 開口部3.3×2.5m、底部径3.0×2.1mである。平面形は隅丸長方形と推定される。

[埋土・堆積状況] 灰黄褐色土・暗褐色土を主体とする。



[壁・床面] 壁・床はⅣ層を掘り込んでいる。壁高は最大80cmである。床は平坦である。

[柱穴・配置] PP 1～17を確認した。PP 1～9・16・17は竪穴内で、中央に規模が大きいPP 9・17、壁際に小形の柱穴が配置される。PP10～15は竪穴周辺で確認した。

遺物 (第340図、写真図版242)

[出土状況] 縄文土器39.5gが出土した。

[縄文土器] 深鉢1点 (895)。

時期 遺構の形状と重複関係などから古代・中世以降と推測されるが、詳細は不明である。

#### SK I 04竪穴状遺構

遺構 (第171図、写真図版98)

[位置・検出状況] A区東側、ⅢC 8 g・9 gグリッド。Ⅱ層で黒褐色土の広がりとして検出した。

[重複関係] 北側でSK 65土坑と重複し、SK 65土坑に切られている。

[規模・平面形] 斜面下位の南側と東側は消失している。一辺約3.6mの方形基調と推定される。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土を主体とする。

[壁・床面] 壁・床はⅡ～Ⅲ層を掘り込んでいる。壁高は最大50cmである。床面は平坦である。

[柱穴・配置] PP 1～11を確認した。PP 1～9は竪穴南側にまとまり、PP10・11は竪穴外である。

[その他] 南側でPP 4に切られている焼土1箇所を確認したが、本遺構との同時性は不明である。

遺物 (第340・448図、写真図版242・243)

[出土状況] 縄文土器4,000.8g、土師器119.3gが出土した。

[縄文土器] 深鉢2点 (896・897)。

[土師器] 坏2点 (1921・1922)。

時期 出土遺物と遺構の重複関係などから古代以降と推測される。

#### SK I 05竪穴状遺構

遺構 (第171図、写真図版98)

[位置・検出状況] A区東側、ⅢD 9 c・9 dグリッド。Ⅱ層で黒褐色土の広がりとして検出した。

[重複関係] SK 23土坑に切られている。SK 23土坑の精査終了後に精査を開始した。

[規模・平面形] 斜面南側は消失しているが、6m以上の方形または長方形と推定される。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土を主体とする。

[壁・床面] 壁・床はⅣ層を掘り込んでいる。壁高は最大30cmである。床面はほぼ平坦である。

[柱穴・配置] PP 1・2を確認したが、配置は不明である。

遺物 (第340・451図、写真図版242・327)

[出土状況] 縄文土器1,810.4g、陶磁器1,451.1gが出土した。床面から陶器片(1972～1976)が出土した。

[縄文土器] 深鉢2点 (898・899)。

[陶磁器] 甕5点 (1972～1976)。12世紀の渥美産陶器である。

時期 出土遺物と遺構の重複関係などから中世(12世紀以降)と推測される。

#### SK I 06竪穴状遺構

遺構 (第172図、写真図版98)

[位置・検出状況] A区西側、ⅢB9aグリッド。Ⅲ層で黒褐色土の広がりとして検出した。  
 [重複関係] なし。  
 [規模・平面形] 径2.6mの円形基調と推定される。斜面下位の南側を消失している。  
 [埋土・堆積状況] 黒色土を主体とする。  
 [壁・床面] 壁・床はⅣ層を掘り込む。壁高は最大30cm。床面はほぼ平坦で、西壁の一部に壁溝が廻る。  
 [柱穴・配置] PP1の1個を確認した。北壁の中央付近に位置する。  
 遺物 出土していない。  
 時期 不明である。

#### SK107 竪穴状遺構

遺構 (第172図、写真図版99)

[位置・検出状況] A区西側、ⅢB8f・8gグリッド。Ⅱ層で黒褐色土の広がりとして検出した。  
 [重複関係] 東側でSK80土坑と重複し、SK80土坑を切っている。  
 [規模・平面形] 径2.7×2.0mほどの楕円形と推定される。斜面下位の南側を消失している。  
 [埋土・堆積状況] 黒色土を主体とする。  
 [壁・床面] 壁・床はⅣ層を掘り込んでいる。壁高は最大50cmである。  
 [柱穴・配置] PP1～3を確認した。PP1は竪穴の中央付近、PP2・3は壁際に配置される。  
 遺物 出土していない。  
 時期 不明である。

#### SK108 竪穴状遺構

遺構 (第172図、写真図版99)

[位置・検出状況] A区東側、ⅢC7fグリッド。Ⅲ層で黒色土の広がりとして検出した。  
 [重複関係] なし。  
 [規模・平面形] 残存部分で径3.8×1.8m、平面形は楕円形と推定される。斜面下位の南側を消失する。  
 [埋土・堆積状況] 黒色土を主体とする。  
 [壁・床面] 壁・床はⅢ層を掘り込んでいる。壁高は最大10cmである。  
 [柱穴・配置] なし。  
 遺物 縄文土器50.8gが出土した。小片のため掲載遺物はない。  
 時期 不明である。

#### SK109 竪穴状遺構

遺構 (第173図、写真図版99)

[位置・検出状況] A区東側、ⅣB1j・2jグリッド。Ⅱ～Ⅲ層で黒色土の広がりとして検出した。  
 [重複関係] 埋土1層がSN27焼土遺構であり、上位にあるSN27焼土遺構が新しい。  
 [規模・平面形] 開口部径5.0m程の隅丸方形と推定される。斜面下位の南側は消失している。  
 [埋土・堆積状況] 黒色土を主体とする。  
 [壁・床面] 壁・床はⅡ～Ⅲ層を掘り込んでいる。壁高は最大25cmである。床面はほぼ平坦である。  
 [柱穴・配置] 確認していない。  
 遺物 (第340図、写真図版242)

[出土状況] 縄文土器片9,463.1gが出土した。

[縄文土器] 深鉢3点(900～902)。

時期 不明である。

### SK I 10 竪穴状遺構

遺構(第174図、写真図版99)

[位置・検出状況] A区、ⅢC10j～ⅣD2aグリッド。Ⅱ層で黒色土の広がりとして検出した。

[重複関係] SK I 10竪穴状遺構の下位から、縄文時代のS I 82竪穴住居跡が確認されている。

[規模・平面形] 開口部5.0×4.1mで、南側がやや窄まる隅丸方形の形状である。

[埋土・堆積状況] 黒色土を主体とする。

[壁・床面] 壁・床はⅣ層を掘り込んでいる。壁高は最大35cmで、床面は、斜面に沿ってやや傾斜する。

[柱穴・配置] PP1～9を確認したが、いずれも比較的小規模な柱穴である。配置は不明である。

遺物(第340・450・470・471図、写真図版242・326・337・338)

[出土状況] 縄文土器10,470.6g、須恵器、石器が出土した。

[縄文土器] 深鉢3点(903～905)。

[須恵器] 甕1点(1955)。

[石器] 石鏃1点(2495)、石錐1点(2914)。

時期 出土遺物と遺構の重複関係などから古代と推測される。

### SK I 11 竪穴状遺構

遺構(第173図、写真図版100)

[位置・検出状況] A区、ⅢC10f～ⅣC1gグリッド。Ⅱ層で黄灰色土の広がりとして検出した。

[重複関係] SN29焼土遺構が上位に位置する。南側でS I 48竪穴住居跡と重複し、切られている。

[規模・平面形] 径3.0m以上と推定されるが、詳細は不明である。

[埋土・堆積状況] 黄灰色土・黒色土を主体とする。

[壁・床面] 壁・床はⅡ層を掘り込んでいる。床面は緩く湾曲する。

[柱穴・配置] PP1を確認した。配置は不明である。

遺物 縄文土器465.2gが出土した。小片のため掲載遺物はない。

時期 出土遺物と遺構の重複関係などから縄文時代と推測されるが、詳細は不明である。

### SK I 12 竪穴状遺構

遺構(第175図、写真図版100)

[位置・検出状況] A区、ⅢC9j～ⅢD9aグリッド。Ⅱ層で黒褐色土の広がりとして検出した。

[重複関係] 東側でS I 44・61竪穴住居跡、S I 35竪穴住居跡と重複し、切られている。

[規模・平面形] 短辺4.4m、等高線と平行する長辺は最大6.0m程の長方形と推測される。

[埋土・堆積状況] 黄褐色土・黒褐色土を主体とする。1層黄褐色土はS I 35竪穴住居跡の貼床か。

[壁・床面] 壁・床はⅡ層を掘り込んでいる。壁高は40cmである。床面は緩く傾斜する部分がある。

[柱穴・配置] PP1～9を確認した。南東側は遺構の重複が激しく、消滅した柱穴もあると推測する。

遺物(第340図、写真図版242)

[出土状況] 縄文土器926.9gが出土した。

[縄文土器] 深鉢1点(906)。

時期 出土遺物と遺構の重複関係などから縄文時代と推測されるが、詳細は不明である。

### SK I 13 竪穴状遺構

遺構(第174図、写真図版100)

[位置・検出状況] A区南西側、IV C 6 b・6 c グリッド。トレンチで壁・床面を確認し、調査を進めた。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 径3.0m以上と推定される。平面形は円形基調か。斜面下位の南側を消失している。

[埋土・堆積状況] 黒色土を主体とする。

[壁・床面] 壁・床はIV層を掘り込み、壁高は最大25cm、床面は南側にやや傾斜する。一部に壁溝が廻る。

[柱穴・配置] なし。

遺物(第340図、写真図版242)

[出土状況] 縄文土器4,072.9gが出土した。

[縄文土器] 深鉢3点(907～909)。

時期 不明である。

### SK I 14 竪穴状遺構

遺構(第174図、写真図版100)

[位置・検出状況] A区の東側、IV C 2 j、IV D 2 a グリッド。S I 119竪穴住居跡の精査後に確認した。

[重複関係] 南側でS I 119竪穴住居跡と重複し、S I 119竪穴住居跡に切られている。

[規模・平面形] 径3.5m以上と推定される。平面形は方形基調と推定される。

[埋土・堆積状況] PP 1の埋土から、黒褐色土を主体とすると推定されるが、詳細は不明である。

[壁・床面] 壁・床はIV層を掘り込んでいる。壁高は最大15cmである。壁際に壁溝が廻る。

[柱穴・配置] PP 1～5を確認した。竪穴の中央と壁際に配置される。PP 1の規模がやや大きい。

遺物(第340図、写真図版242)

[出土状況] 縄文土器199.7gが出土した。

[縄文土器] 深鉢2点(910・911)。

時期 出土遺物と遺構の重複関係などから縄文時代と推測される。

### SK I 15 竪穴状遺構

遺構(第176図、写真図版100)

[位置・検出状況] A区の南西側、IV C 5 d・6 e グリッド。IV層で柱穴のみの確認である。

[重複関係] SK 150土坑、SN 43焼土遺構と重複する。新旧関係は不明である。

[規模・平面形] 柱配置から、径4.0×3.0m以上と推定される。平面形は不明である。

[埋土・堆積状況] 不明である。

[壁・床面] 壁は不明である。柱穴が位置する床面は、ほぼ平坦である。

[柱穴・配置] PP 1～7を確認したが、配置は不明である。

遺物 縄文土器41.7gが出土した。小片のため掲載遺物はない。

時期 不明である。

## (5) 土 坑 類

### 概要

162基（13年度調査で90基、14年度調査で72基）を調査した。性格は、貯蔵穴・墓壙のほか、用途不明の土坑があり、時期的には、縄文時代・古代・中世、不明としたものがある。各土坑の位置・計測値などは、第6表 土坑観察表を参照されたい。ここでは、時期ごとに土坑群の傾向を述べるとともに、遺構の形態的特徴や遺物の出土状況など、特記すべき個別の土坑について触れる。

### S K 01 ～ 100・102～163土坑

遺構（図版177～210、写真図版101～140）

#### 縄文時代の土坑

縄文時代と考えられる土坑は112基ある。そのうち断面形フラスコ状・ビーカー状で、平面形が円形・楕円形など円形基調の土坑が91基ある。占地を見ると、C区の尾根上から南斜面、A区の低地部北側の緩斜面にかけて多く確認されている。土坑同士・堅穴住居跡など別遺構との重複も確認され、1基単独というより、2～3基をひとまとまりとして分布している様子がみてとれる。分布をみると、堅穴住居跡と重複する土坑もあるが、堅穴住居跡の分布域よりは、やや高い位置に分布している傾向がみられる。土坑の使用目的（用途）と、つくられる場所との関連性の結果と推測される。その条件の一つに水捌けの良さがあるのではないかと。斜面地につくられている土坑は、雨水も地下に浸透し、仮に一時的に水が溜まっても、長時間水に浸かることはなかった。貯蔵施設としては効果的に機能したと推定される。

規模は大小あり、底径100cm以上のものが多いが、小さいもので底部径70～80cm（S K 134）。大きいもので底部径245cm（S K 21）、残存深度の最も深いもので194cm（S K 61）などがある。掘り方をみると、検出面はⅡ・Ⅲ～Ⅳ層であるが、底面はⅣ層を掘り込んでいるものがほとんどである。そのため埋土もⅣ層起源のマサ土の崩落土である褐色土・橙色土系の埋土の堆積状態を示すものが多かった。黒色系の埋土が上位に堆積している土坑は、検出時に土坑上部に木根が確認された事例が多い。黒土化する要因を提示しているかもしれない。平面形状をみると、開口部の中心部が底面の中心部と必ずしも一致するわけではなく、特に斜面部につくられた土坑については、開口部が斜面下位側に寄って設けられていた可能性が、埋土の堆積状況から見て取れた（S K 26など）。掘り込み面では、Ⅳ層中に確認された岩脈を掘り込んでいる土坑（S K 10・11）、基盤となる岩盤に当たったところで、掘り方を止めて、結果的にいびつな形状になったと思われる土坑（S K 17）もある。底面の状況は、中央などに小柱穴（副穴）を持つもの（S K 56・67など）や溝状の掘り込みを持つもの（S K 57など）がある。その比率は、過半数を超え、縄文時代の当該遺構の特徴として指摘しうる。底面施設の有無による時期差・性格の差までは、認識することができなかった。

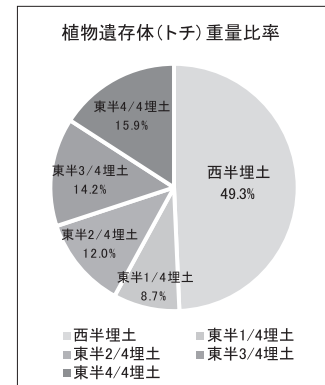
遺物の出土状況を見ると、まとまった遺物量が出土した土坑がいくつかある。土器などの遺物が比較的まとまって出土した土坑には、S K 05・29・32・112土坑などがある。遺物の出土状況で特記すべきは、アサリ主体の動物遺存体が出土したS K 29・53土坑、トチノキ主体の植物遺存体が出土したS K 12土坑である。用途が貯蔵用と想定される土坑の主な時期は、縄文時代中期と推測される。

以下、特徴的な個別の土坑について記載する。

S K 12土坑は、C区尾根の南斜面、Ⅲ D 2 b グリッド。Ⅳ層で暗褐色土の広がりとして検出した。開口部径140×155cm、底部径180～190cm、深さ120cmのフラスコ状土坑で、底面直上の厚さ10cmほど

の7層黒色土層から植物遺存体（炭化種実）が出土した。炭化種実は、トチノキを主とする堅果類約40kgで、西半埋土を一括、東半埋土を4分割（南から北に向かって、1/4・2/4・3/4・4/4埋土）して取り上げた。出土量の内訳は、西と東では、ほぼ差は無く、東半を四つに細分した場合でも、出土量に極端な多寡は無く、著しい偏りはなかった。底面一帯を貯蔵用として均一に使用したと考えられる。埋土上位の堆積状況を見ると、意図的に埋め戻されたような堆積状況は確認できていない。また底面・壁面にも被熱して焼土化した痕跡を確認することはできなかった。この点は、検討を要する留意点である。炭化種実の詳細については、V 分析・鑑定を参照されたい。時期は縄文時代中期末葉と推測される。7層出土の炭化種実について、放射性炭素年代測定を行った結果、 $^{14}\text{C}$ 年代 $3970 \pm 30\text{yrBP}$ 、 $2\sigma$ 暦年代範囲 $2575\text{calBC}$ - $2457\text{calBC}$ （95.0%）の測定値が出ており、縄文時代中期末葉の年代観が得られている。

S K 12土坑出土の植物遺存体の重量比率



S K 17土坑は、C区尾根の南斜面、IV層で検出された。平面形が円形を呈するが、南東側が歪である。底面には花崗岩礫が露出して硬く、掘削が困難な状況であった。よって、円形に掘ることを目指しつつも、結果的に掘ることが叶わず、平面形が不整形になってしまったと推測された。

S K 29土坑は、A区東側の南斜面、IV層で黒褐色土の広がりとして検出した。開口部径 $100 \times 80\text{cm}$ の楕円形、底部径 $180\text{cm}$ の円形で、袋状の断面フラスコ状を呈する。埋土中位6層と下位10層で、いずれもアサリ主体の貝層が確認され、bブロックからはイヌ骨が出土しているのが特徴である。aブロック（6層）は $5,808.3\text{g}$ 、bブロック（10層）は $9,044.5\text{g}$ である。詳細は、V 分析・結果を参照されたい。時期は、出土遺物から縄文時代中期と推測される。

S K 88土坑は、S I 27・28堅穴住居跡と重複し、S I 27・28堅穴住居跡より新しい。溝状の陥し穴状遺構の可能性はあるが、単独の1基のみの検出で、平面形が湾曲することも判断に躊躇する。

S K 100土坑は、A区西側、III C 9 e グリッド。II層で黄灰色の広がりとして検出した。やや不整な隅丸方形である。土坑の底面でS N 23石囲炉を確認した。別々の遺構として調査したが、S K 100土坑が、S N 23石囲炉に伴う堅穴であった可能性にも留意すべきかもしれない。

#### 古代の土坑

遺構の重複関係や出土遺物などから、古代に属すると推定される土坑は2基である。

S K 96・99土坑は、ともに規模・平面形が $90 \sim 100\text{cm}$ の円形基調で、深さは $80 \sim 110\text{cm}$ 、断面形は円筒状で、規模・形状が類似する。S K 96・99土坑とも古代のS I 33堅穴住居跡を切っていることから、時期は古代以降と判断した。S K 99土坑の埋土2層からは動物遺存体（イガイ主体の貝殻）が出土している。

#### 中世の土坑

S K 23土坑は、A区東側、III D 9 d グリッド。II層でにぶい黄褐色土の長方形の広がりとして検出した。遺構検出時にもっとも早く確認した遺構である。規模は、径 $210 \times 120\text{cm}$ で、ほぼ長軸が南北を向く。深さ $35\text{cm}$ 。埋土は大きく1・2層に大別され、1・2層の間には、炭化物層が確認され、木質部が付着した鉄釘が出土している。炭化物層は、炭化した板材の痕跡と推測された。2層は掘り方で、掘り方内側に木枠状の施設を埋設し、木枠の周囲に2層の黄褐色土を埋め戻したものと判断した。埋土中から人骨や副葬品等は出土していないが、墓壇だった可能性がある。遺構の重複関係を見ると、S K I 05堅穴状遺構（12世紀）を切っており、中世あるいは近世以降の可能性もあろう。

その他、時期不明の土坑が47基ある。桶が埋設されたS K97土坑、S K47・111・119・120・121土坑など形状や埋土の状態から時期的に新しい（近・現代？）遺構と考えられるものも含むが、詳細は不明である。

各土坑から出土した掲載遺物は、次のとおりである。図版Noは遺物の種別ごとに提示する。

遺物（539～541（集成）図）

[縄文土器]（第341～355図、写真図版243～254）深鉢169点（912/S K02、913/S K03、914～924/S K05、925/S K06、926・927/S K07、928～930/S K09、931・932/S K10、933～937/S K12、938～943/S K13、944/S K15、945/S K17、946/S K19、947・948/S K20、949/S K22、950・951/S K23、952/S K24、953/S K26、954～965/S K27、966～982/S K29、983～990/S K32、991・992/S K34、993～996/S K35、997/S K38、998/S K40、999～1003/S K42、1004/S K43、1005/S K46、1006/S K47、1007～1011/S K51、1012～1016/S K52、1017～1023/S K55、1024・1025/S K61、1026～1030/S K64、1031～1036/S K65、1037/S K68、1038～1040/S K71、1041～1043/S K78、1044/S K79、1045/S K83、1046/S K86、1047/S K91、1048/S K93、1049/S K96、1050/S K99、1051/S K102、1052～1054/S K103、1055・1056/S K104、1057・1058/S K108、1059/S K109、1060/S K109・114、1061～1063/S K112、1064・1065/S K114、1066/S K116、1067/S K124、1068/S K128、1069～1071/S K131、1072・1073/S K134、1074～1076/S K136、1077/S K138・144、1078/S K144、1079/S K146、1080/S K147）。

[土師器]（第448図、写真図版325）鉢1点（1923/S K26・27）。

[土製品]（第453・454・457図、写真図版328・330）キノコ形土製品1点（2010/S K131）、不明土製品1点（2026/S K22）、円盤状土製品1点（2141/S K29）。

[石器]（第470・472・483・484図、写真図版337～339・345）石鏃1点（2507/S K108）、尖頭器様石器1点（2851/S K91）、石匙1点（2979/S K29）、石匙1点（2982/S K142）、磨石B類1点（5110/S K147）、敲石1点（5368/S K03）。

[石製品]（第493・496図、写真図版352・354）石剣？1点（5722/S K71）、磨製石斧ミニチュア1点（5796/S K05）。

[金属製品]（第499・500図、写真図版356・357）鉄鏃1点（6002/S K99）、釘14点（6023～6036/S K23）。

[銭貨]（第503図、写真図版359）銭名不明1点（6139/S K75）。

[動物遺存体]（写真図版368・377・379～381）S K29から出土した。カニ類指節骨（7017）、カエル類・橈骨左右（7308・7309）、鳥綱頸椎（7327）、イヌ上顎骨左右（7390・7391）・下顎骨左右（7394・7395、7396・7397）・頸椎（7400）・腰椎（7401）・仙骨（7402）・尾椎（7403）・第3中手骨（7412）・第4中手骨（7413）・大腿骨左右（7414・7415）、獣類・中節骨（7452）。詳細は、V 分析・鑑定を参照のこと。

[植物遺存体]（写真図版384・385）S K12土坑から出土した。クリ炭化果皮（7601・7602）、クリ炭化子葉（7603）、トチノキ炭化子葉内の芽（7604）トチノキ炭化種子（7605）、トチノキ炭化子葉（7606～7610）、トチノキ種子（7611・7613～7618）、トチノキ種皮（7612）、トチノキ子葉（7619）、クリ果皮（7720～7727）、物子葉、クリ子葉（7728～7731）。詳細は、V 分析・鑑定を参照のこと。

時期 縄文時代の土坑は、おおむね中期に属するものが多いと思われる。放射炭素年代測定を行ったS K12土坑は、中期末葉の測定値が示されている。古代の土坑は平安時代か。

## (6) 溝 跡

1条(13年度調査)調査した。形状から溝跡と判断し、調査を行った。

## SD01溝跡

遺構(第211図、写真図版141)

[位置・検出状況] B区、ⅢC1e・2eグリッド。B区の東側、西斜面の下位で、Ⅱ～Ⅲ層で黒褐色土の細長い形状として検出した。斜面に対して、直交するように設けられている。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 幅60～80cm、長さ4.5mで、溝状を呈する。屈曲する部分の幅が広がり、先端が狭まる形状である。断面形状は椀形である。斜面下位にあたる西側は消失している。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土の単層である。

[その他の付属施設] なし。

遺物(第355図、写真図版254)

[出土状況] 縄文土器片266.2gが出土している。

[縄文土器] 深鉢3点(1081～1083)。

時期 縄文土器が出土しているが、詳細は不明である。

## (7) 炉跡・焼土遺構

## 概要

42基(13年度調査で12基、14年度調査で30基)を調査した。種別は、地床炉・石囲炉・土器埋設炉などである。屋外炉のほか、本来、竪穴住居に伴う炉であった可能性を有するが、周辺に明確な竪穴住居としての痕跡を確認することができず、単独の炉として調査を行ったものも含む。各遺構の位置・計測値などは、第7表 炉跡・焼土遺構観察表を参照されたい。ここでは、個々の炉の特徴について記載する。

遺構(第212～221図、写真図版142～151)

SN01・02・03・04・05・06・07・08・10焼土遺構は、A区の西側、ⅢB7h～8iグリッドで、Ⅱ層黒褐色土層面でまとまって検出した。SI20竪穴住居跡と重複する。旧遺構名SN09焼土遺構をSI20竪穴住居跡に伴う炉として報告し、他は単独の焼土遺構として報告する。

SN18土器埋設炉は、A区の東側、ⅢD8bグリッドに位置する。13年度調査でSI13竪穴住居跡の精査時にその南西壁の上位で土器埋設炉の存在を確認し、14年度調査で精査を行った。SN18土器埋設炉跡(旧)→SI13竪穴住居跡(新)の関係として把握した。径30cmほどの焼土中に土器が埋設されており、土器は東側に口縁部を向け、二重に入れられていた。土器の内部は焼土が混じる褐色土が入っていた。炉の南側に径40cmほどの大形の垂角礫が置かれ、炉の一部を覆っていた。

SN19石囲炉は、内部に明瞭な焼土層は確認できなかった。

SN23石囲炉は、A区の西側、ⅢC9eグリッド。Ⅱ層でSK100土坑を精査中にその内部から検出した円形基調の石囲炉である。石囲炉の中央には径23cmの垂角礫が置かれ、周囲に黒褐色土が堆積していた。石囲炉は、SK100土坑の底面と同じⅢ層面につくられている。SK100土坑より古いと判断しているが、SK100土坑を竪穴と解釈し、その炉跡だった可能性も考えられる。また、SK100土坑が新しい土坑であった場合は、炉跡はⅢ層を床面とする確認できなかった竪穴住居跡の炉跡の可能性もある。

SN20・21・22焼土遺構は、A区の西側、ⅢC10aグリッド。Ⅳ層で3個並ぶ赤褐色の焼土として



検出した。S I 31 竪穴住居跡の床面で検出された焼土遺構で、柱穴に切られているものもあり、新旧関係は古いものと判断し、精査中に別の竪穴住居跡に伴うとの認識はなかった。その後、S N 22 焼土遺構については、S I 31 竪穴住居跡の西側に連続し、後に S I 53 竪穴住居跡の炉 1 として位置づけている。S N 20・21 焼土遺構についても同様に位置づけられる可能性がある。

S N 24 石囲炉・25 土器埋設炉・26 土器埋設炉は、A 区の東側、Ⅲ D 8 a グリッド。古代の S I 33 竪穴住居跡を検出した際にその北側で検出し、S I 33 竪穴住居跡の精査終了後に調査した。S I 33 竪穴住居跡に切られている。3 基の炉であるが、同一検出面で近接して確認されたため同時に調査した。S N 24 石囲炉は南側を欠く。西側に石組があり、東側には土器が斜位に埋設されている。石囲炉分が炉の中心だった可能性がある。焼土は、明赤褐色の色調で、厚さ 4 cm ほどに形成されるが、土器が埋設される東側では、埋設土器の外側まで広がる。S N 25 土器埋設炉は、S N 24 石囲炉と S N 26 土器埋設炉の間に位置する。径 35×30cm の焼土である。S N 26 土器埋設炉は、径 45×30cm の大きさで、焼土の厚さは 8 cm である。

S N 27 焼土遺構は、S K I 09 竪穴状遺構の埋土上位で明赤褐色土の焼土として検出した。S K I 09 竪穴状遺構(旧)→S N 27 焼土遺構(新)の新旧関係がある。屋外炉か。詳細は不明である。

S N 28 焼土遺構は、S K I 10 竪穴状遺構の精査中に検出した。S K I 10 竪穴状遺構(旧)→S N 28 焼土遺構(新)の新旧関係がある。中央部に攪乱を受けている。屋外炉か。詳細は不明である。

S N 29 焼土遺構も地床炉であるが、詳細は不明である。

S N 30 石囲炉は、A 区の西側、Ⅲ C 10 c グリッド。Ⅱ層で検出した。S I 67 竪穴住居跡の西側で検出し、S I 67 竪穴住居跡に東側を切られている。西側を欠くが、径 80cm の円形基調と推測する。橙色の焼土が石囲炉内の全面に形成される。厚さ 5 cm である。焼成面は平坦である。竪穴住居跡に伴う可能性がある。

S N 31・32 焼土遺構は、A 区の東側、Ⅳ D 1 b～Ⅲ D 10 b グリッド。Ⅱ層で検出した。2 つの焼土遺構は 60cm 程離れている。S N 31 焼土遺構は西側を S I 61 竪穴住居跡に切られている。屋外炉か。

S N 33 焼土遺構は、A 区の東側、Ⅳ C 1 j グリッド。Ⅱ層で明赤褐色の焼土として検出した。S I 82 竪穴住居跡と重複するが、S N 33 焼土遺構が新しいと推測する。詳細は不明である。

S N 34 土器埋設炉跡は、A 区の南西側、Ⅳ D 3 a・4 a グリッド。Ⅱ層をグリッド単位で掘り下げ中に検出した。東側は調査区域外にかかる。下位から S I 118 竪穴住居跡が検出されており、S I 118 竪穴住居跡(旧)→S N 34 土器埋設炉(新)の関係がある。規模は径 110cm で中央は周囲より低く窪む構造である。埋設土器は北側から炉の内側に口縁を向けて埋設され、土器の内部には炭化物の混じる黒褐色土が入っていた。焼土は黒褐色土で覆われていた。炉の周辺に広がる締まりのある暗褐色土は、貼床と推測された。竪穴住居跡に伴う炉跡の可能性がある。

S N 35 石囲炉は、A 区の南西側、Ⅳ C 4 i グリッド。Ⅱ層をグリッド単位で掘り下げ中に検出した。下位から S I 121 竪穴住居跡を検出しており、S I 121 竪穴住居跡等(旧)→S N 35 石囲炉の新旧関係がある。2 つの石組を組み合わせた形状で、南側の石組内の一部に焼土が形成され、北側の石組は北側に向かって開放している。石の抜き取り痕は確認できなかった。焼土は、黄褐色土の色調で厚さ 5 cm で、焼成面は周囲の高さとほぼ同じである。竪穴住居跡に伴う炉跡の可能性がある。

S N 36 土器埋設石囲炉は、A 区の南側、Ⅳ C 5 h グリッド。グリッド単位でⅡ層を掘り下げ中に検出した。下位から S I 124 竪穴住居跡が検出されており、S I 124 竪穴住居跡(旧)→S N 36 土器埋設石囲炉(新)の新旧関係がある。石組内部に褐色の焼土が厚さ 7 cm ほど形成されていた。北側には、炉の内側に口縁を向けた土器が斜位に埋設され、土器 1 の西側に土器 2 も確認された。炉のつくり替

えがあったかもしれない。石囲内の焼成面は、周囲より低く、下がっている。埋設土器の北側には粘土を確認しており、竪穴住居跡に伴う炉跡の可能性もあるが、明確に認識できなかった。

S N37焼土遺構は、A区の南側、IV D 2 a グリッド。検出面はⅡ層である。Ⅲ層を床面とするS I 117～120竪穴住居跡の埋土中で検出した焼土である。よって、S I 117～120竪穴住居跡(旧)→S N37焼土遺構(新)の新旧関係がある。規模は、径60～40cmの不整な形状の焼土で、焼土1～5が散在する。焼土は赤褐色から暗赤褐色の色調で、厚さは3～10cmである。焼成面は平坦である。焼土1・4の西側には粘土の広がりを確認した。竪穴住居跡に伴う炉跡の可能性もあるが、明確に認識できなかった。

S N38石囲炉は、A区の南側、IV C 6 d グリッド。検出面はⅢ層である。S K I 15竪穴状遺構とした柱穴群と重なるが、新旧関係は不明である。南側は石組を欠く。炉の中には黒褐色土が堆積し、にぶい橙色の焼土が厚さ1cm程形成されている。竪穴住居跡に伴う炉跡の可能性もある。

S N39石囲炉は、A区の南側、IV C 4 c グリッド。検出面はⅢ層である。Ⅱ層を掘り下げ、Ⅲ層面で石囲炉を検出した。石囲炉内の一部に焼土が形成されている。北側は石組を欠く。焼土の厚さは1cmで、焼成面は平坦である。石囲炉の石に掘り方が伴う。竪穴住居跡に伴う炉跡の可能性もある。

S N40焼土遺構は、A区の南側、IV C 5 d グリッド。検出面はⅢ層である。西側でS X11貝層廃棄土坑と重複し、切られている。規模は一辺68cmの方形基調だが、攪乱が多く、明確ではない。焼土の厚さは10cmである。焼成面は平坦である。屋外炉か。

S N41焼土遺構は、A区の南側、IV C 5 d グリッド。検出面はⅡ～Ⅲ層である。規模は径70～58cmで、三角形状を呈する。焼土の厚さは3～8cmで、色調は橙色である。焼成面は平坦である。屋外炉か。

S N42焼土遺構は、A区の南側、IV C 7 e グリッド。検出面はⅡ層である。地形的に緩斜面から急斜面への変換点で、南側に落ち込んでいく地点で確認された。規模は径50～30cmで、不整な楕円形である。焼土の色調は橙色で、厚さ3cmである。焼成面は平坦だが、中央が若干窪み、黒色土が堆積していた。

S N43焼土遺構は、A区の南側、IV C 6 e グリッド。検出面はⅡ層である。S K I 15竪穴状遺構と重複する。2基の焼土が隣接した状態である。規模は径75～90cmの不整な形状で、焼土の厚さは5～10cmで、色調は明赤褐色である。検出面から縄文時代前期の可能性もある。

S N44焼土遺構は、A区の南側、IV C 3 i グリッド。古代のS I 105竪穴住居跡、縄文時代のS I 115竪穴住居跡の下位から検出された。検出面はⅢ層である。焼土1～8が近接して位置する。焼土の厚さは3～5cmである。平面形は楕円形や方形を基調とするが、やや不整である。焼成面はⅢ層で、周囲と同じ高さであり、地形に沿って傾斜している。竪穴住居跡の炉跡であったか。検出状況から、同地点に位置するS I 117～120竪穴住居跡とそれほど時間差が無い縄文時代前期の可能性もある。

遺物(第356～358、542(集成)図、写真図版255～257)

[出土状況] 炉の埋設土器として使用された深鉢が主体である。

[縄文土器] 深鉢(1084～1086/S N01、1087・1088/S N18、1089/S N25、1090/S N26、1091/S N34、1092・1093/S N36)。

時期 おおむね縄文時代と推定される。形態別では、地床炉は前期、石囲炉・土器埋設炉は中期に属するものと推定される。埋設土器は中期後葉から末葉に属するものであり、炉も同時期のものと考えられる。S N27・28焼土遺構は、検出状況から古代の可能性もある。

## (8) 鉄生産関連遺構：炉跡・工房跡

### 鉄生産関連遺構の概要

古代の鉄生産関連遺構として、工房跡4棟（13年度調査で3棟、14年度調査で1棟）、鉄生産関連炉跡20基（13年度調査で19基、14年度調査で1基）を確認した。ここでは鉄生産関連遺構を構成する工房跡と炉跡の各遺構について詳述する。各遺構の計測値は、第8表 鉄生産関連炉跡観察表、第9表 鉄生産関連工房跡観察表を参照されたい。

### S X W01鉄生産関連炉跡

遺構（第222図、写真図版152）

[位置・検出状況] I D10eグリッド。C区北東谷部で、焼土・粘土などの黄褐色粘質土の集積として検出した。掘り方は明らかではない。断面観察の結果、粘土質ブロックの中に明瞭な構造物を確認できなかった。この部分を除去後、黄褐～黄橙色の帯状に巡る不整形な楕円形の輪郭を確認した。

[重複関係] 下部にS W03炭窯跡が位置し、S W03炭窯跡の直上に位置していることから、S X W01鉄生産関連炉跡の構築に際して、廃絶したS W03炭窯跡を下部構造として再利用した可能性もある。

[規模・平面形] 開口部径237×86cm、底部径162×69cm、平面形は不整形な楕円形で、深さは28cmある。

[埋土・堆積状況] 橙・黄褐色・褐色の炉材と考えられる粘土・焼土で構成され、羽口が多数含まれていた。

[壁・底面] 最下部のS W03炭窯跡の検出面で、底面から110(70)×56(39)cmの不整形な楕円形の輪郭を検出した。これは、炭窯埋土上部に薄っすらと輪郭を検出したのみで、深さはない。

[その他の付属施設] なし。

[解釈] 底面から検出された不整形な楕円形の輪郭は、後述するS X W10鉄生産関連炉跡と同様ほとんど深さのない輪郭である。このような痕跡が、どのような状況の結果残されたものかが問題である。

遺物（第459図、写真図版332）

[出土状況] 土製品（羽口）が出土した。

[土製品] 羽口5点（2207～2211）。

時期 遺構の形状と出土遺物から古代と推測される。

（廣瀬時習）

### S X W02鉄生産関連炉跡

遺構（第222図、写真図版152）

[位置・検出状況] II D 1 dグリッド。C区北東谷部のやや平坦になった西側で、焼土・粘土などの黄褐色粘質土の集積として検出した。

[重複関係] 南東部の下層にS W04炭窯跡が位置している。

[規模・平面形] 開口部径108×73cm、底部径92×67cm、平面形は不整形な楕円形で、深さは37cmである。斜面下位となる東側が消失している。

[埋土・堆積状況] 橙・黄褐色・褐色などの炉材と考えられる粘土・焼土で構成され、羽口が含まれていた。

[壁・底面] 被熱痕跡等は確認されなかった。

[その他の付属施設] なし。

[解釈] 炉跡でない可能性が高い。廃棄土坑の可能性はある。

遺物 鉄滓類280.3 gが出土したが、掲載遺物はない。

時期 遺構の形状と出土遺物から古代と推測される。

(廣瀬時習)

#### S X W03鉄生産関連炉跡

遺構 (第223図、写真図版152)

[位置・検出状況] II D 1 g グリッド。C区北東谷部のやや平坦になった部分の東側のIV層マサ土が露出した階段状部分の下部で、炭化物の集中する輪郭を検出した。

[重複関係] 東端の埋土上位を切るようにS X W04鉄生産関連炉跡が形成されている。

[規模・平面形] 開口部径148×137cm、底部径109×99cm、平面形は不整形な円形で、深さ40cmである。

[埋土・堆積状況] 粒状の炭化物と暗褐色砂質シルトが主体で、橙・黄褐色の粘土・焼土が混じる。

[壁・底面] 最下層(8層)には被熱によって赤褐色化した部分がみられた。

[その他の付属施設] なし。

[解釈] 調査段階では、堆積土中に炉材粘土などの焼土層がみられたことから、炉跡の地下構造部分が残存したものと考えていた。しかし、今回検出した鉄生産関連遺構群の炉跡と比べて、異なる構造であることから、炉跡の基礎構造として位置づけることは躊躇される。炭窯の可能性もある。

遺物 鉄滓類988.9 g (S X W03)、40.9 g (S X W03・04)が出土したが、掲載遺物はない。

時期 遺構の形状と出土遺物から古代と推測される。

(廣瀬時習)

#### S X W04鉄生産関連炉跡

遺構 (第223図、写真図版152)

[位置・検出状況] II D 1 g・1 h グリッド。C区北東谷部のやや平坦になった部分の東側のIV層マサ土が露出した階段状部分の下部で、炭化物の集中する輪郭を検出した。

[重複関係] 西端でS X W03鉄生産関連炉跡を切っている。

[規模・平面形] 開口部径77×73cm、底部径60×56cm、平面形は不整形な円形で、深さは8cmである。

[埋土・堆積状況] 粒状となった炭化物と褐色砂質シルトが主体である。

[壁・底面] 輪郭部分には被熱によって赤褐色化した部分がみられた。

[その他の付属施設] なし。

[解釈] 調査段階では、炉跡の地下構造部分が残存したものと考えたが、今回検出した鉄生産関連炉跡の構造と比べると、炉跡の基礎構造として位置づけることは躊躇される。炭窯の可能性がある。

遺物 出土していない。

時期 遺構の形状と出土遺物から古代と推測される。

(廣瀬時習)

#### S X W05鉄生産関連炉跡

遺構 (第223図、写真図版153)

[位置・検出状況] II D 1 f グリッド。C区東北部の谷部分のやや平坦になった部分の中央で、黒褐色土を除去した段階でS X W06鉄生産関連炉跡と切り合いを持った状況で検出した。周辺部には、黄

## 1 検出遺構

褐～暗褐色の炉材粘土、焼土や炭化物、鉄滓粒の混じる砂質シルトがみられた。

[重複関係] 北東部でS X W06鉄生産関連炉跡を切っている。

[規模・平面形] 開口部径42×32cm、底部径28×16cm、平面形は楕円形で、断面形は深さ8cmの碗形である。

[埋土・堆積状況] 検出段階で下部が露出し、碗形の窪みに灰化した焼土が残っていた。

[壁・底面] 内部は灰化し、輪郭部分は被熱で赤褐色化し、いずれも硬化した状況であった。

[その他の付属施設] S X W05・06鉄生産関連炉跡が鍛冶炉と考えた場合、鍛造剥片が集積していた西側のS X W07鉄生産関連炉跡は、周辺の整備に伴う廃棄物を集積する付属施設的な位置づけも可能である。

[解釈] 被熱が激しく、炉内部の硬化が著しいため製鉄炉と考えていたが、周辺の鍛造剥片の出土や包含層からの碗形滓の出土を考えると、鍛冶炉の可能性が考えられる。

遺物 (第459図、写真図版332・361)

[出土状況] 土製品 (羽口)、鉄滓類0.1g、13,667.7g (S X W05・06) が出土した。

[土製品] 羽口2点 (2212・2213 / S X W05・07)。

[鉄滓類] 鉄滓3点 (6302～6304 / S X W05・06)。

時期 遺構の形状と出土遺物から古代と推測される。

(廣瀬時習)

### S X W06鉄生産関連炉跡

遺構 (第223図、写真図版153)

[位置・検出状況] II D 1 f グリッド。C区北東谷部のやや平坦になった中央付近で、黒褐色土を除去した段階でS X W05鉄生産関連炉跡と切り合いを持った状況で検出した。周辺部には、黄褐～暗褐色の炉材粘土、焼土や炭化物、鉄滓粒の混じる砂質シルトがみられた。

[重複関係] 北東部でS X W05鉄生産関連炉跡に切られている。

[規模・平面形] 開口部径49×36cm、底部径32×17cm、平面形は楕円形で、深さは4cmの碗形をする断面形である。

[埋土・堆積状況] 検出段階ではほぼ全体が露出し、碗形の窪みに灰化した焼土が残っていた。

[壁・底面] 内部は灰化して硬化している。また、炉跡構築土には鉄滓が含まれていた。輪郭部分には被熱によって赤褐色化してやや硬化した状況であった。

[その他の付属施設] S X W05・06鉄生産関連炉跡が鍛冶炉と考えた場合、鍛造剥片が集積していた西側のS X W07鉄生産関連炉跡は、廃棄物を集積する付属施設的な位置づけも可能である。

[解釈] 被熱が激しく炉内部の硬化が著しいため製鉄炉と考えていたが、周辺の鍛造剥片の出土や包含層からの碗形滓の出土を考えると、鍛冶炉の可能性が考えられる。

遺物 (写真図版361)

[出土状況] 鉄滓類750.0g が出土した。

[鉄滓類] 鉄滓2点 (6305・6306)。

時期 遺構の形状と出土遺物から古代と推測される。

(廣瀬時習)

### S X W07鉄生産関連炉跡

遺構 (第224図、写真図版153)

[位置・検出状況] II D 1 f・2 f グリッド。C区北東谷部のやや平坦になった中央付近に暗褐色の砂質シルト～細砂の堆積土中に鍛造剥片が非常に多く混じる不整形な輪郭を検出した。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部径110×95cm、底部径72×40cm、平面形は不整な楕円形で、断面形が皿状で深さは13cmである。

[埋土・堆積状況] 黒褐～暗褐色の砂質シルト～細砂であるが、鍛造剥片が30～40%程度混じっている。

[壁・底面] 被熱などの状況は確認されなかった。

[その他の付属施設] なし。

[解釈] S X W07鉄生産関連炉跡は、S X W05・06鉄生産関連炉跡の西側に位置している。土坑の状況から判断して、被熱などの状況はみられないことから、鍛造剥片等の廃棄土坑的な窪みの可能性が高い。

遺物 (写真図版361)

[出土状況] 鉄滓類17,380.7gが出土した。埋土から鍛造剥片が非常に多く出土している。

[鉄滓類] 鉄滓7点 (6307～6313)。

時期 遺構の形状と出土遺物から古代と推測される。

(廣瀬時習)

#### S X I 01工房跡、S X W08・18鉄生産関連炉跡

##### S X I 01工房跡

遺構 (第225図、写真図版153)

[位置・検出状況] I D 10 f・10 g、II D 1 f・1 g グリッド。S X W08・18鉄生産関連炉跡に伴うと考えられる竪穴状の工房跡 (S X I 01) と推測される。よって、まとめて報告する。

[重複関係] S X I 04工房跡を切っている。

[規模・平面形] 長さは、検出部分で206cm (S X W08・18鉄生産関連炉跡を含めると452cm)、幅415cm、深さ47cmを測る。平面形は、不整形な隅丸長方形である。

[埋土・堆積状況] 上部はII層の黒褐色土、下部は風化花崗岩を含むにぶい黄褐色シルトである。

[壁・底面] 輪郭の検出可能であった北半分は、コの字状に地山を掘り込んで平坦に加工して造成されている。南半分のS X W08・18鉄生産関連炉跡付近は、下層遺構の埋まった堆積土をベースとしている。

[その他の付属施設] S X W08・18鉄生産関連炉跡が付属する。

##### S X W08・18鉄生産関連炉跡

遺構 (第225図、写真図版153)

[位置・検出状況] II D 1 f・1 g グリッド。C区北東谷部のやや平坦な部分の東北部に位置する。北半部のS X W18鉄生産関連炉跡は、III層黄褐色土中に黒褐～灰黄褐色の炭化物や焼土の混じる輪郭として検出した。南半部のS X W08鉄生産関連炉跡は、廃棄されて、集積した鍛造剥片を除去し、クリーニングを行った段階で不整形な炉材粘土や焼土の輪郭中に黄褐色主体の炉材粘土・焼土の混じった土壌の輪郭を検出した。7層上面で餅状の60×40cm、厚さ3～5cm程度の流動滓が確認され、この部分が、北半部のS X W18鉄生産関連炉跡の排滓坑に相当する可能性が高いと判断した。

[重複関係] 下位からS X I 04工房跡が確認されている。

[規模・平面形] 炉と考えられる北半部のS X W18鉄生産関連炉跡は開口部径90×88cm、底部径36×31cm、平面形は円形、断面形は楕円で深さ23cmである。また、南側の排滓坑部分のS X W08鉄生産関連炉跡は、開口部径146×137cm、底部径83×78cm、不整円形で断面形が楕形、深さ42cmである。両者

は北からやや西に傾いた北北西から南南東に軸を持つように接続した8の字型の形状をしている。

[埋土・堆積状況] 操業段階の炉底並びに排滓坑床面と考えられる7層の上面では、検出段階ですでにほとんど埋土がなく、排滓坑には明黄褐～灰黄褐色の炉材粘土や焼土の混じるシルトが堆積していた。また、7層以下は、褐～黒褐色の焼土や炉壁、鉄滓、炭化物などが多量に混じる土層が堆積していた。

[壁・底面] 炉跡のS X W18鉄生産関連炉跡の部分は、14層などを中心に被熱した状況がみられた。

[その他の付属施設] 検出段階では十分に認識できなかったが、北側にコの字状に検出された竪穴状の掘り込みを当該遺構との位置関係から、当該遺構に伴うS X I 01工房跡と認識した。

[解釈] 今回の調査で、工房(S X I 01工房跡)と製鉄炉(S X W08・18鉄生産関連炉跡)の位置関係がもっとも明瞭に確認された遺構である。流動滓が流出した状況を元々の位置で検出しており、この段階を持って廃炉となった可能性が高い。製鉄炉(S X W18鉄生産関連炉跡)は、7層より下部でも被熱痕が検出されたが、現状で複数回の炉の構築と利用の痕跡を明確に認識することはできなかった。

遺物(第436・460・461・467・468・501図、写真図版317・332・333・336・357・360～362)

[出土状況] 弥生土器、土製品(羽口)、金属製品、炉壁、鉄滓類7,902.7g(S X I 01)、6,571.1g(S X W08)、92,286.3g(S X W08・18)が出土した。S X W08鉄生産関連炉跡から鍛造剥片が出土した。

[弥生土器] 甕2点(1772・1773)。混入したものだが参考までに掲載する。

[土製品] 羽口4点(2214～2217/S X W08)、9点(2218～2226/S X W08・18)、3点(2276～2278/II D 2 f・S X W08の南壁際)。

[金属製品] 板状1点(6054)。

[炉壁] 炉壁1点(6204/S X W08・18)。

[鉄滓類] 鉄滓5点(6314～6318/S X W08)、4点(6319～6322/S X W08・18)。

時期 遺構の形状と出土遺物から古代と推測される。炉跡から出土した炭化物の放射性炭素年代測定を行った。<sup>14</sup>C年代860±20yrBP、1154calAD-1250calAD(94.0%)の測定値が出ている。

(廣瀬時習)

## S X I 02工房跡、S X W09・17鉄生産関連炉跡

### S X I 02工房跡

遺構(第226図、写真図版154)

[位置・検出状況] II D 1 d・2 d・2 eグリッド。S X W09・10・17鉄生産関連炉跡に伴うと考えられる竪穴状の工房跡(S X I 02)である。よって、まとめて報告する。

[重複関係] 同種遺構との重複はない。下層にある古代のS I 21竪穴住居跡の壁を切っている。

[規模・平面形] 長さは検出部分で、417cm(S X W09・17を含めると508cm)、幅は332cm、深さは83cmを測る。不整形な隅丸方形である。

[埋土・堆積状況] 工房としての認識が遅かったため、堆積土は、S X W09・17鉄生産関連遺構の検出段階で、ほとんど残っていなかった。堆積土は、II層の黒褐色系の砂質シルトと推測する。

[壁・底面] 輪郭が検出可能であった北西半分は、コの字状に地山を掘り込んで平坦に加工して造成している。南東半分は、下層遺構の埋まった黒褐色系の砂質シルトを中心とした堆積土である。

[その他の付属施設] S X W09・17鉄生産関連炉跡が付属する。

### S X W09・17鉄生産関連炉跡

遺構(第226図、写真図版154)

[位置・検出状況] II D 2 d・2 eグリッド。C区北東谷部のやや平坦な部分の西端平坦面で、暗褐

色の砂質シルトの地山と谷部分の堆積の境界付近に不整形な輪郭を検出した。当初 S X W10鉄生産関連炉跡と S X W09鉄生産関連炉跡が、楕円形を呈する赤褐～浅黄橙色の輪郭として内側に黒褐色の堆積土を伴った状態で検出されたことから、両者の調査を開始した。その後、S X W09鉄生産関連炉跡の南側にトレンチを延長したところ、焼土炉材・炉壁などの混じる4層が南東に延び、4層を除去後に炉底部と考えられる被熱し、灰化した部分を検出した。南半部の S X W17鉄生産関連炉跡は、黒褐色の鉄滓等の多く混じる堆積土がみられ、これを除去後、やや平坦な排滓坑と考えられる床面を検出した。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部径76×67cm、底部径47×30cm、平面形は不整な楕円形で、断面形が椀形で深さは39cmである。

[埋土・堆積状況] 黒褐色から褐灰色などの砂質シルト主体の土壌と炉材粘土、焼土、炉壁、鉄滓などで構成されている。鉄滓は、南東部の S X W17鉄生産関連炉跡部分から大量に出土している。

[壁・底面] S X W09鉄生産関連炉跡は、下層の11・15層などが被熱により灰白から褐灰色を呈していた。

[その他の付属施設] S X W09・17鉄生産関連炉跡の検出段階では認識できなかったが、調査の過程で西側の斜面上位の部分がコの字状に窪む縦穴状遺構を当該遺構に伴う S X I 02工房跡と認識した。

[解釈] 鉄生産関連炉跡（S X W09鉄生産関連炉跡）と排滓坑（S X W17鉄生産関連炉跡）の集合体と考えられる。現状では、複数回の操業等の痕跡は確認されなかった。

**遺物**（第461・462図、写真図版333・362・363）

[出土状況] 土製品（羽口）、鉄滓類5,332.9g（S X W09）、38,593.4g（S X W09・17）が多量に出土した。S X W17鉄生産関連炉跡から大量の鉄滓が出土した。

[土製品] 羽口9点（2227～2235）。羽口1点（2236／S X W09・17）。

[鉄滓類] 1点（6323／S X W09）、5点（6324～6328／S X W09・17）。

**時期** 遺構の形状と出土遺物から古代と推測される。

（廣瀬時習）

### S X W10鉄生産関連炉跡

**遺構**（第226図）

[位置・検出状況] II D 1 d・2 dグリッド。C区北東谷部のやや平坦な部分の西端に暗褐色の砂質シルトの地山と谷部分の堆積の境界付近で、北北西から南南東に不整形な輪郭（S X W09・17）が並ぶなかで、帯状に巡る楕円形の黄褐色の輪郭として検出した。輪郭内側は、上層は黒～黒褐色の炭化物の混じるシルト（1・2層）で、下層は炉材粘土・焼土などが混じる明褐～橙色のシルトの堆積であった。

[重複関係] S X W09・17鉄生産関連炉跡に切られている。

[規模・平面形] 長さ117cm、幅93cm、深さ13cmを測る帯状の平面隅丸長方形の輪郭である。内側に、91×42cmの楕円形の輪郭がみえる。

[埋土・堆積状況] 黒色から黒褐色の砂質シルトの土壌に炭化物が多く混じる。輪郭部分はほとんど深さが無い。この部分は3層と類似した土質であった。

[壁・底面] 深さがほとんどないため壁面は不明である。底面は、南北に僅かに窪んだ状況であった。

[その他の付属施設] なし。

[解釈] S X W01鉄生産関連炉跡の底面で検出された不整楕円形の輪郭と同様に、ほとんど深さのない輪郭である。調査段階では、輪郭内部に炉底面が検出される可能性を考えたが、検出されなかった。

**遺物** 出土していない。



時期 遺構の形状などから古代と推測される。

(廣瀬時習)

### S X W15鉄生産関連炉跡

遺構 (第224図、写真図版154)

[位置・検出状況] II D 1 e グリッド。C区北東谷部のやや平坦になった中央部奥側で、輪郭周辺部に炉材粘土・焼土などの8の字型に回る輪郭として検出した。輪郭内部には、炭化物の多く混じる黒褐色の砂質シルトが見られたため、遺構として認識し、精査を行った。堆積土を除くと、奥側の部分の底面から肩部にかけては、被熱により黄橙色に変色した部分が広範囲にみられた。

[重複関係] 南東部の下層にS W07炭窯跡が位置しており、これを切っている。

[規模・平面形] 北半部が開口部径125×110cm、底部径は79×57cm、南半部は開口部径134×134cm、底部径80×46cmの楕円形を繋いだ8の字型を呈する。深さは、北半部の背面が一段高く、これを基準に測ると深さ50cm、南半部は周辺からの高さを基準に測ると39cmとなる。いずれも椀形の断面形を呈している。

[埋土・堆積状況] 上層は黒褐色の砂質シルト、下層は北半部が被熱した橙色のシルト粒の混じる暗褐色の砂質シルト、南半部が炭化物や焼土の多く混じる砂質シルトの土層である。

[壁・底面] 北半部は底面から肩部にかけて被熱により黄橙色にやや厚めに変色している。

[その他の付属施設] なし。

[解釈] 精査段階では、形状が類似する他の鉄生産関連炉跡と同様の遺構の可能性を考えた。しかし、他遺構で見られた炉材粘土や焼土、炉壁などのブロック、炉底部に灰白～灰褐色の被熱による変色は確認できなかった。北半の炉底部で被熱による黄橙色に変色した部分がみられ、南半部の堆積土中に鉄滓や炭化物が多量に混じていたことから、鉄生産関連炉跡の構築に伴う下部構造の掘削と、焼き締めが行われた下部構造の埋設等ではないかと考えられた。

遺物 (第358図、写真図版257・364)

[出土状況] 南半埋土から多量の鉄滓類2,295.6 g、250.9 g (S X W15・16)、炭化物、縄文土器が出土した。

[縄文土器] 深鉢1点 (1094)。縄文土器は混入したものであるが、参考までに掲載する。

[鉄滓類] 鉄滓1点 (6329)。

時期 遺構の形状と出土遺物から古代と推測される。

(廣瀬時習)

### S X W16鉄生産関連炉跡

遺構 (第227・228図、写真図版155)

[位置・検出状況] II D 1 e・2 e グリッド。C区北東谷部のやや平坦な部分の西側で、粘土・焼土の長楕円形の集積として検出した。付近では、粘土上から微量の鉄滓も出土している。トレンチを設定して断面観察を行ったところ、複数の炉壁や炉底と想定される被熱した焼土ブロックを確認したため、全体を検出面に対して水平に精査を行ったところ、4段階6基の鉄生産関連炉跡(①～⑥)を検出した。炉跡の周囲には、より大きな被熱による円形で帯状に灰白色化した変色がみられる段階があり、炉構築前の段階の焼き締め(A～E)の可能性が考えられたが、被熱の程度が非常に激しく、単なる事前の焼き締めとは考えにくかった。最終段階の炉跡⑥の検出後に炉壁・炉材粘土等を除去したところ、底部が被熱し、灰白色から黄灰色・黄褐色の面を検出した。

[重複関係] 下層にS W08炭窯跡が位置し、遺構底部ではS W08炭窯跡を切っている。

[規模・平面形] 遺構掘り方は、開口部231×109cm、底部167×68cmの長楕円形で、深さ46cmである。内部に構築された炉跡の規模は、次のとおりである。①直径37×37cm、深さ5cm、平面円形。②直径26×26cm、深さ10cm、平面円形。③直径26×26cm、深さほとんどなし、平面円形。④直径26×26cm、深さほとんどなし、平面円形。⑤直径27×27cm、深さほとんどなし、平面円形。⑥開口部径42×42cm、底部径37×37cm、深さ13cm、平面円形、断面椀形。A直径80×80cm、深さほとんどなし、平面隅丸方形か。B直径50×50cm、深さ10cm程度、平面円形か。C直径90×90cm、深さほとんどなし。平面円形か。⑤の外郭部分に相当する可能性が高いが、④と同一面で検出した。D直径63×63cm、深さほとんどなし、平面円形か。E直径66×66cm、深さほとんどなし、平面円形か。直径等の数値は、残存部分からの推定である。

[埋土・堆積状況] 掘り方内部は、炉材粘土・炉壁ブロックが集積し、このなかに炉跡が構築されていた。炉の利用後に生成品を取り出し、その後、破壊した炉材を敷き詰めて次段階の炉を構築した結果と考えられる。炉跡⑥除去後に検出した被熱面より下層は、炉構築段階に土壤と鉄滓等が堆積した状況であった。

[壁・底面] 掘り方の壁・底面に被熱等の痕跡はなかった。断面形状は全体的に椀形を呈し、長軸の北側が一段高く、南側が一段低い。短軸の断面形状は南東側で段を持つ部分がある。

[その他の付属施設] なし。

[解釈] 今回の調査で検出された鉄生産関連炉跡で最も特徴的な炉跡の構造を有する。度重なる使用で構築当初の状況は明確ではないが、現状から、長楕円形の土坑を掘削した後、土壤と鉄滓等で基礎構造を構築し、焼き締め等を行った後に炉跡⑥を構築して使用が始まったと考えられる。その後は使用後に破壊し、整地等を行って次段階の炉を構築して使用する、というサイクルが繰り返されたと考えられる。

**遺物** (第465図、写真図版334・335・360・364)

[出土状況] 土製品(羽口)、炉壁、鉄滓類58,950.9gが出土した。

[土製品] 羽口2点(2259・2260)。

[炉壁] 炉壁1点(6201)。

[鉄滓類] 鉄滓5点(6330～6334)。

**時期** 遺構の形状と出土遺物から古代と推測される。出土した炭化材の放射性炭素年代測定を行った。<sup>14</sup>C年代910±20yrBP、2σ暦年代範囲1034calAD-1181calAD(94.0%)の測定値が出ている。

(廣瀬時習)

### S X W19鉄生産関連炉跡

**遺構** (第229図、写真図版156)

[位置・検出状況] II D 1 h グリッド。C区北東谷部のやや平坦な東端部の一段高い部分で検出した。当初の検出範囲では、土坑に焼土・粘土等が少量見られたただけであったが、調査区を拡張して精査した結果、焼土・粘土の円形にめぐる輪郭を検出した。

[重複関係] S W06炭窯跡を切っている。

[規模・平面形] 規模は、掘り方が開口部で長軸156×134cm、底部で119×80cm、炉跡と考えられ円形の輪郭が直径58cm、深さ10cm程度である。掘り方はやや変形した楕円形で炉跡は直径58cm程度である。

[埋土・堆積状況] 暗褐色の砂質シルトの土壤である。

[壁・底面] 炉跡の南側の底部付近がやや被熱している。

[その他の付属施設] なし。

[解釈] 当初は、炉材粘土・炉壁等の廃棄土坑と考えた。炉材粘土が北側で半円状に回ることから炉

跡の可能性もあるが、炉材粘土や炉壁、鉄滓等の出土量が少なく、炉跡とするにはやや躊躇する。

**遺構** 鉄滓類217.9gが出土しているが、掲載遺物はない。

**時期** 遺構の形状と出土遺物から古代と推測される。

(廣瀬時習)

## S X I 04工房跡、S X W21鉄生産関連炉跡

### S X I 04工房跡

**遺構** (第230図、写真図版156)

[位置・検出状況] II D 1 f・1 g・2 f・2 gグリッド。S X W21鉄生産関連炉跡に伴う竪穴状の工房跡と判断される。よって、まとめて報告する。

[重複関係] S X W22鉄生産関連炉跡を切っている。

[規模・平面形] 長さ408cm、幅395cm、深さ47cmを測る。不整形な隅丸方形である。

[埋土・堆積状況] 工房としての認識が遅かったため、S X W21鉄生産関連炉跡の検出段階で堆積土は、ほとんど残存していない。基本的に黒褐色系の炭化物を非常に多く含む砂質シルトと推定される。

[壁・底面] 西半分は、S X W22鉄生産関連炉跡を削平しているため、炭化物のほか炉材粘土・焼土・炉壁などが混じる暗褐色から黒褐色の砂質シルトである。東半分は、II層系の縄文土器が混じる土層である。

[その他の付属施設] S X W21鉄生産関連炉跡が付属する。

### S X W21鉄生産関連炉跡

**遺構** (第230・231図、写真図版156)

[位置・検出状況] II D 1 g・2 gグリッド。C区北東谷部のやや平坦な東部で検出した。S X W 08・18鉄生産関連炉跡の調査終了後に全体を掘り下げた段階で、S X I 04工房跡の輪郭を確認し、さらに掘り下げて、長楕円形の炉材粘土・焼土の輪郭を検出した。S X W21鉄生産関連炉跡は、この段階で北端部分に炉跡①の輪郭を検出した。この炉跡①には、S X W16鉄生産関連炉跡で検出されたものと類似した、より大きな被熱による帯状の変色の輪郭(A)が北側部分の周辺に検出された。下層の状況確認のためトレンチを設定して断面観察を行った結果、複数の炉壁や炉底と想定される被熱した焼土ブロックを確認した。このため、遺構掘り方全体を検出面に対して水平に精査を行ったところ、3段階5基の平面円形の鉄生産関連炉跡(①～⑤)を検出した。最も遺存状況が良かったのは炉跡⑤、不整形な方形状で、南側と東側の炉壁の高さが10cm程度遺存していた。この東部分では、羽口が炉壁とともに内側に倒れた状況で確認された。炉跡⑤除去後には、南側の部分でシルトと鉄滓・炉壁等を敷き詰めた基礎構造を確認した。このほか遺構掘り方の北西部分では、2回の掘り方の再構築に伴う焼き締め等と考えられる被熱した輪郭を確認した。

[重複関係] S X W22、24鉄生産関連炉跡を切り、S X W08・18鉄生産関連炉跡に切られている。

[規模・平面形] 遺構掘り方は、開口部で185×125cm、底部で127×80cm、深さ50cmである。内部の炉跡の規模は、次のとおりである。①直径34×34cm、深さ20cm、平面円形。②直径31×31cm、深さほとんどなし、平面円形。③直径43×32cm、深さほとんどなし、平面楕円形。④直径34×34cm、深さほとんどなし、平面円形。⑤直径57×55cm、深さ12cm、平面方形。

[埋土・堆積状況] 掘り方内部は、炉材粘土・焼土、炉壁ブロックなどの集積で、これらの中に炉跡が構築されている。堆積土上部は、炉材粘土と炉壁ブロックの集積と構築された炉跡の堆積であった。また、南側の炉跡⑤除去後に検出された基礎構造部分は土壌と鉄滓等が堆積した状況であった。

[壁・底面] 掘り方の壁・底面ともに被熱等の痕跡はなかった。長軸の断面形状は全体的に椀形を呈す

るが、北側がやや高く南側が低い。短軸の断面形状は南東側で段を持つ部分があるが基本的には楕形である。北西部分には掘り方構築段階の焼き締め痕跡と埋め戻しによる輪郭整形が2段階確認された。[その他の付属施設] 検出段階で同様の炭化物包含層に被覆されて検出された竪穴状の掘り方の工房 S X I 04 工房跡は、S X W 21 鉄生産関連炉跡に伴う工房跡と考えられる。

[解釈] S X W 16 鉄生産関連炉跡に類似した特徴的な炉跡の構造である。度重なる使用により構築当初の状況が明確ではないが、長楕円形の土坑を掘削した後、土壌と鉄滓等で基礎構造を構築し、焼き締め等を行った後、炉跡⑤を構築して使用が始まったと考えられる。この遺構の場合、北側の炉跡部分に明確な基礎構造を構築していないが、北西部に3度の焼き締めによる掘り方の整形痕跡が見ついている。これを炉の再構築に伴うものと考え、炉跡はさらに増加する。その後は、使用後に破壊し、さらに整地等を行って次段階の炉を構築し、使用するというサイクルが繰り返されたと考えられる。

**遺物** (第463図、写真図版333・334・360・364)

[出土状況] 土製品(羽口)、炉壁、鉄滓類72,240.5g、530.9g(S X W 21・22)が出土した。炉の内側に倒れた炉壁とともに羽口が出土している。

[土製品] 羽口4点(2237～2240/S X W 21)。

[炉壁] 炉壁2点(6202・6205/S X W 21)。

[鉄滓類] 鉄滓5点(6335～6339/S X W 21)。

**時期** 遺構の形状と出土遺物から古代と推測される。下層炉跡②の木炭の放射性炭素年代測定を行った。<sup>14</sup>C年代840±20yrBP、2σ暦年代範囲1161calAD-1255calAD(95.4%)の測定値が出ている。

(廣瀬時習)

### S X W 22 鉄生産関連炉跡

**遺構** (第232図、写真図版157)

[位置・検出状況] II D 1 f・2 f グリッド。C区北東谷部の東側に位置するS X W 21 鉄生産関連炉跡に伴うS X I 04 工房跡の構築により東半分が削平された状態で検出した。S X I 04 工房跡の西側の立ち上がりを検出する段階で、S X W 22 鉄生産関連炉跡西側の炉壁が半円形に巡ることを確認し、クリーニングした結果、北側部分に炉壁が円形に巡る長楕円形の輪郭を検出した。トレンチで土層断面を確認した結果、炉跡は1基で、良好に遺存する西側半分に炉壁周辺の構築粘土が分厚く遺存していた。炉構築部分以南の排滓坑は被熱による変色部分が広がり、炉跡の基礎部分は地山面に直接構築されている。一方、排滓坑部分はシルトと砂質シルトと鉄滓による基礎構造が構築されていた。

[重複関係] S X W 21 鉄生産関連炉跡に切られている。S X W 24 鉄生産関連炉跡を切っている。

[規模・平面形] 炉跡部分の開口部で89×89cm、底部で51×50cmの円形で、深さ20cmである。また、排滓坑部分は不整形な開口部120×118cm、底部で85×85cmの不整形で、深さ23cmである。

[埋土・堆積状況] 基本的には、炉材粘土・焼土・炉壁などの集積である。先述のように排滓坑の下部に砂質シルトと鉄滓の集積がみられる。

[壁・底面] 炉跡部分は、掘り方に直接構築されているため、壁面・底面とも激しく被熱を受けている。排滓坑部分は壁・底面ともに被熱等の痕跡はなかった。断面形状は全体的には楕形を呈し、長軸は北側がやや高く、南側が低い。また、短軸の断面形状は、南東側で段を持つ部分がある。

[その他の付属施設] なし。

[解釈] S X W 21 鉄生産関連炉跡による削平を受けているため、全体像は明らかではない部分があるが、現状では、S X W 16、21 鉄生産関連炉跡と相違して、1度の操業による炉跡が確認されたにとどまる。

遺物（第463・464図、写真図版334・360・364・365）

[出土状況] 土製品（羽口）、炉壁、鉄滓類51,652.9 gが出土している。下部で鉄滓の集積を確認している。

[土製品] 羽口3点（2241～2243）。

[炉壁] 炉壁1点（6203）。

[鉄滓類] 鉄滓4点（6340～6344）。

時期 遺構の形状と出土遺物から古代と推測される。基礎構造内の木炭の放射性炭素年代測定を行った。<sup>14</sup>C年代820±20yrBP、2σ暦年代範囲1170calAD-1263calAD（95.4%）の測定値が出ている。

（廣瀬時習）

### S X W23鉄生産関連炉跡

遺構（第233図、写真図版157）

[位置・検出状況] II D 1 f・2 f グリッド。C区北東谷部のやや平坦な中央部、S X W22鉄生産関連炉跡の西側で、炉材粘土・焼土・炉壁のブロックなどの集積の輪郭として検出した。

[重複関係] S X W07鉄生産関連炉跡の下位から検出されている。

[規模・平面形] 開口部で189×141cm、底部で87×74cmの不整形な水滴形で、深さ31cmである。

[埋土・堆積状況] 炉材粘土・焼土・鉄滓等が混じる砂質シルト。最下層に炉材粘土・焼土等は混じらない。

[壁・底面] 壁面・底面ともに被熱等の痕跡は見られなかった。

[その他の付属施設] なし。

[解釈] 検出段階で炉材粘土・焼土・炉壁などが混じり合った堆積土の輪郭として検出したことから、他の鉄生産関連炉跡の検出状況とはやや趣を異にしているが、形状から炉跡であった可能性が高い。

遺物（第464図、写真図版334・365）

[出土状況] 土製品（羽口）、鉄滓類67,861.8 gが出土した。

[土製品] 羽口3点（2244～2246）。

[鉄滓類] 3点（6345～6347）。

時期 遺構の形状と出土遺物から古代と推測される。

（廣瀬時習）

### S X W24鉄生産関連炉跡

遺構（第233図、写真図版157）

[位置・検出状況] II D 2 f・2 g グリッド。C区北東谷部のやや平坦な部分の東側で、S X W21鉄生産関連炉跡の西南部、S X W22鉄生産関連炉跡の東南部に位置する。機械掘削で表土を除去した段階で、炉材粘土・炉壁・鉄滓・羽口等が断面に露出していた。

[重複関係] 北西側をS X W22鉄生産関連炉跡に切られ、東側をS X W21鉄生産関連炉跡に切られている。

[規模・平面形] 開口部で147×93cm、底部で71×48cm、深さは55cmを測る。南側を大きく削平されているため、全体の形状は不明であるが、現状では不整形な半円状を呈している。

[埋土・堆積状況] 堆積土上半は粘土からシルトに炉材粘土・焼土が目立ち、鉄滓等が混じる。遺構認識前のこの付近の検出時に羽口等も壁際から出土している。下半は砂質シルトに炭化物・鉄滓等が多く混じる。被熱による変色の広がりを確認した4層下部（5層上面）が、炉底であった可能性が考えられる。

[壁・底面] 壁面・底面ともに被熱等の痕跡は確認できなかった。

[その他の付属施設] なし。

[解釈] 全体形状が不明なため、遺構として位置づけにくいですが、先述のように4層下部（5層上面）において被熱痕跡が確認されていることを考えると、鉄生産関連炉であった可能性が考えられる。

**遺物**（写真図版365）

[出土状況] 鉄滓類10,862.0gが出土した。

[鉄滓類] 鉄滓3点（6348～6350）。

**時期** 遺構の形状と出土遺物から古代と推測される。

（廣瀬時習）

### S X I 05工房跡、S X W27鉄生産関連炉跡

**遺構**（第234図、写真図版158）

[位置・検出状況] A区、IV C 4 f グリッド。低地部で、トレンチ1025の断面観察からII層を底面とする掘り込みと巨大な礫、炉跡を確認したため、鉄生産関連遺構の存在を認識して調査を行った。

[重複関係] S X I 05工房跡を切る遺構はない。

[規模・平面形] 規模は、開口部径400×350cm、底部径350×300cm、平面形は不整だが円形基調と推測される。南側の壁は直線的だが、トレンチ1025が入った個所であり、本来の形状であったかは明確でない。

[埋土・堆積状況] 主に黒褐色土で構成され、底面直上のII層には鉄滓を多量に含む炭化物層が広範囲に分布する。特に巨大な礫の東側周辺の床面には鍛造剥片の集積地点が分布する。

[壁・底面] 壁・底面はII層を掘り込み、古代・縄文時代の遺構堆積土を掘り込んでつくられている。床面は西側から東側に向かってやや傾斜している。壁高は約20cmである。

[柱穴] 竪穴内に5個確認した。詳細は不明だが、炉跡と鉄床石の周辺部に位置する配置である。

[炉跡] 工房跡の中央やや北寄りで炉跡1基（S X W27鉄生産関連炉跡）を確認した。西側はトレンチ1025で切られている。平面形は円形と推測され、断面形は碗形で、大きさ径約50cm、深さ約25cmである。底面下部が還元し、硬く締まる。炉内部に焼土層が堆積し、鉄滓が含まれていた。

[その他の付属施設] 床面を径150cm、深さ40cmに掘り込んで巨大な礫が設置されていた。径約110cm、高さ約70cmで、半球状の礫の平坦面を上にして設置し、平坦面には赤変して窪んだ径20～30cm、深さ約3～5cmの窪みが数箇所あった。重量は直接計測していないが、大きさから1.3t前後と推測される。同様の礫は、調査区のIII層面で露出している箇所がある。この礫は、鍛冶作業を行った鉄砧石と考えられる。礫の東側周辺の床面には鍛冶滓・鍛造剥片・粒状滓が目視できるほど集積していた。

[解釈] 炉跡・鉄床石・鍛造剥片・炭化材などの出土状況から、鍛冶が行われた工房跡の可能性が高い。

**遺物**（第464図、写真図版334・356・357・365・367）

[出土状況] 埋土1・2層から炭化材、鍛造剥片・粒状滓などの鉄滓類38,574.0g（S X I 05）、882.4g（S X W27）が多数出土し、土製品（羽口）や金属製品も出土した。

[土製品] 羽口8点（2247～2254／S X I 05）。

[金属製品] 穂積具1点（6011／S X I 05）、刀子1点（6016／S X I 05）、釘1点（6037／S X I 05）。板状1点（6053／S X I 05）。

[鉄滓類] 鉄滓3点（6363～6365／S X W27）、鉄滓2点（6351・6362／S X I 05）。

[炭化材] 樹種分析の結果、クリとの結果を得ている。

**時期** 遺構の形状と出土遺物から古代と推定される。2層出土の炭化材の放射性炭素年代測定を行った。<sup>14</sup>C年代950±20yrBP、2σ暦年代範囲1065calAD-1154calAD（67.5%）の測定値が出ている。

### (9) 炭 窯 跡

炭窯跡は13基(13年度調査)を調査した。そのうち12基は、C区北東谷部で鉄生産関連炉跡とともに検出した炭窯である。各炭窯跡の位置・規模の計測値などは、第10表 炭窯跡観察表を参照されたい。

#### SW01炭窯跡

遺構(第235図、写真図版159)

[位置・検出状況] ID9d・10c・10dグリッド。C区北東谷部の平坦面の最奥部西側に位置する。現状でも階段状になった部分で、斜面部分の掘削中に検出した。

[重複関係] SW02炭窯跡を切っている。

[規模・平面形] 開口部で328×106cm、底部で276×81cmを測る長楕円形で、深さ19cmである。谷部分の等高線に沿って、北東から南西方向に長軸を設定している。

[埋土・堆積状況] 砂質シルトの土壤に多量の炭化物が含まれている。

[壁・底面] 被熱等の痕跡は、北西側の壁で僅かに確認されたが、その他の部分では確認できなかった。

遺物 縄文土器1,325.8g、鉄滓類37.4g、炭化材が出土した。いずれも小片で掲載していない。炭化材は樹種分析で、クリとの結果を得ている。

時期 遺構の形状から古代と推測される。3層出土の炭化物の放射性炭素年代測定を行った。<sup>14</sup>C年代910±20yrBP、2σ暦年代範囲1036calAD-1185calAD(95.4%)の測定値が出ている。

(廣瀬時習)

#### SW02炭窯跡

遺構(第235図、写真図版159)

[位置・検出状況] ID10c・10dグリッド。C区北東谷部の平坦面の最奥部西側に位置する。現状でも階段状になった部分で、斜面部分の掘削中、当初SW01炭窯跡として認識していたが、精査の進展に伴い、2基の切り合い関係があることを確認し、下位に位置している遺構をSW02炭窯跡とした。

[重複関係] SW01炭窯跡に切られている。

[規模・平面形] 開口部で421×110cm、底部で404×77cmを測る長楕円形で、深さ7cmである。谷部の等高線に沿って長軸を設定している。

[埋土・堆積状況] 砂質シルトの土壤に多量の炭化物が含まれている。

[壁・底面] 壁面・底面ともに被熱等の痕跡は確認されなかった。

遺物 縄文土器45.0gが出土した。小片のため掲載していない。

時期 遺構の形状から古代と推測される。

(廣瀬時習)

#### SW03炭窯跡

遺構(第235図、写真図版159)

[位置・検出状況] ID10eグリッド。当初SXW01鉄生産関連炉跡の土層観察用トレンチを掘削した際に底面に炭の集中する堆積の存在を確認し、その段階ではSXW01鉄生産関連炉跡の下部構造と認識していた。しかし、SXW01鉄生産関連炉跡の炉材粘土・焼土等を除去した段階で、SXW01鉄生産関連炉跡より広範囲に炭の集積する層の輪郭を確認し、当該遺構をSW03炭窯跡とした。

[重複関係] S X W01鉄生産関連炉跡が上部に構築されている。

[規模・平面形] 開口部で326×135cm、底部で278×95cmの長楕円形の平面形で、深さ11cmである。

[埋土・堆積状況] 砂質シルトの土壌、下層の黒色土に多量の炭化物が含まれていた。

[壁・底面] 壁面に被熱の痕跡は確認されなかった。底面の広範囲に被熱による黒色の変色を確認した。

**遺物** 埋土から縄文土器250.5g、炭化材が出土した。縄文土器は小片のため掲載してない。炭化材は、樹種分析でクリとの結果を得ている。

**時期** 遺構の形状から古代と推測される。S X W01鉄生産関連炉跡が、S W03炭窯跡の上位に収まるように構築されている状況から、当初よりS W03炭窯跡を下部構造として利用した可能性も考えられる。

(廣瀬時習)

#### SW04炭窯跡

**遺構** (第235図、写真図版159)

[位置・検出状況] I D10 d～II D 1 eグリッド。S X W01鉄生産関連炉跡・S W03炭窯跡が構築されている平坦面から1段下がる段の斜面で検出した。

[重複関係] S W05炭窯跡を切っている。また、S X W02鉄生産関連炉跡に切られている。

[規模・平面形] 開口部で440×116cm、底部で347×82cmの長楕円形で、深さ36cmを測る。谷部の等高線に沿うように北東から南西方向に長軸を向けて構築されている。

[埋土・堆積状況] 砂質シルトの土壌に炭化物が混じる。下層の3・4層に炭化物が多く含まれる。

[壁・底面] 壁面・底面とも被熱による変色等は確認できなかった。

**遺物** 出土していない。

**時期** 遺構の形状から古代と推測される。

(廣瀬時習)

#### SW05炭窯跡

**遺構** (第235図、写真図版159)

[位置・検出状況] I D10 e、II D 1 eグリッド。S X W01鉄生産関連炉跡やS W03炭窯跡の構築されている平坦面から1段下がる段で検出した。

[重複関係] S W04炭窯跡に切られている。

[規模・平面形] 開口部で342×153cm、底部で330×130cmの長楕円形で、深さ24cmを測る。谷部の等高線に沿うように北東から南西方向に長軸を設け構築している。

[埋土・堆積状況] シルトに炭化物の混じる土層である。

[壁・底面] 西側部分の床面が、被熱により黒色化した状況で確認された。

**遺物** 縄文土器85.4g、土師器6.5g、炭化材が出土した。炭化材は樹種分析で、クリとの結果を得ている。

**時期** 遺構の形状から古代と推測される。

(廣瀬時習)

#### SW06炭窯跡

**遺構** (第236図、写真図版159)

[位置・検出状況] II D 1 g・1 hグリッド。C区北東谷部の東端で、一段高い平坦部分で検出した。



当初、調査区東端部で西側部分だけを検出し、断面に炭化物を非常に多く含む土層を確認したため炭窯跡と認識した。その後の調査区拡大に伴い、全体を調査した。北側一部を攪乱で切られている。

[重複関係] 南側一部をS X W19鉄生産関連炉跡に切られている。

[規模・平面形] 開口部で416×116cm、底部で386×93cmの長楕円形で、深さ30cmを測る。谷部の等高線に沿ったほぼ東西方向に長軸を設定した長楕円形の炭窯跡である。

[埋土・堆積状況] 砂質シルト、下層の7層に炭化物が多量に含まれている。

[壁・底面] 壁面・底面とも被熱等の痕跡は確認されなかった。

**遺物** (第464図、写真図版334)

[出土状況] 縄文土器29.7g、土製品(羽口)1,561.7g、炉壁256.4g、鉄滓類1,744.0g、炭化材が出土した。縄文土器、炉壁などは小片のため掲載していない。

[土製品] 羽口2点(2255・2256)。

**時期** 遺構の形状や出土遺物から古代と推測される。

(廣瀬時習)

### S W07炭窯跡

**遺構** (第236図、写真図版160)

[位置・検出状況] II D 1 e・1 f グリッド。S X W15鉄生産関連炉跡の調査段階で南側部分の下層に大量の炭化物が見られたことから遺構の存在を想定し、第1段階の検出面から全体を約30cm程度掘り下げた段階で検出した。同じ段階でS W08・09・10・11炭窯跡の4基の炭窯跡も確認した。

[重複関係] S X W15鉄生産関連炉跡に切られている。

[規模・平面形] 開口部で436×131cm、底部で395×102cmの長楕円形で、深さ35cmを測る。

[埋土・堆積状況] 砂質シルトに炭化物の多く混じる土層である。全体的に締まりが弱く、非常に柔らかい。下層の5・6・7層に多量の炭化物が含まれている。

[壁・底面] 被熱等の痕跡は確認できなかった。

**遺物** 縄文土器109.4g、土師器9.2g、炉壁136.1g、鉄滓類3,717.0g、炭化材が出土した。いずれも小片のため掲載していない。炭化材は樹種分析で、クリとの結果を得ている。

**時期** 遺構の形状から古代と推測される。上層の炭化物の放射性炭素年代測定を行った。<sup>14</sup>C年代900±20yrBP、2σ暦年代範囲1042calAD-1106calAD(46.4%)、1117calAD-1207calAD(49.0%)の測定値が出ている。

(廣瀬時習)

### S W08炭窯跡

**遺構** (第237図、写真図版160)

[位置・検出状況] II D 2 e グリッド。C区北東谷部の平坦になった部分の西側で検出した。S X W09・17鉄生産関連炉跡の調査段階で、南側の下層に炭化物の多く含まれる層があることを認識していたが、第1段階の検出面から全体を30cm程度掘り下げた段階で検出した。

[重複関係] S W09炭窯跡を切っている。

[規模・平面形] 開口部で270×98cm、底部で247×92cmの長楕円形で、深さ18cmを測る。

[埋土・堆積状況] 砂質シルトに炭化物が混じる土層である。下層に炭化物の混じる層がある。

[壁・底面] 被熱等の痕跡は確認されなかった。

**遺物** 縄文土器260.2g、鉄滓類40.1g、炭化材が出土した。いずれも小片で掲載していない。炭化材は樹種分析で、クリとの結果を得ている。

**時期** 遺構の形状から古代と推測される。3層出土の炭化材の放射性炭素年代測定を行った。<sup>14</sup>C年代870±20yrBP、2σ暦年代範囲1151calAD-1222calADの測定値が出ている。

(廣瀬時習)

#### SW09炭窯跡

**遺構** (第237図、写真図版160)

[位置・検出状況] II D 2 e グリッド。C区北東谷部の平坦になった部分の西側で検出した。

[重複関係] SW08炭窯跡に切られている。

[規模・平面形] 開口部で128×107cm、底部径119×88cmの円形で、深さ9cmを測る。

[埋土・堆積状況] 砂質シルトに炭化物が混じる土層である。

[壁・底面] 被熱等の痕跡は確認されなかった。

**遺物** 出土していない。

**時期** 遺構の形状から古代と推測される。

(廣瀬時習)

#### SW10炭窯跡

**遺構** (第237図、写真図版160)

[位置・検出状況] II D 2 e グリッド。C区北東谷部の平坦になった部分の西端で検出した。SW10・11炭窯跡は、第1段階の検出面において、II層を掘り込んだSW11炭窯跡西側の輪郭を確認し、1遺構と認識していたが、調査の進展に伴い、同じ方向の主軸を持つ2基の炭窯跡が切り合っていることが明らかとなり、2基の遺構として精査を行った。

[重複関係] SW11炭窯跡を切っている。

[規模・平面形] 開口部で218×106cm、底部で193×90cmの長楕円形で、深さ14cmを測る。

[埋土・堆積状況] 砂質シルトに炭化物が混じる土層である。

[壁・底面] 被熱等の痕跡は確認されなかった。

**遺物** 出土していない。

**時期** 遺構の形状から古代と推測される。

(廣瀬時習)

#### SW11炭窯跡

**遺構** (第237図、写真図版160)

[位置・検出状況] II D 2 d・2 e グリッド。C区北東谷部の平坦になった部分の西端で検出した。SW10・11炭窯跡は、第1段階の検出面において、II層を掘り込んだSW11炭窯跡西側の輪郭を確認し、1遺構と認識していたが、調査の進展に伴い、同じ方向の主軸を持つ2基の炭窯跡が切り合っていることが明らかとなり、2基の遺構として精査を行った。

[重複関係] SW10炭窯跡に切られている。

[規模・平面形] 開口部で209×102cm、底部で193×91cmの長楕円形で、深さ12cmを測る。

[埋土・堆積状況] 砂質シルトに炭化物が混じる土層である。

[壁・底面] 被熱等の痕跡は確認されなかった。

遺物 炭化材が出土した。

時期 遺構の形状から古代と推測される。

(廣瀬時習)

### SW12炭窯跡

遺構 (第237図、写真図版160)

[位置・検出状況] III C 9 a グリッド。A区西側。III層で黒色土の広がりとして検出した。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部径130cm、底部径100×90cmの不整な円形で、深さ20cmを測る。

[埋土・堆積状況] 花崗岩粒を含む黒色土に炭化物が混じる土層である。

[壁・底面] 北側・東側の壁が被熱により一部赤変している。底面はほぼ平坦である。

遺物 (図版358、写真図版257)

[出土状況] 縄文土器223.0g、鉄滓類10.0gが出土した。縄文土器は混入したものと思われる。

[縄文土器] 深鉢1点(1095)。

時期 遺構の形状や出土遺物から古代と推測される。

### SW13炭窯跡

遺構 (第237図、写真図版160)

[位置・検出状況] IID 3 h・3 i グリッド。C区北東谷部の鉄生産関連遺構が検出された地点の斜面下位で行った試掘で確認した遺構である。IV層で黒色土から黒褐色土の広がりとして検出した。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 開口部径300×110cm、底部300×100cmの長楕円形と推定され、深さ10cmを測る。等高線に合わせて長軸方向を設定した長楕円形である。斜面下位の南側は消失している。

[埋土・堆積状況] 花崗岩粒を含む黒褐色土に炭化物が混じる土層である。

[壁・底面] 被熱して赤変した痕跡はない。底面はほぼ平坦である。

遺物 鉄滓類4.7g、炭化材が出土した。小片のため掲載していない。

時期 遺構の形状から古代と推測される。

(廣瀬時習)

## (10) その他

その他の遺構を一括する。11基で、内訳は、集石遺構1基（S X01）、木製品埋設土坑1基（S X02）、粘土ブロック集中箇所1基（S X03）、地点貝層8基（S X04～11）である。集石遺構・木製品埋設遺構はC区尾根上、粘土ブロック集中箇所はB区南側、地点貝層はA区南西側で確認した。時期は、貝層は古代・中世、その他は近・現代の可能性はある。

**S X01集石遺構**

遺構（写真図版161）

[位置・検出状況] A区尾根上、C II グリッド。尾根上のS X02木製品埋設遺構とS I01竪穴住居跡との間付近。雑物撤去の際に表土中に一部礫が露出した状態で見つかったことから集石遺構として調査した。時期が新しいと判断し、簡易的な調査を行い、図は無い。写真のみの報告である。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 径約10～20cmの垂角礫が、3.0×1.5mの範囲に広がる。石材は花崗岩が多い。

[埋土・堆積状況] 礫群は表土I層に覆われていた。礫はIII層の上位にある。

[その他の付属施設] なし。礫の除去後に下位から遺構は確認されなかった。

[性格] 一帯を植林・造成した際に出土した礫を集めたものであろうか。

遺物 縄文土器971.9gが出土した。礫中に混入したものと思われる。

時期 遺構の検出状況などから近・現代と推測する。

**S X02木製品埋設土坑**

遺構（第238図、写真図版161）

[位置・検出状況] A区尾根上、II C 4 j グリッド。雑物撤去後、一部に木柵を伴った土坑を検出した。確認したのは、2基（S X02-1・2）の掘り方と掘り方の一部に遺されていた木製品（木柵）、掘り方の上に乗せられていた蓋として使用されたと推定される板材である。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 掘り方の大きさは、S X02-1は開口部径70cmの円形、深さ80cm。S X02-2は開口部径65～70cm、深さ60cmである。

[埋土・堆積状況] 掘り方は埋っておらず、枯葉等を含む腐葉土が土坑内部の下位に薄く堆積していた。

[その他の付属施設] なし。

[性格] 穴を掘って木柵を埋設し、蓋をしていた施設と思われる。用途不明である。

遺物 木柵の一部と蓋以外に時期を判断できる遺物は出土していない。

時期 遺構の検出状況などから近・現代と推測する。

**S X03粘土ブロック集中箇所**

遺構（第238図、写真図版161）

[位置・検出状況] B区、II C10b グリッド。II層の古代の遺構検出面で、明黄褐色の粘土の広がりとして検出した。平面形の確認後に断ち割った結果、中央が窪む椀形の形状であることを確認した。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 明黄褐色の粘土は径80×70cmの円形で、南側に焼土の混じる層を確認した。

## 1 検出遺構

[埋土・堆積状況] 3層黄橙色土の広がりを遺構と判断した。1層の堆積状況から、中央部が窪んだ形状であったと推測される。2層に焼土と思われる層を確認しているが、詳細は不明である。

[その他の付属施設] なし。

[性格] 鉄生産関連炉跡の可能性も考えたが、鉄滓類などの遺物は出土しなかった。用途不明である。  
遺物 出土していない。

時期 遺構の検出状況などから古代以降と推測されるが、詳細は不明である。

### S X04・05貝層

遺構 (第238図、写真図版161)

[位置・検出状況] A区、ⅢC9jグリッド。A区の東側で、表土除去後のⅡ層で貝殻のまとまりとして検出した。明瞭な掘り方は確認できなかったことから、Ⅱ層中の窪地に捨てられた貝殻と判断した。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] S X04・05貝層は径20cm、深さは10cmであった。

[埋土・堆積状況] 詳細は不明である。

[その他の付属施設] なし。

[性格] 貝殻が廃棄された地点である。

遺物 動物遺存体、鉄滓類11,865.2gが出土したが、破片のため掲載した遺物はない。

時期 遺構の検出状況などから古代以降と推測されるが、詳細は不明である。

### S X06貝層

遺構 (第238図)

[位置・検出状況] B区の南側、ⅢC1dグリッド。トレンチ110の断面観察で貝殻のまとまりとして検出した。明瞭な掘り方は確認できなかったことから、Ⅱ層中の窪地に捨てられた貝殻と判断した。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 径30cmほどの広がりである。深さは10cmであった。

[埋土・堆積状況] 詳細は不明である。

[その他の付属施設] なし。

[性格] 貝殻が廃棄された地点である。

遺物 (第358図、写真図版257)

[出土状況] 縄文土器 (重量不明)、動物遺存体 (貝殻) 1,279.6gが出土している。

[縄文土器] 深鉢3点 (1096～1098)。

[動物遺存体] 貝殻が出土した。小片のため掲載していない。

時期 遺構の検出状況などから古代以降と推測されるが、詳細は不明である。

### S X07貝層

遺構 (第239・240図、写真図版162)

[位置・検出状況] A区南東側、ⅣB2h～4hグリッド。Ⅱ層で貝層の広がりとして検出したが、平面及び断面観察では明瞭な掘り方は確認できなかった。調査では、南北1本、東西2本のトレンチを設定し、断面観察による堆積状況を確認しながら調査を行った。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 貝層は凡そ4m四方の範囲に広がる。中央付近の最大幅60cmほどである。複数回の廃棄により形成された貝層であり、調査では北側から4単位(SX07-1・2・3・4)を把握し、採取した。

[埋土・堆積状況] 1層が貝殻を含む混貝土層である。貝殻とともに大型の礫などが出土している。

[その他の付属施設] なし。

[性格] 貝殻が廃棄された地点である。

遺物 (第358・450～452・470・500～503図、写真図版257・326・327・337・356～359・367～378・381～383)

[出土遺物] 動物遺存体(貝殻・獣骨など)の他、縄文土器2,893.3g、土師器40.1g、須恵器324.0g、陶磁器138.9g、石器、金属製品、銭貨、鉄滓類9,829.9gなど各時代の遺物が出土した。

[縄文土器] 深鉢2点(1099～1100)。

[須恵器] 甕1点(1956)。

[陶磁器] 甕3点(1977・1979・1980)、波状文四耳壺1点(1978)、椀?2点(1984・1985)、椀1点(1986)。

[石器] 石鏃1点(2514)。

[金属製品] 刀子3点(6017～6019)、釘5点(6038～6042)、釘?1点(6043)、釣針6点(6045～6050)、棒状1点(6058)。

[銭貨] 開元通寶1点(6106)、元豊通寶?1点(6110)、皇宋通寶1点(6112)、影祐元寶1点(6120)、紹聖元寶1点(6122)、聖宋元寶1点(6125)、元□通寶?1点(6139)、□□□寶3点(6136・6137・6138)。

[鉄滓類] 3点(6366～6368)。

[動物遺存体] ウニ・巻貝・二枚貝：ウニ類殻(7006)・棘(7003)・中間骨(7007)・多孔板(7008)、ゴカイ類(7010)、アオガイ殻(7024)、タマキビ殻(7040)、クロタマキビ殻(7041)、カワザンショウガイ殻(7042)、ツメタガイ殻(7044)、エゾヨウラク殻(7049)、チヂミボラ殻(7050)、エゾチヂミボラ殻(7051)、レイシガイ殻(7052)、アラムシロ殻(7054)、パツラマイマイ殻(7058)、コハク貝科殻(7059)、ホタテガイ左殻・右殻(7071・7072)、岩ガキ右殻(7076)、ベッコウガキ?左殻(7073)、マテガイ類左殻・右殻(7094・7095)、ウネナシトヤマ(7099)、コタマガイ左殻・右殻(7103・7104)、オオノガイ左殻・右殻(7109・7110)、アカフジツボ殻(7012)、チシマフジツボ(7016)、カニ類指節骨(7019・7020)。魚骨：サメ・エイ類椎骨(7115)、ニシン亜科歯骨左(7122)・角骨(7124)・主鰓蓋骨左(7127)・第1椎骨(7130)・腹椎(7132・7133)・尾椎(7135)、ウルメイワシ亜科腹椎(7120)、カタクチイワシ亜科尾椎(7137)、イワナ属尾椎(7138)、サケ属尾椎(7139)、タラ科後側頭骨左(7140)・第1椎骨(7141)・尾椎(7142)、タラ科?前上顎骨左右(7143・7144)、フサカサゴ科鋤骨(7148)・前上顎骨左右(7149・7150)・上舌骨左(7164)・上擬鎖骨右(7170)・第1椎骨(7172)・尾椎(7175)、ホウボウ科主上顎骨(7180)、コチ科?歯骨左右(7181・7182)、アイナメ属?主上顎骨右(7183)、アイナメ属尾椎(7184)、スズキ属鋤骨(7186)・前上顎骨左(7187)・主上顎骨左(7188)・歯骨左右(7189・7190)・方骨左(7191)・上舌顎骨左(7192)・主鰓蓋骨左(7193)・肩甲骨左(7194)、・耳石(7195)・第1椎骨(7198)・尾椎(7200)・舌顎骨右(7201)、ハタ科上擬鎖骨左(7203)、ハタ科?上擬鎖骨左(7206)・主鰓蓋骨(7204)、ブリ属腹椎(7210)・左方骨(7211)クロダイ属方骨左右(7212・7213)、マダイ亜科前上顎骨右(7215)・角骨左(7217)、マダイ亜科?方骨左(7218)、タイ科腹椎(7219)、タイ科?前上顎骨右(7221)・舌顎骨左(7222)、ウミタナゴ科鋤骨(7223)・前上顎骨左右(7224・7225)・主上顎骨左右(7226・7227)・歯骨左(7228・7229)・角骨左右(7230・7231)・方骨左右(7232・7233)・舌顎骨左右(7234・7235)・上舌骨左(7236)・肩甲骨左右(7239・7240)・上擬鎖骨左右(7241・7242)・後側頭骨左右(7243・7244)・舌咽頭骨(7238)・尾舌骨(7237)・第1椎骨・第2椎骨・第3椎骨(7245・7246・7247)・腰椎(7248・7249)・科尾椎(7250)、ウミタナゴ科?主

鯰蓋骨左(7251)、ハゼ科腹椎(7252)、サバ属歯骨左右(7256・7257)・方骨左(7259)・左舌顎骨(7262)・腹椎(7263・7264)・尾椎(7265)、サバ属?肩甲骨右(7268)、ソウダガツオ属尾椎(7269)、カツオ属主上顎骨左(7270)・歯骨左(7271)・肩甲骨右(7272)・腹椎(7273)、マグロ類右主上顎骨右(7276)・尾椎(7287・7288)、ヒラメ第1椎骨(7292)・尾椎(7293)、カレイ科腹椎(7294)、フグ科前上顎骨左(7296)・歯骨左右(7298・7299)、魚類歯牙・鱗(7300・7301)・(大型)鱗棘(7302)。両生類・哺乳類：カエル類椎骨・尾骨(7303・7304)・肩甲骨右(7305)・上腕骨左右(7306・7307)・脛骨+腓骨(7311)、腸骨右(7310)、ヘビ類椎骨(7313)、カラス類鳥口骨右(7316)・大腿骨左右(7318・7319)・脛足根骨右(7323)、キジ類脛足根骨右(7326)、鳥類椎骨(7329)・複合仙骨(7330)・尾椎(7331)・上腕骨右(7336)・足根中足骨右(7337)・基節骨(7338)・末節骨(7341)、ヒミズ上腕骨右(7342)、ヒミズ?脛骨左(7343)、モグラ類下顎類左(7345)・踵骨(7347)、ノウサギ下顎歯牙(7348・7349)、ネズミ亜科下顎骨左右(7351・7352)、ハタネズミ亜科下顎骨左(7353)、ネズミ類上顎第1門歯右(7355・7356)・下顎第1門歯左(7357)・肩甲骨右(7358)・上腕骨左(7359・7360)・橈骨左(7361)・尺骨右(7362)・寛骨左(7363)・大腿骨左右(7364・7365)・脛骨左右(7366・7367)、イルカ類椎骨(7371)、イタチ?距骨左(7377)、タヌキ上顎犬歯右(7378)・下顎第1後臼歯右(7379)・第4中足骨右(7380)、ウマ上顎歯牙(7419)・下顎第3門歯左(7420)・橈尺骨左(7426)・基節骨(7427)・末節骨(7428)、イノシシ属頸静脈突起左(7454)・頬骨右(7453)・肩甲骨左(7457)・大腿骨右(7458)・脛骨左右(7459・7460)・腓骨(7461)・踵骨右(7462)・距骨(7463)、イノシシ属?腓骨(7471)、ニホンジカ角(7478・7479)・上顎骨左(7483)・上顎第2後臼歯左右(7484・7485)・第2頸椎(7489)・腰椎(7490)・肩甲骨左(7491)・橈骨右(7493・7494)・寛骨左右(左7498・7499・右7500)・大腿骨(7503)・中足骨(7508)・中手骨/中足骨(7512)・果骨右(7516)・種子骨(7519)・基節骨(7520)・第2/5末節骨(7522)、獸類門歯(7436)・肋骨(7442・7443)、四肢骨(7449～7451)。詳細は、V 分析・鑑定を参照のこと。

**時期** 遺構の検出状況と出土遺物などから中世以降と推測する。

### S X 08・09貝層

**遺構** (第240図、写真図版162・163)

[位置・検出状況] A区南東側、IV C 2 g グリッド。表土除去後のII層で貝殻のまとまりとして検出した。明瞭な掘り方は確認できなかったため、II層中の窪地に捨てられた貝殻と判断した。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] S X 08貝層は、短径30～40cm、長径200cmの不整な溝状、S X 09貝層は、径50～40cmほどの不整な楕円形である。深さは10～15cmほどであった。

[埋土・堆積状況] 1層が貝殻を含む黒色土層である。

[その他の付属施設] なし。

[性格] 貝殻が廃棄された地点である。

**遺物** (第503図、写真図版359・373・378・381)

[出土遺物] 縄文土器23.0g、銭貨、動物遺存体1,002.7g (S X 08)、145.3g (S X 09)、鉄滓類5.6g (S X 09) が出土した。

[銭貨] 洪武通寶1点 (6132/S X 08)。

[動物遺存体] フサカサゴ科歯骨左右(7153・7154/S X 08)、フサカサゴ科?第2椎骨(7179/S X 08)、小型獸類腰椎(7369/S X 09)、獸類椎骨(7438/S X 09)。詳細は、V 分析・鑑定を参照のこと。

**時期** 遺構の検出状況と出土遺物から中世以降と推測されるが、詳細は不明である。

## S X 10 貝層

遺構 (図版241、写真図版163)

[位置・検出状況] A区南西側、IV C 4 a グリッド。II層で貝殻の混じる黒色から黒褐色土の広がりとして検出した。先にトレンチ1026を掘削した際、当該土坑の北東側を一部掘削しており、土坑の存在を認識していたものである。明瞭な土坑を伴うことから動物遺存体の廃棄土坑として調査した。

[重複関係] 東側でS I 74 堅穴住居跡と重複し、S X 10 貝層がS I 74 堅穴住居跡の貼床を切っていた。このことから、S X 10 貝層の時期も古代以降と判断した。

[規模・平面形] 規模は、開口部370×320cm、底部径120×115cmの楕円形である。検出面からの深さは50～60cmだが、本来はもっと深かった可能性がある。断面形状は椀形である。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・黒色土を主体とし、下層に暗褐色土が堆積する。砂礫層は雨水等により周囲から窪地に流れ込み、溜まったものと判断される。2層で300×200cm程の不整な貝層の広がりを確認し、底面直上5層では、ホタテ等の貝殻、獣の肩甲骨が出土した。

[その他の付属施設] なし。

[性格] 土坑に貝殻が廃棄されたものだが、当初から貝殻廃棄を目的に掘られた土坑かは不明である。

遺物 (第358・450・499～501図、写真図版257・326・356・357・367・368・370・372～378・381～383)

[出土遺物] 縄文土器340.0g、須恵器、金属製品、鉄滓類4,066.2g、動物遺存体(ウニ・貝類・獣骨)25,122.0gが出土した。動物遺存体は、2層と5層からまとめて出土した。

[縄文土器] 深鉢1点(1101)。

[須恵器] 壺?1点(1957)。

[金属製品] 留金具2点(6004・6005)、楔1点(6021)、釣針1点(6051)。

[鉄滓] 鉄滓類(6369)。

[動物遺存体] ウニ・巻貝・二枚貝:ウニ類殻・棘(7004・7002)、アナガイ?殻(7037)、エゾタマガイ殻(7045)、ベンケイガイ殻右(7063)、タマキガイ右殻(7064)、イガイ左殻(7065)、チシマフヂツボ殻(7015)。魚類:トビエイ類歯板(7111)、サメ・エイ類椎骨(7112)、フサカサゴ科主上顎骨左右(7151・7152)・角骨左(7155)・方骨左右(7156・7157)・舌顎骨左右(7158・7159)・上舌骨右(7165)・前鰓蓋骨左右(7160・7161)・主鰓蓋骨左右(7162・7163)・擬鎖骨左(7171)・上擬鎖骨左(7169)・後側頭骨左右(左7166・右7167・7168)・腹椎・尾椎(7173・7174)、フサカサゴ科?角骨右(7178)・前上顎骨左(7177)、マダイ亜科上後頭骨(7214)・歯骨右(7216)、タイ科尾椎(7220)、サバ属?前上顎骨左(7267)、カツオ尾椎(7274)・尾鰭椎前椎体(7275)、マグロ類角骨左(7280)・主鰓蓋骨右?(7282)・腹椎(7284)・尾椎(7286)、ヒラメ終尾椎(7291)。両生類・哺乳類:ヘビ類椎骨(7312)、モグラ科大腿骨左(7346)、ネコ上顎犬歯左(7372)・下顎骨左右(左7374・7375・右7376)・下顎犬歯左(7373)、アシカ類肩甲骨左(7381)・基節(7384)、ウマ上顎第1後臼歯右・第2後臼歯右(7417・7418)・中足骨右(7425)、ウマ/ウシ腰椎(7430)、ウシ上顎第2後臼歯左(7429)、イノシシ属上顎犬歯左(7455)・下顎骨左(7456)、イノシシ属?歯牙(7470)・踵骨(7472)、ニホンジカ角(7480)・上顎骨右(7486・7487)・中足骨(7510)、大型獣類頸椎(7431)・上腕骨左(7433)、獣類椎骨(7439)・四肢骨(7446・7447)。V 分析・鑑定を参照のこと。

時期 遺構の検出状況や出土遺物などから古代以降と推測される。放射性炭素年代測定を行った結果、 $^{14}\text{C}$ 年代 $350 \pm 20\text{yrBP}$ 、暦年代範囲1539calAD-1635calAD(55.3%)の測定値が出ており、戦国時代から江戸時代初頭の年代観が示されている。



## S X11貝層

遺構（第242図、写真図版164）

[位置・検出状況] A区、IV C 5 c・5 dグリッド。A区南西側においてⅢ層で貝殻の混じる黒色から黒褐色土の広がりとして検出した。明瞭な土坑を伴うことから動物遺存体の廃棄土坑として調査した。

[重複関係] S N40焼土遺構を切っている。S N40焼土遺構→S X11貝層廃棄土坑の新旧関係がある。

[規模・平面形] 規模は、開口部280×270cmの不整な円形、途中で段上の平坦部を持ちながら底部にかけてすぼまる。底部径130×60cmの楕円形である。断面形状は椀形である。

[埋土・堆積状況] 上位に黒褐色土・黒色土、下位に暗褐色土が堆積する。

[その他の付属施設] なし。

[性格] 土坑に貝殻が廃棄されたものだが、当初から貝殻廃棄を目的に掘られた土坑かは不明である。

遺物（第499図、写真図版356・368～372・374～378・381・382）

[出土遺物] 縄文土器545.9g、金属製品、動物遺存体（貝殻・獣骨・角骨・魚骨など）12,741.1g、鉄滓類598.3gが出土した。魚の椎骨、鹿角3本と貝殻は、土坑の北東側の3・5・6層でまとまって出土した。魚の椎骨は、底面付近の下位で連なった状態で出土している。

[金属製品] 鋤鋏先1点（6009）。

[動物遺存体] 巻貝・二枚貝：ヒレガイ殻（7047）、アカザラ貝殻左右（7069・7070）、ザルガイ科殻左右（7081・7082）、シオフキ？殻左（7083）、エゾヌノメアサリ殻左右（7097・7098）、アカフジツボ殻（7013）。魚骨：ニシン亜科歯骨左右（7121・7123）・下顎骨左（7125）、ニシン科主鰓蓋骨左右（7128・7129）・前鰓蓋骨（7126）、アジ類方骨左（7209）、サバ属前上顎骨右（7253）・主上顎骨左右（7254・7255）・歯骨右（7258）・方骨左右（7260・7261）・尾椎（7266）、マグロ類歯左右（7277・7278）・角骨左（7279）・方骨左（7281）・類肩甲骨（7283）・類腹椎（7285）・類尾椎（7289）・尾鰭椎前椎体（7290）。鳥類・哺乳類：カラス類鳥口骨左右（7314・7315）、カラス類肩甲骨右（7317）・大腿骨右（7320）・脛足根骨左右（7321・7322）・足根中足骨左右（7324・7325）、鳥綱椎骨（7328）・胸骨（7332）・上腕骨左右（7334・7335）・中節骨（7339）・末節骨（7340）、モグラ科下顎骨左（7344）、ノウサギ寛骨左（7350）、ハタネズミ亜科歯牙（7354）、ネズミ科尾椎（7368）、小型獣類腰椎（7370）、ウマ第4中手骨・第3中手骨（7424・7423）、ニホンジカ角（7473・7474・7477・7481・7482）、獣類肋骨・四肢骨（7441・7448）。詳細は、V 分析・鑑定を参照のこと。

時期 遺構の検出状況などから古代以降と推測される。放射性炭素年代を行った結果、<sup>14</sup>C年代1070±20yrBP、暦年代範囲1275calAD-1389calAE（95.4%）の測定値が出ており、鎌倉時代後半の年代観が示されている。

## 柱穴状土坑

その他に柱穴47個（13年度31個・14年度16個）を確認した。P 1～31（31個）は、A区中央から西側ⅢB・ⅢCグリッドで確認した。P 2・3・4・5・26はS K I 07の北側、P 1、6～25・27～31は、S I 18・26・27・28の東側、S I 20の東側で確認したものである。縄文時代の竪穴住居に伴う柱穴だった可能性もあるが、詳細は不明である。PP101～116（16個）は、A区中央ⅢCグリッドで確認した。S I 39・54・55の検出時に確認したものである。時期など詳細は不明である。

## (11) 遺物包含層

ここでは、主にB区谷部（以下、谷部）で確認された縄文時代前期の土器を中心とした遺物を包含する地点・堆積層について記す。谷部は、東側にC区尾根、西側の調査区域外となった尾根と、東西を尾根に挟まれた南北方向に延びる谷の南端部である。谷部は、北側の調査区域外に続く。谷部の範囲は、凡そ東西35m×南北40mの範囲で、標高約28～20mである。

## 遺構（第243～248図、写真図版12）

調査の経過は次のように進んだ。雑物撤去後にトレンチ104～110、201の8本を設定して試掘を行った。その時点でⅡ層（断面図D-D'9・10層相当）が厚く堆積し、下部に縄文土器を含んでいた。また、古代の竪穴住居跡が存在することを確認した。そこで表土除去後に遺構検出を行い、古代のS I 04・05・09・10竪穴住居跡の精査を行った。その後、縄文時代の遺物包含層まで面的に下げ、遺構検出及び出土土器の調査を進めた。この面でS I 19竪穴住居跡を検出し、精査を行った。

谷部の堆積は、深さ約2mで、1～11層に細分され、ベルトD-D'8層が古代の遺構検出面、9（包含層の上に対応）・10層（包含層の中・下に対応）が縄文時代の遺構検出面である。11層では火山灰層を確認した。遺物出土地点に近い、ベルトA-A'・B-B'・C-C'では、1～8層に細分した。包含層上（1層）・上1（2層）・中1（3層）・中2（5層）・下1（6層）・下2（7層）・下3（8層）と分層して、遺物を採取した。また、層序的には、8層下位に確認した火山灰を十和田中掬テフラ（To-Cu）と認識している。層厚は10～20cmである。出土遺物は、おおむね火山灰層と判断した8層より上位からの出土である。火山灰の分析結果は、十和田南部テフラ（To-Nb）の可能性が高いとの結果であった。十和田火山起源であることは間違いないものの、何時の噴火に由来するのか、噴火口からの距離により地域で様相を異にする火山灰の状態を考慮していく必要がある。ここでは近隣遺跡の確認事例を敷衍し、谷部に堆積していた火山灰層を十和田中掬テフラとしておきたい。

遺物がまとまって出土した範囲は、ⅡC7a～10dグリッド、ⅢC1a～1eグリッド付近で、面積約120㎡の範囲である。出土遺物は、縄文時代前期の土器を主とする。中期中頃以降の土器はほとんど含まれない。鉄滓類など鉄生産関連の遺物も皆無であり、同じ谷部でありながら、鉄生産関連遺構群がまとまった確認された、尾根を挟んだ反対側のC区北東側谷部の様相と対照的である。

## 遺物（第370～377・382～386・396～398、543～546（集成）図、写真図版266～271・275～278・286～288）

採取時に区画が明瞭に把握できなかった遺物は、複数のグリッド名で取り上げた。また、グリッドを跨いで接合した遺物は、複数グリッドを出土地点として明示しており、そのまま掲載する。時期的には前期の大木2b式～5式を主とする土器が出土している。細分した層毎に土器型式が明確に分かれる傾向は読み取れなかった。上位・中位・下位で型式的変化を明確に辿ることができないが、出土地点によって時期的なまとまりが見られる傾向がある。

主なグリッドの出土状況は、次の通りである。

ⅡC8b・8c：下位に大木2式が出土し、大木3式も含むようである。

ⅡC8d：下位から大木3・4式の土器が出土しているが、主体は大木5式である。

ⅡC9c：大木2b式を主とするが、大木4・5式も含まれる。

ⅡC10c・10d：大木5・6式を主とするが、中～下位に大木3・4式の土器も含まれる。

**時期** 縄文時代前期の土器が主に出土しており、同時期に形成された包含層と推定される。

(数値)：残存値

第3表 竪穴住居跡(縄文)観察表(1)

図版 No.	写真 No.	遺構名	区 域	位置 (グリッド)	検出面	床面	平面形	規模(m)				柱六 個数	土の堆積状況 (上位→下位)	付属 施設	重複関係 (旧→新)	壁 溝	貼 床	備考	時期
								開口部 長径	開口部 短径	壁高	床面 長径								
19・20	15	S I 01	C	ⅡC8j~ⅡD9a	Ⅳ	Ⅳ	円形?	—	—	—	(6.25)	(5.70)	17	暗褐色土	なし	無	無	なし	中期
21・22	16・17	S I 03	C	ⅠD10b~ ⅡD1c	Ⅱ~Ⅳ	Ⅳ	多角形?	4.20	(3.20)	1.00	4.00	(3.00)	5	暗褐色、にぶい黄褐色・ 灰黄褐色	なし	有	有	貝殻残棄	中期
23	18	S I 12	A	ⅢD8c~9d	Ⅱ~Ⅳ	Ⅲ・Ⅳ	多角形?	(4.00)	(3.30)	0.60	(3.70)	(3.30)	13	暗褐色	なし	有	有	なし	中期
24~26	19・20	S I 13	A	ⅢD7b~9c	Ⅱ~Ⅳ	Ⅱ~Ⅳ	多角形	6.70	(6.30)	0.75	6.50	6.10	9	暗褐色、にぶい黄褐色 ・黒色	なし	有	有	壁際に 石棒	中期
27	21	S I 14	A	ⅢD6b~7c	Ⅱ・Ⅲ	Ⅲ・Ⅳ	楕円形	(3.90)	3.80	0.30	(3.50)	3.50	13	黒褐色・暗褐色・灰黄 褐色	なし	無	無	なし	中期
28・29	21	S I 15	A	ⅢD6a~8b	Ⅱ~Ⅲ	Ⅱ~Ⅳ	円形?	6.60	6.00	0.85	6.10	5.90	34	にぶい黄褐色・黒褐色 ・灰黄褐色	剥片貯蔵	有	有	なし	中期
30・31	22	S I 18	B	ⅢB4h~5j	Ⅱ	Ⅲ	隅丸方形?	4.30	(2.25)	0.95	3.60	(2.05)	4	にぶい黄褐色・灰黄褐 色・黒褐色	なし	有	有	なし	前期
32	22	S I 19	B	ⅡB9j・ⅡC9a	Ⅱ	Ⅱ	円形?	4.00	(1.80)	0.45	3.70	(1.65)	—	黒色・にぶい褐色・黒 褐色	なし	無	無	なし	前期?
33	22	S I 20	A	ⅢB6h・7h・7i	Ⅱ	Ⅱ	方形基調?	(4.70)	(3.00)	0.20	(4.50)	(2.80)	—	黒褐色	なし	無	無	なし	前期?
33	22	S I 23	A	ⅢD8d・9d	Ⅱ	Ⅳ	不明	(2.30)	—	0.40	(2.25)	—	—	灰黄褐色	なし	有	無	なし	前期?
34	23	S I 24	A	ⅢD8c~10d	Ⅱ	Ⅱ・Ⅲ	円形?	(3.50)	(3.50)	0.50	(3.40)	(3.40)	—	にぶい黄褐色・黒褐 色・黒色	なし	有	有	なし	中期
30・31	22	S I 26	B	ⅢB4i・5i	Ⅱ	Ⅲ	隅丸方形?	(5.20)	5.10	0.90	(4.80)	(4.20)	4	暗褐色・灰黄褐色・黒 褐色	なし	有	無	SI18②	前期
30・31	22	S I 27	B	ⅢB5i・5j	Ⅱ	Ⅲ	方形基調?	3.00	(2.80)	0.60	2.80	(2.60)	9	暗褐色・黒褐色	なし	無	無	SI18③	前期
30・31	22	S I 28	B	ⅢB5j・6j	Ⅱ	Ⅲ	方形基調?	5.90	(1.10)	0.40	5.70	(1.00)	—	暗褐色・灰黄褐色	なし	有	無	SI18④	前期
35・36	24	S I 30	A	ⅢD9c~10d	Ⅱ	Ⅱ	多角形	(6.00)	(4.50)	0.50	(5.80)	(4.25)	9	褐色・黒褐色・暗褐色	なし	有	有	なし	中期
37	25	S I 31	A	ⅢC9a~10b	Ⅱ・Ⅲ	Ⅲ	円形	4.40	4.10	0.50	3.70	3.60	8	黒色・黒褐色・暗褐色	なし	無	無	なし	中期
38	26	S I 32	A	ⅢC7d~8e	Ⅲ	Ⅲ	長方形?	(4.30)	3.90	0.25	(4.10)	3.70	12	暗褐色	なし	有	無	なし	前期
39・40	27	S I 34	A	ⅢD8a~9b	Ⅱ~Ⅳ	Ⅱ~Ⅳ	多角形	6.00	5.20	1.05	5.30	4.90	10	黒褐色・灰黄褐色・褐 色	なし	有	有	なし	中期
41・42	28・29	S I 35	A	ⅢC8i~10j	Ⅱ~Ⅲ	Ⅲ	多角形?	5.90	5.50	0.70	5.40	5.00	6	黒褐色・暗褐色・黒褐 色	なし	有	有	なし	中期
43・44	30	S I 37	A	ⅢC8i・9i	Ⅱ	Ⅲ・Ⅳ	楕円形?	(7.00)	(6.20)	0.55	(7.00)	(6.00)	9	暗灰黄色・灰黄褐色	なし	有	有	なし	中期
45	31	S I 38	A	ⅢC8i・9i	Ⅱ	Ⅲ・Ⅳ	円形?	(3.50)	(2.50)	0.55	(3.00)	(2.30)	5	灰黄褐色・黒褐色・黒 色	なし	有	有	なし	中期
46・47	32	S I 39	A	ⅢC8h~9i	Ⅱ	Ⅲ・Ⅳ	楕円形?	7.00	(4.30)	0.60	6.50	(3.60)	20	黒褐色・暗灰黄褐色	なし	有	有	なし	中期
47	32	S I 40	A	ⅢC9c・9d	Ⅱ	Ⅲ	円形	3.20	3.10	0.30	3.05	3.00	5	暗褐色	なし	有	有	なし	中期
48	32	S I 41	A	ⅢD9c	Ⅱ	Ⅱ	円形?	(4.00)	(3.60)	0.60	(3.90)	(2.90)	3	にぶい黄褐色・暗褐 色・褐色	なし	無	無	なし	前期
49	33	S I 43	A	ⅢC8d・8e・9d	Ⅱ~Ⅲ	Ⅲ	長方形?	(3.50)	(2.85)	0.25	(3.30)	(2.80)	6	暗褐色	なし	有	有	なし	中期
50	33	S I 45	A	ⅢD10b・10c	Ⅱ	Ⅱ・Ⅲ	楕円形?	5.30	(3.50)	0.40	4.90	(3.30)	3	黒褐色・暗褐色・黄褐 色	なし	無	無	なし	前期
51	33	S I 46	A	ⅢD10c・ⅣD1c	Ⅱ	Ⅲ	円形?	(6.00)	(3.00)	1.20	(5.00)	(2.70)	3	黒褐色・褐色・にぶい 黄褐色	なし	無	無	東側 調査区外	前期
52	33	S I 47	A	ⅢD10b・10c	Ⅱ	Ⅱ	不明	(4.20)	(2.00)	0.35	(3.80)	(1.90)	2	黒褐色・暗褐色	なし	無	無	東側 調査区外	中期
53	34	S I 49	A	ⅢD10a~ ⅣD1b	Ⅱ	Ⅱ	不明	(3.80)	(3.20)	0.50	(3.70)	(3.20)	5	暗褐色	なし	無	無	なし	中期

第3表 竪穴住居跡（縄文）観察表（2）

（数値）：残存値

図版 No.	写図 No.	遺構名	区 域	位置 （グリッド）	検出面	床面	平面形	規模（m）				柱六 個数	埋土の堆積状況 （上位→下位）	付属 施設	重積関係 （旧→新）	壁 溝	貼 床	備考	時期
								開口部 長径	開口部 短径	壁高	床面 長径								
54	34	S I 51	A	ⅢC8e・9e	Ⅱ	Ⅱ	円形？	(2.50)	(2.00)	(2.00)	(1.95)	3	黄褐色・黒褐色	なし	SI43→51、SK100と重複	無	なし	中期	
55	34	S I 53	A	ⅢD10～ⅢC1a	Ⅱ	Ⅲ	長方形？	(9.00)	(5.30)	(4.70)	(8.50)	7	黒色・黒褐色・暗褐色	なし	SI53→31、SI69・79と重複	有	なし	前期	
56	35	S I 54	A	ⅢC9f・9g	Ⅱ	Ⅲ	円形？	(2.90)	(2.10)	(2.50)	(1.90)	4	にぶい黄褐色・黒褐色 色・黄灰色・黒褐色	なし	SI70→SI54	無	なし	中期	
56	35	S I 55	A	ⅢC9g	Ⅱ	Ⅲ	不明	(2.00)	(1.50)	(1.20)	(1.00)	—	黒褐色・にぶい黄褐色	なし	SI55→SI39・SI54	無	なし	中期？	
57・58	35	S I 56	A	ⅢC9g～10h	Ⅱ	Ⅲ	多角形？	(4.50)	(3.90)	(4.80)	(3.20)	27	灰黄褐色・黒褐色	なし	SK137→SI56→SI71・73	有	なし	中期	
58	34	S I 57	A	ⅢB10～ⅢB1j	Ⅱ	Ⅲ	長方形？	(2.80)	(2.50)	(2.60)	(2.70)	3	黒褐色	なし	SI57→SI53	有	なし	前期	
59	35	S I 58	A	ⅢD1・2b	Ⅱ	Ⅲ	多角形	(4.50)	(4.30)	(4.20)	(3.90)	5	黒褐色	なし	SI62→SI58	無	なし	中期	
60	36	S I 59	A	ⅢC9c・9d	Ⅱ・Ⅲ	Ⅲ	楕円形？	(5.50)	(2.50)	(4.50)	(2.40)	6	黒褐色・暗褐色・褐色	なし	SI59→60→42・SK104	有	なし	中期	
61	36	S I 60	A	ⅢC9c～10d	Ⅱ・Ⅲ	Ⅲ	円形？	(3.60)	(3.60)	(3.50)	(3.50)	11	黒褐色・暗褐色	埋設土器	SI59→60→42・SK104	有	なし	中期	
62～65	37・38	S I 61	A	ⅢD8a～ⅢD1b	Ⅱ	Ⅲ	多角形	(6.50)	(6.50)	(6.50)	(6.00)	25	暗褐色・黒褐色	なし	SI84→SI61	有	なし	中期	
65	39	S I 62	A	ⅢD1b・1c・2b	Ⅱ	Ⅲ	不明	(4.50)	(3.10)	(4.00)	(3.80)	10	暗褐色・褐色	なし	SI62→SI58	無	東側 調査区外	前期	
66	39	S I 64	A	ⅢC10d・10e・9e	Ⅱ	Ⅲ	多角形？	(4.15)	(3.85)	(4.10)	(3.80)	8？	黒褐色・にぶい黄褐色	なし	SI65→64→SK122・123・129	有	なし	中期	
67	39	S I 65	A	ⅢC9e～10f	Ⅲ	Ⅲ	円形？	3.80	(3.20)	3.70	(3.00)	3	黒褐色・暗褐色	なし	SI65→SI64・73・78	有	なし	中期	
68・69	40	S I 66	A	ⅢD8a～9b	Ⅲ・Ⅳ	Ⅳ	隅丸長方形？	(11.00)	(3.80)	(7.00)	(11.50)	11	黒褐色・褐色	なし	SI66→34・35・39・61・ SK102・SI66→SK95・98	有	なし	前期	
70	41	S I 67	A	ⅢC10d	Ⅱ	Ⅱ・Ⅲ	円形	(2.90)	(2.80)	(2.80)	(2.80)	4	黒褐色	なし	SI30と重複	有	なし	中期	
71	42	S I 68	A	ⅢC9h・10h	Ⅱ	Ⅱ	不明	(3.70)	(3.20)	(3.70)	(3.20)	5	灰黄褐色	なし	SI56・72→SI68→SI71	無	なし	中期	
72	41	S I 69	A	ⅢC10b・10c	Ⅱ	Ⅲ	円形？	(3.70)	(2.20)	(4.00)	(3.50)	—	黒褐色・暗褐色	なし	SI80→SI69→SI79	有	なし	中期	
73	42	S I 70	A	ⅢC9f・9g	Ⅱ	Ⅲ	円形？	(4.00)	(1.50)	—	(4.00)	9	灰黄褐色・黒褐色・に ぶい黄褐色	なし	SI70→SI54→SI73	有	なし	中期？	
74～76	43	S I 71	A	ⅢC10g～ⅢC1h	Ⅱ	Ⅲ	多角形？	(7.20)	(7.70)	(7.20)	(7.70)	12	黒褐色・暗褐色	なし	SI72→SI71→SI75	有	なし	中期	
77・78	44	S I 72	A	ⅢC9i～ⅢC1j	Ⅱ	Ⅱ・Ⅲ	円形？	(6.70)	(6.50)	(6.60)	(5.80)	19	黒褐色・暗褐色	なし	SI72→SI71	有	なし	中期	
79・80	45	S I 73	A	ⅢC9f～ⅢC1g	Ⅱ	Ⅱ・Ⅲ	多角形？	7.00	(6.50)	6.70	(5.90)	30	灰黄褐色・黒褐色・灰 黄褐色	なし	SI54・56・78→SI73→ SK136・SI71・73と重複	無	なし	中期	
81～84	46	S I 75	A	ⅢC10g～ⅢC2h	Ⅱ	Ⅲ	多角形？	(7.70)	(7.50)	(7.50)	(7.50)	36	黒褐色・暗褐色・褐色	剥片貯蔵	SK71→SI75→SK132 SI75→SI52	有	炭化種実	中期	
84	47	S I 76	A	ⅢD2b	Ⅱ	Ⅱ	不明	(2.50)	(1.30)	(1.70)	(1.20)	1	黒褐色	なし	SI62→SI76→SI50	無	なし	中期？	
85	47	S I 77	A	ⅢC10e～ⅢC1d	Ⅱ	Ⅲ	楕円形	5.15	(4.40)	4.70	(4.20)	6	黒褐色・暗褐色・灰黄 褐色	なし	SI77→SI67・79・SI80と重複	有	なし	中期	
86～88	48	S I 78	A	ⅢC10e～ⅢC1f	Ⅱ	Ⅲ	円形	(5.80)	(5.40)	(5.70)	(5.80)	46	灰黄褐色・黒褐色	なし	SI65→SI78→SI73	有	なし	中期	
88	47	S I 79	A	ⅢC10c	Ⅱ	Ⅲ	多角形	(2.85)	(2.50)	2.60	(2.30)	5	黒褐色	なし	SI69・77→SI79	無	なし	中期	
89・90	49	S I 80	A	ⅢC1c～2d	Ⅱ	Ⅲ	多角形	5.60	5.30	5.50	5.00	20	黒色・黒褐色・暗褐色	なし	SI77と重複	有	なし	中期	
91	50	S I 81	A	ⅢC2f～ⅢC4g	Ⅱ	Ⅲ	不整形円形	(6.00)	4.90	(5.50)	5.00	41	黒褐色・褐色・灰黄褐 色	なし	SI102と重複	有	なし	中期	
92	51	S I 82	A	ⅢC10j～ⅢD2a	Ⅱ	Ⅱ	円形？	(5.60)	(5.60)	(5.40)	(5.00)	6	灰黄褐色	なし	SI82→SI61	無	なし	中期	
93	52	S I 83	A	ⅢC3h	Ⅱ	Ⅲ	不明	—	—	(3.50)	(2.00)	6	黒褐色	なし	なし	無	なし	中期	
94	52	S I 84	A	ⅢD9b～ⅢD10c	Ⅱ	Ⅱ	不明	(1.50)	(4.30)	(2.10)	(4.00)	—	黒褐色	なし	SI84→61、SI47と重複	有	なし	中期	
94	52	S I 85	A	ⅢD8a	Ⅱ	Ⅱ	円形？	(4.20)	(3.00)	3.35	(3.80)	1	褐色・灰黄褐色・黒褐 色	なし	SI85→SI35・44・61	無	なし	中期	
95・96	53	S I 86	A	ⅢC2i～2j	Ⅱ	Ⅱ	不明	(6.80)	(5.80)	(6.70)	(5.80)	8	黒褐色・黒色	なし	SI82・SK146と重複	有	なし	中期	
97～100	54・55	S I 88	A	ⅢC2c～4d	Ⅲ	Ⅲ	多角形	7.70	7.70	7.40	7.50	37	褐色・にぶい黄褐色	なし	SI88→SI104	有	なし	中期	
100・101	56	S I 89	A	ⅢC1d～2e	Ⅱ	Ⅲ	多角形	6.00	(5.90)	5.80	(5.30)	11	褐色・黄褐色・黒褐色	なし	SI90→89→SK134、 SK149と重複	有	なし	中期	
102	57	S I 90	A	ⅢC2d・3e	Ⅲ	Ⅲ	多角形	3.60	(3.60)	3.40	(3.40)	3	褐色	なし	SI90→SI89・97	有	なし	中期	

(数値)：残存値

第3表 竪穴住居跡(縄文)観察表(3)

図版 No.	写図 No.	遺構名	区 域	位置 (グリッド)	検出面	床面	平面形	規模(m)			炉の形態	柱六 個数	埋土の堆積状況 (上位→下位)	付属 施設	重複関係 (旧→新)	壁 溝	貼 床	備考	時期
								開口部	壁高	床面									
						長径	短径	長径	短径										
103	58	S I 91	A	IVC2b・3a・3b	II	III	円形?	3.50	(2.00)	—	—	(3.40)	(2.00)	なし	SK140→S191→74、 SK143と重複	有	なし	中期	
104	58	S I 92	A	IVC2b～3c	II	III	楕円形?	(4.00)	(3.00)	0.40	石囲炉	5	褐灰色・黒褐色・暗褐色	なし	S188→S192→S180	有	なし	中期	
105	56	S I 93	A	IVC1d～2e	II	III	円形?	(4.20)	(4.00)	—	複式炉(石囲炉+石囲炉+掘り込み部) 土器埋設炉?	3	不明	なし	S193→S189・103	有	なし	中期	
106	59	S I 94	A	IVC2h	III	III	不明	—	—	—	石囲炉?	6	不明	なし	S194→S175・SK151	無	なし	中期?	
106	59	S I 95	A	III D8a・9a	II・III	III	円形?	(3.00)	(4.00)	—	地床炉	1	黒褐色	なし	S195→S134・35・44・61・ SK96	有	なし	中期	
107	60	S I 96	A	III D9b	II	III	長方形?	(3.70)	(1.50)	0.45	不明	5	黒褐色	なし	S196→S145・61・66・84	有	なし	前期	
108	59	S I 97	A	IVC2d～3e	II	III	円形?	(4.60)	(4.60)	0.30	土器埋設炉	5	暗褐色	なし	S190・101→S197→S188	有	なし	中期	
109	60	S I 98	A	III D8a～9b	III	III	不明	(4.00)	(2.00)	0.25	不明	—	黒褐色	なし	S198→S161・95	有	なし	中期?	
110-111	61	S I 99	A	IVC3e～4f	II	III	円形?	(4.20)	(4.00)	0.30	複式炉(土器埋設石囲炉+掘り込み部)?	28	褐灰色・黒褐色	立石	S199→S1111・SK155と重複	有	なし	中期	
112-113	60	S I 101	A	IVC4d・4e	II	III	多角形?	(4.00)	(4.00)	0.20	複式炉(土器埋設炉+石囲炉+石囲炉+掘り込み部)	4	暗褐色	なし	S1100→S188・90・93・97	有	なし	中期?	
114～ 117	62	S I 102	A	IVC1e～3f	II・III	III	楕円形	7.00	6.25	0.20	複式炉(石囲炉+石囲炉+掘り込み部)	17	黄褐色・暗褐色・黒褐色	埋設土器2	S1101→99, SK155と重複	有	なし	中期	
117～ 120	63・64	S I 103	A	IVC1e～3f	III	III	多角形?	5.80	(5.60)	0.25	複式炉(石囲炉+掘り込み部)	27	灰黄褐色・暗灰黄褐色	なし	S181と重複	有	なし	中期	
97・121・ 122	65・66	S I 104	A	IVC2c～4d	III	III	多角形?	(7.00)	(5.20)	0.35	複式炉(石囲炉+石囲炉+掘り込み部)	31	灰黄褐色・黒色	なし	S1103→S1102	有	炭化材	中期	
123	67	S I 106	A	IVC4g・4h	II	III	不明	(4.00)	(4.00)	—	石囲炉	8	黒褐色	埋設土器	SK152→S1106→S187	無	なし	中期	
124	67	S I 107	A	IVC2g～3h	III	III	不明	(3.00)	(2.00)	—	石囲炉?	5	不明	なし	S1107→S175	無	なし	中期?	
124	67	S I 108	A	IVD2a	II	II	不明	(3.00)	(1.50)	0.20	複式炉(石囲炉+石囲炉)	—	黒褐色	なし	S1108→S182	無	なし	中期	
125	67	S I 109	A	III C1j・IVD1a	II	II	不明	(3.50)	(3.00)	—	地床炉+石囲炉?	4	不明	なし	S1109→S182	無	なし	中期	
126-127	68	S I 110	A	IVC1e～2f	III	III	多角形?	4.00	(4.00)	—	複式炉(石囲炉+石囲炉) 土器埋設炉	5	灰黄褐色・褐灰色	なし	S1110→S1103→S1102	有	なし	中期	
128	69	S I 111	A	IVC4e～5f	III	III	円形	4.50	4.30	0.25	複式炉(石囲炉+石囲炉+掘り込み部)	17	黒褐色	なし	S199→S1111→S1112	有	なし	中期	
129	70	S I 112	A	IVC5e～6e	III	III	不明	(4.30)	(4.30)	0.50	石囲炉	10	黒褐色・褐灰色・灰黄褐色	なし	S1111→S1112	無	なし	中期	
130	71	S I 113	A	III B3j～IVC4b	III	III	長方形?	(10.00)	(5.00)	—	地床炉4	23	不明	なし	S1113→S174・88・91・92、 SK143と重複	有	なし	前期	
131	71	S I 114	A	IVC4a・5b	III	III	長方形?	(6.00)	(4.20)	—	地床炉	7	黒褐色	埋設土器	S1114→S174	有	なし	前期	
132-133	72	S I 115	A	IVC2i・3i	III	III	円形?	(5.50)	(5.00)	0.30	複式炉(石囲炉+石囲炉+掘り込み部)	21	にぶい黄褐色・黒褐色	埋設土器	S1115→S186	有	なし	中期	
134	73	S I 116	A	IVC4i・4j	III	III	方形?	(3.50)	(2.00)	0.40	地床炉1	—	黒褐色	なし	なし	有	東側 調査区外	前期	
135-136	73	S I 117	A	IVD2a～3b	III	III	長方形?	(5.60)	(1.40)	0.20	不明	12	黒色	なし	S1118と重複	有	東側 調査区外	前期	
135-137	73	S I 118	A	IVC3j～IVD3a	III	III	楕円形?	(7.00)	(3.00)	0.05	地床炉	12	黒褐色	なし	S1117と重複	有	東側 調査区外	前期	
135-136	73	S I 119	A	IVC2j～IVD3a	III	III	方形?	(4.40)	(2.00)	—	地床炉2	11	暗褐色	なし	SK158と重複	有	なし	前期	
135	73	S I 120	A	IVC2i・IVD2a	III	III	不明	(8.50)	(1.80)	—	不明	1	不明	なし	S1119・SK114と重複	有	なし	前期?	
137	73	S I 121	A	IVC4i	III	III	不明	(2.00)	(2.00)	—	不明	—	暗褐色	なし	S1122と重複	有	なし	前期?	
137	73	S I 122	A	IVC4i	III	III	不明	(1.80)	(1.00)	—	不明	—	暗褐色	なし	S1121と重複	有	なし	前期?	
137	73	S I 123	A	IVC5i	III	III	不明	(1.00)	(1.00)	—	不明	—	不明	なし	S1124と重複	有	なし	前期?	
137	73	S I 124	A	IVC5h	III	III	方形?	(3.30)	(2.00)	—	不明	6	黒褐色	なし	S1123・SK160・163と重複	有	なし	前期?	

第4表 竪穴住居跡(古代) 観察表

(数値): 残存値

図版 No.	写図 No.	区 遺構名	区 域	位置 (グリッド)	検出面	床面	平面形	規模 (m)				カマド 位置	主軸 方位	柱穴 個数	埋土の堆積状況 (上位→下位)	壁 溝	貼 床	付属 施設	重複関係 (旧→新)	備考	時期
								開口部 長辺	開口部 短辺	壁高	底部 長辺										
138	74	SI02	C	ID7c	II	II	不明	—	—	0.30	—	—	不明	—	無	—	なし	なし	北側調査区外	II	
138・139	74	SI04	B	IC8d~10e	II	II	隅丸方形	5.90	—	0.30 (5.60)	—	—	N-16.0-W	2	無	—	なし	なし	なし	II	
139・140	75	SI05	B	IC3d~4e	II	II	隅丸方形	5.00 (3.70)	0.25 (3.50)	4.90 (3.50)	3.00	北	N-6.0-E	4	有	—	なし	なし	なし	II	
141	76	SI06	A	IID9b・10c	II	II	方形	(3.40)	3.30	0.65	3.00	北西	N-46.5-W	1	無	—	なし	なし	なし	II	
142	77	SI07	C	IID3b・4b・4c	IV	IV	隅丸方形?	4.20 (1.00)	0.40	3.90	0.95	不明	不明	4	無	—	なし	なし	竪穴状遺構?	古代	
142	77	SI08	C	IID3c~4e	IV	IV	方形?	(7.00)	(4.20)	—	(6.50)	(4.00)	不明	19	無	—	なし	SK19・20・31・32・35重複	竪穴状遺構?	古代	
143	77	SI09	B	IB9j・IC9a・8a	II	II	方形?	(4.50)	(3.50)	0.15	4.50	3.50	北	N-0-S	無	有	—	SI19→SI09	なし	I	
144	78	SI10	B	IC1b	II	II	隅丸方形?	(2.50)	(1.50)	0.15	(2.40)	(1.50)	北	N-0-S	無	有	—	なし	なし	I	
145	78	SI11	A	IID7a~8b	III	III	隅丸方形	5.60	4.50	0.50	5.50	4.20	西	N-69.0-W	有	有	—	SI15→SI11SK103と重複	なし	II	
146	79	SI16	A	IVA1j~IVB2a	II	II	隅丸方形	2.90	2.75	0.30	2.60	2.30	北西	N-45.0-W	無	無	—	なし	なし	II	
147	79	SI17	A	IVA1h~2i	II	II	隅丸方形?	(4.70)	(3.00)	0.25	(4.50)	(2.80)	北西	N-52.0-W	無	有	—	なし	なし	古代	
148・149	80	SI21	C	IID1d~2f	II	II	隅丸方形	(6.30)	(5.90)	0.70	5.90	(5.50)	北東	N-38.0-E	有	有	—	SI21→SXW16・22・23	なし	I	
150	81	SI22	A	IB9i・10j	II~III	III	隅丸方形	5.00	4.85	0.10	4.90	4.75	北西	N-66.0-W	有	有	—	SK89・90→SI22	なし	古代	
151	82	SI25	A	IVC1a~2c	II	II~III	隅丸方形	5.70	5.20	0.40	5.10	4.50	北	N-0-S	有	有	—	SK91→SI25	なし	I	
152	83	SI29	A	IVD1b・1c	II	II	隅丸方形	4.30	4.10	0.40	3.80	3.60	北	N-19.0-E	有	有	—	SI30→SI29	南東側調査区外・貝殻廃棄	I	
153	84	SI33	A	IID9a~10b	II	II	隅丸方形	4.70 (4.40)	0.30	4.40 (4.20)	4.40 (4.20)	北	N-29.0-E	9	無	有	—	SI33→SK96・99	なし	I	
154	85	SI36	A	IB10h~IVB1i	II	II~III	隅丸方形?	(4.80)	(4.00)	0.35	4.50 (3.80)	4.40	北	N-0-S	無	無	—	SK98・109と重複	なし	古代	
155・156	86	SI42	A	IC9d~10e	II	II~III	隅丸方形	6.80 (6.35)	0.55	6.50 (6.30)	6.30	北西	N-22.5-W	7	無	無	—	SK100と重複	なし	I	
156	87	SI44	A	IID9a~10a	II	II	隅丸方形	4.20	4.00	0.45	3.60	3.50	なし	不明	無	無	—	なし	磔廃棄	III	
157・158	88・89	SI48	A	IVC1e・2g	II	II	隅丸方形	4.75	4.75	0.40	4.40	4.40	北西	N-31.5-W	4	無	無	—	なし	貝殻・獣骨・土器廃棄	I
159	90	SI50	A	IVD2a~3b	II	II	隅丸方形?	(5.50)	(2.00)	0.80	(5.00)	(1.85)	不明	1	有	無	—	なし	東側調査区外	I	
160・161	90・91	SI52	A	III C10h~2i	II	II	隅丸方形	6.50	6.00	0.65	5.90	5.65	北西	N-23.5-W	4	有	有	—	なし	北西壁に小形の掘り方焼土・炭化材	I
162・163	92	SI63	A	IVC3d~4f	II	II	隅丸方形	(7.50)	6.50	0.25	(7.20)	6.40	北西	N-30.0-W	4	無	有	—	SI63→SK111	コハク出土	I
164・165	93	SI74	A	IVC3a~4b	II	II	隅丸方形	5.70	5.70	0.50	5.40	5.30	北西	N-14.5-W	4	無	有	—	SI74→SX10	炭化材	II
166・167	94・95	SI87	A	IVC4g~5h	II	II	隅丸方形	5.60	5.10	0.20	5.50	5.30	北西	N-20.0-W	4	無	無	—	SK152→SI87	なし	I
168・169	96	SI105	A	IVC3j~4j	II	II	隅丸方形	4.90 (4.20)	0.20	4.75 (4.10)	4.75 (4.10)	北西	N-14.0-W	4	無	無	—	SI15→SI105	北西壁に小形の掘り方焼土・炭化材	I	

第5表 竪穴状遺構観察表

(数値)：残存値

図版 No.	写真 No.	遺構名	区 域	位置 (グリッド)	検出面	床面	平面形	規模 (m)				柱穴 個数	埋土の堆積状況 (上位→下位)	壁溝 施設	重複関係 (旧→新)	備考	時期
								開口部		底部							
							長径	短径	長径	短径							
170	97	SK I 01	B	ⅢC 2 e	Ⅲ	Ⅲ	円形?	(2.35)	(1.40)	(2.15)	(0.90)	0.55	有	なし	貼床?	古代?	
170	97	SK I 02	A	ⅢD 7 c ~ 8 d	Ⅲ・Ⅳ	Ⅲ・Ⅳ	隅丸長方形	3.80	2.10	3.50	1.25	0.50	無	SI13→SK I 02	貝殻廃棄	古代?	
170	97	SK I 03	A	ⅢC 7 j・ⅢD 7 a	Ⅳ	Ⅳ	隅丸長方形	3.30	2.40	3.00	2.10	0.80	無	SK 55→SK I 03	SI11 (古代) と重複	古代・中世?	
171	98	SK I 04	A	ⅢC 8 g・9 g	Ⅱ	Ⅲ	方形	(3.70)	(3.50)	(3.60)	(3.45)	0.40	無	SK 65→SK I 04	—	古代?	
171	98	SK I 05	A	ⅢD 9 c・9 d	Ⅱ	Ⅱ・Ⅲ	方形基調?	(5.80)	(2.30)	(5.50)	(2.10)	0.30	無	SK I 05→SK 23	渥美、東側調査区外	中世	
172	98	SK I 06	A	ⅢB 9 a	Ⅲ	Ⅲ	円形?	(2.60)	(2.50)	(2.50)	(2.30)	0.40	有	なし	—	古代?	
172	99	SK I 07	A	ⅢB 8 f・8 g	Ⅱ・Ⅲ	Ⅱ・Ⅲ	楕円形?	(2.70)	(2.00)	2.40	(2.20)	0.35	無	SK 80→SK I 07	—	古代?	
172	99	SK I 08	A	ⅢC 7 f	Ⅱ・Ⅲ	Ⅲ	楕円形?	3.35	(1.80)	3.25	(1.70)	0.25	無	なし	—	古代?	
173	99	SK I 09	A	ⅣB 1 i ~ 2 j	Ⅱ	Ⅱ・Ⅲ	隅丸方形?	4.80	(3.00)	4.70	(2.85)	0.20	無	なし	—	古代?	
174	99	SK I 10	A	ⅢC 10 j ~ ⅣD 2 a	Ⅱ	Ⅱ	隅丸長方形	5.60	4.00	4.50	3.70	0.35	無	SK 82→SK I 10	—	古代?	
173	100	SK I 11	A	ⅢC 10 f・ⅣC 1 g	Ⅱ	Ⅱ	不明	(3.20)	(2.50)	(3.00)	(2.25)	0.20	無	SK I 11→SI 48 SK I 11→SN 29	水製品出土	古代?	
175	100	SK I 12	A	ⅢC 9 j・ⅢD 9 a	Ⅱ・Ⅲ	Ⅱ・Ⅲ	長方形?	(4.40)	4.40	(4.00)	4.00	0.40	無	SK I 12→SI 61→SI 44	—	縄文?	
174	100	SK I 13	A	ⅣC 6 b・6 c	Ⅱ	Ⅲ	隅丸方形?	3.00	(0.70)	2.85	0.65	0.30	有	なし	—	不明	
174	100	SK I 14	A	ⅣC 2 j・ⅣD 2 a	Ⅲ	Ⅲ	方形?	2.00	(1.40)	1.70	(1.25)	0.15	有	SK I 14→SI 119	—	縄文	
176	100	SK I 15	A	ⅣC 5 d ~ 6 e	Ⅱ・Ⅲ	Ⅲ	不明	—	—	(3.50)	(3.50)	—	無	SK I 15→SN 38・43	—	縄文	

第6表 土坑観察表(1)

(数値): 残存値

図版 No.	写真 No.	遺構名	区 域	位置 (グリッド)	検出面	底面	平面形	断面形	規模 (cm)				埋土の堆積状況	付属施設	性格	重複関係 (旧→新)	備考	時期
									開口部		底部							
		長径	短径	長径	短径													
177	101	S K01	C	II C 9 i ~ 10 j	IV	IV	円形	フラスコ	170	165	190	182	80	なし	なし	なし	細文	
177	101	S K02	C	II D 9 a	IV	IV	円形	フラスコ	200	196	190	170	60	なし	なし	なし	細文	
177	101	S K03	C	II C 10 j	IV	IV	楕円形	フラスコ	195	170	240	220	144	なし	なし	なし	細文	
177	101	S K04	C	II D 9 a	IV	IV	円形	フラスコ?	150	150	140	135	26	なし	なし	なし	細文	
178	102	S K05	C	III D 1 a	IV	IV	楕円形	フラスコ	160	115	210	190	112	なし	なし	なし	細文	
178	102	S K06	C	III D 1 b	IV	IV	円形?	フラスコ?	170	—	170	(135)	35	なし	なし	なし	細文	
178	102	S K07	C	II D 8 a	IV	IV	円形?	フラスコ?	120	—	(150)	130	120	なし	なし	なし	細文	
178	102・103	S K08	C	II D 9 a	IV	IV	円形	フラスコ?	155	145	140	140	50	なし	なし	なし	細文	
179	103	S K09	C	II D 10 b・III D 1 b	IV	IV	円形?	フラスコ	180	(110)	156	120	90	なし	なし	なし	細文	
179	103	S K10	C	III C 2 j・3 j	IV	IV	円形	フラスコ	155	140	210	180	160	なし	なし	なし	細文	
179	103	S K11	C	III C 2 i	IV	IV	円形	フラスコ	175	(130)	190	(180)	110	なし	なし	なし	細文	
180	104	S K12	C	III D 2 b	IV	IV	円形	フラスコ	145	115	190	185	120	なし	なし	7層に炭化層実層	細文	
180	105	S K13	C	II D 9・10 a	IV	IV	円形?	フラスコ?	220	200	210	200	60	副穴3	SK14→SK13	なし	細文	
180	105	S K14	C	II D 9・10 a	IV	IV	円形	不明	80	(45)	90	88	65	なし	不明 SK14→SK13	なし	細文	
181	105	S K15	C	III C 3 h	IV	IV	円形	フラスコ	155	125	160	150	105	なし	なし	なし	細文	
181	105	S K16	C	III C 3 h	IV	IV	円形	フラスコ	175	(130)	170	(140)	70	なし	なし	なし	細文	
181	105	S K17	C	III C 4 j ~ 5 j	IV	IV	円形?	フラスコ	150	140	150	140	68	なし	なし	なし	細文	
181	106	S K18	C	II D 8 a	IV	IV	円形	フラスコ	200	190	220	220	118	なし	SK18→S01	なし	細文	
182	106	S K19	C	III D 3 c・4 c	IV	IV	円形	フラスコ	180	175	195	160	65	なし	SK20→SK19	なし	細文	
182	106	S K20	C	III D 3 d	IV	IV	円形	フラスコ	175	135	205	200	70	なし	SK20→S08	なし	細文	
182	106	S K21	C	II C 8 j	IV	IV	円形	フラスコ	240	235	245	240	58	なし	SK21→S01	なし	細文	
182	107	S K22	C	I D 10 c	IV	IV	円形?	不明	70	(38)	63	(35)	18	なし	不明 なし	不明	不明	
183	107	S K23	A	III D 9 d・10 d	II	III~IV	長方形	箱形	210	130	190	120	35	なし	SK79・105→SK23	木枠?	中世?	
183	107	S K24	C	III C 3 h・3 i	IV	IV	円形	フラスコ	130	125	130	110	70	なし	SK25→SK24	なし	細文	
183	108	S K25	C	III C 3 h・3 i	IV	IV	円形	フラスコ	160	(140)	160	160	125	なし	SK25→SK24	なし	細文	
183	108	S K26	C	III C 3 i	IV	IV	円形	フラスコ	150	142	180	165	110	なし	なし	なし	細文	
184	108	S K27	C	III C 3 j	IV	IV	円形	フラスコ	190	155	230	210	190	なし	なし	なし	細文	
184	108	S K28	C	III D 2 b ~ 3 c	IV	IV	円形	フラスコ	185	180	205	190	75	なし	なし	なし	細文	
184	108・109	S K29	C	III D 3 b	IV	IV	円形	フラスコ	100	85	185	165	170	なし	なし	なし	細文	
185	109	S K30	C	III D 3 d	IV	IV	円形	フラスコ	175	165	170	160	57	なし	なし	なし	細文	
185	109	S K31	C	III D 3 e	IV	IV	円形	フラスコ?	175	155	155	130	50	副穴2	なし	なし	細文	
185	109	S K32	C	III D 3 d	IV	IV	円形	フラスコ	110	105	175	165	118	なし	SK32→S08	なし	細文	
185	110	S K33	C	III D 2 d ~ 3 e	IV	IV	円形	フラスコ?	190	155	155	130	40	なし	SK39→SK33	なし	細文	
186	110	S K34	C	III D 4 e	IV	IV	円形	フラスコ	180	175	210	200	85	なし	なし	なし	細文	
186	110	S K35	C	III D 3 d	IV	IV	円形?	フラスコ	180	(140)	190	(120)	40	なし	SK35→S08 SK35→SK20	なし	細文	
186	110	S K36	C	III D 4 e	IV	IV	楕円形	楕形	90	60	50	45	60	なし	SK38→SK36 SK37と重複	不明	細文?	
186	111	S K37	C	III D 3 d・4 d	IV	IV	楕円形?	楕形	(110)	98	68	58	62	なし	SK38→SK37→S08	不明	細文?	
186	111	S K38	C	III D 4 d	IV	IV	楕円形	フラスコ	(160)	140	150	150	100	副穴1	SK38→SK37	なし	細文	
185	110	S K39	C	III D 2 d・2 e	IV	IV	円形?	フラスコ?	(170)	(50)	(140)	(55)	15	なし	SK39→SK33	不明	細文	
187	111	S K40	C	III C 4 i	IV	IV	円形	フラスコ	110	105	160	140	155	なし	なし	なし	細文	



(数値)：残存値

第6表 土坑観察表(2)

図版 No.	写真 No.	遺構名	区 域	位置 (グリッド)	検出面	底面	平面形	断面形	規模 (cm)				埋土の堆積状況	付属施設	性格	重複関係 (旧→新)	備考	時期
									開口部 長さ	開口部 短径	底部 長さ	底部 短径						
187	111	S K41	C	ⅢC4 i	Ⅳ	Ⅳ	楕円形	フラスコ	150	130	130	115	45	なし	貯	なし	なし	縄文
187	112	S K42	C	ⅢC4 j~ⅢD5 a	Ⅳ	Ⅳ	円形	フラスコ?	170	150	150	140	77	なし	貯	なし	なし	縄文
187	112	S K43	C	ⅢD5 b	Ⅳ	Ⅳ	円形	フラスコ	130	122	135	125	63	なし	貯	なし	なし	縄文
188	112	S K44	C	ⅢC4 g・5 g	Ⅳ	Ⅳ	円形	フラスコ	155	155	185	165	95	なし	貯	なし	なし	縄文
188	112	S K45	C	ⅢD5 j・5 a	Ⅳ	Ⅳ	円形	フラスコ?	80	75	65	60	75	なし	不明	なし	なし	縄文
188	113	S K46	C	ⅢD5 e・6 e	Ⅳ	Ⅳ	円形	フラスコ?	100	95	100	93	68	なし	貯?	なし	なし	縄文
188	113	S K47	A	ⅢD6 a	Ⅳ	Ⅳ	長方形	なし	200	145	160	120	50	なし	不明	なし	なし	不明
188	113	S K48	A	ⅢD6 a	Ⅳ	Ⅳ	楕円形	なし	105	65	90	40	25	なし	不明	なし	なし	不明
189	113	S K49	A	ⅢC6 j	Ⅳ	Ⅳ	円形	なし	(80)	—	(60)	—	—	なし	不明	なし	なし	不明
189	113	S K50	A	ⅢC6 j	Ⅳ	Ⅳ	円形	フラスコ?	180	175	185	180	45	副穴1・溝4	貯	SK50→SK49	なし	縄文
189	114	S K51	A	ⅢC6 j	Ⅳ	Ⅳ	円形	フラスコ	160	120	180	160	148	なし	貯	なし	なし	縄文
189	114	S K52	A	ⅢC6 i・7 i	Ⅳ	Ⅳ	円形	フラスコ	130	100	165	150	135	なし	貯	なし	なし	縄文
189	114	S K53	A	ⅢD7 c・7 d	Ⅳ	Ⅳ	楕円形	フラスコ?	135	100	120	100	30	副穴1	貯	なし	目摩	縄文
190	114	S K54	A	ⅢD6 a・6 b	Ⅲ~Ⅳ	Ⅳ	円形	なし	90	80	80	60	25	なし	不明	なし	なし	不明
190	115	S K55	A	ⅢC7 j・ⅢD7 a	Ⅳ	Ⅳ	円形	フラスコ	145	120	170	170	108	なし	貯	SK55→SK103	なし	縄文
190	115	S K56	A	ⅢC7 h	Ⅳ	Ⅳ	円形	フラスコ	160	150	130	125	63	副穴1	貯	なし	なし	縄文
190	115	S K57	A	ⅢC7 g・7 h	Ⅲ	Ⅲ	円形	フラスコ	160	140	130	125	60	副穴1・溝3	貯	なし	なし	縄文
191	115	S K58	A	ⅢC7 g	Ⅳ	Ⅳ	円形?	不明	110	(50)	80	(40)	20	なし	不明	SK58→SK59	なし	不明
191	115	S K59	A	ⅢC7 g	Ⅳ	Ⅳ	楕円形	なし	210	165	200	155	50	なし	不明	SK58→SK59	なし	不明
191	116	S K60	A	ⅢC7 g	Ⅲ・Ⅳ	Ⅳ	方形	なし	100	90	88	75	28	なし	不明	なし	なし	不明
191	116	S K61	A	ⅢC7 j	Ⅳ	Ⅳ	円形	フラスコ	240	215	190	190	194	なし	貯	なし	なし	縄文
191	116	S K62	A	ⅢC6 f	Ⅲ	Ⅲ	円形	フラスコ?	120	100	90	75	55	副穴1	貯	SK63→SK62?	なし	縄文
191	116	S K63	A	ⅢC6 f	Ⅳ	Ⅳ	楕円形	なし	(75)	55	(65)	28	46	なし	不明	SK63→SK62?	なし	不明
192	116	S K64	A	ⅢC8 f	Ⅱ・Ⅲ	Ⅲ	楕円形	フラスコ	190	170	55	98	110	副穴1	貯	なし	なし	縄文
192	117	S K65	A	ⅢC8 g	Ⅱ	Ⅲ	楕円形	ピーカー	200	100	140	110	120	なし	不明	SK65→SK104	なし	不明
192	117	S K66	A	ⅢC6 f	Ⅲ	Ⅲ	円形	不明	155	145	150	140	18	副穴1・溝跡1	貯	なし	なし	縄文
192	117	S K67	A	ⅢC6 e	Ⅲ	Ⅲ	楕円形	フラスコ	200	(140)	190	(135)	20	副穴1・溝跡2	貯	なし	なし	縄文
193	117	S K68	A	ⅢC5 d~6 e	Ⅲ	Ⅲ	円形	フラスコ	182	150	170	150	40	副穴1	貯	なし	なし	縄文
193	118	S K69	A	ⅣB2 b	Ⅱ	Ⅲ	多角形	不明	250	220	200	200	40	副穴2	貯	なし	なし	不明
193	118	S K70	A	ⅢA10 i・10 j	Ⅱ	Ⅱ	楕円形?	不明	130	(85)	120	(70)	30	副穴2	不明	なし	なし	不明
193	118	S K71	A	ⅢD7 b・7 c	Ⅲ	Ⅳ	楕円形	フラスコ	90	60	80	60	125	なし	貯	SI14→SK71	なし	縄文
193	118	S K72	A	ⅢA10 j	Ⅲ	Ⅲ	楕円形	なし	115	93	85	60	30	なし	不明	なし	なし	不明
193	118	S K73	A	ⅢA10 j	Ⅲ	Ⅲ	楕円形?	不明	210	(90)	190	(85)	—	副穴2	不明	なし	なし	不明
194	119	S K74	A	ⅢB8 a・8 b	Ⅲ	Ⅲ	円形	ピーカー	190	185	170	165	90	なし	不明	なし	なし	不明
194	119	S K75	A	ⅢB8 c	Ⅲ	Ⅲ	楕円形	フラスコ	135	80	200	150	98	なし	貯	なし	なし	縄文
194	119	S K76	A	ⅣB1 d	Ⅱ	Ⅲ	楕円形	なし	155	115	105	100	30	なし	貯	なし	なし	不明
194	119	S K77	A	ⅢD7 c	Ⅲ	Ⅳ	円形	フラスコ?	155	150	146	135	30	副穴1	貯	SK77→SI14	なし	縄文
194	120	S K78	A	ⅢD8 d	Ⅳ	Ⅳ	円形	フラスコ	120	120	135	125	50	なし	貯	SK78→SI12	なし	縄文
195	120	S K79	A	ⅢD9 d	Ⅲ	Ⅳ	円形?	フラスコ?	(75)	(50)	(75)	(50)	46	なし	貯	SK79→SK105→SK23	東圃調査区外	縄文
195	120	S K80	A	ⅢB8 f	Ⅱ	Ⅱ	円形?	フラスコ?	(145)	130	(140)	(130)	25	副穴1	不明	SK80→SK107	なし	不明
195	120	S K81	A	ⅢB6 j	Ⅲ	Ⅲ	長方形	なし	145	120	124	53	40	なし	不明	なし	検出面に 焼土	不明
195	121	S K82	C	I D10 j	Ⅳ	Ⅳ	円形?	フラスコ?	(220)	(200)	(200)	(220)	50	なし	貯	なし	なし	縄文
196	121	S K83	C	I E1 a	Ⅳ	Ⅳ	円形	フラスコ	135	125	180	180	175	なし	貯	なし	なし	縄文

第6表 土坑観察表 (3)

(数値)：残存値

図版 No.	写真 No.	遺構名	区 域	位置 (グリッド)	検出面	底面	平面形	断面形	規模 (cm)			埋土の堆積状況	付属施設	性格	重複関係 (旧→新)	備考	時期	
									開口部 長径	開口部 短径	底部 長径							底部 短径
196	121	S K84	C	IE10a~II E1 a	IV	円形?	円形?	フラスコ?	200	(125)	190	(120)	20	なし	なし	なし	縄文	
196	121	S K85	C	IE1 b	IV	円形	円形	フラスコ	175	140	230	220	160	なし	なし	なし	縄文	
196	122	S K86	C	IE10c~II E1 d	IV	円形?	円形?	フラスコ	175	155	200	170	75	なし	なし	なし	縄文	
197	122	S K87	A	IID6a~7 b	IV	楕円形?	楕円形?	フラスコ?	220	160	200	150	12	副穴1・溝3	SK87→SI15	なし	縄文	
197	122	S K88	A	II B5 j	II	溝状	柱状		245	25	242	15	65	なし	SI27・28→SK88	なし	不明	
197	122	S K89	A	II B9 j・III C9 a	III	円形	円形	フラスコ	170	150	150	140	40	副穴1・溝2	SI22→SK89 SK89→SI22?	なし	縄文	
197	123	S K90	A	II B9 j	III	円形	円形	フラスコ	100	100	100	100	40	副穴1	SI22→SK90 SK90→SI22?	なし	縄文	
198	123	S K91	A	IV C2 b	III	円形	円形	フラスコ	120	103	135	130	92	なし	なし	なし	縄文	
198	123	S K92	A	III C9 e	II	円形?	円形?	楕形	80	70	55	55	30	楕埋設	SK100→SK92	なし	不明	
198	123	S K93	A	III C9 f	II	楕円形	楕円形		126	76	105	55	25	なし	SK135→SK93	なし	不明	
198	124	S K94	A	III C9 f	II	楕円形	楕円形		100	65	75	55	20	なし	不明	なし	不明	
198	124	S K95	A	III C9 c	II	楕円形	楕円形		120	100	100	65	20	なし	不明	なし	不明	
198	124	S K96	A	III D9 a	II	円形	円形	ビーカー	100	90	70	70	80	なし	SK33→SK96	なし	古代	
199	124	S K97	A	III C8 d	III	円形	円形	楕形	70	65	40	33	26	なし	不明	なし	不明	
199	125	S K98	A	III B10 i	II	円形?	円形?	ビーカー	88	60	40	38	10	楕埋設	不明	なし	不明	
199	125	S K99	A	III D9 a・9 b	II	円形	円形	ビーカー	90	85	85	75	110	なし	SK33→SK99	貝層	古代	
199	125	S K100	A	III C8 e・9 e	II	方形	方形	楕形	350	260	320	235	35	なし	SK100→SK92	整穴状?	不明	
200	126	S K102	A	III D8 b~9 c	II	円形	円形	フラスコ	170	160	210	200	170	なし	SI66→SK102→SI13	なし	縄文	
199	126	S K103	A	III C8 h	II	円形	円形	フラスコ?	120	110	100	90	50	なし	SI37→SK103	なし	縄文	
200	126	S K104	A	III C9 c・10 c	II	長方形	長方形	楕形	246	130	220	110	25	なし	不明	SI69・60→SK104	なし	不明
200	126	S K105	A	III C9 b・10 b	IV	円形	円形	フラスコ?	130	110	115	100	12	副穴1・周溝4	SK107→SK105→ SI31	なし	縄文	
200	127	S K106	A	III C8 e・9 e	II	円形	円形	フラスコ?	120	120	110	100	25	副穴1	SK106→SI51	なし	縄文	
201	127	S K107	A	III C10 b	IV	円形	円形	フラスコ?	130	(90)	190	(90)	30	溝4	SK107→SK105	なし	縄文	
201	127	S K108	A	III C9 f	III	楕円形	楕円形	フラスコ?	120	100	100	80	30	なし	なし	なし	縄文	
201	127	S K109	A	III B10 i	IV	楕円形	楕円形		90	70	80	60	18	なし	SI36と重複	なし	不明	
201	128	S K110	A	III D10 c	III	楕円形	楕円形	フラスコ?	165	130	140	115	45	副穴1	SK110→SI30	なし	不明	
201	128	S K111	A	IV C2 e・3 e	II	円形	円形	楕形	95	90	90	85	28	なし	SK63→SK111	なし	不明	
202	128	S K112	A	III C8 d	III・IV	円形	円形	フラスコ	160	150	110	105	145	なし	SK112→SI43	なし	縄文	
202	128	S K113	A	III C9 d	IV	楕円形	楕円形		120	90	90	80	80	なし	SI42と重複	なし	縄文	
202	129	S K114	A	III D10 a~IV D1 b	II	楕円?	楕円?	フラスコ?	210	130	165	125	50	なし	SI49→SK114	なし	縄文	
202	129	S K115	A	III C8 e	II	円形	円形	楕形	125	110	110	105	17	なし	SK100と重複	なし	不明	
203	129	S K116	A	III C8 g・8 h	III	円形	円形	フラスコ?	145	(90)	130	(80)	70	副穴1・溝1	SK116→SI37	なし	縄文	
203	129	S K117	A	III C8 h	IV	円形	円形	フラスコ?	130	(60)	120	(60)	30	溝2	SK117→SI37	なし	縄文	
203	130	S K118	A	III C10 a	IV	円形	円形	フラスコ?	180	180	160	150	40	副穴1	SK118→SI53	なし	縄文	
203	130	S K119	A	IV C2 a	IV	楕円	楕円		90	50	70	30	32	なし	なし	なし	不明	
203	130	S K120	A	IV C2 a	IV	楕円	楕円		100	55	95	30	50	なし	不明	なし	不明	
203	130	S K121	A	IV C3 a	II	長方形	長方形		100	75	95	60	12	木枠?	不明	なし	不明	
204	131	S K122	A	III C10 d	IV	楕円	楕円		125	70	115	50	20	なし	不明	なし	不明	
204	131	S K123	A	III C10 d	IV	楕円	楕円		125	60	100	50	40	なし	不明	なし	不明	
204	131	S K124	A	III C8 j・III D8 a	IV	楕円?	楕円?	フラスコ?	(90)	85	(80)	85	55	副穴1	SK125→SK124→ SK128 SK124→SI34	なし	縄文	
204	131	S K125	A	III D8 a	IV	楕円?	楕円?		(65)	55	40	35	80	なし	SK125→SK124	なし	縄文	

(数値)：残存値

第6表 土坑観察表 (4)

図版 No.	写真 No.	区 域	連構名	位置 (グリッド)	検出面	底面	平面形	断面形	規模 (cm)				埋土の堆積状況	付属施設	性格	重複関係 (旧→新)	備考	時期
									開口部		底部							
									長さ	短径	長さ	短径						
204	131	S K126	A	Ⅲ C 8 j	Ⅳ	Ⅳ	楕円?	フラスコ?	長さ 175 短径 90	150	75	36	なす	なす	SK128・131と重複	なし	縄文	
204	131	S K127	A	Ⅲ C 8 j	Ⅳ	Ⅳ	方形?	フラスコ?	長さ 60 短径 (30)	45	(25)	38	なす	なす	SK128と重複	なし	縄文	
204	131	S K128	A	Ⅲ C 8 j	Ⅳ	Ⅳ	円形?	楕形	長さ (90) 短径 (40)	(70)	(30)	30	なし	なし	SK124→128 SK126・127・131と 重複	なし	縄文	
205	132	S K129	A	Ⅲ C10 e	Ⅲ	Ⅲ	楕円形	楕形	長さ 110 短径 80	85	65	45	なし	なし	SK164と重複	なし	不明	
205	132	S K130	A	Ⅳ C 3 e	Ⅱ	Ⅳ	円形	楕形	長さ 70 短径 60	40	30	40	なし	なし	SK163と重複	なし	不明	
204	132	S K131	A	Ⅲ C 8 j	Ⅳ	Ⅳ	円形?	フラスコ?	長さ 140 短径 (130)	140	(130)	35	なし	なし	SK166→SK131	なし	縄文	
205	132	S K132	A	Ⅳ C 2 g・2 h	Ⅳ	Ⅳ	円形?	フラスコ?	長さ 118 短径 108	100	90	26	なし	なし	SK175→SK132	なし	縄文	
205	133	S K133	A	Ⅳ C 1 e	Ⅳ	Ⅳ	円形	柱状	長さ 75 短径 70	70	70	90	なし	なし	SK142と重複	なし	不明	
205	133	S K134	A	Ⅳ C 1 d	Ⅱ	Ⅳ	円形	フラスコ	長さ 115 短径 100	80	70	100	なし	なし	SK189→SK134	なし	縄文	
205	133	S K135	A	Ⅲ C 9 f	Ⅳ	Ⅳ	円形?	楕形	長さ 105 短径 85	40	40	55	なし	なし	SK135→SK93	なし	不明	
206	133	S K136	A	Ⅲ C10 g	Ⅳ	Ⅳ	多角形?	楕形	長さ 170 短径 160	140	110	45	なし	なし	SK173→SK136 SK136→SN16	なし	縄文	
206	134	S K137	A	Ⅲ C10 h	Ⅲ	Ⅲ	円形	楕形	長さ 75 短径 70	60	55	40	なし	なし	SK137→SJ56	なし	縄文	
206	134	S K138	A	Ⅲ C10 g・9 g	Ⅳ	Ⅳ	楕円形	不整な楕形	長さ 95 短径 80	50	28	28	なし	なし	SK173と重複	なし	不明	
206	134	S K139	A	Ⅲ C10 f	Ⅳ	Ⅳ	楕円形	楕形	長さ 100 短径 60	83	40	38	なし	なし	SK173と重複	なし	不明	
206	134	S K140	A	Ⅳ C 3 b	Ⅳ	Ⅳ	円形	楕形	長さ 110 短径 100	95	90	45	副穴1	なし	SK140→S191 SK143と重複	なし	縄文	
207	135	S K141	A	Ⅳ C 1 d・2 d	Ⅳ	Ⅳ	円形	楕形	長さ 190 短径 190	176	172	20	なし	なし	SK189と重複	なし	縄文	
207	135	S K142	A	Ⅳ C 2 c	Ⅳ	Ⅳ	楕円	フラスコ?	長さ 130 短径 110	115	100	30	なし	なし	SK142→S192	なし	縄文	
207	135	S K143	A	Ⅳ C 2 b	Ⅳ	Ⅳ	円形?	ビーカー?	長さ 130 短径 120	105	100	50	副穴2	なし	SK140と重複	なし	縄文	
207	135・136	S K144	A	Ⅳ C 1 f	Ⅳ	Ⅳ	楕円形	楕形	長さ 130 短径 100	90	60	20	なし	なし	SK178と重複	なし	縄文	
207	136	S K145	A	Ⅲ C 9 e	Ⅲ	Ⅲ	円形	ビーカー	長さ 100 短径 85	75	75	87	なし	なし	なし	なし	不明	
207	136	S K146	A	Ⅳ C 2 i	Ⅲ	Ⅲ	円形?	楕形	長さ 72 短径 (70)	65	62	70	なし	なし	SK186-PP1と重複	なし	不明	
208	137	S K147	A	Ⅳ C 6 d	Ⅱ	Ⅲ	楕円形	楕形	長さ 220 短径 130	110	80	35	なし	なし	SK186-PP1と重複	なし	不明	
208	137	S K148	A	Ⅳ C 5 c	Ⅲ	Ⅲ	円形	楕形	長さ 120 短径 110	102	95	20	なし	なし	SK186-PP1と重複	なし	不明	
208	137	S K149	A	Ⅳ C 6 c	Ⅱ	Ⅱ	楕円形	楕形	長さ 140 短径 120	125	100	30	なし	なし	SK148→SX11	なし	不明	
208	137	S K150	A	Ⅳ C 6 d・6 e	Ⅱ	Ⅱ	円形?	楕形	長さ 130 短径 (110)	85	70	30	なし	なし	なし	なし	不明	
208	137	S K151	A	Ⅳ C 2 h	Ⅲ	Ⅲ	長方形?	楕形	長さ 175 短径 80	110	70	14	なし	なし	なし	なし	不明	
208	138	S K152	A	Ⅳ C 4 g・5 g	Ⅲ	Ⅲ	円形	フラスコ	長さ 110 短径 103	93	92	60	副穴1・溝2	なし	SK152→S1106→ SK187	なし	縄文	
209	138	S K153	A	Ⅳ C 3 a	Ⅲ	Ⅲ	円形	楕形	長さ 84 短径 72	68	62	35	なし	なし	SK113-PP20→SK153	なし	不明	
209	138	S K154	A	Ⅳ C 4 d	Ⅲ	Ⅲ	円形	楕形	長さ 85 短径 80	50	40	45	なし	なし	SK101と重複	なし	縄文?	
209	138	S K155	A	Ⅳ C 4 e	Ⅲ	Ⅲ	楕円形	フラスコ?	長さ 130 短径 90	90	85	36	副穴1	なし	SK101・99と重複	なし	縄文	
209	139	S K156	A	Ⅳ C 4 e	Ⅲ	Ⅲ	楕円形	楕形	長さ 108 短径 60	95	50	15	なし	なし	SK199と重複	なし	縄文?	
209	139	S K157	A	Ⅳ D 2 b	Ⅲ	Ⅲ	円形	フラスコ?	長さ 90 短径 90	80	78	30	なし	なし	SK157→S1117-PP5	なし	縄文	
209	139	S K158	A	Ⅳ C 3 j・Ⅳ D 3 a	Ⅲ	Ⅲ	楕円	ビーカー	長さ 92 短径 80	70	65	52	なし	なし	SK118-PP9→SK158	なし	縄文	
210	139	S K159	A	Ⅳ D 3 a・4 a	Ⅲ	Ⅲ	円形?	フラスコ?	長さ 100 短径 (100)	80	80	40	なし	なし	SK159→S1118	東御調査 区域外	縄文	
210	140	S K160	A	Ⅳ C 5 i・6 i	Ⅲ	Ⅲ	楕円形?	フラスコ?	長さ (170) 短径 130	(150)	115	80	なし	なし	SK160→S1124?	重複 調査区外	縄文	
210	140	S K161	A	Ⅳ D 3 a	Ⅲ	Ⅲ	楕円形	楕形	長さ 120 短径 90	110	70	40	なし	なし	S1117・118と重複	埋土中に 礫	縄文	
210	140	S K162	A	Ⅳ C 5 i	Ⅲ	Ⅲ	溝状	楕形	長さ (250) 短径 90	(240)	60	30	副穴5	なし	なし	東御 調査区外	縄文?	
210	140	S K163	A	Ⅳ C 5 h・6 h	Ⅲ	Ⅲ	円形	楕形	長さ 110 短径 100	90	85	40	なし	なし	SK124と重複	なし	縄文?	

第7表 炉跡・焼土遺構観察表

(数値)：残存値

図版 No.	写図 No.	遺構名	区域	位置	検出面	形態	平面形	規模 (cm)		焼土の色調	所属施設	重複関係 (旧→新)	備考	時期
								長さ	厚さ					
212	142	SN01	A	ⅢB7h	Ⅱ	地床炉	不整楕円形	83	35	明褐色	SI20の炉跡?	なし	SN01・05・06一連	縄文
212	142	SN02	A	ⅢB6i	Ⅱ	地床炉	隅丸方形	30	25	明赤褐色	SI20の炉跡?	なし	SN02・03・04一連	縄文
212	142	SN03	A	ⅢB7i	Ⅱ	地床炉	不整楕円形	60	35	橙色	SI20の炉跡?	なし	SN02・03・04一連	縄文
212	142	SN04	A	ⅢB7i	Ⅱ	地床炉	不整円形	85	75	橙色	SI20の炉跡?	なし	SN02・03・04一連	縄文
212	143	SN05	A	ⅢB7i	Ⅱ	地床炉	隅丸方形	60	55	明赤褐色	SI20の炉跡?	なし	SN01・05・06一連	縄文
212	143	SN06	A	ⅢB7i	Ⅱ	地床炉	不整楕円形	108	65	明赤褐色	SI20の炉跡?	なし	SN01・05・06一連	縄文
213	143	SN07	A	ⅢB8i	Ⅱ	地床炉	楕円形	70	50	明赤褐色	なし	なし	なし	縄文
213	143	SN08	A	ⅢB8i	Ⅱ	地床炉	楕円形	40	27	明赤褐色	なし	なし	なし	縄文
213	143	SN10	A	ⅢB7h・8h	Ⅱ	地床炉	楕円形	90	60	赤褐色	なし	なし	なし	縄文
213	144	SN11	B	ⅢB3j	Ⅱ	地床炉	不整楕円形	85	55	褐色	なし	なし	SN11・12・13一連	縄文
213	144	SN12	B	ⅢC3a・4a	Ⅱ	地床炉	不整形	47	38	にぶい赤褐色	なし	SN13と重複	SN11・12・13一連	縄文
213	144	SN13	B	ⅢB3j・ ⅢC3a	Ⅱ	地床炉	楕円形	70	55	にぶい赤褐色	なし	SN12と重複	SN11・12・13一連	縄文
214	144	SN15	A	ⅢC9g	Ⅱ	地床炉	不整楕円形	55	35	暗灰黄色	なし	SI55→SN15	なし	縄文
214	144	SN16	A	ⅢC10g	Ⅱ	地床炉	不整形	(75)	60	暗灰黄色	なし	SI73→SN16	なし	縄文
214	144	SN17	A	ⅢC9h	Ⅱ	地床炉	不整形	100	60	暗灰黄色	なし	SI37→SN17	なし	縄文
214	145	SN18	A	ⅢD8b	Ⅱ	土器埋設炉	不整形	(30)	30	にぶい赤褐色	なし	SI34→SN18→SI13	埋設土器二重	縄文
215	145	SN19	A	ⅢC8d	Ⅱ~Ⅲ	石囲炉	円形?	50	43	黒褐色	なし	なし	なし	縄文
215	145	SN20	A	ⅢC10b	Ⅲ	地床炉	円形	35	25	赤褐色	SI53の炉跡?	SN20→SI31	なし	縄文
215	145	SN21	A	ⅢC10a	Ⅲ	地床炉	不整形	42	19	赤褐色	SI53の炉跡?	SN21→SI31-P6	なし	縄文
215	146	SN22	A	ⅢC10a	Ⅲ	地床炉	不整形	44	(26)	暗赤褐色	SI53の炉跡?	SN22→SI31	なし	縄文
215	146	SN23	A	ⅢC9e	Ⅲ	石囲炉	円形	45	45	明赤褐色	なし	SK100と重複	なし	縄文
216	146	SN24	A	ⅢD8a	Ⅱ	石囲炉	円形	60	(35)	明赤褐色	なし	SN24→SI33	なし	縄文
216	146	SN25	A	ⅢD8a	Ⅱ	土器埋設炉	不整形	35	35	にぶい赤褐色	なし	SN25→SI33	なし	縄文
216	146	SN26	A	ⅢD8a	Ⅱ	土器埋設炉	円形?	30	25	明褐色	なし	SN26→SI33	なし	縄文
216	147	SN27	A	ⅣB1j	Ⅱ	地床炉	不整楕円形	42	24	明赤褐色	なし	SK109→SN27	なし	縄文
216	147	SN28	A	ⅣC1j	Ⅱ	地床炉	楕円形	50	26	明赤褐色	なし	SK110と重複	なし	縄文
216	147	SN29	A	ⅢC10f	Ⅱ	地床炉	楕円形?	65	65	暗灰黄色	なし	SI73→SN29	なし	縄文
216	147	SN30	A	ⅢC10c	Ⅱ	石囲炉?	円形?	80	(35)	橙色	なし	SI67と重複	なし	縄文
217	148	SN31	A	ⅣD1b	Ⅱ	地床炉	楕円形	70	35	明赤褐色	なし	SI49と重複	なし	縄文
217	148	SN32	A	ⅢC10b	Ⅲ?	地床炉	円形?	120	(70)	赤褐色	なし	SI49と重複	なし	縄文
217	148	SN33	A	ⅣC1j	Ⅱ	地床炉	不整楕円形	70	40	明褐色	なし	SN33→SI82	なし	縄文
217	148	SN34	A	ⅣD3a・4a	Ⅱ	土器埋設炉	円形?	65	(50)	明赤褐色	なし	SI118→SN34	周辺貼床 南側調査区外	縄文
218	148	SN35	A	ⅣC4i	Ⅱ	複式炉?	方形?	110	65	にぶい黄褐色	なし	なし	石囲炉+右組?	縄文
218	149	SN36	A	ⅣC4h~5i	Ⅱ	土器埋設石囲炉	円形	110	70	明褐色	なし	なし	周辺貼床 埋設土器二重	縄文
218	149	SN37	A	ⅣD2a・2b	Ⅱ~Ⅲ	地床炉	不整形	60	60	赤褐色	SI120?	なし	焼土1~5、周辺貼床	縄文
218	149	SN38	A	ⅣC6d	Ⅱ	石囲炉	方形?	55	55	にぶい橙色	なし	SK115→SN38	なし	縄文
219	150	SN39	A	ⅣC4c	Ⅲ	石囲炉	不明	65	40	にぶい褐色	なし	なし	なし	縄文
219	150	SN40	A	ⅣC5d	Ⅱ	地床炉	方形?	70	55	橙色	なし	SN40→SX11	なし	縄文
220	150	SN41	A	ⅣC5d	Ⅱ	地床炉	方形基調	70	50	褐色	なし	SK147と重複	なし	縄文
220	150	SN42	A	ⅣC7e	Ⅱ	地床炉	楕円形	50	30	橙色	なし	なし	なし	縄文
220	150	SN43	A	ⅣC6e	Ⅱ	地床炉	不整形	92	85	明赤褐色	なし	SK115と重複	焼土1・2	縄文
221	151	SN44	A	ⅣC3i~4j	Ⅲ	地床炉	楕円形	150	107	明赤褐色	なし	SN44→SI115	焼土1~8	縄文

第8表 鉄生産関連炉跡観察表

(数値)：残存値

図版 No.	写図 No.	遺構名	区域	位置	検出 局面	底面	平面形	断面 形状	規模 (cm)			土の堆積状況 (上位→下位)	地下 構造	炭化材	付属 施設	重複関係 (旧→新)	所属 施設	備考	時期	
									開口部 長さ	底部 長さ	深さ									
222	152	SXW01	C	ⅡD10e	Ⅱ	Ⅱ	楕円形	橢	104	50	70	36	28	褐灰色～褐色	無	—	無	意図的にSW03上に構築か？ 下部に楕円形粘土輪郭あり、 断面からの推定値	古代	
222	152	SXW02	C	ⅡD1d	Ⅱ	Ⅱ	楕円形？	皿	(108)	73	(95)	(82)	37	黄褐色～黒褐色	無	—	無	廃棄土坑か？	古代	
223	152	SXW03	C	ⅡD1g	Ⅱ	Ⅱ	円形	橢	148	137	109	99	40	黒褐色・明黄褐色の 互層	有	ホオノキ(目)	無	地下構造？炭素？	古代	
223	152	SXW04	C	ⅡD1g・1h	Ⅱ	Ⅳ	円形	皿	77	73	60	56	8	黒色・明褐色	有	—	無	地下構造？炭素？	古代	
223	153	SXW05	C	ⅡD1f	Ⅱ	Ⅱ	楕円形	橢	45	38	32	23	8	黄褐色	無	—	無	鍛冶炉か？	古代	
223	153	SXW06	C	ⅡD1f	Ⅱ	Ⅱ	楕円形	橢	(49)	36	(32)	20	4	にぶい黄褐色	無	—	無	鍛冶炉か？	古代	
224	153	SXW07	C	ⅡD1・2f	Ⅱ	Ⅱ	楕円形	皿	110	90	72	50	13	褐色・黒褐色	無	なし	無	鍛造剥片等の廃棄か？	古代	
225	153	SXW08・18	C	ⅡD1f・1g	Ⅱ	Ⅱ	円形	橢	90	90	40	30	23	黒褐色～灰黄褐色	有	クリ(頭)ナラ(目) ケヤキ(目)	SX101	無	古代	
226	154	SXW09・17	C	ⅡD2d・2e	Ⅱ	Ⅱ・Ⅲ	楕円形	橢	(80)	(80)	(47)	30	39	黒褐色・明赤褐色	有	クリ(頭)ケヤキ(目) ヤマグワ(目)	SX102	無	古代	
226	154	SXW10	C	ⅡD1・2d	Ⅱ	Ⅱ・Ⅲ	楕円形	橢	117	93	—	—	13	黒色・明褐色・橙色	無	—	無	SXW01と同じ、楕円形輪郭	古代	
227	154	SXW15	C	ⅡD1e	Ⅱ	Ⅱ	楕円形？	橢	(125)	110	(80)	60	55	黒褐色・橙色	有	ナラ	無	下部構造のみか？ (未使用の可能性)	古代	
227	155	SXW16	C	ⅡD1・2e	Ⅱ	Ⅱ	長楕円形	橢	231	109	167	68	46	黒褐色・褐色・黄褐色	無	—	無	—	古代	
227	155	SXW16-①	C	ⅡD1・2e	Ⅱ	Ⅱ	円形	—	37	—	—	—	5	黄褐色～明黄褐色	有	クリ(頭)ケヤキ(目) クリ(目)	無	—	古代	
227	155	SXW16-②	C	ⅡD1・2e	Ⅱ	Ⅱ	円形	—	26	26	—	—	10	黄褐色粘質土 灰塵・焼土・鉄滓	有	—	無	内部炉跡	古代	
227	155	SXW16-③	C	ⅡD1・2e	Ⅱ	Ⅱ	円形	—	26	26	—	—	0	黄褐色粘質土 灰塵・焼土・鉄滓	有	—	無	内部炉跡	古代	
227	155	SXW16-④	C	ⅡD1・2e	Ⅱ	Ⅱ	円形	—	26	26	—	—	0	黄褐色粘質土 灰塵・焼土・鉄滓	有	—	無	内部炉跡	古代	
227	155	SXW16-⑤	C	ⅡD1・2e	Ⅱ	Ⅱ	円形	—	27	27	—	—	0	黄褐色粘質土 灰塵・焼土・鉄滓	有	—	無	内部炉跡	古代	
227	155	SXW16-⑥	C	ⅡD1・2e	Ⅱ	Ⅱ	円形	橢	38	38	37	37	13	黄褐色粘質土 灰塵・焼土・鉄滓	有	—	無	内部炉跡	古代	
229	156	SXW19	C	ⅡD1h	Ⅱ	Ⅳ	円形？	皿	156	(134)	119	(80)	30	暗褐色・黒褐色	無	—	無	(炉本体径54深14)	古代	
230	156	SXW21	C	ⅡD1・2g	Ⅱ	Ⅱ	楕円形	橢	185	125	127	80	50	黒褐色・にぶい黄褐色	有	ヤマグワ(目) クリ(頭)ケヤキ(目) ケヤキ(目)	SX104	無	古代	
230	153	SXW21-①	C	ⅡD1・2g	Ⅱ	Ⅱ	円形	—	34	34	—	—	20	炭化物	有	—	無	内部炉跡	古代	
230	153	SXW21-②	C	ⅡD1・2g	Ⅱ	Ⅱ	円形	—	31	31	—	—	0	黄褐色粘質土 灰塵・焼土・鉄滓	有	—	無	内部炉跡	古代	
230	153	SXW21-③	C	ⅡD1・2g	Ⅱ	Ⅱ	楕円形	—	43	32	—	—	0	黄褐色粘質土 灰塵・焼土・鉄滓	有	—	無	内部炉跡	古代	
230	153	SXW21-④	C	ⅡD1・2g	Ⅱ	Ⅱ	円形	—	34	34	—	—	0	黄褐色粘質土 灰塵・焼土・鉄滓	有	—	無	内部炉跡	古代	
230	153	SXW21-⑤	C	ⅡD1・2g	Ⅱ	Ⅱ	方形	橢	57	55	—	—	12	黄褐色粘質土 灰塵・焼土・鉄滓	有	—	無	内部炉跡	古代	
232	157	SXW22	C	ⅡD1・2f	Ⅱ	Ⅱ	楕円形？	橢	89	(80)	51	(50)	25	灰褐色～褐色	有	—	無	—	古代	
233	157	SXW23	C	ⅡD1・2f	Ⅱ	Ⅱ	不整形円形	橢	189	140	87	74	31	黒褐色・暗褐色・黒褐色	無	ケヤキ(目)	なし	無	—	古代
233	157	SXW24	C	ⅡD2f・2g	Ⅱ	Ⅱ	不整形円形？	橢	(147)	100	71	(48)	55	明黄褐色・黒褐色・にぶい黄褐色	無	クリ(目)	SXW24→SXW22	無	—	古代
234	158	SXW27	A	ⅣC4f	Ⅱ	Ⅱ	円形？	橢	42	(25)	15	(15)	25	黒褐色・にぶい赤褐色 黒色・黒色	無	—	なし	SX105	—	古代

第9表 鉄生産関連工房跡観察表

(数値)：残存値

図版 No.	写図 No.	遺構名	区域	位置	検出面	床面	平面形	規模 (m)				主軸方位	柱穴 個数	埋土の堆積状況 (上位→下位)	付属施設	重複関係 (旧→新)	備考	時期
								開口部		底部								
								長径	短径	長径	短径							
225	153	S X I 01	C	I D 10 f・10 g、II D 1 f・1 g	IV	IV	円形?	(4.52)	(4.15)	(4.40)	3.00	0.47	—	SXW08・18	SX I 04→SXW01		古代	
226	154	S X I 02	C	II D 1・2 d・2 e	II	II	楕円形?	(5.08)	(4.20)	(3.32)	(2.50)	0.39	—	SXW09・17	無		古代	
230	156	S X I 04	C	II D 1 f・1 g・2 f・2 g	IV	VI・II	楕円形?	(4.08)	(3.95)	(4.00)	(3.10)	0.47	—	SXW21	SXW22→SX I 04		古代	
234	158	S X I 05	A	IV C 4 f	II	II	不整形	(4.00)	(3.50)	(3.50)	(3.00)	0.20	黒褐色・黒色	SXW27	無		古代	

第10表 炭窯跡観察表

(数値)：残存値

図版 No.	写図 No.	遺構名	区域	位置	検出面	底面	平面形	規模 (cm)				埋土の 堆積状況		焼土		炭化材	付属 施設	重複関係 (旧→新)	備考	時期
								開口部		底部		深さ	壁	床						
								長径	短径	長径	短径									
235	159	S W 01	C	I D 9 d・10 c・10 d	II	II	長楕円形	328	(106)	276	(81)	19	無	無	ケヤキ(目) クリ(頭)	無	SW02→01		古代	
235	159	S W 02	C	I D 10 c・10 d	II	II	長楕円形	421	(110)	404	(77)	7	無	無	—	無	SW02→01		古代	
235	159	S W 03	C	I D 10 e	II	II	長楕円形	326	140	278	95	38	無	有	ケヤキ(目) クリ(頭)	無	SW03→SXW01		古代	
235	159	S W 04	C	I D 10 d~II D 1 e	II	II	長楕円形	440	(116)	347	(82)	36	無	無	—	無	SW05→SW04→SXW02		古代	
235	159	S W 05	C	I D 10 e・II D 1 e	II	II	長楕円形	342	(110)	330	(100)	24	無	有	ケヤキ(目) クリ(頭)	無	SW05→SW04		古代	
236	159	S W 06	C	II D 1 g・1 h	IV	IV	長楕円形	416	116	386	(93)	30	無	無	ケヤキ	無	SW06→SXW19		古代	
236	160	S W 07	C	II D 1 e・1 f	II	II	長楕円形	436	131	395	102	35	無	無	クリ(目・頭)	無	SW07→SXW15		古代	
237	160	S W 08	C	II D 2 e	II	II	長楕円形	270	100	247	92	18	無	無	クリ(目・頭)	無	SW09→SW08→SXW16		古代	
237	160	S W 09	C	II D 2 e	II	II	長楕円形?	128	107	119	88	9	無	無	クリ(目)	無	SW09→SW08		古代	
237	160	S W 10	C	II D 2 e	II	II	長楕円形	218	106	193	90	14	無	無	—	無	SW11→SW10		古代	
237	160	S W 11	C	II D 2 d	II	II	長楕円形	(209)	102	(180)	91	12	無	無	ケヤキ(目)	無	SW11→SW10		古代	
237	160	S W 12	A	III C 9 a	III	III	円形	130	130	100	90	25	有	無	—	無	SI31→SW12		古代	
237	160	S W 13	C	II D 3 b・3 i	IV	IV	長楕円形	(300)	(110)	(292)	(100)	13	無	無	クリ(目)	無	—		古代	

※(目)：目視での観察  
※(頭)：顕微鏡観察

## 2 出土遺物

### (1) 出土遺物の概要

土器（縄文土器、土師器、須恵器、陶磁器）、土製品、石器、石製品、金属製品、銭貨、炉壁、鉄滓類、動物遺存体、植物遺存体、自然遺物が出土した。総量は、大コンテナ換算で470箱程である。

### (2) 縄文土器・弥生土器（第249～436図、写真図版165～317）

#### 縄文土器

縄文土器は総量4,294,792.8g（約4,294kg）大コンテナ換算約300箱出土し、1769点（1～1769）掲載した。主体は縄文時代前期と中期の土器群である。前期の土器は谷部の遺物包含層から多くが出土した。中期の土器は竪穴住居跡から多くが出土した。時期的には、前期前葉（大木2式）と前期後葉（大木5式）、中期後葉（大木9式）から末葉（大木10式）に属するものが多い。個々の土器の出土地点・層位や調整・時期等は、第22表 縄文土器観察表を参照されたい。文様、胎土・時期など表における記載の凡例は、第21表 土器凡例表に示した。記載にあたって型式名がわかるものはできるだけ明記し、それ以外は、大まかな時期を記載した。時期と略号の関係は次の通りである。早期（Ⅰ）・前期（Ⅱ）・中期（Ⅲ）・後期（Ⅳ）・晩期（Ⅴ）。

#### 前期の土器

前葉（Ⅱ1）：大木2 a・2 b式（Ⅱ1 a・b）、中葉（Ⅱ2）：大木3式・大木4式（Ⅱ2-3・-4）、後葉（Ⅱ3）：大木5式（5 a・bはⅡ3 a・bと表記）、末葉（Ⅱ4）：大木6式。

#### 中期の土器

前葉（Ⅲ1）：大木7 a・7 b式（Ⅲ1 a・b）、中葉（Ⅲ2）：大木8 a・8 b式（Ⅲ2 a・b）、後葉（Ⅲ3）：大木9式（9 a・bはⅢ3 a・bと表記）、末葉（Ⅲ4）：大木10式（10 a・bはⅢ4 a・bと表記）。

#### 竪穴住居跡出土の土器（第249～339図、写真図版165～241）

890点（1～890）を掲載した。以下、遺構順に述べる。

S I 01：2点（1・2）掲載した。地紋のみの深鉢片で、中期末葉と推測される。

S I 03：28点（3～30）掲載した。中期後葉の土器を主体とする。沈線主体の文様や曲線的な器形は、大木10式へと続く、大木9式後半の特徴か。深鉢の器形は、口縁部が内湾する器形3、口縁部が外傾する器形10、胴部上半に最大径をもち口縁部が内湾もしくは直線的に立ち上がる器形7・19がある。

S I 12：14点（31～44）掲載した。31は炉埋設土器で、胴部に文様が縦方向に割り付けられ、上位に刺突を施す。中期後葉である。32は倒立で出土した地紋のみの深鉢である。中期後葉から末葉か。

S I 13：41点（45～85）掲載した。中期末葉を主体とする。45・46は炉の埋設土器である。胴部上半部の地紋のみ施文された深鉢である。49・76は、主に胴部上半に文様が割付され、口縁部は無文で、四単位の小突起が文様割付の起点となり、刺突列や凹状の円文が付く。大木10式後半（10 b式）か。78は壺形土器で、口縁部と胴部に隆帯を巡らし、上下に横耳状の把手が付く。84は台付深鉢の脚部で貫通孔がある。64は刺突列が横位に施され、押し付けた粘土が盛り上がる三十稲葉式土器の特徴をもつ。

S I 14：11点（86～96）、S I 14・15：1点（97）掲載した。中期末葉の破片が主体である。89・93は突起をもつ口縁部破片で、無文帯を設け、刺突列が施されている。92は地紋に撚糸文が縦位に施文される。

S I 15：19点（98～116）掲載した。中期末葉を主体とする。深鉢が主体で、口縁部に無文帯を持ち、胴

部上半に文様が描かれる。103の文様は、4単位の波状口縁と推定される深鉢で、文様の区画性が強い。

S I 18：49点(117～165)掲載した。前期前葉から後葉の土器を主とする。117の深鉢は口縁が大きく外反し、平縁の口唇部に2個一対の粘土紐が貼り付けられる。頸部に無文部分を設け、地紋施文後に粘土紐を貼り付けている。119・123の文様は同じ構成の平縁の深鉢。131・133・157・165は口唇に刺突・圧痕がある。126は口縁に頂部をもつ。122は厚手の土器で内面に条痕が見られ、時期も古手か。136は焼きのしっかりした土器で、口縁に直線・波線の沈線が横位に描かれる。前期中葉前半か。137・164の地紋は組紐か。141は地紋が縦位の撚糸文で、波状口縁の波頂部に刺突を施した環状突起が付く、前期後葉の土器か。

S I 19：20点(166～185)掲載した。前期前葉と後葉を主体とする。平縁で横位の単節縄文・結節縄文を施文し、口縁に圧痕を施す土器群、波状口縁で地紋に網目状撚糸文や単節縄文を施文し、胴部上半を中心に太目の隆帯を貼り付けて文様を描き、口縁部に突起を付加する土器群がある。

S I 20：2点(186・187)掲載した。破片資料で、186は前期末葉か。187は前期後葉か。

S I 23：1点(188)掲載した。地紋に撚糸文を縦位に施文している中期の土器片か。波状口縁である。

S I 24：14点(189～202)掲載した。中期後葉を主体とする。189・190・192は、まとまって出土した土器である。189は地紋のみの深鉢で、190・192は5単位の波状口縁で、縄文施文後に沈線で縦区画の文様が描かれ、磨り消されている。193・197は前期、199・200は中期末葉の土器片か。

S I 25：4点(203～206)掲載した。204は前期末葉の土器片か。206は中期末葉の土器片である。

S I 29：5点(207～211)掲載した。古代の竪穴住居跡出土の土器で、前期と中期の土器片が混在する。

S I 30：5点(212～216)、S I 30～32：1点(217)掲載した。中期末葉を主とする。212は小型の壺形土器で、括れる頸部に4単位の耳状突起(横耳)が付き、胴部は朱が塗られた痕跡が各部位に確認できる。213・214は器形が類似する深鉢である。217はS I 30～32出土の破片が接合したものの土器である。

S I 31：27点(218～244)掲載した。前期中葉から後葉を主とする。218・219・220・226は小型深鉢で、218・226は隆沈線で、222は3本平行沈線で文様が描かれる。235・236は大木8 a式、238は大木8 b式か。前期中葉から後葉に樽形の器形が連続し、地紋が複節から単節に移行する様子がうかがわれる。

S I 32：2点(245・246)掲載した。245は中期の土器片、246は前期の土器片である。

S I 34：19点(254～272)掲載した。前期後葉と前期中葉から末葉の土器が混在する。

S I 35：19点(273～292)掲載した。中期末葉を主体とする土器片で、287の壺型土器、274・282など小型の土器を含む。277・284・286・289・290・291など前期中葉から後葉の土器片も含まれる。

S I 36：2点(293・294)掲載した。前期後葉の土器か。293は頸部に厚手の隆帯を巡らし、圧痕を加える。294の地紋は縦位の撚糸文で、口縁に突起が付く。

S I 37：14点(295～308)掲載した。前期中葉から後葉を主体とする。295は地紋のみの深鉢胴部で、胴部が膨らむ器形と結節縄文(綾線文)の縦位施文から中期末葉と推測する。297・304は前期末葉の土器片か。307は破片資料で器種は浅鉢か。胴部が強く屈曲し、原体圧痕で文様が施文される。

S I 38：6点(309～314)掲載した。中期末葉を主体とするが、前葉と後葉の土器も混在する。310は略完形の深鉢で、口縁部の無文帯に刺突列が施される。口縁は平縁で凹状の円文が4単位の付く。

S I 39：20点(315～334)、S I 39・40：1点(335)掲載した。前期中葉(大木8 b式)から末葉の土器が混在する。319は無紋、328は縦位の沈線で文様が描かれた深鉢である。335は地紋のみの深鉢だが、器形から中期末葉と推測する。胴部上半と下半で、接点が無かったため、図上で復元した。明確な区画は無いが、口縁部に無文部分が設けられている。S I 40：5点(336～340)掲載した。中期末葉を主体とする。336は撚糸文が縦位に施文され、338は結節縄文(綾線文)が施文される。口縁部に無文部分を持つ。

S I 41：4点(341～344)掲載した。341は小型深鉢で沈線文が縦位に描かれる。344は器形・地紋から



中期後半か。342は底部破片で胴部に単軸絡条体第1 A類が施文される。342・343は前期後葉から末葉か。

S I 43 : 4点(352～355)掲載した。前期と中期の破片が混在する。

S I 45 : 3点(358～360)掲載した。360の前期前葉の土器片と358・359の後葉の土器片が混在する。

S I 46 : 6点(361～366)、S I 46・54 : 1点(367)掲載した。361は小型の深鉢で、器高に対して底径・口径が広いのは図上の復元のためか。362・363・364・366は前期前葉の土器片、365は後葉の土器片と推測される。367は、口縁頂部に粘土塊を3個貼り付けた突起が付く。地紋は粗い。

S I 47 : 4点(368～371)掲載した。前期と中期の土器が混在する。368は沈線で円文・縦に垂下する直線の文様が描かれる。時期は中期後葉か。369・370・371は前期の土器である。

S I 49 : 3点(373～375)掲載した。中期後葉から末葉の土器片である。

S I 51 : 2点(378・379)掲載した。中期と前期の土器片である。

S I 53 : 16点(385～400)掲載した。前期と中期の土器が混在する。400の前期前葉の土器片、385・387は前期末葉の土器片、388は中期前葉の土器か。399は胴部に3本1組沈線で文様が描かれる。

S I 54 : 9点(401～409)、S I 54・55 : 1点(410)、S I 55 : 3点(411～413)、S I 55・65・73 : 1点(414)を掲載した。中期後葉を主とする。406・407・408・411・413は、複節縄文や隆沈線など中葉の要素を持つ。401は波状口縁で、地紋にLR縦回転を施文後、地紋を一定間隔で縦位に磨り消している。414は後期の土器片で、縄文も細かく、薄手である。

S I 56 : 3点(415～417)、S I 56・73 : 1点(418)掲載した。中期を主とする。415は前期か。

S I 57 : 8点(419～426)掲載した。前期後半を主とする。420・422・424は頸部に貼り付けた粘土紐と口唇部に圧痕を加える。地紋は単節縄文や単軸絡条体第1 A類や第5類を縦回転する。421はオオバコ回転圧痕による地紋、425は沈線で横方向に大ぶりの文様を描く。文様構成が1467と類似する。

S I 58 : 30点(427～456)掲載した。前期と中期の土器が混在するが、主体は中期中葉から後葉か。427・428は中期、429は前期の土器片と推測する。435は中期中葉で、胴部の文様が3本1組の沈線で描かれる。442は文様の系統がやや異なる中期後葉の土器。448は中期後葉前半の土器である。

S I 59 : 3点(457～459)掲載した。中期の土器片である。

S I 59・60 : 3点(460～462)掲載した。460は倒立で出土した中期末葉の深鉢で、胴部上半に文様が集約され、口縁部を中心に被熱痕跡が確認できる。461は地紋のみの深鉢、462は中期中葉の深鉢である。S I 60 : 9点(463～471)掲載した。468は中期の土器片で、胴部に3本1組の沈線で文様が描かれる。465・466・471の破片と同時期の関係にあると推測される。S I 60・69 : 1点(472)掲載した。平縁の地紋のみ深鉢で、S I 60出土土器と同時期と思われる。

S I 61 : 22点(473～494)掲載した。中期中葉から末葉の土器片で、器種の種類が多い。480は壺形土器で縦耳が付く。481は小型の無文土器、482は中期中葉の小型の深鉢か。485は地紋のみの小型の鉢である。

S I 62 : 5点(495～499)掲載した。前期後葉を主とする。495は地紋に単軸絡条体第1 A類(木目状撚糸文)を施文する。495・496・497・499ともに粘土紐を貼り付け、その上に刺突による列点文を施す。

S I 64 : 11点(502～512)掲載した。中期末葉を主体とする。502は明確な区画はないが、口縁部に無文部分を設け、胴部の地紋に結節縄文が縦位に施文される。

S I 64・65 : 1点(513)掲載した。複節・単節の縄文と隆沈線から、中期中葉から後葉を主とする。

S I 65 : 19点(514～532)掲載した。中期中葉から末葉の土器片が混在するが、中期後葉を主とするか。

S I 66 : 10点(533～542)掲載した。中期前葉から後葉が主体か。538・539・541など前期の破片も混在する。533は小型深鉢の底部片で、内面に付着物が確認できる。

S I 66・67 : 1点(543)掲載した。明確な区画はないが、口縁部に無文部分が設けられる。中期末葉か。

S I 67：4点(544～547)掲載した。中期中葉と後葉の土器片を主とする。546の複節縄文が施文される小型深鉢、547の複節縄文の施文後に隆沈線で文様が描かれる口縁部破片は、中葉中葉(大木8 b式)か。

S I 68：4点(548～551)掲載した。548・550は土器埋設炉の土器で、548は斜位に埋設されたため、口縁部を斜位に欠損する。胴部から底部にかけての変換点が緩く湾曲する。550も地紋のみの深鉢で、明確な区画は無いが、口縁部に無文部分が形成される。いずれも中期末葉か。551は中期中葉か。

S I 69：4点(552～555)掲載した。中期末葉を主とする。552は深鉢の胴部上半である。

S I 71：13点(556～568)掲載した。中期末葉を主とする。556は炉の埋設土器である。556・562は地紋のみだが、器形から564・565と同様に中期末葉と推測する。564・565とも胴部上半に文様が描かれる。

S I 72：22点(569～590)掲載した。中期の土器で、575・580・584・590などから主体は末葉と推測する。地紋のみで口縁が肥厚する578も同時期の深鉢か。591は後期の深鉢片である。

S I 73：5点(592～596)、S I 73・ⅢC 9 f：1点(597)、S I 72・73：1点(591)を掲載した。592・593は炉の埋設土器で、ともに口縁部を欠く深鉢で、592は胴部上半に展開する文様の一部が見える。

S I 75：16点(598～613)掲載した。中期中葉から末葉の土器が混在する。608は後期の土器である。

S I 76：2点(614・615)掲載した。中期末葉の深鉢の口縁部の突起部分の破片で、透かし孔を持つ。

S I 77：15点(616～630)、S I 77・ⅣC 1 d：1点(631)掲載した。中期中葉から後葉を主体とする。

S I 78：19点(632～650)掲載した。中期末葉を主体とする。643・645の中葉、646の後期も含まれる。

S I 79：3点(651～653)掲載した。中期の土器で、652・653の口縁部破片は中期中葉のものである。

S I 80：18点(654～671)掲載した。中期末葉を主体とする。666は壺形土器で横耳が付く。

S I 81：6点(672～677)掲載した。中期中葉から後葉を主とする。675は胎土にシャモットが含まれる。

S I 82：17点(678～694)掲載した。中期末葉を主とする。678・690など口縁部に四単位の突起を持ち、口縁部に無文帯を設け、胴部上半に文様が描かれる。683・686の口縁部突起も同類のものであろう。

S I 83：5点(695～699)掲載した。中期の土器で、697には沈線で描かれた文様の一部が見える。

S I 84：1点(700)掲載した。中期の小型の深鉢片か。

S I 86：3点(701～703)掲載した。701は中期末葉の小型の壺形土器で、口縁部に9個の貫通孔がある。

S I 88：47点(704～750)、S I 88・104：2点(751・752)掲載した。中期末葉を主とする。器種は深鉢と壺、浅鉢である。深鉢は平縁と波状口縁があり、文様は地紋のみ施文されたものが多いが、器形・地紋から同時期の深鉢と判断される。文様は胴部上半部に描かれる。724は単軸絡条体第1類(撚糸文)が縦位に施文される。715・722・744には結節縄文が施文される。743は積み上げた粘土紐の幅が確認できる。742はやや深さのある浅鉢で、口縁部に無文部分を持つ。751は中期末葉の深鉢、752は小型深鉢である。

S I 89：3点(753～755)、S I 89・93：1点(756)掲載した。753は大型の地紋のみの深鉢だが、器形から中期末葉と推測する。754・755は同一個体と思われる。

S I 90：2点(757・758)掲載した。中期の破片で、757は中期末葉か。

S I 91：6点(759～764)掲載した。中期中葉から末葉の土器が混在する。760・761から主体は末葉か。

S I 92：7点(765～771)掲載した。中期末葉を主体とすると推測する。

S I 93：2点(772・773)掲載した。中期の土器で、773は末葉の破片だが、772の詳細は不明である。

S I 94：1点(774)掲載した。中期の土器の底部片か、詳細は不明である。

S I 95：5点(775～779)掲載した。中期中葉を主体とする。776は原体側面圧痕が施される。777・779は中葉(大木8 a式)か。775は胴部に3本1組の沈線で文様が描かれる。

S I 96：1点(780)掲載した。口縁部に原体圧痕、胴部に結束第1種を縦回転で施文する。中期前葉か。

S I 97 : 4点(781 ~ 784) 掲載した。781は口縁部に無文部分を持つ割付から中期末葉か。

S I 98 : 1点(785) 掲載した。文様から中期中葉(大木8 a式)の土器片と推測する。

S I 99 : 2点(786・787)、S I 99・101 : 1点(788) 掲載した。中期末葉の土器である。

S I 100 : 2点(789・790) 掲載した。文様から中期中葉から後葉の土器片と思われる。

S I 101 : 15点(791 ~ 805) 掲載した。中期末葉を主とする。地紋のみ施文された土器も、多くは同時期のものと推測される。797・798・799には結節縄文が施文される。799は口縁部に無文帯が設けられ、2列の刺突列がある。804は文様帯に合わせて両側に把手状の突起が上下に二つ付いている。

S I 102 : 17点(806 ~ 822) 掲載した。文様を確認できる破片は後葉の土器片が多いようである。

S I 103 : 3点(823 ~ 825) 掲載した。中期後葉から末葉の土器片である。

S I 104 : 4点(826 ~ 829) 掲載した。中期後葉から末葉の土器片である。

S I 106 : 7点(832 ~ 838) 掲載した。地紋のみの土器が多いが、多くは中期末葉と推測する。

S I 107 : 1点(839) 掲載した。中期の土器片か。

S I 108 : 2点(840・841) 掲載した。前期と中期の土器片である。

S I 109 : 2点(842・843) 掲載した。前期の土器である。842は前期前半か。843は前期後半か。

S I 110 : 1点(844) 掲載した。844は地紋のみ施文される深鉢で、中期か。

S I 111 : 2点(845・846) 掲載した。中期末葉と推測される。

S I 112 : 14点(847 ~ 860) 掲載した。地紋のみ施文される土器が多いが、中期末葉と推測される。

S I 113 : 1点(861) 掲載した。861は単軸絡条体第1 A類が縦位に施される。前期後葉か。

S I 114 : 3点(862 ~ 864) 掲載した。前期末葉の土器か。862は頸部が屈曲する4単位の波状口縁の深鉢で、頂部に円文、口縁部に沈線と横位の刺突列で文様を施す。胴部に結束第1種縄文が縦位に施される。863は平縁の球胴形深鉢で、隆帯を貼り付け、半截竹管で横位の刺突列と沈線で文様が描かれる。

S I 115 : 12点(865 ~ 876) 掲載した。中期末葉を主とする。多くの地紋のみの深鉢も、器形や口縁部に無文部分を設け、地紋に結節縄文を施文する特徴から中期末葉と推測される。

S I 116 : 5点(877 ~ 881) 掲載した。前期の土器片で、後葉を主体とすか。

S I 117 : 3点(882 ~ 884) 掲載した。前期の土器片である。

S I 118 : 3点(885 ~ 887)、S I 118・IV C 3 j : 1点(888) 掲載した。888は、四単位の波状口縁で頂部に3個の圧痕が付く。地紋は単軸絡条体第1 A類で、前期後葉か。

S I 120 : 1点(889) 掲載した。前期の土器片である。

S I 123 : 1点(890) 掲載した。前期の土器片である。

#### 竪穴状遺構出土の土器(第340図、写真図版242)

21点(891 ~ 911) 掲載した。中期と前期の土器が出土している。S K I 01 : 1点(891)。S K I 03 : 1点(895)。S K I 04 : 2点(896・897)。S K I 09 : 3点(900 ~ 902)。S K I 10 : 3点(903 ~ 905)。S K I 12 : 1点(906)。S K I 13 : 3点(907 ~ 909)。S K I 14 : 2点(901・911)。

#### 土坑出土の土器(第341 ~ 355図、写真図版243 ~ 254)

169点掲載(912 ~ 1080)した。いくつかの土坑でまとめて出土した事例がある。遺構順に述べる。

S K 05 : 11点(914 ~ 924) 掲載した。中期末葉を主とする。器種は深鉢で、器形は口縁部が外傾する器形915・921、胴部付近に最大径を持ち、口縁部が直立ぎみに立ち上がる器形924、内湾する器形917・922がある。915の深鉢の文様は直線的で、他の土器とやや異なり、地紋も粗い印象である。S K 27 : 12点(954 ~ 965) 掲載した。中期末葉を主とする。954など中期中葉の土器も混在する。S K 29 : 17点(966

～982) 掲載した。中期末葉を主とする。深鉢は、口縁部が直立して立ち上がる器形と内湾する器形がある。974・975・976の口縁部突起は、この時期の特徴的なものである。S K 32：8点(983～990) 掲載した。中期末葉を主とする。983・985・990とも地紋のみ施文された土器で、沈線による区画は無いが、口縁部に無文部分が設けられる。983と985の地紋は、やや粗い印象を受ける。989は壺に付く横耳の破片か、朱が付着する。S K 35：4点(993～996) 掲載した。中期末葉を主とする。S K 51：5点(1007～1011) 掲載した。中期末葉を主とする。1007は4単位の小突起が付く、地紋のみの深鉢だが、器形は1013と類似し、同時期の深鉢と推測する。S K 52：5点(1012～1016) 掲載した。中期末葉を主とする。1013には胴部下半部まで文様が描かれ、口縁部に突起が付く。1016は前期末葉の土器か。S K 71：3点(1038～1040) 掲載した。中期末葉が主である。1038は、口縁部に付く小突起が胴部の4単位の文様の割付の基点となっている。1040は底部に近い胴部下半が厚手である。S K 83：1点(1045) 掲載した。小型の壺で、頸部に隆帯を二重に巡らし、4単位の横耳状の突起を付けて、上下に貫通させている。胴部には隆沈線で渦巻文を描く特徴は中期中葉(大木8b式)か。S K 112：3点(1061～1063) 掲載した。1061は浅鉢片、1062・1063は深鉢片で、原体側面圧痕や垂下する沈線文は中期前葉(大木7b式)の特徴か。S K 131：3点(1069～1071) 掲載した。中期中葉から後葉の土器である。1070の大型の深鉢は6単位の波状口縁で、胴部下半を欠く、1069の小型の深鉢は胴部が膨らみ、口縁部が窄まる器形で、口縁の反りが弱い。口端より縄文を施文し、沈線で渦文・棘文を描いている。中期中葉(大木8b式)か。

#### 炉跡・焼土遺構出土の土器(第356～358図、写真図版255～257)

10点(1084～1093) 掲載した。炉の埋設土器で、器種はいずれも深鉢で、被熱で破片が細分化し、脆くなっているものもある。時期は器形・地紋から中期末葉を主とすると思われる。S N 18：2点(1087・1088)。S N 25：1点(1089)。S N 26：1点(1090)。S N 34：1点(1091)。S N 36：2点(1092・1093)。

#### その他の遺構出土の土器(第358図、写真図版257)

11点(1094～1104) 掲載した。鉄生産関連炉跡、炭窯跡、その他貝層、柱穴から出土した土器である。1097はオオバコ回転文を施文した土器片で、一緒に出土した1096・1097から時期は前期後葉か。

#### 遺物包含層・遺構外出土の土器(第359～435図、写真図版258～316)

651点(1105～1755) 掲載した。谷部では、主に前期前葉と後葉の土器が多い。層位と型式の明確な対応関係を把握できなかったが、前期の土器群は、火山灰層(調査所見は十和田中掘テフラ、分析結果は十和田南部テフラ)の上位から出土する傾向がうかがえた。低地部は、竪穴住居跡や土坑からなる中期の集落域と重なる範囲で、中期後葉から末葉の土器が主である。前期の土器も含まれるが、谷部よりは少量で、同地点に形成された集落の時期をおおむね反映した出土状況である。

#### スス・コゲの付着した縄文土器(第551～557図)

土器を煮炊きに使用した痕跡として、外面・内面にスス・コゲの付着した事例がある。観察表にスス・コゲの付着の有無を記載し、顕著な事例10点の付着状況を図示した。ススは外面の上半部にほぼ帯状に横位に付着し、コゲは内面の下部により多く付着する傾向がある(1449・1451・1474など)。縄文時代前期の土器に顕著な事例が多く、器壁が脆い印象を受ける。液体状のものが垂れた煮こぼれの痕跡を遺す土器(543・708)もある。708は外面上位にススが付着し、下位に煮こぼれの痕跡がある。460は口縁部の外面・内面に被熱により暗赤褐色に色調変化した部位とスス・コゲが斜位に付着する。31は外面に被熱痕がみられる。212は朱塗りの痕跡を遺す小型の壺形土器で、内面・外面に被熱で黒色化した痕跡がある。焼成時か、2次的に被熱した痕跡かもしれない。

#### 弥生土器(第436図・写真図版317)

少量の出土で、6点(1771～1777) 掲載した。遺構は確認されていない。個々の遺物の出土層位や

調整等は、第23表 弥生土器観察表を参照されたい。交互刺突文、間隔の空く捺糸文を特徴とする弥生時代後期（天王山式土器）と思われ土器である。1776は詳細不明で土製品の可能性もある。1777は沈線による工字文を特徴とする鉢か。やや古手である。

### (3) 土師器・須恵器（第437～450図、写真図版318～326）

#### 土師器（第437～449図、写真図版318～326）

土師器は64,645.6gが出土し、143点（1801～1943）掲載した。多くは古代の竪穴住居跡出土で、ここでは遺構順に記載する。器種別（坏（椀・鉢）・甕・壺・高坏・ミニチュア）に記載するため、出土地点による掲載順とは前後する。個々の遺物の出土層位や調整等は、第24表 土師器観察表を参照されたい。

S I 02：1点（1801）掲載した。1801は床面から出土した壺である。頸に段をもち、胴部上半に最大径をもつ。外面調整のハケメは、最大径部を境に上は横位と斜位、下位は縦位に方向が変化している。

S I 04：9点（1802～1810）掲載した。1805は坏で、口縁は内湾気味で、外面に段を持ち、底は平底風丸底である。内面は黒色処理（※以下内黒と記載。）されている。1804は甕で、口縁と頸に段をもち、胴部の内外面の調整はハケメが主体である。1802・1803は甕で、底が外側に張り出し、内面はほぼ平坦である。1807は甕で、口縁が摘ままれ、上面観が弱い花卉状に整形されたようにみえる。頸の屈曲が強い。

S I 05：6点（1811～1816）掲載した。1815は内黒の坏で、口縁は内湾気味、底は丸底で内面に稜をもつ。1811は内黒の椀で、底から口縁にかけて内湾し、丸底である。外面に段がある。1812は甕で、底が台形状に張り出す。底面に木葉痕が認められる。1813は甕で、口縁に段状の沈線をもつ。

S I 06：7点（1817～1823）掲載した。1817・1818・1819・1820は小型の甕である。1817は、カマド焼面から倒立状態で出土した甕で、底は台形状に若干張り出し、内面はほぼ平坦で、底面に木葉痕が認められる。口縁には補修孔が穿たれる。1820も底は台形状に若干張り出し、内面は平坦で、底面に木葉痕が認められる。1821は壺の肩部片で、厚みがあり、段が認められる。肩部に赤彩が横位に巡る。

S I 09：4点（1824～1827）掲載した。1824は内外面黒色処理の坏で、口縁は内湾気味で、底はゆるい丸底である。外面に段をもち、ミガキが顕著である。1827は内黒の坏で、口縁は内湾気味で、底はゆるい丸底を呈すると推定される。内面に稜、外面に段をもつ。1825は甕で、底は台形状に張り出し、内面は若干丸味をもつ。内面調整はヘラの先端部などを用いた放射状のケズリが認められる。

S I 10：1点（1828）掲載した。1828は小型の甕である。厚手で口縁の内外面と頸に段をもつ。

S I 11：3点（1829～1831）掲載した。1831は、破片で内黒坏としたが、椀の可能性もある。1830は小型の甕で頸に段をもつ。1829の甕は、屈曲の弱い頸部に沈線状の段をもち、ハケメ調整される。

S I 16：1点（1832）掲載した。1832は口縁と頸に段をもつ甕で、底の張り出しは弱く、内面はほぼ平坦である。底面に木葉痕が認められる。

S I 17：1点（1833）掲載した。1833は床面から出土した甕の胴部破片である。

S I 21：3点（1834～1836）掲載した。1836は内黒の坏で、口縁は外反気味で、底は平底風丸底を呈する。内外面ともミガキが顕著である。底の内面中央が凸状に盛り上がり、厚みがある。1835も内黒の坏で、口縁は外傾し、底は丸底で厚手である。胴部から底部はハケメ、口縁は横方向のミガキで、その変換点が弱い段状になっている。1834は筒形無底の甕で、棧渡し用の孔が2個認められる。

S I 22：1点（1837）掲載した。1837は、小型甕の口縁から胴部破片で、口縁は短く、頸の屈曲は弱い。

S I 25：3点（1838～1840）掲載した。1839は甕の破片で、頸に段をもち、右下がりの深い平行沈線による鋸歯状沈線文が描かれる。1840は、赤彩が施された壺の破片と推定される。

S I 29：12点（1841～1852）掲載した。1842は内黒の坏で、口縁は外傾し、丸底で、外面に段をもつ。

底部外面に十字の線刻がある。焼けハジケが著しい。1847も内黒の坏で、口縁は内湾気味で内外面に屈曲の強い段を持ち、内外面とも精緻にミガキが施される。1851・1852は、外面に赤彩が施された内黒の坏の破片である。1844は壺で、口縁と頸に段をもち、胴下部に最大径をもつ下膨れの器形で、外面調整は、最大径より上がミガキ、下はハケメである。口縁端部と肩部に横位の赤彩が巡る。赤彩は、黒斑の上から塗布された部分があり、赤彩の塗布が焼成後あるいは使用時に再塗布された可能性を示している。1846は壺で、頸に段をもち、上下に横位の赤彩が塗布され、なかに斜位の格子状で不規則な鋸歯状沈線文が確認できる。1848は壺で、最大径が胴下部にある下膨れの器形で、格子目文の赤彩の一部がみえる。赤彩は、黒斑の上から塗布されている。1843は内黒の坏部が一部残る高坏で、下半に段を2段もつ。

S I 33：3点(1853～1855)掲載した。1854は特大型の内黒坏で、口縁は緩く内湾し、内外面に段をもつ。底は丸底で、内面に放射状のミガキが認められる。1853と1855は甕の破片で、口唇は平坦で端部が凹状に整形され、頸部に右下がりから左下がりの平行沈線が交差する鋸歯状沈線文が描かれる。

S I 36：1点(1856)掲載した。1856は甕の胴部破片である。

S I 42：10点(1858～1867)掲載した。1860・1861(S I 42・48接合資料)は、S I 42床面から出土した甕で、口縁が6単位の花弁状に整形され、頸は屈曲が弱い。1862は口縁が緩く内湾する坏である。1866・1867は、外面に赤彩が施された坏で、内黒である。外面の段は沈線状になる。1858は甕で、口唇は平坦に整形される。頸に段をもつ。1863は甕で、外面のミガキが顕著である。底は若干張り出し、内面に丸味がある。底面に木葉痕が認められる。1859は壺の破片で、口縁に段をもち、口縁上部に赤彩が巡る。

S I 44：3点(1868～1870)掲載した。1868・1869は坏で、底径が小さく、底面に糸切痕が認められる。

S I 48：8点(1871～1878)掲載した。1872・1873は大型の内黒坏で、口縁は緩く内湾し、内面に沈線状の段、外面に段をもち、丸底でミガキが顕著である。1876は赤彩が施された内黒の坏で、口縁は内湾気味で内外面に段をもつ。1877の小型の内黒の坏は、口縁が短く直立気味である。1878は厚手の内黒の椀で丸底である。1871・1875の甕は底が若干張り出し、内面が丸い。1874の壺は頸に段をもち、胴下部に最大径をもつ下膨れの器形である。内面調整は、最大径上位がハケメ、最大径直下がナデと分かれる。

S I 50：3点(1879～1881)掲載した。1879は甕で、口唇は丁寧に整形され、端部が凹状になる。頸に段をもつ。1880は甕で、頸に段をもち、斜位の格子状の鋸歯状沈線文が認められる。

S I 52：5点(1882～1886)掲載した。1885、1886は赤彩が施された内黒の坏の破片である。

S I 63：4点(1887～1890)掲載した。1887は内黒の坏で、口縁は内湾気味で、外面に段が3段あり、内面に稜をもつ。胴部には赤彩が施される。1888は甕で、口唇は平坦で、口唇端部が凹状に整形され、頸に段をもつ。外面調整は、体部はハケメ、口縁はミガキである。1890は内黒の高坏の破片で、八の字状に開く脚の一部で、開く角度が大きく、低めの高坏と考えられる。脚の一部に赤彩が認められる。

S I 74：14点(1891～1904)掲載した。1891は内黒の坏で、口縁は内湾気味で丸底である。1893も内黒の坏で、口縁は内湾気味で内面に稜、外面に段をもつ。平底風丸底で、底の内面中央が凸状に盛り上がる。1894は内黒の小型の坏で、口縁は内湾気味で丸底である。底面の摩滅、焼けハジケが著しい。1895は厚手の内黒の坏で口縁は内湾し、平底の底面にヘラケズリが認められる。外面に沈線状の段をもつ。1897の椀は、口縁が強く内湾し、丸底で、外面に段をもつ。薄手でミガキが顕著である。1899は長胴化した甕で、底内面が平坦である。調整は内外面ともにハケメ主体で、底面に木葉痕が認められる。1896の小型の壺は、最大径を胴中央部にもち、口縁を欠く。1903は、壺の破片で、頸に段をもち、赤彩が施されている。

S I 87：4点(1905～1908)掲載した。1908は、特大型の内黒坏で、口縁は内湾気味で内外面に段をもち、丸底の内面中央は凸状に盛り上がる。調整はミガキである。1905・1906・1907は器形の類似する大・中・小型ひとまとまりの甕である。1906は甕で、口唇は平坦で端部が凹状に整形される。頸に

段をもち、最大径が口縁にある。底径は小さく、張り出しが強く、内面は丸い。1907は小型の甕で、2段ある頸部の段の間に2本の平行沈線で鋸歯状沈線文が描かれる。

S I 105：12点(1909～1920)掲載した。1917は特大型の内黒坏で、口縁は外傾し、内外面に段をもち、平底風丸底を呈する。口縁の一部が折返し状で、底面外側にヘラケズリが認められる。1910は赤彩が施された内黒の坏である。1914・1915は内黒の椀で、口縁は内湾し、平底風丸底を呈し、内面に段をもつ。底面外側に剥離痕が遺り、高坏の脚部が備わっていた可能性もある。胴部に格子状に赤彩が施される。1916はミニチュアの高坏で、脚部に1本線で鋸歯状沈線文が描かれる。1918は小型の甕で、口唇は平坦で端部が凹状になる。頸に段をもち、最大径が口縁部にあり、径の小さい底の内面は丸い。1912は有段の高坏の脚部の破片で赤彩が施される。1915と同一個体だった可能性もある。

S I 39：1点(1857)は、縄文時代の竪穴住居跡出土である。鉢の丸底部分か。S K I 04：2点(1921、1922)で、1921は内黒の坏である。S K 26・27：1点(1923)は、厚手で、胎土の赤味が強い。鉢か。

遺構外：18点(1926～1943)掲載した。1931は、内黒の小型の坏で、口縁は外反し、丸底を呈する。外面に段、内面に稜をもち、底の内面中央は凸状に盛り上がり厚手である。1929・1936・1941は赤彩が施された内黒の坏である。1940は甕で、口唇は平坦で端部が凹状に整形される。頸に段をもち、斜め格子状の鋸歯状沈線文が描かれる。1930・1934・1935・1937は、赤彩が施された壺の破片である。1933は、坏部が内黒の高坏の脚部で、横断面が四角に整形されている。1939は外面のミガキが顕著なミニチュア土器で甌を模した可能性が考えられるが、詳細不明である。

(佐藤あゆみ)

#### スス・コゲの付着した土師器 (第558～561図)

顕著な事例25点を図化した。外面のススは、主に口縁部や胴部上半に点在して付着する事例が多く、内面のコゲは、底部付近を中心に胴部下半に付着する事例が多い(1806・1817・1899・1406・1907・1928・1930・1942ほか)。1801の壺は、最大径となる胴部中央付近に帯状にススが付着し、底部に近い下位に濃い痕跡、口縁部に近い上位に淡い痕跡が遺る。

#### 須恵器 (第450図、写真図版326)

須恵器は1,464.5g出土し、11点(1951～1961)掲載した。破片が多い。竪穴住居跡の出土遺物が多く、遺構外でも竪穴住居跡が検出された地点から出土した遺物が多く、帰属すると判断した遺物は集成図では参考として掲載した。色調は灰色から黄灰色を示すものが多い。器種は椀・甕・壺・長頸瓶である。個々の遺物の出土層位や調整等は、第25表 須恵器観察表を参照されたい。

#### 竪穴住居跡出土の土器

4点掲載した。S I 04：1点(1951)は、椀の口縁部破片である。S I 06：1点(1952)は、坏の胴部破片で、胎土に海綿骨針が確認できる。S I 52：1点(1953)は、長頸瓶の頸部の破片で口縁部と胴部を欠き、詳細は不明である。S I 74：1点(1954)は、長頸瓶の胴部の破片で底部は輪高台となっている。

#### 竪穴状遺構出土の土器

S K I 10：1点(1955)掲載した。甕の胴部破片で、大型の厚手で外面にタタキ目の痕跡がある。

#### その他の遺構出土の土器

S X 07：1点(1956)掲載した。甕の胴部破片である。S X 10：1点(1957)掲載した。壺の破片か。

#### 遺構外出土の土器

4点(1958～1961)掲載した。1958は蓋と推定した。頂部を欠く、1959は甕の頸部破片か。1960は椀の口縁部破片である。1961は長頸瓶の頸部破片と判断した。出土地点から類推して、1958はS I 10竪穴住居跡、1959はS I 25竪穴住居跡、1960はS I 74竪穴住居跡に伴う遺物であった可能性が高い。

## (4) 陶磁器 (第451・452図、写真図版327)

陶磁器は総量3,535.0 g 出土した。16点 (1971～1986) 掲載した。個々の遺物の出土層位や調整等は、第26表 陶磁器観察表を参照されたい。以下、時期別・出土地点ごとに記載する。

中世陶磁器は13点 (1971～1983) 掲載した。1971は甕の胴部片で、古代のS I 50堅穴住居跡出土で混入か。1972～1976 (5点) は、S K I 05堅穴状遺構から出土したもので、接合しなかったが、同一個体である。渥美産窯の甕の胴部片・口縁部片で、時期は12世紀第4半期と推定される。S X 07貝層から4点 (1977～1980) 出土した。1977は渥美産の甕の胴部片。1978は須恵器系陶器で波状文四耳壺の胴部片か。1979は伊豆沼産か。1980は水沼産か。いずれも甕の胴部片である。遺構外は3点 (1981・1982・1983) で、1981は片口鉢の口縁から胴部の破片。1982は甕の胴部片。1983は深皿で古瀬戸か。

近世陶磁器は3点 (1984～1986) 掲載した。1984・1985は瀬戸か。1986は小久慈焼か。

## (5) 土製品 (第453～468図、写真図版328～336)

土製品は総量1,697.1 g 出土した。個々の土製品の出土地点、計測値は、第27表 土製品 (縄文) 観察表、第28表 土製品 (古代) 観察表、第29表 羽口観察表を参照されたい。時代ごとに概観する。

## 縄文時代の土製品 (第453～458図、写真図版328～331)

175点 (2001～2175) 掲載した。内訳は、土偶1点、耳栓2点、三角壩形土製品2点、垂飾品1点、土玉1点、キノコ形土製品5点、板状土製品1点、斧状土製品4点、環状土製品1点、棒状土製品7点、不明土製品5点、円盤状土製品145点、不掲載とした焼成粘土塊がある。

土偶1点 (2001) は腕部の破片か。耳栓2点 (2002・2003) は径5～6 mmの製品である。三角壩形土製品2点 (2004・2005) は、破片で、2004は竹管を用いた円形の刺突による列点文が施され、長軸方向に穿孔の痕跡が確認できる。胎土は土器同様に砂粒や細礫が混じる。時期は中期末葉 (大木10式) と推測される。垂飾品1点 (2006) は径4 mmの貫通孔をもつ。土玉 (2007) は断面形が扁平である。キノコ形土製品5点 (2008～2011) は、傘・柄部分の破片で傘の径36～67 mmと個体差がある。時期は中期後葉から末葉か。用途を類推できる痕跡は遺されてない。板状土製品1点 (2013)、斧状土製品4点 (2014～2017)、環状土製品1点 (2018)、棒状土製品7点 (2019～2025)、不明土製品4点 (2026・2027・2029・2030) は破片で、時期は中期と思われるが、詳細は不明である。円盤状土製品145点 (2031～2075) は、外周を打ち欠き、一部または全周を研磨して整形する。穿孔2点、未穿孔1点である。2031・2119は隅丸方形である。2146・2154は大型で前期か。平均的な大きさは、径33～34 mm、厚さ8.1 mm、重量11.71 gである。

## 古代の土製品 (第458～468図、写真図版331～336)

紡錘車と羽口がある。紡錘車は5点 (2201～2206) 出土し、掲載した。断面形が台形状で下端40～50 mm、上端35～40 mm、高さ約20 mm、中央付近に径約7～8 mmの孔があり、調整は同時期の土師器に多用されるミガキである。2201はS I 29堅穴住居跡、2202・2203はS I 105堅穴住居跡からの出土である。

羽口は、総重量95,003.4 g 出土し、62点 (2207～2283) を掲載した。多くは工房跡・鉄生産関連炉跡から出土した。鞆の羽口で、炉の送風管として使用された土製の筒である。完形品は2237・2243・2273・2277で、長さ300 mm以下のものと300 mm以上のものがあり、外径80～90 mm前後、内径30～35 mm前後で、おおむね先端部に向かって窄まる形状である。炉内に露出していた先端部は斜めに溶着滓が付着する。2240・2280など先端に炉壁の一部や鉄滓が付着し、炉に対する羽口の装着角度を類推できる事例もある。断面を観察すると、全体に黄褐色土を呈するが、先端は内径に近い内側ほど同心円状に赤褐色を呈し、外面は還元色を呈する。基部に近い部分は黄褐色土で、被熱痕はなく、締りが弱く、非常に脆い。製



作時に焼成を受けていなかったかのようである。2221は先端側の内径が溶着滓で埋まり、2226・2231・2272は埋まりかけており、炉の内側からの圧力で送風管内部に溶着滓が逆流した痕跡と推測される。

#### (6) 石 器 (第469～490図、写真図版337～350)

石器は、総量720,346.42 g、全3265点(2301～5565)の観察表を掲載し、各器種を代表する235点の図・写真を掲載した。よって図・写真の番号は飛び飛びである。石器の器種の内訳は、石鏃539点、尖頭器様石器38点、尖頭器9点、石槍10点、石錐47点、石匙110点、石篋22点、両極石器207点、不定形石器410点、異形石器8点、石核49点、礫器9点、打製石斧10点、磨製石斧103点、石錘3点、磨石A類310点、磨石B類390点、敲石71点、凹石80点、石皿35点、台石40点、石臼1点、砥石7点、剥片類R F 419点、U F 290点である。個々の石器の出土地点、計測値等は第32表 石器観察表を参照されたい。表の記載の凡例は第30表 石器分類表、石質の略号は第31表 石質一覧表に示した。掲載した図・写真は、第33表 石器掲載一覧表に示した。なお遺跡の時期は縄文時代中期と前期に大別され、出土した石器も各時期に帰属すると想定されるが、表では触れておらず、可能な限り本文で触れている。

石鏃は539点(2301～2839)出土し、67点(2302・2312～2316・2318～2314・2327～2331・2334～2337・2363・2340・2345～2347・2353・2365・2366・2375・2395・2424・2438・2445・2450・2452・2459・2469・2474・2495・2507・2514・2531・2537・2543・2547・2563～2565・2568・2572・2574・2579・2580・2583・2590・2594・2603・2619・2624・2634・2636・2662・2666・2673・2714)を掲載した。押圧剥離で調整された石器で尖頭部と幅広の基部を持ち、左右対称で、断面形は凸レンズ状の形態を特徴とする。両面を丁寧に調整したもの、周縁のみ調整され、素材の主要剥離面を遺すものなどがある。基部の形態では凹基無茎鏃(I A類)292点、平基無茎鏃(I B類)182点、円基鏃(C類)23点、尖基鏃(D類)4点、凸基有茎鏃(II類)3点で、I A類が多い。計測値の分布は、I A類：長さ26.43mm、幅16.66mm、厚さ4.47mm、重量1.58 g、I B類：長さ27.28mm、17.58mm、5.14mm、重量2.29 g、C類：長さ33.03mm、幅19.73 g、厚さ6.45mm、重量4.01 gで、A類・B類・C類と大型化する。アスファルト状の付着物が確認できた石鏃は8点ある。石材は主に頁岩で、黒曜石製の石鏃が1点ある。

尖頭器様石器は38点(2840～2877)出土し、2点(2845・2851)掲載した。押圧剥離で調整された石器で、尖頭部をもち、左右対称で、断面形は凸レンズ状である。尖頭器とするにはやや雑なつくりで、両面の側縁部を加工して形状を整えているものが多い。計測値の分布は、長さ40.11mm、幅26.44mm、厚さ7.82mm、重量8.14 gで、石鏃よりやや大型で厚みがある。尖頭器は9点(2878～2886)出土した。押圧剥離により両面調整され、重量15.32 gで大型になる。いずれも主な石材は頁岩である。石槍は10点(2887～2896)出土した。押圧剥離で槍先状の尖頭部を持つ石器で、尖頭器より長く、重量がある。

石錐は47点(2897～2943)出土し、17点(2897～2900・2902・2904～2907・2911～2914・2921・2924・2928・2941)掲載した。押圧剥離で調整された細長い錐部を持つ石器で、摘みの有無、錐部の位置で分類した。錐部の断面形状は菱形で、径5mm未満のものが多い。主な石材は、頁岩である。

石匙は110点(2944～3053)出土し、32点(2944～2949・2956・2957・2961・2963・2965・2967～2970・2972・2975・2979・2982・2985・2991・2995・2997・3005～3008・3011・3012・3018・3026・3035)掲載した。素材とする剥片に刃部をもち、摘み部をつくり出した石器である。摘み部と刃部の位置関係から、摘み部と刃部が平行する縦型(I類)、摘み部と刃部が直交する横型(II類)に大別される。I類が多く、尖頭部をもつものもある。個体差が大きいのも特徴である。主な石材は頁岩である。

石篋は22点(3054～3075)出土し、2点(3054・3065)掲載した。先端部に刃部を設ける石器で、基部に対して刃部の幅が長いバチ形(I類)と歯部が短いヘラ形(II類)に大別される。II類が細か

く調整される傾向がある。平均的な大きさは、I類は長さ53.42mm、幅34.94cm、II類が長さ53.40cm、幅24.39cmで、I類の刃部の幅が長い。主な石材は頁岩である。縄文時代時前期の可能性がある。

両極石器（楔形石器）は、206点（3076～3282）出土し、11点（3077・3078・3080・3083・3084・3091・3092・3098・3106・3147・3148）掲載した。対向する二側縁（I類）、四側縁（II類）に連続的な剥離をもつ石器で、方形または台形状を呈する。大きさは、I類28～25mm、重量7.0g、II類33～32mm、重量12.0gで、II類がやや大きい。I類が198点と多くを占める。石材は主に頁岩である。不定形石器（削器）の欠損品を楔として再利用したと思われる石器もある。

不定形石器（削器・搔器を含む）は、414点（3283～3696）出土し、10点（3307・3337・3356・3361・3371・3373・3388・3394・3407・3434）掲載した。明確な使用痕から分類した削器29点（3697～3725）、搔器8点（3726～3733）を含め概観する。定形的な形態を持たず、剥片の一辺から周縁に連続する押圧剥離で刃部を形成する石器である。剥片端部に急斜度調整で刃部が形成されたものを搔器とした。石材は頁岩である。実用的な機能より特異な形状に特徴をもつ異形石器は8点（4449～4456）出土し、掲載した。主な石材は頁岩で、赤色頁岩を用いた1点（4454）は縄文時代前期か。

剥片類は約42kg出土し、RF（リタッチドフレイク）、UF（ユーズドフレイク）、その他がある。RFは419点（3734～4152）で、連続する2次加工の剥離が側縁の半分未満で剥片である。UFは290点（4153～4442）で、側縁に残る剥離が非連続的で規則性の弱いものである。主な石材は頁岩である。剥片集中遺構2地点の剥片9点（3点（4440～4442/S I 13）、6点（4443～4448/S I 75））を掲載した。

石核は49点（4457～4505）出土した。剥片を剥ぎ取る際の母岩となったもので、剥片採取の痕跡が明瞭に残るものや、原石に近い状態のもの、粗割した段階のものが含まれる。主な石材は頁岩である。

礫器は9点（4506～4514）出土した。素材となる礫の形状を残しつつ、一端に剥離による刃部が形成された石器である。主な石材は頁岩・ホルンフェルスである。

打製石斧は10点（4515～4524）出土した。直接打撃により片面の周縁に刃部加工された石器で、主な石材は砂岩である。磨製石斧は、103点（4525～4627）出土し、20点（4531・4536・4543・4545・4546・4549・4551・4553・4555～4560・4562・4564・4566・4567・4609・4612）掲載した。直接打撃、敲打、研磨で形状が整えられ、一端に刃部を有する石器である。欠損品が多い。形状は基部と刃部の幅の差が少ない短冊形と、基部が狭く、刃部が広い撥形に分かれる。欠損した端部に敲打痕が認められ、再利用されたものもある。石材は多岐にわたるが、ヒン岩・細粒閃緑岩・緑色頁岩が多く、青虎石もある。

石錘は3点（4628～4630）出土し、1点（4629）掲載した。円形もしくは楕円形の扁平な礫の両端を打ち欠き、抉りをもつ石器である。4629は四方に剥離痕をもつ。主な石材は砂岩・頁岩である。

敲磨器類は、磨石・敲石・凹石の類で、総点数は852点（4631～5482）出土し、50点掲載した。一個の石器で複数の使用痕を持つ石器も多いが、主な使用痕と認定した器種に含めた。磨石類は311点（4631～4941）出土した。磨石A類は、円礫の全面・両面・片面または一部に光沢を帯び滑らかな磨面が面的に形成された石器で、8点（4649・4650・4714・4744・4745・4758・4796・4810）掲載した。大きさは、径87～103mm・厚さ47～54mm、重量は528～645gで、片手で持てる大きさである。磨石B類は断面形に稜を持ち、棒状や扁平な角礫の一辺や複数の縁辺に使用痕跡として、ザラザラした質感の平坦面（スリ面）が形成される石器である。390点（4942～5331）出土し、9点（4942・4943・4944・4958・4959・4986・5043・5064・5110）掲載した。長さ137mm、幅65.98mm、厚さ50mm、スリ面の幅は平均16.4mm、最大39.0mm、最小2.0mmである。A・B類の使用痕を併せ持つ石器もある。石材はA・B類とも閃緑岩・花崗岩、砂岩が多い。敲石は71点（5332～5402）出土し、8点（5335・5337・5341・5353・5354・5368・5386・5388）掲載した。礫の一端・両端に敲打痕をもつ石器で、使用面が多面的

に形成される。磨石・凹石の痕跡を併せもつものもある。石材は閃緑岩・砂岩が比較的多い。凹石は80点(5403～5482)出土し、25点(5403～5407・5414～5416・5421・5422・5425・5429・5431・5434・5442～5444・5448・5449・5454・5458・5462・5463・5467・5480)掲載した。棒状や円礫の両面・片面に敲打による窪みを持つ石器で、窪みの形状は、円錐状、溝状、敲打痕が連続して確認できるものがある。窪みの深さは、円形3.3mm、溝状3.1mm、不整形1.8mmで、一点を集中的に使用する頻度の高い形状ほど深く窪む。石材は多岐にわたるが、閃緑岩・砂岩・ホルンフェルスが比較的多い。

石皿は35点(5483～5517)出土し、6点(5499・5501・5505～5508)掲載した。縁や脚を持ち、皿状の平坦面や浅い窪みをもつものである。石材は多岐にわたるが、砂岩・凝灰岩が多用される傾向がある。台石は39点(5518～5557)出土した。垂円礫・垂角礫の片面・両面に平坦面を持つ石器である。石材は細粒花崗閃緑岩・花崗岩が多用される傾向がある。石臼は1点(5558)出土した。部位は上臼で、半分欠損し、芯棒の痕跡と卸し目が確認できる。石材はデイスイトである。砥石は7点(5565～5559)出土した。使用面が湾曲し、擦痕や溝跡が認められる石器である。砂岩が多用される傾向がある。

### (7) 石製品(第491～498図、写真図版351～355)

石製品は、総量77,703.16kg、147点(5701～5847)を出土し、すべて表掲載し、各器種を代表する71点を図示した。内訳は、石棒15点、石剣類52点、垂飾品6点、塊状耳飾13点、磨製石斧(ミニチュア)13点、板状石製品7点、男根状石製品1点、棒状石製品3点、石製模造品1点、線刻礫1点、円礫2点、軽石33点である。なお、本遺跡の時期は、縄文時代中期と前期に大別され、出土した石製品も各時期に帰属すると想定されるが、詳細な分類が難しく、個々の表では触れていないが、可能な限り本文で触れることにする。個々の石製品の出土地点、計測値などは、第33表 石製品観察表を参照されたい。

石棒は15点(5701～5715)出土し、5点(5701・5708～5710・5715)掲載した。自然礫を棒状に整形し、頭部を意識的に作りだしたもの、素材となる礫の形状をそのまま使用したのものがある。時期は縄文時代中期末葉と推測される。主な石材は砂石・花崗岩である。5701・5709は、堅穴住居跡の床面から出土したもので、5701には被熱痕がある。5715は、小型に精緻に製作されたもので、石材は頁岩である。

石剣類は52点(5716～5767)出土し、20点(5716・5717・5720・5722・5724～5728・5730・5732・5735・5737・5740～5743・5750・5753・5760・5767)掲載した。細長い板状に整形され、剣状に先端が整形されたものである。欠損品が多く、詳細は不明である。主な石材は頁岩とホルンフェルスである。

垂飾品は6点(5768～5773)出土し、掲載した。意図的な形状に整形され、長軸・短軸方向に貫通孔が設けられている。主な石材は滑石・頁岩である。塊状耳飾は13点(5774～5786)出土し、掲載した。欠損品が多く、補修孔をもつものもある。全体として小型で丸みを帯びた形態が多い。5780・5783・5785の3点は完形品である。5774は未製品か、中央に穿孔と溝状の切り込みがある。主な石材は滑石・頁岩である。時期は縄文時代前期か。磨製石斧(ミニチュア)は13点(5787～5799)出土し、11点(5787～5792・5795～5799)掲載した。長さ5cm未満のものを石製品として分類したが、石器に分類した磨製石斧との基準が明確ではなかったので、磨製石斧と併せて参照されたい。主な石材は頁岩・緑色頁岩・ホルンフェルスである。板状石製品は7点(5800～5806)出土し、掲載した。形態から細分可能で、穿孔前の垂飾品の素材も含まれているかもしれない。5802は一端に穿孔があり、垂飾品か。5803は片面にのみ溝状の擦痕が著しい。5805・5806の2点は類似品で、菱形状を呈し、一端を穿孔している。石材は頁岩である。男根状石製品は1点(5807)出土し、掲載した。亀頭部に複数の溝状の窪みを形成し、頸部に環状の張り出しを付けて境を設け、下部は膨らみを持ち、敲打痕が点在する。縄文時代前期のS I 19堅穴住居跡から出土した。石材は凝灰岩である。棒状石製

品は3点(5808～5810)出土し、掲載した。丁寧に整形された5809は、垂飾品の穿孔前の段階だった可能性もある。石材は頁岩である。石製模造品は1点(5811)出土し、垂飾品の未製品の可能性がある。線刻礫は1点(5812)出土し、両面に線刻らしきも痕跡があるが、不明瞭で、詳細不明である。

円礫は2点(5813・5814)出土し、掲載した。大きさは大小ある。5813はほぼ円い球体、5814は楕円形の球体である。表面に文様(線刻)が施された形跡はない。石材は花崗岩である。軽石は33点(5815～5847)出土し、2点(5819・5825)掲載した。軽石の色調は、褐灰色系の十和田火山起源と、黒色系の岩手火山起源に大別され、十和田火山起源のものが多くを占める。5819は頂部に穿孔が認められる。色調は褐灰色である。5825は三角形に整形されている。色調は灰白色である。

#### (8) 金属製品(第499～501図、写真図版356・357)

金属製品は58点(6001～6058)出土し、全点掲載した。素材別では、鉄製品57点、銅製品1点である。内訳は、鉄鏃2点、鞘尻1点、留金具2点、鋤鍬先4点、鎌1点、穂積具1点、刀子8点、煙管1点、楔1点、釘22点、釣針8点、板状製品4点、棒状製品3点である。出土地点から時期を類推すると、古代の竪穴住居跡や土坑と、中世以降の竪穴状遺構や貝層から出土したものがある。煙管は近世か。個々の製品の出土地点、計測値などは、第35表 金属製品観察表を参照されたい。

6001・6002は鉄鏃で、6001は先端を欠く柄部分、6002は鏃の先端部分である。6003は鞘尻とした。木質部や関連する部位は出土しなかった。6004・6005は留め金で欠損品。6006～6009は鋤鍬先の欠損品である。6010は鎌、6011は穂積具とした。6012～6019は刀子で、6013は柄の木質部が遺る。刃の先端がわずかに屈曲している。6016も先端が屈曲する。6020の煙管は、吸い口・肩部の部位である。6022～6043は釘である。鉄釘14点(6024～6036)は、形状・規模が規格的で遺存状態が良く、木質部が付着する。木柵を留めたものとする、鉄釘が出土したS K 23土坑は墓墳の可能性が高い。6044～6051は釣針である。6045は略完形品で、それ以外は端部を欠く。釣針6点はS X 07貝層出土である。6044・6047を大型の釣針と判断したが、そうであれば、重量1g以上と1g未満の大小2種の釣針があったと判断される。

#### (9) 銭貨(第502・503図、写真図版358・359)

銭貨は42点(6101～6142)出土し、全点を掲載した。すべて銅銭である。初鑄年の古いものから新しい順に掲載した。開元通寶2点、和銅開珎4点、祥符元寶2点、天聖元寶1点、影祐元寶2点、皇宋通寶4点、熙寧元寶4点、元豊通寶2点、紹聖元寶1点、紹聖通寶1点、聖宋元寶2点、政和通寶2点、宣和通寶2点、慶元通寶1点、洪武通寶1点、寛永通寶2点、銭種不明8点である。個々の銭貨の出土地点、計測値などは、第36表 銭貨観察表を参照されたい。

和銅開珎(708年鑄造)3点(6102～6104)はS I 04竪穴住居跡から出土した。相伴する土器の年代観とも大きな齟齬がない。もう1点の和同開珎1点(6105)が出土したⅢ C 8 hグリッドは、古代の遺構とは関わらない地点である。他にも古代の竪穴住居跡から出土した銭が数点あるが、いずれも11～12世紀に鑄造された北宋銭であり、竪穴住居跡の廃絶後、埋没過程で入ったものと推測される。

S X 07・08貝層からも北宋銭が出土した。模鑄銭として流通する中世以降と判断される。

#### (10) 炉壁(写真図版360)

総量58,543.3g出土した。代表的な5点(6201～6205)を写真掲載し、第37表 炉壁観察表に記した。個別の試料の分析結果は、V 分析・鑑定を参照されたい。

## (11) 鉄 滓 類 (写真図版361～367)

総量935,758.9g出土した。代表的な資料71点(6301～6371)を写真掲載し、第38表 鉄滓類観察表に記した。出土地点は、C区東奥谷部の鉄生産関連遺構から出土したものの大多数を占め、S X I 01・05工房跡47,676.7g、S X W02～27鉄生産関連炉跡449,525.8g、S W01～13炭窯跡5,553.3gと多い。遺構外で出土地点が多いのも鉄生産関連遺構群が確認された周辺域である。一方で、古代の竪穴住居跡は28,066.3gと相対的に少ない。内容的には、I類とII類ではI類が多く、細分したものでは、I A類240,308.3gとII A類380,821.8gが多い。流出滓は径3cm以上のものが多く、炉内滓は、炉底滓が少ない結果である。このことは、製鉄・精練工程が行われていたとする分析結果とも調和的である。粒状滓や鍛造剥片がまとまって出土した遺構もS X W07・08鉄生産関連炉跡、S X I 05竪穴状遺構など限定的で、鍛冶作業の場所も限られた地点が選択されていたと想定される。個別の試料の分析結果は、V 分析・鑑定を参照されたい。

## (12) 動物遺存体 (写真図版368～383)

貝殻・魚骨・獣骨など多くの動物遺存体がある。代表的な資料522点(7001～7522)を写真掲載し、第39～41表 動物遺存体観察表(1)～(3)に記した。種類は次の通りである。ウニ綱1種類、多毛綱1種類、腹足綱37種類、二枚貝綱31種類、顎脚綱2種類、軟骨綱1種類、軟骨魚綱1種類、硬骨魚綱27種類、両生綱1種類、爬虫綱1種類、鳥綱2種類、獣類14種類である。ここでは各時代の主な事例の特徴を記す。個別の試料の詳細な同定結果は、V 分析・鑑定を参照されたい。

## 縄文時代の動物遺存体

S I 03竪穴住居跡でA・Bの2か所のブロックで出土した。ともにアサリ主体の貝層だが、Bブロックではウミニナの比率が40%と高くなる。魚骨は確認できるが、獣骨は含まれていなかった。S K 29土坑では6層(a)と10層(b)でアサリ主体の貝層を確認した。10層ではイヌ骨2個体分が出土した。縄文時代の貝殻組成はアサリ、ウミニナ、ヒメシラトリの比率が高い。

## 古代の動物遺存体

S I 48竪穴住居跡からイガイ主体の貝層が出土し、ニホンジカの獣骨、海獣類を確認した。S K 99土坑からはイガイ主体の貝層を確認した。古代の食物残滓としての貝殻組成は、縄文時代以来のアサリも継続して一定量を占めるが、全体的として、イガイ、オオノガイの比率が高くなる傾向がある。

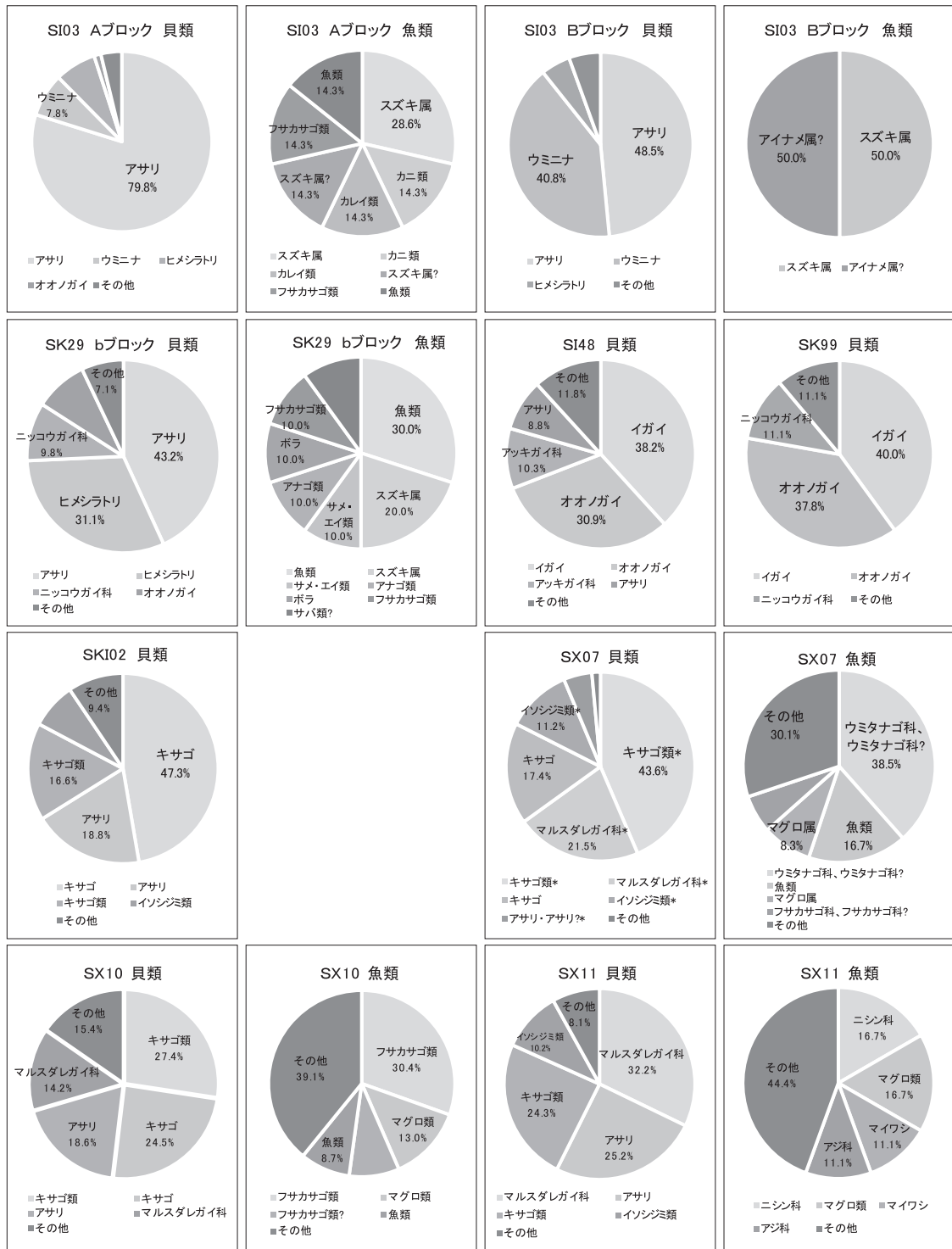
## 中世以降の動物遺存体

S K I 02竪穴状遺構は、遺構の形状から中世の可能性があると推測され、アサリの他にキサゴ類が多い貝殻組成である。S X 07貝層は、今回の調査でもっとも貝類の出土量が多かったアサリ主体の貝層で、キサゴ類の比率が高く、イノシシ・ウシ・ウマなどの獣骨も確認されている。S X 10・11貝層は貝殻組成に一定量のキサゴ類の混入が見られ、年代測定からも中世の可能性が指摘される事例である。

## (13) 植物遺存体 (写真図版384・385)

クリ・トチノキなどの植物遺存体がある。代表的な資料52点(7601～7652)を写真掲載し、第42表 植物遺存体観察表に記した。まとまった出土事例は2例で、S K 12土坑の底部直上7層からトチノキ総量約40.0kg、S I 75竪穴住居跡の床上ではクリ総量約4.6kgが、いずれも炭化した状態で出土した。それぞれ混在する他の種実の割合は1%未満で、主体とする種実として意図的に選択され、保存されたことを示している。個別の試料の分析結果は、V 分析・鑑定を参照されたい。

動物遺存体（貝類・魚類）の遺構別組成比率



(14) 自然遺物 (写真図版385)

琥珀1点(7701)・アスファルト2点(7702・7703)を写真掲載し、第43表 自然遺物観察表に記した。7701は加工品ではなく、原石か。アスファルト2点は、遺構外出土で、7702はIV C 3 bグリッド出土の小型の深鉢1678に入っていた。個別の試料の分析結果は、V 分析・鑑定を参照されたい。

第11表 遺構種・地点別遺物重量表

出土地点	総量 (g)														
	縄文土器	土師器	須恵器	陶器	磁器	剝片	動物遺存体 骨	動物遺存体 貝	動物遺存体 ウニ	動物遺存体 合計	木製品	炭化種実	炭化材	羽口	炉壁
S I	2,021,715.0	42,390.9	1,548	83.2		13,859.42	2,094.50	139,015.58		141,110.08		4,623.53	1,915.0	640.3	33.8
S K I	37,823.8	119.3	1,783.5			335.37		9,872.78		9,872.78				1,042.3	
S K	142,297.3	445.7		13.3		734.63	36.00	15,789.90		15,825.90	8.0	43,491.17	287.2	205.6	77.8
S D	266.2														
S N	14,718.3					5.94	106.81			106.81		0.14			
S X I	1,326.2	26.3				5.23							343.4	2,623.5	1,569.2
S X W	2,775.4	1,203.6				10.17						5,994.9	40,280.3	39,240.9	
S W	2,329.0	15.7				14.06						2,097.6	1,561.7	392.5	
S X	4,774.1	58.7	324.0	144.7	2.5	95.54	8,748.08	317,878.82	189.51	326,816.41		0.04	22.9	375.9	
P P	2,221.5	102.7				214.13				10.37		15.94			
II B	17,789.2					221.54	10.37								
II C	639,547.4	1,420.4	11.7	18.6	5.8	10,902.54					1.0		7.3	983.7	303.0
II D	16,278.8	1,387.7				11.30						404.7	39,846.1	15,270.6	
III B	147,941.0	1,588.2		157.9		3,202.91		16.49		16.49					
III C	436,812.5	2,678.7	26.8	72.6		4,229.16		3,391.80		3,391.80		0.40	12.4	1,072.9	30.7
III D	106,529.5	538.6		211.0		582.79								22.2	212.6
IV A	779.0														
IV B	55,062.9	524.5	29.4			675.83	350.25	1,295.23		1,645.48				290.4	
IV C	454,954.9	5,709.6	705.5	579.9	3.1	5,188.68	435.00			435.00		0.17	4.8	1,988.0	
IV D	80,577.3	2,908.0				615.65		14.60		14.60				129.0	
T	31,607.6	1,471.2	90.1	205.2	166.2	302.75		10.21		10.21				1,173.7	227.4
A区	3,416.0	7.5		39.1		458.96									
B区	22,662.3	1,538	198		10.3	194.71	2.06	439.30		441.36				87.4	
C区	30,658.3	1,267.8		15.2	14.1	158.91		5.44		5.44				261.27	1,164.1
魔澤場													22.2		
不明	19,929.3	621.2	1.1		8.8	489.26	0.25	4.01		4.26			121.6	67.7	20.7
小計	4,294,792.8	64,645.6	1,464.5	3,324.2	210.8	42,509.48	11,783.32	487,734.16	189.51	499,706.99	9.0	48,131.39	11,233.9	95,003.4	58,543.3

第12表 土器重量表(1)

出土地点	重量 (g)					出土地点	重量 (g)				
	縄文土器	土師器	須恵器	陶器	磁器		縄文土器	土師器	須恵器	陶器	磁器
S I 01	1,373.4					S I 93	4,244.0	2.5			
S I 02		546.5				S I 94	353.3				
S I 03	28,806.4	62.7				S I 95	8,306.4				
S I 04	5,397.1	3,606.5	3.3			S I 96	5,778.8				
S I 05	469.4	1,651.2				S I 97	5,225.3				
S I 06	8,043.7	1,881.2				S I 98	537.9				
S I 07	25.3	69.2				S I 99	8,987.5				
S I 08	246.2					S I 100	460.8				
S I 09	469.8	1,605.9				S I 101	36,845.8				
S I 10	4,829.4	671.8				S I 102	27,643.8				
S I 11	2,383.8	1,071.1		5.5		S I 103	1,843.9				
S I 12	16,315.7	18.7				S I 104	6,446.9				
S I 13	73,724.5	30.9				S I 105	5,804.5	1,926.4			
S I 14	25,895.2	16.6				S I 106	20,923.5				
S I 15	39,473.1	36.6				S I 107	29.8				
S I 16	267.9	658.2				S I 108	5,366.9				
S I 17		45.7				S I 109	1,722.0				
S I 18	61,560.7	19.1				S I 110	1,054.4				
S I 19	18,697.0					S I 111	7,679.0				
S I 20	3,458.2					S I 112	23,961.3				
S I 21	1,653.6	2,125.3				S I 113	1,616.9				
S I 22	1,492.8	496.6				S I 114	2,851.7				
S I 23	1,003.5					S I 115	28,808.3				
S I 24	29,276.2	28.7				S I 116	6,437.8				
S I 25	16,085.0	604.5		12.9		S I 117	1,644.3				
S I 29	17,589.0	3,489.9				S I 118	4,898.9				
S I 30	21,154.2	20.0				S I 119	264.4				
S I 31	54,010.4	393.3				S I 120	4,399.9				
S I 32	3,165.6	21.8				S I 121	55.2				
S I 33	13,499.0	595.3				S I 122	19.8				
S I 34	44,503.8	12.4				S I 123	128.3				
S I 35	50,506.6	36.0				S K I 01	60.7				
S I 36	14,653.3	45.3	1.5			S K I 02	6,221.5				
S I 37	23,498.6					S K I 03	39.5	101.3			
S I 38	13,088.6	4.1				S K I 04	4,000.8	119.3			
S I 39	44,404.0	81.3				S K I 05	1,810.4			1,451.1	
S I 40	19,070.8					S K I 08	50.8				
S I 41	2,005.4					S K I 09	9,463.1				
S I 42	24,792.1	4,222.0				S K I 10	10,470.6			332.4	
S I 43	3,582.0					S K I 11	465.2				
S I 44	11,096.9	415.0				S K I 12	926.9				
S I 45	3,151.7					S K I 13	4,072.9				
S I 46	25,753.0	13.6				S K I 14	199.7				
S I 47	9,456.6					S K I 15	41.7				
S I 48	7,286.4	3,044.5				S K 02	362.7				
S I 49	5,821.9					S K 03	4,394.0				
S I 50	8,805.6	746.3		39.5		S K 05	14,032.4	19.3			
S I 51	939.9					S K 06	948.7				
S I 52	17,590.8	1,619.7		25.3		S K 07	599.8				
S I 53	24,702.7	33.2				S K 08	99.0				
S I 54	12,336.0					S K 09	2,230.7				
S I 55	8,475.0					S K 10	249.8				
S I 56	3,285.9					S K 11	106.7				
S I 57	12,132.4	150.9				S K 12	2,918.6				
S I 58	58,470.7	47.1	8.5			S K 13	3,953.0	46.4			
S I 59	13,853.5					S K 14	9.5				
S I 60	30,977.5	45.0				S K 15	201.4				
S I 61	133,268.9	73.7				S K 17	204.8				
S I 62	11,097.1					S K 18	400.6				
S I 63	5,657.3	1,812.3				S K 19	237.1				
S I 64	17,326.8	52.0				S K 20	361.0				
S I 65	30,617.0					S K 22	200.5				
S I 66	18,232.1					S K 23	273.4				
S I 67	12,260.6					S K 24	361.9	54.2			
S I 68	9,941.7					S K 25	31.7				
S I 69	11,285.5					S K 26	443.4	29.2			
S I 70	210.2					S K 27	7,992.6	65.5			
S I 71	40,803.1	13.5				S K 28	207.7				
S I 72	68,155.6					S K 29	11,610.2				
S I 73	28,827.9	65.3				S K 31	140.3				
S I 74	10,897.9	5,698.1	141.5			S K 32	8,232.7				
S I 75	38,009.8	10.9				S K 34	913.5				
S I 76	5,703.6					S K 35	7,264.2				
S I 77	20,492.4					S K 36	77.1				
S I 78	54,807.6	9.5				S K 37	24.1				
S I 79	5,811.4					S K 38	205.7	2.0			
S I 80	60,735.7					S K 40	240.7				
S I 81	10,030.7	113.9				S K 41	20.5				
S I 82	41,949.2					S K 42	1,418.4				
S I 83	9,588.8					S K 43	365.1				
S I 84	5,405.9					S K 44	73.1				
S I 85	6,177.8					S K 45	11.7			13.3	
S I 86	19,279.4					S K 46	336.4				
S I 87	6,863.6	2,329.1				S K 47	9.5				
S I 88	131,151.8					S K 48	11.6				
S I 89	10,638.1					S K 49	523.2				
S I 90	1,883.2					S K 50	116.2				
S I 91	13,686.8					S K 51	3,671.9	8.6			
S I 92	15,928.4					S K 52	3,208.9	5.2			



第12表 土器重量表(2)

出土地点	重量 (g)					出土地点	重量 (g)				
	縄文土器	土師器	須恵器	陶器	磁器		縄文土器	土師器	須恵器	陶器	磁器
S K 53	29.3					S X W 03	35.3	4.1			
S K 54	600.8					S X W 05・06	166.4	121.5			
S K 55	1,943.3					S X W 07	51.2	6.2			
S K 56	74.2					S X W 08	42.8	58.4			
S K 57	1,161.0	7.2				S X W 08・18	216.6	19.2			
S K 58	455.8					S X W 09	106.6	71.6			
S K 60	30.8					S X W 09・17	284.8	2.0			
S K 61	1,765.5					S X W 11	7.8	22.0			
S K 64	4,700.6					S X W 13	16.6				
S K 65	2,458.9					S X W 15	275.6	4.5			
S K 66	183.4					S X W 16	181.5	1.7			
S K 67	56.4					S X W 17	12.4				
S K 68	554.5					S X W 19	3.6				
S K 71	4,775.9					S X W 21	704.2	205.4			
S K 72	19.9					S X W 21・22		81.1			
S K 76	118.2	28.3				S X W 21・22・23	9.3	20.3			
S K 77	107.6					S X W 22	145.9				
S K 78	1,083.5					S X W 22・23	100.6	43.9			
S K 83	351.5					S X W 23	76.7	541.7			
S K 85	6.7					S X W 24	126.8				
S K 86	680.0					S X W 27	4.0				
S K 87	147.7					S W 01	1,325.8				
S K 88	245.5					S W 02	45.0				
S K 89	51.1					S W 03	250.5				
S K 91	5,989.3					S W 05	85.4	6.5			
S K 93	582.7					S W 06	29.7				
S K 94	483.2					S W 07	109.4	9.2			
S K 95	102.6					S W 08	260.2				
S K 96	445.1					S W 12	223.0				
S K 99	312.0	30.8				S X 01	971.9				
S K 100	4,360.7	5.9				S X 07	2,893.3	40.1	324.0	136.4	2.5
S K 102	1,134.5					S X 08	23.0				
S K 103	1,682.0					S X 10	340.0	18.6		8.3	
S K 104	1,723.3					S X 11	545.9				
S K 108	1,172.3					P 9	17.5				
S K 109	235.6	4.9				P 16	90.8				
S K 110	111.1	138.2				P 17	50.2				
S K 111	21.1					P 19	651.3				
S K 112	2,686.0					P 20		102.7			
S K 114	7,305.1					P 23	76.4				
S K 116	619.7					P 24	23.7				
S K 118	102.4					P 25	64.9				
S K 119	33.9					P 27	10.0				
S K 120	44.4					P 28	19.7				
S K 121	42.4					P 29	35.5				
S K 124	1,014.3					P 31	32.6				
S K 126	200.0					P P 1	499.1				
S K 128	1,349.3					P P 2	146.8				
S K 129	36.5					P P 3	53.4				
S K 131	1,631.4					P P 101	5.7				
S K 132	253.9					P P 102	10.4				
S K 133	995.9					P P 103	32.8				
S K 134	925.4					P P 104	13.1				
S K 135	183.6					P P 105	31.0				
S K 136	2,234.2					P P 106	244.9				
S K 138	58.0					P P 107	3.5				
S K 140	116.5					P P 108	1.5				
S K 142	208.3					P P 110	17.2				
S K 143	81.7					P P 112	14.9				
S K 144	1,279.6					P P 113	19.7				
S K 145	196.6					P P 114	11.4				
S K 146	302.1					P P 115	43.5				
S K 147	57.1					II B 1 e	3.3				
S K 148	97.4					II B 1 i・j	1,431.4				
S K 150	75.9					II B 7 j	373.5				
S K 152	87.0					II B 8 j	2,043.2				
S K 153	31.6					II B 8 j・9 j	1,161.6				
S K 154	72.1					II B 9 j	6,217.5				
S K 157	4.3					II B 9 j・10 j	588.0				
S K 158	205.1					II B 10 j	5,970.7				
S K 160	320.4					II C 1 d~10 d	612.0				
S K 161	83.9					II C 3~5 c d	2,818.5				
S K 162	84.7					II C 3~5 d e	1,497.0				
S K 163	23.0					II C 3 e	234.5				
S D 01	266.2					II C 3~5 d e f	789.7				
S N 01	1,047.6					II C 4 d	1,984.2				
S N 11	20.0					II C 4・5 d e	829.1				
S N 15	33.4					II C 5 c	455.0				
S N 17	6.0					II C 5 d	3,259.6				
S N 18	3,529.5					II C 5 d e	7,251.1				
S N 19	5.3					II C 5 d・6 d	550.7				
S N 25	2,513.1					II C 5・6 d e	2,886.4				
S N 26	1,666.0					II C 5~7 d e	446.9				
S N 29	17.0					II C 5 e	1,495.1				
S N 34	2,416.6					II C 6 a	15.1				
S N 36	3,463.8					II C 6 b	3,144.1	11.4			
S X 1 01	91.5					II C 6 b c	2,640.7				
S X 1 05	1,234.7	26.3				II C 6 c	2,452.2	14.1			
S X W 02	206.7					II C 6 c~6 d	3,496.5	41.2			

第12表 土器重量表(3)

出土地点	重量 (g)					出土地点	重量 (g)				
	縄文土器	土師器	須恵器	陶器	磁器		縄文土器	土師器	須恵器	陶器	磁器
II C 6 d	4,071.8					II D	54.6				
II C 6 d e	755.8					III B 1 i j	1,844.7				
II C 6 e	611.3					III B 1 j	12,082.8				
II C 7 a	1,743.0					III B 2 j	13,309.0	7.6			
II C 7 a・8 a	925.1					III B 2 j・3 j	2,005.1				
II C 7 b	16,063.4					III B 3 j	39,269.4	43.1			
II C 7 b・8 b	3,774.3	161				III B 4 j	1,949.4				
II C 7 b c	1,290.5					III B 4・5 i j	4,697.5				
II C 7 c	20,813.7	50.3				III B 5 j	4,774.9				
II C 7 c d	239.9					III B 6 h	1,853.1				
II C 7 d	21,147.9	62.3				III B 6 i	5,766.3	90.9			
II C 7 d e	39.4					III B 6 j	572.7				
II C 7 e	27,385.9	16.1				III B 7 b		9.9			
II C 7 c・8 c	6,447.8					III B 7 e				157.9	
II C 7 d・8 d	6,378.7					III B 7 h	7,518.0				
II C 7 e・8 e	1,129.9	26.0				III B 7 i	26,946.2	1,495.4			
II C 7~10 b c	338.8					III B 7 i j	1,523.0				
II C 8 a	5,366.7					III B 7 b→8 b?	682.2				
II C 8 a・9 a	1,716.3					III B 8 b	1,051.3	58.2			
II C 8 b	14,461.9					III B 8 f	500.6				
II C 8 b c	1,487.8					III B 8 i	5,236.8				
II C 8 b・9 b	2,400.3					III B 9 a	304.4				
II C 8 c	32,872.0					III B 9 b	426.5				
II C 8 c・9 c	4,996.2					III B 9 c	2,006.1				
II C 8・9 a b c	274.2					III B 9 e	328.0				
II C 8 d	51,491.6	8.3				III B 9 h	4,407.2				
II C 8 d e	55.3					III B 9 i	1,936.8				
II C 8 d~8 e	54.8	2.6				III B 9 j	2,507.7				
II C 8 d・9 d	5,946.1					III B 10 e	411.5				
II C 8 e	9,583.9	36.8				III B 10 i	1,539.4	6.9			
II C 8 h	599.5	14.9				III B 10 j	2,490.4				
II C 9 a	21,827.3	27.3				III C 1 a	47,864.6	217.3	20.3		
II C 9 a b	4,928.8					III C 1 a~1 c	59.4	16.1			
II C 9 a・10 a	4,818.8					III C 1・2 a b	305.0				
II C 9 b	17,604.5	137.8				III C 1 b	29,269.9	12.1			
II C 9 b c	3,170.9					III C b・2 b	3,108.1				
II C 9 b・10 b	4,245.7					III C 1 b~2 b c	458.8				
II C 9 c	68,732.8	45.5				III C 1 b~2 b c d	829.9				
II C 9 c・10 c	10,094.1					III C 1 c	36,382.1	11.3			
II C 9 b	45,820.3	45.4	11.7	15.6	5.8	III C 1 d	25,485.7	48.3			
II C 9 d・10 d	2,495.3	2.4				III C 1 d・2 d	1,405.0				
II C 9 e	602.5	92.8				III C 1 d e	383.7				
II C 9 d e	886.7					III C 1 e	2,752.5				
II C 9 f		9.6				III C 2 a	15,866.1				
II C 9 g		3.4				III C 2 a・3 a	789.0				
II C 9 h・10 h		93.2				III C 2 b	1,040.7	35.2			
II C 10 a	42,516.6	321.6				III C 2 b~5 b	2,415.0	56.1			
II C 10 a~III C 1 a		123.8				III C 2 c	726.0				
II C 10 a b c	3,543.2					III C 2 d	2,448.4				
II C 10 b	35,611.6	43.1				III C 2 e	84.3				
II C 10 b c	1,278.3					III C 2 f	322.9				
II C 10 c	35,683.3					III C 2 f j	476.3				
II C 10 d	47,602.2	74.5				III C 2 g	1,997.0				
II C 10 d e	703.0					III C 3 a	20,425.7			3.8	
II C 10 e	4,283.7	99.9				III C 3 b	42.4				
II C 10 e~III E 1 e	1,630.7					III C 3 g		47.8			
II C 10 f	87.7					III C 4 a	3,376.2				
II C 10 g h	57.2					III C 4 j	703.4				
II D 1 a・2 a		83.4				III C 5 a	168.2				
II D 1 d	2,316.9	13.0				III C 7 d	3,376.0				
II D 1 d e	56.1					III C 8 a	2,245.3	73.6			
II D 1 d・2 d	679.3					III C 8 b	57.8				
II D 1・2 d e	1,802.5	99.4				III C 8 d	7,244.8	32.3			
II D 1・2 d~2 f	350.0					III C 8 e	10,229.7	13.1			
II D 1 e	1,670.0	50.8				III C 8 f	2,607.8				
II D 1 e f	120.9					III C 8 g	3,055.0	35.6			
II D 1 e・2 e	440.1	23.3				III C 8 h	23,947.4	125.5			
II D 1・2 e f	2,433.4	22.4				III C 8 i	4,626.4	48.9			
II D 1・2 e f g	16.4					III C 8 j	19,227.3	64.4			
II D 1 f	732.8					III C 9 a	18.3				
II D 1 f・2 f	34.0	6.5				III C 9 b	889.9				
II D 1 f g		146.7				III C 9 c	4,203.3				
II D 1・2 f g	41.6					III C 9 d	6,797.0	117.7			
II D 1 g	83.8	67.3				III C 9 e	14,914.4	277.2			
II D 1 g・2 g	35.1	63.0				III C 9 f	23,988.2	6.0			
II D 2 d	1,644.4	79.8				III C 9 g	12,632.6	15.2			
II D 2 d・3 d	422.5	9.1				III C 9 h	8,796.9	111.7			
II D 2 d e	780.3					III C 9 i	7,111.7	139.4		68.8	
II D 2 e	1,137.1	218.1				III C 9 j	11,528.0	92.4			
II D 2 e・3 e	34.7					III C 10 a	8,355.3				
II D 2 e f	7.5					III C 10 b	895.0	30.6			
II D 2 f	385.4	147.8				III C 10 c	3,473.5	4.6			
II D 2・3 f g	60.1					III C 10 d	7,312.4	17.2			
II D 2 g	42.3	115.9				III C 10 e	3,541.8	68.1			
II D 2 h		45.3				III C 10 f	11,090.5	5.2			
II D 3 c	23.6					III C 10 g	4,818.5	155.3			
II D 3 d	709.3					III C 10 h	15,101.2	358.6		6.5	
II D 9 a	12.5					III C 10 i	9,454.1	204.5			
II D 9 c	151.6	195.9				III C 10 j	6,086.1	113.6			

第12表 土器重量表(4)

出土地点	重量(g)					出土地点	重量(g)				
	縄文土器	土師器	須恵器	陶器	磁器		縄文土器	土師器	須恵器	陶器	磁器
ⅢD 2 b	689.5					ⅣC 5 b	2,341.2	152.9	9.1	65.6	
ⅢD 3 d	55.8					ⅣC 5 c	3,387.6		242		
ⅢD 3・4 c~e	34.0					ⅣC 5 d	2,842.1				
ⅢD 5 g						ⅣC 5 e	2,255.1	262.8	31.9		
ⅢD 7 b		100.8				ⅣC 5 f	5,891.1				
ⅢD 7 c	4,383.0					ⅣC 5 g	11,696.4				
ⅢD 7 d	5,377.7					ⅣC 5 h	4,097.5				
ⅢD 8 a	1,619.5	3.4				ⅣC 5 i	36,514.3			87.8	
ⅢD 8 b	7,805.8	37.6				ⅣC 5 j	7,727.2				
ⅢD 8 c	10,646.2					ⅣC 6 a	1,777.0		6.1		
ⅢD 8 d	2,863.2	11.6		13.4		ⅣC 6 b	9,942.3	394.0	121.1		
ⅢD 9 a	1,562.5	6.3				ⅣC 6 c	6,615.6	46.2	98.1	418.6	
ⅢD 9 b	3,399.0	91.6		5.7		ⅣC 6 d	359.8				
ⅢD 9 c	3,680.4	28.4				ⅣC 6 e	12,581.8	3.9			
ⅢD 9 d	1,362.1					ⅣC 6 h	3,317.4				
ⅢD 10 a	6,652.4	9.2				ⅣC 6 g	16,821.6		15.4		
ⅢD 10 b	17,552.3	19.7				ⅣC 6 h	11,643.8		91.9		
ⅢD 10 c	26,372.1	230.0		99.7		ⅣC 7 b	142.1				
ⅢD 10 a・b	5,084.6					ⅣC 7 c	1,573.3				
ⅢD 10 d	7,389.4					ⅣC 7 d	3,624.9		123.4		
ⅢD				86.3		ⅣC 7 e	1,790.2	4.6	18.4		
ⅣA 1 h・2 h	190.3					ⅣC 8 g	509.8				
ⅣA 3 i	376.3					ⅣC 9 h	76.5				
ⅣA 3 j	212.4					ⅣC 10 a	4,124.6				
ⅣB 1 b	101.4					ⅣD 1 a	8,645.6	58.3			
ⅣB 1 c	162.5					ⅣD 1 b	3,112.8	31.5			
ⅣB 1 g	12,878.2					ⅣD 1 b・2 b		27.1			
ⅣB 1 h	6,301.8					ⅣD 1 c	504.1	48.2			
ⅣB 1 i	5,358.0	22.0				ⅣD 1 j	2,326.9				
ⅣB 1 j	3,270.7	21.8				ⅣD 2 a	34,115.2				
ⅣB 2 a	11.8					ⅣD 2 b	6,754.1	37.4			
ⅣB 2 b	364.2					ⅣD 2 c	1,304.1				
ⅣB 2 c	141.8					ⅣD 3 a	19,683.4				
ⅣB 2 i	566.3	10.5	29.4			ⅣD 3 b	182.4	2,705.5			
ⅣB 2 j	13,780.9					ⅣD 3 j	1,594.4				
ⅣB 3 a	395.7					ⅣD 4 a	2,259.6				
ⅣB 3 b	755.9					ⅣD 4 j	94.7				
ⅣB 3 c	299.0					T 1	374.5	179.5			62.6
ⅣB 3 h	42.0					T 3	2,009.5	5.8			33.5
ⅣB 3 i	1,116.8					T 4	183.9	3.3			1.8
ⅣB 3 j	4,590.5					T 5	129.5				
ⅣB 4 h	621.3					T 6	1,768.7	43.2			
ⅣB 4 i	173.1	56.7				T 7	5,213.7	203.5			52.1
ⅣB 4 j	1,022.0					T 8	109.6	12.4			
ⅣB 5 i	384.9	405.7				T 9	715.8	108.4	2.9		
ⅣB 5 j	1,220.4					T 10	651.9	32.1		41.1	
ⅣB 6 i	22.8					T 11	4,900.1	89.0		21.5	
ⅣB 6 j	155.1					T 12	2,850.4			14.8	
ⅣB 10 j	1,325.8	7.8				T 14	144.8	76.2		116.3	16.2
ⅣC 1 b	1,221.0		30.8			T 15	880.1	26.6	18.7	8.8	
ⅣC 1 c	7,702.2	536.3		7.9		T 101	1,497.3	134.1			
ⅣC 1 d	13,148.7	66.6				T 102	187.2				
ⅣC 1 e	5,867.5					T 103	144.0				
ⅣC 1 f	2,175.4	747.0				T 104	411.1	38.9			
ⅣC 1 g	3,959.3	736.6				T 105	132.6				
ⅣC 1 h	2,127.8	111.3				T 107	61.3				
ⅣC 1 i	2,200.0	360.2				T 108	237.0				
ⅣC 1 j	7,244.5	35.8				T 109	709.8				
ⅣC 2 a	9,666.3					T 110	401.8				
ⅣC 2 b	8,044.5		11.8			T 201	953.0	25.0		2.7	
ⅣC 2 c	11,218.5					T 202	57.0				
ⅣC 2 g	20,309.0	10.8				T 203	66.6				
ⅣC 2 e	10,362.8	155.6	5.7			T 205	61.1				
ⅣC 2 f	5,643.0	762.4				T 206	44.2				
ⅣC 2 g	2,827.7					T 209	675.6	16.1			
ⅣC 2 h	1,210.1					T 212・213	287.5	20.2			
ⅣC 2 i	1,139.0	29.9				T 1014		419.8			
ⅣC 2 j	7,420.5					T 1019	3,246.8		66.0		
ⅣC 3 a	15,912.5	128.6				T 1028	64.2				
ⅣC 3 b	10,461.4	35.3				T 1029	618.9		2.5		
ⅣC 3 c	23,933.0	12.5				T 1030	847.5				
ⅣC 3 d	5,047.9					T	970.6	37.1			
ⅣC 3 e	472.2					A区	3,416.0	7.5		39.1	
ⅣC 3 f	3,538.1					B区	22,662.3	153.8	19.8		10.3
ⅣC 3 g	1,568.2	12.8				C区	30,658.3	1,267.8		15.2	14.1
ⅣC 3 h	2,594.8					不明	19,929.3	626.7	1.1		8.8
ⅣC 3 i	14,035.5	288.9				小計	4,294,792.8	64,645.6	1,464.5	3,324.2	210.8
ⅣC 3 j	24,032.8	496.2									
ⅣC 4 a	1,029.3	20.8	41.1								
ⅣC 4 b	268.7										
ⅣC 4 c	2,711.9	55.4									
ⅣC 4 d	2,005.1	6.2	47.5								
ⅣC 4 e	1,333.0	44.0									
ⅣC 4 f	2,087.6	10.1									
ⅣC 4 g	1,126.0	3.5									
ⅣC 4 h	3,867.9	35.7									
ⅣC 4 i	33,122.2	34.5									
ⅣC 4 j	26,735.1	98.5									
ⅣC 5 a	3,930.7	9.7	29.0								

第13表 剥片重量表

出土地点	重量 (g)	出土地点	重量 (g)	出土地点	重量 (g)	出土地点	重量 (g)	出土地点	重量 (g)	出土地点	重量 (g)
SI01	45.71	SI80	313.42	SK100	15.45	II C9a	72.21	III C9d	51.25	IV C3g	3.17
SI03	136.40	SI81	49.16	SK103	14.98	II C9ab	6.29	III C9e	93.28	IV C3h	5.09
SI04	91.80	SI82	117.27	SK108	9.97	II C9・10a	34.04	III C9f	109.83	IV C3i	31.76
SI06	10.79	SI83	80.96	SK112	30.50	II C9b	157.65	III C9g	30.04	IV C3j	152.63
SI10	200.45	SI84	66.63	SK116	57.27	II C9bc	141.92	III C9h	10.44	IV C4a	6.41
SI11	9.43	SI85	45.51	SK136	5.35	II C9・10b	52.96	III C9i	20.12	IV C4c	12.74
SI12	63.35	SI86	93.37	SK139	3.58	II C9c	1,711.15	III C9j	10.57	IV C4d	6.28
SI13	297.46	SI87	15.24	SK140	59.43	II C9・10c	331.38	III C10a	18.66	IV C4g	33.03
SI14	151.88	SI88	368.65	SK142	35.47	II C9d	798.43	III C10b	10.72	IV C4h	3.99
SI15	180.76	SI88・93	17.19	SK144	15.96	II C9・10d	31.61	III C10c	2.69	IV C4i	507.12
SI17	14.28	SI89	524.64	SK147	16.67	II C9e	52.35	III C10d	31.38	IV C4j	113.65
SI18	524.75	SI90	8.90	SK150	0.33	II C10a	840.68	III C10e	36.61	IV C5a	134.78
SI19	281.10	SI91	185.09	SK152	2.58	II C10b	330.61	III C10f	8.35	IV C5b	69.15
SI20	213.60	SI92	6.21	SK160	57.36	II C10bc	229.73	III C10g	41.27	IV C5c	150.91
SI21	13.44	SI95	12.18	SK	8.23	II C10c	761.14	III C10h	74.11	IV C5d	105.65
SI22	8.50	SI96	123.79	SN01	5.94	II C10d	514.42	III C10i	33.77	IV C5e	6.86
SI24	68.71	SI97	23.63	SX105	5.23	II C10de	90.32	III C10j	45.31	IV C5f	25.97
SI25	220.58	SI99	61.26	SXW16	6.75	II C10e	143.95	III C25j	16.62	IV C5g	61.42
SI26	25.93	SI101	450.17	SXW21	3.42	II D1d	1.11	III D7b	5.05	IV C5h	83.14
SI27	318.94	SI102	79.15	SW01	4.56	II D1・2e	8.40	III D7c	3.80	IV C5i	616.34
SI28	20.28	SI104	39.61	SW02	9.50	II D1・2ef	1.79	III D7d	4.63	IV C5j	15.06
SI29	80.33	SI105	10.46	SX06	16.28	III B1	3.16	III D8a	7.43	IV C6a	45.25
SI30	246.93	SI106	55.14	SX07	59.52	III B1j	29.98	III D8b	46.13	IV C6b	422.96
SI31	607.01	SI108	75.37	SX10	12.76	III B2j	229.46	III D8c	65.83	IV C6c	209.56
SI32	152.36	SI111	37.05	SX11	6.98	III B2・3j	48.10	III D8d	1.27	IV C6d	14.53
SI33	38.37	SI112	101.75	P13	50.57	III B3a	24.75	III D9a	0.55	IV C6e	220.10
SI34	253.41	SI113	61.40	P14	4.49	III B3j	870.41	III D9b	12.33	IV C6f	9.66
SI35	59.11	SI114	53.00	P15	5.42	III B4i	26.63	III D9c	17.28	IV C6g	101.32
SI36	113.61	SI115	66.40	P16	27.56	III B4j	23.82	III D10a	21.37	IV C6h	247.00
SI37	108.33	SI116	170.52	P17	75.04	III B4・5ij	35.05	III D10b	113.50	IV C7b	52.40
SI38	11.47	SI117	27.71	P18	16.77	III B5i	4.17	III D10c	188.06	IV C7c	82.57
SI39	193.96	SI118	120.94	P24	6.41	III B5j	104.61	III D10a・b	15.90	IV C7d	281.16
SI40	36.96	SI120	38.48	P27	8.18	III B6h	56.16	III D10d	70.16	IV C7e	17.46
SI41	29.17	SI122	17.26	P30	10.20	III B6i	95.74	III D	9.50	IV C8a	27.40
SI42	196.99	SKI02	14.02	PP1	9.49	III B6j	211.34	IV B1g	84.91	IV C8g	17.98
SI43	91.05	SKI03	1.51	II B1j	9.55	III B7h	506.29	IV B1h	19.47	IV C8i	3.92
SI44	33.18	SKI04	4.97	II B8j	29.25	III B7i	579.25	IV B1i	148.62	IV D1a	24.72
SI45	95.03	SKI09	63.90	II B9i	44.27	III B8i	8.90	IV B1j	21.22	IV D1b	3.08
SI46	270.02	SKI10	50.60	II B10i	32.71	III B8j	21.27	IV B2i	11.14	IV D1・2b	5.44
SI47	122.28	SKI11	3.43	II B10j	105.76	III B9b	4.77	IV B2j	51.57	IV D1c	8.88
SI48	130.28	SKI12	0.67	II C1b	13.84	III B9c	10.77	IV B・C2f	7.32	IV D2a	130.10
SI49	8.54	SKI13	180.92	II C3e	6.27	III B9h	96.63	IV B・C3a	0.80	IV D2・3a	251.13
SI50	203.47	SKI14	11.72	II C5c	2.83	III B9i	139.52	IV B3b	7.21	IV D2b	18.50
SI51	44.15	SKI15	3.63	II C5d	53.34	III B10i	3.02	IV B3c	5.88	IV D2c	6.85
SI52	130.25	SK02	1.49	II C5de	4.23	III C1a	516.83	IV B3h	78.36	IV D3a	52.67
SI53	325.57	SK03	1.89	II C5・6de	36.79	III C1b	339.26	IV B3j	44.13	IV D3b	59.09
SI54	58.85	SK05	56.69	II C6b	10.86	III C1b	339.26	IV B4h	29.80	IV D3j	29.53
SI54・55	1.71	SK11	13.68	II C6c	69.58	III C1・2bcd	21.21	IV B4j	88.70	IV D3	25.66
SI55	6.53	SK12	12.24	II C6d	68.43	III C1c	353.04	IV B5i	10.16	T3	20.37
SI56	13.16	SK13	31.89	II C6e	23.42	III C1d	333.51	IV B5j	12.06	T5	13.20
SI57	507.96	SK14	8.45	II C7b	64.52	III C1・2d	31.09	IV B6i	54.48	T6	49.59
SI58	291.36	SK20	30.08	II C7c	217.99	III C1de	5.12	IV C1a	56.11	T7	39.91
SI59	79.55	SK27	26.52	II C7・8b	9.44	III C1e	47.53	IV C1c	61.13	T10	10.35
SI60	36.25	SK28	3.50	II C7c	217.99	III C2a	87.72	IV C1d	27.87	T14	8.90
SI61	680.42	SK36	5.19	II C7bc	24.04	III C2b	20.63	IV C1e	47.27	T15	61.30
SI62	62.87	SK39	8.83	II C7cd	7.57	III C2b～5b	93.27	IV C1f	26.94	T101	0.75
SI63	208.32	SK49	36.99	II C7d	199.47	III C2c	10.10	IV C1g	8.82	T102	11.57
SI64	82.22	SK51	2.05	II C7e	603.63	III C2f	20.07	IV C1h	11.22	T103	6.98
SI65	189.72	SK52	7.09	II C7・8c	142.03	III C2g	4.24	IV C1i	3.85	T201	1.50
SI66	52.05	SK55	20.73	II C7・8d	38.97	III C3a	703.04	IV C1j	50.36	T209	19.34
SI67	34.00	SK59	1.81	II C7・8e	26.00	III C3	14.05	IV C2a	63.44	T1019	5.89
SI68	7.33	SK64	22.55	II C7～10bc	15.83	III C4a	89.63	IV C2b	78.17	T1029	45.99
SI69	24.69	SK65	27.73	II C8a	36.42	III C7d	20.64	IV C2c	8.55	T1030	7.11
SI71	278.12	SK68	40.23	II C8・9a	20.31	III C8a	108.41	IV C2d	251.61	A区	458.96
SI72	90.57	SK75	1.65	II C8b	251.47	III C8b	405.98	IV C2e	31.65	B区	194.71
SI73	228.33	SK78	1.20	II C8bc	18.04	III C8e	56.33	IV C2f	33.18	C区	158.91
SI74	217.89	SK87	9.71	II C8・9b	104.13	III C8f	33.04	IV C2g	17.64	不明	489.26
SI75	204.64	SK91	2.81	II C8c	555.76	III C8g	54.22	IV C2j	57.50	小計	42,509.48
SI76	50.06	SK93	12.24	II C8・9c	172.93	III C8h	151.07	IV C3a	166.37		
SI77	108.44	SK94	2.78	II C8d	1,414.99	III C8i	11.04	IV C3b	102.01		
SI78	327.89	SK96	10.20	II C8・9d	147.83	III C8j	52.32	IV C3c	154.56		
SI79	19.01	SK99	1.28	II C8e	214.97	III C9c	0.75	IV C3f	32.01		

第14表 羽口・炉壁・炭化材・木製品重量表

出土地点	重量(g)	出土地点	重量(g)	出土地点	重量(g)	出土地点	重量(g)	出土地点	重量(g)
S I 03	10.4	II D 3 c	164.6	S I 03	11.8	S I 03	11.4	S X 07	5.7
S I 18	46.1	II D 3 d	110.8	S I 25	22.0	S I 04	21.3	S X 10	16.2
S I 21	125.9	III C 9 a	907.3	S K 05	2.6	S I 12	0.1	S X 11	0.9
S I 48	16.0	III C 10 c	38.3	S K 31	37.7	S I 13	32.0	II C 1 g	3.0
S I 50	11.0	III C 10 g	10.9	S K 57	37.5	S I 15	0.9	II C 10 g	4.3
S I 52	3.0	III C 10 h	99.9	S X I 01	1,503.3	S I 19	1.2	II D 1・2 d	17.8
S I 60	12.8	III C 10 i	16.5	S X I 04	65.9	S I 21	81.5	II D 1 e	25.3
S I 61	5.5	III D 2 b	22.2	S X W 01	429.2	S I 25	3.0	II D 1 e f	6.2
S I 74	172.0	IV B 2 j	4.6	S X W 02	111.1	S I 29	2.0	II D 1・2 e	3.7
S I 87	61.3	IV B j	231.9	S X W 03	20.3	S I 30	42.0	II D 1・2 e f g	14.5
S I 112	176.3	IV B 6 j	53.9	S X W 05	20.5	S I 31	0.3	II D 1 f	0.7
S K I 05	1,042.3	IV C 1 d	29.0	S X W 05・06	769.0	S I 35	292.1	II D 1 f・g	9.9
S K 27	3.5	IV C 2 f	155.8	S X W 07	366.1	S I 38	15.6	II D 1 g	70.3
S K 51	77.9	IV C 3	127.7	S X W 08	878.8	S I 40	6.7	II D 2 d	9.2
S K 104	20.3	IV C 4 e	54.8	S X W 08・18	3,140.7	S I 52	140.0	II D 2 e	211.2
S K 105	90.6	IV C 4 f	607.2	S X W 09	4,790.9	S I 54	13.1	II D 2・3 e	26.0
S K 146	13.3	IV C 4 h	8.1	S X W 09・17	1,623.6	S I 55	0.3	II D 2 f	6.7
S X I 05	2,623.5	IV C 4 i	20.0	S X W 11	57.3	S I 60	13.3	II D 3 c	3.1
S X W 01	6,760.7	IV C 4 j	18.2	S X W 16	6,253.0	S I 71	4.2	III C 1 b	3.7
S X W 02	136.6	IV C 5 a	7.7	S X W 17	190.5	S I 72	134.1	III C 8 g	0.3
S X W 03	87.3	IV C 5 b	53.1	S X W 18	29.1	S I 75	37.5	III C 9 e	0.5
S X W 03・04	114.7	IV C 5 d	8.4	S X W 19	24.5	S I 86	84.8	III C 9 h	6.7
S X W 05・06	417.5	IV C 5 f	77.3	S X W 21	6,486.9	S I 93	3.5	III C 9 j	0.8
S X W 05・07	1,262.1	IV C 5 g	263.7	S X W 21・22	76.5	S I 96	9.2	III C 10 f	0.3
S X W 07	916.4	IV C 5 i	55.3	S X W 21・22・23	608.6	S I 103	943.0	III C 10 h	0.2
S X W 08	3,256.9	IV C 6 b	239.5	S X W 22	7,909.2	S I 104	18.2	IV C 1 e	3.5
S X W 08・18	4,643.8	IV C 6 e	13.7	S X W 23	4,049.3	S I 105	1.7	IV C 3 i	0.4
S X W 09	10,085.5	IV C 6 f	104.6	S X W 24	1,405.8	S I 111	1.2	IV C 3 j	0.9
S X W 09・17	84.2	IV C 6 g	26.3	S W 06	256.4	S I 115	0.7	廃滓場	22.2
S X W 11	1,213.6	IV C 7 d	117.6	S W 07	136.1	S K 20	2.9	不明	121.6
S X W 15	158.9	IV D 1 a	71.5	II C 10 g	303.0	S K 22	246.4	小計	11,233.9
S X W 16	110.5	IV D 2 b	30.2	II D 1 d	541.1	S K 23	15.6		
S X W 21	5,081.9	IV D 3 f	27.3	II D 1・2 d	33.0	S K 96	0.2		
S X W 22	3,605.9	T 1	76.5	II D 1 e	467.0	S K 99	1.5		
S X W 23	2,008.8	T 4	53.1	II D 1 e f	249.8	S K 111	19.8		
S X W 24	324.8	T 6	30.8	II D 1・2 e	203.7	S K 132	0.8		
S X W 27	10.2	T 7	75.4	II D 1・2 e f	103.0	S X I 04	42.9		
S W 06	1,561.7	T 9	19.2	II D 1・2 e f g	1,133.3	S X I 05	298.9		
S X 07	235.3	T 10	205.0	II D 1 f	1,723.0	S X I	1.7		
S X 10	55.9	T 11	344.3	II D 1 f g	53.1	S X W 01	32.1		
S X 11	84.7	T 12	28.6	II D 1 g	203.7	S X W 03	2,719.4		
II C 9 f	27.2	T 110	13.3	II D 1・2 g	267.3	S X W 05	30.9		
II C 10 c	9.3	T 212・213	314.3	II D 1・2 g h	801.0	S X W 07	5.2		
II C 10 g	76.5	T 1019	13.2	II D 2 d	886.5	S X W 08	1,769.5		
II C 10 g h	870.7	B区	87.4	II D 2・3 d	5.9	S X W 09	113.9		
II D 1 d	2,245.4	C区	2,612.7	II D 2 e	1,026.7	S X W 12	15.8		
II D 1・2 d	84.8	不明	67.7	II D 2 e f	468.2	S X W 15	71.4		
II D 1・2 d e	1,215.1	小計	95,003.4	II D 2 f	2,622.0	S X W 16	353.1		
II D 1 e	2,493.7			II D 2・3 f	301.0	S X W 17	6.2		
II D 1 e f	523.5			II D 2 g	4,054.3	S X W 19	541.4		
II D 1・2 e	1,366.1			II D 3・5、e・h	38.1	S X W 21	226.0		
II D 1・2 e f	38.1			II D-H	88.9	S X W 22	16.7		
II D 1・2 e f g	1,943.9			III C 9 g	30.7	S X W 23	41.1		
II D 1 f	704.5			III D 7 b	212.6	S X W 24	50.4		
II D 1 f・1 g	662.7			T 10	80.1	S X W 25	1.6		
II D 1・2 f g	31.8			T 6	6.9	S X W 27	0.3		
II D 1 g	297.9			T 7	13.3	S W 01	233.3		
II D 1・2 g	148.0			T 10	23.5	S W 03	438.9		
II D 1・2 g h	2,681.8			T 209	103.6	S W 05	232.5		
II D 2 d	5,362.6			C区	1,164.1	S W 06	329.2		
II D 2・3 d	76.2			不明	20.7	S W 07	710.5		
II D 2 e	6,843.1			小計	58,543.3	S W 08	32.7		
II D 2・3 e	783.7					S W 09	49.7		
II D 2 e f	619.0					S W 11	5.4		
II D 2 f	7,981.3					S W 13	65.5		
II D 2 g	3,467.5								

第15表 遺構種・地点別鉄滓類重量表

出土地点	総量 (g)								
	I A	I B	I C	II A	II B	鍛冶滓	粒状滓	鍛造剥片	合計
S I	5,208.2	482.0		15,248.8	7,127.1			0.2	28,066.3
S K I	1,496.1	41.8		3,172.4					4,710.3
S K	332.6	9.4		2,397.1	136.6				2,875.7
S X I	3,131.2	2,130.4	98.0	39,019.8	1,492.6		13.4	591.3	46,476.7
S X W	130,972.4	98,569.1	52,677.2	108,823.9	51,731.1		156.7	6,595.5	449,525.8
S W	3,359.8	821.1		968.0	404.4				5,553.3
S X	1,207.0	122.6	0.4	22,448.5	2,584.6		1.2	0.9	26,365.2
P P				146.4					146.4
I C	200.3	17.1	25.7						243.1
I D	553.7	129.4	19.2	883.3					1,585.6
II B				30.8	395.6				426.4
II C	1,575.7	136.5		1,501.9					3,214.1
II D	79,125.4	45,852.3	7,295.9	66,978.2	15,830.2	1,146.5			216,228.4
III B				67.4					67.4
III C	451.4	185.0		5,246.9	1,055.0				6,938.3
III D	918.1	48.4	35.1	1,591.1	300.4				2,893.1
IV B	337.5	7.1		5,329.7	518.1				6,192.4
IV C	7,162.4	231.4		77,447.2	3,598.0			0.4	88,439.5
IV D	643.9	24.6		3,938.7	46.3				4,653.5
T	367.8	236.5		16,670.3	1,778.7				19,053.3
A区		120.4		1,178.0					1,298.4
B区	50.3			2,155.1	9.1				2,214.5
C区	3,214.6	3,868.0	536.0	2,824.1	4,095.9				14,538.5
不明		656.2		2,754.2	204.1		15.4	422.9	4,052.8
小計	240,308.3	153,689.3	60,687.5	380,821.8	91,307.7	1,146.5	186.6	7,611.2	935,758.9

第16表 鉄滓類重量表(1)

出土地点	重量 (g)								合計
	I A	I B	I C	II A	II B	鍛冶滓	粒状滓	鍛造剥片	
S I 03		22							22
S I 04				44				0.1	45
S I 06		26		26				0.1	53
S I 08	233.3								233.3
S I 11	81.5	24							83.9
S I 13	3,167.0	303.0		114.3	6,200.0				9,784.3
S I 15				35.2					35.2
S I 18	60.2			228.3					288.5
S I 19		15.7							15.7
S I 20				0.7					0.7
S I 21		139.9		24.3					164.2
S I 24				11.9					11.9
S I 25		2.9		1,547.1					1,550.0
S I 29				469.2					469.2
S I 31				216.4					216.4
S I 33	22.0			649.9					671.9
S I 42	30.9								30.9
S I 44				22.8					22.8
S I 45				28.5					28.5
S I 48				261.7					261.7
S I 50	114.7			663.5					778.2
S I 52				6.3					6.3
S I 61				10.1					10.1
S I 63	215.4			337.2					552.6
S I 65				9.1					9.1
S I 71				96.6					96.6
S I 74	565.9			4,919.8	927.1				6,412.8
S I 75	3.9			3.9					7.8
S I 78		13.3		129.3					142.6
S I 80				37.2					37.2
S I 82				5.9					5.9
S I 85				32.8					32.8
S I 87	318.2			1,436.1					1,754.3
S I 88	16.0								16.0
S I 91	33.5			40.2					73.7
S I 92				59.4					59.4
S I 101				13.7					13.7
S I 105	101.8			125.8					227.6
S I 111				8.8					8.8
S I 112	218.4			910.4					1,128.8
S I 114	25.5			2,785.5					2,811.0
S K I 02	56.2	41.8		82.0					180.0
S K I 03				567.4					567.4
S K I 05				478.8					478.8
S K I 07				647.6					647.6
S K I 10				15.8					15.8
S K I 13	52.1			1,377.7					1,429.8
S K I 147				3.1					3.1
S K I 49	1,324.5								1,324.5
S K I 50	63.3								63.3
S K 23	47.1	9.4		35.9					92.4
S K 47				28.1					28.1
S K 55				31.8					31.8
S K 57				40.8					40.8
S K 72				52.1					52.1
S K 93	39.0								39.0
S K 94					136.6				136.6
S K 96				148.5					148.5
S K 99	61.2			804.6					865.8
S K 147	185.3			1,255.3					1,440.6
S X I 01	2,377.7	1,969.4	98.0	2,689.8	767.8				7,902.7
S X I 05	753.5	161.0		36,330.0	724.8		13.4	591.3	38,574.0
S X W 02	87.6	96.4		96.3					280.3
S X W 03	766.0	23.5		199.4					988.9
S X W 03・04		11.0		29.9					40.9
S X W 05								0.1	0.1
S X W 05・06	6,876.9	2,670.6	503.3	3,095.5	521.4				13,667.7
S X W 06		713.3		35.9			0.2	0.6	750.0
S X W 07	676.5	2,667.7	97.4	8,841.1			102.8	4,995.2	17,380.7
S X W 08	599.9	1,251.9	22.5	3,044.6			53.4	1,598.8	6,571.1
S X W 08・18	34,102.3	39,601.9	2,971.4	11,415.7	4,195.0				92,286.3
S X W 09	1,653.5	766.1	943.0	900.3	1,069.3			0.7	5,332.9
S X W 09・17	10,722.9	6,871.5	7,890.0	11,241.9	1,867.2				38,593.4
S X W 11	410.9	213.1		466.5					1,090.5
S X W 12	81.0	224.3	168.6	753.6	229.7				1,457.2
S X W 13		87.6		17.7					105.3
S X W 15	260.2	703.4	308.2	978.1	45.7				2,295.6
S X W 15・16	82.2	145.0	18.0	5.7					250.9

第16表 鉄滓類重量表(2)

出土地点	重量 (g)						鍛冶滓	粒状滓	鍛造剥片	合計
	I A	I B	I C	II A	II B					
S X W16	21692.0	9032.4	7396.6	14742.7	6087.2				58950.9	
S X W17	165.9	1134.3	3.8	690.0	1393.2				3387.2	
S X W18				182.9	35.0				217.9	
S X W19	271.0	460.6		784.0	331.8				1847.4	
S X W21	13813.8	14252.1	11051.7	16835.0	16287.9				72240.5	
S X W21・22	167.7	198.1	27.7	73.3	64.1				530.9	
S X W22	10338.1	6812.0	8822.0	16719.1	8961.4		0.3		51652.9	
S X W23	25920.5	7039.9	10025.5	14348.8	10527.1				67861.8	
S X W24	2236.8	3584.6	2423.7	2563.4	53.5				10862.0	
S X W27	46.7	7.8	3.8	762.5	61.6				882.4	
S W01		34.5		2.9					37.4	
S W06	548.7	240.3		733.2	221.8				1744.0	
S W07	2811.1	541.6		188.9	175.5				3717.1	
S W08				33.0	7.1				40.1	
S W12				10.0					10.0	
S W13		4.7							4.7	
S X05				11865.2					11865.2	
S X07	544.2	81.1	0.4	6884.9	2317.2		1.2	0.9	9829.9	
S X09	2.8			2.8					5.6	
S X10	422.7	20.8		3355.3	267.4				4066.2	
S X11	237.3	20.7		340.3					598.3	
P P 1				14.8					14.8	
P P 3				22.5					22.5	
P P102				5.6					5.6	
P P106				39.8					39.8	
P P108				47.6					47.6	
P P114				16.1					16.1	
I C10 g h	200.3	17.1	25.7						243.1	
I D 1 d				577.6					577.6	
I D 7~9 a~d		53.1	19.2						72.3	
I D 7~9 b~d	119.2								119.2	
I D 9 d e				108.0					108.0	
I D 9 e	434.5								434.5	
I D 9・10 d e		76.3		41.9					118.2	
I D10 b・c				92.5					92.5	
I D10 d e II D 1 d e				0.5					0.5	
I D・II D不明				53.6					53.6	
I~III C・D				9.2					9.2	
II B 2 b				30.8	395.6				426.4	
II C 1~7 h~j				2.1					2.1	
II C 9 a		5.0							5.0	
II C 9 d		18.1		210.6					228.7	
II C 9 e				5.0					5.0	
II C 9 g				177.7					177.7	
II C10 d				38.4					38.4	
II C10 f	1118.1	8.4		39.9					1166.4	
II C10 g	457.6	105.0		110.4					673.0	
II C10 g h				917.8					917.8	
II D		50.4		705.4					755.8	
II D 1 d	2240.3	1057.1	25.0	2648.4					5970.8	
II D 1 d e	143.1	93.9							237.0	
II D 1・2 d	722.5	1157.6	222.0	1176.8	34.8				3313.7	
II D 1・2 d e		8.6		263.6	196.2				468.4	
II D 1・2 d~g				33.4	8.9				42.3	
II D 1 e	7760.7	4378.1	953.6	4056.7	454.7				17603.8	
II D 1 e f	1351.0	1502.4	381.1	1487.6	1362.2				6084.3	
II D 1・2 e	1545.2	883.2	216.7	1385.7	292.8				4323.6	
II D 1・2 e f	2848.0	174.3	68.0	2868.2	1512.1				7470.6	
II D 1・2 e f g	11979.6	4943.3	898.5	7790.1	301.5	340.2			26253.2	
II D 1 f	8292.3	4425.2	801.2	16742.7	3753.2	343.2			34357.8	
II D 1・2 f				194.0					194.0	
II D 1 f・1 g	182.8	188.1		317.2					688.1	
II D 1・2 f g				21.8					21.8	
II D 1 g	851.6	764.3	53.3	1550.5					3219.7	
II D 1 g h		76.8		5.9					82.7	
II D 1 g・2 g	5156.3	208.8		4554.0	579.6				10498.6	
II D 2 d	5723.7	3051.9	724.6	4126.3	2305.3				15931.8	
II D 2・3 d		229.1	53.7	232.5	218.1				733.4	
II D 2 d e	98.6	147.4	27.7	152.7	154.6				581.0	
II D 2・g		113.5		10.8					124.3	
II D 2 e	9060.1	6578.7	1803.5	7046.8	2577.5				27066.6	
II D 2・3 e	372.2	511.1	24.4	600.4					1508.1	
II D 2 e f		469.4	173.1	391.8					1034.3	
II D 2 f	10380.5	2633.6	165.7	3271.9	308.4	463.0			17223.1	
II D 2 f g				15.6	3.7				19.3	
II D 2・3 f g	654.9	423.7		162.5	559.6				1800.7	
II D 2 g	4497.2	2765.4	366.6	2042.6	526.2				10198.0	
II D 3 c				82.3					82.3	



第16表 鉄滓類重量表(3)

出土地点	重量 (g)								合計
	I A	I B	I C	II A	II B	鍛冶滓	粒状滓	鍛造剥片	
II D 3 d		39.3							39.3
II D 3-5、e-h	5264.8	8,977.1	337.2	1,870.8	680.8				17,130.7
II D 4 h				264.3					264.3
II・III C・D				904.9					904.9
III B 3 j B				28.7					28.7
III B 8 b				2.3					2.3
III B 9 i				36.4					36.4
III C 1 a-c				140.3	86.5				226.8
III C 1 d				127.5					127.5
III C 2-5 b		28.5							28.5
III C 2 d		13.6							13.6
III C 2・3 i				0.3					0.3
III C 4 e	16.3								16.3
III C 7 d				74.5					74.5
III C 8 a	66.5								66.5
III C 8 e				46.6					46.6
III C 8 f				140.2					140.2
III C 8 g				95.4	21.0				116.4
III C 8 h				448.2					448.2
III C 8 i				12.7					12.7
III C 8 j				206.5					206.5
III C 9 a				30.1					30.1
III C 9 d	95.4			117.5					212.9
III C 9 e				39.4					39.4
III C 9 f				147.5					147.5
III C 9 g				357.2					357.2
III C 9 h				430.4					430.4
III C 9 i		8.3		346.7					355.0
III C 9 j				35.5					35.5
III C 10 a	10.8								10.8
III C 10 b				7.0					7.0
III C 10 d		19.8		125.1					144.9
III C 10 e	26.4			80.7					107.1
III C 10 f				53.7					53.7
III C 10 g	46.8			36.3					83.1
III C 10 h	96.8	75.7		1,588.8	173.2				1,934.5
III C 10 i	92.4	39.1		513.4	774.3				1,419.2
III C・D				45.4					45.4
III D 1・2 e				84.2					84.2
III D 2 b	877.1		35.1						912.2
III D 2 f				114.6					114.6
III D 3 d				101.7					101.7
III D 7 b		12.5							12.5
III D 8 b				21.9					21.9
III D 9 a				118.3					118.3
III D 9 b	41.0			150.0	300.4				491.4
III D 9 c				16.4					16.4
III D 9 d				4.3					4.3
III D 9		21.0							21.0
III D 10 b				683.2					683.2
III D 10 c		14.9		86.3					101.2
III D 10 d				210.2					210.2
IV B 1 i				23.3					23.3
IV B 1 j				124.0					124.0
IV B 2 i				191.9					191.9
IV B 2 j				559.1					559.1
IV B 3 h	184.5			1,686.8					1,871.3
IV B 3 j	22.9	7.1		1,331.7					1,361.7
IV B 4 a				268.7					268.7
IV B 4 j	130.1			968.7	416.9				1,515.7
IV B 5 j				52.2	101.2				153.4
IV B 6 i				97.7					97.7
IV B 6 j				25.6					25.6
IV C 1 c		7.1		783.9					791.0
IV C 1 d				15.3					15.3
IV C 1 e				76.1					76.1
IV C 1 f	14.4			763.9					778.3
IV C 1 g	15.5	6.4		185.6					207.5
IV C 1 h				48.6					48.6
IV C 1 i	6.2			105.2					111.4
IV C 1 j	60.4			120.2					180.6
IV C 2 b	19.9	6.3		81.5					107.7
IV C 2 c	21.3			125.0					146.3
IV C 2 e				90.4					90.4
IV C 2 f	160.4			129.2					289.6
IV C 2 g		13.8		117.8					131.6
IV C 2 i	26.3			4.8					31.1
IV C 2 j				125.1					125.1

第16表 鉄滓類重量表(4)

出土地点	重量 (g)								合計
	I A	I B	I C	II A	II B	鍛冶滓	粒状滓	鍛造剥片	
IVC 3	85.5								85.5
IVC 3 a		18.5		2,130.4					2,148.9
IVC 3 b	88.4			7,865.4	156.1				8,109.9
IVC 3 c				7.4					7.4
IVC 3 d				78.2					78.2
IVC 3 e	46.9								46.9
IVC 3 f	18.1			13.5					31.6
IVC 3 g				114.0					114.0
IVC 3 h	36.8								36.8
IVC 3 i	490.7	5.3		719.9					1,215.9
IVC 3 j	100.8			564.3					665.1
IVC 4 a	818.7			287.5					1,106.2
IVC 4 b				567.2					567.2
IVC 4 c				770.8					770.8
IVC 4 d				321.1					321.1
IVC 4 e	119.3	8.4		569.1					696.8
IVC 4 f	259.9			1,931.5					2,191.4
IVC 4 g				452.0					452.0
IVC 4 h	42.0			625.4					667.4
IVC 4 i	65.2			121.0					186.2
IVC 4 j	144.1			141.3					285.4
IVC 5 a	627.1			2,283.4	365.5				3,276.0
IVC 5 b	201.9	10.7		3,516.0	552.8				4,281.4
IVC 5 c	188.2	5.3		3,239.2					3,432.7
IVC 5 e	58.9			392.2					451.1
IVC 5 f	53.3			4,108.0	333.3				4,494.6
IVC 5 g	373.8	130.0		12,603.2	542.5				13,649.5
IVC 5 h				10.4					10.4
IVC 5 i				370.7					370.7
IVC 5 j				350.2					350.2
IVC 6 a	12.5			720.9					733.4
IVC 6 b	221.3			6,642.6	346.0				7,209.9
IVC 6 c	1,464.7			8,925.6	927.3			0.4	11,318.0
IVC 6 d	159.0			2,038.7					2,197.7
IVC 6 e	158.1			1,904.9	190.2				2,253.2
IVC 6 f	245.9	10.5		3,749.7					4,006.1
IVC 6 g	158.9	9.1		2,090.6					2,258.6
IVC 6 h	357.1			1,973.2	184.3				2,514.6
IVC 6 i				24.1					24.1
IVC 7 b				34.9					34.9
IVC 7 d	241.1			1,851.3					2,092.4
IVC 7 e				402.0					402.0
IVC 8 e				4.7					4.7
IVC 8 g				158.1					158.1
IVD 1 a	22.9			472.9					495.8
IVD 1 b		21.7		477.8					499.5
IVD 1 c				63.8					63.8
IVD 2 b	70.9			485.9					556.8
IVD 3 a				33.6					33.6
IVD 3 b	550.1	2.9		2,404.7	46.3				3,004.0
T 1				113.1					113.1
T 2				312.4	277.6				590.0
T 4	256.0			1,670.4					1,926.4
T 6		31.7		216.8	509.8				758.3
T 7		59.0		3,431.1					3,490.1
T 8				274.4					274.4
T 9		37.4		1,191.5	190.1				1,419.0
T 10	31.5	16.2		3,541.8	363.4				3,952.9
T 11		28.3		627.4					655.7
T 12		16.2		1,200.9					1,217.1
T 14				10.3					10.3
T 15				980.5					980.5
T 107					45.9				45.9
T 209		47.7							47.7
T 1028				58.9					58.9
T 1029	80.3								80.3
T 1030				122.6	391.9				514.5
T 1032				279.5					279.5
T 1034				553.1					553.1
T 1035				2,085.6					2,085.6
A区		120.4		1,178.0					1,298.4
B区	50.3			2,155.1	9.1				2,214.5
C区	3,214.6	3,868.0	536.0	2,824.1	4,095.9				14,538.5
不明		656.2		2,754.2	204.1		15.4	422.9	4,052.8
小計	240,308.3	153,689.3	60,687.5	380,821.8	91,307.7	1,146.5	186.6	7,611.2	935,758.9

第17表 動物遺存体・植物遺存体重量表

出土地点	重量 (g)				
	ウニ	貝	骨	動物遺存体 合計	炭化種実
S I 03 a		123,568.56			
b		11,751.18			
その他		254.34		135,574.08	
S I 29		1,800.40	0.90	1,801.30	0.02
S I 33		21.40	3.40	24.80	
S I 40			398.30	398.30	
S I 48		1,442.40	1,271.30	2,713.70	
S I 52					36.63
S I 58			0.40	0.40	
S I 71					5.60
S I 72			0.30	0.30	
S I 74			33.80	33.80	
S I 75			58.50	58.50	4,581.28
S I 84			0.20	0.20	
S I 85			1.10	1.10	
S I 87			26.80	26.80	
S I 93		0.80		0.80	
S I 102			0.80	0.80	
S I 103			9.60	9.60	
S I 104			0.60	0.60	
S I 105		176.50	286.20	462.70	
S I 111			0.70	0.70	
S I 115			1.60	1.60	
S K I 02 a		590.50			
b		4,051.10			
その他		5,231.18		9,872.78	
S K 12					43,491.17
S K 29 a		5,808.30			
b		9,044.50		14,852.80	
S K 53		44.70		44.70	
S K 93		19.50		19.50	
S K 99		872.90	5.70	878.60	
S K 147			30.30	30.30	
S N 01			7.41	7.41	
S N 19					0.14
S N 29			99.40	99.40	
S X 06		1,279.60		1,279.60	
S X 07	189.51	281,016.52	5,319.68	286,525.71	0.04
S X 08		958.30	44.40	1,002.70	
S X 09		141.90	3.40	145.30	
S X 10		23,240.10	1,881.90	25,122.00	
S X 11		11,242.40	1,498.70	12,741.10	
P P 102					15.94
II B 6 i			10.37	10.37	
III B 7 i		16.49		16.49	
III C 1 h					0.12
III C 8 d		16.80		16.80	
III C 9 e					0.28
III C 9 j		3,375.00		3,375.00	

出土地点	重量 (g)				
	ウニ	貝	骨	動物遺存体 合計	炭化種実
IV B 2 h			14.71	14.71	
IV B 3 i		967.46	36.73	1,004.19	
IV B 3 j			19.10	19.10	
IV B 4 h			1.21	1.21	
IV B 4 j		284.50	58.50	343.00	
IV B 5 j		43.27	220.00	263.27	
IV C 1 e					0.17
IV C 2 f			43.20	43.20	
IV C 4 a			6.60	6.60	
IV C 5 a			16.70	16.70	
IV C 5 b			1.50	1.50	
IV C 6 f			15.80	15.80	
IV C 6 g			18.60	18.60	
IV C 8 e			332.60	332.60	
IV D 2 a		14.60		14.60	
T 3		7.05		7.05	
T 9		3.16		3.16	
B 区		439.30	2.06	441.36	
C 区		5.44		5.44	
不明		4.01	0.25	4.26	
小計	189.51	487,734.16	11,783.32	499,706.99	48,131.39

第18表 遺構別掲載遺物一覧表(1)

：古代の竪穴住居跡

遺構名	縄文土器	弥生土器	土師器	須恵器	陶磁器	土製品	石器	石製品	金属製品	鏡貨	羽口	炉壁	鉄滓	コハク・アスファルト
S I 01	1・2						4942 (磨石B)							
S I 02			1801				2302 (石鏃) 3077 (阿蘇石器) 3078 (阿蘇石器) 4943 (磨石B) 4944 (磨石B)	5768 (垂飾品) 5769 (垂飾品)						
S I 03	3~30													
S I 04			1802~1810	1951										
S I 05			1811~1816											
S I 06			1817~1823	1952										
S I 09			1824~1827											
S I 10			1828				4449 (異形石器)							
S I 11			1829~1831											
S I 12	31~44						2312 (石鏃) 2313 (石鏃) 2314 (石鏃) 2315 (石鏃) 3080 (阿蘇石器)	5716 (石剣)						
S I 13	45~85					2008 (キノコ形土製品) 2031 (円盤状土製品) 2032 (円盤状土製品) 2033 (円盤状土製品)	2316 (石鏃) 2318~2324 (石鏃) 2897 (石鏃) 2944 (石匙) 3083 (阿蘇石器) 4450 (異形石器) 4958 (磨石B) 4959 (磨石B) 5403 (凹石)	5701 (石棒) 5717 (石剣) 5795 (磨製石斧ミニチュア)						
S I 14	86~96						5404 (凹石) 5405 (凹石)							
S I 14・15	97													
S I 15	98~116	1771					3084 (阿蘇石器) 4440~4442 (剥片) 5406 (凹石)							
S I 16			1832											
S I 17			1833						6056 (棒状)					
S I 18	117~165					2034 (円盤状土製品)	2327~2331 (石鏃) 2945~2947 (石匙)							
S I 19	166~185													
S I 20	186・187						2334~2337 (石鏃)	5807 (男根状石製品)						
S I 21			1834~1836											
S I 22			1837				2340 (石鏃) 2948 (石匙)							
S I 23	188													
S I 24	189~202						2345 (石鏃) 2346 (石鏃) 2347 (石鏃) 2949 (石匙) 5335 (敲石) 5407 (凹石)							
S I 25	203~206		1838~1840				5337 (敲石)			6107 (祥符元寶)				
S I 29	207~211		1841~1852			2036 (円盤状土製品) 2201 (紡錘車)			6010 (鏃)					
S I 30	212~216					2037 (円盤状土製品)								
S I 30~32	217						2353 (石鏃)							
S I 31	218~244					2014 (斧状土製品) 2038~2040 (円盤状土製品)	3091 (阿蘇石器) 3092 (阿蘇石器) 4986 (磨石B)							
S I 32	245・246													
S I 33	247~253		1853~1855			2041 (円盤状土製品) 2042 (円盤状土製品)	4451 (異形石器)		6057 (棒状)					
S I 34	254~272					2043 (円盤状土製品) 2044 (円盤状土製品)	2898 (石鏃) 3098 (阿蘇石器) 4531 (磨製石斧)	5787 (磨製石斧ミニチュア) 5808 (棒状石製品)						
S I 35	273~292					2015 (斧状土製品) 2045 (円盤状土製品) 2046 (円盤状土製品)	2363 (石鏃) 2365 (石鏃) 4649 (磨石A) 4650 (磨石A) 5341 (敲石)	5775 (杵状耳飾)						
S I 36	293・294		1856				2366 (石鏃)							
S I 37	295~308					2047~2049 (円盤状土製品)	3307 (不定形石器)	5788 (磨製石斧ミニチュア)						

第18表 遺構別掲載遺物一覧表(2) ： 古代の竪穴住居跡

遺構名	縄文土器	弥生	土師器	須恵器	陶磁器	土製品	石器	石製品	金属製品	銭貨	羽口	炉壁	鉄滓	コハク・ アスファルト
S I 38	309~314					2050 (円盤状土製品)								
S I 39	315~334		1857			2051~2059 (円盤状土製品)	2375 (石鏃) 3106 (面磨石器)							
S I 39・40	335													
S I 40	336~340													
S I 41	341~344													
S I 42	345~351		1858~1867			2060 (円盤状土製品)			6001 (鉄鏃?) 6012 (刀子)					
S I 43	352~355													
S I 44	356・357		1868~1870				2395 (石鏃) 2899 (石錐)							
S I 45	358~360													
S I 46	361~366					2061 (円盤状土製品)	4452 (異形石器)	5800 (板状石製品)						
S I 46・54	367													
S I 47	368~371													
S I 48	372		1871~1878			2062 (円盤状土製品) 2063 (円盤状土製品)			6006 (鋤鍬先) 6013 (刀子)					
S I 49	373~375						2956 (石匙) 5414 (凹石)							
S I 50	376・377		1879~1881		1971	2064 (円盤状土製品)	5415 (凹石)		6014 (刀子) 6044 (釣針?)					
S I 51	378・379													
S I 52	380~382		1882~1886	1953		2065~2069 (円盤状土製品)	4536 (磨製石斧)		6007 (鋤鍬先)	6116 (照準元寶)				
S I 52・75	383													
S I 52・83	384													
S I 53	385~400						2900 (石錐) 2957 (石匙) 3337 (不定形石器)							
S I 54	401~409													
S I 54・55	410													
S I 55	411~413					2019 (棒状土製品)								
S I 55・65・73	414													
S I 56	415~417													
S I 56・73	418													
S I 57	419~426						5416 (凹石)							
S I 58	427~456					2009 (キノコ型土製品) 2070~2073 (円盤状土製品)								
S I 59	457~459					2074~2078 (円盤状土製品)			6052 (板状)					
S I 59・60	460~462													
S I 60	463~471					2079~2084 (円盤状土製品)	2424 (石鏃) 4629 (石錐)							
S I 60・69	472													
S I 61	473~494					2004 (三角磨製土製品) 2016 (斧状土製品) 2085~2102 (円盤状土製品)	2902 (石錐) 3356 (不定形石器) 5421 (凹石)	5770 (垂飾品) 5776 (耳状耳飾) 5789 (磨製石斧ミニチュア) 5790 (磨製石斧ミニチュア)					7701 (コハク)	
S I 62	495~499					2103 (円盤状土製品)	3361 (不定形石器)							
S I 63	500・501		1887~1890				4543 (磨製石斧) 5422 (凹石)							
S I 64	502~512													
S I 64・65	513													
S I 65	514~532					2104 (円盤状土製品)								
S I 66	533~542					2105、2106 (円盤状土製品)								
S I 66・67	543													
S I 67	544~547					2107 (円盤状土製品)								
S I 68	548~551													
S I 69	552~555													
S I 70							2438 (石鏃)							

第18表 遺構別掲載遺物一覧表(3) ： 古代の竪穴住居跡

遺構名	縄文土器	弥生	土師器	須恵器	陶磁器	土製品	石器	石製品	金属製品	銭貨	羽口	炉壁	鉄滓	コハク・アスファルト	
S I 71	556~568					2108 (円盤状土製品)	2904 (石鏃) 4545 (磨製石斧) 4546 (磨製石斧) 4714 (磨石A) 5353 (敲石) 5425 (凹石)	5771 (垂飾品)							
S I 72	569~590					2109~2113(円盤状土製品)	2905 (石鏃) 3371 (不定形石器) 4549 (磨製石斧) 4551 (磨製石斧) 5354 (敲石) 5429 (凹石)								
S I 72・73	591						2445 (石鏃) 3147 (両極石器) 4553 (磨製石斧)								
S I 73	592~596					2114 (円盤状土製品)									
S I 73・ⅢC9f	597														
S I 74			1891~1904	1954		2005 (三角埴輪土製品)	2845 (尖頭器磨石器) 3373 (不定形石器) 5431 (凹石)	6003 (靱尻) 6008 (鋤鉄先) 6015 (刀子)	6130 (慶元通寶)				6301		
S I 75	598~613						3148 (両極石器) 4443~4448(銅片) 4744 (磨石A) 4745 (磨石A)								
S I 76	614・615														
S I 77	616~630					2115 (円盤状土製品)	2906 (石鏃)								
S I 77・ⅣC 1 d	631														
S I 78	632~650					2116~2126(円盤状土製品)	2450 (石鏃) 2907 (石鏃) 4758 (磨石A) 5499 (石皿)								
S I 79	651~653					2127 (円盤状土製品)	2961 (石匙)	5708 (石棒)							
S I 80	654~671					2128~2133(円盤状土製品)	4555~4557 (磨製石斧)								
S I 81	672~677					2018 (環状土製品)	4558 (磨製石斧)								
S I 82	678~694					2134~2136(円盤状土製品)	2452 (石鏃) 2963 (石匙) 3388 (不定形石器) 4559 (磨製石斧) 5434 (凹石) 5501 (石皿)	5777 (舟状耳飾) 5791 (磨製石斧ミニチュア)							
S I 83	695~699														
S I 84	700														
S I 86	701~703						2459 (石鏃) 3394 (不定形石器) 4560 (磨製石斧) 4562 (磨製石斧) 5043 (磨石B)								
S I 87			1905~1908												
S I 88	704~750					2137・2138(円盤状土製品)	2911 (石鏃) 4564 (磨製石斧) 5442 (凹石)	5720 (石剣) 5792 (磨製石斧ミニチュア)							
S I 88・104	751・752														
S I 89	753~755														
S I 89・93	756						3407 (不定形石器)								
S I 90	757・758														
S I 91	759~764														
S I 92	765~771						2912 (石鏃) 2965 (石匙)								
S I 93	772・773						2913 (石鏃) 5443 (凹石)								
S I 94	774														
S I 95	775~779														
S I 96	780						4796 (磨石A) 5064 (磨石B)								
S I 97	781~784						2967 (石匙) 4566 (磨製石斧)								
S I 98	785						5505 (石皿)	5709 (石棒) 5710 (石棒)							
S I 99	786・787														
S I 99・101	788														
S I 100	789・790														
S I 101	791~805					2139 (円盤状土製品)	2968 (石匙) 4567 (磨製石斧) 5506 (石皿)								

第18表 遺構別掲載遺物一覧表(4) ： 古代の竪穴住居跡

遺構名	縄文土器	弥生	土師器	須恵器	陶磁器	土製品	石器	石製品	金属製品	銭貨	羽口	炉壁	鉄滓	コハク・ アスファルト
S I 102	806~822						2469 (石鏃) 2969 (石匙) 5444 (凹石) 5507 (石皿)	5801 (板状石製品)						
S I 103	823~825													
S I 104	826~829							5809 (棒状石製品) 5813 (円鏃) 5814 (円鏃)						
S I 105	830		1909~1920			2202・2203 (紡錘車)	5508 (石皿)	6022 (釘)						
S I 105・IVC 3 j	831													
S I 106	832~838					2140 (円盤状土製品)	2474 (石鏃)	5715 (小型石鏃)						
S I 107	839													
S I 108	840・841						2970 (石匙)							
S I 109	842・843													
S I 110	844													
S I 111	845・846													
S I 112	847~860					2020 (棒状土製品)	4810 (磨石A) 2972 (石匙)・3054 (石鏃)・ 5448 (凹石)・5449 (凹石)							
S I 113	861													
S I 114	862~864													
S I 115	865~876					2021 (棒状土製品)	3434 (不定形石器)	5802 (板状石製品)						
S I 116	877~881						2975 (石匙)							
S I 117	882~884													
S I 118	885~887													
S I 118・IVC 3 j	888													
S I 120	889													
S I 123	890													
S K I 01	891													
S K I 02	892~894													
S K I 03	895													
S K I 04	896・897		1921・1922											
S K I 05	898・899				1972~1976									
S K I 09	900~902													
S K I 10	903~905			1955			2495 (石鏃)・2914 (石鏃)							
S K I 12	906													
S K I 13	907~909													
S K I 14	910・911													
S K 02	912													
S K 03	913													
S K 05	914~924							5796 (磨製石斧ミニ チュア)						
S K 06	925													
S K 07	926・927													
S K 09	928~930													
S K 10	931・932													
S K 12	933~937													
S K 13	938~943													
S K 15	944													
S K 17	945													
S K 19	946													
S K 20	947・948													
S K 22	949					2026 (不明土製品)								
S K 23	950・951							6023~6036 (釘)						

第18表 遺構別掲載遺物一覧表 (5) ： 古代の竪穴住居跡

遺構名	縄文土器	弥生	土師器	須恵器	陶磁器	土製品	石器	石製品	金属製品	銭貨	瑠璃	瑠璃	鉄滓	コハク・ アスファルト
S K 24	952													
S K 26	953													
S K 26・27			1923											
S K 27	954~965					2141 (円盤状土製品)	2979 (石匙)							
S K 29	966~982													
S K 32	983~990													
S K 34	991・992													
S K 35	993~996													
S K 38	997													
S K 40	998													
S K 42	999~1003													
S K 43	1004													
S K 46	1005													
S K 47	1006													
S K 51	1007~1011													
S K 52	1012~1016													
S K 55	1017~1023													
S K 61	1024・1025													
S K 64	1026~1030													
S K 65	1031~1036													
S K 68	1037							5722 (石剣?)						
S K 71	1038~1040									6139 (銭種不明)				
S K 75														
S K 78	1041~1043													
S K 79	1044													
S K 83	1045													
S K 86	1046						2851 (尖頭器様石器)							
S K 91	1047													
S K 93	1048													
S K 96	1049													
S K 99	1050								6002 (鉄鏃)					
S K 102	1051													
S K 103	1052~1054													
S K 104	1055・1056													
S K 108	1057・1058						2507 (石鏃)							
S K 109	1059													
S K 109・114	1060													
S K 112	1061~1063													
S K 114	1064・1065													
S K 116	1066													
S K 124	1067													
S K 128	1068													
S K 131	1069~1071					2010 (キノコ型土製品)								
S K 134	1072・1073													
S K 136	1074~1076													
S K 138・144	1077						2982 (石匙)							
S K 142														
S K 144	1078													
S K 146	1079													
S K 147	1080						5110 (磨石B)							
S D 01	1081~1083													
S N 01	1084~1086													



第18表 遺構別掲載遺物一覧表(6) ： 古代の竪穴住居跡

遺構名	縄文土器	弥生	土師器	須恵器	陶磁器	土製品	石器	石製品	金属製品	銭貨	羽口	炉壁	鉄滓	コハク・ アスファルト
S N18	1087・1088													
S N25	1089													
S N26	1090													
S N34	1091													
S N36	1092・1093													
S X W01											2207～2211		6302～6304	
S X W05・06											2212～2213		6305・6306	
S X W06													6307～6313	
S X W07													6314～6318	
S X W08		1772 1773						6054 (板状)			2214～2217 2276～2278		6319～6322	
S X W08・18											2218～2226	6204	6323	
S X W09											2227～2235		6324～6328	
S X W09・17											2236		6329	
S X W15	1094										2259・2260	6201	6330～6334	
S X W16											2237～2240	6202・6205	6335～6339	
S X W21											2241～2243	6203	6340～6344	
S X W22											2244～2246		6345～6347	
S X W23													6348～6350	
S X W24													6363～6365	
S X W27														
S W06											2255・2256			
S W12	1095													
S X I 05									6011 (穂穂具) 6016 (刀子) 6037 (釘) 6053 (板状)		2247～2254		6351～6362	
S X 06	1096～1098									6106 (開元通寶) 6111 (睿祐通寶) 6112 (皇宋通寶) 6120 (元豐通寶) 6038～6042 (釘) 6043 (釘?) 6045～6050 (釘 針) 6058 (棒状)			6366～6368	
S X 07	1099・1100			1956	1977～1980 1984～1986	2514 (石鏃)			6017～6019 (刀 子) 6038～6042 (釘) 6043 (釘?) 6045～6050 (釘 針) 6058 (棒状)					
S X 08									6004 (留金具) 6005 (留金具) 6021 (板) 6051 (釣針) 6009 (鋤跡先)				6369	
S X 10	1101			1957										
S X 11														
P P 1	1102													
P P 16	1103													
P P 17	1104													

第19表 地点別掲載遺物一覧表(1)

出土地点	縄文土器	弥生	土師器	須恵器	陶磁器	土製品	石器	石製品	金属製品	銭貨	羽口	炉壁	鉄器	コハク・ アスファルト
II B 8 j	1105・1106													
II B 8・9 j	1107													
II B 9 j	1108・1109													
II B 9・10 j	1110・1111													
II B 10 j	1112													
II C 1 e							2985 (石匙)							
II C 3～5 c d	1113～1115													
II C 4 d	1116													
II C 5 d	1117													
II C 5 d e・5 e	1118													
II C 5 d e	1119～1122							5778 (球状耳飾)						
II C 5 d・6 d	1123													
II C 6 b	1124～1126													
II C 6 b c	1127～1129													
II C 6 c・6 b	1130													
II C 6 c	1131～1133							5724 (石剣)						
II C 6 c d	1134													
II C 6 d	1135・1136													
II C 6 d e	1137													
II C 7 a	1138						2531 (石鏃)							
II C 7 b	1139～1146													
II C 7・8 a								5725 (石剣)						
II C 7・8 b	1147～1150													
II C 7 b c	1151							5726 (石剣)						
II C 7 c	1152～1159						2537 (石鏃)・2991 (石匙)							
II C 7 c・7・8 c	1160・1161													
II C 7・8 c	1162～1164													
II C 7・8 c、III C 1 c	1165													
II C 7・8 c、II C 7 d	1166													
II C 7・8 d	1167・1168													
II C 7 d	1169～1179						2543 (石鏃)・2995 (石匙)							
II C 7 d、III C 1 a	1180													
II C 7 d、II C 7・8 d	1181													
II C 7 c、II C 7 d	1182													
II C 7・8 d、II C 8 d														
II C 7・8 d	1183													
II C 7 e	1184～1197					2002 (耳栓)								
II C 7 e、II C 9 c	1198							5727 (石剣)・5728 (石剣)						
II C 7・8 d e	1199・1200													
II C 8 a	1201													
II C 8・9 a	1202													
II C 8 b	1203～1216													
II C 8 b、II C 9 a	1217													
II C 8・9 b	1218						4453 (異形石器)							
II C 8 b c、II C 9 b	1219													
II C 8 c	1220～1236					2007 (土瓦) 2142 (円盤状土製品)	5454 (凹石)	5730 (石剣)						

第19表 地点別掲載遺物一覧表(2)

出土地点	縄文土器	弥生	土師器	須恵器	陶磁器	土製品	石器	石製品	金属製品	銭貨	羽口	炉壁	鉄器	コハク・ アスファルト
II C 8 c、II C 8・9 c	1237・1238													
II C 8・9 b、II C 9 c	1239													
II C 8・9 c	1240・1241													
II C 8 c、II C 9 d	1242													
II C 8 d	1243~1270						2563~2565 (石鏃)・2568 (石鏃)・ 2921 (石鏃)	5732 (石剣)・5735 (石剣) 5819 (軽石)						
II C 8・9 d	1271~1274													
II C 8 d、II C 8・9 d	1275													
II C 8 d、II C 8 e	1276													
II C 8 d、II C 9・10 b	1277													
II C 8 d e	1278													
II C 8 e	1279					2143 (円盤状土製品)	2572 (石鏃)	5737 (石剣)						
II C 8 e、II C 10 e	1280													
II C 9 a	1281~1289						2574 (石鏃)	5779 (球状耳飾)						
II C 9 a、II C 9 a b	1290													
II C 9・10 a	1291~1293													
II C 9 b	1294~1302							5772 (垂飾品)						
II C 9 b、II C 9 b c	1303													
II C 9 c	1304~1330					2152 (円盤状土製品)	2579 (石鏃)・2580 (石鏃) 2583 (石鏃)・3005~3008 (石匙)	5740~5742 (石剣) 5797 (磨製石斧ミニチュア)						
II C 9 c、II C 9 d	1331・1332													
II C 9 c、II C 10 a	1333													
II C 10 b、III B 1 j														
II C 9 c、II C 10 a	1334													
II C 10 b、III B 1 j														
II C 9・10 c	1335~1337													
II C 9 d	1338~1361					2144 (円盤状土製品)	2924 (石鏃)・3011 (石匙) 3012 (石匙)	5743 (石剣) 5780 (球状耳飾) 5810 (石製品)						
II C 9・10 d	1362													
II C 9・10 h			1926											
II C 10 a	1363~1384						2590 (石鏃)・5458 (凹石)							
II C 10 a b c	1385													
II C 10 a b c	1386													
II C 10 b	1387~1402	1774				2145 (円盤状土製品)	2594 (石鏃)・3018 (石匙)							
II C 10 b c	1403					2003 (耳栓)								
II C 10 b、II C 10 c	1404													
II C 10 b、III C 1 a	1405													
II C 9・10 c	1406													
II C 10 c	1407~1421					2013 (板状土製品) 2022 (棒状土製品) 2153 (円盤状土製品) 2154 (円盤状土製品)	2603 (石鏃)	5825 (軽石)						
II C 10 c、BⅩ	1422						4454 (扇形石器)	5781 (球状耳飾)						
II C 10 d	1423~1430													
II C 10 d、III C 1 b	1431													
II C 10 d、III C 1 d	1432													
II C 10 d e	1433													
II C 10 e	1434			1924・1925										

第19表 地点別掲載遺物一覧表(3)

出土地点	縄文土器	弥生	土師器	須恵器	陶磁器	土製品	石器	石製品	金属製品	銭貨	羽口	炉壁	鉄器	コハウ・ アスファルト
II C10g・h											2257			
II D1d											2258			
II D1・2de											2259・2260			
II D1e											2262			
II D1・2efg											2261			
II D1ef											2263			
II D1・2e											2266			
II D1f・g											2264・2265			
II D1・2g													6370	
II D1・2gh												6204		
II D2d			1927				2619 (石鏃)				2267~2270			
II D2e											2271~2274			
II D2ef											2275			
II D2f											2276~2278			
II D2g											2279・2280			
III B1j	1435~1439													
III B2j	1440~1442						2624 (石鏃)							
III B2・3j、III B3j	1443													
III B2・3j						2146 (円盤状土製品)								
III B3j	1444~1455													
III B4j	1456~1458						2634 (石鏃)							
III B4j、III B4・5ij	1459													
III B5j、III C1a														
III B4・5ij														
III B5j	1460・1461						2636 (石鏃)							
III B6i	1462~1464						3065 (石鏃)・5462 (凹石)							
III B7e					1981									
III B7h	1465					2027 (不明土製品)	4455 (異形石器)							
III B7i	1466~1471					2147 (円盤状土製品)	3026 (石匙)							
III B7i、III B7ij	1472													
III B7・8i	1473・1474													
III B8b	1475													
III B9c	1476													
III B9h	1477													
III B9j	1478													
III B10j	1479													
III B10j、IV B1i	1480													
IV B1j														
III C1a	1481~1495			1958		2148 (円盤状土製品)	2662 (石鏃)・2666 (石鏃)	5782 (珠状耳飾) 5803 (板状石製品)						
III C1a~III C1c								5804 (板状石製品)						
III C1b	1496~1505						5463 (凹石)		6101 (開元通寶)					
III C1b、III C1・2b	1506													
III C1・2b	1507													
III C1c	1508~1522		1928			2149 (円盤状土製品)	2673 (石鏃)							
III C1.2c	1523													
III C1d	1524~1537						2928 (石鏃)							
III C1・2d	1538													

第19表 地点別掲載遺物一覧表(4)

出土地点	縄文土器	弥生	土師器	須恵器	陶磁器	土製品	石器	石製品	金属製品	銭貨	羽口	炉壁	鉄滓	コハク・ アスファルト
ⅢC1 d、ⅢC1 e	1539													
ⅢC1 e	1540・1541													
ⅢC2 a	1542～1548													
ⅢC2 b								5783 (珠状耳飾)						
ⅢC2 d	1549													
ⅢC3 a	1550～1557						3035 (石匙)	5773 (垂飾品)	6127 (政和通寶)					
ⅢC3 c														
ⅢC3 i						2011 (キノコ型土製品)								
ⅢC4 a	1558													
ⅢC4 a、ⅢC4 j	1559													
ⅢC5 a	1560													
ⅢC8 d	1561													
ⅢC8・9 d	1562													
ⅢC8 e	1563・1564													
ⅢC8 f	1565					2155 (円盤状土製品)				6105 (和同開珎) 6134 (□元通寶)				
ⅢC8 h	1566～1568		1929											
ⅢC8 h、ⅢC10 h	1569・1570													
ⅢC8 i・9 j			1930											
ⅢC8 j	1571～1577										2281			
ⅢC9 a														
ⅢC9 b	1578・1579													
ⅢC9 c														
ⅢC9 d	1580													
ⅢC9 e	1581・1582					2156 (円盤状土製品) 2158 (円盤状土製品)								
ⅢC9 f	1583～1592					2205 (紡錘車)				6129 (宣和通寶)				
ⅢC9 g	1593～1597					2159 (円盤状土製品)								
ⅢC9 h	1598													
ⅢC9 i	1599													
ⅢC9 j	1600													
ⅢC10 b	1601・1602					2160 (円盤状土製品)	2714 (石鏃)・5467 (凹石)							
ⅢC10 b、ⅢC1 a			1931											
ⅢC10 a														
ⅢC10 c	1603～1605													
ⅢC10 d	1606													
ⅢC10 e										6117 (熙寧元寶)				
ⅢC10 f	1607					2023 (棒状土製品) 2161 (円盤状土製品)								
ⅢC10 g	1608～1610													
ⅢC10 h	1611・1612					2162 (円盤状土製品)				6113 (皇宋通寶) 6124 (紹聖通寶)				
ⅢC10 i	1613													
ⅢC10 j	1614					2163 (円盤状土製品)								
ⅢD7 b	1615・1616													
ⅢD7 c	1617・1618													
ⅢD7 c、ⅢD8 b	1619													
ⅢD8 a														
ⅢD8 b	1620							5798 (磨製石斧ミニチュア)						

第19表 地点別掲載遺物一覧表(5)

出土地点	縄文土器	弥生	土師器	須恵器	陶磁器	土製品	石器	石製品	金属製品	鉄貨	羽口	炊壁	鉄器	コハク・ アスファルト
ⅢD8b・c	1621													
ⅢD8c	1622・1623													
ⅢD8d	1624・1625													
ⅢD9a	1626													
ⅢD9c	1627													
ⅢD10a	1628													
ⅢD10b	1629													
ⅢD10c	1630～1635					2150 (円盤状土製品)								
ⅢD10d	1636～1638													
ⅣA1・2h			1932					5760 (石剣)						
ⅣB1g	1639・1640													
ⅣB1h	1641～1643													
ⅣB2j	1644・1645					2151 (円盤状土製品) 2164 (円盤状土製品)								
ⅣB3c	1646													
ⅣB3h							5386 (砥石)							
ⅣB3j	1647													
ⅣB4j						2028 (不明土製品)								
ⅣB5i	1648		1933											
ⅣB5j							5388 (砥石)							
ⅣB10j			1934											
ⅣC1b				1959										
ⅣC1c						2017 (棒状土製品) 2165 (円盤状土製品)								
ⅣC1d	1649・1650		1935			2166 (円盤状土製品)			6114 (皇承通寶) 6126 (聖永通寶)					
ⅣC1e	1651・1652													
ⅣC1h	1653		1936・1937											
ⅣC1j						2167 (円盤状土製品) 2168 (円盤状土製品)								
ⅣC2a	1654													
ⅣC2b	1655～1659													
ⅣC2c	1660					2024 (棒状土製品) 2169 (円盤状土製品)	4609 (磨製石斧)							
ⅣC2d	1661～1666													
ⅣC2f	1667・1668		1938・1939											
ⅣC2g	1669・1670													
ⅣC3a	1671～1676			1960										
ⅣC3b	1677～1681					2170 (円盤状土製品)								7702
ⅣC3c	1682～1688													
ⅣC3f	1689													
ⅣC3h	1690・1691									6132 (寛永通寶)				
ⅣC3i	1692													
ⅣC3i、ⅣC3j	1693													
ⅣC3j	1694～1697					2001 (土俵) 2025 (棒状土製品) 2171 (円盤状土製品)								
ⅣC3j、ⅣC4i	1698													
ⅣC3j、ⅣC4j	1699・1700													
ⅣC4d					1982									
ⅣC4f	1701													

第19表 地点別掲載遺物一覧表(6)

出土地点	縄文土器	弥生	土師器	須恵器	陶磁器	土製品	石器	石製品	金属製品	銭貨	羽口	炉壁	鉄器	コハク・ アスファルト
IVC 4 i	1702~1710						4612 (磨製石斧)							
IVC 4 j	1711~1718													
IVC 5 a						2172 (円盤状土製品)		5784 (球状耳飾)		6140 (銭種不明) 6141 (銭種不明)				
IVC 5 b														
IVC 5 c	1719・1720													
IVC 5 e	1721													
IVC 5 f							5480 (凹石)							7703
IVC 5 g	1722					2006 (垂飾品土製品)	4456 (翼形石器)	5785 (球状耳飾)		6118 (照寧元寶)				
IVC 5 i	1723~1730													
IVC 5 j	1731・1732													
IVC 5 i、IVC 6 h	1733													
IVC 6 b	1734		1940							6123 (紹聖元寶)				
IVC 6 c	1735~1738			1961	1983									
IVC 6 e	1739~1741													
IVC 6 f						2012 (キノコ型土製品)								
IVC 6 g	1742~1745					2173 (円盤状土製品)								
IVC 6 h	1746・1747													
IVC 7 d	1748・1749													
IVC 9 a								5805 (板状石製品) 5806 (板状石製品)						
IVD 1 a	1750													
IVD 2 a	1751~1755							5786 (球状耳飾)						
IVD 2 b						2174 (円盤状土製品) 2175 (円盤状土製品)								
IVD 3 b			1941											
東奥谷部分説欄トレンチ付近、東奥中段			1942											
T 7	1756		1943			2029 (不明土製品)	2941 (石錐)	5799 (磨製石斧ミニチュア)						
T10	1757													
T14						2206 (紡錘車)								
T1019	1758													
A区										6109 (天聖元寶) 6108 (祥符元寶) 6128 (政和通寶) 6142 (銭種不明)				
B区	1759~1763					2204 (紡錘車)		5767 (石劍)						
B区、C区	1764													
C区	1765~1768	1775 1776				2030 (不明土製品) 2157 (円盤状土製品)				6115 (皇宋通寶) 6119 (照寧元寶) 6121 (元豊通寶) 6133 (寛永通寶)		6205		
北東階段														
東奥谷部	1769								6020 (煙管)				6371	
II C	1770										2282・2283			
遺構名等不明		1777												

第20表 遺構・地点別出土石器一覧表(1)

遺構名・出土地点	石鏃	尖頭器 櫛石器	尖頭器	石槍	石錐	石匙	石鏡	面壓 石器	不定形 石器	削器	撿器	RF	UF	剥片	異形 石器	石核	礫器	打製石 斧	磨製石 斧	石錘	磨石A	磨石B	敲石	凹石	石皿	台石	石臼	砥石			
SI01																															
SI02	1																						1								
SI03	1							3	1			3											2								
SI04	3							1	1			5											1								
SI06																															
SI09	1																						1								
SI10	4											2	4		1								1								
SI11	1											2	1										2	1							
SI12	4							1				4	1										10								
SI13	9					1		3				4	1										2								
SI14																															
SI15	2	1						3	1	1		5	4										1								
SI18	7	3				3		2	3	1		8	3										11	1							
SI19	4											4											1								
SI20	3					1		1	1			2											1								
SI21	3																						3								
SI22	1																														
SI24	3					1			1			1	2											2	1						
SI25	2	1				1				1		3											6	2	1						
SI29	2					1			4			1											1								
SI30	5												2										2								
SI31	2					1		3	3			4	1										4	1	2	1				1	
SI32	2							2															3	6	1						
SI33																															
SI34	1					1		2					1										2								
SI35	4					1		2	1														1								
SI36	6					1		2	4			1	3										8	1	1						
SI37	2					1		1	1														2		1						
SI38								1															2								
SI39	3							6	4			2	1										1								
SI40	4								2			2											2								
SI41								1	1																		1				
SI42	8							3	6			1	1										2								
SI43	4							2	1			2	1										3								
SI44	3							2	1			2	2										6	1							
SI45	2							2																							
SI46	4							1	5			1	1										2	1							
SI47	1							2	1			3	1										2								
SI48	1							1	1			1																			
SI49	1																						3	1							
SI50									2				1											1							
SI51	1																														
SI52	1											1	1										1								
SI53	3							1	8			3	4										2	1							
SI54								1																							
SI55	1								1			1											2								
SI56	1								1																						
SI57	6					1		3	3				1										1	2							
SI58	5					1		2	7			5	4										3	4						1	
SI59	1								2																						
SI60	1								1				1																		
SI61	9							6	5			5	4										11	1	3	2	1	3			



第20表 遺構・地点別出土石器一覽表(2)

遺構名・出土地点	石鏃	尖頭器 礮石器	石槍	石錐	石匙	石鏡	面壓 石器	不定形 石器	削器	搔器	RF	UF	剥片	異形 石器	石核	礮器	打製石 斧	磨製石 斧	石錘	磨石A	磨石B	敲石	凹石	石皿	台石	石臼	砥石	
SI62	3			1			2	3			2									1	1							
SI63							1					3									3							
SI64							2	1											1		2	1	1					
SI65	1							3				1							1		2							
SI66					1		1					1								1	2	1						
SI66・95																				1	3							
SI67												1								2	1	1	1	1				
SI68							1													2	1	1	1	1				
SI69										1													1					
SI70	2										1																	
SI71	2			1			1	2			1	1							4	5	2	1	2					
SI72	2			1			2	4			2	2							4	11	2	1	4	5				
SI73	2						1											1		7		1						
SI74	3	1						3			4	1			2	1			1	7	7	1	2		1			
SI75	1	1					1	2			1	1	6						1	7								
SI76								1			1																	
SI77				1			1				1																	
SI78	1			2				2			2	3			1					8	5			2	1			
SI79								1																				
SI80	1			1	2		5	1			1	1						3		4	2	4	1		1			
SI81							2	1										1		2								1
SI82	2				2		2	5			1	3						1		4	3		1	2	1			
SI83	3							1			2									1		1	1					
SI84				1				1																				
SI85																				1								
SI86	4						2	4			2	1						4		4	4							
SI87	1																			2								
SI88	1			1			2	12			6	1						2		16	11	2	5	2	3			
SI89							1																					
SI89・93								1																				
SI90								1			1	1			1								1					
SI91	3	1		1	1			1			1	2			1					1	3	1						
SI92	2			1	1			4			1	1								1	2		1					
SI93								1																				
SI95								1			1									1	3							
SI96					1			2			1	2						1										
SI97								1														1						
SI99	1						1	1				2								1				1				
SI101					1		1	2			2	1								1								
SI102	2				1		2	3			2	1			1				2	4	2	1	3	1	3			
SI103								1											1	3					1			
SI104																						1						
SI105	2																			1								
SI106	2						2				1	2						1	1	1	1							1
SI108	1				1			1			1									1								
SI109	2																			1								
SI111	1	1										1								1								
SI112	4	1		1	1		1	3			1	3							1	3								1
SI113	1			2	1			1			1	1								2	4	1	2					1
SI114	1										1	2								1								
SI115	4			1				3			1	1								5	5							1
SI116				1	1		2	3			1	1								3								

第20表 遺構・地点別出土石器一覧表(3)

遺構名・出土地点	石鏃	尖頭器 礮石器	尖頭器	石槍	石錐	石匙	石鏡	面壓 石器	不定形 石器	削器	搔器	RF	UF	剥片	異形 石器	石核	礮器	打製石 斧	磨製石 斧	石錘	磨石A	磨石B	敲石	凹石	石皿	台石	石臼	砥石
SI118	1								2																			
SI120	1											2											1					
SK102	1					1			1																			
SK103																												
SK104	2												2										1					
SK105								1																				
SK109	1							1																				
SK110	2				1			1					1									1						
SK112																						3						
SK113	3			2		2		1	8			1	4		1								1					
SK115	1							2																				
SK03																							1					
SK04	1																											
SK05												1	3							1			2					
SK12												1										1						
SK13									1														1					
SK19																									1			
SK20												1											1					
SK27									1																			
SK28																												
SK29																												
SK30						1					1											2						
SK32												1										1						
SK35																							1					1
SK36																							2					
SK38									1											1			1					
SK39																							1					
SK49	2																											
SK50	1																											
SK51																	1						1					
SK55																							1					
SK61																							1					
SK64												2	2										2	1		1		
SK65												1	1															
SK68													2															
SK71																												
SK72																												
SK78																												
SK91								1															1					
SK93									1																			
SK100	1																											
SK102	1																											
SK104						1																					1	
SK108	1																											
SK112								1																				
SK116								1																				
SK121									1																			
SK132	1																											
SK136	1																											
SK140																												
SK142												1	1															
SK143																												

第20表 遺構・地点別出土石器一覽表(4)

遺構名・出土地点	石鏃	尖頭器 礮石器	尖頭器	石槍	石錐	石匙	石鏡	面壓 石器	不定形 石器	削器	搔器	RF	UF	剥片	異形 石器	石核	礮器	打製石 斧	磨製石 斧	石錘	磨石A	磨石B	敲石	凹石	石皿	台石	石臼	砥石		
SK144																														
SK146	1																					1								
SK147									1														1							
SK160													1																	
SD01																														
SN01	1																													
SN24	1																													
SN25																														
SN35								1																						
SXW15・16	1																									1				
SXW21																														
SXW24						1																								
SW08																														
SX06								1																						
SX07	5				2	1						1										7	2							
SX08												3	3																	
SX09	1								1																					
SX10					1																									
SX11	3								2																					
P13	2	1						1	1		1											2								
P16								1	1													1								
P18									1																					
P24								1																						
P27																														
排葬場																														
IC5j	2																													
IB1j																						2								
IB10b																														
IB10j																														
IC1b																														
IC1d																														
IC1e	1																													
IC3~5def																														
IC5a																														
IC5c																														
IC5cd																														
IC5d																														
IC5de	3																													
IC5・6de	1																													
IC6b																														
IC6c																														
IC6d																														
IC6de																														
IC7a																														
IC7b	6																													
IC7b・8b																														
IC7c	5					2																								
IC7cd																														
IC7・8c																														
IC7d	2	1																												
IC7de																														
IC7~8d	1																													

第20表 遺構・地点別出土石器一覧表(5)

遺構名・出土地点	石鏃	尖頭器 礮石器	石槍	石錐	石匙	石鏡	面磨 石器	不定形 石器	削器	搔器	RF	UF	剥片	異形 石器	石核	礮器	打製石 斧	磨製石 斧	石錘	磨石A	磨石B	敲石	凹石	石皿	台石	石臼	砥石
II C7e	4			1	1		1		1		4	2			1						3						
II C7e~8e					1		1															2	1				
II C8・9a	1																					2					
II C8c	2				1	1					2	1										5					
II C8・9b							1							1								2					
II C8c	1	1			2		1	1			3	2										6					
II C8~9abc	1										1											1					
II C8・9c	1						1				1											1					
II C8d	16	2				1	1	3	1	1	15	7			1			3			7						
II C8・9d	1	1			1																	3					
II C8e	1								1			1										1					
II C8h	1																										
II C9a	1				2	1			1		2	2						2			2						
II C9ab																											
II C9・10a								1				2															
II C9b									1																		
II C9bc											1				1							5	1				
II C9・10b											1				1							1					
II C9c	10				1	6	1	2	1	1	17	1									4						
II C9・10c	1																				4						
II C9d	4	1	1		4			3	1		4	4									5						
II C9de												1										1					
II C9・10d					1			3			1																
II C9e																											
II C10a	3	1			1		1	1	2		4	1						1									
II C10b	4	1			2	1	1	4			3	2								1		2					
II C10bc					1			2			1	1															
II C10c	9				1	1	2	2			9	2			1						4						
II C10d	11				1	1	4	5			9	7										3	1				
II C10de					1						1																
II C10e					1			1	1			1										1					
II C								1																			
II D1d	1																										
II D1de																											
II D1e	1																										
II D1~2d																											
II D1e																											
II D1・2de											1																
II D1・2ef											1																
II D2d	1										1																
II D2e																											
II D8b																											
II D9e																			1						1		
III B1ij					1																						
III B1j							1	2		1	1																
III B2j	7										3	2															
III B2~3j	1																										
III B3a	1																										
III B3i																											
III B3j	6				1		1	4	1	1	7	4															
III B4i																											
III B4・5ij	2					1																					
III B5i																											

第20表 遺構・地点別出土石器一覽表(6)

遺構名・出土地点	石鏃	尖頭器 礮石器	石槍	石錐	石匙	石鏡	面壓 石器	不整形 石器	削器	搔器	RF	UF	剥片	異形 石器	石核	礮器	打製石 斧	磨製石 斧	石錘	磨石A	磨石B	敲石	凹石	石皿	台石	石臼	砥石
ⅢB5j					1	1	2	1	1		1												1				
ⅢB6h					1						2	1															
ⅢB6i	1							1	1			1									1						
ⅢB6j											1				1												
ⅢB7h	5	1					3	1			7	1		1								6	1				
ⅢB7i	10				1			4			2	5						1				8	2				
ⅢB8i							1							1								2					
ⅢB8j	3								1		2											1					
ⅢB9b	1										1									1							
ⅢB9c																											
ⅢB9h					1																						
ⅢB9i	1									1		1															
ⅢB9j	2							1														2					
ⅢBB10b																						1					
ⅢB10i					1			1																			
ⅢB10j																											
ⅢB3j	2																										
ⅢC1a	6				1	3	1	1	1		2	4			1							7					
ⅢC1a~1c																											
ⅢC1b	5							2	1		5	1			1							6	1				
ⅢC1b~2b																											
ⅢC1c	2	2			1		1	1			9	1			2							6					
ⅢC1d	4	2			1		3	4			2							1				1					
ⅢC1d~2d		1																									
ⅢC1e											2	1															
ⅢC2a	1								1		1											1					
ⅢC2a·b																						3					
ⅢC2b	1																										
ⅢC2b~5b											2																
ⅢC2b~6b								1																			
ⅢC2f											1																
ⅢC2g																											
ⅢC3a	7							5			5	2															
ⅢC4a	1										1	1															
ⅢC4i																1											
ⅢC4·5ij	1																										
ⅢC7d	1										1	2													1		
ⅢC7j																											
ⅢC8a																											
ⅢC8d	3	1			1		5	3			2	3															
ⅢC8e	2										2																
ⅢC8f	1							1				1															
ⅢC8g																											
ⅢC8h	2																										
ⅢC8i																											
ⅢC8j																											
ⅢC9a	1																										
ⅢC9b																											
ⅢC9c	3							1			2																
ⅢC9d	5				1			1			1	1															
ⅢC9e	2				2			2			1	3															
ⅢC9f	1							2			2	2															

第20表 遺構・地点別出土石器一覧表(7)

遺構名・出土地点	石鏃	尖頭器 礮石器	石槍	石錐	石匙	石鏡	面壓 石器	不定形 石器	削器	搔器	RF	UF	剥片	異形 石器	石核	礮器	打製石 斧	磨製石 斧	石錘	磨石A	磨石B	敲石	凹石	石皿	台石	石臼	砥石	
ⅢC9g	1							1			1							1										
ⅢC9h								1			1	1																
ⅢC9i								1			1	1									1	1		1				
ⅢC9j	3							2			1	1																
ⅢC10a	1										1	3											1					
ⅢC10b	2										1	1																
ⅢC10c	1										1	1									2							
ⅢC10d	1						1				1																	
ⅢC10e	1							1			1	1									1							
ⅢC10f	1							2			1	1																
ⅢC10g											1										5							
ⅢC10h											1										1	1						
ⅢC10i											2																	
ⅢC10j	1							1			1																	
ⅢD3a								1			1	1										2						
ⅢD7b	1										1	1																
ⅢD7c							1				1																	
ⅢD8a	1										1																	
ⅢD8b											1											1						
ⅢD8d											1																	
ⅢD9a	1										1	1																
ⅢD9b											1																	
ⅢD9c											1	1									1							
ⅢD10a											1	1																
ⅢD10a・10b											1	1									2							
ⅢD10b							1	1			1	1									2			1				
ⅢD10c	3							1			2																	
ⅢD10d	1						1	1			1																	
ⅢD											1																	
ⅣA3j											1																	
ⅣB1g	1										2	1									1							
ⅣB1h							1				1											1						
ⅣB1i							1				1																	
ⅣB1j	1						1	1				1																
ⅣB2a												1																
ⅣB2i												1									1							
ⅣB2j							1																					
ⅣB3b																					1							
ⅣB3c																												
ⅣB3h							1																					
ⅣB3j	1																											
ⅣB4h	1																											
ⅣB4j	1											1																
ⅣB5i												1																
ⅣB5j	2							2			1										1							
ⅣC1a							1					1																
ⅣC1b							1	1			1																	
ⅣC1c																												
ⅣC1d	3						1	3																				
ⅣC1e	1						1	1				1																
ⅣC1f	3							2																				
ⅣC1g												1																

第20表 遺構・地点別出土石器一覽表 (8)

遺構名・出土地点	石鏃	尖頭器 槌石器	尖頭器	石槍	石錐	石匙	石鏡	面壓 石器	不定形 石器	削器	搔器	RF	UF	剥片	異形 石器	石核	礫器	打製石 斧	磨製石 斧	石錘	磨石A	磨石B	敲石	凹石	石皿	台石	石臼	砥石			
WC1j				1		1			2													1									
WC2a	1					1			2																						
WC2b	3					1			1																						
WC2c	1				1			1	2			1								2											
WC2d				1				1	1			2												1							
WC2e									1														3								
WC2f																							1								
WC2g							2					1																			
WC2h									1																						
WC2i	2																														
WC2j	1								2			3	1																		
WC3a	2								3			2	1																		
WC3b	1						1		3			3	2																		
WC3c									2			1	2																		
WC3d	1		1																												
WC3f																															
WC3g	1																														
WC3i	2					1			1			1	1																		
WC3j	4							5	2			3	2																		
WC3																															
WC4b	1											1																			
WC4c	1																														
WC4d	1																														
WC4e	1																														
WC4f																															
WC4g												2																			
WC4h																															
WC4i	3						3		2			3	4																		
WC4j	2						1		2			4																			
WC5a	2	1				1			5			1																			
WC5b	1					1			1			1	1																		
WC5c	10	1					2		10			4	2																		
WC5d	1					1	1		6			2	5																		
WC5f	1						1		1			1	1																		
WC5g																															
WC5h	1	1					1		1			1	1																		
WC5i	2	1					1		4			5	4																		
WC5j	2																														
WC6a							1					1																			
WC6b	2		1			2		1	12			6	1																		
WC6c	5				1	1		4	6			5	2																		
WC6d																															
WC6e	11						2		18			5	5																		
WC6f							1		4			1																			
WC6g																															
WC6h	1						1		4			5	2																		
WC6i							2		6			1																			
WC7b									1																						
WC7c	2	1							2			1																			
WC7d							1		2			1	1																		
WC7e									1			1	1																		
WC8a									1																						

第20表 遺構・地点別出土石器一覧表(9)

遺構名・出土地点	石鏃	尖頭器 礮石器	石槍	石錐	石匙	石腕	面磨 石器	不定形 石器	削器	搔器	RF	UF	剥片	鼻形 石器	石核	礮器	打製石 斧	磨製石 斧	石錘	磨石A	磨石B	敲石	凹石	石皿	台石	石臼	砥石	
WC8g							1				4	4								1	1							
WD1a	2			1			3																					
WD1b	1																			2								
WD1・2b												1																
WD1j																												
WD2a	2				2		2	3			1	1										2						
WD2a・3a	3		1				1	1			1	1									4	1	1					
WD2b		1										1																
WD2c																												
WD3a					1		1	3			1	1									2		1					
WD3b	1							2																				
WD3								1																				
WD4j											1																	
T1																						1						
T2																							1					
T3								1																				
T4																												
T5																												
T6									1			1										1						
T7	1									1	3	1										1						
T8																												
T9																											1	
T10									1		1	1																
T11		1				1																						
T12																												
T15										1	1											1						
T101																						1						
T102											1											1						
T109											1																	
T209	1										1	1																
T1014																					2							
T1019	1																											
T1029												1																
T1032																												
T1034																					1							
T1035																												
南端トレンチ	1																											
斜面トレンチ																												
東奥谷部																												
南北アゼトレンチ																												
西の南北トレンチ																												
試掘トレンチ											1																	
北端	2																											
西側																												
西斜面																												
南斜面	2										1																	
東奥谷部																												
尾根部	1										2																	
AB区の境	1																											
調査区一括																												
進入路斜面																												
不明	10	1					1	3			5	7									1	1	1	1	1	1		
合計	539	38	9	10	47	110	22	207	410	29	8	419	290	6	8	49	9	10	103	3	310	390	71	80	35	40	1	7



第21表 縄文土器観察表の凡例表

項目	表記	内容
部位の名称	口唇	口唇部
	口	口縁部
	頸	頸部
	胴	胴部
	底	底部
	内	内面
文様	原体側圧	原体側面圧痕
	絡条体圧	絡条体圧痕
	単軸絡第○類	単軸絡条体第○類
	多軸絡	多軸絡条体
	半竹	半載竹管
	結束1	結束第1種(羽状縄文)
	結束2	結束第2種(羽状縄文)
	結節(S)	結節(S字状)綾絡文
	結節(Z)	結節(Z字状)綾絡文
	磨消	磨消縄文
	充填	充填縄文
	縦	縦回転
	横	横回転
	斜	斜回転
施文の順番	旧→新	
煤の付着 スス・コゲ	内	内面コゲ
	外	外面スス
	無	付着無し
内面調整	M	ミガキ
	N	ナデ
	1	丁寧
	2	雑
	3	雑(礫露出)
	—	不明
胎土	1	緻密である
	2	砂粒を含む
	3	砂粒を多量に含む
	4	細礫、砂粒を含む
	5	細礫、砂粒を多量に含む
	6	細礫を含む
	7	細礫を多量に含む
	8	中礫を含む
	9	中礫を多量に含む
	10	細礫、中礫を含む
	11	細礫、中礫を多量に含む
	12	細礫、中礫、砂粒を多量に含む
	A	繊維を少量含む
	B	繊維を含む
C	繊維を多量に含む	
I	シャモットを含む	

項目	表記	内容
時期・分類	I	早期
	I 1	早期 後葉
	II	前期
	II 1	前期 前葉(大木2 a・b式)
	II 2	中葉(大木3・4式)
	II 3	後葉(大木5式)
	II 4	末葉(大木6式)
	II 5	異系統
	III	中期
	III 1	中期 前葉(大木7 a・b式)
	III 2	中葉(大木8 a・b、榎林式)
	III 3	後葉(大木9 a・b、最花式)
	III 4	末葉(大木10 a・b式)
	III 5	異系統
	IV	後期
	IV 1	後期 初頭(門前式)
	IV 2	前葉(十腰内I式)
	V	晩期
	VI	弥生

第22表 縄文土器観察表 (1)

(残存値) (復元値)

図版 No.	写図 No.	掲載 No.	出土地点	層位	器種	文様の特徴	裏の 付着	内面 調整	胎土	色調	時期・分類	計測値 (cm)		備考		
												口径	器高 底径			
249	165	1	S I 01	土器1床面	深鉢	口：平緑、RL縦(磨消?)	無	N	10	7.5YR6/4にぶい黄褐色	Ⅲ					
249	165	2	S I 01	土器2床面、1層アゼ中央部分A-A'・B-B'	深鉢	口：平緑、RL縦	無	N	11	7.5YR6/4にぶい黄褐色	Ⅲ					
249	165	3	S I 03	南西埋土下床土、ペルトA-A'・6層・9層	深鉢	口：平緑、RL縦→沈線、隆帯	内外	M	2	10YR6/3にぶい黄褐色	Ⅲ3-b					
249	165	4	S I 03	北西埋土、ペルトB-B'・4層	深鉢	胴：LR縦	無	N?	7	10YR6/3にぶい黄褐色	Ⅲ	(9.5)	9.3			
249	165	5	S I 03	ペルトB-B'・4層	深鉢	口：LR縦→沈線	無	M	5	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅲ3-b					
249	165	6	S I 03	北西埋土、ペルトB-B'・2層・4層	深鉢	胴：RL縦、底：網代裏	無	N	7	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅲ	(7.3)	10.7			
249	166	7	S I 03	北東埋土、南東埋土、ペルトA-A'・3層、ペルトB-B'・2層・4層	深鉢	口：平緑、胴：RL縦、底：網代裏	無	N	6	7.5YR7/6褐色	Ⅲ3?	[24.2]	37.6	8.6	輪積の幅2cmほど	
250	166	8	S I 03	ペルトA-A'・3層	深鉢	胴：LR縦→沈線	外	M	6	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅲ3-b					
250	166	9	S I 03	ペルトA-A'・2層	深鉢	口：平緑、LR縦→沈線	無	N	5	7.5YR5/3にぶい褐色	Ⅲ3-b					
250	166	10	S I 03	北西埋土、南西埋土、ペルトB-B'・2層	深鉢	口：平緑、RL縦?	無	N	6	5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ3?	[13.9]	13.8	4.9	摩滅顕著	
250	166	11	S I 03	ペルトA-A'・1層	深鉢	胴：LR縦→沈線	無	M	2	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ3-b					
250	166	12	S I 03	北西埋土下位	深鉢	口：平緑、LR縦	無	N	6	5YR6/6褐色	Ⅲ					
250	166	13	S I 03	北西埋土中位・下位	深鉢	口：平緑、RL縦	無	N	2	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ					
250	167	14	S I 03	南東埋土下位	深鉢	口：平緑、RL縦→沈線	無	M	6	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ3-b					
250	167	15	S I 03	南東埋土中～下位、北西埋土中位	深鉢	口：平緑、RL縦	無	M	11	5YR4/6赤褐色	Ⅲ					
250	167	16	S I 03	北東埋土下位	深鉢	口：波状、口縁部隆帯付(肥厚)、RL縦	無	N	2	7.5YR5/3にぶい褐色	Ⅲ					
250	167	17	S I 03	北東埋土下位	深鉢	口：波状、隆帯付(薄文)	無	N	6	5YR6/6褐色	Ⅲ3-b					
250	167	18	S I 03	土器No.3埋土中位	深鉢	底：網代裏	無	N	2	7.5YR5/3にぶい褐色	Ⅲ		(2.2)	[7.9]		
251	167	19	S I 03	北東埋土中位	深鉢	口：平緑、RL縦→沈線	無	M	6	7.5YR5/4にぶい褐色	Ⅲ3-b					
251	167	20	S I 03	北東埋土中位	深鉢	口：平緑、LR縦→沈線	無	N	6	7.5YR5/4にぶい褐色	Ⅲ3-b					
251	167	21	S I 03	北東埋土中位	深鉢	口：LR縦→沈線	無	N	6	7.5YR5/4にぶい褐色	Ⅲ3-b					
251	167	22	S I 03	北東埋土中位	深鉢	口：波状、LR縦→沈線	無	N	4	7.5YR6/6褐色	Ⅲ3-b					
251	167	23	S I 03	北東埋土中位	深鉢	口：波状、波頂部に隆帯付、LR縦→沈線	無	M	4	5YR5/3にぶい赤褐色	Ⅲ3-b					
251	167	24	S I 03	北東埋土中位暗褐色土	深鉢	口：平緑、突起あり、LR縦、沈線・刺突列	外	N	6	10YR4/2灰黄褐色	Ⅲ4-b				補修孔あり	
251	167	25	S I 03	北西埋土中位	深鉢	口：平緑、LR縦→沈線(磨消細文)	無	M	6	7.5YR5/4にぶい褐色	Ⅲ3-b					
251	167	26	S I 03	北西埋土中位	深鉢	口：平緑、RL縦→沈線(薄文)	外	N	2	10YR7/3にぶい黄褐色	Ⅲ3-b					
251	167	27	S I 03	北西埋土中位	深鉢	不明	無	N	6	10YR6/4にぶい黄褐色	Ⅲ		(1.3)	6.3		
251	167	28	S I 03	北東埋土	深鉢	胴：沈線(縦位多重)、底：網代裏→ミガキ	無	M	6	5YR6/6褐色	Ⅲ		(28.2)	8.6	被熱して輪積部分より剥落か又は変色の範囲あり	
251	168	29	S I 03	北東埋土、南東埋土、北西埋土	深鉢	胴：RL縦、底：木葉裏	無	N	2	7.5YR6/6褐色	Ⅲ		(11.1)	6.7	摩滅している	
251	168	30	S I 03	南東埋土、北西埋土	深鉢	口：平緑、補修孔2個一対、RL縦→沈線	外	M	6	5YR6/6褐色	Ⅲ3	16.0	(10.0)	—	補修孔、摩滅している	
252	168	31	S I 12	炉埋設土器	深鉢	胴：沈線→刺突、LR縦、楕円状の縦位文様帯	無	N?	7	7.5YR7/6褐色	Ⅲ3-b		(14.7)	—	摩滅顕著、被熱して輪積部分より剥落	
252	168	32	S I 12	床直上	深鉢	口：平緑、LR縦	外	N	6	7.5YR6/4にぶい黄褐色	Ⅲ4	24.2	(44.4)	—	黒斑あり	
252	168	33	S I 12	P P I 南半埋土	深鉢	胴：LR縦、底：網代裏	無	N	2	10YR7/3にぶい黄褐色	Ⅲ					
252	168	34	S I 12	ペルトF-F'北半埋土2層	壺	口：平緑、隆帯(縦位)、穿孔、沈線→RL縦	無	N	6	10YR5/3にぶい黄褐色	Ⅲ4-b					
252	168	35	S I 12	ペルトA-A'・1層	深鉢	口：平緑、車軸筋5類RL縦	無	N	2	7.5YR5/2灰褐色	Ⅲ1					
252	168	36	S I 12	ペルトB-B'・1層	深鉢	口：平緑、LR縦	無	M?	6	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ					
253	169	37	S I 12	北東埋土上～中位	深鉢	口：平緑、突起(隆帯+刺突)、沈線、車軸筋5類RL縦	内外	N	5	7.5YR3/1黒褐色	Ⅲ3					
253	169	38	S I 12	北東埋土上～中位	深鉢	口：平緑?、沈線、刺突列、内：隆帯付	無	N	10	5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ4-b					
253	169	39	S I 12	北東埋土上～中位	深鉢	口：平緑、LR縦	無	N	10	7.5YR6/3にぶい褐色	Ⅲ					
253	169	40	S I 12	北西埋土上～中位	深鉢	口：平緑、LR縦	無	M?	6	7.5YR5/3にぶい褐色	Ⅲ					
253	169	41	S I 12	北西埋土	深鉢	胴：LR縦→隆帯・沈線	内外	N	3	5YR6/6褐色	Ⅲ4-b?		(9.8)	[7.5]	7.2	
253	169	42	S I 12	南東埋土	深鉢	胴：LR縦	無	M	2	10YR/4にぶい黄褐色	Ⅲ?		(6.0)	—		
253	169	43	S I 12	埋土	深鉢	口：平緑、組紐	無	N	A	7.5YR5/3にぶい褐色	Ⅲ					
253	169	44	S I 12	埋土	深鉢	口：平緑、突起あり、沈線、刺突、RL縦	無	M	6	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ4-b					
253	169	45	S I 13	炉埋設土器	深鉢	口：平緑、LR縦	無	M?	6	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ4	23.5	(25.8)	—		
253	169	46	S I 13	埋設土器土中、埋設土器	深鉢	口：平緑、RL縦	無	N	7	7.5YR6/6褐色	Ⅲ4	22.0	(26.3)	—		

第22表 縄文土器観察表(2)

(残存値) [復元値]

図版 No.	写図 No.	掲載 No.	出土地点	層位	器種	文様の特徴	底の 付着	内面 調整	胎土	色調	時期・分類	計測値 (cm)		備考	
												口径	器高		底径
253	169	47	S I 13	ベルトB-B・7層	深鉢	胴：RL縦、底：網代直	無	N	6	7.5YR7/4にぶい橙色	Ⅲ	—	(4.8)	10.9	
253	169	48	S I 13	ベルトB-B・7層	深鉢	口：平縁、LR縦	無	M	5	7.5YR5/3にぶい褐色	Ⅲ	—	—	—	
254	170	49	S I 13	北東埋土、ベルトB-B・3層・4層	深鉢	口：4単位突起、刺突列、胴：LR縦→沈線(4単位)→無文帯に庄痕	外	N	6	5YR6/6褐色	Ⅲ4-b	[16.7]	(23.7)	[6.9]	
254	170	50	S I 13	ベルトB-B・2層	深鉢	胴：LR縦	無	N	6	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ	—	(4.2)	[5.2]	
254	170	51	S I 13	ベルトB-B・2層	深鉢	口：平縁、RL縦	無	N	10	7.5YR7/4にぶい褐色	Ⅲ	—	—	—	
254	170	52	S I 13	北西埋土中位黒褐色土	深鉢	口：平縁、LR縦→隆沈線	無	N	6	7.5YR5/4にぶい褐色	Ⅲ2-a?	—	—	—	
254	170	53	S I 13	北西埋土中位黒褐色土	深鉢	胴：沈線、RL縦→刺突列	無	N	4	7.5YR5/3にぶい褐色	Ⅳ1	—	—	—	
254	170	54	S I 13	北西埋土中位黒褐色土	深鉢	口：隆沈線(渦文)	無	M	6	10YR8/2灰白色	Ⅲ2-b	—	—	—	
254	170	55	S I 13	北西埋土中位黒褐色土	深鉢	口：平縁、粘土紐貼付、口唇：刻目、胴：沈線(縦文・縦線状)	内	N	6	5YR6/6褐色	Ⅲ3	—	—	—	内面コゲ、帯状に付着
254	170	56	S I 13	北西埋土中位黒褐色土	深鉢	口：平縁、RLR縦	無	N	6	7.5YR5/4にぶい褐色	Ⅲ	—	—	—	
254	170	57	S I 13	北西埋土中位黒褐色土、 北西埋土上位暗褐色土	深鉢	口：平縁、LR縦→沈線	無	M	2	5YR4/3にぶい赤褐色	Ⅲ3?	—	—	—	
254	170	58	S I 13	北東埋土1/4上位暗褐色土	深鉢	口：平縁、LR縦	外	M	2	7.5YR5/4にぶい褐色	Ⅲ	[17.2]	(23.4)	[7.6]	
254	170	59	S I 13	北東埋土1/4上位暗褐色土	深鉢	口：平縁、LR縦→隆沈線	無	N	10	5YR4/6赤褐色	Ⅲ3?	—	—	—	
254	170	60	S I 13	北西埋土1/4上位暗褐色土	深鉢	胴：隆帯貼付	無	N	2	10YR2/1黒色 5YR3/6暗赤褐色	Ⅲ4-b	—	—	—	朱塗り痕跡あり
254	170	61	S I 13	北西埋土上位褐色土	深鉢	口：平縁、LR+結節(2)縦	無	N	6	5YR6/6褐色	Ⅲ	—	—	—	
254	170	62	S I 13	北西埋土上位褐色土	深鉢	口：平縁、LR縦	無	N	6	10YR4/3にぶい黄褐色	Ⅲ	—	—	—	
255	170	63	S I 13	北西埋土上位黒褐色土	深鉢	口：波状、沈線・刺突列	内外	N	6	10YR3/2黒褐色	Ⅲ4	—	—	—	
255	170	64	S I 13	北西埋土上位黒褐色土	深鉢	口：平縁、沈線、刺突列、RLR縦	無	N	2	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅳ1?	—	—	—	三十稲葉式に類似する刺突文
255	170	65	S I 13	南西埋土上位暗褐色土	深鉢	口：平縁、LR縦	外	N	6	10YR4/2灰黄褐色	Ⅲ?	—	—	—	
255	170	66	S I 13	南西埋土上位暗褐色土	深鉢	口：平縁、LR縦	無	N	6	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ	—	—	—	
255	170	67	S I 13	南西埋土上位暗褐色土	深鉢	口：平縁、LR縦	無	N	6	7.5YR6/3にぶい褐色	Ⅲ	—	—	—	
255	170	68	S I 13	南西埋土上位暗褐色土	深鉢	口：平縁、RL縦	内外	N	4	7.5YR4/2灰褐色	Ⅲ	—	—	—	
255	170	69	S I 13	南西埋土上位暗褐色土	深鉢	口：平縁、沈線・L縦	無	M	6	7.5YR5/3にぶい褐色	Ⅲ4-b	—	—	—	
255	170	70	S I 13	南西埋土上位暗褐色土	深鉢	口：平縁、LR縦	無	N	10	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ	—	—	—	
255	170	71	S I 13	南西埋土上位暗褐色土	深鉢	口：平縁、LR縦→沈線	無	N	6	10YR6/2灰黄褐色	Ⅲ4-b	—	—	—	
255	170	72	S I 13	北東埋土	深鉢	底：網代直	無	N?	7	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ	—	(2.5)	[11.7]	
255	171	73	S I 13	北東埋土	深鉢	胴：LR縦、底：網代直	無	M	2	10YR6/3にぶい黄褐色	Ⅲ	—	(5.9)	8.2	
255	171	74	S I 13	北東埋土、南西埋土	深鉢	胴：LR縦、底：網代直	無	N	6	10YR6/3にぶい黄褐色	Ⅲ	—	(6.3)	[10.4]	
255	171	75	S I 13	北東埋土、北西埋土、南西埋土	深鉢	底：網代直	内	N	7	7.5YR5/4にぶい褐色	Ⅲ	—	(3.6)	[12.1]	
256	171	76	S I 13	北西埋土、南西埋土	深鉢	口：平縁、4単位の突起、沈線+庄痕、刺突、貼付→LR縦横斜	無	N	6	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ4-b	22.1	(20.1)	—	摩滅している
256	171	77	S I 13	北西埋土	深鉢	胴：LR縦→沈線、底：木葉痕・網代直	無	N	7	7.5YR4/3褐色	Ⅲ4	—	(17.7)	98	
256	171	78	S I 13	南東埋土、南西埋土	両耳付壺	口：平縁、胴：RL縦→隆帯、沈線	無	M?	3	2.5YR5/8明赤褐色 7.5YR4/4褐色	Ⅲ4b	[9.8]	(21.9)	—	破損後、2次被熱の痕跡あり
256	171	79	S I 13	南東埋土	深鉢	底：網代直	内	N	3	7.5YR4/3褐色	Ⅲ	—	(3.3)	7.2	摩滅している
256	171	80	S I 13	南東埋土	深鉢	胴：LR縦	内	N	1	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ	—	(4.0)	[6.8]	摩滅顯著
256	171	81	S I 13	南西埋土	深鉢	胴：LR縦	内	N	6	10YR4/2灰黄褐色	Ⅲ	[16.8]	(27.9)	[7.6]	
256	172	82	S I 13	南西埋土	深鉢	胴：LR縦、底：木葉痕	内	M	6	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅲ	—	(6.2)	[9.0]	
256	172	83	S I 13	南西埋土	深鉢	胴：不明	無	N	2	10YR6/4にぶい黄褐色	Ⅲ	—	(2.2)	5.5	
256	172	84	S I 13	南西トレノチ上位暗褐色土	台付深鉢	胴：不明、透しの穿孔あり、脚：4単位?	無	N	3	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ	—	(4.3)	—	
256	172	85	S I 13	南西トレノチ	深鉢	底：庄痕?	無	N	2	7.5YR5/4にぶい褐色	Ⅲ	—	(2.1)	8.4	
257	172	86	S I 14	P P 1 南半埋土1層	深鉢	胴：LR縦、底：網代直	無	N?	3	2.5YR4/6赤褐色	Ⅲ	—	(4.7)	5.5	
257	172	87	S I 14	ベルトB-B・1層	深鉢	口：平縁、胴：RLR縦	無	N	6	10YR8/3浅黄褐色	Ⅲ	—	—	—	
257	172	88	S I 14	北東埋土上層・下位	深鉢	口：平縁、胴：LR縦	無	M	6	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ	—	—	—	
257	172	89	S I 14	北西埋土下位黒色土	深鉢	口：突起あり、RL縦→沈線、刺突	無	M	4	7.5YR5/4にぶい褐色	Ⅲ4-b	—	—	—	
257	172	90	S I 14	北西埋土下位黒色土	深鉢	口：平縁、突起、粘土層貼付、沈線、胴：RL縦(充填?)	無	N	6	5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ4-b	—	—	—	

第22表 縄文土器観察表 (3) (残存値) (復元値)

図版 No.	写真 No.	掲載 No.	出土地点	層位	器種	文様の特徴	痕の 付着	内面 調整	胎土	色調	時期・分類	計測値 (cm)		備考	
												口径	器高 底径		
257	172	91	S I 14	北東埋土1層	深鉢	口：平縁、L + 結節(2)横	無	N 2	10	7.5YR6/4にぶい、橙色	II?				
257	172	92	S I 14	北東埋土1層	深鉢	口：平縁、車輪跡第1類R縦	無	N	4	7.5YR6/6橙色	III				
257	172	93	S I 14	北西埋土1層	深鉢	口：波状、突起部に透し、隆帯 + 刺突、胴：RLR縦	外	N 2	4	10YR4/2灰黄褐色	III 4-b				
257	172	94	S I 14	北西埋土1層	深鉢	口：平縁、RL縦→沈線	無	M	4	7.5YR6/4にぶい、橙色	III 4-a				
257	172	95	S I 14	北東埋土	深鉢	底：本葉痕、網代裏	無	N	3	5YR5/4にぶい、赤褐色	III		(25)	12.6	
257	172	96	S I 14	北東埋土	深鉢	胴：RLR縦→沈線	無	N 2	5	7.5YR6/4にぶい、橙色	III 3?				
258	173	97	S I 14、 S I 15	北東埋土1層下位、北西埋土中位、 南東埋土下位	深鉢	口：平縁、RL縦→沈線、隆帯、刺突	外	N	4	7.5YR6/4にぶい、橙色	III 4-b				摩滅している
258	173	98	S I 15	2次アゼ土層7	深鉢	胴：RL縦→沈線→隆帯	無	N	6	7.5YR4/2灰褐色	III 4-b				
258	173	99	S I 15	2次アゼ土層3	深鉢	口：平縁、RL縦→沈線	無	M?	4	7.5YR5/4にぶい、褐色	III 4-b				
258	173	100	S I 15	ベルトA-A'、3層	深鉢	口：平縁、沈線、RL縦	無	N	10	7.5YR6/4にぶい、褐色	III 4				
258	173	101	S I 15	ベルトB-B'、2層	深鉢	口：平縁、沈線、RL縦→隆帯	内外	N	6	7.5YR4/2灰褐色	III 4-b				
258	173	102	S I 15	南東埋土下位	深鉢	口：平縁、沈線、刺突、RL縦	外	N	6	7.5YR4/2灰褐色	III 4-b				
259	173	103	S I 15	南東埋土下位、北西埋土上・中位	深鉢	口：波状、胴：L R縦→沈線	外	M	6	10YR3/2黒褐色	III 4-b				
259	173	104	S I 15	南東埋土下位	深鉢	口：平縁、RL縦、沈線	外	N	6	5YR5/4にぶい、赤褐色	III 4-b				
259	173	105	S I 15	南東埋土下位	深鉢	口：平縁、沈線→刺突列	内	N	6	7.5YR5/3にぶい、褐色	III 4-b				
259	173	106	S I 15	南東埋土下位	深鉢	口：波状、隆帯、L R縦	外	N	10	10YR4/2灰黄褐色	III 4-b				
259	173	107	S I 15	南東埋土下位	深鉢	口唇：庄痕、口：平縁?	無	N	10	7.5YR5/3にぶい、褐色	III 4-b				
259	173	108	S I 15	北東埋土中位	深鉢	口：平縁、L R縦	無	N	6	7.5YR6/6褐色	III				
259	173	109	S I 15	北東埋土中位、北西埋土上	深鉢	胴：L R縦、底：網代裏	内外	M	2	5YR4/2灰褐色	III 4-b				
259	173	110	S I 15	北西埋土、北西部上層	深鉢	胴：L R縦、底：網代裏	無	N	7	7.5YR6/6褐色	III		(111)	12.9	
259	174	111	S I 15	2次アゼ土層	深鉢	不明	内	N	7	10YR6/3にぶい、黄褐色	III		(28)	10.9	
259	174	112	S I 15	2次アゼ土層	深鉢ミニ チュエ	不明	無	N	6	7.5YR6/4にぶい、褐色	II?		(1.9)	4.0	
259	174	113	S I 15	北西埋土	深鉢	胴：L R縦	無	N?	6	10YR6/3にぶい、黄褐色	III		(60)	[6.5]	
259	174	114	S I 15	北東埋土	深鉢	口：平縁、折り返しあり、胴：L R縦、底：本葉痕	無	N	2	10YR3/2黒褐色	III		[9.2]	3.8	
259	174	115	S I 15	南東埋土	深鉢	胴：L R縦、底：本葉痕・網代裏	無	N	3	7.5YR6/4にぶい、褐色	III		(8.3)	10.5	
259	174	116	S I 15	南東埋土	深鉢	胴：L R縦、底：ケズリ?	無	N	7	10YR7/4にぶい、黄褐色	III		(8.7)	11.1	
260	174	117	S I 18	②床面、②ベルト6層、南西埋土	深鉢	口：平縁、貼付有、胴：L R横→粘土紐貼付文	内	N	6	10YR6/4にぶい、黄褐色	II 2-3		[34.0]	—	
260	174	118	S I 18	②ベルト5層	深鉢	口唇：粘土紐貼付(波状)→L R横、口：平縁	無	N	5	7.5YR5/3にぶい、褐色	II 3				
260	174	119	S I 18	②ベルト4層	深鉢	口：平縁、L R + 結節(2)横	外	N	5	7.5YR5/4にぶい、褐色	II 1-a				
260	174	120	S I 18	②ベルト2層	深鉢	口唇：刺突、口：平縁、胴：L + 結節(2)横	内	N	6	10YR4/3にぶい、黄褐色	II				
260	174	121	S I 18	③東西ベルト2層	深鉢	胴：L R + 結節(2)横、底：網代裏	内外	N	3	7.5YR7/4にぶい、褐色	II?		(7.3)	11.3	
260	174	122	S I 18	①ベルト1層	深鉢	口：平縁、胴：車輪跡第5類R縦?、内面に線状痕?	無	M?	A	10YR3/2黒褐色	II 1-a?				
260	175	123	S I 18	③埋土上位暗褐色土、ベルト際検出面 30~40cm、南東埋土下位、東西ベル トII層	深鉢	口：平縁、胴：RL + 結節(S)横	外	N	2	7.5YR6/4にぶい、褐色	II		[23.2]	(23.4)	—
260	175	124	S I 18	南側東西ベルト際検出面30~40cm	深鉢	口：平縁、胴：L R + 結節(2)横	無	N	11	5YR5/6明赤褐色	II 1-a				摩滅している
261	175	125	S I 18	②埋土下位	深鉢	口：平縁、胴：L R + 結節(2)横	無	N	A?	7.5YR5/3にぶい、褐色	II 1-a				
261	175	126	S I 18	③南東埋土下位④ベルト	深鉢	口：平縁、突起あり、胴：L R + 結節(2)横	外	N 2	11	2.5YR6/8褐色 7.5YR5/6明褐色	II 1-a				
261	175	127	S I 18	③南東埋土下位	深鉢	口：平縁、胴：L R横→粘土紐貼付(湯状)	無	N	7	10YR5/3にぶい、黄褐色	II 2-4				
261	175	128	S I 18	南東埋土下位	深鉢	口：平縁、胴：L R横→沈線(半竹)	無	N	6	7.5YR5/4にぶい、褐色 10YR3/1黒褐色	II				
261	175	129	S I 18	③南東埋土上・下位	深鉢	口：平縁、粘土紐貼付による突起、 胴：L R + 結節(2)横	外	N	7	7.5YR6/4にぶい、褐色	II 1-a				
261	175	130	S I 18	③南東埋土中~下位	深鉢	口唇：刻目、口：平縁、胴：L R + 結節(2)横	外	N	6	7.5YR5/4にぶい、褐色	II 1-a				
261	175	131	S I 18	南東埋土上~中位、中~下位	深鉢	口唇：刻目、口：平縁、胴：L R + 結節(2)横	無	N	A	7.5YR4/2灰褐色	II 1-a				
261	176	132	S I 18	南東埋土上~中位、中~下位	深鉢	口：波状、突起に粘土紐貼付、胴：L R + 結節(2)横	内外	N	5	7.5YR4/3褐色	II 2-4				
261	176	133	S I 18	南東埋土中~下位	深鉢	口唇：庄痕、口：平縁、胴：L R + 結節(2)横	外	N	6	10YR5/3にぶい、黄褐色	II 1-b				
262	176	134	S I 18	南東埋土中~下位	深鉢	口：平縁、RL横? →隆帯 + 刻目、沈線(波状・横 位)	無	M	4	10YR4/2灰黄褐色	II 1-b				

(残存値) [徳元値]

第22表 縄文土器観察表 (4)

図版 No.	写図 No.	掲載 No.	出土地点	層位	器種	文様の特徴	煤の 付着	内面 調整	胎土	色調	時期・分類	計測値 (cm)		備考
												口径	器高 底径	
262	176	135	S I 18	南東理土中～下位	深鉢	口：平縁、胴：L R横、沈線(波状)	無	N	6	7.5YR4/2灰褐色	II 2-3			
262	176	136	S I 18	南東理土中～下位	深鉢	口：平縁、L R横→沈線(横位・波状)	外	N	11	7.5YR4/3褐色	II 2-3			
262	176	137	S I 18	南東理土中～下位	深鉢	口：平縁、組紐、内面の口縁部	無	N 2	11	5YR4/6赤褐色	II			
262	176	138	S I 18	南東理土中～下位	深鉢	口：平縁、胴：L R + 結節(Z)横	無	N	6	7.5YR7/6褐色	II 1-a			
262	176	139	S I 18	南東理土中～下位	深鉢	口唇：内面に粘土細貼付、口：平縁	無	N	6	10YR4/2灰青褐色	II 2-4			
262	176	140	S I 18	南東理土中～下位	深鉢	口唇：庄裏、口：平縁、胴：L R横	無	N	5	7.5YR5/4にぶい褐色	II			
262	176	141	S I 18	南東理土中～下位	深鉢	口：波状、突起部に庄裏と剛突起、 胴：単軸筋5類R縦	無	N	5	5YR5/6明赤褐色	II 3			
262	176	142	S I 18	南東理土上～中位	深鉢	口：平縁、胴：L R + 結節(S)横	外	N	11	7.5YR4/2灰褐色	II			
262	177	143	S I 18	南東理土上～中位	深鉢	口唇：庄裏、口：平縁、胴：L R + 結節(Z)横	内外	N 2	5	7.5YR6/6褐色 7.5YR4/2灰褐色	II			
262	177	144	S I 18	南東理土上～中位	深鉢	口：平縁、胴：L R + 結節(S)横	無	N	5	10YR7/2にぶい黄褐色	II 1-a			
262	177	145	S I 18	南東理土上～中位	深鉢	口：平縁、胴：L R + 結節(Z)横	無	N 2	5	7.5YR4/2灰褐色	II 1-a			
263	177	146	S I 18	③埋土上位	深鉢	口：平縁、胴：L R + 結節(Z)横	無	N	7	10YR3/2黒褐色	II 1-a			
263	177	147	S I 18	③埋土上位	深鉢	口唇：粘土細貼付(波状)、口：平縁	無	N	11	7.5YR4/3褐色	II 2-4			
263	177	148	S I 18	③埋土上位	深鉢	口：平縁?、粘土細貼付+刻目、 胴：L + 結節(Z)横→略帯	外	N	5	7.5YR4/3褐色	II 2-3			
263	177	149	S I 18	③埋土上位	深鉢	口：平縁、胴：L R + 結節(Z)横	外	N	6	5YR5/6明赤褐色 5YR4/3にぶい赤褐色	II 1-a			
263	177	150	S I 18	③埋土上位	深鉢	口唇：刻目、口：平縁、胴：線細(鋸歯状)粘土紐 貼付	外	N	6	7.5YR6/4にぶい褐色 7.5YR3/2黒褐色	II?			
263	177	151	S I 18	③埋土上位	深鉢	口唇：粘土細貼付、口：平縁	外	N	6	7.5YR5/4にぶい褐色	II			
263	177	152	S I 18	③埋土上位	深鉢	口唇：粘土細貼付、口：平縁、胴：L R + 結節(Z)横	無	N	6	5YR6/6褐色	II			
263	177	153	S I 18	③埋土2次精査	深鉢	口：平縁、突起(粘土細貼付)横	無	N	6	5YR4/4にぶい赤褐色 5YR3/2暗赤褐色	II 1-a			
263	177	154	S I 18	③南東理土	深鉢	胴：L横、底：網代裏	内	N	7	7.5YR6/6褐色	II		(47)	
263	177	155	S I 18	南東理土	深鉢	底：網代裏→摩滅	内	N 2	6	7.5YR6/6褐色	II		(46)	
263	177	156	S I 18	③埋土、南側東西ベルト際検出面	深鉢	口唇：L横→沈線	無	N	7A?	5YR3/3暗赤褐色	II 1-a?	[26.4]	(25.2)	
264	177	157	S I 18	④ベルト	深鉢	口唇：刻目、口：平縁、L R + 結節(Z)横	無	N 2	7	7.5YR5/3にぶい褐色	II 1-a			
264	177	158	S I 18	④ベルト	深鉢	不明	内	N	7	5YR5/6明赤褐色	II?		(35)	[10.1]
264	177	159	S I 18	南北ベルト	深鉢	口唇：粘土細貼付(波状)、口：平縁、胴：L R縦 →粘土紐+刻目	無	N	11	7.5YR4/2灰褐色	II 1-b			
264	177	160	S I 18	南北ベルト	深鉢	口唇：粘土細貼付(波状)、口：平縁	外	N	5	7.5YR4/2灰褐色	II 2-4			
264	178	161	S I 18	南北ベルトトレンチ	深鉢	口：平縁、口唇部に庄裏(4個1単位で5単位)、 胴：L R横	無	N	4	5YR6/4にぶい褐色	II	[17.6]	(17.1)	
264	178	162	S I 18	南北ベルトトレンチ	深鉢	口：平縁、胴：L R + 結節(Z)横	無	N	6	5YR4/3にぶい赤褐色 5YR3/2暗赤褐色	II 1-b?	[18.4]	(12.5)	
264	178	163	S I 18	(A区)	深鉢	底：網代裏、L R縦斜	外	N	7	2.5YR6/6褐色	II		(10.3)	[15.4]
264	178	164	S I 18	不明	深鉢	口唇：平縁、胴：組紐	無	N 2	6	5YR4/6赤褐色	II 1-b			
264	178	165	S I 18	不明	深鉢	口唇：刻目、口：平縁、胴：L + 結節(Z)横	無	N	2	7.5YR4/2灰褐色	II 1-b			
265	178	166	S I 19	2次4層NS	深鉢	口：波状?、胴：単軸筋第1類R縦	内外	N	6	7.5YR4/3褐色	II			
265	178	167	S I 19	2次2層NS、北東理中位ベルト際	深鉢	胴：単軸筋第1類R縦、口：平縁、胴：単軸筋第1類?	外	N 2	11	5YR4/3にぶい赤褐色	II			
265	178	168	S I 19	2次2層WE	深鉢	胴：単軸筋第1類R縦?、底：網代裏?摩滅している	内外	N	5	7.5YR5/4にぶい褐色	II 3		(7.4)	[14.7]
265	178	169	S I 19	2次2層WE	深鉢	口唇：庄裏、口：平縁、胴：L R + 結節(Z)横	外	N 2	11	7.5YR5/4にぶい褐色	II			
265	179	170	S I 19	2次2層WE	深鉢	口唇：庄裏、口：平縁、胴：L R縦横	無	N 2	10	5YR6/6褐色	II			細の燃り痕い
265	179	171	S I 19	2次2層WE	深鉢	口：平縁、突起、粘土細貼付+沈線、胴：L R縦横	無	N	11	7.5YR4/2灰褐色	II 2-4			
265	179	172	S I 19	2次2層NS	深鉢	口：波状、突起に庄裏あり、胴：L R + 結節(Z)縦横	内外	N	11	5YR6/6褐色	II			
265	179	173	S I 19	2次1層NS	深鉢	口：平縁、沈線状の委縮斜?	無	N 2	11	7.5YR5/4にぶい褐色	II			
265	179	174	S I 19	2次1層NS	深鉢	口唇：平縁、単軸筋第1類R縦	無	N	5	10YR6/4にぶい黄褐色	II			
266	179	175	S I 19	北東理土2次1層	深鉢	口唇：粘土細貼付あり、口：波状(2単位)、 胴：単軸筋5類R縦、底：網代裏	無	N	3・6	5YR5/8明赤褐色	II 3		(29.9)	10.8
266	179	176	S I 19	北東理中位	深鉢	口：平縁、L R縦?	無	N	6	5YR4/3にぶい赤褐色	II			

第22表 縄文土器観察表 (5)

(残存値) (復元値)

図版 No.	写図 No.	掲載 No.	出土地点	層位	器種	文様の特徴	煤の 付着	内面 調整	胎土	色調	時期・分類	計測値 (cm)			備考
												口径	器高	底径	
266	179	177	S I 19	北東埋中位	深鉢	口唇：庄裏、口：平縁、胴：LR横	無	N 2	11	7.5YR6/6褐色	Ⅱ	—	—	—	
266	179	178	S I 19	北東埋土	深鉢	胴：LR横？	無	N 6	6	5YR5/6明赤褐色	Ⅱ	—	(7.0)	[7.5]	摩滅顯著
266	179	179	S I 19	NE	深鉢	胴：LR縦、底：網代裏	無	N 5	5	5YR4/6赤褐色	Ⅱ	—	(6.0)	[10.0]	
266	179	180	S I 19	NW	深鉢	胴：沈線(縦位)	内	N 7	7	5YR5/6明赤褐色	Ⅱ4?	—	(6.7)	[10.2]	
266	180	181	S I 19	WE	深鉢	口：波状(2単位)？、胴：LR縦横？	口縁	N 6	6	5YR5/6明赤褐色	Ⅱ1-1?	[15.4]	(18.8)	[8.4]	胴部上位に補修孔あり
266	180	182	S I 19	不明	深鉢	口：平縁、突起部に圧痕あり	無	N 6	6	7.5YR4/2灰褐色	Ⅱ	—	—	—	補修孔あり
266	180	183	S I 19	不明	深鉢	口：波状、胴：単軸絡第5頸→粘土紐貼付+圧痕	内外	N 11	11	7.5YR3/2黒褐色	Ⅱ3	—	—	—	
266	180	184	S I 19	ⅢB 5 J、Ⅱ層	深鉢	口：波状、突起(粘土紐貼付)、胴：LR+結節(Z)	内外	N 2	5	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅱ3	—	—	—	
266	180	185	S I 19	ⅢB 5 J、Ⅱ層	深鉢	横：粘土紐貼付	無	N 6	6	10YR3/2黒褐色	Ⅱ1-b	—	—	—	
267	180	186	S I 20	ベルトA-A' 4層	深鉢	口：平縁、刻目、胴：単軸絡第3頸R横	無	N 2	11	5YR6/6褐色	Ⅱ3	—	—	—	
267	180	187	S I 20	ベルトA-A' 4層	深鉢	口：平縁、胴：粘土紐+圧痕	無	N 2	11	5YR6/6褐色	Ⅱ3	—	—	—	
267	180	188	S I 23	西側埋土上位	深鉢	口：平縁、粘土紐貼付の突起、胴：LR+結節(Z)縦	内外	N 2	7	5YR6/6褐色	Ⅱ3	—	—	—	
267	180	189	S I 24	ベルトA-A' 3層、①、②、3層No.3	深鉢	口：波状、胴：単軸絡第1頸L縦	無	N 3	3	5YR4/3にぶい赤褐色	Ⅱ	[23.2]	(34.3)	—	
267	180	190	S I 24	3層No.2	深鉢	口：平縁、胴：LR縦	無	N 2	2	5YR5/6明赤褐色	Ⅱ3?	—	—	—	
267	180	191	S I 24	Ⅲ層No.2	深鉢	口：波状(5単位)、胴：LR縦→隆帯(湯文)	無	M 2	2	10YR7/3にぶい黄褐色	Ⅱ3-a	20.3	20.8	6.6	
267	180	192	S I 24	3層No.1	深鉢	底：木葉裏	内	N 6	6	7.5YR7/6褐色	Ⅱ?	—	(1.65)	6.2	
267	181	193	S I 24	ベルトB-B' 3層	深鉢	口：波状(5単位)、胴：LR縦→沈線(懸垂文)	無	N 6	6	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅱ3-b?	16.3	19.6	—	摩滅している
267	181	194	S I 24	西半埋土1層	深鉢	口唇：庄裏、口：平縁、胴：不明	無	N 2	2	5YR5/6明赤褐色	Ⅱ	—	—	—	
268	181	195	S I 24	北西埋土中位①、②	深鉢	口唇：庄裏、胴：LR縦	無	N 11	11	7.5YR5/4にぶい褐色	Ⅱ3	—	—	—	
268	181	196	S I 24	北西埋土上位、北西埋土中位②	深鉢	胴：LR横、底：網代裏	無	N 6	6	5YR6/6褐色	Ⅱ?	—	—	—	
268	181	197	S I 24	北西埋土中位①	深鉢	口唇：庄裏、口：平縁、胴：LR+結節L横	無	N 6	6	5YR6/6褐色	Ⅱ	—	(11.0)	11.7	
268	181	198	S I 24	南東埋土中位②	深鉢	口唇：庄裏、口：平縁、胴：LR+結節L横	無	N 11	11	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅱ	—	—	—	
268	181	199	S I 24	西半埋土上位②	深鉢	口：平縁、胴：LR縦→沈線(桶印文)(磨消)	無	M 6	6	7.5YR5/4にぶい褐色	Ⅱ3-b	—	—	—	
268	181	200	S I 24	西半埋土上位①	深鉢	口：平縁、刺突列、胴：沈線、LR縦	無	N 10	10	10YR5/3にぶい黄褐色	Ⅱ4-a	—	—	—	
268	181	201	S I 24	北西埋土上位	深鉢	口：波状、胴：沈線、LR縦斜(先貫)	内	N 6	6	7.5YR5/3にぶい褐色	Ⅱ4	—	—	—	
268	181	202	S I 24	南西埋土③	深鉢	口：平縁、胴：LR縦→沈線(磨消)	無	N 10	10	5YR5/6明赤褐色	Ⅱ3-b	—	—	—	
268	181	203	S I 25	貼床埋土②	深鉢	胴：LR縦	無	N 6	6	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅱ?	—	(6.0)	3.7	
268	181	204	S I 25	貼床埋土②	深鉢	胴：L縦？	無	N 2	2	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅱ?	—	(1.9)	3.4	朱附着？
268	181	205	S I 25	南東ベルト埋土下部	深鉢	底：網代裏	無	N 2	7	7.5YR4/2灰褐色	Ⅱ4?	—	—	—	
268	181	206	S I 25	南東ベルト埋土下部	深鉢	口：波状、LR縦→沈線、刺突、隆帯貼付	無	N 2	7	10YR4/4褐色	Ⅱ?	—	(2.7)	11.3	
269	181	207	S I 29	カマド5~6層	深鉢	口：波状、LR縦→沈線、刺突、隆帯貼付	無	M 2	2	7.5YR4/2灰褐色	Ⅱ4-b	—	—	—	
269	181	208	S I 29	周溝埋土	深鉢	口：平縁、胴：LR+結節(Z)横	無	N 6	6	7.5YR5/3にぶい褐色	Ⅱ?	—	—	—	
269	182	209	S I 29	北東1/4埋土下位	深鉢	口：平縁、隆帯、縄文	無	M 6	6	7.5YR5/4にぶい褐色	Ⅱ3	—	—	—	
269	182	210	S I 29	北西1/4埋土下位	深鉢	口：平縁、無文帯、胴：単軸絡第1頸L縦	無	N 6	6	7.5YR6/6褐色	Ⅱ	—	—	—	
269	182	211	S I 29	北東1/4埋土中位	深鉢	口：平縁、無文帯、胴：単軸絡第1頸L縦	無	N 6	6	7.5YR7/4にぶい褐色	Ⅱ4-b	—	—	—	
269	182	212	S I 30	床面P 1	壺	口：平縁、把手状の縦耳貼付、胴：LR縦	無	N 6	6	5YR5/6明赤褐色	Ⅱ4-a	—	—	—	
269	182	213	S I 30	床面P 1・P 3 (上面)、 床面P 3 (下面)	深鉢	横、単位不明	内	N 1	1	5YR6/8褐色 2.5YR4/6赤褐色	Ⅱ4-a	[6.4]	11.1	5.0	朱塗り、被熱により黒色 化した範囲あり
269	182	214	S I 30	西ベルト5層、床面P 2	深鉢	胴：LR+結節(Z)縦、底：網代裏	無	N 6	6	7.5YR7/6褐色	Ⅱ4-b	[24.8]	49.8	11.7	
270	182	215	S I 30	北東1/4埋土中位	深鉢	口：平縁、胴：LR縦→沈線+貼付(磨消)、文様4 単位	無	N 6	6	7.5YR6/6褐色	Ⅱ4	[12.6]	(18.3)	—	補修孔あり
270	182	216	S I 30	北西1/4埋土上位	深鉢	口：平縁、胴：沈線、LR縦	無	N 6	6	5YR6/6褐色	Ⅱ3?	—	—	—	
270	183	217	S I 30~32	炉前庭部埋土、北東1/4埋土上~中位、 南東1/4埋土下位、NSベルト4層、 No.1土器一括、No.2 SEベルト	深鉢	胴：LR縦、底：木葉裏？	無	N 2	2	10YR6/2灰褐色 10YR3/1黒褐色	Ⅱ	—	(2.9)	6.3	
270	183	218	S I 31	NSベルト4層	小型深鉢	口：平縁、胴：LR縦	無	N 7	7	5YR3/3暗赤褐色	Ⅱ2-b	20.9	(22.1)	—	
270	183	219	S I 31	NSベルト4層	深鉢	口：波状、RLR→隆沈線、文様2単位	無	N 2	2	5YR3/3暗赤褐色	Ⅱ2-b	[9.7]	8.5	4.8	
270	183	220	S I 31	NSベルト4層	深鉢	口：波状2、胴：LR縦	無	N 6	6	7.5YR4/4褐色	Ⅱ2-b	14.0	18.4	6.2	
270	183	221	S I 31	NSベルト4層	深鉢	口：波状3?、胴：L縦	無	N 1	1	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅱ?	[12.1]	14.6	5.6	
270	183	222	S I 31	NSベルト4層	深鉢	口：平縁、胴：LR縦	無	N 7	7	5YR5/6明赤褐色	Ⅱ	—	—	—	

第22表 縄文土器観察表 (6)

(残存値) (還元値)

図版 No.	写図 No.	掲載 No.	出土地点	層位	器種	文様の特徴	裏の 付着	内面 調整	胎土	色調	時期・分類	計測値 (cm)		備考		
												口径	器高 底径			
270	183	222	S I 31	N S ベルト 4 層	深鉢	口：波状、隆帯(肥厚)、胴：RL縦→沈線	無	N	6	10YR7/3にぶい、黄褐色	Ⅱ2-b	[23.4]	(23.0)	—		
271	184	224	S I 31	N S ベルト 3・4 層、南西1/4埋土下部	深鉢	口：平線、胴：L R 縦	無	N	6	5YR4/6赤褐色	Ⅱ3?	[28.8]	41.5	11.7		
271	184	225	S I 31	N S ベルト 4 層、南東1/4埋土下位、N S ベルト 4 層、No.1土器一括	深鉢	口：波状3、胴：RL縦→隆沈線、文様3単位?	無	N	6	7.5YR5/4にぶい、褐色	Ⅱ2-b	[24.9]	(15.8)	—	補修孔あり	
271	184	226	S I 31	E ベルト 4 層、No.10土器	深鉢	口：波状2、胴：屈曲部に歪みあり、L R 縦→隆沈線	無	N	6	7.5YR4/3褐色	Ⅱ2-b	[12.0]	14.2	7.0		
271	184	227	S I 31	E ベルト 4 層	小型深鉢	口：平線、L R 縦	無	N	6	10YR4/3にぶい、黄褐色	Ⅱ2-b?	[9.5]	(7.7)	[4.2]		
271	185	228	S I 31	南東1/4埋土下位、E ベルト 2・3 層、No.1土器一括	深鉢	胴：L R 縦、底：網代裏	無	N	2	7.5YR5/6明褐色	Ⅱ2-b?	—	(13.3)	[10.0]		
271	185	229	S I 31	E ベルト 2 層	深鉢	口：波状、胴：L R 縦→沈線	無	N	6	7.5YR5/4にぶい、褐色	Ⅱ2-b	—	—	6.2	補修孔あり	
271	185	230	S I 31	No.1土器一括	深鉢	胴：L R 縦	無	M	6	7.5YR6/6褐色	Ⅲ	—	(11.0)	—		
272	185	231	S I 31	南東1/4埋土下位、No.2・No.3土器一括	深鉢	口：波状、胴：L R 縦→沈線	無	M	6	7.5YR4/3褐色	Ⅲ3	—	—	—		
272	185	232	S I 31	No.4土器一括	深鉢	口：平線、胴：L R 縦→隆沈線	無	N	2	5YR5/4にぶい、赤褐色	Ⅱ2-b	—	—	—		
272	185	233	S I 31	南東1/4埋土上～中位、下位、No.4土器一括	深鉢	口：平線、胴：L R 縦	無	M	7	5YR5/6明赤褐色	Ⅱ2-b	[26.9]	40.5	[10.6]		
272	185	234	S I 31	北西1/4埋土下位	深鉢	口：平線?、胴：隆帯、L R 縦	無	N	6	7.5YR5/4にぶい、褐色	Ⅲ	—	—	—		
272	185	235	S I 31	北西1/4埋土下位	深鉢	口：波状、RL横?→隆帯	無	N	2	7.5YR8/3浅黄褐色	Ⅱ2-a	—	—	—		
272	185	236	S I 31	北西1/4埋土下位	深鉢	口：平線、隆帯、隆沈線、縄文	無	N	6	5YR5/4にぶい、赤褐色	Ⅱ2-b	—	—	—		
272	185	237	S I 31	南東1/4埋土下位	深鉢	口：波状、L R 縦→隆沈線	無	N	6	7.5YR4/6褐色	Ⅲ3	—	—	—		
272	185	238	S I 31	南東1/4埋土下位	深鉢	口：波状、胴：L R 縦→隆沈線+刺突	無	N	7	5YR4/6赤褐色	Ⅱ2-b	—	—	—		
272	186	239	S I 31	南東1/4埋土下位	深鉢	口：2波状、胴：L R 縦、底：網代裏	無	N	7	5YR5/6明赤褐色	Ⅱ2-b	—	—	(7.7)	[8.7]	
272	186	240	S I 31	南西1/4埋土下位	深鉢	口：平線、胴：L R 縦→沈線	無	N	6	7.5YR5/4にぶい、褐色	Ⅲ3	—	—	—		
272	186	241	S I 31	南西1/4埋土下位	深鉢	口：平線、胴：L R 縦→隆帯	内外	N	6	7.5YR7/6褐色	Ⅱ2-a	—	—	(9.3)	10.8	
273	186	242	S I 31	南東1/4埋土上～中位、下位	深鉢	胴：L R 縦→沈線	無	N	6	5YR6/6褐色	Ⅱ2-b?	—	—	—		
273	186	243	S I 31	北東1/4埋土上～中位	深鉢	口：波状、隆帯+刻目、沈線、胴：L R +結節(乙縦)	無	N	7	5YR6/6褐色	Ⅱ4	—	—	—		
273	186	244	S I 31	北西1/4埋土下位	深鉢	口：波状、L R +結節(S 横)→沈線	内	N	7	7.5YR5/4にぶい、褐色	Ⅱ	—	—	—		
273	186	245	S I 32	床面直上	深鉢	口：波状、粘土粒、隆帯+丘痕、胴：単軸筋第1類?	無	N	6	5YR5/6明赤褐色	Ⅱ2-a?	—	—	—		
273	186	246	S I 32	床面直上	深鉢	口：平線、胴：沈線(波状横位)	無	N	6	10YR5/3にぶい、黄褐色	Ⅱ2-3?	—	—	—	織維含?	
273	186	247	S I 33	東側埋土2層	深鉢	口：平線、胴：沈線→L R 横?	無	N	6	7.5YR7/6褐色	Ⅱ4?	—	—	—		
273	186	248	S I 33	西側埋土2層	深鉢	口：平線、胴：L R 縦→沈線	無	N	7	2.5YR5/6明赤褐色	Ⅱ4?	—	—	—		
273	186	249	S I 33	ベルトB-B 2層	深鉢	口：平線、胴：L R 縦	無	N	2	7.5YR7/4にぶい、褐色	Ⅱ4	—	—	—		
273	186	250	S I 33	東側埋土	小型深鉢	底：網代裏	無	N	6	7.5YR7/6褐色	Ⅲ	—	(0.9)	4.0		
273	186	251	S I 33	西側埋土	深鉢	口：波状、胴：L R 縦→沈線	内	N	2	5YR6/6褐色	Ⅱ4-b	—	—	—		
273	186	252	S I 33	西側埋土	深鉢	口：平線、胴：刺突	無	N	6	5YR5/4にぶい、赤褐色	Ⅱ4-b	—	—	—		
273	186	253	S I 33	西側埋土	深鉢	口：波状、胴：沈線、刺突→L R 縦	無	M	2	10YR6/3にぶい、黄褐色	Ⅱ4-b	—	—	—		
273	186	254	S I 34	床面	深鉢	胴：L R 縦、底面直上まで縄文あり	無	-	2	5YR5/4にぶい、黄褐色	Ⅱ?	—	(0.9)	6.1		
273	186	255	S I 34	床面	深鉢	口：平線、胴：L R 縦	無	N	6	5YR5/4にぶい、赤褐色	Ⅱ?	—	—	—		
273	186	256	S I 34	P P 4 埋土	深鉢	口：平線、胴：単軸筋第1類L→隆帯+丘痕	無	N	7	5YR7/6褐色	Ⅱ3	—	—	—		
273	186	257	S I 34	P P 5 埋土	深鉢	口：平線、L R 縦	無	N	7	7.5YR6/4にぶい、褐色	Ⅱ?	—	—	—		
273	186	258	S I 34	A ベルト 10c 層床面直上埋土	深鉢	口：波状、胴：L R 縦→沈線	外	N	6	5YR6/6褐色	Ⅱ4-b	—	—	(3.2)	2.9	
273	186	259	S I 34	B ベルト 10c 層床面直上埋土	深鉢ミニ チュア	不明	無	N	2	5YR5/4にぶい、赤褐色	Ⅱ?	—	—	—		
273	186	260	S I 34	南西埋土中位、埋土上位、B ベルト 2～4層	深鉢	口：平線、刺突、胴：L R 縦、沈線	無	N	6	10YR3/2黒褐色	Ⅱ4-b	—	—	—	補修孔あり	
273	186	261	S I 34	ベルトC-C 1層	深鉢	胴：L R 縦	無	N	6	10YR6/4にぶい、黄褐色	Ⅲ	—	(7.0)	[4.0]		
273	186	262	S I 34	北東③埋土下位	深鉢	口：平線、L R 縦→隆沈線	無	M	6	10YR5/2灰黄褐色	Ⅱ2-a	—	—	—		
273	186	263	S I 34	北東③埋土下位	深鉢	口：平線、胴：L R 縦→隆沈線	無	M	6	5YR5/6明赤褐色	Ⅱ2-b	—	—	—		
273	186	264	S I 34	北東④埋土下位	深鉢	口：平線、胴：単軸筋第1類L縦→隆帯+丘痕	無	N	7	5YR5/4にぶい、赤褐色	Ⅱ3	—	—	—		
274	186	265	S I 34	北西⑤埋土下位	深鉢	口：平線、胴：沈線→L R 縦	無	M	6	7.5YR7/6褐色	Ⅱ4-b	—	—	—	補修孔あり	
274	186	266	S I 34	北西⑥埋土中位	深鉢	口：平線、胴：隆帯→L R 縦	無	N	6	5YR5/4にぶい、赤褐色	Ⅱ3?	—	—	—		
274	186	267	S I 34	北西①埋土中位	深鉢	口：平線、胴：沈線→L R 縦横(充真)	無	M	6	5YR5/4にぶい、赤褐色	Ⅱ4	—	—	—		
274	186	268	S I 34	北西①埋土中位	深鉢	口：平線、隆帯+沈線、沈線	無	N	7	5YR5/6明赤褐色	Ⅱ1?	—	—	—		

第22表 縄文土器観察表 (7)

(残存値) (復元値)

図版 No.	写図 No.	掲載 No.	出土地点	層位	器種	文様の特徴	他の 附着	内面 調整	胎土	色調	時期・分類	計測値 (cm)		備考	
												口径	器高 底径		
274	186	269	S I 34	南西埋土中位	深鉢	口：LR横→隆帯、胴：RL縦→沈線	無	M	6	10YR7/3にぶい黄褐色	Ⅱ2-a	—	—		
274	186	270	S I 34	③埋土中位	深鉢	口：平緑、胴：RL縦→沈線	無	M	6	7.5YR4/3褐色	Ⅱ2-b	—	—		
274	187	271	S I 34	北西埋土⑤上位	深鉢	口：平緑、胴：単軸絡第1類LR縦	無	N	6	7.5YR7/6褐色	Ⅱ3	—	—		
274	187	272	S I 34	北西埋土⑥上位	深鉢	口：平緑、胴：RL縦	無	N	6	5YR5/6明赤褐色	Ⅱ	—	—		
274	187	273	S I 35	炉1埋設土器	深鉢	胴：単軸絡第1類LR縦、底：網代裏	無	N	7	7.5YR6/6褐色	Ⅱ	—	(5.6)	12.4	外面：朱塗り？
274	187	274	S I 35	床上	小型深鉢	胴：RL縦	無	N	6	5YR5/6明赤褐色	Ⅱ	—	(2.2)	38	外面：朱塗り？
274	187	275	S I 35	土器No.1	深鉢	口：平緑、胴：RL縦	外	N	2	7.5YR6/6褐色	Ⅱ	[20.3]	(18.3)	—	外面の下半部黒色化
274	187	276	S I 35	ベルトB-B' 6層	深鉢	口：平緑、胴：RL縦→沈線	外	N	6	7.5YR6/6褐色	Ⅱ3	—	—	—	
274	187	277	S I 35	ベルトB-B' 5層	深鉢	口：波状？、隆帯貼付	無	N	3	7.5YR5/4にぶい褐色	Ⅱ2-a	—	—	—	
274	187	278	S I 35	ベルトC-C' 4層	深鉢	口：平緑、胴：RL縦	無	N	6	7.5YR5/3にぶい褐色	Ⅱ	—	—	—	
274	187	279	S I 35	ベルトB-B' 3層	深鉢	口：平緑、胴：LR+結節(2)縦	無	N	6	10YR3/2黒褐色	Ⅱ4?	—	—	—	
274	187	280	S I 35	ベルトC-C' 3層	深鉢	口：平緑、単軸絡第1類LR→沈線	無	N	6	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅱ4	—	—	—	
274	187	281	S I 35	ベルトA-A' 2層	深鉢	胴：隆帯貼付	無	N	6	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅱ4-b	—	—	—	朱付着
274	187	282	S I 35	ベルトA-A' 1層	小型深鉢	不明	無	N	7	5YR6/6褐色	Ⅱ	—	(0.9)	3.9	
274	187	283	S I 35	ベルトB-B' 1層	深鉢	胴：RL縦、底：木葉裏→網代裏	無	N	6	7.5YR7/6褐色	Ⅱ	—	(3.6)	11.3	
275	187	284	S I 35	北西埋土下位	深鉢	口：波状、胴：LR縦→隆沈線	無	N	7	7.5YR4/3褐色	Ⅱ2-b	—	—	—	
275	187	285	S I 35	北西埋土下位	深鉢	口：平緑、沈線	無	N	7	5YR6/4にぶい褐色	Ⅱ4	—	—	—	
275	187	286	S I 35	北西埋土下位	深鉢	口：平緑、LR縦→隆帯、沈線	無	N	7	10YR5/2灰黄褐色	Ⅱ2-a	—	—	—	
275	187	287	S I 35	北東埋土上位	壺	口：平緑、胴：RL縦→沈線、文様3単位	無	N	7	7.5YR7/6褐色	Ⅱ4	8.0	(8.7)	—	
275	187	288	S I 35	北西埋土中位	深鉢	胴：LR縦、底：網代裏	無	N	6	10YR8/4浅黄褐色	Ⅱ	—	(4.3)	10.7	
275	187	289	S I 35	北西埋土中位	深鉢	口：平緑、RL縦→隆沈線	無	N	7	5YR5/6明赤褐色	Ⅱ2-b	—	—	—	
275	187	290	S I 35	北西埋土中位	深鉢	口：平緑、RL横→隆沈線	無	N	7	10YR6/4にぶい黄褐色	Ⅱ2-a	—	—	—	
275	187	291	S I 35	北東埋土上位	深鉢	口：平緑、RL縦→隆沈線	無	N	7	7.5YR5/4にぶい褐色	Ⅱ3	—	—	—	
275	187	292	S I 35	北西埋土上位	深鉢	口：平緑、刺突、胴：沈線、RL縦	無	N	6	10YR5/4にぶい黄褐色	Ⅱ4-b	—	—	—	
275	187	293	S I 36	QNE埋土上位、QSW埋土下位	深鉢	口：平緑、胴：LR縦→隆帯+圧痕	無	N	2	10YR6/4にぶい黄褐色	Ⅱ3	—	—	—	
275	187	294	S I 36	QNE埋土上位	深鉢	口：平緑、突起あり、胴：単軸絡第1類LR縦	無	N	2	5YR4/3にぶい赤褐色	Ⅱ2-4	—	—	—	
275	188	295	S I 37	東西7セ3層、炉・埋土(土器部)	深鉢	胴：LR+結節(2)縦	無	N	2	10YR7/4にぶい黄褐色	Ⅱ2?	—	(15.8)	—	
275	188	296	S I 37	P P 3埋土	深鉢	口：波状、隆帯、RLR縦	無	N	6	5YR5/6明赤褐色	Ⅱ2-b	—	—	—	
275	188	297	S I 37	東西7セ3層	深鉢	口：平緑、隆帯、沈線	無	N	7	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅱ4	—	—	—	
275	188	298	S I 37	南西埋土	深鉢	口：平緑、RLR縦→沈線	無	N	6	5YR4/4にぶい赤褐色	Ⅱ	—	—	—	
275	188	299	S I 37	南西埋土	深鉢	口：平緑、沈線、刺突	無	N	6	10YR6/3にぶい黄褐色	Ⅱ?	—	—	—	
275	188	300	S I 37	南西埋土	深鉢	口：平緑、沈線、LR縦	無	N	6	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅱ	—	—	—	
275	188	301	S I 37	南西埋土	深鉢	口：平緑、LR縦	無	N	6	10YR6/4にぶい黄褐色	Ⅱ	—	—	—	
275	188	302	S I 37	南西埋土	深鉢	口：波状？、RLR横→隆沈線	無	M	6	7.5YR4/3褐色	Ⅱ2-b	—	—	—	
275	188	303	S I 37	南西埋土	深鉢	口：平緑、LR横→隆帯	無	N	6	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅱ2-a	—	—	—	
276	188	304	S I 37	南西埋土	深鉢	口：波状、隆帯+圧痕、沈線、胴：単軸絡第1類R斜	無	N	7	7.5YR7/4にぶい褐色	Ⅱ4	—	—	—	
276	188	305	S I 37	南西埋土	深鉢	口：平緑、隆帯、沈線	無	N	6	10YR6/3にぶい黄褐色	Ⅱ4?	—	—	—	
276	188	306	S I 37	南西埋土	深鉢	胴：LR縦	内	N	6	5YR5/6明赤褐色	Ⅱ?	—	(2.7)	6.0	
276	188	307	S I 37	南西埋土	浅鉢？	口：平緑、沈線、原体側圧LR、胴：LR横	無	N	2	10YR7/4にぶい黄褐色	Ⅱ	—	—	—	
276	188	308	S I 37	南西埋土	深鉢	底：木葉裏	無	N	2	7.5YR7/6褐色	Ⅱ?	—	1.4	6.4	
276	188	309	S I 38	埋土7層床直上、土器A	深鉢	胴：LR縦、底：木葉裏	無	N	6	10YR7/3にぶい黄褐色	Ⅱ?	—	(9.6)	6.5	
276	188	310	S I 38	埋土7層床直上、土器A	深鉢	底：網代裏	無	N	7	2.5YR7/6褐色	Ⅱ4-b	16.6	21.7	8.4	
276	188	311	S I 38	埋土7層土器B	深鉢	胴：LR縦、底：網代裏	無	N	6	7.5YR7/6褐色	Ⅱ4	—	(21.4)	9.3	
276	189	312	S I 38	4層	深鉢	口：波状、胴：RLR縦、沈線、隆帯	無	N	6	5YR4/3にぶい赤褐色	Ⅱ3-a	—	—	—	
276	189	313	S I 38	4層	深鉢	口：平緑、RLR縦→沈線	無	N	6	5YR5/6明赤褐色	Ⅱ3	—	—	—	
276	189	314	S I 38	北西埋土下位	深鉢	口：平緑、原体側圧(LR、RL)横	無	N	2	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅱ1-b	—	—	—	
277	189	315	S I 39	Ⅱ-1層	深鉢	口：平緑？、隆帯、LR縦	無	N	6	7.5YR4/2灰褐色	Ⅱ4-b	—	—	—	
277	189	316	S I 39	東西7セ1-1層	深鉢	口：平緑、刺突、圧痕	無	N	6	7.5YR6/6褐色	Ⅱ4-b	—	—	—	



第22表 縄文土器観察表 (8) (残存値) (徳元値)

図版 No.	写図 No.	掲載 No.	出土地点	層位	器種	文様の特徴	葺の 付着	内面 調整	胎土	色調	時期・分類	計測値 (cm)		備考	
												口径	器高		底径
277	189	317	S I 39	飯d層	深鉢	口：平縁、LR縦→隆帯	無	N	2	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅲ			補修孔途中	
277	189	318	S I 39	埋土飯d層	深鉢	口：平縁、RLR縦→隆沈線	無	M	6	7.5YR6/3にぶい褐色 2.5YR6/6赤褐色	Ⅲ2-b			朱付着	
277	189	319	S I 39	飯b層	深鉢	口：平縁、胴：無文、底：網代真	無	N	2	7.5YR6/3にぶい褐色	Ⅲ	10.6	10.4	6.3	
277	189	320	S I 39	北西埋土下位	深鉢	口：平縁、胴：無文、底：網代真	無	N	3	5YR4/6赤褐色	Ⅲ	—	(5.1)	9.6	
277	189	321	S I 39	北西埋土下位	小型深鉢	不明	無	N	6	10YR5/3にぶい赤褐色	Ⅲ	—	(2.3)	3.4	
277	189	322	S I 39	北西埋土下位	小型深鉢	胴：RLR縦	無	N	2	5YR6/6褐色	Ⅲ	—	(1.2)	3.5	
277	189	323	S I 39	北西埋土下位	深鉢	口：平縁、RL横→隆沈線	無	N	6	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ2-a				
277	189	324	S I 39	北西埋土下位	深鉢	口：平縁、RLR縦	無	N	6	5YR4/4にぶい赤褐色	Ⅲ2-b				
277	189	325	S I 39	北西埋土下位	深鉢	口：波状、胴：車輪筋第1類L縦→沈線	無	N	3	5YR4/6赤褐色	Ⅲ4				
277	189	326	S I 39	南半埋土下位	深鉢	口：平縁、RLR縦→隆沈線	無	N	2	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅲ2-b				
277	189	327	S I 39	南半埋土下位	深鉢	口：平縁、RLR縦→隆帯	無	N	7	5YR6/6褐色	Ⅲ2-b				
277	189	328	S I 39	北東埋土上位	深鉢	胴：沈線(縦位)	無	N	5	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ4	11.3	14.9	5.8	
277	189	329	S I 39	埋土	深鉢	胴：LR縦	無	N	2	7.5YR5/3にぶい褐色	Ⅲ	—	(1.2)	3.4	
277	189	330	S I 39	埋土	深鉢	口：平縁、RL縦→沈線	無	N	6	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ4-b				
277	189	331	S I 39	埋土	深鉢	口：波状、LR縦→隆帯	無	N	6	7.5YR5/4にぶい褐色	Ⅲ2-b				
277	189	332	S I 39	埋土	深鉢	口：波状、RLR縦→隆帯	無	N	6	7.5YR4/3褐色	Ⅲ2-b				
277	189	333	S I 39	埋土	深鉢	口：波状、RLR縦→隆沈線	無	N	6	10YR4/2灰黄褐色	Ⅲ2-b				
277	189	334	S I 39	埋土	深鉢	口：波状、胴：隆帯、胴：沈線、LR縦？	無	N	6	7.5YR7/4にぶい褐色	Ⅲ4-b				
278	189	335	S I 39・40	No.1土器一括、No.3床面直上土器一括、南北D'アゼ3層	深鉢	口：平縁、胴：RLR縦、底：上げ底で中央部に網代真	無	N	7	④⑤⑥5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅲ4	[20.2]	(33.3)	9.3	
278	189	336	S I 40	埋土上位、下位、床面直上、No.1土器一括、No.2土器一括、No.3床面直上土器一括	深鉢	胴：車輪筋第1類L縦、底：網代真	無	N	7	5YR5/6明赤褐色	Ⅲ2-b?	—	(14.6)	15.5	
278	190	337	S I 40	埋土上部、べルト埋土上位、No.1土器一括、No.3床面土器一括、No.3床面直上土器一括	深鉢	口：平縁、胴：RL+結節(2)縦、底：木葉真	無	N	6	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅲ4	[18.9]	27.5	8.0	補修孔1対あり
279	190	338	S I 40	埋土上部、No.2土器一括、No.3床面土器一括	深鉢	口：平縁、胴：LR+結節(2)縦	無	N	6	5YR5/6明赤褐色	Ⅲ4?	[25.5]	(33.4)	—	
279	190	339	S I 40	No.1土器一括	深鉢	口：平縁、胴：庄真、沈線、LR縦	無	N	2	10YR3/1黒褐色 10YR6/4にぶい黄褐色 ～10YR2/1黒褐色	Ⅲ4-b				
279	190	340	S I 40	QNE埋土	深鉢	口：平縁、胴：LR縦？	無	N	6	7.5YR5/4にぶい褐色	Ⅲ	23.9	(15.4)	—	
279	190	341	S I 41	埋土上位	小型深鉢	口：波状、胴：隆帯(縦位)2本1単位？、底：木葉真	無	M	1	5YR6/6褐色	Ⅲ4	[6.4]	5.0	3.8	
279	190	342	S I 41	埋土上位	深鉢	胴：車輪筋第1A類R2	無	N	2	5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ?	—	(3.9)	9.2	
279	190	343	S I 41	埋土上位	深鉢	口：平縁、沈線(半竹)	無	N	7	5YR7/6褐色	Ⅲ4				
279	190	344	S I 41	埋土上位	深鉢	口：平縁、胴：RL縦	無	N	8	5YR4/4にぶい赤褐色	Ⅲ				
279	190	345	S I 42	貼床埋土	深鉢	口：平縁、RL横→隆帯	無	N	6	7.5YR5/4にぶい褐色	Ⅲ2-a				
279	190	346	S I 42	QNE埋土下位	深鉢	口：平縁、隆帯+沈線	無	N	7	5YR4/3にぶい赤褐色	Ⅲ				
279	190	347	S I 42	埋土	深鉢	口：平縁、縄文→沈線	無	N	6	5YR4/3にぶい赤褐色	Ⅲ2-b				
279	190	348	S I 42	埋土	深鉢	口：平縁、RL縦→沈線	無	N	6	5YR6/6褐色	Ⅲ4				
279	190	349	S I 42	埋土	深鉢	口：平縁、RL横→隆帯	無	M	6	7.5YR7/4にぶい褐色	Ⅲ2-a				
280	190	350	S I 42	埋土	深鉢	口：平縁、沈線、LR斜	内	N	6	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ4-a				
280	190	351	S I 42	埋土	深鉢	口：波状、隆帯	無	M	2	10YR5/1褐灰色	Ⅲ2-a				
280	191	352	S I 43	QNW埋土	深鉢	胴：車輪筋第1A類R縦	無	N	2	7.5YR4/2灰褐色	Ⅲ				
280	191	353	S I 43	QNW埋土	深鉢	口：平縁、胴：車輪筋第1A類RL縦→隆帯→沈線	無	N	11	5YR5/6明赤褐色	Ⅲ3				
280	191	354	S I 43	QSW埋土	深鉢	口：平縁、原体側上RL、隆帯	無	N	7	5YR4/2灰褐色	Ⅲ2-a				
280	191	355	S I 43	べルト埋土	深鉢	口：平縁、RL横→隆帯	無	N	6	5YR4/2灰褐色	Ⅲ2-a				
280	191	356	S I 44	北西埋土1層	深鉢	胴：R縦、底：網代真	無	N	6	5YR6/6褐色	Ⅲ				
280	191	357	S I 44	北西埋土1層	深鉢	口：平縁、隆帯+庄真、胴：車輪筋第1A類R2縦	無	N	11	2.5YR5/6明赤褐色	Ⅲ3	—	(3.9)	[11.0]	
280	191	358	S I 45	埋土下位	深鉢	口唇：庄真、口：平縁、胴：RL縦→隆帯+庄真、沈線	無	N	2	7.5YR7/6褐色	Ⅲ3				
280	191	359	S I 45	②⑥埋土上～中位	深鉢	口：平縁、口縁側突、隆帯+庄真、胴：RL横？	無	N	6	7.5YR5/3にぶい褐色	Ⅲ3				

第22表 縄文土器観察表 (9)

(残存値) (復元値)

図版 No.	写図 No.	掲載 No.	出土地点	層位	器種	文様の特徴	底の 付着	内面 調整	胎土	色調	時期・分類	計測値 (cm)		備考
												口径	器高	
280	191	360	②/⑥埋土上～中位	深鉢	口：平縁、LR+結節(Z)横 口：平縁、胴：L+結節(Z)横、結節部(縁絡文)が強調	無	N	11	7.5YR5/3にぶい褐色	II1-a?	[10.6]	7.0	[7.9]	
280	191	361	埋土中位	深鉢	口：平縁、結節帯、RL横	無	N	11	7.5YR6/4にぶい褐色	II				
280	191	362	埋土中位	深鉢	口唇：平縁、RL+結節(S)横	無	N	11	7.5YR6/4にぶい褐色	II2-3?				
280	191	363	埋土中位	深鉢	口唇：平縁、RL+結節(S)横	無	N	6	7.5YR4/3褐色	II2-3?				
280	191	364	埋土上位	深鉢	口唇：刻目、口：平縁、LR+結節(Z)横	無	N	3	5YR3/1黒褐色	II1-b				白座式?
280	191	365	埋土上位	深鉢	口：波状、突起、胴：車輪跡5類L縦	内	N2	7	2.5YR6/6褐色	II3				
280	191	366	埋土上位	深鉢	口唇：平縁、口：平縁、LR+結節(Z)横	無	N	7	7.5YR6/4にぶい褐色	II1-b				白座式?
281	191	367	埋土上位埋土中位	深鉢	口：波状、3個単位の突起あり、突起は2単位?、胴：無節L縦、底：木葉痕	無	N	6	5YR5/6明赤褐色	II3	[22.0]	27.7	[11.4]	
281	192	368	西埋土上～中位	深鉢	口：波状(3単位)、胴：LR縦→沈線	無	N	6	5YR4/6赤褐色	III3?	[20.5]	22.5	7.7	
281	192	369	東埋土上～中位	深鉢	口唇：粘土紐付、口：平縁	内	N	6	10YR7/3にぶい黄褐色	II2-4				
281	192	370	東埋土上～中位	深鉢	口唇：粘土紐、口：平縁、LR+結節(Z)横+隆帯	内	N	6	5YR4/6赤褐色	II2-4				
281	192	371	埋土上位	深鉢	口唇：平縁、口：平縁、LR+結節(Z)横	無	N	11	7.5YR3/2黒褐色	II1-a				
281	192	372	埋土最下層床面	深鉢	胴：沈線→LR縦	無	N	6	10YR5/3にぶい黄褐色	IV				
281	192	373	埋土中位	深鉢	胴：LR縦→沈線、底：網代痕→ミガキ	無	N	6	7.5YR4/3褐色	III3?			(3.8)	[5.3]
281	192	374	埋土上～中位	深鉢	胴：LR縦→沈線	無	N	7	7.5YR5/2灰褐色	III4?				
281	192	375	埋土上～中位	深鉢	口唇：平縁、無文帯、LR縦	無	N	7	7.5YR5/3にぶい褐色	III4				
281	192	376	北半埋土上～中位	深鉢	口：波状、隆沈線(溝文)、胴：LR縦	無	N	3	10YR5/3にぶい黄褐色	III2-b				
281	192	377	南半埋土上～中位	深鉢	口：平縁、沈線	無	N	7	10YR7/3にぶい黄褐色	III4				
281	192	378	床面直上	深鉢	口唇：平縁、隆帯、隆沈線	無	N	6	7.5YR6/4にぶい褐色	III				
281	192	379	床面直上	深鉢	口唇：刺突、口：波状、突起、胴：車輪跡第1A類L縦	無	N?	7	7.5YR5/4にぶい褐色	III3				
281	192	380	南東埋土上～中位	深鉢ミニ チュア	不明	無	N	1	10YR4/2灰黄褐色	III			(1.9)	2.9
281	192	381	南東埋土上～中位	深鉢	口唇：平縁、LR横→隆沈線	無	M	2	7.5YR3/1黒褐色	III2-b?				
281	192	382	南東埋土上～中位	深鉢	口：波状、LR縦→隆沈線	無	N	6	7.5YR4/3褐色	III2-b				
282	192	383	北西埋土5層(貼床)、6層、土器No.1	深鉢	口：ほぼ平縁、内側に4単位の突起、無文帯の端部に粘土付文が上下2段、LR縦→沈線(文様4単位)	無	N	—	7.5YR5/3にぶい褐色	III4-b	21.5	(30.9)	—	
282	192	384	南西埋土、北東埋土下位、南東埋土下位	深鉢	口：波状、突起あり、LR縦、沈線、刺突	無	N	6	7.5YR6/4にぶい褐色	III5				
282	192	385	床面直上	深鉢	口唇：平縁、原体正縦L、頸：刺突列、胴：沈線(半竹)縦→斜	無	N	7	③5YR5/6明赤褐色 ④2.5YR6/6褐色	II4	[14.8]	[23.3]	10.0	底：形状楕円形
282	192	386	埋土最下層焼失時堆積層	深鉢	口：LR横→隆沈線	無	N	2	7.5YR6/3にぶい褐色	III2-b				
282	192	387	Nべルト3層、QSEEべルト3層	深鉢	口：波状、沈線、刺突、隆帯、胴：車輪跡第1A類L縦	無	N	7	5YR4/6赤褐色	II4				
282	192	388	QSEE埋土、QSEEべルト3層	深鉢	口唇：平縁、隆帯、原体側正、LR、胴：LR縦	無	N	2	5YR5/6明赤褐色	III2-a				
282	192	389	Wべルト3層	深鉢	口唇：平縁、LR横→沈線	無	N	3	10YR4/3にぶい黄褐色	III2-a				
282	192	390	QSWべルト3層	深鉢	口唇：平縁、LR斜→沈線	無	N	2	7.5YR6/3にぶい褐色	III2-a				
282	193	391	QSWべルト3層	深鉢	口唇：平縁、口縁部に隆帯、LR縦	無	M	7	7.5YR4/3褐色	III2-b				
282	193	392	SWべルト1層、QSWべルト3層	深鉢	胴：LR縦、底：網代痕	無	N?	7	7.5YR6/4にぶい褐色	III			(12.6)	15.5
283	193	393	QNE埋土	深鉢	口唇：平縁、胴：LR+結節(Z)横→粘土紐付	無	N	7	7.5YR5/4にぶい褐色	III2-4				
283	193	394	QNE埋土、QSW埋土	深鉢	口唇：平縁、刺突、刺突列	無	N	7	7.5YR3/3暗褐色	II4				
283	193	395	QSEE埋土	深鉢	口唇：波状(4単位?)、胴：LR縦	無	N	6	7.5YR4/3褐色	III2	[10.8]	(7.7)	—	—
283	193	396	QSEE埋土	深鉢	口唇：平縁、沈線、刺突列	無	N	7	5YR3/1黒褐色 5YR5/6明赤褐色	III1				
283	193	397	埋土QEEES	深鉢	胴：LR横、底：網代痕	無	N	2	5YR5/6明赤褐色	III			(6.0)	7.2
283	193	398	埋土QEEES	深鉢	口唇：平縁、LR横→沈線	内	N	7	5YR3/1黒褐色	III2-a				
283	193	399	埋土QEEES	深鉢	口唇：波状、隆帯+沈線、頂部に溝文、胴：LR縦→沈線	無	N	2	7.5YR4/2灰褐色	III2-b				覆林式
283	193	400	埋土	深鉢	口唇：平縁、口縁正横、粘土紐付(剥落?)	無	N2	7	7.5YR5/3にぶい褐色	III3?				
283	193	401	土器A、土器B	深鉢	口唇：小波状口縁、単位不明、胴：LR縦→磨消→ミガキ	無	N	2	7.5YR6/3にぶい褐色	III3-b?	[23.2]	(24.9)	—	—

第22表 縄文土器観察表 (10) (残存値) (徳元値)

図版 No.	写図 No.	掲載 No.	出土地点	層位	器種	文様の特徴	煤の 付着	内面 調整	胎土	色調	時期・分類	計測値 (cm)			備考	
												口径	器高	底径		
283	193	402	S I 54	A-A'埋土2層	深鉢	胴：LR縦？	無	N	6	5YR6/6橙色	Ⅲ	—	(2.1)	5.2		
283	193	403	S I 54	A-A'埋土1層	深鉢	口：平縁、RLR縦→沈線(磨消)	無	N	6	2.5YR5/6明赤褐色	Ⅲ3	—	—	—		
283	193	404	S I 54	埋土 (9 g-9 h 間)	深鉢ミニ チュア	胴：LR縦	無	N	2	10YR6/4にぶい黄褐色	Ⅲ?	—	(1.7)	3.5		
283	193	405	S I 54	埋土 (9 g-9 h 間)	深鉢	胴：LR縦、底：木葉痕	無	N	3	7.5YR6/4にぶい橙色	Ⅲ	—	(13.5)	[9.5]	※復元時に径が広がる？	
283	193	406	S I 54	埋土 (9 g-9 h 間)	深鉢	口：平縁、隆帯	無	M	6	2.5YR4/6赤褐色	Ⅲ	—	—	—		
283	194	407	S I 54	埋土 (9 g-9 h 間)	深鉢	口：平縁、RLR縦→隆沈線(湯文)	無	M	6	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅲ2-b	—	—	—		
283	194	408	S I 54	埋土 (9 g-9 h 間)	深鉢	口：平縁、RLR→隆沈線	無	N	6	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅲ2-b	—	—	—		
284	194	409	S I 54	埋土 (9 g-10 h 間)	深鉢	口：平縁、RLR縦→沈線(磨消)	無	N	6	2.5YR5/6明赤褐色	Ⅲ3	—	—	—		
284	194	410	S I 54・55	A-A'埋土4層 埋土 (9 g-9 h 間)	深鉢	胴：RLR縦	無	N	7	5YR6/6褐色	Ⅲ2-b?	—	(12.6)	11.2		
284	194	411	S I 55	埋土	深鉢	胴：LR縦→隆沈線、(文様4単位)	無	N	2	5YR6/6褐色	Ⅲ2-b	—	(5.7)	—		
284	194	412	S I 55	埋土	深鉢	口：平縁、LR縦→粘土紐貼付	無	N	2	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ	—	—	—		
284	194	413	S I 55	埋土	深鉢	口：平縁、RLR縦→隆沈線(湯文)	無	N	6	5YR6/6褐色	Ⅲ2-b	—	—	—		
284	194	414	S I 55・65・73	埋土3層、Nベルト3層、東側埋土	深鉢	口：平縁、沈線、原体側面圧痕L、胴：LR横？	無	N	5	10YR6/4にぶい黄褐色	Ⅳ?	—	—	—		
284	194	415	S I 56	P P 7埋土	深鉢	口：波状？突起、隆帯貼付+刺突	無	N	7	10YR4/2灰黄褐色	Ⅲ3	—	—	—		
284	194	416	S I 56	埋土版⑩層	蓋	口：平縁、隆帯(横)、縦耳、突起、RLR縦	無	N	7	2.5YR4/6赤褐色	Ⅲ2-b	—	—	—		
284	194	417	S I 56	埋土	深鉢	口：平縁、LR縦→隆沈線(湯文)	無	N	6	2.5YR5/6明赤褐色	Ⅲ2-b	—	—	—		
284	194	418	S I 56・73	南北アゼ埋土3層、埋土下層	深鉢	口：平縁、LR縦→沈線(湯文)	無	M	6	2.5YR5/6明赤褐色	Ⅲ3	—	—	—		
284	194	419	S I 57	QNW埋土	深鉢	口：平縁、胴：単軸筋第5類R縦	無	N	7	5YR4/2灰褐色	Ⅲ3	—	—	—		
284	194	420	S I 57	QNW埋土	深鉢	口：平縁、胴：RLR縦→隆帯+刺突	無	N	7	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ3	—	—	—		
284	194	421	S I 57	QNW埋土、ベルト埋土	深鉢	口：平縁、口縁隆帯貼付、胴：オオバコ回転縦	無	N2	7	5YR4/6赤褐色	Ⅲ4?	—	—	—		
285	194	422	S I 57	ベルト埋土	深鉢	口：平縁、胴：単軸筋第1A類R縦→隆帯+圧痕	無	N	6	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ3	—	—	—		
285	194	423	S I 57	ベルト埋土	深鉢	口：平縁、胴：単軸筋第1A類R縦	無	N	6	5YR6/4にぶい褐色	Ⅱ	—	—	—		
285	194	424	S I 57	ベルト埋土	深鉢	口唇：圧痕、口：平縁、胴：単軸筋第5類L縦→隆帯+圧痕	無	N2	7	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅲ3	—	—	—		
285	194	425	S I 57	ベルト埋土	深鉢	口：平縁、圧痕、胴：沈線文	無	N2	7	10YR7/2にぶい黄褐色	Ⅲ3	—	—	—		
285	195	426	S I 57	ベルト埋土	深鉢	口：平縁、胴：単軸筋第1類L縦？	無	N2	6	7.5YR4/3褐色	Ⅱ	—	—	—		
285	195	427	S I 58	P 1	深鉢	胴：RL縦→隆沈線(湯文・文様3単位)	無	M	2	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ2-b?	—	(7.3)	5.3		
285	195	428	S I 58	西埋土・下位 Aベルト8～11層下位	深鉢	胴：RL縦	内	N	7	5YR6/6褐色	Ⅲ	—	—	(7.2)	[8.5]	
285	195	429	S I 58	Aベルト8～11層下位	深鉢	口唇：刺突、口：波状？、胴：LR横→粘土紐+刺突列	無	N	2	7.5YR4/2灰褐色	Ⅲ2-4	—	—	—		
285	195	430	S I 58	西埋土下位	深鉢	口：平縁、RL縦→隆沈線(湯文)	外	M	6	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ2-b	—	—	—		
285	195	431	S I 58	埋土下位	深鉢	口：平縁、粘土紐貼付、胴：LR横→粘土紐貼付	外	N	6	7.5YR3/2黒褐色	Ⅲ2-4	—	—	—		
285	195	432	S I 58	埋土下位	深鉢	口唇：圧痕、口：波状、突起、胴：LR+結節(乙縦)	無	N	6	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ3	—	—	—		
285	195	433	S I 58	埋土下位	深鉢	口：平縁、突起、胴：LR横→隆帯+沈線	外	N	6	7.5YR3/1黒褐色	Ⅲ3	—	—	—		
286	195	434	S I 58	南埋土・西埋土中～下位 南東埋土・西埋土上位 Aベルト・Bベルト4～7層中位	深鉢	口：RLR縦→隆沈線、口縁の突起4単位？、胴：RLR横	無	N	6	5YR6/6褐色	Ⅲ2-b	[24.6]	29.8	[7.6]		
286	195	435	S I 58	南埋土中位、中～下位 Aベルト・Bベルト4～7層中位	深鉢	口：波状、上面縁が隅丸方形形状、LR縦→沈線、口縁：隆沈線(湯文)	無	N	6	5YR3/3暗赤褐色	Ⅲ2-b?	[23.4]	(22.3)	—		
286	195	436	S I 58	南埋土中～下位	深鉢	口：平縁、胴：LR縦	無	N	6	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅲ	[14.4]	(13.7)	—	摩滅している	
286	195	437	S I 58	西埋土中～下位	深鉢	口：平縁、胴：LR横→隆帯	外	N	2	7.5YR4/3褐色	Ⅲ2-a	—	—	—		
286	195	438	S I 58	Aベルト4～7層 (中位)	小型深鉢	口：波状？、胴：RLR縦	無	M	6	7.5YR5/3にぶい褐色	Ⅲ	[9.4]	9.0	[6.2]		
286	195	439	S I 58	Aベルト4～7層 (中位)	小型深鉢	胴：RLR縦→沈線(楕円文)	無	N	6	5YR4/6赤褐色	Ⅲ2b～3a	—	(5.5)	[6.6]		
286	195	440	S I 58	Aベルト4～7層 (中位)	深鉢	口：平縁、原体側圧、刺突列、胴：LR+RL結束1横	無	M	2	7.5YR7/3にぶい褐色	Ⅲ4	—	—	—	摩滅している 円筒下層4式？	
286	196	441	S I 58	Aベルト4～7層 (中位)	深鉢	口唇：圧痕、口：平縁？、突起、胴：LR縦→隆帯+圧痕	無	N	3	5YR6/6褐色	Ⅲ3	—	—	—		
286	196	442	S I 58	Aベルト4～7層 (中位)	深鉢	口：平縁？、胴：LR縦→沈線+刺突	無	M	6	7.5YR5/3にぶい褐色	Ⅲ3	—	—	—	最花式？	
286	196	443	S I 58	Bベルト4～7層 (中位)	深鉢	口：波状、胴：LR縦	無	N	2	2.5YR5/6明赤褐色	Ⅲ	[11.1]	11.4	[5.4]		
287	196	444	S I 58	南埋土中位	深鉢	口：平縁、RLR横→隆帯 胴：RLR縦	無	N	6	7.5YR5/4にぶい褐色	Ⅲ2-a	—	—	—		

第22表 縄文土器観察表 (11)

(残存値) (単位: cm)

図版 No.	写図 No.	掲載 No.	出土地点	層位	器種	文様の特徴	煤の 付着	内面 調整	胎土	色調	時期・分類	計測値 (cm)		備考	
												口径	器高 底径		
287	196	445	S I 58	南埋土上～中位	深鉢	胴: LR縦	無	N	6	7.5YR5/3にぶい褐色	Ⅲ	—	(11.0)	[7.0]	
287	196	446	S I 58	南埋土上～中位	深鉢	胴: RLR縦→沈線	無	N	2	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅲ2-b	—	(6.0)	[9.5]	
287	196	447	S I 58	南埋土上～中位	小型深鉢	胴: RLR縦	無	N	6	5YR4/4にぶい赤褐色	Ⅲ2-b?	—	(3.5)	[4.5]	
287	196	448	S I 58	西埋土上～中位	深鉢	口: 波状・丸突起4、小突起4、隆沈線(楕円)→胴突、胴: LR縦→沈線、底: 網代痕→ミガキ	内	M	6	5YR4/6赤褐色	Ⅲ3-a	[22.4]	(25.3)	[9.8]	
287	196	449	S I 58	北西埋土上～中位	深鉢	口: 平縁、RL縦→隆沈線、隆帯	無	N	6	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅲ2-b	—	—	—	
287	196	450	S I 58	南埋土上～中位	深鉢	口: 平縁、RLR縦→沈線	無	N	6	5YR5/6明赤褐色	Ⅲ3	—	—	—	
287	196	451	S I 58	南埋土上～中位	深鉢	口: 平縁、RL+結節(Z)横→隆帯+圧痕	無	N	6	7.5YR5/2灰褐色	Ⅲ1-b	—	—	—	
287	196	452	S I 58	南埋土上～中位	深鉢	口: 平縁、胴: 車輪筋第2縦? 縦? →隆帯+圧痕	無	N2	7	5YR6/6褐色	Ⅲ3	—	—	—	
287	196	453	S I 58	南埋土上～中位	深鉢	口: 平縁?、車輪筋第5縦縦→隆帯+圧痕	無	N	6	5YR6/6褐色	Ⅲ3	—	—	—	
287	196	454	S I 58	南東埋土上位	深鉢	不明	内	N	7	5YR5/6明赤褐色	Ⅱ	—	(2.1)	[11.6]	
287	196	455	S I 58	南東埋土上位	深鉢	口: 波状、隆帯(肥厚)、胴: 車輪筋第1環R	無	N2	7	5YR4/6赤褐色	Ⅱ	—	—	—	
287	196	456	S I 58	南東埋土上位	深鉢	口: 平縁、RLR縦→隆帯	無	N	6	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ3	—	—	—	
287	196	457	S I 59	Eペルト埋土7層	深鉢	口: 平縁、LR縦→隆沈線	無	M	2	10YR3/1黒褐色	Ⅲ2-b	—	—	—	
287	196	458	S I 59	Wペルト埋土6層	深鉢	口: 波状、胴: LR縦	外	M	2	7.5YR5/3にぶい褐色	Ⅲ	—	—	—	外面に未付着
287	196	459	S I 59	QNW埋土下位	深鉢	口: 平縁?、胴: LR横→隆沈線	無	N	2	10YR7/3にぶい黄褐色 2.5YR4/6赤褐色	Ⅲ2-b	—	—	—	外面に未付着
288	197	460	S I 59・60	QNW埋土下位、埋土下位、埋股土器1	深鉢	口: 平縁、胴: LR縦→沈線(文様4単位)、底: 木葉痕	外	N	6	7.5YR6/6褐色	Ⅲ4-a	26.2	40.0	8.6	欠損後の被熱痕あり
288	197	461	S I 59・60	床面直上、土器No.3床面直上	深鉢	底: 木葉痕、LR縦(磨滅している)	無	N	6	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ?	—	(23.0)	[10.2]	破損後、二次被熱の痕跡あり
288	197	462	S I 59・60	QNW埋土下位、埋土下位、Nペルト埋土10層	深鉢	口: 小波状、LR横→隆帯(溝文)、胴: LR縦→沈線	無	M	6	5YR5/6明赤褐色	Ⅲ2-a?	[12.0]	20.2	[6.2]	
288	197	463	S I 60	埋土下位、Nペルト埋土1層・9層、Nペルト埋土10層、土器一括No.1	深鉢	口: 平縁、LR縦	外	M	2	7.5YR7/4にぶい褐色	Ⅲ4	[21.7]	(20.3)	—	外面疎付着、煮こぼれの痕跡?
289	198	464	S I 60	埋土下位、Nペルト埋土10層	深鉢	口: 平縁、LR縦	無	N	6	7.5YR8/4黄褐色	Ⅲ4?	[22.9]	(24.1)	—	
289	198	465	S I 60	WEペルト(S)埋土下位	深鉢	口: 平縁、刺突列、LR縦→隆沈線	無	N	10	2.5YR5/6明赤褐色	Ⅲ2-b	—	—	—	
289	198	466	S I 60	WEペルト(S)埋土下位	深鉢	口: 平縁、RLR縦→隆沈線	無	N	6	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ2-b	—	—	—	
289	198	467	S I 60	埋土下位	深鉢	胴: RLR縦、底: 網代痕	無	N	6	7.5YR5/4にぶい褐色	Ⅲ	—	(5.7)	11.2	
289	198	468	S I 60	埋土下位	深鉢	口: 波状、胴: RLR縦→沈線	無	N	6	7.5YR3/1黒褐色 7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ2-b	—	—	—	
289	198	469	S I 60	埋土下位	深鉢	口: 平縁、LR+結節(Z)縦	無	N2	7	10YR6/3にぶい黄褐色	Ⅲ	—	—	—	
289	198	470	S I 60	Nペルト(E)埋土上位	深鉢	胴: LR縦、底: 網代痕	無	N	6	7.5YR5/2灰褐色	Ⅲ?	—	(3.8)	[8.8]	
289	198	471	S I 60	Nペルト(E)埋土上位	深鉢	口: 平縁、隆帯(溝文)、LR縦	無	N	6	7.5YR3/2黒褐色	Ⅲ2-b	—	—	—	
289	198	472	S I 60・69	炉埋土、QNE埋土上位	深鉢	口: 平縁、L縦?	無	M	6	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ	[11.9]	(13.5)	[5.9]	
290	199	473	S I 61	③埋土中位③埋土下位④埋土中位14層 Cペルト14層 炉P3	深鉢	口: 平縁、胴: LR+結節(Z)縦、底: 網代痕	無	N	6	7.5YR7/6褐色 10YR7/4にぶい黄褐色	Ⅲ4	[27.0]	(48.1)	[11.8]	磨滅著しい(特に胴部下半)
290	199	474	S I 61	③埋土下位 ④埋土中位12層 Aペルト11・13層	深鉢	口: 平縁、胴: LR縦	無	N	6	5YR6/6褐色	Ⅲ4	[24.0]	(22.8)	—	
290	199	475	S I 61	Aペルト9層	深鉢	口: 平縁、胴: LR縦	無	M	6	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ	—	—	—	
290	199	476	S I 61	Aペルト9層 Cペルト9層	深鉢	胴: LR縦	無	N	6	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ4?	—	(16.6)	7.0	
290	199	477	S I 61	Aペルト9層	深鉢	底: 木葉痕	無	N	6	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅱ?Ⅲ?	—	(2.6)	9.2	
290	199	478	S I 61	Dペルト9層	深鉢	胴: LR縦? (磨滅して不鮮明)	無	N	6	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅱ?	—	(3.6)	9.7	
290	199	479	S I 61	Aペルト北8・9層	深鉢	口: 波状、LR縦、沈線	無	M	6	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ4	—	—	—	
291	200	480	S I 61	Aペルト9層、Cペルト6～7層	壺	口: 波状、隆帯横溝、胴: LR縦→沈線	無	N	7	7.5YR7/4にぶい褐色	Ⅲ4-b	—	—	—	
291	200	481	S I 61	④埋土中黒色土内	小型深鉢	無文	無	N	7	7.5YR7/4にぶい褐色	Ⅲ?	[5.2]	(6.6)	[3.8]	
291	200	482	S I 61	④埋土中黒色土内	小型深鉢	口: 2波状、胴: LR縦→沈線(溝文・円文)	無	M	7	5YR4/4にぶい赤褐色	Ⅲ2-b	[9.9]	10.6	4.6	
291	200	483	S I 61	④埋土中位	深鉢	底: 網代痕	無	N	6	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ?	—	(3.0)	[9.0]	
291	200	484	S I 61	④埋土中位	深鉢	口: 平縁、胴: LR縦→沈線(無文帯)	無	M	2	5YR6/6褐色	Ⅲ4-a	[12.1]	14.3	5.3	
291	200	485	S I 61	⑤埋土中位	小型深鉢	胴: LR縦	無	N	2	7.5YR6/3にぶい褐色 10YR3/1黒褐色	Ⅲ?	[8.2]	5.3	3.6	

(残存値) [徳元値]

第22表 縄文土器観察表 (12)

図版 No.	写取 No.	出土地点	層位	器種	文様の特徴	痕の 付着	内面 調整	胎土	色調	時期・分類	計測値 (cm)		備考
											口径	器高	
291	200	486 S I 61	③埋土中位	深鉢	口：波状、刺突、胴：L縦、沈線、圧痕	無	M	2	7.5YR7/4にぶい橙色	Ⅲ4			
291	200	487 S I 61	⑤埋土中位	深鉢	口：波状、LR縦→隆沈線	無	M	7	2.5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅲ2-b			
291	200	488 S I 61	⑥埋土中位	深鉢	口：平縁、RL横→隆帯、胴：RL縦→沈線	無	N	6	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅲ2-b			
291	200	489 S I 61	埋土中位	深鉢	口：平縁、RLR縦→隆沈線	内	M	2	10YR8/4浅黄褐色	Ⅲ2-a?			
291	200	490 S I 61	①埋土上位 ⑥埋土中位	深鉢	口：波状、L縦→沈線(磨消)	無	N	6	5YR5/6明赤褐色	Ⅲ3			
291	200	491 S I 61	④埋土上～中位	深鉢	胴：RL縦(磨減著しい)	無	N	7	5YR6/6褐色	Ⅲ?	(79)	110	
291	200	492 S I 61	⑥埋土上～中位	深鉢	口：平縁、LR縦、沈線	内	N	7	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅲ4?			
291	200	493 S I 61	北埋土上位	深鉢	底：網代裏	内	N	2	7.5YR6/4にぶい橙色	Ⅲ?	(29)	90	
291	200	494 S I 61	北埋土上位	深鉢	口：平縁、LR縦、刺突	無	N	6	7.5YR6/4にぶい橙色	Ⅲ4			
292	200	495 S I 62	埋土中～下位	深鉢	口唇：刺突 口：波状、胴：単軸絡第1A類R2縦→隆帯+刺突	無	N	2	5YR6/5にぶい褐色	Ⅲ3			
292	200	496 S I 62	埋土中位	深鉢	口唇：刺突、口：波状、単軸絡第5類R2縦→隆帯+刺突	無	N	2	7.5YR5/3にぶい褐色	Ⅲ2-4			
292	200	497 S I 62	埋土中位	深鉢	口唇：刺突、口：波状、単軸絡第5類R2縦→隆帯+刺突	無	N	6	5YR6/6褐色	Ⅲ3			
292	200	498 S I 62	埋土上～中位	深鉢	胴：単軸絡第4類R縦	内	N	5	5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ4?	(60)	130	底：中央に凹凸あり
292	200	499 S I 62	埋土上～中位	深鉢	口：波状、突起、刺突、胴：LR+RL結束L縦+隆帯+刺突	無	N	7	7.5YR5/3にぶい褐色	Ⅲ3			
292	200	500 S I 63	QNE埋土	深鉢	胴：RLR縦	無	N	2	7.5YR7/4にぶい褐色	Ⅲ			
292	200	501 S I 63	QNE埋土	深鉢	口：平縁、RLR縦→隆帯(満文)	無	N	6	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ2-b			
292	201	502 S I 64	QNE埋土6層、床面直上	深鉢	口：平縁、LR縦	無	N	6	5YR6/6褐色	Ⅲ4?	[278]	(294)	
292	201	503 S I 64	QNE埋土6層	深鉢	胴：RL縦	無	N	6	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ?	(193)	92	
292	201	504 S I 64	Eペルト6層	深鉢	胴：LR縦、底：網代裏(磨減している)	無	N	2	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ?	(70)	[92]	
293	201	505 S I 64	QNE埋土6層	深鉢	口：平縁、LR縦→沈線	無	N	6	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅲ4			
293	201	506 S I 64	土器No.1	深鉢	胴：LR縦→沈線(磨消)→隆帯貼付、(文様4単位)	無	N	7	10YR7/4にぶい黄褐色	Ⅲ4-b	(180)	—	
293	201	507 S I 64	QSE埋土下位	深鉢	胴：LR縦	無	N	6	7.5YR5/3にぶい褐色	Ⅲ?	(30)	[58]	底部の厚い土器
293	201	508 S I 64	QNW埋土下位	深鉢	口：平縁、胴：LR縦	無	N	6	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ			
293	202	509 S I 64	QNW埋土下位	深鉢	口：平縁、胴：LR縦	外	N	8	7.5YR5/4にぶい褐色	Ⅲ4			
293	202	510 S I 64	QSE埋土	深鉢	底：網代裏	無	N	6	7.5YR5/3にぶい褐色	Ⅲ?	(19)	[70]	
293	202	511 S I 64	QNE埋土	深鉢	口：波状、LR縦→沈線	無	N	6	5YR6/6褐色	Ⅲ3			
293	202	512 S I 64	QNW埋土	深鉢	口：波状、LR縦→沈線、刺突	無	N	6	5YR4/2灰褐色	Ⅲ4-b			
293	202	513 S I 64・65	PP4埋土、QSE埋土下部、Sペルト4層	深鉢	胴：RLR縦	無	N	6	2.5YR5/6明赤褐色	Ⅲ	(56)	[82]	
293	202	514 S I 65	Nペルト3層	深鉢	胴：LR縦、底：網代裏	無	N	7	7.5YR5/3にぶい褐色	Ⅲ	(57)	[94]	
293	202	515 S I 65	Nペルト3層	深鉢	口：平縁、胴：L縦→沈線(無文帯)	無	M	6	7.5YR7/4にぶい褐色	Ⅲ?	(27)	55	
294	202	516 S I 65	Nペルト3層	深鉢	口：平縁、RL縦→隆沈線(満文)	無	M	2	5YR5/6明赤褐色	Ⅲ2-b			
294	202	517 S I 65	Nペルト3層	深鉢	口：平縁、RL横→隆帯	無	M	2	7.5YR7/3にぶい褐色	Ⅲ2-a			
294	202	518 S I 65	Nペルト3層	深鉢	口：平縁、RL縦→沈線	無	N	6	5YR4/4にぶい赤褐色	Ⅲ3?			
294	202	519 S I 65	QSW埋土上・下部、Sペルト3層、Wペルト2層・3層	深鉢	胴：RLR縦	無	N	7	5YR4/6赤褐色	Ⅲ2-b?	(327)	[110]	外面：付着物あり、粘土起源の土7.5YR6/6褐色
294	203	520 S I 65	Sペルト3層	深鉢	口：平縁、胴：RL縦→沈線	無	M	6	5YR5/6明赤褐色	Ⅲ3			
294	203	521 S I 65	Sペルト3層	深鉢	口：平縁、胴：RL縦→沈線、隆帯	無	N	11	5YR5/6明赤褐色	Ⅲ3			
294	203	522 S I 65	Wペルト3層	深鉢	口：波状、胴：LR縦、沈線	無	N	6	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ4			
294	203	523 S I 65	Nペルト2層	深鉢	口：平縁、突起あり、隆帯貼付	無	M	2	7.5YR4/2灰褐色	Ⅲ2-a?			
294	203	524 S I 65	Eペルト2層	深鉢	口：平縁、刺突列、LR縦→沈線	無	N	6	7.5YR7/6褐色	Ⅲ4			
294	203	525 S I 65	QSE埋土下部	深鉢	胴：RLR縦	無	N	6	5YR4/3にぶい赤褐色	Ⅲ	(37)	83	
294	203	526 S I 65	QSE埋土下部	深鉢	胴：RLR縦	無	N	6	5YR4/4にぶい赤褐色	Ⅲ	(20)	70	
294	203	527 S I 65	QSE埋土下部	深鉢	口：平縁、胴：RLR縦	無	N	11	5YR4/3にぶい赤褐色	Ⅲ			
295	203	528 S I 65	QSE埋土下部	深鉢	口：波状? 胴：RLR縦→隆沈線	無	N	6	7.5YR5/4にぶい褐色	Ⅲ2-b?			
295	203	529 S I 65	QSW埋土下部	深鉢	口：波状? 胴：LR縦→沈線	無	M	2	7.5YR5/4にぶい褐色	Ⅲ			
295	203	530 S I 65	QNE埋土上部	深鉢	口：平縁、胴：RLR縦→隆沈線	無	N	7	2.5YR5/6明赤褐色	Ⅲ2-b			

第22表 縄文土器観察表 (13)

(残存値) [還元値]

図版 No.	写図 No.	掲載 No.	出土地点	層位	器種	文様の特徴	煤の 付着	内面 調整	胎土	色調	時期・分類	計測値 (cm)		備考	
												口径	器高		底径
295	203	531	S I 65	QNE埋土上部	深鉢	口：波状、胴：LR縦	無	N	3	10YR3/1黒褐色	Ⅲ				
295	203	532	S I 65	QNE埋土最上部	深鉢	口：平縁、胴：LR斜→隆沈線	無	N	11	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅲ2-b?				
295	203	533	S I 66	周溝 (S I 32重複) 埋土	深鉢ミニ チュウ	不明	内	-	2	7.5YR7/4にぶい褐色	Ⅲ?	(1.0)	3.0	内面にアスファルト状の 付着物	
295	203	534	S I 66	12・13層埋土下位	深鉢	口：波状、突起、貫通孔、LR横→沈線	無	N	11	7.5YR5/3にぶい褐色	Ⅲ2-a?				
295	203	535	S I 66	Aベルト10～11層 埋土下位	深鉢	口：波状、LR横→隆帯、原体胴圧LR	無	N	2	10YR7/3にぶい黄褐色	Ⅲ2-a?				
295	203	536	S I 66	③埋土中位	深鉢	胴：LR横、底：細文LR	無	N	6	5YR4/4にぶい赤褐色	Ⅲ?		[8.4]		
295	203	537	S I 66	③埋土中位	深鉢	口：平縁、LR縦→沈線、(磨消)	無	M	11	7.5YR5/4にぶい褐色	Ⅲ3				
295	203	538	S I 66	③埋土中位	深鉢	口：波状、沈線、隆帯貼付	無	N	7	7.5YR7/3にぶい褐色	Ⅲ4				
295	203	539	S I 66	③埋土中位	深鉢	口：平縁、刺突列、胴：車輪跡第1期L縦?	無	N	7	5YR6/6褐色	Ⅲ				
295	203	540	S I 66	③埋土中位	深鉢	口：波状、LR縦→隆帯	無	M	11	5YR6/6褐色	Ⅲ3				
295	203	541	S I 66	③埋土中位	深鉢	口：平縁、車輪跡第5期R縦	無	N	11	5YR6/6褐色	Ⅲ				
295	203	542	S I 66	埋土上～中位	深鉢	口：平縁、隆帯貼付、胴：LR縦→沈線	無	N	7	5YR4/6赤褐色	Ⅲ2-a				
295	204	543	S I 66・67	P P 6 B埋土、Eベルト埋土	深鉢	口：平縁、胴：LR+縮節(Z)縦	無	N	6	5YR7/6褐色	Ⅲ4?	24.2	(21.5)	外面全周に液体状のもの が線状に垂れた痕跡	
296	204	544	S I 67	埋土下部 (床面直上)	深鉢	口：平縁、胴：RLR縦→沈線	無	N	6	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅲ3				
296	204	545	S I 67	P P 4埋土	深鉢	口：平縁、胴：RLR縦→沈線	無	N	6	10YR6/4にぶい黄褐色	Ⅲ3			摩滅している	
296	204	546	S I 67	Wベルト埋土	小型深鉢	胴：RLR縦	無	M	6	7.5YR5/4にぶい褐色	Ⅲ2-b?		4.8		
296	204	547	S I 67	Wベルト埋土	深鉢	口：平縁、胴：RLR縦→隆帯	無	M	6	10YR4/2灰黄褐色	Ⅲ3				
296	204	548	S I 68	埋土中位、埋設土器17層A、 埋設土器1 (8層)、土器埋設炉	深鉢	胴：LR縦、底：網代裏	無	N	7	7.5YR7/3にぶい褐色	Ⅲ4?	[26.4]	42.7	底部：丸みを帯び自立し ない	
297	205	549	S I 68	埋設土器6層目	深鉢	口：平縁、胴：LR縦斜	無	N2	9	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ				
297	205	550	S I 68	南側埋土下位、埋土1層、 埋設土器1・4層、埋設土器2、 東側側溝 (A-A'側)	深鉢	口：平縁、胴：LR縦、底：木葉裏	無	N	6	5YR7/6褐色	Ⅲ4-b?	[24.2]	38.1	10.0	
297	205	551	S I 68	P P 5埋土	深鉢	口：平縁、LR縦→隆帯、胴：LR縦	無	N	6	5YR6/6褐色	Ⅲ2-b				
297	205	552	S I 69	QNW埋土下部埋土、石間炉直上、 土器No.1 (14層)	深鉢	口：平縁、胴：RL縦横→隆帯貼付→無文帯、 (文様3単位)	無	N	6	5YR5/6明赤褐色	Ⅲ4-b	25.9	(16.4)	—	
297	205	553	S I 69	Nベルト埋土14層	深鉢	口：平縁、LR縦→隆帯	無	M	2	10YR6/3にぶい黄褐色	Ⅲ2-b				
297	205	554	S I 69	QNW埋土上部	深鉢	胴：LR縦、底：木葉裏	無	N	6	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ?		7.0	(2.1)	
297	205	555	S I 69	QNE埋土上部	深鉢	口：平縁、胴：RLR縦	無	N	6	5YR5/6明赤褐色	Ⅲ				
298	206	556	S I 71	炉②ベルト1層、炉②埋り方埋土 黄褐色土、炉②石間部埋設土器周囲、 炉 (前庭部) 埋り方埋土、黒褐色土1 層、炉埋設土器1/2	深鉢	胴：L縦、底：網代裏	無	N	6	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅲ4?	—	(31.7)	11.0	
298	206	557	S I 71	P P 2北半埋土1層	深鉢	口：平縁、胴：沈線、LR縦? (充填?)	無	M	6	10YR6/1褐色	Ⅲ4				
298	206	558	S I 71	ベルトA-A' 8層	小型深鉢	胴：L横 (胴部下半)、L縦 (胴部下半) →沈線、無 文帯 胴部に2単位の突起あり	無	N	2	7.5YR7/4にぶい黄褐色	Ⅲ4-b?	—	(6.6)	3.8	
298	206	559	S I 71	ベルトA-A' 5層	深鉢	口：平縁、LR横→隆帯、胴：LR縦	無	N	6	5YR4/6赤褐色	Ⅲ2-a				
298	206	560	S I 71	ベルトB-B' 3層	深鉢	胴：RLR縦→隆帯	無	M	2	7.5YR5/4にぶい褐色	Ⅲ2-b	—	(3.5)	[7.5]	
298	206	561	S I 71	北東埋土下位	深鉢ミニ チュウ	不明	無	N	6	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ?	—	(1.0)	3.3	
298	206	562	S I 71	北東埋土中位、北東埋土下位	深鉢	胴：LR縦、底：網代裏	無	N	2	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ?	—	(13.6)	10.0	
298	206	563	S I 71	北西埋土下位	小型深鉢	胴：LR縦	無	M	2	7.5YR4/2灰褐色	Ⅲ?	—	(7.4)	4.0	
299	206	564	S I 71	北西埋土下位	深鉢	胴：RL縦→沈線 (磨消)、無文帯、(文様4単位)、 底：網代裏	無	N	2	5YR6/6褐色	Ⅲ4-a	—	(26.4)	9.0	
299	207	565	S I 71	北西埋土下位、北西埋土	深鉢	口：平縁、胴：L縦→沈線 (無文帯)	無	N	2	10YR8/3黄褐色	Ⅲ4-b	[11.8]	21.5	[5.6]	内面：摩滅あり
299	207	566	S I 71	北西埋土下位	深鉢	口：平縁、LR縦	無	N	6	5YR6/6褐色	Ⅲ				
299	207	567	S I 71	北西埋土下位	深鉢	口：平縁、LR縦→隆帯	無	N	6	5YR4/3にぶい赤褐色	Ⅲ2-b				
299	207	568	S I 71	北西埋土下位	深鉢	口：平縁、刺突、庄裏、胴：L縦、沈線	無	N	6	10YR5/3にぶい黄褐色	Ⅲ4				
299	207	569	S I 72	炉② 石間部埋設土器周囲	深鉢	底：網代裏→ミガキ	無	N	6	10YR4/2灰黄褐色	Ⅲ	—	(1.9)	7.8	

第22表 縄文土器観察表 (14)

(残存値) (復元値)

図版 No.	写図 No.	掲載 No.	出土地点	層位	器種	文様の特徴	煤の 付着	内面 調整	胎土	色調	時期・分類	計測値 (cm)		備考
												口径	器高 底径	
299	207	570	S I 72	ベルトA-A'12層	深鉢	口：平緑、沈線(横位)、胴：L+R結束1横	無	N	6	7.5YR4/3褐色	Ⅱ4			
299	207	571	S I 72	ベルトB-B'2層・3層・8層	深鉢	口：波状、LR縦→沈線	無	N	6	7.5YR5/3にぶい褐色	Ⅱ3			
300	207	572	S I 72	北西埋土上位	深鉢	口：平緑、LR縦→沈線	無	M	6	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅱ4			
300	207	573	S I 72	ベルトB-B'5層	深鉢	胴：LR縦?	無	N	6	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅱ		9.4	
300	207	574	S I 72	ベルトB-B'4層	深鉢	口：平緑、隆帯、粘土紐貼付、胴：LR横	無	N	5	5YR4/3にぶい赤褐色	Ⅱ1-a			
300	207	575	S I 72	北東埋土上位・下位	深鉢	口：平緑、胴：沈線→LR縦、底：網代裏、木葉裏	無	N	2	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅱ4-a		29.3	[9.0]
300	207	576	S I 72	北東埋土下位	深鉢	胴：LR縦?、底：圧痕(磨滅して不明瞭)	無	N	6	7.5YR3/1黒褐色	Ⅱ			6.5
300	207	577	S I 72	北東埋土下位	深鉢	口：平緑、胴：R縦、沈線	無	N	6	7.5YR4/2灰褐色	Ⅱ4			
300	207	578	S I 72	北西埋土上位・下位	深鉢	口：平緑、胴：LR縦	内外	N	6	10YR6/3にぶい黄褐色	Ⅱ4			
300	208	579	S I 72	北東埋土上位	深鉢	胴：沈線→LR縦横、底：木葉裏?	無	N	6	5YR6/6褐色	Ⅱ4-a		(13.6)	[6.7]
300	208	580	S I 72	北東埋土上位、南東埋土上位	深鉢	口：小波状4単位、胴：沈線→刺突(縦長)、LR縦横、刺突は上から下に突いている	無	N	6	5YR4/2灰褐色	Ⅱ4-b		17.3	(15.3)
300	208	581	S I 72	北東埋土上位	深鉢	胴：LR縦(燃り方弱い?)	無	N	6	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅱ			[11.5]
300	208	582	S I 72	北東埋土上位	深鉢ミニ チュエ	不明	無	N	2	5YR6/6褐色	Ⅱ			3.8
300	208	583	S I 72	北東埋土上位	深鉢	胴：沈線→刺突、L縦、底：網代裏	無	N	6	7.5YR5/3にぶい褐色	Ⅱ3			6.0
301	208	584	S I 72	北東埋土上位	深鉢	胴：LR縦横→沈線、底：木葉裏	無	N	6	7.5YR5/3にぶい褐色	Ⅱ4-a?			8.0
301	208	585	S I 72	北東埋土上位	深鉢	胴：LR縦	無	N	2	7.5YR6/3にぶい褐色	Ⅱ			5.8
301	208	586	S I 72	北東埋土上位	深鉢	口：平緑、LR横→沈線	無	M	6	7.5YR5/4にぶい褐色	Ⅱ2-b?			
301	208	587	S I 72	北東埋土上位	深鉢	口：平緑、胴：LR縦	無	N	6	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅱ			7.6
301	208	588	S I 72	南東埋土上位	深鉢ミニ チュエ	不明	無	N	6	5YR6/6褐色	Ⅱ			(9.2)
301	208	589	S I 72	南東埋土上位	深鉢	不明	内	N	2	7.5YR4/1褐色	Ⅱ			(1.6)
301	208	590	S I 72	北西埋土上位	深鉢	口：平緑、胴：LR(0段多)縦、沈線	無	N	7	7.5YR5/4にぶい褐色	Ⅱ4			
301	208	591	S I 72・73	PP7南半埋土、北東埋土	深鉢	口：平緑、胴：LR横、沈線	無	N	3	7.5YR4/4褐色	Ⅱ2			
302	209	592	S I 73	埋設土器、焼土1埋土1・2層(下位)、3層	深鉢	胴：LR縦→沈線(無文帯) + 隆帯貼付、底：網代裏	無	N	6	10YR7/3にぶい黄褐色	Ⅱ4-b			8.7
302	209	593	S I 73	埋設土器2、焼土1埋土上位1・2層(下層)、3層	深鉢	胴：LR縦、底：網代裏	無	N	7	5YR6/6褐色	Ⅱ			[11.8]
302	209	594	S I 73	埋土西側下位ブロック土層	深鉢	口：平緑、沈線、刺突、胴：LR縦	無	N	6	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅱ?			
302	209	595	S I 73	埋土西側下位ブロック土層	深鉢	口：平緑、沈線、刺突、胴：LR縦	無	N	6	7.5YR7/4にぶい褐色	Ⅱ4-b			
302	209	596	S I 73	埋土	深鉢	口：平緑、胴：LR縦→隆沈線	無	N	6	2.5YR5/6明赤褐色	Ⅱ2-b			
302	209	597	S I 73、 ⅢC9f	埋土・Ⅱ層	深鉢	口：平緑、胴：LR縦、補修孔あり	無	N	2	7.5YR7/4にぶい褐色	Ⅱ		[17.5]	(16.6)
302	209	598	S I 75	PP6北半埋土8層	深鉢	口：平緑、口縁部隆帯貼付、胴：L縦	無	N	6	10YR6/3にぶい黄褐色	Ⅱ4			
302	209	599	S I 75	炬筒側埋土	深鉢	口：平緑、LR縦→隆帯	無	N	7	7.5YR6/6褐色	Ⅱ			
302	209	600	S I 75	周溝埋土、土器No.2	深鉢	胴：LR縦(磨滅している)	無	N	6	7.5YR6/6褐色	Ⅱ?			12.5
302	209	601	S I 75	5層	深鉢	口：平緑、胴：LR(0段多)縦→隆沈線(渦文)	無	M	6	7.5YR4/4褐色	Ⅱ2-b			
302	209	602	S I 75	3層	深鉢	口：波状、胴：LR縦、沈線	無	N	6	5YR6/6褐色	Ⅱ3			
303	209	603	S I 75	2層	深鉢	胴：LR縦、底：木葉裏	無	N	7	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅱ			(5.2)
303	210	604	S I 75	2層	深鉢	胴：LR縦、底：網代裏	無	N	7	5YR5/6明赤褐色	Ⅱ			[9.2]
303	210	605	S I 75	2層	深鉢	胴：LR縦→沈線	無	M	2	7.5YR5/4にぶい褐色	Ⅱ			[12.8]
303	210	606	S I 75	2層	深鉢	胴：LR縦→沈線	無	N	7	2.5YR4/2灰赤色	Ⅱ2-a?			[5.9]
303	210	607	S I 75	1層	深鉢	口：平緑、LR横、原体側LR	外	N	6	10YR4/3にぶい黄褐色	Ⅱ			
303	210	608	S I 75	1層、Ⅱ層	深鉢	口：平緑、突起あり、胴：L横→沈線、刺突列	無	N	2	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅱ		[30.2]	(9.8)
303	210	609	S I 75	北東埋土下位	深鉢	口：平緑、胴：LR縦→沈線	無	M	6	5YR4/2灰褐色	Ⅱ3			
303	210	610	S I 75	南西埋土下位	深鉢	口：平緑、突起あり、隆帯(渦文)、胴：LR縦→沈線	無	M	6	7.5YR5/3にぶい褐色	Ⅱ2-b			
303	210	611	S I 75	北東埋土上位	深鉢	口：平緑、胴：LR縦、沈線	無	N	6	7.5YR3/1黒褐色	Ⅱ4			

第22表 縄文土器観察表 (15)

(残存値) (復元値)

図版 No.	写図 No.	掲載 No.	出土地点	層位	器種	文様の特徴	煤の 付着	内面 調整	胎土	色調	時期・分類	計測値 (cm)		備考	
												口径	器高		底径
303	210	S I 75	北東埋土上位		深鉢	口：平緑、胴：LR縦？、沈線	無	N	3	5YR6/6褐色	Ⅲ4			摩滅顕著	
303	210	S I 75	南西埋土上位		深鉢	口：平緑、胴：LR縦、沈線	無	M	3	2.5YR5.6明赤褐色	Ⅲ3				
303	210	S I 76	埋土上～中位		深鉢	口：波状、突起、胴：RLR横、沈線→削突、隆帯貼付	無	N	5	7.5YR5.4にぶい褐色	Ⅲ4-b				
303	210	S I 76	埋土上～中位		深鉢	口：波状、突起、胴：RLR縦、沈線、隆帯→削突	無	N	5	7.5YR6/4にぶい赤褐色	Ⅲ4-b				
303	210	S I 77	石間埋土、埋土下位		深鉢	口：平緑、胴：LR縦→沈線、(磨消)	内	N	5	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅲ3		[4.6]		摩滅顕著
303	210	S I 77	床面直上		小型深鉢	不明	無	N	6	7.5YR5.2灰褐色	Ⅲ		(1.8)		
303	210	S I 77	床面直上		深鉢	胴：LR縦	無	N	6	10YR6/4にぶい黄褐色	Ⅲ		(4.7)		
303	210	S I 77	床面直上		深鉢	口：平緑、胴：LR縦→沈線	無	N	6	7.5YR4/2灰褐色	Ⅲ3		7.6		
304	210	S I 77	床面直上		壺	口：平緑、横位隆帯、横耳	無	N	2	2.5YR5.6明赤褐色	Ⅲ				
304	210	S I 77	埋土下位		深鉢	胴：LR縦→隆沈線(縦位) (2本隆帯+3本沈線)	無	M	2	7.5YR5.4にぶい褐色	Ⅲ2-b		(10.5)		
304	210	S I 77	埋土下位		深鉢	胴：LR縦→隆沈線(縦位)	無	N	6	2.5YR5.6明赤褐色	Ⅲ2-b		(9.0)	[7.4]	
304	210	S I 77	埋土下位		深鉢	胴：LR縦、底：網代裏	無	N	6	5YR6/6褐色	Ⅲ		(7.4)	[9.8]	
304	210	S I 77	埋土下位		深鉢	口：平緑、胴：LR縦→沈線、(磨消)	無	M	6	5YR3/3暗赤褐色 5YR3/1黒褐色	Ⅲ3				
304	210	S I 77	埋土下位		深鉢	口：平緑、胴：LR縦→隆沈線	無	M	6	2.5YR4/6赤褐色	Ⅲ2-b				
304	210	S I 77	埋土下位		深鉢	口：平緑、胴：LR縦、沈線	無	N	6	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅲ3				
304	210	S I 77	埋土下位		深鉢	口：波状、胴：LR縦→隆沈線	無	M	6	2.5YR5.6明赤褐色	Ⅲ2-b				
304	210	S I 77	埋土中位		深鉢	胴：LR縦？	無	N	2	7.5YR5.3にぶい褐色	Ⅲ?		(2.9)	5.9	
304	211	S I 77	埋土中位		深鉢	胴：LR縦、底：網代裏	無	N	6	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ		(15.9)	[9.7]	
304	211	S I 77	埋土 (SN30F)		深鉢	胴：LR縦	無	N	6	10YR4/2灰黄褐色	Ⅲ		(3.9)	9.0	
305	211	S I 77、 IV C1d	埋土中～下位、埋土下位、II層検出面		深鉢	口：平緑、胴：LR縦	無	M	6	5YR5.6明赤褐色	Ⅲ		27.3	(36.8)	
305	211	S I 78	土器No.1本体		深鉢	胴：LR縦、底：網代裏	無	N	6	5YR6/6褐色	Ⅲ		(3.7)	11.9	
305	211	S I 78	南半埋土最下層、土器No.2本体		深鉢	胴：LR縦、底：網代裏	内	N	6	5YR6/6褐色	Ⅲ		(9.2)	11.7	
305	211	S I 78	南東側埋土、南半埋土最下層		深鉢	胴：LR縦、底：網代裏	内	N	7	7.5YR6/3にぶい褐色	Ⅲ		(5.5)	12.7	
305	211	S I 78	南北断面南側18層		深鉢	不明	無	M	2	5YR3/1黒褐色	Ⅲ		(1.8)	4.9	
305	212	S I 78	東西アゼ東側12層		深鉢	胴：LR縦、底：網代裏・木葉裏	無	N	3	5YR6/6褐色	Ⅲ		(6.8)	12.2	
305	212	S I 78	南北断面北側10層		深鉢	口：平緑、胴：LR縦、沈線、隆帯貼付	無	N	5	5YR5.4にぶい赤褐色	Ⅲ4-b				
306	212	S I 78	QNE埋土下位、北東側埋土、 QSE埋土下位、4・5・7層		深鉢	口：波状(4単位)、胴：沈線→RL縦(充填)	無	N	6	7.5YR7/3にぶい褐色 5YR6/6褐色	Ⅲ4-a		[21.9]	(19.5)	
306	212	S I 78	東西アゼ西側6層		深鉢	口：平緑、胴：LR縦→沈線	無	N	6	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅲ4		(2.7)	8.9	
306	212	S I 78	南北断面北側5層		深鉢	不明	無	N	6	7.5YR7/4にぶい褐色	Ⅲ		(6.2)	9.0	
306	212	S I 78	QNE埋土下位		深鉢	胴：LR縦、底：網代裏	無	N	7	5YR6/6褐色	Ⅲ		(1.9)	7.2	
306	212	S I 78	QSE埋土下位		深鉢	底：網代裏	無	N	6	5YR4/1褐色	Ⅲ?				
306	212	S I 78	QSE埋土下位		深鉢	口：平緑、胴：LR縦→隆沈線	無	N	6	7.5YR4/3褐色	Ⅲ2-b				
306	212	S I 78	QSE埋土上～中位		深鉢	胴：車軸筋第1廻L縦、底：網代裏	無	M	6	5YR6/6褐色	Ⅲ4		[10.8]		
306	212	S I 78	QNE埋土上～中位		深鉢	口：波状、隆帯(満文)、胴：LR縦	無	M	2	7.5YR6/3にぶい褐色	Ⅲ2-b				
306	212	S I 78	QSE埋土上～中位		深鉢	口：波状、胴：沈線→LR縦横斜	無	M	6	7.5YR4/4褐色	Ⅲ2				
306	212	S I 78	北東側埋土		深鉢 ミニ チュア	底：網代裏	無	N	2	10YR4/1褐色	Ⅲ?		(1.6)	4.1	
306	212	S I 78	南東側埋土		深鉢	底：木葉裏(中央部分のみ痕跡あり)、上げ底	無	N	6	2.5YR5.4にぶい赤褐色	Ⅲ?		(4.1)	[5.7]	
306	212	S I 78	南西側埋土		深鉢	口：平緑、胴：LR縦、沈線	外	N	6	10YR5.3にぶい黄褐色	Ⅲ4				
306	212	S I 78	磯畔2周辺埋土		深鉢	口：平緑、突起、胴：LR縦、沈線	無	N	6	5YR6/6褐色	Ⅲ4-b				
306	212	S I 79	埋土、WEベルト3層		深鉢	胴：車軸筋第1廻L、底：網代裏	無	N	7	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅲ		(8.3)	[15.3]	
307	212	S I 79	埋土		深鉢	口：平緑、突起、LR縦→隆帯(満文)、 胴：LR縦→沈線	無	M	6	5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ2-a				
307	212	S I 79	埋土		深鉢	口：平緑、RLR横→隆帯(満文)	無	N2	6	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅲ2-a?				
307	213	S I 80	石間埋土7層		深鉢	口：平緑、胴：LR縦	無	N	7	5YR5/6明赤褐色	Ⅲ				
307	213	S I 80	土器No.1、石間埋土1層		深鉢	口：平緑、沈線→削突→RL縦、文様3単位	無	M	6	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ4		[25.0]	(8.0)	



第22表 縄文土器観察表 (16) (残存値) (還元値)

図版 No.	写図 No.	掲載 No.	出土地点	層位	器種	文様の特徴	裏の 付着	内面 調整	胎土	色調	時期・分類	計測値 (cm)			備考	
												口径	器高	底径		
307	213	656	S I 80	QNE埋土下位、QSE埋土中～下位、 床面直上	深鉢	胴：LR縦	無	M	2	7.5YR6/3にぶい褐色	Ⅲ	—	[7.0]	外面に付着物あり		
307	213	657	S I 80	QSE埋土中～下位、QSW埋土中～ 下位、NSベルト6層、Wベルト9層	深鉢	口：波状(4単位)、沈線→刺突、胴：隆帯→RL縦	内外	M	—	7.5YR4/2灰褐色	Ⅲ4-b	[21.9]	(24.0)	—		
307	213	658	S I 80	NSベルト8層	深鉢	胴：RL縦、底：木葉裏	無	N	7	5YR7/6褐色	Ⅲ	—	(4.9)	[12.5]	—	
307	213	659	S I 80	Wベルト5層・8層	深鉢	胴：LRL縦、底：網代裏	無	N	7	10YR5/3にぶい黄褐色	Ⅲ	—	(4.0)	[10.6]	—	
308	214	660	S I 80	QSE埋土中位、NSベルト7層	深鉢	胴：LRL縦、底：網代裏、刺突	無	N	3	7.5YR7/4にぶい褐色	Ⅲ4-b	[37.5]	(37.9)	—	—	
309	214	661	S I 80	WEベルト6層	深鉢	胴：車輪筋第1種L縦、底：網代裏	無	N	7	7.5YR6/3にぶい褐色	Ⅲ	—	(16.2)	9.6	摩滅あり	
309	214	662	S I 80	QNE埋土下位	深鉢	胴：平縁、胴：RL縦	無	N	7	2.5YR6/6褐色	Ⅲ	14.6	(14.1)	—	摩滅顕著	
309	215	663	S I 80	QSE埋土中～下位、下位	深鉢	胴：RL縦、底：網代裏+木葉裏	無	M	6	5YR6/6褐色	Ⅲ	—	(16.7)	11.0	—	
309	215	664	S I 80	QSE埋土下位	深鉢	胴：RL縦、底：網代裏	無	N	6	5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ	—	(1.8)	[5.1]	—	
309	215	665	S I 80	QNE埋土下位	深鉢	口：平縁、胴：LRL縦、底：網代裏	外	N	6	10YR6/3にぶい黄褐色	Ⅲ4?	—	—	—	—	
309	215	666	S I 80	QSE埋土下位	壺	口：平縁、隆帯(備位)、椀耳、 胴：LRL縦→沈線	無	N	7	2.5YR5/6明赤褐色	Ⅲ3	—	—	—	—	
309	215	667	S I 80	QSE埋土中～下位	深鉢	口：波状、庄痕、胴：LRL縦、沈線	無	N	2	7.5YR6/3にぶい褐色	Ⅲ4-b	—	—	—	—	
309	215	668	S I 80	埋土中～下位	深鉢	口：平縁、LRL横→隆帯(備文)	無	N	6	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ2-a	—	—	—	—	
309	215	669	S I 80	埋土中位	深鉢	口：平縁、RL縦→沈線	無	N2	11	7.5YR5/4にぶい褐色	Ⅲ4-b	—	—	—	—	
310	215	670	S I 80	埋土中位	深鉢	口：平縁、RLR縦→沈線	無	N	2	2.5YR5/6明赤褐色	Ⅲ3?	—	—	—	—	
310	215	671	S I 80	埋土中位	深鉢	口：平縁、胴：LRL縦	無	N	6	7.5YR6/6褐色	Ⅲ	—	—	—	—	
310	215	672	S I 81	北東埋土3層・5層	深鉢	口：平縁、胴：LRL縦	無	M	6	5YR4/4にぶい赤褐色	Ⅲ2-b	[17.8]	(22.4)	[8.1]	—	
310	215	673	S I 81	3層・5層	深鉢	口：波状、胴：LRL縦→隆帯(備文)	無	N	6	7.5YR3/3暗褐色	Ⅲ3	—	—	(6.5)	11.8	—
310	216	674	S I 81	南東埋土上位	深鉢	胴：LRL縦、底：木葉裏	無	M	3	5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ2-b?	[15.8]	(9.3)	[8.7]	[7.2]	—
310	216	675	S I 81	南東埋土上位、 南西埋土上位	浅鉢	胴：LRL縦	無	M	6	5YR5/4にぶい褐色	Ⅲ	—	—	—	—	—
310	216	676	S I 81	南西埋土上位	深鉢	口：波状、胴：LRL縦→沈線	無	N	6	2.5YR5/6明赤褐色	Ⅲ3	—	—	—	—	—
310	216	677	S I 81	南西埋土上位	深鉢	口：波状、胴：LRL縦→沈線	無	N	6	2.5YR5/6明赤褐色	Ⅲ3	—	—	—	—	—
311	216	678	S I 82	北東・北西埋土中位、 ベルトA-A'2層・4層	深鉢	口：波状(4単位)、胴：沈線→隆帯→LR縦、文様 4単位	外	N	3	10YR7/4にぶい黄褐色	Ⅲ4-b	[19.0]	(13.0)	—	—	—
311	216	679	S I 82	ベルトA-A'4層	深鉢	胴：LRL縦?、底：網代裏	無	N	7	7.5YR8/4浅黄褐色	Ⅲ?	—	(3.0)	11.5	—	
311	216	680	S I 82	ベルトB-B'4層	深鉢	胴：LRL縦、底：網代裏	無	N	7	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅲ	—	(4.5)	13.0	—	
311	216	681	S I 82	①埋土上位、ベルトA-A'2層、 土器No.1、南東埋土中位	深鉢	胴：LRL縦、底：網代裏→沈線	無	M	2	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ	—	(28.0)	11.0	—	
311	216	682	S I 82	ベルトA-A'2層	深鉢	胴：L無筋、底：網代裏、底部厚い	無	N	7	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅲ?	—	(4.5)	12.5	—	
311	217	683	S I 82	ベルトA-A'1層	深鉢	口：平縁、突起、胴：沈線、刺突、LR縦	無	M	6	5YR6/6褐色	Ⅲ4-b	—	—	(2.1)	6.8	—
311	217	684	S I 82	北西埋土下位	深鉢	不明	無	N	2	2.5YR5/8明赤褐色	Ⅲ2-b?	—	(2.5)	4.2	—	
311	217	685	S I 82	南東埋土下位	深鉢	胴：縄文(原体不明版)→沈線	無	N	2	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅲ4	—	—	—	—	
311	217	686	S I 82	北西埋土下位	深鉢	口：平縁、突起、胴：LRL縦?	無	N	2	10YR7/4にぶい黄褐色	Ⅲ4-b?	—	—	—	—	
312	217	687	S I 82	南西埋土下位	深鉢	口：平縁、突起、胴：LRL縦→沈線	無	N	6	5YR4/3にぶい赤褐色	Ⅲ4-b?	—	(7.5)	12.4	—	
312	217	688	S I 82	北東埋土中位	深鉢	胴：LRL縦、底：網代裏	無	N	7	5YR5/6明赤褐色	Ⅲ	—	—	(4.5)	11.6	—
312	217	689	S I 82	北東埋土中位	深鉢	胴：LRL+結節(2)縦、底：網代裏+木葉裏	無	N	7	5YR6/6褐色	Ⅲ	—	—	—	—	
312	217	690	S I 82	北東埋土中位②埋土上位	深鉢	口：突起2単位、胴：沈線→刺突→LR縦(文様4単 位)	無	M	2	5YR5/6明赤褐色	Ⅲ4-b	[23.2]	30.4	8.0	—	
312	217	691	S I 82	北西埋土中位、南東埋土上～中位、 ①埋土上位	深鉢	口：平縁(緩い波状)、胴：L	無	M?	6	7.5YR4/2灰褐色	Ⅲ	11.4	(10.8)	—	—	
312	217	692	S I 82	北東埋土中位、北西埋土中位、南東埋 土上～中位	深鉢	口：平縁、胴：LRL縦、沈線	外	N	6	5YR6/6褐色	Ⅲ4?	—	—	—	—	
312	218	693	S I 82	南西埋土上～中位	深鉢	胴：LRL縦、底：木葉裏(複数枚の重なり)	無	N	7	5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ	—	(4.5)	13.0	—	
312	218	694	S I 82	②埋土上位	深鉢ミニ チュア	不明	無	N	6	7.5YR5/2灰褐色 2.5YR5/8明赤褐色	Ⅲ?	—	(1.1)	[4.0]	外面に朱?	
313	218	695	S I 83	ベルトE-E'3層	深鉢	胴：LRL縦	無	N	7	5YR4/4にぶい赤褐色	Ⅲ	—	(4.8)	[7.0]	—	
313	218	696	S I 83	土器No.1埋土下位	深鉢	口：平縁、胴：LRL縦	無	M	3	5YR6/6褐色	Ⅲ	[26.0]	(21.6)	—	—	
313	218	697	S I 83	土器No.2埋土下位	深鉢	胴：LRL→沈線、底：網代裏+木葉裏	無	M	3	5YR5/6明赤褐色	Ⅲ3	—	(10.8)	[9.5]	—	

第22表 縄文土器観察表 (17)

(残存値) (復元値)

図版 No.	写図 No.	掲載 No.	出土地点	層位	器種	文様の特徴	底の 付着	内面 調整	胎土	色調	時期・分類	計測値 (cm)		備考	
												口径	底径		
313	218	698	S I 83	北東埋土下位	深鉢	胴：LR縦？	内	-	6	7.5YR6/6褐色	Ⅱ	—	[7.4]		
313	218	699	S I 83	北東埋土下位	深鉢	不明	無	N	6	7.5YR5/4にぶい褐色	Ⅲ	—	[7.0]		
313	218	700	S I 84	埋土上～中位	深鉢	胴：LR縦？、底：線状	無	N	6	7.5YR3/1黒褐色	Ⅲ	—	[5.5]		
313	218	701	S I 86	土器No.1、SベルトA-A'・4層	壺	胴：平緑、胴：LR縦→沈線(文様4単位)	無	N	3	2.5YR4/6赤褐色	Ⅲ4-a	[6.2]	12.2	4.5	
313	218	702	S I 86	PP.5北半埋土1層	深鉢	口：平緑、RL縦→隆沈線	無	N	11	10YR6/3にぶい赤褐色	Ⅲ3				
313	218	703	S I 86	北東埋土上位	深鉢	口：平緑、RL縦→沈線	無	M	4	5YR5/3にぶい赤褐色	Ⅲ3				
313	218	704	S I 88	石間戸前庭部？埋土南半	深鉢	口：平緑、沈線、刺突列、胴：LR縦	無	N	6	5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ4-b				
313	218	705	S I 88	QNE埋土上～下位、QSE埋土上・下位、Nベルト11層、WEベルト9層、石間戸埋土	深鉢	口：波状(4単位)、大小の突起、胴：LR縦→沈線(無文帯)→刺突、底：網代裏→ミガキ、僅かに痕跡あり	無	N	6	7.5YR7/4にぶい褐色	Ⅲ4-b	[30.1]	(36.5)	9.2	
314	219	706	S I 88	QSE埋土上位・下位、石間戸埋土	深鉢	口：平緑、胴：LR縦	無	N	2	7.5YR7/4にぶい褐色	Ⅲ				
314	219	707	S I 88	QNE埋土中位、床面直上・土器No.1	深鉢	口：平緑、胴：LR縦→沈線	無	N	11	5YR6/6褐色	Ⅲ4-a				
315	219	708	S I 88	SベルトB-B'・5層、床面直上・土器No.2	深鉢	口：平緑、胴：LR(直前段反拗)縦	外	M	2	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ4?	24.4	(24.0)	—	
315	219	709	S I 88	床面直上・土器No.2	深鉢	口：平緑、胴：L+結節(2)縦	無	N	5	5YR7/6褐色	Ⅲ4				
315	219	710	S I 88	床面直上	深鉢	口：平緑、沈線、胴：LR(0段多糸)縦→刺突	無	N	11	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅲ4-b				
315	220	711	S I 88	埋土上位、Nベルト6層・13層	深鉢	胴：LR縦、底：網代裏→木葉裏	無	N	6	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅲ				
315	220	712	S I 88	Nベルト6層・13層	深鉢	口：波状、突起(逆し)、胴：沈線、刺突、RL縦	無	N	3	5YR4/4にぶい赤褐色	Ⅲ4-b				
315	220	713	S I 88	Sベルト10層・12層	深鉢	胴：隆帯→RL横斜	無	N	7	10YR7/4にぶい黄褐色	Ⅲ4-b	[16.6]	(9.4)	—	
316	220	714	S I 88	QNW埋土中位、Nベルト9層・10層	深鉢	口：平緑、頭部に突起(4単位)あり、胴：隆帯→RL横斜	無	N	3	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ	[16.6]	22.4	7.2	
316	221	715	S I 88	WEベルト9層・10層	深鉢	口：平緑、胴：LR+結節(2)縦、底：網代裏	無	N2	7	5YR6/6褐色	Ⅲ4	[20.5]	31.8	9.0	
316	221	716	S I 88	QNE埋土下位、WEベルト10層	深鉢	口：平緑、胴：LR縦→沈線	内	N	6	5YR6/6褐色	Ⅲ4				
316	221	717	S I 88	QNE埋土上位、QSE埋土下位、WEベルト9層	深鉢	口：平緑、胴：LR縦横斜、沈線	無	N	11	5YR7/4にぶい褐色	Ⅲ4-b	[19.0]	(23.0)	—	
316	221	718	S I 88	QSE埋土中～下位、Nベルト6層	深鉢	胴：LR縦斜、底：網代裏、木葉裏	無	N	6	7.5YR7/4にぶい褐色	Ⅲ	—	(22.5)	[10.4]	輪槽の中1.5cm程？
317	221	719	S I 88	QSE埋土下位、NSベルト9層、Sベルト9層・10層、土器集中部	深鉢	胴：RL縦	無	M	6	2.5YR6/8褐色	Ⅲ	[16.8]	21.4	7.8	
317	222	720	S I 88	QSE埋土下位、Nベルト10層、NSベルト9層、Sベルト9層、土器集中部	深鉢	口：平緑、胴：L縦？、底：木葉裏	無	N	6	7.5YR7/4にぶい褐色	Ⅲ	[28.1]	36.9	11.2	内外面に縦位の黒い条痕あり
317	222	721	S I 88	QSE埋土下位、Sベルト9層、土器集中部	深鉢	口：平緑、胴：LR縦	無	N	6	7.5YR7/4にぶい褐色	Ⅲ	25.5	(28.1)	—	
318	223	722	S I 88	Sベルト9層、土器集中部	深鉢	胴：LR+結節(2)縦、底：網代裏	無	N	6	5YR7/6褐色	Ⅲ4	24.3	43.3	[11.6]	
318	223	723	S I 88	Sベルト9層、土器集中部	深鉢	胴：LR縦→沈線	無	N	10	5YR6/8褐色	Ⅲ4-b				
318	223	724	S I 88	QSE埋土下位、QSW埋土下位、Sベルト9層、土器集中部	深鉢	口：平緑、胴：単軸絡第1類R縦	無	N	6	5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ4	19.8	28.3	8.5	補修孔1対あり
319	224	725	S I 88	土器集中部	深鉢	胴：LR縦、底：木葉裏	無	N	7	5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ	—	(8.3)	11.5	
319	224	726	S I 88	土器集中部	深鉢	胴：LR縦、底：木葉裏(複数枚)	無	N	7	7.5YR7/6褐色	Ⅲ	—	(12.7)	11.3	
319	224	727	S I 88	土器集中部	深鉢	口：平緑、口縁部隆起付、胴：LR縦？	無	N	11	10YR7/3にぶい褐色	Ⅲ4				
319	224	728	S I 88	QSW埋土下位、NSベルト9層	深鉢	口：波状(波状)、胴：LR縦→沈線(無文帯)	無	N	6	5YR4/4にぶい赤褐色	Ⅲ4-b	[23.2]	(30.6)	—	内面縦で輪槽痕が見える
319	224	729	S I 88	QSE埋土中・下位、WEベルト9層	深鉢	口：平緑、胴：LR縦	内	N	6	7.5YR4/2灰褐色	Ⅲ	[13.3]	(14.4)	—	
319	224	730	S I 88	NSベルト9層	深鉢	口：平緑、胴：LR縦、底：網代裏	無	N	2	5YR6/6褐色	Ⅲ	[17.4]	(18.8)	7.7	
319	224	731	S I 88	Sベルト9層	深鉢	口：波状、胴：LR縦→沈線	外	N	2	5YR5/3にぶい赤褐色	Ⅲ4-b				
319	224	732	S I 88	Sベルト9層	深鉢	口：平緑、胴：LR縦→沈線	外	N	11	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ4-b				
319	224	733	S I 88	Sベルト7層	深鉢	口：平緑、胴：LR縦	無	M	2	5YR7/6褐色	Ⅲ	[15.0]	(17.0)	—	
320	224	734	S I 88	Sベルト6層	深鉢	胴：LR縦、底：網代裏	無	N	7	5YR4/6赤褐色	Ⅲ	—	(5.2)	13.1	
320	224	735	S I 88	Sベルト6層	深鉢	口：平緑、胴：LR縦→沈線	無	M	2	7.5YR6/3にぶい褐色	Ⅲ4				
320	225	736	S I 88	QNE埋土下位	深鉢	胴：LR縦、底：網代裏	無	N	6	2.5YR5/6明赤褐色	Ⅲ	—	(20.9)	[11.0]	
320	225	737	S I 88	QSE埋土下位	深鉢	胴：LR縦、底：網代裏	無	N	6	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ	—	(5.4)	11.3	剥落頭著
320	225	738	S I 88	QSE埋土下位	深鉢	口：平緑、胴：LR縦	無	N	6	5YR5/6明赤褐色	Ⅲ	[10.7]	12.4	4.9	
320	225	739	S I 88	QSW埋土下位、Nベルト9層	深鉢	胴：LR縦？、底：網代裏	無	N?	7	5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ?	—	(3.7)	10.5	

第22表 縄文土器観察表 (18) (残存値) (還元値)

図版 No.	掲載 No.	出土地点	層位	器種	文様の特徴	煤の 付着	内面 調整	胎土	色調	時期・分類	計測値 (cm)		備考	
											口径	器高		底径
320	225	S I 88	QNE埋土下位	深鉢	口：平緑、胴：L.R縦、沈線→隆帯(突起)	無	N	6	5YR4/3にぶい赤褐色	Ⅲ4-b				
320	225	S I 88	QSE埋土下位	深鉢	口：平緑、胴：沈線、刺突、L.R縦	無	N	10	5YR6/6褐色	Ⅲ4-b				
320	225	S I 88	QNE埋土上・中・下位、 QNW埋土中～下位	浅鉢	胴：L.R縦、底：網代裏	無	M	6	5YR6/6褐色	Ⅲ2-b?	25.4	15.6	10.0	
321	225	S I 88	QSW埋土中～下位	深鉢	胴：L.R縦?、底：木葉裏	無	N	2	10YR8/3浅黄褐色	Ⅲ	—	(7.6)	[10.2]	輪槽の中1.5cm程
321	226	S I 88	QSE埋土上位・下位	深鉢	口：平緑、胴：L.R+結節(乙)縦	外	N	6	7.5YR7/3にぶい褐色	Ⅲ4	[26.0]	(21.8)	—	
321	226	S I 88	QSE埋土中位～下位	深鉢	口：平緑、胴：L.R縦、底：木葉裏?	内外	N	6	7.5YR7/4にぶい褐色	Ⅲ	[15.3]	(20.2)	[6.0]	
321	226	S I 88	QNE埋土上～下位、中～下位、 QSE埋土中位	深鉢	胴：L.R縦→隆沈線	無	M	6	2.5YR5/8明赤褐色	Ⅲ2-b	—	(7.3)	[9.8]	
321	226	S I 88	QNE埋土中位	深鉢	胴：L.R縦、底：木葉裏→網代裏	無	N	6	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅲ	—	(6.7)	10.2	
321	226	S I 88	QNE埋土中位	深鉢	口：平緑、胴：L.R縦、沈線	内	N	4	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ4				
321	226	S I 88	QNE埋土中位	深鉢	口：平緑、胴：L.R縦	無	N	2	2.5YR5/6明赤褐色	Ⅲ				補修孔あり
321	226	S I 88	QNE埋土上位	深鉢	口：平緑、胴：L.R縦→隆沈線	内外	N	2	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅲ3				
321	226	S I 88・104	QSE埋土下位、土器No.2 (伊内出 土)、土器No.3	深鉢	口：平緑、胴：L.R縦→沈線(無文帯)4単位、 底：網代裏	無	N	6	5YR5/6明赤褐色	Ⅲ4-a	(16.8)	(25.5)	[7.0]	
321	226	S I 88・104	QNE埋土下部、QNW埋土上部	深鉢	口：平緑、胴：L.R縦	無	N	6	7.5YR7/4にぶい褐色	Ⅲ	[11.9]	(11.3)	[4.8]	
322	227	S I 89	Eペルト9層、埋設土器	深鉢	口：平緑、胴：L.R縦、底：網代裏	無	N	2	7.5YR7/6褐色	Ⅲ4				
322	227	S I 89	石厨ろ埋土	深鉢	口：波状、沈線、刺突、L.R縦	無	M	10	5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ4-b	27.3	49.6	10.0	
322	227	S I 89	石厨ろ埋土	深鉢	口：波状、沈線、刺突、L.R縦	無	M	10	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ4-b				掲載No.755と同一個体?
322	227	S I 89・93	Eペルト9層	深鉢	胴：L.R縦、底：網代裏	無	N	6	10YR7/3にぶい黄褐色	Ⅲ4-b	—	(6.7)	[9.6]	掲載No.754と同一個体?
322	227	S I 90	NSペルト埋土上層	深鉢	口：平緑?、L.R縦?、沈線	外	N	7	7.5YR6/6褐色	Ⅲ4				
322	227	S I 90	NSペルト埋土上層	深鉢	胴：L.R縦	外	N	2	7.5YR5/3にぶい褐色	Ⅲ				
322	227	S I 91	床面直上、土器No.1	深鉢	口：平緑、L.R縦?	無	N	7	7.5YR7/4にぶい褐色	Ⅲ				摩滅している
323	227	S I 91	床面直上、土器No.2	深鉢	口：平緑、L.R縦→沈線+隆帯	無	N	7	7.5YR6/6褐色	Ⅲ4-b				
323	228	S I 91	WEペルト6層	深鉢	口：波状、L.R縦、沈線、刺突、L.R縦	外	N	6	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ4-b				
323	228	S I 91	WEペルト5層	深鉢	口：平緑、L.R縦(満文)、口：波状、L.R縦→沈線	無	N?	2	5YR6/6褐色	Ⅲ2覆林2				
323	228	S I 91	埋土	深鉢	胴：L.R縦?	無	N?	7	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅲ?	—	(4.2)	[4.4]	
323	228	S I 91	埋土	深鉢	胴：L.R縦、底：網代裏	無	M	2	10YR6/3にぶい黄褐色	Ⅲ4				
323	228	S I 92	NSペルト4層	深鉢	胴：L.R縦、底：網代裏	無	N	7	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅲ?	—	(3.0)	10.2	
323	228	S I 92	NSペルト4層	深鉢	胴：L.R縦、底：網代裏	無	N	6	10YR8/3浅黄褐色	Ⅲ?	—	(11.3)	12.0	
323	228	S I 92	NSペルト埋土1・3・4層	深鉢	口：平緑、口縁部隆帯付、胴：L.R縦	無	N	11	7.5YR7/6褐色	Ⅲ4-b				
324	228	S I 92	NSペルト3層	深鉢	胴：L.R縦、底：木葉裏	無	N2	7	5YR6/6褐色	Ⅲ?	—	(4.2)	12.0	
324	228	S I 92	NSペルト3層	深鉢	口：平緑、突起、胴：L.R縦、沈線	外	N	5	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅲ4-b				
324	228	S I 92	NSペルト埋土1層	深鉢	胴：L.R縦	無	N	6	10YR4/2灰黄褐色	Ⅲ?	—	(2.2)	[5.4]	
324	228	S I 92	NSペルト埋土1層	深鉢	口：平緑、L.R縦→沈線	無	N	7	7.5YR6/4褐色	Ⅲ4				
324	229	S I 93	埋設土器	深鉢	胴：L.R縦、底：網代裏	無	N	6	10YR7/4にぶい黄褐色	Ⅲ4?	—	(31.2)	8.4	
324	229	S I 93	西ペルト埋土1層	深鉢	口：平緑、胴：車輪筋第1縦、沈線	無	N	5	10YR6/3にぶい黄褐色	Ⅲ4-b				
324	229	S I 94	土器No.1、埋土下位	深鉢	胴：L.R縦	内	N	2	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅲ?	—	(8.1)	10.0	摩滅著しい
324	229	S I 95	埋土中～下位	深鉢	口：波状+単位、L.R縦→沈線・隆帯(満文)	外	M	2	5YR6/6褐色	Ⅲ2覆林2	[25.4]	(31.0)	—	
324	229	S I 95	埋土中～下位	深鉢	口：L.R斜→隆帯+原体胴L.R、胴：L.R縦	無	M	5	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅲ1-b?				
324	229	S I 95	埋土中～下位	深鉢	口：平緑、L.R縦→隆帯、沈線(満文)	無	N	4	7.5YR6/3にぶい褐色	Ⅲ2-a				
325	229	S I 95	埋土中～下位	深鉢	口：平緑、隆帯付(満文)、刺突列	無	N	12	5YR5/3にぶい赤褐色	Ⅲ2-a?				
325	229	S I 95	埋土中～下位	深鉢	口：波状、突起縦→隆沈線、沈線(満文)	無	N	12	7.5YR5/3にぶい褐色	Ⅲ2-a				
325	229	S I 96	埋土中位	深鉢	口：平緑、突起、原体胴L.R、 胴：L.R+L.R結束1縦	無	N	12	5YR4/2灰褐色	Ⅲ1-b?				
325	229	S I 97	埋設土器	深鉢	口：平緑、胴：L.R縦	無	N	2	5YR5/8明赤褐色	Ⅲ4	22.4	(24.1)	—	輪槽の中2.0cm程?
325	230	S I 97	埋設土器	深鉢	口：平緑、沈線、L.R(R(復々筋)縦	無	M	2	5YR6/6褐色	Ⅲ4				補修孔あり
325	230	S I 97	ペルト埋土	深鉢	底：木葉裏	無	N	3	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ?	—	(2.4)	13.7	
325	230	S I 97	埋土	深鉢ミニ チューブ	不明	内	N	2	7.5YR5/3にぶい褐色	Ⅲ?	—	(2.0)	3.1	アスファルト状の物質が 部分的に付着
325	230	S I 98	埋土中位	深鉢	胴：L.R縦横→沈線・隆帯	内	N	2	7.5YR5/3にぶい褐色	Ⅲ2-a	—	(9.0)	—	横位に被熱痕、黒色化

第22表 縄文土器観察表 (19)

(残存価) [還元価]

図版 No.	写図 No.	掲載 No.	出土地点	層位	器種	文様の特徴	煤の付着	内面調整	胎土	色調	時期・分類	計測値 (cm)	備考		
												口径	器高	底径	
326	230	786	S I 99	埋土最下層、埋設土器、石囲炉(石囲部埋土)	深鉢	胴：単軸第1類L→沈線・無文帯→刺突(文様4単位)	無	N	3	2.5YR5/6明赤褐色	Ⅲ4-b	—	(26.2)	—	石囲炉内掘置土器の一部か
326	230	787	S I 99	土器No.1(床面直上)	深鉢	口：平縁、沈線→LR縦横斜(先填)、(文様5単位) 胴：LR縦→沈線→無文帯、文様4単位	内外	N?	6	7.5YR6/4にぶい・橙色 7.5YR2/1黒色	Ⅲ4-b?	[16.7]	(120)	—	
326	230	788	S I 99・101	南西埋土上～中位、埋土上位、土器1、東埋土	深鉢	口：波状(4単位)、波頂部内側に貼付、胴：LR縦→沈線→無文帯、文様4単位	外	N	2	7.5YR4/2灰褐色	Ⅲ4-b?	[29.5]	(330)	—	
326	231	789	S I 100	ベルト埋土	深鉢	口：平縁、RL縦→隆沈線	無	M	6	5YR5/4にぶい・赤褐色	Ⅲ3	—	—	—	
326	231	790	S I 100	埋土	深鉢	胴：RL縦→隆沈線(満文)	無	M	6	2.5YR5/4にぶい・赤褐色	Ⅲ2-b	—	—	—	
327	231	791	S I 101	土器埋設炉、埋設土器	深鉢	胴：LR縦、底：刺突(2)→ミガキ	外	M	2	7.5YR6/6褐色	Ⅲ	—	(11.1)	11.4	付着物あり
327	231	792	S I 101	土器埋設炉、埋設土器、土器集中⑤	深鉢	胴：LR縦	内	N?	3	10YR6/3にぶい・黄褐色	Ⅲ	—	(9.7)	—	
327	231	793	S I 101	NSベルト7層	深鉢	口：波状、刺突(1)、胴：沈線、RL斜	無	N	6	7.5YR6/4にぶい・橙色	Ⅲ4-b	—	—	—	
327	231	794	S I 101	東埋土、西埋土、NSグリッド6層、土器集中①	深鉢	口：平縁、胴：LR縦横、底：刺突	無	M	2	5YR6/6褐色	Ⅲ4?	[28.1]	330	[9.6]	破損後、2次焼熱の痕跡あり
327	231	795	S I 101	東埋土、土器集中①・②・⑤	深鉢	口：平縁、胴：LR縦	外	N	6	5YR6/6褐色	Ⅲ	23.8	(12.6)	—	
327	231	796	S I 101	土器集中①	深鉢	胴：LR縦、底：刺突(2)→ミガキ	無	N	2	7.5YR5/4にぶい・褐色	Ⅲ	—	(6.4)	5.4	—
328	232	797	S I 101	西埋土、土器集中③	深鉢	口：平縁、縦い波状、胴：LR+結節(2)縦	無	M	2	5YR6/4にぶい・褐色	Ⅲ	[22.3]	(21.7)	—	
328	232	798	S I 101	東埋土、西埋土、土器3、土器集中⑤	深鉢	口：平縁、胴：LR+結節(2)縦	無	N	2	2.5YR6/6褐色	Ⅲ4	[28.9]	(38.6)	—	
329	232	799	S I 101	東埋土、西埋土、NSグリッド8層、土器集中⑥・⑦	深鉢	口：平縁、刺突(2)段横位、胴：LR+結節(2)縦	無	N	6	5YR5/2灰褐色	Ⅲ	[21.6]	(23.3)	—	
329	233	800	S I 101	西埋土、NSベルト7層、土器集中⑤・⑥・⑦	深鉢	口：平縁、胴：LR縦	無	M	2	5YR5/4にぶい・赤褐色	Ⅲ?	[28.1]	(21.4)	—	
329	233	801	S I 101	土器集中⑤	深鉢	胴：LR縦、底：刺突(2)→ナデ	無	N	2	7.5YR6/3にぶい・褐色	Ⅲ	—	(8.7)	7.4	—
329	233	802	S I 101	土器集中⑤	深鉢	口：平縁、胴：LR縦	無	M	6	7.5YR5/3にぶい・褐色	Ⅲ	—	—	—	
329	233	803	S I 101	土器集中⑤	深鉢	口：平縁、胴：LR+結節(2)縦	外	N	6	7.5YR5/3にぶい・褐色	Ⅲ4	—	—	—	
329	233	804	S I 101	東埋土	深鉢	胴：単軸第1類L縦→沈線(無文帯)+突起貼付(2単位)	無	N	3	5YR7/6褐色	Ⅲ4-b	—	(12.6)	5.3	—
329	233	805	S I 101	西埋土	深鉢	口：平縁、胴：LR縦	無	N	2	7.5YR6/4にぶい・褐色	Ⅲ	[11.6]	(11.8)	4.6	—
330	233	806	S I 102	北東埋土下位、東西7ゼ東脚2層、土器No.4床直上	深鉢	胴：LR縦、底：木葉裏→ミガキ	無	N	6	5YR6/6褐色	Ⅲ	—	(5.1)	[10.4]	—
330	233	807	S I 102	北東埋土下位、北西埋土下位、土器No.5床直上	深鉢	胴：LR+結節(2)縦	外	N	4	5YR6/6褐色	Ⅲ	—	—	—	
330	233	808	S I 102	土器No.11床直上	深鉢	胴：L+結節(2)縦?、底：刺突	無	N	7	7.5YR6/4にぶい・褐色	Ⅲ?	—	(5.8)	11.3	—
330	233	809	S I 102	P P 2埋土	深鉢	胴：LR縦、底：細文	無	N2	7	7.5YR7/3にぶい・褐色	Ⅲ?	—	(2.9)	[8.7]	—
330	233	810	S I 102	P P 1埋土	深鉢	胴：沈線→LR縦斜、文様は胴部下半まであり、底：木葉裏→ナデ	無	N	6	2.5YR6/6褐色 10YR7/4にぶい・黄褐色	Ⅲ4?	—	(5.4)	5.6	—
330	233	811	S I 102	東西7ゼ東脚22層、土器No.1、北東埋土上位	深鉢	口：平縁、胴：LR縦	無	N	6	5YR7/4にぶい・褐色	Ⅲ4	[20.1]	(27.0)	—	—
330	234	812	S I 102	南西埋土中～下位、土器No.2、埋土中～下位	深鉢	胴：RL縦、底：刺突	無	N2	6	7.5YR5/3にぶい・褐色	Ⅲ?	—	(14.7)	[11.0]	—
330	234	813	S I 102	南西埋土上～中位、土器No.3、埋土中～下位	深鉢	胴：LR縦、底：刺突	無	N	6	7.5YR7/4にぶい・褐色	Ⅲ	—	(7.4)	[8.2]	—
330	234	814	S I 102	土器No.6	深鉢	胴：LR縦、底：木葉裏	無	N	6	7.5YR7/4にぶい・褐色	Ⅲ	—	(6.2)	[10.2]	—
331	234	815	S I 102	南西埋土上位、南北7ゼ2層	深鉢	胴：LR縦?、底：木葉裏→ミガキ	無	N	5	7.5YR7/4にぶい・褐色	Ⅲ?	—	(12.9)	10.2	—
331	234	816	S I 102	南西埋土上位、南北7ゼ2層	深鉢	胴：LR縦、外面の底部付近もミガキ、底：刺突→ミガキ	無	N	7	5YR5/4にぶい・赤褐色	Ⅲ	—	(6.9)	[10.2]	—
331	234	817	S I 102	東西7ゼ2層	深鉢	口：平縁、胴：LR縦→沈線	無	N	2	5YR6/4にぶい・褐色	Ⅲ3	—	—	—	—
331	234	818	S I 102	北西埋土中～下位	深鉢	胴：LR縦	無	N	6	7.5YR7/4にぶい・褐色	Ⅲ?	—	(4.5)	[8.8]	底面：剥落
331	234	819	S I 102	北西埋土中～下位	深鉢	口：平縁、胴：LR縦	無	M?	10	5YR6/6褐色	Ⅲ4?	—	(2.4)	[10.1]	—
331	234	820	S I 102	南西埋土上位	深鉢	底：木葉裏	無	N	6	10YR5/3にぶい・青褐色	Ⅲ?	—	—	—	
331	234	821	S I 102	北東埋土上位	深鉢	口：平縁、RLR縦→隆沈線	無	M	2	5YR4/3にぶい・赤褐色	Ⅲ2-b	—	—	—	
331	234	822	S I 102	北西埋土上位	深鉢	口：平縁、LR縦、沈線	無	N	6	2.5YR5/6明赤褐色	Ⅲ4	—	—	—	
331	234	823	S I 103	D断面埋土2層	深鉢	胴：LR縦→沈線、刺突	無	N2	11	5YR5/4にぶい・赤褐色	Ⅲ4?	—	—	—	
331	234	824	S I 103	埋土下位	深鉢	胴：LR縦→沈線	無	M	6	7.5YR5/2灰褐色	Ⅲ3?	—	—	—	

(残存値) [復元値]

第22表 縄文土器観察表 (20)

図版 No.	写図 No.	掲載 No.	出土地点	層位	器種	文様の特徴	底の 付着	内面 調整	胎土	色調	時期・分類	計測値 (cm)		備考
												口径	器高 底径	
331	234	S I 103	土器No.1 埋土中位	深鉢	口：平縁、胴：LR縦？	無	N	10	10YR7/3にぶい、黄褐色	Ⅲ				
331	234	S I 104	石厨師埋土、土器No.1、 土器No.2 厨内出土	深鉢	口：平縁、胴：LR縦	無	N	6	5YR6/6橙色	Ⅲ?	[23.9]	(25.6)	—	摩滅している
331	235	S I 104	土器No.1 厨内出土	深鉢	口：平縁、胴：LR縦	無	N	11	10YR6/4にぶい、黄褐色	Ⅲ				
331	235	S I 104	土器No.2 厨内出土	深鉢	不明	無	N	2	7.5YR5/3にぶい、褐色	Ⅲ?			3.8	
331	235	S I 104	PP5埋土	深鉢	口：平縁、胴：RLR縦→沈線	無	N	6	5YR6/6橙色	Ⅲ				
332	235	S I 105	PP3南半埋土	深鉢	口：平縁、胴：RLR縦→隆北線	無	N	10	7.5YR6/4にぶい、褐色	Ⅲ2-b				
332	235	S I 105	北西埋土	深鉢	口：平縁、無文、頸：隆帯貼付+突起(5単位)、 胴：LR縦	無	M	2	5YR6/6橙色	Ⅲ4-b	[8.8]	(12.2)	—	
332	235	S I 106	埋設土器	深鉢	口：平縁、胴：LR縦、底：網代裏	無	N	2	7.5YR6/4にぶい、褐色	Ⅲ	16.9	12.6	6.4	
332	235	S I 106	ベルトB-B'2層	深鉢	口：平縁、胴：LR縦	無	N	11	5YR5/8明赤褐色	Ⅲ				
332	235	S I 106	ベルトA-A'1層	深鉢	口：平縁、胴：LR縦→沈線	無	N	6	7.5YR4/2灰褐色	Ⅲ3				
332	235	S I 106	北東埋土	深鉢	胴：LR縦、底：網代裏→ナデ	無	N	6	7.5YR8/4浅黄褐色	Ⅲ	—	(7.9)	[7.8]	
332	235	S I 106	北東埋土	深鉢	胴：LR縦、底：網代裏→ミガキ	無	N	7	7.5YR7/6褐色	Ⅲ	—	(7.7)	11.7	
332	235	S I 106	北東埋土	深鉢	口：平縁、口縁部無文、胴：LR+結節(2)縦	外	N	6	7.5YR5/3にぶい、褐色	Ⅲ4-b				
332	235	S I 106	埋土	深鉢	口：平縁、口縁部無文、胴：LR縦→沈線	無	N	6	7.5YR7/6褐色	Ⅲ4				
332	235	S I 107	PP32埋土	深鉢	胴：LR縦	無	N	5	10YR4/3にぶい、黄褐色	Ⅲ				
332	235	S I 107	ベルトA-A'8層	深鉢	口唇：庄裏、口：平縁、LR+結節(2)縦	無	N2	5	5YR5/4にぶい、赤褐色	Ⅲ?				
332	235	S I 108	南西埋土下位	深鉢	口：平縁、胴：RLR縦→隆北線	無	M	10	7.5YR5/3にぶい、褐色	Ⅲ3				
332	235	S I 109	埋土下位	深鉢	胴：結節(2)横、底：網代裏→ナデ	内	N?	3	5YR6/6褐色	Ⅱ	—	(8.9)	10.6	
332	235	S I 109	埋土下位	深鉢	胴：L網→粘土組貼付	無	N	7	10YR3/1黒褐色	Ⅱ2-4				
333	235	S I 110	埋設土器	深鉢	胴：LR縦、底：網代裏→ナデ	内	N?	6	7.5YR6/4にぶい、褐色	Ⅲ?	—	(17.3)	9.0	
333	236	S I 111	南北断面15層・17層・18層	深鉢	胴：LR+結節(2)縦、底：木葉裏	無	N2	7	7.5YR7/4にぶい、褐色	Ⅲ?	—	(11.6)	11.8	
333	236	S I 111	南北断面7層	深鉢	口：平縁、胴：RLR縦→沈線	無	N	3	7.5YR6/4にぶい、褐色	Ⅲ4				
333	236	S I 112	PP6埋土	深鉢	口：波状、胴：沈線→LR縦横(先填)	無	M	2	7.5YR5/3にぶい、褐色	Ⅲ4-a				
333	236	S I 112	土器2、南北断面11層	深鉢	口：平縁、胴：LR+結節(2)縦	無	N	6	5YR5/6明赤褐色	Ⅲ	[22.8]	(42.5)	[15.4]	摩滅している
333	236	S I 112	南北断面8層	深鉢	胴：LR縦、底：網代裏？	無	N	3	2.5YR6/8褐色	Ⅲ?	—	(10.1)	[8.1]	内面に液状の物質が流れた 痕跡あり
334	236	S I 112	土器1	深鉢	胴：LR+結節(2)縦	無	N	6	7.5YR6/4にぶい、褐色	Ⅲ				
334	236	S I 112	土器3	深鉢	胴：LR+結節(2)縦、底：網代裏	無	N	6	7.5YR6/6褐色	Ⅲ	—	(17.9)	10.3	摩滅している
334	237	S I 112	土器4	深鉢	胴：LR縦	無	N	7	5YR6/6褐色	Ⅲ	—	(32.1)	—	摩滅している
334	237	S I 112	土器4	深鉢	口：平縁、胴：LR+結節(2)縦、細目大きい	無	N	10	7.5YR5/4にぶい、褐色	Ⅲ4-b				
334	237	S I 112	土器5	深鉢	底：網代裏	無	N	2	7.5YR5/3にぶい、褐色	Ⅲ?	—	(1.8)	[6.8]	
334	237	S I 112	土器5	深鉢	胴：LR縦	内	N	6	7.5YR5/3にぶい、褐色	Ⅲ?				
334	237	S I 112	北東埋土下位	深鉢	胴：LR縦	外	N	2	7.5YR6/4にぶい、褐色	Ⅲ?	—	(2.8)	6.2	
335	237	S I 112	北東埋土下位	深鉢	底：網代裏	内	N	2	7.5YR6/4にぶい、褐色	Ⅲ?	—	(0.9)	6.7	
335	237	S I 112	北東埋土下位	深鉢	胴：LR縦、底：木葉裏	内	N?	6	2.5YR5/6明赤褐色	Ⅲ?	—	(11.6)	[7.7]	
335	237	S I 112	北東埋土下位	深鉢	口：波状、胴：沈線→LR縦横(先填)	無	M	6	2.5YR6/6褐色	Ⅲ4-b				内面に液状物質が流れた 痕跡あり
335	237	S I 112	北東埋土中位	深鉢	口：平縁、胴：LR縦	無	N	10	10YR8/4浅黄褐色	Ⅲ				
335	237	S I 113	床面	深鉢	胴：単軸路第1A類L2縦	無	N2	5	7.5YR5/3にぶい、褐色	Ⅱ				
335	238	S I 114	土器No.1	深鉢	口：波状、沈線、刺突列、隆帯(円文)、 胴：LR+LR結果1縦	内外	N	11	5YR6/6褐色	Ⅱ4				
335	238	S I 114	土器No.2 床面直上	深鉢	口：平縁(貼付4単位)、隆帯+刺突、 (文様4単位)、胴：LR縦→沈線	内	N	6	7.5YR5/3にぶい、褐色 10YR3/1黒褐色	Ⅱ4	[23.2]	(21.7)	—	
335	238	S I 114	埋土1層	深鉢	胴：LR縦	無	N	6	7.5YR4/2灰褐色	Ⅲ2-a?	—			
336	238	S I 115	伊埋設土器	深鉢	胴：LR縦	無	N2	5	7.5YR5/3にぶい、褐色	Ⅲ	—	(6.9)	—	
336	238	S I 115	北西埋土下位、南東埋土下位、 ベルトA-A'・B-B'7層	深鉢	口：波状(4単位?)、沈線、刺突、 胴：沈線→LR縦横(先填)8単位	無	N	6	7.5YR7/4にぶい、褐色	Ⅲ4-a	[31.5]	(23.9)	—	
336	239	S I 115	南東埋土下位	深鉢	口：平縁、胴：LR縦	無	M	2	7.5YR5/3にぶい、褐色	Ⅲ	[27.8]	(21.3)	—	
336	239	S I 115	ベルトA-A'・B-B'7層	深鉢	口：平縁、胴：沈線→LR縦、底：木葉裏	無	N?2	7	7.5YR7/4にぶい、褐色	Ⅲ4-a	[17.2]	(25.7)	9.0	

第22表 縄文土器観察表 (21)

(残存値) (復元値)

図版 No.	写図 No.	掲載 No.	出土地点	層位	器種	文様の特徴	底の 付着	内面 調整	胎土	色調	時期・分類	計測値 (cm)		備考	
												口径	器高 底径		
336	239	869	S I 115	ベルトB-B'7層	深鉢	底: 網代真	無	N	7	7.5YR5/4にぶい褐色	II?	—	(2.7)	5.7	
336	239	870	S I 115	ベルトA-A'4層	壺?	胴: 沈線→L縦、胴部に突起あり、底: 木葉真	無	N1	6	7.5YR6/6褐色	III4-a	—	(8.1)	[7.2]	
337	240	871	S I 115	南東埋土中位、ベルトA-A'1層、 ベルトB-B'1層・3層	深鉢	口: 平緑、胴: L+結節(Z)縦、底: 網代真	無	N	2	10YR7/3にぶい褐色	III4?	[24.3]	(43.7)	[10.7]	
337	240	872	S I 115	ベルトB-B'2層	深鉢	胴: L縦位、底: 木葉真	内	N?	7	10YR6/4にぶい黄褐色	II?	—	(7.9)	9.2	外面に付着物 (5YR6/6褐色)
337	240	873	S I 115	埋土中位、ベルトB-B'1層	深鉢	口: 平緑、胴: L+結節(Z)縦	無	N	6	7.5YR6/4にぶい褐色	III4-b?	[27.6]	(25.1)	—	
338	241	874	S I 115	ベルトB-B'1層	深鉢	口: 平緑、胴: L+結節(Z)縦	無	N	6	7.5YR6/4にぶい褐色	III4?	[30.5]	(17.0)	—	
338	241	875	S I 115	ベルトB-B'1層	深鉢	口: 平緑、口縁部隆帯貼付、 胴: L+結節(Z)縦	無	N	2	7.5YR6/4にぶい褐色	III4-b	—	—	—	
338	241	876	S I 115	南東埋土中位	深鉢	胴: L縦、底: 網代真	無	N2	7	7.5YR7/4にぶい褐色	III	—	(15.5)	[9.0]	摩滅している
338	241	877	S I 116	北半埋土下位	深鉢	胴: 単軸筋第1A類RR縦、底: 圧痕?	無	N	7	5YR6/6褐色	II	—	(6.3)	[11.5]	
338	241	878	S I 116	北半埋土下位	深鉢	胴: L縦、底: 網代真	内	N	7	5YR6/6褐色	II	—	(8.4)	[13.1]	
338	241	879	S I 116	北半埋土下位	深鉢	口: 平緑、頸: 隆帯+刺突、 胴: 単軸筋第1類L縦	無	N	11	5YR6/4にぶい褐色	II3	—	—	—	
338	241	880	S I 116	北半埋土下位	深鉢	口: 平緑、口縁部圧痕、 胴: 単軸筋第5類R縦	無	N2	5	7.5YR5/3にぶい褐色	II	—	—	—	
338	241	881	S I 116	南半埋土下位	深鉢	口: 4単位突起あり、胴: L+結節(Z)縦→隆 帯+刻目	無	N3	7	5YR5/3にぶい赤褐色	II3	[26.2]	(11.1)	—	
339	241	882	S I 117	埋土	深鉢	口: 平緑、頸: 隆帯+圧痕、胴: R縦?	無	N	6	10YR5/3にぶい黄褐色	II1-b	—	—	—	
339	241	883	S I 117	埋土	深鉢	口唇: 粘土細貼付、口: 平緑、 胴: LL(直前段反巻)横→粘土細貼付	内	N	2	7.5YR4/2灰褐色	II2-4	—	—	—	
339	241	884	S I 117	埋土	深鉢	口: 平緑、L縦、隆帯、沈線	無	N	6	10YR7/2にぶい黄褐色	II2-3?	—	—	—	
339	241	885	S I 118	ベルトA-A'1層	深鉢	口: 波状、隆帯、沈線	無	N	5	7.5YR3/1黒褐色	II4	—	—	—	
339	241	886	S I 118	埋土	深鉢	胴: 単軸筋第4類	無	N3	7	5YR6/6褐色	II	—	(4.0)	10.6	
339	241	887	S I 118	埋土	深鉢	口: 平緑、圧痕、口: 平緑?、胴: L+結節(S)横	内外	N	6	7.5YR4/2灰褐色	II	—	—	—	
339	241	888	S I 118、 IV C3 J	埋土、II層	深鉢	口: 4単位突起(圧痕3単位)、 胴: 単軸筋第1A類L縦	内外	N?	7	5YR6/4にぶい褐色 7.5YR3/2黒褐色	II3	[17.1]	(21.4)	—	
339	241	889	S I 120	PP埋土	深鉢	口唇: 粘土細貼付、胴: L+結節(Z)縦	無	N2	5	7.5YR5/3にぶい褐色	II	—	—	—	
339	241	890	S I 123	記載なし	深鉢	口唇: 粘土細貼付、口: 平緑、胴: R+結節(Z)横	無	N	5	5YR6/8褐色	II	—	—	—	
340	242	891	S K I 01	床面	深鉢	口: 波状、L縦	外	N	6	5YR4/3にぶい赤褐色	III	—	—	—	
340	242	892	S K I 02	南西埋土中位	深鉢	口: 平緑、口縁部の後ろに隆帯貼付による突起	無	N	5	7.5YR6/4にぶい褐色	III4-b	—	—	—	
340	242	893	S K I 02	南西埋土中位	深鉢	口: 平緑、口縁部は無文帯	無	N	6	5YR6/4にぶい褐色	III4-b?	—	—	—	
340	242	894	S K I 02	ベルト埋土	深鉢	口: 平緑、隆帯+刻目、胴: 隆帯+沈線、RLR縦	無	M	6	5YR5/4にぶい赤褐色	III4-b	—	—	—	
340	242	895	S K I 03	南西埋土	深鉢	口: 平緑、沈線、RLR縦	無	N	10	5YR6/6褐色	III4	—	—	—	
340	242	896	S K I 04	埋土②	深鉢	口: 平緑、沈線、RLR縦	無	N	6	7.5YR4/2灰褐色	III4	—	—	—	
340	242	897	S K I 04	埋土①	深鉢	口: 平緑、L縦→隆帯	無	M	2	7.5YR6/3にぶい褐色	III2-a	—	—	—	
340	242	898	S K I 05	北半埋土	深鉢	口唇: 隆帯貼付で肥厚、口: 平緑、胴: RL横	無	N	10	5YR6/6褐色	II?	—	—	—	
340	242	899	S K I 05	西半埋土	深鉢	口唇: 圧痕、口: 平緑、胴: L横	無	N	10	5YR5/4にぶい赤褐色	II1-2	—	—	—	
340	242	900	S K I 09	ベルト埋土	深鉢	口: 波状、L縦→沈線	無	N	6	10YR5/3にぶい黄褐色	III4	—	—	—	
340	242	901	S K I 09	Eベルト埋土	深鉢	胴: LRLR縦→沈線(渦文)	内	N	4	7.5YR5/4にぶい褐色	III2-b?	—	—	—	
340	242	902	S K I 09	QNE埋土	深鉢	胴: L縦	無	N	3	5YR4/3にぶい赤褐色	III?	—	(2.4)	5.1	
340	242	903	S K I 10	ベルトB-B'1層	深鉢	口: 波状?、胴: LRLR横→沈線	無	N	4	5YR6/6褐色	III2	—	—	—	
340	242	904	S K I 10	南西埋土上~中位、ベルトB-B'1層	深鉢	口: 波状?波頂部に圧痕、 胴: LRLR横→沈線、刺突	無	M	4	5YR7/6褐色	III2	—	(10.1)	11.5	内外面に被熱による変色 範囲あり
340	242	905	S K I 10	南東埋土、南西埋土	深鉢	胴: 単軸筋第1類L縦、底: 網代真	無	N	6	5YR7/6褐色	III4?	—	—	—	
340	242	906	S K I 12	埋土中位	深鉢	胴: RL縦	内外	N1	2	10YR8/4浅黄褐色	III	—	(16.2)	—	
340	242	907	S K I 13	ベルト埋土1層	深鉢	口: 平緑、隆帯、LRLR縦	無	N	2	7.5YR6/4にぶい褐色	III?	—	—	—	
340	242	908	S K I 13	ベルト埋土1層	深鉢	口: 平緑、突起あり、胴: LRLR横→隆帯+圧痕	無	N	2	5YR6/6褐色	II	—	—	—	
340	242	909	S K I 13	埋土	深鉢	口: 平緑、RL横→隆帯+刺突列	無	N	5	5YR4/2灰褐色	III3	—	—	—	
340	242	910	S K I 14	埋土	深鉢	口: 平緑、胴: 単軸筋第5類L2横?	無	N	6	5YR4/3にぶい赤褐色	II	—	—	—	
340	242	911	S K I 14	埋土	深鉢	口: 平緑、隆帯+刻目	無	N	6	2.5YR6/6褐色	II	—	—	—	

第22表 縄文土器観察表 (22) (残存値) (還元値)

図版 No.	写図 No.	掲載 No.	出土地点	層位	器種	文様の特徴	煤の 付着	内面 調整	胎土	色調	時期・分類	計測値 (cm)		備考	
												口径	器高 底径		
341	243	912	S K 02	1層	深鉢	胴：RLR縦→隆沈線	無	M	6	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅲ2-b				
341	243	913	S K 03	東半埋土7層	深鉢	胴：単軸筋第1A類縦	無	N	5	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅲ4?				
341	243	914	S K 05	1次6～7層、2次6層・9層	深鉢	口：平線、胴：L・R+結筋(2)縦、底：網代真	無	N	6	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ4	[26.5]	47.6	[13.0]	
341	243	915	S K 05	1次、2次6層(南端)、2次7層・9層	深鉢	口：平線、4単位突起、胴：L縦→沈線(文様単位不明)	無	N	2	7.5YR7/4にぶい褐色	Ⅲ4?	[17.0]	17.8	[6.1]	
341	243	916	S K 05	1次、2次7層(東端)、2次9層	深鉢	胴：RLR縦、底：網代真	内	N	6	7.5YR5/4にぶい褐色	Ⅲ2-b?	—	(7.0)	10.7	
341	243	917	S K 05	2次7層・9層	深鉢	口：平線、突起、刺突列、胴：沈線、L縦	無	M	6	5YR5/3にぶい赤褐色	Ⅲ4-b			掲載No917・922 同一個体?	
341	243	918	S K 05	2次7層	深鉢	胴：RL縦、底：網代真	無	N	6	10YR6/2灰黄褐色	Ⅲ		(8.1)	5.4	
342	243	919	S K 05	2次6層	深鉢	口：平線、沈線、LR縦	無	N	6	7.5YR7/6褐色	Ⅲ4				
342	243	920	S K 05	1次9層	深鉢	胴：L縦?	無	N	6	7.5YR4/4褐色	Ⅲ		(7.8)	6.1	
342	244	921	S K 05	1次9層(石の下)	深鉢	口：平線、胴：L縦	外	N	3	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ	[27.6]	(20.3)	—	
342	244	922	S K 05	1次9層(石の下)	深鉢	口：波状、突起、刺突、胴：沈線、L縦	無	N	6	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ4-b			掲載No917・922 同一個体?	
342	244	923	S K 05	1次6～7層	深鉢	胴：L・R+結筋(S)縦、底：網代真→塵減?	無	N	6	7.5YR7/4にぶい褐色	Ⅲ		(10.3)	11.4	
342	244	924	S K 05	1次1層・3層	深鉢	胴：単軸筋第1類LR縦→沈線	無	N	5	5YR5/6明赤褐色	Ⅲ4-b				
342	244	925	S K 06	1層床面出土②	深鉢	口：波状、胴：RLR縦→沈線、隆帯貼付	外	N	6	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ4-b				
342	244	926	S K 07	南半埋土1層	深鉢	口：平線、隆帯、原体側LR、胴：LR横→沈線	無	N	5	5YR4/4にぶい赤褐色	Ⅲ2-a			掲載No926・927 同一個体?	
342	244	927	S K 07	南半埋土1層	深鉢	口：平線、隆帯、原体側LR、沈線	無	N	5	5YR4/4にぶい赤褐色	Ⅲ2-a			掲載No926・927 同一個体?	
343	244	928	S K 09	出土状況④	深鉢	胴：L縦→沈線→隆帯、刺突	外	M	6	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ4-b				
343	244	929	S K 09	出土状況⑤	深鉢	口：平線、RL縦→沈線、刺突、隆帯	外	M	6	10YR5/3にぶい黄褐色	Ⅲ4-b				
343	244	930	S K 09	埋土一括	深鉢	底：網代真?、ミガキ?	無	N?	7	10YR4/2灰黄褐色	Ⅲ		(4.2)	9.2	
343	244	931	S K 10	東半埋土1層	深鉢	口：平線、胴：L・R横→原体側LR、沈線	無	N	11	2.5YR5/6明赤褐色	Ⅲ1-b				
343	244	932	S K 10	西半埋土下位	深鉢	口：波状、隆帯、LR縦	無	N	6	7.5YR5/3にぶい褐色	Ⅲ				
343	244	933	S K 12	1次精査土器出土②	深鉢	口：波状、LR縦→沈線	無	N	5	10YR7/4にぶい黄褐色	Ⅲ4-b				
343	245	934	S K 12	東半埋土1層	深鉢	胴：L・R縦→沈線	無	N	5	7.5YR4/3褐色	Ⅲ4				
343	245	935	S K 12	東半埋土1層、検出段階の出土	深鉢	口：平線、LR横→沈線	無	N	5	7.5YR5/4にぶい褐色	Ⅲ4				
343	245	936	S K 12	検出段階の出土	深鉢	口：平線、RLR縦	無	N	11	7.5YR7/4にぶい褐色	Ⅲ				
343	245	937	S K 12	検出段階の出土	深鉢	口：波状、沈線+隆帯貼付	無	N	7	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ4-b				
344	245	938	S K 13	土器1、北西埋土、2次7層	深鉢	口：平線、胴：LR縦	無	N	6	5YR7/6褐色	Ⅲ4?	[25.1]	(23.9)	—	
344	245	939	S K 13	北西埋土下層	深鉢	口：波状、胴：L・R縦	無	N	2	10YR5/4にぶい黄褐色	Ⅲ				
344	245	940	S K 13	土器2、南西部	深鉢	胴：単軸筋第1A類R縦	無	N	11	10YR7/4にぶい黄褐色	Ⅲ				
344	245	941	S K 13	北西中位	深鉢	口：波状? 筒状突起あり、LR縦? 隆帯+刻目	無	M	5	10YR3/1黒褐色	Ⅲ2-a				
344	245	942	S K 13	南東部、北西埋土	深鉢	胴：L縦	内	N	6	7.5YR7/4にぶい褐色	Ⅲ		(10.2)	[11.4]	
344	245	943	S K 13	北西	深鉢	口：平線、RL縦、沈線、刺突	外	N	6	7.5YR3/2黒褐色	Ⅲ4-b				
344	245	944	S K 15	東半埋土4層	深鉢	胴：RLR縦→沈線(3本1組)縦位(6単位)	外	N	6	10YR5/2灰黄褐色	Ⅲ2-b		(7.2)	6.7	
344	245	945	S K 17	北半埋土上層	深鉢	口：L・R縦→沈線	外	N	6	7.5YR4/2灰褐色	Ⅲ3				
344	245	946	S K 19	南半埋土下位	深鉢	胴：L・R縦→LR縦横(先填?)	無	N	10	7.5YR7/4にぶい褐色	Ⅲ4				
344	245	947	S K 20	西半埋土下位	深鉢	胴：沈線、LR縦	無	N	2	7.5YR7/4にぶい褐色	Ⅲ4				
344	245	948	S K 20	南半埋土下位	深鉢	口：波状、突起、隆帯貼付、LR縦?	無	N	7	5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ2-a				
344	245	949	S K 22	南半埋土下位	深鉢	胴：LR縦、沈線	無	N	5	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ4-b				
344	245	950	S K 23	ベルト埋土	深鉢	口：平線、RLR縦→隆沈線	無	M	6	5YR6/6褐色	Ⅲ2-b				
344	245	951	S K 23	埋土	深鉢	口：波状、RL縦→隆沈線	無	N	6	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅲ2-b				
344	245	952	S K 24	西半埋土中位	深鉢	胴：RLR縦→沈線	無	N	11	7.5YR5/4にぶい褐色	Ⅲ3-b				
344	245	953	S K 26	西半埋土中位	深鉢	胴：L・R+結筋(2)縦	外	M?	6	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ				
344	245	954	S K 27	東半埋土1層	深鉢	口：波状、RL縦→沈線(高文)	無	N	5	2.5YR5/6明赤褐色	Ⅲ3				
344	245	955	S K 27	東半埋土1層	深鉢	口：平線、胴：LR縦	無	M	11	7.5YR5/4にぶい褐色	Ⅲ				
344	245	956	S K 27	東半埋土7層	深鉢	不明	無	N	6	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅲ		(2.3)	[7.4]	
345	245	957	S K 27	東半埋土4層	深鉢	底：網代真	無	N	22	7・8	10YR5/2灰黄褐色	Ⅲ		(3.5)	12.4
345	246	958	S K 27	東半埋土4層	深鉢	口：平線、刺突列、胴：沈線、LR縦	外	M	5	10YR4/1褐色	Ⅲ4-b				

第22表 縄文土器観察表 (23)

(残存値) (復元値)

図版 No.	写図 No.	掲載 No.	出土地点	層位	器種	文様の特徴	底の 付着	内面 調整	胎土	色調	時期・分類	計測値 (cm)		備考	
												口径	器高		底径
345	246	959	S K 27	東半埋土4層	深鉢	口：平縁、口縁部無文帯、胴：RL縦	無	N	11	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅲ4				
345	246	960	S K 27	西半埋土1層、東半埋土4層	深鉢	胴：RL縦→沈線	無	N	5	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ				
345	246	961	S K 27	西半埋土1層、東半埋土4層	深鉢	口：波状、刺突列、胴：LRL縦→沈線	外	M?	4	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ4-b				
345	246	962	S K 27	西半埋土1層、東半埋土4層	深鉢	口：平縁、胴：LR+結節(乙)縦	無	N	6	10YR6/3にぶい黄褐色	Ⅲ				
345	246	963	S K 27	西半埋土1層	深鉢	口：波状、口縁部無文帯、内面に隆帯貼付	無	N	6	5YR7/4にぶい褐色	Ⅲ4-b				
345	246	964	S K 27	西半埋土1層	深鉢	口：平縁、RL縦→隆沈線	無	M	6	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅲ2-b				
345	246	965	S K 27	埋土中位	深鉢	口：波状、LR縦→沈線	無	N	5	10YR4/2灰黄褐色	Ⅲ3				
345	246	966	S K 29	東半埋土1～3層	深鉢	胴：LRL縦、底：網代裏	無	N	6	10YR5/3にぶい黄褐色	Ⅲ		10.2	(4.3)	
345	246	967	S K 29	東半埋土1～3層	深鉢	口：平縁、沈線(口縁部無文帯)、胴：LR縦	無	N	11	7.5YR6/6褐色	Ⅲ4-b				
345	246	968	S K 29	東半埋土1～3層	深鉢	口：平縁、胴：刺突、沈線、LR横斜	無	N2	11	7.5YR5/3にぶい褐色	Ⅲ4-b				
345	246	969	S K 29	東半埋土1～3層	深鉢	口：波状、胴：LR縦、沈線	無	N	7	5YR5/3にぶい赤褐色	Ⅲ4-b				
345	246	970	S K 29	東半埋土1～3層	深鉢	口：波状、L斜、LR斜、沈線	内外	M	5	2.5YR5/6明赤褐色	Ⅲ4-b				
345	246	971	S K 29	東半埋土1～3層	深鉢	口：平縁、LR縦、沈線	無	N	2	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ4-b				
345	246	972	S K 29	貝層 b	深鉢	口：平縁、RL縦	無	N	11	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ				
346	246	973	S K 29	西半埋土上～中位	深鉢	口：平縁、胴：LR縦→沈線	外	M?	5	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ4				
346	246	974	S K 29	西半埋土上～中位	深鉢	口：平縁、突起、刺突列、胴：LRL縦→沈線+隆帯	無	N	11	7.5YR4/2灰褐色	Ⅲ4-b				
346	246	975	S K 29	西半埋土上～中位	深鉢	口：波状、突起、刺突列、胴：沈線、LR縦	無	N	3	10YR7/3にぶい黄褐色	Ⅲ4-b				
346	246	976	S K 29	西半埋土上～中位	深鉢	口：平縁、内面に隆帯貼付、胴：LR縦→沈線	無	N	3	5YR6/6褐色	Ⅲ4-b				
346	246	977	S K 29	西半埋土上～中位	深鉢	胴：LR縦	無	N	6	5YR7/4にぶい褐色	Ⅲ		58	(11.0)	
346	247	978	S K 29	西半埋土上～中位	深鉢	胴：LRL縦、底：木葉裏	無	N	6	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ		98	(12.0)	
346	247	979	S K 29	西半埋土上位	深鉢	口：平縁、胴：LR縦	無	N	11	10YR6/3にぶい黄褐色	Ⅲ				
346	247	980	S K 29	西半埋土上位	深鉢	口：平縁、沈線(口縁部無文帯)、胴：LR縦	外	N	11	5YR6/6褐色	Ⅲ4-b				外面に縦位の線条痕
346	247	981	S K 29	西半埋土上位	深鉢	口：平縁、胴：LRL縦→沈線	無	M	6	2.5YR6/6褐色	Ⅲ4				
346	247	982	S K 29	西半埋土上位	深鉢	口：波状、突起、胴：沈線、隆帯、LR縦	外	M	5	10YR5/4にぶい黄褐色	Ⅲ4-b				
347	247	983	S K 32	東半埋土上位・下位	深鉢	口：平縁、胴：LR縦	無	N	6	2.5YR7/4にぶい褐色	Ⅲ4		21.6	(29.0)	
347	247	984	S K 32	埋土上～中位	深鉢	口：平縁、胴：LR縦→沈線	無	N2	7	2.5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅲ4-b				
347	247	985	S K 32	東半埋土上位	深鉢	口：平縁、胴：L縦	無	N	6	10YR7/3にぶい黄褐色	Ⅲ		[24.3]	(15.6)	
347	247	986	S K 32	東半埋土上位	深鉢	口：平縁、刺突列、胴：沈線、LRL縦	無	N	7	5YR5/3にぶい赤褐色	Ⅲ4-b				
347	247	987	S K 32	東半埋土上位	深鉢	口：平縁、胴：LR縦、沈線	無	N	11	2.5YR6/6褐色	Ⅲ4				
347	247	988	S K 32	東半埋土上位	壺?	口：平縁、胴：LR縦→沈線	無	N	6	5YR5/3にぶい赤褐色	Ⅲ4-b				
347	247	989	S K 32	西半埋土上位	壺?	胴：隆帯貼付による横耳	無	N	2	7.5YR6/3にぶい褐色	Ⅲ4				内外面未塗り
347	248	990	S K 32	埋土上位	深鉢	口：平縁、胴：LR+結節(乙)縦	無	N	11	7.5YR7/4にぶい褐色	Ⅲ4?				
347	248	991	S K 34	埋土	深鉢	口：平縁? LR縦→沈線	無	M	6	10YR7/3にぶい黄褐色	Ⅲ2-a				
347	248	992	S K 34	埋土	深鉢	胴：LR縦、底：網代裏	内	N	6	2.5YR5/6明赤褐色	Ⅲ		13.0	(10.0)	
348	248	993	S K 35	北西埋土、北東埋土中位、床直上一拵	深鉢	口：平縁、胴：LR縦	無	N	2	7.5YR7/4にぶい褐色	Ⅲ		27.8	(37.7)	
348	248	994	S K 35	床直上一拵	深鉢	胴：LR縦、底：網代裏	無	N	6	5YR7/6褐色	Ⅲ?			(11.5)	12.8
348	249	995	S K 35	北東埋土、北西埋土中～下位	深鉢	口：平縁、胴：LR縦	無	N	2	7.5YR6/3にぶい褐色	Ⅲ				
348	249	996	S K 35	北東埋土	深鉢	口：波状、刺突列(大型)	無	N	6	7.5YR7/4にぶい褐色	Ⅲ4-b				
348	249	997	S K 38	埋土	深鉢	口径：隆帯貼付、口：平縁、胴：LR+結節(乙)横?	無	N2	7	10YR7/4にぶい褐色	Ⅲ?				摩滅している
348	249	998	S K 40	西半埋土中位	壺?	胴：隆帯貼付	外	N	6	7.5YR7/4にぶい褐色	Ⅲ4-b				外面に未塗り
348	249	999	S K 42	東半埋土4層	深鉢	口：平縁、胴：沈線→RL縦	無	N	5	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ4				
348	249	1000	S K 42	東半埋土4層	深鉢	胴：沈線、LR縦	外	N	6	5YR6/6褐色	Ⅲ4-a				
348	249	1001	S K 42	西半埋土1層	深鉢	口：波状、沈線→RL縦	無	M	6	7.5YR4/2灰褐色	Ⅲ4				
348	249	1002	S K 42	西半埋土暗褐色土	深鉢	口：平縁? RL縦→沈線	外	N	6	5YR6/6褐色	Ⅲ3				
348	249	1003	S K 42	西半埋土暗褐色土	深鉢	口：平縁、沈線	外	M	11	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ4				
349	249	1004	S K 43	西半埋土下位	深鉢	口：平縁、胴：LR縦、沈線、隆帯貼付による突起	外	M	5	5YR4/2灰褐色	Ⅲ4-b				
349	249	1005	S K 46	埋土	深鉢	胴：LR縦、底：網代裏	無	N	7	10YR6/2灰黄褐色	Ⅲ			[9.6]	(3.0)
349	249	1006	S K 47	西半埋土	深鉢	胴：隆沈線	無	N	5	2.5YR5/6明赤褐色	Ⅲ2-b				摩滅している



(残存値) [復元値]

第22表 縄文土器観察表 (24)

図版 No.	写図 No.	掲載 No.	出土地点	層位	器種	文様の特徴	葺の 付着	内面 調整	胎土	色調	時期・分類	計測値 (cm)		備考	
												口径	器高 底径		
349	249	1007	S K51	埋土6~7層	深鉢	口：平縁、4単位の突起、胴：LR縦縞	無	M?	6	5YR6/4にぶい赤褐色	Ⅱ	18.6	(20.6)	—	
349	249	1008	S K51	埋土6~7層	深鉢	口：平縁、胴：LR縦縞→沈線	無	N2	5	5YR5/3にぶい赤褐色	Ⅲ4-b	—	—	—	
349	249	1009	S K51	西半埋土下位、埋土4層	深鉢	口：平縁、胴：単軸筋第1類R縦縞	無	N2	7	10YR7/3にぶい黄褐色	Ⅲ4	—	(2.3)	8.3	
349	249	1010	S K51	西半埋土上位	深鉢	底：木葉裏	無	N	6	5YR6/4にぶい赤褐色	Ⅲ	—	—	—	
349	249	1011	S K51	西半埋土上位	深鉢	胴：沈線→RLR縦縞(赤黒)	無	N	6	7.5YR5/3にぶい褐色	Ⅲ4-a	—	—	—	
350	249	1012	S K52	埋土下位4~6層	深鉢	口：平縁、胴：L+結筋(2)縦縞	外	N	11	2.5YR6/6褐色	Ⅲ?	—	—	—	
350	250	1013	S K52	西半埋土上・下位	深鉢	口：平縁、隆沈線、高文突起(横耳)を基準にした4単位の文様	無	N	2	5YR7/6褐色	Ⅲ4-b	[27.3]	(26.7)	—	
350	250	1014	S K52	西半埋土上位1~3層	深鉢	不明	内	N	6	7.5YR5/3にぶい褐色	Ⅲ	—	(2.1)	8.8	
350	250	1015	S K52	埋土上位1~3層	深鉢	胴：L+結筋(2)縦縞、底：木葉裏	無	N	2	7.5YR6/3にぶい褐色	Ⅲ	—	(2.4)	[5.8]	
350	250	1016	S K52	西半埋土上位	深鉢	胴：沈線(半竹)	無	N2	11	10YR6/3にぶい黄褐色	Ⅲ4	—	(7.1)	[8.3]	
350	250	1017	S K55	埋土中位土器	深鉢	胴：LR縦縞	無	N	3	5YR4/3にぶい赤褐色	Ⅲ?	—	[15.0]	(22.3)	
350	250	1018	S K55	埋土西半、埋土中位土器	深鉢	口：平縁、胴：RL+結筋(S)縦縞	内	N	6	7.5YR4/2灰褐色	Ⅲ4	—	—	—	
350	250	1019	S K55	埋土中位土器	深鉢	口：波状、胴：LR縦縞→沈線	無	N	6	5YR6/6褐色	Ⅲ4	—	—	—	
350	250	1020	S K55	埋土西半	深鉢	胴：RL縦縞、底：網代裏	無	N	6	10YR5/3にぶい黄褐色	Ⅲ?	—	(8.3)	[7.0]	
350	250	1021	S K55	埋土西半	深鉢	口：平縁、胴：RL縦縞	外	M	6	5YR3/1黒褐色	Ⅲ	—	—	—	
350	250	1022	S K55	西半埋土	深鉢	胴：L縦縞→RL縦縞	無	N	6	5YR6/6褐色	Ⅲ4-a	—	(1.6)	4.1	
350	250	1023	S K55	西半埋土	深鉢	胴：L縦縞?、底：網代裏	無	N	2	7.5YR5/3にぶい褐色	Ⅲ	—	(11.2)	[11.6]	
351	250	1024	S K61	埋土1・2層	深鉢	胴：RLR縦縞	無	M?	6	5YR6/6褐色	Ⅲ	—	—	—	
351	250	1025	S K61	埋土1層	深鉢	口：波状、胴：LR縦縞→隆沈線(高文)	無	M	2	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ3	—	—	—	
351	250	1026	S K64	埋土3・4層	深鉢	口：平縁、胴：単軸筋第5類R縦縞	無	N2	5	2.5YR5/6明赤褐色	Ⅲ3	—	—	—	
351	250	1027	S K64	埋土	深鉢	口唇：粘土紐貼付(波状)、口：平縁、胴：単軸筋第1類R縦縞	無	N	11	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅲ3	—	—	—	
351	250	1028	S K64	埋土	深鉢	口唇：平縁、胴：L縦縞	無	N2	11	7.5YR5/4にぶい褐色	Ⅲ3	—	—	—	
351	250	1029	S K64	埋土	深鉢	口唇：平縁、突起、胴：LR縦縞	外	N	6	10YR6/3にぶい黄褐色	Ⅲ3	—	—	—	
351	250	1030	S K64	埋土	深鉢	口：波状、胴：L縦縞	外	N	7	5YR5/3にぶい赤褐色	Ⅱ	—	—	—	
351	250	1031	S K65	埋土	深鉢	口：平縁、胴：L縦縞斜	外	N	7	5YR4/3にぶい赤褐色	Ⅱ	—	—	—	
351	250	1032	S K65	埋土	深鉢	口：平縁、胴：LR縦縞→隆沈線	無	M	5	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅲ2-b	—	—	—	
351	250	1033	S K65	埋土	深鉢	口：平縁、胴：RL横→隆沈線	外	M	5	2.5YR5/6明赤褐色	Ⅲ2-b	—	—	—	
351	250	1034	S K65	埋土	深鉢	口：平縁、胴：RLR縦縞	無	N	2	2.5YR5/6明赤褐色	Ⅲ	—	—	—	
351	250	1035	S K65	埋土	深鉢	口唇：沈線無文帯、口：波状、胴：LR縦縞→隆帯?	無	M	6	10YR6/4にぶい黄褐色	Ⅲ2-b	—	—	—	
351	250	1036	S K65	埋土	深鉢	口唇：隆帯貼付、口：波状、胴：LR縦縞	無	M?	2	5YR5/3にぶい赤褐色	Ⅲ2-a?	—	—	—	
351	250	1037	S K68	埋土	深鉢	口唇：平縁、胴：L+結筋(2)横	外	N	11	5YR5/3にぶい赤褐色	Ⅱ	—	—	—	
351	251	1038	S K71	西半埋土8層	深鉢	口唇：平縁、4単位の突起、突起列と円文、胴：RL縦縞→沈線	無	M	2	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅲ4-b	[18.0]	(13.0)	—	
351	251	1039	S K71	東半埋土2層	深鉢	胴：LR縦縞、底：網代裏	無	N	6	7.5YR5/3にぶい褐色	Ⅲ	—	(9.5)	[10.4]	
351	251	1040	S K71	東半埋土1・2層	深鉢	胴：L縦縞、底：網代裏	無	N	6	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅱ~Ⅲ	—	(20.1)	[9.5]	
352	251	1041	S K78	北半埋土4層	深鉢	口唇：平縁、胴：単軸筋第1類R縦縞?	無	N2	11	10YR3/1黒褐色	Ⅱ?	—	—	—	
352	251	1042	S K78	北半埋土2層	深鉢	口唇：波状、突起、胴：単軸筋第1類R縦縞	無	N2	11	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅱ	—	—	—	
352	251	1043	S K78	北半埋土1層	深鉢	口唇：平縁、胴：単軸筋第1類R縦縞	無	N2	11	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅱ?	—	—	—	
352	251	1044	S K79	西半埋土	深鉢	胴：単軸筋第1A類R縦縞	無	N2	11	5YR6/6褐色	Ⅱ	—	—	—	
352	251	1045	S K83	2次層(記載なし)	小型壺	口唇：平縁、隆沈線、高文突起(横耳)を基準にした4単位の文様	無	M	6 I?	5YR6/6褐色 5YR5/6明赤褐色	Ⅲ2-b	[6.7]	12.1	4.9	
352	251	1046	S K86	北半埋土1層	深鉢	口唇：波状(2単位)? 胴：単軸筋第1類R縦縞→沈線	無	M?	2	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅲ2-b	—	(20.0)	[8.4]	
352	251	1047	S K91	南半埋土、埋土2層	深鉢	口唇：波状、胴：RLR縦縞→沈線、突起	内外	N	5	7.5YR5/4にぶい褐色	Ⅲ4-b	—	—	—	
352	251	1048	S K93	記載なし	深鉢	口唇：平縁、RL縦縞	無	N	6	5YR6/6褐色	Ⅲ	—	—	—	
352	251	1049	S K96	西半埋土	深鉢	口唇：平縁、胴：RL縦縞、隆帯貼付による突起	無	N	6	7.5YR5/3にぶい褐色	Ⅲ	—	—	—	
352	251	1050	S K99	東半埋土上位	深鉢	口唇：平縁、胴：LR縦縞→沈線	無	N	6	2.5YR6/6褐色	Ⅲ3	—	—	—	
352	251	1051	S K102	埋土	深鉢	口唇：平縁、沈線	無	N	11	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅱ?	—	—	—	
352	251	1052	S K103	②層	深鉢	胴：L縦縞、底：網代裏	内	N	7	7.5YR6/6褐色	Ⅲ	—	(8.1)	[10.1]	磨滅している、割れ口に 煤付着

第22表 縄文土器観察表 (25)

(残存値) [徳元値]

図版 No.	写図 No.	掲載 No.	出土地点	層位	器種	文様の特徴	漆の 付着	内面 調整	胎土	色調	時期・分類	計測値 (cm)		備考		
												口径	器高 底径			
352	251	1053	S K 103	②層	深鉢	口：平縁、胴：RLR縦→沈線	無	N	6	5YR6/6橙色	Ⅲ3					
352	251	1054	S K 103	②層	深鉢	口：平縁、胴：刺突列横、胴：車輪筋第1類R縦	無	M	4	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅲ4-b			袖修孔あり		
352	251	1055	S K 104	埋土	深鉢ミニ チュア	胴：L縦	内	N	2	7.5YR6/4にぶい赤褐色	Ⅲ?		4.3			
352	251	1056	S K 104	埋土	深鉢	口：平縁、沈線、刺突列	無	N	11	2.5YR5/6明赤褐色	Ⅲ4?					
353	251	1057	S K 108	南半埋土下位2層	深鉢	口：RLR横→隆沈線、胴：RLR縦	無	M	2	7.5YR5/3にぶい褐色	Ⅲ2-b					
353	252	1058	S K 108	南半埋土下位2層	深鉢	口：平縁、胴：RL縦→沈線	無	M	6	5YR5/3にぶい赤褐色	Ⅲ2-b?					
353	252	1059	S K 109	西半埋土	深鉢	口：波状?、R+結節(Z)横?	内外	N	6	5YR4/2灰褐色	Ⅱ				内面に黒色の線状痕数条あり	
353	252	1060	S K 109-114	西半埋土、埋土下位	深鉢	口：平縁、胴：L縦	無	N	7	7.5YR6/4にぶい赤褐色	Ⅲ4?		(28.1)			
353	252	1061	S K 112	埋土5層	浅鉢	口：平縁、突起あり(透し)、胴：L縦→沈線	無	M	4	10YR6/4にぶい黄褐色	Ⅲ1-b					
353	252	1062	S K 112	埋土	深鉢	口：平縁、原体剛直LR、胴：LR横→沈線	無	N	2	7.5YR5/3にぶい褐色	Ⅲ1-b					
353	252	1063	S K 112	埋土	深鉢	口：波状、胴：LR+結節(Z)横線→沈線	無	N	5	5YR4/2灰褐色	Ⅲ1-b					
354	252	1064	S K 114	埋土下位	深鉢	胴：RL縦、底：網代痕	無	N	6	5YR6/6褐色	Ⅲ?		10.6			
354	253	1065	S K 114	埋土下位	深鉢	口：平縁、胴：RL縦	無	N	6	2.5YR5/6明赤褐色	Ⅲ		28.2	(36.2)		
354	253	1066	S K 116	埋土5層	深鉢	口：波状? 粘土紐貼付	無	N	2	5YR3/1黒褐色	Ⅱ					
354	253	1067	S K 124	1層	深鉢	胴：LR縦、底：網代痕	内	N?	7	7.5YR7/4にぶい褐色	Ⅲ		(3.3)	[7.9]		
354	253	1068	S K 128	土器No.1、2層	壺	頸：突起(単位)、隆帯貼付、胴：RLR縦→沈線	外	N	6	5YR5/6明赤褐色	Ⅲ4-b			(11.6)		
355	253	1069	S K 131	P 1埋土下位	深鉢	口：波状(6単位)、隆帯貼付、胴：RLR縦→沈線	無	N	2	5YR6/6褐色	Ⅲ2-b		[5.1]	(9.5)		
355	254	1070	S K 131	P 2埋土下位	深鉢	口：波状(6単位)、隆帯貼付、胴：RLR縦→沈線	無	M	2	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅲ3-a		[22.0]	(21.3)		
355	254	1071	S K 131	埋土下位	深鉢	胴：RL縦→沈線	無	M	2	10YR4/1褐色	Ⅲ2-b					
355	254	1072	S K 134	埋土2層	深鉢	胴：RL縦、底：網代痕	無	N	2	5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ?		(5.2)	[11.7]		
355	254	1073	S K 134	埋土	深鉢	口：無文、胴：車輪筋第1類L縦? →沈線	無	N	4	5YR6/6褐色	Ⅲ4-b					
355	254	1074	S K 136	埋土2層	深鉢	口：平縁、胴：隆沈線、短沈線	無	M	6	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ2-b?					
355	254	1075	S K 136	埋土2層	深鉢	口：平縁、胴：L縦→沈線	無	M	7	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅲ3					
355	254	1076	S K 136	埋土	深鉢	口：平縁、胴：L縦→沈線	外	N	6	2.5YR5/3にぶい赤褐色	Ⅲ4					
355	254	1077	S K 138-144	土器No.1、埋土1層	深鉢	胴：RL縦、底：木葉痕	無	N	7	7.5YR5/2灰褐色	Ⅲ?			8.2		
355	254	1078	S K 144	埋土1層	深鉢	胴：RL縦→沈線	無	N	5	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅲ4					
355	254	1079	S K 146	南半埋土1層	深鉢	口：平縁、胴：L縦	無	M	2	10YR5/2灰黄褐色	Ⅲ					
355	254	1080	S K 147	埋土	深鉢	口：平縁?、粘土紐貼付+刻目	無	N	7	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ3					
355	254	1081	S D 01	埋土	深鉢	胴：車輪筋第1A類L→隆帯+沈線	外	N	5	5YR4/2灰褐色	Ⅲ3					
355	254	1082	S D 01	埋土	深鉢	口：平縁、文様不明	無	N	2	2.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ?					
355	254	1083	S D 01	埋土	深鉢	口：平縁、胴：RL縦?、刺突列	無	M	2	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ?					
356	255	1084	S N 01	焼土下位	深鉢	胴：車輪筋5類R縦、底：網代痕	無	N?	7	2.5YR6/4にぶい褐色	Ⅱ					
356	255	1085	S N 01	焼土下位	深鉢	口：平縁、胴：車輪筋5類R縦	無	N	7	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ3			[13.1]		
356	255	1086	S N 01	焼土下位	深鉢	口：平縁、胴：車輪筋5類	無	N	2	5YR6/6褐色	Ⅲ3					
356	255	1087	S N 18	埋設土器No.1・2	深鉢	口：平縁、胴：L縦、底：網代痕	無	N	6	10YR5/4褐色	Ⅲ4?		[23.0]	36.0	機位埋設土器で胴部上半を半分欠く	
356	256	1088	S N 18	埋設土器No.1・2	深鉢	口：平縁、胴：LR+結節(Z)縦、底：網代痕	無	M?	7	5YR5/6明赤褐色	Ⅲ4		[16.5]	25.7	剥落あり、機位埋設土器で胴部上半を半分欠く	
357	256	1089	S N 25	仮埋設土器	深鉢	口：平縁、沈線(横位)無文帯、胴：LR縦、底：網代痕	無	N	6	7.5YR7/4にぶい褐色	Ⅲ4		[19.7]	46.8	[12.0]	
357	256	1090	S N 26	仮埋設土器	深鉢	胴：RL→沈線(無文帯)文様は胴部上半にあり	無	N	5	2.5YR5/6明赤褐色	Ⅲ4-a?			(24.3)	[9.4]	
357	257	1091	S N 34	埋設土器	深鉢	胴部：RL縦、底：網代痕	無	N	6	5YR6/6褐色	Ⅲ4		17.6	30.0	9.2	
358	257	1092	S N 36	埋設土器1 (無印は1)、埋設土器2	深鉢	口：平縁、胴：RLR+RL縦(附加条)	無	N?	3	5YR6/6褐色	Ⅲ		[27.2]	(32.4)	—	口縁部の判断難しい、剥落多い
358	257	1093	S N 36	埋設土器	深鉢	胴：LR縦	無	N	2	10YR7/3にぶい黄褐色	Ⅲ?			(8.3)	—	
358	257	1094	S X W 15	不明	深鉢	口：平縁、LR縦→隆沈線	無	N	11	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ					
358	257	1095	S W 12	埋土	深鉢	不明	無	N	2	10YR5/2灰黄褐色	Ⅲ?			(1.6)	[3.2]	
358	257	1096	S X 06	埋土下位	深鉢	胴：LR縦、底：網代痕→ナデ	外	N	7	5YR5/3にぶい赤褐色	Ⅱ			(4.1)	[17.0]	

第22表 縄文土器観察表 (26) (残存値) (徳元値)

図版 No.	写図 No.	掲載 No.	出土地点	層位	器種	文様の特徴	痕の 付着	内面 調整	胎土	色調	時期・分類	計測値 (cm)		備考	
												口径	器高 底径		
358	257	1097	S X 06	埋土下位	深鉢	胴：オオバコ回転圧痕縦	無	N2	11	5YR5/4にぶい赤褐色	II				
358	257	1098	S X 06	埋土下位	深鉢	胴：車輪跡第1A類L縦	無	N2	11	7.5YR6/4にぶい褐色	II				
358	257	1099	S X 07	ベルトD-D'16層	深鉢	口：波状・隆帯・沈線(渦文)、胴：LR縦	無	N	6	5YR6/6褐色	III2-b?				
358	257	1100	S X 07	4㊟貝層下 黒褐色土層	深鉢	口：平縁・隆帯・沈線・刺突列、胴：LR横?	無	N2	11	5YR5/4にぶい赤褐色	II4				
358	257	1101	S X 10	北西埋土下位4層	深鉢	胴：LR縦→隆沈線	無	N	5	7.5YR7/4にぶい褐色	III2-b				
358	257	1102	P P 1	南西半埋土	深鉢	底：木葉痕?	無	N	6	10YR5/3にぶい黄褐色	III?	[6.0]			
358	257	1103	P P 16	西側中央埋土	深鉢	口唇：粘土紐貼付(波状)、口：平縁、 胴：L縦?	無	N	5	10YR6/3にぶい黄褐色	II2-4			補修孔あり	
358	257	1104	P P 17	西~中央	深鉢	口：波状・粘土紐貼付・沈線、原体側圧LR	外	M	5	7.5YR7/6褐色	II4				
359	258	1105	II B 8 j	包含層アゼ中~下位	深鉢	口：平縁、胴：車輪跡第5類R縦	無	N2	11	5YR5/4にぶい赤褐色	II				
359	258	1106	II B 8 j	包含層アゼ中~下位	深鉢	口唇：平縁、口：平縁、隆帯貼付+沈線、 胴：縄文?	無	N	5	7.5YR6/4にぶい褐色	II3				
359	258	1107	II B 8・9 j	包含層アゼ中~下位	深鉢	口唇：刻目、口：平縁、突起、胴：LR横	無	N2	11	5YR6/6褐色	II3				
359	258	1108	II B 9 j	包含層中~下位	深鉢	胴：LR+結節(乙)横、底：網代裏、内面にLR?	内	N?2	7	7.5YR6/4にぶい褐色	II	[16.8]			
359	258	1109	II B 9 j	包含層中~下位	深鉢	口：平縁、胴：車輪跡第1類L縦	外	N	5	5YR4/3にぶい赤褐色	II				
359	258	1110	II B 9・10 j	包含層アゼ中位	深鉢	口：平縁、突起、粘土紐(波状)貼付、 胴：車輪跡第5類L縦	内外	N	5	7.5YR2/1黒色	II3				
359	258	1111	II B 9・10 j	包含層アゼ中位	深鉢	口：平縁、胴：粘土紐貼付+圧痕、LR縦	無	N2	11	2.5YR5.6明赤褐色	II3				
359	258	1112	II B 10 j	包含層上~中位	深鉢	口：平縁、突起、粘土紐(波状)貼付、 胴：車輪跡第1A類R縦	外	N2	5	5YR6/6褐色	II3				
359	258	1113	II C3-5c d	II層	深鉢	胴：LR横→粘土紐貼付(椅子状)	無	N	11	10YR6/3にぶい黄褐色	II2-4				
359	258	1114	II C3-5c d	II層	深鉢	口：平縁、胴：車輪跡第1A類R縦	無	N2	11	10YR7/4にぶい褐色	II3				
359	258	1115	II C3-5c d	II層	深鉢	口：波状・突起、粘土紐(波状)貼付、 胴：LR+結節(乙)縦	内	N	5	2.5YR6/8褐色	II3				
360	258	1116	II C 4 d	II層(中瓶の上)	深鉢	口唇：沈線、口：平縁、胴：車輪跡第1A類L縦	無	N2	11	7.5YR4/2灰褐色	II3?				
360	258	1117	II C 5 d	II層	深鉢	口唇：圧痕、口：平縁、胴：縄文→粘土紐貼付+ 圧痕	無	N2	11	5YR5/4にぶい赤褐色	II3			摩滅している	
360	258	1118	II C 5 d e、 II C 5 e	II層、土器集中部分	深鉢	底：網代裏	内	N?2	7	5YR6/6褐色	II	(2.3)	16.2		
360	259	1119	II C 5 d・e	II層	深鉢	口：平縁、車輪跡第5類L縦?	内	N	11	5YR4/6赤褐色	II				
360	259	1120	II C 5 d・e	II層	深鉢	口：平縁、LR+結節(乙)横	内	N	5	7.5YR6/4にぶい褐色	II1-a				
360	259	1121	II C 5 d・e	II層	深鉢	口：平縁、車輪跡第5類R縦→粘土紐+圧痕	無	N2	11	5YR6/4にぶい褐色	II3				
360	259	1122	II C 5 d・e	包含層アゼ上~中位	深鉢	口唇：肥厚、口：平縁、胴：LR縦	無	N2	11	5YR6/4にぶい褐色	II				
360	259	1123	II C 5・6 d	包含層アゼ上~中位	深鉢	胴：LR横?、底：網代裏	無	N2	7	5YR6/6褐色	II	(2.4)	[8.9]		
360	259	1124	II C 6 b	包含層下位	深鉢	胴：LR横、LR横	無	N?	7	7.5YR6/4にぶい褐色	II	(3.9)	[9.9]		
360	259	1125	II C 6 b	包含層下位	深鉢	口唇：粘土紐(S)貼付、口：平縁、L横→粘土紐 貼付	内	N	10	10YR7/3にぶい黄褐色	II2-4			補修孔あり	
360	259	1126	II C 6 b	包含層下位	深鉢	口唇：圧痕、口：平縁、胴：LR+結節(乙)横	内	N	10	2.5YR5.6明赤褐色	II				
361	259	1127	II C 6 b・c	包含層アゼ下位	深鉢	口唇：粘土紐(波状・椅子状)貼付、 胴：平縁、胴：LR横	外	N	4	5YR7/4にぶい褐色	II2-4				
361	259	1128	II C 6 b・c	包含層中位	深鉢	口唇：刻目、口：平縁、胴：LR+結節(乙)横	無	N2	11	5YR6/4にぶい褐色	II1-b				
361	259	1129	II C 6 b・c	包含層中位	深鉢	口唇：粘土紐貼付、口：平縁、口縁部無支帯	無	M?	4	7.5YR6/3にぶい褐色	II2-4				
361	260	1130	II C 6 b・c	II層、包含層下位	深鉢	口唇：圧痕、口：平縁・2ヶ所非対称の突起あ り、LR+R(附加条)+末端結節(S)横	無	N	6	5YR6/6褐色	II1-a	[24.3]	(29.8)		
361	260	1131	II C 6 c	II層	深鉢	不明	無	N	6	7.5YR7/4にぶい褐色	II	(4.3)	[10.4]		
361	260	1132	II C 6 c	II層	深鉢	口：平縁、胴：LR+結節(乙)横	無	N2	11	5YR5/4にぶい褐色	II1-b				
361	260	1133	II C 6 c	II層	深鉢	口：平縁、胴：車輪跡第1類R縦→粘土紐貼付+ 圧痕	無	N	6	7.5YR6/4にぶい褐色	II1-b				
361	260	1134	II C 6 c・d	II層	深鉢	口：波状、胴：車輪跡第1類R縦	内	N	4	5YR6/6褐色	II3				
362	260	1135	II C 6 d	不明	深鉢	胴：LR横、底：網代裏	内	N	7	5YR6/6褐色	II				
362	260	1136	II C 6 d	不明	深鉢	口：波状、胴：LR+環付横	内	N2	11	7.5YR7/4にぶい褐色	II	(4.3)	[13.4]		
362	260	1137	II C 6 d・e	包含層アゼ上~中位	深鉢	口唇：圧痕、口：平縁	外	N	4	5YR6/6褐色	II				

第22表 縄文土器観察表 (27)

(残存値) (復元値)

図版 No.	写真 No.	掲載 No.	出土地点	層位	器種	文様の特徴	煤の 附着	内面 調整	胎土	色調	時期・分類	計測値 (cm)		備考	
												口径	器高 底径		
362	260	1138	II C 7 a	埋土中位	深鉢	口唇：粘土紐貼付、口：平緑、胴：L縦→粘土紐(波状)貼付	無	N	4	7.5YR5/3にぶい褐色	II 2-4			摩滅している	
362	261	1139	II C 7 b	II層	深鉢	口：平緑、胴：LR+結節(S)横	無	N	8	5YR5/4にぶい赤褐色	II 1-a	[15.2]	(140)		
362	261	1140	II C 7 b	II層	深鉢	口唇：割突、口：平緑、胴：車輪筋第1類L横→口縁部に粘土紐貼付+刺突(4単位)	無	N	7	2.5YR6/8褐色	II 3	[31.4]	(430)		
362	261	1141	II C 7 b	II層	深鉢	口：波状、胴：車輪筋第1類縦線?	内外	N2	12	7.5YR6/6褐色	II				
363	261	1142	II C 7 b	II層	深鉢	口：波状、胴：LR横	外	N	6	7.5YR4/1褐色	II 1-b?				
363	261	1143	II C 7 b	II層	深鉢	胴：沈線、粘土紐貼付+刻目	無	N	6	10YR7/3にぶい黄褐色	II 1				
363	261	1144	II C 7 b	II層	深鉢	口：平緑、胴：LR+結節(Z)横	内	N	6	10YR5/3にぶい黄褐色	II 1				
363	261	1145	II C 7 b	II層	深鉢	口唇：庄裏、口：平緑、胴：LR+結節(Z)横	内	N	6	7.5YR5/3にぶい褐色	II 1-b				
363	261	1147	II C 7・8 b	包含層アゼ中位	深鉢	口：平緑、胴：LR+結節(Z)横	無	N	11	7.5YR6/3にぶい褐色	II 1-b				
363	261	1148	II C 7・9 b	包含層アゼ中位	深鉢	底：網代裏	無	N	7	10YR5/3にぶい黄褐色	II				
363	261	1149	II C 7・10 b	包含層アゼ中位	深鉢	口：波状、胴：LR+結節(S)横	内	N2	7	5YR4/2灰褐色	II 1-b			[12.7]	
363	261	1150	II C 7・11 b	包含層アゼ上位	深鉢	口唇：庄裏、口：平緑、突起、胴：車輪筋第5類R縦	無	N2	11	7.5YR5/3にぶい褐色	II 3				
363	261	1151	II C 7 b・c	II層	深鉢	口：平緑、胴：LR+結節(Z)横	外	N	7	10YR4/2灰黄褐色	II 1-2				
363	261	1152	II C 7 c	II層	深鉢	底：木葉裏、線条痕が見える	無	N	11	5YR6/8褐色	II			[14.1]	
363	261	1153	II C 7 c	II層	深鉢	口：平緑、内面に粘土紐(波状)貼付、口縁部無文帯	無	N	5	7.5YR6/4にぶい褐色	II 2-4				
363	262	1154	II C 7 c	II層	深鉢	胴：LR横→粘土紐(波状)貼付	無	N	5	7.5YR6/4にぶい褐色	II 2-4				
364	262	1155	II C 7 c	包含層アゼ下位	深鉢	口唇：庄裏、口：平緑、胴：LR+結節(Z)横	内	N2	6	5YR6/6褐色	II 1-2				内面に輪積痕残る
364	262	1156	II C 7 c	包含層アゼ下位	深鉢	口唇：刻目、口：平緑、胴：LR+結節(Z)横	無	N	6	7.5YR5/3にぶい褐色	II 1-b				
364	262	1157	II C 7 c	包含層アゼ下位	深鉢	口唇：粘土紐(波状)貼付、口：平緑、胴：LR横	無	N	5	10YR4/2灰黄褐色	II 2-4				
364	262	1158	II C 7 c	包含層アゼ下位	深鉢	口：平緑、胴：LR+結節(Z)横	無	N	5	5YR5/4にぶい赤褐色	II 1-b				
364	262	1159	II C 7 c	包含層アゼ下位	深鉢	口：平緑、胴：LR+結節(Z)横	無	N2	11	5YR6/6褐色	II 1-b				
364	262	1160	II C 7 c II C 7・8 c	II層、包含層アゼ下位	深鉢	口唇：刻目、口：平緑、胴：RL+結節(S)横	無	N	6	5YR6/6褐色	II 1-b	[26.0]	(260)		白磁式?
364	262	1161	II C 7 c II C 7・8 c	包含層アゼ下位	深鉢	胴：L横、底：網代裏→摩滅	内	N	6	7.5YR7/6褐色	II			[14.8]	
364	262	1162	II C 7・8 c	包含層アゼ中～下位	深鉢	胴：LR+結節(Z)横、底：網代裏	無	N	6	10YR7/4にぶい黄褐色	II			[8.8]	
364	262	1163	II C 7・9 c	包含層アゼ下位	深鉢	口：平緑、短沈線、沈線(波状)	内外	N	6	7.5YR4/1褐色	II 2-4?				掲載No1207と同一個体?
364	262	1164	II C 7・10 c	包含層アゼ下位	深鉢	口：平緑、胴：LR+結節(S)横	無	N	11	5YR5/4にぶい赤褐色	II 1-b				補修孔あり
365	263	1165	II C 7・8 c III C 1 c	包含層アゼ下位、東西ベルト埋土中位	深鉢	口唇：隆帯貼付、口：平緑、胴：LR横→隆帯(波状)貼付	無	N	6	10YR6/3にぶい黄褐色	II 2-4	[32.8]	(37.9)		
366	263	1166	II C 7・8 c II C 7 d	II層焼土混じる、包含層アゼ下位	深鉢	口：平緑、胴：LR+R(附加状)横	無	N2	12	2.5YR5/6明赤褐色	II				補修孔あり
366	263	1167	II C 7・8 d	包含層アゼ上位	深鉢	口唇：粘土紐貼付、口：平緑、刺突列、胴：LR縦	外	N	6	7.5YR6/4にぶい褐色	II 3				
366	263	1168	II C 7・8 d	包含層アゼ中位	深鉢	口：平緑、口唇：紐貼付+庄裏、胴：車輪筋第1類L2縦	無	N2	5	7.5YR6/4にぶい褐色	II 3				
366	263	1169	II C 7 d	II層	深鉢	底：網代裏→摩滅	無	N	3	5YR6/6褐色	II			(4.4)	
366	264	1170	II C 7 d	II層	深鉢	口唇：庄裏、口：平緑、胴：車輪筋第1類R縦	無	N?	11	5YR6/6褐色	II 3?	[15.8]	(17.8)		
366	264	1171	II C 7 d	II層	深鉢	口唇：庄裏、口：平緑、胴：LR縦	無	N2	11	5YR7/6褐色	II				
366	264	1172	II C 7 d	II層	深鉢	口唇：粘土紐貼付、口：平緑?、RL縦?	無	N2	12	7.5YR6/4にぶい褐色	II 3				
366	264	1173	II C 7 d	II層	深鉢	口唇：粘土紐(波状)貼付、口：平緑、RL縦	無	N	12	5YR5/6明赤褐色	II 3				
366	264	1174	II C 7 d	II層	深鉢	口唇：粘土紐貼付、口：平緑、粘土紐(波状)貼付	内	N	11	7.5YR7/4にぶい褐色	II 2-4				
366	264	1175	II C 7 d	II層	深鉢	口唇：庄裏、口：平緑、胴：LR縦→原体刺突RL	無	N2	11	5YR5/4にぶい赤褐色	II				
367	264	1176	II C 7 d	II層焼土混じる	深鉢	口：波状、突起透し、胴：RL縦→粘土紐貼付+沈線	無	N	5	7.5YR5/4にぶい褐色	III 1?				
367	264	1177	II C 7 d	II層焼土混じる	深鉢	口：隆帯+刺突列、胴：LR+結節(Z)横、LR+RL結節L横	無	N	6	10YR6/3にぶい黄褐色	II 1-b				

(残存値) [徳元値]

第22表 縄文土器観察表 (28)

図版 No.	写図 No.	掲載 No.	出土地点	層位	器種	文様の特徴	痕の 付着	内面 調整	胎土	色調	時期・分類	計測値 (cm)		備考	
												口径	器高 底径		
367	264	1178	II C7 d	南北ベルト、埋土中位	深鉢	口唇：刻目、口：平緑、LR+結節(2)横 口唇：粘土細貼付、口：平緑、突起、 胴：RL横→粘土細貼付	無	N	11	7.5YR6/6橙色	II 1-b				
367	264	1179	II C7 d	南北ベルト、埋土下位	深鉢	口唇：RL横→粘土細貼付	無	N	6	7.5YR7/6橙色	II 3				
367	264	1180	II C7 d	II層、包含層上位	深鉢	口唇：圧痕、突起、胴：オオバコ回転 圧痕文様? → 隆帯貼付(円文)	内	N	6	7.5YR5/3にぶい褐色	II	[17.9]	(88)		
367	264	1181	II C7・8 d	II層様土混じる、包含層下位、II層様土混じる、 包含層上～下位	深鉢	胴：車輪跡第1A類R縦、底：網代裏 口唇：圧痕、口：平緑、胴：RL+LL(附加糸)横?	内	N	7	5YR6/6橙色	II 4?		[11.1]		
367	264	1182	II C7・7 d	包含層上～下位	深鉢	口唇：圧痕、口：平緑、突起+刻目、 胴：RL+結節(S)横	無	N	6	5YR4/3にぶい赤褐色	II 3	[31.6]	(190)		
368	265	1183	II C7・8 d	南北ベルト埋土下位層、II層	深鉢	口唇：刻目、口：平緑、突起+刻目、 胴：RL+結節(S)横	内	N	B	5YR6/6橙色	II 1-b				
368	265	1184	II C7 e	東西アゼ8層、アゼ部分上～下位	深鉢	口：平緑、LR+結節(2)横	無	N?	6	7.5YR7/3にぶい橙色	II 1-a	[19.1]	(230)	胴部に補修孔あり	
368	265	1185	II C7 e	II層、東西アゼ6～7層	深鉢	口：波状、突起(大小4単位)突起に圧痕あり、 胴：車輪跡第5類R縦	内外	N?	7	2.5YR5/8明赤褐色	II 3	[21.7]	(201)		
368	265	1186	II C7 e	東西アゼ6層・7層	深鉢	胴：LR縦?	無	N2	10	5YR5/3にぶい赤褐色	II		[9.0]		
368	265	1187	II C7 e	東西アゼ6層	深鉢	口：平緑、胴：LR横	内外	N2	10	7.5YR7/4にぶい橙色	II				
368	265	1188	II C7 e	東西アゼ6層	深鉢	胴：附加糸(細巻紐?)縦横、底：網代裏	無	N	7	2.5YR6/8褐色	II		[12.2]		
369	265	1189	II C7 e	東西アゼ5層・6層	深鉢	胴：網代裏	内	-	6B	5YR5/6明赤褐色	II		(125)	137	
369	265	1190	II C7 e	東西アゼ4層	深鉢	口：波状、胴：LR縦→沈線	外	N	2	2.5YR5/6明赤褐色	III 2-b	[10.8]	8.2	[6.3]	
369	265	1191	II C7 e	東西アゼ3層	深鉢	底：木葉裏?	無	N	6・3	7.5YR6/4にぶい橙色	II?		(2.2)	8.9	
369	265	1192	II C7 e	II層	深鉢	胴：車輪跡第1類R縦、底：網代裏	内外	N	7	2.5YR6/8褐色	II		[12.2]		
369	266	1193	II C7 e	II層	深鉢	胴：LR横、底：網代裏	内	N	6A?	7.5YR6/6褐色	II		(5.1)	[8.2]	
369	266	1194	II C7 e	II層	深鉢	口唇：LR横、底：網代裏	内	N	6	7.5YR6/3にぶい褐色	II 2-3				
369	266	1195	II C7 e	II層	深鉢	口：平緑、胴：LR横	無	N2	11	7.5YR5/4にぶい褐色	II				
369	266	1196	II C7 e	II層	深鉢	胴：車輪跡第1類L縦→沈線(波状)	無	N	6	7.5YR7/4にぶい橙色	II 3				
369	266	1197	II C7 e	II層	深鉢	胴：車輪跡第1A類R縦	無	N2	5	5YR5/4にぶい赤褐色	II 3				
369	266	1198	II C7 e、 II C9 c	東西アゼ6層、包含層中位	深鉢	口唇：刻目、口：平緑、胴：粘土細貼付	無	N	10	5YR6/6褐色	II				
370	266	1199	II C7・8 e	II層	深鉢	口唇：圧痕、口：平緑、 胴：RL横→粘土細貼付+圧痕	無	N	5	7.5YR5/3にぶい褐色	II 3				
370	266	1200	II C7・8 e	II層	深鉢	口唇：刻目、口：平緑、突起+圧痕 胴：RL横→粘土細貼付+圧痕	内	N	6	10YR3/1黒褐色	II 1-b				
370	266	1201	II C8 a	包含層中～下位	深鉢	口唇：刻目、口：平緑、突起+圧痕 胴：車輪跡第5類R縦→隆帯	無	N	6	7.5YR6/6褐色	II				
370	266	1202	II C8・9 a	包含層下位	深鉢	口：?、突起(粘土粒貼付)、胴：LR横	無	N	6	7.5YR6/4にぶい褐色	II 2-4				
370	266	1203	II C8 b	II層、包含層下位	深鉢	胴：結節(2)横?、底：木葉裏	無	N	7	7.5YR7/6褐色	II		[7.4]		
370	266	1204	II C8 b	包含層下位	深鉢	胴：LR横、底：木葉裏	無	N	7	7.5YR6/4にぶい褐色	II		(6.7)	10.0	
370	266	1205	II C8 b	包含層下位	深鉢	口：平緑、粘土細貼付と突起、胴：LR+結節(2)横	無	N	6	7.5YR6/4にぶい褐色	II 1-2				
370	266	1206	II C8 b	包含層下位	深鉢	口唇：刻目、口：平緑、突起+圧痕 胴：LR横→粘土細貼付	無	N	11	5YR5/4にぶい赤褐色	II 2-4				
370	266	1207	II C8 b	包含層下位	深鉢	口唇：LR横→粘土細貼付(波状)	外	N	6	7.5YR4/1褐色	II 4				
370	266	1208	II C8 b	包含層下位	深鉢	口唇：圧痕、口：平緑、胴：LR+結節8(2)横	無	N	10	7.5YR6/4にぶい褐色	II				
370	266	1209	II C8 b	包含層中位	深鉢	口：平緑、胴：LR+結節(2)横	外	N	11	7.5YR5/3にぶい褐色	II				
371	267	1210	II C8 b	II層(中取の上)	深鉢	口唇：LR横、底：木葉裏	無	N	5	7.5YR5/2灰褐色	II 1-b				
371	267	1211	II C8 b	II層(中取の上)	深鉢	口唇：突起(粘土細貼付)、口：平緑、 胴：LR横→粘土細貼付	外	N	4	5YR7/4にぶい褐色	II				
371	267	1212	II C8 b	II層(中取の上)	深鉢	口唇：刻目、口：平緑、胴：車輪跡第5類L縦?	内	N2	10	5YR6/4にぶい褐色	II 1-b				
371	267	1213	II C8 b	II層	深鉢	底：木葉裏	無	N	6	5YR6/6褐色	II		[10.4]	(7.0)	
371	267	1214	II C8 b	II層	深鉢	口唇：刻目、口：平緑隆帯貼付、 胴：LR+結節(2)横→隆帯	無	N	10	7.5YR6/4にぶい褐色	II 4?				
371	267	1215	II C8 b	II層	深鉢	口唇：平緑、突起、圧痕、胴：車輪跡第6類R縦	無	N	10	5YR5/6明赤褐色	II 3?				
371	267	1216	II C8 b	II層	深鉢	口唇：平緑、胴：RL(異節?)縦	無	N2	11	5YR4/4にぶい赤褐色	II				
371	267	1217	II C8 b、 II C9 a	II層(中取の上)、包含層下位	深鉢	胴：LR横、底：網代裏	外	N	6	7.5YR5/3にぶい褐色	II		(7.3)	[8.0]	

第22表 縄文土器観察表 (29)

(残存値) (復元値)

図版 No.	写図 No.	掲載 No.	出土地点	層位	器種	文様の特徴	煤の 付着	内面 調整	胎土	色調	時期・分類	計測値 (cm)			備考
												口径	器高	底径	
371	267	1218	ⅡC8・9b	包含層アゼ中位	深鉢	無文	無	N	6	10YR8/3浅黄褐色	Ⅱ?	[5.0]	5.0	4.6	
371	267	1219	ⅡC8b・c、 ⅡC9b	包含層アゼ中位	深鉢	口：平縁	無	N	2	7.5YR4/2灰褐色	Ⅱ	[14.8]	(9.8)	—	
371	267	1220	ⅡC8c	包含層下位	深鉢	胴：LR+結節(Z)横、底：網代裏	無	N	10	5YR7/6褐色	Ⅱ	—	(3.2)	[9.5]	
371	267	1221	ⅡC8c	包含層下位	深鉢	胴：L+結節(Z)横	無	N	10	5YR6/4にぶい褐色	Ⅱ?	—	(4.1)	[6.7]	
372	267	1222	ⅡC8c	包含層下位	深鉢	口唇：圧痕、口：平縁、胴：RL+LR結束I横	無	N2	12	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅱ	—	—	—	
372	267	1223	ⅡC8c	包含層下位	深鉢	口：平縁、突起(粘土)横、胴：LR縦	無	N2	11	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅱ	—	—	—	
372	268	1224	ⅡC8c	包含層下位	深鉢	口唇：刺突、口：平縁、内面に粘土細貼付、LR+結節(Z)横	無	N	6	5YR6/6褐色	Ⅱ2-4?	—	—	—	
372	268	1225	ⅡC8c	南北ベルト埋土下位	深鉢	口：平縁、押引線(半竹)、胴：RL縦	無	N	B	7.5YR5/3にぶい褐色	Ⅱ	—	—	—	
372	268	1226	ⅡC8c	Ⅱ層	深鉢	胴：LR+R(附加条?)横、底：刺落着しい	無	N?2	7	5YR6/6褐色	Ⅱ	—	(5.0)	6.3	
372	268	1227	ⅡC8c	Ⅱ層	深鉢	胴：RL縦	無	N	6	7.5YR5/3にぶい褐色	Ⅱ	—	(5.9)	9.4	
372	268	1228	ⅡC8c	Ⅱ層	深鉢ミニ チュア	胴：L横、底：網代裏	無	N?	7	5YR6/4にぶい褐色	Ⅱ	—	(3.9)	10.3	
372	268	1229	ⅡC8c	Ⅱ層、包含層上位	深鉢	胴：LR横、底：網代裏→ナデ	無	N?	7	7.5YR7/6褐色	Ⅱ	—	(4.5)	9.3	
372	268	1230	ⅡC8c	Ⅱ層、包含層上位	深鉢	胴：LR+結節(Z)横、底：木葉裏(後調整)	無	N	6	7.5YR7/4にぶい褐色	Ⅱ	—	(3.1)	[12.4]	
372	268	1231	ⅡC8c	Ⅱ層	深鉢	口：平縁、胴：L横?	無	N	6	7.5YR5/3にぶい褐色	Ⅱ	—	—	—	
372	268	1232	ⅡC8c	Ⅱ層	深鉢	口：平縁、胴：車輪跡第5類R横	無	N	6	5YR5/8明赤褐色	Ⅱ	—	—	—	
372	268	1233	ⅡC8c	Ⅱ層	深鉢	口：波状、波頂部に透し孔、車輪跡第5類L縦→粘土紐+刺突列	無	N2	11	7.5YR5/3にぶい褐色	Ⅱ3	—	—	—	
372	268	1234	ⅡC8c	Ⅱ層	深鉢	口唇：刻目、口：平縁、突起、胴：RL+LR結束I横?	内外	N	6	7.5YR4/2灰褐色	Ⅱ	—	—	—	
372	268	1235	ⅡC8c	Ⅱ層	深鉢	口：平縁、胴：LR+結節(Z)横?	無	N	6	5YR6/6褐色	Ⅱ	—	—	—	摩滅している
372	268	1236	ⅡC8c	Ⅱ層	深鉢	口：平縁、胴：L+結節(Z)縦	内	N	11	5YR6/4にぶい褐色	Ⅱ	—	—	—	
372	268	1237	ⅡC8c ⅡC8・9c	Ⅱ層、包含層上位	深鉢	胴：LR+結節(Z)横	無	N	7	5YR5/6明赤褐色	Ⅱ	—	(9.5)	12.4	
373	268	1238	ⅡC8c ⅡC8・9c	Ⅱ層、包含層上位	深鉢	口：平縁、突起あり、胴：R+結節(S)横	無	N	6	10YR3/2黒褐色	Ⅱ1-a	[23.7]	(17.3)	—	口縁部と胴部に補修あり
373	268	1239	ⅡC8・9b ⅡC9c	包含層中位、アゼ下位	深鉢	口：平縁、隆帯貼付で突起貼付、胴：調整裏(ケズリ)顕著、底：形状楕円形	無	N	4	7.5YR7/4にぶい褐色 7.5YR3/1黒褐色	Ⅱ	[15.7]	12.1	[7.2]	
373	268	1240	ⅡC8・9c	包含層アゼ下位	深鉢	口：平縁、口縁部無文帯、内面に粘土細貼付	無	N	12	10YR3/2黒褐色	Ⅱ2-4?	—	—	—	
373	268	1241	ⅡC8・9c	包含層上位	深鉢	胴：R横?、底：網代裏	内	N	6	7.5YR6/6褐色	Ⅱ	—	(4.9)	[8.0]	
373	268	1242	ⅡC8・9d	包含層下位	深鉢	口唇：刻目、口：平縁、胴：RL横	無	N	B	7.5YR5/4にぶい褐色	Ⅱ	—	—	—	
373	269	1243	ⅡC8d	包含層下位	深鉢	口：平縁、突起3単位、胴：L横	無	N	6	7.5YR4/3褐色	Ⅱ	[12.2]	(11.0)	—	摩滅している
373	269	1244	ⅡC8d	Ⅱ層、3層、包含層下位	深鉢	口唇：圧痕、口：平縁、胴：LR+結節(Z)横	無	N?2	11	7.5YR4/2灰褐色	Ⅱ	—	—	—	
374	269	1245	ⅡC8d	Ⅱ層、3層	深鉢	口：波状、胴：LR+LR結束I横	内	N	5	5YR6/6褐色	Ⅱ2-4	—	—	—	
374	269	1246	ⅡC8d	包含層下位	深鉢	口：平縁、胴：LR横→沈線	無	N	5	10YR6/3にぶい黄褐色	Ⅱ2-3	—	—	—	
374	269	1247	ⅡC8d	包含層、3層	深鉢	口唇：粘土細貼付、口：平縁、胴：RL縦→沈線	無	M?	7	10YR5/2灰青褐色	Ⅱ2-3	—	—	—	
374	269	1248	ⅡC8d	3層	深鉢	口：平縁、胴：RL+結節(S)横	外	N2	6B	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅱ1-a	—	—	—	
374	269	1249	ⅡC8d	包含層下位	深鉢	口唇：粘土細貼付、口：平縁、胴：RL縦→粘土紐(波状)貼付	無	N	7	7.5YR4/1褐灰色	Ⅱ2-4	—	—	—	
374	269	1250	ⅡC8d	包含層下位	深鉢	口唇：粘土細貼付(波状)、口：平縁、胴：LR横→粘土細貼付	内	N	4	5YR6/4にぶい褐色	Ⅱ2-4	—	—	—	
374	269	1251	ⅡC8d	Ⅱ層焼土混じる層	深鉢	胴：粘土細貼付(波状)、口：平縁、突起、圧痕、胴：LR縦横斜、結節(S)斜	無	N	5	5YR6/6褐色	Ⅱ3	—	—	—	
374	270	1252	ⅡC8d	Ⅱ層焼土混じる層	深鉢	胴：車輪跡第5類R縦、底：網代裏	無	N	4	7.5YR7/4にぶい褐色	Ⅱ3?	—	(6.5)	[15.9]	
375	270	1253	ⅡC8d	Ⅱ層焼土混じる層	深鉢	胴：L横?、底：網代裏	無	N	7	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅱ	—	(8.5)	(5.6)	
375	270	1254	ⅡC8d	Ⅱ層	深鉢	胴：LR横、底：網代裏	無	N	6	2.5YR6/8褐色	Ⅱ?	—	(19.1)	[11.8]	
375	270	1255	ⅡC8d	Ⅱ層	深鉢	胴：LR縦	無	N	5	2.5YR5/6明赤褐色	Ⅱ	—	(6.3)	[7.8]	
375	270	1256	ⅡC8d	Ⅱ層	深鉢	口唇：刺突、頂部に粘土細貼付突起、口：波状、胴：オオナホコ回転丘東文、底：網代裏	無	N	6	5YR6/6褐色	Ⅱ3	[24.7]	24.0	[12.0]	補修孔の穿孔途中の痕跡あり
375	270	1257	ⅡC8d	Ⅱ層	深鉢	胴：LR横、底：網代裏	内	N2	11	5YR6/6褐色	Ⅱ	—	(4.2)	[11.9]	

第22表 縄文土器観察表 (30)

(残存値) [徳元値]

図版 No.	写図 No.	掲載 No.	出土地点	層位	器種	文様の特徴	裏の 付着	内面 調整	胎土	色調	時期・分類	計測値 (cm)		備考		
												口径	器高 底径			
375	270	1258	II C 8 d	II層	深鉢 口唇：粘土紐貼付、口：平縁、 胴：RL+LR結束1縦	外	N2	11	5YR6/4にぶい橙色	II						
376	271	1259	II C 8 d	II層	深鉢 口：平縁、胴：LR+結節(乙)横斜	無	N2	11	25YR5/6明赤褐色	II						
376	271	1260	II C 8 d	II層	深鉢 口：平縁、胴：車輪筋5類R縦	無	N	11	5YR6/8褐色	II				補修孔あり		
376	271	1261	II C 8 d	II層	深鉢 口：波状、突起刻目、胴：車輪筋第1A類R2縦	無	N2	11	5YR5/4にぶい赤褐色	II 3?						
376	271	1262	II C 8 d	II層	深鉢 口：平縁、胴：車輪筋第1A類R縦→粘土紐貼付+ 庄痕	無	N2	11	5YR7/8褐色	II 3						
376	271	1263	II C 8 d	II層	深鉢 口：波状、突起短沈線、胴：車輪筋第1A類L縦	無	N2	11	5YR4/2灰褐色	II						
376	271	1264	II C 8 d	II層	深鉢 口：平縁、胴：車輪筋第1A類R・L縦→粘土紐貼 付+刺突列	無	N2	11	7.5YR7/6褐色	II 3						
376	271	1265	II C 8 d	II層	深鉢 口：波状、突起、刺突、胴：車輪筋第1類R縦	無	N	10	5YR6/4にぶい橙色	II 3						
376	271	1266	II C 8 d	II層	深鉢 口：波状、突起、胴：RL縦→粘土紐貼付+沈線	内	N	10	5YR6/4にぶい橙色	II 3						
376	271	1267	II C 8 d	II層	深鉢 口：波状、突起、粘土紐貼付+沈線(波状)、 胴：車輪筋第5類L縦	無	N	5	25YR6/8褐色	II 3						
377	271	1268	II C 8 d	II層	深鉢 口唇：庄痕、口：平縁、胴：L+結節(S)縦	無	N2	11	5YR6/4にぶい橙色	II						
377	271	1269	II C 8 d	II層	深鉢 口：波状、突起庄痕、胴：車輪筋第1類L縦	無	N2	10	5YR6/4にぶい橙色	II 3						
377	271	1270	II C 8 d	包含層	深鉢 口：平縁、胴：LR+結節(S)横	無	N2	11	5YR6/6褐色	II						
377	272	1271	II C 8・9 d	包含層アゼ下位	深鉢 口：波状、突起、庄痕、胴：RL縦	内外	N	6	7.5YR6/6褐色	II						
377	272	1272	II C 8・9 d	包含層アゼ上位	深鉢 口：平縁、胴：車輪筋第5類R縦(網目状燃文)、底：網代真 庄痕	無	N	5	25YR5/6明赤褐色	II			(4.1)	14.9		
377	272	1273	II C 8・9 d	包含層アゼ上位	深鉢 口：平縁、胴：車輪筋第5類L縦→粘土紐貼付+ 庄痕	無	N2	11	7.5YR6/4にぶい橙色	II 3						
377	272	1274	II C 8・9 d	包含層アゼ上位	深鉢 口：平縁、胴：車輪筋第1類L縦	無	N2	11	5YR4/4にぶい赤褐色	II 3						
377	272	1275	II C 8・9 d	包含層下位	深鉢 口：平縁、縄文→沈線(波状)	無	N	6	7.5YR5/3にぶい褐色	II 2-3						
378	272	1276	II C 8 d II C 8 e	II層	深鉢 口唇：庄痕、口：平縁、胴：RL縦？	無	N	11	25YR4/3にぶい赤褐色	II						
378	272	1277	II C 8 d II C 9・10 b	II層、包含層アゼ下位	深鉢 口：平縁、突起あり(単位不明・6単位?)、 胴：LR横斜	無	N	6	5YR6/4にぶい橙色	II			[14.0]	(19.3)		
378	272	1278	II C 8 d e	包含層アゼ中～下位	深鉢 口：平縁、沈線(波状)	無	N	6	7.5YR5/4にぶい褐色	II 2-3						
378	272	1279	II C 8 e	包含層アゼ中～下位	深鉢 胴：組紐？底：網代真	無	N	11	5YR5/4にぶい赤褐色	II				(7.2)	[14.2]	
378	272	1280	II C 10 c	東西ベルト埋土中位	深鉢 口唇：粘土紐貼付+沈線、口：平縁、 胴：LR縦、RL縦→粘土紐+刺突列	内	N	5	5YR6/6褐色	II 3						
378	272	1281	II C 9 a	包含層中～下位	深鉢 口：平縁、胴：LR→結節(S)横	無	N	10	5YR7/6褐色	II			[12.2]	(8.5)		
378	273	1282	II C 9 a	包含層下位	深鉢 口：平縁、突起3単位、胴：LR縦	外	N 22	11	2.5YR6/6褐色	II 2?			17.0	(23.5)		
378	273	1283	II C 9 a	包含層下位	深鉢 胴：車輪筋第1類R縦、底：網代真	無	N	6	5YR7/6褐色	II				(5.8)	[17.9]	
379	273	1284	II C 9 a	包含層中～下位	深鉢 口：平縁、胴：LR+結節(乙)横	外	N2	7	10YR7/3にぶい黄褐色	II 1-b						
379	273	1285	II C 9 a	包含層中～下位	深鉢 口唇：刺突列、口：平縁、胴：LR+結節(乙)横？	外	N	6	7.5YR5/4にぶい褐色	II 1-b						
379	273	1286	II C 9 a	包含層中～下位	深鉢 胴：LL(直前段反敷)横	無	N	4	5YR6/6褐色	II 3?						
379	273	1287	II C 9 a	包含層下位	深鉢 口：波状、胴：LR縦→沈線(半竹)(波状・梯子状)	無	N2	11	25YR4/4にぶい赤褐色	II 4						
379	274	1288	II C 9 a	包含層下位	深鉢 口唇：庄痕、口：平縁、胴：LR+結節(S)縦→粘 土紐貼付+沈線	外	N2	5	5YR5/3にぶい赤褐色	II 3						
380	274	1289	II C 9 a	包含層下位	深鉢 口：波状、突起、粘土紐貼付(波状)、胴：LR縦横	無	N	6	7.5YR4/2灰褐色	II 3						
380	274	1290	II C 9 a II C 9 a b	包含層中～下位、アゼ中位	深鉢 底：網代真	無	N	6	5YR5/4にぶい赤褐色	II				(6.0)	[11.2]	
380	274	1291	II C 9・10 a	包含層アゼ下位	深鉢 胴：車輪筋第1類R縦横、底：網代真	無	N	6	7.5YR7/4にぶい赤褐色	II				(7.8)	16.3	
380	274	1292	II C 9・10 a	包含層アゼ下位	深鉢 口：波状、胴：車輪筋第1A類R縦	内	N	6	7.5YR3/2黒褐色	II						
380	274	1293	II C 9・10 a	包含層アゼ中位	深鉢 口：平縁、胴：車輪筋第1類R縦→粘土紐+庄痕	無	N2	5	5YR6/4にぶい褐色	II 3				[23.9]	(15.6)	
380	274	1294	II C 9 b	II層包含層中位	深鉢 口：平縁、胴：LR+結節(S)横	無	N 22	11	5YR5/3にぶい褐色	II				(3.2)	[8.2]	
380	274	1295	II C 9 b	包含層中位	深鉢 胴：LR+結節(S)横、底：網代真	無	N	6	5YR6/6褐色	II					(3.4)	[8.3]
380	274	1296	II C 9 b	包含層中位	深鉢 底：網代真	無	N	10	10YR7/4にぶい黄褐色	II						
381	275	1297	II C 9 b	包含層中位	深鉢 口唇：刻目、口：平縁、庄痕あり、 胴：RL+結節(乙)横	内	N	6 A	7.5YR6/3にぶい褐色	II 1-b			[36.4]	(25.7)	外面に輪積痕が見える 胴部に2個1対？の補修 孔あり、白底式？	

第22表 縄文土器観察表 (31)

(残存価) (還元価)

図版 No.	写図 No.	掲載 No.	出土地点	層位	器種	文様の特徴	煤の 附着	内面 調整	胎土	色調	時期・分類	計測値 (cm)		備考	
												口径	器高 底径		
381	275	1298	II C 9 b	包含層中位	深鉢	口唇：刻目(波状)。口：平緑、 胴：LR横→粘土紐貼付	無	N	6	5YR6/4にぶい、褐色	II 2-4				
381	275	1299	II C 9 b	包含層中位	深鉢	口：平緑、胴：LR横→粘土紐貼付+刻目	無	N	6	10YR5/3にぶい、黄褐色	II 2-3?				
381	275	1300	II C 9 b	包含層中位	深鉢	口唇：沈緑、口：平緑、突起、刻目、 胴：LR+結節(Z)横	無	N	6B	7.5YR6/4にぶい、褐色	II 1-b				
381	275	1301	II C 9 b	II層	深鉢	胴：LR横、底：網代真	内	N	10	5YR6/4にぶい、褐色	II?		(8.3)		
381	275	1302	II C 9 b	II層	深鉢	口：平緑、内面粘土紐貼付(波状)、 胴：LR横→粘土紐貼付	無	M?	6	10YR6/3にぶい、黄褐色	II 2-4				
381	275	1303	II C 9 b、 II C 9 b、c	II層、包含層アゼ上位	深鉢	胴：LR+結節(S)横、底：網代真	内	N	10	5YR5/6明赤褐色	II		(8.3)	[12.0]	
382	275	1304	II C 9 c	II層	深鉢	口唇：圧痕、口：平緑、胴：LR縦横斜	無	N	5	7.5YR5/4にぶい、褐色	II 1-a?		[24.5]	(24.7)	
382	275	1305	II C 9 c	包含層中位・下位	深鉢	胴：調整痕(クズリ)顕著	内	N	11	7.5YR7/4にぶい、褐色	II			[13.3]	
382	276	1306	II C 9 c	包含層中位・下位	深鉢	口：平緑、突起あり、胴：LR+結節(Z)横、 底：網代真	無	N	6	7.5YR7/4にぶい、褐色	II 1-b		[30.0]	(30.9)	補修孔あり、白磁式?
382	276	1307	II C 9 c	包含層下位	深鉢	口：平緑、胴：LR+結節(Z)	無	N	6	7.5YR4/2灰褐色	II 1-a		[13.3]	(8.9)	
383	276	1308	II C 9 c	包含層下位	深鉢	口：平緑、隆帯貼付+突起で突起、 胴：LR+結節(Z)横→沈緑文(横位)	無	N	6	5YR5/4にぶい、赤褐色	II 2-4		[27.4]	(33.9)	
383	276	1309	II C 9 c	包含層下位	深鉢	口：平緑、胴：LR+結節(Z)横	無	N	6	2.5YR6/6褐色	II 1-a			[19.9]	(15.9)
383	276	1310	II C 9 c	包含層下位	深鉢	口：平緑、胴：L縦→沈緑	無	N	2B	7.5YR6/4にぶい、褐色	II 2-3?				
383	276	1311	II C 9 c	包含層下位	深鉢	口：波状、波頂部に粘土紐(波状)貼付、 胴：単軸絡5頸縦→粘土紐+圧痕	内外	N	6	7.5YR7/4にぶい、褐色	II 3				
383	277	1312	II C 9 c	包含層下位	深鉢	口唇：圧痕、口：平緑、胴：LR縦	無	N2	11	5YR5/3にぶい、赤褐色	II				
383	277	1313	II C 9 c	南北ベルト埋土下位	深鉢	口：平緑、胴：LR+結節(S)横→粘土紐貼付→割 突列	内	N	10	7.5YR5/4にぶい、褐色	II 3				
383	277	1314	II C 9 c	包含層中～下位	深鉢	口：波状?、波頂部に粘土紐貼付、胴：LR縦?	内外	N2	4	7.5YR7/4にぶい、褐色	II				
384	277	1315	II C 9 c	II層、包含層中位	深鉢	口唇：刻目、突起、口：平緑、 胴：LR+結節(Z)横→粘土紐+突起	無	N	6	7.5YR5/3にぶい、褐色	II 1-b		[27.0]	(29.3)	黒斑あり、白磁式?
384	277	1316	II C 9 c	包含層中位	深鉢	口：平緑、内面に粘土紐(波状)貼付、 胴：L横→粘土紐貼付	内	N	11	5YR6/6褐色	II 2-4				摩滅している
384	277	1317	II C 9 c	包含層中位	深鉢	口：平緑、胴：LR+結節(Z)横、 RL+結節(S)横	無	N	6	5YR4/3にぶい、赤褐色	II 1-b				白磁式?
384	277	1318	II C 9 c	包含層中位	深鉢	口唇：粘土紐(波状)貼付、口：平緑、突起、 胴：LR横	内	N	6B	7.5YR4/2灰褐色	II 1-b				白磁式?
384	277	1319	II C 9 c	包含層中位	深鉢	口唇：平緑、突起4単位?、胴：単軸絡第1A顆R縦、 底：網代真	無	N	2	10YR5/2灰黄褐色	II 2-4?				
385	278	1320	II C 9 c	II層	深鉢	口：平緑、突起4単位?、胴：単軸絡第1A顆R縦、 底：網代真	無	N2	3	5YR5/4にぶい、赤褐色	II 3		[23.0]	31.3	[10.8]
385	278	1321	II C 9 c	II層	深鉢	口：平緑、突起4単位?、胴：単軸絡第1A顆R縦、 底：網代真	無	N2	11	7.5YR5/4にぶい、褐色	II			(11.0)	6.2
385	278	1322	II C 9 c	II層	深鉢	口：平緑、突起4単位?、胴：単軸絡第1A顆R縦、 底：網代真	無	N	11	7.5YR7/4にぶい、褐色	II			(3.6)	[13.2]
385	278	1323	II C 9 c	II層	深鉢	胴：LR+結節(Z)横、底：網代真	無	N2	11	2.5YR5/6明赤褐色	II 1-2		[15.4]	23.4	[10.1]
385	278	1324	II C 9 c	II層	深鉢	胴：LR縦、底：網代真	無	N	11	5YR6/6褐色	II			(7.6)	[11.6]
385	278	1325	II C 9 c	II層	深鉢	胴：LR横?底：網代真	無	N	10	5YR6/6褐色	II			(3.1)	11.4
385	278	1326	II C 9 c	II層	深鉢	口唇：粘土紐貼付+圧痕(波状)、 口：平緑、胴：LR縦→LR横	無	N2	10	5YR4/2灰褐色	II				
386	278	1327	II C 9 c	II層	深鉢	口：平緑、胴：L+結節(S)横	無	N2	5	5YR4/6赤褐色	II				
386	278	1328	II C 9 c	II層	深鉢	口唇：粘土紐貼付+圧痕(波状)、 口：平緑、胴：LR縦→LR横	無	N	4	5YR5/6明赤褐色	II 2-4?				
386	278	1329	II C 9 c	II層	深鉢	胴：単軸絡委体、原体胴LR?、底：尖底	無	N	6B	7.5YR6/3にぶい、褐色	I 1				摩滅している
386	279	1330	II C 9 c	南北ベルト埋土中位	深鉢	口：平緑、胴：LR横→粘土紐貼付	無	N	5	7.5YR7/4にぶい、褐色	III 5?				
386	279	1331	II C 9 c、 II C 9 d	II層	深鉢	胴：LR+結節(Z)横、底：網代真	内	N	6	5YR7/6褐色	II			(13.4)	[14.4]
386	279	1332	II C 9 c、 II C 9 d	包含層中・下位、II層	深鉢	口唇：圧痕、口：平緑、隆帯貼付で突起、 胴：LR+RL結節横→隆帯貼付(渦巻文)突起下 に施す、底：網代真	無	N	6	5YR6/6褐色	II 2-4		[20.6]	24.4	[9.8]



(残存値) (復元値)

第22表 縄文土器観察表 (32)

図版 No.	写図 No.	掲載 No.	出土地点	層位	器種	文様の特徴	煤の 付着	内面 調整	胎土	色調	時期・分類	計測値 (cm)		備考
												口径	器高 底径	
387	279	1333	II C 9 c II C 10 a・b III B 1 j	包含層上～中位・下位 包含層中・下位	深鉢	口唇：庄裏、口：平縁、小突起あり、底：網代裏	無	N	6	5YR4/6赤褐色	II 1-a	[37.9]	[15.2]	
387	279	1334	II C 9 c、 II C 10 a	包含層中・下位	深鉢	不明	無	N	2	10YR5/2灰黄褐色	II	—	[7.0]	
387	279	1335	II C 9・10 c	包含層中位	深鉢	口唇：隆帯貼付(肥厚)+庄裏、口：平縁、 胴：LR+結筋(S)縦	無	N	11	5YR6/6褐色	II 4?			
387	280	1336	II C 9・10 c	包含層中位	深鉢	口唇：隆帯貼付(肥厚)+庄裏、口：平縁、 胴：RL縦	無	N 2	11	5YR5/4にぶい赤褐色	II 4?			
387	280	1337	II C 9・10 c	包含層了ぜ上位	深鉢	口：波状、胴：車軸筋5類L縦	無	N	4	7.5YR7/4にぶい褐色	II 3?			
388	280	1338	II C 9 d	包含層下位	深鉢	胴：R縦横、底：網代裏	内	N	11	5YR6/4にぶい褐色	II	—	(5.7)	13.1
388	280	1339	南北ベルト埋土中～下位	包含層下位	深鉢	胴：LR横、底：網代裏	内	N	6	5YR7/4にぶい褐色	II	—	(4.2)	[10.1]
388	280	1340	南北ベルト埋土下位	包含層下位	深鉢	胴：LR横、底：網代裏→摩滅	内	N	11	5YR6/6褐色	II	—	(4.4)	[12.8]
388	280	1341	南北ベルト埋土下位	包含層下位	深鉢	胴：LR横、底：網代裏	無	N	10B?	7.5YR6/4にぶい褐色	II	—	(3.9)	[7.2]
388	280	1342	II C 9 d	包含層下位	深鉢	口唇：刺突列、刺突日文に透し、口：波状、 胴：RL縦→沈線 穿孔	無	N	6	7.5YR7/6褐色	II 3			
388	280	1343	II C 9 d	包含層下位	深鉢	口：平縁、胴：LR+結筋(S)横	無	N	10	7.5YR6/4にぶい褐色	II 1-b			
388	280	1344	II C 9 d	包含層下位	深鉢	口：平縁、胴：LR+結筋(S)横	無	N	4	5YR4/2灰褐色	II 1-b			
388	280	1345	II C 9 d	包含層下位	深鉢	口唇：粘土紐(波状)貼付、口：平縁、 胴：RL横→縦	無	N	4	5YR5/4にぶい赤褐色	II 2-4			
388	280	1346	II C 9 d	包含層下位	深鉢	口：平縁、胴：LR横	外	N	6	7.5YR6/4にぶい褐色	II			
388	280	1347	II C 9 d	包含層下位	深鉢	口：平縁、胴：L横→沈線(波状)	無	N	6A	7.5YR6/4にぶい褐色	II 2-4?			
389	280	1348	南北ベルト埋土下位	包含層下位	深鉢	口：平縁、胴：LR横→粘土紐貼付(波状)	無	N	4	2.5YR6/6褐色	II 2-4	[13.4]		補修孔あり
389	280	1349	南北ベルト埋土下位	包含層下位	深鉢	口：波状、突起+庄裏+刺突列、胴：RL縦	内	N	10	5YR6/4にぶい褐色	II 3			
389	280	1350	南北ベルト埋土下位	包含層下位	深鉢	口：平縁、胴：RL縦→粘土紐貼付	外	N	6	7.5YR6/6褐色	II 2-4			
389	281	1351	II C 9 d	II層、包含層中位	深鉢	口：波状、突起2単位、口縁部に隆帯貼付、 胴：車軸筋1類L縦	無	N	6	5YR5/8明赤褐色	II 3	[25.8]	(25.9)	
389	281	1352	II C 9 d	包含層中位	深鉢	口：波状?粘土紐+沈線(波状)、 胴：LR縦横→粘土紐+庄裏	無	N	6	5YR6/6褐色	II 3			
389	281	1353	II C 9 d	包含層中位	深鉢	口：波状、突起、庄裏、 胴：車軸筋1類R縦→沈線(波状)	内	N	6	7.5YR6/6褐色	II 3			
389	281	1354	II C 9 d	包含層中位	深鉢	口唇：庄裏(波状)、口：波状、 胴：LR+結筋(S)横	内外	N	6	5YR6/6褐色	II			
389	281	1355	II C 9 d	包含層中位	深鉢	口唇：庄裏(波状)、口：平縁、胴：L横	無	N	10	5YR5/8明赤褐色	II			
389	281	1356	II C 9 d	南北ベルト埋土中位	深鉢	口：波状、突起(粘土紐貼付)、 胴：車軸筋5類R縦	無	N	10	7.5YR5/4にぶい褐色	II			
390	281	1357	II C 9 d	II層	深鉢	口：平縁、胴：車軸筋5類R縦→粘土紐貼付	無	N	5	7.5YR6/4にぶい褐色	II 3			
390	281	1358	II C 9 d	II層	深鉢	口：平縁、胴：車軸筋第1類L縦?条痕状の調整痕	外	N	11	2.5YR4/6赤褐色	II			内面も外面と同じ施文
390	281	1359	II C 9 d	II層	深鉢	口：平縁、胴：車軸筋第1A類L縦	無	N 2	11	5YR6/6褐色	II			補修孔あり
390	282	1360	II C 9 d	II層	深鉢	口：波状、胴：車軸筋第1A類R縦	外	N	5	7.5YR6/4にぶい褐色	II			
390	282	1361	II C 9 d	II層	深鉢	口唇：庄裏(波状)、口：平縁、胴：R縦	無	N	11	7.5YR5/4にぶい褐色	II		(2.5)	16.0
390	282	1362	II C 9・10 d	包含層中位	深鉢	底：網代裏	無	N	7	5YR6/8褐色	II	—	[19.4]	(16.9)
390	282	1363	II C 10 a	包含層中～下位	深鉢	口：平縁、口唇部に貼付突起あり、胴：LR縦斜 底：LR横斜	無	N	6	7.5YR4/2灰褐色	II 3			
391	282	1364	II C 10 a	包含層中位・下位	深鉢	口唇：粗文、口：平縁、貼り付けた突起、 底：LR横斜	内外	N	11	2.5YR6/8褐色	II	[18.9]	(24.3)	
391	282	1365	II C 10 a	包含層下位	深鉢	底：網代裏	無	N 2	11	5YR7/4にぶい褐色	II		(3.7)	[11.1]
391	282	1366	II C 10 a	包含層下位	深鉢	底：網代裏?	無	N	7	5YR6/4にぶい褐色	II	—	(1.6)	[8.5]
391	282	1367	II C 10 a	包含層下位	深鉢	底：網代裏、胴：LR横	内	N	6	7.5YR6/6褐色	II	—	(7.8)	[11.2]
391	282	1368	II C 10 a	包含層下位	深鉢	口唇：粘土紐貼付(波状)、口：平縁、 胴：LR横→粘土紐貼付	無	N	6	5YR6/6褐色	II 2-4			
391	282	1369	II C 10 a	包含層下位	深鉢	口唇：刺突列、口：平縁、沈線、刺突列、 内面の粘土紐+刺突	無	N	6B	7.5YR6/4にぶい褐色	II 1-b			
391	282	1370	II C 10 a	包含層下位	深鉢	口唇：刺突列、口：平縁、沈線、刺突列、 内面の粘土紐+刺突	無	N	6	7.5YR5/4にぶい褐色	II 1?			

第22表 縄文土器観察表 (33)

(残存値) (復元値)

図版 No.	写図 No.	掲載 No.	出土地点	層位	器種	文様の特徴	煤の 付着	内面 調整	胎土	色調	時期・分類	計測値 (cm)		備考
												口径	器高 底径	
391	283	1371	II C10 a	包含層アゼ下位	深鉢	胴：L+結節(Z)斜、底：網代裏 口：波状、胴：LR縦	内	N	7	2.5YR6/8橙色	II	—	[0.8]	
391	283	1372	II C10 a	包含層アゼ下位	深鉢	口：波状、胴：LR縦	外	N	5	10YR6/4にぶい黄褐色	II	—		
391	283	1373	II C10 a	包含層中位	深鉢	胴：LR縦横、底：木葉裏	内	N	6	7.5YR7/6褐色	II	—	[10.6]	
392	283	1374	II C10 a	包含層中位	深鉢	口：平縁、胴：LR縦？	無	N	4	7.5YR5/4にぶい褐色	II	—		
392	283	1375	II C10 a	包含層中位	深鉢	口：平縁、胴：単軸絡第3類横？ 粘土紐貼付+圧痕	無	N	6A	7.5YR4/2灰褐色	II 1-b	—		S字状連鎖沈文
392	283	1376	II C10 a	包含層中位	深鉢	口唇：隆帯貼付、口：波状、頸：沈線(半竹)、 胴：LR+結節(S)縦	無	N2	11	7.5YR6/4にぶい褐色	II 4	—		
392	283	1377	II C10 a	包含層中位	深鉢	口：平縁、胴：LR+結節(Z)横	無	N2	10	5YR6/6褐色	II	—		
392	283	1378	II C10 a	包含層中位	深鉢	口：平縁、胴：単軸絡第5類L横	無	N2	11	5YR5/6明赤褐色	II	—		
392	283	1379	II C10 a	包含層中位	深鉢	口：波状、突起(粘土紐貼付)、刻目、 胴：単軸絡第3類R	内	N	6	7.5YR6/4にぶい褐色	II 3	—		
392	284	1380	II C10 a	包含層中位	深鉢	口唇：沈線、刻目、口：平縁、 胴：RL+結節(S)横	無	N	2A	7.5YR7/4にぶい褐色	II 1-b	—		白磁式？
393	284	1381	II C10 a	包含層中位	深鉢	口唇：粘土紐貼付(波状)、口：平縁、 胴：LR横→粘土紐貼付	無	N	6	7.5YR8/4浅黄褐色	II 2-4	—		
393	284	1382	II C10 a	包含層中位	深鉢	口：波状、突起部に刻目、胴：単軸絡第5類R縦	外	N2	11	5YR5/3にぶい赤褐色	II	—		
393	284	1383	II C10 a	包含層上位	深鉢	口：平縁、原体剛圧、胴：LR縦	無	N2	11	7.5YR4/2灰褐色	II?	—		
393	284	1384	II C10 a	包含層上位	深鉢	口：平縁、胴：単軸絡第5類R縦→粘土紐貼付+ 圧痕	無	N2	11	5YR7/6褐色	II 3	—		
393	284	1385	II C10 a b c	包含層アゼ上位	深鉢	胴：LR横、底：網代裏	無	N	6	5YR6/6褐色	II	—	[8.1]	
393	284	1386	II C10 a b c II C10 b	包含層アゼ上位、包含層上位	深鉢	口：波状(4単位?)、隆帯を貼付、圧痕、 胴：LR縦斜	無	N	5	5YR6/6褐色	II 4	[20.0]	(29.6)	—
393	284	1387	II C10 b	包含層上位	深鉢	口唇：粘土紐貼付、口：平縁、 胴：LR横→粘土紐貼付	無	N	6	10YR6/4にぶい黄褐色	II 2-4	—		
393	284	1388	II C10 b	ベルト埋土下位	深鉢	口：平縁、胴：単軸絡第5類R?	外	N	2B	7.5YR6/4にぶい褐色	II	—		
393	284	1389	II C10 b	包含層下位	深鉢	口：平縁、胴：LR横→沈線	無	N	10	10YR5/2灰黄褐色	II 2-3	—	[7.6]	
393	284	1390	II C10 b	包含層中位、包含層中位	深鉢	胴：LR+結節(Z)横	無	N	6	5YR5/4にぶい赤褐色	II 1-b	—	[23.7]	[19.2]
393	284	1391	II C10 b	包含層中位	深鉢	口：平縁、胴：LR+結節(Z)横	内外	N	6	5YR6/4にぶい褐色	II 1-b	—		
394	284	1392	II C10 b	包含層中位	深鉢	口唇：刻目、口：波状、頂部に圧痕、 胴：RL+結節(S)横	外	N	4	5YR6/4にぶい褐色	II 1-b	—		
394	284	1393	II C10 b	包含層中位	深鉢	口唇：粘土紐貼付、口：平縁、 胴：LR横→粘土紐貼付	無	N	11	7.5YR6/4にぶい褐色	II 2-4	—		
394	284	1394	II C10 b	包含層中位	深鉢	底：尖底、縄文？	無	N	6A	7.5YR6/4にぶい褐色	I 1	—		
394	285	1395	II C10 b	包含層中位	深鉢	口：平縁、内面粘土紐(波状)貼付、 胴：LR横→粘土紐(波状)貼付	無	N	11	7.5YR4/2灰褐色	II 2-4	—		
394	285	1396	II C10 b	包含層上位	深鉢	口：平縁、胴：LR縦	無	N2	11	5YR5/4にぶい赤褐色	II	—	(10.6)	[26.5]
394	285	1397	II C10 b	包含層上位	深鉢	底：網代裏	無	N	4	5YR7/6褐色	II	—		
394	285	1398	II C10 b	包含層、包含層アゼ上位	深鉢	口唇：粘土紐貼付+割突列、口：平縁、 胴：LL(直前段皮線)横	無	N	6	7.5YR6/4にぶい褐色	II 3?	—		掲載No.1286と同一個体？
395	285	1399	II C10 b	II層	深鉢	口：波状、突起+圧痕、胴：LR縦、LR縦	無	N2	5	5YR4/2灰褐色	II	—		
395	285	1400	II C10 b	不明	深鉢	口唇：圧痕、口：平縁、胴：単軸絡第1A類R縦	無	N	11	5YR6/6褐色	II 3?	—		
395	285	1401	II C10 b	不明	深鉢	口唇：圧痕、口：平縁、胴：オオバコ回転圧痕	内	N	6	7.5YR6/4にぶい褐色	II	—		
395	286	1402	II C10 b	不明	深鉢	口：波状、突起部に刻目	無	N2	11	7.5YR7/4にぶい褐色	II 3	—		
395	286	1403	II C10 b・c	包含層、アゼ下位	深鉢	胴：ミガキ？無文？	無	N	6	5YR5/3にぶい赤褐色	II	—	(4.2)	[4.4]
395	286	1404	II C10 b・c	包含層中位、II層	深鉢	口：波状、波頂部刻目、沈線、胴：原体剛圧L	外	N	6	7.5YR7/6褐色	II 4	—		
395	286	1405	II C10 b・c II C10 a	II層、包含層中～下位	深鉢	口唇：粘土紐貼付、口：平縁、粘土紐貼付による 突起、胴：LR横→粘土紐貼付による文様	無	N	6	7.5YR5/3にぶい褐色	II 2-4	[29.7]	(17.9)	—
395	286	1406	II C9・10 c	包含層アゼ下位	深鉢	胴：網代裏	無	N	6	7.5YR7/4にぶい褐色	II	—	(6.0)	[9.3]
396	286	1407	II C10 c	包含層下位	深鉢	口：平縁、無文帯、LR縦→粘土紐(波状)貼付	無	N	11	7.5YR5/2灰褐色	II 2-4	—		
396	286	1408	II C10 c	包含層下位	深鉢	口：平縁、単軸絡第1類L縦→沈線、短沈線	無	N	6	7.5YR8/4浅黄褐色	II 4?	—		
396	286	1409	II C10 c	包含層中～下位	深鉢	口：平縁、LR縦	外	N	6	7.5YR5/2灰褐色	II	—		
396	286	1410	II C10 c	包含層中位	深鉢	胴：組紐？、底：網代裏	無	N	6	7.5YR6/4にぶい褐色	II	—	(25.7)	16.8

第22表 縄文土器観察表 (34)

(残存値) [復元値]

図版 No.	写図 No.	掲載 No.	出土地点	層位	器種	文様の特徴	煤の 付着	内面 調整	胎土	色調	時期・分類	計測値 (cm)		備考
												口径	器高 底径	
396	287	1411	II C10 c	包含層中位	深鉢	口唇：粘土貼付、口：平縁、内面粘土貼付、 胴：LR縦→沈線(波状)	無	N	6	7.5YR6/4にぶい 橙色	II 2-4			
396	287	1412	II C10 c	包含層中位	深鉢	口：波状？波頂部に圧痕、胴：RL横→粘土紐(波 状)貼付、内面に粘土紐貼付	無	N	6	7.5YR6/4にぶい 橙色	II 2-4			
396	287	1413	II C10 c	包含層中位	深鉢	口：平縁、無文帯、胴：LR(L・R)(前々段合燃？) 横→沈線	無	N	6B	7.5YR5/4にぶい 褐色	II 2-3			
396	287	1414	II C10 c	東西ベルト埋土上位	深鉢	口：波状、頂部に粘土貼付(円状)、 胴：RL+結節(S)横	外	N	11	7.5YR6/4にぶい 褐色	II 3			
396	287	1415	II C10 c	東西ベルト埋土上位	深鉢	口：波状、突起、胴：車輪筋第1類L縦	無	N	6	10YR8/4淺黄褐色	II 3?			
397	287	1416	II C10 c	包含層上位	深鉢	口：平縁、口縁部肥厚、胴：車輪筋第5類L縦	外	N	5	2.5YR5/6明赤褐色	II 4			
397	287	1417	II C10 c	包含層上位	深鉢	口：波状、波頂部に凹み、胴：L縦→粘土紐(波 状)貼付	内	M	4	5YR6/6褐色	II 2-4			
397	287	1418	II C10 c	II層	深鉢	口：波状、突起部に圧痕、胴：車輪筋第6類R縦	無	N2	11	7.5YR5/3にぶい 褐色	II 3?			
397	287	1419	II C10 c	II層	深鉢	口唇：割突列、口：波状、 胴：車輪筋第5類R縦→粘土紐+沈線	外	N	11	5YR7/6褐色	II 3			
397	287	1420	II C10 c	II層	深鉢	口：波状、波頂部に粘土貼付、 胴：沈線(半竹?)	無	N	11	5YR5/4にぶい 赤褐色	II 4			
397	287	1421	II C10 c	包含層	深鉢	口唇：厚唇、口：平縁、胴：車輪筋第1A類R縦→ 粘土紐+圧痕	無	N	10	7.5YR5/3にぶい 褐色	II 3			
397	287	1422	II C10 c	包含層上・中位	深鉢	口：波状、頂部に割目、胴：車輪筋第5類R縦	無	N2	11	2.5YR5/6明赤褐色	II 4			
397	287	1423	II C10 d	包含層下位	深鉢	口：平縁、突起、粘土紐(波状)貼付、胴：LR縦	内外	N	6	5YR4/2灰褐色	II 3?			
397	287	1424	II C10 d	包含層下位	深鉢	口：波状？突起、胴：車輪筋第5類→粘土紐+沈 線、圧痕	無	N	4	2.5YR5/6明赤褐色	II 3			
398	288	1425	II C10 d	包含層中位	深鉢	口：平縁、胴：R横、L横	無	N	7	7.5YR6/4にぶい 褐色	II			
398	288	1426	II C10 d	南北ベルト埋土上・中位	深鉢	口唇：厚唇+粘土貼付突起、口：平縁、LR+結 節(乙)横(口縁部)、胴：車輪筋第1類R縦	無	N	11	5YR6/4にぶい 褐色	II 3	最小 15.4	232	[8.9]
398	288	1427	II C10 d	包含層中位、南北ベルト上位	深鉢	口唇：厚唇、口：平縁、胴：L沈線(半竹)	無	N	11	5YR6/6褐色	II 4			
398	288	1428	II C10 d	II層	深鉢	口唇：圧痕、口：平縁、胴：車輪筋第1A類R縦→ 粘土紐+圧痕	無	N	10	7.5YR5/3にぶい 褐色	II 3			
398	288	1429	II C10 d	II層	深鉢	口：平縁、胴：車輪筋第5類R縦→粘土紐+圧痕	無	N	5	7.5YR7/6褐色	II 3			
398	288	1430	II C10 d	II層	深鉢	口：平縁、胴：車輪筋第4類L縦→粘土紐+圧痕	無	N2	12	2.5YR5/6明赤褐色	II 3			
398	288	1431	II C10 d、 III C1 b	包含層下位、ベルト埋土上位	深鉢	胴：LR縦→粘土紐貼付(波状)	無	N	6	7.5YR4/1褐色	II 2-4			
399	288	1432	II C10 d、 III C1 d	包含層中・下位、II層	深鉢	口：平縁、口縁部縦紐に粘土紐貼付、 胴：車輪筋第5類R縦	内外	N2	7	5YR4/2灰褐色	II 3	[26.3]	(246)	
399	288	1433	II C10 d・e	II層	深鉢	口：平縁、LR+結節(乙)横、胴：組紐	無	N	B	7.5YR4/2灰褐色	II 1-a	[19.2]	(15.7)	
399	289	1434	II C10 e	II層	深鉢	底：網代裏？	無	N	6	5YR6/4にぶい 褐色	II	—	(6.3)	[15.3]
399	289	1435	III B 1 j	包含層下位	深鉢	底：組紐？	無	N	7	7.5YR7/4にぶい 褐色	II	—	(9.1)	[11.8]
399	289	1436	III B 1 j	包含層下位	深鉢	胴：組紐？底：網代裏→摩滅	内	N	11	2.5YR5/6明赤褐色	II	—	(9.7)	[12.6]
399	289	1437	III B 1 j	包含層下位	深鉢	口：平縁、胴：LR+結節(乙)横	無	N	11	7.5YR5/4にぶい 褐色	II 1-b			
399	289	1438	III B 1 j	包含層下位	深鉢	口唇：圧痕、口：平縁、胴：L横	内外	N	6	2.5YR5/8明赤褐色	II			
399	289	1439	III B 1 j	ベルト中位	深鉢	口：平縁、胴：LR+結節(乙)横	外	N	12	7.5YR5/4にぶい 褐色	II 1-b			
400	289	1440	III B 2 j	包含層上～中・下位	深鉢	胴：R+L結束縦(羽状縦文)、底：網代裏	無	N	11	7.5YR7/4にぶい 褐色	II?	—	(9.2)	[17.7]
400	289	1441	III B 2 j	包含層下位	深鉢	口：平縁、胴：車輪筋第2類L横	無	N	7	2.5YR6/6褐色	II			
400	289	1442	III B 2 j	包含層上～中位	深鉢	口：平縁、原体胴圧、胴：RL+RL結束1縦	無	N	11	5YR5/4にぶい 赤褐色	III 1-b			
400	289	1443	III B 2・3 j III B 3 j	包含層中～下位、包含層1段目	深鉢	口：平縁、粘土貼付肥厚→沈線、胴：L縦	無	M	6	7.5YR7/4にぶい 褐色	II 4			
400	290	1444	III B 3 j	遺物集中①	深鉢	口：平縁、胴：L+R結束縦	無	N2	11	7.5YR6/4にぶい 褐色	II			
400	290	1445	III B 3 j	II層焼土検出面、遺物集中⑥	深鉢	口：平縁、原体胴圧L横、胴：LR+RL結束1縦	無	N2	11	5YR6/6褐色	III 1-b	[13.9]	17.5	[8.3]
400	290	1446	III B 3 j	II層焼土検出面	深鉢	口：平縁、胴：車輪筋第1類L縦→粘土紐+圧痕	無	N	5	2.5YR5/6明赤褐色	II 3			
400	290	1447	III B 3 j	II層焼土検出面	深鉢	口：平縁、胴：車輪筋第1類L縦	無	N	6B	5YR5/3にぶい 赤褐色	II			
400	290	1448	III B 3 j	II層焼土検出面	深鉢	口：平縁、胴：RL横？→沈線(波状)	内外	N	4	7.5YR4/2灰褐色 7.5YR3/1黒褐色	II 2-3?			
401	290	1449	III B 3 j	遺物集中①②③	深鉢	口唇：圧痕あり5単位？、口：平縁、胴：LR縦	内外	N2	11	7.5YR6/4にぶい 褐色	II	[28.3]	35.8	[14.4]

第22表 縄文土器観察表 (35)

(残存値) (復元値)

図版 No.	写図 No.	掲載 No.	出土地点	層位	器種	文様の特徴	煤の 付着	内面 調整	胎土	色調	時期・分類	計測値 (cm)		備考	
												口径	器高 底径		
402	291	1450	ⅢB3 j	遺物集中③	深鉢	口：平縁、圧痕あり4単位？胴：LR横	内外	N2	11	2.5YR5/6明赤褐色	Ⅱ	[34.2]	(37.1)	—	
403	292	1451	ⅢB3 j	遺物集中④⑤⑥	深鉢	口：波状(6単位)、波頂部に粘土糊貼付、隆帯貼付+刺突、胴：LR縦	内外	N2	7	5YR6/4にぶい褐色	Ⅱ4	24.4	27.9	底部、外面上半分、内面下半分が剥けている	
403	292	1452	ⅢB3 j	包含層1段目	深鉢	底：網代裏	内	N	5	7.5YR6/3にぶい褐色	Ⅱ	—	(2.4)	[6.2]	
403	292	1453	ⅢB3 j	包含層1段目	深鉢	口：波状、胴：単軸絡第1A類R2縦→粘土紐+刺突別、口：平縁、無文？調整痕あり	内外	N2	10	5YR5/6明赤褐色	Ⅱ3	—	—	—	
403	292	1454	ⅢB3 j	包含層1段目	深鉢	口：平縁、無文？調整痕あり	無	N2	11	7.5YR5/3にぶい褐色	Ⅱ	—	—	—	
403	292	1455	ⅢB3 j	不明	深鉢	口：平縁、胴：LR+結節(Z)横	無	N2	11	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅱ1-b	—	—	—	
403	292	1456	ⅢB4 j	Ⅱ層	深鉢	胴：LR横、底：網代裏	無	N	6	5YR6/6褐色	Ⅱ	—	(5.6)	[8.0]	摩滅している
403	292	1457	ⅢB4 j	Ⅱ層	深鉢	口：平縁、突起粘土糊貼付、胴：LR横斜	無	N2	10	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅱ	—	—	—	
403	292	1458	ⅢB4 j	Ⅱ層	深鉢	口：平縁、胴：単軸絡第5類L縦？	無	N2	11	2.5YR6/6褐色	Ⅱ	—	—	—	摩滅している
404	293	1459	ⅢB4・5 i j ⅢB5 j ⅢC1 a	Ⅱ層、包含層上面、上位・下位	深鉢	口唇：圧痕、口：平縁、胴：組紐、底：網代裏	外	N2	11A?	25YR4/4にぶい赤褐色	Ⅱ1-b?	27.6	42.5	11.9	底部、口唇、外面に煤付着
404	293	1460	ⅢB5 j	Ⅱ層	深鉢	口唇：圧痕、口：波状？突起あり、胴：LR縦	外	N	6	5YR4/3にぶい赤褐色	Ⅱ	—	—	—	—
404	293	1461	ⅢB5 j	Ⅱ層	深鉢	口唇：肥厚、口：波状、沈線(半竹)、胴：LR+結節(Z)縦	内	N	11	5YR6/6褐色	Ⅱ4	—	—	—	—
405	293	1462	ⅢB6 i	Ⅱ層	深鉢	口唇：圧痕、口：波状？、胴：LR横→粘土紐貼付	無	N	10	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅱ2-4	—	—	—	—
405	293	1463	ⅢB6 i	Ⅱ層	深鉢	口唇：平縁、胴：LR+結節(S)横	無	N	6	7.5YR7/4にぶい褐色	Ⅱ2-4	—	—	—	—
405	294	1464	ⅢB6 i	Ⅱ層	深鉢	口唇：波状？突起あり、胴：単軸絡第1類R縦横	無	N2	12	5YR4/3にぶい赤褐色	Ⅱ3?	—	—	—	—
405	294	1465	ⅢB7 h	Ⅱ層	深鉢	口唇：刻目あり、口：平縁、胴：単軸絡第1類縦	無	N	11	5YR6/6褐色	Ⅱ3	—	—	—	—
405	294	1466	ⅢB7 i	Ⅱ層	深鉢	口唇：波状、隆帯貼付+圧痕、胴：LR+結節(Z)縦	無	N	5	7.5YR6/6褐色	Ⅱ4	[41.2]	(23.5)	—	—
406	295	1467	ⅢB7 i	Ⅱ層	深鉢	口唇：平縁、沈線(波状)→粘土紐+圧痕	無	N	11	5YR5/8明赤褐色	Ⅱ3	—	—	—	—
406	295	1468	ⅢB7 i	Ⅱ層	深鉢	口唇：刻目、口：平縁、単軸絡第5類L縦、内面に沈線	無	N	5	7.5YR4/2灰褐色	Ⅱ4?	—	—	—	—
406	295	1469	ⅢB7 i	Ⅱ層	深鉢	口唇：平縁、沈線(波状)→粘土紐+圧痕	無	N	4	7.5YR6/6褐色	Ⅱ3	—	—	—	—
406	295	1470	ⅢB7 i	Ⅱ層	深鉢	口唇：波状、胴：単軸絡第1A類L縦	無	N	5	10YR7/3にぶい黄褐色	Ⅱ	—	—	—	—
406	295	1471	ⅢB7 i	Ⅱ層	深鉢	胴：単軸絡第1A類縦	無	N2	6	5YR7/6褐色	Ⅱ	—	(5.8)	7.6	—
406	295	1472	ⅢB7 i j	Ⅱ層	深鉢	口唇：刺突、口：平縁、口縁部に突起2単位？胴：単軸絡第1類L縦、底：網代裏	無	N	10	7.5YR7/6褐色	Ⅱ3?	11.6	12.7	6.5	—
407	296	1473	ⅢB7・8 i	Ⅱ層	深鉢	口唇：平縁、隆帯貼付+原体側面圧痕R、胴：単軸絡第5類R縦	無	N	5	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅱ3	[30.9]	(36.5)	—	—
407	296	1474	ⅢB7・8 i	Ⅱ層	深鉢	口唇：平縁、非対称の突起あり、胴：RL+LR結果I縦	内外	N	6	5YR6/6褐色	Ⅱ4?	[13.5]	20.1	[10.8]	内面、黒色化
407	296	1475	ⅢB8 b	Ⅱ層	深鉢	口唇：平縁？隆帯、沈線	無	N	11	5YR6/4にぶい褐色	Ⅱ	—	—	—	—
407	296	1476	ⅢB9 c	Ⅱ層	深鉢	口唇：平縁、胴：LR縦	無	M	11	5YR4/4にぶい赤褐色	Ⅲ	—	—	—	—
407	296	1477	ⅢB9 h	Ⅱ層	深鉢	口唇：波状、胴：単軸絡第5類L縦→粘土紐+圧痕	無	N	6	7.5YR4/2灰褐色	Ⅱ3	—	—	—	—
407	296	1478	ⅢB9 j	Ⅱ層	深鉢	胴：LR縦横、結節(Z)横、底：網代裏	無	N	6	2.5YR6/8褐色	Ⅱ	—	(6.2)	[7.2]	—
408	296	1479	ⅢB10 j	Ⅱ層検出面	深鉢	口唇：波状、突起粘土糊貼付、沈線→押し沈線	無	N	6	10YR5/3にぶい黄褐色	Ⅱ4?	—	—	—	—
408	297	1480	ⅢB10 j ⅣB1 i・j	Ⅱ層検出面、Ⅱ層検出面	深鉢	口唇：刺突、口唇：波状、突起単位、胴：単軸絡第1A類(L)→隆帯貼付+刺突	内	N2	11	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅱ3	[27.8]	(24.8)	—	—
408	297	1481	ⅢC1 a	包含層中～下位	深鉢	口唇：平縁、突起あり単位不明、粘土紐の多くは剥落、胴：LR横→粘土紐貼付	無	N	6	7.5YR7/4にぶい褐色	Ⅱ1-a	21.9	(24.8)	—	—
408	297	1482	ⅢC1 a	包含層中～下位	深鉢	不明	無	N	11	10YR6/3にぶい黄褐色	Ⅱ2-4	19.6	(13.6)	—	—
408	297	1483	ⅢC1 a	包含層中～下位	深鉢	不明	無	N	11	7.5YR7/6褐色	Ⅱ?	—	(1.5)	[11.6]	—
408	297	1484	ⅢC1 a	包含層中～下位	深鉢	口唇：平縁、LR+結節(Z)横？	無	N	5B	5YR6/6褐色	Ⅱ1-b	—	—	—	—
409	297	1485	ⅢC1 a	包含層中～下位	深鉢	胴：LR横→隆帯+刻目、沈線(円文)	無	N	4	7.5YR6/3にぶい褐色	Ⅱ2-3	—	—	—	—
409	297	1486	ⅢC1 a	包含層中～下位	深鉢	口唇：平縁、LR+結節(Z)横	無	N	6A	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅱ1-b	—	—	—	—
409	297	1487	ⅢC1 a	ベルト中位	深鉢	口唇：波状？胴：単軸絡第1類R→粘土紐+刺突別	外	N	4	7.5YR7/6褐色	Ⅱ3	—	—	—	—

第22表 縄文土器観察表 (36) (残存値) [徳元値]

図版 No.	写図 No.	掲載 No.	出土地点	層位	器種	文様の特徴	煤の 付着	内面 調整	胎土	色調	時期・分類	計測値 (cm)			備考
												口径	器高	底径	
409	298	1488	ⅢC1 a	包含層上位	深鉢	口：平縁、胴：RL+結節(Z)横？	無	N	6	5YR4/6赤褐色	II1-a?	[32.3]	(50.0)	—	
410	298	1489	ⅢC1 a	包含層上位	深鉢	口：平縁、胴：LR縦？縄目が大きい	無	N2	11	5YR6/8褐色	II	19.0	(21.4)	—	
410	298	1490	ⅢC1 a	包含層上位	深鉢	底：網代裏	無	N	11	5YR5/6明赤褐色	II	—	(2.7)	[10.2]	
410	298	1491	ⅢC1 a	包含層上位	深鉢	口：平縁、胴：LR+結節(Z)横	無	N	11B	7.5YR4/2灰褐色	II1-b	—	—	—	
410	298	1492	ⅢC1 a	包含層上位	深鉢	口：平縁、胴：RL+結節(Z)横	無	N	5	7.5YR6/6褐色	II1-b	—	—	—	擦り弱い？
410	299	1493	ⅢC1 a	包含層上位	深鉢	口唇：刻目、突起(粘土紐+圧痕)、口：波状、胴：LR+結節(Z)横	外	N	5	7.5YR6/4にぶい褐色	II	—	—	—	結節は縄の末端部？
410	299	1494	ⅢC1 a	II層	深鉢	口：平縁、胴：車輪筋5種L横斜	無	N2	11	7.5YR6/4にぶい褐色	II	—	—	—	
410	299	1495	ⅢC1 a	検出面	深鉢	口：平縁、胴：RL縦→粘土紐貼付+刺突列	無	N	6	5YR6/6褐色	II3?	—	—	—	
411	299	1496	ⅢC1 b	ペルト埋土中～下位	深鉢	口：平縁、LR縦→粘土紐貼付、圧痕(円文)	無	N	4B	7.5YR7/6褐色	II2-3?	—	—	—	
411	299	1497	ⅢC1 b	南北ペルト埋土中位	深鉢	胴：LR+結節(S)横、底：網代裏	無	N	6	7.5YR7/4にぶい褐色	II1-b	—	(15.0)	[11.6]	
411	299	1498	ⅢC1 b	南北ペルト埋土中位	深鉢	口：平縁、胴：RL横→沈線(稜条)	無	N2	5	7.5YR4/2灰褐色	II2-3?	—	—	—	
411	299	1499	ⅢC1 b	包含層中位	深鉢	口唇：粘土紐貼付、口：平縁、胴：LR横→粘土紐+圧痕	無	N	10	10YR3/2黒褐色	II2-3	—	—	—	
411	299	1500	ⅢC1 b	包含層上位	深鉢	口唇：粘土紐貼付、口：平縁、胴：LR横→粘土紐貼付	無	N	6	5YR6/4にぶい褐色	II2-4	[9.7]	(9.5)	—	
411	299	1501	ⅢC1 b	包含層上位	深鉢	不明	内	N	7	7.5YR6/4にぶい褐色	II	—	(3.5)	8.7	
411	299	1502	ⅢC1 b	包含層上位	深鉢	口唇：刺突列、口：平縁、胴：RL+結節(S)横	無	N	6B	7.5YR6/4にぶい褐色	II1-b	—	—	—	
411	299	1503	ⅢC1 b	包含層上位	深鉢	口唇：粘土紐貼付+沈線、口：平縁、胴：LR縦横	無	N	5	5YR6/6褐色	II3?	—	—	—	
411	299	1504	ⅢC1 b	包含層上位	深鉢	口：平縁、胴：LR横→沈線	無	N	6B	5YR4/2灰褐色	II2-3?	—	—	—	
411	300	1505	ⅢC1 b	南北ペルト埋土上位	深鉢	口唇：粘土紐貼付、口：平縁、胴：LR+結節(Z)横→粘土紐貼付	無	N	5	5YR6/4にぶい褐色	II2-3?	—	—	—	
412	300	1506	ⅢC1 b	包含層中・下位	深鉢	口：平縁、胴：LR横→沈線(波状)横位、縄目太	無	N	6	5YR6/6褐色	II2-4	28.5	(33.9)	—	
412	300	1507	ⅢC1・2 b	包含層下位	深鉢	胴：L縦	無	N	6	5YR5/4にぶい赤褐色	II	—	(4.9)	[6.0]	
412	300	1508	ⅢC1 c	包含層下位	深鉢	口：平縁、胴：LR横→粘土紐貼付	無	N	6	7.5YR6/4にぶい褐色	II2-4	[14.4]	(9.9)	—	
412	300	1509	ⅢC1 c	包含層下位	深鉢	口：平縁、胴：LR+結節(S)横	無	N	B	7.5YR8/4浅黄褐色	II1-a	—	—	—	
412	300	1510	ⅢC1 c	包含層下位	深鉢	口：平縁、胴：RL横→沈線(波状)	無	N	4	10YR3/1黒褐色	II2-3?	—	—	—	
412	300	1511	ⅢC1 c	包含層下位	深鉢	口：平縁、胴：沈線	無	N	2	7.5YR3/1黒褐色	II	—	—	—	
412	300	1512	ⅢC1 c	包含層下位	深鉢	口：平縁、胴：LR横→沈線	無	M?	10	7.5YR5/3にぶい褐色	II2-3?	—	—	—	
412	300	1513	ⅢC1 c	包含層下位	深鉢	口唇：平縁、胴：沈線	外	M	11	7.5YR4/3褐色	II4	—	—	—	
412	300	1514	ⅢC1 c	包含層下位	深鉢	口唇：刺突、口：波状、胴：RL+結節(S)横	無	N	6	10YR6/3にぶい黄褐色	II1-b	—	—	—	
412	300	1515	ⅢC1 c	包含層下位	深鉢	胴：RL+結節(S)縦→沈線、粘土紐+刻目	無	M	6	7.5YR4/2灰褐色	II1-b?	—	(5.5)	[6.7]	
412	300	1516	ⅢC1 c	包含層中位	深鉢	胴：LR斜	無	N	5	7.5YR6/3にぶい褐色	II?	—	—	—	
412	300	1517	ⅢC1 c	包含層中位	深鉢	口：波状、胴：LR縦→粘土紐+刺突列、沈線	無	N2	5	5YR5/4にぶい赤褐色	II3?	—	—	—	
412	300	1518	ⅢC1 c	包含層中位	深鉢	口：平縁、胴：LR+結節(Z)縦→粘土紐+圧痕	無	N	6	5YR6/6褐色	II	—	—	—	
412	300	1519	ⅢC1 c	包含層中位	深鉢	口：平縁、胴：RL横→粘土紐貼付(波状)	無	N	11	7.5YR6/4にぶい褐色	II2-4	—	—	—	
413	300	1520	ⅢC1 c	包含層中位	深鉢	口：平縁、胴：LR横→粘土紐貼付	無	N	10	7.5YR6/4にぶい褐色	II2-4	—	—	—	
413	300	1521	ⅢC1 c	包含層中位	深鉢	口唇：平縁、胴：LR+結節(Z)横	無	N	4	7.5YR4/2灰褐色	II	—	—	—	
413	300	1522	ⅢC1 c	東西ペルト埋土上位	深鉢	口唇：庄裏、口：平縁、胴：LR+結節(Z)横	無	N2	11	5YR5/6明赤褐色	II1-b	—	—	—	摩滅している
413	300	1523	ⅢC1・2 c	包含層中・下位	深鉢	口唇：庄裏、突起(円文)、胴：RL+結節(Z)縦？	無	N2	11	5YR5/3にぶい赤褐色	II	—	—	—	
413	301	1524	ⅢC1 d	II層	深鉢	口：波状、突起(4単位)、胴：LR+結節(Z)縦+粘土紐貼付(波状)	内外	N2	5	7.5YR4/4褐色 7.5YR3/1黒褐色	II3	[16.8]	(13.2)	—	
413	301	1525	ⅢC1 d	II層	深鉢	口唇：無文帯、口：平縁、隆帯+刺突列、胴：LR横	無	N?	6	10YR6/4にぶい黄褐色	II?	[8.1]	(6.9)	—	
413	301	1526	ⅢC1 d	II層	深鉢	口：波状、突起(粘土紐貼付+圧痕)、胴：LR+結節(S)横、RL+結節(Z)横	内外	N2	10	7.5YR6/4にぶい褐色	II3?	—	—	—	
413	301	1527	ⅢC1 d	II層	深鉢	口：波状、RL縦+粘土紐貼付+RL縦	内外	N	10	7.5YR6/6褐色	II3?	—	—	—	
413	301	1528	ⅢC1 d	II層	深鉢	口：平縁、胴：車輪筋第1類R縦	無	N	4	5YR5/4にぶい赤褐色	II	—	—	—	
413	301	1529	ⅢC1 d	II層	深鉢	口唇：刺突列、突起(粘土紐貼付、口：平縁、胴：組紐)	無	N	11	5YR5/4にぶい赤褐色	II	—	—	—	
414	301	1530	ⅢC1 d	包含層中・下位	深鉢	口：平縁、突起、刺突、胴：LR横→粘土紐貼付(波状)	内外	N	10	7.5YR7/4にぶい褐色	II2-4	—	—	—	

第22表 縄文土器観察表 (37)

(残存値) [復元値]

図版 No.	写図 No.	掲載 No.	出土地点	層位	器種	文様の特徴	窯の 附着	内面 調整	胎土	色調	時期・分類	計測値 (cm)		備考	
												口径	器高		底径
414	301	1531	ⅢC1 d	包含層下位	深鉢	口：平緑、粘土細貼付、胴：LR縦	外	N	4	7.5YR4/2灰褐色	Ⅱ				
414	301	1532	ⅢC1 d	包含層下位	深鉢	口：平緑、胴：L横→粘土細貼付	外	N	6	7.5YR5/3にぶい褐色	Ⅱ2-4				
414	301	1533	ⅢC1 d	東西ベルト埋土上位	深鉢	口唇：圧痕(波状)、口：波状、 胴：単軸絡第5類L縦	外	N2	10	7.5YR5/6明褐色	Ⅱ3				
414	301	1534	ⅢC1 d	包含層下位	深鉢	胴：単軸絡第5類L縦、底：網代裏	無	N	6	5YR7/6褐色	Ⅱ		(36)	11.0	
414	301	1535	ⅢC1 d	東西ベルト埋土上位	深鉢	口：平緑、胴：単軸絡第5類L縦	無	N2	11	7.5YR5/4にぶい褐色	Ⅱ				
414	301	1536	ⅢC1 d	包含層下位	深鉢	底：木葉裏?線赤文?	無	N	11	7.5YR7/6褐色	Ⅱ			[7.5]	
414	301	1537	ⅢC1 d	包含層土器一括	深鉢	口：平緑、沈線(日文)、胴：LR縦	内外	N	6	7.5YR6/3にぶい褐色	Ⅱ2-3				
414	302	1538	ⅢC1・2 d	包含層土器一括	深鉢	口唇：圧痕、小突起、口：平緑、 胴：LR横→粘土細貼付	外	N	6	5YR5/3にぶい赤褐色	Ⅱ1-b		[33.6]	(38.4)	—
414	302	1539	ⅢC1 d・1 e	Ⅱ層	深鉢	胴：LR横→粘土細貼付	無	N	6	7.5YR5/3にぶい褐色	Ⅱ2-4				
415	302	1540	ⅢC1 e	Ⅱ層	深鉢	口：波状、突起刻目、胴：単軸絡第1類L縦	無	N	6	7.5YR7/4にぶい褐色	Ⅱ3?				
415	302	1541	ⅢC1 e	Ⅱ層	深鉢	口：波状?突起透し、胴：単軸絡第5類L縦	無	N2	6	7.5YR5/3にぶい褐色	Ⅱ3?				
415	302	1542	ⅢC2 a	包含層中～下位	深鉢	口：平緑、単軸絡第1類縦・横? (格子状) →単軸絡第3類(S字状連鎖沈線)	無	N	10	2.5YR5/6明赤褐色	Ⅱ1-b		[11.6]	14.8	[5.4]
415	303	1543	ⅢC2 a	包含層中～下位	深鉢	口唇：粘土細貼付、口：平緑、胴：L横→粘土細貼付、 口縁部と胴部の境に隆起貼付、文様4単位	外	N	6	7.5YR6/3にぶい褐色	Ⅱ2-4		[35.8]	(36.9)	—
416	303	1544	ⅢC2 a	包含層上位、包含層中～下位	深鉢	口唇：粘土細貼付(波状)、口：平緑、 胴：LR横→粘土細貼付(波状)貼付	外	N	10	5YR4/2灰褐色	Ⅱ2-4				
416	303	1545	ⅢC2 a	包含層上位・中～下位	深鉢	口唇：粘土細貼付(波状)、口：平緑、 胴：LR横→粘土細貼付(波状)貼付	無	N?	5	7.5YR4/3褐色	Ⅱ				
416	303	1546	ⅢC2 a	包含層中～下位	深鉢	口唇：粘土細貼付+圧痕(波状)、口：平緑、 胴：LR横→粘土細貼付(波状)貼付	無	N	10	5YR4/2灰褐色	Ⅱ				
416	303	1547	ⅢC2 a	包含層中位	深鉢	口唇：粘土細貼付(波状)、口：平緑	無	N	10	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅱ2-4				
416	303	1548	ⅢC2 a	包含層上位	深鉢	口：平緑、胴：LR+結節(乙)横	外	N	5	7.5YR4/2灰褐色	Ⅱ1-b				
416	303	1549	ⅢC2 d	Ⅱ層	深鉢	口：平緑、胴：LR横→粘土細貼付+刻目、沈線	外	M	10	7.5YR4/2灰褐色	Ⅱ2-3?				
416	304	1550	ⅢC3 a	Ⅱ層	深鉢	口：波状、突起、刻目、胴：単軸絡第5類R縦	無	N2	11	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅱ3				
416	304	1551	ⅢC3 a	Ⅱ層	深鉢	口唇：圧痕(波状)、口：平緑、胴：単軸絡第5類 R縦→粘土細+圧痕	無	N2	11	5YR7/8褐色	Ⅱ3				摩滅している
416	304	1552	ⅢC3 a	Ⅱ層	深鉢	口：波状、口縁部肥厚、沈線、胴：LR縦 LR、胴：LR縦横	無	N	10	7.5YR5/3にぶい褐色	Ⅱ2-a				
417	304	1553	ⅢC3 a	包含層2段目	深鉢	底：網代裏	無	N2	11	5YR4/4にぶい赤褐色	Ⅱ4				
417	304	1554	ⅢC3 a	包含層2段目	深鉢	底：網代裏	無	N	11	10YR8/3黄褐色	Ⅱ			(38)	14.0
417	304	1555	ⅢC3 a	包含層1段目、包含層2段目	深鉢	口：平緑、胴：LR横→粘土細貼付(波状)	外	N	11	7.5YR5/4にぶい褐色	Ⅱ2-3				
417	304	1556	ⅢC3 a	包含層1段目	深鉢	口：平緑?、胴：組紐→粘土細貼付+組紐	無	N	10	5YR5/6明赤褐色	Ⅱ				
417	304	1557	ⅢC3 a	包含層1段目	深鉢	口：平緑、胴：LR横→粘土細貼付+刻目	無	N	4	10YR6/3にぶい黄褐色	Ⅱ1-b				
417	304	1558	ⅢC4 a	ベルト埋土上位	深鉢	胴：単軸絡第1類R縦、底：網代裏	外	N	10	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅱ		14.3	16.6	9.1
417	304	1559	ⅢC4 a ⅢC4 j	Ⅱ層、ベルト埋土上位、包含層2段目	深鉢	口：平緑、胴：単軸絡第5類R縦	無	N2	11	5YR5/6明赤褐色	Ⅱ3?				
418	305	1560	ⅢC5 a	Ⅱ層	深鉢	口：平緑、胴：RL+LR結果1縦→原体側圧	無	N	11	10YR5/3にぶい黄褐色	Ⅲ1-b?				
418	305	1561	ⅢC8 d	Ⅱ層	深鉢	口：平緑、RL縦→隆起貼付	無	N	2	10YR6/3にぶい黄褐色	Ⅲ2-b				
418	305	1562	ⅢC8・9 d	Ⅱ層検出面、Ⅱ層下部検出面	深鉢	胴：LR縦、底：網代裏	無	N	11	5YR4/4にぶい赤褐色	Ⅱ			(15.4)	10.8
418	305	1563	ⅢC8 e	Ⅱ層下部検出面	深鉢	口：波状?単位不明、胴：単軸絡第2類R縦?	無	N	6	5YR5/6明赤褐色	Ⅱ		[13.3]	(12.1)	—
418	305	1564	ⅢC8 e	Ⅱ層	深鉢	胴：LR縦、底：網代裏	無	N	10	10YR5/3にぶい黄褐色	Ⅱ			(9.2)	9.6
418	305	1565	ⅢC8 f	Ⅱ層	深鉢	口：波状、RL縦?→沈線	無	N	6	10YR6/4にぶい黄褐色	Ⅲ3				
418	305	1566	ⅢC8 h	Ⅱ層	深鉢	口：波状、口縁部無文帯、胴：LR縦→沈線、刺 突、内面隆起貼付	無	M	4	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ4-b				
418	305	1567	ⅢC8 h	Ⅱ層検出面	深鉢	口唇：肥厚、口：波状、胴：単軸絡第1類R縦、 L+結節(乙)横	内外	N2	11	7.5YR4/2灰褐色	Ⅱ4				
418	305	1568	ⅢC8 h	Ⅱ層検出面	深鉢	口唇：肥厚、口：波状、胴：沈線、刺突列、 LR縦	外	N2	11	5YR4/2灰褐色	Ⅱ4				
418	305	1569	ⅢC10 h	Ⅱ層	深鉢	口：波状4単位、突起部に刻目、 胴：沈線→L縦横・原体側圧	内	N	2	5YR6/4にぶい褐色	Ⅱ2		[14.3]	(13.3)	—

第22表 縄文土器観察表 (38)

(残存値) [還元値]

図版 No.	写図 No.	掲載 No.	出土地点	層位	器種	文様の特徴	煤の 付着	内面 調整	胎土	色調	時期・分類	計測値 (cm)		備考	
												口径	器高 底径		
418	305	1570	ⅢC8 h ⅢC11 h	Ⅱ層	小型深鉢 口：平縁、無文、底：網代裏	無	M	2	7.5YR5/3にぶい褐色	Ⅱ?	[10.7]	(10.3)	[5.2]		
419	305	1571	ⅢC8 j	Ⅲ層	深鉢 胴：LR+結節(乙)縦、底：網代裏	無	N?2	11	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ?	—	(8.2)	10.2		
419	305	1572	ⅢC8 j	Ⅲ層	深鉢 胴：LR縦、底：網代裏	無	N	6	10YR6/3にぶい黄褐色	Ⅲ?	—	(5.6)	9.2		
419	305	1573	ⅢC8 j	Ⅲ層	深鉢 胴：RL縦?、底：木葉裏	内	N	6	7.5YR5/3にぶい褐色	Ⅲ	—	(6.0)	6.0	剥落多く摩滅している	
419	305	1574	ⅢC8 j	Ⅲ層	深鉢 口：平縁、胴：LR縦	内	N	4	10YR5/3にぶい黄褐色	Ⅲ	—	(4.3)	[7.3]		
419	305	1575	ⅢC8 j	Ⅲ層	深鉢 口：平縁、無文帯、胴：RL縦	無	N	11	7.5YR5/4にぶい褐色	Ⅲ	—	—	—		
419	305	1577	ⅢC8 j	Ⅲ層	深鉢 口：平縁、胴：LR縦→隆帯、沈線、刺突 底：網代裏	無	M	6	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ2-b	—	(1.8)	[7.6]		
419	305	1578	ⅢC9 b	Ⅱ層下検出面	深鉢 口：波状、胴：L横→沈線	内	M	6	7.5YR5/3にぶい褐色	Ⅱ2	—	—	—		
419	305	1579	ⅢC9 b	Ⅱ層下検出面	深鉢 口：波状、胴：LR縦→沈線	内	M	6	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅱ2	—	—	—		
419	305	1580	ⅢC9 d	Ⅱ層	深鉢 口：波状、胴：LR縦→沈線	無	M	6	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ3	—	—	—		
419	306	1581	ⅢC9 e	Ⅱ層下検出面	深鉢 胴：LR縦、底：網代裏	無	N	11	5YR5/6明赤褐色	Ⅱ	—	(7.3)	[11.0]		
419	306	1582	ⅢC9 e	Ⅱ層検出面	深鉢 口：平縁、胴：LR横→隆帯	無	N	6	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ2-a	—	—	—		
419	306	1583	ⅢC9 f	Ⅱ層	深鉢 胴：LR縦→隆帯(2本隆帯・3本沈線)龍位	内	N	6	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅲ2-b	—	(6.2)	[8.1]	摩滅している	
419	306	1584	ⅢC9 f	Ⅱ層	深鉢 胴：LR縦、底：網代裏	無	N	6	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ	—	(8.1)	10.3		
420	306	1585	ⅢC9 f	Ⅱ層	小型深鉢 口：平縁、胴：LR縦、底：網代裏	内	M?	2	7.5YR4/2灰褐色	Ⅲ	—	(10.7)	(11.9)	[3.7]	
420	306	1586	ⅢC9 f	Ⅱ層	深鉢 口：波状4単位、胴：LR縦→沈線→隆帯4単位	無	N	6	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅲ4-b	[14.1]	(11.6)	—		
420	306	1587	ⅢC9 f	Ⅱ層	深鉢 口：平縁、LR横→隆帯	無	M?	4	7.5YR5/3にぶい褐色	Ⅲ2-b	—	—	—		
420	306	1588	ⅢC9 f	Ⅱ層	深鉢 口：波状?、粗文→隆帯	無	M	4	7.5YR5/4にぶい褐色	Ⅲ2-b	—	—	—		
420	306	1589	ⅢC9 f	Ⅱ層	深鉢 口：平縁、RL横→隆帯・沈線、胴：RL縦	無	N	6	10YR4/3にぶい黄褐色	Ⅲ2-a	—	—	—		
420	306	1590	ⅢC9 f	Ⅱ層	深鉢 口：波状、隆帯(満文)、胴：LR縦→沈線	無	M?	6	7.5YR4/2灰褐色	Ⅲ2-b	—	—	—		
420	306	1591	ⅢC9 f	Ⅱ層	深鉢 口：波状、胴：LR縦、沈線	無	N	5	7.5YR6/6褐色	Ⅲ4	—	—	—		
420	306	1592	ⅢC9 f	Ⅱ層	深鉢 口：平縁、胴：LR縦→隆帯、隆沈線	無	M	6	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅲ2-a?	—	—	—		
420	306	1593	ⅢC9 g	Ⅱ層	深鉢 口：平縁、胴：R縦斜	無	N	6	10YR5/3にぶい黄褐色	Ⅲ?	[15.2]	(14.8)	—	摩滅顯著、補修孔一対あり	
420	306	1594	ⅢC9 g	Ⅱ層	深鉢 口：平縁、胴：LR縦	無	N	6	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ?	[16.6]	(15.6)	—		
420	306	1595	ⅢC9 g	Ⅱ層	深鉢 口：波状、胴：R→隆沈線	無	N	6	7.5YR5/4にぶい褐色	Ⅲ2-a?	—	—	—		
420	306	1596	ⅢC9 g	Ⅱ層	深鉢 口：波状、胴：RLR縦→隆沈線(満文)	無	N	6	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅲ3	—	(3.2)	[11.8]		
420	306	1597	ⅢC9 g	Ⅱ層検出面	深鉢 口：平縁、胴：LR縦→隆沈線	無	N	6	10YR4/2灰黄褐色	Ⅲ2-b	—	[10.2]	(10.4)	[5.2]	
420	306	1598	ⅢC9 h	Ⅱ層下検出面	深鉢 口唇：頂部刻目、口：平縁?、 胴：L横→沈線、胴体側圧L	無	M?	2	5YR6/4にぶい褐色	Ⅱ2	—	—	—		
420	306	1599	ⅢC9 i	Ⅱ層	深鉢 口：平縁、胴：LR縦→沈線	無	N	6	10YR6/3にぶい黄褐色	Ⅲ4	—	—	—		
420	306	1600	ⅢC9 j	Ⅱ層	深鉢 胴：LR縦?、底：網代裏	無	N	11	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ?	—	(3.2)	[11.8]		
421	306	1601	ⅢC10 b	Ⅱ層	小型深鉢 口：波状3単位?、胴：LR縦	無	N	2	7.5YR4/3褐色	Ⅲ	—	[10.2]	(10.4)	[5.2]	
421	307	1602	ⅢC10 c	Ⅱ層検出面	深鉢 口：平縁、胴：LR縦→隆帯・沈線	内	N	4	7.5YR5/4にぶい褐色	Ⅲ3-b	—	—	—		
421	307	1603	ⅢC10 c	Ⅱ層	深鉢 口：平縁、胴：LR縦→隆帯・沈線	内	N	6	7.5YR4/4褐色	Ⅲ3	—	—	—		
421	307	1604	ⅢC10 c	Ⅱ層検出面	深鉢 口：波状、突起透し、粘土紐貼付	無	N	2	7.5YR7/4にぶい褐色	Ⅲ2-a	—	—	—		
421	307	1605	ⅢC10 c	Ⅱ層検出面	深鉢 口：波状?、胴：LR縦→隆帯、沈線	外	N	10	10YR5/3にぶい黄褐色	Ⅲ2-b	—	—	—	覆林式?	
421	307	1606	ⅢC10 d	Ⅱ層	深鉢 口：平縁、胴：RL縦→粘土紐+沈線	外	N	6	7.5YR4/3褐色	Ⅱ	—	—	—		
421	307	1607	ⅢC10 f	Ⅱ層	深鉢 胴：RL縦、底：網代裏	無	N	7	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ?Ⅲ?	—	(5.4)	[11.8]		
421	307	1608	ⅢC10 g	Ⅱ層	深鉢 口：波状、胴：隆沈線(満文)、RL縦	無	N	6	10YR5/2灰黄褐色	Ⅲ2-b	—	—	—		
421	307	1609	ⅢC10 g	Ⅱ層	深鉢 口：波状?、隆沈線(満文)、胴：LR縦	無	N	10	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅲ2-a	—	—	—		
421	307	1610	ⅢC10 g	Ⅱ層	深鉢 口：波状?、隆沈線(満文)、胴：LR縦	無	N	6	7.5YR7/4にぶい褐色	Ⅲ2-b	—	(10.1)	10.2		
421	307	1611	ⅢC10 h	Ⅱ層(東西側溝)(ⅢC10h~i間)	深鉢 胴：LR縦、底：網代裏	無	N	6	5YR4/3にぶい赤褐色	Ⅲ	—	—	—		
421	307	1612	ⅢC10 h	Ⅱ層	深鉢 口：平縁、胴：隆帯→LR縦→沈線	無	N	10	5YR4/4にぶい赤褐色	Ⅲ3	—	—	—		
421	307	1613	ⅢC10 i	Ⅱ層検出面	深鉢 口唇：粘土紐貼付(波状)、口：平縁、 胴：RL+結節(S)横、RL斜	無	N	6	5YR6/6褐色	Ⅱ	—	—	—		
421	307	1614	ⅢC10 j	Ⅱ層	深鉢 口：平縁、胴：粘土紐貼付+刻目、沈線	無	N	7	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ4	—	—	—		
421	307	1615	ⅢD7 b	Ⅲ層の上	深鉢 口唇：肥厚、口：波状、沈線、胴：LR縦	無	N2	11	7.5YR5/4にぶい褐色	Ⅲ4	—	—	—		
421	307	1616	ⅢD7 b	トレンチ内	深鉢 胴：LR縦、底：網代裏	無	N	10	7.5YR7/6褐色	Ⅲ?	—	(10.0)	9.2		

第22表 縄文土器観察表 (39)

(残存値) (復元値)

図版 No.	写図 No.	掲載 No.	出土地点	層位	器種	文様の特徴	煤の 付着	胎土 調整	色調	時期・分類	計測値 (cm)		備考	
											口径	器高 底径		
422	307	1617	ⅢD7c	Ⅱ層	深鉢	口：平縁、隆帯貼付、胴：沈線、LR縦	無	N	6	10YR6/4Lにぶい黄褐色	Ⅲ4-b			
422	307	1618	ⅢD7c	Ⅱ層	深鉢	口：波状、隆帯貼付+刺突列、胴：L縦	無	M?	5	7.5YR6/4Lにぶい褐色	Ⅲ4-b			
422	307	1619	ⅢD7c、 ⅢD8b	Ⅱ層、Ⅲ層検出面	深鉢	胴：LR縦	内	N	6	10YR7/3Lにぶい黄褐色	Ⅲ?	12.0		
422	307	1620	ⅢD8b	Ⅱ層下部	深鉢	胴：多軸絡R縦?	無	N	5	7.5YR4/2灰褐色	Ⅱ?	5.4		
422	307	1621	ⅢD8b・c	Ⅱ層	深鉢	口：波状、突起、胴：隆帯貼付→RL縦	無	N	4	7.5YR7/4Lにぶい褐色	Ⅲ4-b			
422	307	1622	ⅢD8c	I層、Ⅱ層	深鉢	胴：沈線→隆帯→刺突列、RL縦	無	N	4	7.5YR6/4Lにぶい褐色	Ⅲ4-b			
422	307	1623	ⅢD8c	I層	深鉢	不明	無	N2	5	5YR6/4Lにぶい褐色	Ⅱ?	(2.4)		
422	307	1624	ⅢD8d	Ⅱ層	深鉢	胴：LR縦→隆帯貼付(縦位)	無	N	4	5YR6/4Lにぶい褐色	Ⅲ2-a	5.8		
422	308	1625	ⅢD8d	I層	深鉢	胴：LR縦斜、底：網代裏	無	N	5	5YR6/6褐色	Ⅱ?Ⅲ?	(6.7)	10.2	
422	308	1626	ⅢD9a	Ⅱ層	深鉢ミニ チュア	胴：LR縦	内外	N	6	5YR6/6褐色	Ⅲ?	[2.9]	5.4	2.0
422	308	1627	ⅢD9c	Ⅱ層	深鉢	口：平縁、肥厚、沈線、胴：RL+L結束1縦	無	N2	11	5YR5/4Lにぶい赤褐色	Ⅱ4			
422	308	1628	ⅢD10a	Ⅱ層下部検出面	深鉢	胴：RL横、底：木葉裏→網代裏	内	N?2	11	7.5YR7/4Lにぶい褐色	Ⅱ?	(7.2)	[14.0]	
422	308	1629	ⅢD10b	Ⅱ層	深鉢	胴：LR縦、沈線	無	N	2	10YR6/4Lにぶい黄褐色	Ⅲ4-b			
423	308	1630	ⅢD10c	Ⅱ層	深鉢	口：波状、RL横→沈線、刺突	無	M	2	5YR6/6褐色	Ⅲ4-b			
423	308	1631	ⅢD10c	Ⅱ層	深鉢	口：平縁、RL縦	無	N	10	2.5YR5/6明赤褐色	Ⅲ			
423	308	1632	ⅢD10c	Ⅱ層	深鉢	口：平縁、沈線→粘土層貼付	無	N	6	7.5YR6/3Lにぶい褐色	Ⅱ4			
423	308	1633	ⅢD10c	Ⅱ層	深鉢	底：木葉裏	無	N	4	5YR7/4Lにぶい褐色	Ⅱ?Ⅲ?	(1.6)	4.9	
423	308	1634	ⅢD10c	Ⅱ層	深鉢	口：平縁、突起あり(単位不明)、 胴：LR縦→沈線(無文帯)	無	N	6	7.5YR4/2灰褐色	Ⅲ4-b	[10.6]	(7.9)	—
423	308	1635	ⅢD10c	I層、Ⅱ層	深鉢	胴：隆帯→沈線(先填?)	外	N	2	10YR4/2灰黄褐色	Ⅲ4-b			
423	308	1636	ⅢD10d	Ⅱ層	深鉢	口：平縁、RL縦→L縦(先填?)	無	M?	10	7.5YR6/4Lにぶい褐色	Ⅲ3-b			
423	308	1637	ⅢD10d	Ⅱ層	小型深鉢	胴：L縦	無	N	6	2.5YR6/4Lにぶい褐色	Ⅱ?Ⅲ?	[3.4]		
423	308	1638	ⅢD10d	Ⅱ層	深鉢	底：木葉裏→網代裏?	無	N	6	7.5YR6/4Lにぶい褐色	Ⅱ?Ⅲ?	(2.8)	6.4	
423	308	1639	ⅣB1g	Ⅱ層検出面	深鉢	口：波状、頸：隆帯+刻目、胴：LR+結節(乙)縦	無	N2	4	7.5YR5/4Lにぶい褐色	Ⅱ3?			
423	309	1640	ⅣB1g	Ⅱ層検出面	深鉢	口唇：圧痕、口：平縁、胴：車輪絡第1A類L縦→ 隆帯+圧痕	無	N	5	5YR6/6褐色	Ⅱ3			
424	309	1641	ⅣB1h	Ⅱ層	深鉢	胴：LR横斜	無	N	6	2.5YR6/8褐色	Ⅱ4?	(9.1)	[8.9]	
424	309	1642	ⅣB1h	Ⅱ層	深鉢	口：波状、胴：RR(直前段及燃)縦? + 結節(S)縦 →粘土紐+圧痕	無	N2	5	5YR5/4Lにぶい赤褐色	Ⅱ3?			
424	309	1643	ⅣB1h	Ⅱ層検出面	深鉢	口：波状?、沈線、隆帯+圧痕、胴：結節(乙)縦	無	N2	11	7.5YR6/4Lにぶい褐色	Ⅱ4			
424	309	1644	ⅣB2j	Ⅱ層検出面	深鉢	口：平縁、LR横→隆沈線、胴：LR縦	無	M	6	5YR6/6褐色	Ⅲ2-a?			
424	309	1645	ⅣB2j	Ⅱ層検出面	深鉢	口：平縁、隆帯、原体側圧LR、胴：LR横?	無	N	6	5YR6/6褐色	Ⅲ1-b			
424	309	1646	ⅣB3c	Ⅱ層	深鉢	口：平縁、胴：LR+結節(乙)縦	無	N	6	10YR7/4Lにぶい黄褐色	Ⅲ			
424	309	1647	ⅣB3j	Ⅱ層	深鉢	口：波状?、隆帯、沈線、胴：RL+結節(乙)縦	無	N2	11	5YR6/6褐色	Ⅱ4			
424	309	1648	ⅣB5i	Ⅱ層	深鉢	口：波状、突起、隆帯、沈線(端文)	無	M	2	7.5YR5/2灰褐色	Ⅲ2-a?			
424	309	1649	ⅣC1d	Ⅱ層	深鉢ミニ チュア	胴：L縦	無	N	2	7.5YR7/4Lにぶい褐色	Ⅲ?	(4.7)	[4.3]	
424	309	1650	ⅣC1d	Ⅱ層検出面	深鉢	胴：LR縦、底：網代裏	無	N	5	7.5YR6/3Lにぶい褐色	Ⅲ?	(2.5)	9.0	
424	309	1651	ⅣC1e	Ⅱ層	深鉢	口：平縁、胴：LR縦→隆沈線	無	N	10	2.5YR5/6明赤褐色	Ⅲ2-b			
424	309	1652	ⅣC1e	Ⅱ層	深鉢	口：平縁、RL縦→隆沈線(端文)	無	M	6	7.5YR4/3褐色	Ⅲ3			
424	309	1653	ⅣC1h	Ⅱ層	深鉢	胴：LRL縦	無	N	6	10YR8/4黄褐色	Ⅲ?	(11.8)	12.0	
425	309	1654	ⅣC2a	Ⅱ層下部検出面	深鉢	口：波状、胴：RLR縦→隆沈線(端文)	無	M	10	7.5YR3/1黒褐色	Ⅲ3			
425	309	1655	ⅣC2a	Ⅱ層下部検出面	深鉢	口：平縁、胴：RLR縦	無	N	6	7.5YR5/4Lにぶい褐色	Ⅲ			
425	309	1656	ⅣC2b	Ⅱ層検出面	深鉢	胴：LR縦、底：網代裏	無	N2	7	10YR6/3Lにぶい黄褐色	Ⅲ?	(6.1)	[9.7]	5.0
425	309	1657	ⅣC2b	Ⅱ層検出面	深鉢	底：網代裏	無	N	6	10YR6/3Lにぶい黄褐色	Ⅲ?	(5.4)	5.0	
425	309	1658	ⅣC2b	Ⅱ層検出面	深鉢	口：波状、沈線、刺突列、胴：車輪絡第1類R縦	無	N	11	5YR5/4Lにぶい赤褐色	Ⅱ4			
425	309	1659	ⅣC2b	Ⅱ層検出面	深鉢	口：平縁、突起あり、胴：沈線→L縦	無	M	6	10YR5/3Lにぶい黄褐色	Ⅲ4-b			
425	309	1660	ⅣC2c	Ⅱ層検出面	深鉢	底：網代裏	無	N	7	7.5YR6/4Lにぶい褐色	Ⅲ?	(4.6)	[10.3]	
425	309	1661	ⅣC2d	Ⅱ層	深鉢	胴：LR縦?	無	N	2	5YR6/6褐色	Ⅲ	(6.1)	9.0	
425	310	1662	ⅣC2d	Ⅱ層	深鉢	口：平縁、突起あり、胴：沈線、LR縦	無	N	4	10YR6/3Lにぶい黄褐色	Ⅲ4-b			



第22表 縄文土器観察表 (40)

(残存値) [復元値]

図版 No.	写図 No.	掲載 No.	出土地点	層位	器種	文様の特徴	葺の 付着	内面 調整	胎土	色調	時期・分類	計測値 (cm)		備考	
												口径	器高 底径		
425	310	1663	IV C 2 d	II層検出面	深鉢	胴：無文？底：丸底	無	N	2	7.5YR5/4にぶい褐色	Ⅲ?	—	—		
425	310	1664	IV C 2 d	II層検出面	深鉢	胴：LR縦、底：網代真	無	N?	6	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ?	—	[13.6]		
425	310	1665	IV C 2 d	II層検出面	深鉢	口：平縁、胴：LR縦→隆帯	無	N	10	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅲ	—	(6.9)		
426	310	1666	IV C 2 d	II層検出面	深鉢	口：波状？突起(透し)、隆沈線	無	M	2	10YR4/3にぶい赤褐色	Ⅲ2-b	—	—	朱付着	
426	310	1667	IV C 2 f	II層	深鉢	口：平縁、胴：RLR縦→沈線	無	N	4	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ3	—	—		
426	310	1668	IV C 2 f	II層	深鉢	口：波状、胴：L横→沈線	無	M	3	7.5YR5/3にぶい褐色	Ⅳ2	—	—		
426	310	1669	IV C 2 g	II層	鉢 鉢ニ チュア	口：平縁、胴：L横→沈線(4単位?)、 底：網代真?→ナデ	無	N?	2	10YR5/2灰黄褐色	Ⅲ?	6.5	4.2	3.7	
426	310	1670	IV C 2 g	II層	深鉢	口：平縁、胴：RLR縦→隆沈線	無	N	6	10YR5/3にぶい黄褐色	Ⅲ2-b	—	—		
426	310	1671	IV C 3 a	II層	深鉢	口唇：平縁、口：突起(2単位?)、 単軸筋第5類R横(細目状熱文)	無	N	2	10YR4/2灰褐色	Ⅱ	[20.5]	(12.4)	—	
426	310	1672	IV C 3 a	II層	深鉢	胴：LR縦	無	N	7	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ?	—	(10.0)	10.0	
426	310	1673	IV C 3 a	II層	深鉢	口：波状、隆沈線(湯文)、胴：RLR縦	無	N	6	5YR5/6明赤褐色	Ⅲ2-a?	—	—	—	
426	310	1674	IV C 3 a	II層	深鉢	口：波状、隆沈線(湯文)、RL縦	無	N	11	10YR5/3にぶい黄褐色	Ⅲ2-b	—	—	—	
426	310	1675	IV C 3 a	II層	深鉢	口唇：刻目、口：波状、頸：隆帯+刻目	無	N	2	7.5YR5/3にぶい褐色	Ⅱ	—	—	—	
426	310	1676	IV C 3 a	II層検出面	深鉢	口：平縁、L横→沈線、胴：LR縦→沈線	無	N	5	7.5YR5/4にぶい褐色	Ⅲ2-a	—	—	—	
426	310	1677	IV C 3 b	II層	小型深鉢	胴：LR縦、底：木葉真	無	N	6	5YR4/2灰褐色	Ⅲ?	—	(3.5)	5.3	
426	310	1678	IV C 3 b	II層	深鉢	胴：LR縦、隆帯+網代真	無	N	7	10YR6/4にぶい黄褐色	Ⅲ?	—	(4.7)	8.9	
426	310	1679	IV C 3 b	II層	深鉢	口：平縁、隆帯+網代真、胴：LR縦→沈線、隆帯	無	M	5	7.5YR4/3褐色	Ⅲ4-b	—	—	—	
427	311	1680	IV C 3 b	II層	深鉢	口：波状、胴：LR縦、沈線、隆帯貼付	無	N	6	7.5YR5/4にぶい褐色	Ⅲ4-b	—	—	—	
427	311	1681	IV C 3 b	II層	深鉢	口：平縁、隆帯+平縁、胴：沈線→粘土瘤貼付 (半竹)	内外	N	6	7.5YR7/4にぶい褐色	Ⅳ4	—	—	—	
427	311	1682	IV C 3 c	II層	深鉢	胴：LR縦、底：網代真→縁に粘土貼付→網代真	無	N	6	10YR6/3にぶい黄褐色	Ⅲ?	—	(25.9)	12.3	
427	311	1683	IV C 3 c	II層	深鉢	胴：LR縦?、底：網代真(剥落多い)	無	N	7	7.5YR6/3にぶい褐色	Ⅲ	—	(3.4)	12.0	
428	311	1684	IV C 3 c	II層	深鉢 鉢ニ チュア?	不明	無	N	2	5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ?	—	(1.0)	[4.0]	
428	311	1685	IV C 3 c	II層	深鉢	口：波状、胴：沈線、原体側上LR	内外	N	6	7.5YR5/3にぶい褐色	Ⅲ?	—	—	—	
428	311	1686	IV C 3 c	II層	深鉢	口：平縁、胴：沈線、刺突→単軸筋第1類L縦	無	N	5	5YR6/6褐色	Ⅲ4-b	—	—	—	
428	311	1687	IV C 3 c	II層	深鉢	口：平縁、胴：沈線、刺突→LR縦	無	N	4	5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ4-b	[33.3]	(20.0)	—	
428	311	1688	IV C 3 c	II層	深鉢	口：波状、隆帯+沈線、胴：LR縦横?	無	N	6	5YR4/4にぶい赤褐色	Ⅳ4	—	—	—	
428	311	1689	IV C 3 f	II層	深鉢	口：波状、隆帯+沈線、胴：LR縦横?	無	N	10	7.5YR5/3にぶい褐色	Ⅲ2-b	—	—	—	
428	312	1690	IV C 3 b	II層	深鉢	口：平縁、胴：RLR縦→隆沈線(湯文)	無	N	11	7.5YR6/3にぶい褐色	Ⅲ2-b	—	—	—	
428	312	1691	IV C 3 h	II層	深鉢	口：平縁、胴：LR縦→沈線	無	M	6	2.5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅲ3	—	—	—	
428	312	1692	IV C 3 i	II層	小型深鉢	胴：LR縦	無	N	2	5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ?	—	(4.4)	4.6	
429	312	1693	IV C 3 j、 IV C 3 j	II層、II層上位	深鉢	口：平縁、胴：LR縦、底：網代真	無	N	6	10YR6/3にぶい黄褐色	Ⅲ	[30.0]	51.3	[11.5]	
429	312	1694	IV C 3 j	II層	深鉢	胴：単軸筋第5類L縦、底：網代真	無	N	6	7.5YR7/3にぶい褐色	Ⅱ	—	(5.6)	12.5	
429	312	1695	IV C 3 j	II層	深鉢	口唇：押圧、口：平縁、胴：単軸筋第1A類L?	無	N	10	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅱ	—	—	—	
429	312	1696	IV C 3 j	II層	深鉢	口：波状、沈線	無	N	11	7.5YR7/6褐色	Ⅳ4	—	—	—	
429	312	1697	IV C 3 j	II層	深鉢	口：波状、突起部に刻目、胴：単軸筋第5類L縦	外	N	5	7.5YR4/2灰褐色	Ⅲ3	—	—	—	
430	312	1698	IV C 3 j、 IV C 4 i	II層	深鉢	口唇：刻目、沈線、口：波状、胴：単軸筋第5類L縦	無	N	11	10YR6/3にぶい黄褐色	Ⅱ	—	—	—	
430	313	1699	IV C 3 j、 IV C 4 i	II層	深鉢	口：平縁、胴：単軸筋第1A類L縦→横位に線状真	無	N	2	2.5YR5/3にぶい赤褐色	Ⅱ	[18.4]	(14.3)	—	
430	313	1700	IV C 3 j、 IV C 4 i	II層	深鉢	胴：単軸筋第5類L縦、底：網代真	外	N	6	5YR6/6褐色	Ⅱ	—	(22.5)	[15.2]	
430	313	1701	IV C 4 f	II層	深鉢	底：木葉真	無	N	6	5YR5/3にぶい赤褐色	Ⅲ?	—	(2.1)	10.2	
430	313	1702	IV C 4 i	II層	深鉢	底：網代真?	無	N	7	7.5YR7/6褐色	Ⅱ	—	(5.8)	[25.8]	
430	313	1703	IV C 4 i	II層	深鉢	胴：LR縦、底：網代真	無	N	6	7.5YR5/4にぶい褐色	Ⅲ?	—	(4.1)	10.4	
431	313	1704	IV C 4 i	II層	深鉢	胴：単軸筋第1類R縦、底：木葉真	内	N	7	2.5YR5/6明赤褐色	Ⅱ	—	(3.4)	[9.2]	
431	313	1705	IV C 4 i	II層	深鉢	口：平縁、胴：単軸筋第5類L縦	外	N	7	5YR4/3にぶい赤褐色	Ⅱ	—	—	—	

第22表 縄文土器観察表 (41)

(残存値) (復元値)

図版 No.	写図 No.	掲載 No.	出土地点	層位	器種	文様の特徴	煤の 付着	内面 調整	胎土	色調	時期・分類	計測値 (cm)		備考
												口径	器高 底径	
431	313	1706	IV C 4 i	II層	深鉢	口：平縁、胴：LR横→隆帯+刺突	無	N2	11	5YR6/6橙色	II3			
431	313	1707	IV C 4 i	II層	深鉢	口：平縁、胴：単軸第5類R縦→隆帯+圧痕	無	N2	11	2.5YR5/6明赤褐色	II3			
431	313	1708	IV C 4 i	ペルトII層	深鉢	胴：LR縦、底：網代裏	無	N	7	2.5YR7/6褐色	II?		[7.7]	
431	313	1709	IV C 4 i	ペルトII層	深鉢	口：波状、口縁部隆帯貼付、胴：LR縦	外	N	10	2.5YR5/4にぶい赤褐色	II4?	[16.6]	(10.5)	
431	314	1710	IV C 4 i	II層上位	深鉢	口：平縁、胴：LR縦	無	N	5	7.5YR7/4にぶい褐色	III			
431	314	1711	IV C 4 j	II層	深鉢	胴：LR縦、底：網代裏→木葉裏	無	N	7	5YR5/6明赤褐色	II?		[11.0]	
431	314	1712	IV C 4 j	II層	深鉢	底：網代裏	内	N	7	10YR7/3にぶい黄褐色	II		[13.4]	
431	314	1713	IV C 4 j	II層	深鉢	口：平縁、突起、隆帯貼付+沈線、 胴：単軸第1A類縦	無	N	5	5YR5/4にぶい赤褐色	II3			
431	314	1714	IV C 4 j	II層	深鉢	口：平縁、胴：単軸第1A類R縦→隆帯+圧痕	無	N2	11	2.5YR6/8褐色	II3			
431	314	1715	IV C 4 j	II層	深鉢	口：波状、隆帯、沈線(半竹)	無	M	4	7.5YR3/1黒褐色	II5			
432	314	1716	IV C 4 j	II層③	深鉢	口唇：圧痕、口：波状、胴：単軸第5類→隆帯+圧痕	無	N2	11	5YR7/6褐色	II3			
432	314	1717	IV C 4 j	II層③	深鉢	口：波状、沈線(半竹)、胴：LR+結節(2)縦	外	N	11	5YR6/4にぶい赤褐色	II4			
432	314	1718	IV C 4 j	II層②	深鉢	口唇：刺突、口：波状、沈線(半竹)	無	N2	10	5YR5/4にぶい赤褐色	II4			
432	314	1719	IV C 5 c	II層	深鉢	口：波状、口縁部隆帯貼付、胴：LR縦	無	N2	11	5YR5/6明赤褐色	II4?			
432	314	1720	IV C 5 c	II層	帯	胴：隆帯(網位)+縦耳、RLR縦→隆沈線(湯文)	無	M	2	2.5YR6/6褐色	III2-b			
432	314	1721	IV C 5 e	II層	深鉢	胴：LR縦、底：木葉裏	無	N	7	5YR6/4にぶい褐色	II		(5.2)	摩滅・剥落著しい
432	314	1722	IV C 5 g	II層	小型深鉢	底：網代裏	無	N	7	5YR5/6明赤褐色	II?III?		(1.8)	4.6
432	314	1723	IV C 5 i	II層②	深鉢	口：平縁、RL縦→隆沈線(湯文)	無	N	6	5YR5/6明赤褐色	III2-b			
432	314	1724	IV C 5 i	II層②	深鉢	口：波状、口縁部に隆帯貼付(肥厚)→沈線、刺突列	内外	N	4	7.5YR4/2灰褐色	II4			
432	314	1725	IV C 5 i	II層	深鉢?	胴：LR縦、底：網代裏→木葉裏?	無	N	7	5YR6/6褐色	II?		(3.8)	6.6
433	315	1726	IV C 5 i	II層	深鉢	口：平縁、RLR横→隆沈線	無	N	7	5YR5/4にぶい赤褐色	III2-a?			
433	315	1727	IV C 5 i	II層	深鉢	口：平縁、口縁部隆帯貼付(肥厚)、 胴：LR+LR結束1縦	無	N	6	7.5YR6/4にぶい褐色	II4			
433	315	1728	IV C 5 i	II層	深鉢	口：波状、隆帯→LR横、頸：隆帯+刻目、 胴：LR縦斜	外	N	11	5YR5/4にぶい赤褐色	II4			
433	315	1729	IV C 5 i	II層中	深鉢	口：平縁、胴：単軸第5類R縦→隆帯+圧痕、 刺突列	無	N	5	2.5YR5/4にぶい赤褐色	II3			
433	315	1730	IV C 5 i	I~II層	深鉢	口：波状、隆帯(湯文)、RLR縦→沈線	無	N	6	5YR6/6褐色	III3-b			
433	315	1731	IV C 5 j	II層	深鉢	口：平縁、RL縦→沈線	無	N	7	2.5YR6/6褐色	III3			
433	315	1732	IV C 5 j	II層中	深鉢	口：平縁、LR横→隆帯、胴：LR縦	無	N	4	2.5YR5/4にぶい褐色	III2-a			
433	315	1733	IV C 5 i	II層	深鉢	口：平縁、口縁部に隆帯貼付(肥厚)、 頸：沈線(半竹)、刺突列、胴：LR縦?	無	M	6	5YR6/4にぶい褐色	II4			
433	315	1734	IV C 6 b	南側落込み下層	深鉢	口：波状、胴：単軸第5類R縦	無	N	4	7.5YR5/3にぶい褐色	II		(2.6)	形成：手ごねか?
433	315	1735	IV C 6 c	II層	深鉢?	底：湾曲する窓外面に叩凸あり、指紋の痕跡?	無	N	2	2.5YR6/8褐色	II?III?			
433	315	1736	IV C 6 c	II層	深鉢	口唇：圧痕、口：平縁、頸：隆帯+圧痕	無	N2	5	5YR5/3にぶい赤褐色	II			
433	315	1737	IV C 6 c	南側落込み下層	深鉢	口唇：刻目、口：波状、胴：圧痕、沈線(半竹)	無	N2	7	7.5YR6/3にぶい褐色	II			
433	315	1738	IV C 6 c	南側落込み下層	深鉢	口：波状、口縁部に隆帯貼付(肥厚)、隆帯、沈線	無	N	11	5YR4/3にぶい赤褐色	II4			
433	315	1739	IV C 6 e	II層下位	深鉢	口：平縁、口縁部に隆帯貼付(肥厚)、 胴：LR横→沈線(半竹)刻目	無	N	5	2.5YR5/4にぶい赤褐色	II			
433	315	1740	IV C 6 e	II層	深鉢	口：平縁、胴：LR縦	無	N	2	7.5YR6/3にぶい褐色	III			
434	315	1741	IV C 6 e	II層	深鉢	口：平縁、口縁部に粘土紐貼付による突起、 胴：LR横	外	N	6	7.5YR5/2灰褐色	II			
434	316	1742	IV C 6 g	II層	深鉢	口：波状、2面一對の突起(4単位)、突起部に原体 側圧、胴：LR縦→底沈線	無	N	5	5YR6/6褐色	III2-a	[15.9]	(8.0)	
434	315	1743	IV C 6 g	II層	深鉢	胴：LR縦横斜、底：網代裏→ミガキ	無	N	7	5YR6/4にぶい褐色	III?	[12.8]	(12.3)	
434	315	1744	IV C 6 g	II層	深鉢	胴：LR縦?、底：網代裏	無	N2	7	5YR5/4にぶい赤褐色	III?		[10.4]	
434	315	1745	IV C 6 g	II層	深鉢	口：平縁、口縁部に隆帯貼付(湯文)、胴：LR縦	無	N	7	7.5YR5/3にぶい褐色	III2-b			
434	315	1746	IV C 6 h	II層	深鉢	口：平縁、原体側圧(LR)、LR横、隆帯+側面圧 痕(LR)	無	M	4	7.5YR7/3にぶい褐色	III1			

第22表 縄文土器観察表 (42)

(残存値) [復元値]

図版 No.	写図 No.	掲載 No.	出土地点	層位	器種	文様の特徴	体の 付着	内面 調整	胎土	色調	時期・分類	計測値 (cm)		備考	
												口径	器高		口径
434	316	1747	IV C 6 h	II層	浅鉢	口：波状、口縁部に隆帯(渦文)、胴：RL縦→沈線 口唇：庄痕、口：波状、突起、胴：LR+結節(Z)	無	N	6	5YR6/6橙色	Ⅲ2-b	—	—	覆林式?	
434	316	1748	IV C 7 d	南側落込みII層	深鉢	口唇：庄痕、口：波状、突起、胴：LR+結節(Z) 縦	無	N	6	7.5YR4/3褐色	II 4	—	—		
434	316	1749	IV C 7 d	南側落込みII層	深鉢	口：平緑、沈線、刺突列、胴：L縦 胴：L縦	無	N	11	7.5YR5/3にぶい褐色	II 4	—	—		
434	316	1750	IV D 1 a	II層	深鉢	口：平緑、突起、胴：L縦 胴：L縦	無	N2	5	5YR5/6明赤褐色	II	—	—		
435	316	1751	IV D 2 a	II～III層	深鉢	口：平緑、原形胴LR、胴：LR+結節(Z)縦 内外	無	N?	4	7.5YR5/4にぶい褐色	Ⅲ?	—	—		
435	316	1752	IV D 2 a	II層	深鉢	胴：LR縦、底：網代裏	無	N	7	2.5YR6/6褐色	II	—	(2.4)	[10.5]	
435	316	1753	IV D 2 a	II層	深鉢	口唇：庄痕、口：平緑、胴：単軸絡第5類R縦 胴：L縦	無	N2	7	5YR5/3にぶい赤褐色	Ⅲ3?	—	—		
435	316	1754	IV D 2 a	II層	深鉢	口唇：突起(粘土紐貼付)、口：平緑、胴：L縦 胴：L縦	外	N	6	5YR5/4にぶい赤褐色 5YR3/1黒褐色	Ⅲ2-4?	—	—		
435	316	1755	IV D 2 a	II層	深鉢	口：平緑、刺突列、胴：単軸絡第3類横? 胴：L縦	無	N	2	7.5YR6/6褐色	Ⅲ1-2?	—	—		
435	316	1756	T 7	II～III層	深鉢	口：波状、隆帯(渦文) 胴：L縦	無	N	2	7.5YR4/2灰褐色	Ⅲ	—	(3.1)	4.9	
435	316	1757	T 10	II層～住居(工房?)埋土	深鉢	口：波状、胴：RL縦→隆沈線(渦文)	無	M	11	2.5YR5/6明赤褐色	Ⅲ3	—	—		
435	316	1758	T 1019	黒褐色土層、表土下110～130cm	深鉢	口：波状、口縁部に隆沈線、胴：RLR縦→沈線 胴：単軸絡第1類RR、底：網代裏	無	N	6	5YR7/6褐色	Ⅲ2-b	—	—		
435	316	1759	B区	II層	深鉢	口：波状、胴：単軸絡第1類、R+L結束1?縦→ 粘土紐+刺突列、突起、刺突列	無	N	7	5YR5/6明赤褐色	II	—	(6.4)	[11.4]	
435	316	1760	B区	II層	深鉢	口：波状、突起、胴：単軸絡第1類R2縦 不明	外	N	11	2.5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅲ3	—	—		
435	316	1761	B区	II層	深鉢	口：平緑?突起、胴：単軸絡第1類R2縦 不明	無	N	6	7.5YR5/3にぶい褐色	II	—	—		
435	316	1762	B区	II層	深鉢	口：波状、突起+刺突、胴：LR横→粘土紐貼付 (波状)	無	N	6	7.5YR6/3にぶい褐色	Ⅲ?Ⅲ?	—	(1.0)	4.2	
435	317	1763	B区	グリッド上部	深鉢	口：波状、突起+刺突、胴：LR横→粘土紐貼付 (波状)	無	N2	11	7.5YR4/2灰褐色	Ⅲ2-4	—	—		
436	317	1764	B区、C区	II層	深鉢	胴：LR縦→沈線(縦位)	無	N	6	5YR5/4にぶい赤褐色	Ⅲ3-b	—	—		
436	317	1765	C区	II層	深鉢	胴：LR縦→沈線(縦位)	無	N	6	7.5YR6/4にぶい褐色	Ⅲ?	—	(2.7)	4.1	
436	317	1766	C区	I～II層	深鉢	口：平緑、胴：L縦→沈線	無	N	6	10YR8/3黄褐色	Ⅲ?	—	—		
436	317	1767	C区	不明	深鉢	胴：L縦?、底：網代裏	無	N	6	7.5YR6/3にぶい褐色	Ⅲ?	—	(5.9)	[11.3]	
436	317	1768	C区	不明	深鉢	口：平緑、胴：RL→沈線、隆帯、刺突 横	無	N	2	7.5YR4/2灰褐色	Ⅲ4-b	—	—		
436	317	1769	II C	不明	深鉢	口：平緑、胴：R(L・R)(直前段合際)+結節(Z) 横	無	N2	11	2.5YR5/6明赤褐色	Ⅲ1-2	—	—		
436	317	1770	—	不明	深鉢	口：平緑、胴：単軸絡第1類R縦斜→粘土紐+沈 線	無	N2	11	5YR5/3にぶい赤褐色	Ⅲ3	—	—		

第23表 弥生土器観察表

(残存値) [復元値]

図版 No.	掲載 No.	出土地点	層位	器種	文様の特徴	体の 付着	内面 調整	胎土	色調	時期・分類	計測値 (cm)		備考	
											口径	器高		口径
436	317	1771	S I 15	埋土	口：平緑、交互刺突、胴：L縦 胴：単軸絡第1類L縦	無	N	6	5YR7/4にぶい褐色	Ⅵ	—	—		
436	317	1772	S X W08	下層	胴：単軸絡第1類L縦	外	N	6	7.5YR5/4にぶい褐色	Ⅵ	—	—		
436	317	1773	S X W08	不明	胴：単軸絡第1類L縦	外	N	6	7.5YR5/4にぶい褐色	Ⅵ	—	—		
436	317	1774	II C 10 b	包含層上位	口：波状?交互刺突、単軸絡第1類L横	外	N	2	7.5YR4/2灰褐色	Ⅵ	—	—		
436	317	1775	C区	I～II層	胴：L縦、単軸絡第1類L横・縦	無	N	3	5YR5/6明赤褐色	Ⅵ	—	—		
436	317	1776	C区	不明	底?：沈線、刺突列	無	N?	6	2.5YR6/6褐色	Ⅵ	—	—	土製品?	
436	317	1777	—	不明	胴：L縦(縦位)、交点に刺突(浅い)	無	N	6	5YR5/3にぶい赤褐色	Ⅵ	—	(2.5)	[5.8]	

第24表 土器器観察表 (1)

(残存値) (復元値)

図版 No.	写図 No.	掲載 No.	出土地点	層位	器種	分類	部位	焼の 附着	文様・調整技法		底部	色調	赤彩の色調	計測値 (cm)		備考	
									外面 (口縁部、胴部)	内面 (口縁部、胴部)				口径	器高		底径
437	318	1801	SI 02	土器 1	壺	2 b	胴~底部	外	ハケ	ハケ	木葉裏	—	—	—	87	被熱痕多い	
437	318	1802	SI 04	カマド土器4、カマド埋土3層、カマド崩落土、カマド付近埋土下位~床、土器2	甕	1 a	口~底部	無	ヨコナデ・ハケ、ハケ	ヨコナデ、ハケ	木葉裏	—	—	[15.2]	27.2	9.1	焼けハジケ
437	318	1803	SI 04	カマド土器4、カマド埋土3層、カマド付近床面、カマド付近、埋土下位~床	甕	—	胴~底部	無	ハケ	ハケ	木葉裏	—	—	—	(10.2)	9.0	—
437	318	1804	SI 04	土器1、北東埋土下層	甕	1 a	口~胴部	外	ヨコナデ・ハケ、ハケ	ヨコナデ、ハケ	—	—	—	[18.9]	(28.4)	—	焼けハジケ
437	318	1805	SI 04	南東埋土下位 北西埋土	坏	1	口~底部	無	ヨコナデ、ミガキ	ミガキ/黒色処理	平底風丸底ケズリ・ミガキ	—	—	[11.6]	4.7	—	—
437	318	1806	SI 04	南東埋土下位	甕	1 a	口~胴部	内外	ヨコナデ、ハケ	ヨコナデ、ヘラナデ	—	—	—	[15.5]	(17.6)	—	—
438	319	1807	SI 04	南東埋土下位 南東埋土	甕	1 a	口~胴部	外	ハケ/花弁状	ヨコナデ、ハケ	—	—	—	[19.6]	(18.4)	—	—
438	319	1808	SI 04	南東埋土下位	甕	1 a	口~胴部	内	ヨコナデ、ヘラナデ	ヨコナデ、ヘラナデ	—	—	—	[19.0]	(27.0)	—	—
438	319	1809	SI 04	北西埋土下位 北東埋土下層	坏	1	口縁部	無	ヨコナデ、ミガキ	ヨコナデ、ミガキ/黒色処理	—	—	—	[14.6]	(3.7)	—	—
438	319	1810	SI 04	南西埋土	坏	1	口縁部	無	ヨコナデ、ミガキ	ミガキ/黒色処理	—	—	—	—	(4.3)	—	—
438	319	1811	SI 05	床面土器 1	碗	1	口縁部	無	ヨコナデ、ミガキ	ヨコナデ、ミガキ/黒色処理	丸底ケズリ・ミガキ	—	—	[13.1]	(7.8)	—	—
438	319	1812	SI 05	床面土器 2	甕	—	胴~底部	外	ミガキ	ヘラナデ	木葉裏	—	—	—	(7.9)	9.6	—
438	319	1813	SI 05	床面	甕	—	胴~底部	無	ヨコナデ、ハケ・ミガキ	ハケ・ヘラナデ	—	—	—	[19.7]	(9.9)	—	—
438	319	1814	SI 05	カマド西側 (床面 + 3cm)	甕	—	胴~底部	内外	ヘラナデ、ミガキ	ヘラナデ	木葉裏	—	—	—	(4.9)	6.7	被熱痕あり
438	319	1815	SI 05	カマド東側埋土上位 北西埋土	坏	1	口~底部	無	ヨコナデ、ミガキ	ヨコナデ、ミガキ/黒色処理	丸底ケズリ	—	—	16.0	5.4	—	—
438	319	1816	SI 05	北西埋土	甕(小型)	—	口縁部	無	ヨコナデ、ハケ	ヘラナデ	—	—	—	—	(3.3)	—	—
439	319	1817	SI 06	カマド土器No.1	甕(小型)	3	口~底部	内外	ヨコナデ、ハケ	ヨコナデ、ミガキ	木葉裏	—	—	[15.1]	(16.7)	8.2	—
439	319	1818	SI 06	カマド煙道埋土 煙道 (煙道) 南半埋土 煙出東半埋土	甕(小型)	3	口~胴部	内外	ヨコナデ、ミガキ	ヨコナデ、ミガキ	—	—	—	[14.0]	(13.2)	—	—
439	319	1819	SI 06	カマドC-C'南半埋土1層	甕(小型)	3	胴~底部	無	ヨコナデ・ヘラナデ	ヨコナデ、ヘラナデ	中央凹心	—	—	—	(12.6)	7.4	—
439	319	1820	SI 06	カマドC-C'南半埋土1層	甕(小型)	3	口~底部	内外	ヨコナデ、ミガキ	ヨコナデ、ハケ	木葉裏	—	—	[12.1]	11.1	8.7	—
439	319	1821	SI 06	ベルトA-A' 1層	壺	—	頸部	無	ヘラナデ	ヘラナデ	—	—	2.5YR5/6 明赤褐色	—	(4.5)	—	厚手
439	319	1822	SI 06	北東埋土下位	坏	—	口~胴部	無	ヨコナデ、ヘラナデ	ミガキ/黒色処理	—	—	—	[14.4]	(4.7)	—	—
439	320	1823	SI 06	北東埋土上~中位	坏	—	胴部	無	ミガキ/黒色処理	ミガキ/黒色処理	—	—	—	—	(3.0)	—	—
439	320	1824	SI 09	カマド土器 1	坏	1	口~底部	無	ミガキ/黒色処理	ミガキ/黒色処理	平底風丸底ケズリ・ミガキ	—	—	[14.2]	4.1	—	—
439	320	1825	SI 09	カマド土器 2、カマド崩落土	甕	—	胴~底部	無	ミガキ、ハケ	放射状のミガキ	木葉裏	—	—	—	(11.6)	7.5	—
439	320	1826	SI 09	カマド崩落土、北東 (カマド付近) 床面、東ベルト	甕	—	胴~底部	無	ハケ・ミガキ	ハケ・ヘラナデ	ナデ	—	—	—	(12.4)	8.0	—
439	320	1827	SI 09	北東 (カマド付近) 床面、東ベルト	坏	1	口~胴部	無	ヨコナデ、ヘラナデ、ミガキ	ミガキ/黒色処理	—	—	—	[15.0]	(3.8)	—	—
440	320	1828	SI 10	カマド支脚土器	甕(小型)	3	口~底部	無	ヨコナデ、ハケ	ヨコナデ、ハケ	木葉裏	—	—	[14.1]	14.0	7.5	—
440	320	1829	SI 11	カマド埋土	甕	2	口~胴部	無	ハケ、ハケ・ミガキ	ハケ、ハケ・ミガキ	—	—	—	[19.2]	(14.3)	—	—
440	320	1830	SI 11	埋土	甕(小型)	3	口~底部	内	ハケ・ミガキ	ハケ・ヘラナデ	—	—	—	[14.3]	(13.5)	—	[7.4]

第24表 土師器観察表(2)

(残存値) [徳元値]

図版 No.	写図 No.	掲載 No.	出土地点	層位	器種	分類	部位	煤の 付着	文様・調整技法		底部	色調	赤彩の色調	計測値 (cm)		備考	
									外面 (口縁部、胴部)	内面 (口縁部、胴部)				口径	器高		底径
440	320	1831	S I 11	埋土	坏	3	底部	無	ケズリ・ミガキ ハラナダ・ミガキ 黒色処理	ハラナダ・ミガキ ハラナダ・ミガキ 黒色処理	ケズリ平底	10YR6/3にぶい黄褐色	—	—	(1.7)	—	
440	320	1832	S I 16	カマド崩落土	甕	1 a	口~底部	内外	ヨコナダ ハラナダ	ヨコナダ・ハケ	木葉真	10YR7/4にぶい黄褐色	17.5	33.1	[9.3]	—	
440	320	1833	S I 17	南東 床面	甕	—	胴部	外	ハラナダ	ハラナダ	—	7.5YR6/4にぶい褐色	—	—	(7.8)	—	
441	321	1834	S I 21	カマド西土器 1	甕	1	口~底部	無	ヨコナダ・ハラナダ・ ミガキ/磨滅	ヨコナダ・ ハラナダ・ミガキ	—	5YR6/6褐色	15.4	24.9	9.1	黒斑あり、 下部に二個 一對の孔	
441	321	1835	S I 21	カマド崩落土中部・上部	坏	4	口~底部	無	ミガキ・ハケ	ミガキ/黒色処理	丸底ハケ・ミガ キ	10YR7/4にぶい黄褐色	[13.5]	—	(5.9)	—	底分厚い
441	321	1836	S I 21	カマド崩落土上部	坏	4	口~底部	無	ミガキ	ミガキ/黒色処理	平底丸底 ミガキ	10YR6/4にぶい黄褐色	[16.5]	6.0	—	—	底分厚い
441	321	1837	S I 22	南西埋土下位	甕(小型)	—	口縁部	無	ヨコナダ・ミガキ	ヨコナダ ハケ・ミガキ	—	10YR5/3にぶい黄褐色	—	—	(5.4)	—	—
441	321	1838	S I 25	埋土下部ベルト北西1/4	坏	—	胴部	無	ミガキ	ミガキ/黒色処理	—	10YR7/4にぶい黄褐色	—	—	(2.4)	—	—
441	321	1839	S I 25	埋土上部ベルト北西1/4	甕	—	胴部	無	ハケ・ヨコナダ・ ハケ・ミガキ/ 鋸歯状文	ヨコナダ・ ハケ・ミガキ	—	10YR7/3にぶい黄褐色	—	—	(5.5)	—	—
441	321	1840	S I 25	貼床埋土	壺?	—	胴部	無	ミガキ	ミガキ	—	10YR5/3にぶい黄褐色	10R5/6赤色	—	(2.4)	—	—
442	321	1841	S I 29	北ベルト・西ベルト5層、東ベ ルト1層、北東1/4埋土下位、 埋土中位	壺	2 a	底部	無	ハケ	ハケ	木葉真	5YR5/6明赤褐色	—	—	(9.6)	[6.5]	—
442	321	1842	S I 29	南ベルト3層、南東1/4埋土下 位、埋土上位	坏	2	口~底部	無	ヨコナダ ハケ・ミガキ	ミガキ/黒色処理	丸底ハケ・ミガ キ、十字刻	10YR7/3にぶい黄褐色	[17.6]	—	(6.0)	—	焼けハジケ
442	321	1843	S I 29	東ベルト1層	高坏	—	脚部	無	ヨコナダ・ハラナダ	ミガキ・脚/ハケ/ 黒色処理	—	10YR7/3にぶい黄褐色	—	—	(6.6)	[9.3]	—
442	321	1844	S I 29	南東1/4埋土上・下位、北ベル ト1層、北東1/4埋土上位	壺	2 a	口~底部	無	ハケ・ヨコナダ・ ミガキ	ヨコナダ・ハケ・ ミガキ	—	10YR7/3にぶい黄褐色	10R4/4赤褐色	—	(25.5)	—	—
442	321	1845	S I 29	北西1/4埋土下位	甕	—	底部	無	ハケ	ハケ	木葉真	7.5YR5/3にぶい褐色	—	—	(2.4)	7.1	—
442	321	1846	S I 29	北東1/4埋土下位	壺	—	頸部	無	ヨコナダ・ミガキ/ 鋸歯状文	ハラナダ/黒色処理	—	10YR6/6褐色	—	—	(4.0)	—	—
442	321	1847	S I 29	北東1/4埋土下位、 南東1/4埋土、埋土上位	坏(大型)	1	口~胴部	無	ミガキ	ミガキ/黒色処理	ミガキ	10YR6/4にぶい黄褐色	—	—	(5.0)	—	—
442	321	1848	S I 29	北東埋土下位	壺	1	胴部	無	ミガキ	ハケ	—	10YR6/3にぶい黄褐色	2.5YR4/6 赤褐色	—	(10.4)	—	No.1850と 同一個体
442	321	1849	S I 29	北東1/4埋土中位	甕	3	底部	無	ミガキ・ハラナダ	ハラナダ	不明	10YR7/4にぶい黄褐色	—	—	(3.5)	[6.6]	—
442	321	1850	S I 29	北東埋土中位	壺	1	胴部	無	ミガキ	ハケ	—	10YR6/3にぶい黄褐色	10R4/6赤色	—	(7.7)	—	No.1848と 同一個体
442	321	1851	S I 29	北東埋土中位	坏	—	胴部	無	ミガキ	ミガキ/黒色処理	—	10YR6/3にぶい黄褐色	10R4/6赤色	—	(2.7)	—	—
442	321	1852	S I 29	北東埋土上位	坏	—	胴部	無	ミガキ	ミガキ/黒色処理	—	10YR6/4にぶい黄褐色	10R5/6赤色	—	(3.1)	—	—
443	321	1853	S I 33	ベルトA-A' 2層	甕	—	口縁部	無	ヨコナダ・ハケ/ 鋸歯状文	ヨコナダ	—	10YR6/4にぶい黄褐色	—	—	(3.0)	—	—
443	322	1854	S I 33	北東埋土、東側埋土	坏	1	口~胴部	無	ヨコナダ・ハケ	ミガキ、黒色処理	丸底ハケ・ミガ キ	7.5YR6/6褐色	[19.4]	5.0	—	—	—
443	322	1855	S I 33	東側埋土	甕	—	胴部	外	鋸歯状文	ミガキ	—	7.5YR5/4にぶい褐色	—	—	(5.4)	—	No.1920と 同一個体
443	322	1856	S I 36	QNE埋土下部	甕	—	胴部	内	ハケ・ミガキ	ハケ	—	10YR6/3にぶい黄褐色	—	—	(5.4)	—	—
443	322	1857	S I 39	カマド埋土下位	甕?	—	底部	無	ハラナダ	ハラナダ	丸底	7.5YR7/6褐色	—	—	(1.6)	—	—
443	322	1858	S I 42	カマド埋土、床面直上、NSベ ルト(西)南2層、WEベルト 中央2層、QNE埋土上・下位	甕	1 b	口~胴部	外	ハケ・ハラナダ・ ハケ・ミガキ	ヨコナダ・ハケ	—	10YR7/4にぶい黄褐色	—	19.7	(30.0)	—	—
443	322	1859	S I 42	床面直上、WEベルト西1層	壺	—	口縁部	無	ヨコナダ	ヨコナダ	—	10YR4/3にぶい黄褐色	2.5YR4/6 赤褐色	—	(3.2)	—	—

第24表 土師器観察表 (3)

(残存値) [復元値]

図版 No.	写図 No.	掲載 No.	出土地点	層位	器種	分類	部位	煤の 付着	支様・調整技法		底部	色調	赤彩の色調	計測値 (cm)		備考
									外面 (口縁部、胴部)	内面 (口縁部、胴部)				口径	器高	
443	322	1860	S I 42・48	床面直上・1層	甕	一	口縁部	無	ヨコナア	ヨコナア	—	—	—	(3.7)	—	No.1861と同一個体
443	322	1861	S I 42・48	床面直上・1層	甕	一	口縁部	無	ヨコナア、ハケ	ヨコナア、ハケ	—	—	—	(6.7)	—	No.1860と同一個体
443	322	1862	S I 42	埋土、NSベルト(西)北2層 貼床埋土	坏	1	口縁部	無	ミガキ	ミガキ/黒色処理	ケズリ	—	—	(4.4)	—	
443	322	1863	S I 42	NSベルト(西)北1層	甕	一	底部	無	ミガキ、ハケ	ハラナア	木薬痕	—	—	(4.2)	[7.0]	
443	322	1864	S I 42	QNE埋土下位	坏か?	一	胴部	無	ミガキ	ミガキ/黒色処理	—	10R4/4赤褐色	—	(3.0)	—	
443	322	1865	S I 42	埋土	甕	一	底部	無	ハラナア、ケズリ	ハラナア	木薬痕	—	—	(2.8)	7.0	
443	322	1866	S I 42	埋土	坏	一	口縁部	無	ミガキ	ミガキ/黒色処理	—	2.5YR5/4 にぶい赤褐色	—	(4.1)	—	
443	322	1867	S I 42	埋土	坏	一	胴部	無	ミガキ	ミガキ/黒色処理	—	10R6/4 にぶい赤褐色	—	(3.2)	—	
444	322	1868	S I 44	南東埋土1層の下礫群	坏	4	口縁部	無	ロクロナア	ロクロナア、ミガキ	糸切痕	—	—	[14.4]	[7.0]	
444	322	1869	S I 44	ベルトA-A'1層	坏	4	口縁部	無	ロクロナア	ロクロナア	糸切痕	—	—	13.5	5.4	5.2
444	322	1870	S I 44	埋土礫群1層の下	甕(小型)	一	胴部	無	ヨコナア、ミガキ	ミガキ	—	—	—	(2.8)	—	
444	322	1871	S I 48	カマド埋土	甕	一	底部	無	ハラナア	ハラナア	木薬痕	—	—	(2.9)	[6.8]	
444	322	1872	S I 48	土器A、埋土2層(B-B') 埋土グリッドD地点	坏	1	口縁部	無	ヨコナア、ミガキ/黒 色処理	ヨコナア、ミガキ	丸底ミガキ摩滅	—	—	[19.2]	4.7	2.0
444	322	1873	S I 48	土器B(歇骨層の下層) 埋土グリッドE地点	坏	1	口縁部	無	ミガキ	ミガキ/黒色処理	丸底ミガキ	—	—	[22.1]	6.0	—
444	323	1874	S I 48	最下層東側・貝層中埋土、 A-A'、アゼ北側2層、A-A'、アゼ 東側2層、A-A'、西側1・3・11 層、B-B'南側8層	壺	2 a	胴~底部	無	ヨコナア、 ハケ、ミガキ	ヨコナア、ハケ	ハラナア・ミガ キ?	—	—	(28.5)	7.2	
444	323	1875	S I 48	埋土グリッドD地点	甕(小型)	一	底部	内外	ミガキ	ハラナア、ナア	ハラナア・ミガ キ?	—	—	(2.4)	6.1	
444	323	1876	S I 48	埋土グリッドA地点	坏	一	口縁部	無	ミガキ	ミガキ/黒色処理	—	5YR5/6 明赤褐色	—	(5.2)	—	
444	323	1877	S I 48	埋土グリッドC地点	坏	一	口縁部	無	ミガキ	ミガキ/黒色処理	—	—	—	3.2	—	
444	323	1878	S I 48	埋土3層、埋土グリッドC地点	碗	1	胴部	無	ハケ、ミガキ/ 黒色処理	ハケ、ミガキ/ 黒色処理	—	—	—	(12.1)	—	
445	323	1879	S I 50	南半埋土上~中位	甕	一	口縁部	内外	ヨコナア、 ハケ、ミガキ	ヨコナア、ハケ	—	—	—	(4.5)	—	
445	323	1880	S I 50	南半埋土上~中位	甕?	一	胴部	無	ナア	ナア	—	—	—	(1.9)	—	
445	323	1881	S I 50	埋土上位	坏	2	口縁部	無	ヨコナア、ミガキ	ミガキ/黒色処理	—	—	—	(5.1)	—	
445	323	1882	S I 52	ベルトA-A'1層	甕(小型)	一	底部	無	ハラナア	ハラナア	ハラナア	—	—	(2.7)	5.8	
445	323	1883	S I 52	南西埋土上~中位	甕	一	口縁部	内外	ヨコナア、ミガキ	ヨコナア、ミガキ	—	—	—	(2.9)	—	
445	323	1884	S I 52	北東埋土上位~中位	坏	一	口縁部	無	ミガキ	ミガキ/黒色処理	—	—	—	(4.7)	—	
445	323	1885	S I 52	北東埋土上位~中位	坏	一	胴部	無	ミガキ	ミガキ/黒色処理	—	2.5YR4/4 にぶい赤褐色	—	(3.8)	—	
445	323	1886	S I 52	北東埋土上位~中位	坏	一	胴部	無	ミガキ	ミガキ/黒色処理	—	2.5YR4/6 赤褐色	—	(2.9)	—	
445	323	1887	S I 63	床面直上	坏	1	口縁部	無	ミガキ	ミガキ/黒色処理	—	2.5YR4/6 赤褐色	—	(4.5)	—	
445	323	1888	S I 63	QNE埋土	甕	1 a	口縁部	無	ハケ、ヨコナア、ミガ キ、ハケ、ミガキ	ヨコナア、 ハケ、ミガキ	—	—	[19.6]	(7.9)	—	
445	323	1889	S I 63	QNW埋土	壺	2 a	頸~胴部	内	ヨコナア、ハケ、 ナア、ミガキ	ヨコナア、ハラナア	—	—	—	(9.5)	—	
445	323	1890	S I 63	カマド埋土	高坏	一	胴部	無	ナア、ミガキ	ミガキ/黒色処理	—	—	—	(2.4)	—	
445	323	1891	S I 73・74	カマド直上埋土 南北アゼ埋土4層	坏	2	口縁部	無	ヨコナア、ハラナア	ミガキ/黒色処理	丸底ケズリ	—	—	[14.4]	5.1	(5.8)

第24表 土師器観察表 (4) (残存値) (復元値)

図版 No.	写図 No.	掲載 No.	出土地点	層位	器種	分類	部位	検の 附着	文様・調整技法		底部	色調	赤彩の色調	計測値 (cm)		備考	
									外面 (口縁部、胴部)	内面 (口縁部、胴部)				口径	器高		口径
445	323	1892	S I 74	カマド埋土	甕	1	胴~底部	無	ハケ・ハラナダ	ハラナダ	—	10YR7/3にぶい黄褐色	—	—	8.1		
445	323	1893	S I 74	床面直上 QNE埋土下部	坏	1	口~底部	無	ヨコナダ・ミガキ	ミガキ/黒色処理	—	5YR5/8赤褐色	—	13.4	4.5		
445	323	1894	S I 74	土器No.1	坏(小型)	2	口~底部	無	ヨコナダ・ミガキ/ 磨滅	ヨコナダ・ミガキ/ 黒色処理	丸底摩滅	7.5YR6/6褐色	—	9.5	3.8	焼けハジケ	
445	323	1895	S I 74	土器No.1	坏	3	口~底部	無	ヨコナダ・ミガキ、 ハラケズリ	ミガキ/黒色処理	平底 ハラケズリ	10YR6/4にぶい黄褐色	—	10.8	6.0	焼けハジケ	
445	323	1896	S I 74	土器No.2	壺	1	頸~底部	無	ヨコナダ・ハラナダ、 ハラケズリ	ヨコナダ、ハラナダ	—	7.5YR8/4浅黄褐色	—	—	(11.4)	7.1	
445	323	1897	S I 74	土器No.3	碗	1	口~底部	無	ミガキ、ハケ	ヨコナダ、ミガキ	丸底ケズリ ・ミガキ	7.5YR7/6褐色	—	13.3	9.6		
445	323	1898	S I 74	土器No.3	坏	1	口~胴部	無	ヨコナダ・ミガキ	ミガキ/黒色処理	ケズリ・ミガキ	5YR7/6褐色	—	[14.0]	(4.1)		
446	324	1899	S I 74	土器No.4 QNW埋土中~下	甕	1 a	口~底部	外	ヨコナダ、 ハラケ・ナダ	ヨコナダ、ハケ	木葉痕	10YR7/3にぶい黄褐色	—	18.6	33.3	9.3	
446	324	1900	S I 74	QSE埋土	甕	1	胴~底部	無	ハケ・ハラナダ	ハケ	木葉痕	10YR6/2灰黄褐色	—	—	(7.8)	7.8	
446	324	1901	S I 74	QSE埋土	甕(小型)	1	底	無	ハケ	ハラナダ	ハラナダ	10YR6/4にぶい黄褐色	—	—	(2.1)	7.6	
446	324	1902	S I 74	QNE埋土上~中	甕	1	口~胴部	無	ヨコナダ、ハケ	ハラナダ、ハケ	ハラナダ	10YR7/3にぶい黄褐色	—	[17.2]	(8.8)	—	破へ転用か
446	324	1903	S I 74	QNW埋土	壺	1	頸部	無	ヨコナダ	ヨコナダ	—	10YR7/4にぶい黄褐色	—	—	(1.9)	—	
446	324	1904	S I 74	埋土	甕	1 a	胴~底部	無	ハケ・ミガキ	ハケ	ハラナダ	10YR7/2にぶい黄褐色	—	—	(29.7)	[10.3]	
446	324	1905	S I 87	カマド土器No.2	甕	1 b	口~胴部	無	ハケ、ハケ・ミガキ	ヨコナダ・ミガキ	—	7.5YR5/2灰褐色	—	[23.8]	(11.7)	—	
447	324	1906	S I 87	土器No.1 南東埋土下位	甕	1 b	口~底部	内外	ハケ・ヨコナダ、ハ ハケ・ミガキ	ヨコナダ、ハラナダ	—	10YR6/4にぶい黄褐色	—	18.9	30.2	7.1	
447	325	1907	S I 87	土器No.3 ベルトA-A' 1層	甕(小型)	c	口~底部	内外	ヨコナダ、ハケ・ミガ キ/鋸歯状文	ヨコナダ、 ハケ、ミガキ	木葉痕?穿孔?	10YR6/3にぶい黄褐色	—	14.6	16.8	6.2	意図的に口 縁の一部を 欠いている
447	325	1908	S I 87	南東埋土	坏	1	口~底部	無	ミガキ	ミガキ/黒色処理	丸底	7.5YR6/6褐色	—	[21.6]	(6.6)	—	
447	325	1909	S I 105	ベルトB-B' 1層	壺	1	底	無	ミガキ	ミガキ?	—	10YR6/4にぶい黄褐色	—	—	(2.4)	8.6	
447	325	1910	S I 105	ベルトB-B' 1層	坏	1	口縁部	無	ミガキ	ミガキ/黒色処理	—	10R4/6赤色	—	—	(3.8)	—	
447	325	1911	S I 105	ベルトB-B' 1層	壺	1	胴部	無	ハケ・ミガキ	ミガキ	—	7.5YR6/4にぶい褐色	—	—	(6.9)	—	
447	325	1912	S I 105	北西埋土	高杯	1	脚部	無	ミガキ	ミガキ	—	10YR7/3にぶい黄褐色	—	[12.2]	(3.0)	—	
447	325	1913	S I 105	北東埋土	甕	1	口縁部	無	ハケ・ヨコナダ、ハ ケ・ミガキ/鋸歯状文	ヨコナダ・ミガキ、 ハケ・ミガキ	—	10YR8/2灰白色	—	—	(6.9)	—	
447	325	1914	S I 105	南西埋土	碗	1	口縁部	無	ミガキ	ミガキ/黒色処理	—	10R5/6赤色	—	—	(6.2)	—	No.1915と同 一物体
447	325	1915	S I 105	南西埋土	碗	1	胴部	無	ヨコナダ、ミガキ	ミガキ/黒色処理	平底風丸底	7.5YR6/6褐色	—	—	(6.8)	[6.0]	No.1914と同 一物体
447	325	1916	S I 105	埋土上位	高杯 (ミニ チュア)	1	脚部	無	ナダ・ミガキ/ 鋸歯状文	ハラナダ	—	10YR7/3にぶい黄褐色	—	—	(3.4)	3.6	
447	325	1917	S I 105	北西埋土	坏(大型)	1	口~底部	無	ハケ・ミガキ、 ハラケズリ	ミガキ/黒色処理	平底風丸底 ハラケズリ	10YR7/3にぶい黄褐色	—	24.4	6.3	—	
448	325	1918	S I 105	北西埋土	甕(小型)	3	口~底部	内外	ハケ・ヨコナダ、ハ ケ・ミガキ、ハラナダ	ミガキ	木葉痕	7.5YR6/4にぶい褐色	—	16.6	16.7	6.9	
448	325	1919	S I 105	南西埋土	甕	1	底	無	ハケ	—	—	10YR5/3にぶい黄褐色	—	—	(4.5)	[7.8]	
448	325	1920	S I 105	北東埋土	甕	1	胴部	無	ハケ・ミガキ	ハケ・ミガキ	—	10YR6/3にぶい黄褐色	—	—	(7.3)	—	No.1855と 同一物体
448	325	1921	S K I 04	埋土	坏	1	底	無	ミガキ	ミガキ/黒色処理	丸底ケズリ	10YR6/4にぶい黄褐色	—	—	2.2	—	
448	325	1922	S K I 04	埋土	坏	1	口縁部	無	ミガキ/黒色処理	ミガキ	—	10YR2/1黒色	—	—	(3.5)	—	
448	325	1923	S K 26・27	東半埋土・西半埋土 I 層	鉢?	1	口縁部	無	ハケ・ミガキ	ミガキ	—	7.5YR5/6明褐色	—	—	(7.4)	—	
448	325	1924	II C 10 e	II 層	甕(小型)	3	口~底部	無	ハラナダ	ハラナダ	—	7.5YR5/4にぶい褐色	—	[9.6]	6.9	[7.5]	
448	325	1925	II C 10 e	II 層	甕	1	底	内外	—	ハラナダ	木葉痕	10YR6/4にぶい黄褐色	—	—	(3.0)	9.0	

第24表 土師器観察表 (5)

(残存値) [復元値]

図版 No.	写図 No.	掲載 No.	出土地点	層位	器種	分類	部位	煤の 付着	文様・調整技法		底部	色調	赤彩の色調	計測値 (cm)		備考	
									外面 (口縁部、胴部)	内面 (口縁部、胴部)				口径	器高		口径
448	325	1926	II C 9 h・10 h II D 2 f	II層	甕	1 a	口~胴部	内外	ヨコナデ、ミガキ	ヨコナデ、ハラナデ	丸底ミガキ	7.5YR4/6褐色	—	[19.4]	(21.5)	—	焼けハジケ
448	325	1927	S X W 16層	—	坏	—	口~胴部	無	ミガキ	ミガキ/黒色処理	丸底ミガキ	10YR6/6明黄褐色	—	10.4	4.6	—	—
448	325	1928	III C 1 c 包含層中位	II層	甕か瓶	1 a	口~底部	内外	ハラナデ	ハラナデ	—	7.5YR5/8明褐色	—	12.3	(16.9)	—	—
448	326	1929	III C 8 h	II層	坏	4	口~胴部	無	ミガキ	ミガキ/黒色処理	—	5YR4/6赤褐色	—	[19.3]	(5.0)	—	—
449	326	1930	III C 8 i	II層	壺	—	胴部	無	ミガキ	ミガキ	—	2.5YR4/6 赤褐色	—	—	(3.8)	—	—
449	326	1931	II C 10 b	II層	坏	4	口~底部	無	ヨコナデ、ハラケズリ	ミガキ/黒色処理	平底風丸底 ケズリ	10YR7/4にぶい黄褐色	—	[11.7]	(4.4)	—	—
449	326	1932	IV A 1 h・2 h 古代検出面 S 117周辺	—	坏(碗)?	3	口~胴部	無	ヨコナデ、ハラナデ、 ケズリ	ハラナデ	—	10YR6/3にぶい黄褐色	—	[9.0]	(4.4)	—	—
449	326	1933	IV B 5 i	II層	高坏	—	脚部	無	ミガキ	ミガキ/黒色処理	—	10YR7/3にぶい黄褐色	—	—	(3.3)	—	—
449	326	1934	IV B 10 j 表土~II層下	—	壺?	—	胴部	無	ミガキ	ミガキ	—	7.5YR5/4にぶい褐色	2.5YR5/8 明赤褐色	—	(2.1)	—	—
449	326	1935	IV C 1 d	II層	坏?	—	胴部	無	ヨコナデ、ナデ	ハケ/黒色処理	—	10YR7/3にぶい黄褐色	10R5/6赤色	—	(3.3)	—	—
449	326	1936	IV C 1 h	II層	坏	—	胴部	無	ミガキ	ミガキ/黒色処理	—	10YR7/4にぶい黄褐色	2.5YR5/6 明赤褐色	—	(3.4)	—	—
449	326	1937	IV C 2 h	II層	壺	—	胴部	無	ミガキ	ハラナデ	—	10YR7/3にぶい黄褐色	—	—	(3.2)	—	—
449	326	1938	IV C 2 f	II層 (トレンチ)	甕	—	底部	内	ハラナデ・ミガキ	ハラナデ	木葉痕	10YR5/3にぶい黄褐色	—	—	5.4	6.6	—
449	326	1939	IV C 2 f	II層 (トレンチ)	甕(ミニ チュア)	—	口~底部	無	ミガキ	ハラナデ	—	10YR6/4にぶい黄褐色	—	6.6	5.9	4.1	—
449	326	1940	IV C 6 b	南側落込み	甕	1 b	口~胴部	外	ヨコナデ、ハケ、ミガ キ/鋸歯状文	ハケ・ミガキ	—	7.5YR5/6明褐色	—	[18.0]	(13.5)	—	—
449	326	1941	IV D 3 b	II~III層	坏	—	口~胴部	無	ハケ・ミガキ	ミガキ/黒色処理	—	10YR5/3にぶい黄褐色	2.5YR4/6 赤褐色	—	(4.8)	—	—
449	326	1942	東側谷部分 トレンチ	I~II層	甕	1 b	胴部	内外	ヨコナデ、ハケ、 ミガキ	ミガキ、ハケ	—	10YR7/3にぶい黄褐色	—	[17.8]	(23.8)	—	—
449	326	1943	トレンチ7	II層	甕	—	口~胴部	無	ヨコナデ、ハケ	ヨコナデ、ハケ	—	10YR8/3黄褐色	—	[18.7]	(7.5)	—	—

第25表 須恵器観察表

(残存値) [復元値]

図版 No.	写図 No.	図版 No.	掲載 No.	出土地点	層位	器種	部位	煤の 付着	調整技法		底部	色調	計測値 (cm)		備考	
									内面調整 (口縁、胴部)	外面調整 (口縁、胴部)			口径	器高		口径
450	326		1951	S I 04	カマド崩落土	碗	口縁	—	ロクロ	ロクロ	—	5Y6/1灰色	—	—	—	—
450	326		1952	S I 06	北東埋土上~中位	坏	口縁~底部	—	ロクロ	ロクロ	ケズリ	5Y5/1灰色	[10.5]	(3.2)	—	海綿骨針
450	326		1953	S I 52	南東埋土上~中位	長頸瓶	頸部	—	ロクロ	ロクロ	—	10YR7/1灰白色	—	(4.7)	—	—
450	326		1954	S I 74	Q S E埋土・Q S W埋土上~中	長頸瓶	胴部	—	ロクロ	ロクロ	輪高台	2.5Y7/1灰白色	—	(8.7)	[7.0]	—
450	326		1955	S K I 10	南西埋土上~中位	甕	胴部	—	タタキ目	アテ具痕	—	10Y5/1灰色	—	—	—	—
450	326		1956	S X 07	ベルトA-A' 1 a層	甕	胴部	—	タタキ目	アテ具痕	—	10YR5/1褐色	—	—	—	—
450	326		1957	S X 10	北西埋土下位4層	壺?	胴部	—	ロクロ	ロクロ	—	10Y2/1黒色、2.5Y5/3黄褐色	—	—	—	—
450	326		1958	III C 1 a	II層	甕	縁部	—	ロクロ	ロクロ	—	2.5Y6/1黄褐色	[14.4]	(2.7)	—	—
450	326		1959	IV C 1 b	II層	甕	頸部	—	ロクロ	ロクロ	—	5Y4/1灰色、2.5Y5/1黄褐色	—	—	—	—
450	326		1960	IV C 3 a	II層	碗	口縁	—	ロクロ	ロクロ	—	2.5Y6/2灰黄色	—	—	—	—
450	326		1961	IV C 6 c	II層	長頸瓶	頸部	—	ロクロ	ロクロ	—	10YR6/1褐色	—	(5.2)	—	—



第26表 陶磁器観察表

(残存値) [復元値]

図版 No.	写図 No.	掲載 No.	出土地点	層位	種別	器種	部位	外面調整	内面調整	底面	軸葉	色調	計測値 (cm)			時期	産地	備考
													口径	器高	底径			
451	327	1971	S I 50	埋土上位	陶器	甕	胴部	タタキ	—	—	灰軸	25Y4/1黄灰色	—	—	12C	渥美		
451	327	1972	S K I 05	埋土1層、土器No.1	陶器	甕	胴部	タタキ	—	—	—	25Y5/1黄灰色	—	—	12C第4	渥美		
451	327	1973	S K I 05	埋土1層、土器No.1	陶器	甕	胴部	タタキ	—	—	灰軸	5Y4/3暗オリーブ色 25Y5/1黄灰色	—	—	12C第4	渥美		
451	327	1974	S K I 05	ベルトB-B'1層	陶器	甕	口縁部	—	—	—	灰軸	25Y3/1黒褐色 5Y4/3暗オリーブ色	—	—	12C第4	渥美		
451	327	1975	S K I 05	西半埋土	陶器	甕	胴部	タタキ	—	—	灰軸	7.5Y4/3暗オリーブ色 25Y7/3黄褐色	—	—	12C第4	渥美		
451	327	1976	S K I 05	西半埋土 (III D 9 d)	陶器	甕	胴部	タタキ	—	—	灰軸	7.5Y4/1黄灰色	—	—	12C第4	渥美		
451	327	1977	S X 07	ベルトB-B'1 a層~1層	陶器	甕	胴部	タタキ	—	—	—	25Y4/1黄灰色	—	—	12C第4	渥美		
451	327	1978	S X 07	ベルトC-C'1 a層	陶器	波状文 四耳蓋	胴部	ロクロ	ロクロ	—	—	25Y5/1黄灰色	—	—	12C~	不明	須恵器系	
451	327	1979	S X 07	ベルトD-D'1層	陶器	甕	胴部	—	—	—	—	25YR4/3にぶい赤褐色	—	—	13C後半	伊豆沼?		
451	327	1980	S X 07-2③	貝層下の黒褐色土層	陶器	甕	胴部	—	—	—	—	25YR2/1赤黒色 25YR4/3にぶい赤褐色	—	—	12C前半	水沼		
452	327	1981	III B 7 e	II層	陶器	片口鉢	口縁~胴部	ロクロ	ロクロ	—	—	25Y6/2灰黄色 5Y4/1灰色	—	—	12C第3	渥美		
452	327	1982	IV C 4 d	II層	陶器	甕	胴部	タタキ	—	—	灰軸	5Y4/3暗オリーブ色 7.5GY8/1明緑灰色	—	—	12C第4	渥美		
452	327	1983	IV C 6 c	II層	陶器	深皿	底部	ロクロ	内面目跡 稜面文	—	—	5Y6/3オリーブ黄色 7.5Y6/1灰色	—	(5.2)	14C前半	古瀬戸?		
452	327	1984	S X 07	ベルトC-C'1 a層	陶器	碗?	底部	—	—	回転系切り	灰軸	25Y6/1黄灰色	—	(0.7)	近世初頭?	瀬戸?		
452	327	1985	S X 07	ベルトD-D'1層	陶器	碗?	胴部	ロクロ	ロクロ	—	灰軸	10YR7/3にぶい黄褐色 5Y6/2灰オリーブ色	—	—	近世初頭?	瀬戸?		
452	327	1986	S X 07	ベルトD-D'1層	陶器	碗	胴部	ロクロ	ロクロ	—	鉄軸	5YR2/1黒褐色	—	—	19C	小久慈		

第27表 土製品（縄文）観察表（1）

（数値）：残存値

図版No.	写図No.	掲載No.	出土地点	層位	種別	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	備考
453	328	2001	IV C 3 j	II層	土偶	(29.0)	10.0	11.0	3.8	土偶の手？
453	328	2002	II C 7 e	II層	耳栓	23.0	23.0	36.5	16.7	穿孔部、径6mm
453	328	2003	II C 10 b c	包含層アゼ下位	耳栓	(24.0)	(21.0)	(17.0)	6.8	穿孔部、径5mm
453	328	2004	S I 61	南埋土上位	三角罎形土製品	(45.0)	(45.0)	(55.0)	63.6	刺突文、穿孔あり（長軸に）
453	328	2005	S I 74	Q S E埋土	三角罎形土製品	(42.0)	(36.0)	(76.0)	88.7	刺突文、穿孔あり（長軸に）
453	328	2006	IV C 5 g	II層	垂飾品土製品	30.0	(36.0)	36.0	30.7	穿孔部、径4mm
453	328	2007	II C 8 c	II層	土玉	19.0	19.0	8.5	3.4	両面がへこむ
453	328	2008	S I 13	ベルトB-B' 1層	キノコ形土製品	67.0	67.0	(17.0)	51.5	軸の部分欠損
453	328	2009	S I 58	南埋土上位	キノコ形土製品	(17.5)	(38.0)	(31.0)	14.5	傘、軸、欠損
453	328	2010	S K 131	埋土下位	キノコ形土製品	(22.0)	36.0	35.0	10.4	軸、欠損
453	328	2011	IV C 3 i	II層	キノコ形土製品	39.5	(41.0)	(37.0)	5.6	傘、欠損
453	328	2012	IV C 6 f	II層	キノコ形土製品	(11.0)	(31.0)	(24.0)	21.1	傘の一部
453	328	2013	II C 10 c	東西ベルト埋土中位	板状土製品	(67.0)	22.5	7.0	18.2	外面LR、内面ナデ、土器片の再利用か？
453	328	2014	S I 31	北西1/4部埋土上～中位	斧状土製品	(76.0)	41.0	(24.0)	69.7	刃部基部欠損、文様RL縦
453	328	2015	S I 35	南東埋土下位	斧状土製品	(33.0)	(27.0)	(10.0)	7.9	基部のみ、文様RL縦
453	328	2016	S I 61	北西埋土上位	斧状土製品	(28.0)	(33.0)	(18.0)	12.1	基部のみ、穿孔あり、文様LR縦
453	328	2017	IV C 1 c	II層検出面	斧状土製品	(48.0)	(35.0)	(16.0)	23.0	基部のみ、文様LR縦
454	328	2018	S I 81	I層	環状土製品	(53.0)	(49.0)	30.0	23.2	無文
454	328	2019	S I 55	埋土	棒状土製品	(44.0)	18.0	15.0	12.2	両端を欠く
454	328	2020	S I 112	北東埋土下位	棒状土製品	35.5	11.0	10.0	4.6	
454	328	2021	S I 115	ベルトA-A' I層	棒状土製品	26.0	11.0	11.0	3.4	
454	328	2022	II C 10 c	包含層アゼ下位	棒状土製品？	(22.5)	(17.0)	(15.0)	5.0	両端を欠く
454	328	2023	III C 10 f	II層	棒状土製品	(34.0)	16.0	16.0	11.3	一端を欠損する
454	328	2024	IV C 2 c	II層	棒状土製品	22.0	14.0	14.0	2.5	
454	328	2025	IV C 3 j	II層	棒状土製品	18.0	9.0	10.0	1.6	細礫含
454	328	2026	S K 22	西半埋土下位	不明土製品	(42.0)	20.0	21.0	18.6	先端は尖る
454	328	2027	III B 7 h	II層	不明土製品	(83.0)	60.0	26.0	101.1	片面に窪みあり、窪み径26mm×14mm、深さ12mm
—	—	2028	IV B 4 j	II層	不明土製品	(39.0)	(28.0)	(10.0)	11.0	
454	328	2029	T 7	I～II層	不明土製品	(72.0)	(33.0)	(17.0)	31.5	長軸方向に穿孔あり、径15mm？
454	328	2030	C区	東奥谷部I層～II層	不明土製品	(46.0)	(32.0)	10.0	18.1	外側のふちに溝あり
454	329	2031	S I 13	ベルトA-A' 8層	円盤状土製品	30.0	30.0	8.0	9.3	部分研磨、外面LR、内面ナデ、隅丸方形
454	329	2032	S I 13	北東埋土1/4上位、暗褐色土	円盤状土製品	43.0	39.0	9.0	14.7	部分研磨、外面LR、内面ナデ
454	329	2033	S I 14	北東部埋土上層	円盤状土製品	32.0	38.0	7.0	10.1	打ち欠き、外面RL、内面ナデ
454	329	2034	S I 18	ベルト3層	円盤状土製品	55.0	54.0	8.0	32.3	部分研磨、外面LR、内面ナデ
454	329	2035	S I 24	西半埋土上位③	円盤状土製品	44.0	(42.0)	7.0	21.9	打ち欠き、外面LR、内面ナデ
454	329	2036	S I 29	北西1/4埋土下位	円盤状土製品	(21.0)	31.0	(8.0)	5.0	研磨、外面RL、内面ナデ
454	329	2037	S I 30	南西1/4埋土下位	円盤状土製品	30.0	29.0	8.0	7.8	全周研磨、外面LR縦、内面ナデ
454	329	2038	S I 31	南東1/4埋土下部	円盤状土製品	(14.0)	(27.0)	(8.0)	3.0	部分研磨、外面LR、内面ナデ
454	329	2039	S I 31	南東1/4埋土下部	円盤状土製品	(24.0)	28.0	(10.0)	7.5	打ち欠き、外面RL？、内面ナデ
454	329	2040	S I 31	北西1/4部埋土上～中位	円盤状土製品	28.0	33.0	9.5	8.9	全周研磨、外面縄文、内面ナデ
454	329	2041	S I 33	ベルトB-B' 2層	円盤状土製品	(24.0)	(29.0)	10.0	7.7	打ち欠き、外面LR？、内面ナデ
455	329	2042	S I 33	南東埋土黒褐色土	円盤状土製品	(32.0)	(29.5)	(8.0)	7.9	部分研磨、外面LR、内面ナデ
455	329	2043	S I 34	炉前庭部埋土下位	円盤状土製品	31.0	30.0	9.0	7.4	打ち欠き、外面LR、内面ナデ
455	329	2044	S I 34	PP6埋土	円盤状土製品	24.0	23.0	8.0	4.5	打ち欠き、外面LR、内面ナデ
455	329	2045	S I 35	南西埋土下位	円盤状土製品	25.0	24.0	8.5	5.7	部分研磨、外面LR？、内面ナデ
455	329	2046	S I 35	北東埋土下位	円盤状土製品	(30.0)	(28.0)	(9.5)	7.8	打ち欠き、外面縄文、内面ナデ
455	329	2047	S I 37	南西埋土	円盤状土製品	(22.0)	(36.0)	(7.0)	6.6	打ち欠き、外面LR、内面ナデ
455	329	2048	S I 37	南西埋土	円盤状土製品	(21.0)	(30.0)	(9.0)	5.8	打ち欠き、外面縄文、内面ナデ
455	329	2049	S I 37	南西埋土	円盤状土製品	(31.0)	(39.0)	7.0	10.2	打ち欠き、外面無文、内面ナデ
455	329	2050	S I 38	2～4層	円盤状土製品	(28.0)	(24.0)	(7.0)	4.8	部分研磨、外面無文、内面ナデ
455	329	2051	S I 39	2層南北アゼC-C'	円盤状土製品	30.0	31.0	7.0	7.3	部分研磨、外面縄文、内面ミガキ
455	329	2052	S I 39	2層南北アゼD-D'	円盤状土製品	25.0	23.5	8.5	6.6	全周研磨、外面RL、内面ナデ
455	329	2053	S I 39	南東埋土下位	円盤状土製品	(28.0)	(28.0)	9.0	6.6	打ち欠き、外面RL、内面ナデ
455	329	2054	S I 39	南東埋土下位	円盤状土製品	(30.0)	(28.0)	8.0	5.9	全周研磨、外面縄文・沈線、内面ナデ
455	329	2055	S I 39	南東埋土下位	円盤状土製品	(20.0)	(33.0)	7.0	4.9	部分研磨、外面LR、内面ナデ
455	329	2056	S I 39	南東埋土下位	円盤状土製品	23.0	42.0	9.0	10.4	部分研磨、外面縄文、内面ナデ
455	329	2057	S I 39	北西埋土下位	円盤状土製品	32.0	32.0	8.0	9.5	全周研磨、外面単軸絡糸帯第1種L、内面ナデ
455	329	2058	S I 39	埋土	円盤状土製品	34.0	36.0	7.5	10.2	部分研磨、外面LR、内面ナデ
455	329	2059	S I 39	埋土	円盤状土製品	23.0	21.0	7.5	4.0	部分研磨、外面縄文、内面ナデ
455	329	2060	S I 42	床面直上	円盤状土製品	39.0	(36.0)	9.0	13.8	打ち欠き、外面LR・沈線、内面ナデ、未穿孔
455	329	2061	S I 46	埋土上～中位	円盤状土製品	(26.0)	(33.0)	(6.0)	6.1	全周研磨、外面LR、内面ミガキ
455	329	2062	S I 48	埋土8層B-B' 南側	円盤状土製品	(29.0)	(39.0)	(7.0)	8.7	打ち欠き、外面RL、内面ナデ
455	329	2063	S I 48	埋土（最下層床面）	円盤状土製品	(24.0)	(28.0)	(10.5)	8.1	打ち欠き、外面縄文・沈線、内面ナデ
455	329	2064	S I 50	南半埋土上～中位	円盤状土製品	(22.0)	(33.5)	(8.0)	6.5	部分研磨、外面RL、内面ナデ
455	329	2065	S I 52	北西埋土5層（貼床）	円盤状土製品	30.0	33.0	9.5	9.9	全周研磨、外面LR、内面ナデ
455	329	2066	S I 52	北西埋土5層（貼床）	円盤状土製品	36.0	37.0	8.0	12.9	打ち欠き、外面LR、内面ナデ
455	329	2067	S I 52	南東埋土上～中位	円盤状土製品	30.0	28.0	6.0	6.4	部分研磨、外面LR、内面ナデ
455	329	2068	S I 52	北西埋土上～中位	円盤状土製品	24.0	23.0	7.0	3.9	部分研磨、外面縄文・剥落、内面ナデ
455	329	2069	S I 52	北西埋土上～中位	円盤状土製品	30.0	28.0	7.0	5.9	打ち欠き、外面RLR、内面ナデ

2 出土遺物

第27表 土製品（縄文）観察表（2）

（数値）：残存値

図版 No.	写図 No.	掲載 No.	出土地点	層位	種別	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考
455	329	2070	S I 58	埋土上位	円盤状土製品	28.0	29.0	10.5	9.6	打ち欠き、外面縄文、内面ナデ
455	329	2071	S I 58	埋土上位	円盤状土製品	34.0	(29.0)	8.0	8.4	打ち欠き、外面沈線、内面ナデ
455	329	2072	S I 58	西埋土上位	円盤状土製品	(30.0)	35.0	7.0	7.9	打ち欠き、外面L R・沈線、内面ミガキ
455	329	2073	S I 58	南埋土上位	円盤状土製品	36.0	45.0	(7.0)	15.5	部分研磨、外面縄文、内面ナデ
455	329	2074	S I 59	WEベルト10層	円盤状土製品	28.0	30.0	11.0	10.0	打ち欠き、外面R L、内面ナデ
455	329	2075	S I 59	埋土下部	円盤状土製品	39.0	36.0	7.5	11.4	打ち欠き、外面L R、内面ナデ
455	329	2076	S I 59	埋土下部	円盤状土製品	35.0	37.0	7.0	10.1	部分研磨、外面L R、内面ナデ
455	329	2077	S I 59	QNW埋土下部	円盤状土製品	38.0	36.0	9.0	14.1	全周研磨、外面縄文、内面ナデ
455	329	2078	S I 59	QSW埋土下部	円盤状土製品	27.0	32.0	10.0	10.2	全周研磨、外面R L R、内面ナデ
455	329	2079	S I 60	Nベルト埋土10層	円盤状土製品	33.0	34.0	7.0	8.7	打ち欠き、外面縄文、内面ナデ
455	329	2080	S I 60	Nベルト埋土10層	円盤状土製品	25.0	27.5	10.0	7.5	全周研磨、外面L R・沈線、内面ナデ
455	329	2081	S I 60	NSベルト（E）埋土下部	円盤状土製品	(20.0)	(36.0)	(8.0)	6.2	打ち欠き、外面L R、内面ナデ
455	329	2082	S I 60	埋土下部	円盤状土製品	27.0	28.0	9.0	7.5	部分研磨、外面L R、内面ナデ
455	329	2083	S I 60	埋土下部	円盤状土製品	(28.0)	(38.0)	(9.0)	10.2	打ち欠き、外面L R、内面ナデ
455	329	2084	S I 60	埋土下部	円盤状土製品	(24.0)	(35.0)	(8.0)	6.4	部分研磨、外面縄文、内面ナデ
455	329	2085	S I 61	Aベルト6・7層	円盤状土製品	39.0	40.0	9.0	15.7	打ち欠き、外面L R、内面ナデ
456	329	2086	S I 61	埋土中位	円盤状土製品	(35.0)	(30.0)	(8.0)	9.1	部分研磨、外面L R、内面ナデ
456	329	2087	S I 61	埋土中位	円盤状土製品	(31.0)	(20.0)	(7.0)	4.2	打ち欠き、外面摩滅、内面ナデ
456	329	2088	S I 61	⑤埋土中位	円盤状土製品	(29.0)	(21.0)	(5.5)	3.7	打ち欠き、外面L R、内面ナデ
456	329	2089	S I 61	④埋土上～中位	円盤状土製品	29.0	37.0	9.5	12.7	部分研磨、外面L R、内面ナデ
456	329	2090	S I 61	②埋土上位	円盤状土製品	25.0	(25.0)	(8.0)	5.8	打ち欠き、外面R L R、内面ミガキ
456	329	2091	S I 61	埋土上位	円盤状土製品	(35.0)	(40.0)	(8.0)	11.4	打ち欠き、外面L R、内面ナデ
456	329	2092	S I 61	南（IV D 1 a）埋土上位	円盤状土製品	(27.0)	(31.0)	(10.0)	8.5	打ち欠き、外面L R・沈線、内面ナデ
456	329	2093	S I 61	北埋土上位	円盤状土製品	(34.0)	(33.0)	(9.0)	10.5	打ち欠き、外面縄文、内面ナデ
456	329	2094	S I 61	北埋土上位	円盤状土製品	34.5	37.0	9.0	12.1	部分研磨、外面L R、内面ナデ
456	329	2095	S I 61	北埋土上位	円盤状土製品	(38.0)	(40.0)	6.0	9.2	打ち欠き、外面L R、内面ミガキ
456	329	2096	S I 61	北埋土上位	円盤状土製品	(25.0)	(40.0)	(9.5)	10.7	打ち欠き、外面L R、内面ナデ
456	329	2097	S I 61	北埋土上位	円盤状土製品	(25.0)	(45.0)	(10.0)	12.3	部分研磨、外面摩滅、内面ナデ
456	329	2098	S I 61	北埋土上位	円盤状土製品	(30.0)	(35.0)	(7.0)	7.2	打ち欠き、外面摩滅、内面ナデ
456	329	2099	S I 61	北埋土上位	円盤状土製品	(42.0)	(34.0)	(9.0)	12.8	打ち欠き、外面縄文、内面ナデ
456	329	2100	S I 61	北埋土上位	円盤状土製品	25.0	36.0	(7.0)	7.1	部分研磨、外面R L、内面ナデ
456	329	2101	S I 61	北西埋土上位	円盤状土製品	(38.0)	(24.0)	(8.0)	7.4	打ち欠き、外面R L、内面ナデ
456	330	2102	S I 61	北西埋土上位	円盤状土製品	34.0	34.0	7.5	9.3	全周研磨、外面縄文、内面ナデ
456	330	2103	S I 62	埋土上～中位	円盤状土製品	26.0	27.0	8.0	6.3	打ち欠き、外面無文、内面ナデ
456	330	2104	S I 65	Sベルト4層	円盤状土製品	27.0	28.0	8.5	7.5	部分研磨、外面L R・沈線、内面ミガキ
456	330	2105	S I 66	9層 埋土中～下位	円盤状土製品	28.0	26.0	8.0	6.3	全周研磨、外面縄文、摩滅、内面ナデ
456	330	2106	S I 66	南東埋土上～中位	円盤状土製品	35.0	29.0	7.5	8.6	打ち欠き、外面縄文、内面ナデ
456	330	2107	S I 67	QSW埋土上～中位	円盤状土製品	(22.0)	(36.0)	(8.0)	7.6	打ち欠き、外面R L R、内面ミガキ、穿孔あり
456	330	2108	S I 71	北東埋土上位	円盤状土製品	22.0	23.0	9.5	5.8	全周研磨、外面L R、内面ナデ
456	330	2109	S I 72	ベルトB-B' 8層	円盤状土製品	36.5	40.0	8.0	13.6	全周研磨、外面R L R・沈線、内面ミガキ
456	330	2110	S I 72	ベルトB-B' 4層	円盤状土製品	34.0	(32.0)	8.0	9.7	部分研磨、外面縄文、内面ナデ
456	330	2111	S I 72	北東埋土下位	円盤状土製品	27.0	29.0	8.0	7.3	全周研磨、外面L R剥落、内面ナデ
456	330	2112	S I 72	南東埋土上位	円盤状土製品	28.0	30.0	9.0	9.0	全周研磨、外面L R、内面ナデ
456	330	2113	S I 72	南西埋土上位	円盤状土製品	32.0	31.0	8.5	10.0	全周研磨、外面L R、内面ナデ
456	330	2114	S I 73	埋設土器2、5層	円盤状土製品	33.0	32.0	10.0	11.9	部分研磨、外面R L、内面ミガキ
456	330	2115	S I 77	埋土下部	円盤状土製品	30.0	29.5	5.0	6.3	全周研磨、外面R L R・隆沈線？、内面ミガキ、穿孔あり
456	330	2116	S I 78	東西アゼ西側16層	円盤状土製品	39.0	35.0	7.0	10.7	部分研磨、外面L R、内面ナデ
456	330	2117	S I 78	南北断面北側12層	円盤状土製品	32.0	32.0	6.0	8.1	部分研磨、外面R L、内面ナデ
456	330	2118	S I 78	南北断面北側12層	円盤状土製品	(29.0)	(50.0)	(8.0)	12.9	打ち欠き、外面R L R、内面ナデ
456	330	2119	S I 78	QNE埋土下部	円盤状土製品	39.0	32.0	7.5	13.1	全周研磨、外面R L、内面ナデ、隅丸方形
456	330	2120	S I 78	QNE埋土下部	円盤状土製品	36.0	41.0	7.0	11.9	部分研磨、外面R L、内面ナデ
456	330	2121	S I 78	QNE埋土下部	円盤状土製品	(23.0)	(30.0)	(8.0)	5.0	打ち欠き、外面L R、内面ナデ
456	330	2122	S I 78	QNE埋土下部	円盤状土製品	(42.0)	(29.0)	(8.0)	9.9	部分研磨、外面R L R、内面ナデ
456	330	2123	S I 78	QNE埋土下部	円盤状土製品	46.0	52.0	7.0	19.0	部分研磨、外面L R、内面ナデ
456	330	2124	S I 78	QNW埋土中～下位	円盤状土製品	26.0	23.0	7.0	4.3	部分研磨、外面摩滅、内面ナデ
456	330	2125	S I 78	QNE埋土上～中位	円盤状土製品	43.0	45.0	7.0	15.4	部分研磨、外面R L、内面ミガキ
456	330	2126	S I 78	北東埋土下位	円盤状土製品	34.0	29.0	8.0	8.8	部分研磨、外面縄文、内面ナデ
457	330	2127	S I 79	WEベルト3層	円盤状土製品	22.0	22.0	9.0	4.3	全周研磨、外面縄文、内面ナデ
457	330	2128	S I 80	石罫埋土1層	円盤状土製品	25.5	28.0	8.0	6.7	全周研磨、外面L R、内面ナデ
457	330	2129	S I 80	WEベルト6層	円盤状土製品	(35.0)	(37.0)	(8.0)	10.6	全周研磨？、外面R L、内面ミガキ
457	330	2130	S I 80	NSベルト3層	円盤状土製品	(37.0)	(49.0)	(10.0)	21.7	打ち欠き、外面L R・沈線、内面ナデ
457	330	2131	S I 80	QNE埋土下部	円盤状土製品	35.5	(23.0)	9.0	7.7	打ち欠き、外面L R、内面ナデ
457	330	2132	S I 80	QSE埋土下部	円盤状土製品	42.0	48.0	10.0	28.7	全周研磨、外面L R、内面ナデ
457	330	2133	S I 80	QSW埋土上～中位	円盤状土製品	(38.0)	(24.0)	(6.5)	6.5	打ち欠き、外面R L、内面ナデ
457	330	2134	S I 82	南西埋土下位	円盤状土製品	41.0	37.0	6.0	12.8	打ち欠き、外面L R、内面ナデ
457	330	2135	S I 82	北西埋土中位	円盤状土製品	(27.9)	(45.9)	(6.0)	8.9	打ち欠き、外面無文、内面ナデ
457	330	2136	S I 82	南西埋土上～中位	円盤状土製品	27.0	25.0	6.0	4.4	全周研磨、外面L R、内面ミガキ
457	330	2137	S I 88	Sベルト埋土13層	円盤状土製品	34.0	40.0	10.0	14.9	打ち欠き、外面R L、内面ナデ

第27表 土製品（縄文）観察表（3）

（数値）：残存値

図版 No.	写図 No.	掲載 No.	出土地点	層位	種別	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考
457	330	2138	S I 88	QNW埋土中～下位	円盤状土製品	33.0	38.0	6.0	9.9	打ち欠き、外面LR、内面ナデ
457	330	2139	S I 101	西埋土	円盤状土製品	38.5	32.0	7.5	10.3	全周研磨、外面LR、内面ナデ
457	330	2140	S I 106	北東埋土	円盤状土製品	31.0	29.0	8.0	6.8	部分研磨、外面RL、内面ナデ
457	330	2141	SK29	東半埋土1～3層	円盤状土製品	30.0	30.0	8.0	8.1	全周研磨、外面縄文、内面ナデ
457	330	2142	II C 8 c	II層	円盤状土製品	54.0	(54.0)	7.0	26.5	打ち欠き、外面RL、内面ナデ
457	330	2143	II C 8 e	II層	円盤状土製品	25.0	26.0	9.0	7.0	全周研磨、外面RL、内面ナデ
457	330	2144	II C 9 d	II層	円盤状土製品	51.0	56.0	9.0	34.7	打ち欠き、外面LR、内面ナデ
457	330	2145	II C 10 b c	包含層上位	円盤状土製品	30.0	30.0	8.0	9.2	全周研磨、外面LR、内面ナデ
457	330	2146	III B 2 j ~ III B 3 j	斜面部包含層中～下位	円盤状土製品	87.0	84.0	11.0	115.1	打ち欠き、外面LR?、内面ナデ
457	330	2147	III B 7 i	不明	円盤状土製品	52.0	55.0	8.0	31.4	打ち欠き、外面LR・綾絡文、内面ナデ
457	330	2148	III C 1 a	包含層上位	円盤状土製品	45.0	45.0	13.0	36.4	全周研磨、外面縄文、内面ナデ
457	330	2149	III C 1 c	II層	円盤状土製品	40.0	46.0	7.0	14.4	全周研磨、外面無文、内面ナデ
457	330	2150	III D 10 c	II層	円盤状土製品	30.0	(38.0)	8.0	11.0	打ち欠き、外面RL、内面ナデ
457	331	2151	IV B 2 j	II層検出面	円盤状土製品	(33.0)	(30.0)	8.0	6.9	打ち欠き、外面沈線?、内面ナデ
457	331	2152	II C 9 c	II層	円盤状土製品	(72.0)	(56.0)	(12.0)	43.5	全周研磨、外面ナデ、内面ナデ、底部片か?
457	331	2153	II C 10 c	包含層上位	円盤状土製品	37.0	36.0	7.0	10.4	打ち欠き、外面撫糸文?、内面ナデ
457	331	2154	II C 10 c	東西ベルト埋土上位	円盤状土製品	70.0	77.0	12.0	95.7	打ち欠き、外面木目状撫糸文、内面ナデ
457	331	2155	III C 8 f	II層	円盤状土製品	(29.0)	40.0	10.0	15.2	部分研磨、外面RLR、内面ナデ
457	331	2156	III C 9 c	II層	円盤状土製品	(35.0)	45.5	7.0	16.0	全周研磨、外面RLR・沈線、内面ナデ
457	331	2157	C区	東奥谷部分2、I～II層	円盤状土製品	33.0	35.0	7.0	9.7	全周研磨、外面摩滅、内面ナデ
458	331	2158	III C 9 c	II層	円盤状土製品	33.0	35.5	7.0	10.6	全周研磨、外面LR、内面ナデ
458	331	2159	III C 9 e	II層	円盤状土製品	30.0	36.0	8.0	10.1	部分研磨、外面LR、内面ナデ
458	331	2160	III C 10 b	II層	円盤状土製品	30.0	31.0	10.0	10.0	全周研磨、外面LR、内面ナデ
458	331	2161	III C 10 f	II層	円盤状土製品	28.0	32.0	8.0	6.1	部分研磨、外面縄文、内面ナデ
458	331	2162	III C 10 h	II層	円盤状土製品	21.5	22.0	7.0	3.3	部分研磨、外面単軸絡糸帯第1種?、内面ナデ
458	331	2163	III C 10 j	II層～III層	円盤状土製品	32.0	34.5	6.0	8.2	打ち欠き、外面RLR・隆沈線、内面ミガキ
458	331	2164	IV B 2 j	II層	円盤状土製品	30.0	29.0	7.0	7.5	部分研磨、外面RL、内面ナデ
458	331	2165	IV C 1 c	II層	円盤状土製品	33.0	33.0	7.0	9.3	打ち欠き、外面LR、内面ナデ
458	331	2166	IV C 1 d	II層	円盤状土製品	34.0	39.0	7.0	10.0	全周研磨、外面LR、内面ナデ
458	331	2167	IV C 1 j	II層	円盤状土製品	29.0	28.0	9.0	8.6	全周研磨、外面LR、内面ミガキ
458	331	2168	IV C 2 a	大ベルト表土～II層下	円盤状土製品	30.0	34.0	8.0	9.0	部分研磨、外面RLR、内面ナデ
458	331	2169	IV C 2 d	II層	円盤状土製品	38.0	42.0	8.5	16.5	打ち欠き、外面LR、内面ナデ
458	331	2170	IV C 3 b	II層	円盤状土製品	46.0	(39.0)	6.0	14.5	部分研磨、外面LR、内面ナデ
458	331	2171	IV C 3 j	II層	円盤状土製品	30.0	23.5	7.0	5.8	部分研磨、外面LR、内面ナデ
458	331	2172	IV C 5 a	II層	円盤状土製品	30.0	34.4	8.0	8.9	部分研磨、外面LR、内面ナデ
458	331	2173	IV C 6 g	II層	円盤状土製品	32.5	31.0	9.0	12.5	部分研磨、外面LR、内面ナデ
458	331	2174	IV D 2 b	II層	円盤状土製品	36.0	39.0	7.0	13.1	部分研磨、外面LR、内面ナデ
458	331	2175	IV D 2 b	II層	円盤状土製品	31.0	34.0	8.0	9.6	部分研磨、外面LR、内面ナデ、隅丸方形
—	—	2176	S I 03	ベルトA-A'1層	焼成粘土塊	41.0	24.0	16.0	10.9	
—	—	2177	S I 15	南東埋土下位	焼成粘土塊	27.0	41.0	29.0	29.0	平坦面あり
—	—	2178	S I 39	PP4埋土	焼成粘土塊	—	—	—	28.3	径20～30mm大の塊
—	—	2179	S I 71	北東埋土上位	焼成粘土塊	(31.0)	(31.0)	(23.0)	17.7	外面滑らか
—	—	2180	S I 82	不明	焼成粘土塊	20.0	21.0	18.0	6.2	
—	—	2181	S I 82	北東・北西埋土中位	焼成粘土塊	38.0	25.0	22.0	11.3	細礫含
—	—	2182	S I 86	ベルトB-B'2層	焼成粘土塊	22.0	25.0	20.0	9.5	細礫含
—	—	2183	S I 115	ベルトB-B'12層	焼成粘土塊	(65.0)	(47.0)	(45.0)	125.0	外面平坦面あり
—	—	2184	S I 15	南東埋土下位	焼成粘土塊	23.0	27.0	20.0	11.2	平坦面あり
—	—	2185	II D 2 e	南東アゼ東側、トレンチ内	焼成粘土塊	26.0	13.0	14.0	5.0	
—	—	2186	III D 10 c	II層	焼成粘土塊	30.0	25.0	21.0	16.2	
—	—	2187	C区	南斜面II層	焼成粘土塊	40.0	36.0	22.0	26.6	
—	—	2188	C区	不明	焼成粘土塊	64.0	43.0	32.0	70.7	工具痕?、不成形
—	—	2189	IV C 5 g	II層	焼成粘土塊	29.0	20.0	14.0	6.4	

第28表 土製品（古代）観察表

（数値）：残存値

図版 No.	写図 No.	掲載 No.	出土地点	層位	種別	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考
458	331	2201	S I 29	北西1/4埋土下位	紡錘車	(51.0)	(34.0)	15.5	23.0	穿孔部、径不明
458	331	2202	S I 105	埋土上位	紡錘車	41.5	41.0	21.0	42.7	穿孔部、径8mm
458	331	2203	S I 105	北西埋土	紡錘車	50.0	(38.0)	27.0	51.7	穿孔部、径7mm
458	331	2204	B区	II層	紡錘車	47.0	47.0	22.0	58.6	穿孔部、径8mm
458	331	2205	III C 9 d	II層	紡錘車	42.0	43.0	19.5	39.2	穿孔部、径8mm
458	331	2206	T 14	I～II層	紡錘車	49.0	(48.0)	20.0	38.7	穿孔部、径8mm

2 出土遺物

第29表 羽口観察表

(数値)：残存値

図版 No.	写真 No.	掲載 No.	出土地点	層位	長さ (mm)	外径 (mm)	内径 (mm)	重量 (g)	角度 (°)	部位	備考
459	332	2207	S X W01	2次1～3層	148.0	78.0	33.0	637.1	20	先	
459	332	2208	S X W01	2次1～3層	237.0	78.0	34.0	1,290.5	27	基部を欠く	
459	332	2209	S X W01	2次1～3層	197.0	82.0	34.0	1,080.3	29	先	
459	332	2210	S X W01、S X W07	2次1～3層	269.0	79.0	37.0	1,112.0	11	基部を欠く	
459	332	2211	S X W01、S X W07	2次1～3層	275.0	73.0	31.0	1,307.1	22	基部を欠く	
459	332	2212	S X W05・07	構築土層内	313.0	85.0	35.0	1,858.5	20	基部を欠く	
459	332	2213	S X W05・07	構築土層内	115.0	84.0	31.0	598.5	11	先	
460	332	2214	S X W08南	下層	135.0	77.0	34.0	572.4	9	先	
460	332	2215	S X W08南	下層	94.0	94.0	32.0	502.7	22	先	
460	332	2216	S X W08南	不明	152.0	79.0	32.0	532.0	25	先	II D2g
460	332	2217	S X W08南	不明	151.0	80.0	34.0	666.8	23	先	II D2g
460	332	2218	S X W08・18	下層	(170.0)	86.5	31.0	659.2	26	先	
460	332	2219	S X W08・18	下層	128.0	82.0	33.0	509.6	15	先	
460	332	2220	S X W08・18	下層	113.0	87.0	38.0	611.6	11	先	
460	332	2221	S X W08・18	アゼ内	218.0	85.0	35.0	1,163.5	16	先	
461	332	2222	S X W08・18	アゼ内	100.0	84.0	37.0	421.0	18	先	
461	332	2223	S X W08・18	下層・上層	132.0	85.0	37.0	606.0	19	基部	II D1・2gh
461	332	2224	S X W08・18	下層・上層	130.0	84.0	31.0	648.2	21	先	II D1・2gh
461	333	2225	S X W08・18	下層・上層	134.0	85.0	33.0	598.1	20	先	II D1・2gh
461	333	2226	S X W08・18	下層・上層	127.0	74.0	34.0	433.0	14	先	II D1・2gh
461	333	2227	S X W09	炉内	237.0	88.0	33.0	1,551.6	26	先	
461	333	2228	S X W09	炉内	(166.0)	90.0	42.0	938.3	17	先	
461	333	2229	S X W09	炉内	161.0	75.0	32.0	552.8	11	先	
461	333	2230	S X W09	炉内	97.0	99.0	35.0	558.9	15	先	
462	333	2231	S X W09	炉内	(195.0)	90.0	33.0	1,124.8	17上:8	先	
462	333	2232	S X W09	炉内	247.0	94.0	35.0	1,650.6	14	ほぼ完形	H25年度分析試料①
462	333	2233	S X W09	右下の下層、遺構?	234.0	93.0	36.0	1,377.4	22	先	
462	333	2234	S X W09	右下の下層、遺構?	138.0	83.0	33.0	758.3	14	先	
462	333	2235	S X W09	周辺クリーニング時	80.0	84.0	36.0	429.0	11	先	
462	333	2236	S X W09・17	下層	158.0	80.0	35.0	560.8	27	先	
463	333	2237	S X W21⑤	炉内	184.0	80.0	33.0	897.7	28	先	H25年度分析試料④
463	333	2238	S X W21	西側トレンチ	127.0	86.0	32.0	584.1	9	先	
463	333	2239	S X W21	西側トレンチ	268.0	78.0	33.0	1,392.0	17	ほぼ完形	
463	334	2240	S X W21	不明	166.0	81.0	33.0	1,346.3	33	先	炉壁付着No.6529と接合
463	334	2241	S X W22	炉内・炉壁	151.0	87.0	32.0	466.9	14	先	
463	334	2242	S X W22	炉壁	125.0	85.0	32.0	378.5	不明	先半分	H25年度分析試料⑧
464	334	2243	S X W22	南側	304.0	94.0	29.0	2,202.3	18	ほぼ完形	
464	334	2244	S X W23	不明	103.0	78.0	(29.0)	581.6	21	先	
464	334	2245	S X W23	不明	88.0	71.0	30.0	314.8	9	先	
464	334	2246	S X W23	不明	112.0	80.0	33.0	482.4	9	先	
464	334	2247	S X I 05	ベルトA-A' 2層	(114.0)	(65.0)	(31.0)	247.0	不明	先	※試料No. (6608)
464	334	2248	S X I 05	ベルトB-B' 2層	(63.0)	(64.0)	(30.0)	109.1	不明	先	
464	334	2249	S X I 05	ベルトB-B' 2層	86.0	(61.0)	(22.0)	113.3	不明	中	
464	334	2250	S X I 05	ベルトB-B' 2層	64.0	(70.0)	(35.0)	98.5	不明	基	
464	334	2251	S X I 05	北東埋土 2層	22.0	不明	不明	10.7	不明	先	
464	334	2252	S X I 05	ベルトB-B' 1層	57.0	不明	不明	60.7	不明	先	
464	334	2253	S X I 05	鉄滓集積東側	67.0	(60.0)	(28.0)	75.3	不明	先	
464	334	2254	S X I 05	鉄滓集積東側	54.0	(52.0)	(22.0)	60.3	不明	先	
464	334	2255	S W06	2次第1層断面1	116.0	95.0	34.0	768.8	13	先	
464	334	2256	S W06	南半埋土	(123.0)	87.0	34.0	545.0	不明	先	
465	334	2257	II C 10 g・h	II層	128.0	60.0	25.0	714.0	22	先	
465	334	2258	II D 1 d	I～II層	91.0	87.0	34.0	363.1	36	先	
465	334	2259	II D 1・2 d e	S X W16などの下層	128.0	77.0	34.0	533.3	23	先	
465	335	2260	II D 1・2 d e	S X W16などの下層	138.0	73.0	31.0	522.6	8	先	
465	335	2261	II D 1・2 e f g	I～II層	190.0	90.0	34.0	1,378.5	15	先	
465	335	2262	II D 1 e	II層	327.0	85.0	33.0	1,743.5	20	基部を欠く	
465	335	2263	II D 1 e f	II層	96.0	85.0	35.0	442.6	12	先	
465	335	2264	II D 1 f・g	II層	186.0	100.0	34.0	1,210.1	8	先	S X W11右側
466	335	2265	II D 1 f・g	II層	94.0	74.0	34.0	368.0	17	先	
466	335	2266	II D 1・2 e	炉跡付近	(225.0)	96.0	35.0	1,287.3	34	先	
466	335	2267	II D 2 d	I～II層	151.0	82.0	30.0	459.8	不明	先	
466	335	2268	II D 2 d	I～II層1点分	177.0	74.0	35.0	486.3	6	先	
466	335	2269	II D 2 d	I～II層1点分	212.0	85.0	35.0	997.3	11	先	
466	335	2270	II D 2 d、NE	不明	150.0	77.0	35.0	621.0	26	先	
466	335	2271	II D 2 e	II層 (炉跡付近)	176.0	82.0	34.0	949.0	22	先	
467	335	2272	II D 2 e	II層	295.0	91.0	33.0	1,989.2	10	ほぼ完形	
467	335	2273	II D 2 e	II層	336.0	89.0	30.0	2,372.4	8	ほぼ完形	
467	335	2274	II D 2 e、NW	不明	139.0	85.0	36.0	623.3	16	先	
467	336	2275	II D 2 e f	不明	129.0	74.0	35.0	552.3	26	先	
467	336	2276	II D 2 f	S X W08南崖ざわ集中部	220.0	77.0	34.0	1,428.9	19	先	No.6551と接合
467	336	2277	II D 2 f	S X W08の南崖ざわ	267.0	10.0	30.0	2,648.0	12	完形	
468	336	2278	II D 2 f	S X W08南崖ざわ集中部	346.0	98.0	32.0	2,651.4	24	ほぼ完形	
468	336	2279	II D 2 g	I～II層	125.0	96.0	32.0	725.0	20	先	
468	336	2280	II D 2 g	I～II層	251.0	88.0	40.0	2,401.1	25	ほぼ完形	炉壁付着
468	336	2281	III C 9 a (S W12の北)	II層下	149.0	81.0	31.0	827.5	不明	中	
468	336	2282	東奥谷部、南北ベルト	14層	177.0	92.0	38.0	1,039.2	18	先	
468	336	2283	東奥谷部 (上部)	II層	105.0	81.0	33.0	468.4	27	先	

第30表 石器分類表

器種	部位	属性	分類
石鏃	茎部	無茎	I
		有茎	II
	基部	凹基	A
		平基	B
		凸基	E
尖頭器様石器	加工面	両面	I
		片面	II
	刃部加工	周縁	A
		二側縁	B
石槍	加工面	両面	I
		片面	II
	刃部加工	周縁	A
		二側縁	B
石鏃	摘み	有	I
	刃部	無	II
		剥片の端部	A
石匙	摘み	縦型	I
	加工面	横型	II
		両面	A
		片面	B
石鏡	刃部	周縁	1
		二側縁	2
		一側縁	3
		ハチ形	I
両極石器	剥離位置	ヘラ形	II
		二辺一対	I
		両面	I
		四辺二対	II
不定形石器 (削器) (搔器) (異形石器)	加工面	両面	I
		片面	II
		片面(腹面)	III
	刃部	周縁	A
		二側縁	B
		一側縁	C
		端部	D
		ノッチ	E
急斜度	F		
尖頭部有	G		
RF	加工	2次加工あり	A
UF	加工	使用痕あり	A
石核	加工	剥片	
		表皮	有
	打面	有	I
		無	II
礫器	加工面	1	A
		2	B
	刃部	節理面	1
		有	I
打製石斧	加工面	無	II
		両面	A
	刃部	片面	B
		周縁	1
磨製石斧	加工面	二側縁	2
		一側縁	3
	刃部	両面	I
		片面	II
磨製石斧	加工面	周縁	A
		二側縁	B
	刃部	一側縁	C
		使用痕	刃部に剥離痕
磨製石斧	部位	刃部	I
		基部	II
		身部	III
		側面	IV
	使用痕	剥離痕	A
		敲打痕	B
		再調整	C

器種	部位	属性	分類
石錘	形状	楕円	I
		円形	II
磨石A・B	打ち欠き	両端	A
		片端	B
	磨面	全面	I
		両面	II
		片面	III
	敲打痕	一端	A
		両端	B
		周縁	C
	窪み	片面	1
		両面	2
一面		3	
二面		4	
三面		5	
側縁スリ面	一側縁	a	
	二側縁	b	
	三側縁	c	
	周縁	d	
断面形	三角形	ア	
	四角形	イ	
	五角形	ウ	
	板状	エ	
	棒状	あ	
敲石	形状	円形	I
		棒状	II
		板状	III
	使用部位	一端	A
		両端	B
		周縁	C
		二側縁	D
		一側縁	E
		両面	F
	使用痕	片面	G
敲打痕		1	
剥離痕		2	
		打ち欠き	3
凹石	形状	凹形状	I
		角形	II
		棒状	III
		板状	IV
	使用面	両面	A
		片面	B
		三面	C
		四面	D
凹の形状	凹形状	1	
	溝状	2	
	不整形	3	
石皿	形状	方形	I
		円形	II
	使用面	両面	A
		片面	B
	特徴	窪み	1
		縁	2
溝		3	
脚		4	
台石	形状	亜角礫	I
		亜円礫	II
石臼	平坦面	片面	A
		両面	B
砥石	部位	上臼	I
		下臼	II
砥石	形状	卸し目	A
		板状	I
	使用痕	棒状	II
		溝	A

第31表 石質表記一覧表

No.	記号	岩石名(石材)	時代	産地
1	A	蛇紋岩	古生代オルドビス紀	早池峰山周辺
2	B	玄武岩	中生代白亜紀	北上山地 原地山層
3	C 1	はんれい岩	中生代白亜紀	北上山地
4	C 2			重茂半島
5	D 1	安山岩	中生代白亜紀	北上山地
6	D 2			奥羽山脈(岩手山)
7	D 3		新生代第四紀	奥羽山脈
8	D 4			奥羽山脈(十和田火山)
9	E	ヒン岩	中生代白亜紀	北上山地
10	F	閃緑岩	中生代白亜紀	北上山地
11	G 1	細粒閃緑岩	中生代白亜紀	北上山地
12	G 2			北上山地 原地山層
13	H 1	デイサイト	中生代白亜紀	北上山地
14	H 2			新生代第四紀
15	I 1	花崗閃緑岩	中生代白亜紀	北上山地
16	I 2			北上山地(宮古岩体)
17	J	細粒花崗閃緑岩	中生代白亜紀	北上山地
18	K	流紋岩	新生代古第三紀	浄土ヶ浜・松山・立丸峠
19	L 1	軽石	新生代新第四紀	十和田火山
20	L 2			奥羽山脈
21	M	斑岩	中生代白亜紀	北上山地
22	N	石英斑岩	中生代白亜紀	北上山地
23	O	花崗斑岩	中生代白亜紀	北上山地
24	P 1	花崗岩	中生代白亜紀	北上山地
25	P 2			北上山地(宮古岩体)
26	Q	ペグマタイト(巨晶花崗岩)	中生代白亜紀	北上山地
27	R	アブライト(半花崗岩)	中生代白亜紀	北上山地
28	S	黒曜石	不明	不明
29	T 1	礫岩	中生代	北上山地
30	T 2			中生代白亜紀
31	U 1	砂岩	古生代	北上山地
32	U 2			
33	U 3		中生代白亜紀	北上山地
34	U 4			北上山地 原地山層
35	U 5			宮古層群
36	V 1	頁岩	古生代	北上山地
37	V 2			中生代
38	V 3		不明	不明
39	W 1	赤色頁岩	中生代	北上山地
40	W 2			不明
41	X	珪質頁岩	中生代	北上山地
42	Y 1	緑色頁岩	中生代	北上山地
43	Y 2			
44	Z 1	凝灰岩	中生代	北上山地
45	Z 2			中生代白亜紀
46	Z 3		中生代白亜紀	北上山地 久慈層群・野田層群
47	Z 4		新生代古第三紀	北上山地 野田周辺か 奥羽山脈
48	Z 5		不明	不明
49	a 1	凝灰質砂岩	中生代白亜紀	北上山地 原地山層
50	a 2			北上山地 大船渡層群
51	b	溶結凝灰岩	中生代白亜紀	北上山地 現地山層
52	c	チャート	中生代	北上山地
53	d 1	ホルンフェルス	古生代、中生代の頁岩が中生代白亜紀に変成	北上山地
54	d 2			
55	d 3		不明	不明
56	e	メノウ	不明	不明
57	f	滑石	古生代オルドビス紀	早池峰山周辺
58	g	礫質砂岩	中生代白亜紀	北上山地 原地山層
59	h	藍閃石片岩(青虎石?)	新生代新第三紀	日高山脈

第32表 石器観察表(1)

(数値): 残存値

掲載 No	出土地点	層位	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石材	分類	備考
2301	S I 02	周辺	石鏃	25.0	12.0	3.0	0.69	V2	I A	
2302	S I 03	北東埋土下位	石鏃	(22.0)	17.0	3.0	1.26	V2	I A	尖頭部欠損
2303	S I 04	南面貼床	石鏃	20.1	(19.0)	4.0	(1.27)	V2	I A	基部欠損
2304	S I 04	北西貼床	石鏃	(18.0)	15.5	4.0	0.71	V2	—	基部欠損
2305	S I 04	南西埋土	石鏃	(22.0)	20.5	3.0	0.93	V2	I B	尖頭部欠損
2306	S I 09	床~II層	石鏃	38.0	21.0	8.5	0.12	V2	I B	
2307	S I 10	北東埋土下位~床面	石鏃	23.0	17.0	5.0	0.22	V2	I A	
2308	S I 10	かまど付近貼床層	石鏃	30.0	20.0	6.5	2.48	V2	I A	
2309	S I 10	北西床II層	石鏃	24.0	17.0	4.0	1.38	V2	I B	
2310	S I 10	付近II層	石鏃	(22.0)	19.0	5.0	(2.12)	V2	I A	尖頭部欠損
2311	S I 11	埋土床面直上	石鏃	28.0	6.5	4.5	0.77	V2	D	
2312	S I 12	床直上土器No 11/3	石鏃	35.0	21.0	3.0	2.12	V2	I A	
2313	S I 12	P P 1北半埋土	石鏃	38.5	16.0	8.0	3.66	V2	I A	両側縁に挟あり
2314	S I 12	P P 1北半埋土	石鏃	(32.0)	(20.0)	6.0	2.28	V2	—	基部欠損
2315	S I 12	埋土	石鏃	19.5	17.0	4.5	1.16	V2	B	
2316	S I 13	床面	石鏃	36.5	19.5	6.5	4.13	V2	C	
2317	S I 13	ベルトA-A' 8層	石鏃	(33.0)	17.0	7.0	2.80	V2	I B	
2318	S I 13	北西埋土1/4中位暗褐色土	石鏃	33.0	19.0	7.5	2.79	V2	I A	
2319	S I 13	北西埋土1/4中位暗褐色土	石鏃	15.0	17.0	3.5	0.70	V2	I A	尖頭部欠損
2320	S I 13	南東埋土中位暗褐色土	石鏃	21.0	16.0	4.0	1.17	V2	I B	
2321	S I 13	北東埋土1/4上位暗褐色土	石鏃	26.0	16.0	3.5	1.61	V2	I B	
2322	S I 13	北東埋土1/4上位暗褐色土	石鏃	21.5	13.0	3.0	0.77	V2	I B	
2323	S I 13	北東埋土1/4上位暗褐色土	石鏃	(14.0)	16.0	3.0	0.68	V2	I A	尖頭部欠損
2324	S I 13	北西埋土上位黒色土	石鏃	29.0	21.5	6.0	3.31	V2	I B	
2325	S I 15	南西側床直	石鏃	28.5	(10.0)	3.0	(0.78)	V2	C?	基部欠損
2326	S I 15	北東埋土中位	石鏃	(25.0)	20.5	6.0	(3.96)	V2	C	尖頭部欠損
2327	S I 18	埋土(2次精査)	石鏃	20.5	18.0	3.0	0.77	V2	I B	
2328	S I 18	東西ベルト4層	石鏃	23.0	15.0	3.0	1.02	V2	I A	
2329	S I 18	南西埋土中~下位	石鏃	27.0	17.0	6.0	2.38	V2	I A	
2330	S I 18	南東埋土中~下位	石鏃	24.0	(18.5)	7.0	2.08	V2	I A	基部欠損
2331	S I 18	④ベルト	石鏃	(26.0)	22.0	5.0	2.73	V2	I A	尖頭部欠損
2332	S I 18	③埋土上位	石鏃	(16.5)	15.0	4.0	1.08	V2	I B	尖頭部欠損
2333	S I 18	③埋土上位	石鏃	32.0	15.0	6.0	1.82	V2	I A	
2334	S I 19	WE 2次2層	石鏃	(26.0)	(13.5)	4.5	1.80	V2	I A	尖頭部・基部欠損
2335	S I 19	WE 2次2層	石鏃	(33.0)	14.0	5.0	1.82	V2	I A	基部欠損
2336	S I 19	WE 2次2層	石鏃	34.0	16.0	5.0	2.52	V2	I B	
2337	S I 19	WE 2次2層	石鏃	22.0	16.0	3.0	1.11	V2	I B	
2338	S I 20	ベルトA-A' 4層	石鏃	26.0	19.0	4.0	1.74	V2	I A	
2339	S I 20	ベルトA-A' 3層	石鏃	(20.0)	(23.0)	5.5	(1.27)	V2	I A	尖頭部欠損
2340	S I 20	ベルトA-A' 3層	石鏃	(28.0)	20.0	6.0	3.36	V2	I A	尖頭部欠損
2341	S I 21	カマド東側床面	石鏃	15.5	13.0	2.0	0.30	V2	I B	
2342	S I 21	3・4層	石鏃	(25.0)	18.5	4.5	(1.32)	V2	I A	尖頭部欠損
2343	S I 21	3・4層	石鏃	(16.0)	14.0	3.0	(0.61)	V2	I A	尖頭部欠損
2344	S I 22	北埋土下位黒褐色土	石鏃	20.5	(14.5)	4.0	(0.94)	V2	I A	基部欠損
2345	S I 24	北西埋土中位	石鏃	32.0	15.0	4.0	1.64	V2	I B	
2346	S I 24	北西埋土中位	石鏃	(19.0)	18.0	4.0	1.38	V2	I A	尖頭部欠損
2347	S I 24	北西埋土中位	石鏃	29.0	14.0	4.0	1.30	V2	I A	
2348	S I 25	埋土上部ベルト南東1/4	石鏃	23.0	16.0	5.0	1.47	V2	I B	
2349	S I 25	ベルト南西部1/4	石鏃	22.0	16.0	2.0	0.76	V2	I A	
2350	S I 29	南東1/4埋土下位	石鏃	17.0	14.0	3.5	0.56	—	I A	
2351	S I 29	南東1/4埋土上位	石鏃	19.0	15.0	5.0	0.88	—	I B	
2352	S I 30	炉焼土より下、埋土	石鏃	(29.0)	17.0	5.0	1.35	—	I A	尖頭部欠損
2353	S I 30	北ベルト5層	石鏃	20.0	13.0	3.0	0.40	V2	I A	アスファルト付着
2354	S I 30	東ベルト3層	石鏃	(18.0)	(17.0)	3.5	0.86	—	—	基部欠損
2355	S I 30	南東1/4埋土下位	石鏃	(22.0)	(16.0)	(6.0)	2.23	—	—	欠損品
2356	S I 30	南東埋土下位	石鏃	(23.0)	(19.0)	5.0	1.50	—	I A	尖頭部・基部欠損
2357	S I 31	NSベルト4層	石鏃	26.5	19.5	5.5	1.81	—	I A	
2358	S I 31	Wベルト3層	石鏃	(28.0)	19.5	5.0	2.29	—	I B	尖頭部欠損
2359	S I 32	床面直上	石鏃	(32.0)	(22.0)	5.5	3.35	—	I A	尖頭部・基部欠損
2360	S I 32	P P 3埋土	石鏃	(28.0)	17.0	4.0	1.56	—	I B	尖頭部欠損
2361	S I 34	Bベルト20~23層	石鏃	(27.0)	18.0	5.0	2.68	—	I B	尖頭部欠損
2362	S I 35	床上	石鏃	26.0	13.0	5.5	1.66	—	I B	
2363	S I 35	ベルトB-B' 1層	石鏃	27.0	14.0	3.0	0.91	V2	I A	
2364	S I 35	南西埋土下位	石鏃	(22.0)	(17.0)	4.0	1.15	—	I A	尖頭部・基部欠損
2365	S I 35	北東埋土上位	石鏃	21.0	(18.0)	4.5	1.15	V2	I A	基部欠損
2366	S I 36	床面直上	石鏃	30.0	15.5	5.0	1.52	V2	I A	
2367	S I 36	WEベルト3・4層	石鏃	(22.0)	18.0	3.5	1.05	—	I B	尖頭部欠損
2368	S I 36	Nベルト1層	石鏃	(14.5)	14.0	3.0	0.72	—	I B	尖頭部欠損
2369	S I 36	QNE埋土下部	石鏃	(38.0)	18.0	6.0	2.72	—	I A	尖頭部欠損
2370	S I 36	QSE埋土上部	石鏃	(26.0)	(15.0)	4.5	1.37	—	I A	基部欠損
2371	S I 36	Sベルト埋土	石鏃	28.0	17.0	5.0	1.57	—	I B	
2372	S I 37	南西埋土	石鏃	(25.5)	(10.0)	(4.5)	1.16	—	—	欠損品
2373	S I 37	南西埋土	石鏃	22.0	14.0	3.5	0.69	—	I A	
2374	S I 39	南東埋土下位	石鏃	22.0	18.5	8.0	2.77	—	—	未製品?
2375	S I 39	埋土	石鏃	31.5	24.5	5.0	2.44	V2	I A	
2376	S I 39	埋土	石鏃	(27.0)	(22.0)	6.0	2.47	—	I A	尖頭部欠損
2377	S I 40	床面直上	石鏃	(20.5)	16.5	4.5	1.39	—	I A	尖頭部欠損
2378	S I 40	床面直上	石鏃	28.0	10.0	3.5	1.19	—	I B	



第32表 石器観察表(2)

(数値): 残存値

掲載 No.	出土地点	層位	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石材	分類	備考
2379	S I 40	埋土上部	石鏃	(23.0)	(15.0)	3.0	0.71	—	I A	尖頭部欠損
2380	S I 40	埋土上部	石鏃	(37.0)	(14.5)	5.0	1.93	—	I A	尖頭部欠損
2381	S I 42	床面直上	石鏃	(18.0)	18.5	4.0	1.12	—	I A	尖頭部欠損
2382	S I 42	WEベルト中央2層	石鏃	31.0	23.0	6.0	4.24	—	I B	
2383	S I 42	NSベルト西南2層	石鏃	(19.0)	13.0	3.0	0.54	—	I A	尖頭部欠損
2384	S I 42	埋土下部	石鏃	(24.0)	(18.0)	4.5	1.23	—	I A	基部欠損
2385	S I 42	埋土	石鏃	35.0	(15.0)	5.0	1.72	—	I A	基部欠損
2386	S I 42	埋土	石鏃	30.0	20.0	6.0	3.13	—	C	
2387	S I 42	埋土	石鏃	32.0	20.0	4.0	2.21	—	I B	
2388	S I 42	埋土	石鏃	38.0	21.0	6.5	5.64	—	C	
2389	S I 43	炉 埋土	石鏃	(27.0)	18.5	5.0	1.67	—	I A	尖頭部欠損
2390	S I 43	周溝埋土	石鏃	(30.0)	(17.5)	6.5	2.37	—	I A	尖頭部欠損
2391	S I 43	QNE埋土	石鏃	(23.0)	21.0	5.0	2.03	—	I B	尖頭部欠損
2392	S I 43	QNE埋土	石鏃	20.0	16.0	4.0	0.85	—	I A	
2393	S I 44	ベルトB-B' 1層	石鏃	(22.0)	(21.0)	5.0	1.49	—	I A	
2394	S I 44	ベルトB-B' 1層	石鏃	(22.5)	18.0	4.0	1.30	—	I B	尖頭部欠損
2395	S I 44	南東埋土1層	石鏃	18.0	12.0	2.5	0.51	X	I A	
2396	S I 45	②/⑥埋土上～中位	石鏃	(29.0)	22.0	5.0	2.72	—	C	基部欠損
2397	S I 45	⑤/⑥埋土上～中位	石鏃	25.0	(18.0)	4.0	1.40	—	I A	基部欠損
2398	S I 46	埋土中位	石鏃	28.5	17.0	5.0	1.92	—	I A	
2399	S I 46	埋土上部	石鏃	26.0	(21.0)	4.0	2.20	—	I B	側縁部欠損
2400	S I 46	埋土上部	石鏃	31.0	20.5	7.0	4.52	—	I B	
2401	S I 46	埋土上位	石鏃	(31.0)	16.0	6.5	2.52	—	I B	尖頭部欠損
2402	S I 47	東埋土～中位	石鏃	(23.0)	14.0	3.0	0.77	—	I B	尖頭部欠損
2403	S I 48	埋土グリッドA地点	石鏃	20.0	17.0	5.0	1.44	—	I B	
2404	S I 49	埋土下位	石鏃	22.0	16.0	4.5	1.29	—	I A	
2405	S I 51	埋土下部	石鏃	(32.0)	18.0	8.0	3.18	—	I B	尖頭部欠損
2406	S I 52	南東埋土上～中位	石鏃	35.0	13.0	4.0	0.99	—	I A	
2407	S I 53	QSWベルト4層	石鏃	(35.0)	15.0	6.0	2.99	—	—	基部欠損
2408	S I 53	QNE埋土	石鏃	(15.0)	(16.0)	3.0	0.70	—	—	基部欠損
2409	S I 53	QNE埋土	石鏃	(23.0)	18.0	5.0	1.58	—	I A	尖頭部欠損
2410	S I 55	埋土	石鏃	16.5	14.0	3.0	0.40	—	I A	
2411	S I 56	埋土	石鏃	(27.0)	22.0	5.0	2.40	—	I B	尖頭部欠損
2412	S I 57	周溝 埋土	石鏃	38.0	23.0	9.0	6.63	—	I B	未製品?
2413	S I 57	周溝 埋土	石鏃	(34.0)	18.0	5.5	2.84	—	I B	尖頭部欠損
2414	S I 57	不明	石鏃	20.0	18.0	4.0	1.64	—	I B	
2415	S I 57	ベルト埋土	石鏃	(39.0)	16.5	5.0	2.58	—	I B	尖頭部欠損
2416	S I 57	QNW埋土	石鏃	(28.0)	(18.0)	4.0	1.79	—	I A	尖頭部・基部欠損
2417	S I 57	QNW埋土	石鏃	(25.0)	(16.0)	3.0	1.11	—	I B	尖頭部・基部欠損
2418	S I 58	Bベルト8～11層	石鏃	24.0	17.0	4.0	1.52	—	I A	
2419	S I 58	埋土下位	石鏃	(20.5)	15.0	4.0	0.89	—	I A	尖頭部欠損
2420	S I 58	北西埋土上～中位	石鏃	18.0	17.0	4.0	1.05	—	I B	
2421	S I 58	南東埋土上位	石鏃	32.0	15.0	7.5	3.08	—	I B	未製品?
2422	S I 58	南東埋土上位	石鏃	29.0	15.5	3.5	1.17	—	I A	
2423	S I 59	埋土下部	石鏃	(15.0)	(12.0)	(5.0)	0.59	—	—	基部欠損
2424	S I 60	埋土下部	石鏃	19.5	12.5	2.0	0.34	V2	I A	アスファルト付着?
2425	S I 61	Cベルト14層	石鏃	(29.0)	17.0	4.5	1.38	—	—	基部欠損
2426	S I 61	Dベルト14層	石鏃	(22.0)	18.0	3.5	1.18	—	I A	尖頭部欠損
2427	S I 61	周溝D、埋土	石鏃	18.0	(13.0)	3.0	0.51	—	I A	基部欠損
2428	S I 61	④埋土下位	石鏃	(29.0)	(18.0)	5.0	1.76	—	I A	基部欠損
2429	S I 61	②埋土中位	石鏃	(25.5)	19.0	4.5	2.09	—	I A	尖頭部欠損
2430	S I 61	④埋土上～中位	石鏃	22.0	16.0	3.0	0.75	—	I A	
2431	S I 61	②埋土上位	石鏃	26.0	(19.0)	5.0	1.94	—	I A	基部欠損
2432	S I 61	北埋土上位	石鏃	33.0	23.0	10.0	6.69	—	C	
2433	S I 61	南埋土上位	石鏃	20.0	14.0	4.0	0.88	—	I B	
2434	S I 62	埋土上～中位	石鏃	(31.0)	14.0	5.0	2.09	—	—	尖頭部・基部欠損
2435	S I 62	埋土	石鏃	(15.0)	17.0	4.0	0.95	—	I B	尖頭部欠損
2436	S I 62	埋土一括	石鏃	22.0	17.0	3.5	1.00	—	I B	
2437	S I 65	Sベルト3層	石鏃	26.5	14.0	3.0	0.89	—	I B	
2438	S I 70	埋土3層(S I 54用A-A'断面)	石鏃	32.0	14.5	4.0	1.13	V2	I A	アスファルト付着?
2439	S I 70	北西埋土上部	石鏃	22.0	17.0	3.0	1.09	—	I B	
2440	S I 71	ベルトA-A' 5層	石鏃	(18.5)	11.0	3.0	0.44	—	I A	尖頭部欠損
2441	S I 71	北西埋土下位	石鏃	15.0	14.5	3.0	0.43	—	I B	
2442	S I 72	ベルトA-A' 8層	石鏃	(18.0)	13.0	4.0	0.92	—	I A	尖頭部欠損
2443	S I 72	北東埋土下位	石鏃	(23.0)	17.0	6.0	1.96	—	I A	尖頭部欠損
2444	S I 73	東側埋土	石鏃	46.0	(17.0)	5.0	2.16	—	I A	基部欠損
2445	S I 73	埋土	石鏃	28.0	17.0	8.5	3.03	W2	C	
2446	S I 74	貼床、埋土	石鏃	(21.0)	20.0	3.5	1.62	—	I A	尖頭部欠損
2447	S I 74	QSE埋土上～中部	石鏃	18.0	3.0	5.0	1.05	—	I B	
2448	S I 74	QS埋土	石鏃	(20.0)	(14.5)	5.0	1.03	—	I A	基部欠損
2449	S I 75	北西埋土上位	石鏃	(33.0)	(17.0)	5.0	3.01	—	I B	側縁部欠損
2450	S I 78	QNW埋土中～下位	石鏃	26.5	15.0	3.0	0.73	V2	I A	
2451	S I 80	QNW埋土上～中位	石鏃	30.0	16.5	12.0	4.28	—	—	未製品?
2452	S I 82	北西埋土下位	石鏃	18.0	11.0	3.0	0.50	V2	I A	
2453	S I 82	①埋土上位	石鏃	23.0	20.0	5.0	1.66	—	I B	
2454	S I 83	北東埋土下位	石鏃	19.5	14.0	3.5	0.70	—	I A	
2455	S I 83(IV C3h)	南東埋土下位	石鏃	23.5	12.5	4.0	0.74	—	I B	
2456	S I 83(IV C3h)	南東埋土下位	石鏃	22.0	14.0	3.0	0.65	—	I A	

第32表 石器観察表(3)

(数値): 残存値

掲載 No.	出土地点	層位	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石材	分類	備考
2457	S I 86	炉区割②埋土	石鏃	23.0	12.0	4.0	1.17	—	I B	
2458	S I 86	炉区割②埋土	石鏃	17.0	(12.0)	3.0	0.51	—	I A	基部欠損
2459	S I 86	P P 7 南半埋土	石鏃	31.0	16.5	5.5	2.17	V2	I A	
2460	S I 86	北東埋土上位	石鏃	(30.0)	(12.0)	6.0	1.71	—	I A	側縁部欠損
2461	S I 87	南東埋土下位	石鏃	24.5	18.0	5.0	1.54	—	I A	
2462	S I 88	Q N E埋土中～下位	石鏃	(25.0)	17.0	4.5	1.90	—	I B	尖頭部欠損
2463	S I 91	WEベルト埋土5層	石鏃	42.0	20.5	7.5	5.63	—	C	
2464	S I 91	WEベルト埋土5層	石鏃	30.0	20.0	3.5	1.86	—	I A	
2465	S I 91	埋土	石鏃	35.5	17.5	5.5	2.62	—	I A	
2466	S I 92	P P 5埋土	石鏃	17.0	(13.0)	4.0	0.64	—	I A	基部欠損、アスファルト 付着?
2467	S I 92	N Sベルト4層	石鏃	31.0	(17.0)	6.0	2.47	—	I A	基部欠損
2468	S I 99	石囲炉前庭部埋土	石鏃	30.0	19.0	5.0	2.03	—	C	
2469	S I 102	南西側埋土下位	石鏃	23.0	19.5	5.5	1.74	V2	I B	
2470	S I 102	北東側埋土	石鏃	26.0	18.0	3.0	0.91	—	I A	
2471	S I 105	カマド北側埋土、煙道西側張り出し	石鏃	26.5	20.0	8.0	3.08	—	I B	
2472	S I 105	埋土上位	石鏃	22.5	12.0	2.0	0.49	—	I A	
2473	S I 106	炉埋土	石鏃	(20.0)	14.0	2.5	0.57	—	I A	尖頭部欠損、アスファルト 付着?
2474	S I 106	ベルトA-A' 1層	石鏃	32.5	17.5	7.0	3.14	V2	I A	
2475	S I 108	東側埋土下位	石鏃	22.0	14.5	3.0	0.86	—	I B	
2476	S I 109	埋土下位	石鏃	39.5	23.0	6.5	6.09	—	C	
2477	S I 109	埋土下位	石鏃	28.5	17.0	4.0	1.47	—	I A	
2478	S I 111	北西埋土	石鏃	(20.0)	(18.0)	4.0	1.41	—	I A	尖頭部・基部欠損
2479	S I 112用断面	6層	石鏃	(30.0)	18.5	4.0	1.64	—	I A	尖頭部欠損
2480	S I 112用断面	1層	石鏃	48.0	25.0	8.0	8.10	—	C	
2481	S I 112	南東埋土下位	石鏃	(31.0)	(20.0)	6.0	3.24	—	I A	尖頭部・基部欠損
2482	S I 112	北東埋土	石鏃	24.0	12.0	5.0	1.12	—	C	
2483	S I 113	床面	石鏃	(31.5)	23.0	8.0	4.68	—	I B	尖頭部欠損
2484	S I 114	土器2(床面直上)	石鏃	35.0	23.0	8.0	5.78	—	I B	
2485	S I 115	周溝	石鏃	27.0	(15.0)	4.5	1.13	—	I A	基部欠損
2486	S I 115	ベルトB-B' 7層	石鏃	(29.0)	(17.0)	3.0	1.14	—	I A	側縁部欠損
2487	S I 115	南東埋土中位	石鏃	(30.0)	18.0	3.5	1.84	—	I B	尖頭部欠損
2488	S I 115	南西埋土	石鏃	24.5	(14.0)	3.0	0.69	—	I B	基部欠損
2489	S I 118	埋土	石鏃	31.5	18.5	6.5	3.14	—	C	
2490	S I 120	周溝埋土	石鏃	29.5	18.0	4.0	2.47	—	I B	
2491	S K I 02	ベルト埋土	石鏃	22.0	18.5	7.5	2.58	V2	I B	未成品?
2492	S K I 04	埋土	石鏃	23.5	19.0	5.0	1.68	V2	I A	
2493	S K I 04	埋土	石鏃	18.0	13.0	3.0	0.50	V2	I A	
2494	S K I 09	Q N W埋土	石鏃	30.0	19.0	4.5	1.52	—	I A	
2495	S K I 10	北東埋土1層	石鏃	(21.0)	14.0	2.5	0.49	X	I A	基部欠損
2496	S K I 10	北東埋土上～中位	石鏃	20.0	17.0	3.5	1.19	—	I A	
2497	S K I 13	ベルト6層	石鏃	(29.0)	17.0	5.0	2.49	—	I A	尖頭部欠損
2498	S K I 13	ベルト4層	石鏃	27.5	20.0	4.5	1.65	—	I A	
2499	S K I 13	ベルト埋土1層	石鏃	(33.0)	20.5	4.5	2.10	—	I A	尖頭部欠損
2500	S K I 15	P P 7埋土	石鏃	(32.5)	18.5	6.0	2.69	—	I A	尖頭部欠損
2501	S K 03	1次精査	石鏃	23.0	14.5	3.0	0.74	V2	I A	
2502	S K 49	西半埋土	石鏃	41.0	(19.0)	8.0	(3.20)	V2	I A	基部欠損
2503	S K 49	西半埋土	石鏃	30.0	17.0	5.0	1.42	V2	I A	
2504	S K 50	東半埋土6層	石鏃	26.0	18.0	4.0	1.28	V2	I A	
2505	S K 100	埋土	石鏃	(43.0)	18.5	9.0	5.46	—	I A	尖頭部欠損
2506	S K 102	埋土	石鏃	30.0	19.0	5.0	2.27	—	I B	
2507	S K 108	北半埋土4層	石鏃	23.0	13.0	2.5	0.52	V2	I A	アスファルト付着
2508	S K 121	土坑周縁(木枠?)	石鏃	23.0	(14.5)	4.0	1.08	—	I A	基部欠損
2509	S K 136	埋土	石鏃	(21.0)	23.5	4.0	1.68	—	I B	尖頭部欠損
2510	S K 146	北半埋土2層	石鏃	(33.0)	16.0	5.0	2.20	—	I B	尖頭部欠損
2511	S N 01	焼土下面	石鏃	(25.0)	16.0	4.0	(1.44)	V2	I A	尖頭部・基部欠損
2512	S N 24	3層	石鏃	20.5	12.5	5.0	0.93	—	I A	
2513	S X W 15・16	C区II D 1・2 e f下層	石鏃	(20.0)	17.0	4.0	(0.99)	V2	I B	尖頭部欠損
2514	S X 07	ベルトD-D' 1層	石鏃	(31.0)	19.0	4.5	1.78	V2	II E	尖頭部欠損
2515	S X 08	ベルトD-D' 1層	石鏃	19.0	15.0	4.0	0.73	V2	I B	
2516	S X 07	ベルトD-D' 1層、貝	石鏃	(18.5)	(18.0)	(5.0)	1.47	V2	—	基部欠損
2517	S X 07-2④	貝層	石鏃	23.0	14.5	4.5	0.95	V2	I B	
2518	S X 07-不明	不明	石鏃	(17.0)	(14.0)	3.0	0.38	—	I A	尖頭部・基部欠損
2519	S X 11	埋土南東側	石鏃	32.0	20.0	7.5	3.30	—	I A	
2520	S X 11	埋土南東側	石鏃	32.0	19.0	5.0	2.08	—	I A	
2521	S X 11	南西側埋土	石鏃	25.5	23.0	9.0	4.80	—	I B	
2522	P 13	西～中央埋土	石鏃	32.5	22.0	7.0	4.98	V2	I B	
2523	P 13	西～中央埋土	石鏃	37.0	17.0	3.5	1.95	V2	I A	
2524	廃滓場	旧表土除去面	石鏃	(22.5)	12.5	3.0	(0.94)	V2	I B	尖頭部欠損
2525	廃滓場	旧表土面クリーニング	石鏃	28.0	15.0	3.0	0.99	V2	I A	
2526	II C 1 d	II層	石鏃	42.0	25.0	8.0	4.87	V2	I A	
2527	II C 5 d e	II層	石鏃	(34.0)	(19.0)	5.0	(2.47)	V2	I A	尖頭部・基部欠損
2528	II C 5 d e	II層	石鏃	32.5	(16.0)	4.5	(1.77)	V2	I B	基部欠損
2529	II C 5 d e	II層	石鏃	30.0	16.0	5.0	2.05	V2	I B	
2530	II C 5・6 d e	II層	石鏃	28.0	16.0	4.0	1.29	V2	I B	
2531	II C 7 b	II層	石鏃	26.0	20.0	4.0	1.87	V2	I A	
2532	II C 7 b	II層	石鏃	30.5	16.0	4.5	1.64	V2	I B	

第32表 石器観察表(4)

(数値): 残存値

掲載 No.	出土地点	層位	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石材	分類	備考
2533	II C 7 b	II層	石鏃	23.0	18.0	5.0	1.70	V2	I B	
2534	II C 7 b	II層	石鏃	20.5	14.0	3.0	0.81	V2	I B	
2535	II C 7 b	II層	石鏃	(17.5)	14.5	3.5	(0.85)	V2	I B	尖頭部欠損
2536	II C 7 b	II層	石鏃	29.0	21.0	18.5	4.30	V2	I B	未成品?
2537	II C 7 c	II層	石鏃	(33.5)	18.0	6.5	2.62	V2	I A	尖頭部欠損
2538	II C 7 c	II層	石鏃	25.0	15.0	4.5	1.30	V2	I B	
2539	II C 7 c	II層	石鏃	18.0	14.5	5.0	1.01	V2	I A	
2540	II C 7 c	南北ベルト埋土下位	石鏃	(16.0)	22.0	3.0	(1.32)	V2	I B	尖頭部欠損
2541	II C 7 c	包含層下位	石鏃	36.0	22.0	6.0	4.59	V2	I B	
2542	II C 7 d	II層	石鏃	36.0	(18.0)	5.0	(2.13)	V2	I A	基部欠損
2543	II C 8 d	南北ベルト埋土上位	石鏃	32.0	17.0	5.0	1.86	V2	I B	
2544	II C 7 e	II層	石鏃	29.0	19.5	5.0	2.36	V2	C	
2545	II C 7 e	II層	石鏃	23.0	17.0	3.5	1.42	V2	I B	
2546	II C 7 e	東西アゼ6層	石鏃	(30.0)	18.0	5.0	(2.27)	V2	I B	尖頭部欠損
2547	II C 7 e	東西アゼ	石鏃	22.0	16.0	3.5	0.96	V2	I A	
2548	II C 7・8 d	包含層アゼ下位	石鏃	20.0	14.0	3.0	0.76	V2	I A	
2549	II C 8・9 a	包含層アゼ下位	石鏃	(26.0)	17.0	4.0	(1.06)	V2	I A	尖頭部欠損
2550	II C 8 b	II層	石鏃	(38.0)	(19.0)	6.0	(3.28)	V2	—	基部欠損
2551	II C 8 b	包含層下位	石鏃	20.0	(15.0)	4.5	0.88	V2	I A	
2552	II C 8 c	包含層下位	石鏃	26.0	14.0	3.0	1.24	V2	I A	
2553	II C 8・9 a b c	不明	石鏃	21.0	14.0	4.0	0.88	V2	I B	
2554	II C 8・9 c	包含層アゼ中位	石鏃	23.0	17.0	5.0	1.21	V2	I A	
2555	II C 8 d	II層	石鏃	31.0	(19.0)	6.0	(2.90)	V2	I B	
2556	II C 8 d	II層	石鏃	(28.0)	21.0	4.0	(3.00)	V2	I A	
2557	II C 8 d	II層	石鏃	24.0	16.0	4.0	1.07	V2	I B	未成品?
2558	II C 8 d	II層	石鏃	(24.0)	17.0	4.0	(1.33)	V2	I B	尖頭部欠損
2559	II C 8 d	II層	石鏃	37.0	16.0	5.0	2.14	V2	I B	
2560	II C 8 d	II層、焼土混じる層	石鏃	20.0	16.0	3.5	0.90	V2	I A	
2561	II C 8 d	II層、焼土混じる層	石鏃	(27.0)	18.0	6.0	(2.20)	V2	I A	尖頭部欠損
2562	II C 8 d	II層	石鏃	24.0	14.0	7.0	1.79	V2	I A	
2563	II C 8 d	II層	石鏃	26.5	16.5	4.0	1.35	V2	I A	
2564	II C 8 d	II層	石鏃	30.0	19.0	4.0	1.97	V2	I A	
2565	II C 8 d	II層	石鏃	(19.0)	16.0	4.0	1.12	V2	I A	尖頭部欠損
2566	II C 8 d	II層	石鏃	29.5	18.0	4.5	2.03	V2	I B	
2567	II C 8 d	包含層下位	石鏃	31.0	16.0	4.5	1.60	V2	I A	
2568	II C 8 d	包含層下位	石鏃	41.0	21.0	5.0	3.00	V2	I B	
2569	II C 8 d	南北ベルト埋土中位	石鏃	28.5	19.0	5.0	2.69	V2	I B	
2570	II C 8 d	不明	石鏃	35.0	21.0	8.0	4.63	V2	I B	未成品?
2571	II C 8・9 d	包含層アゼ上位	石鏃	35.0	18.0	4.5	1.88	V2	I A	
2572	II C 8 e	II層	石鏃	33.0	19.0	5.0	2.12	V2	I A	
2573	II C 8 h	II層	石鏃	22.0	16.0	3.0	0.97	V2	I B	
2574	II C 9 a	包含層下位	石鏃	27.0	19.0	7.0	2.50	V2	I B	
2575	II C 9 c	II層	石鏃	24.5	18.0	5.0	2.02	Z1	I B	
2576	II C 9 c	II層	石鏃	(28.0)	17.0	5.0	(1.80)	V2	I A	
2577	II C 9 c	II層	石鏃	(53.0)	24.0	6.0	(7.02)	V2	I A	尖頭部欠損
2578	II C 9 c	II層	石鏃	(25.0)	15.0	5.0	(1.31)	V2	I A	尖頭部欠損
2579	II C 9 c	II層	石鏃	24.0	16.0	5.0	1.66	V2	I B	
2580	II C 9 c	II層	石鏃	33.0	20.0	7.0	3.07	V2	I A	
2581	II C 9 c	包含層下位	石鏃	19.0	16.0	4.0	0.93	V2	I A	
2582	II C 9 c	包含層下位	石鏃	22.0	18.0	6.0	1.59	V2	I A	
2583	II C 9 c	南北ベルト埋土上位	石鏃	32.0	20.0	3.0	2.02	V2	I A	
2584	II C 9 c	不明	石鏃	(30.0)	15.0	6.0	(1.97)	V2	I A	尖頭部欠損
2585	II C 9・10 c	包含層アゼ上位	石鏃	(27.0)	(22.0)	6.0	(2.31)	V2	—	基部欠損
2586	II C 9 d	II層	石鏃	37.0	19.0	7.5	4.30	V2	I B	
2587	II C 9 d	II層	石鏃	41.0	22.0	6.0	5.13	V2	I B	
2588	II C 9 d	包含層下位	石鏃	(23.0)	(19.0)	5.0	(1.89)	V2	—	基部欠損
2589	II C 9 d	南北ベルト埋土上位	石鏃	28.0	17.0	3.0	1.10	V2	I A	
2590	II C 10 a	包含層アゼ下位	石鏃	(42.0)	17.0	6.0	2.91	V2	I A	尖頭部欠損
2591	II C 10 a	包含層中位	石鏃	(31.0)	16.0	5.0	(2.02)	V2	I A	
2592	II C 10 a	ベルト上位	石鏃	25.0	16.0	5.0	1.27	V2	I A	
2593	II C 10 b	II層	石鏃	26.0	13.0	5.0	1.56	V2	I B	
2594	II C 10 b	ベルト埋土下位	石鏃	37.0	17.0	5.0	2.56	V2	I A	
2595	II C 10 b	ベルト埋土中位	石鏃	37.0	(14.5)	6.0	(2.47)	V2	I A	基部欠損
2596	II C 10 b	包含層上位	石鏃	18.5	13.5	2.5	0.54	V2	I B	
2597	II C 10 c	II層	石鏃	21.0	17.0	3.0	1.29	V2	I B	
2598	II C 10 c	II層	石鏃	32.0	20.0	7.0	4.51	V2	I B	
2599	II C 10 c	II層	石鏃	27.0	20.0	5.0	1.87	V2	I A	
2600	II C 10 c	包含層アゼ中位	石鏃	24.0	20.0	5.0	1.57	V2	I A	
2601	II C 10 c	包含層中位	石鏃	27.0	20.5	6.0	3.67	V2	I B	
2602	II C 10 c	包含層中位	石鏃	18.0	16.0	5.0	1.29	V2	I B	
2603	II C 10 c	南北ベルト埋土上位	石鏃	40.5	20.5	6.0	4.10	V2	I A	
2604	II C 10 c	不明	石鏃	(22.0)	(15.0)	4.0	(0.93)	V2	—	基部欠損
2605	II C 10 c	不明	石鏃	(17.0)	14.0	3.0	(0.56)	V2	I A	尖頭部欠損
2606	II C 10 d	II層	石鏃	30.0	20.0	9.0	4.33	V2	C	
2607	II C 10 d	II層	石鏃	(31.0)	21.0	5.0	(2.57)	V2	I A	尖頭部欠損
2608	II C 10 d	II層	石鏃	33.0	18.0	5.0	2.41	V2	I B	
2609	II C 10 d	II層	石鏃	24.0	17.5	4.5	1.41	V2	I A	
2610	II C 10 d	II層	石鏃	(29.0)	17.0	3.0	(1.73)	V2	I A	尖頭部欠損

第32表 石器観察表(5)

(数値): 残存値

掲載No.	出土地点	層位	器種	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	分類	備考
2611	II C 10 d	II層	石鏃	23.0	15.0	5.0	1.47	V2	I B	
2612	II C 10 d	南北ベルト埋土下位	石鏃	41.0	20.0	5.0	4.05	V2	I A	両側縁に挟あり
2613	II C 10 d	南北ベルト埋土下位	石鏃	27.0	15.0	3.0	1.27	V2	I A	
2614	II C 10 d	南北ベルト埋土下位	石鏃	(27.0)	17.0	6.5	(2.38)	V2	I B	尖頭部欠損
2615	II C 10 d	包含層下位	石鏃	(26.0)	21.0	5.0	(2.47)	V2	I B	
2616	II C 10 d	包含層下位	石鏃	23.0	(14.0)	4.0	(0.86)	V2	I A	基部欠損
2617	II D 1 d	I~II層	石鏃	(27.0)	10.0	3.0	(1.20)	V2	I A	尖頭部欠損
2618	II D 1 d ~ 2 d	不明	石鏃	26.0	16.0	4.5	1.56	V2	I B	
2619	II D 2 d	II層	石鏃	33.0	16.6	4.0	1.53	V2	I A	
2620	III B 2 j	包含層下位	石鏃	(22.0)	13.5	3.5	(1.32)	V2	I B	尖頭部欠損
2621	III B 2 j	包含層下位	石鏃	22.5	20.0	4.0	1.81	V2	I A	
2622	III B 2 j	包含層下位	石鏃	18.0	12.0	4.5	0.64	V2	I B	
2623	III B 2 j	包含層下位	石鏃	(21.0)	14.0	4.0	(1.14)	V2	I B	尖頭部欠損
2624	III B 2 j	包含層下位	石鏃	23.0	19.0	8.0	2.69	V2	I A	
2625	III B 2 j	包含層上~中位	石鏃	31.0	15.0	4.0	1.81	V2	I B	
2626	III B 2 j	包含層上~中位	石鏃	(23.0)	19.0	4.0	(1.69)	V2	I B	尖頭部欠損
2627	III B 2 j ~ 3 j	包含層中~下位	石鏃	22.0	16.0	5.0	1.47	V2	I B	
2628	III B 3 a	II層	石鏃	22.0	15.0	4.0	1.01	V2	I A	
2629	III B 3 j	II層~焼土検出面	石鏃	24.5	12.0	3.0	1.12	V2	I A	
2630	III B 3 j	II層~焼土検出面	石鏃	29.0	(21.0)	6.0	(1.80)	V2	I A	基部欠損
2631	III B 3 j	II層焼土検出面	石鏃	25.0	16.0	4.5	1.41	V2	I B	
2632	III B 3 j	II層~焼土検出面	石鏃	(22.0)	17.0	6.5	(2.34)	V2	I B	尖頭部欠損
2633	III B 3 j	II層~焼土検出面	石鏃	(17.0)	22.0	4.5	(1.33)	V2	I A	尖頭部欠損
2634	III B 3 j	II層焼土検出面	石鏃	35.0	20.0	5.0	2.15	V2	I A	
2635	III B 4・5 i j	包含層上面	石鏃	34.0	25.5	(7.0)	(4.69)	V2	I B	側縁部欠損
2636	III B 4・6 i j	包含層上面	石鏃	37.0	17.0	4.0	1.96	V2	I A	
2637	III B 6 i	II層	石鏃	(34.0)	17.0	6.0	(2.77)	V2	I A	側縁部欠損
2638	III B 7 h	II層	石鏃	31.0	17.0	8.0	2.47	V2	I B	
2639	III B 7 h	II層	石鏃	(19.0)	21.0	4.5	(1.83)	V2	I B	尖頭部欠損
2640	III B 7 h	カクラン	石鏃	35.0	16.0	6.0	2.51	V2	I B	
2641	III B 7 h	カクラン	石鏃	(22.0)	14.0	5.0	(1.28)	V2	I A	基部欠損
2642	III B 7 h	不明	石鏃	26.0	17.0	4.0	1.38	V2	I A	
2643	III B 7 i	II層	石鏃	26.0	16.0	5.0	1.47	V2	I A	
2644	III B 7 i	II層	石鏃	(29.5)	(15.5)	5.0	(1.98)	V2	—	尖頭部・基部欠損
2645	III B 7 i	II層	石鏃	20.0	14.0	3.0	0.83	V2	I A	
2646	III B 7 i	II層	石鏃	17.5	16.5	3.0	0.59	V2	I A	
2647	III B 7 i	II層	石鏃	30.0	17.0	4.0	1.89	V2	I B	
2648	III B 7 i	II層	石鏃	25.0	(17.0)	3.5	(1.36)	V2	I B	基部欠損
2649	III B 7 i	II層	石鏃	(18.0)	22.0	3.0	(1.78)	V2	I B	基部欠損
2650	III B 7 i	II層	石鏃	36.0	20.0	5.0	2.78	V2	I A	
2651	III B 7 i	II層	石鏃	21.5	14.0	5.5	1.17	V2	I A	尖頭部欠損
2652	III B 7 i	II層	石鏃	22.0	(16.0)	4.0	(0.98)	V2	I B	基部欠損
2653	III B 8 j	II層	石鏃	(20.0)	17.0	6.0	(1.94)	V2	I A	尖頭部欠損
2654	III B 8 j	II層	石鏃	(30.0)	(19.0)	5.0	(2.33)	V2	I A	尖頭部・基部欠損
2655	III B 8 j	II層	石鏃	32.5	18.5	5.0	1.71	V2	I A	
2656	III B 9 b	II層	石鏃	(35.0)	17.0	5.0	2.25	—	I A	尖頭部・基部欠損
2657	III B 9 i	II層	石鏃	(25.0)	17.0	5.0	(1.68)	V2	I A	尖頭部欠損
2658	III B 9 i	II層	石鏃	(22.0)	17.0	6.0	(2.05)	V2	I B	尖頭部欠損
2659	III B 9 i	II層	石鏃	(25.0)	(12.0)	4.0	(1.04)	V2	I A	側縁部欠損
2660	III B 3 j	II層~焼土検出面	石鏃	53.0	23.0	7.0	4.99	V2	I A	
2661	III B 3 j	II層焼土検出面	石鏃	(17.0)	16.0	3.0	(0.77)	V2	I A	尖頭部欠損
2662	III C 1 a	ベルト埋土下位	石鏃	35.0	16.0	4.0	1.84	V2	I A	尖頭部欠損
2663	III C 1 a	包含層下位	石鏃	(23.0)	(17.0)	5.5	(1.41)	V2	I A	尖頭部欠損
2664	III C 1 a	包含層中~下位	石鏃	18.0	11.0	3.5	0.66	V2	I A	
2665	III C 1 a	包含層中~下位	石鏃	(18.0)	15.0	3.0	(0.67)	V2	I A	尖頭部欠損
2666	III C 1 a	包含層中~下位	石鏃	35.0	19.0	4.5	2.51	V2	I A	
2667	III C 1 a	包含層上位	石鏃	32.0	18.0	5.0	1.95	V2	I A	
2668	III C 1 b	II層	石鏃	(28.0)	19.5	6.5	(2.72)	V2	I A	尖頭部欠損
2669	III C 1 b	II層	石鏃	36.5	15.0	7.0	2.46	V2	I B	
2670	III C 1 b	II層	石鏃	30.0	17.0	5.0	1.90	V2	I B	
2671	III C 1 b	包含層上位	石鏃	29.0	19.0	5.0	1.88	V2	I B	
2672	III C 1 b	包含層上位	石鏃	(18.0)	18.0	3.5	(1.25)	V2	I B	尖頭部欠損
2673	III C 1 c	II層	石鏃	41.0	23.0	6.0	3.78	V2	I B	
2674	III C 1 c	東西ベルト埋土上位	石鏃	21.0	14.5	3.0	1.00	V2	I B	
2675	III C 1 d	II層	石鏃	21.0	18.5	7.0	2.17	V2	I B	
2676	III C 1 d	II層	石鏃	(29.5)	19.0	5.0	(2.46)	V2	I B	尖頭部欠損
2677	III C 1 d	II層	石鏃	(23.0)	(13.5)	45.0	(1.12)	V2	—	尖頭部・基部欠損
2678	III C 1 d	不明	石鏃	32.0	19.5	6.0	2.53	V2	I B	
2679	III C 2 a	II層	石鏃	27.0	20.0	4.0	2.88	V2	I B	
2680	III C 2 b	包含層下位	石鏃	(30.0)	(16.0)	6.0	(2.19)	V2	I A	尖頭部欠損
2681	III C 3 a	II層	石鏃	21.0	16.0	4.0	1.54	V2	I B	
2682	III C 3 a	II層	石鏃	29.5	21.0	6.0	2.84	V2	I A	
2683	III C 3 a	II層	石鏃	23.0	20.0	7.0	1.42	V2	I A	
2684	III C 3 a	II層	石鏃	25.5	19.5	4.0	2.69	V2	I B	
2685	III C 3 a	II層	石鏃	(23.0)	(14.5)	7.0	(0.86)	V2	I A	基部欠損
2686	III C 3 a	包含層1段目	石鏃	(30.5)	16.0	4.0	(2.04)	V2	I B	
2687	III C 3 a	包含層1段目	石鏃	(34.0)	18.5	5.5	(2.32)	V2	I B	
2688	III C 4 a	II層	石鏃	26.0	18.0	4.0	1.43	V2	C	

第32表 石器観察表(6)

(数値): 残存値

掲載 No.	出土地点	層位	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石材	分類	備考
2689	ⅢC 4・5 i j	包含層上面	石鏃	(36.0)	21.0	3.0	(2.23)	V2	I A	
2690	ⅢC 7 d	Ⅱ層下部検出面	石鏃	(25.0)	19.0	5.0	(2.27)	V2	I A	尖頭部欠損
2691	ⅢC 8 d	Ⅱ層	石鏃	(15.5)	19.0	4.0	(0.87)	V2	I A	尖頭部欠損
2692	ⅢC 8 d	Ⅱ層検出面	石鏃	23.0	16.0	4.0	1.37	—	I A	
2693	ⅢC 8 d	Ⅱ層検出面	石鏃	(19.5)	18.5	5.0	1.96	—	I A	尖頭部欠損
2694	ⅢC 8 e	Ⅱ層	石鏃	18.0	15.0	5.0	1.28	—	I B	
2695	ⅢC 8 e	Ⅱ層検出面	石鏃	30.5	15.5	6.5	2.32	—	I A	
2696	ⅢC 8 f	Ⅱ層	石鏃	27.0	18.0	3.5	1.31	—	I A	
2697	ⅢC 8 h	Ⅱ層	石鏃	(23.5)	17.5	4.5	1.70	—	I A	尖頭部欠損
2698	ⅢC 8 h	Ⅱ層検出面	石鏃	(23.0)	14.5	6.0	(2.13)	V2	I A	尖頭部欠損
2699	ⅢC 9 a	Ⅱ層検出面	石鏃	18.0	17.0	3.0	0.42	—	I A	
2700	ⅢC 9 c	Ⅱ層	石鏃	21.5	(16.5)	3.0	0.97	—	I B	基部欠損
2701	ⅢC 9 c	Ⅱ層	石鏃	17.0	13.0	3.0	0.57	—	I A	
2702	ⅢC 9 c	Ⅱ層	石鏃	40.0	16.0	7.5	3.74	—	I B	
2703	ⅢC 9 d	Ⅱ層下部検出面	石鏃	24.5	15.0	4.0	1.22	V2	I B	
2704	ⅢC 9 d	Ⅱ層下部検出面	石鏃	22.0	15.0	3.0	0.87	V2	I A	
2705	ⅢC 9 d	Ⅱ層	石鏃	(24.0)	(11.0)	3.5	0.95	—	I B	側縁部欠損
2706	ⅢC 9 d	Ⅱ層	石鏃	(25.0)	(16.5)	6.0	2.07	—	—	基部欠損
2707	ⅢC 9 d	Ⅱ層	石鏃	28.0	18.0	6.0	2.11	—	I B	
2708	ⅢC 9 e	Ⅱ層	石鏃	22.5	15.0	4.5	0.92	V2	I B	
2709	ⅢC 9 e	Ⅱ層	石鏃	15.0	14.5	5.0	0.68	e	I B	
2710	ⅢC 9 f	Ⅱ層下部検出面	石鏃	(30.0)	(16.0)	5.0	(1.53)	V2	—	基部欠損
2711	ⅢC 9 g	Ⅱ層	石鏃	35.0	(11.0)	7.5	3.00	—	I B	側縁部欠損
2712	ⅢC 9 j	Ⅱ層	石鏃	(23.0)	11.0	3.0	0.59	—	I A	尖頭部欠損
2713	ⅢC 9 j	Ⅱ層	石鏃	(19.0)	17.0	5.0	1.34	—	I A	尖頭部欠損
2714	ⅢC 9 j	Ⅱ層検出面	石鏃	29.5	14.0	3.0	0.97	V2	I A	アスファルト付着
2715	ⅢC 10 a	I～Ⅱ層	石鏃	(21.5)	17.0	4.5	1.10	—	I A	尖頭部欠損
2716	ⅢC 10 b	Ⅱ層	石鏃	18.5	12.0	3.0	0.40	V2	I A	
2717	ⅢC 10 b	Ⅱ層	石鏃	(21.0)	21.0	6.0	2.44	—	I B	尖頭部欠損
2718	ⅢC 10 c	Ⅱ層	石鏃	(24.0)	(15.0)	7.0	1.76	—	I A	基部欠損
2719	ⅢC 10 d	Ⅱ層	石鏃	(26.0)	(19.0)	4.5	(1.94)	V2	I A	基部欠損
2720	ⅢC 10 e	Ⅱ層	石鏃	16.0	15.0	2.0	0.46	—	I A	
2721	ⅢC 10 f	Ⅱ層	石鏃	(30.5)	16.5	5.0	1.50	—	I A	尖頭部・基部欠損
2722	ⅢC 10 j	Ⅱ層	石鏃	(51.0)	19.5	5.5	4.65	—	I A	尖頭部欠損
2723	ⅢD 7 b	トレンチ内	石鏃	30.0	14.0	5.0	1.28	V2	I A	基部欠損
2724	ⅢD 8 a	Ⅱ層	石鏃	23.0	16.0	3.0	0.79	—	I A	
2725	ⅢD 9 b	Ⅱ層	石鏃	(25.0)	14.0	5.0	1.39	—	C	基部欠損
2726	ⅢD 10 c	Ⅱ層	石鏃	(28.0)	22.0	7.0	(3.61)	V2	C	基部欠損
2727	ⅢD 10 c	Ⅱ層	石鏃	22.0	(17.0)	4.0	(1.37)	V2	C	基部欠損
2728	ⅢD 10 c	Ⅱ層	石鏃	26.0	14.5	3.0	0.71	—	I A	アスファルト付着?
2729	ⅢD 10 d	Ⅱ層	石鏃	19.0	14.0	2.5	0.61	V2	I B	
2730	ⅣB 1 g	Ⅱ層検出面	石鏃	30.0	19.0	6.0	2.27	—	I A	
2731	ⅣB 1 j	Ⅱ層	石鏃	(20.5)	23.0	7.0	3.49	—	I B	尖頭部欠損
2732	ⅣB 3 j	Ⅱ層	石鏃	34.0	(16.0)	4.0	2.08	—	I B	基部欠損
2733	ⅣB 4 h	Ⅱ層	石鏃	(37.0)	(20.0)	6.0	(3.60)	V2	I A	尖頭部・基部欠損
2734	ⅣB 4 j	Ⅱ層	石鏃	(39.5)	(27.0)	8.0	5.43	—	—	基部欠損
2735	ⅣB 5 j	Ⅱ層	石鏃	28.0	18.5	4.5	1.80	V2	I A	
2736	ⅣB 5 j	Ⅱ層	石鏃	(39.0)	(16.0)	6.0	2.35	—	I A	基部欠損
2737	ⅣC 1 d	Ⅱ層	石鏃	17.0	15.0	6.0	1.01	—	I A	未製品?
2738	ⅣC 1 d	Ⅱ層	石鏃	50.0	19.0	11.5	8.03	—	ⅡE	未製品?
2739	ⅣC 1 d	Ⅱ層検出面	石鏃	(14.0)	13.0	2.0	0.32	—	I A	尖頭部欠損
2740	ⅣC 1 e	Ⅱ層	石鏃	(29.0)	18.5	4.0	2.12	—	I A	尖頭部欠損
2741	ⅣC 1 f	Ⅱ層	石鏃	26.0	18.0	5.0	2.21	—	I B	
2742	ⅣC 1 f	Ⅱ層	石鏃	(17.0)	14.0	4.0	0.77	—	I A	尖頭部欠損
2743	ⅣC 1 f	Ⅱ層検出面	石鏃	17.0	12.0	3.5	0.50	S	I A	
2744	ⅣC 2 a	Ⅱ層	石鏃	(16.0)	17.0	4.5	1.24	V2	I B	尖頭部欠損
2745	ⅣC 2 b	Ⅱ層検出面	石鏃	21.0	15.5	5.0	1.48	—	I A	
2746	ⅣC 2 b	Ⅱ層検出面	石鏃	(49.0)	(23.0)	6.0	4.63	—	I A	基部欠損
2747	ⅣC 2 b	Ⅱ層検出面	石鏃	17.0	9.0	3.0	0.76	—	I A	
2748	ⅣC 2 c	Ⅱ層	石鏃	(22.0)	(16.0)	3.5	1.14	—	I A	基部欠損
2749	ⅣC 2 i	Ⅱ層	石鏃	28.0	17.0	3.0	0.87	—	I A	
2750	ⅣC 2 i	Ⅱ層	石鏃	(22.0)	(15.5)	3.0	0.74	—	I A	尖頭部・基部欠損
2751	ⅣC 2 j	Ⅱ層	石鏃	(15.5)	14.0	3.5	0.76	—	I B	尖頭部欠損
2752	ⅣC 3 a	Ⅱ層	石鏃	32.0	13.0	6.0	2.22	—	D	
2753	ⅣC 3 a	Ⅱ層	石鏃	(36.0)	22.5	13.0	6.84	—	I B	尖頭部欠損、未製品?
2754	ⅣC 3 b	Ⅱ層	石鏃	23.0	16.5	3.0	1.33	—	I B	
2755	ⅣC 3 d	Ⅱ層検出面	石鏃	29.0	24.0	8.5	3.93	—	I B	
2756	ⅣC 3 g	Ⅱ層	石鏃	(15.5)	16.0	3.0	0.54	—	I A	尖頭部欠損
2757	ⅣC 3 i	Ⅱ層	石鏃	(17.0)	(17.0)	4.0	0.92	—	—	基部欠損
2758	ⅣC 3 i	Ⅱ層上位	石鏃	20.0	15.0	2.0	0.46	—	I A	
2759	ⅣC 3 j	Ⅱ層	石鏃	(22.0)	13.0	3.0	0.65	—	I A	尖頭部欠損
2760	ⅣC 3 j	Ⅱ層	石鏃	21.0	(15.0)	2.5	0.57	—	I A	基部欠損
2761	ⅣC 3 j	Ⅱ層	石鏃	(31.0)	20.0	5.0	3.05	—	I A	
2762	ⅣC 3 j	Ⅱ層	石鏃	(27.0)	19.0	4.5	2.30	—	I A	尖頭部欠損
2763	ⅣC 4 b	Ⅱ層	石鏃	32.0	23.0	7.5	5.28	—	I B	
2764	ⅣC 4 d	Ⅱ層	石鏃	27.0	14.0	5.0	1.56	—	I B	
2765	ⅣC 4 e	Ⅱ層	石鏃	27.0	17.5	6.5	2.72	—	I A	
2766	ⅣC 4 j	Ⅱ層②	石鏃	35.0	25.5	7.5	7.23	—	I B	

第32表 石器観察表(7)

(数値): 残存値

掲載No.	出土地点	層位	器種	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	分類	備考
2767	IVC 4 i	II層	石鏃	(21.0)	20.0	6.0	2.38	—	I A	尖頭部欠損
2768	IVC 4 j	II層	石鏃	35.0	(17.0)	6.5	2.79	—	I A	基部欠損
2769	IVC 4 i	ベルトII層	石鏃	(28.0)	(19.5)	4.5	1.95	—	—	基部欠損
2770	IVC 4 i	II層上位	石鏃	(21.0)	16.5	3.0	1.27	—	I A	尖頭部欠損
2771	IVC 5 a	II層	石鏃	57.0	27.0	9.0	11.86	—	I B	未製品?
2772	IVC 5 a	II層	石鏃	45.0	21.0	12.0	7.71	e	I B	未製品?
2773	IVC 5 c	II層	石鏃	24.0	15.0	2.0	0.70	—	I A	
2774	IVC 5 c	II層	石鏃	(35.0)	(21.0)	9.0	5.69	—	I B	基部欠損
2775	IVC 5 c	II層	石鏃	(28.0)	(13.0)	4.0	1.21	—	—	基部欠損
2776	IVC 5 c	II層	石鏃	(35.5)	19.0	4.5	2.25	—	I A	側縁部欠損
2777	IVC 5 c	II層	石鏃	(28.0)	17.0	4.5	1.17	—	I A	基部欠損
2778	IVC 5 c	II層	石鏃	(25.0)	(16.0)	5.0	1.58	—	I A	尖頭部・基部欠損
2779	IVC 5 c	II層	石鏃	21.0	15.0	4.0	0.87	—	I B	
2780	IVC 5 c	II層	石鏃	(20.0)	(18.0)	4.0	1.00	—	I A	尖頭部・基部欠損
2781	IVC 5 c	II層	石鏃	(23.0)	(19.0)	4.0	1.41	—	I A	尖頭部・基部欠損
2782	IVC 5 c	II層	石鏃	(48.0)	18.0	7.0	4.70	—	I A	尖頭部欠損
2783	IVC 5 d	II層	石鏃	26.0	22.0	5.0	2.95	—	C	未製品?
2784	IVC 5 f	II層	石鏃	32.0	21.0	4.0	2.27	—	I A	
2785	IVC 5 h	II層	石鏃	24.0	21.0	7.0	3.00	—	I B	
2786	IVC 5 i	II層	石鏃	33.0	20.0	9.0	5.40	—	I B	
2787	IVC 5 i	II層	石鏃	33.0	16.0	4.5	2.26	—	I B	
2788	IVC 5 j	II層	石鏃	32.0	19.0	8.0	3.59	—	I B	
2789	IVC 5 j	II層下位	石鏃	(29.0)	17.0	5.0	1.83	—	I A	尖頭部欠損
2790	IVC 6 b	南側落ち込み下層	石鏃	(25.0)	19.5	5.0	2.70	—	I A	尖頭部欠損
2791	IVC 6 b	南側落ち込み上層	石鏃	27.0	14.0	5.0	1.48	—	I A	
2792	IVC 6 c	II層	石鏃	29.0	11.0	3.5	1.17	—	D	
2793	IVC 6 c	II層	石鏃	(23.0)	(15.5)	4.0	1.12	—	II E?	基部欠損
2794	IVC 6 c	II層	石鏃	16.5	14.0	3.0	0.56	W2	I A	
2795	IVC 6 c	南側	石鏃	(23.0)	(18.0)	5.0	1.65	—	I A	尖頭部・基部欠損
2796	IVC 6 c	南側	石鏃	(36.0)	16.0	8.0	3.18	—	I A	尖頭部・基部欠損
2797	IVC 6 e	II層	石鏃	(30.0)	19.0	5.0	2.43	—	I B	尖頭部欠損
2798	IVC 6 e	II層	石鏃	24.5	14.0	3.0	0.80	—	I A	
2799	IVC 6 e	II層	石鏃	(32.0)	(13.0)	5.5	1.86	—	I A	側縁部欠損
2800	IVC 6 e	II層	石鏃	(20.0)	(19.0)	3.0	1.04	—	—	基部欠損
2801	IVC 6 e	II層	石鏃	(21.5)	17.0	4.0	1.62	—	I B	尖頭部欠損
2802	IVC 6 e	II層	石鏃	(33.0)	23.0	7.0	5.54	—	—	基部欠損
2803	IVC 6 e	II層	石鏃	28.0	14.5	3.0	0.98	—	I A	
2804	IVC 6 e	II層	石鏃	(24.0)	(17.0)	4.0	1.67	—	I A?	尖頭部・基部欠損
2805	IVC 6 e	II層	石鏃	24.5	15.0	3.5	1.06	—	I A	
2806	IVC 6 e	II層	石鏃	26.0	15.0	4.0	1.29	—	I B	
2807	IVC 6 e	II層	石鏃	(24.0)	(18.0)	5.0	1.80	—	I A	尖頭部・基部欠損
2808	IVC 6 h	II層	石鏃	(26.0)	(19.0)	3.5	1.81	—	I A	尖頭部欠損
2809	IVC 7 c	南側落ち込み上層	石鏃	(24.0)	(16.0)	6.0	1.94	—	—	基部欠損
2810	IVC 7 c	南側落ち込み上層	石鏃	(29.0)	16.0	3.5	1.59	—	I A	尖頭部欠損
2811	IVD 1 a	II層	石鏃	37.5	22.5	12.0	7.32	—	I B	
2812	IVD 1 a	II層	石鏃	(20.0)	(16.0)	5.0	1.09	—	I A	基部欠損
2813	IVD 1 b	II層	石鏃	(34.0)	18.0	6.5	(0.03)	V2	I A	尖頭部欠損
2814	IVD 2 a	II層	石鏃	25.0	17.0	4.0	1.27	—	I A	
2815	IVD 2 a	II層	石鏃	26.0	12.0	4.0	0.96	—	I A	
2816	IVD 2 a・3 a	II~III層	石鏃	34.0	21.0	6.0	3.83	—	I B?	
2817	IVD 2 a・3 a	II~III層	石鏃	27.0	(20.0)	4.5	2.55	—	I B?	基部欠損
2818	IVD 2 a・3 a	II~III層	石鏃	(37.0)	(21.0)	7.0	4.57	—	C	基部欠損
2819	IVD 3 b	II~III層	石鏃	(20.0)	17.0	4.0	1.30	—	I B	尖頭部欠損
2820	T 7	I~II層	石鏃	(19.0)	17.0	3.0	(0.91)	V2	I A	尖頭部欠損
2821	T 209	南側II層	石鏃	(22.5)	(20.5)	4.0	(1.74)	V2	—	基部欠損
2822	T 1019	表土下110~130cm 黒褐色土	石鏃	48.0	18.0	9.0	7.68	—	C	未製品?
2823	南端トレンチ	拡張部II層	石鏃	14.0	12.0	4.0	0.34	V2	I A	
2824	北端	I層	石鏃	28.0	17.0	3.5	0.77	V2	I A	
2825	北端	I層	石鏃	26.5	18.0	4.0	1.47	V2	I B	
2826	南斜面	I層	石鏃	28.0	20.0	6.0	3.24	V2	—	未成品?
2827	南斜面	II~III層	石鏃	30.5	19.0	4.0	1.65	V2	I A	
2828	尾根部	検出面IV層	石鏃	27.0	(15.0)	3.0	(0.81)	V2	I A	基部欠損
2829	AB区の境	表採	石鏃	29.5	18.0	6.0	2.09	V2	I A	
2830	不明	南東埋土中~下位	石鏃	35.0	14.5	5.0	2.49	V2	D?	
2831	不明	中位層南北ベルト埋土	石鏃	23.0	18.0	4.0	1.39	V2	I B	
2832	不明	排土中	石鏃	(14.0)	14.0	2.5	(0.41)	X	I A	尖頭部欠損
2833	不明	不明	石鏃	(24.0)	(18.5)	6.0	2.63	—	—	基部欠損
2834	不明	不明	石鏃	34.5	20.0	8.5	5.15	V2	I B	
2835	不明	不明	石鏃	25.0	17.0	6.0	1.60	V2	I A	
2836	不明	不明	石鏃	(29.5)	20.0	5.0	(2.28)	V2	—	尖頭部・基部欠損
2837	不明	不明	石鏃	22.0	18.0	3.5	1.13	V2	I B	
2838	不明	不明	石鏃	(21.0)	14.5	4.5	(1.10)	V2	I A	尖頭部欠損
2839	不明	不明	石鏃	26.0	18.0	3.0	1.28	V2	I A	
2840	S I 15	南東埋土下位	尖頭器様石器	40.0	23.5	10.0	7.18	V2	—	未成品?
2841	S I 18	①ベルト5層	尖頭器様石器	(26.0)	(28.0)	5.0	(3.22)	V2	I B	基部欠損
2842	S I 18	①ベルト3層	尖頭器様石器	32.0	(26.5)	8.0	(6.31)	V2	I B	
2843	S I 18	南東埋土中~下位	尖頭器様石器	(43.0)	24.5	10.0	(10.33)	V2	—	尖頭部欠損
2844	S I 25	南西部ベルト1/4埋土上部	尖頭器様石器	(30.0)	25.0	7.0	(5.07)	V2	—	尖頭部欠損

第32表 石器観察表(8)

(数値): 残存値

掲載 No.	出土地点	層位	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石材	分類	備考
2845	S I 74	Q S E埋土上~中位	尖頭器様石器	41.0	25.0	10.0	8.38	V2	I B	
2846	S I 75	北西埋土下位	尖頭器様石器	49.0	32.0	11.0	16.96	—	I B	
2847	S I 84	埋土中~下位	尖頭器様石器	37.0	25.0	6.0	6.32	—	II C	
2848	S I 91	埋土	尖頭器様石器	49.0	33.0	11.0	18.43	—	I	
2849	S I 111	北西埋土	尖頭器様石器	45.0	19.0	5.5	5.24	—	I A	
2850	S I 112	南東埋土下位	尖頭器様石器	(23.0)	(23.0)	6.0	3.27	—	I A	尖頭部欠損
2851	S K 91	埋土3層	尖頭器様石器	40.0	31.0	8.0	7.97	V2	I A	
2852	P 13	西~中央埋土	尖頭器様石器	38.0	25.0	9.0	7.45	X	I B	
2853	II C 7 d	II層	尖頭器様石器	35.0	23.0	5.0	3.40	V2	I C	
2854	II C 8 c	包含層下位	尖頭器様石器	41.0	30.0	7.0	8.41	X	I B	
2855	II C 8 d	II層、焼土混じる層	尖頭器様石器	(37.0)	27.0	6.0	(4.87)	V2	I B	
2856	II C 8 d	南北ベルト埋土上位	尖頭器様石器	44.0	31.0	11.0	14.12	V2	—	
2857	II C 8・9 d	包含層アゼ中位	尖頭器様石器	43.0	27.0	6.0	7.63	V2	I B	
2858	II C 9 d	II層	尖頭器様石器	(34.0)	23.0	7.0	(4.90)	V2	I B	基部欠損
2859	II C 10 a	ベルト埋土下位	尖頭器様石器	37.0	(29.0)	8.0	(9.13)	V2	I B	側縁部欠損
2860	II C 10 b	II層	尖頭器様石器	41.0	26.0	9.0	8.08	V2	I B	
2861	III B 7 h	カクラン	尖頭器様石器	(47.0)	29.0	9.0	(12.89)	V2	I B	基部欠損
2862	III C 1 c	包含層下位	尖頭器様石器	34.0	28.0	7.0	7.97	V2	—	
2863	III C 1 c	包含層アゼ	尖頭器様石器	40.0	24.5	10.0	7.70	V2	—	
2864	III C 1 d	II層	尖頭器様石器	28.0	24.0	7.5	4.59	V2	—	
2865	III C 1 d	II層	尖頭器様石器	(29.0)	24.0	4.0	(2.40)	V2	I B	基部欠損
2866	III C 1 d~2 d	斜面トレンチII層	尖頭器様石器	43.0	28.0	8.0	8.94	V2	—	
2867	III C 8 d	II層検出面	尖頭器様石器	55.0	34.5	10.0	16.15	—	I A	
2868	IV C 3 d	II層検出面	尖頭器様石器	37.0	23.0	7.0	5.81	—	I B	
2869	IV C 5 a	II層	尖頭器様石器	37.0	26.0	10.0	10.14	—	I C	
2870	IV C 5 b	II層	尖頭器様石器	39.0	22.0	8.0	6.33	—	I A	
2871	IV C 5 c	II層	尖頭器様石器	41.0	25.0	10.0	6.60	—	I B	
2872	IV C 5 h	不明	尖頭器様石器	(17.0)	(20.0)	5.0	1.62	—	I A	尖頭部欠損
2873	IV C 5 i	II層	尖頭器様石器	46.0	29.0	10.0	12.19	—	I A	
2874	IV C 7 c	上層	尖頭器様石器	(32.0)	23.0	6.0	4.83	—	I B	
2875	IV D 2 b	II層	尖頭器様石器	45.0	37.0	9.0	12.56	—	I B	
2876	T 11	I層	尖頭器様石器	31.0	24.5	7.0	4.91	V2	II B	
2877	不明	不明	尖頭器様石器	35.0	21.0	4.0	2.95	V2	—	
2878	S I 37	南西埋土	尖頭器	61.0	24.5	14.5	20.39	—	I	
2879	S K 78	北半埋土3層	尖頭器	(38.0)	(28.0)	9.5	(13.61)	V2	—	尖頭部・基部欠損
2880	II C 7・8 d	包含層アゼ下位	尖頭器	(111.0)	35.0	8.0	(34.90)	V2	—	尖頭部・基部欠損
2881	II C 7 e	II層	尖頭器	(47.5)	20.0	9.5	(9.29)	V2	—	基部欠損
2882	II C 9 d	II層	尖頭器	70.0	21.0	8.0	15.87	V2	—	未成品?
2883	III B 3 j	不明	尖頭器	(25.0)	(16.5)	4.0	(1.70)	V2	—	基部欠損
2884	III B 9 j	II層	尖頭器	59.5	24.0	5.0	7.10	V2	—	
2885	III C 3 a	包含層1段目	尖頭器	77.0	26.5	14.0	31.20	V2	—	未成品?
2886	IV C 6 b	下層	尖頭器	(16.0)	(17.0)	(10.0)	2.06	—	I	
2887	S I 34	北東③埋土下位	石槍	(34.5)	24.0	11.5	11.46	—	I	尖頭部・基部欠損
2888	S I 35	北西埋土下位	石槍	(53.0)	27.0	10.0	13.96	—	I	尖頭部欠損
2889	S I 55	埋土	石槍	(52.0)	21.0	9.0	11.22	—	I	基部欠損
2890	S I 58	南東埋土上位	石槍	(49.0)	24.0	9.0	9.48	—	I	基部欠損
2891	S K I 13	ベルト埋土1層	石槍	(68.0)	26.0	11.0	18.36	—	I	基部欠損
2892	S K I 13	ベルト埋土1層	石槍	(94.0)	34.5	19.0	58.81	—	I	基部欠損
2893	IV B 1 g	II層検出面	石槍	(52.0)	29.0	15.0	31.55	—	I	尖頭部欠損
2894	IV C 1 j	II層	石槍	(30.0)	27.5	8.0	6.41	—	I	基部欠損
2895	IV C 2 d	II層検出面	石槍	52.5	22.0	13.0	13.61	—	I	
2896	IV D 2・3 a	II~III層	石槍	43.0	22.0	10.0	9.02	—	I	
2897	S I 13	ベルトA-A' I層	石錐	42.0	16.0	7.0	3.92	V2	I	
2898	S I 34	北東③埋土下位	石錐	30.0	20.0	8.0	2.93	V2	II A	
2899	S I 44	北西埋土1層	石錐	(54.0)	16.0	12.0	7.70	V2	II B	錐部欠損
2900	S I 53	Q S W埋土	石錐	45.0	25.0	12.0	10.38	V2	II A	
2901	S I 61	P P 9	石錐	39.0	21.5	6.0	4.76	—	II A	
2902	S I 61	北埋土上位	石錐	(35.0)	27.0	12.0	7.04	V2	I A	錐部欠損
2903	S I 62	埋土中位	石錐	39.5	12.5	9.0	3.14	—	II B	
2904	S I 111	炉(前庭部)掘り方埋土1層	石錐	26.0	18.0	5.0	2.23	V2	II A	
2905	S I 72	南東埋土上位	石錐	31.0	15.0	6.0	1.96	V2	II A	
2906	S I 77	床面直土	石錐	25.5	9.5	5.0	0.96	V2	II B	
2907	S I 78	北東側埋土下位	石錐	55.0	15.0	11.0	3.40	V2	I	
2908	S I 78	北西側埋土上~下位	石錐	37.0	24.5	5.0	5.31	—	I	
2909	S I 80	Q S E埋土下位	石錐	29.0	15.0	6.0	1.91	—	I	
2910	S I 84	埋土上~中位	石錐	41.0	9.5	5.0	2.47	—	II B	
2911	S I 88	Nベルト9層	石錐	26.5	14.0	3.5	0.66	V2	I	
2912	S I 91	埋土	石錐	58.0	20.0	8.0	7.53	V2	II A	
2913	S I 92	N Sベルト埋土1層	石錐	(48.5)	19.5	9.5	4.17	V2	I	錐部欠損
2914	S K I 10	北西埋土上~中位	石錐	(32.0)	10.0	3.5	0.65	X	I	錐部欠損
2915	S X 07	ベルトA-A' 1 a層	石錐	27.0	12.0	6.0	1.47	V2	II A	
2916	S X 07-1	④貝層下の黒褐色層	石錐	39.5	9.5	6.5	1.87	—	II B	
2917	S X 10	南東埋土下位4層	石錐	31.0	14.0	7.0	2.92	—	II A	
2918	II C 7 d	II層	石錐	(27.0)	17.0	6.0	(2.98)	V2	I	錐部欠損
2919	II C 7 e	II層	石錐	(56.0)	22.0	14.0	(12.62)	V2	B	錐部欠損
2920	II C 8 d	II層	石錐	42.5	33.0	8.5	12.37	V2	II A	
2921	II C 8 d	II層	石錐	52.0	21.0	9.0	7.42	V2	II A	
2922	II C 8 d	南北ベルト埋土中位	石錐	31.5	14.0	7.5	2.59	V2	II A	

第32表 石器観察表(9)

(数値): 残存値

掲載No.	出土地点	層位	器種	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	分類	備考
2923	II C 9 c	包含層中位	石錐	38.0	25.0	10.0	7.98	V2	II A	
2924	II C 9 d	上部包含層中位	石錐	67.0	23.0	10.0	11.21	V2	II B	
2925	II C 10 d	包含層中位	石錐	36.0	27.5	9.0	5.53	V2	II A	
2926	III C 1 a	包含層下位	石錐	44.0	18.0	7.0	4.34	V2	II A	
2927	III C 1 b	II層	石錐	(42.0)	18.0	7.0	(5.09)	V2	II B	錐部欠損
2928	III C 1 d	II層	石錐	(33.0)	20.0	7.0	4.50	V2	I	錐部欠損
2929	III C 1 d	包含層下位	石錐	(31.0)	25.0	5.0	(3.67)	V2	II A	錐部欠損
2930	III D 9 a	II層	石錐	(30.0)	13.5	3.0	1.20	—	II A	
2931	III D 9 c	I層	石錐	23.0	17.5	4.5	1.82	V2	II A	
2932	III D 10 b	II層	石錐	46.0	15.0	6.0	8.09	—	II B	
2933	III D 10 d	II層	石錐	(33.0)	16.5	9.0	(4.33)	V2	II B	錐部欠損
2934	IV C 2 c	II層	石錐	39.0	25.0	9.0	6.10	—	II A	
2935	IV C 4 j	II層	石錐	31.5	17.0	5.0	2.35	—	I	
2936	IV C 5 a	II層	石錐	59.0	20.0	7.5	5.51	—	II A	
2937	IV C 5 b	II層	石錐	(30.0)	17.0	4.0	1.72	—	I	
2938	IV C 5 d	II層	石錐	33.0	21.0	3.0	1.94	—	II A	
2939	IV C 6 c	II層	石錐	34.5	12.0	5.5	2.32	—	II B	
2940	IV D 1 a	II層	石錐	47.0	17.0	7.0	5.60	—	II A	
2941	T 7	I ~ II層	石錐	50.0	15.0	10.0	6.32	V2	II B	
2942	T 1035	II層	石錐	(34.0)	24.5	8.5	3.49	—	I	錐部欠損
2943	斜面トレンチ	II層、貝	石錐	(39.0)	27.0	8.0	(4.33)	V2	II A	錐部欠損
2944	S I 13	南東埋土中位暗褐色土	石匙	59.0	21.0	8.0	8.95	V2	I A 1	
2945	S I 18	①ベルト3層	石匙	53.0	21.0	7.0	5.57	V2	I B 1	
2946	S I 18	南東埋土中~下位	石匙	58.0	25.0	9.0	13.23	V2	I B 1	
2947	S I 18	南東埋土中~下位	石匙	57.0	25.5	5.0	6.98	V2	I B 1	
2948	S I 20	ベルトA-A' I層	石匙	(31.0)	(22.0)	10.0	6.26	V2	—	つまみ部
2949	S I 24	南西埋土中位	石匙	32.0	37.0	5.0	4.02	V2	II B 1	
2950	S I 29	貼床	石匙	62.0	23.0	8.0	12.01	—	I B 2	
2951	S I 30	北東1/4埋土下位	石匙	(30.5)	15.0	5.0	3.64	—	I B 2	
2952	S I 34	北西②埋土下位	石匙	50.0	61.0	9.0	25.90	—	II A 1	
2953	S I 36	QNE埋土下部	石匙	69.5	41.0	9.0	31.42	—	I A 1	
2954	S I 37	南西埋土	石匙	65.0	19.5	8.0	10.19	—	I A 1	
2955	S I 49	埋土中位	石匙	40.0	52.0	4.5	7.68	—	II B 1	
2956	S I 49	埋土上~中位	石匙	38.0	17.0	11.0	8.86	V2	I	未製品?
2957	S I 53	QWWS埋土	石匙	80.0	27.5	11.5	21.87	V2	I A 1	尖頭部有り
2958	S I 57	QNW埋土	石匙	71.0	24.0	8.0	15.72	—	I B 1	
2959	S I 58	埋土上位	石匙	52.0	50.0	8.0	15.40	—	II A 1	
2960	S I 66	埋土上~中位	石匙	(28.0)	(27.0)	11.0	6.65	—	—	尖頭部有り
2961	S I 80	床面直上	石匙	31.0	61.0	8.0	8.99	V2	II A 1	
2962	S I 80	QSE埋土下部	石匙	54.0	20.0	5.5	6.02	—	I B 1	
2963	S I 82	埋土上~中位	石匙	33.0	46.0	8.0	8.34	V2	II A 1	
2964	S I 82	ベルトA-A' 4層	石匙	47.0	(50.0)	6.0	11.63	—	II B 1	
2965	S I 91	埋土	石匙	38.5	57.0	7.0	12.03	X	II B 1	
2966	S I 92	QSW埋土	石匙	32.0	42.0	5.0	6.37	—	II B 1	
2967	S I 96	埋土中位	石匙	28.0	18.0	7.0	2.99	W2	I A 1	
2968	S I 101	東埋土	石匙	29.0	12.0	5.5	1.47	V2	I A 1	尖頭部有り
2969	S I 102	南西部埋土上位	石匙	61.0	14.0	8.5	6.40	V2	I A 1	尖頭部有り
2970	S I 108	ベルトA-A' 8層	石匙	52.0	20.0	5.5	4.84	V2	I B 1	
2971	S I 112	11層	石匙	27.5	36.0	6.0	6.18	—	II A 1	
2972	S I 113	床面直上	石匙	54.0	25.0	7.0	8.92	V2	I A 1	
2973	S I 113	PP7	石匙	(56.0)	30.0	13.0	25.44	—	I A 1	刃部欠損
2974	S I 115	南西埋土下部	石匙	61.0	33.0	6.0	12.78	—	I A 1	未製品?
2975	S I 116	埋土一括	石匙	52.0	14.0	3.5	2.89	X	I A 1	尖頭部有り
2976	S K 103	東半埋土4層	石匙	38.0	(43.0)	6.0	(7.24)	V2	II B 1	
2977	S K 113	ベルト埋土1層	石匙	(30.0)	(33.0)	10.0	9.19	—	—	つまみ部
2978	S K 113	ベルト埋土1層	石匙	66.0	26.0	8.0	14.66	—	I B 1	
2979	S K 29	貝層b	石匙	32.0	46.0	9.0	10.29	V2	II A 1	
2980	S K 104	埋土	石匙	51.0	21.0	6.0	6.21	—	I B 1	
2981	S K 140	WE埋土10層	石匙	63.0	24.0	7.0	12.90	—	I A 1	
2982	S K 142	埋土	石匙	23.0	17.5	6.5	2.36	W2	I A 1	
2983	S X W 24	WE 2次3次層	石匙	32.0	43.0	8.0	6.91	V2	II B 1	
2984	S X 07-2④ IV B 2 i	貝層下黒褐色土	石匙	67.0	20.0	6.0	8.01	—	I B 1	
2985	II C 1 e	II層	石匙	61.0	49.0	12.0	24.74	V2	II B 1	
2986	II C 5 c	不明	石匙	(52.5)	20.0	8.0	(5.67)	V2	I A 1	
2987	II C 5 d e	II層	石匙	73.0	13.0	8.0	5.52	V2	I A	尖頭部有り
2988	II C 5・6 d e	II層	石匙	92.0	27.0	13.0	26.33	V2	I A	
2989	II C 6 d e	包含層上~中位	石匙	99.0	27.0	8.0	23.52	V2	I A	尖頭部有り
2990	II C 7 c	II層	石匙	103.0	20.0	10.0	19.76	V2	I A	
2991	II C 7 c	包含層下位	石匙	59.5	24.0	10.0	10.32	V2	I A 1	
2992	II C 7・8 c	包含層アゼ下位	石匙	46.0	31.0	7.0	10.58	V2	I A 1	
2993	II C 7 d	II層、焼土混じる層	石匙	51.0	28.0	8.0	10.51	V2	I A 1	
2994	II C 7 d	II層	石匙	69.0	23.0	9.0	12.15	V2	I A 1	
2995	II C 7 d	II層	石匙	52.0	29.5	8.0	9.68	V2	I A 1	
2996	II C 7 d	南北ベルト埋土中位	石匙	(36.0)	16.5	6.5	(4.12)	V2	I A	刃部欠損
2997	II C 7 e	東西アゼ6層	石匙	58.0	46.0	10.0	16.65	V2	I B 1	
2998	II C 7 e~8 e	II層	石匙	72.0	52.0	13.0	42.31	V2	I A 1	
2999	II C 8 b	包含層下位	石匙	56.0	16.0	9.0	7.90	V2	I A	尖頭部有り



第32表 石器観察表 (10)

(数値) : 残存値

掲載 No.	出土地点	層位	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石材	分類	備考
3000	II C 8 c	包含層下位	石匙	55.0	46.0	8.0	19.98	V2	I A 1	
3001	II C 8 c	包含層下位	石匙	46.0	53.0	9.0	21.66	V2	II A 3	
3002	II C 8・9 d	包含層アゼ中位	石匙	49.0	21.0	5.0	5.39	V2	I B 3	
3003	II C 9 a	包含層中～下位	石匙	37.0	(54.0)	7.0	(11.62)	V2	II B 1	刃部欠損
3004	II C 9 a	包含層中～下位	石匙	66.5	(43.0)	9.0	(24.46)	V2	I B 1	刃部欠損
3005	II C 9 c	II層	石匙	35.0	68.0	8.0	15.82	V2	II A 1	
3006	II C 9 c	II層	石匙	55.0	29.0	6.0	9.80	V2	I A 1	
3007	II C 9 c	II層	石匙	89.0	30.0	10.0	26.59	V2	I A	尖頭部有り
3008	II C 9 c	II層	石匙	87.0	14.0	6.0	6.57	V2	I A 1	尖頭部有り
3009	II C 9 c	包含層中位	石匙	74.0	15.0	8.0	8.73	V2	I A	尖頭部有り
3010	II C 9 c	包含層中位	石匙	63.0	46.0	10.0	19.80	V2	I A 1	
3011	II C 9 d	包含層下位	石匙	29.0	40.0	8.5	5.96	V2	II A	
3012	II C 9 d	包含層中位	石匙	63.0	54.0	11.0	34.23	V2	II A 1	
3013	II C 9 d	上部包含層中位	石匙	39.0	50.0	7.0	16.57	V2	II A 1	
3014	II C 9 d	南北ベルト埋土上位	石匙	49.0	45.0	14.0	22.49	V2	I A 1	
3015	II C 9・10 d	包含層アゼ中位	石匙	82.5	35.0	13.0	35.38	V2	I A 1	
3016	II C 10 a	ベルト埋土中位	石匙	70.0	30.0	10.0	22.76	V2	I A 1	
3017	II C 10 b	包含層中位	石匙	76.0	34.0	14.0	28.59	V2	I A 1	
3018	II C 10 b	包含層中位	石匙	80.0	31.0	14.5	32.18	V2	I A	
3019	II C 10 b c	包含層アゼ中位	石匙	58.0	18.0	9.0	9.29	V2	I A	尖頭部有り
3020	II C 10 c	南北ベルト埋土中位	石匙	62.0	27.0	10.0	14.21	V2	I B 1	
3021	II C 10 d e	包含層アゼ下位	石匙	102.0	36.0	11.0	39.46	V2	I A	尖頭部有り
3022	II C 10 e	II層	石匙	(32.0)	36.0	9.0	(11.06)	V2	I A 1	刃部欠損
3023	III B 1 i j	包含層中～下位	石匙	76.0	28.0	7.0	20.82	V2	I A 3	
3024	III B 3 j	包含層1段目	石匙	95.0	31.0	11.0	31.62	V2	I A	尖頭部有り
3025	III B 6 h	II層	石匙	48.0	24.5	9.5	11.24	V2	I A 1	
3026	III B 7 i	II層	石匙	105.0	39.0	13.0	36.96	V2	I A 3	
3027	III B 9 h	II層	石匙	(56.0)	38.0	11.0	(19.30)	V2	I A	刃部欠損
3028	III B 10 i	II層下検出面	石匙	83.0	28.0	9.0	19.17	—	I A 1	尖頭部有り
3029	III C 1 a	包含層下位	石匙	71.0	34.5	13.0	29.82	V2	I A 1	
3030	III C 1 a	包含層中～下位	石匙	72.0	34.0	11.0	22.68	V2	I B 3	
3031	III C 1 a	包含層中～下位	石匙	55.0	19.0	7.0	7.95	V2	I A 1	
3032	III C 1 c	II層	石匙	40.5	43.0	6.0	8.30	V2	II A 2	
3033	III C 1 d	不明	石匙	(30.0)	17.0	5.5	(3.28)	V2	I B 1	刃部欠損
3034	III C 3 a	包含層2段目	石匙	30.0	44.0	6.0	6.49	V2	II B 1	
3035	III C 3 a	包含層1段目	石匙	45.0	25.0	8.0	7.90	W2	I A 1	
3036	III C 8 d	II層検出面	石匙	36.0	69.0	8.0	14.50	—	I B 1	
3037	III C 9 d	II層	石匙	(34.5)	(20.0)	11.0	7.78	—	I A 1	刃部欠損
3038	III C 9 e	II層検出面	石匙	52.0	15.0	8.0	5.78	—	I A 1	
3039	III C 9 e	II層	石匙	(34.0)	(40.0)	8.0	8.43	—	—	
3040	IV B 1 i	検出面	石匙	(53.0)	23.0	8.0	8.85	—	I A 1	刃部欠損
3041	IV B 2 j	II層検出面	石匙	64.5	25.0	10.0	13.65	—	I A 1	
3042	IV C 1 j	II層	石匙	45.5	23.0	5.0	6.47	—	I B 1	
3043	IV C 2 a	II層下検出面	石匙	38.0	(42.0)	7.5	11.87	—	II A 1	刃部欠損
3044	IV C 3 i	II層	石匙	43.0	33.0	5.0	7.65	—	I B 1	
3045	IV C 5 a	II層	石匙	87.0	28.0	12.0	25.55	—	I B 1	
3046	IV C 6 b	下層	石匙	31.0	20.5	5.0	3.93	W2	I A 1	
3047	IV C 6 b	上層	石匙	32.0	(37.0)	5.0	7.31	—	II B 1	刃部欠損
3048	IV C 6 c	II層	石匙	49.0	(13.0)	5.0	3.64	—	I A 1	刃部欠損
3049	IV D 2 a	II層	石匙	76.0	27.0	10.0	19.11	—	I B 1	
3050	IV D 2 a	II～III層	石匙	65.0	20.0	7.0	7.82	—	I B 1	
3051	IV D 3 a	II～III層	石匙	50.0	17.5	8.0	6.31	—	I B 1	
3052	T 11	II層	石匙	(54.0)	43.0	8.0	(18.55)	V2	I A 1	
3053	不明	包含層上位	石匙	84.0	33.0	1.0	35.51	V2	I B 1	
3054	S I 113	P P 2	石筥	58.0	23.0	13.0	23.13	V2	II A	
3055	S I 116	南北半埋土下位	石筥	(35.0)	33.0	12.0	13.73	—	II A	基部欠損
3056	II C 7 d	南北ベルト埋土上位	石筥	(30.0)	23.0	8.0	(6.80)	V2	II A 1	
3057	II C 7 d e	包含層アゼ上～中位	石筥	(46.5)	23.0	8.0	(11.12)	V2	II A 1	
3058	II C 8 b	II層	石筥	67.0	47.0	16.0	49.06	V2	I A 1	
3059	II C 8 d	II層、焼土混じる層	石筥	62.0	38.0	18.0	41.71	V2	I A	
3060	II C 9 c	包含層下位	石筥	56.0	28.0	9.0	19.18	V2	II A 1	
3061	II C 10 b	II層	石筥	(27.0)	20.0	6.5	(3.71)	V2	II A 1	
3062	II C 10 c	不明	石筥	45.0	22.0	11.0	11.86	V2	II A 1	
3063	II C 10 d	東西ベルト埋土下位	石筥	(44.0)	21.0	12.0	(12.50)	V2	II A 1	
3064	III B 4・5 i j	包含層上面	石筥	50.0	35.0	10.0	15.33	V2	I A 2	
3065	III B 5 j	周辺	石筥	(42.0)	32.0	15.0	19.76	V2	II A 1	基部欠損
3066	III C 1 a	包含層上面	石筥	53.0	19.5	9.0	12.50	V2	II A	
3067	III C 1～2 d	斜面トレンチII層	石筥	(22.0)	24.0	8.0	(5.16)	V2	II A	
3068	IV B 1 i	検出面	石筥	55.0	21.0	12.5	16.08	—	II A	
3069	IV B 3 c	埋土	石筥	57.0	36.5	15.0	28.95	V2	I A	
3070	IV C 5 d	II層	石筥	43.5	31.0	13.0	18.35	—	I B 1	
3071	IV C 6 a	II層	石筥	(59.0)	26.0	12.0	19.67	—	II A	刃部欠損
3072	IV C 6 e	II層	石筥	(39.0)	26.0	14.0	13.62	—	II A	基部欠損
3073	IV C 6 e	II層	石筥	41.0	29.0	10.0	10.85	—	I A 2	
3074	IV C 6 g	II層	石筥	(43.0)	32.0	11.0	14.46	—	I A	基部欠損
3075	T 1034	II層	石筥	(31.0)	31.0	8.0	9.14	—	I A 1	基部欠損
3076	S I 03	南東埋土下位	両極石器	20.0	35.0	8.0	6.71	V2	I	
3077	S I 03	北東埋土下位	両極石器	20.0	19.0	4.0	1.80	V2	I	

第32表 石器観察表 (11)

(数値) : 残存値

掲載 No.	出土地点	層位	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石材	分類	備考
3078	S I 03	北西埋土中位	両極石器	26.0	14.0	6.0	1.90	V2	I	
3079	S I 04	北西貼床	両極石器	33.0	17.0	14.0	7.62	V2	I	
3080	S I 12	北東埋土上～中位	両極石器	28.0	21.0	9.0	5.84	V2	I	
3081	S I 13	ベルトB-B' 3層	両極石器?	40.0	30.0	17.0	23.59	V2	II	
3082	S I 13	南西埋土1/4上位暗褐色土	両極石器	27.0	19.0	9.0	4.29	V2	I	
3083	S I 13	北西埋土上位2/4黒褐色土	両極石器	25.0	31.0	11.0	5.86	V2	I	
3084	S I 15	WEベルト埋土7層	両極石器	17.0	20.0	7.0	2.83	V2	I	
3085	S I 15	アゼはずし3層	両極石器	27.0	31.0	10.0	8.06	X	I	
3086	S I 15	南東1/4埋土下位	両極石器	36.0	36.0	8.0	12.62	V2	I	
3087	S I 18	南東埋土下位	両極石器	31.5	40.0	7.0	10.52	V2	I	
3088	S I 18	南西埋土中～下位	両極石器	31.0	33.0	10.0	12.14	V2	I	
3089	S I 20	ベルトA-A' 3層	両極石器	41.0	(37.0)	15.0	(15.56)	V2	I	
3090	S I 30	西ベルト2層	両極石器	31.0	32.0	8.0	8.13	—	I	
3091	S I 31	NSベルト4層	両極石器	23.0	24.0	11.5	4.78	V2	I	
3092	S I 31	北東1/4埋土上～中位	両極石器	28.0	21.0	15.0	7.45	V2	I	
3093	S I 31	北東1/4埋土上～中位	両極石器	28.0	29.0	6.5	6.27	—	I	
3094	S I 32	SEベルト	両極石器	32.0	18.0	5.0	2.79	—	I	
3095	S I 32	不明	両極石器	20.0	17.0	8.0	3.89	—	I	
3096	S I 33	ベルトA-A' 2層	両極石器	28.0	29.0	10.0	8.76	—	I	
3097	S I 33	西側埋土2層	両極石器	28.0	19.5	8.0	4.14	—	I	
3098	S I 34	北東埋土上～中位	両極石器	35.0	17.0	10.0	8.33	V2	I	
3099	S I 34	北東③埋土下位	両極石器	25.0	32.0	7.0	5.17	—	I	
3100	S I 35	南東埋土中位	両極石器	34.0	20.5	9.0	6.05	—	I	
3101	S I 35	北東埋土上位	両極石器	35.0	30.0	9.5	8.85	—	I	
3102	S I 36	QSE埋土下部	両極石器	48.0	37.0	10.5	22.69	—	I	
3103	S I 36	QSE埋土上部	両極石器	37.0	33.0	7.0	10.77	—	I	
3104	S I 37	南北アゼ6層	両極石器	28.0	34.0	10.0	11.99	—	I	
3105	S I 38	北西埋土下位	両極石器	33.0	30.0	9.0	9.56	—	I	
3106	S I 39	南東埋土下位	両極石器	30.0	22.0	9.0	6.54	V2	I	刃部：片面一側縁加工
3107	S I 39	南東埋土下位	両極石器	39.0	23.0	12.0	10.65	—	I	
3108	S I 39	南東埋土下位	両極石器	24.0	9.0	8.0	1.78	—	I	
3109	S I 39	南東埋土下位	両極石器	26.0	60.0	10.5	16.16	—	I	
3110	S I 39	埋土	両極石器	(22.0)	21.0	6.5	4.38	—	I	
3111	S I 39	埋土	両極石器	26.0	30.5	8.0	5.35	—	I	
3112	S I 41	埋土上位	両極石器	28.0	21.0	9.0	5.13	—	I	
3113	S I 42	NSベルト東2層	両極石器	30.5	14.0	15.0	6.84	—	I	
3114	S I 42	埋土	両極石器	22.0	11.0	5.0	1.15	—	I	
3115	S I 42	埋土	両極石器	26.0	25.0	5.0	3.66	—	I	
3116	S I 43	ベルト埋土	両極石器	34.5	25.0	10.0	8.45	—	I	
3117	S I 43	QNW埋土	両極石器	35.0	10.0	6.5	1.62	—	I	
3118	S I 44	ベルトB-B' 1層	両極石器	27.0	10.0	11.0	1.54	—	I	
3119	S I 44	北西埋土1層	両極石器	21.0	34.0	9.0	5.31	—	I	
3120	S I 46	埋土中位	両極石器	24.0	23.0	5.0	3.87	—	I	
3121	S I 47	西埋土上～中位	両極石器	25.0	18.0	5.0	2.84	—	II	
3122	S I 47	埋土上位	両極石器	27.0	20.0	5.0	2.94	—	I	
3123	S I 48	埋土最下層東側	両極石器	32.0	30.0	8.0	9.21	—	I	
3124	S I 53	QSW埋土	両極石器	33.0	24.0	9.0	8.15	—	I	
3125	S I 54	埋土7層 (B-B'断面)	両極石器	27.0	21.0	6.0	3.67	—	I	
3126	S I 57	床面直上	両極石器	22.0	20.0	7.0	2.60	—	I	
3127	S I 57	周溝埋土	両極石器	36.0	13.0	8.0	4.35	—	I	
3128	S I 57	QNW埋土	両極石器	22.0	28.0	5.0	3.84	—	I	
3129	S I 58	Aベルト1・2層	両極石器	37.0	23.0	13.0	9.81	—	I	
3130	S I 58	南東埋土上位	両極石器	28.0	22.0	6.0	3.83	—	I	
3131	S I 61	Aベルト9層	両極石器	29.0	25.5	6.0	4.35	—	I	
3132	S I 61	Aベルト6・7層	両極石器	26.0	32.0	6.5	4.97	—	I	
3133	S I 61	④埋土中位	両極石器	25.0	29.0	7.0	6.69	—	I	
3134	S I 61	④埋土上～中位	両極石器	31.0	19.0	9.0	5.25	—	I	
3135	S I 61	④埋土上～中位	両極石器	34.5	15.5	7.5	4.61	—	I	
3136	S I 61	北埋土上位	両極石器	23.0	33.0	7.5	6.07	—	I	
3137	S I 62	埋土上～中位	両極石器	24.0	26.0	10.0	8.36	—	I	
3138	S I 62	埋土一括	両極石器	27.0	22.0	9.0	6.11	—	I	
3139	S I 63	貼床埋土	両極石器	28.0	36.0	13.0	16.74	—	II	
3140	S I 64	QSE埋土	両極石器	22.0	17.0	8.0	3.14	—	I	
3141	S I 64	QSW埋土	両極石器	40.0	25.0	10.0	7.59	—	I	
3142	S I 66	④埋土中位	両極石器	37.0	23.0	10.0	6.41	—	I	
3143	S I 68	東側側溝 (A-A'側)	両極石器	24.5	24.0	12.0	7.66	—	I	
3144	S I 71-PP10	南半埋土下位	両極石器	31.0	41.5	9.0	10.27	—	I	
3145	S I 72	北東埋土上位	両極石器	22.0	35.0	10.0	7.94	—	I	
3146	S I 72	北東埋土上位	両極石器	25.0	42.0	14.0	12.41	—	I	
3147	S I 73	南側・東側アゼ埋土4層	両極石器	30.0	22.0	13.0	9.62	V2	I	
3148	S I 75	北西埋土下位	両極石器	30.0	18.0	9.0	5.81	X	I	
3149	S I 77	埋土下部	両極石器	25.5	37.0	9.0	8.13	—	I	
3150	S I 80	床面直上	両極石器	34.0	23.0	10.0	7.01	—	I	
3151	S I 80	床面直上	両極石器	34.0	23.0	10.0	7.29	—	I	
3152	S I 80	NSベルト5層	両極石器	(25.5)	(20.5)	5.0	1.80	—	I	
3153	S I 80	QSE埋土下部	両極石器	27.0	19.0	5.0	3.59	—	I	
3154	S I 80	QSE埋土下部	両極石器	28.5	19.0	8.0	4.45	—	I	
3155	S I 81	6層	両極石器	38.0	31.0	8.0	7.80	—	I	

第32表 石器観察表 (12)

(数値) : 残存値

掲載 No.	出土地点	層位	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石材	分類	備考
3156	S I 81	南西埋土上位	両極石器	23.0	25.0	7.0	4.47	—	I	
3157	S I 82	ベルトA-A' 2層	両極石器	19.0	16.5	9.0	3.16	W2	I	
3158	S I 82	北東埋土上~中位	両極石器	35.0	27.0	8.0	9.46	—	I	
3159	S I 86	ベルトB-B' 2層	両極石器	21.0	26.5	6.0	4.48	—	I	
3160	S I 86	南西埋土上位	両極石器	26.0	23.0	9.0	6.43	—	I	
3161	S I 88	Sベルト埋土13層	両極石器	32.0	27.0	9.0	9.12	—	I	
3162	S I 88	QNW埋土中~下位	両極石器	30.0	18.0	9.0	4.06	—	I	
3163	S I 89	剥片集中部、北東端埋土(床面直上)	両極石器	26.0	24.0	7.0	4.09	—	I	
3164	S I 99	埋土上~下位	両極石器	31.0	17.0	12.0	5.33	W2	I	
3165	S I 101	西埋土	両極石器	40.0	40.0	17.0	25.57	—	I	
3166	S I 102	南北アゼ5層	両極石器	32.0	13.0	6.0	2.34	—	I	
3167	S I 102	北西側埋土上位	両極石器	37.0	21.0	12.0	10.08	—	I	
3168	S I 112	南東埋土下位	両極石器	25.0	21.0	6.0	2.78	—	I	
3169	S I 116	北半埋土下位	両極石器	36.0	18.0	8.0	5.96	—	I	
3170	S I 116	南半埋土下位	両極石器	47.0	25.0	14.0	19.32	—	I	
3171	S K I 09	QNW埋土	両極石器	20.0	20.0	5.0	2.42	—	I	
3172	S K I 10	北西埋土上~中位	両極石器	30.5	20.5	7.0	7.04	—	I	
3173	S K I 13	埋土	両極石器	21.0	32.0	11.0	6.27	—	I	
3174	S K 91	埋土4層	両極石器	33.0	21.0	6.0	4.30	—	I	
3175	S K 112	埋土	両極石器	39.0	25.0	10.0	11.05	—	I	
3176	S K 116	埋土3層	両極石器	32.5	23.0	13.5	11.07	—	I	
3177	S K 142	埋土	両極石器	33.0	26.0	7.0	7.87	—	I	
3178	S N 35	焼土	両極石器	30.0	23.0	7.0	5.33	—	I	
3179	S X 06	埋土下位	両極石器	25.0	19.0	5.0	2.32	V2	I	
3180	P 24	西~中央埋土、柱痕跡	両極石器	27.0	33.0	7.0	5.80	V2	I	
3181	II C 1 b	II層	両極石器	26.5	29.0	7.0	6.77	V2	I	
3182	II C 7 e	II層	両極石器	24.0	27.0	6.0	4.26	V2	I	
3183	II C 7 ~ 8 e	II層	両極石器	39.0	36.0	9.0	11.31	V2	II	
3184	II C 8 · 9 b	包含層アゼ上位	両極石器	32.0	24.0	1.0	6.98	V2	I	
3185	II C 8 c	II層	両極石器	24.0	27.0	7.0	5.16	V2	I	
3186	II C 8 d	包含層下位	両極石器	30.0	32.0	7.0	9.46	V2	I	
3187	II C 9 a	包含層中~下位	両極石器	34.0	15.0	13.0	6.06	V2	I	
3188	II C 9 c	包含層下位	両極石器	23.0	20.0	7.0	3.65	V2	I	
3189	II C 9 c	包含層上~中位	両極石器	29.0	37.0	7.0	14.38	V2	I	
3190	II C 9 · 10 d	包含層アゼ中位	両極石器	28.0	27.0	10.0	7.36	V2	I	
3191	II C 9 · 10 d	包含層アゼ下位	両極石器	34.0	24.0	7.0	6.63	V2	I	
3192	II C 9 · 10 d	包含層アゼ下位	両極石器	32.0	20.0	10.0	5.73	V2	I	
3193	II C 10 a	上位層	両極石器	30.0	32.0	10.0	8.59	V2	I	
3194	II C 10 b	包含層上位	両極石器	39.0	41.0	7.0	13.16	V2	II	
3195	II C 10 c	包含層中位	両極石器	40.0	36.0	12.0	16.01	V2	I	
3196	II C 10 c	南北ベルト埋土上位	両極石器	27.0	27.0	7.0	5.93	V2	I	
3197	II C 10 d	II層	両極石器	24.0	21.0	7.0	3.61	V2	I	
3198	II C 10 d	II層	両極石器	26.0	21.0	7.0	3.29	V2	I	
3199	II C 10 d	II層	両極石器	29.0	41.0	9.0	9.66	V2	I	
3200	II C 10 d	包含層下位	両極石器	8.0	21.0	5.0	1.67	V2	I	
3201	III B 1 j	包含層下位	両極石器	22.0	21.0	6.0	2.67	V2	I	
3202	III B 3 j	II層焼土検出面	両極石器	36.0	30.0	11.0	9.21	V2	I	
3203	III B 5 j	不明	両極石器	35.0	37.0	10.0	12.85	—	I	
3204	III B 5 j	不明	両極石器	33.0	31.0	10.0	9.98	—	I	
3205	III B 7 h	II層	両極石器	27.0	39.0	6.0	6.50	V2	I	
3206	III B 7 h	II層	両極石器	32.0	23.0	7.0	5.43	V2	I	
3207	III B 7 h	カクラン	両極石器	27.0	27.0	10.0	7.51	V2	I	
3208	III B 8 i	II層	両極石器	33.0	23.0	8.0	6.27	V2	I	
3209	III B 10 i	II層	両極石器	30.5	31.0	9.0	8.93	—	I	
3210	III C 1 a	包含層上位	両極石器	27.0	25.0	9.0	5.89	V2	I	
3211	III C 1 c	包含層下位	両極石器	26.0	30.0	12.0	7.89	V2	I	
3212	III C 1 d	II層	両極石器	24.0	24.0	7.5	5.98	V2	I	
3213	III C 1 d	II層	両極石器	25.0	20.0	7.5	4.21	V2	I	
3214	III C 1 d	II層	両極石器	18.0	21.0	8.0	2.20	V2	I	
3215	III C 2 ~ 6 b	南端斜面II層	両極石器	23.0	21.0	10.0	5.48	V2	I	
3216	III C 8 a	II層	両極石器	34.5	35.5	17.5	11.05	—	II	
3217	III C 8 d	II層	両極石器	27.0	33.0	12.0	6.15	—	I	
3218	III C 8 d	II層検出面	両極石器	26.5	25.0	9.0	5.11	—	I	
3219	III C 8 d	II層検出面	両極石器	47.0	30.0	16.0	20.42	—	II	
3220	III C 8 d	II層検出面	両極石器	33.0	27.0	9.5	8.43	—	I	
3221	III C 8 d	II層検出面	両極石器	20.0	26.0	5.0	3.73	—	I	
3222	III C 8 f	II層	両極石器	17.0	19.0	6.0	2.09	—	I	
3223	III C 9 c	II層	両極石器	20.0	21.0	7.0	3.41	—	I	
3224	III C 9 d	II層	両極石器	53.0	21.5	7.0	8.15	—	I	
3225	III C 9 e	II層検出面	両極石器	30.0	45.0	10.5	17.90	—	I	
3226	III C 9 e	II層検出面	両極石器	25.5	20.5	11.0	7.61	—	I	
3227	III C 10 d	II層	両極石器	38.0	19.0	11.0	7.76	V2	I	
3228	III D 7 c	II層	両極石器	29.5	18.0	7.0	3.55	V2	I	
3229	III D 10 b	II層	両極石器	21.5	19.5	6.0	2.43	—	I	
3230	III D 10 d	I層	両極石器	19.5	34.0	7.0	4.51	V2	I	
3231	IV B 1 h	II層検出面	両極石器	29.0	23.0	9.0	5.18	—	I	
3232	IV B 1 i	検出面	両極石器	35.0	29.0	10.0	10.92	—	I	
3233	IV B 2 j	II層検出面	両極石器	30.0	44.0	6.0	10.42	—	I	

第32表 石器観察表 (13)

(数値) : 残存値

掲載No.	出土地点	層位	器種	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石材	分類	備考
3234	IV C 1 a	II層下検出面	両極石器	30.0	20.0	7.0	5.58	—	I	
3235	IV C 1 b	II層下検出面	両極石器	34.0	42.0	10.0	14.46	—	I	
3236	IV C 1 d	II層検出面	両極石器	27.0	19.0	6.0	2.82	—	I	
3237	IV C 1 e	II層検出面	両極石器	29.0	21.0	9.0	4.81	—	I	
3238	IV C 2 c	II層検出面	両極石器	22.0	23.0	8.0	3.51	—	I	
3239	IV C 2 d	II層	両極石器	36.0	17.0	5.0	3.81	—	I	
3240	IV C 2 g	II層	両極石器	24.0	24.0	9.0	5.09	—	I	
3241	IV C 2 g	II層	両極石器	25.0	32.0	10.0	9.62	—	I	
3242	IV C 3 b	II層	両極石器	27.0	16.5	6.0	2.00	—	I	
3243	IV C 3 j	II層	両極石器	32.0	54.0	11.0	16.74	—	I	
3244	IV C 3 j	II層	両極石器	43.0	15.0	16.0	7.71	—	I	
3245	IV C 3 j	II層	両極石器	32.0	16.0	9.0	4.43	—	I	
3246	IV C 3 j	II層	両極石器	31.0	16.0	4.0	2.09	—	I	
3247	IV C 3 j	II層上位	両極石器	29.0	28.0	8.0	8.68	—	II	
3248	IV C 4 i	II層	両極石器	24.5	12.5	6.0	2.02	—	I	
3249	IV C 4 i	II層	両極石器	22.0	24.0	8.0	4.77	—	I	
3250	IV C 4 i	II層	両極石器	32.0	32.0	6.0	6.30	—	I	
3251	IV C 4 j	II層②	両極石器	32.0	19.0	5.5	3.97	—	I	
3252	IV C 5 b	II層	両極石器	26.0	24.0	8.0	4.20	—	I	
3253	IV C 5 c	II層	両極石器	23.0	19.0	7.0	3.19	—	I	
3254	IV C 5 c	II層	両極石器	21.0	34.5	5.5	4.51	—	I	
3255	IV C 5 d	II層	両極石器	35.0	20.0	8.0	7.71	—	I	
3256	IV C 5 d	II層	両極石器	25.5	27.0	7.5	6.68	—	I	
3257	IV C 5 f	II層	両極石器	28.0	25.0	9.0	7.45	—	I	
3258	IV C 5 h	II層	両極石器	27.5	35.5	8.0	6.29	—	I	
3259	IV C 5 i	II層	両極石器	41.0	34.0	8.0	10.93	—	I	
3260	IV C 6 b	南側落ち込み下層	両極石器	36.0	34.0	13.0	17.22	—	I	
3261	IV C 6 c	南側落ち込み下層	両極石器	28.0	35.0	9.0	10.23	—	I	
3262	IV C 6 c	南側落ち込み下層	両極石器	46.0	19.0	8.0	5.30	—	I	
3263	IV C 6 c	II層	両極石器	35.0	31.0	9.0	11.92	—	I	
3264	IV C 6 c	II層	両極石器	22.5	19.0	7.0	2.86	—	I	
3265	IV C 6 e	II層下位	両極石器	23.0	26.0	11.0	6.60	—	I	
3266	IV C 6 e	II層	両極石器	30.0	33.0	12.0	12.27	—	I	
3267	IV C 6 g	II層	両極石器	25.0	40.0	15.5	14.29	—	I	
3268	IV C 6 h	I層	両極石器	25.0	35.0	9.0	6.62	—	I	
3269	IV C 6 h	II層	両極石器	28.0	47.0	9.0	16.19	—	I	
3270	IV C 7 d	II層	両極石器	33.0	35.0	20.0	19.28	—	I	
3271	IV C 8 g	II層	両極石器	23.0	34.0	9.5	7.01	—	II	
3272	IV D 1 a	II層	両極石器	21.0	12.0	7.0	1.72	S	I	
3273	IV D 1 a	II層	両極石器	21.0	21.0	7.5	4.58	—	I	
3274	IV D 1 a	II層	両極石器	15.5	22.0	11.0	3.41	S	I	
3275	IV D 2 a	II層	両極石器	30.0	41.0	10.0	13.76	—	I	
3276	IV D 2 a	II層	両極石器	29.0	23.0	8.0	5.13	—	I	
3277	IV D 2 - 3 a	II~III層	両極石器	29.0	41.0	9.0	12.82	—	I	
3278	IV D 3 a	II層	両極石器	26.0	25.0	8.0	5.61	—	I	
3279	T1034	南側落ち込みII層	両極石器	36.0	32.0	11.0	14.71	—	I	
3280	斜面トレンチ	II層	両極石器	27.0	25.0	10.5	7.60	V2	I	
3281	尾根部南斜面	I層	両極石器	19.0	19.0	8.0	4.62	V2	I	
3282	不明	不明	両極石器	45.0	28.0	10.0	11.53	—	I	
3283	S I 03	北東埋土下位	不定形石器	31.0	20.0	12.0	7.00	V2	II C	
3284	S I 06	北西埋土上~中位	不定形石器	21.0	19.0	8.0	3.75	V2	II C	
3285	S I 14	北西部埋土上層	不定形石器	40.0	37.0	13.0	19.28	V2	II D	撿器
3286	S I 18	南西埋土中~下位	不定形石器	36.0	59.0	13.0	20.27	V2	III C	
3287	S I 18	③南東埋土下位	不定形石器	66.0	35.0	15.0	39.79	V2	I C	
3288	S I 18	③埋土上位	不定形石器	30.0	18.0	9.0	3.77	V2	I C	
3289	S I 20	ベルトA-A' 3層	不定形石器	42.0	38.0	9.0	14.93	V2	II A	
3290	S I 24-PP 1	3層	不定形石器	38.0	24.0	5.0	5.66	V2	III A	
3291	S I 29	Pit 4 埋土	不定形石器	32.0	17.0	6.0	4.10	—	II A	
3292	S I 29	北東1/4埋土中位	不定形石器	36.0	24.0	10.0	6.70	—	II C	
3293	S I 29	北東1/4埋土中位	不定形石器	23.0	26.0	10.0	5.92	—	II C	
3294	S I 29	埋土上位	不定形石器	28.5	18.0	5.0	2.32	—	II C	
3295	S I 31	Wベルト4層	不定形石器	23.5	29.0	9.0	4.73	—	II B	
3296	S I 31	N Sベルト4層	不定形石器	57.0	42.0	10.0	25.01	—	II C	
3297	S I 31	Eベルト3層	不定形石器	23.0	23.0	11.0	4.66	—	I A	
3302	S I 35	北西埋土上位	不定形石器	(19.5)	22.5	3.0	1.61	—	I A	
3303	S I 36	カマド埋土	不定形石器	(21.0)	(19.0)	3.0	1.03	—	I C	
3304	S I 36	床面直上	不定形石器	32.0	26.0	7.0	4.78	—	II C	
3305	S I 36	Q N E埋土下部	不定形石器	(27.0)	20.0	5.0	3.75	—	II A	
3306	S I 36	Q S E埋土上部	不定形石器	47.0	39.0	11.0	17.05	—	II C	
3307	S I 37	南西埋土	不定形石器	67.0	39.0	14.0	38.63	V2	II C	
3308	S I 39	南東埋土下位	不定形石器	40.5	26.0	8.0	13.04	—	II C	
3309	S I 39	南東埋土下位	不定形石器	(30.0)	20.0	8.0	3.19	—	II C	
3310	S I 39	埋土	不定形石器	39.0	47.0	11.0	20.98	—	II C	
3311	S I 39	埋土	不定形石器	46.0	43.0	12.0	25.73	—	II C	
3312	S I 40	床面直上	不定形石器	30.0	16.0	3.0	1.67	—	I C	
3313	S I 40	埋土上部	不定形石器	33.0	24.0	5.0	4.68	—	II B	
3314	S I 41	埋土上位	不定形石器	32.0	17.0	6.0	2.70	—	II C	
3315	S I 42	貼床埋土	不定形石器	(26.0)	34.0	12.0	10.32	—	I B	

第32表 石器観察表 (14)

(数値): 残存値

掲載 No.	出土地点	層位	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石材	分類	備考
3316	S I 42	貼床埋土	不定形石器	35.0	(18.0)	13.0	7.13	—	II B	
3317	S I 42	埋土下部	不定形石器	37.0	35.0	9.5	14.69	—	I C	
3318	S I 42	埋土	不定形石器	(25.0)	16.0	6.0	2.63	—	I C	
3319	S I 42	埋土	不定形石器	36.0	24.0	5.0	3.97	—	II B	
3320	S I 42	埋土	不定形石器	(14.0)	23.0	5.5	2.39	—	I B	
3321	S I 43	QNE埋土	不定形石器	20.0	21.0	4.0	1.81	—	I C	
3322	S I 44	北東埋土1層	不定形石器	58.0	15.0	5.5	4.09	—	II C	
3323	S I 46	埋土中位	不定形石器	45.0	29.0	8.0	8.61	—	I C	
3324	S I 46	埋土中位	不定形石器	27.0	28.0	6.0	3.74	—	III B	
3325	S I 46	埋土上部	不定形石器	57.0	45.0	6.0	11.34	—	II C	
3326	S I 46	埋土上位	不定形石器	40.0	26.0	6.0	7.10	—	II B	
3327	S I 46	埋土上位	不定形石器	41.0	19.0	5.0	3.30	—	II C	
3328	S I 47	西埋土上～中位	不定形石器	49.0	21.0	8.0	8.84	—	I C	
3329	S I 48	埋土 (グリッドG地点)	不定形石器	36.0	20.5	6.0	4.40	—	II B	
3330	S I 50	南半埋土上～中位	不定形石器	53.0	42.0	10.0	32.50	—	III C	
3331	S I 50	埋土上～中位	不定形石器	48.0	25.0	7.5	10.96	—	I A	
3332	S I 53	床面直上	不定形石器	37.0	15.5	6.0	2.82	—	II C	
3333	S I 53	QSWベルト4層	不定形石器	27.0	30.0	4.0	3.96	—	II B	
3334	S I 53	Nベルト3層	不定形石器	51.0	80.0	11.0	41.32	—	II C	
3335	S I 53	QNW埋土	不定形石器	69.0	43.0	11.0	32.19	—	II C	
3336	S I 53	QNW埋土	不定形石器	31.0	40.0	12.5	11.82	—	III C	
3337	S I 53	QSEE埋土	不定形石器	90.0	36.0	15.0	33.51	V2	I B	
3338	S I 53	埋土	不定形石器	45.0	25.0	13.0	12.22	—	II C	
3339	S I 53	埋土	不定形石器	21.0	29.0	8.0	4.32	—	I A	
3340	S I 55	埋土	不定形石器	25.0	37.0	10.0	8.99	—	II C	
3341	S I 56	埋土	不定形石器	39.0	12.0	7.0	2.74	—	I C	
3342	S I 57	周溝埋土	不定形石器	27.0	30.0	12.0	9.26	—	II B	
3343	S I 57	QNW埋土	不定形石器	30.0	23.0	5.0	2.83	—	I B	
3344	S I 57	QNW埋土	不定形石器	38.0	30.0	11.0	12.26	—	I B	
3345	S I 58	埋土下位	不定形石器	32.0	26.0	7.0	5.04	—	III C	
3346	S I 58	埋土下位	不定形石器	(43.0)	(17.0)	5.0	3.61	—	II C	
3347	S I 58	Aベルト4～7層	不定形石器	40.0	42.0	14.0	30.34	—	II C	
3348	S I 58	南埋土中位	不定形石器	38.0	37.0	7.0	10.52	—	II C	
3349	S I 58	埋土上位	不定形石器	36.0	22.0	5.0	3.12	—	II C	
3350	S I 58	南埋土上位	不定形石器	36.0	15.0	6.0	4.00	—	II C	
3351	S I 58	南東埋土上位	不定形石器	26.0	36.0	9.0	6.08	—	II C	
3352	S I 59	QNW埋土下部	不定形石器	58.0	23.0	10.0	12.23	—	II C	
3353	S I 59	Eベルト埋土1層及び6層	不定形石器	28.0	31.0	7.5	8.08	—	II C	
3354	S I 60	南東端埋土	不定形石器	32.0	41.0	14.0	14.72	—	III C	
3355	S I 61	埋土下位	不定形石器	66.0	42.0	11.0	36.21	—	I C	
3356	S I 61	④ (S182重複部) 埋土中位	不定形石器	56.0	20.0	8.0	4.48	V2	II C	
3357	S I 61	②埋土中位	不定形石器	60.0	24.0	12.0	14.45	—	II C	
3358	S I 61	④埋土上～中位	不定形石器	22.0	39.0	5.0	4.37	—	II B	
3359	S I 61	南埋土上位	不定形石器	40.0	26.0	6.0	6.66	—	II C	
3360	S I 62	埋土中位	不定形石器	32.0	27.0	8.0	7.30	—	II B	
3361	S I 62	埋土上～上位	不定形石器	40.0	44.0	15.0	26.28	V2	II C	
3362	S I 62	埋土一括	不定形石器	29.0	41.0	10.0	9.94	—	I C	
3363	S I 64	床面直上	不定形石器	23.5	20.5	6.5	3.15	—	I C	
3364	S I 65	Sベルト5層	不定形石器	53.0	14.0	8.0	5.02	—	II C	
3365	S I 65	Nベルト2層	不定形石器	28.0	23.0	635.0	4.43	—	I C	
3366	S I 65	QSE埋土下部	不定形石器	25.0	25.0	4.5	3.88	—	I C	
3367	S I 71	北西埋土下位	不定形石器	18.0	26.0	7.0	4.04	—	I C	
3368	S I 71	北西埋土下位	不定形石器	27.0	24.0	4.0	2.79	—	II C	
3369	S I 72	ベルトA-A' 2層	不定形石器	32.0	29.0	7.0	5.98	—	II C	
3370	S I 72	北東埋土下位	不定形石器	21.0	31.0	5.0	3.19	—	II C	
3371	S I 72	北東埋土上位	不定形石器	44.0	48.0	15.0	25.85	V2	III C	
3372	S I 72	南東埋土上位	不定形石器	41.0	56.5	9.0	18.36	—	II C	
3373	S I 74	貼床埋土	不定形石器	40.0	36.0	7.0	10.58	V2	II B	
3374	S I 74	QSE埋土	不定形石器	27.0	23.0	7.0	3.78	—	II B	
3375	S I 74	埋土	不定形石器	23.0	33.0	5.0	3.66	—	II CE	
3376	S I 75	炉北半埋土9層	不定形石器	49.0	(33.0)	6.0	13.79	—	II C	
3377	S I 75	II層	不定形石器	23.0	29.0	6.5	5.08	—	I B	
3378	S I 76	埋土上～中位	不定形石器	66.0	43.0	18.0	53.45	—	I C	
3379	S I 78	QNE埋土下部	不定形石器	25.0	28.0	8.0	5.44	—	II A	
3380	S I 78	QNW埋土上部	不定形石器	29.0	25.0	6.0	5.68	—	II C	
3381	S I 79	床面直上	不定形石器	(36.0)	(19.0)	9.0	4.61	—	I A	
3382	S I 80	QNE埋土下位	不定形石器	29.0	16.5	6.0	2.62	—	II C	
3383	S I 81	南西埋土上位	不定形石器	33.0	43.0	11.0	12.49	—	II C	
3384	S I 82	ベルトA-A' 2層	不定形石器	40.0	21.0	7.0	3.63	—	II D	
3385	S I 82	南東埋土下位	不定形石器	61.0	33.0	15.0	21.34	—	II B	
3386	S I 82	南東埋土下位	不定形石器	40.0	7.0	6.0	2.33	—	I C	
3387	S I 82	北東埋土上～中位	不定形石器	36.5	33.0	10.0	12.66	—	III C	
3388	S I 82	②埋土上位	不定形石器	62.0	27.0	7.0	13.11	V2	II A	
3389	S I 83	南半埋土下位	不定形石器	37.0	32.0	12.0	14.26	—	II D	
3390	S I 84	埋土上～中位	不定形石器	26.0	27.0	8.0	6.23	—	II A	
3391	S I 86	炉区割③埋土	不定形石器	(25.0)	29.5	5.5	4.58	—	I C	
3392	S I 86	炉区割③埋土	不定形石器	(23.0)	22.5	4.0	2.58	—	I B	
3393	S I 86	S.No 2の下	不定形石器	69.0	40.0	10.0	31.49	—	II C	

第32表 石器観察表 (15)

(数値) : 残存値

掲載 No.	出土地点	層位	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石材	分類	備考
3394	S I 86	北東埋土下位	不定形石器	48.0	20.5	8.0	5.15	V2	II A	
3395	S I 88	石囲炉埋土	不定形石器	(26.0)	(29.0)	8.0	7.00	—	II C	
3396	S I 88	石囲前庭部? 南半埋土	不定形石器	26.0	7.0	5.0	0.85	—	II C	
3397	S I 88	P P 1	不定形石器	60.0	68.0	15.5	66.72	—	I A	
3398	S I 88	Sベルト埋土13層	不定形石器	37.0	49.5	13.0	18.99	—	II A	
3399	S I 88	Eベルト9層	不定形石器	33.0	19.5	6.0	4.55	—	I C	
3400	S I 88	QNE埋土下部	不定形石器	(38.0)	26.0	12.0	11.78	—	II B	
3401	S I 88	QNE埋土下部	不定形石器	55.0	49.0	13.0	20.73	—	II C	
3402	S I 88	QNE埋土下部	不定形石器	47.0	26.0	10.0	9.89	—	III C	
3403	S I 88	QNW埋土中~下部	不定形石器	(20.0)	33.0	8.0	6.29	—	II A	
3404	S I 88	QNW埋土中~下部	不定形石器	55.0	30.0	15.0	19.80	—	II C	
3405	S I 88	QNE埋土中~下部	不定形石器	50.0	33.0	10.0	16.28	—	II C	
3406	S I 88	QSE埋土中部	不定形石器	33.0	19.0	7.0	3.74	—	II C	
3407	S I 89・93	Wベルト埋土9層	不定形石器	47.0	47.0	10.0	21.08	V2	II A	
3408	S I 90	埋土下部(床面直上)	不定形石器	26.0	32.0	7.0	6.41	—	II C	
3409	S I 91	埋土	不定形石器	32.0	32.0	7.0	7.72	—	II B	
3410	S I 92	NSベルト5層	不定形石器	39.0	30.0	10.5	9.61	—	II C	
3411	S I 92	NSベルト4層	不定形石器	63.0	28.0	12.0	24.04	—	II C	
3412	S I 92	NSベルト3層	不定形石器	78.0	70.0	19.0	98.36	—	III C	
3413	S I 92	QNW埋土	不定形石器	(21.0)	33.0	10.0	8.20	—	II C	
3414	S I 93	Nベルト3層	不定形石器	29.0	24.5	10.5	7.36	—	II C	
3415	S I 95	南埋土中位	不定形石器	(27.0)	20.0	4.0	2.39	—	I A	
3416	S I 96	埋土中~下位	不定形石器	(28.0)	36.0	10.0	8.21	—	II C	
3417	S I 96	埋土中位	不定形石器	(30.0)	26.0	13.0	11.15	—	II A	
3418	S I 97	埋土	不定形石器	41.5	22.0	8.0	7.50	—	II C	
3419	S I 99	北東側埋土上~下位	不定形石器	37.0	36.0	8.0	11.26	—	II C	
3420	S I 101	土器集中⑤	不定形石器	32.0	37.0	9.0	11.87	—	II B	
3421	S I 101	埋土(土器内)	不定形石器	(23.0)	26.0	8.0	4.47	—	II B	
3422	S I 102	南東側埋土下位	不定形石器	27.0	32.0	8.0	8.63	—	II C	
3423	S I 102	北西部埋土中~下位	不定形石器	44.0	24.0	8.0	9.27	—	II C	
3424	S I 103	南西側埋土、炭焼土堆積層より上位	不定形石器	35.0	18.0	8.0	4.52	—	II C	両極石器?
3425	S I 102	南東側埋土上位	不定形石器	36.0	20.5	5.0	3.80	—	II B	
3426	S I 106	ベルトA-A'1層	不定形石器	38.0	15.0	6.0	3.73	—	II B	
3427	S I 106	北東埋土	不定形石器	42.0	62.0	8.0	23.45	—	III C	
3428	S I 108	南西埋土下位	不定形石器	34.0	42.0	8.0	12.64	—	III C	
3429	S I 112	北東埋土下位	不定形石器	41.0	24.5	8.0	9.08	—	II C	
3430	S I 112	北東埋土下位	不定形石器	35.0	19.0	12.0	5.46	—	II C	
3431	S I 112	南東埋土下位	不定形石器	(36.0)	(20.5)	6.0	3.37	—	II C	
3432	S I 113	P P 4	不定形石器	37.5	25.0	6.0	5.52	—	I C	
3433	S I 114	埋土	不定形石器	(25.5)	(13.0)	5.0	1.39	—	II C	
3434	S I 115	炉区割2、埋土	不定形石器	39.0	32.0	12.5	17.04	c	II D	搔器
3435	S I 115	ベルトA-A'4層	不定形石器	(34.0)	24.0	8.0	5.88	—	II B	
3436	S I 115	北西埋土下位	不定形石器	48.0	24.0	11.0	12.00	—	II C	
3437	S I 116	南半埋土下位	不定形石器	54.0	29.0	12.0	13.57	—	II B	
3438	S I 116	南北半埋土下位	不定形石器	31.0	38.0	10.0	13.72	—	II C	
3439	S I 116	南北半埋土下位	不定形石器	46.0	63.0	11.0	31.55	—	II C	
3440	S I 118	ベルトA-A'1層	不定形石器	(23.0)	24.0	3.0	2.06	—	II B	
3441	S I 118	ベルトA-A'1層	不定形石器	(17.0)	25.0	5.0	1.48	—	II C	
3442	S K 1 03	西半埋土	不定形石器	38.0	30.0	10.0	11.79	V2	—	
3443	S K 1 10	北西埋土上~中位	不定形石器	31.0	22.0	7.0	4.09	—	II C	
3444	S K 1 13	埋土	不定形石器	34.0	14.0	6.0	3.28	—	II B	
3445	S K 1 13	埋土	不定形石器	26.0	39.0	9.0	8.27	—	II C	
3446	S K 1 13	ベルト4層	不定形石器	47.5	34.5	10.5	14.32	—	II C	
3447	S K 1 13	ベルト埋土1層	不定形石器	74.0	36.0	9.0	21.95	—	II B	
3448	S K 1 13	ベルト埋土1層	不定形石器	35.0	17.0	9.0	3.90	—	II C	
3449	S K 1 13	ベルト埋土1層	不定形石器	(30.0)	39.0	9.0	11.22	—	II C	
3450	S K 1 13	ベルト埋土1層	不定形石器	38.0	26.0	15.5	11.29	—	II C	
3451	S K 1 13	ベルト1層	不定形石器	43.0	40.5	9.0	16.85	—	II B	
3452	S K 1 15	P P 5埋土	不定形石器	49.0	36.0	8.0	15.75	—	II C	
3453	S K 1 15	P P 5埋土	不定形石器	(29.0)	32.5	6.5	6.89	—	III C	
3454	S K 13	北東	不定形石器	30.0	19.5	4.0	3.06	V2	II D	搔器
3455	S K 27	西半埋土下位	不定形石器	21.0	34.0	4.5	2.58	V2	II CE	
3456	S K 29	西半埋土下層	不定形石器	38.0	19.0	8.0	5.30	V2	II C	
3457	S K 91	埋土3層	不定形石器	22.0	33.0	9.0	6.39	—	II C	
3458	S K 93	不明	不定形石器	40.0	19.0	5.0	4.27	—	II C	
3459	S K 100	不明	不定形石器	40.0	25.0	5.0	6.88	—	II C	
3460	S K 116	埋土3層	不定形石器	(37.5)	22.0	17.0	5.60	—	II B	
3461	S K 143	埋土	不定形石器	36.0	43.0	14.0	22.04	—	II C	
3462	S K 147	埋土4層	不定形石器	(20.5)	22.0	5.0	2.73	—	III C	
3463	S X 09	東半埋土	不定形石器	(24.5)	22.0	7.0	3.71	—	II C	
3464	S X 11	北東側埋土	不定形石器	39.0	5.0	7.0	2.55	—	II CE	
3465	S X 11	北東側埋土	不定形石器	38.5	35.0	8.0	8.73	—	II B	
3466	P 13	西~中央埋土	不定形石器	30.0	28.0	5.0	4.92	V2	III C	
3467	P 16	西側~中央埋土	不定形石器	31.0	25.0	6.0	5.44	V2	II C	
3468	II C 6 d	不明	不定形石器	28.0	15.0	5.0	1.96	V2	II A	
3469	II C 7 b	II層	不定形石器	50.0	23.5	11.0	11.06	V2	I A	
3470	II C 7・8 b	包含層アゼ上位	不定形石器	67.0	45.0	17.0	37.03	V2	II B	
3471	II C 7 c	II層	不定形石器	92.0	50.0	11.0	52.80	V2	II C	

第32表 石器観察表 (16)

(数値) : 残存値

掲載 No.	出土地点	層位	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石材	分類	備考
3472	II C 7 d	II層	不定形石器	32.0	39.0	9.0	9.61	V2	III C	
3473	II C 7・8 d	包含層アゼ下位	不定形石器	40.0	32.0	9.0	14.43	V2	II A	
3474	II C 7・8 d	包含層アゼ中位	不定形石器	30.0	22.0	9.0	4.74	V2	III C	
3475	II C 7・8 d	包含層アゼ上位	不定形石器	46.0	40.0	10.0	15.04	V2	II A	
3476	II C 8 c	II層	不定形石器	35.0	28.0	9.0	7.14	V2	II A	
3477	II C 8・9 c	包含層アゼ下位	不定形石器	40.0	52.0	11.0	22.39	V2	III A	
3478	II C 8 d	II層	不定形石器	(17.0)	22.0	3.5	(2.03)	V2	I C	
3479	II C 8 d	II層	不定形石器	38.0	47.0	8.5	16.57	V2	II A	
3480	II C 8 d	包含層下位	不定形石器	53.0	49.0	20.0	42.19	V2	II C	
3481	II C 9・10 a	包含層アゼ下位	不定形石器	28.0	31.0	6.0	6.06	V2	II A	
3482	II C 9 c	II層	不定形石器	32.0	40.0	13.0	14.98	V2	II C	
3483	II C 9 d	II層	不定形石器	32.0	30.0	10.0	12.00	V2	II C	
3484	II C 9 d	包含層下位	不定形石器	34.0	27.0	6.0	5.58	V2	II D	搔器
3485	II C 9 d	南北ベルト埋土下位	不定形石器	50.0	25.0	6.0	8.15	V2	II C	
3486	II C 10 a	包含層中位	不定形石器	37.0	23.0	9.0	5.73	V2	II C	
3487	II C 10 b	II層	不定形石器	56.0	28.0	11.0	14.67	V2	II C	
3488	II C 10 b	II層	不定形石器	35.0	24.0	7.0	5.37	V2	II A	
3489	II C 10 b	II層	不定形石器	51.0	35.0	11.0	18.41	V2	III C	
3490	II C 10 b	II層	不定形石器	26.0	37.0	9.0	5.84	V2	III C	
3491	II C 10 b c	包含層アゼ下位	不定形石器	(22.0)	25.0	6.0	(3.22)	V2	II C	
3492	II C 10 b c	包含層アゼ上位	不定形石器	44.0	33.0	6.0	6.41	V2	I C	
3493	II C 10 c	包含層中位	不定形石器	33.0	47.0	5.0	10.31	V2	II C	
3494	II C 10 c	不明	不定形石器	34.0	25.0	9.0	6.71	V2	I B	
3495	II C 10 d	II層	不定形石器	35.0	25.0	9.5	12.40	V2	II C	
3496	II C 10 d	包含層下位	不定形石器	25.0	21.0	16.0	2.79	V2	II C	
3497	II C 10 d	包含層下位	不定形石器	24.0	30.0	10.0	5.11	V2	I C	
3498	II C 10 d	包含層中位	不定形石器	31.0	22.0	6.0	3.58	V2	II C	
3499	II C 10 d	南北ベルト埋土中位	不定形石器	38.0	39.0	17.0	27.27	V2	II A	
3500	II C 10 e	II層	不定形石器	38.0	35.0	11.0	11.28	V2	I A	
3501	II C	II層	不定形石器	40.0	32.0	9.0	10.06	V2	II C	
3502	III B 1 j	包含層下位	不定形石器	42.0	35.0	12.0	16.49	V2	III C	
3503	III B 1 j	包含層下位	不定形石器	44.0	23.0	7.0	8.23	V2	II C	
3504	III B 2 j	包含層下位	不定形石器	29.0	29.0	12.5	9.54	V2	II C	
3505	III B 2 j	包含層上～中位	不定形石器	35.0	35.0	13.0	12.54	V2	II A	
3506	III B 3 j	II層焼土検出面	不定形石器	52.0	45.0	16.0	30.87	V2	II A	
3507	III B 3 j	II層～焼土検出面	不定形石器	67.0	39.0	15.0	42.58	V2	III C	
3508	III B 3 j	包含層1段目	不定形石器	33.0	45.0	9.0	13.35	V2	II C	
3509	III B 3 j	包含層1段目	不定形石器	23.0	27.0	10.0	5.54	V2	II A	
3510	III B 4 i	II層	不定形石器	36.5	41.0	10.0	13.15	V2	II A	
3511	III B 5 j	不明	不定形石器	44.0	31.0	8.0	9.71	—	III C	
3512	III B 6 i	II層	不定形石器	36.0	11.0	7.0	13.72	V2	II A	
3513	III B 7 h	II層	不定形石器	(32.0)	20.0	9.5	(8.06)	V2	II A	
3514	III B 7 i	II層	不定形石器	34.0	32.0	12.0	15.04	V2	II A	
3515	III B 7 i	II層	不定形石器	22.0	31.0	9.0	7.94	V2	I C	
3516	III B 7 i	II層	不定形石器	25.0	15.0	8.0	2.93	W1	I	
3517	III B 7 i	II層	不定形石器	19.0	22.0	4.0	1.93	V2	II B	
3518	III B 9 j	II層	不定形石器	40.0	20.0	14.0	12.97	V2	II C	
3519	III B 10 j	I～II層	不定形石器	30.0	39.0	10.5	9.47	—	II A	
3520	III C 10 a	II層	不定形石器	28.0	17.0	4.0	1.91	—	II C	
3521	III C 1 a	不明	不定形石器	35.0	32.0	10.0	7.34	V2	II C	
3522	III C 10 a	検出面	不定形石器	35.0	38.0	7.0	10.91	—	II C	
3523	III C 1 b	不明	不定形石器	26.0	24.0	9.0	6.23	V2	I A	
3524	III C 1 b	不明	不定形石器	27.0	30.0	11.0	10.11	V2	II C	
3525	III C 1・2 b	包含層下位	不定形石器	41.0	38.0	10.0	6.70	V2	II C	
3526	III C 1 c	包含層下位	不定形石器	28.0	30.0	9.0	6.39	V2	II A	
3527	III C 1 c	包含層下位	不定形石器	30.0	18.5	8.0	3.62	V2	I A	
3528	III C 1 c	東西ベルト埋土上位	不定形石器	41.0	30.0	8.0	8.87	V2	II A	
3529	III C 1 c	包含層アゼ	不定形石器	40.0	27.0	10.0	7.38	V2	I A	
3530	III C 2 g	II層	不定形石器	39.0	29.0	11.0	9.30	—	II C	
3531	III C 2～5 d	II層	不定形石器	50.0	32.0	13.0	16.60	V2	II C	
3532	III C 3 a	II層	不定形石器	25.0	22.0	5.0	2.78	V2	II C	
3533	III C 3 a	II層	不定形石器	30.0	34.0	7.0	9.44	V2	II A	
3534	III C 3 a	II層	不定形石器	(26.0)	36.0	12.0	(11.71)	V2	II C	
3535	III C 3 a	包含層2段目	不定形石器	35.0	37.0	12.0	12.91	V2	III C	
3536	III C 3 a	包含層1段目	不定形石器	51.0	17.0	6.0	6.31	V2	II C	
3537	III C 8 d	II層	不定形石器	47.5	27.5	13.0	13.49	—	III C	
3538	III C 8 d	II層	不定形石器	25.0	23.0	7.0	3.93	—	III C	
3539	III C 8 d	II層	不定形石器	55.0	34.0	10.0	16.77	—	II C	
3540	III C 8 f	II層	不定形石器	(20.0)	14.0	5.0	(1.82)	V2	II B	
3541	III C 9 c	II層	不定形石器	25.5	27.0	5.0	4.51	—	II C	
3542	III C 9 d	II層	不定形石器	(33.0)	(20.0)	5.0	3.39	—	II C	
3543	III C 9 e	II層	不定形石器	(40.0)	(37.0)	10.0	14.02	—	II B	
3544	III C 9 e	II層検出面	不定形石器	(33.0)	32.0	12.0	8.99	Z5	I C	
3545	III C 9 f	II層	不定形石器	(23.0)	33.0	8.0	7.15	—	II C	
3546	III C 9 f	II層	不定形石器	50.0	57.0	8.0	23.08	—	III CE	
3547	III C 9 g	II層	不定形石器	26.0	27.0	6.0	5.08	—	II A	
3548	III C 9 h	II層	不定形石器	40.0	52.0	15.0	21.79	—	II C	
3549	III C 10 f	II層	不定形石器	(24.0)	28.0	6.0	4.97	—	I B	

第32表 石器観察表 (17)

(数値) : 残存値

掲載 No.	出土地点	層位	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石材	分類	備考
3550	Ⅲ C 10 g	Ⅱ層	不定形石器	36.0	22.0	4.0	3.04	—	Ⅱ A	
3551	Ⅲ C 10 g	Ⅱ層	不定形石器	(24.0)	(25.0)	8.0	5.75	—	Ⅲ C	
3552	Ⅲ C 10 i	Ⅱ層	不定形石器	42.0	35.0	7.0	10.51	—	Ⅱ C	
3553	Ⅲ C 10 j	Ⅱ層	不定形石器	27.0	14.0	6.0	2.39	—	Ⅱ C	
3554	Ⅲ D 3 a	Ⅱ層	不定形石器	31.0	24.0	6.0	4.64	—	Ⅱ C	
3555	Ⅲ D 10 b	Ⅱ層	不定形石器	25.0	39.0	9.0	7.70	V2	Ⅲ B	
3556	Ⅲ D 10 c	Ⅱ層	不定形石器	38.0	25.0	7.0	6.98	V2	Ⅱ B	
3557	Ⅳ B 1 j	Ⅱ層検出面	不定形石器	33.0	45.0	8.0	11.37	V2	Ⅱ C	
3558	Ⅳ B 5 j	Ⅱ層	不定形石器	41.0	32.0	11.0	12.59	—	Ⅲ A	
3559	Ⅳ B 5 j	Ⅱ層	不定形石器	40.0	36.0	15.0	21.82	—	Ⅱ C	
3560	Ⅳ C 1 b	Ⅱ層下検出面	不定形石器	36.0	34.0	10.0	16.21	—	Ⅱ D	
3561	Ⅳ C 1 d	Ⅱ層	不定形石器	32.0	13.0	8.0	2.40	—	Ⅱ B	
3562	Ⅳ C 1 d	Ⅱ層	不定形石器	57.0	41.0	8.0	18.57	—	Ⅱ C	
3563	Ⅳ C 1 d	Ⅱ層検出面	不定形石器	57.0	20.0	7.0	7.77	—	Ⅱ C	
3564	Ⅳ C 1 e	Ⅱ層	不定形石器	43.0	38.0	11.0	17.26	—	Ⅱ B	
3565	Ⅳ C 1 f	Ⅱ層	不定形石器	28.0	26.0	5.0	4.23	—	Ⅱ C	
3566	Ⅳ C 1 f	Ⅱ層	不定形石器	(23.0)	(20.0)	7.0	3.16	—	Ⅱ C	
3567	Ⅳ C 1 j	Ⅱ層	不定形石器	21.0	34.0	5.0	4.10	—	Ⅱ C	
3568	Ⅳ C 1 j	Ⅱ層	不定形石器	27.0	34.0	6.0	5.98	—	Ⅰ C	
3569	Ⅳ C 2 a	Ⅱ層下検出面	不定形石器	34.0	22.0	6.0	4.86	—	Ⅱ C	
3570	Ⅳ C 2 a	Ⅱ層下検出面	不定形石器	43.0	23.0	8.0	6.87	—	Ⅱ B	
3571	Ⅳ D 2・3 a	Ⅱ～Ⅲ層	不定形石器	41.0	44.0	11.0	14.82	—	Ⅱ C	
3572	Ⅳ C 2 b	Ⅱ層検出面	不定形石器	34.0	18.0	7.0	4.46	—	Ⅱ C	
3573	Ⅳ C 2 d	Ⅱ層	不定形石器	23.0	12.0	3.0	1.00	—	Ⅱ B	
3574	Ⅳ C 2 d	Ⅱ層	不定形石器	44.0	26.0	8.0	9.80	—	Ⅱ C	
3575	Ⅳ C 2 e	Ⅱ層	不定形石器	30.5	15.5	7.0	2.72	—	Ⅱ C	
3576	Ⅳ C 2 j	Ⅱ～Ⅲ層	不定形石器	26.0	17.0	5.0	1.67	—	Ⅱ B	
3577	Ⅳ C 2 j	Ⅱ～Ⅲ層	不定形石器	30.0	21.0	4.0	3.07	—	Ⅱ C	
3578	Ⅳ C 3 a	Ⅱ層	不定形石器	27.0	22.0	4.5	2.29	—	Ⅱ B	
3579	Ⅳ C 3 a	Ⅱ層	不定形石器	62.0	44.0	16.0	39.49	—	Ⅲ C	
3580	Ⅳ C 3 a	Ⅱ層	不定形石器	(35.0)	31.0	12.0	12.47	—	Ⅲ C	
3581	Ⅳ C 3 b	Ⅱ層	不定形石器	(21.0)	25.0	5.0	2.62	—	Ⅱ C	
3582	Ⅳ C 3 b	Ⅱ層	不定形石器	(35.0)	45.0	16.0	24.08	—	Ⅱ C	
3583	Ⅳ C 3 b	Ⅱ層	不定形石器	28.0	19.5	5.0	2.13	—	Ⅱ C	
3584	Ⅳ C 3 c	Ⅱ層	不定形石器	47.0	31.0	8.0	30.41	—	Ⅱ C	
3585	Ⅳ C 3 c	Ⅱ層	不定形石器	38.0	56.0	10.0	19.15	—	Ⅱ C	
3586	Ⅳ C 3 i	Ⅱ層	不定形石器	(23.0)	(32.0)	8.0	4.38	—	Ⅱ B	
3587	Ⅳ C 3 j	Ⅱ層	不定形石器	33.0	32.0	12.0	15.84	—	Ⅱ C	
3588	Ⅳ C 3 j	Ⅱ層	不定形石器	(27.0)	37.0	7.0	5.25	—	Ⅱ C	
3589	Ⅳ C 4 i	Ⅱ層	不定形石器	(20.0)	37.0	10.0	8.53	—	Ⅰ B	
3590	Ⅳ C 4 i	Ⅱ層	不定形石器	30.0	25.0	8.0	8.20	—	Ⅰ B	
3591	Ⅳ C 4 j	Ⅱ層	不定形石器	56.0	43.0	9.0	19.13	—	Ⅱ C	
3592	Ⅳ C 4 j	Ⅱ層	不定形石器	(52.0)	(28.0)	12.0	12.95	—	Ⅰ B	
3593	Ⅳ C 5 a	Ⅱ層	不定形石器	27.0	18.0	4.0	2.00	—	Ⅱ C	
3594	Ⅳ C 5 a	Ⅱ層	不定形石器	28.0	16.0	8.0	2.65	—	Ⅱ B	
3595	Ⅳ C 5 a	Ⅱ層	不定形石器	32.0	19.0	7.0	4.40	—	Ⅱ C	
3596	Ⅳ C 5 a	Ⅱ層	不定形石器	26.0	29.0	4.0	3.55	—	Ⅱ C	
3597	Ⅳ C 5 a	Ⅱ層	不定形石器	39.0	57.0	14.0	29.33	—	Ⅱ C	
3598	Ⅳ C 5 b	Ⅱ層	不定形石器	25.0	25.0	8.0	4.58	—	Ⅱ B	
3599	Ⅳ C 5 c	Ⅱ層	不定形石器	42.0	29.0	10.0	11.99	—	Ⅰ C	
3600	Ⅳ C 5 c	Ⅱ層	不定形石器	33.0	22.0	7.0	4.09	—	Ⅱ B	
3601	Ⅳ C 5 c	Ⅱ層	不定形石器	22.0	27.0	6.5	2.75	—	Ⅱ B	
3602	Ⅳ C 5 c	Ⅱ層	不定形石器	25.0	17.0	5.0	1.87	—	Ⅰ C	
3603	Ⅳ C 5 c	Ⅱ層	不定形石器	28.0	28.0	3.0	3.33	—	Ⅱ C	
3604	Ⅳ C 5 c	Ⅱ層	不定形石器	40.0	44.0	14.0	18.35	—	Ⅲ C	
3605	Ⅳ C 5 c	Ⅱ層	不定形石器	52.0	21.5	10.0	12.18	—	Ⅲ C	
3606	Ⅳ C 5 c	Ⅱ層	不定形石器	26.0	26.0	4.0	4.33	—	Ⅱ B	
3607	Ⅳ C 5 c	Ⅱ層	不定形石器	38.0	16.0	7.5	3.46	—	Ⅲ C	
3608	Ⅳ C 5 c	Ⅱ層	不定形石器	61.0	29.0	12.0	15.49	—	Ⅱ D	
3609	Ⅳ C 5 d	Ⅱ層	不定形石器	37.0	33.0	10.0	15.84	—	Ⅱ B	
3610	Ⅳ C 5 d	Ⅱ層	不定形石器	28.0	20.0	6.0	2.49	—	Ⅱ C	
3611	Ⅳ C 5 d	Ⅱ層	不定形石器	46.0	32.0	13.0	11.92	—	Ⅱ C	
3612	Ⅳ C 5 d	Ⅱ層	不定形石器	32.0	28.0	9.0	8.93	—	Ⅱ C	
3613	Ⅳ C 5 d	Ⅱ層	不定形石器	36.0	32.0	12.0	17.37	—	Ⅱ D	
3614	Ⅳ C 5 d	Ⅱ層	不定形石器	24.0	24.0	5.0	2.33	—	Ⅱ C	
3615	Ⅳ C 5 f	Ⅱ層	不定形石器	21.0	30.0	7.5	6.26	—	Ⅱ B	
3616	Ⅳ C 5 h	Ⅱ層	不定形石器	38.0	33.0	9.0	10.04	—	Ⅰ C	
3617	Ⅳ C 5 i	Ⅱ層	不定形石器	46.0	47.0	9.0	16.69	—	Ⅱ C	
3618	Ⅳ C 5 i	Ⅱ層	不定形石器	31.0	20.0	7.0	4.06	—	Ⅱ C	
3619	Ⅳ C 5 i	Ⅱ層	不定形石器	38.0	37.0	10.0	14.33	—	Ⅲ C	
3620	Ⅳ C 5 i	Ⅱ層	不定形石器	26.0	38.0	11.0	8.93	—	Ⅱ C	
3621	Ⅳ C 6 b	南側落ち込み上層	不定形石器	60.0	32.0	12.0	26.12	—	Ⅰ C	
3622	Ⅳ C 6 b	南側落ち込み上層	不定形石器	45.0	22.0	8.0	6.85	—	Ⅱ C	
3623	Ⅳ C 6 b	南側落ち込み下層	不定形石器	(26.0)	30.0	13.0	12.19	—	Ⅱ C	
3624	Ⅳ C 6 b	南側落ち込み下層	不定形石器	66.0	30.0	6.0	12.19	—	Ⅰ A G	
3625	Ⅳ C 6 b	南側落ち込み下層	不定形石器	37.0	41.0	11.0	20.99	—	Ⅱ C	
3626	Ⅳ C 6 b	南側落ち込み下層	不定形石器	35.0	51.0	10.0	15.89	—	Ⅲ C	
3627	Ⅳ C 6 b	南側落ち込み下層	不定形石器	47.0	54.0	17.0	39.39	—	Ⅱ D	



第32表 石器観察表 (18)

(数値) : 残存値

掲載 No.	出土地点	層位	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石材	分類	備考
3628	IV C 6 b	南側落ち込み下層	不定形石器	35.0	43.0	9.0	17.18	—	III C	
3629	IV C 6 b	南側落ち込み下層	不定形石器	63.0	66.0	9.0	43.40	—	I C	
3630	IV C 6 b	南側落ち込み下層	不定形石器	19.0	30.0	9.0	7.03	—	III C	
3631	IV C 6 b	南側落ち込み下層	不定形石器	41.0	28.0	5.5	5.03	—	II C	
3632	IV C 6 b	南側落ち込み下層	不定形石器	29.0	24.0	4.5	3.24	—	III C	
3633	IV C 6 c	南側落ち込み下層	不定形石器	40.0	30.5	9.5	12.21	—	II B	
3634	IV C 6 c	南側落ち込み下層	不定形石器	37.0	22.0	7.0	5.58	—	II C	
3635	IV C 6 c	II層	不定形石器	39.0	31.0	9.0	10.26	—	II C	
3636	IV C 6 c	II層	不定形石器	47.0	35.5	4.5	9.07	—	II A	
3637	IV C 6 c	II層	不定形石器	31.0	41.5	6.0	7.39	—	III C	
3638	IV C 6 c	II層	不定形石器	25.0	23.0	4.0	2.82	—	II C	
3639	IV C 6 e	II層中位	不定形石器	35.0	24.0	10.0	5.21	—	II C	
3640	IV C 6 e	II層中位	不定形石器	53.0	34.0	12.0	18.55	—	II C	
3641	IV C 6 e	II層下位	不定形石器	38.0	21.0	9.0	7.93	—	II D	
3642	IV C 6 e	II層	不定形石器	47.0	14.0	8.0	4.32	—	II C	
3643	IV C 6 e	II層	不定形石器	(28.0)	27.0	7.0	5.92	—	II A	
3644	IV C 6 e	II層	不定形石器	24.0	27.0	6.0	4.38	—	II C	
3645	IV C 6 e	II層	不定形石器	27.0	28.0	7.0	5.22	—	I B	
3646	IV C 6 e	II層	不定形石器	36.0	44.0	10.0	19.75	—	II CE	
3647	IV C 6 e	II層	不定形石器	15.0	28.0	4.5	1.78	—	III C	
3648	IV C 6 e	II層	不定形石器	19.5	22.5	3.0	1.10	—	II C	
3649	IV C 6 e	II層	不定形石器	30.0	40.0	7.0	9.97	—	II B	
3650	IV C 6 e	II層	不定形石器	29.0	23.0	6.5	4.60	—	III C	
3651	IV C 6 e	II層	不定形石器	50.5	28.0	10.0	10.49	—	II C	
3652	IV C 6 e	II層	不定形石器	50.0	35.5	12.0	29.05	—	II C	
3653	IV C 6 e	II層	不定形石器	33.0	28.0	13.0	14.94	—	III C	
3654	IV C 6 e	II層	不定形石器	(37.0)	25.0	7.0	5.05	—	II C	
3655	IV C 6 e	II層	不定形石器	29.0	37.0	8.0	6.66	—	I C	
3656	IV C 6 e	II層	不定形石器	66.0	35.0	16.0	37.69	—	III A	表皮
3657	IV C 6 g	II層	不定形石器	33.4	21.0	6.0	4.16	—	II C	
3658	IV C 6 g	II層	不定形石器	29.0	19.0	5.0	3.21	—	II A	
3659	IV C 6 g	II層	不定形石器	26.0	21.0	7.0	4.88	—	II C	
3660	IV C 6 g	II層	不定形石器	30.0	20.0	3.5	2.71	—	III A	
3661	IV C 6 h	II層	不定形石器	46.0	20.0	9.0	8.84	—	II B	
3662	IV C 6 h	II層	不定形石器	(54.0)	(45.5)	20.0	44.69	—	I A	
3663	IV C 6 h	II層	不定形石器	36.0	27.0	7.0	7.06	—	I A	
3664	IV C 6 h	II層	不定形石器	(25.0)	32.0	10.0	8.29	—	II C	
3665	IV C 6 h	II層	不定形石器	68.0	40.0	17.0	41.15	—	I C	
3666	IV C 6 i	II層	不定形石器	(34.0)	26.0	8.0	7.36	—	II A	
3667	IV C 6 h	II層	不定形石器	43.0	37.0	11.0	23.53	—	II D	搔器
3668	IV C 7 c	南側落ち込み	不定形石器	33.0	21.0	8.0	5.31	—	II C	
3669	IV C 7 c	南側落ち込み	不定形石器	45.0	33.0	10.0	13.44	—	II C	
3670	IV C 7 d	II層	不定形石器	37.0	18.0	7.0	4.39	—	II C	
3671	IV C 7 d	II層	不定形石器	39.0	32.0	11.0	12.79	—	II C	
3672	IV C 7 e	II層	不定形石器	(32.0)	(33.0)	13.0	9.38	—	I A	
3673	IV C 8 a	II層	不定形石器	29.5	25.0	11.0	8.86	—	II C	
3674	IV D 2 a	II層	不定形石器	58.0	45.0	13.0	41.41	—	II A	
3675	IV D 2 a	II層	不定形石器	(24.0)	(24.0)	5.0	1.46	—	I B	
3676	IV D 2 a	II層	不定形石器	33.0	26.5	10.0	9.61	—	II D	搔器
3677	IV D 3 a	II層	不定形石器	40.0	25.0	7.0	9.59	—	II C	
3678	IV D 3 a	II層	不定形石器	39.0	39.0	9.0	10.81	—	II C	
3679	IV D 3 a	II～III層	不定形石器	44.0	23.0	5.0	3.77	—	II B	
3680	IV D 3 b	II～III層	不定形石器	40.0	22.0	6.0	4.31	—	II C	
3681	IV D 3 b	II～III層	不定形石器	27.0	17.5	8.0	3.76	—	II D	搔器
3682	IV D 3 一	II層中位	不定形石器	(31.0)	(22.0)	5.0	3.18	—	II B	
3683	T 3	II層黒褐色土	不定形石器	(18.0)	18.0	8.5	(3.78)	V2	II C	
3684	T 10	II層	不定形石器	32.0	17.0	5.0	3.49	V2	I A	
3685	T 1019	表土下110～130cm下、黒褐色土	不定形石器	(58.0)	19.0	6.0	10.50	—	II B	
3686	T 1029	II層	不定形石器	29.5	24.0	8.0	4.58	—	II C	
3687	T 1032	II層	不定形石器	29.0	32.0	11.0	8.31	—	II C	
3688	T 1034	南側落ち込みII層	不定形石器	(20.5)	34.0	15.0	10.24	—	II C	
3689	T 1034	南側落ち込みII層	不定形石器	(28.0)	22.5	8.0	6.80	—	II B	
3690	斜面トレンチ	斜面トレンチII層	不定形石器	42.0	35.0	9.0	12.04	V2	II B	
3691	尾根部	尾根部中央トレンチ、暗褐色土	不定形石器	25.0	28.0	8.0	4.58	V2	II C	搔器
3692	南斜面	南斜面II～III層	不定形石器	28.0	38.0	9.0	7.48	V2	III C	
3693	西斜面	西斜面I層	不定形石器	38.0	26.0	8.0	7.03	V2	II A	
3694	不明	南北ベルト埋土上位	不定形石器	60.0	25.0	15.0	22.66	V2	II B	
3695	不明	II層	不定形石器	38.0	32.0	12.5	13.94	V2	II A	
3696	不明	II層	不定形石器	52.0	42.0	13.0	23.00	V2	III C	
3697	S I 14	東北1/4埋土下位	削器	41.0	17.0	8.0	5.03	V2	II C	
3698	S I 18	南西埋土中～下位	削器	70.0	55.0	13.0	40.83	V2	I C	
3699	S I 25	南東ベルト1/4埋土下部	削器	57.0	30.0	9.0	19.95	V2	II C	
3700	S K 36	埋土	削器	60.0	41.0	15.0	34.49	V2	II C	
3701	S K 64	埋土	削器	44.0	60.0	13.0	31.70	V2	III C	
3702	P 27	西～中央埋土	削器	50.5	45.0	10.0	24.09	V2	II C	
3703	II C 7 c d	包含層	削器	44.0	29.0	9.0	13.11	V2	II C	
3704	II C 7 e	東西アゼ第7層	削器	43.0	32.0	11.0	10.48	V2	II C	
3705	II C 8 d	II層	削器	54.0	37.0	8.0	15.11	V2	II A	

第32表 石器観察表 (19)

(数値) : 残存値

掲載 No.	出土地点	層位	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石材	分類	備考
3706	II C 8 e	II層	削器	46.0	39.0	14.0	20.17	V2	II C	
3707	II C 9 a b	包含層アゼ中位	削器	37.0	35.0	10.0	17.24	V2	II A	
3708	II C 9 b	包含層下位	削器	42.0	25.0	9.0	11.76	V2	II C	
3709	II C 9 c	II層	削器	41.0	35.0	10.0	13.17	V2	I C	
3710	II C 9 d	包含層下位	削器	71.0	35.0	13.0	20.06	V2	II B	
3711	II C 10 a	包含層下位	削器	40.0	31.0	8.0	10.64	V2	II C	
3712	II C 10 a	包含層中位	削器	58.0	40.0	11.0	30.96	V2	I C	
3713	II C 10 e	II層	削器	46.0	36.0	10.0	13.90	V2	II C	
3714	III B 2 j	包含層上～中位	削器	57.0	20.0	7.0	6.34	V2	II B	
3715	III B 3 j	II層～焼土検出面	削器	47.0	34.0	9.0	15.37	V2	III A	
3716	III B 5 j	II層	削器	38.0	51.0	14.0	22.03	V2	I C	
3717	III B 6 i	II層	削器	42.0	41.0	12.0	16.73	V2	I B	
3718	III B 8 j	II層	削器	37.0	23.0	9.0	8.59	V2	I A	
3719	III C 1 a	包含層中～下位	削器	80.5	45.0	13.0	57.15	V2	II B	
3720	III C 1 b	不明	削器	48.0	59.0	11.0	29.68	d2	II A	
3721	III C 2 a	包含層下位	削器	51.0	23.0	8.0	10.67	V2	III C	
3722	IV C 2 h	II層	削器	48.0	24.0	11.0	11.32	V2	II C	
3723	T 6	II層	削器	50.0	42.0	11.0	23.00	V2	II A	
3724	T 10	不明	削器	65.0	34.0	10.0	26.73	V2	I C	
3725	T 15	I～II層	削器	59.0	53.0	14.0	39.64	V2	III C	
3726	S K 30	埋土	搔器	49.0	28.0	11.0	17.26	V2	II AF	
3727	P 13	西～中央埋土	搔器	41.0	42.0	22.0	33.37	V2	II CF	
3728	II C 7 d	II層	搔器	43.0	37.0	10.0	18.77	V2	II CF	
3729	II C 8 d	II層	搔器	56.0	38.0	13.0	24.48	V2	II AF	
3730	III B 1 j	包含層下位	搔器	33.0	14.0	6.0	3.01	V2	II AF	
3731	III B 3 j	II層～焼土検出面	搔器	23.0	24.0	7.0	4.20	V2	—	
3732	III B 9 i	II層	搔器	48.5	27.0	12.0	18.13	V2	II AF	
3733	T 7	II層	搔器	40.0	29.0	13.0	18.46	V2	II AF	
3734	S I 03-PP 3	北半埋土	R F	39.5	29.0	6.0	6.01	—	—	
3735	S I 03	B-B'アゼ2層	R F	36.7	25.1	7.1	6.47	—	—	
3736	S I 03	北東埋土中位	R F	55.2	46.7	10.0	32.24	—	—	
3737	S I 04	南西貼床	R F	12.0	19.0	2.5	0.64	—	—	
3738	S I 04	南東埋土下位	R F	26.0	15.0	5.5	2.01	—	—	
3739	S I 04	南西埋土上位	R F	38.0	21.0	9.0	5.69	—	—	
3740	S I 04	南西埋土上位	R F	26.0	29.0	8.0	4.15	—	—	
3741	S I 04	南西埋土上位	R F	18.5	13.0	4.0	0.76	—	—	
3742	S I 10	北東埋土下位～床面	R F	30.5	16.0	7.0	2.58	—	—	
3743	S I 10	北東埋土下位～床面	R F	25.0	21.0	10.0	4.35	—	—	
3744	S I 12	炉、埋設土器	R F	20.0	28.0	5.0	1.88	—	—	
3745	S I 12	南東1/4埋土中位暗褐色土	R F	42.0	40.0	9.0	12.14	—	—	
3746	S I 13	北東埋土下位1/4暗褐色土	R F	47.0	52.5	15.5	33.83	—	—	
3747	S I 13	南西埋土中位暗褐色土	R F	36.0	29.0	11.5	9.97	—	—	
3748	S I 13 ?	北東埋土	R F	25.5	41.0	7.0	3.81	—	—	
3749	S I 13 ?	北東北埋土	R F	32.0	31.5	7.0	6.61	—	—	
3750	S I 15	WEベルト埋土8層	R F	31.0	45.0	13.0	17.57	—	—	
3751	S I 15	NSベルト埋土1層	R F	39.0	13.0	9.0	4.50	—	—	
3752	S I 18	東西ベルト4層	R F	21.5	32.0	11.0	5.89	—	—	
3753	S I 18	③東西ベルト3層	R F	36.0	38.0	8.0	8.64	—	—	
3754	S I 18	②ベルト2層	R F	33.5	22.0	9.0	6.01	—	—	
3755	S I 18②	ベルト2層	R F	21.6	28.5	6.3	3.56	—	—	
3756	S I 18	③南東埋土中～下位	R F	77.0	29.0	12.0	18.15	—	—	
3757	S I 18	③埋土上位	R F	35.0	27.0	12.0	5.97	—	—	
3758	S I 18	④埋土	R F	32.0	30.0	11.0	8.37	—	—	
3759	S I 18	南東ベルトトレンチ	R F	26.0	8.0	8.0	1.47	—	—	
3760	S I 19	WE 2次2層	R F	23.0	31.0	10.0	5.66	—	—	
3761	S I 19	WE 2次2層	R F	21.0	28.0	5.0	1.74	—	—	
3762	S I 19	NS 2次1層	R F	45.0	48.0	11.0	18.07	—	—	
3763	S I 19	不明	R F	48.0	33.0	12.0	15.95	—	—	
3764	S I 20	ベルトA-A' 4層	R F	50.0	29.0	14.0	14.68	—	—	
3765	S I 20	ベルトA-A' 2層	R F	18.0	15.0	4.0	0.98	—	—	
3766	S I 24	北西埋土中位	R F	31.0	25.0	8.0	5.47	—	—	
3767	S I 25	貼床埋土	R F	20.0	21.0	4.0	1.36	—	—	
3768	S I 25	南西部ベルト1/4埋土上部	R F	40.0	45.0	15.0	24.46	—	—	
3769	S I 25	南西部ベルト1/4埋土上部	R F	30.0	35.0	7.0	5.34	—	—	
3770	S I 29	北東1/4埋土下位	R F	24.6	32.7	9.7	7.22	V3	—	
3771	S I 31	Wベルト4層	R F	19.8	28.9	5.9	2.79	V3	—	
3772	S I 31	南東1/4壁際埋土	R F	33.0	44.7	11.4	14.83	V3	—	
3773	S I 31	北西1/4壁際埋土	R F	18.0	23.7	7.3	2.43	V3	—	
3774	S I 31	北西1/4壁際埋土	R F	23.4	14.1	4.6	1.22	V3	—	
3775	S I 36	QSE埋土下部	R F	23.0	15.6	5.0	1.32	V3	—	
3776	S I 39	南東埋土下位	R F	16.3	16.9	4.4	0.93	V3	—	
3777	S I 39	南東埋土下部	R F	42.2	16.5	6.7	3.73	V3	—	
3778	S I 40	ベルト埋土上部	R F	29.6	19.4	6.5	3.30	V3	—	
3779	S I 40	埋土上部	R F	27.2	15.5	9.3	3.34	V3	—	
3780	S I 42	WEベルト中央2層	R F	32.3	27.3	9.8	6.52	V3	—	
3781	S I 43	QNE埋土	R F	29.2	31.2	12.4	10.46	V3	—	
3782	S I 43	QNW埋土	R F	32.8	28.0	10.6	7.10	V3	—	
3783	S I 44	南東埋土1層	R F	29.0	24.3	8.4	4.37	V3	—	

第32表 石器観察表 (20)

(数値): 残存値

掲載 No.	出土地点	層位	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石材	分類	備考
3784	S I 44	北西埋土1層	R F	21.7	21.6	5.2	1.79	V3	—	
3785	S I 45	⑤/⑥埋土上~中位	R F	20.6	32.6	10.6	7.13	V3	—	
3786	S I 46	埋土上部	R F	26.0	30.3	8.0	7.02	V3	—	
3787	S I 46	埋土上位	R F	28.7	23.5	6.8	3.25	V3	—	
3788	S I 46	埋土上位	R F	24.0	16.0	8.0	3.79	V3	—	
3789	S I 47	埋土上位	R F	14.0	19.9	3.8	1.22	V3	—	
3790	S I 52	ベルトB-B' 1層	R F	28.4	25.8	8.5	4.03	V3	—	
3791	S I 53	Q SWベルト3層	R F	15.3	25.7	5.0	1.27	V3	—	
3792	S I 53	Q SW埋土	R F	33.6	62.6	15.0	22.64	V3	—	
3793	S I 53	Q SW埋土	R F	52.3	36.4	18.3	33.29	V3	—	
3794	S I 55	埋土	R F	32.6	27.6	8.7	7.85	e	—	
3795	S I 58	Bベルト8~11層	R F	25.2	30.7	6.0	2.84	V3	—	
3796	S I 58	埋土上位	R F	37.9	33.8	11.4	10.79	V3	—	
3797	S I 58	西埋土上位	R F	31.2	40.6	8.4	10.10	V3	—	
3798	S I 58	西埋土上位	R F	26.0	20.5	6.8	3.23	V3	—	
3799	S I 58	西埋土上位	R F	39.3	19.7	8.4	5.99	V3	—	
3800	S I 61	Dベルト14層	R F	26.8	14.5	4.4	1.41	V3	—	
3801	S I 61	Aベルト8・9層	R F	68.4	60.5	18.5	57.02	V3	—	
3802	S I 61	北埋土上位	R F	22.0	24.6	9.1	5.33	V3	—	
3803	S I 61	②埋土上位	R F	21.0	23.7	6.0	3.23	V3	—	
3804	S I 61	③埋土上位	R F	72.2	52.3	20.5	59.95	V3	—	
3805	S I 62	埋土一括	R F	49.3	42.9	8.8	17.03	V3	—	
3806	S I 62	埋土一括	R F	31.9	33.5	7.1	6.92	V3	—	
3807	S I 69	QNW埋土下部	R F	26.0	29.0	7.1	2.78	V3	—	
3808	S I 71	北西埋土下位	R F	24.4	28.1	6.4	3.41	V3	—	
3809	S I 72	ベルトA-A' 7層	R F	26.9	33.8	8.3	6.00	V3	—	
3810	S I 72	北東埋土上位	R F	43.0	42.6	9.2	15.42	V3	—	
3811	S I 74	貼床埋土	R F	35.9	28.4	8.0	7.70	V3	—	
3812	S I 74	QNE埋土下部	R F	36.3	30.3	8.4	7.09	V3	—	
3813	S I 74	QSE埋土上~中部	R F	42.0	28.9	9.6	5.47	V3	—	
3814	S I 74	埋土	R F	60.9	42.3	14.0	22.02	V3	—	
3815	S I 75	北西埋土下位	R F	40.4	27.9	11.5	14.42	V3	—	
3816	S I 77	埋土下部	R F	30.4	26.2	9.3	7.52	V3	—	
3817	S I 78	QNW埋土中~下部	R F	25.0	18.9	5.0	2.04	V3	—	
3818	S I 78	QSW埋土上~中部	R F	41.4	46.5	10.2	16.44	V3	—	
3819	S I 80	NSベルト6層	R F	30.1	44.7	9.9	10.56	V3	—	
3820	S I 82	ベルトA-A' 2層	R F	33.9	18.1	9.0	4.50	V3	—	
3821	S I 83	炉、埋土1層	R F	25.3	17.0	11.1	3.01	V3	—	
3822	S I 83	南東埋土下位	R F	31.1	41.5	18.0	16.49	V3	—	
3823	S I 86	炉区制③埋土	R F	42.6	24.5	6.2	6.09	V3	—	
3824	S I 86	ベルトA-A' 2層	R F	51.3	34.1	9.0	10.63	V3	—	
3825	S I 88	石囲炉、埋土	R F	28.2	35.1	8.9	6.77	V3	—	
3826	S I 88	石囲炉前庭部? 南半埋土	R F	37.1	33.4	10.2	9.77	V3	—	
3827	S I 88?	PP3埋土	R F	34.8	29.2	13.6	10.94	V3	—	
3828	S I 88	Mベルト9層	R F	34.6	43.3	6.8	9.19	V3	—	
3829	S I 88	QNE埋土下部	R F	29.8	24.6	7.4	4.94	V3	—	
3830	S I 88	QNW埋土下部	R F	43.3	32.1	7.9	10.82	V3	—	
3831	S I 90	床面直上	R F	56.6	44.3	21.6	45.20	V3	—	
3832	S I 91	QNE埋土	R F	33.1	23.2	11.4	15.95	V3	—	
3833	S I 92	NSベルト5層	R F	42.9	13.1	7.0	3.34	V3	—	
3834	S I 95	埋土中~下位	R F	23.5	41.1	10.9	8.00	V3	—	
3835	S I 96	埋土下位	R F	34.9	46.1	9.7	12.12	V3	—	
3836	S I 101	東埋土	R F	28.1	43.1	10.0	11.38	V3	—	
3837	S I 101	西埋土	R F	30.7	44.7	10.3	13.45	V3	—	
3838	S I 102	東西アゼ西側19層	R F	18.4	29.4	6.3	3.38	V3	—	
3839	S I 102	南北アゼ11層	R F	52.4	26.8	10.4	14.21	V3	—	
3840	S I 106	北西埋土	R F	24.4	24.3	8.0	2.55	V3	—	
3841	S I 108	北西埋土下位	R F	25.9	39.8	11.2	9.24	V3	—	
3842	S I 112	南北断面8層	R F	66.6	58.0	8.2	26.98	V3	—	
3843	S I 114	周溝埋土	R F	34.5	50.6	9.9	16.81	V3	—	
3844	S I 115	ベルトA-A' 4層	R F	30.4	26.0	10.7	7.59	V3	—	
3845	S I 116	周溝埋土	R F	33.1	25.5	10.1	7.49	V3	—	
3846	S K 102	埋土	R F	15.0	16.0	2.0	0.36	—	—	
3847	S K 102	埋土	R F	24.0	17.0	4.5	2.20	—	—	
3848	S K 113	埋土	R F	38.0	35.7	11.8	12.88	V3	—	
3849	S K 05	2次第6~7層	R F	19.0	32.0	7.5	3.47	—	—	
3850	S K 12	検出段階の出土	R F	25.0	17.0	13.0	5.10	—	—	
3851	S K 20	東半埋土11層	R F	32.5	27.0	11.0	6.40	—	—	
3852	S K 32	埋土上~中位	R F	13.0	15.0	5.0	0.90	—	—	
3853	S K 64	埋土1~2層	R F	45.0	36.0	11.5	12.62	—	—	
3854	S K 64	埋土	R F	18.0	27.5	3.0	1.79	—	—	
3855	S K 112	埋土	R F	27.4	28.5	9.4	7.16	V3	—	
3856	S K 116	埋土6層	R F	22.1	20.8	9.3	3.93	V3	—	
3857	S K 142	埋土	R F	40.9	41.3	9.0	8.89	V3	—	
3858	S N 25	炉、埋設土器	R F	15.0	18.9	4.8	1.04	V3	—	
3859	S X W 21	炉体崩落層内	R F	14.5	22.0	4.5	1.12	—	—	
3860	S X 06	埋土下位	R F	33.0	17.5	10.0	4.33	—	—	
3861	S X 07	ベルトA-A' 1a層	R F	24.3	27.0	5.0	2.75	V2	—	

第32表 石器観察表 (21)

(数値) : 残存値

掲載 No.	出土地点	層位	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石材	分類	備考
3862	S X07	ベルトA-A' 1a層	R F	28.4	18.9	3.4	2.78	V2	—	
3863	S X07	ベルトD-D' 1層、具	R F	21.8	33.5	9.4	6.20	V2	—	
3864	S X10	南東埋土下位4層	R F	33.2	19.7	6.0	3.32	V3	—	
3865	P 13	埋土西~中央	R F	22.0	19.0	4.0	1.38	—	—	
3866	P 16	埋土西側~中央	R F	25.0	15.0	4.0	1.33	—	—	
3867	P 18	埋土西~中央	R F	26.0	38.0	7.5	6.12	—	—	
3868	P 24	埋土西~中央、柱痕跡	R F	34.0	31.0	11.5	11.61	—	—	
3869	II C 5 d	II層	R F	36.0	24.0	8.0	4.33	—	—	
3870	II C 5・6 d e	II層	R F	44.0	34.0	9.0	12.37	—	—	
3871	II C 6 d	不明	R F	54.0	39.5	17.0	29.26	—	—	
3872	II C 6 d	不明	R F	36.0	40.0	10.0	11.33	—	—	
3873	II C 6 d	不明	R F	31.0	25.0	8.0	5.93	—	—	
3874	II C 7 b	II層	R F	87.0	41.0	8.0	24.50	—	—	
3875	II C 7 b	II層	R F	52.0	57.0	13.0	37.10	—	—	
3876	II C 7 b	II層	R F	49.0	65.0	15.0	42.01	—	—	
3877	II C 7・8 b	不明	R F	21.0	26.0	4.0	1.56	—	—	
3878	II C 7 c d	II層	R F	21.0	23.0	3.0	1.15	—	—	
3879	II C 7 c	II層	R F	27.0	34.0	8.0	8.07	—	—	
3880	II C 7 c	包含層、土層	R F	28.0	48.0	10.0	9.23	—	—	
3881	II C 7 c d	包含層	R F	40.5	43.0	8.0	10.98	—	—	
3882	II C 7・8 c	不明	R F	27.0	16.5	10.0	3.37	—	—	
3883	II C 7 d	II層	R F	35.5	24.0	9.0	6.06	—	—	
3884	II C 7 d	II層	R F	35.0	34.0	10.0	9.27	—	—	
3885	II C 7 d	II層	R F	33.5	51.0	14.0	10.53	—	—	
3886	II C 7 d	南北ベルト埋土上位	R F	24.0	18.0	4.0	1.18	—	—	
3887	II C 7・8 d	包含層アゼ上位	R F	42.0	39.0	10.0	9.59	—	—	
3888	II C 7・8 d	包含層アゼ下位	R F	36.0	53.0	4.0	8.07	—	—	
3889	II C 7 e	II層	R F	58.0	34.0	13.0	24.28	—	—	
3890	II C 7 e	II層	R F	25.0	28.5	6.0	3.98	—	—	
3891	II C 7 e	II層	R F	37.5	21.0	6.0	4.34	—	—	
3892	II C 7 e	東西アゼ第7層	R F	50.0	37.0	16.0	25.18	—	—	
3893	II C 8~9 a b c	クリーニング	R F	24.0	22.0	4.0	1.77	—	—	
3894	II C 8 b	II層	R F	21.0	33.0	7.0	4.07	—	—	
3895	II C 8 b	包含層下位	R F	17.0	38.0	6.0	3.09	—	—	
3896	II C 8 c	II層	R F	31.0	33.0	11.0	10.20	—	—	
3897	II C 8 c	II層	R F	41.0	42.5	12.0	14.37	—	—	
3898	II C 8 c	包含層下位	R F	21.0	36.5	8.0	5.45	—	—	
3899	II C 8・9 c	包含層アゼ上位	R F	25.0	45.0	5.5	3.50	—	—	
3900	II C 8 d	II層	R F	40.0	49.0	8.0	12.06	—	—	
3901	II C 8 d	II層	R F	26.0	40.0	7.0	6.59	—	—	
3902	II C 8 d	II層	R F	39.0	47.5	4.0	8.02	—	—	
3903	II C 8 d	II層	R F	32.0	29.0	6.0	6.38	—	—	
3904	II C 8 d	II層	R F	25.5	15.0	5.0	1.65	—	—	
3905	II C 8 d	II層	R F	25.0	15.0	5.0	1.59	—	—	
3906	II C 8 d	II層	R F	42.0	26.0	7.0	6.37	—	—	
3907	II C 8 d	II層	R F	70.0	38.0	13.0	27.84	—	—	
3908	II C 8 d	II層	R F	49.0	39.5	13.0	18.48	—	—	
3909	II C 8 d	II層	R F	28.0	22.0	6.5	3.88	—	—	
3910	II C 8 d	II層焼土混じる層	R F	29.0	29.5	4.0	3.01	—	—	
3911	II C 8 d	II層焼土混じる層	R F	46.0	75.0	15.0	41.90	—	—	
3912	II C 8 d	包含層下位	R F	45.0	36.5	13.0	22.45	—	—	
3913	II C 8 d	包含層アゼクリーニング	R F	36.0	21.0	8.0	4.45	—	—	
3914	II C 8 d	南北ベルト埋土中位	R F	35.0	41.0	13.0	15.45	—	—	
3915	II C 9 a	包含層中~下位	R F	34.0	46.0	12.0	17.30	—	—	
3916	II C 9 a	包含層下位	R F	62.5	38.0	13.0	24.64	—	—	
3917	II C 9・10 b	包含層アゼ下位	R F	34.0	56.0	12.0	19.59	—	—	
3918	II C 9 b c	包含層アゼ下位	R F	58.0	47.0	16.0	39.46	—	—	
3919	II C 9 c	II層	R F	38.0	25.0	8.5	6.89	—	—	
3920	II C 9 c	II層	R F	34.0	43.0	10.0	12.91	—	—	
3921	II C 9 c	II層	R F	18.0	25.0	4.0	1.76	—	—	
3922	II C 9 c	II層	R F	48.5	47.0	7.0	15.06	—	—	
3923	II C 9 c	II層	R F	64.0	30.0	8.0	15.27	—	—	
3924	II C 9 c	II層	R F	48.0	40.0	10.0	16.13	—	—	
3925	II C 9 c	II層	R F	29.0	26.0	8.0	5.21	—	—	
3926	II C 9 c	II層	R F	28.0	27.0	7.5	3.90	—	—	
3927	II C 9 c	II層	R F	47.0	43.0	11.0	17.84	—	—	
3928	II C 9 c	II層	R F	31.0	42.0	8.0	13.49	—	—	
3929	II C 9 c	南北ベルト埋土下位	R F	28.0	34.0	8.0	6.48	—	—	
3930	II C 9 c	南北ベルト埋土上位	R F	37.0	44.0	8.5	13.12	—	—	
3931	II C 9 c	包含層下位	R F	52.0	51.5	12.0	19.13	—	—	
3932	II C 9 c	包含層下位	R F	32.0	33.0	5.0	2.70	—	—	
3933	II C 9 c	包含層下位	R F	43.0	23.0	14.0	10.39	—	—	
3934	II C 9 c	包含層中位	R F	44.5	48.0	13.0	17.91	—	—	
3935	II C 9 c	包含層中位	R F	24.0	24.0	8.0	5.01	—	—	
3936	II C 9 d	II層	R F	21.0	34.0	5.5	3.00	—	—	
3937	II C 9 d	II層	R F	23.0	34.0	6.0	3.72	—	—	
3938	II C 9 d	南北ベルト埋土下位	R F	33.0	20.0	7.0	4.74	—	—	
3939	II C 9 d	南北ベルト埋土下位	R F	25.0	26.0	6.0	2.44	—	—	

第32表 石器観察表 (22)

(数値) : 残存値

掲載 No.	出土地点	層位	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石材	分類	備考
3940	ⅡC 9・10 d	包含層アゼ下位	R F	25.0	34.0	12.0	7.94	—	—	
3941	ⅡC 10 a	包含層下位	R F	25.0	25.0	6.0	2.65	—	—	
3942	ⅡC 10 a	中位	R F	35.6	42.5	9.1	13.31	—	—	
3943	ⅡC 10 a	ベルト埋土中位	R F	29.0	60.0	10.5	16.26	—	—	
3944	ⅡC 10 a	包含層中位	R F	31.0	23.0	7.5	5.13	—	—	
3945	ⅡC 10 b	ベルト埋土中位	R F	39.0	20.0	9.0	7.00	—	—	
3946	ⅡC 10 b	包含層中位	R F	34.0	28.0	8.0	6.35	—	—	
3947	ⅡC 10 b	不明	R F	25.0	27.0	4.0	3.13	—	—	
3948	ⅡC 10 b c	包含層アゼ上位	R F	41.0	60.0	12.5	32.39	—	—	
3949	ⅡC 10 c	Ⅱ層	R F	32.0	45.5	6.0	9.26	—	—	
3950	ⅡC 10 c	Ⅱ層	R F	26.0	21.0	5.5	2.57	—	—	
3951	ⅡC 10 c	包含層下位	R F	30.0	21.0	5.0	2.46	—	—	
3952	ⅡC 10 c	包含層下位	R F	41.0	38.0	11.0	12.35	—	—	
3953	ⅡC 10 c	包含層下位	R F	27.0	30.0	6.0	3.84	—	—	
3954	ⅡC 10 c	包含層中位	R F	21.0	34.0	11.0	5.96	—	—	
3955	ⅡC 10 c	包含層中位	R F	34.0	57.0	9.0	21.91	—	—	
3956	ⅡC 10 c	包含層中位	R F	46.0	40.0	14.0	18.33	—	—	
3957	ⅡC 10 c	包含層中位	R F	111.0	22.0	9.0	23.26	—	—	
3958	ⅡC 10 d	Ⅱ層	R F	34.0	18.0	8.0	4.11	—	—	
3959	ⅡC 10 d	Ⅱ層	R F	27.0	39.0	8.0	5.89	—	—	
3960	ⅡC 10 d	Ⅱ層	R F	19.0	17.0	4.0	1.30	—	—	
3961	ⅡC 10 d	Ⅱ層	R F	30.0	22.0	6.0	3.18	—	—	
3962	ⅡC 10 d	Ⅱ層～埋土	R F	22.5	36.0	8.0	5.23	—	—	
3963	ⅡC 10 d	包含層下位	R F	19.0	27.0	8.0	3.69	—	—	
3964	ⅡC 10 d	包含層下位	R F	30.0	28.0	9.5	7.79	—	—	
3965	ⅡC 10 d	包含層中位	R F	61.0	49.5	7.0	31.32	—	—	
3966	ⅡC 10 d	包含層アゼクリーニング	R F	43.0	23.0	8.0	7.41	—	—	
3967	ⅡC 10 d e	包含層アゼ上～中位	R F	24.0	28.0	4.0	2.34	—	—	
3968	ⅡD 1・2 d e	下層	R F	27.0	18.0	8.0	4.31	—	—	
3969	ⅡD 1・2 e f	I～Ⅱ層	R F	39.5	46.0	14.0	22.19	—	—	
3970	ⅡD 2 d	Ⅱ層	R F	39.0	20.0	13.0	8.77	—	—	
3971	ⅢB 1 j	包含層下位	R F	74.0	51.0	14.0	54.42	—	—	
3972	ⅢB 2 j	包含層下位	R F	35.0	20.0	8.0	3.54	—	—	
3973	ⅢB 2 j	包含層下位	R F	39.0	20.0	9.0	4.67	—	—	
3974	ⅢB 2 j	包含層上～中位	R F	32.0	18.0	7.5	2.75	—	—	
3975	ⅢB 3 j	Ⅱ層～焼土検出面	R F	41.0	25.0	11.5	12.11	—	—	
3976	ⅢB 3 j	Ⅱ層～焼土検出面	R F	17.0	27.5	3.5	1.80	—	—	
3977	ⅢB 3 j	Ⅱ層～焼土検出面	R F	35.0	26.5	8.0	6.75	—	—	
3978	ⅢB 3 j	Ⅱ層～焼土検出面	R F	24.0	21.5	4.0	2.25	—	—	
3979	ⅢB 3 j	遺物集中②	R F	64.0	38.0	11.0	21.16	—	—	
3980	ⅢB 3 j	不明	R F	42.0	18.5	6.0	4.19	—	—	
3981	ⅢB 3 j	不明	R F	34.0	25.5	9.5	11.07	—	—	
3982	ⅢB 3 j	不明	R F	32.0	92.0	18.0	54.03	—	—	
3983	ⅢB 5 j	Ⅱ層	R F	35.5	45.0	11.0	18.06	—	—	
3984	ⅢB 6 h	Ⅱ層	R F	53.0	48.0	14.5	27.22	—	—	
3985	ⅢB 6 h	Ⅱ層	R F	23.0	28.0	7.0	4.64	—	—	
3986	ⅢB 6 j	Ⅱ層	R F	39.0	38.0	9.5	11.88	—	—	
3987	ⅢB 7 h	Ⅱ層	R F	31.0	41.0	12.5	15.85	—	—	
3988	ⅢB 7 h	Ⅱ層	R F	109.0	60.0	20.0	114.36	—	—	
3989	ⅢB 7 h	Ⅱ層	R F	30.0	42.0	7.0	6.84	—	—	
3990	ⅢB 7 h	Ⅱ層	R F	56.0	31.0	11.5	17.36	—	—	
3991	ⅢB 7 h	カクラン	R F	49.0	28.5	12.0	12.87	—	—	
3992	ⅢB 7 h	カクラン	R F	37.0	60.0	12.0	27.08	—	—	
3993	ⅢB 7 h	カクラン	R F	47.0	41.5	11.0	9.50	—	—	
3994	ⅢB 7 i	Ⅱ層	R F	37.0	21.0	6.0	5.09	—	—	
3995	ⅢB 7 i	Ⅱ層	R F	24.5	31.0	5.0	4.71	—	—	
3996	ⅢB 8 j	Ⅱ層	R F	32.0	23.0	5.0	3.41	—	—	
3997	ⅢB 8 j	Ⅱ層	R F	25.0	30.5	7.0	5.13	—	—	
3998	ⅢB 9 c	Ⅱ層	R F	36.7	25.0	6.4	6.52	V3	—	
3999	ⅢC 1 a	包含層下位	R F	42.0	19.0	10.0	4.71	—	—	
4000	ⅢC 1 a	不明	R F	31.0	25.0	12.0	7.97	—	—	
4001	ⅢC 1 b	Ⅱ層	R F	27.0	17.0	11.5	3.75	—	—	
4002	ⅢC 1 b	包含層中～下位	R F	20.5	33.0	7.0	5.90	—	—	
4003	ⅢC 1 b	包含層上位	R F	29.5	34.0	6.5	6.22	—	—	
4004	ⅢC 1 b	不明	R F	28.0	31.0	6.0	4.79	—	—	
4005	ⅢC 1 b	不明	R F	29.0	29.0	10.0	6.25	—	—	
4006	ⅢC 1 c	Ⅱ層	R F	45.0	30.5	10.0	12.00	—	—	
4007	ⅢC 1 c	包含層下位	R F	20.0	59.0	9.0	12.02	—	—	
4008	ⅢC 1 c	包含層下位	R F	38.0	20.0	3.5	2.41	—	—	
4009	ⅢC 1 c	包含層下位	R F	29.0	21.0	4.5	3.12	—	—	
4010	ⅢC 1 c	南北ベルト埋土中位	R F	38.0	38.0	7.5	12.94	—	—	
4011	ⅢC 1 c	東西ベルト埋土中位	R F	40.0	38.5	6.5	13.73	—	—	
4012	ⅢC 1 c	包含層中位	R F	46.0	51.0	8.0	17.68	—	—	
4013	ⅢC 1 c	包含層中位	R F	36.5	16.0	5.0	3.45	—	—	
4014	ⅢC 1 c	包含層中位	R F	40.0	31.0	9.0	9.24	—	—	
4015	ⅢC 1 d	Ⅱ層	R F	33.0	34.0	10.0	9.33	—	—	
4016	ⅢC 1 d	不明	R F	39.0	34.0	7.0	8.99	—	—	
4017	ⅢC 1 e	Ⅱ層	R F	18.0	16.0	5.0	1.10	—	—	

第32表 石器観察表 (23)

(数値) : 残存値

掲載 No.	出土地点	層位	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石材	分類	備考
4018	ⅢC 1 e	Ⅱ層	R F	43.0	30.0	8.0	10.36	—	—	
4019	ⅢC 2 a	包含層上位	R F	45.0	59.0	9.0	19.42	—	—	
4020	ⅢC 2 a・b	Ⅱ層	R F	27.0	20.0	3.0	1.47	—	—	
4021	ⅢC 2～5 b	Ⅱ層南端斜面	R F	29.0	27.0	5.0	4.71	—	—	
4022	ⅢC 2～5 b	Ⅱ層南端斜面	R F	27.0	28.0	3.5	2.05	—	—	
4023	ⅢC 2 f	Ⅱ層	R F	40.0	71.0	12.0	22.61	—	—	
4024	ⅢC 3 a	Ⅱ層	R F	25.0	24.5	6.0	2.49	—	—	
4025	ⅢC 3 a	Ⅱ層	R F	45.0	32.0	10.0	10.93	—	—	
4026	ⅢC 3 a	包含層1段目	R F	28.0	28.5	15.0	10.84	—	—	
4027	ⅢC 3 a	包含層1段目	R F	36.0	21.0	8.0	4.94	—	—	
4028	ⅢC 3 a	包含層1段目	R F	34.0	25.0	3.0	2.61	—	—	
4029	ⅢC 4 a	Ⅱ層	R F	27.5	64.0	12.0	25.30	—	—	
4030	ⅢC 7 d	Ⅱ層	R F	24.5	41.5	13.0	13.46	—	—	
4031	ⅢC 8 d	Ⅱ層	R F	29.5	25.0	6.5	4.24	—	—	
4032	ⅢC 8 d	Ⅱ層検出面	R F	41.2	25.8	9.4	7.36	V3	—	
4033	ⅢC 8 e	Ⅱ層	R F	73.0	35.0	13.5	31.71	—	—	
4034	ⅢC 8 e	Ⅱ層	R F	41.5	33.6	12.3	16.37	V3	—	
4035	ⅢC 8 i	Ⅱ層	R F	14.8	18.0	4.5	1.21	V3	—	
4036	ⅢC 9 c	Ⅱ層	R F	24.0	11.3	4.8	0.99	V3	—	
4037	ⅢC 9 c	Ⅱ層	R F	28.2	23.3	8.0	4.83	V3	—	
4038	ⅢC 9 e	Ⅱ層	R F	61.4	30.7	10.9	13.55	V3	—	
4039	ⅢC 9 h	Ⅱ層	R F	26.0	19.0	5.0	2.19	—	—	
4040	ⅢC 9 i	Ⅱ層下部検出面	R F	26.5	21.0	10.5	5.10	—	—	
4041	ⅢC 10 a	I～Ⅱ層	R F	32.6	34.6	10.0	10.74	V3	—	
4042	ⅢC 10 b	Ⅱ層	R F	21.5	35.0	10.0	7.69	—	—	
4043	ⅢC 10 d	Ⅱ層	R F	60.0	39.0	11.0	21.63	—	—	
4044	ⅢC 10 e	Ⅱ層	R F	41.0	23.5	10.5	6.48	—	—	
4045	ⅢC 10 f	Ⅱ層	R F	14.4	18.3	4.0	0.99	V3	—	
4046	ⅢC 10 h	Ⅱ層	R F	26.7	30.0	10.1	6.94	V3	—	
4047	ⅢC 10 j	Ⅱ層下部検出面	R F	21.0	28.0	5.0	3.84	—	—	
4048	ⅢC 10 j	Ⅱ層	R F	29.7	35.9	11.6	10.52	V3	—	
4049	ⅢD 7 b	Ⅱ層	R F	29.0	40.5	11.0	10.41	—	—	
4050	ⅢD 7 c	Ⅱ層	R F	21.0	20.0	8.0	3.30	—	—	
4051	ⅢD 8 d	Ⅱ層	R F	20.0	14.0	4.0	1.12	—	—	
4052	ⅢD 9 a	Ⅱ層	R F	28.9	12.5	5.5	1.85	V3	—	
4053	ⅢD 10 a	Ⅱ層	R F	16.2	28.0	6.3	2.67	V3	—	
4054	ⅢD 10 b	Ⅱ層	R F	24.0	29.0	9.0	6.44	—	—	
4055	ⅢD 10 c	Ⅱ層	R F	37.5	38.0	7.0	9.75	—	—	
4056	ⅢD 10 c	Ⅱ層クリーニング	R F	34.5	14.0	5.0	2.45	—	—	
4057	ⅢD	I層	R F	22.0	23.0	8.5	3.86	—	—	
4058	ⅣA 3 j	埋土上～中位	R F	31.0	34.5	9.0	5.98	—	—	
4059	ⅣB 1 g	Ⅱ層検出面	R F	31.5	34.5	9.2	8.46	V3	—	
4060	ⅣB 1 g	Ⅱ層検出面	R F	22.4	25.4	9.1	4.75	V3	—	
4061	ⅣB 1 h	Ⅱ層検出面	R F	25.1	17.9	5.4	2.61	V3	—	
4062	ⅣB 5 j	Ⅱ層	R F	35.1	32.4	14.6	12.30	V3	—	
4063	ⅣC 1 b	Ⅱ層検出面	R F	26.1	23.9	8.5	4.08	V3	—	
4064	ⅣC 2 c	Ⅱ層検出面	R F	48.0	19.3	6.0	4.93	V3	—	
4065	ⅣC 2 d	Ⅱ層	R F	14.5	25.6	3.0	1.00	V3	—	
4066	ⅣC 2 d	Ⅱ層	R F	47.4	27.7	7.6	10.73	V3	—	
4067	ⅣC 2 g	Ⅱ層	R F	22.0	20.0	4.6	1.39	V3	—	
4068	ⅣC 2 j	Ⅱ層	R F	18.2	27.3	6.0	2.86	V3	—	
4069	ⅣC 2 j	Ⅱ～Ⅲ層	R F	18.0	17.5	5.3	1.57	V3	—	
4070	ⅣC 2 j	Ⅱ～Ⅲ層	R F	20.6	33.6	10.3	6.61	V3	—	
4071	ⅣC 3 a	Ⅱ層	R F	41.8	22.5	11.5	7.60	V3	—	
4072	ⅣC 3 a	Ⅱ層検出面	R F	26.4	28.8	5.6	3.37	V3	—	
4073	ⅣC 3 b	Ⅱ層	R F	44.3	46.6	13.0	16.92	V3	—	
4074	ⅣC 3 b	Ⅱ層	R F	30.9	44.5	14.8	15.96	V3	—	
4075	ⅣC 3 b	Ⅱ層	R F	68.9	69.8	16.9	56.76	V3	—	
4076	ⅣC 3 c	Ⅱ層	R F	24.8	33.3	9.4	6.97	V3	—	
4077	ⅣC 3 i	Ⅱ層上位	R F	25.2	28.3	7.1	4.03	V3	—	
4078	ⅣC 3 j	Ⅱ層	R F	42.2	39.4	10.0	10.06	V3	—	
4079	ⅣC 3 j	Ⅱ層	R F	30.4	33.9	8.0	7.84	V3	—	
4080	ⅣC 3 j	Ⅱ層	R F	33.2	44.6	10.8	13.88	V3	—	
4081	ⅣC 4 c	Ⅱ層	R F	36.0	44.0	13.0	9.88	—	—	
4082	ⅣC 4 g	Ⅱ層	R F	33.9	19.8	14.3	8.57	V3	—	
4083	ⅣC 4 g	Ⅱ層	R F	17.6	26.9	10.0	4.03	V3	—	
4084	ⅣC 4 i	Ⅱ層	R F	44.3	48.2	13.4	15.63	V3	—	
4085	ⅣC 4 i	Ⅱ層	R F	36.4	28.3	8.6	10.65	V3	—	
4086	ⅣC 4 i	Ⅱ層	R F	33.7	27.3	11.3	11.20	V3	—	
4087	ⅣC 5 a	Ⅱ層	R F	26.7	34.8	9.0	7.35	V3	—	
4088	ⅣC 5 b	Ⅱ層	R F	14.9	21.8	3.5	0.78	V3	—	
4089	ⅣC 5 c	Ⅱ層	R F	39.1	29.1	13.7	16.66	e	—	
4090	ⅣC 5 c	Ⅱ層	R F	30.0	14.2	3.3	1.31	V3	—	
4091	ⅣC 5 c	Ⅱ層	R F	28.3	37.0	9.4	8.56	V3	—	
4092	ⅣC 5 c	Ⅱ層	R F	14.0	21.6	3.7	0.78	V3	—	
4093	ⅣC 5 d	Ⅱ層	R F	38.5	30.0	7.4	4.36	V3	—	
4094	ⅣC 5 d	Ⅱ層	R F	37.2	18.5	5.5	4.16	V3	—	
4095	ⅣC 5 g	I・Ⅱ層	R F	39.0	36.0	8.5	8.56	—	—	

第32表 石器観察表 (24)

(数値) : 残存値

掲載 No.	出土地点	層位	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石材	分類	備考
4096	IV C 5 h	II層	R F	22.1	13.6	10.2	3.36	V3	—	
4097	IV C 5 i	II層	R F	37.2	33.7	10.0	13.30	V3	—	
4098	IV C 5 i	II層	R F	31.7	22.6	11.3	8.74	V3	—	
4099	IV C 5 i	II層	R F	27.4	30.4	8.6	5.44	V3	—	
4100	IV C 5 i	II層	R F	22.1	37.2	8.2	6.33	V3	—	
4101	IV C 5 i	II層②	R F	67.0	45.4	16.0	47.91	V3	—	
4102	IV C 6 a	II層	R F	47.4	37.2	13.3	19.54	V3	—	
4103	IV C 6 b	南側落ち込み下層	R F	24.1	14.5	3.8	1.15	V3	—	
4104	IV C 6 b	南側落ち込み下層	R F	64.8	27.8	10.1	16.65	V3	—	
4105	IV C 6 b	南側落ち込み下層	R F	46.4	24.2	8.9	10.08	V3	—	
4106	IV C 6 b	南側落ち込み下層	R F	24.3	32.9	15.0	9.56	V3	—	
4107	IV C 6 b	南側落ち込み上層	R F	42.3	31.1	14.8	18.01	V3	—	
4108	IV C 6 b	南側落ち込み上層	R F	52.5	39.0	13.0	14.28	V3	—	
4109	IV C 6 c	II層	R F	29.1	15.7	6.0	1.84	V3	—	
4110	IV C 6 c	II層	R F	34.0	54.4	11.5	18.05	V3	—	
4111	IV C 6 c	II層	R F	43.8	23.7	5.6	5.00	V3	—	
4112	IV C 6 c	II層	R F	57.0	27.3	15.0	20.56	V3	—	
4113	IV C 6 c	II層	R F	49.2	32.0	11.8	15.66	V3	—	
4114	IV C 6 e	II層	R F	24.0	34.7	8.1	4.91	V3	—	
4115	IV C 6 e	II層	R F	20.0	39.7	9.8	7.06	V3	—	
4116	IV C 6 e	II層	R F	34.9	32.6	11.8	12.85	V3	—	
4117	IV C 6 e	II層	R F	28.5	18.3	3.4	1.35	V3	—	
4118	IV C 6 e	II層	R F	21.5	61.2	18.0	20.78	V3	—	
4119	IV C 6 h	II層	R F	19.8	31.2	7.0	3.89	V3	—	
4120	IV C 6 h	II層	R F	41.8	38.8	11.4	20.75	V3	—	
4121	IV C 6 h	II層	R F	22.0	30.5	11.2	6.79	V3	—	
4122	IV C 6 h	II層	R F	59.5	20.3	6.2	7.56	V3	—	
4123	IV C 6 h	II層	R F	42.4	40.4	12.6	22.68	V3	—	
4124	IV C 7 c	南側落ち込み上層	R F	44.0	36.4	11.4	14.38	V3	—	
4125	IV C 7 d	II層	R F	40.5	35.1	9.4	10.80	V3	—	
4126	IV D 1 a	II層	R F	30.7	47.4	16.0	31.59	V3	—	
4127	IV D 1 a	II層	R F	34.8	34.0	8.2	8.32	V3	—	
4128	IV D 1 a	II層	R F	34.9	21.4	7.0	4.21	V3	—	
4129	IV D 1 a	II層	R F	21.0	12.4	9.0	1.46	e	—	
4130	IV D 2 a	II層	R F	17.2	20.4	8.1	2.16	V3	—	
4131	IV D 2・3 a	II～III層	R F	49.3	32.2	12.4	17.22	V3	—	
4132	IV D 3 a	II層中位	R F	16.6	25.2	6.4	2.57	V3	—	
4133	IV D 4 j	II層	R F	36.2	26.7	7.7	7.16	V3	—	
4134	T 7	II層	R F	24.0	23.0	5.5	2.44	—	—	
4135	T 7	I～II層	R F	46.0	25.0	11.0	9.53	—	—	
4136	T 7	排土	R F	26.5	21.0	5.0	2.06	—	—	
4137	T 10	不明	R F	51.5	49.0	17.0	30.07	—	—	
4138	T 15	I～II層	R F	35.0	39.5	11.0	13.49	—	—	
4139	T 102	II層	R F	25.0	21.0	3.0	1.41	—	—	
4140	T 109	II層	R F	36.0	23.0	7.0	6.02	—	—	
4141	南斜面	II～III層	R F	20.0	30.0	6.0	3.06	—	—	
4142	尾根部	中央トレンチ暗褐色土	R F	51.0	59.5	14.0	40.27	—	—	
4143	尾根部	II層検出面	R F	36.0	26.0	5.0	5.08	—	—	
4144	試掘トレンチ	クリーニング1層	R F	20.0	39.5	8.0	5.73	—	—	
4145	不明	南北ベルト埋土上位	R F	33.0	8.5	5.0	0.96	—	—	
4146	不明	II層東端	R F	19.0	13.5	3.0	0.77	—	—	
4147	不明	II層	R F	21.0	26.0	7.0	3.10	—	—	
4148	不明	不明	R F	19.2	15.5	2.8	0.74	V3	—	
4149	不明	不明	R F	56.0	38.0	11.0	22.49	—	—	
4150	S I 10	カマド周辺埋土下位	U F	45.5	24.0	8.0	9.89	—	—	
4151	S I 10	南東床～II層	U F	22.0	25.0	3.0	1.32	—	—	
4152	S I 10	床下II層東西ベルト	U F	33.5	48.0	12.0	17.13	—	—	
4153	S I 10	カマド付近貼床層	U F	56.0	53.0	14.0	24.90	—	—	
4154	S I 12	北東埋土上～中位	U F	46.0	24.0	8.0	8.14	—	—	
4155	S I 13	北西埋土下位1/4暗褐色土	U F	22.0	30.0	8.0	4.38	—	—	
4156	S I 14	北東1/4埋土下位	U F	26.0	19.0	5.0	2.50	—	—	
4157	S I 15	P P 19北半埋土	U F	72.0	45.0	8.0	30.58	—	—	
4158	S I 15	南東埋土下位	U F	33.0	21.0	4.5	2.63	—	—	
4159	S I 15	南東埋土中～下位	U F	34.0	19.5	8.0	4.87	—	—	
4160	S I 15	北西1/4埋土中位	U F	24.0	19.0	3.0	1.41	—	—	
4161	S I 18	南西埋土中～下位	U F	23.0	39.0	10.0	5.11	—	—	
4162	S I 18	③埋土上位	U F	19.0	19.0	3.0	0.90	—	—	
4163	S I 18	④ベルト	U F	38.0	35.0	12.0	13.88	—	—	
4164	S I 22	南西埋土下位	U F	31.5	23.0	9.0	5.39	—	—	
4165	S I 24	北西埋土中位	U F	53.0	25.0	9.0	9.61	—	—	
4166	S I 24	北西埋土中位	U F	10.0	23.0	4.0	0.77	—	—	
4167	S I 30	西ベルト2層	U F	42.5	41.0	12.9	20.71	V3	—	
4168	S I 30	北西1/4埋土中位	U F	20.5	40.0	9.0	4.30	V3	—	
4169	S I 32	NWベルト	U F	47.0	34.1	15.6	12.16	V3	—	
4170	S I 34	北東③埋土下位	U F	21.5	36.0	8.4	5.93	V3	—	
4171	S I 36	床面直上	U F	40.0	26.2	10.1	7.38	V3	—	
4172	S I 36	Q S E埋土下部	U F	49.9	36.9	11.2	10.14	V3	—	
4173	S I 36	Q S E埋土下部	U F	24.6	37.0	9.6	7.81	V3	—	

第32表 石器観察表 (25)

(数値): 残存値

掲載 No.	出土地点	層位	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石材	分類	備考
4174	S I 39	北東埋土下位	U F	39.1	29.4	6.2	6.70	V3	—	
4175	S I 42	埋土	U F	50.4	30.6	12.0	12.08	V3	—	
4176	S I 43	QNE埋土	U F	60.3	26.0	7.8	10.55	V3	—	
4177	S I 44	ベルトB-B' 1層	U F	22.0	40.3	9.7	7.27	V3	—	
4178	S I 44	北西埋土1層	U F	27.8	18.8	7.9	3.40	V3	—	
4179	S I 45	②/⑥埋土上~中位	U F	28.4	34.2	9.6	7.43	V3	—	
4180	S I 46	埋土中位	U F	34.4	17.2	6.0	2.14	V3	—	
4181	S I 49	埋土中位	U F	37.5	43.9	12.6	14.58	V3	—	
4182	S I 52	北西埋土上~中位	U F	30.5	31.1	10.0	5.89	V3	—	
4183	S I 53	Q SW埋土	U F	33.6	22.7	6.5	3.29	V3	—	
4184	S I 53	Q SW埋土	U F	48.0	23.6	5.6	4.19	V3	—	
4185	S I 53	Q SW埋土	U F	41.9	16.3	6.4	3.02	V3	—	
4186	S I 53	Q E E S埋土	U F	47.9	25.3	16.1	10.88	V3	—	
4187	S I 57	QNW埋土	U F	41.5	23.1	5.5	4.72	V3	—	
4188	S I 58	北西埋土上~中位	U F	18.1	20.6	4.4	1.39	V3	—	
4189	S I 58	南埋土上位	U F	27.8	56.8	14.5	16.55	V3	—	
4190	S I 58	南埋土上位	U F	17.9	33.0	6.0	1.75	V3	—	
4191	S I 58	南東埋土上位	U F	41.5	44.1	10.7	15.15	V3	—	
4192	S I 60	南東端埋土	U F	41.3	46.0	12.2	20.80	V3	—	
4193	S I 61	Aベルト9層	U F	41.0	31.6	9.0	6.61	V3	—	
4194	S I 61⑥	埋土中位	U F	40.7	23.2	11.9	7.06	V3	—	
4195	S I 61④	埋土上~中位	U F	28.0	37.6	8.0	8.44	V3	—	
4196	S I 61②	埋土上位	U F	51.3	44.4	10.0	28.16	V3	—	
4197	S I 63	貼床埋土	U F	25.9	35.0	5.1	2.65	V3	—	
4198	S I 63	QNE埋土	U F	47.7	43.8	14.1	19.24	V3	—	
4199	S I 63	QNE埋土	U F	34.0	33.6	7.6	8.08	V3	—	
4200	S I 64	Q SW埋土	U F	42.2	32.5	11.8	8.26	V3	—	
4201	S I 65	Nベルト4層	U F	39.0	26.1	13.3	9.44	V3	—	
4202	S I 66	8・9層埋土上~中位	U F	22.0	35.4	9.8	5.41	V3	—	
4203	S I 67	QSE埋土中~下部	U F	37.2	44.0	13.9	12.96	V3	—	
4204	S I 71	北東埋土中位	U F	65.3	41.7	12.4	26.07	V3	—	
4205	S I 72	炉区割3埋土	U F	33.9	28.3	7.0	6.81	V3	—	
4206	S I 72	北東埋土下位	U F	35.8	62.4	15.7	28.08	V3	—	
4207	S I 74	カマド煙道埋土	U F	50.4	71.2	9.0	20.82	V3	—	
4208	S I 75	南西埋土上位	U F	41.8	46.9	12.8	17.55	V3	—	
4209	S I 76	埋土上~中位	U F	40.2	35.7	10.9	13.25	V3	—	
4210	S I 78	QNE埋土下部	U F	24.2	25.0	5.4	2.70	V3	—	
4211	S I 78	QNE埋土上~中部	U F	45.1	22.2	8.3	4.30	Z5	—	
4212	S I 78	隣群1周辺埋土	U F	21.7	24.4	4.9	2.44	V3	—	
4213	S I 80	QNE埋土下部	U F	66.3	15.0	6.7	4.90	V3	—	
4214	S I 82	南東埋土下位	U F	25.3	23.2	7.6	3.15	V3	—	
4215	S I 82	北東埋土上~中位	U F	36.6	25.4	10.8	6.61	V3	—	
4216	S I 82	北東埋土上~中位	U F	34.2	24.8	5.9	4.37	V3	—	
4217	S I 86	S.No 1ベルトA-A' 4層	U F	52.7	29.8	8.4	7.14	V3	—	
4218	S I 88	QNW埋土下部	U F	37.7	47.8	10.3	11.04	V3	—	
4219	S I 90	床面直上	U F	56.5	46.2	12.1	26.33	V3	—	
4220	S I 91	床面直上	U F	13.5	27.0	4.9	1.49	V3	—	
4221	S I 91	埋土	U F	35.2	42.5	11.4	18.48	V3	—	
4222	S I 92	N Sベルト5層	U F	29.7	18.9	4.2	1.39	V3	—	
4223	S I 96	P P 2埋土	U F	28.5	31.4	11.2	8.51	V3	—	
4224	S I 96	埋土中位	U F	34.3	37.6	6.9	5.54	V3	—	
4225	S I 97	ベルト埋土	U F	35.0	38.6	7.8	10.01	V3	—	
4226	S I 97	埋土	U F	33.2	47.6	11.4	19.93	V3	—	
4227	S I 101	N Sベルト8層	U F	37.7	47.2	11.3	15.95	V3	—	
4228	S I 102	北西側埋土中位	U F	31.2	40.8	11.1	9.90	V3	—	
4229	S I 103	北西側周溝内埋土	U F	64.8	51.9	13.0	27.53	V3	—	
4230	S I 106	北東埋土	U F	29.0	36.7	12.9	9.19	V3	—	
4231	S I 106	北東埋土	U F	43.9	34.3	12.2	11.50	V3	—	
4232	S I 109	埋土下位	U F	38.3	24.7	9.4	7.14	V3	—	
4233	S I 112	南東埋土下位	U F	17.2	25.3	3.1	1.42	V3	—	
4234	S I 112	北東埋土下位	U F	37.0	22.4	7.9	5.62	V3	—	
4235	S I 112	北東埋土	U F	23.4	12.8	6.0	1.97	V3	—	
4236	S I 113	P P 2埋土	U F	27.4	29.2	9.0	6.10	V3	—	
4237	S I 114	埋土	U F	42.8	54.0	12.5	17.17	V3	—	
4238	S I 114	埋土	U F	27.7	19.7	5.2	2.69	V3	—	
4239	S I 115	南西埋土下位	U F	33.4	24.2	5.4	4.02	V3	—	
4240	S I 116	周溝埋土	U F	44.0	25.0	6.0	4.59	V3	—	
4241	S K I 05	東半埋土	U F	36.0	26.0	8.0	3.87	—	—	
4242	S K I 05	西半埋土	U F	24.0	29.0	5.0	3.25	—	—	
4243	S K I 10	北西埋土1層	U F	28.4	11.3	5.0	1.30	V3	—	
4244	S K I 13	埋土	U F	30.8	24.9	5.7	2.85	V3	—	
4245	S K I 13	ベルト埋土1層	U F	30.4	28.0	9.2	7.10	V3	—	
4246	S K I 13	ベルト埋土1層	U F	39.2	37.6	10.0	8.93	V3	—	
4247	S K I 13	ベルト埋土1層	U F	58.4	25.2	8.0	7.66	V3	—	
4248	S K 05	2次9層	U F	25.0	18.0	3.0	1.35	—	—	
4249	S K 05	2次6層	U F	25.0	31.0	10.0	5.78	—	—	
4250	S K 05	第1次精査	U F	32.5	38.0	12.0	5.99	—	—	
4251	S K 64	埋土1~2層	U F	35.5	33.0	8.0	7.23	—	—	



第32表 石器観察表 (26)

(数値) : 残存値

掲載 No.	出土地点	層位	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石材	分類	備考
4252	S K64	埋土	U F	13.0	7.0	2.0	0.15	—	—	
4253	S K65	埋土	U F	34.0	33.0	8.0	5.91	—	—	
4254	S K68	埋土	U F	21.0	15.0	3.5	0.86	—	—	
4255	S K68	埋土	U F	32.0	26.0	6.0	3.55	—	—	
4256	S K142	埋土	U F	30.3	39.2	5.5	4.25	V3	—	
4257	S K160	埋土一括	U F	45.7	36.4	9.0	11.27	V3	—	
4258	S X07	ベルトA-A' 1a層	U F	40.9	30.6	11.1	10.17	V2	—	
4259	S X07-2③	貝層土混じり	U F	55.8	28.7	12.3	14.59	V3	—	
4260	S X07-4	NSトレンチ	U F	44.0	35.6	11.0	16.39	V3	—	
4261	P16	西側中央埋土	U F	18.0	14.0	3.0	0.61	—	—	
4262	II B10 b	包含層上～中位	U F	48.0	43.0	13.0	11.86	—	—	
4263	II C3～5 d e f	II層	U F	41.0	25.5	8.0	4.46	—	—	
4264	II C5 d e	II層	U F	50.0	40.0	14.0	21.63	—	—	
4265	II C5・6 d e	II層	U F	56.0	72.0	15.0	40.09	—	—	
4266	II C7 b	II層	U F	45.0	19.0	9.0	6.45	—	—	
4267	II C7・8 b	包含層アゼ中位	U F	57.0	33.0	15.0	14.73	—	—	
4268	II C7・8 b	不明	U F	33.0	27.0	10.0	8.86	—	—	
4269	II C7 c	II層	U F	64.0	39.5	17.0	29.20	—	—	
4270	II C7 c	II層	U F	57.0	59.5	21.0	51.41	—	—	
4271	II C7・8 c	包含層アゼ下位	U F	50.0	22.0	5.0	4.29	—	—	
4272	II C7 d	II層	U F	44.5	23.0	10.0	6.26	—	—	
4273	II C7 d	II層	U F	49.0	47.0	11.0	24.45	—	—	
4274	II C7 d	II層	U F	45.0	30.0	11.0	14.62	—	—	
4275	II C7 d	南北ベルト埋土中位	U F	39.0	28.0	10.0	7.71	—	—	
4276	II C7・8 d	包含層アゼ上位	U F	38.0	50.0	11.5	13.23	—	—	
4277	II C7 e	II層	U F	30.0	34.0	8.0	5.80	—	—	
4278	II C7 e	不明	U F	40.0	30.0	18.0	19.87	—	—	
4279	II C8 b	包含層下位	U F	40.0	31.0	5.0	6.76	—	—	
4280	II C8 c	包含層下位	U F	53.0	31.0	11.0	14.91	—	—	
4281	II C8 c	II層	U F	39.5	28.0	12.0	12.61	—	—	
4282	II C8 d	II層焼土混じる層	U F	53.0	26.0	8.0	7.66	—	—	
4283	II C8 d	II層焼土混じる層	U F	67.0	28.0	15.0	13.08	—	—	
4284	II C8 d	II層	U F	34.0	47.0	7.0	6.79	—	—	
4285	II C8 d	II層	U F	41.0	12.5	8.0	2.92	—	—	
4286	II C8 d	II層	U F	37.0	28.0	5.0	4.69	—	—	
4287	II C8 d	包含層下位	U F	50.0	28.0	7.0	9.92	—	—	
4288	II C8 d	包含層アゼクリーニング	U F	41.0	49.0	14.0	22.67	—	—	
4289	II C8 e	II層	U F	50.0	50.0	12.0	20.04	—	—	
4290	II C9 a	包含層中～下位	U F	42.0	33.0	10.0	11.97	—	—	
4291	II C9 a	不明	U F	49.0	46.0	12.0	15.80	—	—	
4292	II C9 a b	包含層アゼ中位	U F	25.0	40.0	11.5	9.35	—	—	
4293	II C9 a b	包含層アゼ上位	U F	55.6	42.5	11.1	23.07	—	—	
4294	II C9 c	II層	U F	38.0	28.0	12.0	10.34	—	—	
4295	II C9 d	II層	U F	27.0	42.5	7.0	5.94	—	—	
4296	II C9 d	南北ベルト埋土下位	U F	40.0	50.0	12.0	19.72	—	—	
4297	II C9 d	包含層下位	U F	51.0	25.0	9.0	8.02	—	—	
4298	II C9 d	包含層中位	U F	41.0	43.5	8.0	11.93	—	—	
4299	II C9 d e	包含層アゼ上～中位	U F	17.9	31.5	5.4	2.56	—	—	
4300	II C9 e	II層	U F	37.0	36.0	11.0	9.86	—	—	
4301	II C10 a	包含層中位	U F	25.0	21.0	9.0	8.53	—	—	
4302	II C10 b	包含層上位	U F	17.0	43.0	6.0	4.84	—	—	
4303	II C10 b	包含層上位	U F	57.0	45.0	13.5	32.45	—	—	
4304	II C10 b c	包含層上位	U F	45.0	26.0	9.0	6.72	—	—	
4305	II C10 c	II層	U F	40.0	40.0	7.5	11.97	—	—	
4306	II C10 c	包含層下位	U F	29.0	51.0	7.0	6.42	—	—	
4307	II D10 d	II層	U F	37.0	19.0	9.5	5.16	—	—	
4308	II D10 d	II層	U F	26.0	27.5	3.0	1.95	—	—	
4309	II D10 d	II層	U F	19.0	23.5	3.0	1.14	—	—	
4310	II D10 d	II層	U F	31.0	36.0	10.0	10.86	—	—	
4311	II D10 d	包含層下位	U F	54.5	27.0	16.5	8.83	—	—	
4312	II D10 d	包含層下位	U F	36.5	57.0	14.0	23.37	—	—	
4313	II D10 d	東西ベルト埋土中位	U F	63.5	22.5	7.0	5.70	—	—	
4314	II C10 e	II層	U F	40.0	36.0	11.0	9.56	—	—	
4315	III B2 j	包含層下位	U F	63.5	34.0	12.0	19.21	—	—	
4316	III B2 j	包含層上～中位	U F	52.0	25.0	13.5	11.44	—	—	
4317	III B3 j	II層～焼土検出面	U F	32.0	30.0	11.0	6.80	—	—	
4318	III B3 j	II層～焼土検出面	U F	49.5	25.5	8.0	5.63	—	—	
4319	III B3 j	II層	U F	25.0	41.0	9.0	4.27	—	—	
4320	III B3 j	不明	U F	38.0	28.1	9.7	12.04	—	—	
4321	III B6 h	II層	U F	60.0	32.0	16.0	21.80	—	—	
4322	III B6 i	II層	U F	24.0	45.5	10.0	7.78	—	—	
4323	III B7 h	II層	U F	42.0	46.0	17.0	23.96	—	—	
4324	III B7 i	II層	U F	35.5	47.0	7.5	9.92	—	—	
4325	III B7 i	II層	U F	67.0	37.0	13.5	23.01	—	—	
4326	III B7 i	II層	U F	19.0	35.0	8.0	3.56	—	—	
4327	III B7 i	II層	U F	42.0	30.0	9.0	10.62	—	—	
4328	III B7 i	II層	U F	36.0	60.0	11.0	18.56	—	—	
4329	III B9 i	II層	U F	38.0	21.0	9.0	5.85	—	—	

第32表 石器観察表 (27)

(数値) : 残存値

掲載 No.	出土地点	層位	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石材	分類	備考
4330	ⅢC 1 a	包含層下位	UF	50.0	17.0	11.0	4.92	—	—	
4331	ⅢC 1 a	包含層中～下位	UF	46.0	38.0	10.0	17.41	—	—	
4332	ⅢC 1 a	包含層上位	UF	53.0	38.5	10.5	13.46	—	—	
4333	ⅢC 1 a	包含層上位	UF	36.0	36.0	10.0	11.77	—	—	
4334	ⅢC 1 b	不明	UF	32.0	43.5	8.5	8.01	—	—	
4335	ⅢC 1 c	南北ベルト埋土上位	UF	47.2	26.4	7.7	8.69	—	—	
4336	ⅢC 1 e	Ⅱ層	UF	45.0	33.5	12.0	12.75	—	—	
4337	ⅢC 3 a	包含層2段目	UF	30.5	41.6	15.3	20.72	—	—	
4338	ⅢC 3 a	Ⅱ層	UF	49.5	35.0	10.5	13.84	—	—	
4339	ⅢC 4 a	Ⅱ層	UF	52.0	50.0	20.0	20.89	—	—	
4340	ⅢC 7 d	Ⅱ層下部検出面	UF	38.0	60.0	11.0	24.73	—	—	
4341	ⅢC 7 d	Ⅱ層下部検出面	UF	21.0	25.0	3.5	1.98	—	—	
4342	ⅢC 8 d	Ⅱ層検出面	UF	25.4	32.4	11.0	6.45	V3	—	
4343	ⅢC 8 d	Ⅱ層検出面	UF	13.7	26.0	3.0	0.98	V3	—	
4344	ⅢC 8 d	Ⅱ層検出面	UF	46.5	44.0	14.5	23.42	V3	—	
4345	ⅢC 8 f	Ⅱ層	UF	45.6	61.5	11.5	13.16	V3	—	
4346	ⅢC 8 g	Ⅲ層検出面	UF	64.0	42.0	16.0	31.74	—	—	
4347	ⅢC 8 h	Ⅲ層検出面	UF	35.0	54.5	14.0	13.65	—	—	
4348	ⅢC 8 j	Ⅲ層検出面	UF	27.0	23.5	4.0	2.17	—	—	
4349	ⅢC 9 d	Ⅱ層	UF	23.1	48.0	8.5	4.94	V3	—	
4350	ⅢC 9 e	Ⅱ層	UF	15.0	29.0	9.0	3.07	—	—	
4351	ⅢC 9 e	Ⅱ層検出面	UF	55.0	58.5	14.5	20.61	V3	—	
4352	ⅢC 9 e	Ⅱ層検出面	UF	21.7	37.2	7.6	3.94	V3	—	
4353	ⅢC 9 f	Ⅱ層	UF	39.2	34.3	11.0	13.00	V3	—	
4354	ⅢC 9 f	Ⅱ層	UF	29.6	14.7	3.4	1.02	V3	—	
4355	ⅢC 9 i	Ⅱ層	UF	34.6	50.9	10.9	17.72	V3	—	
4356	ⅢC 9 j	Ⅱ層	UF	25.0	31.0	9.5	7.22	—	—	
4357	ⅢC 10 b	Ⅱ層	UF	51.0	26.0	10.0	13.24	—	—	
4358	ⅢC 10 b	Ⅱ層検出面	UF	34.6	35.6	12.4	14.44	V3	—	
4359	ⅢC 10 b	Ⅱ層検出面	UF	44.7	53.2	12.0	15.49	V3	—	
4360	ⅢC 10 g	Ⅱ層	UF	36.1	24.8	6.4	2.75	V3	—	
4361	ⅢD 7 b	トレンチ内	UF	17.0	24.0	6.5	3.18	—	—	
4362	ⅢD 9 b	Ⅱ層	UF	37.4	44.6	11.9	14.32	V3	—	
4363	ⅢD 10 a	Ⅱ層	UF	32.0	35.0	6.5	4.71	V3	—	
4364	ⅣB 1 g	Ⅱ層検出面	UF	33.3	57.8	8.5	11.70	V3	—	
4365	ⅣB 1 i	検出面	UF	39.3	33.1	11.8	11.62	V3	—	
4366	ⅣB 1 j	検出面	UF	29.2	15.6	5.7	1.26	V3	—	
4367	ⅣB 4 j	Ⅱ層	UF	56.0	41.0	13.0	17.60	—	—	
4368	ⅣC 1 a	大ベルトⅠ～Ⅱ層	UF	37.8	50.3	12.1	19.13	V3	—	
4369	ⅣC 1 e	Ⅱ層検出面	UF	21.5	33.4	10.6	5.42	V3	—	
4370	ⅣC 1 g	Ⅱ層	UF	46.0	45.0	11.0	19.92	—	—	
4371	ⅣC 2 e	Ⅱ層	UF	40.5	27.5	9.1	6.15	V3	—	
4372	ⅣC 2 e	Ⅱ層	UF	28.5	39.0	8.4	7.30	V3	—	
4373	ⅣC 2 j	Ⅱ層	UF	25.0	31.4	6.7	3.22	V3	—	
4374	ⅣC 3 a	Ⅱ層検出面	UF	26.3	34.6	5.7	5.29	V3	—	
4375	ⅣC 3 b	Ⅱ層	UF	41.2	29.2	7.7	8.34	V3	—	
4376	ⅣC 3 b	Ⅱ層	UF	38.5	44.7	12.3	14.23	V3	—	
4377	ⅣC 3 c	Ⅱ層	UF	115.5	66.0	20.0	99.89	V3	—	
4378	ⅣC 3 c	Ⅱ層	UF	63.4	33.5	10.0	20.42	V3	—	
4379	ⅣC 3 i	Ⅱ層	UF	61.0	92.0	14.0	50.43	V3	—	
4380	ⅣC 3 j	Ⅱ層	UF	30.8	41.3	6.4	6.76	V3	—	
4381	ⅣC 3 j	Ⅱ層	UF	37.9	27.8	6.9	6.87	V3	—	
4382	ⅣC 4 i	ベルトⅡ層	UF	46.5	36.2	12.5	14.26	V3	—	
4383	ⅣC 4 i	ベルトⅡ層	UF	33.5	39.5	7.2	5.01	V3	—	
4384	ⅣC 4 i	Ⅱ層	UF	53.5	25.8	13.5	12.56	V3	—	
4385	ⅣC 4 i	Ⅱ層	UF	45.0	44.0	10.5	16.44	V3	—	
4386	ⅣC 4 j	Ⅱ層	UF	24.2	37.3	9.3	5.86	V3	—	
4387	ⅣC 4 j	Ⅱ層	UF	50.5	31.3	8.1	11.92	V3	—	
4388	ⅣC 4 j	Ⅱ層	UF	69.5	31.5	18.5	20.84	V3	—	
4389	ⅣC 4 j	Ⅱ層②	UF	64.6	52.0	15.6	36.82	V3	—	
4390	ⅣC 5 b	Ⅱ層	UF	42.9	29.5	8.7	6.69	V3	—	
4391	ⅣC 5 c	Ⅱ層	UF	32.5	48.6	8.9	12.45	V3	—	
4392	ⅣC 5 c	Ⅱ層	UF	13.8	28.4	5.2	1.42	V3	—	
4393	ⅣC 5 d	Ⅱ層	UF	34.7	26.8	9.6	6.71	V3	—	
4394	ⅣC 5 d	Ⅱ層	UF	39.3	26.2	10.5	10.46	V3	—	
4395	ⅣC 5 d	Ⅱ層	UF	34.7	20.3	5.4	2.38	V3	—	
4396	ⅣC 5 d	Ⅱ層	UF	20.0	22.7	4.0	2.21	V3	—	
4397	ⅣC 5 d	Ⅱ層	UF	42.8	45.6	16.0	25.86	V3	—	
4398	ⅣC 5 f	Ⅱ層	UF	49.4	25.6	9.4	11.93	V3	—	
4399	ⅣC 5 g	Ⅰ～Ⅱ層	UF	29.5	36.0	6.0	3.55	—	—	
4400	ⅣC 5 h	Ⅱ層	UF	29.7	25.3	7.6	3.54	V3	—	
4401	ⅣC 5 i	Ⅱ層	UF	53.5	58.8	13.8	38.95	V3	—	
4402	ⅣC 5 i	Ⅱ層	UF	36.5	55.2	16.8	41.01	V3	—	
4403	ⅣC 5 i	Ⅱ層	UF	35.4	38.8	11.7	8.08	V3	—	
4404	ⅣC 5 i	Ⅱ・Ⅲ層境	UF	45.4	54.5	12.5	14.34	V3	—	
4405	ⅣC 6 b	南側落ち込み上層	UF	31.2	22.7	6.5	2.54	V3	—	
4406	ⅣC 6 c	Ⅱ層	UF	48.7	35.5	10.2	12.72	V3	—	
4407	ⅣC 6 c	Ⅱ層	UF	30.3	41.1	10.8	13.30	V3	—	

第32表 石器観察表 (28)

(数値) : 残存値

掲載 No.	出土地点	層位	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石材	分類	備考
4408	IV C 6 e	II層	UF	25.7	26.9	3.4	1.33	V3	—	
4409	IV C 6 e	II層	UF	26.6	32.8	7.0	5.72	V3	—	
4410	IV C 6 e	II層	UF	27.3	38.2	9.3	11.31	V3	—	
4411	IV C 6 e	II層	UF	31.2	36.6	11.2	11.67	V3	—	
4412	IV C 6 e	II層	UF	17.7	36.8	6.0	1.66	V3	—	
4413	IV C 6 g	II層	UF	50.0	13.7	12.0	5.51	V3	—	
4414	IV C 6 h	II層	UF	50.8	23.0	9.5	6.62	V3	—	
4415	IV C 6 h	II層	UF	26.0	23.8	7.2	4.91	V3	—	
4416	IV C 7 b	II層	UF	40.5	53.4	19.6	26.00	V3	—	
4417	IV C 7 c	南側落ち込み上層	UF	38.6	31.6	6.5	4.84	V3	—	
4418	IV C 7 d	II層	UF	37.7	32.0	10.8	11.99	V3	—	
4419	IV C 7 e	II層	UF	40.3	47.0	9.4	7.27	V3	—	
4420	IV D 1 a	I層	UF	29.7	19.9	8.8	4.32	V3	—	
4421	IV D 1 a	II層	UF	55.5	69.5	16.5	46.18	V3	—	
4422	IV D 1 a	II層	UF	28.0	25.5	3.8	2.01	V3	—	
4423	IV D 1 a	II層	UF	26.0	20.5	9.8	3.34	V3	—	
4424	IV D 1 j	II~III層	UF	36.7	49.6	10.4	14.76	V3	—	
4425	IV D 2 a	II層	UF	27.9	23.6	8.0	4.22	V3	—	
4426	IV D 2 b	II層	UF	34.3	26.9	9.0	8.03	V3	—	
4427	IV D 3 a	II~III層	UF	39.3	49.6	11.4	17.56	V3	—	
4428	T 6	不明	UF	25.0	21.0	6.5	2.45	—	—	
4429	T 7	II層	UF	25.0	22.0	6.0	2.31	—	—	
4430	T 11	I層	UF	25.0	19.0	12.5	3.74	—	—	
4431	T 209	II層	UF	44.0	25.0	11.0	8.98	—	—	
4432	T 1029	II層	UF	21.3	40.0	7.5	4.46	V3	—	
4433	不明	南北ベルト埋土中位	UF	50.0	59.0	13.0	18.83	—	—	
4434	不明	II層	UF	68.0	42.0	14.0	28.70	—	—	
4435	不明	包含層上位	UF	44.0	26.0	9.0	7.55	—	—	
4436	不明	排土中	UF	25.0	28.0	7.5	4.45	—	—	
4437	不明	排土中	UF	36.0	35.5	7.0	6.81	—	—	
4438	不明	排土	UF	24.0	35.5	8.5	5.97	—	—	
4439	不明	不明	UF	55.0	32.0	12.0	14.06	—	—	
4440	S I 15	剥片集中遺構	剥片	18.0	35.0	8.0	3.69	V2	—	
4441	S I 15	剥片集中遺構	剥片	26.0	35.0	11.0	5.38	V2	—	
4442	S I 15	剥片集中遺構	剥片	26.0	25.0	9.0	4.14	V2	—	
4443	S I 75	剥片集中遺構	剥片	35.0	44.0	10.0	10.64	V2	—	No913-1
4444	S I 75	剥片集中遺構	剥片	29.0	41.0	11.0	8.50	V2	—	No913-2
4445	S I 75	剥片集中遺構	剥片	39.0	37.5	11.5	8.70	V2	—	No913-3
4446	S I 75	剥片集中遺構	剥片	35.0	34.5	9.5	5.98	V2	—	No913-4
4447	S I 75	剥片集中遺構	剥片	51.0	29.5	17.0	12.76	V2	—	No913-5
4448	S I 75	剥片集中遺構	剥片	51.0	37.0	12.5	14.32	V2	—	No913-6
4449	S I 10	北東埋土下位~床面	異形石器	(32.0)	(14.0)	3.0	1.48	V2	IG	
4450	S I 13	ベルトA-A' 4層	異形石器	38.0	20.0	9.0	6.17	V2	IA	
4451	S I 33	ベルトC-C'埋土2層	異形石器	49.0	38.0	9.0	7.69	V2	IG	
4452	S I 46	埋土上位	異形石器	52.0	38.5	7.0	4.55	V2	IG	
4453	II C 8・9 b	包含層アゼ下位	異形石器	57.0	(23.0)	8.0	6.77	W1	IG	
4454	II C 10 d	II層	異形石器	25.0	21.0	6.0	1.36	V2	IG	
4455	III B 7 h	II層	異形石器	44.0	(47.0)	10.0	11.59	V2	IA	
4456	IV C 5 g	I~II層	異形石器	56.0	18.0	9.0	5.72	V2	IG	
4457	S I 18	南西埋土中~下位	石核	58.0	63.0	32.0	92.61	V2	IIA	
4458	S I 18	南東埋土上~中位	石核	87.0	55.0	29.0	178.76	V2	I	
4459	S I 18	③埋土上位	石核	74.0	52.0	23.0	93.16	V2	I	
4460	S I 31	北東1/4部壁際埋土	石核	53.0	65.0	39.0	145.79	—	IB	
4461	S I 31	南東1/4部埋土上~中位	石核	48.0	39.0	23.0	33.58	—	I	
4462	S I 45	⑤/⑥埋土上~中位	石核	62.0	98.0	39.0	346.16	—	IB	
4463	S I 46	埋土中位	石核	32.0	48.0	21.0	31.31	—	II B	
4464	S I 57	ベルト埋土	石核	80.0	61.0	42.0	289.05	—	I	
4465	S I 58	埋土上位	石核	61.0	45.0	35.0	107.99	—	I	
4466	S I 58	西埋土上位	石核	65.0	38.0	39.0	108.83	—	I	
4467	S I 74	貼床埋土	石核	74.0	44.0	27.0	88.01	—	I	
4468	S I 74	QSE埋土上~中位	石核	52.0	60.0	43.0	187.66	—	I	
4469	S I 78	5層東西アゼ東側	石核	96.0	51.0	46.0	271.21	—	I	
4470	S I 90	床面直上	石核	38.0	29.0	6.0	16.65	—	IA	
4471	S I 91	PP6埋土	石核	47.0	35.0	30.0	43.80	—	I	
4472	S I 102	北西側埋土上位	石核	43.0	51.0	22.0	44.54	—	IB	
4473	S K I 13	ベルト6層	石核	35.0	43.0	9.0	27.85	—	IB	
4474	S K 51	埋土1~3層	石核	53.0	37.0	21.0	44.46	V1	I	
4475	II C 6 c	II層	石核	86.0	49.0	49.0	162.27	V1	—	
4476	II C 7 b	II層	石核	60.0	37.0	30.0	49.51	V1	—	
4477	II C 7 c	II層	石核	64.0	51.0	55.0	154.51	V1	IB	
4478	II C 7 c	アゼ分上~下位	石核	110.0	73.0	46.0	329.82	V1	I	
4479	II C 7 d	II層	石核	32.0	55.0	31.0	42.65	V1	IA	
4480	II C 7 d	II層	石核	36.0	53.0	25.0	42.99	V1	IIA	
4481	II C 7 e	東西アゼ6層	石核	66.0	43.0	25.0	83.30	V1	—	
4482	II C 8 d	不明	石核	52.0	68.0	24.0	85.93	V1	I	
4483	II C 9 b	包含層中位	石核	47.0	59.0	17.0	40.89	V1	I	
4484	II C 9 b c	包含層アゼ下位	石核	42.0	49.0	20.0	48.43	V1	—	
4485	II C 10 c	東西ベルト埋土中位	石核	59.0	45.0	30.0	78.54	V1	I	

第32表 石器観察表 (29)

(数値) : 残存値

掲載 No.	出土地点	層位	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石材	分類	備考
4486	ⅢB 1 j	包含層下位	石核	65.0	34.0	27.0	40.15	V1	I	
4487	ⅢB 3 j	Ⅱ層焼土検出面	石核	51.0	38.0	20.0	31.97	V2	—	
4488	ⅢB 6 j	Ⅱ層	石核	58.0	48.0	22.0	52.51	V1	I	
4489	ⅢB 8 i	Ⅱ層	石核	51.0	41.0	17.0	40.42	V2	—	
4490	ⅢC 1 a	包含層下位	石核	62.0	42.0	37.0	97.99	V1	I	
4491	ⅢC 1 b	包含層下位	石核	70.0	48.0	30.0	67.14	V1	—	
4492	ⅢC 1 c	包含層下位	石核	45.0	55.0	17.0	54.10	V1	I	
4493	ⅢC 1 c	東西ベルト埋土上位	石核	47.0	20.0	20.0	47.37	V2	—	
4494	ⅣC 1 d	Ⅱ層検出面	石核	23.0	42.0	23.0	30.22	W2	I	
4495	ⅣC 3 c	Ⅱ層	石核	46.0	37.0	19.0	30.54	—	I	
4496	ⅣC 5 i	Ⅱ層	石核	74.0	57.0	43.0	193.99	—	I	
4497	ⅣC 6 h	Ⅱ層	石核	81.0	42.0	20.0	69.21	—	I	
4498	ⅣD 2 a	Ⅱ層	石核	70.0	40.0	26.0	92.52	—	I	
4499	ⅣD 2・3 a	Ⅱ～Ⅲ層	石核	37.0	31.0	18.5	20.77	—	I	
4500	ⅣD 3 a	Ⅱ層	石核	115.0	118.0	73.0	1,213.20	—	I	
4501	ⅣD 3	Ⅱ層中位	石核	80.5	39.0	43.0	74.70	—	I	
4502	ⅣD 3	Ⅱ層中位	石核	65.0	50.0	22.0	112.18	—	I B	
4503	不明	Ⅱ層	石核	50.0	40.0	30.0	63.78	S	I A	
4504	不明	南側Ⅰ～Ⅱ層	石核	72.0	80.0	37.0	239.71	V1	I	
4505	不明	不明	石核	50.0	50.0	22.0	73.22	—	I	
4506	S I 18	南東埋土中～下位	礫器?	105.0	93.0	63.0	773.28	A	Ⅱ2?	刃部両刃?
4507	S I 74	Nベルト埋土	礫器	103.0	39.0	15.5	115.69	d2	I B 2	
4508	S I 80	QNE埋土下部	礫器	105.0	55.0	15.0	82.85	V2	Ⅱ B 3	
4509	S I 80	Q S埋土下部	礫器	85.0	60.0	18.0	94.33	d2	Ⅱ B 4	
4510	S I 88	P P 1	礫器	165.0	115.0	50.0	893.24	V2	I B 1	
4511	ⅢC 4 i	Ⅱ層上位	礫器	125.0	76.0	13.0	134.13	d2	Ⅱ B 3	
4512	ⅣB 1 g	Ⅱ層検出面	礫器	84.0	52.0	9.0	47.75	V2	Ⅱ B 2	
4513	ⅣC 4 i	Ⅱ層	礫器	55.0	61.0	18.0	69.71	V2	I B 1	
4514	ⅣC 5 d	Ⅱ層	礫器	58.0	59.0	12.0	46.39	V2	Ⅱ B 2	
4515	ⅢB 4・5 i j	包含層上面	打製石斧	80.0	45.0	22.0	94.66	U1	Ⅱ	片面に自然面
4516	S I 45	②/⑥埋土上～中位	打製石斧	(57.0)	(48.0)	21.0	54.66	—	ア	
4517	S I 106	北東埋土	打製石斧	(79.0)	59.0	21.0	168.88	—	ア	
4518	S I 112	北東埋土下位	打製石斧	(46.0)	(54.0)	14.0	49.12	—	ア	
4519	S I 116	埋土一括	打製石斧	120.0	61.0	24.0	268.72	—	ア	
4520	S K 104	埋土	打製石斧	(80.0)	65.0	28.0	169.71	—	ア	
4521	ⅢC 8 d	Ⅱ層検出面	打製石斧	124.0	56.0	10.0	130.59	—	ア	
4522	ⅣC 4 i	Ⅱ層	打製石斧	73.0	58.0	9.0	41.55	—	I A	
4523	ⅣC 4 i	Ⅱ層	打製石斧	120.0	40.0	7.0	37.66	—	I A	
4524	ⅣC 4 i	Ⅱ層上位	打製石斧	(113.0)	90.0	33.0	464.26	—	ア	
4525	S I 03	東北埋土中位	磨製石斧	(112.0)	43.0	22.0	(208.40)	G1	—	刃部欠損
4526	S I 03	東北埋土中位	磨製石斧	(43.0)	(38.0)	20.0	(57.40)	Y1	—	刃部・身部欠損
4527	S I 20	ベルトA-A' 1層	磨製石斧	(60.0)	(42.0)	30.0	(115.42)	G1	—	刃部・身部欠損
4528	S I 25	ベルト東北1/4埋土上部	磨製石斧	(63.0)	(51.0)	23.0	(82.81)	G2	—	刃部・基部欠損
4529	S I 31	北西1/4部埋土上～中位	磨製石斧	(69.0)	(18.0)	(17.0)	20.88	—	—	刃部・身部・基部欠損
4530	S I 31	北西1/4部埋土上～中位	磨製石斧	(108.0)	(38.0)	31.0	201.18	—	—	刃部・身部・基部欠損
4531	S I 34	北東③埋土下位	磨製石斧	111.0	57.0	26.0	325.90	U2	Ⅲ B	
4532	S I 34	北東埋土上～中位	磨製石斧	(72.0)	49.0	22.0	155.40	—	—	基部欠損
4533	S I 35	南西埋土下位	磨製石斧	(71.0)	44.0	15.5	132.99	—	—	基部欠損
4534	S I 44	北西埋土1層	磨製石斧	109.0	56.0	25.0	273.24	—	—	刃部欠損
4535	S I 50	埋土中位	磨製石斧	(98.0)	43.0	23.0	165.58	—	—	刃部欠損
4536	S I 52	南西埋土5層(貼床)	磨製石斧	(102.0)	45.0	24.0	179.91	a2	—	刃部欠損
4537	S I 58	Aベルト4～7層	磨製石斧	(103.0)	51.0	22.0	208.66	—	—	刃部・基部欠損
4538	S I 61	Dベルト14層	磨製石斧	(32.0)	(29.0)	(4.0)	6.31	—	—	刃部・身部・基部欠損
4539	S I 61	③埋土下位	磨製石斧	(65.0)	44.0	23.0	119.29	—	—	基部欠損
4540	S I 61	①埋土中位	磨製石斧	(85.0)	(48.0)	(29.0)	183.85	—	—	刃部欠損
4541	S I 61	④埋土中位	磨製石斧	(103.0)	53.0	25.0	232.86	—	—	刃部欠損
4542	S I 61	⑤(S I 82重複部)埋土中位	磨製石斧	(54.0)	48.0	20.0	103.81	—	—	身部・基部欠損
4543	S I 64	Sベルト6層	磨製石斧	102.0	40.0	23.0	172.40	d2	I A	
4544	S I 65	Nベルト2層	磨製石斧	(113.0)	54.0	22.0	229.82	—	—	刃部欠損
4545	S I 71	北側周溝埋土	磨製石斧	78.0	42.0	20.5	131.27	C2	ⅡC?	
4546	S I 71	北東埋土下位	磨製石斧	96.0	48.5	21.0	147.58	U2	I A	
4547	S I 71	北西埋土下位	磨製石斧	(92.0)	42.0	20.0	139.54	—	—	刃部欠損
4548	S I 71	北西埋土下位	磨製石斧	(45.0)	(43.0)	(15.0)	34.19	—	—	刃部・身部欠損
4549	S I 72	ベルトA-A' 1層	磨製石斧	(57.0)	31.0	14.0	42.07	a2	I A	
4550	S I 72	南東埋土下位	磨製石斧	(72.0)	38.0	27.0	114.49	—	—	刃部・身部・基部欠損
4551	S I 72	北西埋土上位	磨製石斧	83.0	40.0	21.0	108.29	h	—	刃部欠損
4552	S I 72	北東埋土上位	磨製石斧	(60.0)	(40.0)	25.0	88.58	—	—	刃部欠損
4553	S I 73	土器埋設処埋土	磨製石斧	(100.2)	45.0	21.0	182.49	a2	—	刃部欠損
4554	S I 74	Q S W埋土上～中部	磨製石斧	(38.5)	(24.0)	(7.0)	9.47	—	I	刃部の一部残存
4555	S I 80	床面直上	磨製石斧	103.0	48.0	28.0	243.34	Z2	Ⅲ B	
4556	S I 80	石器No 1	磨製石斧	(107.0)	54.0	30.0	266.76	U2	—	基部欠損
4557	S I 80	Q S W埋土下部	磨製石斧	(79.0)	49.0	25.0	187.06	a2	—	基部欠損
4558	S I 81	南西埋土上位	磨製石斧	(70.0)	49.0	25.0	152.56	d2	—	基部欠損
4559	S I 82	南西埋土下位	磨製石斧	(56.5)	29.5	11.0	31.98	V2	I A	
4560	S I 86	P P 3北半埋土1層	磨製石斧	57.0	39.0	13.5	44.94	h	I A	
4561	S I 86	南西埋土下位	磨製石斧	(74.0)	48.0	26.5	168.44	—	—	基部欠損
4562	S I 86	北東埋土上位	磨製石斧	(56.0)	36.0	13.0	39.53	U4	—	基部欠損
4563	S I 86	北東埋土上位	磨製石斧	(46.0)	(20.0)	(15.0)	9.08	—	I	刃部の一部残存

第32表 石器観察表 (30)

(数値) : 残存値

掲載 No.	出土地点	層位	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石材	分類	備考
4564	S I 88	Q S W埋土下部	磨製石斧	107.0	61.0	28.0	331.16	U2	II C ?	
4565	S I 88	Q N E埋土下部	磨製石斧	(53.0)	56.0	28.0	143.82	—	—	刃部・基部欠損
4566	S I 96	埋土中位	磨製石斧	(54.0)	32.0	9.5	30.39	h	—	基部欠損
4567	S I 101	東埋土	磨製石斧	57.0	35.0	13.5	41.83	h	I A	
4568	S I 101	西埋土	磨製石斧	(102.0)	(48.0)	26.0	197.23	—	—	刃部欠損
4569	S I 102	南東部埋土最下層	磨製石斧	(68.0)	45.5	27.0	146.15	—	—	刃部・基部欠損
4570	S I 106	P P 1埋土	磨製石斧	(48.0)	40.0	23.0	64.33	—	—	刃部・基部欠損
4571	S I 112	北東埋土下位	磨製石斧	(15.0)	(43.0)	(13.0)	9.02	—	I	刃部の一部残存
4572	S I 116	南北半埋土下位	磨製石斧	(48.0)	(17.0)	(27.0)	28.84	—	II	基部の一部残存
4573	S K 05	第1次精査	磨製石斧	(116.0)	56.0	25.0	(298.84)	E	I A	基部欠損
4574	S K 38	埋土	磨製石斧	(44.5)	(36.0)	(26.0)	(64.25)	G1	—	刃部・基部欠損
4575	S X 10	ベルトA-A' 2層	磨製石斧	(14.0)	(52.0)	31.0	272.43	—	—	刃部欠損
4576	P 24	西～中央、埋土	磨製石斧	130.0	53.0	33.0	404.06	Y1	I A	
4577	II C 5 a	II層	磨製石斧	67.0	47.0	22.0	119.96	G1	II C ?	
4578	II C 6 d	不明	磨製石斧	(67.0)	(39.0)	20.0	(80.15)	Y1	—	刃部・基部欠損
4579	II C 7 a	埋土中位	磨製石斧	(73.0)	48.0	24.0	(114.10)	G1	III B	基部欠損
4580	II C 7 c	南北ベルト埋土中位	磨製石斧	(116.0)	69.0	29.0	(455.51)	E	I A	基部欠損
4581	II C 7 d	II層	磨製石斧	(52.0)	(43.0)	(20.0)	(70.84)	Y1	—	刃部・基部欠損
4582	II C 7 e	東西アゼ7層	磨製石斧	(48.0)	44.0	18.0	(66.55)	Y1	—	基部・基部欠損
4583	II C 8 d	II層	磨製石斧	(40.0)	(50.0)	(17.0)	(39.49)	Y1	—	刃部・基部欠損
4584	II C 8 d	II層	磨製石斧	(77.0)	(51.0)	(18.0)	(83.64)	E	I A	基部・基部欠損
4585	II C 8 d	II層	磨製石斧	(78.0)	50.0	25.0	(172.44)	V1	I A	基部欠損
4586	II C 9 a	包含層中～下位	磨製石斧	(44.0)	(32.0)	(28.0)	(48.78)	V1	I A	基部・基部欠損
4587	II C 9 a	包含層下位	磨製石斧	(78.0)	(45.0)	(35.0)	(164.12)	V1	—	刃部・基部欠損
4588	II C 10 a	包含層中位	磨製石斧	(39.0)	(30.0)	(31.0)	(58.40)	E	—	刃部・基部欠損
4589	II C 10 b c	包含層アゼ上位	磨製石斧	(30.0)	(30.0)	(20.0)	(18.43)	Y1	—	刃部・基部欠損
4590	II D 8 b	II層	磨製石斧	(143.0)	43.0	30.0	(333.20)	Y1	—	刃部欠損
4591	III B 1 j	包含層下位	磨製石斧	(88.0)	50.0	27.0	(216.84)	G1	III B	基部欠損
4592	III B 7 i	II層	磨製石斧	(70.0)	55.0	28.0	(197.74)	Y1	—	基部欠損
4593	III C 1 a	包含層中～下位	磨製石斧	(92.0)	49.0	25.5	(205.61)	F	I A	基部欠損
4594	III C 1 d	包含層下位	磨製石斧	(61.0)	(36.0)	24.0	(71.12)	G1	—	刃部・基部欠損
4595	III C 3 a	II層	磨製石斧	(69.0)	48.0	22.0	(29.51)	G1	—	基部欠損
4596	III C 8 f	II層	磨製石斧	(27.0)	(43.0)	(10.0)	19.97	—	III	基部の一部残存
4597	III C 9 d	II層	磨製石斧	(78.0)	(6.0)	(26.0)	(18.66)	Y1	I	基部・基部欠損、刃部の一部残存
4598	III C 9 d	II層	磨製石斧	(22.0)	(27.0)	(6.0)	4.70	—	I	刃部の一部残存
4599	III C 9 f	II層	磨製石斧	(111.0)	42.0	25.0	217.44	—	—	基部欠損
4600	III C 9 f	II層下部検出面	磨製石斧	81.0	48.0	28.0	183.60	H1	I II III B	
4601	III C 9 g	II層	磨製石斧	(51.0)	(46.0)	(19.0)	76.60	—	—	刃部・基部欠損
4602	III D 8 b	I層	磨製石斧	(45.0)	(37.0)	(19.0)	(47.40)	Y1	—	刃部・基部欠損
4603	III D 8 b	II層	磨製石斧	(95.0)	(46.0)	(25.0)	(146.13)	U1	—	刃部欠損
4604	III D 10 b	II層	磨製石斧	(73.0)	48.0	22.0	(86.40)	H1	I A	基部・基部欠損
4605	III D 10 c	II層	磨製石斧	(79.0)	46.0	27.0	(162.15)	Y1	I II A	
4606	IV B 2 j	II層検出面	磨製石斧	(42.0)	(37.0)	(27.0)	70.20	—	—	刃部・基部欠損
4607	IV B 3 j	II層	磨製石斧	(118.0)	42.0	23.0	225.99	—	—	刃部・基部欠損
4608	IV B 5 i	II層	磨製石斧	98.0	46.0	27.0	221.59	—	IA・II C ?	
4609	IV C 2 d	II層下部	磨製石斧	(61.0)	35.0	15.0	46.67	h	II B	刃部欠損、基部に敲打痕
4610	IV C 2 d	II層下部	磨製石斧	70.0	39.0	16.0	68.78	—	II B	基部に敲打痕
4611	IV C 3 d	II層検出面	磨製石斧	(76.0)	48.0	25.0	153.20	—	—	基部欠損
4612	IV C 4 i	II層	磨製石斧	(165.0)	62.0	34.0	546.43	B	IA・II B	
4613	IV C 4 i	II層	磨製石斧	(90.0)	54.0	25.0	251.66	—	—	刃部・基部欠損
4614	IV C 5 g	II層	磨製石斧	(67.0)	(40.0)	(21.0)	80.38	—	—	刃部・基部欠損
4615	IV C 5 h	II層	磨製石斧	(74.0)	50.0	20.0	147.07	—	—	基部欠損
4616	IV C 6 e	II層	磨製石斧	(115.0)	(54.0)	28.0	248.81	—	—	刃部欠損
4617	IV C 6 e	II層	磨製石斧	(75.0)	(19.0)	(32.0)	67.59	—	III	基部の一部残存
4618	IV C 6 f	II層	磨製石斧	(67.0)	(45.0)	(25.0)	109.84	—	—	刃部・基部欠損
4619	IV C 6 g	II層	磨製石斧	(14.0)	(43.0)	(27.0)	208.71	—	—	刃部欠損
4620	IV C 6 i	II層	磨製石斧	(82.0)	47.0	20.5	180.36	—	—	基部欠損
4621	IV D 2 a	II層	磨製石斧	(43.0)	(23.0)	(24.0)	44.22	—	III	基部欠損の一部残存
4622	IV D 2 a	II層	磨製石斧	(59.5)	50.0	24.0	116.75	—	IV B	基部・基部欠損
4623	IV D 3 a	II層	磨製石斧	(59.0)	35.0	24.0	77.90	—	—	刃部・基部欠損
4624	T 101	拡張部	磨製石斧	(73.0)	40.0	15.0	(79.70)	Y1	—	刃部・基部欠損
4625	不明	II層	磨製石斧	(132.0)	56.0	35.0	(419.12)	F	—	刃部欠損
4626	不明	II層	磨製石斧	(70.0)	(15.0)	22.0	(13.21)	Y1	I	基部・基部欠損、刃部の一部残存
4627	不明	不明	磨製石斧	(85.0)	43.0	28.0	154.29	—	—	刃部欠損
4628	S I 25	北東ベルト1/4埋土上部	石錘	165.0	95.0	45.0	1,133.58	U2	I A	
4629	S I 60	埋土下部	石錘	59.0	60.0	15.0	75.43	V2	A	長軸の両端に打ち欠き
4630	不明	北側表探	石錘	47.0	49.0	12.0	39.24	V2	II A	
4631	S I 29	北東1/4埋土中位	磨石A	113.0	95.0	41.5	797.69	F	II	
4632	S I 30	北西1/4埋土下位	磨石A	93.5	73.0	30.0	400.14	F	II	
4633	S I 30	北西1/4埋土中位	磨石A	(75.0)	80.0	51.5	487.11	R	I	
4634	S I 31	北西1/4部埋土下部	磨石A	110.0	97.0	67.0	1,149.05	F	II	
4635	S I 31	北東1/4部埋土上～中位	磨石A	96.0	84.0	61.0	669.85	H1	I	
4636	S I 31	北東1/4部埋土上～中位	磨石A	(131.0)	67.0	39.0	453.02	U2	Aア	スリ幅10mm
4637	S I 32	P P 12埋土	磨石A	(45.0)	(72.0)	(44.0)	156.02	G1	II	
4638	S I 32	北壁際埋土	磨石A	(105.0)	(87.0)	40.5	594.94	F	II	
4639	S I 32	北壁際埋土	磨石A	92.0	78.0	45.0	542.92	F	II	

第32表 石器観察表 (31)

(数値) : 残存値

掲載 No	出土地点	層位	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石材	分類	備考
4640	S I 33	西側埋土2層	磨石A	87.0	74.0	64.0	618.61	F	I	
4641	S I 33	西側埋土2層	磨石A	(46.0)	(23.0)	(39.0)	49.23	F	—	破片
4642	S I 34	Aベルト10c層(床直埋土)	磨石A	78.0	62.0	49.0	366.56	F	I	
4643	S I 34	Aベルト1~9層	磨石A	(45.0)	(68.0)	(62.0)	231.13	F	—	破片
4644	S I 34	Bベルト2~6層埋土上位	磨石A	(72.0)	(37.0)	(64.0)	150.68	P1	—	破片
4645	S I 34	北西①埋土下位	磨石A	72.0	68.0	40.0	290.57	P1	II	
4646	S I 34	南西埋土中位	磨石A	58.0	55.0	41.0	199.60	F	II	
4647	S I 34	北西埋土上位	磨石A	117.0	91.0	59.0	852.27	P1	I	
4648	S I 34	北西埋土上位	磨石A	136.0	90.0	43.0	869.82	F	II	
4649	S I 35	S.No1(床上)	磨石A	106.0	93.0	56.0	923.48	F	II	
4650	S I 35	S.No2(床上)	磨石A	145.0	87.0	65.0	1,394.53	F	II	
4651	S I 35	ベルトA-A'4層	磨石A	82.0	55.0	32.0	221.16	R	I	
4652	S I 35	ベルトA-A'4層	磨石A	114.0	97.0	49.0	923.32	F	I	
4653	S I 35	南東埋土下位	磨石A	131.0	93.0	45.0	868.30	F	II	
4654	S I 35	南西埋土下位	磨石A	67.0	62.0	41.0	263.39	F	I	
4655	S I 35	南西埋土下位	磨石A	(78.0)	(79.0)	(75.0)	722.04	F	I	
4656	S I 35	北西埋土上位	磨石A	(94.0)	(66.0)	(41.0)	341.78	P1	I	
4657	S I 36	QNW埋土上部	磨石A	115.0	80.0	41.0	643.48	F	II	被熱痕有り
4658	S I 36	QSE埋土上部	磨石A	(57.0)	(54.0)	(56.0)	247.33	F	—	破片
4659	S I 37	南西埋土	磨石A	116.0	82.0	53.0	856.44	F	II	
4660	S I 37	南西埋土	磨石A	117.0	84.5	46.0	693.38	O	—	
4661	S I 38	7層	磨石A	(138.0)	106.0	70.0	1,463.15	P1	II 2A	被熱痕有り、スリ幅2cm
4662	S I 38	南西埋土	磨石A	(35.0)	(80.0)	(55.0)	161.93	F	—	破片
4663	S I 39	埋土	磨石A	51.0	47.0	32.0	112.19	P1	I	
4664	S I 40	埋土上部	磨石A	87.0	(87.0)	(70.0)	736.97	F	II	
4665	S I 40	埋土上部	磨石A	114.0	53.0	54.0	483.10	F	II 1	
4666	S I 42	貼床埋土	磨石A	132.0	96.0	62.0	1,287.70	F	II	
4667	S I 42	QSE埋土下部	磨石A	(60.0)	(47.0)	(40.0)	98.33	G1	—	破片
4668	S I 44	南東埋土1層	磨石A	134.0	98.0	55.0	1,103.08	P1	II	
4669	S I 44	南西埋土1層	磨石A	(74.0)	(106.0)	(59.0)	660.73	F	I	
4670	S I 44	南西埋土1層	磨石A	(78.0)	(60.0)	(50.0)	213.78	F	—	破片
4671	S I 44	南東埋土1層、礫群	磨石A	(65.0)	(40.0)	(43.0)	150.03	U2	—	破片
4672	S I 44	南東埋土1層、礫群	磨石A	(88.0)	67.0	66.0	531.23	F	I	
4673	S I 44	南東埋土、礫群	磨石A	116.0	80.0	54.0	737.81	P1	I A	被熱痕有り
4674	S I 46	埋土上位	磨石A	(56.0)	(66.0)	(49.0)	242.47	U2	II	
4675	S I 46	埋土上位	磨石A	(50.0)	(77.0)	(35.0)	178.91	F	II	
4676	S I 48	埋土(獣骨包含層)	磨石A	84.0	80.0	60.0	637.42	V2	I	
4677	S I 48	埋土(グリッドD地点)	磨石A	(95.0)	(105.0)	(66.0)	1,029.39	F	I	
4678	S I 48	埋土(グリッドD地点)	磨石A	(70.0)	(67.0)	(47.0)	353.98	F	II	
4679	S I 52	北東埋土床上	磨石A	150.0	89.0	60.0	1,335.54	F	II	
4680	S I 52	北西埋土5層(貼床)	磨石A	(149.5)	79.0	(51.0)	902.66	F	II	被熱痕有り
4681	S I 53	QNW埋土	磨石A	99.0	93.5	49.0	657.92	H1	II	
4682	S I 53	QSEE埋土	磨石A	105.5	97.0	60.0	933.72	P1	I	
4683	S I 55	埋土	磨石A	104.0	100.0	67.0	1,234.16	F	II	
4684	S I 55	埋土	磨石A	(81.0)	(34.0)	(423.0)	153.95	U2	—	破片
4685	S I 57	ベルト埋土	磨石A	89.5	72.0	35.0	389.50	F	II 1	
4686	S I 58	西埋土下位	磨石A	(97.0)	(74.0)	42.0	433.39	P1	II	
4687	S I 58	西埋土下位	磨石A	(82.0)	(41.0)	(77.0)	269.79	P1	—	破片
4688	S I 58	南埋土中位	磨石A	123.0	83.0	56.0	931.78	b	II A	
4689	S I 61	Cベルト14層	磨石A	106.0	69.0	39.0	488.72	F	II B 1	
4690	S I 61	Dベルト14層	磨石A	130.0	92.0	75.0	1,334.20	P1	I	
4691	S I 61	Dベルト14層	磨石A	(103.0)	88.0	39.0	578.34	F	II	
4692	S I 61	Dベルト9層	磨石A	114.0	74.0	69.0	966.39	F	II	
4693	S I 61	Aベルト1層	磨石A	89.0	78.0	44.0	432.07	H1	II	
4694	S I 61	③埋土中位	磨石A	95.0	80.0	52.0	645.99	F	I	
4695	S I 61	③埋土中位	磨石A	97.0	82.0	34.0	479.60	F	II	
4696	S I 61	南東埋土上~中位	磨石A	94.0	(90.0)	51.0	690.98	F	II	被熱痕有り
4697	S I 61	④埋土上~中位	磨石A	101.0	56.5	33.0	335.70	F	II	
4698	S I 61	②埋土上位	磨石A	74.0	56.0	44.0	249.76	P1	II	
4699	S I 61	北埋土上位	磨石A	77.0	58.0	40.0	299.23	F	I	
4700	S I 62	埋土中位	磨石A	108.0	80.0	56.0	798.94	F	II	
4701	S I 63	床面直上	磨石A	147.0	71.0	58.0	1,019.41	F	II	
4702	S I 63	貼床埋土	磨石A	(102.0)	75.0	52.0	493.06	P1	II	
4703	S I 63	QNE埋土	磨石A	(70.0)	(80.0)	45.0	346.66	F	II	
4704	S I 64	QSW埋土下部	磨石A	115.0	91.0	49.0	860.27	F	II	
4705	S I 64	QSW埋土下部	磨石A	111.0	90.0	76.0	1,023.20	F	II	
4706	S I 65	Nベルト3層	磨石A	(51.0)	(72.0)	(44.0)	231.78	O	I	
4707	S I 65	QSE埋土下部	磨石A	76.5	59.0	60.0	412.63	R	I	
4708	S I 66	9層埋土中~下位	磨石A	60.0	(76.0)	(48.0)	291.49	F	II	
4709	S I 66	9層埋土中~下位	磨石A	(52.0)	(33.0)	(47.0)	83.69	F	—	破片
4710	S I 66・95	Dベルト東側埋土中位	磨石A	105.0	92.0	60.0	811.67	P1	I	
4711	S I 67	床面直上	磨石A	110.0	89.0	80.0	1,224.44	F	I	
4712	S I 68	埋土1層(B-B'断面)	磨石A	76.0	68.0	36.0	290.78	F	II	
4713	S I 68	南側埋土下位	磨石A	(110.0)	(83.0)	(63.0)	871.40	F	II?	
4714	S I 71	S.No1埋土下位	磨石A	84.0	69.0	49.0	437.64	F	II	
4715	S I 71	北西埋土下位	磨石A	112.0	87.0	49.0	842.76	F	II A	スリ幅13mm
4716	S I 71	北東埋土上位	磨石A	134.0	89.0	55.0	1,137.83	F	II A	スリ幅16mm
4717	S I 71	北東埋土上位	磨石A	81.0	64.0	45.0	373.28	F	II	

第32表 石器観察表 (32)

(数値) : 残存値

掲載 No.	出土地点	層位	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石材	分類	備考
4718	S I 71	北西埋土上位	磨石A	144.0	141.0	55.0	1,819.17	R	I	
4719	S I 72	ベルトA-A' 7層	磨石A	110.0	99.0	50.0	897.69	E	II	
4720	S I 72	ベルトA-A' 7層	磨石A	(42.0)	(83.0)	(52.0)	244.58	E	II	
4721	S I 72	ベルトA-A' 5層	磨石A	(78.0)	(66.0)	(54.0)	309.33	P1	I	
4722	S I 72	ベルトA-A' 2層	磨石A	(35.0)	(89.0)	(54.0)	215.43	P1	I	
4723	S I 72	ベルトB-B' 1層	磨石A	75.0	71.0	53.0	442.04	E	I 1	
4724	S I 72	北東埋土下位	磨石A	97.0	80.0	44.0	497.80	P1	II	
4725	S I 72	北東埋土上位	磨石A	69.0	64.0	56.0	347.70	P1	I	
4726	S I 72	北東埋土上位	磨石A	92.0	79.0	52.0	533.72	P1	I	
4727	S I 72	北東埋土上位	磨石A	125.0	91.0	58.0	1,053.99	P1	I B	スリ幅20mm
4728	S I 72	北東埋土上位	磨石A	82.0	80.0	56.0	538.82	P1	I	
4729	S I 72	北東埋土上位	磨石A	77.0	60.0	37.0	263.59	E	II	
4730	S I 73	P P 2埋土2層	磨石A	119.0	81.0	51.0	787.81	E	II	
4731	S I 73	P P 2埋土1層	磨石A	(50.0)	(80.0)	(50.0)	232.70	E	II	
4732	S I 73	北西部埋土最下層	磨石A	68.0	62.0	57.0	333.53	H1	I	
4733	S I 73	東西アゼ埋土10層	磨石A	73.0	58.0	48.0	298.68	R	I	
4734	S I 73	東西アゼ埋土9層	磨石A	(47.0)	45.0	37.0	108.72	P1	II	
4735	S I 73	東西アゼ埋土8層	磨石A	88.0	50.0	27.0	184.89	R	I	
4736	S I 73	北東埋土	磨石A	140.0	97.0	68.0	1,463.59	P1	II	
4737	S I 74	貼床埋土	磨石A	103.0	80.0	42.0	588.72	E	II	
4738	S I 74	貼床埋土	磨石A	(118.0)	72.0	(71.0)	863.57	E	II?	
4739	S I 74	Q S E埋土中～下部	磨石A	(73.0)	(92.0)	(38.0)	323.48	G1	II	
4740	S I 74	Q S E埋土中～下部	磨石A	(39.0)	(40.0)	(23.0)	43.42	P1	—	破片
4741	S I 74	Q S E埋土上～中部	磨石A	106.0	80.0	36.0	528.42	H1	II	
4742	S I 74	Q S E埋土上～中部	磨石A	94.0	86.0	75.0	937.02	E	I	
4743	S I 74	Q S W埋土	磨石A	(65.0)	(60.0)	(43.0)	235.38	P1	I	
4744	S I 75	S.No 1、6層	磨石A	(110.0)	(100.0)	(74.0)	919.49	E	II	
4745	S I 75	S.No 2、5層	磨石A	105.0	94.0	54.0	843.69	E	II	被熱痕有り
4746	S I 75	3層	磨石A	116.0	98.0	54.0	879.47	E	II C	
4747	S I 75	2層	磨石A	93.0	75.0	52.0	531.85	P1	I 1	
4748	S I 75	北東埋土下位	磨石A	53.0	42.0	18.0	66.97	R	II	
4749	S I 75	北西埋土上位	磨石A	102.0	95.0	57.0	827.40	U2	I	
4750	S I 75	北西埋土上位	磨石A	(70.0)	(70.0)	(42.0)	256.64	Z2	II	
4751	S I 78	炉(南半部)埋土	磨石A	134.0	88.0	65.0	1,214.48	H1	II	
4752	S I 78	東西アゼ西側埋土10層	磨石A	(82.0)	(55.0)	51.0	325.49	P1	II	
4753	S I 78	北東側埋土下位	磨石A	(43.0)	(61.0)	(55.0)	159.94	R	I A	
4754	S I 78	Q S E埋土下部	磨石A	70.0	54.0	40.0	216.48	d2	I	
4755	S I 78	Q S E埋土下部	磨石A	121.0	97.0	82.0	1,384.96	P1	II B	
4756	S I 78	Q N E埋土上部	磨石A	(98.0)	(20.0)	(49.0)	140.41	F	—	破片
4757	S I 78	埋土上部	磨石A	72.0	68.0	41.0	294.50	R	I	
4758	S I 78	群葬 I	磨石A	73.5	70.0	51.5	387.70	H1	I 1	
4759	S I 80	床面直上	磨石A	74.0	58.0	50.5	340.26	I1	I	
4760	S I 80	Q S E埋土下部	磨石A	51.0	38.0	32.0	89.71	R	I	
4761	S I 80	Q S E埋土下部	磨石A	(63.0)	(76.0)	(62.0)	431.81	F	II	
4762	S I 80	Q S E埋土	磨石A	110.0	106.0	82.0	1,488.43	F	I	被熱痕有り
4763	S I 81	南東埋土上位	磨石A	94.0	63.5	36.0	349.86	F	II	
4764	S I 81	南東埋土上位	磨石A	86.0	81.0	65.0	713.40	F	I	
4765	S I 82	北東埋土上～中位	磨石A	(113.5)	(82.0)	52.5	753.34	P1	II 1	
4766	S I 82	北東埋土上～中位	磨石A	(35.0)	(77.0)	(35.0)	122.64	F	—	破片
4767	S I 82	②埋土上位	磨石A	114.5	106.5	67.0	1,350.13	F	II	被熱痕有り
4768	S I 82	②埋土上位	磨石A	113.0	87.0	73.0	1,140.32	F	II 1	
4769	S I 83	南東埋土下位	磨石A	99.0	62.0	41.0	389.69	P1	II A	
4770	S I 85	4層下位	磨石A	79.0	(53.0)	23.0	144.83	P1	II	
4771	S I 86	P P 5南半埋土	磨石A	165.0	87.0	(66.0)	1,546.80	F	II	
4772	S I 86	北西埋土下位	磨石A	(110.0)	69.5	50.0	664.80	F	II B	スリ幅25mm
4773	S I 86	南西埋土上位	磨石A	(40.0)	(38.0)	(37.0)	13.88	P1	—	破片
4774	S I 86	北東埋土上位	磨石A	(130.0)	(60.0)	50.0	631.66	P1	II	被熱痕有り
4775	S I 87	南西埋土下位	磨石A	(48.0)	(44.0)	(50.0)	161.31	F	—	破片
4776	S I 87	南西埋土下位	磨石A	(117.0)	70.0	67.0	678.89	U2	II	被熱痕有り
4777	S I 88	石囲炉埋土最下層	磨石A	116.5	96.0	59.0	1,098.15	F	II	
4779	S I 88	P P 4埋土	磨石A	133.0	72.0	67.0	1,012.06	F	I	
4780	S I 88	P P 8埋土	磨石A	84.5	77.0	50.0	524.62	F	II	
4781	S I 88	P P 13埋土	磨石A	98.0	86.0	64.0	793.34	H1	II 2	
4782	S I 88	Sベルト埋土13層	磨石A	127.0	(90.0)	85.0	1,299.49	P1	I 1	被熱痕有り
4783	S I 88	Sベルト10層	磨石A	106.0	98.0	61.0	947.01	F	II	
4784	S I 88	Sベルト7層	磨石A	128.0	77.0	34.0	596.93	F	II A	スリ幅10mm
4785	S I 88	Q N E埋土下部	磨石A	69.0	54.0	50.0	266.85	P1	I	
4786	S I 88	Q N W埋土下部	磨石A	(130.0)	(96.0)	81.0	1,419.55	F	II	被熱痕有り
4787	S I 88	Q S W埋土下部	磨石A	(104.0)	(76.0)	52.0	529.98	P1	II	
4788	S I 88	Q S W埋土下部	磨石A	111.0	84.0	49.0	776.57	F	II A	
4789	S I 88	Q S E埋土中部	磨石A	133.0	87.0	68.0	1,287.05	F	II	
4790	S I 88	Q N E埋土上部	磨石A	120.0	91.0	54.0	991.81	F	II	
4791	S I 88	Q S E埋土上部	磨石A	133.5	78.0	64.0	1,045.72	F	II	
4792	S I 88	Q S E埋土上部	磨石A	117.0	96.5	74.0	1,341.32	F	I	
4793	S I 88	礫集中部	磨石A	102.0	88.0	57.0	814.98	F	I	
4794	S I 91	埋土下部	磨石A	(65.0)	(56.0)	(13.0)	49.61	F	—	破片
4795	S I 92	P P 2埋土	磨石A	68.0	68.0	37.0	254.74	U2	II 2	
4796	S I 95	S 3床面	磨石A	104.0	78.0	43.0	592.73	F	II	

第32表 石器観察表 (33)

(数値) : 残存値

掲載 No.	出土地点	層位	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石材	分類	備考
4797	S I 99	北東側埋土上～下位	磨石A	(53.0)	(25.0)	(45.0)	70.51	F	—	破片
4798	S I 101	石囲炉埋土	磨石A	113.0	79.0	35.0	543.21	F	I 1	
4799	S I 101	床面直上	磨石A	117.0	100.0	63.0	1,209.87	F	II	
4800	S I 101	東埋土	磨石A	65.0	66.0	32.0	205.66	R	I	
4801	S I 101	南埋土	磨石A	124.0	98.0	70.0	1,307.53	P1	I 1	
4802	S I 102	南西部埋土中位	磨石A	49.0	41.0	33.5	91.16	Y1	I	
4803	S I 103	南側埋土最下層	磨石A	99.0	76.0	75.0	780.89	H1	I	
4804	S I 103	南側埋土下層炭層	磨石A	(126.0)	(83.0)	(73.0)	1,123.97	F	II 1	
4805	S I 103	北西側埋土	磨石A	92.0	83.5	44.0	493.62	P1	II B	スリ幅7mm
4806	S I 105	P P 2 南半埋土	磨石A	96.0	63.0	31.0	310.08	P1	I	
4807	S I 106	北東埋土	磨石A	(72.0)	(35.0)	(41.0)	109.28	F	—	破片
4808	S I 108	埋土	磨石A	88.0	80.0	55.0	613.79	F	I	
4809	S I 111	西側埋土下位	磨石A	92.0	70.0	57.0	614.66	F	II 1 A	スリ幅22mm
4810	S I 112	埋土11層 (土器No.5下)	磨石A	135.0	88.0	60.5	1,144.17	F	II	
4811	S I 112	北東埋土下位	磨石A	118.0	79.0	60.5	772.61	F	II 1 B	スリ幅20mm
4812	S I 112	北東埋土下位	磨石A	88.0	78.0	45.0	513.24	F	II	
4813	S I 113	床面直上	磨石A	72.5	58.0	34.0	234.15	F	II	
4814	S I 113	床面直上	磨石A	91.5	78.0	(63.0)	610.34	P1	I	
4815	S I 114	埋土	磨石A	93.0	62.0	46.0	436.92	F	II	
4816	S I 115	ベルトB-B' 12層	磨石A	119.0	91.0	(64.0)	1,146.78	F	II A	スリ幅20mm
4817	S I 115	ベルトB-B' 1層	磨石A	96.0	(72.0)	55.0	623.44	G1	II	
4818	S I 115	南西埋土下位	磨石A	(74.0)	93.0	(59.0)	568.46	P1	II	
4819	S I 115	南東埋土	磨石A	71.0	70.0	38.0	296.03	F	II	
4820	S I 115	南東埋土	磨石A	87.0	73.0	40.0	419.31	F	I	
4821	S I 116	北半埋土下位	磨石A	111.0	85.5	38.0	635.73	F	II B	スリ幅14mm
4822	S I 116	北半埋土下位	磨石A	102.0	82.0	40.0	552.34	F	II	被熱痕有り
4823	S I 116	北半埋土下位	磨石A	88.0	86.0	42.0	500.93	F	II A	スリ幅28mm
4824	S K I 12	ベルトA-A' 4層	磨石A	57.0	51.0	44.0	192.58	F	I	
4825	S K I 13ほか	ベルト1層	磨石A	122.0	85.0	29.5	511.87	C1	II	
4826	S K I 13ほか	ベルト1層	磨石A	117.0	101.0	38.0	702.44	P1	I	
4827	S K I 13ほか	ベルト1層	磨石A	(73.0)	(62.0)	63.5	449.11	P1	I 1	
4828	S K 132	南半埋土	磨石A	(63.0)	(36.0)	(61.0)	142.60	P1	—	破片
4829	S K 146	南半埋土1層	磨石A	(48.0)	(42.0)	(40.0)	99.47	F	—	破片、被熱痕有り
4830	S X 07	ベルトA-A' 1a層	磨石A	96.0	70.0	46.0	457.59	P1	I A	
4831	S X 07-1④	貝層下の黒褐色土	磨石A	79.0	69.0	31.0	248.15	H1	I	
4832	S X 07-3④	貝層下の黒褐色土	磨石A	72.0	65.5	32.0	250.59	F	II	
4833	S X 07-4②	貝層下の黒褐色土	磨石A	74.0	54.0	50.0	314.65	P1	I	
4834	S X 07-4②	貝層下の黒褐色土	磨石A	52.0	43.0	38.0	130.73	F	I	
4835	S X 07-4	貝層	磨石A	98.0	75.0	36.0	433.70	P1	I	
4836	S X 07-4	N S トレンチ	磨石A	(63.0)	(81.0)	37.5	318.94	H1	I	被熱痕有り
4837	S X 10	ベルトA-A' 4層	磨石A	(86.0)	(81.0)	(49.0)	151.49	P1	I	被熱痕有り
4838	S X 10	南東1/4貝層部	磨石A	(57.0)	(87.0)	(33.0)	138.28	P1	I ?	破片
4839	S X 11	南東側埋土	磨石A	(30.0)	(86.0)	(63.0)	408.65	P1	—	破片
4840	I C 5 j	II層	磨石A	114.0	85.0	50.5	825.50	F	II	
4841	I C 5 j	II層	磨石A	67.0	56.0	45.5	226.69	P1	II	
4842	II C 10 b c	II層検出面	磨石A	98.0	83.0	66.0	832.65	F	I	
4843	III B 9 c	II層	磨石A	(50.0)	(69.0)	(43.0)	175.65	P1	I ?	
4844	III C 8 d	II層検出面	磨石A	103.0	72.5	34.5	454.01	F	II	
4845	III C 8 d	II層検出面	磨石A	74.0	67.0	37.5	298.49	F	II	
4846	III C 9 b	II層	磨石A	117.0	78.0	40.0	601.95	F	II	
4847	III C 9 b	II層	磨石A	109.5	91.5	50.0	851.75	F	II	
4848	III C 9 d	II層	磨石A	(67.0)	(33.0)	(43.0)	114.41	F	—	破片
4849	III C 9 e	II層	磨石A	132.0	83.5	54.0	1,003.59	F	II A	スリ幅20mm
4850	III C 9 f	II層	磨石A	138.0	95.0	52.5	1,065.71	P1	II A	スリ幅15mm
4851	III C 9 f	II層	磨石A	(57.0)	(28.0)	(61.0)	110.24	P1	—	破片
4852	III C 9 j	II層	磨石A	146.0	105.0	53.0	1,396.60	F	II	
4853	III C 10 d	II層	磨石A	91.0	74.0	68.0	720.37	F	I B	
4854	III C 10 d	II層	磨石A	91.0	77.0	40.0	467.53	F	II	
4855	III C 10 f	II層	磨石A	(96.0)	(66.0)	(55.0)	420.17	R	II	
4856	III C 10 h	II層	磨石A	74.0	67.0	37.0	302.12	F	II	
4857	III C 10 h	II層	磨石A	(35.0)	(20.0)	(47.0)	37.33	F	—	破片
4858	III C 10 h	II層	磨石A	60.0	59.0	42.5	167.07	P1	I	
4859	III C 10 h	II層	磨石A	(41.0)	(42.0)	(37.5)	160.90	R	—	破片、被熱痕有り
4860	III C 10 h	II層	磨石A	36.5	32.0	21.5	37.72	R	I	
4861	III C 10 j	II～III層	磨石A	90.0	85.0	61.5	666.11	P1	II A	スリ幅25mm
4862	III D 10 a	II層	磨石A	66.0	68.0	58.5	394.77	I1	I	
4863	III D 10 a・10 b	II層	磨石A	(73.0)	77.0	53.0	403.55	F	I ?	
4864	III D 10 a・10 b	II層	磨石A	88.5	62.5	52.0	476.95	C1	I	
4865	III D 10 b	II層	磨石A	106.5	65.0	47.5	519.81	R	II B	
4866	III D 10 b	II層	磨石A	83.5	47.5	43.0	281.90	F	I A	
4867	IV B 1 g	II層検出面	磨石A	(76.0)	(80.0)	(44.0)	370.29	F	II	
4868	IV B 1 i	II層	磨石A	84.5	72.0	58.0	554.11	F	I	
4869	IV B 2 i	II層	磨石A	37.0	31.0	30.0	444.48	R	II	
4870	IV B 5 j	II層	磨石A	51.5	53.0	34.0	144.56	P1	I	
4871	IV C 1 c	II層検出面	磨石A	91.0	85.0	44.0	605.61	F	II	
4872	IV C 1 f	I～II層	磨石A	114.0	75.0	(43.5)	517.48	R	II	
4873	IV C 1 j	II層	磨石A	(115.0)	100.0	75.0	1,235.94	F	II	
4874	IV C 2 c	II層検出面	磨石A	(93.0)	(75.0)	(67.0)	538.06	U2	II	



第32表 石器観察表 (34)

(数値) : 残存値

掲載 No.	出土地点	層位	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石材	分類	備考
4875	IVC 2 d	II層	磨石A	173.0	91.5	58.0	1,650.28	F	II	
4876	IVC 2 d	II層検出面	磨石A	102.0	78.5	47.0	648.17	F	II 1	
4877	IVC 2 e	II層	磨石A	(63.0)	(100.0)	(74.0)	586.79	F	II	
4878	IVC 2 f	I~II層	磨石A	99.0	76.0	53.0	658.83	F	II A	スリ幅20mm
4879	IVC 2 j	II層	磨石A	69.0	65.0	26.0	179.52	P1	I	
4880	IVC 3 b	II層	磨石A	(97.0)	(110.0)	(50.0)	714.44	F	II	
4881	IVC 3 b	II層	磨石A	107.0	85.5	60.0	891.60	F	I	
4882	IVC 3 c	II層	磨石A	83.5	56.0	29.5	206.44	R	II A	
4883	IVC 3 f	II層	磨石A	(46.0)	(90.0)	(51.0)	209.96	P1	—	破片
4884	IVC 3 j	II層	磨石A	62.5	54.5	46.0	239.28	F	I	
4885	IVC 3 j	II層	磨石A	(98.0)	(42.0)	(54.0)	242.95	F	II	
4886	IVC 3 j	II層	磨石A	101.0	87.0	35.5	532.46	F	II	
4887	IVC 3 j	II層	磨石A	(58.0)	(30.0)	(52.0)	101.50	F	—	破片
4888	IVC 3 j	II層	磨石A	80.0	59.0	43.0	330.42	F	II	
4889	IVC 3一	II層	磨石A	73.0	52.0	28.0	151.49	H1	I	
4890	IVC 4 f	II層	磨石A	41.0	40.0	30.0	68.04	R	I	
4891	IVC 4 h	II層	磨石A	94.5	89.0	27.0	309.89	R	II	
4892	IVC 4 h	II層	磨石A	66.0	63.0	44.0	288.13	F	II	
4893	IVC 4 i	II層	磨石A	89.0	72.0	32.0	338.62	F	II	
4894	IVC 4 i	II層	磨石A	105.0	73.0	45.0	556.16	F	II 1	
4895	IVC 4 i	II層	磨石A	102.0	89.0	43.0	636.43	F	II	
4896	IVC 4 i	II層	磨石A	113.0	89.0	40.0	722.36	F	II	
4897	IVC 4 i	II層	磨石A	(50.0)	(85.0)	(55.0)	334.77	F	II	
4898	IVC 4 i	II層	磨石A	(45.0)	(23.0)	(40.0)	50.01	F	—	破片
4899	IVC 4 i	II層上位	磨石A	74.0	68.0	53.0	421.58	F	I	
4900	IVC 4 j	II層	磨石A	75.0	73.0	45.0	399.32	F	II	
4901	IVC 5 a	II層	磨石A	(76.0)	58.0	41.0	288.06	P1	I	
4902	IVC 5 a	II層	磨石A	(75.0)	(96.0)	(50.0)	340.59	F	II	被熱痕有り
4903	IVC 5 a	II層	磨石A	84.0	54.0	34.0	246.93	P1	II	
4904	IVC 5 a	II層	磨石A	100.0	62.0	39.0	366.54	P1	I	
4905	IVC 5 c	II層	磨石A	(94.0)	(78.0)	(46.0)	592.34	P1	III	被熱痕有り
4906	IVC 5 f	II層	磨石A	101.0	74.0	59.0	629.12	H1	I	
4907	IVC 5 i	II層	磨石A	(108.5)	82.0	51.0	731.13	F	II	
4908	IVC 5 i	II層	磨石A	94.0	90.0	41.0	554.06	P1	II	
4909	IVC 5 i	II層	磨石A	95.0	84.0	41.0	552.89	F	II	
4910	IVC 5 i	II層上位	磨石A	(72.0)	(64.0)	36.0	227.67	P1	II	
4911	IVC 5 i	II層上位	磨石A	67.0	60.0	55.0	335.64	F	I	
4912	IVC 5 j	II層	磨石A	119.0	79.0	44.0	691.67	F	II	
4913	IVC 6 b	南側落ち込み下層	磨石A	86.0	(61.0)	33.5	304.68	F	II	
4914	IVC 6 b	南側落ち込み下層	磨石A	96.0	88.0	42.0	531.42	H1	II	
4915	IVC 6 b	南側落ち込み下層	磨石A	84.0	(71.0)	62.5	512.81	H1	II	
4916	IVC 6 b	南側落ち込み下層	磨石A	(70.0)	(62.0)	(42.0)	177.69	P1	—	破片
4917	IVC 6 c	II層	磨石A	78.0	50.0	33.0	180.31	H1	I	
4918	IVC 6 c	II層	磨石A	(75.0)	(93.0)	(36.0)	334.59	d2	II	
4919	IVC 6 e	II層	磨石A	85.0	56.0	44.0	332.37	F	II B	
4920	IVC 6 e	II層	磨石A	(62.0)	(78.0)	(26.0)	101.91	P1	—	破片
4921	IVC 6 e	II層	磨石A	99.0	75.0	38.0	484.27	F	II	
4922	IVC 6 f	II層	磨石A	89.0	80.0	47.0	483.81	P1	I	
4923	IVC 6 f	II層	磨石A	(69.0)	(79.0)	(68.0)	449.73	G1	II?	
4924	IVC 6 g	II層	磨石A	110.0	87.0	70.0	967.51	P1	I A	スリ幅19mm
4925	IVC 6 g	II層	磨石A	104.0	78.0	46.0	605.32	F	II	
4926	IVC 6 h	II層	磨石A	(50.0)	(15.5)	(98.0)	793.45	P1	I?	
4927	IVC 7 d	II層	磨石A	94.0	82.0	38.0	470.27	F	II	
4928	IVD 1 a	II層	磨石A	(45.0)	(100.0)	(45.0)	174.96	P1	—	破片
4929	IVD 1・2 b	II~III層	磨石A	76.0	65.0	52.0	398.57	F	I	
4930	IVD 1・2 b	II~III層	磨石A	64.0	59.0	(46.0)	210.19	H1	II	
4931	IVD 2・3 a	II~III層	磨石A	101.5	70.0	40.0	425.75	R	II A	スリ幅10mm
4932	IVD 2・3 a	II~III層	磨石A	(99.0)	(82.0)	47.0	572.97	P1	II	
4933	IVD 2・3 a	II~III層	磨石A	(55.0)	(45.0)	(53.0)	181.19	P1	—	破片
4934	IVD 2・3 a	II~III層	磨石A	69.0	60.0	43.0	265.16	P1	II	
4935	IVD 3 a	II層中位	磨石A	(80.0)	(94.0)	(50.0)	409.39	P1	I?	
4936	IVD 3 a	II層	磨石A	102.0	88.0	57.0	846.98	F	I B	スリ幅20mm
4937	T1014	黒褐色土層	磨石A	155.0	137.5	45.0	1,705.06	U2	II	
4938	T1014	黒褐色土層	磨石A	114.0	79.5	74.0	1,058.41	F	I	
4939	T1032	II層	磨石A	(45.0)	(65.0)	(50.0)	188.08	F	II A	
4940	T1034	南側落ち込みII層	磨石A	(100.0)	(70.0)	(43.0)	524.47	F	II B	スリ幅25mm
4941	不明	不明	磨石A	130.0	84.5	45.0	747.71	H1	II A	スリ幅12mm
4942	S I 01	床面	磨石B	127.0	82.0	53.0	867.34	P1	II B	スリ幅15mm
4943	S I 03	北東埋土下位	磨石B	123.0	69.0	45.0	608.94	b	II A	スリ幅15mm
4944	S I 03	北西埋土下位	磨石B	84.0	54.0	26.0	205.21	d2	II d	スリ幅15mm
4945	S I 06	南東埋土上~中位	磨石B	114.0	102.0	60.0	1,181.24	F	I A	
4946	S I 10	南東床~II層	磨石B	151.0	72.0	40.0	653.91	G1	II A	スリ幅20mm
4947	S I 11	埋土	磨石B	(90.0)	108.0	58.0	(776.60)	R	II	
4948	S I 11	埋土	磨石B	95.0	69.0	48.5	491.32	M	II	
4949	S I 12	ベルトB-B' 1層	磨石B	64.5	59.0	46.0	249.53	P1	I	
4950	S I 12	北東埋土上~中位	磨石B	(47.0)	(101.0)	(70.0)	(194.02)	D3	—	破片
4951	S I 13	S.No 1 (床面)	磨石B	(60.0)	(145.0)	(110.0)	(1,226.99)	P1	III?	被熱痕有り
4952	S I 13	北東1/4埋土下位黒褐色土	磨石B	112.0	71.0	57.0	722.82	F	II	

第32表 石器観察表 (35)

(数値) : 残存値

掲載 No.	出土地点	層位	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石材	分類	備考
4953	S I 13	南東1/4埋土中位暗褐色土	磨石B	(58.0)	(46.0)	(27.0)	(69.19)	M	—	破片
4954	S I 13	南東1/4埋土中位暗褐色土	磨石B	105.0	98.0	(60.0)	(818.02)	P1	I?	被熱痕有り
4955	S I 13	南東1/4埋土中位暗褐色土	磨石B	(100.0)	(92.0)	(78.0)	(958.78)	F	I	—
4956	S I 13	南東1/4埋土中位暗褐色土	磨石B	110.0	93.0	60.0	1,019.79	F	I A	スリ幅20mm
4957	S I 13	北西1/4埋土中位暗褐色土	磨石B	(23.0)	(82.0)	(57.0)	(119.42)	P1	—	破片
4958	S I 13	南東1/4埋土中位暗褐色土	磨石B	116.0	108.0	65.0	1,179.95	P1	I	片面に被熱痕有り
4959	S I 13	南西埋土中位暗褐色土	磨石B	120.0	110.0	73.0	1,545.98	J	I	被熱痕有り
4960	S I 13	北東埋土中位	磨石B	37.0	36.0	33.0	60.81	P1	I A	—
4961	S I 14	北西1/4埋土中位	磨石B	78.0	56.0	46.0	312.09	F	I	—
4962	S I 15	ベルトB-B' 2層	磨石B	(53.0)	(75.0)	58.0	(318.23)	P1	II	—
4963	S I 15	南西1/4埋土中位	磨石B	119.0	95.0	78.0	1,455.33	F	I	—
4964	S I 18	③東西ベルト9層	磨石B	82.0	59.0	50.0	392.46	F	I	—
4965	S I 18	②ベルト5層	磨石B	139.0	55.0	66.0	714.32	M	A Aア	スリ幅23mm
4966	S I 18	②ベルト2層	磨石B	153.0	49.0	55.0	586.39	E	Aア	スリ幅20mm
4967	S I 18	南東埋土中～下位	磨石B	(132.0)	56.0	55.0	(600.08)	II	cア	スリ幅20mm
4968	S I 18	南西埋土中～下位	磨石B	80.0	47.0	41.0	242.12	P1	I	—
4969	S I 18	南西埋土中～下位	磨石B	101.0	74.0	41.0	508.76	P1	II	—
4970	S I 18	③埋土上位	磨石B	110.0	90.0	50.0	805.92	F	II	—
4971	S I 18	③埋土上位	磨石B	152.0	58.0	75.0	1,053.02	P1	B Aア	スリ幅35mm
4972	S I 18	③埋土上位	磨石B	136.0	58.0	73.0	983.08	U1	Aア	スリ幅2mm
4973	S I 18	④ベルト	磨石B	(100.0)	52.0	78.0	(476.25)	U1	Aア	スリ幅12mm
4974	S I 18	③埋土	磨石B	74.5	52.0	40.0	243.35	P1	I	—
4975	S I 19	埋土	磨石B	83.0	46.0	51.0	241.10	U2	cア	スリ幅12mm
4976	S I 20	ベルトA-A' 4層	磨石B	96.0	95.0	65.0	181.60	F	III	—
4977	S I 21	カマド崩落土中	磨石B	80.0	56.0	44.0	294.47	P1	I	—
4978	S I 21	床面付近埋土中	磨石B	(87.0)	(77.0)	(28.0)	(263.99)	H1	II	—
4979	S I 21	床面付近埋土中	磨石B	160.0	72.0	42.0	692.94	H1	Aア	スリ幅15mm
4980	S I 25	北東ベルト1/4埋土下部	磨石B	(67.0)	(90.0)	(48.0)	(379.65)	F	II	—
4981	S I 25	南西ベルト1/4埋土下部	磨石B	(135.0)	(68.0)	(18.0)	(224.61)	d1	—	破片
4982	S I 25	北東ベルト1/4埋土上部	磨石B	140.0	(80.0)	60.0	(751.13)	P1	I	—
4983	S I 25	北東ベルト1/4埋土上部	磨石B	(13.0)	64.0	(36.0)	(33.29)	P1	—	破片
4984	S I 25	埋土上部	磨石B	(230.0)	(57.0)	(41.0)	(70.52)	F	—	破片
4985	S I 25	北西ベルト1/4埋土上部	磨石B	111.0	65.0	33.0	437.41	F	A	スリ幅15mm
4986	S I 31	Eベルト3層礫	磨石B	(50.0)	(59.0)	(36.0)	104.24	U2	Aア	スリ幅9mm
4987	S I 31	北東1/4部埋土下部	磨石B	(140.0)	82.0	46.0	809.89	G1	Bエ	スリ幅11mm
4988	S I 31	南東1/4部埋土上～中位	磨石B	150.5	52.0	54.0	627.38	O	Aア	スリ幅17mm
4989	S I 31	北東1/4部	磨石B	(39.0)	(41.0)	(20.0)	45.65	P1	II	—
4990	S I 32	P P 12埋土	磨石B	170.0	72.0	57.0	1,064.97	P1	II A	スリ幅22mm
4991	S I 32	P P 12埋土	磨石B	130.0	75.0	58.0	482.02	O	Aア	スリ幅7mm
4992	S I 32	北壁際埋土	磨石B	185.0	79.5	83.0	1,296.50	R	Aア	スリ幅14mm
4993	S I 32	北壁際埋土	磨石B	180.0	100.0	88.0	1,521.17	P1	Bア	スリ幅10mm
4994	S I 32	北壁際埋土	磨石B	(125.0)	65.0	67.0	657.70	P1	Bア	スリ幅22mm
4995	S I 32	北壁際埋土	磨石B	(128.0)	68.0	54.0	768.85	F	Aア	スリ幅30mm
4996	S I 34	北西②埋土下位	磨石B	(118.0)	78.0	67.0	1,041.93	F	Bあ	スリ幅44mm
4997	S I 35	南東埋土下位	磨石B	103.0	59.0	45.0	462.61	F	Aあ	スリ幅16mm
4998	S I 43	炉下	磨石B	(91.0)	77.0	34.0	377.94	U2	Aエ	スリ幅19mm
4999	S I 43	炉下	磨石B	(96.0)	74.0	36.0	374.04	A	Aエ	スリ幅15mm
5000	S I 43	QNE埋土	磨石B	143.0	72.0	54.0	969.87	F	Bあ	スリ幅31mm
5001	S I 44	南東埋土礫群	磨石B	180.0	93.0	80.0	1,894.52	F	A A	スリ幅18mm
5002	S I 46	埋土上位	磨石B	121.0	54.0	43.0	470.19	G1	Aア	スリ幅15mm
5003	S I 49	埋土下位	磨石B	123.0	73.0	60.0	777.67	F	Aア	スリ幅14mm
5004	S I 51	床面直上	磨石B	(102.0)	53.0	51.0	431.11	O	Bア	スリ幅10mm
5005	S I 52	ベルトA-A' 1層	磨石B	(97.0)	62.0	50.0	533.00	G1	Bア	スリ幅22mm
5006	S I 53	QSEEベルト埋土	磨石B	146.0	71.0	41.0	428.38	d2	Aア	スリ幅8mm
5007	S I 57	周溝埋土	磨石B	143.0	46.0	40.0	415.93	G1	Aア	スリ幅8mm
5008	S I 57	ベルト埋土	磨石B	185.0	107.0	(84.0)	1,780.23	U2	Aア	スリ幅25mm
5009	S I 58	埋土下位	磨石B	(56.0)	(47.0)	(42.0)	91.86	U2	Bア	スリ幅7mm
5010	S I 58	南埋土中～下位	磨石B	180.0	70.0	40.0	755.02	U2	2Bア	スリ幅20mm
5011	S I 58	南埋土中位	磨石B	(122.0)	48.0	40.0	498.56	G1	Bア	スリ幅22mm
5012	S I 58	埋土上位	磨石B	127.0	56.0	43.0	439.03	G1	Aア	スリ幅9mm
5013	S I 61	Cベルト7層	磨石B	(90.0)	59.0	50.0	377.70	G1	Bあ	スリ幅25mm
5014	S I 62	埋土一括	磨石B	(66.0)	58.0	45.0	285.65	U2	1Aア	スリ幅23mm
5015	S I 64	QSW埋土下部	磨石B	160.0	105.0	80.0	2,084.86	G1	Bア	スリ幅39mm
5016	S I 66	埋土下位	磨石B	(112.0)	59.0	48.0	472.03	G1	Aア	スリ幅19mm
5017	S I 66・95	Cベルト北側埋土中位	磨石B	165.0	71.0	42.0	726.06	G1	A Bエ	スリ幅20mm
5018	S I 66・95	Dベルト東側埋土中位	磨石B	(134.0)	67.0	34.0	475.73	d2	1Aエ	スリ幅11mm
5019	S I 66・95	Dベルト東側埋土中位	磨石B	(62.0)	(55.0)	50.0	214.66	F	Aア	スリ幅20mm
5020	S I 68	埋土1層	磨石B	130.0	72.0	60.0	996.89	F	II Aア	スリ幅20mm
5021	S I 71	P P 6北半埋土1層	磨石B	143.5	75.0	55.0	1,078.30	F	Bあ	スリ幅25mm
5022	S I 71	ベルトA-A' 6層	磨石B	98.0	47.0	33.0	230.34	F	Aア	スリ幅8mm
5023	S I 72	南西埋土上位	磨石B	(215.0)	(117.0)	82.0	2,723.20	G1	3Aア	スリ幅15mm
5024	S I 72	北東埋土上位	磨石B	(143.0)	48.0	57.0	505.04	U2	Aア	スリ幅5mm
5025	S I 74	貼床埋土	磨石B	125.0	69.0	72.0	969.78	O	Bイ	スリ幅15mm
5026	S I 74	貼床埋土	磨石B	(123.0)	(70.0)	52.0	597.90	P1	Aア	スリ幅15mm
5027	S I 74	貼床埋土	磨石B	(99.0)	(67.0)	(47.0)	362.76	F	Aア	スリ幅10mm
5028	S I 74	貼床埋土	磨石B	(77.0)	(53.0)	(35.0)	200.01	G1	A A	スリ幅15mm
5029	S I 74	QSE埋土上～中部	磨石B	155.0	90.0	43.0	914.62	Q	Aエ	スリ幅20mm
5030	S I 74	QSW埋土上～中部	磨石B	(70.0)	(66.0)	(50.0)	218.29	G1	Aア	スリ幅25mm

第32表 石器観察表 (36)

(数値) : 残存値

掲載 No.	出土地点	層位	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石材	分類	備考
5031	S I 74	QNW埋土	磨石B	(125.0)	(61.0)	(50.0)	489.72	O	Aア	スリ幅20mm
5032	S I 78	南半部埋土最下層	磨石B	(65.0)	(50.0)	(42.0)	154.46	G1	Aア	スリ幅14mm
5033	S I 78	12層 (南北断面北側)	磨石B	(101.0)	63.0	63.0	546.16	F	Aア	スリ幅17mm
5034	S I 78	QNW埋土中～下部	磨石B	148.0	77.0	44.0	760.59	U2	Aア	スリ幅10mm
5035	S I 78	QNW埋土中～下部	磨石B	(79.0)	(55.0)	(50.0)	283.19	U2	2Aア	スリ幅17mm
5036	S I 78	礫群1	磨石B	(180.0)	110.0	77.0	2019.06	G1	Aア	スリ幅10mm
5037	S I 80	NSベルト7層	磨石B	(90.0)	(83.0)	(37.0)	476.11	F	Aエ	スリ幅?
5038	S I 80	QSE埋土	磨石B	(145.0)	82.0	59.0	1,186.90	P1	Bあ	スリ幅40mm
5039	S I 82	炉内埋土	磨石B	(123.0)	79.0	45.0	736.12	P1	Bあ	スリ幅25mm
5040	S I 82	北東埋土中位	磨石B	(148.0)	(79.0)	(75.0)	1,097.31	F	cア	スリ幅19mm
5041	S I 82	北東埋土中位	磨石B	116.0	78.0	61.0	912.80	F	Bバあ	スリ幅40mm
5042	S I 84	埋土上～中位	磨石B	(85.0)	72.0	25.0	244.38	D1	Aエ	スリ幅18mm
5043	S I 86	S.No1ベルトA-A' 4層	磨石B	130.0	88.0	61.0	1,125.67	F	Bあ	スリ幅20mm
5044	S I 86	ベルトA-A' 2層	磨石B	(108.0)	(77.0)	58.0	763.81	F	Bあ	スリ幅35mm
5045	S I 86	北東埋土上位	磨石B	(100.0)	(79.0)	64.0	733.27	F	Aあ	スリ幅30mm
5046	S I 86	北東埋土上位	磨石B	151.0	75.0	68.0	1,273.61	P1	Aあ	スリ幅50mm
5047	S I 87	北東埋土下位	磨石B	205.0	61.0	55.0	1,057.30	G1	B	スリ幅15mm
5048	S I 88	PP3埋土	磨石B	127.0	77.0	59.0	914.29	D1	IIバあ	スリ幅30mm
5049	S I 88	WEベルト15層	磨石B	(61.0)	(71.0)	(42.0)	267.41	F	Aア	スリ幅17mm 被熱痕有り
5050	S I 88	Sベルト埋土13層	磨石B	(71.0)	100.0	40.0	411.80	U4	Aア	スリ幅8mm
5051	S I 88	Sベルト6層	磨石B	(125.0)	(70.0)	(47.0)	482.33	G1	Aア	スリ幅13mm
5052	S I 88	Sベルト埋土1層	磨石B	(120.0)	(74.0)	60.5	944.06	F	Aバあ	スリ幅50mm
5053	S I 88	QNE埋土下部	磨石B	128.0	69.0	61.0	873.26	P1	Aあ	スリ幅40mm
5054	S I 88	QNE埋土下部	磨石B	138.0	69.0	52.0	946.18	F	1Bあ	スリ幅30mm
5055	S I 88	QSW埋土下部	磨石B	(110.0)	80.0	64.0	718.87	T1	Aア	スリ幅30mm
5056	S I 88	QNE埋土上部	磨石B	146.0	61.0	37.0	639.09	G1	A1Aあ	スリ幅29mm
5057	S I 88	礫集中部	磨石B	138.0	(72.0)	(59.0)	952.92	F	IIバあ	スリ幅33mm
5058	S I 88	礫集中部	磨石B	135.0	91.0	67.0	1,436.72	F	IIバあ	スリ幅30mm
5059	S I 91	埋土	磨石B	(90.0)	(80.0)	(73.0)	524.54	Q	Aア	スリ幅6mm
5060	S I 91	埋土	磨石B	(95.0)	(67.0)	(75.0)	498.84	P1	Aア	スリ幅32mm
5061	S I 91	埋土	磨石B	(63.0)	(62.0)	(68.0)	162.73	d2	Aア	スリ幅8mm
5062	S I 92	PP2埋土	磨石B	(125.0)	(80.0)	(68.0)	1,019.33	F	Aア	スリ幅33mm
5063	S I 92	QSW埋土	磨石B	131.0	62.0	40.0	478.81	O	Aア	スリ幅33mm
5064	S I 95	床面S2	磨石B	149.0	96.0	40.0	979.87	F	Bエ	スリ幅18mm
5065	S I 95	埋土中～下位	磨石B	(98.0)	(84.0)	34.0	486.98	F	AAエ	スリ幅17mm
5066	S I 95	埋土中位	磨石B	(78.0)	69.0	36.0	291.57	U2	Aア	スリ幅5mm
5067	S I 97	床面直上	磨石B	143.0	60.9	43.0	636.79	F	1Aあ	スリ幅20mm
5068	S I 101	床面直上	磨石B	113.0	90.0	63.0	1,030.82	P1	IIバ	スリ幅32mm
5069	S I 101	西埋土	磨石B	95.0	80.0	56.0	636.39	Q	Bイ	スリ幅38mm
5070	S I 102	南東側埋土下位	磨石B	(57.0)	(58.0)	(55.0)	227.53	P1	Aあ	スリ幅32mm
5071	S I 102	南東側埋土下位	磨石B	153.0	76.0	58.0	827.50	U3	Aア	スリ幅12mm
5072	S I 104	石囲炉掘方埋土 (北西側)	磨石B	(52.0)	(25.0)	(43.0)	73.94	F	A	破片
5073	S I 106	北東埋土	磨石B	(133.0)	62.0	64.0	816.23	F	Bア	スリ幅13mm
5074	S I 113	床面	磨石B	112.0	86.0	79.0	1,040.40	Q	Bア	スリ幅20mm
5075	S I 113	床面直上	磨石B	111.0	70.0	47.0	599.73	F	II1A エ	スリ幅35mm
5076	S I 113	床面直上	磨石B	173.0	140.0	117.0	246.23	R	Aア	スリ幅12mm
5077	S I 113	床面直上	磨石B	(128.0)	59.0	57.0	539.10	G1	Aバア	スリ幅12mm
5078	S I 115	PP19南半埋土	磨石B	(93.0)	(87.0)	(50.0)	604.13	P1	IIバ	スリ幅20mm
5079	S I 115	ベルトB-B'層	磨石B	111.0	80.0	46.0	686.36	G1	IIIバ	スリ幅20mm
5080	S I 115	南西埋土下位	磨石B	(125.0)	(55.0)	(51.0)	384.16	U2	AAア	スリ幅23mm
5081	S I 115	南西埋土下位	磨石B	116.0	67.0	50.0	741.57	F	B	スリ幅36mm
5082	S I 115	南西埋土	磨石B	(100.0)	75.0	69.0	608.29	P1	Aア	スリ幅9mm
5083	SK I 02	埋土	磨石B	(42.0)	(66.0)	23.0	(107.68)	F	—	破片
5084	SK I 09	Nベルト埋土	磨石B	101.0	42.0	26.0	184.12	U2	AAあ	スリ幅13mm
5085	SK I 13ほか	ベルト4層	磨石B	175.0	57.0	38.0	429.54	G1	Aア	スリ幅7mm
5086	SK 04	埋土	磨石B	115.0	64.0	38.0	517.53	F	B	スリ幅15mm
5087	SK 05	2次7層	磨石B	(95.0)	80.0	25.0	(195.17)	d1	A	破片、一側縁打ち欠き
5088	SK 05	第1次精査	磨石B	163.0	67.0	50.0	716.89	M	Bア	スリ幅15mm
5089	SK 12	検出段階の出土	磨石B	(44.0)	(64.0)	(50.0)	(168.84)	M	II	
5090	SK 13	2次1層	磨石B	87.0	83.0	64.0	740.37	F	I	
5091	SK 27	東半埋土8層	磨石B	(55.0)	(60.0)	76.0	(462.25)	F	II	
5092	SK 29	埋土4層	磨石B	58.0	52.0	47.0	193.05	R	II	
5093	SK 29	西半埋土上～中位	磨石B	123.0	76.0	54.0	773.05	P1	II	
5094	SK 30	西半埋土	磨石B	63.0	57.0	39.0	287.77	F	II	
5095	SK 32	東半埋土下位	磨石B	(97.0)	68.0	43.0	(530.41)	F	Bア	スリ幅22mm
5096	SK 35	床直上	磨石B	100.0	86.5	45.0	638.15	II	II	
5097	SK 35	埋土中～下位	磨石B	128.0	83.0	74.0	1,257.16	F	I	
5098	SK 36	埋土	磨石B	97.0	82.0	47.0	598.86	F	I	
5099	SK 38	埋土	磨石B	(68.0)	69.0	56.0	(435.81)	F	Bア	スリ幅30mm
5100	SK 39	西半埋土下位	磨石B	120.0	80.0	52.0	788.72	F	IIバ	スリ幅20mm
5101	SK 51	埋土	磨石B	102.0	78.0	45.0	542.39	R	IIバ	スリ幅20mm
5102	SK 55	埋土西半	磨石B	110.0	90.0	79.0	1,097.25	F	I	被熱痕有り
5103	SK 64	埋土	磨石B	100.0	96.0	43.0	711.84	F	II	
5104	SK 64	埋土3～4層	磨石B	86.0	69.0	34.0	345.46	F	II	
5105	SK 71	南半埋土8層	磨石B	100.0	87.0	49.0	703.84	J	II C	
5106	SK 71	東半埋土6層	磨石B	(92.0)	87.0	73.0	(702.68)	P1	II	
5107	SK 72	埋土	磨石B	110.0	79.0	58.0	804.44	F	II	

第32表 石器観察表 (37)

(数値): 残存値

掲載 No.	出土地点	層位	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石材	分類	備考
5108	S K91	埋土1層	磨石B	123.0	77.0	37.0	589.38	O	Aア	スリ幅18mm
5109	S K144	埋土1層	磨石B	(105.0)	70.0	47.0	580.72	O	Aア	スリ幅10mm
5110	S K147	埋土	磨石B	123.0	84.0	42.0	807.32	F	II B	スリ幅23mm
5111	S X07-1⑥	貝層下の黒褐色土層	磨石B	134.5	88.0	71.0	1,343.12	C1	Aあ	スリ幅30mm
5112	S X07-2②	IV B 3 j	磨石B	(110.0)	(110.0)	(62.0)	1,144.79	F	A?	スリ幅27mm、破片
5113	廃滓場	廃滓場、旧表土除去中	磨石B	111.0	97.0	80.0	1,267.96	P1	I	被熱痕有り
5114	II B 1 j	不明	磨石B	137.0	55.0	55.0	679.20	P1	Bア	スリ幅30mm
5115	II B 10 j	包含層下位	磨石B	115.0	69.0	40.0	495.92	G1	Aア	スリ幅25mm
5116	II C 5 c	II層	磨石B	81.0	46.0	34.0	187.97	R	I	
5117	II C 5 c d	II層	磨石B	(88.0)	(70.0)	25.0	(191.17)	U2	Aア	スリ幅7mm
5118	II C 5 c d	II層	磨石B	71.0	66.0	51.0	399.32	F	I	
5119	II C 5 d e	II層	磨石B	(81.0)	42.0	61.0	(274.57)	U2	Aア	スリ幅12mm
5120	II C 5 d e	II層	磨石B	(87.0)	(40.0)	(53.0)	(201.92)	U1	Aア	スリ幅11mm
5121	II C 5・6 d e	包含層アゼ上～中位	磨石B	74.0	65.0	52.0	383.33	F	I	
5122	II C 6 b	包含層下位	磨石B	60.0	64.0	44.0	267.21	F	II	
5123	II C 6 b	包含層下位	磨石B	71.0	58.0	50.0	316.05	F	I	
5124	II C 7 c	II層	磨石B	(45.0)	(42.0)	(27.0)	(68.45)	P1	I A	
5125	II C 7 c	II層	磨石B	(50.0)	(62.0)	(27.0)	(111.80)	U2	Aア	スリ幅15mm
5126	II C 7 c	包含層上位	磨石B	(70.0)	(47.0)	56.0	(223.28)	M	Aア	スリ幅30mm
5127	II C 7 c	包含層上位	磨石B	87.0	53.0	33.0	266.65	F	I	
5128	II C 7 d	II層	磨石B	(98.0)	65.0	43.0	(329.20)	Z1	Aア	スリ幅12mm
5129	II C 7 e	II層	磨石B	(65.0)	(53.0)	(35.0)	(99.67)	F	Aア	スリ幅10mm
5130	II C 7 e	II層	磨石B	(70.0)	61.0	(27.0)	(131.07)	F	Aア	スリ幅9mm
5131	II C 7 e	東西アゼ第8層	磨石B	125.0	89.0	37.0	631.17	P1	II	
5132	II C 8・9 a	包含層アゼ中位	磨石B	(103.0)	67.0	37.0	(309.28)	U1	Aア	スリ幅11mm
5133	II C 8・9 a	包含層アゼ上位	磨石B	136.0	(66.0)	37.0	(518.90)	H1	Aア	スリ幅15mm
5134	II C 8 b	II層	磨石B	87.0	65.0	52.0	449.62	F	I	
5135	II C 8 b	II層	磨石B	(105.0)	67.0	28.0	(275.25)	U2	2Aア	スリ幅10mm
5136	II C 8 b	II層	磨石B	(55.0)	57.0	(20.0)	(68.40)	U2	Aア	スリ幅15mm
5137	II C 8 b	II層	磨石B	(90.0)	65.0	40.0	(413.55)	F	Aア	スリ幅27mm
5138	II C 8 b	II層	磨石B	155.0	81.0	65.0	873.91	F	Aア	スリ幅10mm
5139	II C 8・9 b	包含層アゼ下位	磨石B	(27.0)	(55.0)	(38.0)	(60.87)	II	—	破片
5140	II C 8・9 b	包含層アゼ中位	磨石B	68.0	64.0	30.0	205.96	G1	II	
5141	II C 8 c	II層	磨石B	119.0	102.0	83.0	1,608.60	F	II A	スリ幅30mm
5142	II C 8 c	II層	磨石B	(62.0)	(41.0)	(25.0)	(45.83)	U1	Aア	スリ幅15mm
5143	II C 8 c	包含層下位	磨石B	77.0	54.0	48.0	305.73	F	II	
5144	II C 8 c	包含層下位	磨石B	(52.0)	(38.0)	(45.0)	(125.38)	M	I A	
5145	II C 8 c	包含層下位	磨石B	(60.0)	(52.0)	45.0	(85.82)	U1	Bア	スリ幅10mm
5146	II C 8 c	包含層下位	磨石B	(80.0)	53.0	43.0	(221.26)	U1	Bア	スリ幅10mm
5147	II C 8・9 c	包含層アゼ上位	磨石B	(70.0)	70.0	33.0	(240.98)	U2	Aア	スリ幅10mm
5148	II C 8 d	II層	磨石B	(66.0)	(50.0)	42.0	(129.60)	Z1	Aア	スリ幅20mm
5149	II C 8 d	II層	磨石B	85.0	63.0	30.0	258.00	P1	II	
5150	II C 8 d	II層	磨石B	(92.0)	62.0	37.0	(281.70)	M	Aア	スリ幅12mm
5151	II C 8 d	II層	磨石B	68.0	63.0	34.0	244.77	F	II	
5152	II C 8 d	包含層下位	磨石B	(95.0)	58.0	50.0	(397.31)	H1	Aア	スリ幅22mm
5153	II C 8 d	包含層下位	磨石B	89.0	83.0	35.0	370.33	U1	III A	
5154	II C 8 d	包含層アゼクリーニング	磨石B	142.0	69.0	46.0	703.50	P1	II	
5155	II C 8・9 d	包含層アゼ中位	磨石B	(87.0)	40.0	29.0	(153.71)	F	Aア	スリ幅8mm
5156	II C 8・9 d	包含層アゼ上位	磨石B	(65.0)	51.0	35.0	(128.65)	M	Aア	スリ幅12mm
5157	II C 8・9 d	アゼ上位	磨石B	(93.0)	65.0	53.0	(386.21)	U2	Aア	スリ幅25mm
5158	II C 8 e	II層	磨石B	111.0	87.0	36.0	628.65	F	II	
5159	II C 9 a	包含層下位	磨石B	(110.0)	(84.0)	47.0	(437.72)	H1	I	
5160	II C 9 a	不明	磨石B	(113.0)	56.0	40.0	(470.39)	M	Aア	スリ幅25mm
5161	II C 9 b	II層	磨石B	(88.0)	77.0	24.0	(338.87)	E	1Aエ	スリ幅13mm
5162	II C 9 b	II層	磨石B	107.0	70.0	37.0	495.53	F	II B	スリ幅15mm
5163	II C 9 b	II層	磨石B	48.0	42.0	27.0	74.26	P1	I	
5164	II C 9 b	包含層中位	磨石B	143.0	69.0	48.0	688.69	U2	Aア	スリ幅30mm
5165	II C 9 b	包含層中位	磨石B	129.0	89.0	58.0	936.69	R	Aア	スリ幅30mm
5166	II C 9・10 b	包含層アゼ中位	磨石B	(117.0)	73.0	42.0	(537.01)	U2	Aア	スリ幅10mm
5167	II C 9 c	II層	磨石B	(90.0)	90.0	80.0	(695.68)	F	Aア	スリ幅7mm
5168	II C 9 c	II層	磨石B	102.0	80.0	50.0	624.04	R	II	
5169	II C 9 c	II層	磨石B	35.0	32.0	27.0	40.97	P1	I	
5170	II C 9 c	包含層中位	磨石B	105.0	50.0	33.0	322.70	F	II	
5171	II C 9・10 c	包含層アゼ上位	磨石B	(70.0)	82.0	44.0	(374.38)	P1	II d	スリ幅25mm
5172	II C 9・10 c	包含層アゼ上位	磨石B	61.0	58.0	31.0	164.14	P1	II d	スリ幅23mm
5173	II C 9・10 c	包含層アゼ下位	磨石B	(112.0)	41.0	21.0	(178.48)	U2	Aあ	スリ幅13mm
5174	II C 9・10 c	包含層アゼ下位	磨石B	(66.0)	(57.0)	(27.0)	(135.59)	U1	Aア	スリ幅15mm
5175	II C 9・10 c	アゼ下位	磨石B	82.0	54.0	40.0	277.33	F	II	
5176	II C 9 d	上部包含層中位	磨石B	(165.0)	(70.0)	(50.0)	(755.78)	P1	II	
5177	II C 10 a	包含層中位	磨石B	113.0	81.0	42.0	684.83	F	II	
5178	II C 10 a	包含層中位	磨石B	95.5	65.0	48.0	481.37	F	I	
5179	II C 10 a	包含層中位	磨石B	(88.0)	72.0	49.0	(377.14)	U1	Aア	スリ幅12mm
5180	II C 10 a	包含層中位	磨石B	143.0	65.0	51.0	776.16	F	cア	スリ幅18mm
5181	II C 10 b	包含層中位	磨石B	(71.0)	42.0	42.0	(176.17)	M	Aア	スリ幅5mm
5182	II C 10 b	包含層上位	磨石B	(121.0)	61.0	47.0	(466.41)	U2	Aア	スリ幅10mm
5183	II C 10 c	II層	磨石B	138.0	47.0	35.0	202.85	U1	Aア	スリ幅5mm
5184	II C 10 c	包含層下位	磨石B	(55.0)	47.0	40.0	(168.15)	F	Aア	スリ幅10mm
5185	II C 10 c	包含層中位	磨石B	85.0	69.0	40.0	395.09	F	I	

第32表 石器観察表 (38)

(数値) : 残存値

掲載 No.	出土地点	層位	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石材	分類	備考
5186	II C10 c	包含層中位	磨石B	113.0	39.0	40.0	282.36	V2	Aア	スリ幅14mm
5187	II C10 e	II層	磨石B	(105.0)	61.0	43.0	(391.55)	U2	Aア	スリ幅15mm
5188	II D1 d	I~II層	磨石B	(37.0)	(83.0)	(51.0)	(182.05)	P1	I?	
5189	II D1 d e	不明	磨石B	(47.0)	(85.0)	56.0	(280.75)	F	I	
5190	II D1 e	II層	磨石B	123.0	89.0	52.0	911.32	P1	II B	スリ幅20mm
5191	II D9 e	遺構埋土?	磨石B	72.0	49.0	41.0	211.33	F	I	
5192	III B1 j	包含層下位	磨石B	(81.0)	(76.0)	42.0	(399.43)	F	II	
5193	III B2 j	包含層下位	磨石B	(46.0)	(65.0)	(43.0)	(173.16)	R	II	
5194	III B3 j	II層~焼土検出面	磨石B	91.0	49.0	38.0	254.66	R	III	浅い窪み
5195	III B3 j	II層~焼土検出面	磨石B	76.0	56.0	50.0	323.98	F	III	被熱痕有り
5196	III B3 j	包含層1段目	磨石B	128.0	43.0	47.0	382.64	U1	Aア	スリ幅7mm
5197	III B3 j	包含層1段目	磨石B	(114.0)	(69.0)	39.0	(536.53)	F	II A	スリ幅20mm
5198	III B3 j	包含層1段目	磨石B	(172.0)	92.0	50.0	(1,429.03)	F	Aア	スリ幅35mm
5199	III B4・5 i j	包含層上面	磨石B	(140.0)	61.0	63.0	(764.35)	U2	Aア	スリ幅25mm
5200	III B5 i	II層	磨石B	(100.0)	71.0	40.0	(355.33)	E	Aア	スリ幅15mm
5201	III B5 i	II層	磨石B	155.0	82.0	48.0	908.91	U2	2Aア	スリ幅25mm
5202	III B6 i	II層	磨石B	72.0	68.0	49.0	372.07	I1	II	
5203	III B6 j	II層	磨石B	105.0	85.0	41.0	629.29	F	II	
5204	III B7 h	II層	磨石B	(93.0)	97.0	43.0	(675.11)	F	II	
5205	III B7 h	II層	磨石B	99.0	91.0	44.0	627.75	P1	II	
5206	III B7 h	II層	磨石B	132.0	85.0	40.0	654.91	U1	Aア	スリ幅30mm
5207	III B7 h	II層	磨石B	57.0	58.0	41.0	203.56	P1	II	
5208	III B7 h	II層	磨石B	126.0	57.0	62.0	665.02	U1	A Aア	スリ幅25mm
5209	III B7 h	カクラン	磨石B	103.0	91.0	49.0	774.72	F	II	
5210	III B7 i	II層	磨石B	95.0	83.0	42.0	549.43	I1	II	
5211	III B7 i	II層	磨石B	(75.0)	63.0	51.0	(287.68)	U1	Bア	スリ幅15mm
5212	III B7 i	II層	磨石B	132.0	57.0	50.0	511.08	U2	Aア	スリ幅20mm
5213	III B7 i	II層	磨石B	92.0	54.0	38.0	315.25	F	II	
5214	III B7 i	II層	磨石B	115.0	80.0	51.0	553.37	U1	Aア	スリ幅20mm
5215	III B7 i	II層	磨石B	(135.0)	73.0	65.0	(707.33)	F	Aア	スリ幅23mm
5216	III B7 i	II層	磨石B	112.0	90.0	43.0	783.92	F	II	
5217	III B7 i	II層	磨石B	115.0	85.0	59.0	865.51	F	II	
5218	III B8 i	II層	磨石B	121.0	72.0	34.0	431.71	Z1	Aア	スリ幅10mm
5219	III B8 i	II層	磨石B	81.0	42.0	35.0	187.83	P1	II	
5220	III B8 j	II層	磨石B	101.0	81.0	43.0	598.01	F	II	
5221	III B8 j	II層	磨石B	(84.0)	48.0	35.0	(141.63)	U2	Aア	スリ幅7mm
5222	III B9 b	II層	磨石B	120.0	73.5	39.0	535.60	F	Aア	スリ幅10mm
5223	III B9 j	II層	磨石B	117.0	80.0	29.0	455.72	U1	Aア	スリ幅7mm
5224	III B9 j	II層	磨石B	129.5	78.0	33.5	513.54	G1	Aエ	スリ幅15mm
5225	III B10 b	II層	磨石B	135.0	81.5	41.0	727.14	P1	II B	スリ幅15mm
5226	III C1 a	II層	磨石B	116.0	92.0	49.0	768.12	H1	II	
5227	III C1 a	包含層中~下位	磨石B	(79.0)	(55.0)	(46.0)	(216.25)	U2	Aア	スリ幅17mm
5228	III C1 a	包含層中~下位	磨石B	89.0	69.0	41.0	367.05	P1	II	
5229	III C1 a	包含層中~下位	磨石B	120.0	47.0	45.0	360.27	F	Aア	スリ幅15mm
5230	III C1 a	包含層中~下位	磨石B	(142.0)	67.0	56.0	(558.34)	U2	Aア	スリ幅15mm
5231	III C1 a	包含層上位	磨石B	84.0	55.0	50.0	398.37	F	II	
5232	III C1 a	包含層上位	磨石B	(118.0)	62.0	58.0	(392.42)	U2	Aア	スリ幅10mm
5233	III C1 a~c	II層	磨石B	129.0	87.0	66.0	1,164.89	P1	I	
5234	III C1 b	包含層中~下位	磨石B	58.0	42.0	20.0	78.73	P1	II	
5235	III C1 b	包含層中~下位	磨石B	(55.0)	60.0	58.0	(283.17)	M	cア	スリ幅27mm
5236	III C1 b	包含層中~下位	磨石B	126.0	76.0	20.0	364.78	U2	Aエ	スリ幅9mm
5237	III C1 b	包含層中~下位	磨石B	141.0	77.0	39.0	590.17	P1	Aア	スリ幅15mm
5238	III C1 b	ベルト埋土中位	磨石B	86.0	52.0	41.0	288.62	P1	I	
5239	III C1 b	包含層上位	磨石B	(102.0)	64.0	45.0	(392.15)	F	Aア	スリ幅20mm
5240	III C1 c	包含層下位	磨石B	(101.0)	65.0	66.0	(455.96)	F	Aア	スリ幅20mm
5241	III C1 c	包含層中位	磨石B	148.0	67.0	46.0	566.99	U2	B Aウ	スリ幅20mm
5242	III C1 c	包含層中位	磨石B	(60.0)	53.0	37.0	(136.45)	U2	Aア	スリ幅10mm
5243	III C1 c	東西ベルト埋土中位	磨石B	110.0	83.0	37.0	536.22	P1	II	
5244	III C1 c	南北ベルト埋土上位	磨石B	87.0	44.0	24.0	128.50	G1	Aア	スリ幅5mm
5245	III C1 c	包含層上位	磨石B	87.0	50.0	35.0	250.29	U2	Aア	スリ幅20mm
5246	III C1 d	II層	磨石B	81.0	61.0	54.0	425.36	F	I	
5247	III C1 e	II層	磨石B	103.0	55.0	35.0	309.46	P1	II	
5248	III C2 a	包含層下位	磨石B	107.0	92.0	45.0	705.87	P1	II 1	
5249	III C2 a	包含層下位	磨石B	(147.0)	79.0	65.0	(714.23)	U2	Bア	スリ幅15mm
5250	III C2 a	包含層中~下位	磨石B	(80.0)	50.0	50.0	(233.51)	U2	Aア	スリ幅5mm
5251	III C3 a	包含層2段目	磨石B	(107.0)	78.0	51.0	(668.38)	F	Aア	スリ幅15mm
5252	III C7 j	IV層直上	磨石B	94.0	119.0	41.0	769.21	G1	I	
5253	III C8 g	II層検出面	磨石B	(130.0)	73.0	39.0	(637.77)	U2	Aア	スリ幅20mm
5254	III C8 h	II層検出面	磨石B	110.0	62.0	51.0	521.03	U2	Aア	スリ幅20mm
5255	III C8 h	II層検出面	磨石B	86.0	73.0	34.0	358.83	F	II	
5256	III C8 j	II層	磨石B	(47.0)	85.0	58.0	(370.12)	P1	II	
5257	III C8 j	II層	磨石B	70.0	52.0	42.0	223.01	P1	I	
5258	III C9 d	II層下部検出面	磨石B	(70.0)	59.0	50.0	(224.40)	U2	Aア	スリ幅10mm
5259	III C9 j	II層検出面	磨石B	(129.0)	129.0	52.0	(1,333.74)	U2	I	片面に打ち欠き
5260	III C10 i	II層下部検出面	磨石B	88.0	67.0	62.0	509.43	R	I	
5261	III D7 b	トレンチ内	磨石B	66.0	49.0	36.0	185.39	F	II	
5262	III D7 b	トレンチ内	磨石B	(75.0)	(80.0)	54.0	(383.62)	F	I	被熱痕有り
5263	III D8 b	I層	磨石B	(85.0)	66.0	47.0	(373.08)	F	I	

第32表 石器観察表 (39)

(数値) : 残存値

掲載 No.	出土地点	層位	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石材	分類	備考
5264	Ⅲ D10 c	Ⅱ層	磨石 B	(25.0)	(67.0)	(56.0)	(145.68)	F	—	破片
5265	Ⅲ D10 c	Ⅱ層	磨石 B	(114.0)	66.0	50.0	(521.48)	R	Ⅲ	
5266	Ⅲ D10 c	Ⅱ層	磨石 B	145.0	93.0	73.0	1,181.40	P1	Aア	スリ幅25mm
5267	Ⅲ D10 c	Ⅱ層	磨石 B	(45.0)	(50.0)	(62.0)	(223.29)	F	—	破片
5268	Ⅲ D10 d	Ⅱ層	磨石 B	132.0	72.0	41.0	419.68	U2	Aア	スリ幅13mm
5269	Ⅲ D10 d	Ⅱ層	磨石 B	(54.0)	(50.0)	43.0	(112.44)	U2	Aア	スリ幅30mm
5270	Ⅳ B 1 h	Ⅱ層	磨石 B	(47.0)	(56.0)	(38.0)	(152.17)	F	Aア	スリ幅17mm
5271	Ⅳ B 2 a	Ⅱ層下検出面	磨石 B	93.0	75.0	31.0	395.40	F	Ⅱ	
5272	Ⅳ B 3 b	西トレンチ埋土上～中位	磨石 B	119.0	50.0	46.0	397.29	F	Aア	スリ幅20mm
5273	Ⅳ B 3 h	Ⅱ層	磨石 B	(47.0)	(37.0)	(13.0)	(20.13)	C1	—	破片
5274	Ⅳ B 3 j	Ⅱ層	磨石 B	(78.0)	(79.0)	(36.0)	300.21	G1	Aエ	スリ幅17mm
5275	Ⅳ B 4 j	Ⅱ層	磨石 B	(80.0)	61.0	48.0	306.15	U2	Aア	スリ幅15mm
5276	Ⅳ C 1 c	Ⅱ層	磨石 B	(105.0)	96.0	60.0	(1,501.96)	F	Ⅱ	
5277	Ⅳ C 1 c	Ⅱ層	磨石 B	41.0	(37.0)	33.0	66.71	J	Ⅲ	
5278	Ⅳ C 1 c	Ⅱ層	磨石 B	(50.0)	75.0	(65.0)	417.76	F	Ⅲ	
5279	Ⅳ C 1 d	Ⅱ層	磨石 B	(119.0)	59.0	50.0	560.80	U2	3Aア	スリ幅20mm
5280	Ⅳ C 1 d	Ⅱ層検出面	磨石 B	(140.0)	75.0	62.0	951.91	O	Aア	スリ幅5mm
5281	Ⅳ C 2 e	Ⅱ層検出面	磨石 B	130.0	56.0	30.0	347.03	G1	Aア	スリ幅10mm
5282	Ⅳ C 2 e	Ⅱ層検出面	磨石 B	178.0	81.0	39.0	981.67	A	A Bエ	スリ幅13mm、磨製石斧転用
5283	Ⅳ C 2 e	Ⅱ層検出面	磨石 B	(80.0)	(63.0)	(53.0)	347.78	F	Aア	スリ幅22mm
5284	Ⅳ C 2 f	Ⅱ層	磨石 B	(152.0)	63.0	63.0	801.57	G1	1Aア	スリ幅34mm
5285	Ⅳ C 3 a	Ⅱ層	磨石 B	125.0	84.0	51.0	636.18	F	Bア	スリ幅10mm
5286	Ⅳ C 3 a	Ⅱ層	磨石 B	195.0	76.0	38.0	751.41	U2	Aア	スリ幅10mm
5287	Ⅳ C 3 c	Ⅱ層	磨石 B	(65.0)	(63.0)	(40.0)	230.06	U2	Aア	スリ幅20mm
5288	Ⅳ C 4 i	Ⅱ層	磨石 B	(125.0)	73.0	34.0	548.22	F	Aエ	スリ幅18mm
5289	Ⅳ C 4 i	Ⅱ層	磨石 B	(50.0)	68.0	29.0	136.38	G1	Aエ	スリ幅5mm
5290	Ⅳ C 4 j	Ⅱ層	磨石 B	(86.0)	87.0	41.0	544.81	F	Ⅱd	スリ幅20mm
5291	Ⅳ C 5 b	Ⅱ層	磨石 B	126.0	47.0	24.0	199.53	U2	Aア	スリ幅6mm
5292	Ⅳ C 5 b	Ⅱ層	磨石 B	(99.0)	70.0	65.0	738.45	G1	Aア	スリ幅18mm
5293	Ⅳ C 5 b	Ⅱ層	磨石 B	(150.0)	(84.0)	(46.0)	824.18	d2	Aエ	スリ幅20mm
5294	Ⅳ C 5 i	Ⅱ層	磨石 B	(113.0)	(65.0)	(55.0)	475.52	U2	Aア	スリ幅20mm
5295	Ⅳ C 5 i	Ⅱ層	磨石 B	(84.0)	(56.0)	(39.0)	291.47	d2	1Bア	スリ幅23mm
5296	Ⅳ C 6 a	Ⅱ層	磨石 B	110.0	61.0	33.0	312.07	U2	1Aア	スリ幅10mm
5297	Ⅳ C 6 b	南側落ち込み上層	磨石 B	(128.0)	(58.0)	(54.0)	412.49	G1	Aア	スリ幅10mm
5298	Ⅳ C 6 c	Ⅱ層	磨石 B	(83.0)	(61.0)	(40.0)	307.15	F	Aア	スリ幅15mm
5299	Ⅳ C 6 d	Ⅱ層	磨石 B	(130.0)	70.0	51.0	750.31	F	Aア	スリ幅30mm
5300	Ⅳ C 6 e	Ⅱ層	磨石 B	(97.0)	(60.0)	(61.0)	403.17	G1	Aア	スリ幅10mm
5301	Ⅳ C 6 f	Ⅱ層	磨石 B	136.0	86.0	54.0	1,169.29	F	ⅡB	スリ幅35mm
5302	Ⅳ C 6 h	Ⅱ層	磨石 B	131.0	66.0	51.0	762.59	F	Bア	スリ幅30mm
5303	Ⅳ C 6 h	Ⅱ層	磨石 B	(48.0)	(50.0)	(59.0)	208.46	F	—	破片
5304	Ⅳ C 6 h	Ⅱ層	磨石 B	(106.0)	79.0	42.0	648.64	O	ⅡB	スリ幅23mm、被熱痕有り
5305	Ⅳ C 7 d	Ⅱ層	磨石 B	155.0	55.0	50.0	472.63	U2	cア	スリ幅10mm
5306	Ⅳ C 7 d	Ⅱ層	磨石 B	(170.0)	70.0	52.0	840.26	G1	Aア	スリ幅15mm
5307	Ⅳ C 7 d	Ⅱ層	磨石 B	(146.0)	75.0	55.0	795.87	P1	Aア	スリ幅35mm
5308	Ⅳ D 1 a	Ⅱ層	磨石 B	(64.0)	61.0	38.0	261.89	U4	1Aア	スリ幅10mm
5309	Ⅳ D 2 a	Ⅱ層	磨石 B	(55.0)	(59.0)	(31.0)	148.32	U2	Aア	スリ幅17mm
5310	Ⅳ D 2 a	Ⅱ層	磨石 B	(74.0)	(62.0)	(53.0)	371.05	P1	Aア	スリ幅25mm
5311	Ⅳ D 2・3 a	Ⅱ～Ⅲ層	磨石 B	(80.0)	(57.0)	(55.0)	285.55	G1	4cア	スリ幅15mm
5312	Ⅳ D 2 c	Ⅱ層中	磨石 B	138.0	63.0	65.0	772.82	G1	1Aア	スリ幅25mm
5313	T 1	Ⅰ層	磨石 B	90.0	76.0	55.0	587.19	F	Ⅰ	
5314	T 2	Ⅱ層	磨石 B	(73.0)	73.0	48.0	(400.85)	J	Ⅰ	
5315	T 5	不明	磨石 B	155.0	51.0	79.0	768.43	H1	Aア	スリ幅15mm
5316	T 7	クリーニング	磨石 B	106.0	74.0	36.0	501.95	P1	Ⅰ	
5317	T 9	Ⅰ～Ⅲ層	磨石 B	72.0	60.0	46.0	295.86	G1	Ⅰ	
5318	T 9	Ⅰ～Ⅲ層	磨石 B	90.0	68.0	41.0	363.91	H1	Ⅰ	
5319	T 12	Ⅰ～Ⅱ層	磨石 B	(36.0)	(20.0)	(56.0)	(55.01)	H1	—	破片
5320	T 15	Ⅰ～Ⅱ層	磨石 B	129.0	79.0	36.0	625.21	P1	Ⅱ	
5321	T 101	付近	磨石 B	(62.0)	86.0	63.0	(485.70)	H1	Ⅰ	
5322	斜面トレンチ(貝)	不明	磨石 B	(62.0)	90.0	38.0	(324.31)	F	Ⅱ	
5323	西の南北トレンチ	下層確認	磨石 B	66.0	54.0	42.0	211.90	P1	Ⅱ	
5324	東奥谷部南北 アゼトレンチ	下層確認	磨石 B	(43.0)	(73.0)	(55.0)	(235.05)	M	Ⅰ	
5325	東奥谷部	Ⅰ～Ⅱ層	磨石 B	87.0	66.0	48.0	463.34	F	Ⅱ	
5326	東奥谷部	Ⅰ～Ⅱ層	磨石 B	89.0	81.0	63.0	734.15	F	Ⅰ	被熱痕有り
5327	東奥谷部	上部	磨石 B	(32.0)	(72.0)	(31.0)	(87.77)	U2	Ⅲ?	
5328	西側	Ⅲ層上面	磨石 B	118.0	78.0	33.0	494.01	U2	Ⅱ	
5329	調査区一括	不明	磨石 B	180.0	90.0	(61.0)	945.04	F	Aア	スリ幅10mm
5330	不明	Ⅱ層	磨石 B	75.0	55.0	41.0	267.67	F	Ⅱ	
5331	不明	Ⅱ層	磨石 B	95.0	92.0	47.0	479.08	F	Ⅱ	
5332	S I 11	埋土	敲石	87.0	65.0	40.0	349.44	U2	Ⅲ A 1	
5333	S I 18	③埋土	敲石	81.0	47.0	44.0	275.52	F	Ⅱ A 1	
5334	S I 20	ベルトA-A' 4層	敲石	210.0	60.0	52.0	1,145.92	M	Ⅱ B 1	
5335	S I 24	ベルトA-A' 5層	敲石	(41.0)	44.0	39.0	103.00	P1	Ⅱ A 1	
5336	S I 24	ベルトA-A' 3層	敲石	155.0	105.0	77.0	2,143.20	U2	Ⅱ A E 1	
5337	S I 25-PP4	埋土	敲石	108.0	90.0	82.0	1,176.65	P1	Ⅰ B 1	
5338	S I 25	北西ベルト1/4埋土上部	敲石	(92.0)	36.0	28.0	(141.46)	d2	Ⅱ A 2	
5339	S I 31	南東1/4埋土下部	敲石	95.0	30.0	18.0	89.19	Y1	Ⅱ A G 1	
5340	S I 32	北壁際埋土	敲石	465.0	125.0	90.0	7,000.00	J	Ⅱ E 1	

第32表 石器観察表 (40)

(数値) : 残存値

掲載 No.	出土地点	層位	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石材	分類	備考
5341	S I 35	南西埋土下部	敲石	53.0	26.0	23.0	46.19	P1	II B1	
5342	S I 37	南東埋土	敲石	(82.0)	39.0	34.0	151.58	R	II B1	
5343	S I 48	埋土グリッドE地点	敲石	(91.0)	60.0	24.0	254.95	d2	III A2	
5344	S I 58	Aベルト8~11層下位	敲石	260.0	63.0	43.0	1,035.48	U2	II E1	
5345	S I 58	Aベルト1・2層	敲石	76.0	79.0	57.0	459.09	F	I B1	
5346	S I 58	南埋土中~下位	敲石	160.0	85.0	57.0	1,160.10	P1	III B1	
5347	S I 61④	埋土中位	敲石	111.0	49.0	49.0	460.56	P1	II B1	
5348	S I 61④	埋土中位	敲石	79.0	43.0	38.0	205.94	F	II A1	
5349	S I 61③	埋土上位	敲石	(15.0)	(41.0)	(41.0)	33.85	U2	II?A1	
5350	S I 64	床面直上	敲石	(48.0)	(44.0)	(36.0)	84.31	F	II A1	
5351	S I 68	南側埋土下位	敲石	123.0	84.0	43.0	799.21	F	I C1	
5352	S I 69	QNE埋土上部	敲石	90.0	39.0	24.5	137.50	Y1	II A1	
5353	S I 71	S.No2埋土下位	敲石	139.0	58.0	56.0	782.60	R	II B1	
5354	S I 72	北東埋土上位	敲石	78.0	68.0	53.0	429.95	F	I A1	片面に浅い窪み
5355	S I 73	埋土8層	敲石	127.0	110.0	44.0	1,060.97	J	I C1	
5356	S I 74	QNE埋土上~中部	敲石	69.0	63.0	53.0	340.92	U2	I C1	
5357	S I 80	QSE埋土下部	敲石	(129.0)	(94.0)	65.0	1,279.60	J	II E1	
5358	S I 80	QSE埋土中~下部	敲石	(200.5)	(109.0)	(85.0)	1,982.53	U2	II A1	
5359	S I 80	QSE埋土中~下部	敲石	94.0	64.0	46.0	453.48	F	I A1	
5360	S I 80	QSW埋土中~下部	敲石	(85.0)	(70.0)	(30.0)	243.91	F	III A1	
5361	S I 83	北東埋土下位	敲石	39.0	39.0	22.0	42.99	Z1	I B1	
5362	S I 88	QNE床面直上	敲石	(106.0)	(94.0)	62.0	917.32	P1	I C1	
5363	S I 88	QNE埋土上部	敲石	118.0	39.0	27.0	215.55	V2	II A1	両面に浅い窪み
5364	S I 90	床面直上	敲石	115.0	72.0	54.0	710.35	J	III A2	片面に浅い窪み
5365	S I 91	QNE埋土	敲石	63.0	51.0	28.0	128.42	U2	I A1	
5366	S I 102	南東側埋土下位	敲石	118.0	37.0	18.0	135.32	V2	I B2	
5367	S I 113	PP7	敲石	90.0	33.0	17.0	96.74	d2	II B2	
5368	S K03	1次精査	敲石	110.0	55.0	33.0	398.63	J	III B1	
5369	S K05	2次9層(1次部分)	敲石	56.0	(42.0)	43.0	(171.75)	U2	I B1	
5370	S K64	埋土3~4層	敲石	101.0	50.0	43.0	353.79	F	II A1	
5371	S K91	埋土1層	敲石	(25.0)	(70.0)	(36.0)	57.34	J	—	破片
5372	II B10 j	包含層上~中位	敲石	72.0	63.0	35.0	202.99	U2	I A2	
5373	II C 7 d	II層	敲石	245.0	55.0	24.0	445.87	d2	II A2	
5374	II C 7・8 d	包含層アゼ下位	敲石	82.0	72.0	27.0	262.04	U2	I A1	
5375	II C 8・9 a	包含層アゼ中位	敲石	121.0	52.0	30.0	258.32	V2	II B1	
5376	II C 9 a	包含層アゼ下位	敲石	98.0	43.0	36.0	244.99	P1	II A1	
5377	II C 9 b	II層	敲石	127.0	47.0	30.0	230.23	V2	II D1	
5378	II C10 d	包含層下位	敲石	66.0	48.0	43.0	172.25	U2	I F1	
5379	II C10 d	包含層中位	敲石	(60.0)	76.0	33.0	(15.77)	U1	A1	断面三角形
5380	II C10 d	包含層中位	敲石	122.0	26.0	27.0	156.59	Y1	II A1	
5381	III B 7 h	II層	敲石	175.0	115.0	31.0	959.98	V2	III C3	
5382	III B 7 i	II層	敲石	230.0	60.0	47.0	1,011.45	U2	II A1	
5383	III B 7 i	II層	敲石	160.0	85.0	22.0	529.98	F	III E3	
5384	III C 3 a	包含層1段目	敲石	(110.0)	62.0	33.0	(330.66)	U2	III A1	
5385	III D10 a	II層	敲石	71.0	32.0	26.0	92.42	N	II A1	
5386	IV B 3 h	II層	敲石	69.0	28.0	20.0	64.97	U2	II BF1	
5387	IV B 3 h	II層	敲石	143.0	88.0	32.0	621.30	U2	III B1	
5388	IV B 5 j	II層	敲石	106.0	56.0	37.0	388.55	a2	II BG1	
5389	IV C 1 e	II層	敲石	(61.0)	(80.0)	(46.0)	221.31	U5	I?A1	
5390	IV C 2 d	II層検出面	敲石	89.0	71.0	58.0	499.00	P1	I A1	
5391	IV C 4 c	II層検出面	敲石	(68.0)	61.0	40.0	239.74	F	I A1	
5392	IV C 5 a	II層	敲石	62.0	36.0	22.0	75.53	P1	II A1	両面に浅い窪み
5393	IV C 6 e	II層	敲石	56.0	42.0	41.0	144.32	F	I B1	
5394	IV C 6 e	II層	敲石	(53.0)	31.0	26.0	46.27	U2	II	破片
5395	IV C 6 g	II層	敲石	53.0	52.0	36.0	146.34	J	I A1	
5396	IV C 6 h	II層中	敲石	(95.0)	36.0	34.0	150.53	J	II A1	片面に浅い窪み
5397	IV C 7 e	II層	敲石	102.0	54.0	37.0	336.37	R	II A1	
5398	IV D 2・3 a	II~III層	敲石	(80.0)	38.0	35.0	155.64	U2	II A1	両面に浅い窪み
5399	IV D 3 a	II層	敲石	(68.0)	(38.0)	(34.0)	152.32	Y1	II A1	両面に浅い窪み、磨製石斧の転用
5400	T 4	II層	敲石	91.0	52.0	42.0	304.84	H1	II A1	被熱痕あり
5401	不明	不明	敲石	(120.0)	(99.0)	(79.0)	1,193.75	F	II A1	
5402	不明	不明	敲石	89.0	48.0	40.0	250.51	U2	II BD1	
5403	S I 13	南東1/4埋土中位暗褐色土	凹石	76.0	96.0	30.0	204.14	U5?	IV B1	
5404	S I 14	南東1/4埋土下位	凹石	118.0	71.0	51.0	571.39	g	I B1	
5405	S I 14	北東部埋土上位	凹石	130.0	36.0	30.0	224.29	U2	III A	片面に浅い敲打痕
5406	S I 15	北東埋土上位	凹石	145.0	55.0	21.0	281.25	J	IV B2	
5407	S I 24	ベルトA-A'5層	凹石	(78.0)	80.0	16.0	145.27	U2	IV B1	
5408	S I 25	北西ベルト1/4埋土上部	凹石	(93.0)	36.0	40.0	(210.10)	V2	III B1	
5409	S I 30	南東1/4床面	凹石	(145.0)	(94.0)	(35.0)	634.11	H1	IV B1	被熱痕有り
5410	S I 35	床上	凹石	(66.0)	49.0	23.0	111.87	U2	IV A	
5411	S I 35	南東埋土下位	凹石	140.0	48.0	38.0	333.11	U2	III A1	一端に敲打痕
5412	S I 36	QNW埋土下部	凹石	(71.0)	(68.0)	(48.0)	254.87	U2	I B1	
5413	S I 39	南東埋土下位	凹石	122.0	86.0	71.0	1,007.07	U2	I B3	
5414	S I 49	埋土下位	凹石	139.0	83.0	54.0	903.89	U2	I B3	
5415	S I 50	南半埋土上~中位	凹石	(64.0)	(44.0)	(43.0)	205.52	F	III A2	二側縁擦面、スリ幅15mm
5416	S I 57	QNW埋土	凹石	250.0	67.0	53.0	1,247.87	U2	III D21	
5417	S I 59	QNE埋土下部	凹石	(150.0)	63.0	41.5	617.57	U2	III A1	

第32表 石器観察表 (41)

(数値) : 残存値

掲載 No.	出土地点	層位	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石材	分類	備考
5418	S I 59	QNE埋土下部	凹石	85.0	48.0	27.0	158.31	U2	I A 3	
5419	S I 59	QSW埋土下部	凹石	(155.0)	(95.0)	59.0	1,378.68	U2	III A 3	
5420	S I 61④	埋土中位	凹石	93.0	77.0	49.0	493.94	U2	I B 1	
5421	S I 61	北西重複部埋土上位	凹石	104.0	86.0	59.0	765.21	P1	I A 3	両面磨面、被熱痕有り
5422	S I 64	QNW埋土	凹石	94.0	43.0	30.0	200.83	U2	III C 1	
5423	S I 68	埋土1層 (A-A'断面)	凹石	137.0	48.0	40.0	355.23	U2	III A 3	
5424	S I 71	ベルトA-A' 5層	凹石	143.0	48.0	27.0	305.66	U2	III A 1	
5425	S I 71	北西埋土下位	凹石	(91.0)	(80.0)	(30.0)	170.71	Z3	IV B 2	石皿の転用か
5426	S I 72	北東埋土下位	凹石	115.0	74.0	58.0	840.78	U2	III B 3	
5427	S I 72	北東埋土下位	凹石	115.0	74.0	58.0	840.78	F	I B 3	両面磨面、被熱痕有り
5428	S I 72	北西埋土上位	凹石	(106.0)	66.0	43.0	555.46	U2	IV B 1	
5429	S I 72	北西埋土上位	凹石	119.0	50.0	28.0	250.03	U2	III A 2	
5430	S I 74	QSW埋土上~中部	凹石	143.0	52.0	31.0	420.01	P1	III A 3	
5431	S I 74	QSW埋土上~中部	凹石	(126.0)	52.0	37.0	369.05	d2	III A 2	
5432	S I 77	埋土上~中位	凹石	98.0	76.0	46.0	505.28	P1	I A 3	両面磨面
5433	S I 80	QSE埋土	凹石	115.0	88.0	58.0	1,014.73	F	I A 3	両面磨面、被熱痕有り
5434	S I 82	南西埋土下位	凹石	130.0	70.0	43.0	464.68	U2	I A 1	
5435	S I 83	埋土床上	凹石	115.0	80.0	51.0	740.28	U2	B 3	両面磨面
5436	S I 84	埋土上~中位	凹石	96.0	53.0	55.0	456.15	F	III C 1	
5437	S I 84	埋土上~中位	凹石	144.0	59.0	26.0	372.22	U2	IV B 3	
5438	S I 88	床面直上	凹石	(107.0)	75.0	31.0	306.11	Z3	IV A 3	
5439	S I 88	Sベルト10層	凹石	142.0	50.0	30.0	311.87	d2	IV A 1	
5440	S I 88	QNE埋土中~下部	凹石	100.0	68.0	52.0	571.20	F	I A 3	
5441	S I 88	QNE埋土上部	凹石	132.0	29.0	24.0	152.98	d2	III A 3	
5442	S I 88	礫集中部	凹石	147.0	45.0	43.0	350.88	U2	III B 3	
5443	S I 92	NS埋土1層ベルト	凹石	136.0	46.0	31.0	218.39	U2	IV B 3	
5444	S I 102	石器No.2埋土下位	凹石	(95.0)	59.0	26.0	233.59	U2	IV B 3	
5445	S I 102	北東側埋土下位	凹石	185.0	36.0	31.0	344.78	U2	III B 2	
5446	S I 102	北西部埋土上~中位	凹石	90.0	65.0	28.0	137.41	Z3	IV A 1	石皿の転用?
5447	S I 112	南断面6層	凹石	82.0	78.0	47.0	478.98	U2	I B	一端に敲打痕
5448	S I 113	床面直上	凹石	(94.0)	(50.0)	(27.0)	120.86	U2	IV B 2	
5449	S I 113	埋土	凹石	112.0	57.0	42.0	411.05	P1	IV A 1	
5450	S I 115	ベルトA-A' 7層	凹石	(97.0)	(84.0)	(65.0)	786.41	P1	I B	一側縁擦面、スリ幅30mm、 両面磨面、被熱痕有り
5451	S W08	北側	凹石	76.0	60.0	56.0	325.21	U2	I A 1	
5452	S X08	埋土西半埋土	凹石	(62.0)	(56.0)	(35.0)	141.25	U2	IV B 3	
5453	II C 6 d	不明	凹石	147.0	52.0	37.0	280.77	d2	III B	先端に打ち欠き有り
5454	II C 8 c	南東ベルト埋土上位	凹石	(110.0)	(50.0)	(30.0)	162.91	g	III B 1	
5455	II C 8 d	II層	凹石	136.0	47.0	32.0	304.21	U2	III A	
5456	II C 7~8 e	東西アゼ5層	凹石	151.0	48.0	33.0	291.36	d2	III B	
5457	II C 10 a	包含層	凹石	89.0	69.0	30.0	236.01	U2	IV B	
5458	II C 10 a	包含層中位	凹石	(108.0)	59.0	23.0	221.74	U2	III A 1	二側縁に擦面
5459	II C 10 d	II層	凹石	(105.0)	65.0	32.0	(357.35)	P1	III A 1	
5460	III B 1 i j	包含層下位	凹石	127.0	52.0	32.0	314.88	F	III B	
5461	III B 1 i j	包含層中~下位	凹石	120.0	43.0	25.0	225.04	d2	III B	
5462	III B 5 j	II層	凹石	120.0	50.0	30.0	280.04	d2	III B	
5463	III C 1 b	包含層中~下位	凹石	(85.0)	66.0	45.0	369.50	J	I A 1	一側縁擦面
5464	III C 1 c	包含層下位	凹石	150.0	40.0	(35.0)	(288.39)	V2	III B	
5465	III C 2 d~6 b	斜面トレンチ	凹石	153.0	46.0	19.0	246.66	d2	III B 1	
5466	III D 10 b	II層	凹石	(120.0)	63.0	48.0	589.45	U2	I C 1	一側縁擦面、スリ幅30mm、 被熱痕有り
5467	III C 9 j	II層検出面	凹石	(133.0)	57.0	40.0	438.47	T2	III B 2	
5468	IV B 4 j	II層	凹石	(90.0)	(65.0)	22.0	(143.51)	d2	I A	
5469	IV C 1 a	II層下検出面	凹石	(80.0)	(52.0)	(25.0)	124.04	U2	IV A 2	
5470	IV C 2 d	II層	凹石	(100.0)	58.0	41.0	300.16	U2	III B 3	
5471	IV C 3 a	II層	凹石	77.0	65.0	49.0	401.16	P1	II A 3	
5472	IV C 3 f	II層	凹石	(115.0)	(67.0)	(55.0)	591.81	U2	II C 1	
5473	IV C 3 i	II層上層	凹石	136.0	70.0	45.0	739.74	U2	IV A 3	両端に敲打痕、一側縁擦 面、スリ幅20mm
5474	IV C 4 e	II層	凹石	(67.0)	(60.0)	(18.0)	102.08	Z3	III B 1	
5475	IV C 4 j	II層	凹石	88.0	80.0	52.0	597.95	P1	II A 3	
5476	IV C 5 d	II層	凹石	141.0	58.0	49.0	678.90	F	III B 3	
5477	IV C 6 b	II層	凹石	137.0	100.0	48.0	1,135.92	M	I B 3	
5478	IV C 6 c	II層	凹石	69.0	61.0	63.0	363.30	U2	I A	
5479	IV C 6 g	II層	凹石	140.0	56.0	18.0	243.98	d2	III B 2	
5480	IV C 5 f	II層	凹石	(129.0)	54.0	30.0	331.30	U2	III A 2	
5481	IV D 2 a	II層	凹石	85.0	65.0	37.0	306.42	U2	I A 3	両面磨面
5482	不明	ベルトA-A' 3層	凹石	(137.0)	85.0	78.0	(1,191.76)	U5	III B 1	
5483	S I 13	S.No.3 (床土5M)	石皿	(230.0)	110.0	60.0	2,001.46	U5	I 1	
5484	S I 13	北東西1/4埋土中位暗褐色土	石皿	(138.0)	(75.0)	40.0	572.84	U5	I ?	
5485	S I 13	北西1/4埋土中位暗褐色土	石皿	(110.0)	(113.0)	29.0	432.16	Z4	4	
5486	S I 14	ベルトB-B' 1層	石皿	(120.0)	110.0	29.0	404.53	U5	B 1	
5487	S I 15	南東1/4埋土下位 (床面直上)	石皿	(183.0)	145.0	41.0	763.78	Z4	2・4	
5488	S I 31	南東1/4部埋土下部	石皿	(96.0)	(55.0)	(40.0)	140.95	Z3	I ?	破片
5489	S I 36	QSE埋土上部	石皿	103.0	67.0	16.5	140.22	V2	B	二側縁加工、表皮有り
5490	S I 46	埋土中位	石皿	103.0	88.0	15.0	192.96	d2	B	一側縁加工、表皮有り
5491	S I 61③	埋土下位	石皿	(72.0)	(86.0)	(26.0)	152.51	Z3	I 2	破片
5492	S I 68	埋土下位、整地層	石皿	56.0	43.0	9.0	27.00	V2	B	二側縁加工



第32表 石器観察表 (42)

(数値): 残存値

掲載 No.	出土地点	層位	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石材	分類	備考
5493	S I 72	炉区割③埋土	石皿	(90.0)	(47.0)	(29.0)	102.90	Z3	I B14?	
5494	S I 72	ベルトA-A' 8層	石皿	(109.0)	(52.0)	(22.0)	147.35	Z3	I B3	被熱痕有り
5495	S I 72	ベルトA-A' 7層	石皿	(87.0)	(68.0)	(20.0)	131.85	Z3	I B1	被熱痕有り
5496	S I 72	埋土下位炭化物層	石皿	(63.0)	(68.0)	(20.0)	73.94	Z3	B3	被熱痕有り
5497	S I 72	北東埋土上位	石皿	(110.0)	(71.0)	(38.0)	248.63	Z3	I B12	
5498	S I 75	南西埋土上位	石皿	(65.0)	(55.0)	(27.0)	107.62	U5	II B1	
5499	S I 78	QNE埋土下部	石皿	(112.0)	(56.0)	(56.0)	141.87	Z3	B14	破片
5500	S I 78	北西側埋土上~下位	石皿	(75.0)	(150.0)	(47.0)	376.78	Z3	I B12	
5501	S I 82	石器No1 南西埋土中位	石皿	(267.0)	(174.0)	(63.0)	1571.73	U5	A1	
5502	S I 82	南東埋土中位	石皿	(91.0)	(78.0)	(24.0)	154.47	Z3	II B1	破片
5503	S I 88	QNE埋土中位	石皿	(75.0)	(58.0)	(31.0)	153.03	U5	—	破片
5504	S I 88	埋土上位	石皿	(105.0)	(60.0)	(17.0)	120.27	U5	B1	破片
5505	S I 97	埋土	石皿	(185.0)	(225.0)	(73.0)	1,717.44	U5	A1	
5506	S I 101	東埋土	石皿	(120.0)	(68.0)	(35.0)	204.89	Z3	I B14?	
5507	S I 102	北西側埋土上位	石皿	266.0	(91.0)	(26.0)	589.72	Z3	I B1	スス付着
5508	S I 105	ベルトA-A' 1層	石皿	(90.0)	(125.0)	(38.0)	363.02	Z3	I B1	
5509	S K61	埋土	石皿	(95.0)	(95.0)	40.0	452.31	J	B1	垂円礫
5510	III C 8 h	II層検出面	石皿	(66.0)	(70.0)	20.0	77.21	Z4	B	
5511	IV C 3 c	II層	石皿	(71.0)	(51.0)	(25.0)	120.50	U5	—	破片
5512	IV C 3 i	II層上位	石皿	(84.0)	(84.0)	(22.0)	161.50	Z3	I B1	被熱痕有り
5513	IV C 5 h	II層	石皿	(195.0)	(170.0)	(55.0)	1,978.32	U5	A12	
5514	IV C 6 e	II層	石皿	(70.0)	(67.0)	(45.0)	141.85	Z3	I	破片
5515	IV C 6 g	II層	石皿	(73.0)	(85.0)	(30.0)	198.27	Z3	I B12	
5516	IV D 1 a	II層	石皿	(105.0)	(100.0)	(60.0)	301.76	L2	I B12	
5517	不明	不明	石皿	380.0	310.0	80.0	8,750.00	d2	B1	垂円礫
5518	S I 13	S.No2 (床土3M)	台石	(210.0)	105.0	55.0	2,162.60	J	I A	
5519	S I 13	南東1/4埋土下位	台石	(190.0)	(90.0)	82.0	1,855.37	U2	I A	片面緩く窪む
5520	S I 13	北東埋土下位	台石	(125.0)	(115.0)	60.0	1,263.32	J	II A	
5521	S I 13	北東埋土1/4上位暗褐色土	台石	(160.0)	(90.0)	61.0	1,412.42	E	II B	被熱痕有り
5522	S I 18	①-ベルト1層	台石	(155.0)	(120.0)	38.0	1,081.04	J	II A	片面緩く窪む
5523	S I 37上部	II-1層	台石	(85.0)	(81.0)	(74.0)	861.77	II	B	
5524	S I 41	埋土上部	台石	(73.0)	(53.0)	(39.0)	176.32	J	II B	
5525	S I 51	床面直上礫①	台石	525.0	410.0	100.0	34,400.00	—	—	
5526	S I 53	床面直上(炉わき)	台石	400.0	290.0	83.0	11,300.00	—	—	
5527	S I 58	埋土下部S1	台石	265.0	220.0	45.0	4,374.60	H1	I B	
5528	S I 61	Aベルト9層	台石	140.0	110.0	41.0	1,044.70	G1	II B	
5529	S I 61④	埋土下位	台石	(195.0)	(112.0)	(44.0)	2,102.10	E	I A	片面緩く窪む、被熱痕有り
5530	S I 61③	埋土中位	台石	(80.0)	(80.0)	(33.0)	332.13	U2	I B	
5531	S I 74	QSW埋土上~中部	台石	190.0	180.0	75.0	4,324.50	F	II B	片面に敲打痕
5532	S I 78	QSE埋土下部	台石	(125.0)	(89.0)	(49.0)	977.51	O	I B	被熱痕有り
5533	S I 80	QSE埋土下部	台石	(145.0)	(160.0)	(44.0)	1,234.49	O	II B	
5534	S I 82	埋土上~中位	台石	(133.0)	(127.0)	(38.0)	818.95	O	II	片面緩く窪む
5535	S I 88	炉前庭部出土	台石	(295.0)	(40.0)	(20.0)	4,329.70	J	I B	意図的に破砕された石皿? その1
5536	SI88	炉前庭部	台石	(260.0)	(145.0)	(45.0)	3,745.50	J	II B	意図的に破砕された石皿? その2
5537	SI88	礫集中部	台石	(225.0)	(170.0)	(47.0)	2,240.70	O	I B	被熱痕有り
5538	S I 101	石囲炉	台石	(155.0)	(125.0)	(53.0)	1,690.13	J	II B	縁取り石のうち石皿(?)を転用した可能性あり
5539	S I 101	床面直上	台石	430.0	390.0	150.0	42,900.00	—	—	
5540	S I 101	床面直上	台石	525.0	430.0	150.0	41,500.00	—	—	
5541	S I 103	北西側埋土	台石	(200.0)	(165.0)	(40.0)	1,449.62	U3	II A	被熱痕有り
5542	S K19	南半埋土下位	台石	(115.0)	(80.0)	37.0	525.16	E	II A	
5543	S K104	埋土	台石	(37.0)	(69.0)	(48.0)	230.55	H1	A	破片
5544	S XW15・16	下層	台石	190.0	155.0	45.0	2,732.70	F	II A	
5545	S W08	北側	台石	(150.0)	(110.0)	45.0	1,283.35	J	II A	
5546	II C 7 c	包含層下位	台石	(146.0)	140.0	55.0	2,046.12	P1	II A	
5547	II D 2 e	II層	台石	(180.0)	(140.0)	58.0	2,577.20	J	II A	
5548	III C 7 d	II層下位検出面	台石	(145.0)	(122.0)	38.0	1,109.02	P1	II A	
5549	III D10 b	II層	台石	(195.0)	110.0	100.0	3,808.53	U2	II A	浅い窪み
5550	IV C 4 f	II層	台石	(115.0)	(100.0)	(84.0)	1,271.29	P1	I	破片
5551	IV C 6 b	II層	台石	(145.0)	(123.0)	(40.0)	791.36	O	II A	被熱痕有り、煤付着
5552	IV C 6 c	II層	台石	(170.0)	(90.0)	(44.0)	990.44	H1	II A	被熱痕有り、煤付着
5553	IV C 6 e	II層	台石	(190.0)	(131.0)	(43.0)	1,515.64	U2	II B	被熱痕有り
5554	IV C 6 c	II層	台石	(115.0)	(95.0)	(34.0)	451.68	H1	B	破片
5555	IV C 6 e	II層	台石	(185.0)	(190.0)	(36.0)	2,052.50	II	II B	
5556	IV C 6 f	II層	台石	(140.0)	(170.0)	(80.0)	3,149.00	P1	I B	
5557	不明	床面直上	台石	(190.0)	(95.0)	(56.0)	1,583.97	P1	I B	被熱痕有り
5558	進入路斜面	表土掘削時	石臼	200.0	(100.0)	130.0	3,405.20	H2	I A	約半分欠損、芯棒の痕跡あり、卸し目複数単位での分割
5559	S I 13	南西1/4埋土中位暗褐色土	砥石	(107.0)	(60.0)	42.0	272.65	U5	I A	両面に溝有り
5560	S I 13	北西埋土上位2/4黒褐色土	砥石	(133.0)	(80.0)	28.0	(224.24)	Z4	I	両端に打ち欠き
5561	S I 31	南東1/4部埋土下部	砥石	(63.0)	(73.0)	(45.0)	133.60	U5	—	破片
5562	S I 81	炉北東埋土	砥石	(106.0)	(62.0)	(40.0)	216.60	U5	A	破片
5563	S I 115	ベルトB-B' 2層	砥石	(145.0)	(115.0)	27.0	672.11	U5	A	片面緩く窪む
5564	S K32	西半埋土上位	砥石	(140.0)	103.0	93.0	1,855.38	K	II A	二面溝有り
5565	T 4	II層	砥石	(45.0)	40.0	22.0	54.19	K	II	片面に擦痕有り

第33表 石器掲載一覧表

図版 No.	写図 No.	掲載 No.	出土地点	器種	図版 No.	写図 No.	掲載 No.	出土地点	器種	図版 No.	写図 No.	掲載 No.	出土地点	器種
469	337	2302	S I 03	石鏃	471	338	2912	S I 91	石鏃	476	340	4531	S I 34	磨製石斧
469	337	2312	S I 12	石鏃	471	338	2913	S I 92	石鏃	476	340	4536	S I 52	磨製石斧
469	337	2313	S I 12	石鏃	471	338	2914	S K I 10	石鏃	476	341	4543	S I 64	磨製石斧
469	337	2314	S I 12	石鏃	471	338	2921	II C 8 d	石鏃	477	341	4545	S I 71	磨製石斧
469	337	2315	S I 12	石鏃	471	338	2924	II C 9 d	石鏃	477	341	4546	S I 71	磨製石斧
469	337	2316	S I 13	石鏃	471	338	2928	III C 1 d	石鏃	477	341	4549	S I 72	磨製石斧
469	337	2318	S I 13	石鏃	471	338	2941	T 7	石鏃	477	341	4551	S I 72	磨製石斧
469	337	2319	S I 13	石鏃	471	338	2944	S I 13	石匙	477	341	4553	S I 73	磨製石斧
469	337	2320	S I 13	石鏃	471	338	2945	S I 18	石匙	477	341	4555	S I 80	磨製石斧
469	337	2321	S I 13	石鏃	471	338	2946	S I 18	石匙	478	341	4556	S I 80	磨製石斧
469	337	2322	S I 13	石鏃	471	338	2947	S I 18	石匙	478	341	4557	S I 80	磨製石斧
469	337	2323	S I 13	石鏃	471	338	2948	S I 20	石匙	478	342	4558	S I 81	磨製石斧
469	337	2324	S I 13	石鏃	471	338	2949	S I 24	石匙	478	342	4559	S I 82	磨製石斧
469	337	2327	S I 18	石鏃	472	338	2956	S I 49	石匙	478	342	4560	S I 86	磨製石斧
469	337	2328	S I 18	石鏃	472	338	2957	S I 53	石匙	478	342	4562	S I 86	磨製石斧
469	337	2329	S I 18	石鏃	472	338	2961	S I 80	石匙	478	342	4564	S I 88	磨製石斧
469	337	2330	S I 18	石鏃	472	338	2963	S I 82	石匙	479	342	4566	S I 96	磨製石斧
469	337	2331	S I 18	石鏃	472	338	2965	S I 91	石匙	479	342	4567	S I 101	磨製石斧
469	337	2334	S I 19	石鏃	472	338	2967	S I 96	石匙	479	342	4609	IV C 2 d	磨製石斧
469	337	2335	S I 19	石鏃	472	338	2968	S I 101	石匙	479	342	4612	IV C 4 i	磨製石斧
469	337	2336	S I 19	石鏃	472	338	2969	S I 102	石匙	479	342	4629	S I 60	石鏃
469	337	2337	S I 19	石鏃	472	338	2970	S I 108	石匙	479	343	4649	S I 35	磨石A
469	337	2340	S I 20	石鏃	472	338	2972	S I 113	石匙	480	343	4650	S I 35	磨石A
469	337	2345	S I 24	石鏃	472	338	2975	S I 116	石匙	480	343	4714	S I 71	磨石A
469	337	2346	S I 24	石鏃	472	338	2979	S K 29	石匙	480	343	4744	S I 75	磨石A
469	337	2347	S I 24	石鏃	472	339	2982	S K 142	石匙	480	343	4745	S I 75	磨石A
469	337	2353	S I 30	石鏃	472	339	2985	II C 1 e	石匙	480	343	4758	S I 78	磨石A
469	337	2363	S I 35	石鏃	472	339	2991	II C 7 c	石匙	480	343	4796	S I 95	磨石A
469	337	2365	S I 35	石鏃	472	339	2995	II C 7 d	石匙	481	343	4810	S I 112	磨石A
469	337	2366	S I 36	石鏃	473	339	2997	II C 7 e	石匙	481	344	4942	S I 01	磨石B
469	337	2375	S I 39	石鏃	473	339	3005	II C 9 c	石匙	481	344	4943	S I 03	磨石B
469	337	2395	S I 44	石鏃	473	339	3006	II C 9 c	石匙	481	344	4944	S I 03	磨石B
469	337	2424	S I 60	石鏃	473	339	3007	II C 9 c	石匙	481	344	4958	S I 13	磨石B
469	337	2438	S I 70	石鏃	473	339	3008	II C 9 c	石匙	482	344	4959	S I 13	磨石B
469	337	2445	S I 73	石鏃	473	339	3011	II C 9 d	石匙	482	344	4986	S I 31	磨石B
469	337	2450	S I 78	石鏃	473	339	3012	II C 9 d	石匙	482	344	5043	S I 86	磨石B
469	337	2452	S I 82	石鏃	473	339	3018	II C 10 b	石匙	482	344	5064	S I 95	磨石B
469	337	2459	S I 86	石鏃	473	339	3026	III B 7 i	石匙	483	345	5110	S K 147	磨石B
469	337	2469	S I 102	石鏃	473	339	3035	III C 3 a	石匙	483	345	5335	S I 24	敲石
469	337	2474	S I 106	石鏃	474	339	3054	S I 113	石鏃	483	345	5337	S I 25-PP4	敲石
470	337	2495	S K I 10	石鏃	474	339	3065	III B 5 j	石鏃	483	345	5341	S I 35	敲石
470	337	2507	S K 108	石鏃	474	339	3077	S I 03	兩極石器	483	345	5353	S I 71	敲石
470	337	2514	S X 07	石鏃	474	339	3078	S I 03	兩極石器	484	345	5354	S I 72	敲石
470	337	2531	II C 7 b	石鏃	474	339	3080	S I 12	兩極石器	484	345	5368	S K 03	敲石
470	337	2537	II C 7 c	石鏃	474	339	3083	S I 13	兩極石器	484	345	5386	IV B 3 h	敲石
470	337	2543	II C 7 d	石鏃	474	339	3084	S I 15	兩極石器	484	346	5388	IV B 5 j	敲石
470	337	2547	II C 7 e	石鏃	474	339	3091	S I 31	兩極石器	484	346	5403	S I 13	凹石
470	337	2563	II C 8 d	石鏃	474	339	3092	S I 31	兩極石器	484	346	5404	S I 14	凹石
470	337	2564	II C 8 d	石鏃	474	339	3098	S I 34	兩極石器	485	346	5405	S I 14	凹石
470	337	2565	II C 8 d	石鏃	474	339	3106	S I 39	兩極石器	485	346	5406	S I 15	凹石
470	337	2568	II C 8 d	石鏃	474	339	3147	S I 73	兩極石器	485	346	5407	S I 24	凹石
470	337	2572	II C 8 e	石鏃	474	339	3148	S I 75	兩極石器	485	346	5414	S I 49	凹石
470	337	2574	II C 9 a	石鏃	474	339	3307	S I 37	不定形石器	485	346	5415	S I 50	凹石
470	337	2579	II C 9 c	石鏃	474	339	3337	S I 53	不定形石器	485	346	5416	S I 57	凹石
470	337	2580	II C 9 c	石鏃	474	339	3356	S I 61	不定形石器	486	347	5421	S I 61	凹石
470	337	2583	II C 9 c	石鏃	475	339	3361	S I 62	不定形石器	486	347	5422	S I 64	凹石
470	337	2590	II C 10 a	石鏃	475	340	3371	S I 72	不定形石器	486	347	5425	S I 71	凹石
470	337	2594	II C 10 b	石鏃	475	340	3373	S I 74	不定形石器	486	347	5429	S I 72	凹石
470	337	2603	II C 10 c	石鏃	475	340	3388	S I 82	不定形石器	486	347	5431	S I 74	凹石
470	337	2619	II D 2 d	石鏃	475	340	3394	S I 86	不定形石器	486	347	5434	S I 82	凹石
470	337	2624	III B 2 j	石鏃	475	340	3407	S I 89・93	不定形石器	486	347	5442	S I 88	凹石
470	337	2634	III B 3 j	石鏃	475	340	3434	S I 115	不定形石器	487	347	5443	S I 92	凹石
470	338	2636	III B 4・5 i j	石鏃	475	340	4440	S I 15	剥片	487	347	5444	S I 102	凹石
470	338	2662	III C 1 a	石鏃	475	340	4441	S I 15	剥片	487	347	5448	S I 113	凹石
470	338	2666	III C 1 a	石鏃	475	340	4442	S I 15	剥片	487	347	5449	S I 113	凹石
470	338	2673	III C 1 c	石鏃	475	340	4443	S I 75	剥片	487	347	5454	II C 8 c	凹石
470	338	2714	III C 9 j	石鏃	475	340	4444	S I 75	剥片	487	348	5458	II C 10 a	凹石
470	338	2845	S I 74	尖頭器様石器	475	340	4445	S I 75	剥片	487	348	5462	III B 5 j	凹石
470	338	2851	S K 91	尖頭器様石器	476	340	4446	S I 75	剥片	487	348	5463	III C 1 b	凹石
470	338	2897	S I 13	石鏃	476	340	4447	S I 75	剥片	487	348	5467	III C 9 j	凹石
470	338	2898	S I 34	石鏃	476	340	4448	S I 75	剥片	488	348	5480	IV C 5 f	凹石
470	338	2899	S I 44	石鏃	476	340	4449	S I 10	異形石器	488	348	5499	S I 78	石皿
470	338	2900	S I 53	石鏃	476	340	4450	S I 13	異形石器	488	348	5501	S I 82	石皿
471	338	2902	S I 61	石鏃	476	340	4451	S I 33	異形石器	489	349	5505	S I 97	石皿
471	338	2904	S I 71	石鏃	476	340	4452	S I 46	異形石器	490	350	5506	S I 101	石皿
471	338	2905	S I 72	石鏃	476	340	4453	II C 8・9 b	異形石器	490	350	5507	S I 102	石皿
471	338	2906	S I 77	石鏃	476	340	4454	II C 10 d	異形石器	490	350	5508	S I 105	石皿
471	338	2907	S I 78	石鏃	476	340	4455	III B 7 h	異形石器					
471	338	2911	S I 88	石鏃	476	340	4456	IV C 5 g	異形石器					

第34表 石製品観察表（1）

（数値）：残存値

図版 No	写図 No	掲載 No	出土地点	層位	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石材	備考
491	351	5701	S I 13	床上S No 1	石棒	(465.0)	(200.0)	(160.0)	19,301.30	N2	断面円形
—	—	5702	S I 13	南東1/4埋土中位、暗褐色土	石棒	(102.4)	(54.0)	(18.0)	100.13	S4	頭部あり、溝あり、被熱
—	—	5703	S I 13	南東1/4埋土下位	石棒	(340.0)	(100.0)	70.0	3,864.50	H1	断面多角形、被熱
—	—	5704	S I 34	北東③埋土下位	石棒	(105.0)	(95.0)	(87.0)	1,168.78	S4	断面、円形、片面に敲打痕あり、被熱あり
—	—	5705	S I 39	北東埋土	石棒	(100.0)	(95.0)	(75.0)	995.95	S4	断面、円形、敲打痕あり
—	—	5706	S I 61	①埋土上位	石棒	(200.0)	(170.0)	(160.0)	8.6kg	H1	断面、円形、頭部
—	—	5707	S I 75	北西埋土中位	石棒	340.0	160.0	140.0	12kg	N1	断面、多角形
491	351	5708	S I 80	Q S E埋土下部	石棒	(285.0)	(125.0)	(95.0)	7,146.60	G1	断面、多角形、頭部に浅い窪み円形、敲打痕あり
492	351	5709	S I 97	石製品	石棒	(300.5)	(110.0)	(80.0)	3,758.80	S4	断面、多角形、頭部（溝あり）
492	351	5710	S I 97	礫No 2	石棒	(215.0)	(125.0)	(90.0)	3,453.50	S4	断面、多角形
—	—	5711	II C 10 a	包含層アゼ下位	石棒	270.0	125.0	88.0	4,920.00	N2	断面円形、片面に敲打痕
—	—	5712	A区(ⅢD10c付近)	東端、表採	石棒	(133.0)	(160.0)	(115.0)	4,407.20	H2	断面円形、片面に敲打痕
—	—	5713	IV C 4 f	Ⅱ層	石棒	(170.0)	(110.0)	(95.0)	2,044.30	S4	断面、円形、敲打痕あり
—	—	5714	IV C 6 f	Ⅱ層	石棒	(140.0)	(100.0)	(95.0)	1,712.70	S4	断面、多角形、敲打痕あり
492	351	5715	S I 106	ベルトB-B' 2層	小型石棒	(55.0)	8.0	7.0	4.60	T2	断面、円形、頭部あり
492	351	5716	S I 12	北東埋土上～中位	石剣	(60.0)	22.0	14.0	30.91	T2	破片
493	352	5717	S I 13	ベルトB-B' 2層	石剣	(117.0)	(23.0)	(10.0)	37.77	T2	未成品？
—	—	5718	S I 74	QNW埋土	石剣	(29.0)	(19.0)	(6.0)	4.57	Z2	破片
—	—	5719	S I 75	南東埋土下位	石剣	(70.0)	(23.0)	(10.0)	20.99	T2	破片
493	352	5720	S I 88	Q S W埋土中～下部	石剣	(240.0)	(35.0)	(11.0)	167.71	Z2	先端部あり、未製品？
—	—	5721	S K I 104	埋土	石剣	(21.0)	(27.0)	(7.0)	3.65	T2	破片
493	352	5722	S K 71	東半埋土3層	石剣？	(141.0)	37.0	19.0	158.79	T2	未成品？
—	—	5723	S X 07	ベルトD-D' 1層	石剣？	—	—	—	2.48	—	—
493	352	5724	II C 6 c	Ⅱ層	石剣	(94.0)	40.0	(20.0)	71.79	Z2	破片
493	352	5725	II C 7・8 a	包含層アゼ上位	石剣	(100.0)	18.0	10.0	22.70	T2	先端部あり、未成品？
493	352	5726	II C 7 b c	包含層中位	石剣	(87.0)	40.0	15.0	81.15	Z2	破片
493	352	5727	II C 7 e	Ⅱ層	石剣	(113.0)	(25.0)	(16.0)	60.27	T2	破片
493	352	5728	II C 7 e	東西アゼ6層	石剣	(130.0)	22.0	15.0	70.36	Z2	先端部あり、未成品？
—	—	5729	II C 8 b. c	包含層アゼ中位	石剣	(57.0)	(17.0)	5.0	4.17	T2	破片
493	352	5730	II C 8 c	Ⅱ層	石剣	106.0	24.0	5.0	23.21	Z2	両端尖、未成品？
—	—	5731	II C 8 d	Ⅱ層	石剣	(34.0)	(10.0)	8.0	3.17	Z2	破片
493	352	5732	II C 8 d	Ⅱ層	石剣	(137.0)	23.0	11.0	44.30	Z2	先端部あり
—	—	5733	II C 8 d	Ⅱ層	石剣	(76.0)	19.0	6.0	9.66	Z2	先端部あり、未成品？
—	—	5734	II C 8 d	Ⅱ層	石剣	(85.0)	18.0	5.0	12.31	T2	未成品？
494	352	5735	II C 8 d	Ⅱ層	石剣	(222.0)	28.0	12.0	107.69	Z2	先端部あり
—	—	5736	II C 8 d	包含層アゼ下位	石剣	(82.0)	(22.0)	(6.0)	13.89	T2	破片
494	352	5737	II C 8 e	Ⅱ層	石剣	(172.0)	30.0	15.0	129.74	T2	未成品？
—	—	5738	II C 9 b	Ⅱ層	石剣	(50.0)	(16.0)	(5.0)	6.82	T2	破片
—	—	5739	II C 9 b	Ⅱ層	石剣	(62.0)	(23.0)	(6.0)	11.85	T2	破片
494	353	5740	II C 9 c	Ⅱ層	石剣	(119.0)	(25.0)	18.0	85.16	T2	先端部あり
494	353	5741	II C 9 c	Ⅱ層	石剣	(190.0)	29.0	14.0	105.29	Z2	先端部あり
494	353	5742	II C 9 c	Ⅱ層	石剣	(258.0)	29.0	14.5	187.29	Z2	一端を欠く
494	353	5743	II C 9・10 c	包含層アゼ上位	石剣	(54.0)	20.0	10.0	12.54	Z2	先端部あり
—	—	5744	II C 9 d	Ⅱ層	石剣	(47.0)	(26.0)	(10.0)	12.66	T2	破片
—	—	5745	II C 10 b c	包含層アゼ上位	石剣	(80.0)	(8.0)	(13.0)	10.59	T2	破片
—	—	5746	II C 10 c	包含層アゼ中位	石剣	(34.0)	33.0	(9.0)	12.86	T2	破片
—	—	5747	II C 10 c	包含層アゼ中位	石剣	(50.0)	33.0	(13.0)	30.02	Z2	破片
—	—	5748	II C 10 c	東北ベルト埋土上位	石剣	(117.0)	32.0	20.0	82.62	Z2	先端部あり、未成品？
—	—	5749	II C 10 d	南北ベルト埋土中位	石剣	(71.0)	26.0	20.0	26.84	Z2	破片
494	353	5750	Ⅲ B 1 j	包含層下位	石剣	(172.0)	24.0	15.0	101.84	Z2	先端部あり
—	—	5751	Ⅲ B 2 j	包含層上～中位	石剣	(60.0)	33.0	13.0	45.05	T2	破片
—	—	5752	Ⅲ B 3 j	Ⅱ層（～焼土検出面）	石剣	(59.0)	(23.0)	(8.0)	16.98	T2	破片
495	353	5753	Ⅲ B 5 j	Ⅱ層	石剣	(85.0)	31.0	9.0	38.94	Z2	先端部あり
—	—	5754	Ⅲ B 6 i	Ⅱ層	石剣	(81.0)	30.0	(11.0)	29.20	Z2	破片
—	—	5755	Ⅲ C 1 c	包含層中位	石剣	(145.0)	25.0	13.0	73.04	Z2	先端欠く
—	—	5756	Ⅲ D 8 e	Ⅱ層？	石剣	(122.0)	22.0	(12.0)	56.95	T2	先端欠く
—	—	5757	Ⅲ C 9 h	Ⅱ層	石剣	(155.0)	(55.0)	21.0	239.07	Z3	未成品
—	—	5758	Ⅲ C 8 j	Ⅱ層	石剣	(36.0)	(19.0)	(6.0)	4.79	Z2	破片
—	—	5759	Ⅲ C 9 d	Ⅱ層	石剣	(44.0)	(32.0)	(17.0)	19.86	T2	破片
495	353	5760	IV B 1 g	Ⅱ層	石剣	(195.0)	(25.0)	(10.0)	66.50	Z2	先端部あり
—	—	5761	IV B 1 j	Ⅱ層	石剣	(42.0)	(21.0)	(5.0)	6.47	Z2	破片
—	—	5762	IV C 1 j	Ⅱ層	石剣	(44.0)	(35.0)	(9.0)	15.75	T2	破片
—	—	5763	IV C 3 g	Ⅱ層	石剣	(111.0)	(23.0)	(8.0)	27.88	Z2	先端部あり
—	—	5764	IV C 4 i	Ⅱ層	石剣	(77.0)	(36.0)	(14.0)	44.72	T2	破片
—	—	5765	IV C 4 j	Ⅱ層	石剣	(44.0)	(24.0)	(19.0)	13.82	Z2	破片
—	—	5766	IV C 5 d	Ⅱ層	石剣	(160.0)	(19.0)	(9.0)	40.19	T2	先端部あり
495	353	5767	B区	不明	石剣	252.0	28.0	16.0	175.55	Z2	先端部あり
495	353	5768	S I 03	北西埋土下位	垂飾品	26.0	17.0	15.0	9.62	b	貫通孔1
495	353	5769	S I 03	北西区埋土中位	垂飾品	(28.0)	25.0	5.0	5.56	b	貫通孔1
495	353	5770	S I 61	南埋土上位	垂飾品	(39.0)	(19.0)	(6.0)	5.63	T2	貫通孔1、同一個体の破片あり
495	353	5771	S I 71	ベルトA-A' 8層	垂飾品	(116.0)	(15.0)	(14.5)	29.11	T2	長軸方向に貫通孔あり、面取りあり
495	354	5772	II C 9 b	Ⅱ層	垂飾品	(65.0)	(22.0)	(5.0)	10.94	T2	貫通孔1
496	354	5773	Ⅲ C 3 a	Ⅱ層	垂飾品	(73.0)	(12.0)	(7.0)	7.41	T2	貫通孔1？
496	354	5774	S I 04	北西埋土	珠状耳飾	18.0	17.0	4.0	2.30	b	貫通孔1、溝1
496	354	5775	S I 35	南西埋土下位	珠状耳飾	(22.0)	(15.0)	(2.0)	1.03	T2	貫通孔1
496	354	5776	S I 61	北埋土上位	珠状耳飾	(42.0)	(17.0)	(5.0)	5.16	b	貫通孔1
496	354	5777	S I 82	南東埋土下位	珠状耳飾	(31.0)	(21.0)	(5.5)	4.19	b	貫通孔1
496	354	5778	II C 5 d e	Ⅱ層	珠状耳飾	37.0	(21.0)	6.0	5.53	b	貫通孔1

第34表 石製品観察表(2)

(数値): 残存値

図版 No.	写真 No.	掲載 No.	出土地点	層位	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石材	備考
496	354	5779	II C 9 a	包含層中～下位	球状耳飾	(42.0)	(18.0)	6.0	7.04	b	補修孔2
496	354	5780	II C 9・10 c	包含層下位	球状耳飾	37.0	37.0	4.0	11.70	b	貫通孔1
496	354	5781	II C 10 d	包含層下位	球状耳飾	(43.0)	(18.0)	5.0	5.85	b	貫通孔1
496	354	5782	III C 1 a	II層	球状耳飾	(30.0)	(14.0)	5.0	2.51	b	貫通孔1
496	354	5783	III C 2 b	包含層中～下位	球状耳飾	22.0	25.0	5.0	4.46	b	貫通孔1
496	354	5784	IV C 4 j	II層	球状耳飾	(59.5)	(19.0)	(6.0)	14.05	b	貫通孔1
496	354	5785	IV C 5 g	II層	球状耳飾	41.0	32.0	7.0	11.08	b	貫通孔1
496	354	5786	IV D 2 a	II層	球状耳飾	(33.0)	(21.0)	(5.0)	2.89	T2	貫通孔1
496	354	5787	S I 34	北西埋土⑤下位	磨製石斧 (ミニチュア)	(42.0)	(24.0)	(8.0)	13.19	W1	バチ形、刃部に剥離あり 基部欠損
496	354	5788	S I 37	東西アゼ5層	磨製石斧 (ミニチュア)	(42.0)	19.0	8.0	9.54	T2	バチ形、刃部に剥離あり
496	354	5789	S I 61④	埋土下位	磨製石斧 (ミニチュア)	(45.0)	23.5	11.0	20.41	W1	短冊形、基部欠損
496	354	5790	S I 61④	埋土上～中位	磨製石斧 (ミニチュア)	42.0	22.0	9.0	15.39	Z2	短冊形、刃部再調整
496	354	5791	S I 82①	埋土上～中位	磨製石斧 (ミニチュア)	(35.5)	(19.0)	(9.0)	10.89	W1	短冊形、基部欠損
496	354	5792	S I 88	床面直上	磨製石斧 (ミニチュア)	(37.0)	(25.0)	(13.0)	17.31	W1	バチ形?、刃部欠損
—	—	5793	III B 10 j	表土～II層	磨製石斧 (ミニチュア)	41.0	22.0	9.0	12.58	W1	短冊形
—	—	5794	IV C 5 a	II層	磨製石斧 (ミニチュア)	(28.0)	(21.0)	(6.0)	6.04	T2	バチ形、基部欠損
496	354	5795	S I 13	北東埋土1/4上位、暗褐色土	磨製石斧 (ミニチュア)	38.0	16.0	7.0	7.68	T2	刃部に剥離あり、短冊形
496	354	5796	S K 05	第一次精査	磨製石斧 (ミニチュア)	(35.0)	(12.0)	(8.0)	4.59	A	刃部欠損
497	354	5797	II C 9 c	包含層下位	磨製石斧 (ミニチュア)	(58.0)	(30.0)	8.0	23.15	Z2	刃部に剥離あり、短冊形
497	354	5798	III D 8 a	I層	磨製石斧 (ミニチュア)	46.0	33.0	10.0	27.64	S2	刃部に剥離あり、バチ形
497	354	5799	T 7	排土	磨製石斧 (ミニチュア)	68.0	34.0	12.0	43.11	T2	バチ形
497	354	5800	S I 46	埋土中位	板状石製品	86.0	16.0	4.0	11.73	T2	板状、両面に擦痕
497	354	5801	S I 102	北東側埋土中位	板状石製品	43.0	(25.0)	4.0	6.01	Z2	垂飾品素材?
497	354	5802	S I 114	不明	板状石製品	(37.0)	(27.0)	(3.0)	3.46	T2	破片、貫通孔1
497	355	5803	III C 1 a	包含層上位	板状石製品	54.0	38.0	6.0	19.35	Z2	楕円形、片面線刻
497	355	5804	III C 1 a～1 c	II層	板状石製品	(38.0)	34.0	8.0	15.22	J	方形、両面に擦痕
497	355	5805	IV C 9 a	II層上位	板状石製品	54.0	53.0	3.0	11.10	T2	四角形、貫通孔1
497	355	5806	IV C 9 a	II層上位	板状石製品	58.0	(53.0)	3.0	12.31	T2	四角形、貫通孔1
497	355	5807	S I 19	NW	男根状石製品	105.0	51.0	42.0	167.83	X1	先端に刻みあり、複数面に敲打痕
497	355	5808	S I 34	北西埋土⑥下位	棒状石製品	(63.0)	(13.0)	(11.0)	10.06	T2	破片
497	355	5809	S I 104	石囲炉塚方、西側埋土	棒状石製品	(90.5)	(15.0)	(9.0)	11.81	T2	断面、多角形
497	355	5810	II C 9 d	南北ベルト埋土下位	石製品	(50.0)	16.0	7.0	7.89	T2	棒状?
—	—	5811	III C 10 b	II層	石製模造品	49.5	23.0	5.0	8.76	S2	涙目状、両面に擦痕
—	—	5812	III D 10 b	II層	綿刻礫	67.0	63.0	13.0	63.47	b	両面に線刻あり
498	355	5813	S I 104	礫配置遺構、礫1	円礫	270.0	225.0	190.0	16,200.00	N1	
498	355	5814	S I 104	礫配置遺構、礫2	円礫	210.0	180.0	183.0	9,400.00	N1	
—	—	5815	S I 03	ベルトA-A' 1層	軽石	47.0	34.0	30.0	3.61	K1	自然
—	—	5816	S I 13	ベルトB-B' 2層	軽石	87.0	75.0	(38.0)	30.78	K1	自然
—	—	5817	T 12	I～II層	軽石	65.0	65.0	37.0	51.14	K2	自然
—	—	5818	II C 7 e	II層	軽石	57.0	41.0	18.0	7.02	K1	自然
498	355	5819	II C 8 d	包含層下位	軽石	49.0	70.0	14.0	10.60	K1	貫通孔1(垂飾品)、楕円
—	—	5820	II C 9 a・b	包含層アゼ中位	軽石	75.0	51.0	13.0	16.48	K1	楕円形、片面線刻
—	—	5821	II C 9・10 b	包含層アゼ中位	軽石	33.0	41.0	9.0	2.89	K1	楕円?
—	—	5822	II C 9 c	II層	軽石	62.0	(32.0)	11.0	5.60	K1	楕円?
—	—	5823	II C 10 b・c	包含層中位	軽石	(79.0)	36.0	(12.0)	—	K1	楕円?
—	—	5824	II C 10 c	II層	軽石	(18.0)	(16.0)	9.0	0.39	K1	破片
498	355	5825	II C 10 c	II層	軽石	50.0	50.0	13.0	4.72	K1	三角形
—	—	5826	II C 10 c	II層	軽石	72.0	54.0	16.0	12.85	K1	不定形
—	—	5827	III B 7 i	II層	軽石	43.0	35.0	(15.0)	5.90	K1	破片
—	—	5828	III C 1 b	包含層中～下位(焼土混じる)	軽石	65.0	55.0	12.0	8.05	K1	楕円
—	—	5829	II C 7 d	II層	軽石	58.0	43.0	10.0	6.11	K1	楕円?
—	—	5830	C区	尾根部検出時、IV層	軽石	49.0	37.0	28.0	8.86	K1	円形
—	—	5831	II C 10 b	包含層中位	軽石	(22.0)	(16.0)	11.0	0.96	K1	破片
—	—	5832	III B 7 i	II層	軽石	(35.0)	(20.0)	10.0	1.51	K1	破片
—	—	5833	II C 10 b c	ベルト埋土上位	軽石	(18.0)	(14.0)	(9.0)	—	K1	破片
—	—	5834	S I 18	周辺	軽石	(68.0)	66.0	21.0	81.11	K2	板状
—	—	5835	S I 39	東西アゼ3層	軽石	(42.0)	(44.0)	(14.0)	11.82	K2	破片
—	—	5836	S I 44	北西埋土1層	軽石	(30.0)	(22.0)	(8.0)	1.00	K1	破片
—	—	5837	S I 58	西埋土上位	軽石	(34.0)	(24.0)	(20.0)	2.74	K1	破片
—	—	5838	S I 61④	埋土中位	軽石	92.0	(67.0)	19.0	16.21	K1	三角形?
—	—	5839	S I 86	北東埋土上位	軽石	(45.0)	(50.0)	(17.0)	4.46	K1	破片
—	—	5840	S I 88	Q S W埋土下部	軽石	(109.0)	(76.0)	(67.0)	80.49	K1	破片
—	—	5841	S I 105	北東埋土	軽石	(96.0)	(67.0)	(56.0)	78.95	K2	破片
—	—	5842	S I 106	北東埋土	軽石	(84.0)	(72.0)	(76.0)	202.93	C2	破片
—	—	5843	III C 9 e	II層	軽石	(85.0)	(41.0)	(29.0)	69.54	C2	破片、片面平坦
—	—	5844	IV B 1 h	II層	軽石	(65.0)	(40.0)	(23.0)	43.15	C2	破片
—	—	5845	IV C 4 i	II層	軽石	(42.0)	(42.0)	(16.0)	3.13	K1	破片
—	—	5846	T 1019	表土下110～13cm、黒褐色土	軽石	(53.0)	(40.0)	(18.0)	28.13	K2	破片
—	—	5847	不明	不明	軽石	(22.0)	(38.0)	(20.0)	9.07	K1	円形

## 2 出土遺物

第35表 金属製品観察表

(数値) : 残存値

図版 No	写図 No	掲載 No	出土地点	層位	種別	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	材質	備考
499	356	6001	S I 41	埋土上位	鉄鏃?	(80.0)	11.0	7.0	14.74	鉄	断面長方形
499	356	6002	S K 99	西半埋土上位	鉄鏃	(85.0)	30.0	5.0	21.85	鉄	柳葉式
499	356	6003	S I 74	埋土下部	鞘尻	50.0	43.0	17.5	31.61	鉄	8 C前半?
499	356	6004	S X 10	ベルトB-B' 4層	留金具	(23.0)	6.5	2.0	1.31	鉄	屈曲あり、環状? 貴金具、留金具
499	356	6005	S X 10	ベルトA-A' 2層	留金具	(15.0)	6.0	2.0	1.10	鉄	屈曲あり、環状? 貴金具、留金具
499	356	6006	S I 48	埋土グリッドC地点	鋤鍬先	69.0	27.0	6.0	21.58	鉄	
499	356	6007	S I 52	南半埋土	鋤鍬先	(110.0)	(55.0)	10.0	50.92	鉄	
499	356	6008	S I 74	埋土	鋤鍬先	(58.0)	20.0	3.0	7.39	鉄	鋤鍬先の割れたもの
499	356	6009	S X 11	北ベルト埋土7層	鋤鍬先	(76.0)	26.0	3.5	16.04	鉄	
499	356	6010	S I 29	ベルト北1層下位	鎌	(102.0)	28.0	4.5	20.90	鉄	
499	356	6011	S X I 05	ベルトA-A' 2層	穂積具	58.0	18.0	3.0	8.11	鉄	手鎌
499	356	6012	S I 42	WEベルト中央2層	刀子	(132.0)	15.0	5.0	17.64	鉄	刃部欠損
499	356	6013	S I 48	ベルトA-A' アゼ西側埋土2層	刀子	(116.0)	14.0	4.5	10.47	鉄	木質部付着、柄?
499	356	6014	S I 50	埋土上位	刀子	(43.0)	10.0	3.0	2.63	鉄	茎?
499	356	6015	S I 74	Q S E埋土	刀子	(65.0)	13.0	3.0	4.72	鉄	頭身部
500	356	6016	S X I 05	ベルトA-A' 2層	刀子	(96.0)	21.0	4.0	11.76	鉄	柄、先端に屈曲あり
500	356	6017	S X 07-2②	貝層	刀子	166.0	19.0	4.5	18.41	鉄	
500	356	6018	S X 07-2②	貝層	刀子	(42.0)	13.0	3.0	3.86	鉄	茎部
500	356	6019	S X 07-2④	貝層	刀子	(47.0)	11.0	4.5	7.59	鉄	茎部
500	356	6020	C区北東側段	I層	煙管	(27.5)	9.5	9.5	2.77	銅	吸い口、肩部
500	356	6021	S X 10	北東貝層中	楔	55.5	17.0	8.0	21.58	鉄	
500	356	6022	S I 105	北東埋土	釘	(37.0)	6.0	4.5	2.81	鉄	断面長方形
500	356	6023	S K 23	埋土	釘	(60.0)	17.0	7.0	7.88	鉄	木質部付着、断面方形
500	357	6024	S K 23	埋土	釘	(28.5)	11.0	6.0	6.40	鉄	木質部付着、折頭式、断面長方形
500	357	6025	S K 23	埋土	釘	(88.0)	12.0	5.0	12.30	鉄	木質部付着、折頭式、断面長方形
500	357	6026	S K 23	埋土	釘	(41.0)	12.0	8.0	3.28	鉄	木質部付着、断面長方形
500	357	6027	S K 23	埋土	釘	62.0	12.0	(6.0)	11.46	鉄	木質部付着、折頭式、先端屈曲
500	357	6028	S K 23	埋土	釘	(50.0)	13.0	5.0	11.45	鉄	木質部付着、折頭式、断面長方形
500	357	6029	S K 23	埋土	釘	(37.0)	27.0	9.0	9.07	鉄	木質部付着、断面長方形
500	357	6030	S K 23	埋土	釘	92.0	9.0	4.5	11.78	鉄	折頭式、断面長方形
500	357	6031	S K 23	埋土	釘	(144.0)	18.0	6.0	62.40	鉄	折頭式、断面長方形
500	357	6032	S K 23	埋土	釘	(111.0)	14.0	(6.0)	19.29	鉄	折頭式、断面長方形
500	357	6033	S K 23	埋土	釘	(116.0)	(13.0)	(4.0)	18.67	鉄	折頭式、断面長方形
500	357	6034	S K 23	埋土	釘	(70.0)	10.0	5.0	9.79	鉄	折頭式、断面長方形
500	357	6035	S K 23	埋土	釘	120.0	13.0	4.5	25.22	鉄	折頭式、断面長方形
500	357	6036	S K 23?	埋土	釘	120.0	13.0	5.5	24.54	鉄	折頭式、断面長方形
501	357	6037	S X I 05	南西埋土2層	釘	(58.0)	6.0	6.0	5.24	鉄	断面長方形?
501	357	6038	S X 07-4	N S トレンチ	釘	(32.0)	5.0	5.0	2.17	鉄	断面長方形
501	357	6039	S X 07-4	N S トレンチ	釘	(40.0)	7.0	4.5	3.99	鉄	折頭式、断面長方形
501	357	6040	IV B 3 i S X 07-4	貝層	釘	(44.0)	11.0	4.5	9.39	鉄	折頭式、断面長方形
501	357	6041	S X 07-1④	貝層	釘	(50.0)	10.0	6.0	8.16	鉄	折頭式、断面長方形、屈曲あり
501	357	6042	S X 07-2②	貝層	釘	46.0	10.0	(10.5)	5.94	鉄	断面長方形?
501	357	6043	S X 07-3②	貝層	釘?	60.5	5.5	4.0	5.49	鉄	断面長方形?
501	357	6044	S I 50	埋土上位	釣針?	(30.0)	5.5	5.5	2.92	鉄	屈曲あり
501	357	6045	S X 07	ベルトC-C' 1a層具	釣針	29.0	16.0	2.0	0.79	鉄	
501	357	6046	S X 07	ベルトD-D' 1層	釣針	(30.0)	10.0	1.5	0.55	鉄	
501	357	6047	IV B 3 i S X 07-4	貝層	釣針	(34.0)	20.0	3.0	1.98	鉄	かえし、断面円形
501	357	6048	S X 07-4②	貝層	釣針	(18.0)	9.0	2.0	0.35	鉄	
501	357	6049	S X 07-3②	貝層	釣針	25.0	(10.0)	1.0	0.28	鉄	
501	357	6050	S X 07-4	N S トレンチ	釣針	(13.0)	(10.0)	2.0	0.18	鉄	
501	357	6051	S X 10	北東1/4貝層	釣針	(26.0)	12.0	2.0	0.56	鉄	
501	357	6052	S I 59	Q N W埋土下部	板状	(47.0)	28.0	4.0	9.76	鉄	
501	357	6053	S X I 05	南東埋土2層	板状	60.0	16.0	11.0	36.27	鉄	断面長方形、棒状
501	357	6054	S X W 08	N W	板状	(28.0)	(16.0)	(2.5)	1.66	鉄	詳細不明
501	357	6055	S I 05	北東埋土上位⑤	棒状	(80.0)	5.0	5.0	5.21	鉄	
501	357	6056	S I 17	埋土	棒状	(22.0)	15.0	8.5	83.76	鉄	
501	357	6057	S I 33 P P 5	東半埋土1層	棒状	(48.0)	3.5	3.0	1.65	鉄	一端折れ、断面長方形
501	357	6058	S X 07-2②	貝層	棒状	(50.0)	25.0	5.0	6.95	鉄	屈曲あり、素材?

第36表 銭貨観察表

(数値) : 残存値

図版 No	写図 No	掲載 No	出土地点	層位	銭名	外径 (mm)	内径 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	材質	初鑄年	表※		裏※		備考
												内	外	内	外	
502	358	6101	Ⅲ C1 b	Ⅱ層	開元通寶	230×23.0	6.0×6.0	1.5	2.83	銅	621	△	△	△	△	唐
502	358	6102	S I 04	北東埋土下位～床面	和同開珎	25.0×25.0	6.0×7.0	1.5	2.11	銅	708	◎	◎	◎	◎	新和同
502	358	6103	S I 04	北東埋土下位～床面	和同開珎	24.0×24.0	6.5×6.0	1.0	1.98	銅	708	◎	◎	○	○	新和同
502	358	6104	S I 04	北東埋土下位～床面	和同開珎	25.0×25.0	6.5×6.5	1.0	1.49	銅	708	◎	◎	◎	◎	新和同
502	358	6105	Ⅲ C 8 h	Ⅱ層	和同開珎	25.0×(23.0)	7.0×7.0	1.0	1.57	銅	708	○	○	○	○	新和同
502	358	6106	S X 07-3④	貝層	開元通寶	(15.0×24.0)	(6.0×6.5)	1.0	1.23	銅	845	○	○	○	○	唐、紀地銭
502	358	6107	S I 25	南東ベルト1/4埋土下部	祥符元寶	24.0×24.0	6.0×6.0	1.0	2.59	銅	1009	△	△	×	×	北宋
502	358	6108	T 101披張	Ⅱa層	祥符元寶	24.5×25.0	6.0×6.0	1.0	3.18	銅	1009	○	○	○	○	北宋
502	358	6109	A区東端	Ⅱ層	天聖元寶	(20.0×20.0)	6.5×6.5	1.0	1.50	銅	1023	×	○	△	△	北宋
502	358	6110	Ⅲ C 9 h	検出面(Ⅱ層?)	影祐元寶	(25.0×25.0)	(6.0×6.0)	1.0	2.28	銅	1034	○	○	△	△	北宋
502	358	6111	S X 07⑧	貝層	影祐通寶	25.0×25.0	8.0×8.0	1.0	3.11	銅	1034	△	△	△	△	北宋 巢穴あり
502	358	6112	S X 07-3④	貝層	皇宋通寶	24.0×23.5	6.5×6.5	1.0	2.70	銅	1038	△	△	×	×	北宋
502	358	6113	Ⅲ C 10 h	Ⅱ層	皇宋通寶	25.0×25.0	6.5×6.5	1.0	3.26	銅	1038	○	○	△	△	北宋
502	358	6114	Ⅳ C 1 d	Ⅱ層	皇宋通寶	25.0×24.5	7.0×7.0	1.0	2.63	銅	1038	△	△	×	×	北宋
502	358	6115	C区尾根先端部	Ⅱ層	皇宋通寶	25.0×25.0	7.0×7.0	1.0	2.69	銅	1038	○	○	△	△	北宋
502	358	6116	S I 52	北西埋土上～中位	熙寧元寶	24.0×24.5	6.0×7.0	1.5	3.07	銅	1068	△	△	×	×	北宋
502	358	6117	Ⅲ C 10 e	Ⅱ層	熙寧元寶	23.5×23.5	6.0×6.0	1.0	3.11	銅	1068	△	△	×	×	北宋
502	358	6118	Ⅳ C 5 i	Ⅱ層	熙寧元寶	24.5×24.5	7.0×7.0	1.0	2.72	銅	1068	○	○	△	△	北宋
502	358	6119	C区尾根部	I層	熙寧元寶	24.0×(23.5)	7.0×6.5	1.0	2.17	銅	1068	△	△	×	×	北宋、篆書
502	358	6120	S X 07-4②	貝層	元豐通寶	(21.0×19.0)	(6.5×6.5)	1.5	1.53	銅	1078	○	○	△	△	北宋
502	358	6121	C区尾根先端部	不明	元豐通寶	(24.0×24.0)	6.0×6.0	1.0	2.24	銅	1078	△	△	△	△	北宋 巢穴あり
503	359	6122	S X 07	ベルトB-B' 1 a層	紹聖元寶	23.5×23.0	6.5×6.5	1.0	2.14	銅	1094	△	×	×	×	北宋
503	359	6123	Ⅳ C 6 b	南側落込み上層	紹聖元寶	23.5×23.5	6.5×6.0	1.0	2.40	銅	1094	○	○	△	△	北宋
503	359	6124	Ⅲ C 10 h	Ⅱ層	紹聖通寶	24.0×24.0	7.0×7.0	1.0	3.06	銅	1094	○	×	△	△	北宋 巢穴あり
503	359	6125	S X 07	ベルトD-D' 1 a層	聖宋元寶	24.0×24.0	6.5×6.5	1.5	2.97	銅	1101	○	○	△	△	北宋
503	359	6126	Ⅳ C 1 d	Ⅱ層	聖宋元寶	24.0×24.5	6.0×6.0	1.0	2.53	銅	1101	△	△	×	×	北宋
503	359	6127	Ⅲ C 3 c	Ⅱ層	政和通寶	25.0×25.0	6.5×6.5	1.0	3.05	銅	1111	◎	◎	○	○	北宋
503	359	6128	B区南斜面	Ⅲ層	政和通寶	25.0×25.0	6.0×6.0	1.5	3.52	銅	1111	○	○	○	○	北宋
503	359	6129	Ⅲ C 9 d	Ⅱ層	宣和通寶	25.0×25.0	6.0×6.0	1.0	2.74	銅	1119	○	○	○	○	北宋
503	359	6130	S I 74	Q S E埋土	慶元通寶	24.5×24.5	6.5×6.5	1.0	2.74	銅	1195	○	○	△	△	南宋
503	359	6131	S X 08	埋土西半	洪武通寶	23.5×23.5	5.5×5.5	1.5	3.05	銅	1368	○	○	△	△	明
503	359	6132	Ⅳ C 3 h	Ⅱ層	寛永通寶	23.0×23.0	6.0×6.0	1.0	2.26	銅	1697	○	○	○	○	新寛永3期 巢穴あり
503	359	6133	C区	I層	寛永通寶	23.5×23.5	5.5×6.0	1.0	3.11	銅	1767	○	○	×	×	新寛永3期
503	358	6134	Ⅲ C 8 h	Ⅱ層	□元通寶	(21.0×23.5)	(6.0×6.5)	1.0	1.81	銅	不明	△	△	×	×	唐銭?
503	359	6135	S X 07-4②	貝層	元□通寶?	(10.0×21.0)	(7.0)×?	1.0	0.93	銅	不明	△	△	×	×	
503	359	6136	S X 07-3④	貝層	□□□寶	(18.0×9.5)	(6.0)×?	1.0	0.74	銅	不明	×	×	×	×	
503	359	6137	S X 07-3④?	貝層	□□□寶	(20.0×9.0)	(7.0)×?	1.0	0.67	銅	不明	△	△	×	×	
503	359	6138	S X 07-2②	貝層	□□元寶	24.5×24.5	7.5×7.5	1.0	2.60	銅	不明	○	△	△	△	巢穴あり
503	359	6139	S K 75	埋土	銭種不明	23.0×23.0	5.5×5.5	3.5	6.31	銅	不明	×	×	×	×	3枚癒着
503	359	6140	Ⅳ C 5 a	Ⅱ層上位	銭種不明	(19.0×11.0)	不明	1.5	1.25	銅	不明	×	×	×	×	
503	359	6141	Ⅳ D 5 b	Ⅱ層	銭種不明	(24.0×22.0)	(6.5×6.5)	1.0	1.92	銅	不明	×	×	×	×	
503	359	6142	B区南斜面	Ⅱ～Ⅲ層	銭種不明	19.0×21.0	4.5×4.5	2.0	3.00	銅	不明	×	×	×	×	歪みあり

※外輪、内郭の段差: ◎明瞭 ○やや不明瞭 △不明瞭 ×なし

第37表 炉壁観察表

写図No	掲載No	出土地点	層位	重量(g)	備考
360	6201	S X W16	不明	459.4	
360	6202	S X W21	炉体崩落層内	123.6	炉壁 H25年度分析試料⑤
360	6203	S X W22	不明	691.7	炉壁 H25年度分析試料⑨
360	6204	Ⅱ D 1・2 g h	S X W08・18下層	479.6	
360	6205	C区	S X W21西側トレンチ(下層)	731.4	

第38表 鉄滓類観察表

写図No	掲載No	出土地点	層位	重量(g)	分類	磁気	メタル反応※	備考
361	6301	S I 74	Eベルト埋土	205.3	II B	無	—	(袋No2362)
361	6302	S X W05・06	炉、基礎構造	272.7	I A	無	—	(袋No28)
361	6303	S X W05・06	炉、基礎構造	24.2	I B	無	—	(袋No30)
361	6304	S X W05・06	確認トレンチ下層	10.5	I C	無	—	(袋No31)
361	6305	S X W06	不明	0.2	粒状滓	—	—	(袋No2098)
361	6306	S X W06	不明	10.6	砂鉄	—	—	(袋No1994)
361	6307	S X W07	S E	60.8	II A	有	○	(袋No1855)
361	6308	S X W07	S E	7.0	粒状滓	有	—	(袋No1859)
361	6309	S X W07	SW	8.2	粒状滓	—	—	(袋No2102)
361	6310	S X W07	S E	75.5	鍛造剥片	有	—	(袋No1857)
361	6311	S X W07	SW	454.3	鍛造剥片	—	—	(袋No2052)
361	6312	S X W07	S E	108.4	砂鉄	—	—	(袋No2005)
361	6313	S X W07	N E・NW	189.5	砂鉄	—	—	(袋No2144) 分析試料No11
361	6314	S X W08	SW	4.5	粒状滓	—	—	(袋No2125)
361	6315	S X W08	NW	7.5	粒状滓	—	—	(袋No2142) 差し替え試料No9
361	6316	S X W08	N E	58.9	鍛造剥片	—	—	(袋No2143) 分析試料No10
361	6317	S X W08	NW	139.1	鍛造剥片	—	—	(袋No2090)
361	6318	S X W08	鍛造剥片層(アゼ部分)	117.9	砂鉄	—	—	(袋No2032)
362	6319	S X W08・18	バラ	10,389.5	I A	無	—	(袋No83)
362	6320	S X W08・18	バラ	3,312.6	I B	無	—	(袋No92)
362	6321	S X W08・18	不明	154.1	I C	無	—	(袋No93)
362	6322	S X W08・18	II D 1・2 g h下層、基礎構造内	30.3	II A	有	△	(袋No109)
362	6323	S X W09	不明	6.5	I C	無	—	(袋No137)
363	6324	S X W09・17	基礎構造内	508.1	I A	無	—	(袋No1864)
363	6325	S X W09・17	バラ	10,214.8	I A	無	—	(袋No133)
363	6326	S X W09・17	基礎構造内	105.8	II A	有	○	(袋No141)
363	6327	S X W09・17	基礎構造内	131.6	II A	有	●	(袋No1865)
363	6328	S X W09・17	バラ	1,614.1	II B	無	—	(袋No130)
364	6329	S X W15	C区	78.0	II A	有	◎	(袋No198)
364	6330	S X W16	炉、基礎構造内	2,950.0	I A	無	—	(袋No211)
364	6331	S X W16	基礎構造	13.6	I C	無	—	(袋No220)
364	6332	S X W16	基礎構造	109.2	II A	有	○	(袋No222)
364	6333	S X W16	炉基礎構造内	24.3	II A	有	△	(袋No223)
364	6334	S X W16	東奥谷アゼ西、炉跡炉壁上の砂鉄	8.5	砂鉄	—	—	(袋No2038)
364	6335	S X W21	下層炉跡	103.2	I A	無	—	(袋No283)
364	6336	S X W21	基礎構造内	143.0	I A	無	—	(袋No1867)
364	6337	S X W21	基礎構造内	56.0	I A	有	△	(袋No340)
364	6338	S X W21	基礎構造内	79.0	II A	有	○	(袋No306)
364	6339	S X W21	基礎構造内	135.5	II A	有	●	(袋No1866)
364	6340	S X W22	南側基礎構造	175.1	I A	無	—	(袋No364)
364	6341	S X W22	基礎構造	129.6	II A	有	○	(袋No389)
364	6342	S X W22	南側基礎構造	890.0	II A	無	—	(袋No352)
364	6343	S X W22	不明	292.6	II B	有	●	(袋No1868)
365	6344	S X W22	南側基礎構造	2,670.0	II B	無	—	(袋No358)
365	6345	S X W23	2次第3層	10.6	I C	無	—	(袋No444)
365	6346	S X W23	南側	254.5	II A	有	◎	(袋No426)
365	6347	S X W23	南側	351.3	II A	有	△	(袋No419)
365	6348	S X W24	1次	277.8	I A	無	—	(袋No459)
365	6349	S X W24	2次第3層	133.4	II A	有	◎	(袋No470)
365	6350	S X W24	1次	212.4	II A	有	○	(袋No480)
365	6351	S X I 05	南東埋土2層	119.2	I A	有	◎	(袋No3129) 差し替え試料No5
365	6352	S X I 05	南東埋土2層	50.2	I A	無	—	(袋No3124) 試料No2
366	6353	S X I 05	北東埋土2層	1,945.7	II A	有	◎	(袋No2236)
366	6354	S X I 05	鉄滓集積南側ベルトI-I' 1層	397.8	II A	有	◎	(袋No2235)
366	6355	S X I 05	ベルトB-B' 2層	33.6	II A	有	◎	(袋No3125) 試料No1
366	6356	S X I 05	南東埋土2層	7,160.0	II B	無	—	(袋No2521)
366	6357	S X I 05	鉄滓集積南側	1.9	粒状滓	有	—	(袋No2980)
366	6358	S X I 05	鉄滓集積南側	3.6	粒状滓	有	—	(袋No3112)
366	6359	S X I 05	鉄滓集積南側	25.2	鍛造剥片	有	—	(袋No2976)
366	6360	S X I 05	床上、鉄砧石南側、鉄滓範囲南側	14.6	鍛造剥片	有	—	(袋No3120)
366	6361	S X I 05	床上、集積1	157.8	鍛造剥片	—	—	(袋No3130) 差し替え試料No6
367	6362	S X I 05	床上、鉄砧石南側、鉄滓範囲南側	189.4	砂鉄	—	—	(袋No3110)
367	6363	S X W27	埋土3層	34.2	I A	有	◎	(袋No3126) 試料No4
367	6364	S X W27	4層	282.9	II A	有	◎	(袋No2208)
367	6365	S X W27	6層	173.6	II A	有	◎	(袋No3128) 差し替え試料No3
367	6366	S X 07-2②	(IV B 3 i) 貝層下の黒褐色土	328.0	II B	有	◎	(袋No2259)
367	6367	S X 07-2②	(IV B 3 i) 貝層下の黒褐色土	690.1	II B	有	●	(袋No2257)
367	6368	S X 07-1④	貝層、黒褐色土	704.3	II B	無	—	(袋No2468)
367	6369	S X 10	南東、貝層中	267.4	II B	有	●	(袋No2423)
367	6370	II D 1・2 g	II層	579.6	II B	有	○	(袋No1881)
367	6371	北東側段	I層	796.6	II B	有	●	(袋No1885)

※メタル反応

- △：無、錆化したもの
- ：弱、高感度で反応するもの
- ◎：中、中感度で反応するもの
- ：強、低感度で反応するもの(鉄塊系遺物)

第39表 動物遺存体観察表(1) ウニ綱・多毛綱・顎脚綱・軟甲綱・腹足綱・二枚貝綱(1)

種別	部位	左右	SI03	SI29	SI48	SKI02	SK29	SX07	SX10	SX11	III C9j	IV D2a
ウニ類	殻		7005					7006	7004			
	棘		7001					7003	7002			
	中間骨							7007				
	多孔板							7008				
ゴカイ類	殻			7009			7010					
ユキノカサガイ	殻		7021									
ヒメコザラ	殻		7022-7023									
アオガイ	殻							7024				
アワビ類	殻		7025								7026	
ミミガイ科	殻						7027					
クボガイ	殻		7028									
コシダカガンガラ	殻		7029									
イシダタミ	殻		7030									
キサゴ	殻										7031	
イボキサゴ	殻					7032						
サンショウガイ	殻		7033									
エゾサンショウ	殻		7034									
スガイ	殻		7035									
	蓋		7036									
アマガイ?	殻							7037				
ウミニナ	殻						7038					
ホソウミニナ	殻						7039					
タマキビ	殻							7040				
クロタマキビ	殻							7041				
カワザンショウガイ	殻							7042				
ムカデガイ類	殻		7043									
ツメタガイ	殻							7044				
エゾタマガイ	殻								7045			
ヒレガイ	殻					7046				7047		
オウヨウウラク?	殻		7048									
エゾヨウラク	殻							7049				
チヂミボラ	殻							7050				
エゾチヂミボラ	殻							7051				
レイシガイ	殻							7052				
アカニシ	殻						7053					
アラムシロ	殻							7054				
ヒメムシロ	殻					7055						
クロスジムシロ	殻		7056									
キセルガイ類	殻		7057									
バツラマイマイ	殻							7058				
コハクガイ科	殻							7059				
ベッコウマイマイ類	殻		7060									
コベルトフネガイ	殻	左	7061									
	殻	右	7062									
ベンケイガイ	殻	右						7063				
タマキガイ	殻	右						7064				
イガイ	殻	左						7065				
	殻	右	7066									
ムラサキインコ	殻	左	7067									
	殻	右	7068									
アカザラガイ	殻	左右							7069-7070			
ホタテガイ	殻	左						7071				
	殻	右						7072				
マガキ	殻	左	7074									
	殻	右	7075									
イワガキ	殻	右						7076				
ベッコウガキ?	殻	左						7073				
ウメノハナガイ	殻	左	7077									
	殻	右	7078									
チリハギガイ	殻	左	7079									
トリガイ	殻	左				7080						
ザルガイ科	殻	左								7081		
	殻	右								7082		
シオフキ?	殻	左							7083			
ミルクイ	殻	左	7084									
	殻	右	7085									
クチバガイ	殻	左	7086									
	殻	右	7087									
ヒメシラトリ	殻	左	7088									
	殻	右	7089									
シラトリモドキ	殻	左	7090									
	殻	右	7091									



2 出土遺物

第39表 動物遺存体観察表（1） ウニ綱・多毛綱・顎脚綱・軟甲綱・腹足綱・二枚貝綱（2）

種別	部位	左右	SI03	SI29	SI48	SKI02	SK29	SX07	SX10	SX11	III C9j	IV D2a
イソシジミ類	殻	左				7092						
	殻	右				7093						
マテガイ類	殻	左						7094				
	殻	右						7095				
エゾヌノメアサリ	殻	左								7097		
	殻	右								7098		
ウネナシトマヤ	殻	右	7096									
カガミガイ類	殻	左						7099				
	殻	右					7100					
アサリ	殻	左	7101									
	殻	右	7102									
マツカゼガイ	殻	右	7105									
ウチムラサキ	殻	左	7106									
	殻	右	7107									
コタマガイ	殻	左						7103				
	殻	右						7104				
チヂミイワホリガイ	殻	左	7108									
オオノガイ	殻	左						7109				
	殻	右						7110				
アカフジツボ	殻		7011					7012		7013		
チシマフジツボ	殻		7014					7016	7015			
カニ類	可動指				7018							
	指節骨						7017	7019-7020				

第40表 動物遺存体観察表（2） 軟骨魚綱・硬骨魚綱（1）

種別	部位	左右	SI03	SI48	SI87	SKI02	SK29	SX07	SX08	SX10	SX11	IV B4j
トビエイ類	歯板									7111		
サメ・エイ類	椎骨						7113-7114	7115		7112		
アナゴ類	第1椎骨						7117					
	角骨	右					7116					
	腹椎						7118					
	尾椎						7119					
ニシン亜科	歯骨	左						7122			7121	
		右									7123	
	角骨	右						7124				
	舌顎骨	左									7125	
	主鰓蓋骨	左						7127				
	第1椎骨							7130				
	第2椎骨						7131					
	腹椎							7132-7133				
ウルメイワシ亜科	尾椎							7135				
	腹椎							7120				
ニシン科	主鰓蓋骨	左									7128	
		右									7129	
	前鰓蓋骨	左									7126	
	腹椎						7136					
尾椎					7134							
カタクチイワシ亜科	尾椎						7137					
イワナ属	尾椎						7138					
サケ属	尾椎						7139					
タラ科	後側頭骨	左						7140				
	第1椎骨							7141				
	尾椎							7142				
タラ科?	前上顎骨	左						7143				
		右						7144				
ボラ	方骨	左					7145					
	腹椎			7146								
	尾椎				7147							
フサカサゴ科	鋤骨							7148				
	前上顎骨	左						7149				
		右						7150				
	主上顎骨	左								7151		
		右								7152		
	歯骨	左							7153			
		右							7154			
角骨	左								7155			

第40表 動物遺存体観察表(2) 軟骨魚綱・硬骨魚綱(2)

種別	部位	左右	SI03	SI48	SI87	SKI02	SK29	SX07	SX08	SX10	SX11	IVB4j	
フサカサゴ科	方骨	左								7156			
		右								7157			
	舌顎骨	左									7158		
		右									7159		
	上舌骨	左							7164				
		右											
	前鰓蓋骨	左									7165		
		右									7160		
	主鰓蓋骨	左									7161		
		右									7162		
	擬鎖骨	左									7163		
		右									7171		
	上擬鎖骨	左									7169		
右								7170					
後側頭骨	左									7166			
	右									7167・7168			
第1椎骨	左							7172					
	右												
腹椎										7173			
尾椎								7175		7174			
フサカサゴ科?	鋤骨									7176			
	角骨	右								7178			
	前上顎骨	左								7177			
	第2椎骨								7179				
ホウボウ科	主上顎骨	右					7180						
コチ科?	歯骨	左						7181					
		右						7182					
アイナメ属	主上顎骨	右						7183					
	尾椎							7184					
アイナメ属?	前上顎骨	左	7185										
スズキ属	鋤骨							7186					
	前上顎骨	左						7187					
	主上顎骨	左						7188					
	歯骨	左							7189				
		右							7190				
	方骨	左						7191					
	上舌骨	左						7192					
	主鰓蓋骨	左						7193					
	肩甲骨	左						7194					
	耳石							7195					
	第1椎骨	左						7196・7197	7198				
		右											
	腹椎							7199					
スズキ族	尾椎								7200				
スズキ属?	舌顎骨	右						7201					
	後側頭骨	右					7202						
ハタ科	上擬鎖骨	左							7203				
ハタ科?	上擬鎖骨	左								7206			
	主鰓蓋骨									7204			
ハタ類?	主鰓蓋骨	右					7205						
ブリ属	腹椎									7210			
ブリ属?	方骨	左								7211			
アジ科	歯骨	右					7207						
	角骨	右					7208						
アジ類	方骨	左								7209			
クロダイ属	方骨	左								7212			
		右								7213			
マダイ亜科	上後頭骨										7214		
	前上顎骨	右								7215			
	歯骨	右									7216		
	角骨	左								7217			
マダイ亜科?	方骨	左							7218				
タイ科	腹椎									7219			
	尾椎										7220		
タイ科?	前上顎骨	右								7221			
	舌顎骨	左								7222			
ウミタナゴ科	鋤骨									7223			
	前上顎骨	左								7224			
		右									7225		
	主上顎骨	左									7226		
		右									7227		
	歯骨	左									7228		
		右									7229		
	角骨	左									7230		
右										7231			

第40表 動物遺存体観察表(2) 軟骨魚綱・硬骨魚綱(3)

種別	部位	左右	SI03	SI48	SI87	SKI02	SK29	SX07	SX08	SX10	SX11	IVB4j
ウミタナゴ科	方骨	左						7232				
		右						7233				
	舌顎骨	左							7234			
		右							7235			
	上舌骨	左							7236			
		右							7239			
	肩甲骨	左							7240			
		右							7241			
	上擬鎖骨	左							7242			
		右							7243			
	後側頭骨	左							7244			
		右							7238			
	下咽頭骨							7237				
	尾舌骨							7245				
第1椎骨							7246					
第2椎骨							7247					
第3椎骨							7248・7249					
腹椎							7250					
尾椎							7251					
ウミタナゴ科?	主鰓蓋骨	左						7252				
ハゼ科	腹椎											
サバ属	前上顎骨	右									7253	
	主上顎骨	左									7254	
		右									7255	
	歯骨	左						7256				
		右						7257			7258	
	方骨	左						7259			7260	
		右									7261	
	舌顎骨	左						7262				
腹椎							7263・7264					
尾椎							7265			7266		
サバ属?	前上顎骨	左							7267			
ソウダガツオ属	肩甲骨	右						7268				
	尾椎							7269				
カツオ属	主上顎骨	左						7270				
	歯骨	左						7271				
		右							7272			
	肩甲骨	右						7273				
カツオ	腹椎											
	尾椎									7274		
マグロ類	尾鰭椎前椎体									7275		
	主上顎骨	右						7276				
		左									7277	
	歯骨	右									7278	
		左									7279	
	角骨	左										
	方骨	左								7280		
右										7281		
主鰓蓋骨	右?								7282			
肩甲骨										7283		
腹椎									7284	7285		
マグロ類	尾椎							7287・7288		7286	7289	
	尾鰭椎前椎体										7290	
	終尾椎									7291		
ヒラメ	第1椎骨							7292				
	尾椎							7293				
カレイ類	尾椎		7295									
カレイ科	腹椎							7294				
フグ科	前上顎骨	左						7296				
		右									7297	
	歯骨	左							7298			
右								7299				
魚類	歯牙							7300				
	鱗							7301				
魚類(大型)	鰭棘							7302				

第41表 動物遺存体観察表(3) 両生綱・爬虫綱・鳥綱・哺乳綱(1)

種別	部位	左右	SI48	SI74	SI87	SI105	SK29	SK147	SX07	SX09	SX10	SX11	IVB3j	IVB4j	IVC5a	IVC6f	IVC8e	
カエル類	椎骨								7303									
	尾骨								7304									
	肩甲骨	右							7305									
	上腕骨	左								7306								
		右								7307								
	橈尺骨	左						7308										
		右						7309										
脛骨+腓骨									7311									
腸骨	右								7310									
ヘビ類	椎骨								7313		7312							
カラス類	鳥口骨	左										7314						
		右							7316			7315						
	肩甲骨	右										7317						
	大腿骨	左								7318								
		右								7319								
	脛足根骨	左											7320					
右												7321						
足根中足骨	左											7322						
	右											7324						
カラス類?	脛足根骨	右							7323									
キジ類	脛足根骨								7326									
鳥類	椎骨								7329									
	複合仙骨								7330									
	尾椎								7331									
	上腕骨	右							7336									
	足根中足骨	右							7337									
	基節骨								7338									
	末節骨								7341									
	頸椎						7327											
鳥綱	椎骨												7328					
	胸骨												7332					
	上腕骨	左	7333										7334					
		右											7335					
	中節骨											7339						
	末節骨											7340						
ヒミズ	上腕骨	右						7342										
ヒミズ?	脛骨	左						7343										
モグラ科	下顎骨	左										7344						
	大腿骨	左									7346							
モグラ類	下顎骨	左							7345									
	踵骨	左							7347									
ノウサギ	寛骨	左										7350						
	下顎歯								7348· 7349									
ネズミ亜科	下顎骨	左						7351										
ハタネズミ亜科	下顎骨	左							7352									
	歯	左							7353									
ネズミ科	尾椎											7368						
ネズミ類	上顎第1門歯	右							7355· 7356									
	下顎第1門歯	左							7357									
	肩甲骨	右							7358									
	上腕骨	左								7359· 7360								
		右								7361								
	橈骨	左							7362									
	尺骨	右							7363									
	寛骨	左								7364								
右									7365									
脛骨	左								7366									
	右								7367									
小型獣類	腰椎								7369		7370							
イルカ類	椎骨							7371										
ネコ	上顎犬歯	左										7372						
	下顎骨	左										7374· 7375						
		右										7376						
イタチ?	下顎犬歯	右									7373							
タヌキ	距骨	左							7377									
	上顎犬歯	右							7378									
タヌキ?	下顎第1後臼歯	右							7379									
	第4中足骨	右							7380									
アシカ類	肩甲骨	左										7381						
	上腕骨	右	7382															
		左	7383															
	橈骨	左																
基節骨											7384							
海獣類?	不明		7385															

第41表 動物遺存体観察表(3) 両生綱・爬虫綱・鳥綱・哺乳綱(2)

種別	部位	左右	SI48	SI74	SI87	SI105	SK29	SK147	SX07	SX09	SX10	SX11	IVB3j	IVB4j	IVC5a	IVC6f	IVC8e			
イヌ	頭蓋骨																7386・7387			
	鱗状骨	左																7389		
	上顎骨	左						7390											7388	
		右						7391												
	下顎骨	左						7394・7395											7392	
		右						7396・7397											7393	
	第1頸椎																		7398	
	第2頸椎																		7399	
	頸椎							7400												
	腰椎							7401												
	仙骨							7402												
	尾椎							7403												
	上腕骨	左																	7404	
	橈骨	左																		7405
		右																		7406
	尺骨	左																		7407
		右																		7408
第3中手骨	左						7412													
第4中手骨	左						7413													
大腿骨	左						7414・7415													
脛骨	左																		7410	
	右																		7411	
ウマ	上顎第1後臼歯	左		7416																
		右																		
	上顎第2後臼歯	左										7417								
		右										7418								
	上顎歯牙								7419											
	下顎第3門歯	左							7420											
	下顎第2後臼歯	左													7421	7422				
	橈尺骨	左							7426											
	第3中手骨	左										7424								
	第4中手骨	左										7423								
中足骨	右									7425										
基節骨	左								7427											
	右								7428											
ウマ/ウシ	腰椎										7430									
ウシ	上顎第2後臼歯	左									7429									
イノシシ属	頭静脈突起	左							7454											
	上顎犬歯	左										7455								
		右								7453										
	下顎骨	左									7456									
	肩甲骨	左							7457											
	大腿骨	左								7458										
		右								7459										
	脛骨	左								7460										
		右								7461										
	腓骨	左																		
		右																		
	中手骨/中足骨					7464														
	踵骨	右									7462									
	距骨	右								7463										
基節骨					7465															
2/5中節骨					7467															
中節骨					7466															
基節骨/中節骨					7469															
末節骨					7468															
イノシシ属?	歯牙										7470									
	脛骨	右							7471											
	踵骨	右									7472									
ニホンジカ	角					7475		7476	7478・7479		7480	7473・7474・7477・7481・7482								
	上顎骨	左								7483										
		右										7486・7487								
	上顎第2後臼歯	左										7484								
		右										7485								
	下顎骨	右	7488																	
	第2頸椎											7489								
	腰椎											7490								
肩甲骨	左										7491									
上腕骨	左	7492																		
橈骨	左																			
	右					7495			7493・7494											
中手骨		7496																		

第41表 動物遺存体観察表 (3) 両生綱・爬虫綱・鳥綱・哺乳綱 (3)

種別	部位	左右	SI48	SI74	SI87	SI105	SK29	SK147	SX07	SX09	SX10	SX11	IVB3j	IVB4j	IVC5a	IVC6f	IVC8e		
ニホンジカ	寛骨	左				7497			7498・7499										
		右							7500										
	大腿骨	左	7501																
		右	7502							7503									
	脛骨	左	7504																
		右	7505																
	距骨	左	7513																
		右													7514				
	踵骨	左	7515																
	中心+第4足根骨	左	7517																
		右	7518																
	中足骨	左		7506・7507															
				7509						7508									
		右	7511									7510							
中手骨/中足骨								7512											
果骨	右							7516											
種子骨								7519											
基節骨								7520											
末節骨		7521																	
第2/5末節骨									7522										
大型獣類	頸椎												7431						
	椎骨		7432																
	上腕骨	左										7433		7434					
	末節骨					7435													
獣類	門歯								7436										
	歯牙		7437																
	椎骨									7438	7439								
	肋骨		7440						7442・7443				7441						
	胸骨		7444																
	大腿骨		7445																
	四肢骨								7449 ～ 7451		7446・7447	7448							
	中節骨						7452												

第42表 植物遺存体観察表

樹種	部位	SI75	SK12
クリ	果皮・子葉	7632・7635・7636・7638～7640	
	果皮	7648～7651	7601・7602・7620～7627
	子葉	7633・7641～7644	7603・7628～7631
	子葉(食痕?)	7634・7637・7645～7647	
トチノキ	子葉	7652	7606～7610・7619
	子葉内の芽		7604
	種子		7605・7611・7613～7618
	種皮		7612
写真No.		385	384

第43表 自然遺物観察表

写真No.	掲載No.	出土地点	層位	重量(g)	備考
385	7701	S I 63	床面直上	4.56	コハク(報告書・試料あり)
385	7702	IV C 3 b	II層	30.00	アスファルト付着 土器に納められる
385	7703	IV C 5 f	II層	39.56	アスファルト状?

## V 分析・鑑定

### 1 放射性炭素年代測定（1）

（株）加速器分析研究所

#### （1）測定対象試料

沢田Ⅲ遺跡は、岩手県下閉伊郡山田町山田第4地割地内ほか（北緯39°28′52″、東経141°57′1″）に所在する。測定対象試料は、遺構から出土した炭化種実、木炭の合計5点である（表1）。試料が出土した遺構は、S K12が土坑、S I 03が竪穴住居、S W01、S W08が炭窯、S X W16が製鉄炉と考えられている。

#### （2）測定の意義

遺構出土炭化物の年代測定により、遺構が使用された年代を明らかにする。

#### （3）化学処理工程

- 1) メス・ピンセットを使い、根・土等の付着物を取り除く。
- 2) 酸-アルカリ-酸（AAA：Acid Alkali Acid）処理により不純物を化学的に取り除く。その後、超純水で中性になるまで希釈し、乾燥させる。AAA処理における酸処理では、通常1 mol/l（1 M）の塩酸（HCl）を用いる。アルカリ処理では水酸化ナトリウム（NaOH）水溶液を用い、0.001Mから1 Mまで徐々に濃度を上げながら処理を行う。アルカリ濃度が1 Mに達した時には「AAA」、1 M未満の場合は「AaA」と表1に記載する。
- 3) 試料を燃焼させ、二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）を発生させる。
- 4) 真空ラインで二酸化炭素を精製する。
- 5) 精製した二酸化炭素を鉄を触媒として水素で還元し、グラファイト（C）を生成させる。
- 6) グラファイトを内径1 mmのカソードにハンドプレス機で詰め、それをホイールにはめ込み、測定装置に装着する。

#### （4）測定方法

加速器をベースとした<sup>14</sup>C-AMS専用装置（NEC社製）を使用し、<sup>14</sup>Cの計数、<sup>13</sup>C濃度（<sup>13</sup>C/<sup>12</sup>C）、<sup>14</sup>C濃度（<sup>14</sup>C/<sup>12</sup>C）の測定を行う。測定では、米国国立標準局（NIST）から提供されたシュウ酸（HOx II）を標準試料とする。この標準試料とバックグラウンド試料の測定も同時に実施する。

#### （5）算出方法

- 1)  $\delta^{13}\text{C}$ は、試料炭素の<sup>13</sup>C濃度（<sup>13</sup>C/<sup>12</sup>C）を測定し、基準試料からのずれを千分偏差（‰）で表した値である（表1）。AMS装置による測定値を用い、表中に「AMS」と注記する。
- 2) <sup>14</sup>C年代（Libby Age：yrBP）は、過去の大気中<sup>14</sup>C濃度が一定であったと仮定して測定され、1950年を基準年（0yrBP）として遡る年代である。年代値の算出には、Libbyの半減期（5568年）を使用する（Stuiver and Polach 1977）。<sup>14</sup>C年代は $\delta^{13}\text{C}$ によって同位体効果を補正する必要がある。補正した値を表1に、補正していない値を参考値として表2に示した。<sup>14</sup>C年代と誤差は、下1桁を丸めて10年単位で表示される。また、<sup>14</sup>C年代の誤差（ $\pm 1\sigma$ ）は、試料の<sup>14</sup>C年代

がその誤差範囲に入る確率が68.2%であることを意味する。

- 3) pMC (percent Modern Carbon) は、標準現代炭素に対する試料炭素の $^{14}\text{C}$ 濃度の割合である。pMCが小さい ( $^{14}\text{C}$ が少ない) ほど古い年代を示し、pMCが100以上 ( $^{14}\text{C}$ の量が標準現代炭素と同等以上) の場合Modernとする。この値も  $\delta^{13}\text{C}$ によって補正する必要があるため、補正した値を表1に、補正していない値を参考値として表2に示した。
- 4) 暦年較正年代とは、年代が既知の試料の $^{14}\text{C}$ 濃度をもとに描かれた較正曲線と照らし合わせ、過去の $^{14}\text{C}$ 濃度変化などを補正し、実年代に近づけた値である。暦年較正年代は、 $^{14}\text{C}$ 年代に対応する較正曲線上の暦年代範囲であり、1標準偏差 ( $1\sigma = 68.2\%$ ) あるいは2標準偏差 ( $2\sigma = 95.4\%$ ) で表示される。グラフの縦軸が $^{14}\text{C}$ 年代、横軸が暦年較正年代を表す。暦年較正プログラムに入力される値は、 $\delta^{13}\text{C}$ 補正を行い、下1桁を丸めない $^{14}\text{C}$ 年代値である。なお、較正曲線および較正プログラムは、データの蓄積によって更新される。また、プログラムの種類によっても結果が異なるため、年代の活用にあたってはその種類とバージョンを確認する必要がある。ここでは、暦年較正年代の計算に、IntCal09データベース (Reimer et al. 2009) を用い、OxCalv4.2較正プログラム (Bronk Ramsey 2009) を使用した。暦年較正年代については、特定のデータベース、プログラムに依存する点を考慮し、プログラムに入力する値とともに参考値として表2に示した。暦年較正年代は、 $^{14}\text{C}$ 年代に基づいて較正 (calibrate) された年代値であることを明示するために「cal BC/AD」(または「cal BP」) という単位で表される。

## (6) 測定結果

測定結果を表1、2に示す。

試料の $^{14}\text{C}$ 年代は、5点のうち003と005の値が誤差 ( $\pm 1\sigma$ ) の範囲で一致し、004もこれらと近接する値である。001と002の値は、これら3点と明瞭に異なる。

暦年較正年代 ( $1\sigma$ ) は、001が縄文時代中期末葉頃、002が縄文時代中期中葉から後葉頃、003～005が古代から中世頃に相当する (小林編2008, 佐原2005)。

試料の炭素含有率はすべて60%を超える十分な値で、化学処理、測定上の問題は認められない。

### 参考文献

- Bronk Ramsey, C. 2009 Bayesian analysis of radiocarbon dates, *Radiocarbon* 51(1), 337-360.
- 小林達雄編 2008 総覧縄文土器, 総覧縄文土器刊行委員会, アム・プロモーション
- Reimer, P.J. et al. 2009 IntCal09 and Marine09 radiocarbon age calibration curves, 0-50,000 years cal BP, *Radiocarbon* 51(4), 1111-1150.
- 佐原 眞 2005 日本考古学・日本歴史学の時代区分, ウェルナー・シュタインハウス監修, 奈良文化財研究所編集, 日本の考古学 上 ドイツ展記念概説, 学生社, 14-19.
- Stuiver, M. and Polach, H.A. 1977 Discussion: Reporting of  $^{14}\text{C}$  data, *Radiocarbon* 19(3), 355-363

表1 放射性炭素年代測定結果 ( $\delta^{13}\text{C}$ 補正值)

測定番号	試料名	採取場所	試料形態	処理方法	$\delta^{13}\text{C}$ (‰) (AMS)	$\delta^{13}\text{C}$ 補正あり	
						Libby Age(yrBP)	pMC (%)
IAAA-130919	001	S K12 7層	炭化種実	AAA	-20.74 ±0.69	3,970 ±30	60.97 ±0.21
IAAA-130920	002	S I 03 6層	木炭	AAA	-26.21 ±0.56	4,140 ±30	59.73 ±0.21
IAAA-130921	003	S W01 3層	木炭	AAA	-26.89 ±0.48	910 ±20	89.29 ±0.26
IAAA-130922	004	S W08 3層	木炭	AAA	-27.73 ±0.50	870 ±20	89.73 ±0.26
IAAA-130923	005	S XW16	木炭	AAA	-25.68 ±0.49	910 ±20	89.25 ±0.26

[#5953]

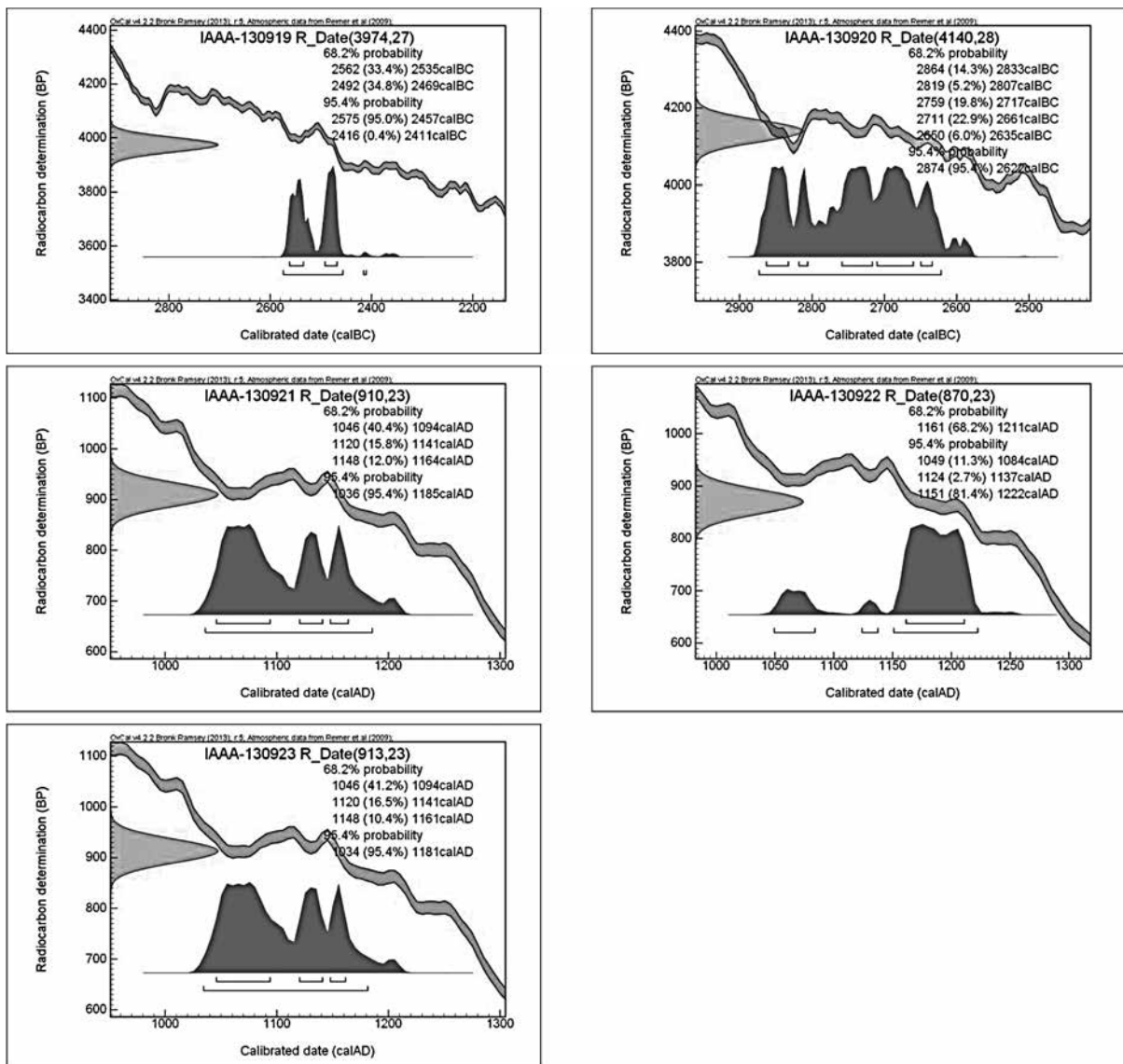


表2 放射性炭素年代測定結果 (δ<sup>13</sup>C未補正值、暦年較正用<sup>14</sup>C年代、較正年代)

測定番号	δ <sup>13</sup> C補正なし		暦年較正用 (yrBP)	1 σ 暦年代範囲	2 σ 暦年代範囲
	Age (yrBP)	pMC (%)			
IAAA-130919	3,900 ± 30	61.51 ± 0.19	3,974 ± 27	2562calBC-2535calBC (33.4%) 2492calBC-2469calBC (34.8%)	2575calBC-2457calBC (95.0%) 2416calBC-2411calBC (0.4%)
IAAA-130920	4,160 ± 30	59.58 ± 0.20	4,140 ± 28	2864calBC-2833calBC (14.3%) 2819calBC-2807calBC (5.2%) 2759calBC-2717calBC (19.8%) 2711calBC-2661calBC (22.9%) 2650calBC-2635calBC (6.0%)	2874calBC-2622calBC (95.4%)
IAAA-130921	940 ± 20	88.94 ± 0.24	910 ± 23	1046calAD-1094calAD (40.4%) 1120calAD-1141calAD (15.8%) 1148calAD-1164calAD (12.0%)	1036calAD-1185calAD (95.4%)
IAAA-130922	920 ± 20	89.23 ± 0.24	870 ± 23	1161calAD-1211calAD (68.2%)	1049calAD-1084calAD (11.3%) 1124calAD-1137calAD (2.7%) 1151calAD-1222calAD (81.4%)
IAAA-130923	930 ± 20	89.12 ± 0.24	913 ± 23	1046calAD-1094calAD (41.2%) 1120calAD-1141calAD (16.5%) 1148calAD-1161calAD (10.4%)	1034calAD-1181calAD (95.4%)

[参考値]

[図版] 暦年較正年代グラフ (参考)



## 1 放射性炭素年代測定（2）

（株）加速器分析研究所

### （1）測定対象試料

沢田Ⅲ遺跡は、岩手県下閉伊郡山田町山田第4地割地内ほか（北緯39°28′52″、東経141°57′1″）に所在する。測定対象試料は、住居跡や製鉄炉等の遺構から出土した木炭合計5点である（表1）。

試料が出土した遺構は、S I 13が竪穴住居跡、C区S W07が炭窯、C区S X W08、S X W21、S X W22が製鉄炉と捉えられている。

### （2）測定の意義

遺構出土木炭の年代測定をすることにより、遺構の使用された年代を明らかにする。

### （3）化学処理工程

- 1) メス・ピンセットを使い、根・土等の付着物を取り除く。
- 2) 酸-アルカリ-酸（AAA：Acid Alkali Acid）処理により不純物を化学的に取り除く。その後、超純水で中性になるまで希釈し、乾燥させる。AAA処理における酸処理では、通常1 mol/l（1 M）の塩酸（HCl）を用いる。アルカリ処理では水酸化ナトリウム（NaOH）水溶液を用い、0.001Mから1 Mまで徐々に濃度を上げながら処理を行う。アルカリ濃度が1 Mに達した時には「AAA」、1 M未満の場合は「AaA」と表1に記載する。
- 3) 試料を燃焼させ、二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）を発生させる。
- 4) 真空ラインで二酸化炭素を精製する。
- 5) 精製した二酸化炭素を鉄を触媒として水素で還元し、グラファイト（C）を生成させる。
- 6) グラファイトを内径1 mmのカソードにハンドプレス機で詰め、それをホイールにはめ込み、測定装置に装着する。

### （4）測定方法

加速器をベースとした<sup>14</sup>C-AMS専用装置（NEC社製）を使用し、<sup>14</sup>Cの計数、<sup>13</sup>C濃度（<sup>13</sup>C/<sup>12</sup>C）、<sup>14</sup>C濃度（<sup>14</sup>C/<sup>12</sup>C）の測定を行う。測定では、米国国立標準局（NIST）から提供されたシュウ酸（HOx II）を標準試料とする。この標準試料とバックグラウンド試料の測定も同時に実施する。

### （5）算出方法

- 1)  $\delta^{13}\text{C}$ は、試料炭素の<sup>13</sup>C濃度（<sup>13</sup>C/<sup>12</sup>C）を測定し、基準試料からのずれを千分偏差（‰）で表した値である（表1）。AMS装置による測定値を用い、表中に「AMS」と注記する。
- 2) <sup>14</sup>C年代（Libby Age：yrBP）は、過去の大気中<sup>14</sup>C濃度が一定であったと仮定して測定され、1950年を基準年（0yrBP）として遡る年代である。年代値の算出には、Libbyの半減期（5568年）を使用する（Stuiver and Polach 1977）。<sup>14</sup>C年代は $\delta^{13}\text{C}$ によって同位体効果を補正する必要がある。補正した値を表1に、補正していない値を参考値として表2に示した。<sup>14</sup>C年代と誤差は、下1桁を丸めて10年単位で表示される。また、<sup>14</sup>C年代の誤差（ $\pm 1\sigma$ ）は、試料の<sup>14</sup>C年代がその誤差範囲に入る確率が68.2%であることを意味する。
- 3) pMC（percent Modern Carbon）は、標準現代炭素に対する試料炭素の<sup>14</sup>C濃度の割合である。

1 放射性炭素年代測定 (2)

pMCが小さい ( $^{14}\text{C}$ が少ない) ほど古い年代を示し、pMCが100以上 ( $^{14}\text{C}$ の量が標準現代炭素と同等以上) の場合Modernとする。この値も  $\delta^{13}\text{C}$ によって補正する必要があるため、補正した値を表1に、補正していない値を参考値として表2に示した。

4) 暦年較正年代とは、年代が既知の試料の $^{14}\text{C}$ 濃度をもとに描かれた較正曲線と照らし合わせ、過去の $^{14}\text{C}$ 濃度変化などを補正し、実年代に近づけた値である。暦年較正年代は、 $^{14}\text{C}$ 年代に対応する較正曲線上の暦年代範囲であり、1標準偏差 ( $1\sigma = 68.2\%$ ) あるいは2標準偏差 ( $2\sigma = 95.4\%$ ) で表示される。グラフの縦軸が $^{14}\text{C}$ 年代、横軸が暦年較正年代を表す。暦年較正プログラムに入力される値は、 $\delta^{13}\text{C}$ 補正を行い、下1桁を丸めない $^{14}\text{C}$ 年代値である。なお、較正曲線および較正プログラムは、データの蓄積によって更新される。また、プログラムの種類によっても結果が異なるため、年代の活用にあたってはその種類とバージョンを確認する必要がある。ここでは、暦年較正年代の計算に、IntCal13データベース (Reimer et al. 2013) を使い、OxCalv4.2較正プログラム (Bronk Ramsey 2009) を使用した。暦年較正年代については、特定のデータベース、プログラムに依存する点を考慮し、プログラムに入力する値とともに参考値として表2に示した。暦年較正年代は、 $^{14}\text{C}$ 年代に基づいて較正 (calibrate) された年代値であることを明示するために「cal BC/AD」(または「cal BP」) という単位で表される。

(6) 測定結果

測定結果を表1、2に示す。

試料の $^{14}\text{C}$ 年代は、006が $4150 \pm 30\text{yrBP}$ 、007が $900 \pm 20\text{yrBP}$ 、008が $860 \pm 20\text{yrBP}$ 、009が $840 \pm 20\text{yrBP}$ 、010が $820 \pm 20\text{yrBP}$ である。007～010の4点は近い値を示し、誤差 ( $\pm 1\sigma$ ) の範囲で一致するものが含まれる。

暦年較正年代 ( $1\sigma$ ) は、006が縄文時代中期中葉から後葉頃、007～010がおおよそ古代から中世頃に相当する (小林編2008, 佐原2005)。

試料の炭素含有率はすべて60%を超える十分な値で、化学処理、測定上の問題は認められない。

参考文献

Bronk Ramsey, C. 2009 Bayesian analysis of radiocarbon dates, *Radiocarbon* 51(1), 337-360  
 小林達雄編 2008 総覧縄文土器, 総覧縄文土器刊行委員会, アム・プロモーション  
 Reimer, P.J. et al. 2013 IntCal13 and Marine13 radiocarbon age calibration curves, 0-50,000 years cal BP, *Radiocarbon* 55(4), 1869-1887.  
 佐原 眞 2005 日本考古学・日本歴史学の時代区分, ウェルナー・シュタインハウス監修, 奈良文化財研究所編集, 日本の考古学 上 ドイツ展記念概説, 学生社, 14-19.  
 Stuiver, M. and Polach, H.A. 1977 Discussion: Reporting of  $^{14}\text{C}$  data, *Radiocarbon* 19(3), 355-363.

表1 放射性炭素年代測定結果 ( $\delta^{13}\text{C}$ 補正值)

測定番号	試料名	採取場所	試料形態	処理方法	$\delta^{13}\text{C}$ (‰) (AMS)	$\delta^{13}\text{C}$ 補正あり	
						Libby Age(yrBP)	pMC (%)
IAAA-132150	006	SI13 ベルトB-B'8層	木炭	AAA	-25.37 $\pm$ 0.42	4,150 $\pm$ 30	59.65 $\pm$ 0.20
IAAA-132151	007	SW07 第5層	木炭	AAA	-25.50 $\pm$ 0.39	900 $\pm$ 20	89.39 $\pm$ 0.25
IAAA-132152	008	SXW08 炉跡内部	木炭	AaA	-27.69 $\pm$ 0.68	860 $\pm$ 20	89.87 $\pm$ 0.25
IAAA-132153	009	SXW21 下層炉跡②	木炭	AAA	-28.69 $\pm$ 0.80	840 $\pm$ 20	90.04 $\pm$ 0.27
IAAA-132154	010	SXW22 基礎構造内	木炭	AAA	-26.50 $\pm$ 0.81	820 $\pm$ 20	90.29 $\pm$ 0.26

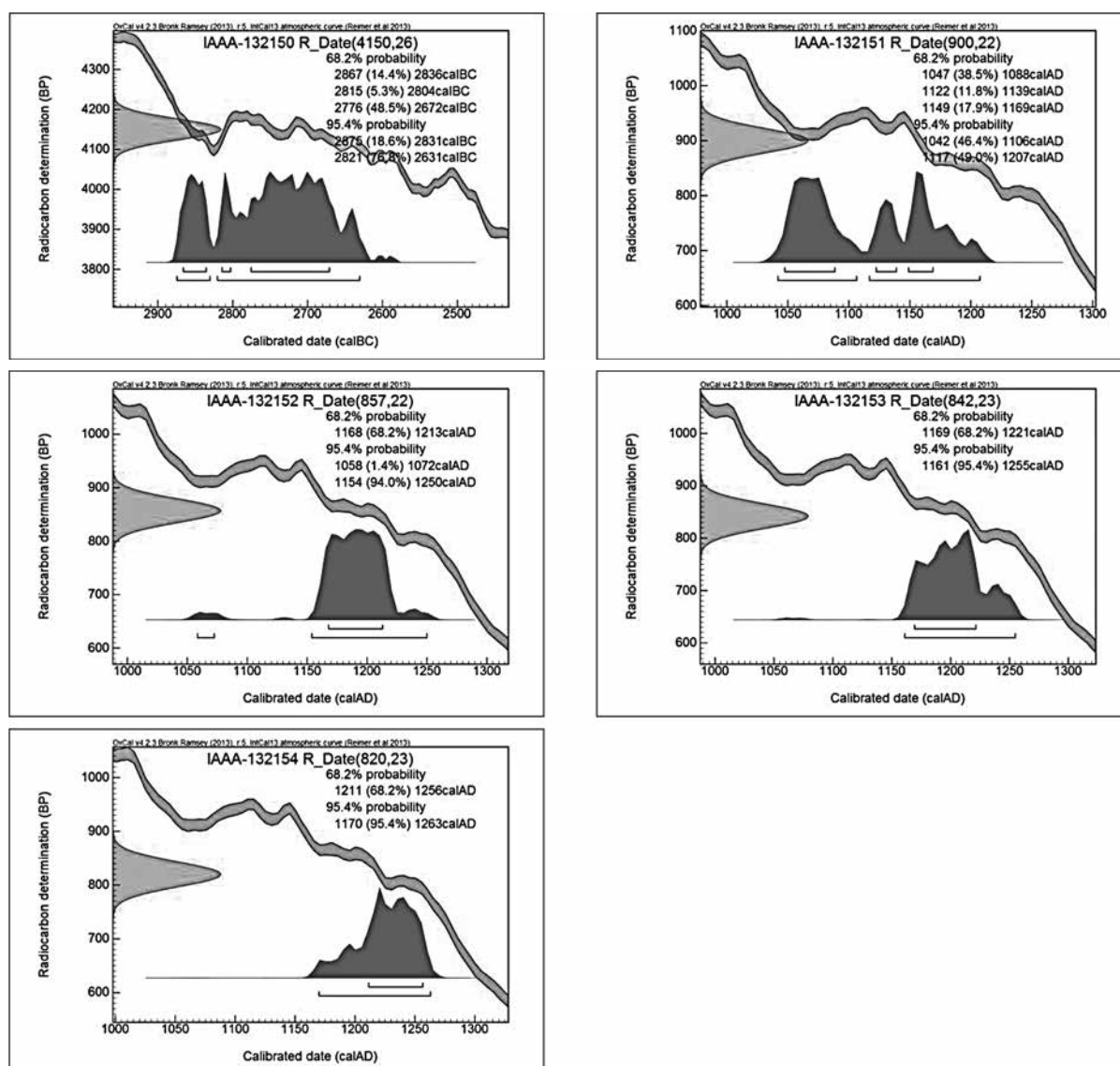
[#6216]

表2 放射性炭素年代測定結果 (δ<sup>13</sup>C未補正值、暦年較正用<sup>14</sup>C年代、較正年代)

測定番号	δ <sup>13</sup> C補正なし		暦年較正用 (yrBP)	1 σ 暦年代範囲	2 σ 暦年代範囲
	Age (yrBP)	pMC (%)			
IAAA-132150	4160 ± 30	59.60 ± 0.19	4150 ± 26	2867calBC-2836calBC (14.4%) 2815calBC-2804calBC ( 5.3%) 2776calBC-2672calBC (48.5%)	2875calBC-2831calBC (18.6%) 2821calBC-2631calBC (76.8%)
IAAA-132151	910 ± 20	89.30 ± 0.24	900 ± 22	1047calAD-1088calAD (38.5%) 1122calAD-1139calAD (11.8%) 1149calAD-1169calAD (17.9%)	1042calAD-1106calAD (46.4%) 1117calAD-1207calAD (49.0%)
IAAA-132152	900 ± 20	89.38 ± 0.22	857 ± 22	1168calAD-1213calAD (68.2%)	1058calAD-1072calAD ( 1.4%) 1154calAD-1250calAD (94.0%)
IAAA-132153	900 ± 20	89.36 ± 0.22	842 ± 23	1169calAD-1221calAD (68.2%)	1161calAD-1255calAD (95.4%)
IAAA-132154	850 ± 20	90.01 ± 0.21	820 ± 23	1211calAD-1256calAD (68.2%)	1170calAD-1263calAD (95.4%)

[参考値]

[図版] 暦年較正年代グラフ (参考)



## 1 放射性炭素年代測定 (3)

(株) 加速器分析研究所

### (1) 測定対象試料

沢田Ⅲ遺跡は、岩手県下閉伊郡山田町山田第3地割33-1ほか(北緯38°28'52"、東経141°57'1")に所在する。測定対象試料は、竪穴住居跡等の遺構から出土した炭化物と貝殻の合計12点である(表1)。

試料は、1～9が竪穴住居跡、10、11が食料残渣廃棄土坑、12が工房跡と推測される竪穴から出土した。

### (2) 測定の意義

遺構から出土した炭化物、貝殻を年代測定することにより、遺構が使用された年代を明らかにする。

### (3) 化学処理工程

#### a 炭化物の化学処理

- 1) メス・ピンセットを使い、根・土等の付着物を取り除く。
- 2) 酸-アルカリ-酸(AAA: Acid Alkali Acid)処理により不純物を化学的に取り除く。その後、超純水で中性になるまで希釈し、乾燥させる。AAA処理における酸処理では、通常1 mol/l (1 M)の塩酸(HCl)を用いる。アルカリ処理では水酸化ナトリウム(NaOH)水溶液を用い、0.001Mから1 Mまで徐々に濃度を上げながら処理を行う。アルカリ濃度が1 Mに達した時には「AAA」、1 M未満の場合は「AaA」と表1に記載する。
- 3) 試料を燃焼させ、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)を発生させる。
- 4) 真空ラインで二酸化炭素を精製する。
- 5) 精製した二酸化炭素を、鉄を触媒として水素で還元し、グラファイト(C)を生成させる。
- 6) グラファイトを内径1 mmのカソードにハンドプレス機で詰め、それをホイールにはめ込み、測定装置に装着する。

#### b 貝殻の化学処理

- 1) メス・ピンセットを使い根・土等の付着物を取り除き、超純水に浸し、超音波洗浄を行う。
- 2) 試料の表面を1 mol/l (1 M)の塩酸を用いて約30%溶かし、汚染された可能性のある部分を除去する(Edg)。その後、超純水で中性になるまで希釈し、乾燥させる。なお、試料が特に少量の場合、塩酸の処理を行わない場合がある(Non)。
- 3) 試料中の炭酸カルシウム(CaCO<sub>3</sub>)を分解し、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)を発生させる。  
以下、(1) 4)以降と同じ。

### (4) 測定方法

加速器をベースとした<sup>14</sup>C-AMS専用装置(NEC社製)を使用し、<sup>14</sup>Cの計数、<sup>13</sup>C濃度(<sup>13</sup>C/<sup>12</sup>C)、<sup>14</sup>C濃度(<sup>14</sup>C/<sup>12</sup>C)の測定を行う。測定では、米国国立標準局(NIST)から提供されたシュウ酸(HOx II)を標準試料とする。この標準試料とバックグラウンド試料の測定も同時に実施する。

## (5) 算出方法

- 1)  $\delta^{13}\text{C}$ は、試料炭素の $^{13}\text{C}$ 濃度 ( $^{13}\text{C}/^{12}\text{C}$ ) を測定し、基準試料からのずれを千分偏差 (%) で表した値である (表1)。AMS装置による測定値を用い、表中に「AMS」と注記する。
- 2)  $^{14}\text{C}$ 年代 (Libby Age : yrBP) は、過去の大気中 $^{14}\text{C}$ 濃度が一定であったと仮定して測定され、1950年を基準年 (0yrBP) として遡る年代である。年代値の算出には、Libbyの半減期 (5568年) を使用する (Stuiver and Polach 1977)。 $^{14}\text{C}$ 年代は $\delta^{13}\text{C}$ によって同位体効果を補正する必要がある。補正した値を表1に、補正していない値を参考値として表2に示した。 $^{14}\text{C}$ 年代と誤差は、下1桁を丸めて10年単位で表示される。また、 $^{14}\text{C}$ 年代の誤差 ( $\pm 1\sigma$ ) は、試料の $^{14}\text{C}$ 年代がその誤差範囲に入る確率が68.2%であることを意味する。
- 3) pMC (percent Modern Carbon) は、標準現代炭素に対する試料炭素の $^{14}\text{C}$ 濃度の割合である。pMCが小さい ( $^{14}\text{C}$ が少ない) ほど古い年代を示し、pMCが100以上 ( $^{14}\text{C}$ の量が標準現代炭素と同等以上) の場合Modernとする。この値も $\delta^{13}\text{C}$ によって補正する必要があるため、補正した値を表1に、補正していない値を参考値として表2に示した。
- 4) 暦年較正年代とは、年代が既知の試料の $^{14}\text{C}$ 濃度をもとに描かれた較正曲線と照らし合わせ、過去の $^{14}\text{C}$ 濃度変化などを補正し、実年代に近づけた値である。暦年較正年代は、 $^{14}\text{C}$ 年代に対応する較正曲線上の暦年代範囲であり、1標準偏差 ( $1\sigma = 68.2\%$ ) あるいは2標準偏差 ( $2\sigma = 95.4\%$ ) で表示される。グラフの縦軸が $^{14}\text{C}$ 年代、横軸が暦年較正年代を表す。暦年較正プログラムに入力される値は、 $\delta^{13}\text{C}$ 補正を行い、下1桁を丸めない $^{14}\text{C}$ 年代値である。なお、較正曲線および較正プログラムは、データの蓄積によって更新される。また、プログラムの種類によっても結果が異なるため、年代の活用にあたってはその種類とバージョンを確認する必要がある。ここでは、暦年較正年代の計算に、IntCal13データベース (Reimer et al. 2013) を用い、OxCalv4.2較正プログラム (Bronk Ramsey 2009) を使用した。暦年較正年代については、特定のデータベース、プログラムに依存する点を考慮し、プログラムに入力する値とともに参考値として表2に示した。暦年較正年代は、 $^{14}\text{C}$ 年代に基づいて較正 (calibrate) された年代値であることを明示するために「cal BC/AD」(または「cal BP」) という単位で表される。

## (6) 測定結果

測定結果を表1、2に示す。

試料12点の $^{14}\text{C}$ 年代は、 $4040 \pm 30\text{yrBP}$  (試料2、8) から $350 \pm 20\text{yrBP}$  (試料10) の広い年代幅にわたる。暦年較正年代 ( $1\sigma$ ) は、最も古い8が2581 ~ 2491cal BCの間に2つの範囲、最も新しい10が1485 ~ 1630cal ADの間に2つの範囲で示される。古い方から順に、1、2、7、8が縄文時代中期末葉頃、3が中期末葉から後期初頭頃、6、9が後期初頭頃、4が古墳時代中期から後期頃、5が終末期頃、12が平安時代後半頃、11が鎌倉時代後半頃、10が戦国時代から江戸時代初頭頃に相当する (小林編2008, 佐原2005)。

なお、貝殻4、11の較正年代については、海洋リザーバー効果を補正するために、Marine13データベースを用い、marine100%、 $\Delta R = 0$ の条件で算出した。これは海産試料に対する平均的な条件での較正であり、試料となった貝の生息環境 (鹹水、汽水等) や生息海域によっては条件を変える必要がある。海洋リザーバー効果の海域差を補正するための $\Delta R$ については、本遺跡周辺を含む東北地方太平洋沿岸の報告例があり、ここで採用した $\Delta R = 0$ におおむね近い値が示されている (Omoto et

al. 2010, Yoshida et al. 2010)。

試料の炭素含有率は、炭化物がすべて60%以上、貝殻がいずれも約100%の十分な値で、化学処理、測定上の問題は認められない。

#### 参考文献

- Bronk Ramsey, C. 2009 Bayesian analysis of radiocarbon dates, *Radiocarbon* 51(1), 337-360.  
 Omoto, K. et al. 2010 Calibrated <sup>14</sup>C ages of Jomon sites, NE Japan, and their significance, *Radiocarbon*, 52(2-3), 534-548.  
 Reimer, P.J. et al. 2013 IntCal13 and Marine13 radiocarbon age calibration curves, 0-50,000 years cal BP, *Radiocarbon* 55(4), 1869-1887.  
 Stuiver, M. and Polach, H.A. 1977 Discussion: Reporting of <sup>14</sup>C data, *Radiocarbon* 19(3), 355-363.  
 Yoshida, K. et al. 2010 Pre-bomb marine reservoir ages in the western Pacific, *Radiocarbon*, 52(2-3), 1197-1206.

表1 放射性炭素年代測定結果 ( $\delta^{13}\text{C}$ 補正值)

測定番号	試料名	採取場所	試料形態	処理方法	$\delta^{13}\text{C}$ (‰) (AMS)	$\delta^{13}\text{C}$ 補正あり	
						Libby Age(yrBP)	pMC (%)
IAAA-142404	1	SI30 P1土器内	炭化物	AaA	-28.05 ± 0.26	3,990 ± 30	60.85 ± 0.21
IAAA-142405	2	SI35 ベルトA-A'埋土5b層	炭化物	AAA	-27.38 ± 0.25	4,040 ± 30	60.51 ± 0.20
IAAA-142406	3	SI40 埋土中位	炭化物	AAA	-26.27 ± 0.24	3,950 ± 30	61.16 ± 0.21
IAAA-142407	4	SI48 埋土中位貝層A	貝殻	Edg	0.38 ± 0.27	1,880 ± 20	79.09 ± 0.23
IAAA-142408	5	SI52 埋土3層No5	炭化物	AAA	-28.07 ± 0.28	1,360 ± 20	84.39 ± 0.25
IAAA-142409	6	SI60 床面直上	炭化物	AaA	-25.27 ± 0.27	3,930 ± 30	61.33 ± 0.22
IAAA-142410	7	SI75 埋土6層	炭化物	AAA	-27.50 ± 0.33	4,020 ± 30	60.66 ± 0.21
IAAA-142411	8	SI103 炭化材1	炭化物	AaA	-26.74 ± 0.28	4,040 ± 30	60.49 ± 0.20
IAAA-142412	9	SI104 石囲炉西側	炭化物	AAA	-28.08 ± 0.27	3,930 ± 30	61.34 ± 0.20
IAAA-142413	10	SX10 ベルトA-A'埋土4層	炭化物	AAA	-27.42 ± 0.23	350 ± 20	95.76 ± 0.28
IAAA-142414	11	SX11 北ベルト6層	貝殻	Edg	-0.42 ± 0.23	1,070 ± 20	87.57 ± 0.26
IAAA-142415	12	SXI05 ベルトB-B'埋土2層	炭化物	AAA	-29.56 ± 0.25	950 ± 20	88.80 ± 0.27

[#7029]

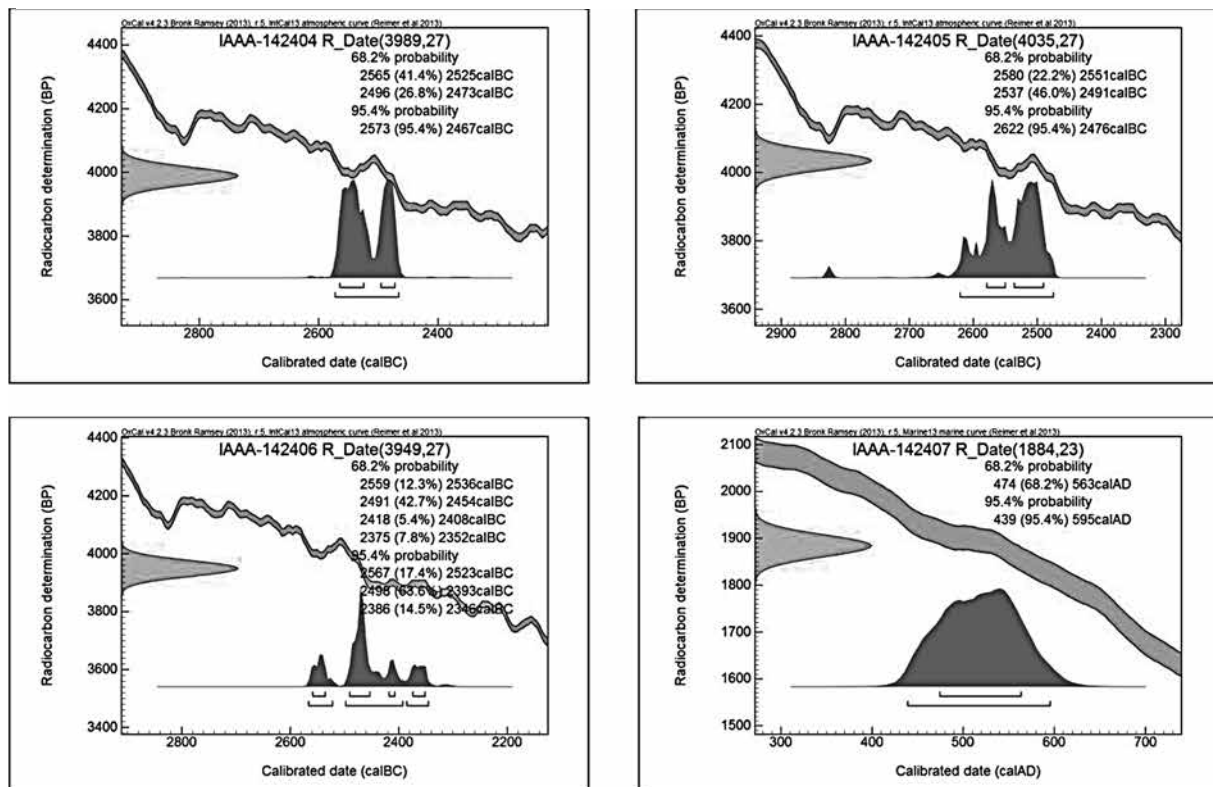
表2 放射性炭素年代測定結果 (δ<sup>13</sup>C未補正值、暦年較正用<sup>14</sup>C年代、較正年代) (1)

測定番号	δ <sup>13</sup> C補正なし		暦年較正用 (yrBP)	1σ 暦年代範囲	2σ 暦年代範囲
	Age (yrBP)	pMC (%)			
IAAA-142404	4,040 ± 30	60.48 ± 0.21	3,989 ± 27	2565calBC-2525calBC (41.4%) 2496calBC-2473calBC (26.8%)	2573calBC-2467calBC (95.4%)
IAAA-142405	4,070 ± 30	60.22 ± 0.20	4,035 ± 27	2580calBC-2551calBC (22.2%) 2537calBC-2491calBC (46.0%)	2622calBC-2476calBC (95.4%)
IAAA-142406	3,970 ± 30	61.00 ± 0.20	3,949 ± 27	2559calBC-2536calBC (12.3%) 2491calBC-2454calBC (42.7%) 2418calBC-2408calBC ( 5.4%) 2375calBC-2352calBC ( 7.8%)	2567calBC-2523calBC (17.4%) 2498calBC-2393calBC (63.6%) 2386calBC-2346calBC (14.5%)
IAAA-142407	1,470 ± 20	83.26 ± 0.24	1,884 ± 23	474calAD-563calAD (68.2%)*	439calAD-595calAD (95.4%)*
IAAA-142408	1,410 ± 20	83.86 ± 0.24	1,363 ± 23	650calAD-668calAD (68.2%)	638calAD-685calAD (95.4%)
IAAA-142409	3,930 ± 30	61.30 ± 0.21	3,927 ± 28	2474calBC-2433calBC (31.3%) 2422calBC-2403calBC (14.3%) 2380calBC-2349calBC (22.6%)	2489calBC-2334calBC (91.7%) 2325calBC-2301calBC ( 3.7%)
IAAA-142410	4,060 ± 30	60.35 ± 0.20	4,015 ± 27	2571calBC-2513calBC (54.6%) 2503calBC-2489calBC (13.6%)	2581calBC-2471calBC (95.4%)
IAAA-142411	4,070 ± 30	60.27 ± 0.20	4,038 ± 26	2581calBC-2559calBC (21.1%) 2536calBC-2491calBC (47.1%)	2625calBC-2476calBC (95.4%)
IAAA-142412	3,980 ± 30	60.96 ± 0.20	3,926 ± 26	2473calBC-2436calBC (31.2%) 2421calBC-2404calBC (13.8%) 2379calBC-2349calBC (23.2%)	2487calBC-2336calBC (93.0%) 2323calBC-2307calBC ( 2.4%)
IAAA-142413	390 ± 20	95.28 ± 0.28	348 ± 23	1485calAD-1523calAD (28.2%) 1572calAD-1630calAD (40.0%)	1462calAD-1530calAD (40.1%) 1539calAD-1635calAD (55.3%)
IAAA-142414	670 ± 20	92.04 ± 0.26	1,066 ± 23	1289calAD-1332calAD (68.2%)*	1275calAD-1389calAD (95.4%)*
IAAA-142415	1,030 ± 20	87.97 ± 0.26	954 ± 24	1028calAD-1049calAD (20.0%) 1085calAD-1124calAD (36.8%) 1137calAD-1150calAD (11.3%)	1023calAD-1059calAD (27.9%) 1065calAD-1154calAD (67.5%)

[参考値]

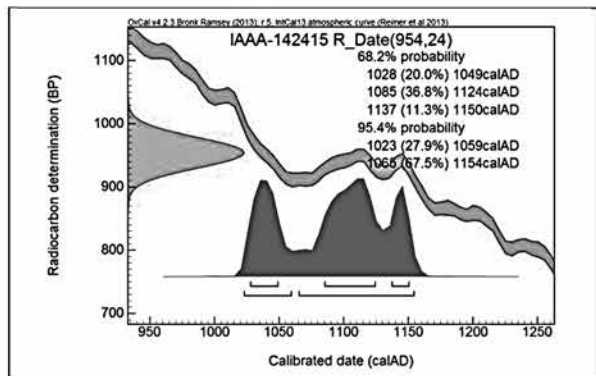
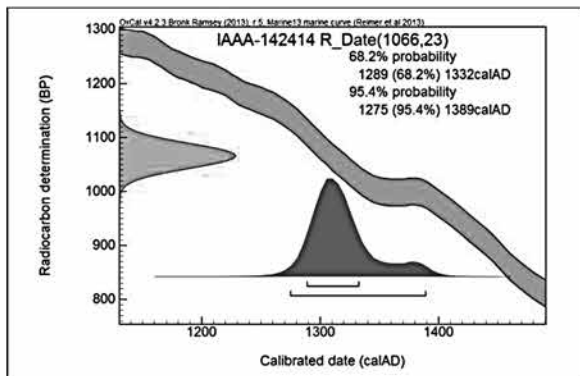
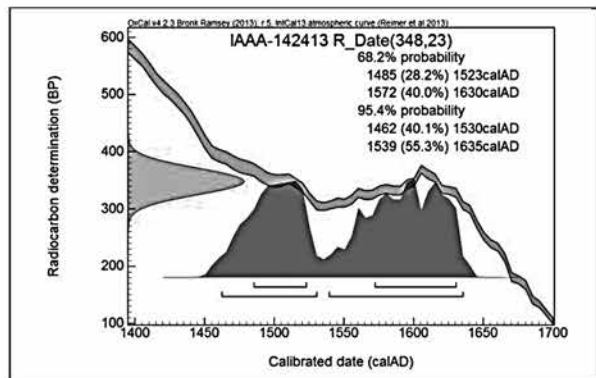
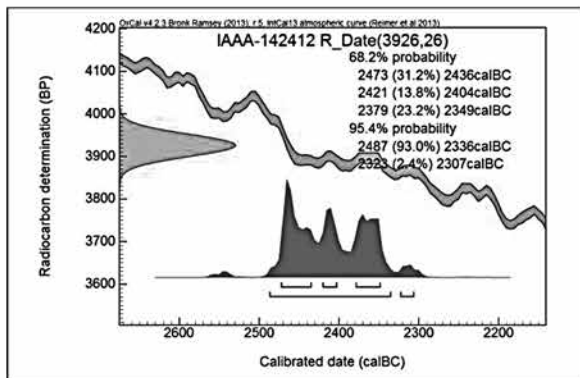
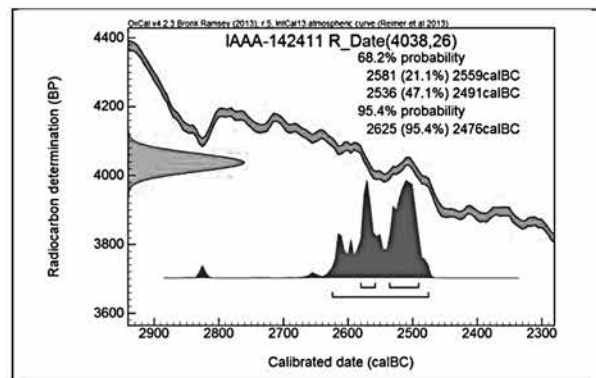
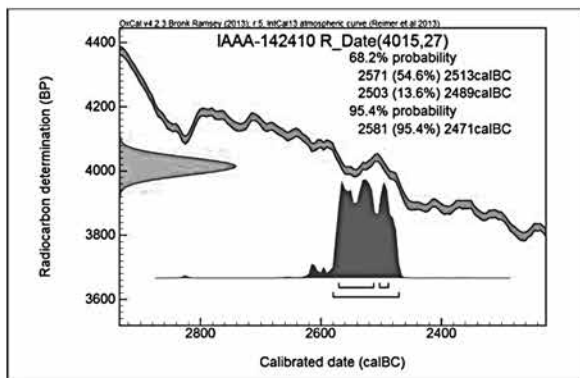
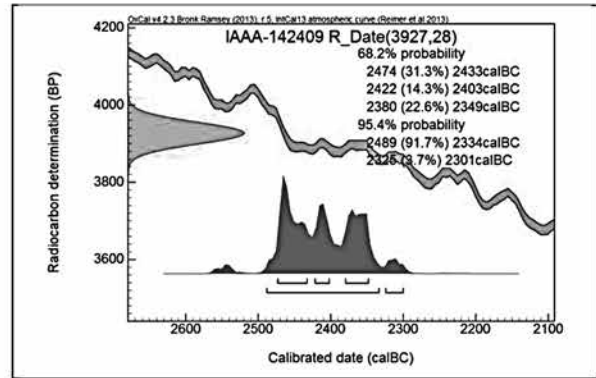
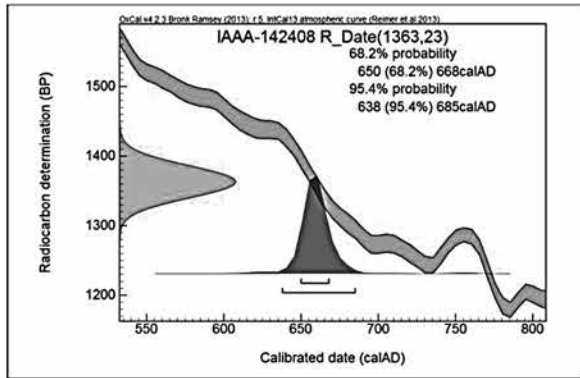
\* OxCal v4.2.3 Bronk Ramsey (2013) にて Marine13 marine curve (Reimer et al 2013) を使用しmarine100%で較正

[図版] 暦年較正年代グラフ (参考)





1 放射性炭素年代測定 (3)



## 1 放射性炭素年代測定（4）

（株）加速器分析研究所

### （1）測定対象試料

沢田Ⅲ遺跡は、岩手県下閉伊郡山田町山田第3地割33-1ほか（北緯38°28′52″、東経141°57′1″）に所在する。測定対象試料は、遺構から出土した炭化物5点である（表1）。

### （2）測定の意義

遺構から出土した炭化物を測定することで、遺構が使用された年代を明らかにする。

### （3）化学処理工程

- 1) メス・ピンセットを使い、付着物を取り除く。
- 2) 酸-アルカリ-酸（AAA：Acid Alkali Acid）処理により不純物を化学的に取り除く。その後、超純水で中性になるまで希釈し、乾燥させる。AAA処理における酸処理では、通常1 mol/l（1 M）の塩酸（HCl）を用いる。アルカリ処理では水酸化ナトリウム（NaOH）水溶液を用い、0.001Mから1 Mまで徐々に濃度を上げながら処理を行う。アルカリ濃度が1 Mに達した時には「AAA」、1 M未満の場合は「AaA」と表1に記載する。
- 3) 試料を燃焼させ、二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）を発生させる。
- 4) 真空ラインで二酸化炭素を精製する。
- 5) 精製した二酸化炭素を、鉄を触媒として水素で還元し、グラファイト（C）を生成させる。
- 6) グラファイトを内径1 mmのカソードにハンドプレス機で詰め、それをホイールにはめ込み、測定装置に装着する。

### （4）測定方法

加速器をベースとした<sup>14</sup>C-AMS専用装置（NEC社製）を使用し、<sup>14</sup>Cの計数、<sup>13</sup>C濃度（<sup>13</sup>C/<sup>12</sup>C）、<sup>14</sup>C濃度（<sup>14</sup>C/<sup>12</sup>C）の測定を行う。測定では、米国国立標準局（NIST）から提供されたシュウ酸（HOx II）を標準試料とする。この標準試料とバックグラウンド試料の測定も同時に実施する。

### （5）算出方法

- 1)  $\delta^{13}\text{C}$ は、試料炭素の<sup>13</sup>C濃度（<sup>13</sup>C/<sup>12</sup>C）を測定し、基準試料からのずれを千分偏差（‰）で表した値である（表1）。AMS装置による測定値を用い、表中に「AMS」と注記する。
- 2) <sup>14</sup>C年代（Libby Age：yrBP）は、過去の大気中<sup>14</sup>C濃度が一定であったと仮定して測定され、1950年を基準年（0yrBP）として遡る年代である。年代値の算出には、Libbyの半減期（5568年）を使用する（Stuiver and Polach 1977）。<sup>14</sup>C年代は $\delta^{13}\text{C}$ によって同位体効果を補正する必要がある。補正した値を表1に、補正していない値を参考値として表2に示した。<sup>14</sup>C年代と誤差は、下1桁を丸めて10年単位で表示される。また、<sup>14</sup>C年代の誤差（ $\pm 1\sigma$ ）は、試料の<sup>14</sup>C年代がその誤差範囲に入る確率が68.2%であることを意味する。
- 3) pMC（percent Modern Carbon）は、標準現代炭素に対する試料炭素の<sup>14</sup>C濃度の割合である。pMCが小さい（<sup>14</sup>Cが少ない）ほど古い年代を示し、pMCが100以上（<sup>14</sup>Cの量が標準現代炭素と同等以上）の場合Modernとする。この値も $\delta^{13}\text{C}$ によって補正する必要があるため、補正した

1 放射性炭素年代測定（4）

値を表1に、補正していない値を参考値として表2に示した。

4) 暦年較正年代とは、年代が既知の試料の<sup>14</sup>C濃度をもとに描かれた較正曲線と照らし合わせ、過去の<sup>14</sup>C濃度変化などを補正し、実年代に近づけた値である。暦年較正年代は、<sup>14</sup>C年代に対応する較正曲線上の暦年代範囲であり、1標準偏差（1σ=68.2%）あるいは2標準偏差（2σ=95.4%）で表示される。グラフの縦軸が<sup>14</sup>C年代、横軸が暦年較正年代を表す。暦年較正プログラムに入力される値は、δ<sup>13</sup>C補正を行い、下1桁を丸めない<sup>14</sup>C年代値である。なお、較正曲線および較正プログラムは、データの蓄積によって更新される。また、プログラムの種類によっても結果が異なるため、年代の活用にあたってはその種類とバージョンを確認する必要がある。ここでは、暦年較正年代の計算に、IntCal13データベース(Reimer et al. 2013)を用い、OxCalv4.2較正プログラム(Bronk Ramsey 2009)を使用した。暦年較正年代については、特定のデータベース、プログラムに依存する点を考慮し、プログラムに入力する値とともに参考値として表2に示した。暦年較正年代は、<sup>14</sup>C年代に基づいて較正(calibrate)された年代値であることを明示するために「cal BC/AD」または「cal BP」という単位で表される。

(6) 測定結果

測定結果を表1、2に示す。

試料の<sup>14</sup>C年代は、1が1360±20yrBP、2が870±20yrBP、3が1360±20yrBP、4が690±20yrBP、5が1460±20yrBPである。暦年較正年代（1σ）は、1が650～670cal AD、2が1159～1208cal AD、3が651～671cal AD、4が1277～1298cal AD、5が589～637cal ADの範囲で示される。

試料の炭素含有率はすべて60%を超える十分な値で、化学処理、測定上の問題は認められない。

表1 放射性炭素年代測定結果（δ<sup>13</sup>C補正值）

測定番号	試料名	採取場所	試料形態	処理方法	δ <sup>13</sup> C(‰) (AMS)	δ <sup>13</sup> C補正あり	
						Libby Age(yrBP)	pMC (%)
IAAA-161241	1	SI04 床面	炭化物	AAA	-25.39 ±0.40	1,360 ±20	84.44 ±0.24
IAAA-161242	2	SI21 埋土下位	炭化物	AAA	-24.09 ±0.41	870 ±20	89.68 ±0.24
IAAA-161243	3	SI25 煙道埋土	炭化物	AaA	-26.88 ±0.40	1,360 ±20	84.46 ±0.24
IAAA-161244	4	SI29 埋土上位	炭化物	AAA	-24.37 ±0.46	690 ±20	91.78 ±0.26
IAAA-161245	5	SI105 埋土	炭化物	AAA	-24.43 ±0.58	1,460 ±20	83.40 ±0.24

[#8209]

表2 放射性炭素年代測定結果（δ<sup>13</sup>C未補正值、暦年較正用<sup>14</sup>C年代、較正年代）

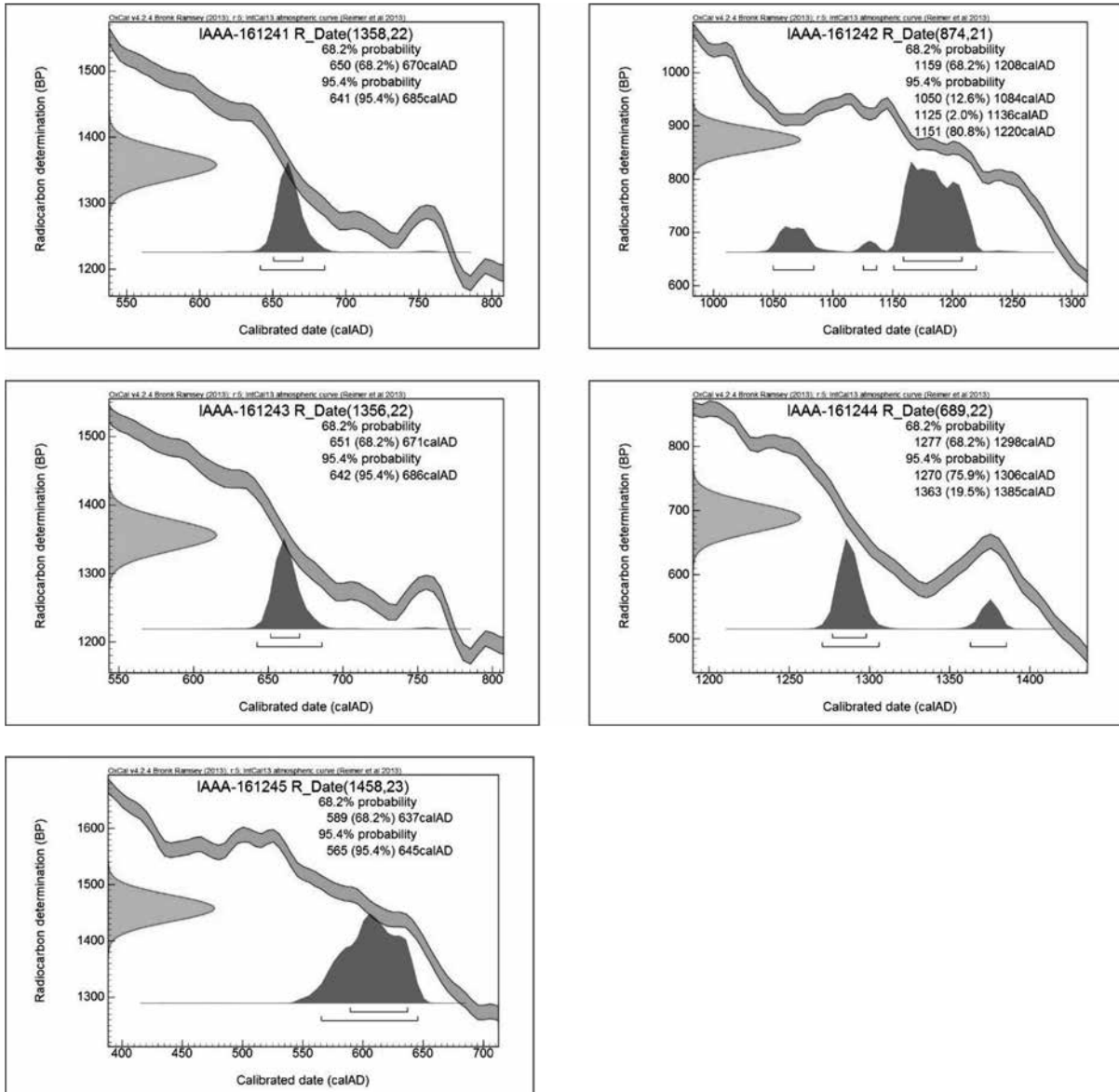
測定番号	δ <sup>13</sup> C補正なし		暦年較正用 (yrBP)	1σ暦年代範囲	2σ暦年代範囲
	Age (yrBP)	pMC (%)			
IAAA-161241	1,370 ±20	84.37 ±0.23	1,358 ±22	650calAD-670calAD (68.2%)	641calAD-685calAD (95.4%)
IAAA-161242	860 ±20	89.85 ±0.23	874 ±21	1159calAD-1208calAD (68.2%)	1050calAD-1084calAD (12.6%) 1125calAD-1136calAD ( 2.0%) 1151calAD-1220calAD (80.8%)
IAAA-161243	1,390 ±20	84.14 ±0.22	1,356 ±22	651calAD-671calAD (68.2%)	642calAD-686calAD (95.4%)
IAAA-161244	680 ±20	91.90 ±0.25	689 ±22	1277calAD-1298calAD (68.2%)	1270calAD-1306calAD (75.9%) 1363calAD-1385calAD (19.5%)
IAAA-161245	1,450 ±20	83.49 ±0.22	1,458 ±23	589calAD-637calAD (68.2%)	565calAD-645calAD (95.4%)

[参考値]

参考文献

- Bronk Ramsey, C. 2009 Bayesian analysis of radiocarbon dates, *Radiocarbon* 51(1), 337-360.
- Reimer, P.J. et al. 2013 IntCal13 and Marine13 radiocarbon age calibration curves, 0-50,000 years cal BP, *Radiocarbon* 55(4), 1869-1887.
- Stuiver, M. and Polach, H. A. 1977 Discussion: Reporting of  $^{14}\text{C}$  data, *Radiocarbon* 19(3), 355-363.

[図版] 暦年較正年代グラフ (参考)



## 2 火山灰の分析

パリノ・サーヴェイ株式会社

### (1) はじめに

山田町に所在する沢田Ⅲ遺跡は、山田湾に臨む海岸低地の北縁部を区切る北上山地縁辺の丘陵状の山地斜面から低地にかけて立地する。この付近の北上山地は、中生代白亜紀前期前半に形成された主に角閃石黒雲母花崗閃緑岩からなる宮古岩体によって構成されている（吉田ほか，1984）。

発掘調査では、縄文時代とされる竪穴住居跡や土坑、古代とされる竪穴住居跡や鉄生産関連遺構などが検出され、これらの遺構に伴う土器や石器、鉄製品さらには動植物の遺体などが多数出土している。本報告では、縄文時代の遺物包含層および遺構検出面の下位に認められた火山灰とされる堆積物について、重鉍物・火山ガラス比分析さらにはそれらの屈折率測定を行うことにより、既知の火山灰と対比をし、遺構や遺物の年代資料を作成する。

### (2) 試料

試料は、調査区中央北部のB区に堆積する土層中より検出された火山灰とされる堆積物1点である。発掘調査所見によれば、B区は、両側を南北に伸びる丘陵に挟まれた谷部にあり、谷内の堆積物は丘陵および谷斜面上部からの崩落土に由来するとされている。谷の基底を構成するのはⅢ層とされている黄褐色の粘土層であり、その上位にⅡ層とされる黒褐色～褐色を呈する土壌化したシルト層が厚さ2～3mで堆積する。Ⅱ層の下部には黒褐色のやや粘性のあるシルト層が確認されており、このシルト層中に火山灰とされるブロック状の堆積物が認められている。採取された試料の外観は、にぶい黄橙色を呈する砂質シルトである。

なお、発掘調査では、火山灰とされる堆積物が含まれるシルト層の上位に縄文時代前期後半の土器を包含する堆積層が確認され、さらに縄文時代前期後半の遺物の出土する竪穴住居跡が、火山灰とされる堆積物の含まれるシルト層を掘り込んで構築されていることが確認されている。

### (3) 分析方法

試料を適量採取し、水を加え、超音波洗浄装置を用いて粒子を分散し、250メッシュの分析篩上にて水洗して粒径が1/16mmより小さい粒子を除去する。乾燥させた後、篩別して、得られた粒径1/4mm-1/8mmの砂分を、ポリタングステン酸ナトリウム（比重約2.96に調整）により重液分離し、得られた重鉍物を偏光顕微鏡下にて250粒に達するまで同定する。同定の際、不透明な粒については、斜め上方からの落射光下で黒色金属光沢を呈するもののみを「不透明鉍物」とする。「不透明鉍物」以外の不透明粒および変質等で同定の不可能な粒は「その他」とする。

一方、重液分離により得られた軽鉍物分については、火山ガラスとそれ以外の粒子を、偏光顕微鏡下にて250粒に達するまで計数し、火山ガラスの量比を求める。火山ガラスは、その形態によりバブル型、中間型、軽石型の3つの型に分類する。各型の形態は、バブル型は薄手平板状あるいは泡のつぎ目をなす部分であるY字状の高まりを持つもの、中間型は表面に気泡の少ない厚手平板状あるいは塊状のもの、軽石型は表面に小気泡を非常に多く持つ塊状および気泡の長く延びた繊維束状のものとする。

屈折率の測定は、処理後に得られた軽鉍物分から摘出した火山ガラスと重鉍物分から摘出した斜方輝石とを対象として、古澤（1995）のMAIOTを使用した温度変化法を用いる。

(4) 結 果

重鉱物組成および火山ガラス比を表1、図1に示す。

重鉱物組成は、斜方輝石が最も多く、40%弱を占め、ついで角閃石と不透明鉱物がともに25%程度で多く、他に10%ほどの単斜輝石を伴う。

火山ガラス比では、20%ほどの無色透明の軽石型火山ガラスが検出された。軽石型火山ガラスの中には発泡の粗いものも含まれており、また極めて微量の継ぎ目の多いバブル型も認められた。

屈折率の測定結果を図2に示す。火山ガラスのレンジは $n_{1.512}$ -1.515であり、モードは $n_{1.512}$ -1.514である。斜方輝石のレンジは $\gamma_{1.707}$ -1.716であり、モードは $\gamma_{1.709}$ -1.710である。

なお、処理後の残渣について実体顕微鏡下で観察したところ、中粒砂以上の砂分のほとんどは、花崗岩類に由来すると考えられる石英や長石類および角閃石などの鉱物が接合した岩石片であり、黒雲母の細片も少量含まれている。

(5) 考 察

火山灰とされた堆積物は、軽石型火山ガラスが検出されたことにより、火山ガラス質テフラの降下堆積物であると考えられる。沢田遺跡の地理的位置を考慮すれば、火山ガラス質テフラを噴出するような火山は十和田カルデラである可能性が高い。町田・新井(2003)による十和田カルデラの完新世テフラの火山ガラスの屈折率をみると、今回の試料のような比較的高い屈折率を示すテフラは、十和田中楸テフラ(To-Cu:町田・新井, 2003; Hayakawa, 1985)と十和田南部テフラ(o-Nb:町田・新井, 2003; Hayakawa, 1985)が認められる。さらに、両者の斜方輝石の屈折率を比べると、両者のレンジとモードは比較的明瞭に区別されており、今回の試料の値と近似するレンジとモードを示すテフラはTo-Nbとなる。これらのことから、検出された火山ガラスと斜方輝石は、To-Nbに由来する可能性が高いと考えられる。To-Nbの噴出年代は、暦年代で約9,400年前とされており(工藤・佐々木, 2007)、沢田Ⅲ遺跡における発掘調査所見による遺物や遺構との層位関係とも矛盾はない。

Hayakawa(1985)によれば、To-Nbは降下軽石火山礫層からなる南部軽石と細粒の降下火山灰層からなる貝守火山灰により構成されている。南部軽石の分布は、久慈市付近の岩手県北部までしか記載されておらず(町田・新井, 2003)、また、貝守火山灰は給源付近の記載しかされていない(Hayakawa, 1985)。一方、火山ガラスの屈折率がやや近いとしたTo-Cuは気仙沼付近まで確認されている(町田ほか, 1984)。したがって、現時点では、今回検出された火山ガラスが、南部軽石噴出時の細粒碎屑物に由来するかあるいは貝守火山灰に由来するかは判断することはできない。また、分布の記載例があ

表1 重鉱物・火山ガラス比分析結果

試料名	斜方輝石	単斜輝石	角閃石	緑閃石	不透明鉱物	合計	バブル型火山ガラス	中間型火山ガラス	軽石型火山ガラス	その他	合計
B区 火山灰	96	31	62	1	60	250	2	0	48	200	250

図1 重鉱物組成および火山ガラス比

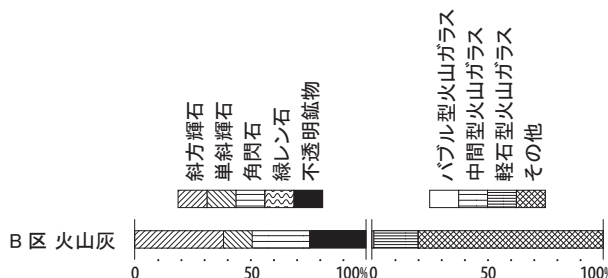
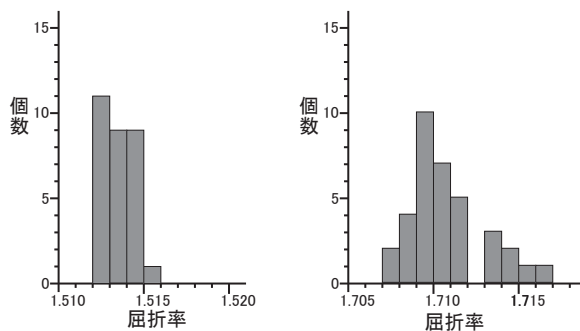


図2 火山ガラスおよび斜方輝石の屈折率



まに見られないことから、斜方輝石の屈折率の問題はあるがTo-Cuに由来する可能性を全く否定することもできない。ただし、分布の事例が少ないことについては、おそらく山田町付近におけるTo-Nbの降灰量が少なかったことによるものと考えられる。今回の事例は、比較的堆積速度の速いと考えられる谷埋め堆積物内であったことにより、降下火山灰堆積物が良好に保存された可能性がある。

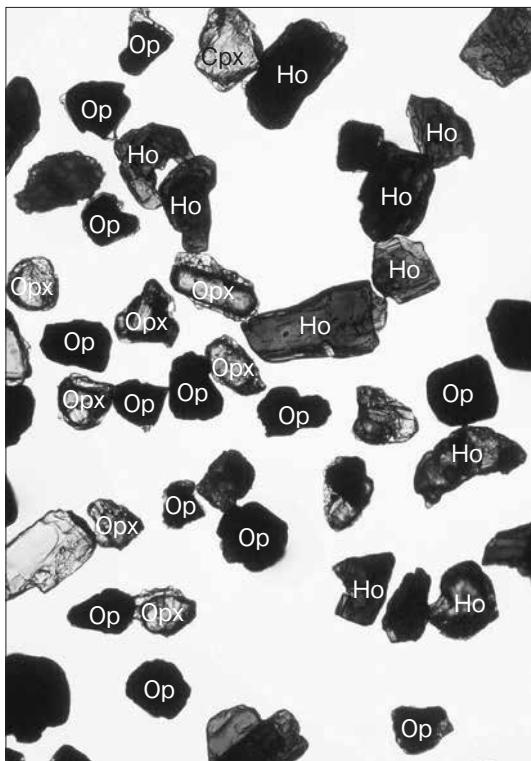
いずれにしても、岩手県中部に位置する本遺跡でTo-Nbに対比される可能性の高いテフラが確認されたことは、縄文時代早期から前期にわたる堆積層における時間指標として意義があると言える。

なお、今回の分析では重鉱物組成において斜方輝石に次いで多くの角閃石が計数されたが、中粒砂以上の残渣に花崗岩類の岩石片が多量に認められたことから、細砂中の角閃石の鉱物片は十和田カルデラのテフラに由来するものではなく、後背の丘陵を構成する宮古岩体に由来するものと考えられる。

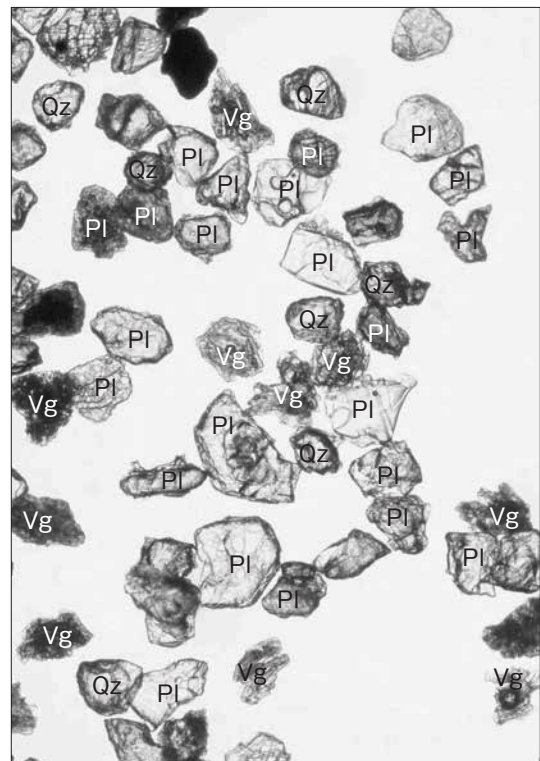
引用文献

古澤 明, 1995, 火山ガラスの屈折率測定および形態分類とその統計的な解析に基づくテフラの識別, 地質学雑誌, 101, 123-133.  
 Hayakawa, Y., 1985, Pyroclastic Geology of Towada Volcano. Bulletin of The Earthquake Reserch Institute University of Tokyo, vol. 60, 507-592.  
 工藤 崇・佐々木寿, 2007, 十和田火山後カルデラ期噴出物の高精度噴火史編年, 地学雑誌, 116, 653-663.  
 町田 洋・新井房夫, 2003, 新編 火山灰アトラス, 東京大学出版会, 336p.  
 町田 洋・新井房夫・杉原重夫・小田静夫・遠藤邦彦, 1984, テフラと日本考古学-考古学研究と関連するテフラのカタログ-, 渡辺直経編 古文化財に関する保存科学と人文・自然科学, 865-928.  
 吉田 尚・大沢 穠・片田正人・中井順二, 1984, 20万分の1地質図幅「盛岡」, 地質調査所.

図版1 重鉱物・軽鉱物



1 重鉱物(B区 火山灰)



2 軽鉱物(B区 火山灰)

Opx:斜方輝石. Cpx:単斜輝石. Ho:角閃石. Op:不透明鉱物. Vg:火山ガラス.  
 Qz:石英. Pl:斜長石.

0.5mm

### 3 鉄滓類の分析（1）

JFEテクノロジー株式会社

#### （1）はじめに

三陸沿岸道路の建設事業に伴い、岩手県下閉伊郡山田町に所在する沢田Ⅲ遺跡から出土した製鉄遺物について、学術的な記録と今後の調査のための一環として化学成分分析・顕微鏡組織観察を含む自然科学的観点での調査を依頼された。鉄滓、炉壁、及び羽口等について化学成分分析、顕微鏡組織観察、X線回折測定、耐火度測定試験等を行い、その結果にもとづき材質、始発原料、及び製造工程上の位置づけなどを中心に調査した。その結果について報告する。

#### （2）調査項目および試験・観察方法

##### 1) 調査項目

調査試料の記号、出土遺構・注記および調査項目を表1に示す。

##### 2) 調査方法

###### （i）重量計測、外観観察および金属探知調査

試料重量の計量は電子天秤を使用して行い、少数点2位以下で四捨五入した。各種試験用試料を採取する前に、試料の外観をmm単位まであるスケールを同時に写し込みで撮影した。試料の出土位置や試料の種別等は提供された資料に準拠した。

着磁力調査については、直径30mmのリング状フェライト磁石を使用し、6mmを1単位として35cmの高さから吊した磁石が動きは始める位置を着磁度として数値で示した。遺物内の残存金属の有無は金属探知機（MC：metal checker）を用いて調査した。金属検知にあたっては参照標準として直径と高さを等しくした金属鉄円柱（1.5mmφ x 1.5mmH、2.0mmφ x 2.0mmH、5mmφ x 5mmH、10mmφ x 10mmH、16mmφ x 16mmH、20mmφ x 20mmH、30mmφ x 30mmH）を使用し、これとの対比で金属鉄の大きさを判断した。

###### （ii）化学成分分析

化学成分分析は鉄鋼に関するJIS分析法に準じて行っている。

- ・全鉄（T.Fe）：三塩化チタン還元－二クロム酸カリウム滴定法。
- ・金属鉄（M.Fe）：臭素メタノール分解－EDTA滴定法。
- ・酸化第一鉄（FeO）：二クロム酸カリウム滴定法。
- ・酸化第二鉄（Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>）：計算。　・化合水（C.W.）：カールフィッシャー法。
- ・炭素（C）、イオウ（S）：燃焼－赤外線吸収法。
- ・ライム（CaO）、酸化マグネシウム（MgO）、酸化マンガン（MnO）、酸化ナトリウム（Na<sub>2</sub>O）、珪素（Si）、マンガン（Mn）、リン（P）、銅（Cu）、ニッケル（Ni）、コバルト（Co）、アルミニウム（Al）、ヴァナジウム（V）、チタン（Ti）：ICP発光分光分析法。
- ・シリカ（SiO<sub>2</sub>）、アルミナ（Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub>）、酸化カルシウム（CaO）、酸化マグネシウム（MgO）、二酸化チタン（TiO<sub>2</sub>）、酸化リン（P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>）、酸化カリウム（K<sub>2</sub>O）：ガラスビード蛍光X線分析法。但しCaO、MgO、MnOは含有量に応じてICP分析法またはガラスビード蛍光X線分析法を選択。
- ・酸化ナトリウム（Na<sub>2</sub>O）：原子吸光法。



### 3 鉄滓類の分析（1）

なお、鉄滓中成分は、18成分（全鉄T.Fe、金属鉄M.Fe、酸化第一鉄FeO、酸化第二鉄Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>、シリカSiO<sub>2</sub>、アルミナAl<sub>2</sub>O<sub>3</sub>、ライムCaO、マグネシアMgO、酸化ナトリウムNa<sub>2</sub>O、酸化カリウムK<sub>2</sub>O、二酸化チタンTiO<sub>2</sub>、酸化マンガンMnO、酸化リンP<sub>2</sub>O<sub>5</sub>、化合水C.W.、炭素C、ヴァナジウムV、銅Cu、ジルコニウムZr）を化学分析している。分析は各元素について分析し、酸化物に換算して表示している。

胎土成分は、17成分（全鉄T.Fe、酸化鉄FeO、シリカSiO<sub>2</sub>、アルミナAl<sub>2</sub>O<sub>3</sub>、ライムCaO、マグネシアMgO、化合水C.W.、二酸化チタンTiO<sub>2</sub>、酸化マンガンMnO、酸化ナトリウムNa<sub>2</sub>O、酸化カリウムK<sub>2</sub>O、炭素C、ルビジウムRb、ストロンチウムSr）を化学分析している。

鉄製品中成分の化学分析は、13成分（炭素C、シリコンSi、マンガンMn、リンP、イオウS、銅Cu、ニッケルNi、コバルトCo、アルミニウムAl、ヴァナジウムV、チタンTi、カルシウムCa、マグネシウムMg）を化学分析している。

#### （iii）顕微鏡組織観察

試料の一部を切り出し樹脂に埋め込み、細かい研磨剤などで研磨（鏡面仕上げ）する。炉壁・羽口・粘土などの鉍物性試料については顕微鏡で観察しながら代表的な鉍物組織などを観察し、その特徴から材質、用途、熱履歴などを判断する。滓関連資料も炉壁・羽口など同様の観察を行うが特徴的鉍物組織から成分的な特徴に結びつけ製・精錬工程の判別、使用原料なども検討する。金属鉄はナイトール（5%硝酸アルコール液）で腐食後、顕微鏡で観察しながら代表的な断面組織を拡大して写真撮影し、顕微鏡組織および介在物（不純物、非金属鉍物）の存在状態等から製鉄・鍛冶工程の加工状況や材質を判断する。原則として100倍および400倍で撮影を行う。必要に応じて実体顕微鏡（5倍～20倍）による観察もする。

#### （iv）X線回折測定

試料を粉砕して板状に成形し、X線を照射すると、試料に含まれている化合物の結晶の種類に応じて、それぞれに固有な反射（回折）された特性X線を検出（回折）できることを利用して、試料中の未知の化合物を同定することができる。多くの種類の結晶についての標準データが整備されており、ほとんどの化合物が同定される。

測定装置 理学電気株式会社製 ロータフレックス（RU-300型）

測定条件

- |                  |                             |
|------------------|-----------------------------|
| ① 使用X線           | Cu-K $\alpha$ （波長=1.54178Å） |
| ② K $\beta$ 線の除去 | グラファイト単結晶モノクロメーター           |
| ③ 管電圧・管電流        | 55kV・250mA                  |
| ④ スキャニング・スピード    | 4.0°/min                    |
| ⑤ サンプリング・インターバル  | 0.020°                      |
| ⑥ D.S.スリット       | 1°                          |
| ⑦ R.S.スリット       | 0.15mm                      |
| ⑧ S.S.スリット       | 1°                          |
| ⑨ 検出器            | シンチレーション・カウンター              |

## (v) 耐火度測定

耐火物及び耐火物原料の耐火度試験は、JIS R 2204（耐火物及び耐火物原料の耐火度試験方法）及びJIS R 8101（耐火度試験用標準コーン）に準拠して測定する。

遺物試料を粉碎し、規定（量的に少量であるから寸法は第2種の小型：幅7mm、高さ27mm）のゼーゲルコーンを成型する。このゼーゲルコーンを傾斜80°で受台に装着し、毎分5℃で加熱する。コーンの先端が曲がり始め、受台に接触したときの温度を耐火度（溶倒温度）とする。

なお、耐火度を測定できない場合などには、必要に応じてこれまでの146試料について耐火度（ゼーゲルコーン溶倒温度 $y$ (℃)の試験結果を整理して得た下記の推算式で求める。

耐火度は、 $y = 110.98 f(x) + 927.82$  の関係が得られている。ここで、  
 $f(x) = (25.8Al_2O_3 + 5.2SiO_2) / (146MgO + 448MnO + 12.5T.Fe + 10.4TiO_2 + 78.6CaO)$

## (3) 調査結果および考察

分析調査結果を図表にまとめて328～330頁に示す。表1に調査試料と調査項目をまとめた。表2～7に試料の化学成分分析結果を、表8に耐火度測定結果を、表9にX線回折結果を、表10に調査結果のまとめをそれぞれ示した。

全試料の外観写真を331～333頁に、鉄滓と炉壁胎土等の顕微鏡組織を334～338頁に、X線回折チャートを339～340頁にそれぞれ示す。

以下、試料の番号順に述べる。

## 試料No.1 羽口、着磁度：なし、金属探知機反応：なし

**外観観察：**外観写真を331頁に示す。重量1,652.3g、長さ242.6mm。手ならしで丁寧に仕上げられたほぼ完型のラッパ状で楕円形を呈した羽口で、後端部の計測で外径は86～95φmm、内径は49～56φmmである。炉内側先端部は孔部が滓で一部が閉塞し、先端から後端部に向かう150mm程度は滓と反応して斑状に黒変している。内側は長手方向に亀裂が生じている。

**顕微鏡組織：**顕微鏡組織写真を334頁に示す。半透明の石英粒や長石類の粒子が観察され、外観に比べ石英や長石類が多い。素地は締まり緻密。

**化学成分：**化学成分分析結果を表6～7に示す。強熱減量は7.70%、化合水は7.22%で結晶水などが抜けていない状態である。330頁の図4に示す耐火度と胎土成分の関係から見ると耐火度に有利な $SiO_2$ と $Al_2O_3$ では、 $SiO_2$ は61.4%で通常の粘土より低い $Al_2O_3$ は20.4%で通常の粘土より高い。一方、造滓成分( $SiO_2 + Al_2O_3 + CaO + MgO + Na_2O + K_2O$ )中の軟化性を持つアルカリ土類成分( $CaO + MgO$ )は1.54%で低い特徴がある。耐火度を低下させると思われる $Na_2O + K_2O$ は3.11%である。軟化性成分である全鉄分は3.80%と並。MnOは0.07%である。

**耐火度：**耐火度測定の結果を329頁の表8に示す。耐火度は1,410℃で、成分系を反映して製鉄炉の羽口として並である。

以上から本試料は $SiO_2$ が61.4%、 $Al_2O_3$ が20.4%でアルカリ土類成分が低い特徴を持つ胎土の耐火度1,410℃の製鉄炉の羽口である。

## 試料No.2 流動滓、着磁度：なし、金属探知機反応：なし

**外観観察：**外観写真を331頁に示す。重量507.6g、長さ116.4mm、幅86.4mm、厚さ27.8mm。不斉台形状を呈したずっしりと重量感のある灰黒色を呈した流動滓である。上面側は滓が流動した痕跡で脳みそ

### 3 鉄滓類の分析 (1)

のシワのような形状を呈している。下面側には0.5～1mm大の気泡が点在し、3～5mm大の小石も多数巻き込まれている。破面は2、破面で見ると微細な気泡は観察されず緻密な組織である。

**顕微鏡組織：**顕微鏡写真を334頁に示す。マグネタイト (Magnetite:  $\text{Fe}_3\text{O}_4$ ) 組織、ウルボスピネル (Ulvospinel:  $2\text{FeO} \cdot \text{TiO}_2$ ) 組織、及びファイヤライト (Fayalite:  $2\text{FeO} \cdot \text{SiO}_2$ ) 組織等が観察される。

**X線回折：**結果を329頁の表9に示す。マグネタイト (Magnetite:  $\text{Fe}_3\text{O}_4$ ) 組織、及びウルボスピネル (Ulvospinel:  $2\text{FeO} \cdot \text{TiO}_2$ ) 組織の回折線が高強度に、ファイヤライト (Fayalite:  $2\text{FeO} \cdot \text{SiO}_2$ ) 組織の回折線が中強度にそれぞれ認められる。

**化学成分：**化学成分分析結果を表2～3に示す。全鉄41.9%に対して金属鉄は0.17%とわずかである。FeOは47.8%、 $\text{Fe}_2\text{O}_3$ は6.50%、 $\text{SiO}_2$ は24.0%、 $\text{Al}_2\text{O}_3$ は7.03%、 $\text{TiO}_2$ は4.56%で始発原料は砂鉄である。FeO- $\text{SiO}_2$ - $\text{TiO}_2$ の3成分系に換算するとFeOは65.5%、 $\text{SiO}_2$ は29.0%、 $\text{TiO}_2$ は5.5%となる。329頁のFeO- $\text{SiO}_2$ - $\text{TiO}_2$ 系の平衡状態図ではウルボスピネル組織の境界領域にあり平衡状態図上の位置は顕微鏡観察とほぼ一致する。330頁に示す図2、3は滓の成分的特徴から製鉄工程の生成位置等を検討する図である。図2、3で見ると本試料は砂鉄系製錬滓の位置にある。

以上から本試料は砂鉄を始発原料とする製錬工程で生成した鉄滓と見られる。

#### 試料No.3 鉄塊系遺物、着磁度：4、金属探知機反応：16mm以上

**外観観察：**外観写真を331頁に示す。重量130.7g、長さ86.8mm、幅57.7mm、厚さ24.9mm。不斉四角形の扁平な鉄塊系遺物と見られ、内部からにじみ出た暗紫色の錆汁で覆われている。上面側は中央部が窪んだ形状で、下面側には小石が多数付着している。大部分は錆化しているため滓を分析する。

**顕微鏡組織：**顕微鏡写真を335頁に示す。錆化した鉄組織、マグネタイト (Magnetite:  $\text{Fe}_3\text{O}_4$ ) 組織、ウルボスピネル (Ulvospinel:  $2\text{FeO} \cdot \text{TiO}_2$ ) 組織等が観察される。

**X線回折：**結果を329頁の表9に示す。マグネタイト (Magnetite:  $\text{Fe}_3\text{O}_4$ ) 組織の回折線が高強度に、ゲーサイト (Goethite:  $\alpha\text{-FeOOH}$ ) の回折線が中強度に、ウルボスピネル (Ulvospinel:  $2\text{FeO} \cdot \text{TiO}_2$ ) 組織の回折線が弱強度にそれぞれ認められる。

**化学成分：**化学成分分析結果を表2～3に示す。全鉄52.2%に対して金属鉄は3.67%である。FeOは11.7%、 $\text{Fe}_2\text{O}_3$ は56.4%、 $\text{SiO}_2$ は14.7%、 $\text{Al}_2\text{O}_3$ は3.53%、 $\text{TiO}_2$ は0.39%であるがウルボスピネル組織が検出されたことから始発原料は砂鉄と見られる。FeO- $\text{SiO}_2$ - $\text{TiO}_2$ の3成分系に換算するとFeOは81.9%、 $\text{SiO}_2$ は17.7%、 $\text{TiO}_2$ は0.5%となる。329頁のFeO- $\text{SiO}_2$ - $\text{TiO}_2$ 系の平衡状態図ではマグネタイト組織とウルボスピネル組織の境界領域にあり平衡状態図上の位置は顕微鏡観察とほぼ一致する。330頁に示す図2、3は滓の成分的特徴から製鉄工程の生成位置等を検討する図である。図2、3で見ると本試料は砂鉄系製錬滓の位置にある。

以上から本試料は砂鉄を始発原料とする製錬工程で生成した鉄滓と見られる。

#### 試料No.4 羽口、着磁度：なし、金属探知機反応：なし

**外観観察：**外観写真を331頁に示す。重量901.9g、長さ169.2mm。後端部計測で外径が78～85φmm、内径が32φmm、厚みが18～33mm程度の楕円状を呈した羽口である。後端部は破損し内側には亀裂が軸方向に走っている。炉内側先端部は滓と反応して溶損し、先端の150mm程度は黒く変色している。

**顕微鏡組織：**顕微鏡組織写真を335頁に示す。半透明の石英粒や長石類の粒子が観察され、外観に比べ石英や長石類が多い。素地は締まり緻密。

**化学成分：**化学成分分析結果を表6～7に示す。強熱減量は1.19%、化合水は1.06%で結晶水などが

ほぼ抜けた状態である。330頁の図4に示す耐火度と胎土成分の関係から見ると耐火度に有利な $\text{SiO}_2$ と $\text{Al}_2\text{O}_3$ では、 $\text{SiO}_2$ は62.6%で通常の粘土より低い $\text{Al}_2\text{O}_3$ は23.6%で通常の粘土より高い。一方、造滓成分( $\text{SiO}_2 + \text{Al}_2\text{O}_3 + \text{CaO} + \text{MgO} + \text{Na}_2\text{O} + \text{K}_2\text{O}$ )中の軟化性を持つアルカリ土類成分( $\text{CaO} + \text{MgO}$ )は1.68%で低い特徴がある。耐火度を低下させると思われる $\text{Na}_2\text{O} + \text{K}_2\text{O}$ は3.21%である。軟化性成分である全鉄分は4.95%と並。MnOは0.07%である。

**耐火度：**耐火度測定の結果を329頁の表8に示す。耐火度は1,410°Cで、成分系を反映して製鉄炉の羽口として並である。

以上から本試料は $\text{SiO}_2$ が62.6%、 $\text{Al}_2\text{O}_3$ が23.6%でアルカリ土類成分が低い特徴を持つ胎土の耐火度1,410°Cの製鉄炉の羽口である。

#### 試料No.5 炉壁、着磁度：なし、金属探知機反応：なし

**外観観察：**外観写真を332頁に示す。重量231.4g、長さ140.5mm、幅72.6mm、厚さ20.5mm。不斉四角形の四国地方のような形状をした扁平な炉壁片。上面側は炉内側の凹凸な形状で黒褐色の滓が一面に付着している。下面側は炉壁で3～4mm大の苧痕、及び石英や長石等の鉱物粒も観察される。半分程度の部分は被熱で赤く変色している。

**顕微鏡組織：**顕微鏡組織写真を336頁に示す。粘土の素地に長石類などの鉱物粒が多く観察される一般的な胎土組織で、粘土質の素地に石英や長石類などの鉱物粒が多く残っている。鉄滓組織も散見される。

**化学成分：**化学成分分析結果を表6～7に示す。強熱減量は0.41%、化合水は0.38%で結晶水などが抜けた状態である。330頁の図4に示す耐火度と胎土成分の関係から見ると耐火度に有利な $\text{SiO}_2$ と $\text{Al}_2\text{O}_3$ では、 $\text{SiO}_2$ は62.2%で通常の粘土より低い $\text{Al}_2\text{O}_3$ は23.9%で通常の粘土より高い。一方、造滓成分( $\text{SiO}_2 + \text{Al}_2\text{O}_3 + \text{CaO} + \text{MgO} + \text{Na}_2\text{O} + \text{K}_2\text{O}$ )中の軟化性を持つアルカリ土類成分( $\text{CaO} + \text{MgO}$ )は3.15%で高い特徴がある。耐火度を低下させると思われる $\text{Na}_2\text{O} + \text{K}_2\text{O}$ は3.58%である。軟化性成分である全鉄分は4.18%と並。MnOは0.08%である。

**耐火度：**耐火度測定の結果を329頁の表8に示す。耐火度は1,250°Cで、成分系を反映して製鉄炉の炉壁として並である。

以上から本試料は $\text{SiO}_2$ が62.2%、 $\text{Al}_2\text{O}_3$ が23.9%でアルカリ土類成分が高い特徴を持つ胎土の耐火度1,250°Cの製鉄炉の炉壁である。

#### 試料No.6 鉄塊系遺物、着磁度：4、金属探知機反応：16mm以上

**外観観察：**外観写真を332頁に示す。重量134.6g、長さ80.1mm、幅47.7mm、厚さ40.2mm。ゴツゴツとした岩山のような形状の鉄塊系遺物で内部から染み出した錆汁で暗紫色を呈している。上面側には5mm大の小石が付着している。下面側は中央部分に貫通孔があり5mm大の滓が複数個付着している。

**顕微鏡組織：**顕微鏡写真を336頁に示す。ガラス質組織が主体で、僅かにマグネタイト(Magnetite:  $\text{Fe}_3\text{O}_4$ )組織やウルボスピネル(Ulvospinel:  $2\text{FeO} \cdot \text{TiO}_2$ )組織等が観察される。

**X線回折：**結果を329頁の表9に示す。クリストバライト(Quartz- $\text{SiO}_2$ )組織の回折線が高強度に、マグネタイト(Magnetite:  $\text{Fe}_3\text{O}_4$ )組織の回折線が中強度に、ファイヤライト(Fayalite:  $2\text{FeO} \cdot \text{SiO}_2$ )組織の回折線が弱強度にそれぞれ認められる。

**化学成分：**化学成分分析結果を表2～3に示す。全鉄28.1%に対して金属鉄は0.73%とわずかである。FeOは13.4%、 $\text{Fe}_2\text{O}_3$ は24.2%、 $\text{SiO}_2$ は37.8%、 $\text{Al}_2\text{O}_3$ は11.9%、 $\text{TiO}_2$ は2.65%で始発原料は砂鉄である。

FeO<sub>n</sub>- SiO<sub>2</sub>-TiO<sub>2</sub>の3成分系に換算するとFeO<sub>n</sub>は48.2%、SiO<sub>2</sub>は48.4%、TiO<sub>2</sub>は3.4%となる。329頁のFeO<sub>n</sub>- SiO<sub>2</sub>-TiO<sub>2</sub>系の平衡状態図ではクリストバライト組織の境界領域にあり平衡状態図上の位置は顕微鏡観察とほぼ一致する。330頁に示す図2、3は滓の成分的特徴から製鉄工程の生成位置等を検討する図である。図2、3で見ると本試料は砂鉄系製錬滓の位置にある。

以上から本試料は砂鉄を始発原料とする製錬工程で生成した鉄滓と見られる。

**試料No.7 流動滓、着磁度：なし、金属探知機反応：なし**

**外観観察：**外観写真を332頁に示す。重量142.2g、長さ109.1mm、幅41.7mm、厚さ21.1mm。灰黒色を呈した長円状のずっしりと重量感のある流動滓。上面側は滓が溶融した筋状の模様がある曲面で、下面側は5～7mm大の小石が一面に付着している。破面は2、破面で見ると5～10mm大の集合した気泡があり緻密な組織である。

**顕微鏡組織：**顕微鏡写真を337頁に示す。ウルボスピネル (Ulvospinel: 2FeO · TiO<sub>2</sub>) 組織、マグネタイト (Magnetite: Fe<sub>3</sub>O<sub>4</sub>) 組織、及びファイヤライト (Fayalite: 2FeO · SiO<sub>2</sub>) 組織等が観察される。**X線回折：**結果を329頁の表9に示す。ウルボスピネル (Ulvospinel: 2FeO · TiO<sub>2</sub>) 組織の回折線が高強度に、マグネタイト (Magnetite: Fe<sub>3</sub>O<sub>4</sub>) 組織、及びファイヤライト (Fayalite: 2FeO · SiO<sub>2</sub>) 組織の回折線が中強度にそれぞれ認められる。

**化学成分：**化学成分分析結果を表2～3に示す。全鉄34.7%に対して金属鉄は0.45%とわずかである。FeOは40.8%、Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>は3.60%、SiO<sub>2</sub>は28.0%、Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub>は7.10%、TiO<sub>2</sub>は7.20%で始発原料は砂鉄である。FeO<sub>n</sub>- SiO<sub>2</sub>-TiO<sub>2</sub>の3成分系に換算するとFeO<sub>n</sub>は55.8%、SiO<sub>2</sub>は35.2%、TiO<sub>2</sub>は9.0%となる。328頁のFeO<sub>n</sub>- SiO<sub>2</sub>-TiO<sub>2</sub>系の平衡状態図ではウルボスピネル組織の境界領域にあり平衡状態図上の位置は顕微鏡観察とほぼ一致する。330頁に示す図2、3は滓の成分的特徴から製鉄工程の生成位置等を検討する図である。図2、3で見ると本試料は砂鉄系製錬滓の位置にある。

以上から本試料は砂鉄を始発原料とする製錬工程で生成した鉄滓と見られる。

**試料No.8 羽口、着磁度：なし、金属探知機反応：なし**

**外観観察：**外観写真を332頁に示す。重量374.9g、長さ125.9mm、幅85.5mm、厚さ25.9mm。内径が30φmm程度の羽口の破片。先端部は外側に滓が付着して黒色を呈し、内側には亀裂が走っている。破面で見ると5mm大の石英や長石と見られる鉱物粒が点在している。

**顕微鏡組織：**顕微鏡組織写真を337頁に示す。半透明の石英粒や長石類の粒子が観察され、外観に比べ石英や長石類が多い。素地は締まり緻密。

**化学成分：**化学成分分析結果を表6～7に示す。強熱減量は0.86%、化合水は0.84%で結晶水などが抜けた状態である。330頁の図4に示す耐火度と胎土成分の関係から見ると耐火度に有利なSiO<sub>2</sub>とAl<sub>2</sub>O<sub>3</sub>では、SiO<sub>2</sub>は60.6%で通常の粘土より低いがAl<sub>2</sub>O<sub>3</sub>は25.7%で通常の粘土より高い。一方、造滓成分 (SiO<sub>2</sub> + Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub> + CaO + MgO + Na<sub>2</sub>O + K<sub>2</sub>O) 中の軟化性を持つアルカリ土類成分 (CaO + MgO) は1.64%で低い特徴がある。耐火度を低下させると思われるNa<sub>2</sub>O + K<sub>2</sub>Oは2.77%である。軟化性成分である全鉄分は5.30%と並。MnOは0.06%である。

**耐火度：**耐火度測定の結果を329頁の表8に示す。耐火度は1,435℃で、成分系を反映して製鉄炉の羽口として並である。

以上から本試料はSiO<sub>2</sub>が60.6%、Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub>が25.7%でアルカリ土類成分が低い特徴を持つ胎土の耐火度1,435℃の製鉄炉の羽口である。

**試料No.9 炉壁、着磁度：なし、金属探知機反応：なし**

**外観観察：**外観写真を333頁に示す。重量781.1g、長さ192.9mm、幅128.2mm、厚さ43.6mm。不斉四角形を呈した滓が付着した炉壁片。上面側は滓の付着面で黒色の滓が流動した凹凸のある面で構成されている。下面側は炉壁面で3～6mm大の筋痕や5mm大の石英や長石と見られる鉱物粒が観察される。

**顕微鏡組織：**顕微鏡組織写真を338頁に示す。粘土の素地に長石類などの鉱物粒が多く観察される一般的な胎土組織で、粘土質の素地に石英や長石類などの鉱物粒が多く残っている。

**化学成分：**化学成分分析結果を表6～7に示す。強熱減量は0.59%、化合水は0.46%で結晶水などが抜けた状態である。330頁の図4に示す耐火度と胎土成分の関係から見ると耐火度に有利なSiO<sub>2</sub>とAl<sub>2</sub>O<sub>3</sub>では、SiO<sub>2</sub>は63.2%で通常の粘土より低いAl<sub>2</sub>O<sub>3</sub>は22.3%で通常の粘土より高い。一方、造滓成分（SiO<sub>2</sub>+Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub>+CaO+MgO+Na<sub>2</sub>O+K<sub>2</sub>O）中の軟化性を持つアルカリ土類成分（CaO+MgO）は2.87%で高い特徴がある。耐火度を低下させると思われるNa<sub>2</sub>O+K<sub>2</sub>Oは3.60%である。軟化性成分である全鉄分は4.14%と並。MnOは0.06%である。

**耐火度：**耐火度測定の結果を329頁の表8に示す。耐火度は1,280℃で、成分系を反映して製鉄炉の炉壁として並である。

以上から本試料はSiO<sub>2</sub>が63.2%、Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub>が22.3%でアルカリ土類成分が高い特徴を持つ胎土の耐火度1,280℃の製鉄炉の炉壁である。

**試料No.10 炉内滓、着磁度：1、金属探知機反応：なし**

**外観観察：**外観写真を333頁に示す。重量290.1g、長さ147.5mm、幅72.1mm、厚さ66.2mm。平板の上に三角錐が結合したような形状の炉内滓。上面側はゴツゴツとした凹凸面で薄っすらと粘土で淡黄色を呈しているが滓は黒色。3～6mm大の気泡が点在している。下面側には3～10mm大の小石が巻き込まれて点在している。

**顕微鏡組織：**顕微鏡写真を338頁に示す。ガラス質組織が主体で、マグネタイト（Magnetite: Fe<sub>3</sub>O<sub>4</sub>）組織やウルボスピネル（Ulvospinel: 2FeO・TiO<sub>2</sub>）組織等が観察される。

**X線回折：**結果を329頁の表9に示す。クリストバライト（Quartz- SiO<sub>2</sub>）組織、及びマグネタイト（Magnetite: Fe<sub>3</sub>O<sub>4</sub>）組織の回折線が高強度に、ウルボスピネル（Ulvospinel: 2FeO・TiO<sub>2</sub>）組織の回折線が中強度に、ファイヤライト（Fayalite: 2FeO・SiO<sub>2</sub>）組織の回折線が弱強度にそれぞれ認められる。

**化学成分：**化学成分分析結果を表2～3に示す。全鉄28.3%に対して金属鉄は1.89%である。FeOは10.8%、Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>は25.8%、SiO<sub>2</sub>は38.5%、Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub>は12.3%、TiO<sub>2</sub>は1.19%で始発原料は砂鉄である。FeO-SiO<sub>2</sub>-TiO<sub>2</sub>の3成分系に換算するとFeOは47.9%、SiO<sub>2</sub>は50.5%、TiO<sub>2</sub>は1.6%となる。329頁のFeO-SiO<sub>2</sub>-TiO<sub>2</sub>系の平衡状態図ではクリストバライト組織の境界領域にあり平衡状態図上の位置は顕微鏡観察とほぼ一致する。330頁に示す図2、3は滓の成分的特徴から製鉄工程の生成位置等を検討する図である。図2、3で見ると本試料は砂鉄系製錬滓の位置にある。

以上から本試料は砂鉄を始発原料とする製錬工程で生成した鉄滓と見られる。

**試料No.11 砂鉄**

**外観観察：**外観写真を333頁に示す。やや茶褐色を帯びた砂鉄で、500～250μmが36%、-250μmが63%で粒径はそろっている。平均粒径は算術平均で214μm。

**化学成分：**分析結果を328頁の表4～5に示した。全鉄は63.9%で、FeOは25.5%、Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>は62.9%で

### 3 鉄滓類の分析（1）

Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>とFeOの比率は71：29である。代表的な不純物であるSiO<sub>2</sub>は5.25%とやや多い。TiO<sub>2</sub>の含有量は1.00%である。

#### （4）ま と め

##### 1) 遺 跡 の 性 格

本調査で得られた試料は、鉄滓5試料、羽口3、炉壁2試料、砂鉄1試料の合計11試料である。鉄滓の出所を製造工程別に分類した結果、5試料全てが製錬工程であり、本遺跡は製鉄炉により鉄素材を生産し、消費地に近い鍛冶炉へ鉄素材を供給していたと見られる。

##### 2) 始 発 原 料

本調査で得られた鉄滓5試料中、全てから、TiO<sub>2</sub>鉱物のびウルボスピネル組織が観察されていることから、本遺跡の始発原料は砂鉄と判断される。鉄滓中のTiO<sub>2</sub>濃度が0.4～7.2%であったこと、及び採取された砂鉄のTiO<sub>2</sub>濃度が1.00%であったこと等から本遺跡では比較的低濃度Tiの砂鉄が始発原料であったと考えられる。

##### 3) 胎 土 の 性 状

羽口、及び炉壁の成分分析の結果から、耐火度に大きく影響した成分はSiO<sub>2</sub>分量、Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub>分量、及びアルカリ土類分量と見られた。本遺跡で使用された粘土成分を見るとSiO<sub>2</sub>は並であったがAl<sub>2</sub>O<sub>3</sub>が高く、アルカリ土類分量が低いのが特徴で、耐火度は羽口が1,410～1,435℃、炉壁が1,250～1,280℃でいずれも製鉄炉用としては並みであった。

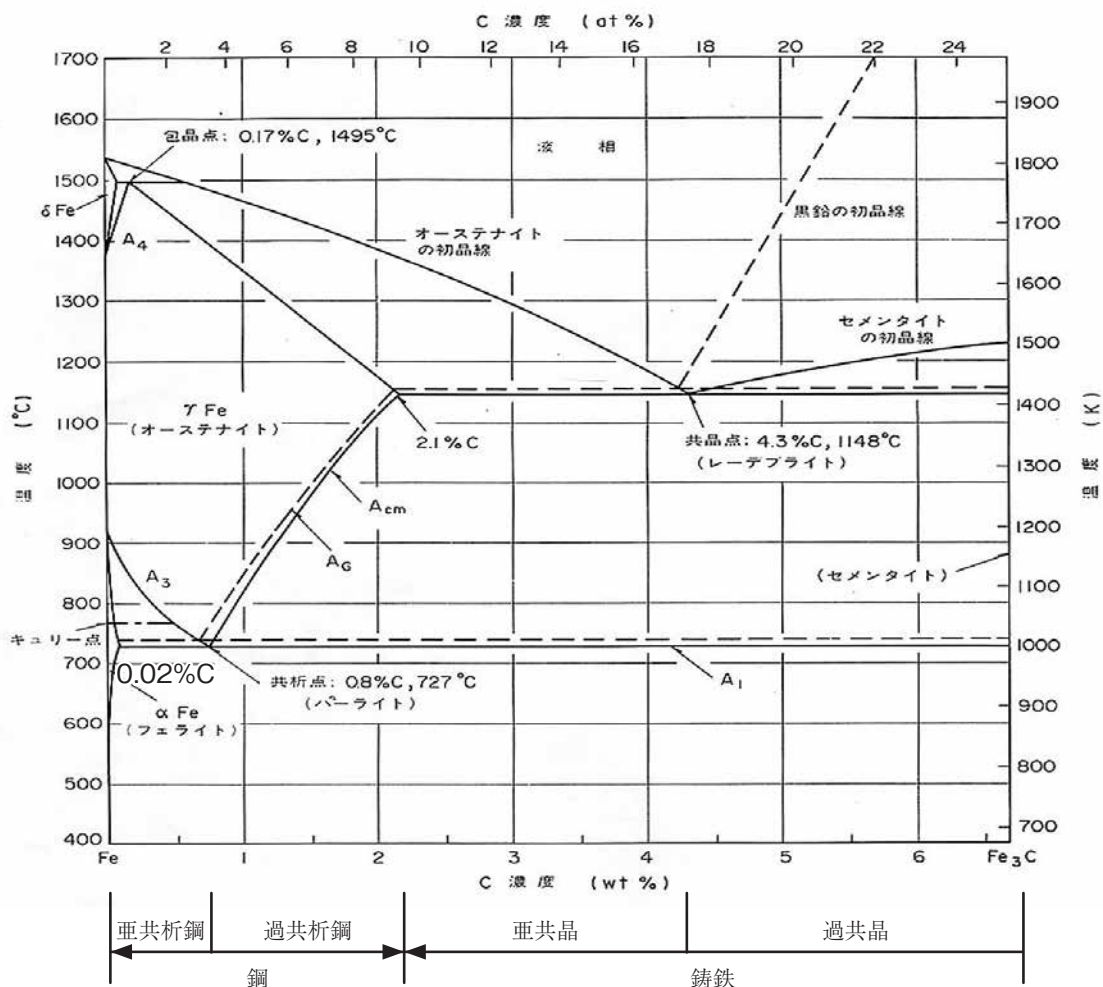
#### （5）参 考

（1）鉄滓の顕微鏡組織について：鉄滓を構成する化合物結晶には、一般的に表A1のような鉱物組織がある。酸化鉄（Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>、Fe<sub>3</sub>O<sub>4</sub>、FeO）、二酸化ケイ素（シリカ: SiO<sub>2</sub>）、アルミナ（Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub>）および二酸化チタン（TiO<sub>2</sub>）を組み合わせた化合物（固溶体）が多く、これら鉱物結晶は含有量にも依存するが、X線回折により検出され確認できる。鉄滓中の低融点化合物がガラス相（非晶質）を形成することがあり、X線回折では検出されない。

表A1 鉄滓の顕微鏡鉱物組織とその観察状況

鉱物組織名（和）	鉱物名（英）	化学式	偏光顕微鏡観察状況
ヘマタイト	Hematite	$\alpha$ -Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	赤褐色～赤紫色
マーゲマイト	Maghemite	$\gamma$ -Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	赤紫色～黒紫色
マグネタイト	Magnetite	Fe <sub>3</sub> O <sub>4</sub>	白青色、四角または多角盤状
ウスタイト	Wustite	FeO	灰白色、繡玉状または樹枝状
ファイヤライト	Fayalite	2FeO · SiO <sub>2</sub>	薄い青灰色、短冊状の長い結晶
ウルボスピネル	Ulvospinel	2FeO · TiO <sub>2</sub>	白色、四角～角形板状結晶
イルメナイト	Ilmenite	FeO · TiO <sub>2</sub>	白色、針状・棒状の長い結晶
シュードブルッカイト	Pseudobrookite	FeO · 2TiO <sub>2</sub>	白色、針状の結晶
ハロイサイト	Halloysite	Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub> · 2SiO <sub>2</sub> · 2H <sub>2</sub> O	X線で同定できたが組織は不明
ハーシナイト	Hercynite	FeO · Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	ウスタイト中に析出、ごま粒状
アカゲナイト	Akagenite	$\beta$ -FeOOH	X線で同定できたが組織は不明
ゲーサイト	Goethite	$\alpha$ -FeOOH	白～黄色、リング状が多い

(2) 鉄-炭素系平衡状態図



(3) ゼーゲルコーン溶倒温度比較表

温度 (°C)	SKコーン番号	温度 (°C)	SKコーン番号	温度 (°C)	SKコーン番号	温度 (°C)	SKコーン番号
600	022	960	07a	1,280	9	1,650	29
650	021	980	06a	1,300	10	1,670	30
670	020	1,000	05a	1,320	11	1,690	31
690	019	1,020	04a	1,350	12	1,710	32
710	018	1,040	03a	1,380	13	1,730	33
730	017	1,060	02a	1,410	14	1,750	34
750	016	1,080	01a	1,435	15	1,770	35
790	015a	1,100	1a	1,460	16	1,790	36
815	014a	1,120	2a	1,480	17	1,825	37
835	013a	1,140	3a	1,500	18	1,850	38
855	012a	1,160	4a	1,520	19	1,880	39
880	011a	1,180	5a	1,530	20	1,920	40
900	010a	1,200	6a	1,580	26	1,960	41
920	09a	1,230	7	1,610	27	2,000	42
940	08a	1,250	8	1,630	28		

註：コーンは正確な温度を測定するものではない。耐火度の数値を概略の温度で示す場合にのみ上の温度表が使われる。  
この表はJIS R0305付表による。コーン番号=SK番号



3 鉄滓類の分析 (1)

(6) 図表・写真

表1 調査試料と調査項目

試料番号	遺構名	出土位置	試料分類	① 化学成分 分析	② 顕微鏡組織 観察	③ X線回折 測定	④ 耐火度 測定試験	⑤ 着磁力調査	⑥ 金属 探知機反応	⑦ 外観写真
No.1	SXW09	炉内	羽口	○	○		○	○	○	○
No.2	SXW09-17	基礎構造内	流動滓A	○	○	○		○	○	○
No.3	SXW09-17	基礎構造内	炉内滓A	○	○	○		○	○	○
No.4	SXW21	炉内⑤	羽口	○	○		○	○	○	○
No.5	SXW21	炉内崩落層内	炉壁	○	○		○	○	○	○
No.6	SXW21	基礎構造内	炉内滓A	○	○	○		○	○	○
No.7	SXW21	基礎構造内	流動滓A	○	○	○		○	○	○
No.8	SXW22	炉壁内	羽口	○	○		○	○	○	○
No.9	SXW22	炉内	炉壁	○	○		○	○	○	○
No.10	SXW22	基礎構造内	炉内滓B	○	○	○		○	○	○
No.11	SXW16	上部周辺	砂鉄	○						○
調査点数				11	10	5	5	10	10	11

表2 鉄滓の化学組成分析結果 (%)

試料No.	T. Fe	M. Fe	FeO	Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	SiO <sub>2</sub>	Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	CaO	MgO	K <sub>2</sub> O	Na <sub>2</sub> O	比率	
											FeO	Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub>
2	41.9	0.17	47.8	6.50	24.0	7.03	5.09	0.98	0.71	0.75	88.0	12.0
3	52.2	3.67	11.7	56.4	14.7	3.53	1.11	0.33	0.32	0.34	17.2	82.8
6	28.1	0.73	13.4	24.2	37.8	11.9	3.18	1.08	1.04	1.20	35.6	64.4
7	34.7	0.45	40.8	3.60	28.0	7.10	7.52	1.52	0.78	0.76	91.8	8.2
10	28.3	1.89	10.8	25.8	38.5	12.3	2.06	0.84	2.46	1.18	29.5	70.5

表3 鉄滓の化学組成分析結果 (続き) (%)

試料No.	TiO <sub>2</sub>	MnO	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	C	化合水	V	Cu	Zr	TiO <sub>2</sub> /T.Fe	MnO/TiO <sub>2</sub>	造滓成分
2	4.56	0.88	0.937	0.29	0.02	0.24	0.002	0.42	0.109	0.193	38.6
3	0.39	0.06	0.351	5.40	1.67	0.034	0.002	0.037	0.007	0.154	20.3
6	2.65	0.26	0.370	1.81	0.26	0.095	0.002	0.14	0.094	0.098	56.2
7	7.20	0.66	1.04	0.22	0.03	0.26	0.003	0.41	0.207	0.092	45.7
10	1.19	0.25	0.337	2.14	0.22	0.083	0.002	0.091	0.042	0.210	57.3

造滓成分 = SiO<sub>2</sub> + Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub> + CaO + MgO + Na<sub>2</sub>O + K<sub>2</sub>O

表4 砂鉄の化学組成分析結果 (%)

試料No.	T. Fe	M. Fe	FeO	Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	SiO <sub>2</sub>	Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	CaO	MgO	K <sub>2</sub> O	Na <sub>2</sub> O
11	63.9	0.06	25.5	62.9	5.25	1.97	0.86	0.21	0.17	0.22

表5 砂鉄の化学組成分析結果 (続き) (%)

試料No.	TiO <sub>2</sub>	MnO	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	C	化合水	V
11	1.00	0.37	0.325	0.29	0.89	0.16

表6 炉壁、羽口の化学成分分析結果 (%)

試料No.	T. Fe	M. Fe	FeO	Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	SiO <sub>2</sub>	Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	CaO	MgO	K <sub>2</sub> O	Na <sub>2</sub> O
1	3.80	0.07	0.57	4.70	61.4	20.4	0.61	0.93	2.04	1.07
4	4.95	0.06	0.79	6.11	62.6	23.6	0.66	1.02	2.15	1.06
5	4.18	0.06	0.50	5.33	62.2	23.9	1.76	1.39	1.62	1.96
8	5.30	0.06	0.57	6.86	60.6	25.7	0.56	1.08	2.03	0.74
9	4.14	0.06	0.64	5.12	63.2	22.3	1.67	1.20	1.77	1.83

表7 炉壁、羽口の化学成分分析結果 (続き) (%)

試料No.	TiO <sub>2</sub>	MnO	Rb	Sr	C	強熱減量	化合水	耐火度 (°C)
1	0.58	0.07	0.01	0.009	0.39	7.70	7.22	1410
4	0.76	0.07	0.01	0.012	0.08	1.19	1.06	1410
5	0.77	0.08	0.01	0.037	0.03	0.41	0.38	1250
8	0.86	0.06	0.01	0.012	0.05	0.86	0.84	1435
9	1.61	0.06	0.01	0.028	0.03	0.59	0.46	1280

表8 炉壁、羽口、粘土の耐火度試験結果

試料No	試験結果	溶倒温度 (°C)	色	膨張	試験錘の性状
1	SK14	1,410	茶褐色	わずかに膨張	光沢なし
4	SK14	1,410	茶褐色	わずかに膨張	光沢なし
5	SK8	1,250	茶褐色	わずかに膨張	表面溶融
8	SK15	1,435	茶褐色	わずかに膨張	光沢なし
9	SK19	1,280	茶褐色	わずかに膨張	光沢なし

表9 X線回折測定結果

試料No	同定鉱物種と回折強度
2	M強、U強、F中
3	M強、Go中、U弱
6	Q強、An中、M中、F弱、U弱
7	U強、M中、F中
10	Q強、M強、U中、F弱

鉱物記号：  
 W (ウスタイト：Wustite-FeO)、M (マグネタイト：Magnetite-Fe<sub>3</sub>O<sub>4</sub>)  
 F (ファイヤライト：Fayalite-Fe<sub>2</sub>SiO<sub>4</sub>)、Go (ゲーサイト：Goethite-α-FeOOH)  
 H (ヘマタイト：Hematite-Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>)、U (ウルボスピネル：Ulvo-spinel-2FeO · TiO<sub>2</sub>)  
 I1 (イルメナイト：Ilmenite-FeO · TiO<sub>2</sub>)、  
 Ps (シュードブルグサイト：Pseudobrookite-FeO · TiO<sub>2</sub>)  
 An (アノーサイト：Anorthite-CaOAl<sub>2</sub>O<sub>7</sub> · 2SiO<sub>2</sub>)、  
 Q,Cb (シリカ、クリストバライト：Quartz- SiO<sub>2</sub>)  
 Fs (フェロシヤーマカイト：Ferroschermakite-Ca<sub>2</sub>FeAl<sub>2</sub>(Si<sub>2</sub>Al<sub>2</sub>)O<sub>10</sub>(OH)<sub>2</sub>)  
 Ag (アウガイト：Augite-Ca(Fe,Mg)Si<sub>2</sub>O<sub>6</sub>)、Mu (ムライト：Mullite-3Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub> · 2SiO<sub>2</sub>)

表10 個別試料のまとめ

試料No	遺構名	出土位置	試料分類	調査結果
No.1	SXW09	炉内	羽口	耐火度1,410°Cの製鉄炉の羽口
No.2	SXW09-17	基礎構造内	流動滓A	砂鉄を始発原料とする製錬工程で生成した鉄滓
No.3	SXW09-17	基礎構造内	炉内滓A	砂鉄を始発原料とする製錬工程で生成した鉄滓
No.4	SXW21	炉内⑤	羽口	耐火度1,410°Cの製鉄炉の羽口
No.5	SXW21	炉内崩落層内	炉壁	耐火度1,250°Cの製鉄炉の炉壁
No.6	SXW21	基礎構造内	炉内滓A	砂鉄を始発原料とする製錬工程で生成した鉄滓
No.7	SXW21	基礎構造内	流動滓A	砂鉄を始発原料とする製錬工程で生成した鉄滓
No.8	SXW22	炉壁内	羽口	耐火度1,435°Cの製鉄炉の羽口
No.9	SXW22	炉内	炉壁	耐火度1,280°Cの製鉄炉の炉壁
No.10	SXW22	基礎構造内	炉内滓B	砂鉄を始発原料とする製錬工程で生成した鉄滓
No.11	SXW16	上部周辺	砂鉄	TiO <sub>2</sub> の含有量1.00%の砂鉄

図1 鉄滓のFeO-SiO<sub>2</sub>-TiO<sub>2</sub>系鉄滓の平衡状態図

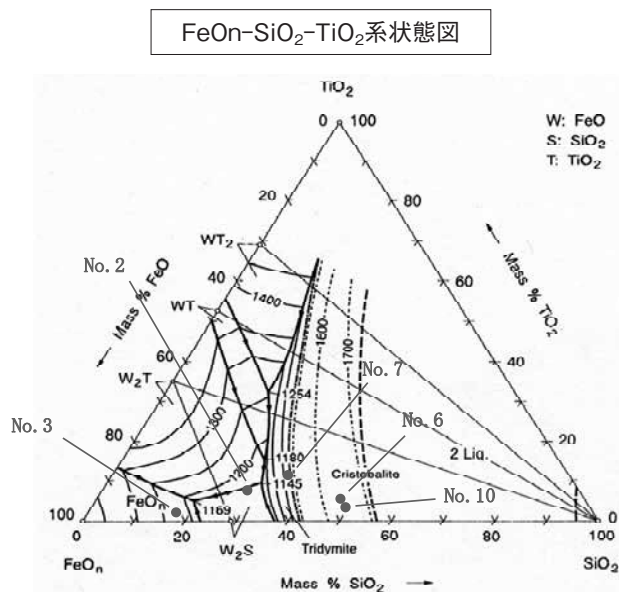


図2 鉄滓の製錬滓、精錬滓、及び鍛錬滓の分類

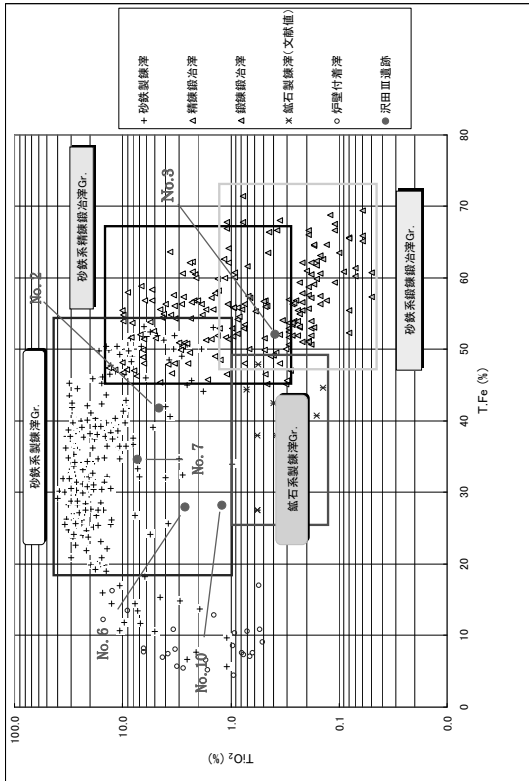


図3 鉄滓の製錬滓と鍛冶滓の分類

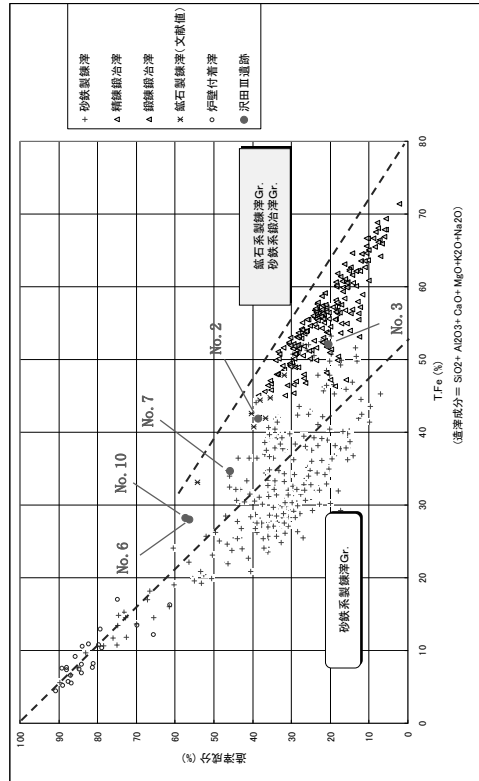
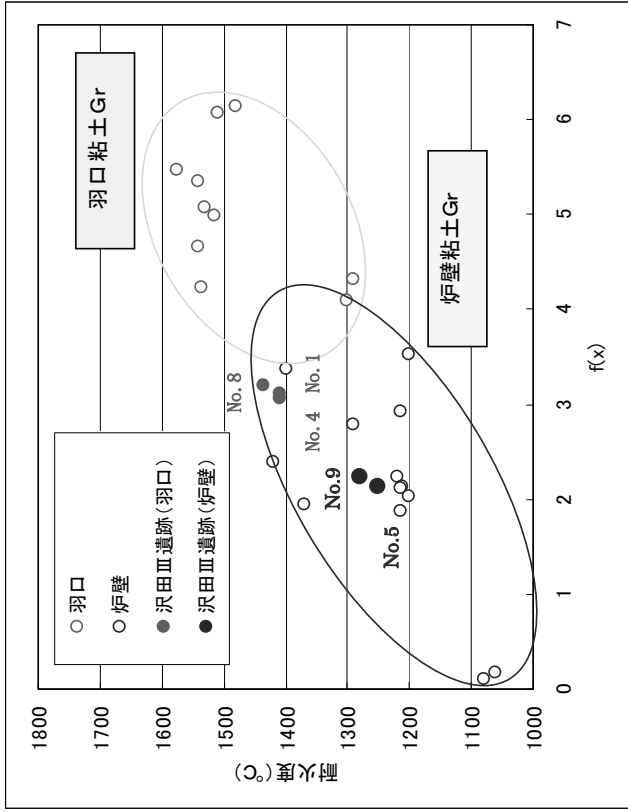


図4 炉壁及び羽口の耐火度と粘土成分の関係



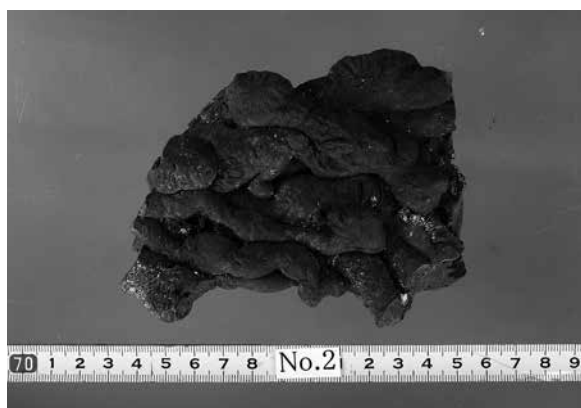
$$f(x) = (25.8Al_2O_3 + 5.2SiO_2) / (146MgO + 448MnO + 12.5T.Fe + 10.4TiO_2 + 78.6CaO)$$

種別	試料No.	耐火度(°C)	耐火度増加成分		耐火度低下成分				
			SiO <sub>2</sub>	Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	T.Fe	CaO+MgO	TiO <sub>2</sub>	MnO	
製鉄炉	羽口	1	1410	61.4	20.4	3.80	1.54	0.58	0.07
		4	1410	62.6	23.6	4.95	1.68	0.76	0.07
		8	1435	60.6	25.7	5.30	1.64	0.86	0.06
製鉄炉	炉壁	5	1250	62.2	23.9	4.18	3.15	0.77	0.08
		9	1280	63.2	22.3	4.14	2.87	1.61	0.06

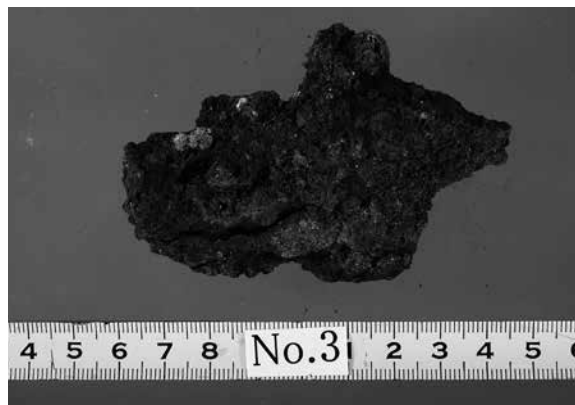
高い、多い  
並  
低い、少ない



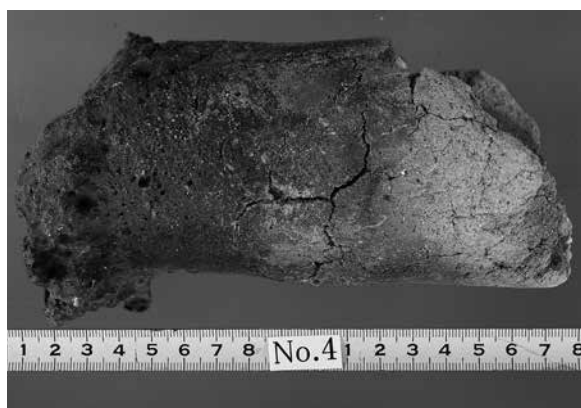
外観写真No.1



外観写真No.2

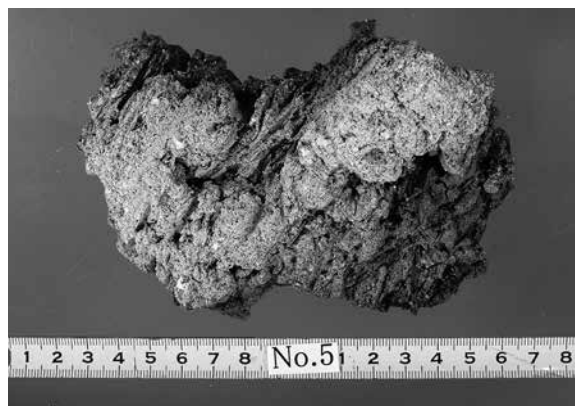
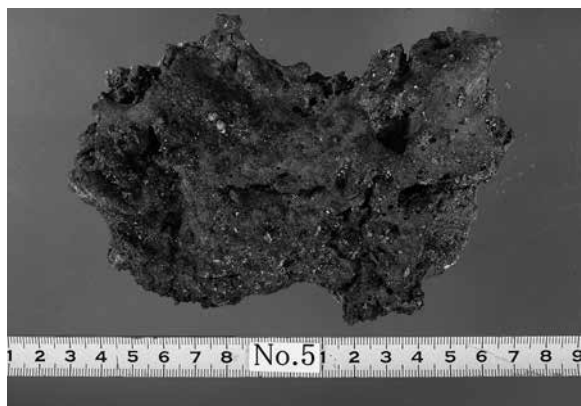


外観写真No.3

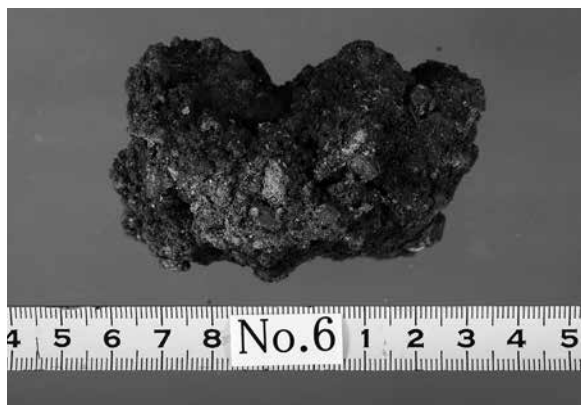


外観写真No.4

3 鉄滓類の分析（1）



外観写真No.5



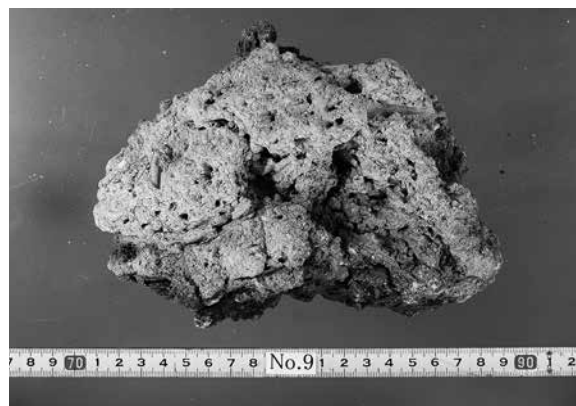
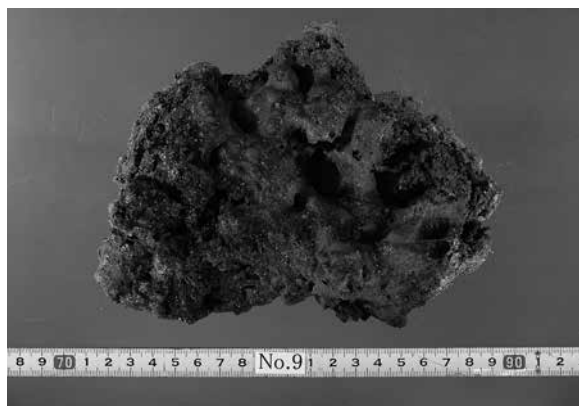
外観写真No.6



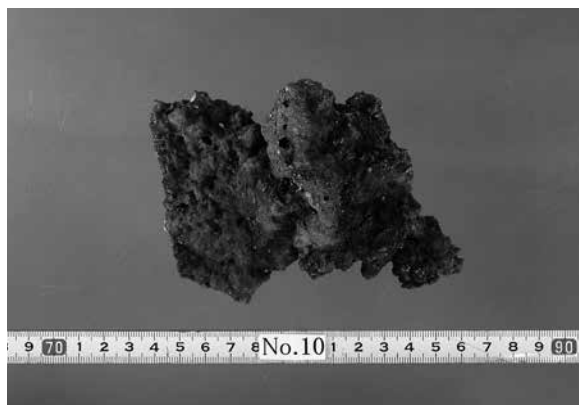
外観写真No.7



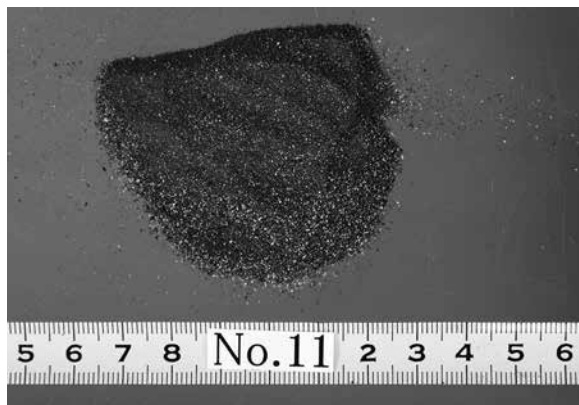
外観写真No.8



外観写真No.9

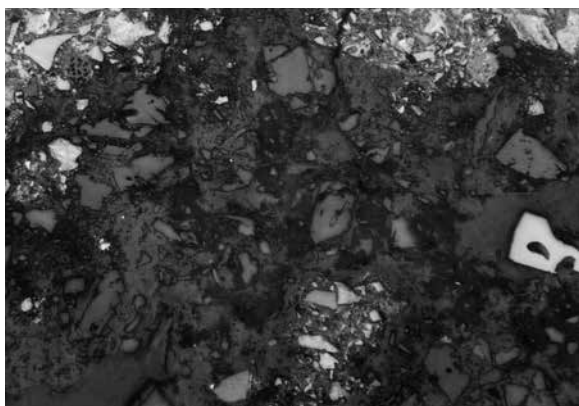


外観写真No.10

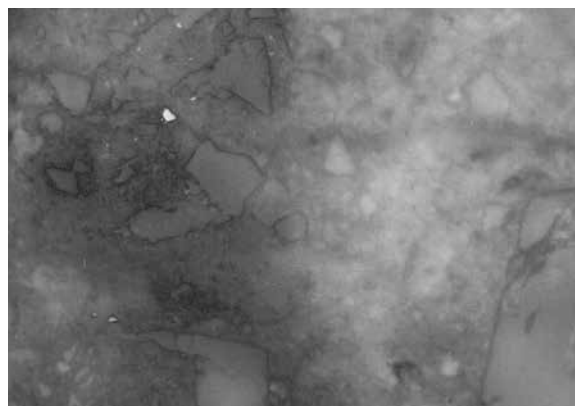


外観写真No.11

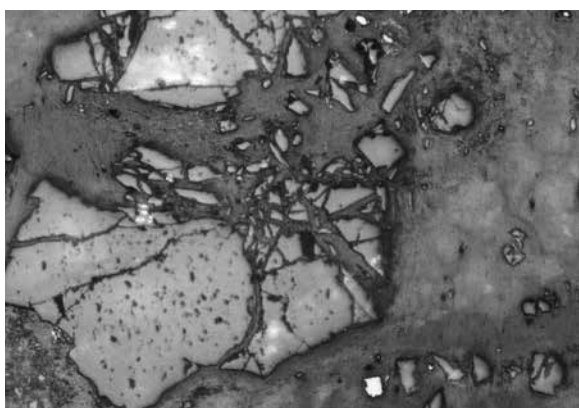
3 鉄滓類の分析 (1)



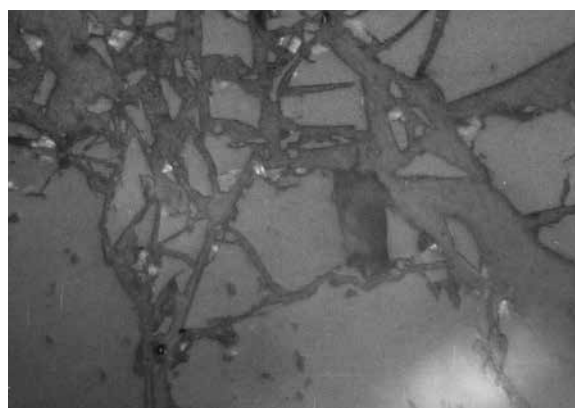
羽口頭微鏡組織写真 No.1-1 ×100



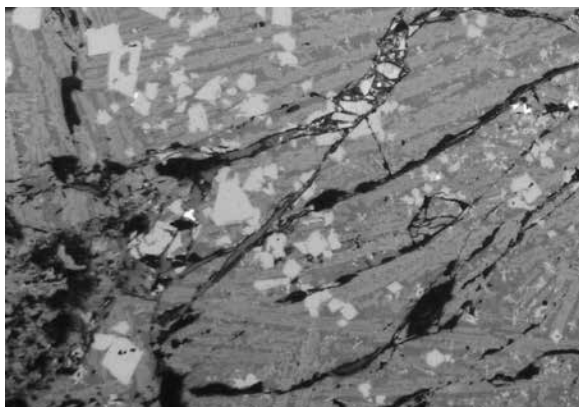
羽口頭微鏡組織写真 No.1-1 ×400



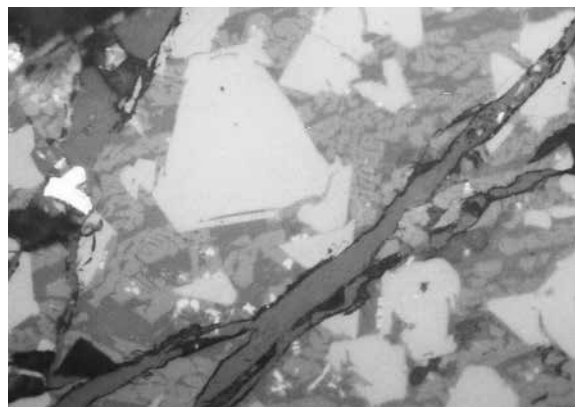
羽口頭微鏡組織写真 No.1-2 ×100



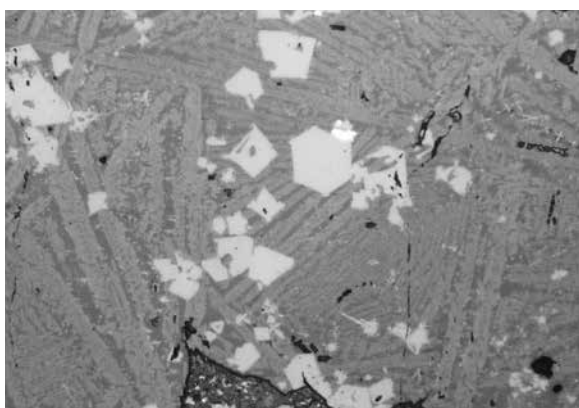
羽口頭微鏡組織写真 No.1-2 ×400



鉄滓頭微鏡組織写真 No.2-1 ×100



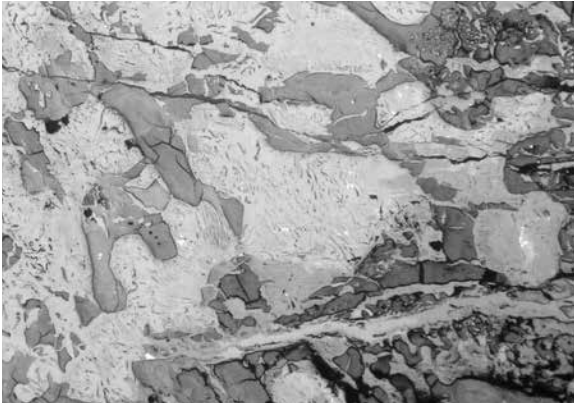
鉄滓頭微鏡組織写真 No.2-1 ×400



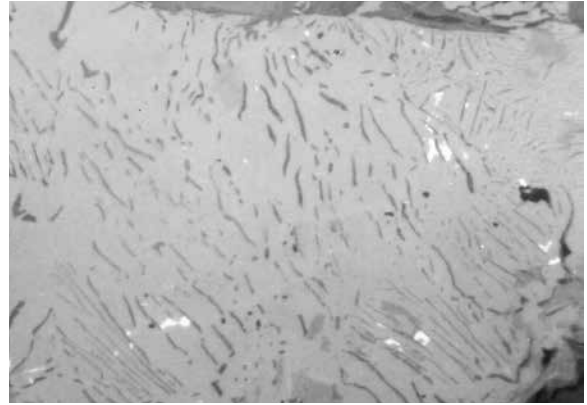
鉄滓頭微鏡組織写真 No.2-2 ×100



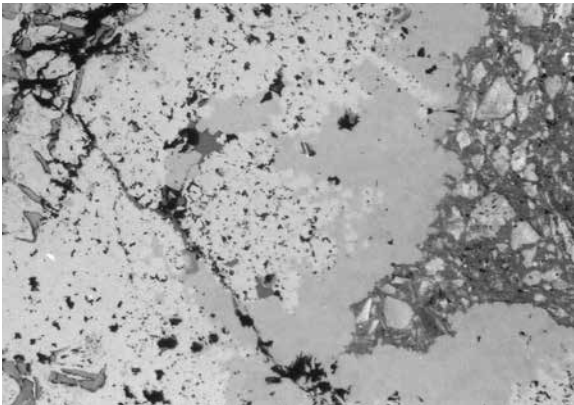
鉄滓頭微鏡組織写真 No.2-2 ×400



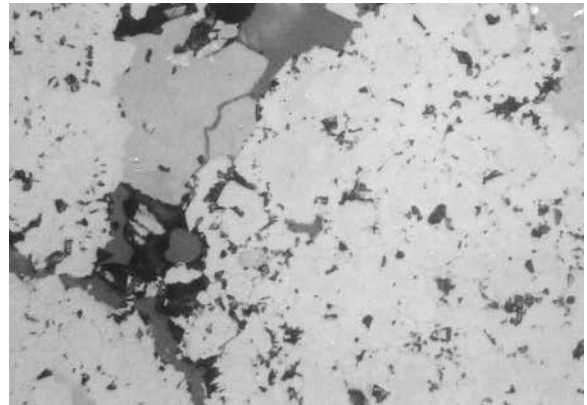
鉄滓頭微鏡組織写真 No.3-1 ×100



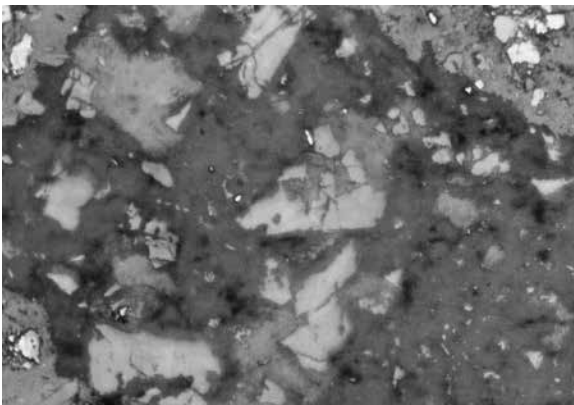
鉄滓頭微鏡組織写真 No.3-1 ×400



鉄滓頭微鏡組織写真 No.3-2 ×100



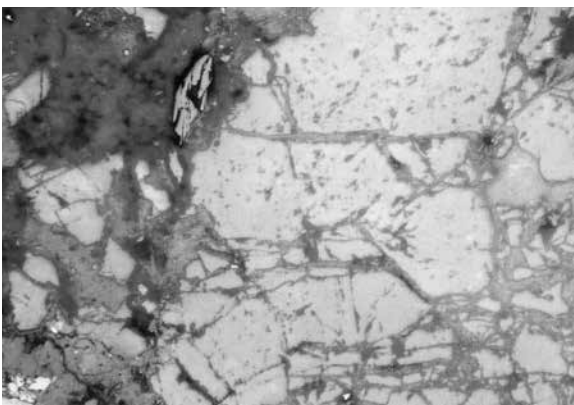
鉄滓頭微鏡組織写真 No.3-2 ×400



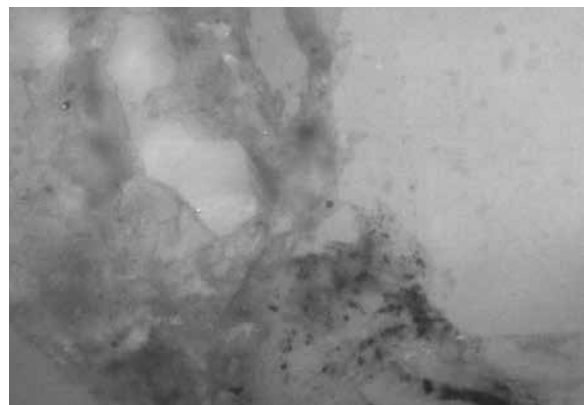
羽口頭微鏡組織写真 No.4-1 ×100



羽口頭微鏡組織写真 No.4-1 ×400



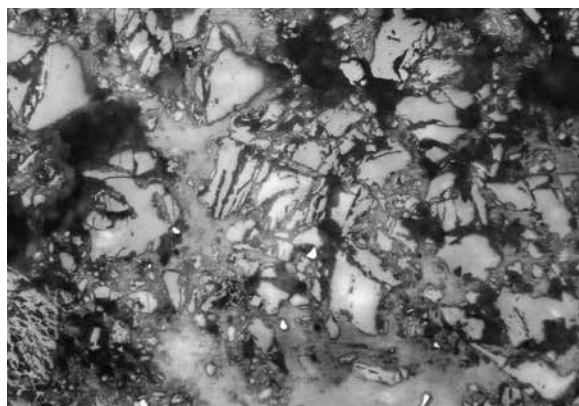
羽口頭微鏡組織写真 No.4-2 ×100



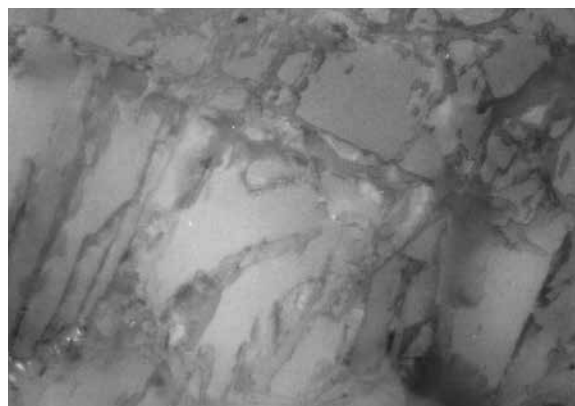
羽口頭微鏡組織写真 No.4-2 ×400



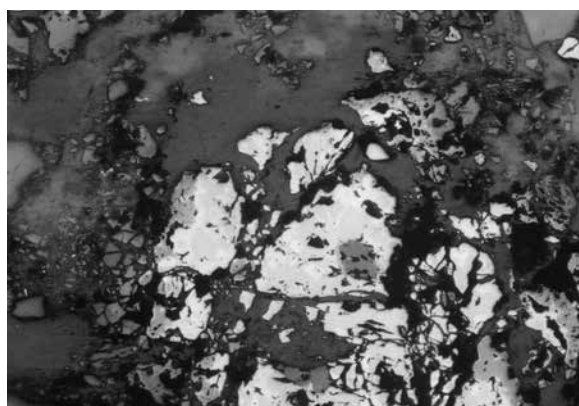
3 鉄滓類の分析 (1)



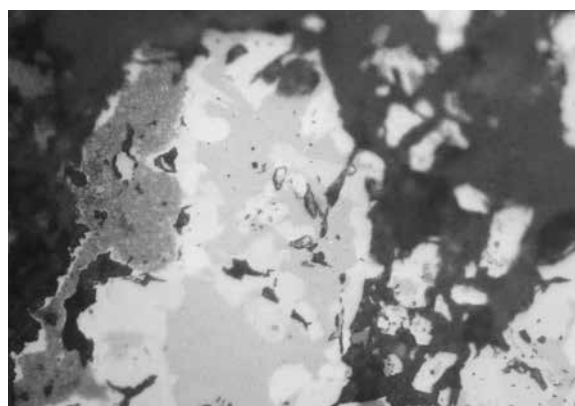
炉壁頭微鏡組織写真 No.5-1 ×100



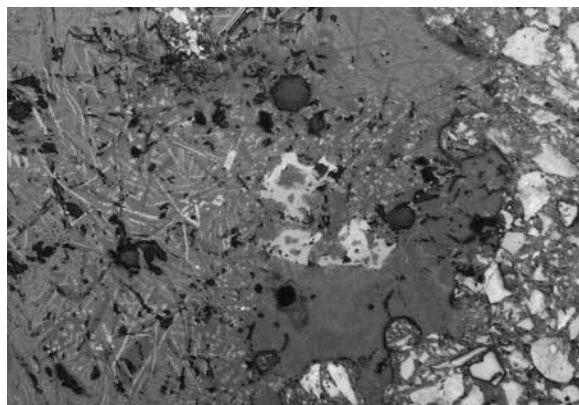
炉壁頭微鏡組織写真 No.5-1 ×400



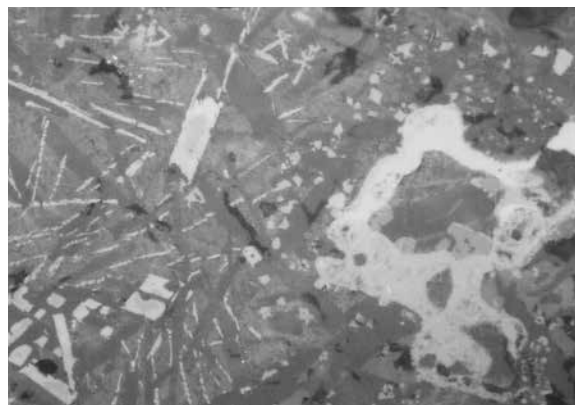
炉壁頭微鏡組織写真 No.5-2 ×100



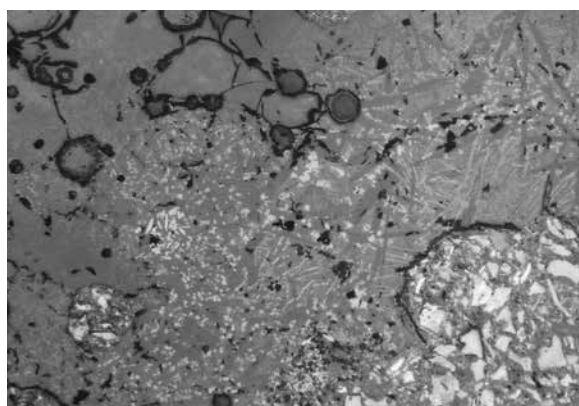
炉壁頭微鏡組織写真 No.5-2 ×400



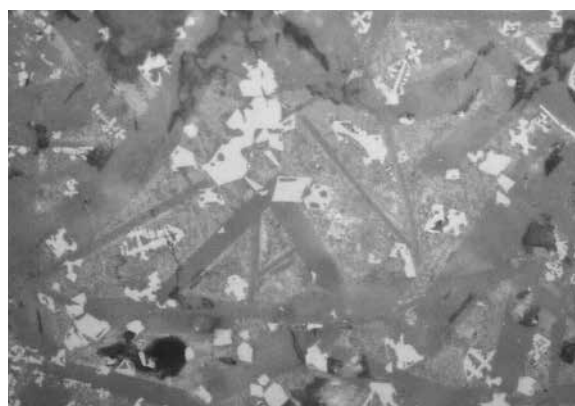
鉄滓頭微鏡組織写真 No.6-1 ×100



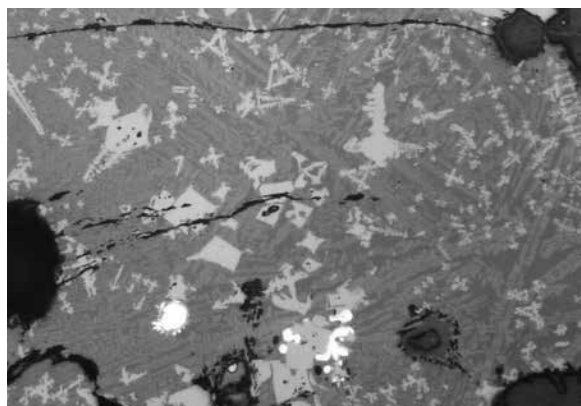
鉄滓頭微鏡組織写真 No.6-1 ×400



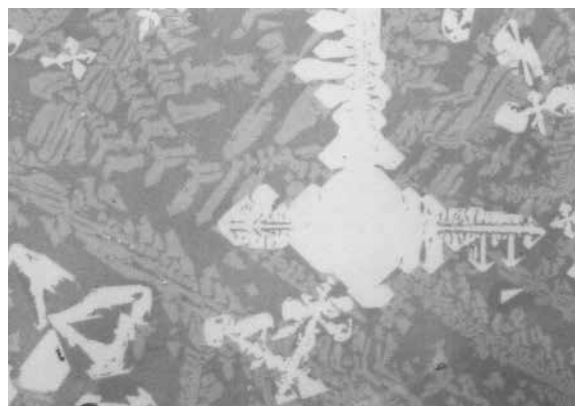
鉄滓頭微鏡組織写真 No.6-2 ×100



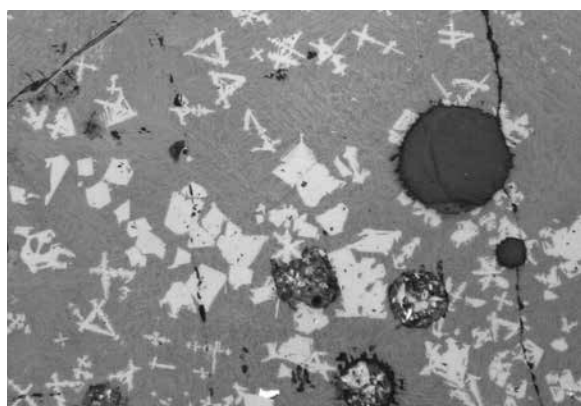
鉄滓頭微鏡組織写真 No.6-2 ×400



鉄滓頭微鏡組織写真 No.7-1 ×100



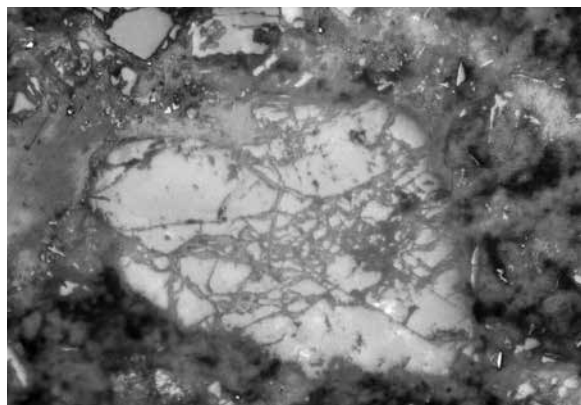
鉄滓頭微鏡組織写真 No.7-1 ×400



鉄滓頭微鏡組織写真 No.7-2 ×100



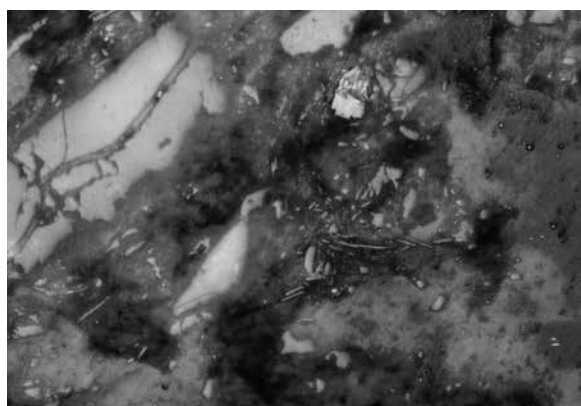
鉄滓頭微鏡組織写真 No.7-2 ×400



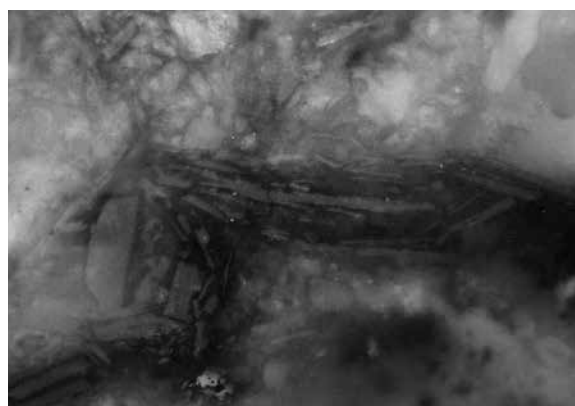
羽口頭微鏡組織写真 No.8-1 ×100



羽口頭微鏡組織写真 No.8-1 ×400

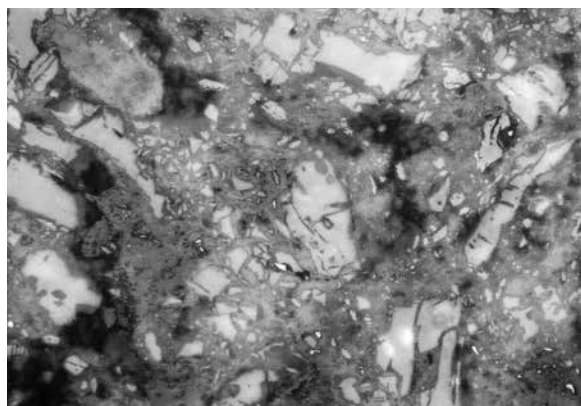


羽口頭微鏡組織写真 No.8-2 ×100

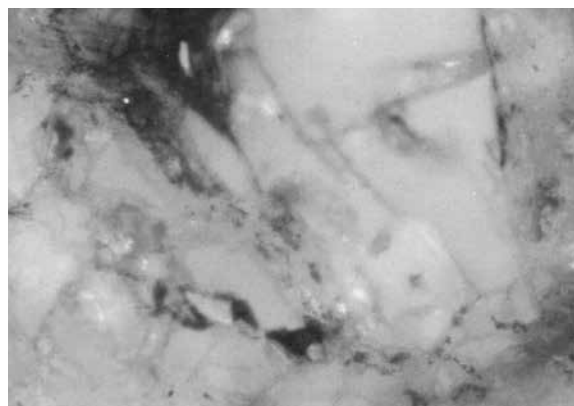


羽口頭微鏡組織写真 No.8-2 ×400

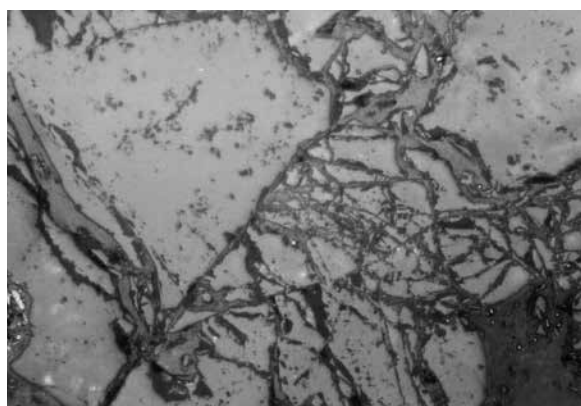
3 鉄滓類の分析 (1)



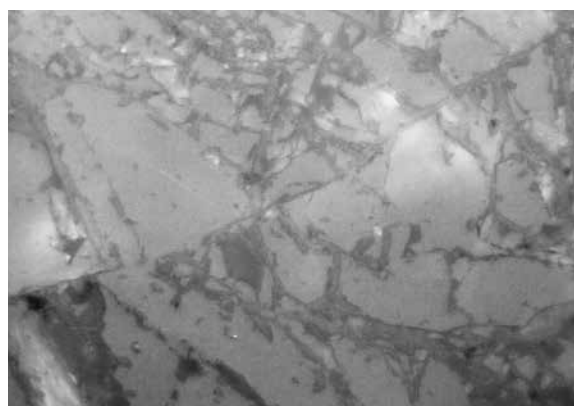
炉壁頭微鏡組織写真 No.9-1 ×100



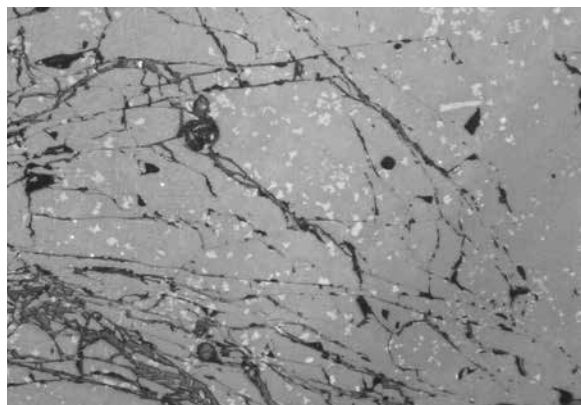
炉壁頭微鏡組織写真 No.9-1 ×400



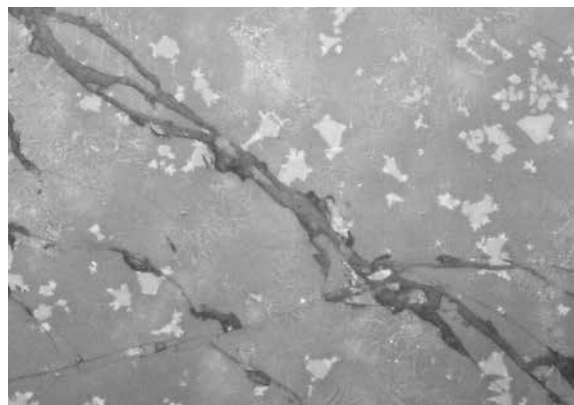
炉壁頭微鏡組織写真 No.9-2 ×100



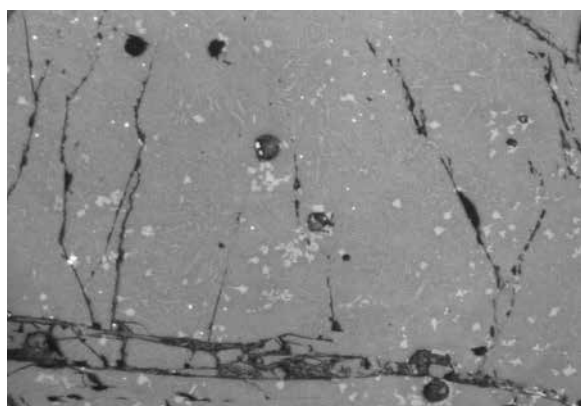
炉壁頭微鏡組織写真 No.9-2 ×400



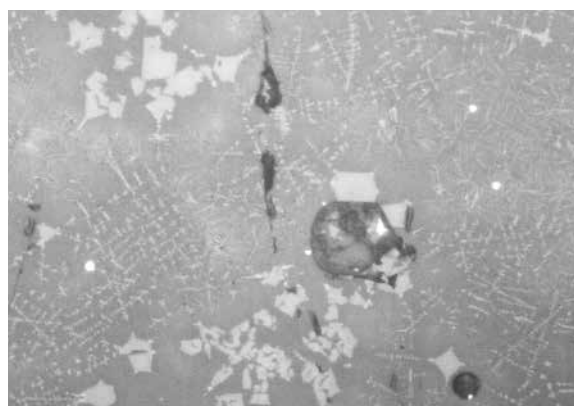
炉壁頭微鏡組織写真 No.10-1 ×100



炉壁頭微鏡組織写真 No.10-1 ×400

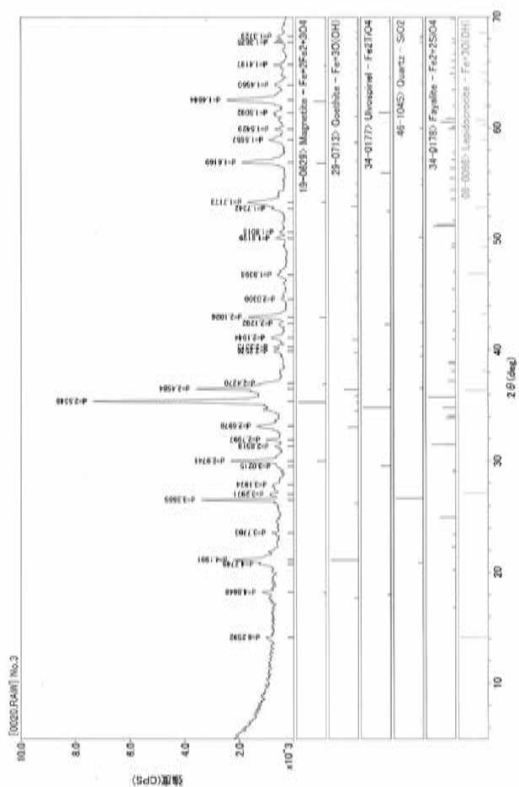


鉄滓頭微鏡組織写真 No.10-2 ×100

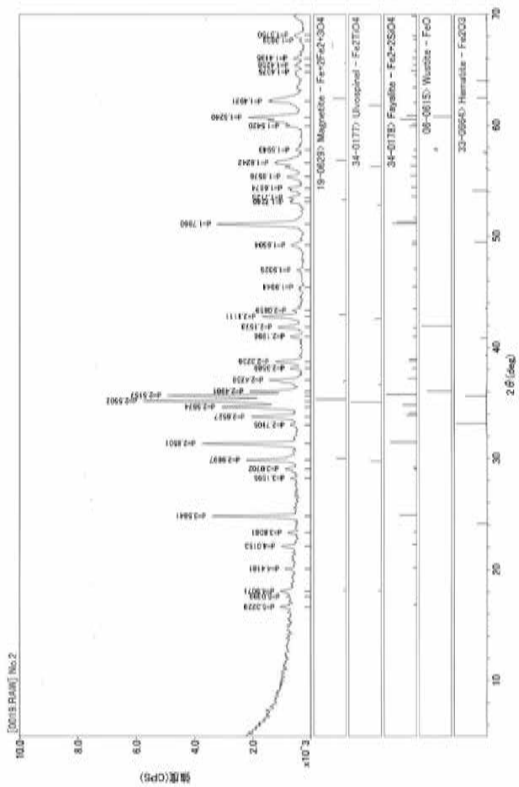


鉄滓頭微鏡組織写真 No.10-2 ×400

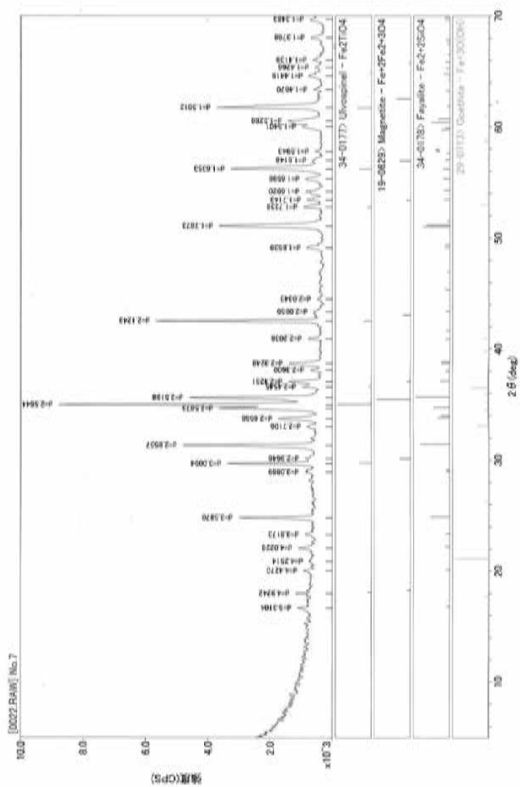
X線回折チャート No.3



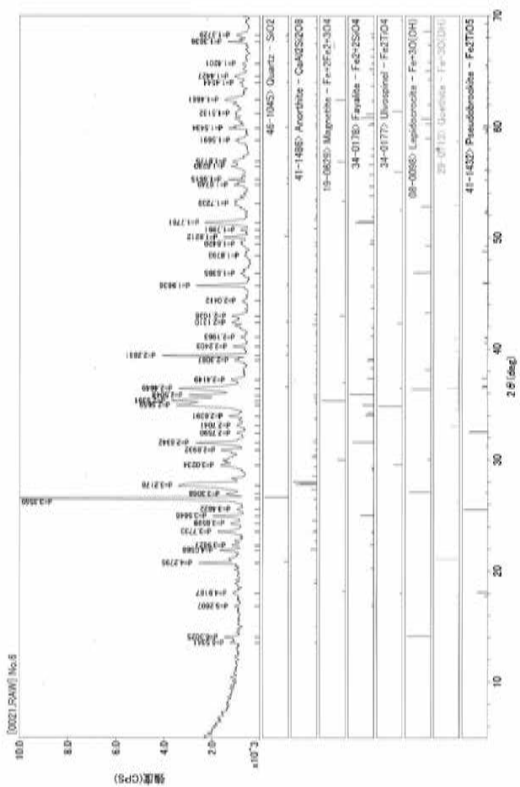
X線回折チャート No.2



X線回折チャート No.7

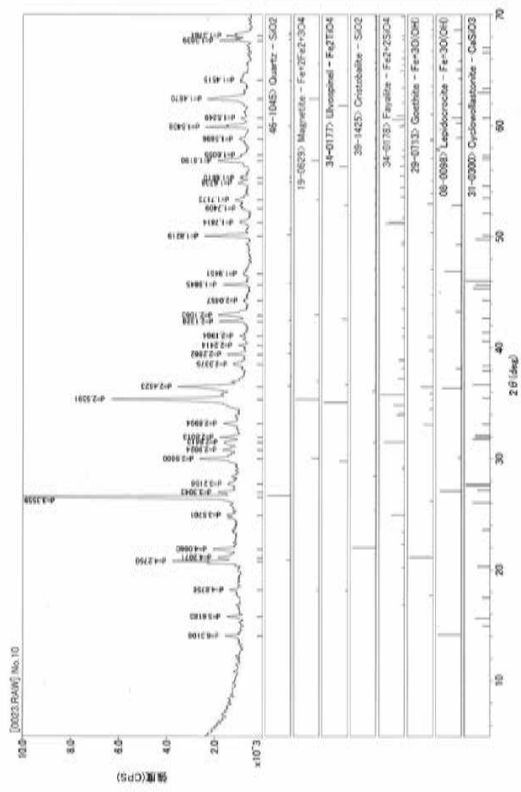


X線回折チャート No.6



3 鉄滓類の分析 (1)

X線回折チャート No.10



### 3 鉄滓類の分析（2）

JFEテクノロジー株式会社

#### （1）はじめに

三陸沿岸道路建設事業に伴い、下閉伊郡山田町に所在する沢田Ⅲ遺跡から複数検出された古代の鉄生産関連遺構より出土した鉄滓・羽口・砂鉄について、材質、用途、履歴、始発原料、製造工程上の位置づけなどを明らかにし、遺跡・遺構内でいかなる鉄生産の工程が行われていたかを明らかにすることを目的として、化学成分分析・顕微鏡組織観察を含む自然科学的観点での調査を依頼された。鉄滓、羽口及び、砂鉄等について化学成分分析、顕微鏡組織観察、X線回折測定、耐火度測定試験等を行い、その結果に基づき材質、始発原料、及び製造工程上の位置づけなどを中心に調査した。その結果について報告する。

#### （2）調査項目および試験・観察方法

##### 1) 調査項目

調査試料の記号、出土遺構・注記および調査項目を表1に示す。

##### 2) 調査方法

###### （i）重量計測、外観観察および金属探知調査

試料重量の計量は電子天秤を使用して行い、少数点2位以下で四捨五入した。各種試験用試料を採取する前に、試料の外観をmm単位まであるスケールを同時に写し込み撮影した。試料の出土位置や試料の種別等は提供された資料に準拠した。

着磁力調査については、直径30mmのリング状フェライト磁石を使用し、6mmを1単位として35cmの高さから吊した磁石が動き始める位置を着磁度として数値で示した。遺物内の残存金属の有無は金属探知機（MC：metal checker）を用いて調査した。金属検知にあたっては参照標準として直径と高さを等しくした金属鉄円柱（1.5mmφ x 1.5mmH、2.0mmφ x 2.0mmH、5mmφ x 5mmH、10mmφ x 10mmH、16mmφ x 16mmH、20mmφ x 20mmH、30mmφ x 30mmH）を使用し、これとの対比で金属鉄の大きさを判断した。

###### （ii）化学成分分析

化学成分分析は鉄鋼に関するJIS分析法に準じて行っている。

- ・全鉄（T.Fe）：三塩化チタン還元-二クロム酸カリウム滴定法。
- ・金属鉄（M.Fe）：臭素メタノール分解-EDTA滴定法。
- ・酸化第一鉄（FeO）：二クロム酸カリウム滴定法。
- ・酸化第二鉄（Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>）：計算。　・化合水（C.W.）：カールフィッシャー法。
- ・炭素（C）、イオウ（S）：燃焼-赤外線吸収法。
- ・ライム（CaO）、酸化マグネシウム（MgO）、酸化マンガン（MnO）、酸化ナトリウム（Na<sub>2</sub>O）、珪素（Si）、マンガン（Mn）、リン（P）、銅（Cu）、ニッケル（Ni）、コバルト（Co）、アルミニウム（Al）、ヴァナジウム（V）、チタン（Ti）：ICP発光分光分析法。
- ・シリカ（SiO<sub>2</sub>）、アルミナ（Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub>）、酸化カルシウム（CaO）、酸化マグネシウム（MgO）、二酸化チタン（TiO<sub>2</sub>）、酸化リン（P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>）、酸化カリウム（K<sub>2</sub>O）：ガラスビード蛍光X線分析法。但

しCaO、MgO、MnOは含有量に応じてICP分析法またはガラスビード蛍光X線分析法を選択。

・酸化ナトリウム (Na<sub>2</sub>O) : 原子吸光法。

なお、鉄滓中成分は18成分 (全鉄T.Fe、金属鉄M.Fe、酸化第一鉄FeO、酸化第二鉄Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>、シリカSiO<sub>2</sub>、アルミナAl<sub>2</sub>O<sub>3</sub>、ライムCaO、マグネシアMgO、酸化ナトリウムNa<sub>2</sub>O、酸化カリウムK<sub>2</sub>O、二酸化チタンTiO<sub>2</sub>、酸化マンガンMnO、酸化リンP<sub>2</sub>O<sub>5</sub>、化合水C.W.、炭素C、ヴァナジウムV、銅Cu、ジルコニウムZr) を化学分析している。分析は各元素について分析し、酸化物に換算して表示している。

胎土成分は14成分 (全鉄T.Fe、酸化鉄FeO、シリカSiO<sub>2</sub>、アルミナAl<sub>2</sub>O<sub>3</sub>、ライムCaO、マグネシアMgO、化合水C.W.、二酸化チタンTiO<sub>2</sub>、酸化マンガンMnO、酸化ナトリウムNa<sub>2</sub>O、酸化カリウムK<sub>2</sub>O、炭素C) を化学分析している。

メタル中成分の化学分析は13成分 (炭素C、シリコンSi、マンガンMn、リンP、イオウS、銅Cu、ニッケルNi、コバルトCo、アルミニウムAl、ヴァナジウムV、チタンTi、カルシウムCa、マグネシウムMg) を化学分析している。

### (iii) 顕微鏡組織観察

試料の一部を切り出し樹脂に埋め込み、細かい研磨剤などで研磨 (鏡面仕上げ) する。炉壁・羽口・粘土などの鉱物性試料については顕微鏡で観察しながら代表的な鉱物組織などを観察し、その特徴から材質、用途、熱履歴などを判断する。滓関連試料も炉壁・羽口などと同様の観察を行うが特徴的鉱物組織から成分的な特徴に結びつけ製・精錬工程の判別、使用原料なども検討する。金属鉄はナイトール (5%硝酸アルコール液) で腐食後、顕微鏡で観察しながら代表的な断面組織を拡大して写真撮影し、顕微鏡組織および介在物 (不純物、非金属鉱物) の存在状態等から製鉄・鍛冶工程の加工状況や材質を判断する。原則として100倍および400倍で撮影を行う。必要に応じて実体顕微鏡 (5倍~20倍) による観察もする。

### (iv) X線回折測定

試料を粉砕して板状に成形し、X線を照射すると、試料に含まれている化合物の結晶の種類に応じて、それぞれに固有な反射 (回折) された特性X線を検出 (回折) できることを利用して、試料中の未知の化合物を同定することができる。多くの種類の結晶についての標準データが整備されており、ほとんどの化合物が同定される。

測定装置 理学電気株式会社製 ロータフレックス (RU-300型)

測定条件

① 使用X線	Cu-K $\alpha$ (波長=1.54178Å)
② K $\beta$ 線の除去	グラファイト単結晶モノクロメーター
③ 管電圧・管電流	55kV・250mA
④ スキャニング・スピード	4.0°/min
⑤ サンプリング・インターバル	0.020°
⑥ D.S.スリット	1°
⑦ R.S.スリット	0.15mm
⑧ S.S.スリット	1°
⑨ 検出器	シンチレーション・カウンター

## (V) 耐火度測定

耐火物及び耐火物原料の耐火度試験は、JIS R 2204（耐火物及び耐火物原料の耐火度試験方法）及びJIS R 8101（耐火度試験用標準コーン）に準拠して測定する。

遺物試料を粉碎し、規定（量的に少量であるから寸法は第2種の小型：幅7mm、高さ27mm）のゼーゲルコーンを成型する。このゼーゲルコーンを傾斜80°で受台に装着し、毎分5℃で加熱する。コーンの先端が曲がり始め、受台に接触したときの温度を耐火度（溶倒温度）とする。

なお、耐火度を測定できない場合などには、必要に応じてこれまでの146試料について耐火度（ゼーゲルコーン溶倒温度 $y$ (℃)の試験結果を整理して得た下記の推算式で求める。

耐火度は、 $y = 110.98 f(x) + 927.82$  の関係が得られている。ここで、

$$f(x) = (25.8\text{Al}_2\text{O}_3 + 5.2\text{SiO}_2) / (146\text{MgO} + 448\text{MnO} + 12.5\text{T.Fe} + 10.4\text{TiO}_2 + 78.6\text{CaO})$$

## (3) 調査結果および考察

分析調査結果を図表にまとめて350～352頁に示す。表1に調査試料と調査項目をまとめた。表2～7に試料の化学成分分析結果を、表8に耐火度測定結果を、表9にX線回折結果を、表10に調査結果のまとめをそれぞれ示した。

全試料の外観写真を353～356頁に、マクロ写真を357頁に、鉄滓と砂鉄、羽口の顕微鏡組織を358～362頁に、金属鉄の顕微鏡組織を357頁に、X線回折チャートを363～364頁にそれぞれ示す。

以下、試料の番号順に述べる。

## 試料No.1 炉内滓、着磁度：2～3、金属探知機反応：2～3mm

**外観観察：**外観写真を353頁に示す。重量33.1g、20mm大の小ぶりな7つの炉内滓である。表面は酸化土砂に覆われて茶褐色を呈しており、砂礫が付着している滓も観察される。着磁度は粒により2または3、金属探知機反応は2～3mm。

**マクロ観察：**鉄塊部分の10倍の断面写真を357頁に示す。周囲から錆化しているがパーライト組織の素地と見られる金属組織が観察される。

**顕微鏡組織：**メタルの顕微鏡組織写真を357頁に示す。灰黒色縞模様のパーライト組織に白色のセメントタイト組織が析出した組織が観察される。

**X線回折：**結果を表9に示す。錆化鉄の影響と見られ、マグネタイト (Magnetite:  $\text{Fe}_3\text{O}_4$ ) 組織の回折線が強強度に、ゲーサイト (Goethite:  $\alpha\text{FeOOH}$ ) 組織の回折線、ヘマタイト (Hematite:  $\alpha\text{-Fe}_2\text{O}_3$ ) 組織の回折線が弱強度にそれぞれ認められる。

**化学成分：**滓の化学成分分析結果を表2、3に示す。全鉄63.1%に対して金属鉄は0.34%とわずかである。FeOは12.8%、 $\text{Fe}_2\text{O}_3$ は75.5%、 $\text{SiO}_2$ は2.22%、 $\text{Al}_2\text{O}_3$ は0.75%、 $\text{TiO}_2$ は0.08%で始発原料が砂鉄か否かは判断できない。FeOn- $\text{SiO}_2$ - $\text{TiO}_2$ の3成分系に換算するとFeOnは97.5%、 $\text{SiO}_2$ は2.5%、 $\text{TiO}_2$ は0.1%となる。351頁のFeOn- $\text{SiO}_2$ - $\text{TiO}_2$ 系の平衡状態図ではFeOn組織（マグネタイト）の領域にある。352頁に示す図3、4は滓の成分的特徴から製鉄工程の生成位置等を検討する図で、図3、4で見ると本試料は砂鉄系鍛錬鍛冶滓の位置にある。

以上から本試料は錆化した鉄塊系遺物と見られる。

## 試料No.2 流動滓、着磁度：1、金属探知機反応：なし

**外観観察：**外観写真を353頁に示す。重量33.2g、長さ52.0mm、幅47.2mm、厚さ17.3mm。角形状を呈した



流動滓である。表面には流動で生じたと見られる褶曲した丸味のある凹凸面が観察される。表面に土砂が部分的に付着して茶褐色を呈するが滓は赤味を帯びた灰黒色である。上面は滑らかで光沢があり、下面には土砂が観察される。

**顕微鏡組織：**滓の顕微鏡組織写真を358頁に示す。ファイヤライト (Fayalite:  $2\text{FeO} \cdot \text{SiO}_2$ ) 組織、ウスタイト (Wustite:  $\text{FeO}$ ) 組織、メタルの粒子等が観察される。

**X線回折：**結果を表9に示す。ファイヤライト (Fayalite:  $2\text{FeO} \cdot \text{SiO}_2$ ) 組織の回折線、ウスタイト (Wustite:  $\text{FeO}$ ) 組織の回折線が中強度にそれぞれ認められる。

**化学成分：**滓の化学成分分析結果を表2、3に示す。全鉄52.7%に対して金属鉄は0.20%とわずかである。FeOは61.4%、 $\text{Fe}_2\text{O}_3$ は6.82%、 $\text{SiO}_2$ は19.9%、 $\text{Al}_2\text{O}_3$ は6.17%、 $\text{TiO}_2$ は0.67%である。FeOn- $\text{SiO}_2$ - $\text{TiO}_2$ の3成分系に換算するとFeOnは76.8%、 $\text{SiO}_2$ は22.4%、 $\text{TiO}_2$ は0.8%となる。351頁のFeOn- $\text{SiO}_2$ - $\text{TiO}_2$ 系の平衡状態図ではFeOn組織 (ウスタイト) 領域に近いファイヤライト組織の領域にあり顕微鏡組織の結果と一致する。352頁に示す図3、4は滓の成分的特徴から製鉄工程の生成位置等を検討する図で、図3、4で見ると本試料は砂鉄系精錬鍛冶滓の位置にある。

以上から本試料は砂鉄を始発原料とする、精錬工程で生成した鉄滓と見られる。

#### 試料No.3 炉内滓、着磁度：0～2、金属探知機反応：0～3mm

**外観観察：**外観写真を353頁に示す。重量166.8g。40mm以下の小ぶりの29個の炉内滓である。表面は酸化土砂に覆われて茶褐色を呈しており、砂礫が付着している滓も観察される。分析には最も大きな台形状の滓を使用した。台形状の滓表面には丸味のある凹凸があり、側面には5mm大の木片が観察される。着磁度は2、金属探知機反応は3mmである。

**顕微鏡組織：**滓の顕微鏡組織写真を358頁に示す。ウスタイト (Wustite:  $\text{FeO}$ ) 組織、ファイヤライト (Fayalite:  $2\text{FeO} \cdot \text{SiO}_2$ ) 組織、メタルの粒子等が観察される。

**X線回折：**結果を表9に示す。ウスタイト (Wustite:  $\text{FeO}$ ) 組織の回折線が強強度に、ファイヤライト (Fayalite:  $2\text{FeO} \cdot \text{SiO}_2$ ) 組織の回折線が中強度に、マグネタイト (Magnetite:  $\text{Fe}_3\text{O}_4$ ) 組織の回折線が弱強度にそれぞれ認められる。

**化学成分：**滓の化学成分分析結果を表2、3に示す。全鉄58.7%に対して金属鉄は0.23%と僅かである。FeOは63.0%、 $\text{Fe}_2\text{O}_3$ は13.6%、 $\text{SiO}_2$ は13.2%、 $\text{Al}_2\text{O}_3$ は3.85%、 $\text{TiO}_2$ は0.93%であり始発原料は砂鉄と見られる。FeOn- $\text{SiO}_2$ - $\text{TiO}_2$ の3成分系に換算するとFeOnは84.4%、 $\text{SiO}_2$ は14.6%、 $\text{TiO}_2$ は1.0%となる。351頁のFeOn- $\text{SiO}_2$ - $\text{TiO}_2$ 系の平衡状態図ではFeOn組織 (ウスタイト) の領域にあり顕微鏡組織の結果と一致する。352頁に示す図3、4は滓の成分的特徴から製鉄工程の生成位置等を検討する図であるが、図3、4で見ると本試料は砂鉄系精錬鍛冶滓の位置にある。

以上から本試料は砂鉄を始発原料とする、精錬工程で生成した鉄滓と見られる。

#### 試料No.4 流動滓、着磁度：2、金属探知機反応：3mm

**外観：**外観写真を353頁に示す。重量34.2g、長さ49.5mm、幅43.7mm、厚さ36.3mm。丸味のある台形状の滓に20mm大の木炭片が結合した滓が付着した流動滓である。表面は酸化土砂に覆われて茶褐色を呈している。下面には15mm大の空孔が割れたような形状が観察される。木炭片の部分で着磁度は2、金属探知機反応は3mmである。

**顕微鏡組織：**滓の顕微鏡組織写真を359頁に示す。ウスタイト (Wustite:  $\text{FeO}$ ) 組織が全面に観察され、メタル粒子も見られる。

**X線回折**：結果を表9に示す。ウスタイト (Wustite: FeO) 組織の回折線が強強度に、ファイヤライト (Fayalite:  $2\text{FeO} \cdot \text{SiO}_2$ ) 組織の回折線が弱強度にそれぞれ認められる。

**化学成分**：滓の化学成分分析結果を表2、3に示す。全鉄62.1%に対して金属鉄は0.17%とわずかである。FeOは67.5%、 $\text{Fe}_2\text{O}_3$ は13.5%、 $\text{SiO}_2$ は8.45%、 $\text{Al}_2\text{O}_3$ は2.29%、 $\text{TiO}_2$ は2.04%で始発原料は砂鉄である。FeOn- $\text{SiO}_2$ - $\text{TiO}_2$ の3成分系に換算するとFeOnは88.5%  $\text{SiO}_2$ は9.2%、 $\text{TiO}_2$ は2.2%となる。351頁のFeOn- $\text{SiO}_2$ - $\text{TiO}_2$ 系の平衡状態図ではFeOn組織 (ウスタイト) の領域にあり顕微鏡組織の結果と一致する。352頁に示す図3、4は滓の成分的特徴から製鉄工程の生成位置等を検討する図であるが、図4、5で見ると本試料は砂鉄系精錬鍛冶滓の位置にある。

以上から本試料は砂鉄を始発原料とした精錬工程で生成した鉄滓と見られる。

#### 試料No.5 流動滓、着磁度：3、金属探知機反応：3mm

**外観観察**：外観写真を354頁に示す。右側の流動滓 (大) は重量78.3g、長さ58.2mm、幅40.8mm、厚さ22.6mm。左側の流動滓 (小) は重量39.8g、長さ41.1mm、幅27.9mm、厚さ25.3mm。不斉五角形状の滓と鋭角な凹凸のある小ぶりの滓の2片の流動滓である。表面には丸味のある凹凸面があり、錆や酸化土砂により茶褐色を呈している。不斉五角形の滓は上面には10mm大の窪みがあり砂礫が観察される。下面には1mm以下の気泡が観察さえる。鋭角な凹凸のある小ぶりの滓の上面には2mm以下の気泡が観察される。着磁度は3、金属探知機反応は3mmである。分析には小ぶりの左側の滓を使用した。

**顕微鏡組織**：滓の顕微鏡組織写真を359頁に示す。全面に凝集したウスタイト (Wustite: FeO) 組織が観察される。

**X線回折**：結果を表9に示す。ウスタイト (Wustite: FeO) 組織の回折線、及びファイヤライト (Fayalite:  $2\text{FeO} \cdot \text{SiO}_2$ ) 組織の回折線が中強度に、マグネタイト (Magnetite:  $\text{Fe}_3\text{O}_4$ ) 組織の回折線が弱強度にそれぞれ認められる。

**化学成分**：滓の化学成分分析結果を表2、3に示す。全鉄68.7%に対して金属鉄は0.17%とわずかである。FeOは72.0%、 $\text{Fe}_2\text{O}_3$ は18.0%、 $\text{SiO}_2$ は4.71%、 $\text{Al}_2\text{O}_3$ は0.83%、 $\text{TiO}_2$ は0.45%である。FeOn- $\text{SiO}_2$ - $\text{TiO}_2$ の3成分系に換算するとFeOnは94.6%  $\text{Fe}_2\text{O}_3$ は5.0%、 $\text{SiO}_2$ は0.5%となる。351頁のFeOn- $\text{SiO}_2$ - $\text{TiO}_2$ 系の平衡状態図ではFeOn組織 (ウスタイト) の領域にある。352頁に示す図3、4は滓の成分的特徴から製鉄工程の生成位置等を検討する図であるが、図3、4で見ると本試料は砂鉄系精錬鍛冶滓の位置にある。

以上から本試料は砂鉄を始発原料とした精錬工程で生成した流動滓と思われる。

#### 試料No.6 鍛造剥片、着磁度：2、金属探知機反応：なし

**外観観察**：外観写真を354頁に示す。厚み0.3～0.4mm、片面に光沢があるものと、両面光沢がないものがある。光沢のない面は茶褐色で、光沢面は青みを帯びた灰色を呈している。

**顕微鏡組織**：滓の顕微鏡組織写真を360頁に示す。王水腐食による鉄酸化膜の3層構造は明確ではなく主にウスタイト (Wustite: FeO) 組織が観察される

**X線回折**：結果を表9に示す。ウスタイト (Wustite: FeO) 組織の回折線、及びマグネタイト (Magnetite:  $\text{Fe}_3\text{O}_4$ ) 組織の回折線が中強度に、ヘマタイト (Hematite:  $\alpha\text{-Fe}_2\text{O}_3$ ) 組織の回折線が弱強度にそれぞれ認められる。

**化学成分**：滓の化学成分分析結果を表2、3に示す。全鉄69.9%に対して金属鉄は0.12%と僅かである。FeOは59.1%、 $\text{Fe}_2\text{O}_3$ は34.1%、 $\text{SiO}_2$ は2.86%、 $\text{Al}_2\text{O}_3$ は1.19%、 $\text{TiO}_2$ は0.17%である。FeOn- $\text{SiO}_2$ -

TiO<sub>2</sub>の3成分系に換算するとFeOnは96.9%、SiO<sub>2</sub>は3.0%、TiO<sub>2</sub>は0.2%となる。351頁のFeOn-SiO<sub>2</sub>-TiO<sub>2</sub>系の平衡状態図ではFeOn組織の領域にある。352頁に示す図3、4は滓の成分的特徴から製鉄工程の生成位置等を検討する図であるが、図3、4で見ると本試料は砂鉄系鍛錬鍛冶滓の位置にある。

以上から本試料は砂鉄を始発原料とした鍛錬工程の初期で生成した鍛造薄片と思われる。

**試料No.7 羽口、着磁度：なし、金属探知機反応：なし**

**外観観察：**外観写真を354頁に示す。重量246.9g、長さ117.5mm、幅64.0mm、厚さ68.2mm。羽口の破片で、元の羽口は内径30φmm、外径65φmm程度と見られる。外側の面は黒色で部分的に滓も付着している。内側は被熱の影響で赤味を帯びており、20mm大の筋痕と見られる痕が観察される。

**顕微鏡組織：**顕微鏡組織写真を360頁に示す。半透明の石英粒や長石類の粒子が観察される。石英や長石の粒径は揃っており、気泡が少なくよく焼きしまっている印象である。

**化学成分：**羽口の化学成分分析結果を表6～7に示す。強熱減量は2.38%、化合水は1.63%で結晶水などがほぼ抜けた状態である。352頁の図5に示す耐火度と胎土成分の関係から見ると、耐火度に有利なSiO<sub>2</sub>とAl<sub>2</sub>O<sub>3</sub>では、SiO<sub>2</sub>は58.4%で通常より低い方で、Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub>は25.1%で通常より高い。一方、造滓成分(SiO<sub>2</sub>+Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub>+CaO+MgO+Na<sub>2</sub>O+K<sub>2</sub>O)中の軟化性を持つアルカリ土類成分(CaO+MgO)は1.55%で低い方である。軟化性成分である全鉄分は5.71%と高い。MnOは0.10%である。

**耐火度：**耐火度測定の結果を351頁の表8に示す。耐火度は1,460℃で製鉄炉の羽口として並である。

以上から本試料はSiO<sub>2</sub>が58.4%、Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub>が25.1%でアルカリ土類成分量が低い特徴を持つ胎土の耐火度1,460℃の羽口である。

**試料No.8 羽口、着磁度：なし、金属探知機反応：なし**

**外観観察：**外観写真を355頁に示す。重量89.6g、長さ78.0mm、幅54.1mm、厚さ22.3mm。長方形の羽口の破片で、元の羽口の内径および外径は羽口片が小さく不明。外側中央部と内側面は被熱の影響で赤味を帯びている。上面には10mm大のヒビが多数観察される。

**顕微鏡組織：**顕微鏡組織写真を361頁に示す。半透明の石英粒や長石類の粒子が観察される。気泡が少なくよく焼きしまっている印象である。

**化学成分：**羽口の化学成分分析結果を表6～7に示す。強熱減量は6.80%、化合水は4.80%で結晶水などが抜けていない状態である。352頁の図5に示す耐火度と胎土成分の関係から見ると、耐火度に有利なSiO<sub>2</sub>とAl<sub>2</sub>O<sub>3</sub>では、SiO<sub>2</sub>は56.4%で通常より低い方で、Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub>は23.8%で通常より高い。一方、造滓成分(SiO<sub>2</sub>+Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub>+CaO+MgO+Na<sub>2</sub>O+K<sub>2</sub>O)中の軟化性を持つアルカリ土類成分(CaO+MgO)は1.22%で低い方である。軟化性成分である全鉄分は5.82%と高い。MnOは0.08%である。

**耐火度：**耐火度測定の結果を351頁の表8に示す。耐火度は1,460℃で製鉄炉の羽口として並である。

以上から本試料はSiO<sub>2</sub>が56.4%、Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub>が23.8%でアルカリ土類成分量が低い特徴を持つ胎土の耐火度1,460℃の羽口である。

**試料No.9 粒状滓、着磁度：2、金属探知機反応：なし**

**外観観察：**外観写真を355頁に示す。重量7.6g、粒形は最大で9.8mm程度。表面は土砂が付着しているが、滓は灰黒色である。0.5mm以下の気泡がある粒が多数観察される。

**顕微鏡組織：**滓の顕微鏡組織写真を361頁に示す。ほぼ全面にウスタイト(Wustite: FeO)組織が観察される。

**X線回折**：結果を表9に示す。ウスタイト (Wustite: FeO) 組織の回折線、及びファイヤライト (Fayalite:  $2\text{FeO} \cdot \text{SiO}_2$ ) 組織の回折線が中強度に、マグネタイト (Magnetite:  $\text{Fe}_3\text{O}_4$ ) 組織の回折線、クリストバライト (Quartz- $\text{SiO}_2$ ) 組織の回折線が弱強度にそれぞれ認められる。

**化学成分**：滓の化学成分分析結果を表2、3に示す。全鉄48.4%に対して金属鉄は0.27%と僅かである。FeOは53.6%、 $\text{Fe}_2\text{O}_3$ は9.25%、 $\text{SiO}_2$ は23.0%、 $\text{Al}_2\text{O}_3$ は7.54%、 $\text{TiO}_2$ は1.23%である。FeOn- $\text{SiO}_2$ - $\text{TiO}_2$ の3成分系に換算するとFeOnは72.2%、 $\text{SiO}_2$ は26.4%、 $\text{TiO}_2$ は1.4%となる。351頁のFeOn- $\text{SiO}_2$ - $\text{TiO}_2$ 系の平衡状態図ではウスタイト組織に近いファイヤライト組織の領域にある。352頁に示す図3、4は滓の成分的特徴から製鉄工程の生成位置等を検討する図であるが、図3、4で見ると本試料は砂鉄系精錬鍛冶滓の位置にある。

以上から本試料は砂鉄を始発原料とした精錬鍛冶工程で生成した粒状滓と思われる。

#### 試料No.10 鍛造剥片、着磁度：2、金属探知機反応：なし

**外観観察**：外観写真を355・356頁に示す。厚み0.1～0.8mmの剥片である。片面に光沢があるものと、両面光沢がないものがある。光沢のない面は茶褐色で、光沢面は青みを帯びた灰色。比較的厚い剥片は光沢がなく、薄い剥片は光沢がある。

**顕微鏡組織**：滓の顕微鏡組織写真を362頁に示す。No.10-1では王水腐食による鉄酸化膜の3層構造が確認され、外層ヘマタイト (Hematite:  $\text{Fe}_2\text{O}_3$ ) は微厚白色、中間層はやや黄色のマグネタイト (Magnetite:  $\text{Fe}_3\text{O}_4$ )、これより内層はウスタイト (Wustite: FeO) 組織となっている。

**X線回折**：結果を表9に示す。ウスタイト (Wustite: FeO) 組織の回折線、及びマグネタイト (Magnetite:  $\text{Fe}_3\text{O}_4$ ) 組織の回折線が中強度に、ヘマタイト (Hematite:  $\text{Fe}_2\text{O}_3$ ) 組織の回折線が弱強度にそれぞれ認められる。

**化学成分**：滓の化学成分分析結果を表2、3に示す。全鉄69.8%に対して金属鉄は0.12%と僅かである。FeOは62.2%、 $\text{Fe}_2\text{O}_3$ は30.5%、 $\text{SiO}_2$ は3.15%、 $\text{Al}_2\text{O}_3$ は1.22%、 $\text{TiO}_2$ は0.13%である。FeOn- $\text{SiO}_2$ - $\text{TiO}_2$ の3成分系に換算するとFeOnは96.6%、 $\text{SiO}_2$ は3.3%、 $\text{TiO}_2$ は0.1%となる。351頁のFeOn- $\text{SiO}_2$ - $\text{TiO}_2$ 系の平衡状態図ではFeOn組織の領域にある。352頁に示す図3、4は滓の成分的特徴から製鉄工程の生成位置等を検討する図であるが、図3、4で見ると本試料は砂鉄系鍛錬鍛冶滓の位置にある。

以上から本試料は砂鉄を始発原料とした鍛錬鍛冶工程で生成した鍛造剥片と思われる。

#### 試料No.11 砂鉄

**外観観察**：外観写真を356頁に示す。粒子そのものは比較的粗く、角のある鍛造剥片状のものも含まれているが1.4mmを超える粒子はなく、算術平均粒径で0.494mm。

**化学成分**：砂鉄の化学成分分析結果を表4、5に示す。全鉄は66.8%、FeOは34.7%、 $\text{Fe}_2\text{O}_3$ は56.8%で $\text{Fe}_2\text{O}_3$ とFeOの比率は62：38である。代表的な不純物である $\text{SiO}_2$ は3.03%で $\text{TiO}_2$ の含有量は0.47%と少ない。

### (4) ま と め

#### 1) 遺跡の性格

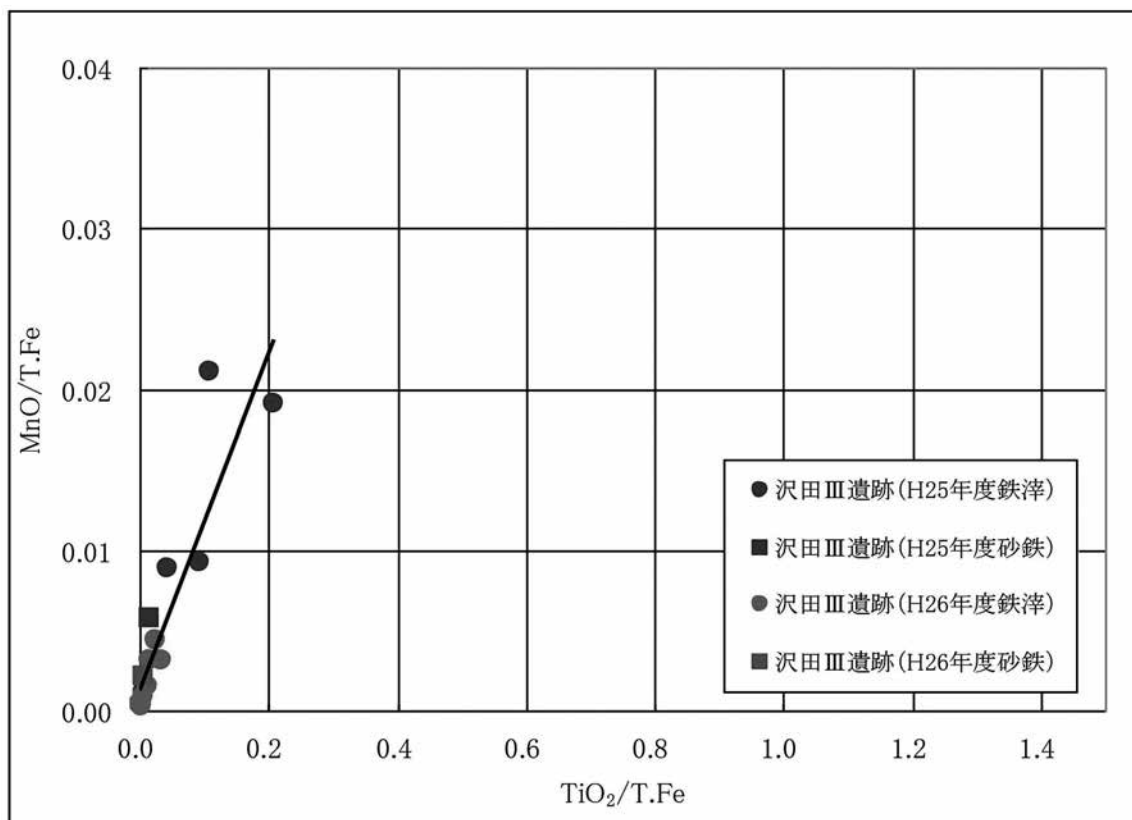
本調査の対象試料は、鉄滓8試料、羽口2試料、砂鉄1試料の合計11試料である。鉄滓の出所を製造工程別に推定すると、鍛錬鍛冶滓2試料、精錬鍛冶滓5試料となり、本遺跡では近隣遺跡で生産された鉄素材を使用して鍛冶炉にて精錬鍛冶、鍛錬鍛冶が行われていたと考えられる。

## 2) 始 発 原 料

本調査で得られた鉄滓5試料中の $\text{TiO}_2$ 濃度が0.5～2%であることから、本遺跡の始発原料は砂鉄と思われる。鉄滓について $\text{MnO}/\text{T.Fe}$ を縦軸に、 $\text{TiO}_2/\text{T.Fe}$ を横軸にして整理した結果を図1に示す。砂鉄は還元されてメタルになる過程において鉄滓の $\text{MnO}/\text{T.Fe}$ と $\text{TiO}_2/\text{T.Fe}$ の比は一定と考えられるので図1の線上を移動する。鉄滓試料の $\text{MnO}/\text{T.Fe}$ と $\text{TiO}_2/\text{T.Fe}$ の関係で見ると、沢田Ⅲ遺跡のH26年度とH25年度の鉄滓にはH26年度とH25年度の砂鉄とほぼ同質の砂鉄が使用されていたと考えることができる。

## 3) 胎 土 の 性 状

羽口の成分分析の結果、 $\text{SiO}_2$ が56～58%と低めであるが、 $\text{Al}_2\text{O}_3$ が24～25%と高めで、アルカリ土類成分量が低めであったことから耐火度が $1460^\circ\text{C}$ で羽口としては並であったと思われた。図5に示す耐火度と粘土成分の関係で見るとH25年度沢田Ⅲ遺跡とH26年度沢田Ⅲ遺跡の羽口の耐火度及び、粘土成分は類似している。

図1 鉄滓及び砂鉄の $\text{MnO}/\text{T.Fe}$ と $\text{TiO}_2/\text{T.Fe}$ の関係

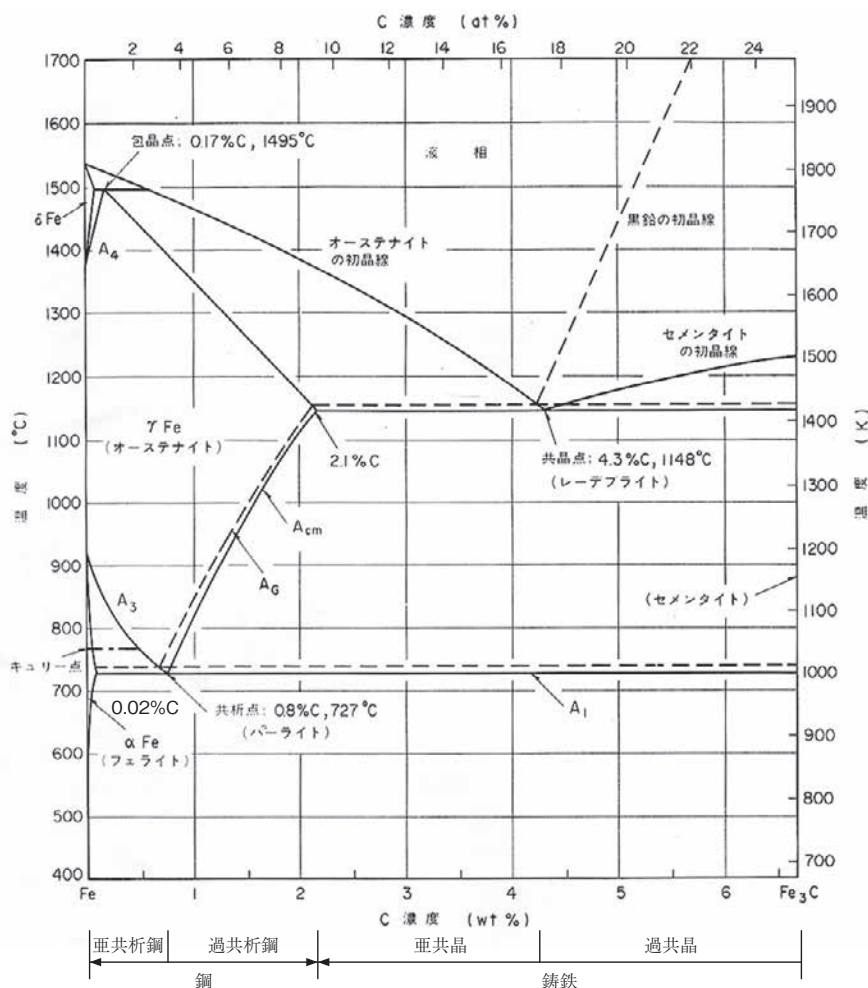
(5) 参 考

(1) 鉄滓の顕微鏡組織について：鉄滓を構成する化合物結晶には、一般的に表A1のような鉱物組織がある。酸化鉄 (Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>、Fe<sub>3</sub>O<sub>4</sub>、FeO)、二酸化ケイ素 (シリカ: SiO<sub>2</sub>)、アルミナ (Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub>) および二酸化チタン (TiO<sub>2</sub>) を組み合わせた化合物 (固溶体) が多く、これら鉱物結晶は含有量にも依存するが、X線回折により検出され確認できる。鉄滓中の低融点化合物がガラス相 (非晶質) を形成することがあり、X線回折では検出されない。

表 A 1 鉄滓の顕微鏡鉱物組織とその観察状況

鉱物組織名 (和)	鉱物名 (英)	化学式	偏光顕微鏡観察状況
ヘマタイト	Hematite	$\alpha\text{-Fe}_2\text{O}_3$	赤褐色～赤紫色
マग्ヘマイト	Maghemite	$\gamma\text{-Fe}_2\text{O}_3$	赤紫色～黒紫色
マグネタイト	Magnetite	Fe <sub>3</sub> O <sub>4</sub>	白青色、四角または多角盤状
ウスタイト	Wustite	FeO	灰白色、繖玉状または樹枝状
ファイヤライト	Fayalite	2FeO · SiO <sub>2</sub>	薄い青灰色、短冊状の長い結晶
ウルボスピネル	Ulvospinel	2FeO · TiO <sub>2</sub>	白色、四角～角形板状結晶
イルメナイト	Ilmenite	FeO · TiO <sub>2</sub>	白色、針状・棒状の長い結晶
シュードブルッカイト	Pseudobrookite	FeO · 2TiO <sub>2</sub>	白色、針状の結晶
ハロイサイト	Halloysite	Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub> · 2SiO <sub>2</sub> · 2H <sub>2</sub> O	X線で同定できたが組織は不明
ハーシナイト	Hercynite	FeO · Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	ウスタイト中に析出、ごま粒状
アカゲナイト	Akagenite	$\beta\text{-FeOOH}$	X線で同定できたが組織は不明
ゲーサイト	Goethite	$\alpha\text{-FeOOH}$	白～黄色、リング状が多い

(2) 鉄-炭素系平衡状態図



3 鉄滓類の分析 (2)

(3) ゼーゲルコーン溶倒温度比較表

温度 (℃)	SKコーン番号	温度 (℃)	SKコーン番号	温度 (℃)	SKコーン番号	温度 (℃)	SKコーン番号
600	022	960	07a	1,280	9	1,650	29
650	021	980	06a	1,300	10	1,670	30
670	020	1,000	05a	1,320	11	1,690	31
690	019	1,020	04a	1,350	12	1,710	32
710	018	1,040	03a	1,380	13	1,730	33
730	017	1,060	02a	1,410	14	1,750	34
750	016	1,080	01a	1,435	15	1,770	35
790	015a	1,100	1a	1,460	16	1,790	36
815	014a	1,120	2a	1,480	17	1,825	37
835	013a	1,140	3a	1,500	18	1,850	38
855	012a	1,160	4a	1,520	19	1,880	39
880	011a	1,180	5a	1,530	20	1,920	40
900	010a	1,200	6a	1,580	26	1,960	41
920	09a	1,230	7	1,610	27	2,000	42
940	08a	1,250	8	1,630	28		

註：コーンは正確な温度を測定するものではない。耐火度の数値を概略の温度で示す場合にのみ上の温度表が使われる。  
この表はJIS R0305付表による。コーン番号=SK番号

(6) 図表・写真

表1 調査試料と調査項目

試料番号	遺構名	出土位置	試料分類	① 化学成分分析	② 顕微鏡組織観察	③ X線回折測定	④ 耐火度測定試験	⑤ 着磁力調査	⑥ 金属探知機反応	⑦ 外観写真
No.1	SXI05	ベルトB-B' 2層	鉄滓類：炉内滓	○	○	○		○	○	○
No.2	SXI05	南東埋土2層	鉄滓類：流動滓	○	○	○		○	○	○
No.3	SXW27	6層	鉄滓類：炉内滓	○	○	○		○	○	○
No.4	SXW27	埋土3層	鉄滓類：流動滓	○	○	○		○	○	○
No.5	SXI05	南東埋土2層	鉄滓類：流動滓	○	○	○		○	○	○
No.6	SXI05	床上・鍛造剥片集積1	鍛造剥片	○	○	○		○	○	○
No.7	SXI05	ベルトA-A' 2層	羽口	○	○		○	○	○	○
No.8	SXI05	ベルトC-C' 2層	羽口	○	○		○	○	○	○
No.9	SXW08	NW	鉄滓類：粒状滓	○	○	○		○	○	○
No.10	SXW08	NE	鍛造剥片	○	○2	○		○	○	○
No.11	SXW07	NE・NW	砂鉄	○	○			○	○	○
調査点数				11	12	8	2	11	11	11

表2 鉄滓の化学組成分析結果 (%)

試料No	T. Fe	M. Fe	FeO	Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	SiO <sub>2</sub>	Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	CaO	MgO	K <sub>2</sub> O	Na <sub>2</sub> O	比率	
											FeO	Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub>
1	63.1	0.34	12.8	75.5	2.22	0.75	0.22	<0.1	0.03	0.05	14.5	85.5
2	52.7	0.20	61.4	6.82	19.9	6.17	1.42	0.53	0.63	0.73	90.0	10.0
3	58.7	0.23	63.0	13.6	13.2	3.85	1.69	0.61	0.43	0.35	82.3	17.7
4	62.1	0.17	67.5	13.5	8.45	2.29	1.47	0.36	0.20	0.18	83.3	16.7
5	68.7	0.17	72.0	18.0	4.71	0.83	0.75	0.53	0.17	0.10	80.0	20.0
6	69.9	0.12	59.1	34.1	2.86	1.19	0.26	0.10	0.12	0.10	63.4	36.6
9	48.4	0.27	53.6	9.25	23.0	7.54	1.55	0.72	0.78	0.58	85.3	14.7
10	69.8	0.12	62.2	30.5	3.15	1.22	0.22	0.15	0.11	0.08	67.1	32.9

表3 鉄滓の化学組成分析結果 (続き) (%)

試料No	TiO <sub>2</sub>	MnO	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	C	化合水	V	Cu	Zr	TiO <sub>2</sub> /T.Fe	MnO/TiO <sub>2</sub>	造滓成分
1	0.08	0.02	0.220	2.13	4.95	0.006	0.004	0.003	0.001	0.250	3.3
2	0.67	0.08	0.415	0.09	0.33	0.077	0.001	0.048	0.013	0.119	29.4
3	0.93	0.18	0.371	0.09	0.26	0.095	0.001	0.084	0.016	0.194	20.1
4	2.04	0.19	0.672	0.16	0.75	0.14	0.002	0.11	0.033	0.093	13.0
5	0.45	0.06	0.220	0.02	0.13	0.031	0.002	0.013	0.007	0.133	7.1
6	0.17	0.02	0.212	0.17	0.38	0.005	0.004	0.004	0.002	0.118	4.6
9	1.23	0.21	0.312	0.21	0.45	0.14	0.001	0.20	0.025	0.171	34.2
10	0.13	0.03	0.070	0.29	0.32	0.009	0.007	0.015	0.002	0.231	4.9

造滓成分=SiO<sub>2</sub>+Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub>+CaO+MgO+Na<sub>2</sub>O+K<sub>2</sub>O

表4 砂鉄の化学組成分析結果 (%)

試料No	T. Fe	M. Fe	FeO	Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	SiO <sub>2</sub>	Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	CaO	MgO	K <sub>2</sub> O	Na <sub>2</sub> O
11	66.8	0.11	34.7	56.8	3.03	1.70	0.23	0.18	0.09	0.07

表5 砂鉄の化学組成分析結果（続き）（%）

試料No.	TiO <sub>2</sub>	MnO	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	C	化合水	V	Cu	Zr
11	0.47	0.14	0.139	0.57	0.73	0.086	0.004	0.004

表6 羽口の化学成分分析結果（%）

試料No.	T. Fe	M. Fe	FeO	Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	SiO <sub>2</sub>	Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	CaO	MgO	K <sub>2</sub> O	Na <sub>2</sub> O
7	5.71	0.07	0.36	7.66	58.4	25.1	0.39	1.16	1.77	0.58
8	5.82	0.07	0.58	7.58	56.4	23.8	0.37	0.85	1.45	0.25

表7 羽口の化学成分分析結果（続き）（%）

試料No.	TiO <sub>2</sub>	MnO	C	Rb	Sr	強熱減量	化合水	耐火度（℃）
7	0.92	0.10	0.43	<0.01	0.008	2.38	1.63	1,460
8	1.17	0.08	0.49	0.01	0.011	6.80	4.80	1,460

表8 羽口の耐火度試験結果

試料No.	試験結果	溶倒温度（℃）	色	膨張	試験錘の性状
7	SK16	1,460	濃茶色	わずかに膨張	表面溶融
8	SK16	1,460	濃茶色	わずかに膨張	光沢なし

表9 X線回折測定結果

試料No.	同定鉱物種と回折強度
1	M強、Go弱、H弱
2	W中、F中
3	W強、F中、M弱
4	W強、F弱
5	W中、F中、M弱
6	M中、W中、H弱
9	W中、F中、M弱、Q弱
10	W中、M中、H弱

鉱物記号：

- W (ウスタイト：Wustite-FeO)、M (マグネタイト：Magnetite-Fe<sub>3</sub>O<sub>4</sub>)
- F (ファイヤライト：Fayalite-Fe<sub>2</sub>SiO<sub>4</sub>)、Go (ゲーサイト：Goethite-αFeOOH)
- H (ヘマタイト：Hematite-Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>)、U (ウルボスピネル：Ulvospinel-2FeO·TiO<sub>2</sub>)
- Il (イルメナイト：Ilmenite-FeO·TiO<sub>2</sub>)、Ps (シュードブルッカイト：Pseudobrookite-FeO·TiO<sub>2</sub>)
- An (アノーサイト：Anorthite-CaOAl<sub>2</sub>O<sub>2</sub>·2SiO<sub>2</sub>)、Q.Cb (シリカ、クリストバライト：Quartz-SiO<sub>2</sub>)
- Fs (フェロシャーマカイト：Ferrotschermakite-Ca<sub>2</sub>FeAl<sub>2</sub>(Si<sub>6</sub>Al<sub>2</sub>)O<sub>22</sub>(OH)<sub>2</sub>)
- Ag (アウガイト：Augite-Ca(Fe,Mg)Si<sub>2</sub>O<sub>6</sub>)、Mu (ムライト：Mullite-3Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub>·2SiO<sub>2</sub>)

表10 個別試料のまとめ

試料No.	遺構名	出土位置	試料分類	調査結果
No.1	SXI05	ベルトB-B' 2層	鉄塊系遺物	大半が錆化した鉄塊系遺物
No.2	SXI05	南東埋土2層	流動滓	砂鉄を始発原料とした精錬工程で生成した鉄滓
No.3	SXW27	6層	炉内滓	砂鉄を始発原料とした精錬工程で生成した鉄滓
No.4	SXW27	埋土3層	流動滓	砂鉄を始発原料とした精錬工程で生成した鉄滓
No.5	SXI05	南東埋土2層	流動滓	砂鉄を始発原料とした精錬工程で生成した鉄滓
No.6	SXI05	床上・鍛造剥片集積1	鍛造剥片	砂鉄を始発原料とした鍛錬工程で生成した鍛造薄片
No.7	SXI05	ベルトA-A' 2層	羽口	耐火度1,460℃の羽口
No.8	SXI05	ベルトC-C' 2層	羽口	耐火度1,460℃の羽口
No.9	SXW08	NW	粒状滓	砂鉄を始発原料とした精錬工程で生成した粒状滓
No.10	SXW08	NE	鍛造剥片	砂鉄を始発原料とした鍛錬工程で生成した鍛造薄片
No.11	SXW07	NE・NW	砂鉄	TiO <sub>2</sub> 0.47%の砂鉄

図2 鉄滓のFeO-SiO<sub>2</sub>-TiO<sub>2</sub>系鉄滓の平衡状態図

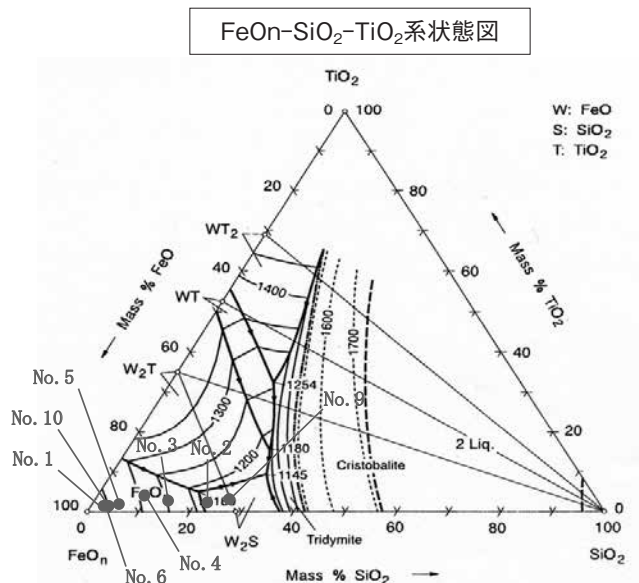




図3 鉄滓の製錬滓、精錬滓、及び鍛錬滓の分類

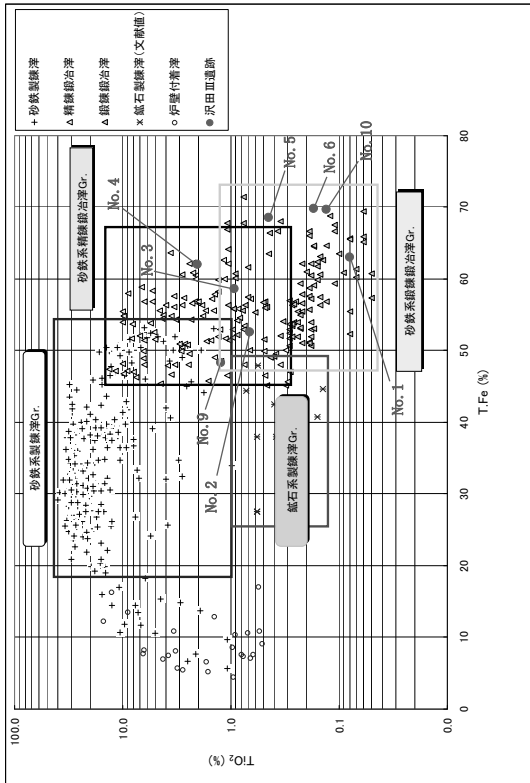


図4 鉄滓の製錬滓と鍛冶滓の分類

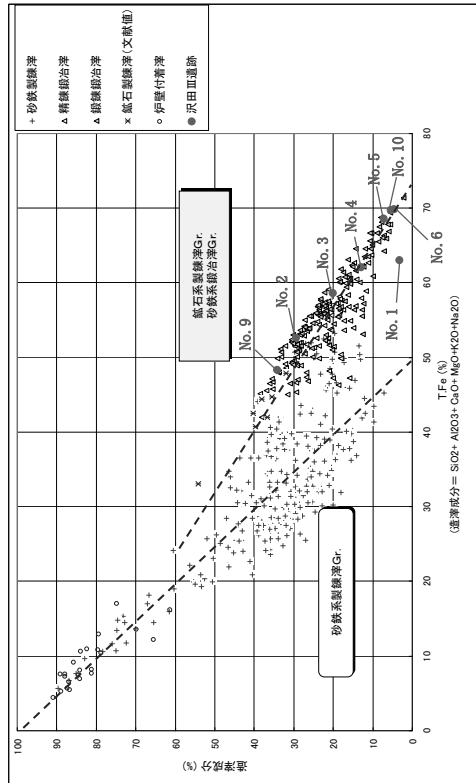
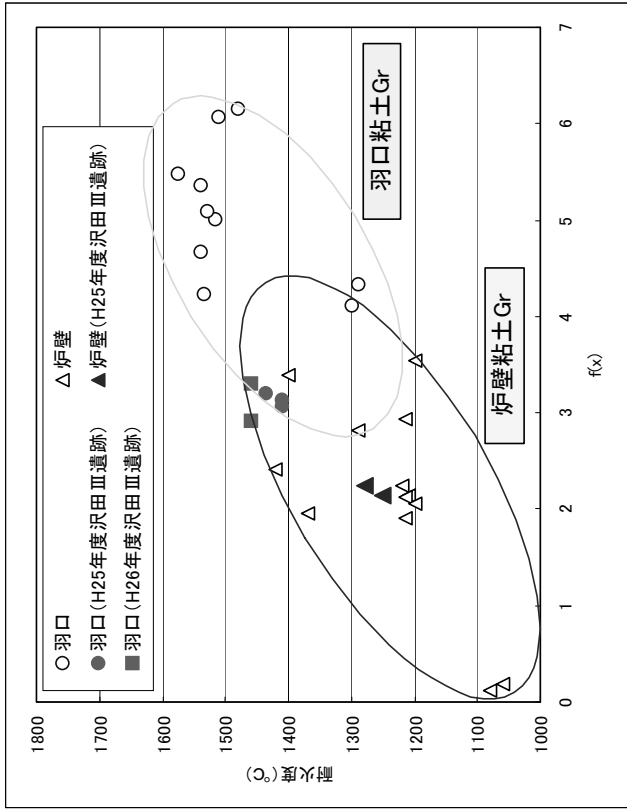


図5 羽口の耐火度と粘土成分の関係

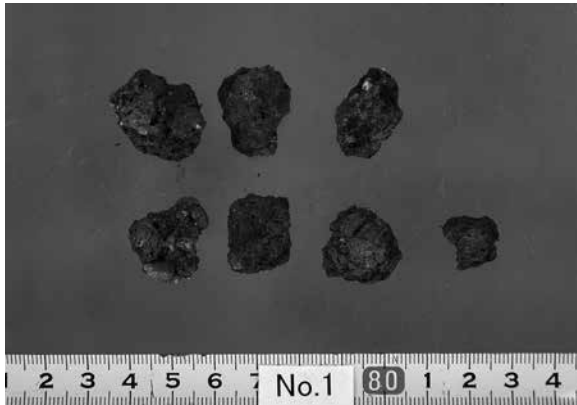


$$f(x) = (25.8Al_2O_3 + 5.2SiO_2) / (146MgO + 448MnO + 12.5T.Fe + 10.4TiO_2 + 78.6CaO)$$

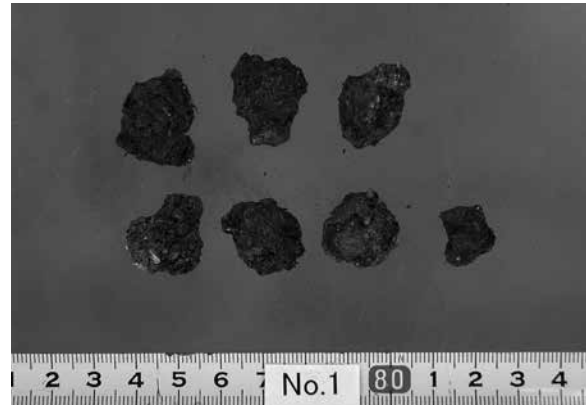
表10 炉壁の胎土の分類

種別	試料No.	耐火度 (°C)	耐火度増加成分		耐火度低下成分			
			SiO <sub>2</sub>	Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	T.Fe	CaO+MgO	TiO <sub>2</sub>	MnO
羽口	7	1460	58.4	25.1	5.71	1.55	0.92	0.10
羽口	8	1460	56.4	23.8	5.82	1.22	1.17	0.08

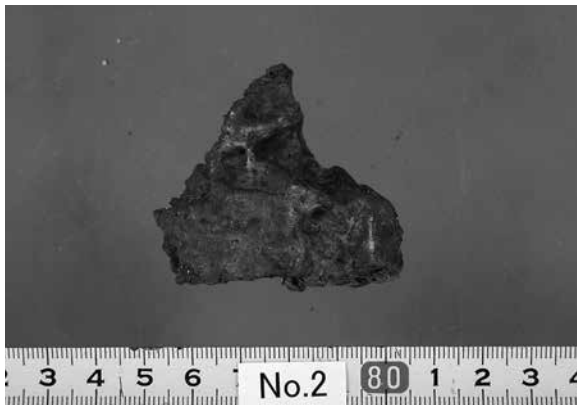
高い、多い  
並  
低い、少ない



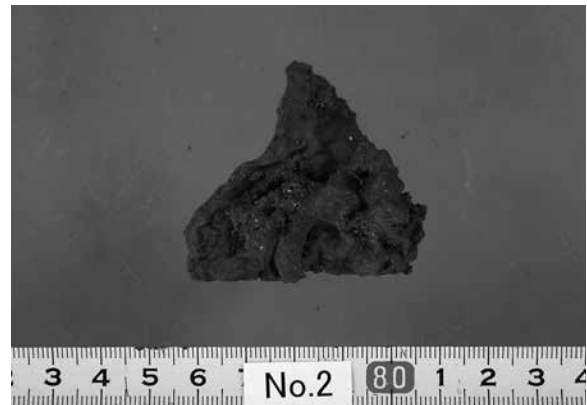
外観写真 試料番号No.1 上面



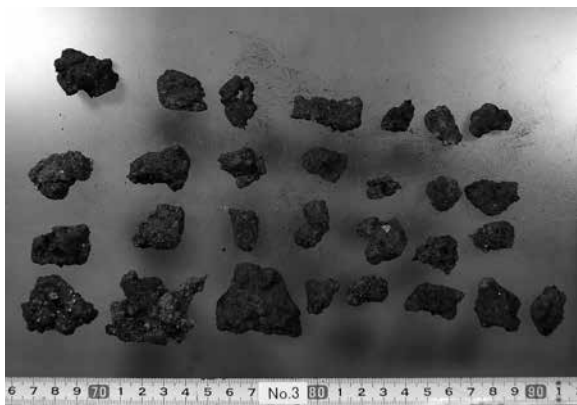
外観写真 試料番号No.1 下面



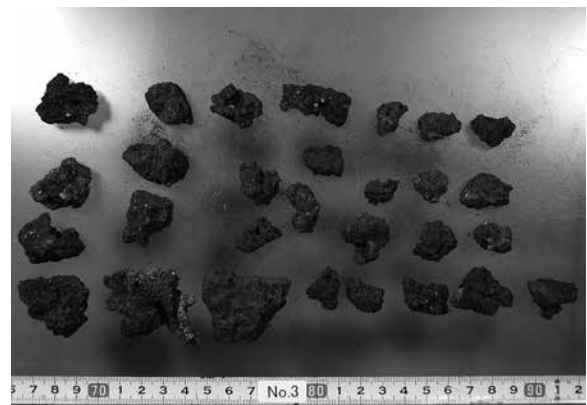
外観写真 試料番号No.2 上面



外観写真 試料番号No.2 下面



外観写真 試料番号No.3 上面



外観写真 試料番号No.3 下面



外観写真 試料番号No.4 上面



外観写真 試料番号No.4 下面

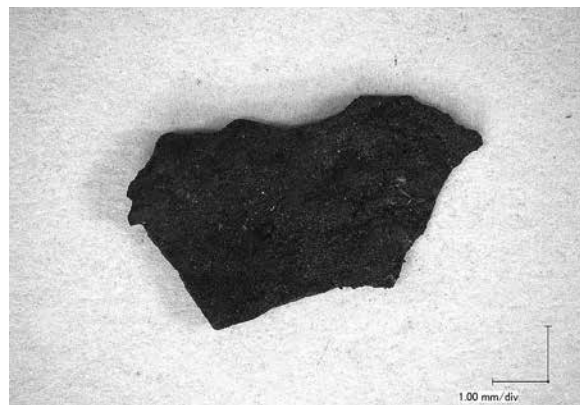
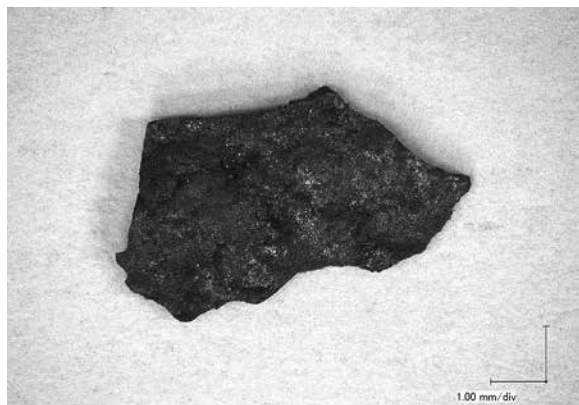
3 鉄滓類の分析 (2)



外観写真 試料番号No.5 上面



外観写真 試料番号No.5 下面



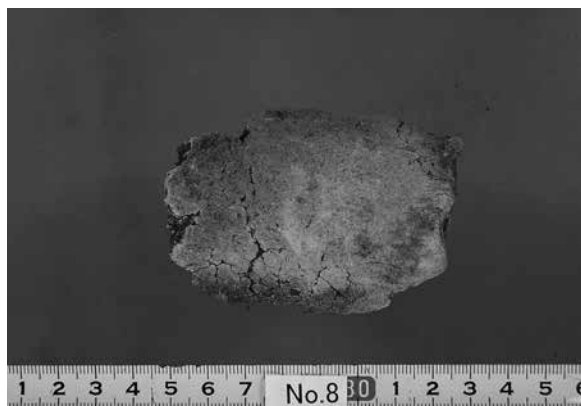
外観写真 試料番号No.6



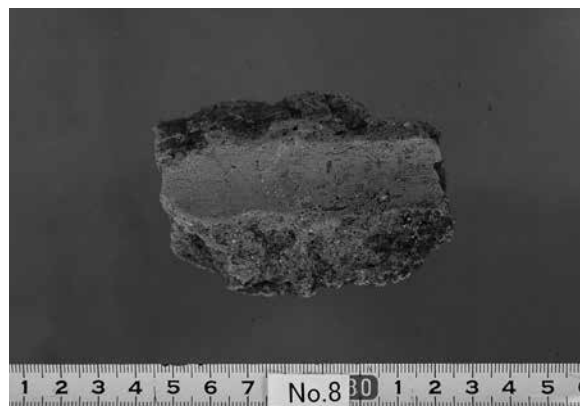
外観写真 試料番号No.7 上面



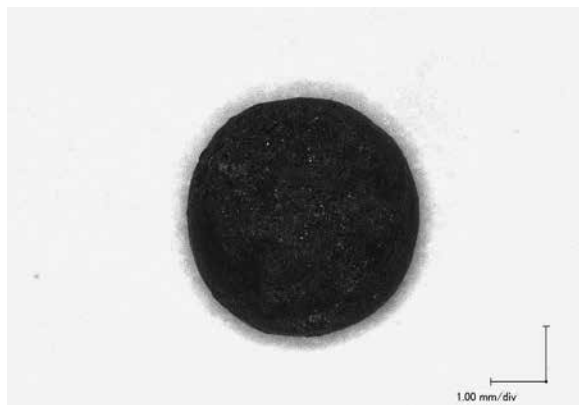
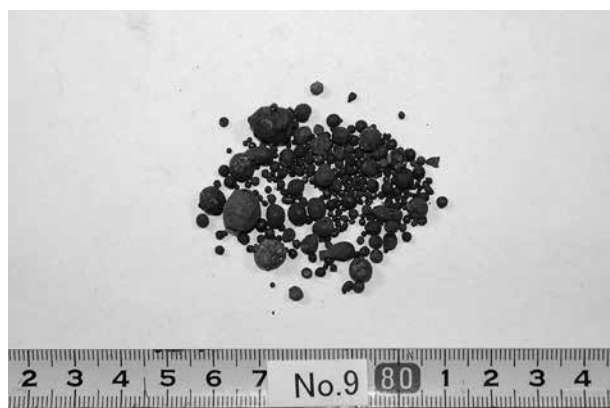
外観写真 試料番号No.7 下面



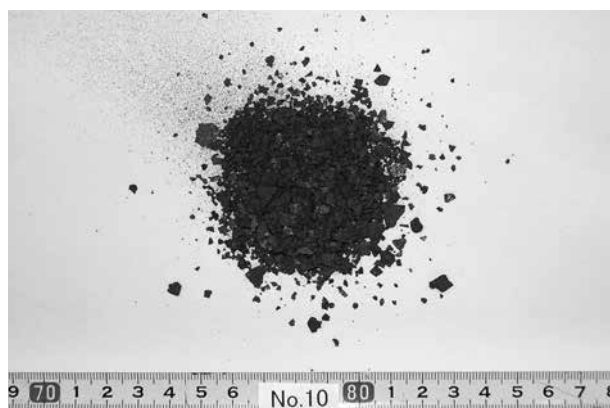
外観写真 試料番号No.8 上面



外観写真 試料番号No.8 下面

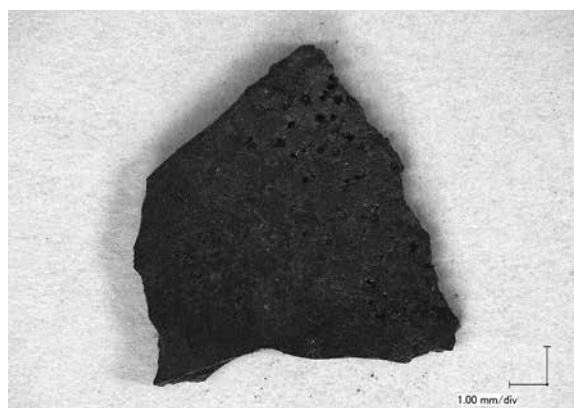
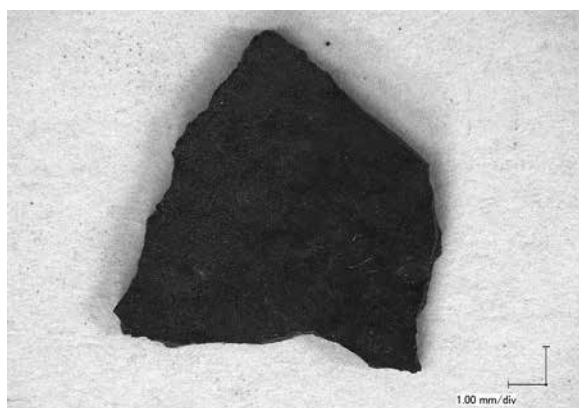
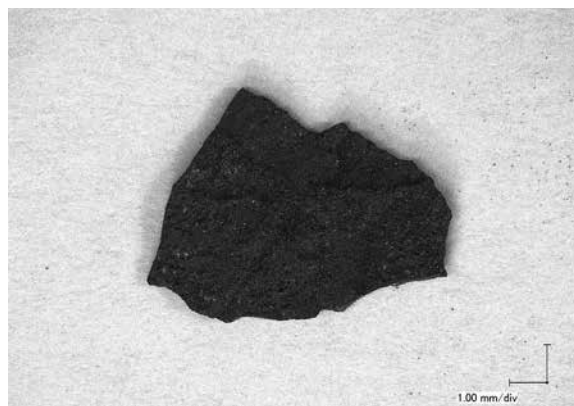
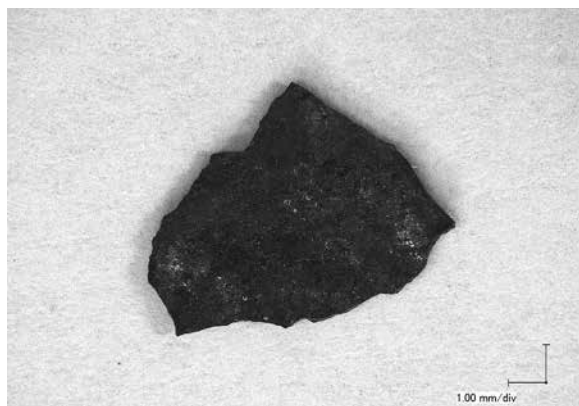


外観写真 試料番号No.9

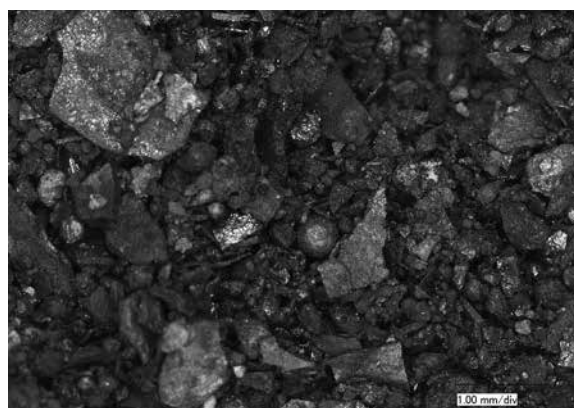
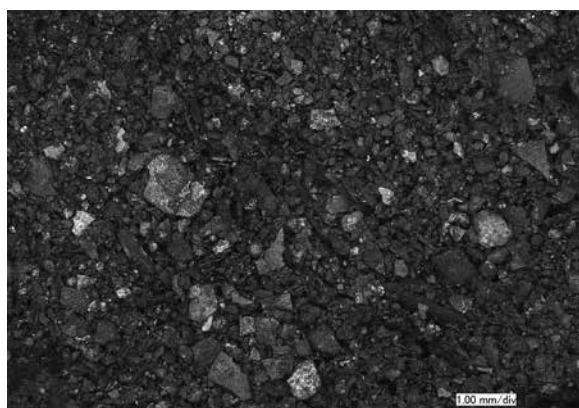
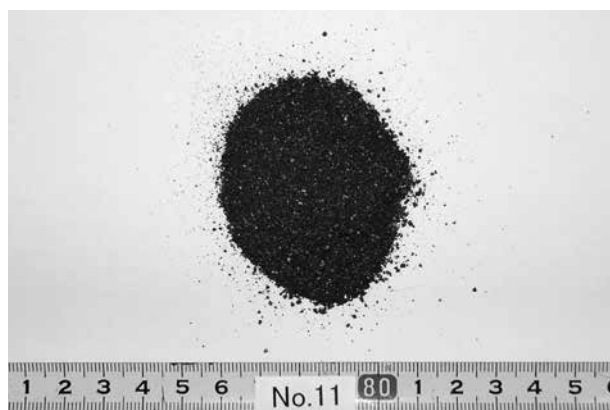


外観写真 試料番号No.10

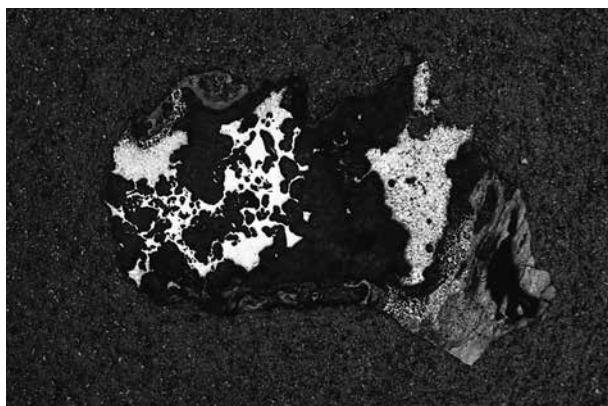
3 鉄滓類の分析 (2)



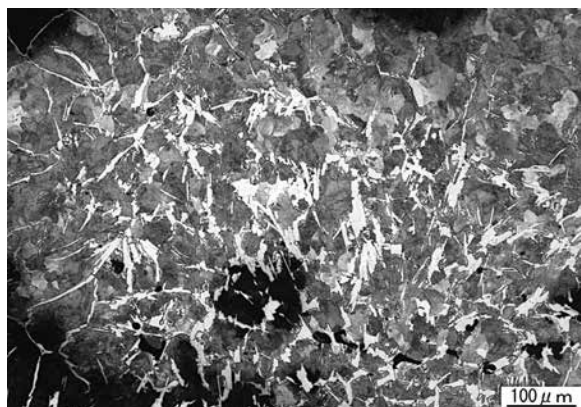
外観写真 試料番号No.10



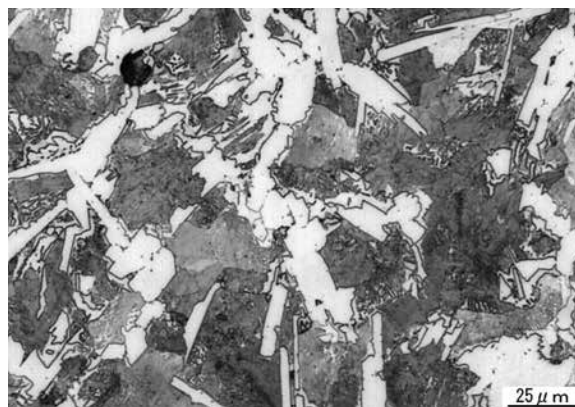
外観写真 試料番号No.11



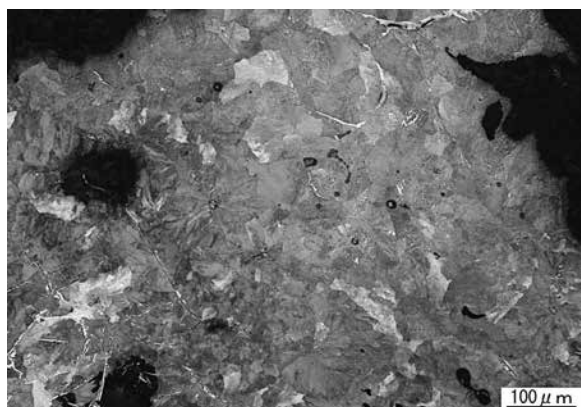
金属マクロ組織写真 No.1 ×10



金属組織顕微鏡写真 No.1-1 ×100



金属組織顕微鏡写真 No.1-1 ×400

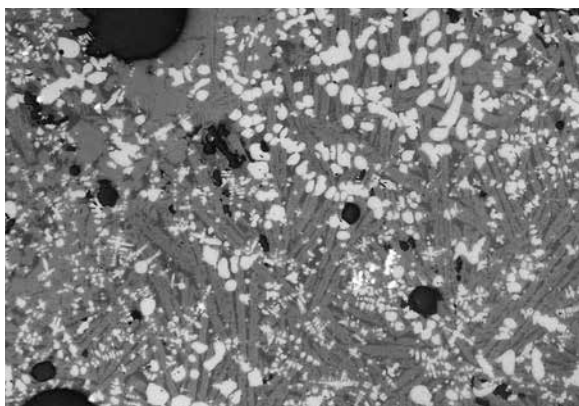


金属組織顕微鏡写真 No.1-2 ×100

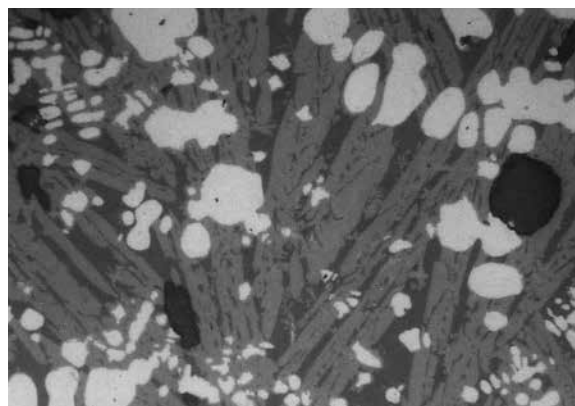


金属組織顕微鏡写真 No.1-2 ×400

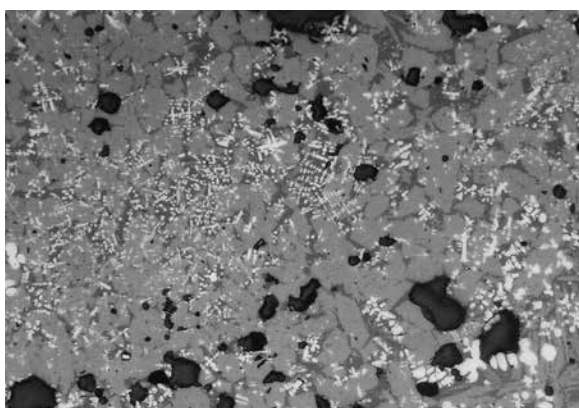
3 鉄滓類の分析 (2)



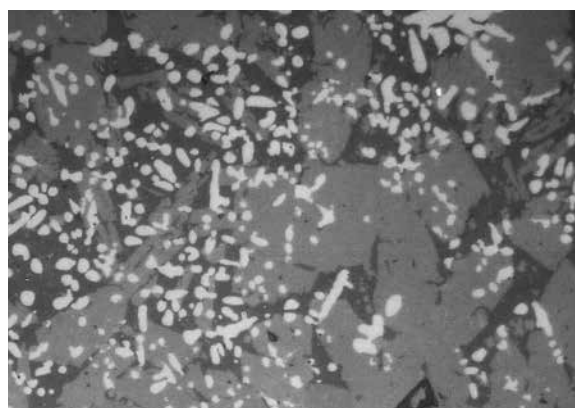
鉄滓頭微鏡組織写真 No.2-1 ×100



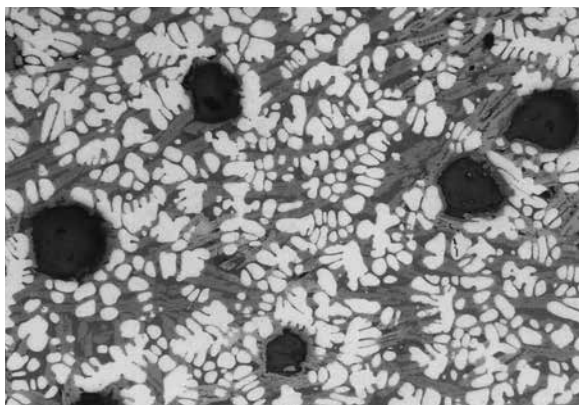
鉄滓頭微鏡組織写真 No.2-1 ×400



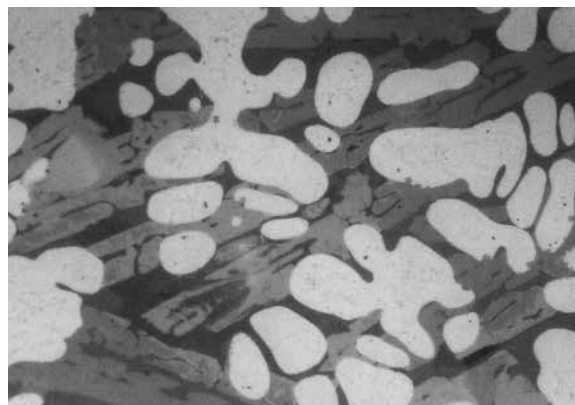
鉄滓頭微鏡組織写真 No.2-2 ×100



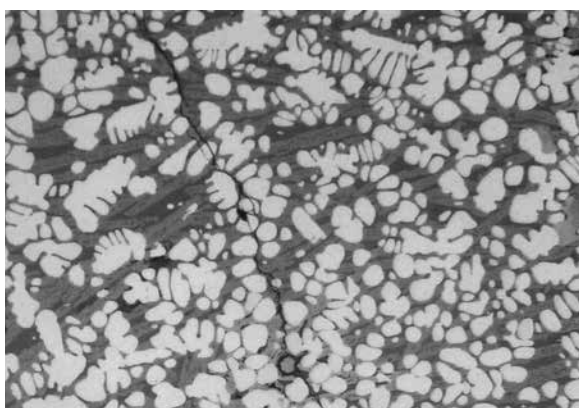
鉄滓頭微鏡組織写真 No.2-2 ×400



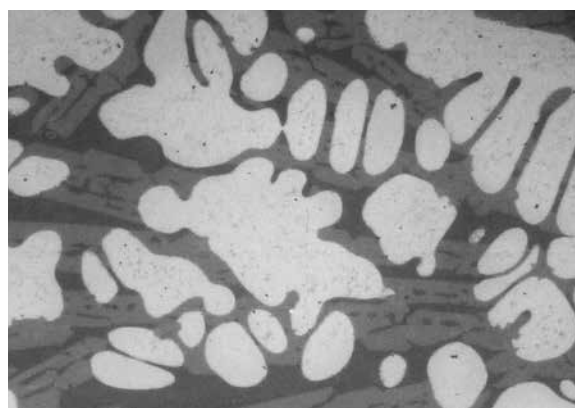
鉄滓頭微鏡組織写真 No.3-1 ×100



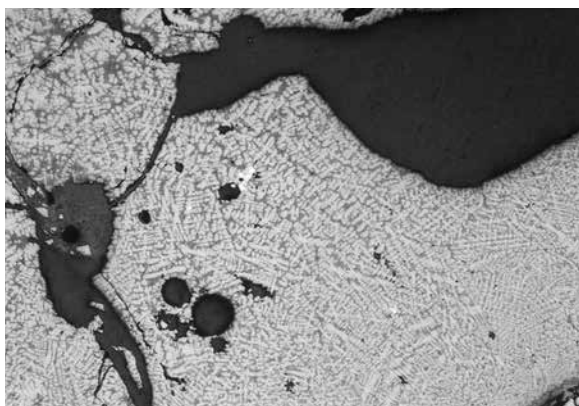
鉄滓頭微鏡組織写真 No.3-1 ×400



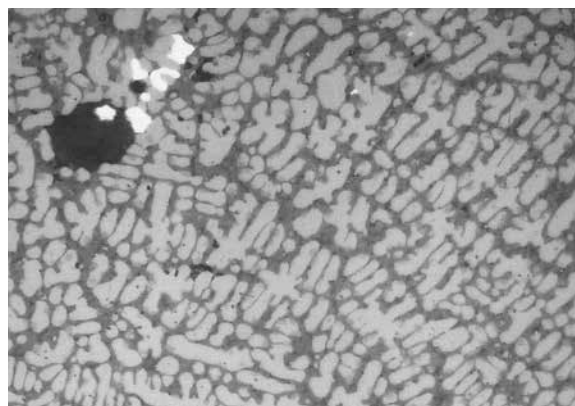
鉄滓頭微鏡組織写真 No.3-2 ×100



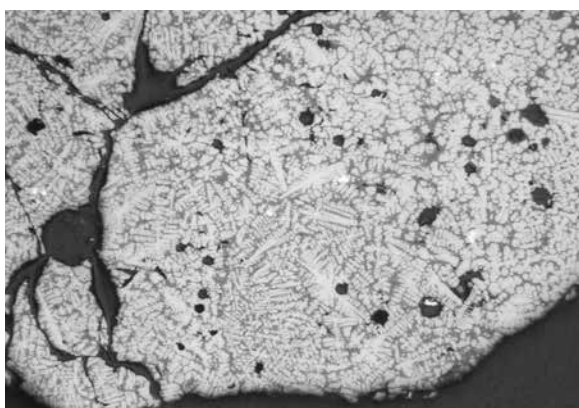
鉄滓頭微鏡組織写真 No.3-2 ×400



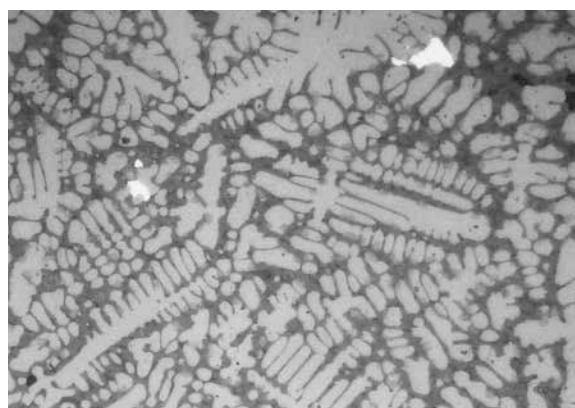
鉄滓頭微鏡組織写真 No.4-1 ×100



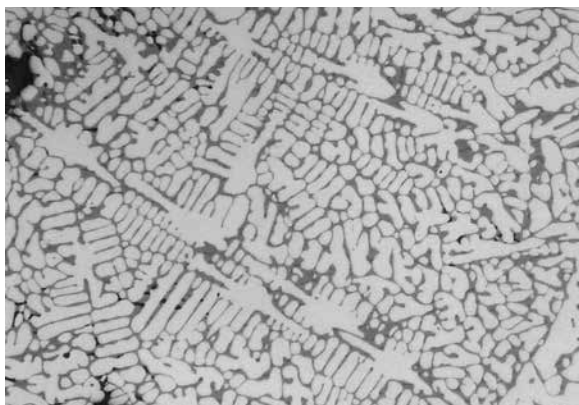
鉄滓頭微鏡組織写真 No.4-1 ×400



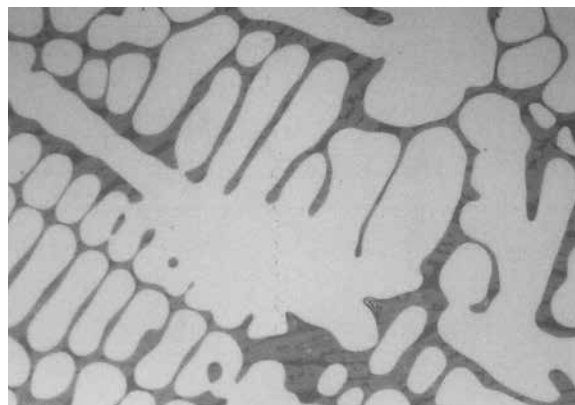
鉄滓頭微鏡組織写真 No.4-2 ×100



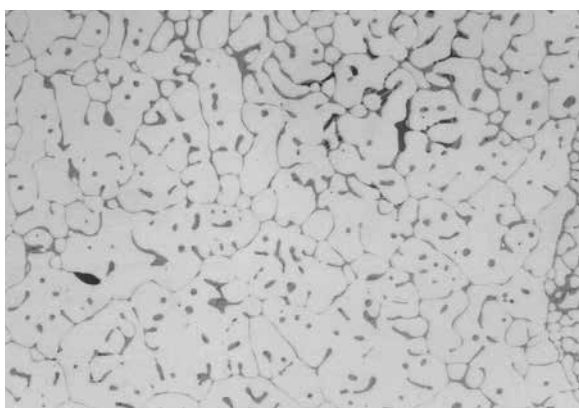
鉄滓頭微鏡組織写真 No.4-2 ×400



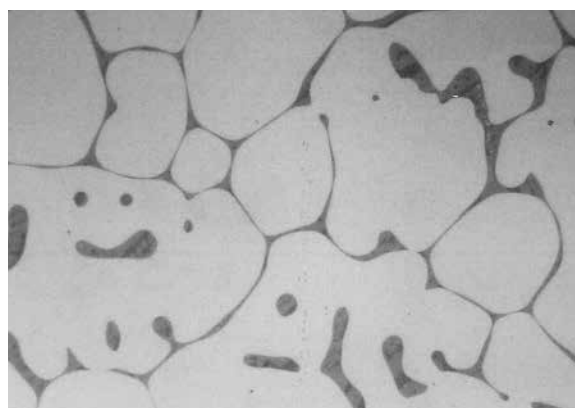
鉄滓頭微鏡組織写真 No.5-1 ×100



鉄滓頭微鏡組織写真 No.5-1 ×400



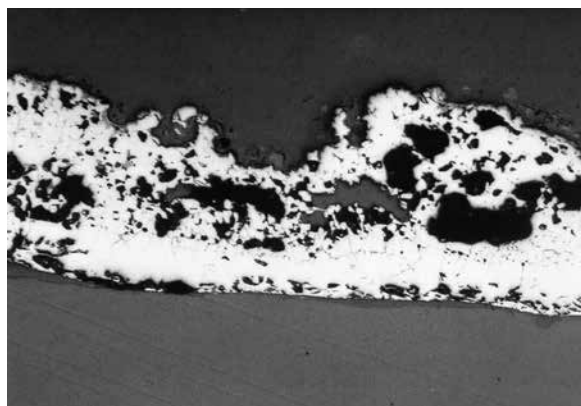
鉄滓頭微鏡組織写真 No.5-2 ×100



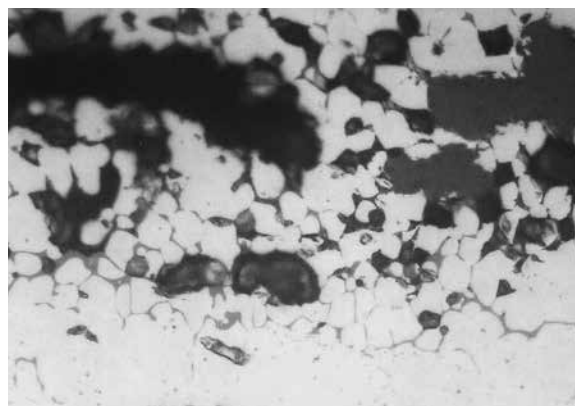
鉄滓頭微鏡組織写真 No.5-2 ×400



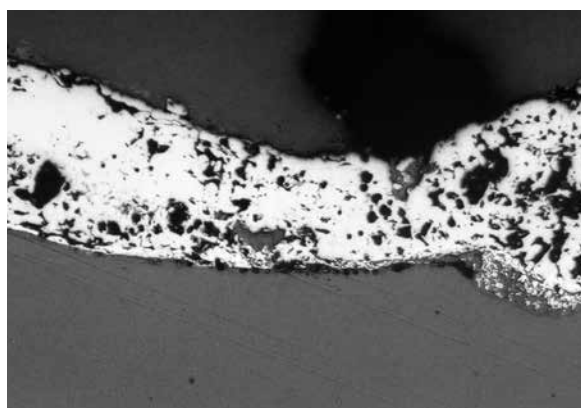
3 鉄滓類の分析 (2)



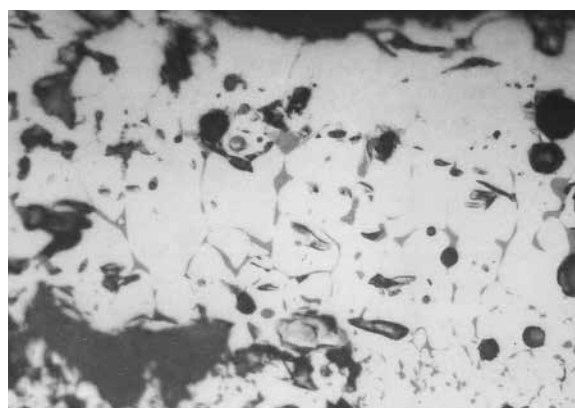
鉄滓頭微鏡組織写真 No.6-1 ×100



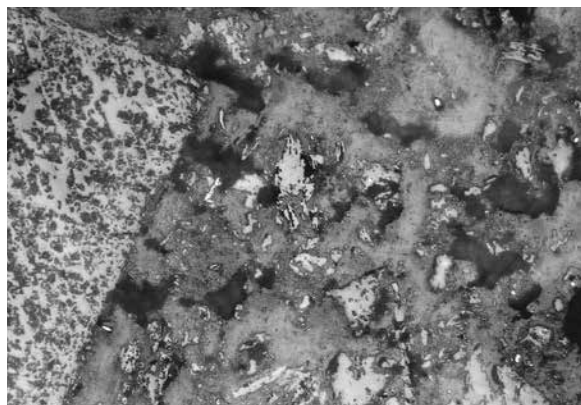
鉄滓頭微鏡組織写真 No.6-1 ×400



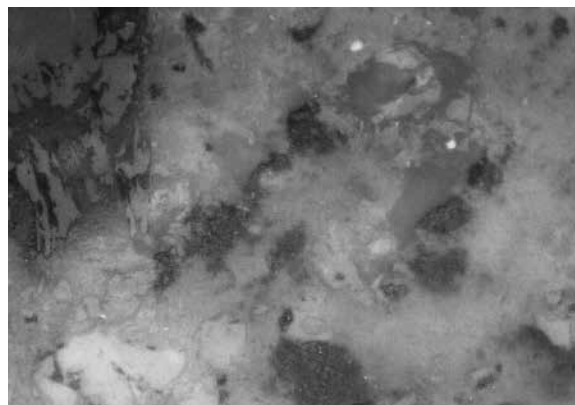
鉄滓頭微鏡組織写真 No.6-2 ×100



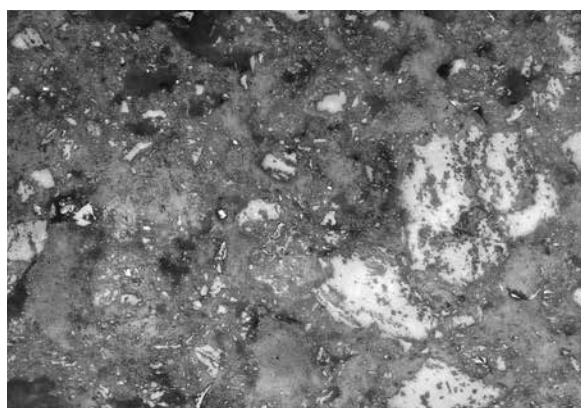
鉄滓頭微鏡組織写真 No.6-2 ×400



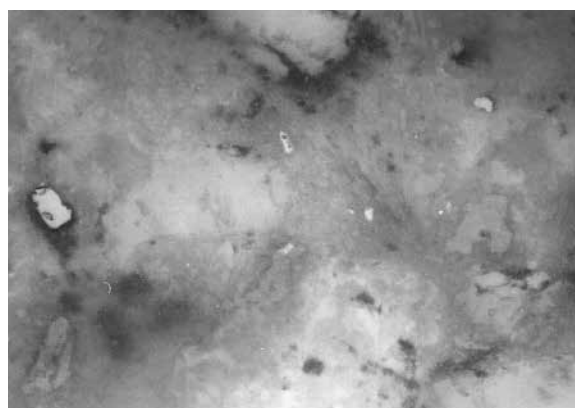
鉄滓頭微鏡組織写真 No.7-1 ×100



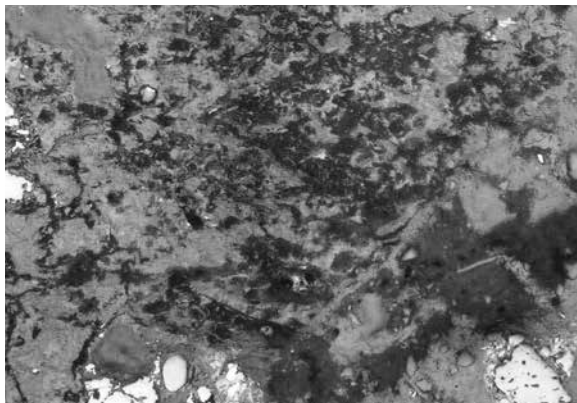
鉄滓頭微鏡組織写真 No.7-1 ×400



鉄滓頭微鏡組織写真 No.7-2 ×100



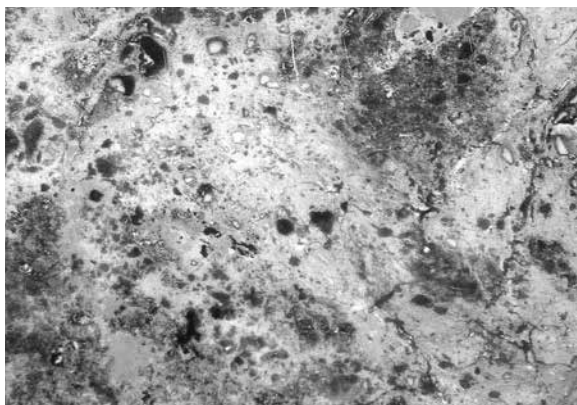
鉄滓頭微鏡組織写真 No.7-2 ×400



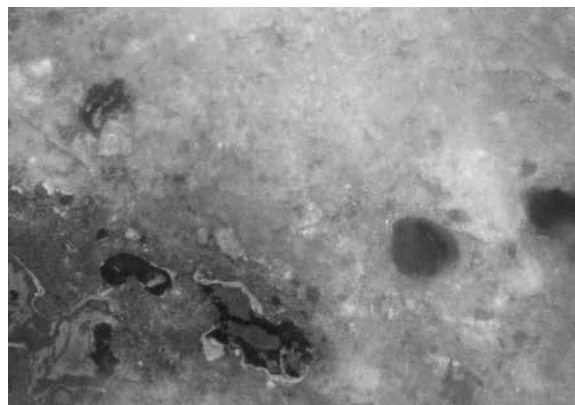
鉄滓頭微鏡組織写真 No.8-1 ×100



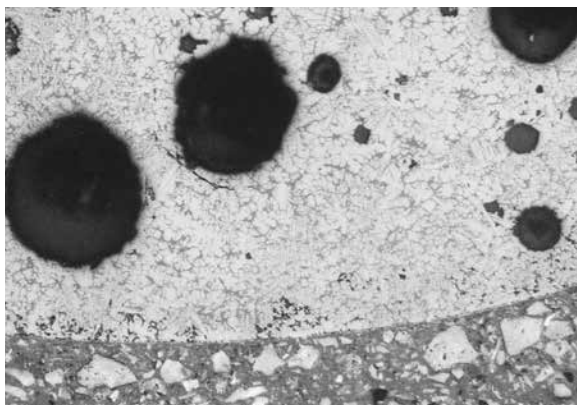
鉄滓頭微鏡組織写真 No.8-1 ×400



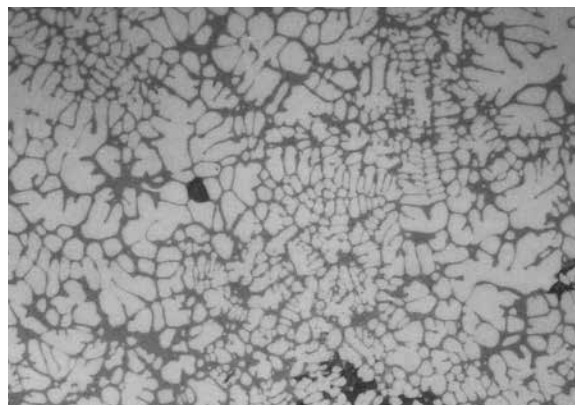
鉄滓頭微鏡組織写真 No.8-2 ×100



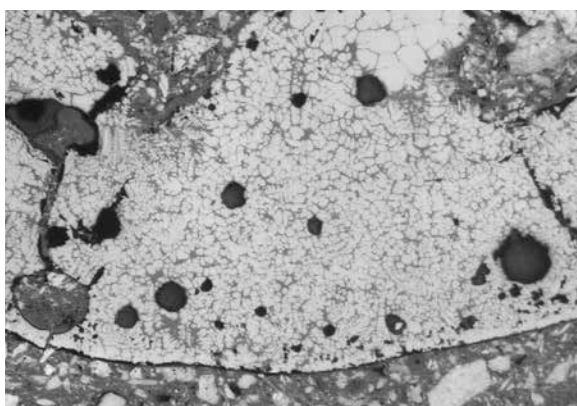
鉄滓頭微鏡組織写真 No.8-2 ×400



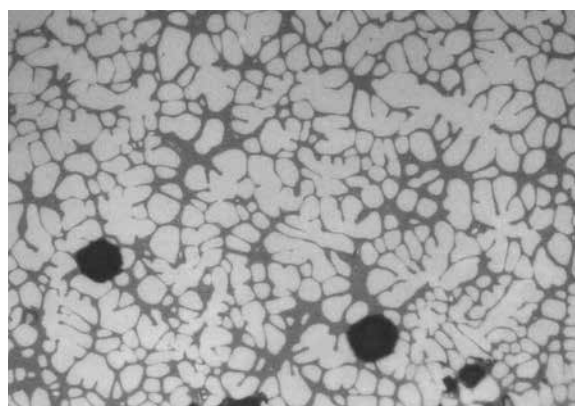
鉄滓頭微鏡組織写真 No.9-1 ×100



鉄滓頭微鏡組織写真 No.9-1 ×400

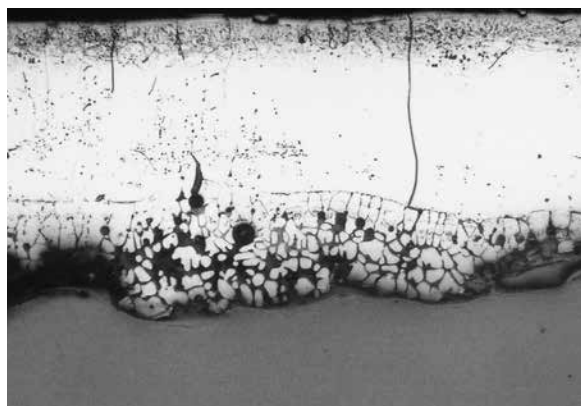


鉄滓頭微鏡組織写真 No.9-2 ×100

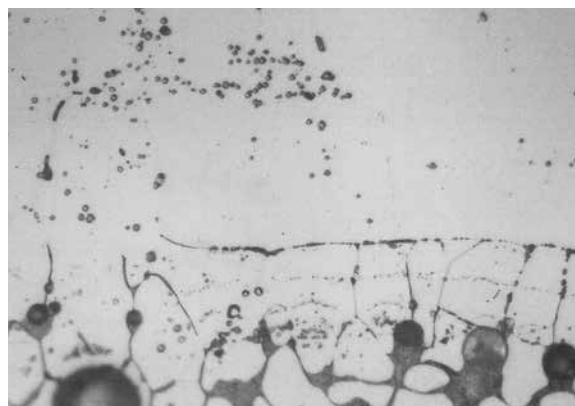


鉄滓頭微鏡組織写真 No.9-2 ×400

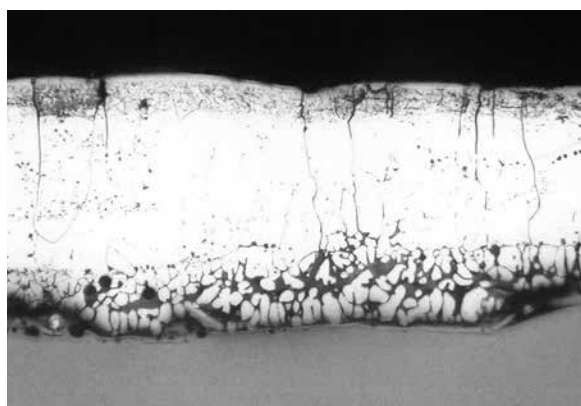
3 鉄滓類の分析 (2)



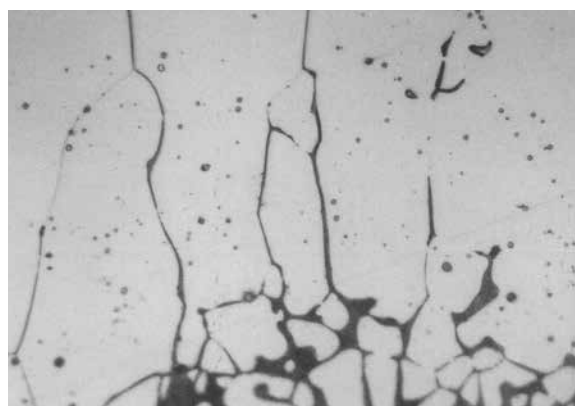
鉄滓顕微鏡組織写真 No.10-1-1 ×100



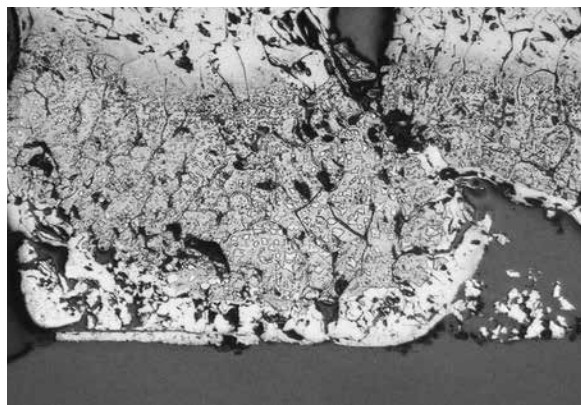
鉄滓顕微鏡組織写真 No.10-1-1 ×400



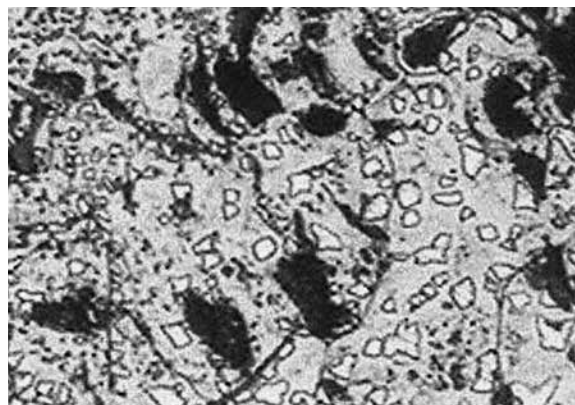
鉄滓顕微鏡組織写真 No.10-1-2 ×100



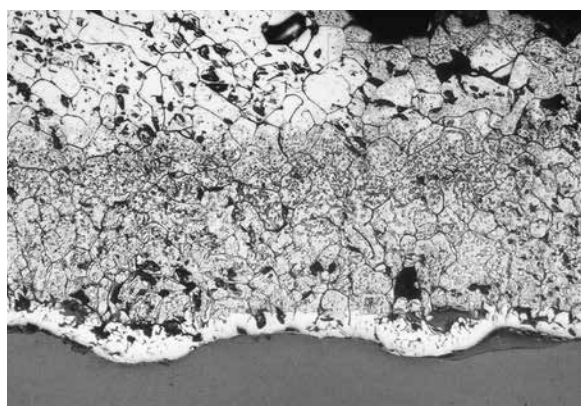
鉄滓顕微鏡組織写真 No.10-1-2 ×400



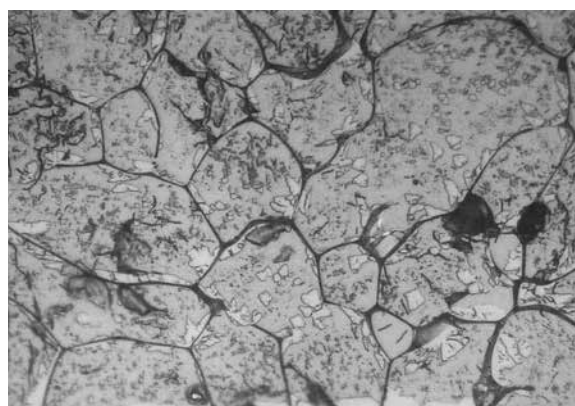
鉄滓顕微鏡組織写真 No.10-2-1 ×100



鉄滓顕微鏡組織写真 No.10-2-1 ×400

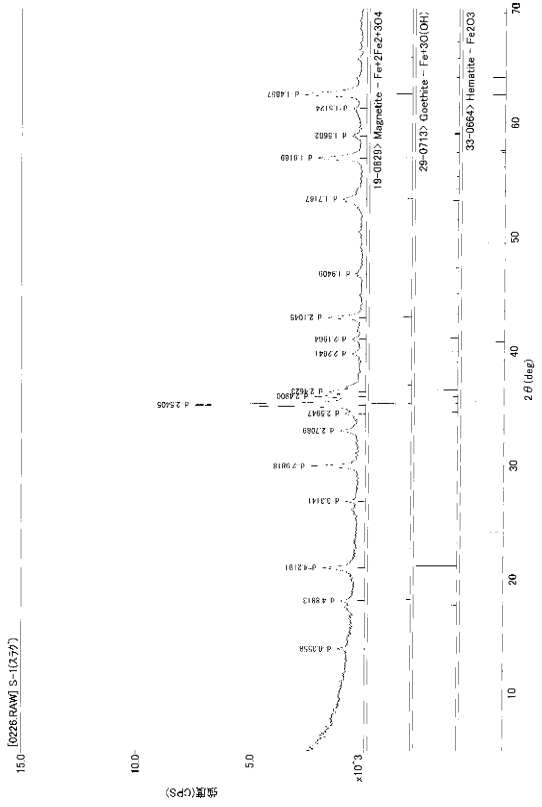


鉄滓顕微鏡組織写真 No.10-2-2 ×100

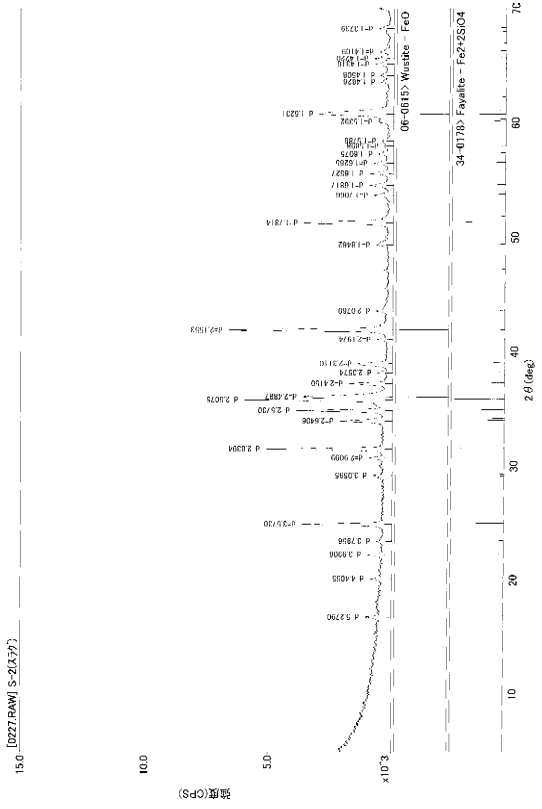


鉄滓顕微鏡組織写真 No.10-2-2 ×400

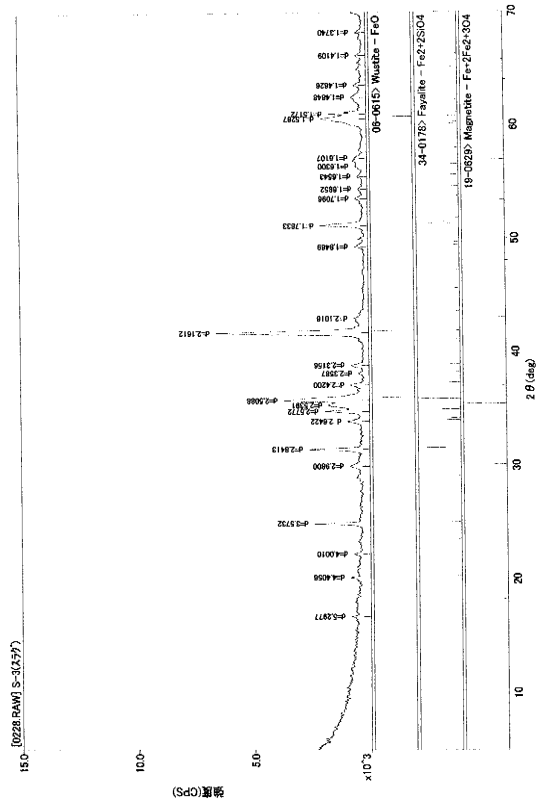
X線回折チャート No.1



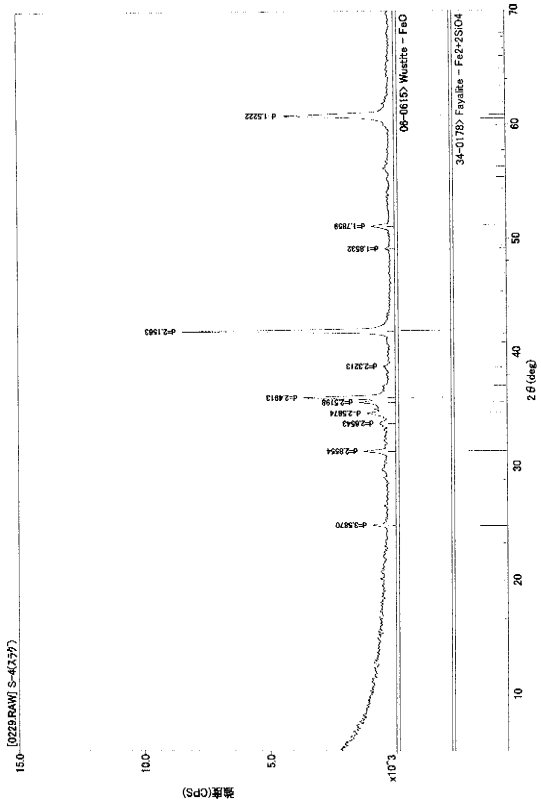
X線回折チャート No.2



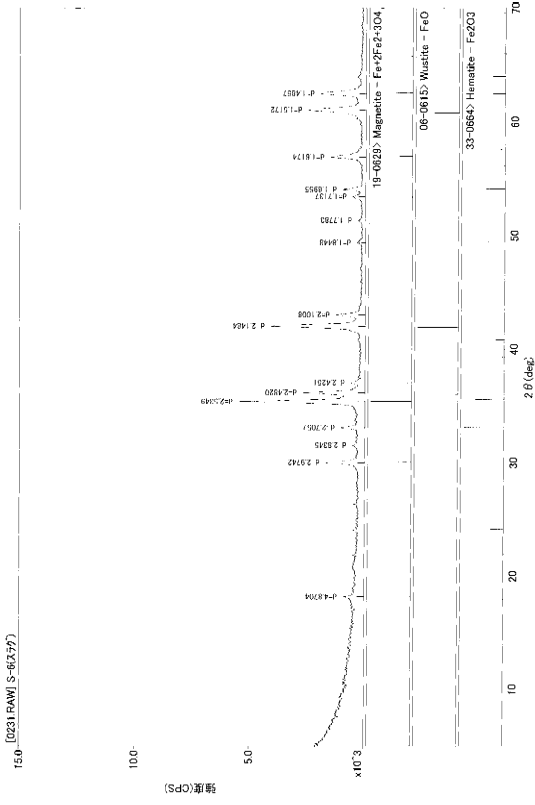
X線回折チャート No.3



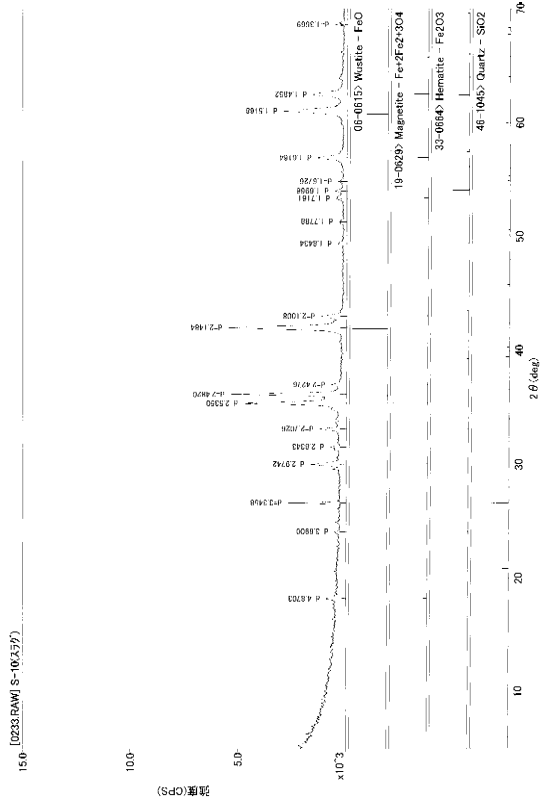
X線回折チャート No.4



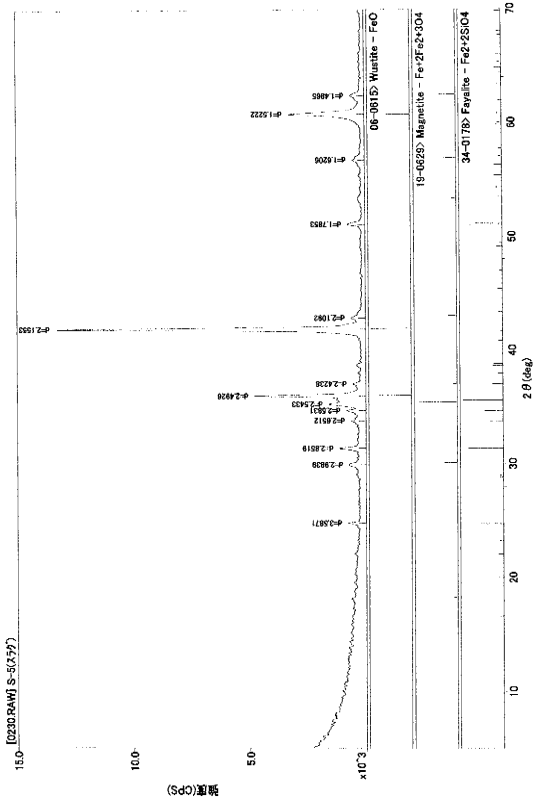
X線回折チャート No.6



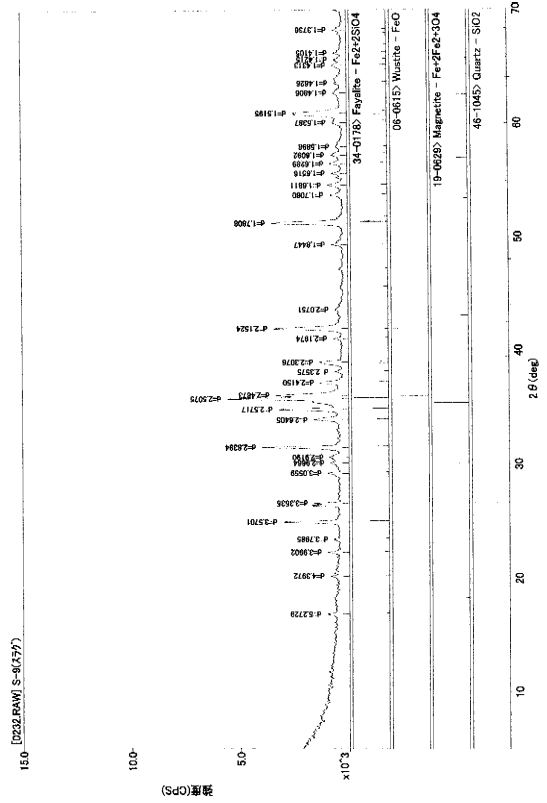
X線回折チャート No.10



X線回折チャート No.5



X線回折チャート No.9



## 4 動物遺存体の分析

パリノ・サーヴェイ株式会社

### (1) はじめに

沢田Ⅲ遺跡（岩手県下閉伊郡山田町山田に所在）は、山田湾に向かって南向きに開けている場所に位置し、現山田湾の汀線から0.8kmほど内陸に入った場所に位置し、古代の鉄生産集落と縄文時代中期集落の複合遺跡とされている。

今回、調査区内から出土した骨や貝類について、その組成を明らかにし、当時の動物利用に関する情報を得ることにした。分析調査は、2013年度に1回、2015年度に2回、合計3回に分けて行っている。本報告はその結果を取りまとめたものである。

### (2) 試料

試料の詳細を表1に示す。以下、分析年度ごとに試料の概要を示すが、いずれの年度も水洗選別およびクリーニングがなされた状態であり、乾燥重量が計測されている。

#### ・2013年度

分析試料は、S I 03、S KI02、S K 29、S K 53、S X06の5遺構、包含層のⅢC 9 j 貝層から合計46点が採取され、番号が付されている。

#### ・2015年度1回目

分析試料は、S I 29、S I 33、S I 40、S I 48、S I 58、S I 72、S I 74、S I 75、S I 84、S I 85、S I 87、S I 102、S I 103、S I 104、S I 105、S I 115、S K 93、S K 99、S K 147、S N 29、S X 08、S X 09、S X 10、S X 11の25遺構、包含層がⅢC 8 dのⅡ層、ⅣB 3 jのⅡ層、ⅣB 4 jのⅡ層、ⅣC 2 fのⅡ層、ⅣC 4 aのⅡ層、ⅣC 5 aのⅡ層、ⅣC 5 bのⅡ層、ⅣC 6 fのⅠ層、ⅣC 6 gのⅡ層、ⅣC 8 e、ⅣD 2 aのⅡ層の11地点から合計210点が採取されている。貝試料63点と骨試料147点である。

#### ・2015年度2回目

分析試料は、S X 07、S X 07?、東ベルト埋土6層、S I 93、S I 111石囲炉（石囲部）埋土の5地点から採取されている。この内、東ベルト埋土6層は、S X 11に含めて検討する。発掘調査担当者により、大きく骨370試料、貝663試料、ウニ243試料に分けられ、それぞれ番号が付されている。なお、貝試料は、巻貝318試料、二枚貝322試料、その他23試料に細分されている。

#### ・各遺構および包含層の年代観

試料が採取された遺構、包含層の時代性については以下の通りである。

縄文時代中期	S I 03、S I 40、S I 58、S I 72、S I 75、S I 84、S I 85、S I 102、S I 103、S I 104、S I 111、S I 115、S K 29、S K 53、S K 147、S N 29、S X 06、包含層ⅢC 9 j 貝層
古代	S I 29、S I 33、S I 48、S I 74、S I 87、S I 105、S K 93、S K 99
古代以降	S X 08、S X 09、S X 10、S X 11
縄文・古代	ⅢC 8 d Ⅱ層、ⅣB 3 j Ⅱ層、ⅣB 4 j Ⅱ層、ⅣC 2 f Ⅱ層、ⅣC 4 a Ⅱ層、ⅣC 5 a Ⅱ層、ⅣC 5 b Ⅱ層、ⅣC 6 f Ⅰ層、ⅣC 6 g Ⅱ層、ⅣC 8 e、ⅣD 2 a Ⅱ層
中世以降	S K I 02、S X 07、S X 07?

### (3) 分析方法

試料を肉眼および実体顕微鏡下で観察し、その形態的特徴から種類および部位を同定する。なお、

計数にあたっては、腹足綱は殻口の残るものを、二枚貝綱は殻頂部が残るものを計数する。また、二枚貝綱に完形のものを抽出し、殻長、殻高を計数する。

#### (4) 結 果

確認された種類は、ウニ綱1種類（ウニ類）、多毛綱1種類（ゴカイ類）、腹足綱37種類（ユキノカサガイ、ヒメコザラ（ヒメコザラ型）、ヒメコザラ（ツボミガイ型）、アオガイ、アワビ類、クボガイ、コシダカガンガラ、イシダタミ、キサゴ、イボキサゴ、サンショウガイ、エゾサンショウ、スガイ、アマガイ？、ウミニナ、ホソウミニナ、タマキビ、クロタマキビ、カワザンショウガイ、ムカデガイ類、ツメタガイ、エゾタマガイ、ヒレガイ、オウウヨウラク？、エゾヨウラク、チヂミボラ、エゾチヂミボラ、レイシガイ、アカニシ、アラムシロ、ヒメムシロ、クロスジムシロ、キセルガイ類、カラマツガイ？、パツラマイマイ、コハクガイ科、ベッコウマイマイ類）、二枚貝綱31種類（コベルトフネガイ、ベンケイガイ、タマキガイ、イガイ、ムラサキインコ、アカザラガイ、ホタテガイ、イタヤガイ類、マガキ、イワガキ、ベッコウガキ？、ウメノハナガイ、チリハギガイ、トリガイ、シオフキ？、ミルカイ、クチバガイ、ヒメシラトリ、シラトリモドキ、ニッコウガイ科、イソシジミ類、マテガイ科、エゾヌノメアサリ、ウネナシトマヤ、カガミガイ類、アサリ、マツカゼガイ、ウチムラサキ、コタマガイ、チヂミイワホリガイ、オオノガイ）、顎脚綱2種類（アカフジツボ、チシマフジツボ）、軟甲綱1種類（カニ類）、軟骨魚綱1種類（トビエイ類）、硬骨魚綱27種類（アナゴ類、ウルメイワシ亜科、ニシン亜科、カタクチイワシ科、イワナ属、サケ科、タラ科、ボラ、フサカサゴ科、ホウボウ科、コチ科、アイナメ属、スズキ属、ハタ科、ブリ属、アジ科、クロダイ属、マダイ亜科、ウミタナゴ科、ハゼ科、サバ属、ソウダガツオ属、カツオ属、マグロ類、ヒラメ、カレイ科、フグ科）、両生綱1種類（カエル類）、爬虫綱1種類（ヘビ類）、鳥綱2種類（カラス類、キジ）、獣類14種類（ヒミズ、ノウサギ、ネズミ亜科、ハタネズミ亜科、イルカ類、ネコ、イタチ、イヌ、タヌキ、アシカ類、ウマ、イノシシ属、ニホンジカ、ウシ）である（表2）。

結果に関しては、複数点の試料が採取されている遺構があるため、ここでは遺構ごとにまとめて表3～7に示す。なお、S X07の貝類に関して数量が多い場合は重量を計測し、そこから推定個数を求めた。また、貝類の計測結果を表8～10、イヌの計測結果を表11、その他哺乳類の計測結果を表12に示す。なお、哺乳綱の計測方法は、イヌについては斉藤（1963）に、他の種類についてはDrieach（1976）に従う。以下、時代別、遺構別に記載する。

〈縄文時代中期〉

・ S I 03

貝類では、二枚貝綱が中心となる。種類別にみるとアサリが最も多く検出され、次いでウミニナ、ヒメシラトリが多く検出されている。この他、ウニ類、ヒメコザラ、スガイ、ホソウミニナ、ムラサキインコ、シラトリモドキ、イソシジミ類、オオノガイ、アカフジツボ、チシマフジツボなどが確認される。ただし、PP3南半埋土では、マガキが多い傾向にある。

骨類では、カニ類の指節、フサカサゴ類の左歯骨、アイナメ属？の左前上顎骨、スズキ属の耳石・尾椎、スズキ属？の尾椎、カレイ類の尾椎、魚類の前上顎骨・前上顎骨／歯骨・腹椎・尾椎・椎骨・鱗棘等、獣類の肋骨・四肢骨などがみられる。なお、検出される骨貝類には、被熱の痕跡が認められるものが含まれる。

Aブロックではアサリが約80%、ウミニナ、ヒメシラトリが7%程度検出される。

Bブロックは、ウミニナの算出率が40%と高く、またわずかであるが、ヒメコザラ（ツボミガイ

型)の算出率も多い。

- ・ S I 40  
獣類の上顎骨／下顎骨・頭蓋骨・四肢骨・肋骨／四肢骨・部位不明破片である。いずれも焼けている。
- ・ S I 58  
イノシシ属中節骨の可能性のある近位端片である。焼けている。
- ・ S I 72  
獣類の部位不明破片である。焼けている。
- ・ S I 75  
獣類の部位不明破片である。肩甲骨の可能性もあるが詳細不明である。焼けている。
- ・ S I 84  
獣類の部位不明破片である。
- ・ S I 85  
獣類の部位不明破片である。焼けている。
- ・ S I 93  
キサゴ1点が確認される。
- ・ S I 102  
獣類の部位不明破片である。焼けている。
- ・ S I 103  
獣類の肋骨と部位不明破片が確認される。いずれの骨片も焼けている。
- ・ S I 104  
獣類の部位不明破片である。焼けている。
- ・ S I 111石囲炉石囲部埋土  
魚類の鱗棘等1点、種類部位不明破片が確認される。魚類鱗棘等は焼けている。
- ・ S I 115  
獣類の部位不明破片である。焼けている。
- ・ S K 29  
貝類では、二枚貝綱が多産する。種類別に見ると、アサリおよびヒメシラトリが多産し、ウミニナ、オオノガイを伴う。この他、ウニ類、アカフジツボ、チシマフジツボが検出される。  
骨類では、カニ類の指節、サメ・エイ類の椎骨、アナゴ類の第1椎骨・右角骨・腹椎・尾椎、ニシン亜科の第2椎骨、ニシン科の腹椎・椎骨、ボラの左方骨、フサカサゴ類の右方骨・右舌顎骨、スズキ属の第1椎骨・腹椎・尾椎、スズキ属?の右後側頭骨、ハタ類?の右主鰓蓋骨、アジ科の右歯骨・右角骨、タイ科の尾椎、サバ類の腹椎・尾椎、サバ類?の尾椎、魚類の前上顎骨・歯骨・副蝶形骨・咽頭骨?・舌顎骨・前鰓蓋骨・主鰓蓋骨・腹椎・尾椎・椎骨・鱗棘等・鱗、カエル類の左右橈尺骨、鳥綱の頸椎、イヌの左右上顎骨・上顎骨・左上顎第2後臼歯・左右下顎骨・左下顎第2前臼歯・歯牙・頭蓋骨・第1頸椎・第2頸椎・頸椎・腰椎・椎骨・仙骨・尾椎・肋骨・左右上腕骨・左右橈骨・左右尺骨・左第3中手骨・左第4中手骨・左大腿骨・左脛骨、獣類の歯牙・四肢骨・中節骨・部位不明破片などがみられる。なお、検出される骨貝類には、被熱の痕跡が認められるものが含まれる。  
a ブロックとb ブロックの貝の組成は類似するが、b ブロックの総量が多い。  
b ブロックは魚骨類が多く出土し、イヌ、獣類の骨がまとまって出土している。
- ・ S K 53



腹足綱の破片1点、アサリの左右殻片、マルスダレガイ科の左殻片、オオノガイの左殻2点・右殻3点、二枚貝綱の破片が検出される。

・ S K147

ニホンジカの角である。カットマークがみられ、切断されている。

・ S N29

獣類の頭蓋骨・四肢骨・部位不明破片が確認される。いずれも焼けている。

・ S X06

全体的にみると腹足綱が大半を占め、キサゴ・キサゴ類が多産する。種類構成も単調であり、エゾタマガイ・シラトリモドキ・マテガイ類・アサリがわずかに検出される程度である。

その他の種類では、ニシン亜科の第1椎骨、魚類の部位不明破片が見られる程度である。

・ 包含層ⅢC9j貝層

全体的にみると腹足綱が大半を占め、キサゴ・キサゴ類である。種類構成が単調で、種類数・検出個数が極端に少ない。その他の種類では、魚類の尾部棒状骨・部位不明破片がわずかにみられる。なお、被熱の痕跡が認められる腹足綱の破片が検出される。

〈古代〉

・ S I29

ゴカイ類、ウミノナ類、アッキガイ科、イガイ左右殻、獣類の四肢骨片などが確認される。

・ S I33

イガイ左殻、獣類の四肢骨・部位不明破片などが確認される。獣類の四肢骨・部位不明破片は、焼けている。

・ S I48

貝類では、スガイ、アッキガイ科、腹足綱、イガイ左右殻、ニッコウガイ科左右殻、アサリ左右殻、マルスダレガイ科左右殻、オオノガイ左右殻、二枚貝綱が確認される。

骨類では、カニ類の可動指、ボラの腹椎、魚類の腹椎・鱗棘等・鱗・部位不明破片、鳥綱の左上腕骨、アシカ類の右上腕骨・左橈骨、海獣類?の部位不明破片、ニホンジカの角・左上顎第1後臼歯・右下顎骨・右下顎後臼歯・椎骨・左上腕骨・中手骨・左右大腿骨・左右脛骨・左右距骨・左踵骨・左右中心+第4足根骨・左右中足骨・中手骨/中足骨・末節骨、大型獣類の椎骨・四肢骨、獣類の歯牙(歯根部)・椎骨・肋骨・胸骨・大腿骨・四肢骨・部位不明破片などが確認される。

カニ類の可動指、ボラの腹椎、魚類の鱗棘等、ニホンジカの右中心+第4足根骨、および獣類の肋骨・四肢骨・部位不明破片の一部には、焼けている骨が含まれる。ニホンジカの中足骨は、カットマークがみられ、半裁されるものが含まれる。この内、骨試料53と骨試料54の左中足骨は同一骨である。他、ニホンジカの右下顎骨は、第3・4前臼歯が植立する。さらに、ニホンジカでは、上腕骨・大腿骨は骨端が未化骨で外れており、骨試料39と骨試料45の右大腿骨は同一骨である。

・ S I74

1点はニホンジカの角先端部で、焼けている。もう1点は、ウマの左上顎第1後臼歯の破片である。

・ S I87

ボラ尾椎、イノシシ属の基節骨・中節骨・2/5中節骨・末節骨・基節骨/中節骨・中手骨/中足骨、イノシシ属?の末節骨・基節骨/中節骨、ニホンジカの中手骨/中足骨などが確認される。いずれも焼けている。

イノシシ属の基節骨・中節骨・2/5中節骨・中手骨/中足骨、イノシシ属?の中節骨/末節骨、

ニホンジカの中手骨／中足骨は、骨端が未化骨である。

・ S I 105

貝類では、腹足綱の破片、イガイ左右殻、イガイ科左殻、ニッコウガイ科左右殻、アサリ左殻、マルスダレガイ科右殻、オオノガイ左右殻が確認される。

骨類では、魚類の鰭棘等・部位不明破片、ニホンジカの角・右橈骨・右第2 + 3手根骨・左右尺側手根骨・左寛骨・寛骨・中足骨・中手骨／中足骨・基節骨、ニホンジカ？の上腕骨？・橈骨？・大腿骨、大型獣類の末節骨、獣類の頭蓋骨・四肢骨・部位不明破片などが確認される。これらの中で、獣類の頭蓋骨・部位不明破片には焼けた骨が含まれる。なお、ニホンジカの基節骨は、ほぼ完存する骨が2点みられるが、いずれも近位端が未化骨で外れる。

・ S K 99

貝類では、ツメタガイ、イガイ左右殻、ニッコウガイ科左右殻、イソシジミ類左殻、マルスダレガイ科右殻、アサリ左殻、オオノガイ左右殻、二枚貝綱が確認される。

骨類では、フサカサゴ類右方骨・左後側頭骨、タイ科？の尾椎、魚類の左角舌骨・下咽頭骨・椎骨・鰭棘等・鱗・部位不明破片、獣類の四肢骨・部位不明破片などが確認される。

〈古代以降〉

・ S X 08

貝類では、ウニ類の殻・棘、腹足綱、イガイ科左右殻、ホタテガイ左殻、ホタテガイ？左殻、イタヤガイ類破片、イソシジミ類左右殻、マルスダレガイ科右殻、オオノガイ左右殻、二枚貝綱、チシマフジツボが確認される。

骨類では、サケ科の椎骨、フサカサゴ類の左右歯骨、フサカサゴ類？の第2椎骨・尾椎、サバ属の尾椎、マグロ類の腹椎・尾椎、魚類の尾椎・椎骨・鰭棘等・部位不明破片、ニホンジカの中手骨／中足骨、獣類の四肢骨・部位不明破片などが確認される。なお、フサカサゴ類？の第2椎骨と魚類の尾椎は、焼けている。

・ S X 09

貝類では、ウニ類の殻・棘、キサゴ、腹足綱、イガイ右殻、イソシジミ類左右殻、アサリ左右殻、マルスダレガイ科左右殻、二枚貝綱、チシマフジツボが確認される。

骨類では、魚類の鰭棘等、小型獣類の腰椎、獣類の椎骨などが確認される。なお、獣類の椎骨は、カットマークがみられ、切断されている。

・ S X 10

貝類では、ウニ類の殻・棘、コシダカガンガラ、クボガイ／コシダカガンガラ類、キサゴ、キサゴ類、スガイ、アマガイ？、ウミニナ、ウミニナ類？、タマキビ、クロタマキビ、ツメタガイ、エゾタマガイ？、タマガイ科、ヒレガイ？、ヒレガイ類、チヂミボラ、レイシガイ、レイシガイ類、レイシガイ類？、アッキガイ科、アラムシロ、ヒメムシロ、パツラマイマイ、腹足綱、ベンケイガイ、タマキガイ、タマキガイ科、イガイ、ムラサキインコ、イガイ科、ホタテガイ、ホタテガイ？、イタボガキ科、ミルクイ、ミルクイ？、バカガイ科、ヒメシラトリ、シラトリモドキ、ニッコウガイ科、イソシジミ類、マテガイ類、エゾヌノメアサリ、エゾヌノメアサリ？、カガミガイ類、カガミガイ類？、アサリ、ウチムラサキ、ウチムラサキ？、マルスダレガイ科、オオノガイ、二枚貝綱、チシマフジツボ、アカフジツボが確認される。

骨類では、トビエイ類の歯板、エイ・サメ類の椎骨、フサカサゴ類左右前上顎骨・左右主上顎骨・左歯骨・左角骨・左方骨・右上舌骨・左右舌顎骨・左右前鰓蓋骨・左右主鰓蓋骨・左擬鎖骨・左右後

側頭骨・左上擬鎖骨・腹椎・尾椎、フサカサゴ類?の鋤骨・左前上顎骨・右角骨・左上舌骨・右方骨・右舌顎骨・尾椎、スズキ属?の尾椎、マダイ亜科の右歯骨・上後頭骨、タイ科の尾椎、サバ属の左主上顎骨、サバ属?の左前上顎骨、カツオの尾椎・尾鰭椎前椎体、マグロ類の左方骨・右?主鰓蓋骨・腹椎・尾椎・椎骨・尾鰭椎前椎体・終尾椎、マグロ類?の椎骨・鰭棘等、魚類の左右前上顎骨・前上顎骨/歯骨・右口蓋骨・前鰓蓋骨?・上舌骨・副蝶形骨・咽頭骨・下尾骨・肩甲骨・尾舌骨・腹椎・尾椎・椎骨・鰭棘等・鱗・部位不明破片、ヘビ類の椎骨、鳥綱の四肢骨の可能性のある破片、モグラ科の左大腿骨(遠位端未化骨外れ)、ネコの左上顎犬歯・左下顎骨(犬歯~第3前臼歯が植立)・右下顎骨(第3前臼歯~第1後臼歯が植立)、アシカ類の左肩甲骨・基節骨、ウマの右上顎第1後臼歯・右上顎第2後臼歯・右中足骨、イノシシ属の左上顎犬歯・左下顎骨(第1門歯・第1前臼歯が植立)、イノシシ属?の歯牙・右踵骨、ニホンジカの角・右上顎骨(第3前臼歯・第4前臼歯が植立、第4前臼歯・第1後臼歯が植立)・左上顎第2乳歯・左上顎第3乳歯・左上顎第2前臼歯・左右上顎第3前臼歯・右上顎第1後臼歯・右上顎第2後臼歯・大腿骨・中足骨、ウシの左上顎第2後臼歯、ウマ/ウシの腰椎、大型獣類の頸椎・左上腕骨、獣類の頭蓋骨・椎骨・肋骨・四肢骨・部位不明破片などが確認される。

これらの中には、焼けたもの、半裁されているもの、解体に伴うカットマークがみられるもの、切断されるものが含まれる。また、マグロ類の尾鰭椎前椎体は、3点検出されるが、内2個が連結した状態である。他、ニホンジカの臼歯は歯根が形成途中である。

#### ・ S X11

貝類では、ウニ類の殻・棘、キサゴ、キサゴ類、ウミニナ類?、ツメタガイ、タマガイ科、ヒレガイ、チヂミボラ、腹足綱、イガイ、イガイ科、アカザラガイ、ホタテガイ、ホタテガイ?、イタボガキ科、ザルガイ科、シオフキ?、ミルクイ?、バカガイ科、シラトリモドキ、ニッコウガイ科、イソシジミ類、マテガイ類、エゾヌノメアサリ、アサリ、ウチムラサキ、マルスダレガイ科、オオノガイ、二枚貝綱、チシマフジツボ、アカフジツボが確認される。

骨類では、ニシン亜科の左右歯骨・左舌顎骨、ニシン科の左前鰓蓋骨・左右主鰓蓋骨・腹椎、サケ科の椎骨、フサカサゴ類の尾椎、フサカサゴ類?の右前上顎骨・尾椎、アジ類の左方骨、サバ属の右前上顎骨・左右主上顎骨・右歯骨・左右方骨・尾椎、サバ属?の尾椎、カツオの尾椎、マグロ類の左右歯骨・左角骨・前上顎骨/歯骨・右方骨・肩甲骨・腹椎・尾椎・椎骨・尾鰭椎前椎体・終尾椎、マグロ類?の前上顎骨、魚類の左前上顎骨・前上顎骨・右角骨・基底後頭骨・主鰓蓋骨・腹椎・尾椎・椎骨・鰭棘等・鱗・部位不明破片、カラス類の左右鳥口骨・右肩甲骨・右大腿骨・左右脛足根骨・左右足根中足骨、鳥綱の左右上腕骨・胸骨・椎骨・中節骨・末節骨・四肢骨・部位不明破片、モグラ科の左下顎骨、ハタネズミ亜科の歯牙、ネズミ科の尾椎、ニホンジカの角、ウマの左第3中手骨・左第4中手骨、小型獣類の腰椎、大型獣類の四肢骨、小型獣類の左寛骨、獣類の肋骨・四肢骨・部位不明破片などが検出される。

ニホンジカの角は、いずれもカットマークがみられ、切断され、表面が摩滅する。この他に検出される骨の中には、焼けたもの、半裁されているもの、解体に伴うカットマークがみられるもの、切断されるものが含まれる。なお、マグロ類の尾鰭椎前椎体は、2個が連結したものが含まれる。

〈縄文時代中期・古代〉

#### ・ III C 8 d II層

マガキの可能性のある左右殻などの破片である。

#### ・ IV B 3 j II層

大型獣類の左上腕骨の遠位端である。カットマークがみられ、切断される。

・IV B 4 j II層

キサゴ類、タマガイ科、レイシガイ類?、イガイ左殻、イガイ科、イタボガキ科、イソシジミ類左右殻、アサリ左右殻、マルスダレガイ科左右殻、オオノガイ左右殻、アカフジツボ、フグ科の右前上顎骨、魚類の椎骨、ニホンジカの左上顎第2後臼歯・右距骨、ニホンジカの可能性がある右距骨などが確認される。ニホンジカ右距骨は、ほぼ完存し、カットマークがみられる。また、左上顎第2後臼歯は、歯根が形成途中である。

・IV C 2 f II層

ニホンジカの左大腿骨・左距骨などが確認される。

・IV C 4 a II層

ウマの上顎歯牙片である。

・IV C 5 a II層

ウマの左下顎第2後臼歯である。一部破損する程度であり、臼歯高38.16mmを測る。

・IV C 5 b II層

獣類の部位不明破片である。

・IV C 6 f I層

ウマの左下顎第2後臼歯、および獣類の部位不明破片などが確認される。ウマの左下顎第2後臼歯は、ほぼ完存し、臼歯高65.06mmを測る。

・IV C 6 g II層

ウマの歯牙破片である。

・IV C 8 e

イヌの頭蓋・左鱗状骨・左上顎骨・左右下顎骨・第1頸椎・第2頸椎・左右上腕骨・左右橈骨・左右尺骨・左第2中手骨・左第3中手骨・左右脛骨・左第2中足骨・左右第3中足骨・左第4中足骨などが確認される。歯牙は、上顎が左第1門歯～犬歯・左第2・3前臼歯と右第1門歯～第3後臼歯、下顎が左第2門歯～第1前臼歯・第3前臼歯～第3後臼歯と右第1門歯～第3後臼歯が植立する。なお、左下顎第2前臼歯は、歯槽部が吸収する。

・IV D 2 a II層

アワビ類の破片、魚類の部位不明破片などが確認される。

〈中世以降〉

・S K I 02

検出数量は少ない。Aブロックでは二枚貝綱が中心となり、イソシジミ類が多く、ついでアサリが検出され、オオノガイなどを伴う。腹足綱では、キサゴ・キサゴ類などが検出される。一方、bブロック、埋土、P2埋土では腹足綱が多産し、キサゴ・キサゴ類が中心となり、ついで二枚貝綱のアサリが検出され、イソシジミ類・オオノガイを伴う。

その他の種類では、ウニ類、チシマフジツボ、ニシン科尾椎、魚類部位不明破片、イノシシ右下顎骨、ニホンジカ左下顎骨、獣類の肋骨・四肢骨・部位不明破片がみられる。

・S X 07

ウニ類は、殻、多孔板、中間骨、棘がみられる。殻と棘の検出が特徴的で、特にベルトD-D'およびS X 07-3で多産する。

ゴカイ類は殻の破片が、ベルトC-C'の1 a層、S X 07-2でわずかにみられる。

貝類では、腹足綱のヒメコザラ（ヒメコザラ型）、アオガイ、コシダカガンガラ、クボガイ類、キサゴ、キサゴ類、エゾサンショウ、ウミニナ、ウミニナ類、タマキビ、クロタマキビ、カワザンショウガイ、ツメタガイ、エゾタマガイ、タマガイ科、ヒレガイ、エゾヨウラク、チヂミボラ、エゾチヂミボラ、レイシガイ、アラムシロ、ヒメムシロ、クロスジムシロ、ムシロガイ類、アッキガイ科、カラマツガイ？、パツラマイマイ、コハクガイ科、マイマイ類、二枚貝綱のイガイ、ホタテガイ、マガキ、イワガキ、イタボガキ科、ベッコウガキ？、ザルガイ科、ミルクイ、バカガイ科、クチバガイ、シラトリモドキ、ニッコウガイ科、イソシジミ類、マテガイ科、カガミガイ類、アサリ、ウチムラサキ、マルスダレガイ科、オオノガイ、コタマガイがみられる。貝類ではキサゴ・キサゴ類・シラトリモドキ・イソシジミ類・アサリ・オオノガイが多産する。

フジツボ類ではアカフジツボ・チシマフジツボがみられる。アカフジツボは完形のものでSK07-2で1点みられる。チシマフジツボはいずれも破片であるが、中には焼けているものがみられる。軟甲綱ではカニ類指節骨がみられ、焼けているものが含まれる。

魚類では、サメ・エイ類、アナゴ類、ウルメイワシ亜科、ニシン亜科、カタクチイワシ科、サケ属、イワナ属、サケ科、タラ科、フサカサゴ科、ホウボウ科、コチ科、アイナメ属、スズキ属、ハタ科、ブリ属、クロダイ属、マダイ亜科、タイ科、ウミタナゴ科、ハゼ科、サバ属、ソウダガツオ属、カツオ属、マグロ類、マグロ類／カツオ属、ヒラメ、カレイ科、フグ科などが確認される。これらの中には焼けたものが含まれる。また、マグロ類の尾椎・尾鰭椎前椎体、マグロ類と思われる大型魚類の鰭棘、部位不明破片などには、解体に伴うカットマークがみられるものが存在し、さらにタイ科の可能性のある右前上顎骨・マグロ類の右角骨・魚類の鰭棘等と部位不明破片などには切断されたものがある。

両生類ではカエル類（椎骨・尾骨・右肩甲骨・左右上腕骨・左橈骨+尺骨・右腸骨・脛骨+腓骨）、爬虫類のヘビ類（椎骨）が検出される。

鳥類では、カラス類（右鳥口骨・左右大腿骨）、カラス類の可能性のある右脛足根骨、キジ類の左脛足根骨、鳥類の椎骨・複合仙骨・尾椎・上腕骨・左尺骨・左の可能性のある脛足根骨・右脛足根骨・足根中足骨・四肢骨・基節骨・末節骨が検出される。また鳥類の可能性のある四肢骨片、鳥類ないし小型獣類の可能性のある中節骨などが検出される。これらの中には、焼けたものが含まれる。魚類の中では、フサカサゴ科、スズキ属、ウミタナゴ科、マグロ類などが特徴的に検出される。

哺乳類では、ヒミズ（右上腕骨）、ヒミズの可能性のある左脛骨、モグラ類（左下顎骨・左踵骨）、ノウサギ（下顎歯）、ネズミ亜科（左右下顎骨・歯牙）、ハタネズミ亜科（左下顎骨）、ネズミ類（右上顎第1門歯・左右下顎第1門歯・尾椎・右肩甲骨・左上腕骨・左橈骨・右尺骨・左寛骨・左右大腿骨・左右脛骨）、イルカ類（椎骨）、イタチの可能性のある左距骨、タヌキ（右上顎犬歯・右下顎第1後臼歯）、タヌキの可能性のある右第4中足骨、ネコ目歯牙片、ウマ（上顎歯牙・左下顎第3門歯・歯牙・左橈骨+尺骨・基節骨・末節骨）、イノシシ属（頭蓋骨左頸静脈突起・犬歯・右頬骨・左肩甲骨・右大腿骨・左右脛骨・右腓骨・右踵骨・右距骨）、イノシシ属の可能性のある右脛骨、ニホンジカ（角・角（加工品）・左上顎骨・左右上顎第2後臼歯・第2頸椎・腰椎・左肩甲骨・右の可能性のある肩甲骨・右上腕骨・右橈骨・左第2+3手根骨・左右寛骨・右大腿骨・左脛骨・右中足骨・中足骨・中手骨／中足骨・右果骨・左踵骨・種子骨・基節骨・末節骨・第2／5末節骨）、ニホンジカの可能性のある歯牙・右？肩甲骨・右寛骨、小型獣類の頭蓋骨・左右上顎骨・胸椎・椎骨・四肢骨・距骨の可能性のある破片・基節骨・基節骨／中節骨、小型獣類の中手骨／中足骨の可能性のある破片、大型獣類の上顎骨／下顎骨・歯牙（歯根部）・四肢骨、獣類の頭蓋骨・下顎骨の可能性のある

破片・門歯・歯牙・椎骨・仙骨の可能性のある破片・尾椎・肋骨・橈骨の可能性のある破片・寛骨の可能性のある破片・四肢骨・肋骨／四肢骨・指骨などが検出される。イノシシ属、ニホンジカ、獣類の中には、焼けた痕跡を残すもの、解体に伴う際のカットマークが存在するもの、切断されたものなどがみられる。骨類ではニホンジカが特徴的に検出される。中には、角の加工品（骨No183・333）、加工品の可能性のある角（骨No384）がみられる。

なお、ウマの左等尺骨（骨No182）は、ほぼ完全な状態であり、全長336mm、近位端幅78.11mm、遠位端幅68.79mmを測る。

・ S X07 ?

骨No195、貝No204、貝No1035、ウニ試料No103・104の5試料である。ウニ類、ヒメコザラ、イガイ、イソシジミ類、マテガイ科、アサリ、オオノガイ、チシマフジツボ、カニ類指節骨、サメ・エイ類椎骨、タラ科（第1椎骨）、フサカサゴ科（右下顎骨・尾椎）、フサカサゴ科の可能性のある第1椎骨、ウミタナゴ科（腹椎）、魚類（腹椎・鰭棘等）、獣類（部位不明破片）などが検出される。

## （5）考 察

### 1）貝類について

今回検出された種類の中で、キセルガイ類、パツラマイマイ、コハクガイ科、ベッコウマイマイ類、マイマイ類は陸産の貝類であり、遺構や包含層が埋積する過程において周辺に棲息していたものが混入したと考えられる。また、チリハギガイは、極めて微小な二枚貝で、ムラサキインコなどの足糸の間に住むとされることから、ムラサキインコ等を採用した際に持ち込まれたものであろう。また、砂泥底に棲息するウメノハナガイも小型の殻であることから意図的に採取したものでない可能性がある。さらにゴカイ類も貝類や岩に付着したものに由来するとみられる。

それ以外の貝類をみると、河川の汽水域やアシ原の泥上に棲息する種類（カワザンショウガイ、汽水性内湾の潮間帯～潮下帯の砂礫底・泥底に棲息するマガキ、岩礁域あるいは貝類に付着して生活する種類（ユキノカサガイ、ヒメコザラ、アオガイ、アワビ類、クボガイ、コシダカガンガラ、イシダタミ、サンショウガイ、エゾサンショウ、スガイ、アマガイ？、タマキビ、クロタマキビ、ムカデガイ類、ヒレガイ、オウウヨウラク、エゾヨウラク、チヂミボラ、エゾチヂミボラ、レイシガイ、カラマツガイ？、コベルトフネガイ、イガイ、ムラサキインコ、アカザラガイ、ベッコウガキ？、イワガキ、ウネナシトマヤガイ、マツカゼガイ、チヂミイワホリガイ、アカフジツボ、チシマフジツボ）、砂礫底・砂底・砂泥底・泥底などに棲息する種類（キサゴ、イボキサゴ、ウミニナ、ホソウミニナ、カワアイ？、ツメタガイ、エゾタマガイ、アカニシ、アラムシロ、ヒメムシロ、クロスジムシロ、ペンケイガイ、タマキガイ、ホタテガイ、トリガイ、シオフキ？、ウバガイ、ミルクイ、クチバガイ、ヒメシラトリ、シラトリモドキ、イソシジミ類、マテガイ科、エゾヌノメアサリ、カガミガイ類、アサリ、コタマガイ、ウチムラサキ、オオノガイ）などである。また、砂礫底・砂底・砂泥底・泥底などに棲息する種類の中でも、ヒメシラトリ・アサリ・ウミニナが汽水性の内湾河口付近干潟など、オオノガイも内湾の干潟や砂泥地などに生息するが、キサゴ・キサゴ類はどちらかといえば外洋の影響が強い場所に生息する。これらの検出された貝類の多くは食料資源として採取されたものと考えられ、内湾河口付近干潟、外洋の影響を受ける砂浜、さらには岩礁域まで様々な場所で採取されていたことがわかる。

貝類の最小個体数を表13に示す。この内、S X07のキサゴ類、シラトリモドキ、ニッコウガイ科、イソシジミ類、アサリ、マルスダレガイ科、オオノガイは、重量から個体数を推定している。縄文時

代中期の遺構・包含層は、S I 03が最も多くの貝類が検出され、次いでⅢ C 9 j、S K 29、S X 06の順に多く検出される。出現傾向をみると地点によって出現傾向が異なっており、S I 03とS K 29はアサリを主体としてウミニナやヒメシラトリを伴う。Ⅲ C 9 jとS X 06はキサゴを主体とし、S K I 02はキサゴが中心にアサリとイソシジミ類を伴う。

古代ないし古代以降では、S X 10・S X 11で多く検出され、組成的にはキサゴを中心として、アサリ、コタマガイ、オオノガイ、イガイなどを伴う。それ以外の遺構は検出されるものの数量的には少ない。縄文・古代の遺物包含層は、貝類が少ない。中世以降のS X 07、S K I 02は貝類が多く検出され、キサゴを主体として、次いでアサリとイソシジミ類が多産し、オオノガイ、イガイ、シラトリモドキ、ウミニナなどを伴う。なお、数量の少ない古代のS I 29ではイガイが、S I 48・S K 99ではイガイとオオノガイなどがみられ、種類構成が単調な組成である。

ウニ類は、殻、棘、中間骨、多孔板が確認され、殻や棘の中には焼けたものも含まれる。縄文時代中期のS I 03、S K 29、古代以降のS X 08、S X 09、S X 10、S X 11、中世以降のS X 07、S K I 02でみられる。包含層からはみられず、偏った遺構に限定されている。このような産状からみて、ウニ類は定常的に採取していなかったことも考えられる。

大船渡市に位置する縄文時代後晩期の大洞貝塚（須藤ほか，1997）、縄文時代中期の長谷堂貝塚（財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター，2001，2004）では、アサリが多産することが報告されている。一方、釜石市の石応禅寺裏遺跡では縄文時代中期～後期にイガイ類が多い傾向がみられ（パリノ・サーヴェイ株式会社，2009）、久慈市に位置する鼻館跡では平安時代の住居址内pitから検出数量が少ないがクボガイ・ムラサキインコ・イガイなどが産出する（佐藤・熊谷，1992）ことが報告されている。今回の結果は、大洞貝塚や長谷堂貝塚に近い結果といえる。組成の違いは、おそらくは湾内の環境の違いなどを反映している可能性があるが、この点については今後資料を蓄積していきたい。

アサリは、全体的にみて殻長2～3cm程度のものが多い。ただし、中世以降のS X 07では、殻長2cm未満の個体が多く含まれる傾向にある。このことは、採取活動が活発であったために大型の殻が減少していたことを示す可能性もある。

## 2) 魚類について

魚類の最小個体数を表14に示す。

### ・サメ・エイ類

トビエイ類を含めたサメ・エイ類は、縄文時代中期、古代以降、中世以降で検出されており、漁獲量としては少ないものの、古くから採取されていたのであろう。なお、トビエイ類は、沿岸域に棲息し、尾に毒棘を持つものが多い。食用とされていたとみられる。

### ・アナゴ類

浅い海の砂泥底などに生息する。縄文時代中期、中世以降でみられる。尾椎が検出されるが、第1椎骨、右角骨、腹椎、尾椎などが検出されるが、各時期1個体、計2個体あり個体数は少ない。

### ・イワシ類

ウルメイワシ亜科、ニシン亜科、カタクチイワシ科などがみられる。沿岸から沖合などを群れなして遊泳する種類である。縄文時代中期のS X 11でニシン亜科が3個体みられ、S X 06で第1椎骨が検出される。また、中世以降になるとニシン亜科2個体に加えて、ウルメイワシ亜科やカタクチイワシ科がみられる。網などを利用する漁法であった可能性がある。

- ・イワナ属

本来、多くは、河川の源流付近に一生とどまる陸封型の生活史をもつ場合が多い。ただし、本来は、成長過程で海に下り、成熟して川を遡上する降海型の生活史を持つ。中世以降でみられ、周辺の河川で採取された可能性がある。

- ・サケ科

河川で孵化した後、海に下り、1-6年の海洋生活で成熟した個体が母川に向け回帰して遡上し産卵活動を行う。古代以降、中世以降でみられ、河川を遡上する際に捕獲された可能性もある。

- ・タラ科

冷水域に生息し、稚魚の頃が沿岸浅場で生活する。中世以降に限定される。S X07の最小個体数は第1椎骨の検出状況から4個体と判断できる。

- ・ボラ

基本的には海水魚であるが、幼魚のうちしばしば大群を成して沿岸部などにみられ、淡水域に遡上することもある。縄文時代中期で1個体、古代のS I 48・S I 87で検出される。主体となっていなかったと考えられる。

- ・フサカサゴ科

岩礁域に棲息する。縄文時代中期では少ないが、古代ないし古代以降、中世以降で多くの破片がみられる。特に古代以降のS X08で2個体、S X10で7個体、中世以降のS X07で7個体である。なお、古代以降のS X10で検出されるフサカサゴ科の可能性のある左前上顎骨は切断されている。

- ・ホウボウ科、コチ科

いずれも浅い砂泥底の浅い海に棲息する。中世以降のS X07でわずかにみられる程度である。

- ・アイナメ属、

日本沿岸の岩礁域に広く生息する底生魚である。中世以降のS X07で1個体みられる。なお、アイナメ属の可能性のある左前上顎骨がS I 03で検出される。

- ・スズキ属

沿岸の湾口部や河口で棲息し、河川内にも侵入する。縄文時代中期のS I 03で2個体、S K29で2個体、中世以降のS X07で2個体みられる。

- ・ハタ科

浅海の岩礁域に棲息する。中世以降のS X07で1個体みられる。また、ハタ科の可能性のある個体が縄文時代中期のS K29でみられる。

- ・ブリ属

沖合の水深100m程度の中層・底層を遊泳する。中世以降S X07でのみ確認されている。

- ・アジ科

沿岸から沖合の中層・底層を群れで遊泳するが、中には浅海の岩礁付近に定着する個体もみられる。縄文時代のS K29で2個体、古代のS X11で2個体がみられる。

- ・クロダイ属

水深50m以浅の沿岸域に生息し、河口の汽水域にも進入し、時には河川の淡水域まで遡上することもある。中世以降のS X07で1個体みられる程度である。

- ・マダイ亜科

成魚は沖合の岩礁や砂礫底の底付近に生息するが、産卵期になると湾内浅い沿岸域に移動する。古代以降のS X10で1個体、中世以降のS X07で2個体がみられる。



・ウミタナゴ科

各地の沿岸に生息する。中世以降のS X07で多産する。S X07の最小個体数は56個体となり、特徴的に産出する個体である。

・ハゼ科

汽水域～淡水域までみられる。小さな個体であり、網や簀などで採取された可能性がある。中世以降のS X07で検出される程度であり、数量は少ない。

・サバ属

沿岸域の表層で大群を作り遊泳する。縄文時代中期のS K29、古代のS X08、S X10、S X11、中世以降のS X07で検出される。

・ソウダガツオ属

内湾にほとんど侵入せず、沿岸～沖合の表層を大群で回遊する。中世以降のS X07で検出される。

・カツオ属

外洋性で季節的な回遊を行う。古代以降のS X10、S X11、中世以降のS X07で検出されている。

・マグロ類

外洋の表層・中層に生息し、回遊する。古代以降のS X10で3個体、S X11で12個体、中世以降のS X07で13個体である。本遺跡を特徴づける種類である。中には切断、あるいはカットマークなどがみられ、解体されていたことがわかる。魚類とした大型の鱭棘等にもカットマークがみられ、これらはマグロ類に由来する可能性が高い。なお、尾椎の大きさから、1mを超える個体、1m前後、1m以下、カツオ程度の個体など様々なサイズの個体が存在していたとみられる

・ヒラメ、カレイ科。

沿岸の砂泥地を中心に生息する。ヒラメは、中世以降のS X07で2個体がみられる。カレイ科は、縄文時代中期のS I03、中世以降のS X07がみられる。

・フグ科

海水域にすむもののほか、海水にすみ汽水域に入るもの、一生を淡水域でくらすものがある。一般的には有毒性であるが、中には無毒の種類も存在する。縄文・古代の包含層で1個体、中世以降のS X07で2個体がみられる。

### 3) 両生類、爬虫類、鳥類、哺乳類について

両生類・爬虫類・鳥類・哺乳類の最小個体数を表15に示す。

・カエル類

縄文時代中期のS K29で左右橈骨が各1点、中世以降のS X07で椎骨・尾骨・右肩甲骨・左右上腕骨・左橈尺骨・脛腓骨が検出されている。いずれも焼けていない。小型の個体であり、周辺に棲息していたものに由来するとみられる。

・ヘビ類

古代以降のS X10、中世以降のS X07で椎骨がみられる。カエル類と同様に焼けておらず、周辺に棲息していたものに由来するとみられる。

・鳥類

縄文時代中期のS K29で種類不明、古代以降のS X10でカラス類、中世以降のS X07でカラス類とキジ類が検出されている。数量的には少なく、本遺跡で主体となっていなかったと考えられる。

・モグラ類およびネズミ類

ヒミズを含むモグラ類が古代以降のS X10・S X11、中世以降のS X07で検出されている。ネズミ類は、ハタネズミ亜科、ネズミ亜科が確認されており、古代以降のS X11、中世以降のS X07で検出されている。いずれも食用ではなく、周辺に棲息していたものに由来するとみられ、死後遺体が流れこんだ、あるいは死骸が遺棄されたと思われる。

・ノウサギ

古代以降のS X10、中世以降のS X07で椎骨がみられる。数量的には極めて少なく、狩猟対象の中心となっていなかったと考えられる。

・イルカ類

中世以降のS X07で椎骨が1点のみ検出される程度である。それほど多く狩猟されていなかったであろう。

・ネコ

ネコは、古代以降のS X10で左上顎犬歯、左右下顎骨、右下顎犬歯が検出されており、少なくとも頭蓋が遺構内に存在していたことが伺える。最小個体数は1個体である。

・イタチ?

中世以降のS X07で左距骨が1点のみ検出される程度であり、詳細不明である。

・イヌ

縄文時代に広く飼育されていた哺乳類で、縄文時代中期のS K29、IV C 8 eで検出される。東北地方では、岩手県内の大洞貝塚（須藤ほか，1997）、長谷堂貝塚（財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター，2001）、宮城県の北小松遺跡（富岡ほか，2014）、田柄貝塚（宮城県教育委員会，1986）など多くの地点で検出されている。

S K29で検出されるイヌは、右下顎骨が2点みられ、1点は第1後臼歯が、もう1点は第4前臼歯・第1後臼歯が植立する。このことから、少なくとも2個体が含まれる。一方、IV C 8 eで出土するイヌは、重なる部位もないことから1個体であったとみられるが、埋葬されていたものか不明である。

齊藤（1963）に基づき各部位の計測結果を長谷部（1952）と比較すると、S K29出土犬は小型ないし中小型、IV C 8 e出土犬が大型犬に相当する。また、山内（1957）の体高推定式でみると、S K29出土犬が体高39～40cm程度、IV C 8 e出土犬が体高約50cm前後と推定される。

・タヌキ

中世以降のS X07で、右上顎犬歯、右下顎第1後臼歯がみられ、またタヌキの可能性のある右第4中足骨が検出される。数量的には少ない。

・アシカ類および海獣類?

オットセイないしニホンアシカである。ニホンアシカは、岸20キロメートル以内の沿岸域に周年生息し、日本沿岸で繁殖するアシカ科動物とされており、現在は絶滅したとされている。オットセイ（キタオットセイ）は、日本海や銚子沖の太平洋が南限とされ、海水でも淡水でも生育可能とされている。煮沸して油脂を抽出、膠の原料、皮革製品の素材として表皮利用、漢方薬原材料などが知られている。

古代のS I 48で右上腕骨と左橈骨が、古代以降のS X10で左肩甲骨と基節骨が確認されている。この他にも、S I 48で海獣類の可能性のある骨片がみられる。北海道の戸井貝塚、茶津貝塚、寺町貝塚、朝日トコロ貝塚、コタン温泉遺跡などからアシカ類の骨が検出されており（新美，1990）、縄文時代から利用されていた動物種である。長谷堂貝塚でもオットセイの可能性のある骨が検出されてお

り（財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター，2001）、宮城県の縄文時代の田柄貝塚でもオットセイが検出されている（宮城県教育委員会，1986）。本遺跡の付近でもアシカ類の繁殖集団が存在していた可能性もある。なお、左肩甲骨には、カットマークがみられ、一部切断されていることから、捕獲後に解体されていたと言え、何らかの用途として利用されていたことが伺える。

#### ・イノシシ属

イノシシ属は、イノシシ、ブタの判断ができないため、イノシシ属でとどめた。イノシシ属ないしその可能性がある骨は、縄文時代中期のS I 58、古代のS I 87、古代以降のS X 10、中世以降のS X 07、S KI02で検出されているが、数量的には多くない。これらの中でS X 10などで検出されるものは、大きさにみて成獣に由来するとみられる。その一方で、S I 58、S I 87、S X 07で検出される骨には、骨端が外れるものが多く、幼獣が多く含まれる可能性がある。これらの角や中足骨には、刃物による傷がついたもの、切断されたものなど多くの人為的な痕跡がみられる。なお、足根骨や指骨、頸静脈突起には、解体する際に付けられたカットマークがみられる。また、四肢骨の中にはスパイラル状に割れているものがみられ、骨を割って髓の部分を利用していたことが想像される。

#### ・ニホンジカ

ニホンジカは、日本各地の縄文遺跡で検出されており、食用資源の他、皮の利用、骨角器製品の素材などとして利用されている。

哺乳綱の中では最も多く出土しており、一部焼けている骨が少量含まれる。時代別、遺構別に検出状況を見ると、縄文時代中期のS K 147、中世以降のS K I 02でわずかに検出される程度で、あまり採取利用されなかったと考えられる。

本遺跡でニホンジカが多く利用されるようになるのは、古代以降である。地点別にみると次の通りである。S I 48は、頭蓋、前肢、後肢など多くの部位が出土する。左脛骨遠位端から最小個体数5個体とみられる。これらS I 48の中に骨端が未化骨で外れるものがみられ、またS X 10で出土するものは歯根が未形成な骨がみられる。このことから、幼獣が含まれているとみられ、本遺跡の周辺に繁殖集団が存在していたことが想像される。S X 10は、頭蓋が多く、角や四肢骨も少量みられる。S I 74、S I 87、S X 08は、角、頭蓋、中手骨／中足骨、四肢骨などがわずかにみられる程度である。S I 105、S X 07は、前肢、後肢も散見されが、角が主体となる。これらの角や中足骨には、刃物による傷がついたもの、切断されたものなど多くの人為的な痕跡がみられる。また、四肢骨の中にはイノシシ属と同様にスパイラル状に割れているものがみられる。

以上のことから、周辺で捕獲され、肉を利用するだけでなく、骨を割って髓の部分を利用していたことが想像される。その後、骨や角が骨角器の素材として利用されていたのであろう。特にS I 105、S X 11、S X 07は骨角器を作成する段階で利用できなくなった角や中足骨などを中心に廃棄した可能性がある。

#### ・ウマおよびウシ

ウマおよびウシともに、運搬用などとして利用されていたと思われる。ウシは、古代以降のS X 10で左上顎第2後臼歯1点検出されるのみである。ウマに比べると数量的にも少ない。

ウマは、古代のS I 74、古代以降のS X 10とS X 11、縄文・古代の包含層（IV C 4 a II層、IV C 5 a II層、IV C 6 f I層、IV C 6 g II層）、中世以降のS X 07で検出される。

S X 10で出土したウマは歯根が未形成であることから2歳以下の幼獣と考えられる。また、西中川ほか（1991）に基づく、ウマ臼歯高から推定される年齢は、IV C 5 a II層で検出されたウマ左下顎第2後臼歯が11～12歳程度、IV C 6 f I層のウマ左下顎第2後臼歯が5歳程度とみられる。また、

西中川ほか（1991）の骨長推定式および林田・山内（1957）の体高推定式に基づき、ウマの四肢骨サイズから体高を求めると、S X10のウマが右中足骨の大きさから約130cm程度、S X07のウマが左橈骨の大きさから約135cm程度の大きさとなり、いずれも中型馬程度のサイズであったと考えられる。

## （6）ま と め

今回、縄文時代中期、古代、古代以降、縄文・古代、中世以降の遺構・包含層から出土した骨貝類を検討した。貝類のみに注目して群集組成をみると、縄文時代中期では、アサリを中心として、二枚貝綱のヒメシラトリ・イソシジミ類・オオノガイ、腹足綱のウミニナあるいはキサゴ類を伴う。古代になると、数量が少ないもののイガイが中心となる。古代以降は、キサゴ類が多産し、イソシジミ類・アサリ・オオノガイを伴う。中世以降は、キサゴ類、イソシジミ類、アサリが多産し、ウミニナ、チヂミボラ、イガイ、シラトリモドキ、オオノガイなどを伴う。

このように各時代・時期、遺構によって出土傾向が異なっているのも本遺跡の特徴と言えるだろう。このような背景には、当時の水域環境、漁法、漁場、あるいは嗜好性など、複雑な要因が絡んでいるとみられる。

## 引用文献

- 新美倫子, 1990, 縄文時代の北海道における海獣狩猟. 東京大学文学部考古学研究室研究紀要9, 東京大学文学部, p.137-171.
- Angela von den Drieach, 1976, A Guide to the Measurement of Animal Bones from Archaeological Sites. Peabody Museum Bulletins 1. i-ix, 1-137.
- 長谷部言人, 1952, 犬骨, 埋蔵文化財発掘調査報告第一, 吉胡貝塚, 文化財保護委員会146-150.
- 宮城県教育委員会, 1986, 宮城県文化財調査報告書第111集 田柄貝塚Ⅲ 骨格牙貝製品・自然遺物編. 宮城県教育委員会, 530p.
- 西中川駿・本田道輝・松元光春, 1991, 古代遺跡出土骨からみたわが国の牛、馬の渡来時期とその経路に関する研究. 平成2年度文部省科学研究費補助金（一般研究B）研究成果報告書, 99p.
- パリノ・サーヴェイ株式会社, 2009, 石応禅寺裏遺跡の自然科学分析. 釜石市埋蔵文化財調査報告書第14集 石応禅寺裏遺跡発掘調査報告書 個人住宅建設に伴う発掘調査, 釜石市教育委員会, 80-109.
- 斉藤弘吉, 1963, 犬科動物骨格計測法. 138p.
- 佐藤正彦・熊谷 賢, 1992, 鼻館跡G3-u住居跡出土の動物遺存体について. 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第171集 鼻館跡発掘調査報告書 国道45号久慈バイパス関連遺跡発掘調査, 財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター, 209-211.
- 須藤 隆・富岡直人・澤田純明, 1997, 平成7年度調査 大洞C地点貝塚の動物遺存体について. 岩手県大船渡市 大洞貝塚 平成6・7・8年度範囲確認調査概報, 大船渡市教育委員会, 97-121.
- 富岡直人・太田有香・足立 望・江川達也, 2014, 北小松遺跡平成21年度発掘調査出土動物遺存体の分析. 宮城県文化財調査報告書第234集 北小松遺跡 一田尻西部地区は場整備事業に係る平成21年度発掘調査報告書— 第2分冊 分析編, 宮城県教育委員会, 13-72.
- 財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター, 2001, 財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第367集 長谷堂貝塚発掘調査報告書 県営長谷堂アパート建設事業関連遺跡発掘調査, 470p.
- 財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター, 2004, 財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第434集 長谷堂貝塚発掘調査報告書 県営長谷堂アパート建設事業関連遺跡発掘調査, 592p.

4 動物遺存体の分析

第1表 試料一覧(1)

種類	番号	出土地点	層位等	乾燥・篩い掛け後、重量 (g)	備考	
貝試料	1	SI03	貝ブロック A 南東埋土	1,558.30		
	2	SI03	貝ブロック A 南東埋土	5,315.10		
	3	SI03	貝ブロック A 南東埋土	3,903.20		
	4	SI03	貝ブロック A 南西埋土	1,809.60		
	5	SI03	貝ブロック A 南西埋土	3,393.30		
	6	SI03	貝ブロック A 南西埋土	3,717.10		
	7	SI03	貝ブロック A 南西埋土	4,721.70		
	8	SI03	貝ブロック A 南西埋土	5,814.60		
	9	SI03	貝ブロック A 南西埋土	3,847.50		
	10	SI03	貝ブロック A6 層	1,401.90		
	11	SI03	貝ブロック A6 層	931.60		
	12	SI03	貝ブロック A6 層	7,311.60		
	13	SI03	貝ブロック A6 層	5,816.60		
	14	SI03	貝ブロック A6 層	7,808.50		
	15	SI03	貝ブロック A6 層	4,996.80		
	16	SI03	貝ブロック A6 層	5,169.90		
	17	SI03	貝ブロック A6 層	4,602.20		
	18	SI03	貝ブロック A6 層	2,176.00		
	19	SI03	貝ブロック B	3,252.60		
	20	SI03	貝ブロック B 南西埋土	4,846.80		
	37	SI03	貝ブロック A	5,643.60		
	38	SI03	貝ブロック A	3,998.70		
	40	SI03	北東埋土下位 貝層	21.47		
	41	SI03	北東埋土下位 貝層	15.61		
	42	SI03	南西埋土 貝層	58.47		
	43	SI03	南東埋土 貝層	254.69		
	44	SI03	B-B'アゼ第1層	2.00		
	45	SI03	B-B'アゼ第2層	1.45		
	46	SI03	南半埋土	250.45		
	22	SK29	貝ブロック a 西半埋土上位	1,754.60		
	23	SK29	貝ブロック b 西半埋土下位	434.60		
	24	SK29	貝ブロック b	7,817.90		
	25	SK29	貝ブロック a	182.10		
	26	SK29	貝ブロック a	233.10		
	27	SK29	貝ブロック a (5層)	852.20		
	39	SK53	貝層	52.60		
	28	SK102	貝層 a	334.70		
	29	SK102	埋土	2,827.90		
	30	SK102	貝層 b	2,840.60		
	31	SK102	埋土 (ベルト)	570.90		
	32	SK102	P2 埋土	569.60		
	47	SK102	北東埋土 上位~中位	5.26		
33	SX06	貝層	857.80			
34,36	III C9j-1	貝層	1,213.90			
35	III C9j-2	貝層	754.00			
36	III C9j-1	貝層	475.00			
21						
貝試料	1	SI29	北西 1/4 埋土中位	28.40		
	2	SI29	南西 1/4 角貝層 (廃棄)	753.30		
	3	SI29	南西 1/4 角埋土中位	1,018.70		
	4	SI33	西側埋土 2層貝層 a	21.40		
	5	SI48	埋土グリット E 地点	23.50		
	6	SI48	貝層 A	1,418.90	C14 試料抽出 0.4g	
	7	SI105	北東埋土	53.80		
	8	SI105	ベルト A-A' 1 層	122.70		
	9	SK93		19.50		
	10	SK99		872.90		
	11	SX08	埋土西半	958.30		
	12	SX09	埋土東半	95.70		
	13	SX09	埋土西半	46.20		
	14	SX10	(SI74 西端)	111.60		
	15	SX10	北東 1/4 貝層	162.70		
	16	SX10	北東埋土下位 4 層	38.30		
	17	SX10	南東 1/4 貝層	732.10		
	18	SX10	南東埋土下位 4 層	150.50		
	19	SX10	南西 1/4 貝層	33.80		
	20	SX10	北西 1/4 貝層	1,960.40		
	21	SX10	北西 1/4 貝層	2,006.50		
	22	SX10	北西 1/4 貝層	1,286.30		
	23	SX10	北西 1/4 貝層	1,133.90		
	24	SX10	北西 1/4 貝層	1,684.20		
	25	SX10	北西 1/4 埋土下位 4 層	639.60		
	26	SX10	北西 1/4 8 層	1,576.50		
	27	SX10	北西 1/4 8 層	2,062.40		
	28	SX10	ベルト A-A' 1 層	47.00		
	29	SX10	ベルト A-A' 2 層	1,808.40		
	30	SX10	ベルト A-A' 2 層	1,805.20		
	31	SX10	ベルト A-A' 2 層	3,098.60		
	32	SX10	ベルト A-A' 4 層	977.70		
	33	SX10	ベルト A-A' 4 層	7.30		
	34	SX10	ベルト A-A' 4 層	23.80	No. 2	
	35	SX10	ベルト A-A' 4 層	13.10	No. 3	
	36	SX10	ベルト A-A' 4 層	22.20	No. 4	
	37	SX10	ベルト A-A' 4 層	53.10	No. 6	
	38	SX10	ベルト A-A' 4 層	100.40	No. 7	
	39	SX10	ベルト A-A' 4 層	39.30	No. 8	
	40	SX10	ベルト A-A' 4a 層	198.40		
	41	SX10	ベルト A-A' 5 層	224.40		
	42	SX10	ベルト B-B' 4 層	1,177.40		
貝試料	43	SX10	ベルト B-B' 4a 層	61.10		
	44	SX10	ベルト B-B' 5 層	3.90		
	45	SX11	貝層	735.50		
	46	SX11	埋土	61.20		
	47	SX11	埋土北東側	84.80		
	48	SX11	貝層北東側	1,573.70		
	49	SX11	貝層北東側	1,611.70		
	50	SX11	貝層北東側	1,210.60		
	51	SX11	貝層南東側	233.80		
	52	SX11	貝層北西側	1,078.20		
	53	SX11	貝層北西側	869.10		
	54	SX11	貝層北側ベルト中	859.00		
	55	SX11	北ベルト	94.90		
	56	SX11	北ベルト 6 層	1,626.40		
	57	SX11	北ベルト 6 層	1,114.00	C14 試料抽出 0.9g	
	58	SX11	東ベルト 6 層	57.30		
	59	SX11	西ベルト 2 層	12.40		
	60	SX11	最下層	19.80		
	61	III C8d	II 層	16.80		
	62	IV B4j	II 層	284.50		
	63	IV D2a	II 層	14.60		
	骨試料	1	SI29	南西 (4/1) 埋土中位	0.90	
		2	SI33	中央埋土 2 層	3.40	
		3	SI40	石囲炉わき	21.10	
		4	SI40	貝層範囲	377.20	
		5	SI48	グリット C 地点埋土	17.20	
6		SI48	グリット E 地点埋土	17.40		
7		SI48	グリット E 地点埋土	33.70		
8		SI48	A-A' アゼベルト東側	1.80		
9		SI48	A-A' 断面	41.50		
10		SI48	A-A' 断面西側	4.10		
11		SI48	カマド近く最下層の埋土	0.30		
12		SI48	埋土 (貝層中)	31.20		
13		SI48	貝層 A	5.80		
14		SI48	埋土貝層 A 中	59.10		
15		SI48	獣骨包含層中原位置ズレ骨	13.90		
16		SI48	埋土 (獣骨包含層)	4.10		
17		SI48	獣骨 A	1.50		
19		SI48	獣骨 B	1.10		
22		SI48	獣骨 C	1.80		
24		SI48	獣骨 D	6.90		
26		SI48	獣骨 E	0.60		
28		SI48	獣骨 F	2.20		
30		SI48	獣骨 G	14.60		
32		SI48	獣骨 H	12.60		
34		SI48	獣骨 I	1.90		
36		SI48	獣骨 J	0.90		
38	SI48	獣骨 K	0.20			
40	SI48	獣骨 L	11.20			
42	SI48	獣骨 M	121.70			
44	SI48	獣骨 N	7.20			
46	SI48	獣骨 O	22.80			
48	SI48	獣骨 P	33.20			
50	SI48	獣骨 Q	38.20			
52	SI48	獣骨 R	16.90			
53	SI48	獣骨 S	9.10			
54	SI48	獣骨 T	6.80			
55	SI48	獣骨 U	9.60			
56	SI48	獣骨 V	2.50			
57	SI48	獣骨 W	50.00			
58	SI48	獣骨 X	22.40			
59	SI48	獣骨 Y	55.20			
60	SI48	獣骨 Z	295.70			
18	SI48	獣骨 a	33.90			
20	SI48	獣骨	40.10			
21	SI48	獣骨 b-2	28.00			
23	SI48	獣骨 c	1.40			
25	SI48	獣骨 d	67.80			
27	SI48	獣骨 e	5.20			
29	SI48	獣骨 f	16.20			
31	SI48	獣骨 g	10.50			
33	SI48	獣骨 h	0.60			
35	SI48	獣骨 i	4.10			
37	SI48	獣骨 j	13.20			
39	SI48	獣骨 k	4.70			
41	SI48	獣骨 l	3.10			
43	SI48	獣骨 m	0.50			
45	SI48	獣骨 n	46.50			
47	SI48	獣骨 o	0.60			
49	SI48	獣骨 p	16.60			
51	SI48	獣骨 q	1.40			
61	SI58	埋土上~中位	0.40			
62	SI72	ベルト A-A' 12 層	0.30			
63	SI74	QNW 埋土	31.30			
140	SI74	QNW 埋土中~下	2.50			
64	SI75	北西埋土下位	58.50			
141	SI84	焼土の上	0.20			
65	SI85	埋土下位	1.10			
66	SI87	カマド焼土	25.90			

第1表 試料一覧(2)

種類	番号	出土地点	層位等	乾燥・篩い掛け 後、重量 (g)	備考	
骨試料	67	SI87	カマド②3層	0.90		
	68	SI102	(南北アゼ) 3層	0.80		
	69	SI103	(焼失時堆積層中) 埋土	2.00		
	70	SI103	(南側) 埋土	4.60		
	71	SI103	埋土	3.00		
	72	SI104	PP32埋土	0.60		
	73	SI105	ベルト A-A' 1層	28.00		
	74	SI105	南西埋土	17.80		
	75	SI105	北東埋土	232.60		
	76	SI105	北東埋土	7.80		
	77	SI115	南西埋土下位	1.60		
	78	SK99	半埋土中位	5.70		
	142	SK147	埋土 1層	30.30		
	79	SN29	埋土	13.20		
	80	SN29	埋土 1層	79.30		
	81	SN29	埋土 2層 (上位)	5.40		
	82	SN29	埋土 2層 (下位)	1.50		
	83	SX08	埋土西半	22.20		
	84	SX08	埋土東半	22.20		
	85	SX09	埋土東半	3.30		
	86	SX09	埋土西半	0.10		
	87	SX10	(SI74 西端)	0.80		
	88	SX10		70.20		
	89	SX10	北西 1/4 貝層	156.10		
	90	SX10	北東 1/4 貝層	10.40		
	91	SX10	北西 1/4 8層	0.60		
	92	SX10	南西 1/4 埋土下位 4層	144.80		
	93	SX10	南東 1/4	80.40		
	94	SX10	南東 1/4 貝層	11.70		
	95	SX10	北西 1/4 4層埋土下位貝層	430.70		
	96	SX10	南東埋土下位 4層	62.70		
	97	SX10	北東埋土下位 4層	7.30		
	98	SX10	ベルト A-A' 1層	30.60		
	99	SX10	ベルト A-A' 2層	148.60		
	100	SX10	ベルト A-A' 2層	163.20		
	101	SX10	ベルト A-A' 4層	158.50		
	131	SX10	ベルト A-A' 4層	265.40		
	102	SX10	ベルト A-A' 4a層	43.00		
	103	SX10	ベルト A-A' 5層	2.20		
	104	SX10	ベルト B-B' 4層	89.80		
	143	SX10	南東埋土下位 4層	0.40		
	144	SX10	ベルト A-A' 5層	4.50		
	105	SX11	南西側埋土	16.90		
	106	SX11	南西側埋土	19.50		
	107	SX11	南東側貝層	0.60		
	108	SX11	南東側埋土	5.00		
	109	SX11	北西側埋土	14.70		
	110	SX11	北西側埋土	97.00		
	111	SX11	北西側貝層	13.00		
	112	SX11	北西側埋土	4.50		
	113	SX11	北西側埋土	61.70		
	114	SX11	北東側埋土	37.70		
	115	SX11	北東側貝層	10.10		
	116	SX11	北東側貝層	2.10		
	117	SX11	埋土	2.20		
	118	SX11	北側ベルト埋土 1層	88.40		
	119	SX11	北側ベルト 2層	15.10		
	120	SX11	北側ベルト埋土 6層	71.00		
	121	SX11	北側ベルト中貝層	1.60		
	122	SX11	ベルト西側埋土上位	0.30		
	123	SX11	西側ベルト埋土 2層	16.40		
	124	SX11	東側ベルト埋土 2層	22.40		
	125	SX11	東西側ベルト埋土 7層	12.40		
	126	SX11	最下層	18.40		
	127	SX11	最下層	201.30		
	128	SX11	埋土	228.90	鹿角 1	
	129	SX11	埋土	101.20	鹿角 2	
	130	SX11		434.20	鹿角 3	
	145	SX11	南東側埋土	1.40		
	146	SX11	南東側埋土	0.70		
	132	IV B3j	II層	19.10		
	133	IV B4j	II層	58.50		
	134	IV C2f	トレンチ II層	43.20		
	135	IV C4a	II層	6.60		
	136	IV C5a	II層	16.70		
	137	IV C6f	I層	15.80		
	138	IV C6g	II層	18.60		
	139	IV C8e		332.60		
	147	IV C5b	II層	1.50		
	197 (1)	SI111	石囲炉 (石囲部) 埋土	0.70		
	511 (1)	SX07	貝層	5.57		
	512 (1)	SX07	南貝層	4.65		
	195 (1)	SX07?	ベルト D-D' 土混じり	1.72		
	149-346 (2)	SX07-1 ①	貝層	16.38		
	148 (1)	SX07-1 ①		5.13		
	150-153- 347-365 (23)	SX07-1 ④	貝層	390.00		
	366 (1)	SX07-1 ⑤	記入なし	0.43		
	154 (1)	SX07-1 ⑥	貝層	1.73		
	367-368 (2)	SX07-1 ⑨	貝層	10.23		
	骨試料	155-156-369- 413-514 (48)	SX07-2 ②	貝層	776.75	
		157-159 (3)	SX07-2 ②	貝層土混じり	2.29	
		160 (1)	SX07-2 ②	土混じり	1.61	
		414-416 (3)	SX07-2 ②	記入なし	33.61	
		161-417- 420 (5)	SX07-2 ③	貝層	36.40	
		162-163-421- 426 (8)	SX07-2 ④	貝層	77.57	
		164-165 (2)	SX07-3	NS トレンチ	79.71	
		166-432- 446 (16)	SX07-3 ②	貝層	120.38	
		447 (1)	SX07-3 ③	貝層	5.51	
		167-448- 462 (16)	SX07-3 ④	貝層	96.31	
		427-431 (5)	SX07-3	NS トレンチ	16.52	
168-170-172- 174 (6)		SX07-4	NS トレンチ	97.67		
175-477- 507 (32)		SX07-4 ②	貝層	279.68		
176-508 (2)		SX07-4 ③	貝層	192.80		
463-466 (4)		SX07-4	NS トレンチ貝層	18.41		
467-476 (10)		SX07-4	NS トレンチ	41.19		
177 (1)		SX07-4	貝層	8.46		
178 (1)		SX07	貝層	2.82		
232 (1)		SX07	ベルト A-A' 1層	4.24		
198-231 (34)		SX07	ベルト A-A' 1a層	225.20		
254 (1)		SX07	ベルト B-B' 1層	6.65		
179-182-233- 238-253 (11)		SX07	ベルト B-B' 1a層	614.19		
239-252-515- 518 (18)		SX07	ベルト B-B' 1b層	396.89		
255 (1)		SX07	ベルト B-B' 貝層	70.92		
271 (1)		SX07	ベルト C-C' 1層	9.90		
256-270 (15)		SX07	ベルト C-C' 1a層	104.43		
183-272- 296 (26)		SX07	ベルト D-D' 1層	412.09		
192 (1)		SX07	ベルト D-D' 1層土混じり	0.56		
184-191 (2)		SX07	ベルト D-D' 1層土混じり貝	3.74		
297-327- 329-334- 509-510 (39)		SX07	ベルト D-D' 1a層	977.43		
185-188- 190-335- 340 (10)		SX07	ベルト D-D' 1b層	37.99		
186 (1)		SX07	ベルト D-D' 1b層下位西側	14.14		
187 (1)		SX07	ベルト D-D' 1b層下位東側	37.87		
341 (1)		SX07	ベルト D-D' 1c層	0.05		
345 (1)		SX07	ベルト D-D' 9層? ②?	4.70		
193 (1)		SX07	ベルト D-D' 10層	1.36		
328 (1)		SX07	ベルト D-D' a層	9.24		
342-343 (2)		SX07	ベルト D-D' 貝層	48.42		
344 (1)		SX07	ベルト D-D' 記入なし	5.79		
194 (1)		SX07	ベルト D-D'	2.64		
513 (1)		SX07 不 明?	貝層	0.08		
196 (1)		SX11	東ベルト埋土 6層	0.25		
64-65- 67-97 (33)		SX07	ベルト A-A' 1a層	3,946.50		
66 (1)		SX07	ベルト A-A' 1層	55.50		
118 (1)		SX07	ベルト B-B'	203.70		
99-102- 111-117 (6)		SX07	ベルト B-B' 1a層	2,748.60		
103-110- 112-116 (13)		SX07	ベルト B-B' 1b層	6,683.80		
98 (1)		SX07	ベルト B-B' 1層	538.40		
121-134 (14)		SX07	ベルト C-C' 1a層	5,048.20		
135 (1)		SX07	ベルト C-C' 1a層・ベル ト D-D' 1a層	1,016.50		
119-120 (2)		SX07	ベルト C-C' 1層	493.30		
206 (1)		SX07	ベルト D-D'	257.50		
158-194 (37)		SX07	ベルト D-D' 1a層	17,518.20		
195-200 (6)		SX07	ベルト D-D' 1b層	3,125.60		
201 (1)		SX07	ベルト D-D' 1c層	224.70		
136-157 (22)		SX07	ベルト D-D' 1層	8,187.10		
202 (2)		SX07	ベルト D-D' 貝層	420.70		
205 (1)		SX07	ベルト D-D' 層不明	177.40		
384 (1)		SX07- (不明)	貝層	134.90		
383 (1)		SX07- (不明)南	貝層	13.00		
204 (1)		SX07?	ベルト D-D'	336.00		
210-213 (4)		SX07-1 ①	貝層	862.20		
207-209 (3)		SX07-1 ①		1,057.50		
214-232 (19)		SX07-1 ④	貝層	1,912.10		
233 (1)		SX07-1 ⑤	貝層	27.40		
234-236 (2)		SX07-1 ⑨	貝層	41.00		
235 (1)		SX07-1 ⑨		74.70		
295 (1)		SX07-2	貝層	447.40		
237-282- 284-703 (48)		SX07-2 ②	貝層	11,734.20		

4 動物遺存体の分析

第1表 試料一覧(3)

種類	番号	出土地点	層位等	乾燥・簡い掛け 後、重量 (g)	備考
貝試料	283 (1)	SX07-2②		141.90	
	285-288 (4)	SX07-2③	貝層	518.70	
	289-294 (6)	SX07-2④	貝層	2,540.40	
	296-300 (5)	SX07-3	NS トレンチ	1,178.20	
	301-319 (19)	SX07-3②	貝層	8,125.40	
	320 (1)	SX07-3③	貝層	44.10	
	321-323・ 325-326・ 328-336 (14)	SX07-3④	貝層	5,177.40	
	324-327 (2)	SX07-3④?	貝層	538.90	
	382 (1)	SX07-4	(IV B3i) 貝層	62.80	
	337-350 (14)	SX07-4	NS トレンチ	5,374.70	
	351-380 (30)	SX07-4②	貝層	10,701.10	
	381 (1)	SX07-4③	貝層	249.90	
	203 (1)	SX07	ベルト D-D'9層?②?	280.30	
	385 (1)	SX07	西ベルト埋土1層	0.80	
	387-419 (33)	SX07	ベルト A-A'1a層	7,267.50	
	386 (1)	SX07	ベルト A-A'1層	286.80	
	441 (1)	SX07	ベルト B-B'	30.40	
	421-424・ 439-440 (6)	SX07	ベルト B-B'1a層	1,280.40	
	425-438 (14)	SX07	ベルト B-B'1b層	5,779.40	
	420 (1)	SX07	ベルト B-B'1層	414.20	
	444-457 (14)	SX07	ベルト C-C'1a層	2,613.40	
	458 (1)	SX07	ベルト C-C'1a層・ベル ト D-D'1a層	309.60	
	442-443 (2)	SX07	ベルト C-C'1層	552.60	
	525-526・ 528-529 (4)	SX07	ベルト D-D'	864.60	
	482-517 (36)	SX07	ベルト D-D'1a層	7,018.90	
	518-523 (6)	SX07	ベルト D-D'1b層	1,837.20	
	524 (1)	SX07	ベルト D-D'1c層	294.00	
	459-480 (22)	SX07	ベルト D-D'1層	8,670.50	
	481 (1)	SX07	ベルト D-D'9層?②? (要確認)	130.80	
	527 (1)	SX07	ベルト D-D'貝層	250.10	
	701 (1)	SX07-	貝層 (不明)	62.70	
	702 (1)	SX07-	貝層 (不明)南	62.80	
	532-534 (3)	SX07-1①	貝層	1,451.60	
	530-531 (2)	SX07-1①		1,272.80	
	535-553 (19)	SX07-1④	貝層	3,926.80	
	554 (1)	SX07-1⑤	貝層	104.10	
	555-557 (2)	SX07-1⑨	貝層	81.50	
	556 (1)	SX07-1⑨		91.70	
	617 (1)	SX07-2	貝層	203.10	
	558-606 (49)	SX07-2②	貝層	6,989.10	
	607-610 (4)	SX07-2③	貝層	304.60	
	611-616 (6)	SX07-2④	貝層	1,030.90	
	618-622 (5)	SX07-3	NS トレンチ	683.10	
	623-639 (17)	SX07-3②	貝層	4,009.10	
	640 (1)	SX07-3③	貝層	17.40	
	641-643・ 645-647・ 655 (13)	SX07-3④	貝層	2,457.90	
	642-646 (2)	SX07-3④?	貝層	414.70	
	700 (1)	SX07-4	IV B3i	1.20	
	656-659・ 661-668 (12)	SX07-4	NS トレンチ	2,350.80	
	660 (1)	SX07-4	NS トレンチ貝層	276.40	
	669-671- 698 (29)	SX07-4②	貝層	6,491.30	
	670 (1)	SX07-4②		231.50	
	699 (1)	SX07-4③	貝層	25.30	
	1024 (1)	SX07	ベルト A-A'1a層	0.11	
1026 (1)	SX07	ベルト B-B'	0.12		
1025 (1)	SX07	ベルト B-B'1a層	0.37		
1027 (1)	SX07	ベルト C-C'1a層	0.28		
1031-1032 (2)	SX07	ベルト D-D'1a層	2.01		
1033 (1)	SX07	ベルト D-D'1b層	0.06		
1029-1030 (2)	SX07	ベルト D-D'1層	1.22		
1034 (1)	SX07	ベルト D-D'10層	0.05		
1028 (1)	SX07	貝層	0.64		
1036 (1)	SX07-1④	貝層	1.97		
1037 (1)	SX07-2②	貝層	2.37		
1038 (1)	SX07-2③	貝層	4.31		
1039 (1)	SX07-2④	貝層	2.03		
1040 (1)	SX07-3	NS トレンチ	0.68		
1041 (1)	SX07-3②	貝層	0.34		
1042-1043 (2)	SX07-3④	貝層	3.93		
1044 (1)	SX07-4	NS トレンチ	0.58		
1045-1046 (2)	SX07-4②	貝層	0.32		
1035 (1)	SX07?	ベルト D-D'	0.32		
ウニ試料	243 (1)	SX07 (不明)	貝層	0.19	
	103-104 (2)	SX07?	ベルト D-D'	2.36	
	105 (1)	SX07-1①	貝層	0.17	
	106-117 (12)	SX07-1④	貝層	2.19	

種類	番号	出土地点	層位等	乾燥・簡い掛け 後、重量 (g)	備考
ウニ試料	118 (1)	SX07-1⑤		0.13	
	121-158 (38)	SX07-2②	貝層	17.30	
	120 (1)	SX07-2②		0.01	
	159-162 (4)	SX07-2③	貝層	0.69	
	163-168 (6)	SX07-2④	貝層	2.45	
	173-188 (16)	SX07-3②	貝層	30.15	
	189-193-195- 203 (14)	SX07-3④	貝層	14.50	
	194 (1)	SX07-3 ④?	貝層	0.37	
	169-172 (4)	SX07-3	NS トレンチ	6.14	
	216-242 (27)	SX07-4②	貝層	31.72	
	204-215 (12)	SX07-4	NS トレンチ	4.69	
	1 (1)	SX07	ベルト A-A'1層	0.05	
	2-13 (12)	SX07	ベルト A-A'1a層	2.73	
	14 (1)	SX07	ベルト B-B'1層	0.06	
	15-18 (4)	SX07	ベルト B-B'1a層	7.99	
	19-32 (14)	SX07	ベルト B-B'1b層	6.43	
	33 (1)	SX07	ベルト B-B'1d層	0.04	
	34-43 (10)	SX07	ベルト C-C'1a層	8.18	
	44-60 (17)	SX07	ベルト D-D'1層	5.19	
	61-90 (30)	SX07	ベルト D-D'1a層	41.58	
	91-95 (5)	SX07	ベルト D-D'1b層	2.22	
	96 (1)	SX07	ベルト D-D'1c層	0.10	
	102 (1)	SX07	ベルト D-D'9層?②?	0.67	
97-98 (2)	SX07	ベルト D-D'10層 (1c?)	0.67		
99 (1)	SX07	ベルト D-D'貝層	0.06		
100-101 (2)	SX07	ベルト D-D'	0.48		

第2表 検出動物分類群の一覧(1)

棘皮動物門 Phylum Echinodermata	節足動物門 Phylum Arthropods
ウニ綱 Class Echinoidea	顎脚綱 Class Maxillopoda
ウニ類 Ord. et. fam. indet.	完胸目 Order Thoracica
環形動物門 Phylum Annelida	フジツボ科 Family Balanus
多毛綱 Class Polychaeta	アカフジツボ <i>Megabalanus rosa</i>
サンバコカイ目 Order Phyllodocida	チシマフジツボ <i>Balanus cariosus</i>
ゴカイ科 Family Nereididae	軟甲綱 Class Malacostraca
ゴカイ類 Ord. et. fam. indet.	エビ目 Order Decapoda
軟体動物門 Phylum Mollusca	エビ亜目 Suborder Pleocyemata
腹足綱 Class Gastropoda	カニ類 Fam. et. gen. indet.
前鰓亜綱 Subclass Prosobranchia	脊椎動物門 Phylum Vertebrata
カサガイ目 Order Patellogastropoda	軟骨魚綱 Class Chondrichthyes
エンスイカサガイ亜目 Suborder Acmaeoidea	板鰓亜綱 Subclass Elasmobranchii
ユキノカサガイ科 Family Lottiidae	エイ目 Order Rajiformes
ユキノカサガイ <i>Niveotectura pallida</i>	エイ亜目 Suborder Rajoidei
ヒメコザラ(ヒメコザラ型) <i>Patelloida pygmaea</i> form <i>heroldi</i>	トビエイ科 Family Myliobatididae
ヒメコザラ(ツボミガイ型) <i>Patelloida pygmaea</i> form <i>conulus</i>	トビエイ類 Gen. et. sp. indet.
アオガイ <i>Nipponacmea schrenckii</i>	エイ・サメ類 Ord. et. fam. indet.
古腹足目 Order Vetigastropoda	硬骨魚綱 Class Osteichthyes
ミミガイ科 Family Haliotidae	条鰭亜綱 Subclass Actinopterygii
アワビ類 <i>Haliotis</i> sp.	ウナギ目 Order Anguilliformes
ニシキウズガイ科 Family Trochidae	ウナギ亜目 Suborder Anguilloidei
クボガイ <i>Chlorostoma lischkei</i>	アナゴ科 Family Congridae
コンダカガンガラ <i>Omphalium rusticus</i>	アナゴ類 Gen. et. sp. indet.
クボガイ類 <i>Chlorostoma</i> sp.	ニシン目 Order Clupeiformes
インダタミ <i>Monodonta labio</i> form <i>confusa</i>	ニシン科 Family Clupeidae
キサゴ <i>Umbonium costatum</i>	ウルメイワシ亜科 Subfamily Dussumierinae
イボキサゴ <i>Umbonium moniliferum</i>	ウルメイワシ亜科 Gen. et. sp. indet.
サザエ科 Family Turbinidae	ニシン亜科 Subfamily Clupeinae
サンショウガイ <i>Homalopoma nocturnum</i>	ニシン亜科 Gen. et. sp. indet.
エソサンショウ <i>Homalopoma amussitatum</i>	カタクチイワシ科 Family Engraulidae
スガイ <i>Turbo(Lunella) cornatus coreensis</i>	カタクチイワシ科 Gen. et. sp. indet.
アマオブネガイ目 Order Neritimorpha	サケ目 Order Salmoniformes
アマオブネガイ科 Family Neritidae	サケ科 Family Salmonidae
アマガイ? <i>Nerita(Heminerita) japonica?</i>	イワナ属 Genus <i>Salvelinus</i>
盤足目 Order Discopoda	タラ目 Order Gadiformes
ウミナナ科 Family Batillariidae	タラ科 Family Gadidae
ウミナナ <i>Batillaria multiformis</i>	タラ科 Gen. et. sp. indet.
ホソウミナナ <i>Batillaria cumingii</i>	ボラ目 Order Mugiliformes
フトヘナタリ科 Family Potamididae	ボラ科 Family Mugilidae
カワアイ? <i>Cerithidea (Cerithideopsis) djadjariensis?</i>	ボラ <i>Mugil cephalus cephalus</i>
タマキビ科 Family Littorinidae	カサゴ目 Order Scorpaeniformes
タマキビ <i>Littorina(Littorina) brevicula</i>	カサゴ亜目 Suborder Scorpaenoidei
クロタマキビ <i>Neritrema sitchana</i>	フサカサゴ科 Family Scorpaenidae
カワザンショウガイ科 Family Assimineidae	フサカサゴ科 Gen. et. sp. indet.
カワザンショウガイ <i>Assiminea japonica</i>	ホウボウ科 Family Triglidae
ムカデガイ科 Family Vermetidae	ホウボウ科 Gen. et. sp. indet.
ムカデガイ類 Gen. et. sp. indet.	コチ科 Family Platycephalidae
タマガイ科 Family Naticidae	コチ科 Gen. et. sp. indet.
ツメタガイ <i>Glossaulax didyma</i>	カジカ亜目 Suborder Cottoidei
エソタマガイ <i>Cryptonatica andoi</i>	アイナメ科 Family Hexagrammidae
新腹足目 Order Neogastropoda	アイナメ属 <i>Hexagrammos</i>
アツキガイ科 Family Muricidae	スズキ目 Order Perciformes
ヨウラクガイ亜科 Subfamily Ocenebrinae	スズキ亜目 Suborder Percoidei
ヒレガイ <i>Ceratosoma burnetti</i>	スズキ科 Family Moronidae
オウウヨウラク <i>Ceratosoma inornatus</i>	スズキ属 <i>Lateolabrax</i>
エソヨウラク <i>Ceratosoma inornatus endermonis</i>	ハタ科 Family Serranidae
チヂミボラ <i>Nucella lima</i>	ハタ科 Gen. et. sp. indet.
エソチヂミボラ <i>Nucella freycineti</i>	アジ科 Family Carangidae
レイシガイ亜科 Subfamily Rapaninae	アジ類 Gen. et. sp. indet.
レイシガイ <i>Thais(Reishia) bronni</i>	ブリ属 <i>Seriola</i> sp.
アカニシ <i>Rapana venosa</i>	タイ科 Family Sparidae
ムシロガイ科 Family Nassariidae	ヘダイ亜科 Subfamily Sparinae
アラムシロ <i>Reticunassa festiva</i>	クロダイ属 <i>Acanthopagrus</i>
ヒメムシロ <i>Reticunassa multigranosa</i>	マダイ亜科 Subfamily Pagrinae
クロスジムシロ <i>Reticunassa fratercula</i>	マダイ亜科 Gen. et. sp. indet.
エソバイ科? Family Buccinidae?	ウミタナゴ科
エソバイ類? Gen. et. sp. indet.	ウミタナゴ科 Gen. et. sp. indet.
有肺亜綱 Subclass Pulmonata	ハゼ亜目 Suborder Gobioidi
基眼目 Order Basommatophora	ハゼ科 Family Gobiidae
カラマツガイ科 Family Siphonariidae	ハゼ科 Gen. et. sp. indet.
カラマツガイ? <i>Siphonaria(Sacculosiphonaria) japonica?</i>	サバ亜目 Suborder Scombroidei
柄眼目 Order Sylommatophora	サバ科 Family Scombridae
キセルガイ科 Family Clausiliidae	サバ属 <i>Scomber</i>
キセルガイ類 Gen. et. sp. indet.	ソウダガツオ属 <i>Auxis</i>
ナタネガイ科 Family Punctidae	カツオ <i>Katsuwonus pelamis</i>
ハツラマイマイ <i>Discus pauper</i>	マグロ属 <i>Thunnus</i>
コハウガイ科 Family Zonitidae	カレイ目 Order Pleuronectiformes
コハウガイ科 Gen. et. sp. indet.	ヒラメ科 Family Paralichthyidae
ベッコウマイマイ科 Family Helicarionidae	ヒラメ <i>Paralichthys olivaceus</i>
ベッコウマイマイ類 Gen. et. sp. indet.	カレイ科 Family Pleuronectidae
二枚貝綱 Class Bivalvia	カレイ科 Gen. et. sp. indet.
翼形亜綱 Subclass Pteriomorpha	フグ目 Order Tetraodontiformes
フネガイ目 Order Arcoida	フグ亜目 Tetraodontoidei
フネガイ科 Family Arcoidae	フグ科 Family Tetraodonidae



第2表 検出動物分類群の一覧 (2)

コベルトフネガイ <i>Arca boucardi</i>	フグ科 Gen. et. sp. indet.
タマキガイ科 Family Glycymeridae	両生綱 Class Amphibia
ベンケイガイ <i>Glycymeris(Veletuceta) albolineata</i>	無尾目 Order Anura
タマキガイ <i>Glycymeris(Veletuceta) vestita</i>	カエル類 Gen. et. sp. indet.
イガイ目 Order Mytiloidea	爬虫綱 Class Reptilia
イガイ科 Family Mytilidae	有鱗目 Order Squamata
イガイ <i>Mytilus coruscus</i>	ヘビ亜目 Suborder Serpentes
ムラサキインコ <i>Septifer virgatus</i>	ヘビ類 Fam. et. gen. indet.
カキ目 Order Ostreoida	鳥綱 Class Aves
イタヤガイ亜目 Suborder Pectinina	スズメ目 Order Passeres
イタヤガイ科 Family Pectinidae	カラス科 Family Corvidae
アカザラガイ <i>Chlamys(Azumapecten) farreri akazara</i>	カラス類 Corvidae
ホタテガイ <i>Patinopecten yessoensis</i>	キジ目 Order Galliformes
イタヤガイ類 Gen. et. sp. indet.	キジ科 Family Phasianidae
カキ亜目 Suborder Ostreina	キジ <i>Phasianus colchicus</i>
ベッコウガキ科 Family Gryphaeidae	哺乳綱 Class Mammalia
ベッコウガキ? <i>Neopycnodonte cochlear?</i>	モグラ目(食虫目) Order Insectivora
イタボガキ科 Family Ostreidae	モグラ科 Family Talpidae
マガキ <i>Crassostrea gigas</i>	モグラ類 Fam. et. gen. indet.
イワガキ <i>Crassostrea nippona</i>	ヒメズ亜科 Subfamily Scalopiniae
異歯亜綱 Subclass Heterodonta	ヒメズ <i>Urotrichus talpoides</i>
マルスダレガイ目 Order Veneroidea	ウサギ目 Order Lagomorpha
ツキガイ科 Family Lucinidae	ウサギ科 Family Leporidae
ウメノハナガイ <i>Pillucina pisidium</i>	ノウサギ <i>Lepus brachyurus</i>
チリハギガイ科 Family Lasaeidae	ネズミ目(齧歯目) Order Rodentia
チリハギガイ <i>Lasaea undulata</i>	ネズミ科 Family Muridae
ザルガイ科 Family Cardiidae	ネズミ亜科 Subfamily Murinae
トリガイ <i>Fulvia mutica</i>	ネズミ亜科 Subfamily Murinae
バカガイ科 Family Mactridae	ハタネズミ亜科 Subfamily Arvicolinae
シオフキ? <i>Mactra veneriformis?</i>	ハタネズミ亜科 Subfamily Arvicolinae
ウバガイ(ホッキガイ) <i>Pseudocardium sachalinensis</i>	クジラ目 Order Cetacea
ミルクイ <i>Tresus keenae</i>	ハクジラ亜目 Suborder Odontoceti
チドリマスオ科 Family Mesodesmatidae	イルカ類 Fam. et. gen. indet.
クチバガイ <i>Coecella chinensis</i>	ネコ目(食肉目) Order Carnivora
ニッコウガイ科 Family Tellinidae	ネコ亜目 Suborder Fissipedia
ヒメシラトリ <i>Macoma incongrua</i>	ネコ科 Family Felidae
シラトリモドキ <i>Heteromacoma irus</i>	ネコ <i>Felis catus</i>
シオサザナミ科 Family Psammobiidae	イタチ科 Family Mustelidae
イソシジミ類 <i>Nuttallia</i> sp.	イタチ <i>Mustela itatsi</i>
マテガイ科 Family Solenidae	イヌ科 Family Canidae
マテガイ科 Gen. et. sp. indet.	イヌ <i>Canis familiaris</i>
フナガタガイ科 Trapezidae	タヌキ <i>Nyctereutes procyonoides</i>
ウネナシトマヤガイ <i>Trapezium liratum</i>	アシカ亜目 Suborder Pinnipedia
マルスダレガイ科 Family Veneridae	アシカ科 Family Otariidae
エソヌノメアサリ <i>Callithaca adamsi</i>	アシカ類 <i>Zalophus</i> sp.
カガミガイ類 Gen. et. sp. indet.	ウマ目(奇蹄目) Order Perissodactyla
アサリ <i>Ruditapes philippinarum</i>	ウマ科 Family Equidae
コタマガイ <i>Gomphina melanegis</i>	ウマ <i>Equus caballus</i>
マツカゼガイ <i>Irus mitis</i>	ウシ目(偶蹄目) Order Artiodactyla
ウチムラサキ <i>Saxidomus purpurata</i>	イノシシ科 Family Suidae
イワホリガイ科 Family Petricolidae	イノシシ属 <i>Sus</i>
チヂミイワホリガイ <i>Pseudovirus mirabilis</i>	シカ科 Family Cervidae
オオノガイ目 Order Myoidea	ニホンジカ <i>Cervus nippon</i>
オオノガイ亜目 Suborder Myoidea	ウシ科 Family Bovidae
オオノガイ科 Family Myidae	ウシ <i>Bos taurus</i>
オオノガイ <i>Mya arenaria oonogai</i>	

第3表 ウニ綱・多毛綱・腹足綱同定結果 (1)

		SI03	SI93	SK29	SK53	SX06	III C9j	SI29	SI48	SI105	SK99	SX08	SX09	SX10	SX11	IVB4j	SKI02	SX07	SX07?		
ウニ類	殻	破片数	68	-	290	-	-	-	-	-	-	44	7	195	361+	-	65	5153	128		
	殻(被熱)	破片数	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	多孔板	破片数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	中間骨	略完数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	
		破片数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	41	-	
	棘	破片数	121	-	11	-	-	-	-	-	-	-	10	4	241	27	-	2	1456	10	
	棘(被熱)	破片数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	
	ゴカイ類	殻	破片数	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-
	ユキノカサガイ	殻	破片数	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ヒメコザラ	殻	破片数	15	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
(ヒメコザラ型)	殻	破片数	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
ヒメコザラ(ツボミガイ型)	殻	略完数	108	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	殻(被熱)	略完数	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		破片数	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヒメコザラ?	殻	破片数	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
アオガイ	殻	破片数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
ユキノカサガイ科	殻	破片数	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
アワビ類	殻	破片数	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ミミガイ科	殻	破片数	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クボガイ	殻	略完数	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		破片数	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
コシダカガンガラ	殻	略完数	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	
	殻	破片数	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	4	-	
コシダカガンガラ?	殻	破片数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	
クボガイ/コシダカガンガラ類	殻	破片数	341	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	2	-	
イシダタミ	殻	略完数	23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	殻(被熱)	略完数	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	殻	破片数	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

第3表 ウニ綱・多毛綱・腹足綱同定結果(2)

			SI03	SI93	SK29	SK53	SX06	III C9j	SI29	SI48	SI105	SK99	SX08	SX09	SX10	SX11	IVB4j	SKT02	SX07	SX07?
キサゴ	殻	略完	2	1	-	-	739	2455	-	-	-	-	-	1	275	2	-	667	10390	-
	殻(被熱)	略完	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	破片	数	-	-	-	-	183	188	-	-	-	-	-	-	1134	84	-	139	49279	-
イボキサゴ	殻	略完	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	破片	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	破片	数	5	-	-	-	110	530	-	-	-	-	-	-	1575	975	4	283	多数	-
キサゴ類	殻	略完	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	破片	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	破片	重量g	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
サンショウガイ	殻	略完	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
	破片	数	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	破片	数	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
エゾサンショウ	殻	略完	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	破片	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	破片	数	78	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-
スガイ	殻	略完	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	破片	数	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	破片	数	7	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
スガイ?	殻	略完	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	破片	数	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	破片	数	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
アマガイ?	殻	略完	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	破片	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	破片	数	4291	-	189	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	41
ウミニナ	殻	略完	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	破片	数	214	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	破片	数	934	-	61	-	-	-	10	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
ホソウミニナ	殻	略完	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	破片	数	110	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	破片	数	261	-	4	-	-	-	29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
ウミニナ類	殻	略完	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	破片	数	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	破片	数	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ウミニナ類?	殻	略完	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	破片	数	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	103
	破片	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	95
タマキビ	殻	略完	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	破片	数	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	41
	破片	数	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16
クロタマキビ	殻	略完	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	破片	数	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	破片	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
カワザンショウ	殻	略完	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	破片	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	破片	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
ムカデガイ類	殻	略完	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	破片	数	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	破片	数	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ツメタガイ	殻	略完	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	破片	数	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-	-	1
	破片	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	8
ツメタガイ?	殻	略完	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	破片	数	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	破片	数	3	-	2	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
エゾタマガイ	殻	略完	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	破片	数	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	63
	破片	数	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	31
エゾタマガイ?	殻	略完	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	破片	数	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	破片	数	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
エゾタマガイ?	殻	略完	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	破片	数	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	破片	数	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
タマガイ科	殻	略完	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	破片	数	35	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	3	2	-	85
	破片	数	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヒレガイ	殻	略完	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	破片	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	破片	数	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
ヒレガイ?	殻	略完	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	破片	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	破片	数	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
オウヨウラク?	殻	略完	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	破片	数	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	破片	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヒレガイ類	殻	略完	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	破片	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	破片	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
エゾヨウラク	殻	略完	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	破片	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	破片	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
チヂミボラ	殻	略完	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	破片	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	破片	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
エゾチヂミボラ	殻	略完	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	破片	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	破片	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	87
エゾチヂミボラ?	殻	略完	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	破片	数	-	-	-	-	-													

4 動物遺存体の分析

第4表 二枚貝綱・顎脚綱・軟甲綱同定結果(1)

				SI03	SK29	SK53	SK93	SX06	III C9j	SI29	SI33	SI48	SI105	SK99	SX08	SX09	SX10	SX11	III C8d	IV B4j	SKI02	SX07	SX07?
コベルトフネガイ	左殻	破片	数	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	右殻	破片	数	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
バンケイガイ	右殻	破片	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	右殻	破片	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
タマキガイ	右殻	破片	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	右殻	破片	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
イガイ	左殻	破片	数	8	-	-	-	-	-	31	1	26	2	18	-	-	174	30	-	2	27	653	7
	左殻(被熱)	破片	数	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-
イガイ	右殻	破片	数	11	-	-	-	-	-	34	-	19	1	5	-	1	183	30	-	-	19	622	7
	右殻(被熱)	破片	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
ムラサキインコ	左殻	略完	数	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1138	9
	左殻	破片	数	115	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2	-
ムラサキインコ?	左殻(被熱)	破片	数	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	右殻	略完	数	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ムラサキインコ?	右殻	破片	数	108	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	右殻(被熱)	破片	数	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ムラサキインコ?	左殻	略完	数	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	左殻	破片	数	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
イガイ科	左殻	破片	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-
	右殻	破片	数	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
アカザラガイ	合殻	略完	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	左殻	略完	数	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-
ホタテガイ	左殻	破片	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	右殻	略完	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	54	-
ホタテガイ?	右殻	破片	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27	-	-	-	-	3	-
	右殻	略完	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	31	2	-	-	-	27	-
ホタテガイ?	右殻	破片	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1443.4	1
	右殻	破片	重量g 推定数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	570
ホタテガイ?	左殻	破片	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-
	右殻	破片	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
イタヤガイ類	左殻	破片	数	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	右殻	破片	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マガキ	左殻	略完	数	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	右殻	破片	数	21	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
マガキ?	右殻	破片	数	16	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-
	右殻	略完	数	25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	41	-
イワガキ	左殻	破片	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	右殻	破片	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
イワガキ	左殻	略完	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	右殻	破片	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
イタボガキ科	左殻	破片	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	右殻	破片	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1
イタボガキ科?	左殻	破片	数	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	右殻	破片	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ベッコウガイ?	左殻	破片	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	右殻	破片	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
ウメノハナガイ	合殻	略完	数	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	左殻	破片	数	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
チリハギガイ	左殻	略完	数	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	右殻	破片	数	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
トリガイ	左殻	略完	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
	右殻	破片	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ザルガイ科	左殻	破片	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-
	右殻	破片	数	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	5	-
シオフキ?	左殻	破片	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	右殻	破片	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
ミルクイ	左殻	破片	数	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-
	右殻	略完	数	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ミルクイ?	左殻	破片	数	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-
	右殻	破片	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	1	-
バカガイ科	左殻	破片	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	右殻	破片	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	71
クチバガイ	合殻	略完	数	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	57
	左殻	略完	数	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
ヒメシラトリ	左殻	略完	数	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	右殻	略完	数	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
ヒメシラトリ	左殻	略完	数	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	53
	右殻	略完	数	598	331	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヒメシラトリ	左殻	破片	数	1974	524	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	右殻	略完	数	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヒメシラトリ	右殻	略完	数	953	394	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	右殻	破片	数	1870	488	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヒメシラトリ	右殻(被熱)	破片	数	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	左殻	略完	数	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
シラトリモドキ	左殻	略完	数	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	47
	左殻	破片	数	26	-	-	-	1	-</														







4 動物遺存体の分析

第5表 軟骨魚綱・硬骨魚綱同定結果（3）

			被 熟	C M	切 断	SI03	SI111	SK29	SK93	SX06	III C9j	SI48	SI87	SI105	SK99	SX08	SX09	SX10	SX11	IV B4j	SK102	SX07	SX07?		
ウミタナゴ科	破片	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	
	左舌顎骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	右舌顎骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	左上舌骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	
	左肩甲骨	略完				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	
	破片	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	
	右肩甲骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	
	左上擬鎖骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	
	右上擬鎖骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	
	左後側頭骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	
	右後側頭骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	
	下咽頭骨	略完				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22	-	
	破片	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	34	-	
	尾舌骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	
	第1椎骨	略完				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	
	第1椎骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	
	第2椎骨	略完				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21	-	
	破片	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	
	破片	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	第3椎骨	略完				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	腹椎	略完				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	
	腹椎	略完				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	139	-	
	破片	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	67	2	
	破片	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	
	破片	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	尾椎	略完				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	177	-	
	破片	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	73	-	
	破片	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
破片	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-		
ウミタナゴ科？	鋤骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	左前上顎骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	
	破片	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-		
	右前上顎骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	
	左上上顎骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	右上上顎骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	
	右歯骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	左方骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	左主鰓蓋骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	左肩甲骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	右肩甲骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	右上擬鎖骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	下咽頭骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	
	右主鰓蓋骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	第1椎骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	破片	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	腹椎	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	
	破片	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	尾椎	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	
	破片	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	
	ハゼ科 サバ属	腹椎	略完				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
		右前上顎骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
前上顎骨		破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
左上上顎骨		破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
右上上顎骨		破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
左歯骨		破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	
右歯骨		破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
左方骨		略完				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
破片		破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
右方骨		破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
左舌顎骨		破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
腹椎		略完				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	
破片		破片				-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	
尾椎		略完				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	-	
破片		破片				-	-	27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	-	
破片		破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	
サバ属？		左前上顎骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	前上顎骨 / 歯骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	右肩甲骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	
	腹椎	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	
尾椎	破片				-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-		
ソウダガツオ属	尾椎	略完				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	破片	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	
カツオ属	破片	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	左主上顎骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	
	右歯骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	右肩甲骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	腹椎	略完				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	
	破片	破片				-	-	-																	

第5表 軟骨魚綱・硬骨魚綱同定結果(4)

		被 熱 M	C 切 斷	S103	SI111	SK29	SK93	SX06	III C9j	SI48	SI87	SI105	SK99	SX08	SX09	SX10	SX11	IVB4j	SKI02	SX07	SX07?		
				カツオ属?	尾鳍椎前椎体	破片	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マグロ類	右?前上顎骨?	破片		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	右主上顎骨	破片		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3+	-	
	左歯骨	破片		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	
	右歯骨	破片		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	
	前上顎骨/歯骨	破片		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	6	-	
	左角骨	破片		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
	右角骨	破片	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	右?角骨?	破片		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	左方骨	破片		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
	右方骨	破片		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	
	左前鰓蓋骨	破片		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1+	-	
	右?主鰓蓋骨	破片		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	
	肩甲骨	破片		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
	腹椎	略完(大)			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1	-	-	-	-	-
		略完(中)			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	23	-	-	-	-	-
		略完(小)			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-
		略完			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	-
		破片			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	1	-	-	-	6	-
	尾椎	略完(特大)			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
		略完(大)			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	38	3	-	-	-	-	-
		略完(中)			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	132	-	-	-	-	-
		略完(小)			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	34	-	-	-	-	-
		略完			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	91	-
	破片	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	
	破片	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	15	15	-	-	69	-	
	椎骨	破片	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	21	26	-	-	62	-	
	尾鳍椎前椎体	略完	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	30	-	-	7	-	-
		破片			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	-	-	32	-	-
破片		○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-		
終尾椎	略完	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	
	破片			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	12	-	-	
不明	破片		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	80+	-		
マグロ類?	前上顎骨	破片		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	
	副蝶形骨	破片		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	前上顎骨/歯骨	破片		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28	-	
	肩甲骨	破片		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	
	肩甲骨?	破片		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	椎骨	破片		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	722	-	-	
	終尾椎	破片		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-		
	鱗棘等	破片		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
不明	破片		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24	-		
マグロ類/カツオ属	尾椎	略完		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	尾鳍椎前椎体	破片		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
ヒラメ	第1椎骨	略完		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	
	尾椎	略完		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
ヒラメ?	尾椎	略完		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
カレイ科	腹椎	略完		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	
	尾椎	略完	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
カレイ科?	腹椎	破片	○	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
フグ科	右前上顎骨	破片		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	
	左歯骨	略完		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	右歯骨	破片		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	前上顎骨/歯骨	破片	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	歯骨	破片		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	
魚類	上篩骨	破片		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	副蝶形骨	破片		-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	26	-	-	
	副蝶形骨?	破片	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	左前上顎骨	破片		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-	-	5	-	
	右前上顎骨	破片		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	8	-	
	前上顎骨	破片		-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	12	-	
	破片			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	
	破片	○		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	
	左主上顎骨	破片		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	
	右主上顎骨	破片		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	主上顎骨	破片		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	
	左歯骨	破片		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	右歯骨	破片		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	歯骨	破片		-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	前上顎骨/歯骨	破片		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	24	-	
	歯骨	破片	○		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	
	歯牙	破片		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-
	右口蓋骨	破片		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
口蓋骨	破片		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	
口蓋骨?	破片		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
右角骨	破片		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		



4 動物遺存体の分析

第5表 軟骨魚綱・硬骨魚綱同定結果 (5)

魚類	部位	状態	被	C	切	SI03	SI111	SK29	SK93	SX06	III C9j	SI48	SI87	SI105	SK99	SX08	SX09	SX10	SX11	IVB4j	SKI02	SX07	SX07?		
			熱	M	断																				
魚類	左方骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	
	方骨?	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	左舌顎骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	左角舌骨	破片				-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	角舌骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-
	左上舌骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
				○			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	右上舌骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-
	上舌骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-
	舌顎骨	破片				-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	前鰓蓋骨	破片				-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-
				○			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	前鰓蓋骨?	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-
	左主鰓蓋骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	右主鰓蓋骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
	主鰓蓋骨	破片				-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	4	-
	主鰓蓋骨?	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
	擬鎖骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-
	肩甲骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	4	-
	左上擬鎖骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	後側頭骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	後側頭骨?	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
	基底後枕骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	下咽頭骨	破片				-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	咽頭骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	60	-
				○			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	咽頭骨?	破片				-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
	尾舌骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-
	鰓弓部	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33	-
	第1椎骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
				○			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	腹椎	略完	○			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
		破片				2	-	4	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	15	-
				○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30	1
	尾椎	略完				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-
		破片				1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	2	-	-	-	18	-
				○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	31	-
	椎骨	破片				4	-	17	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	58	23	4	-	554	-
				○		1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	-	-	-	148	-
	下尾骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
尾部棒状骨	破片				-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
終尾椎	略完				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	
			○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	
	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	-	
			○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	
鱗	破片				-	-	1	6	-	-	1	-	-	-	-	-	-	65	299+	-	-	-	2103	-	
鱗棘等	破片				4	-	94	14	-	-	41	-	1	-	56	4	1197+	2063+	-	-	-	13963	13		
			○		-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	399	-	
			○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	45	-	
			○		1	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	3	-	-	-	3	-	
			○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	
不明	破片				-	-	231	-	2	9	0.3g	-	0.0g	0.7g	4.8g	-	75.5g	35.6g	-	1	543	0.4g	-		
			○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	
			○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	
			○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
			○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	

第6表 両生綱・爬虫綱・鳥綱同定結果

			被熱	C	切斷	SK29	SI48	SX10	SX11	SX07											
			被熱	C	切斷	SK29	SI48	SX10	SX11	SX07	SK29	SI48	SX10	SX11	SX07						
カエル類	椎骨	略完				-	-	-	-	1	鳥類	椎骨	破片						1	5	
	尾骨	破片				-	-	-	-	1		複合仙骨	破片								3
	右肩甲骨	破片				-	-	-	-	2		尾椎	略完								1
	左上腕骨	破片				-	-	-	-	5		破片									5
	右上腕骨	破片				-	-	-	-	6		胸骨	破片								1
	左橈尺骨	略完				-	-	-	-	1		左上腕骨	遠位端片			1					
	破片									2		両端欠									1
	右橈尺骨	破片				1	-	-	-	-			右上腕骨	両端欠							1
	脛腓骨	破片				1	-	-	-	-			上腕骨	破片							1
	破片					-	-	-	-	1		左尺骨	破片								1
ヘビ類	椎骨	略完				-	-	1	-	29	左?脛足根骨	破片								1	
破片					-	-	-	-	2	脛足根骨	破片									1	
カラス類	左鳥口骨	破片				-	-	-	1	1	右足根中足骨	破片									2
	右鳥口骨	破片				-	-	-	1	-	足根中足骨	破片	○								1
	右肩甲骨	破片				-	-	-	1	-	四肢骨	破片								1	23
	左大腿骨	破片				-	-	-	1	-	基節骨	略完									1
	右大腿骨	略完				-	-	-	1	1	破片										1
	左脛足根骨	両端欠				-	-	-	1	-	中節骨	略完									1
	右脛足根骨	近位端欠				-	-	-	1	-	末節骨	略完									1
	左足根中足骨	遠位端欠				-	-	-	1	-	不明	破片									23+
	右足根中足骨	近位端欠				-	-	-	1	-	鳥類?	四肢骨	破片								1
	カラス類?	右脛足根骨	破片				-	-	-	1	-	四肢骨?	破片								1
キジ類	左脛足根骨	破片				-	-	-	1	-	不明	破片									0.2g
鳥類	頸椎	破片				1	-	-	-	-											

第7表 哺乳綱同定結果 (1) 1/2

			被熱	C	切斷	SI03	SI40	SI58	SI72	SI75	SI84	SI85	SI102	SI103	SI104	SI111	SI115	SK29	SK147	SX06	III C9	SI29	SI33	SI48	SI74	SI87	
イヌ	頭蓋骨	破片																	16								
	左上顎骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1								
	右上顎骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1								
	上顎骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1								
	左上顎第2後臼歯	略完				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1								
	左下顎骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3								
	右下顎骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2								
	左下顎第2前臼歯	略完				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1								
	歯牙	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3								
	第1頸椎	略完				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1								
	第2頸椎	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1								
	頸椎	略完				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1								
	破片					-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1								
	腰椎	略完				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1								
	椎骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3								
	仙骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1								
	尾椎	略完				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1								
	肋骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1								
	左上腕骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1								
	右上腕骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1								
	左橈尺骨	略完				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1								
	破片					-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1								
	右橈尺骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1								
	左尺骨	遠位端欠				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1								
	右尺骨	遠位端欠				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2+								
	左第3中手骨	略完				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1								
	左第4中手骨	略完				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1								
	左大腿骨	略完				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1								
	破片					-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1								
	左脛骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1								
アシカ類	右上腕骨	略完				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							1			
左橈尺骨	遠位端欠				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							1			
海獣類?	不明				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							1			
ウマ	左上顎第1後臼歯	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-								1		
イノシシ属	中手骨/中足骨	近位端片	○			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-									3	
	基節骨	近位端片	○			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-									2	
	2/5中節骨	略完	○			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-									1	
	中節骨	略完	○			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-									3
	基節骨/中節骨	遠位端	○			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-									2
	末節骨	略完	○			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-									1
	中節骨?	近位端片	○			-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-									
イノシシ属?	末節骨	遠位端	○			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-										1
	破片		○			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-										3
	基節骨/中節骨	遠位端片	○			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-										3
	中節骨/末節骨	近位端片	○			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-										5
	ニホンジカ	角	角層部			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							1+		
破片			○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-										1	
			○	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-											
左上顎第1後臼歯	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1+									
右下顎骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							1			
右下顎後臼歯	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							1			
椎骨	椎体																										





4 動物遺存体の分析

第7表 哺乳綱同定結果 (2) 3/3

			被熱	C	切	SI105	SK93	SK99	SX08	SX09	SX10	SX11	III C8d	IV B3j	IV B4j	IV C2f	IV C4a	IV C5a	IV C5b	IV C6f	IV C6g	IV C8e	IV D2a	SKI02	SX07	SX07?			
ニホンジカ	中足骨	破片		○	○	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-		
		破片				-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	中手骨 / 中足骨	破片				1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	
		破片				-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	右果骨	破片	○			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	左踵骨	略完				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	種子骨	破片	○			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	
	基節骨	略完				2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	
	末節骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	第2/5末節骨	略完	○			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
ニホンジカ?	歯牙	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	右?肩甲骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	上腕骨?	近位端破片?				1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	腕骨?	近位端?				1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	右寛骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	大腿骨	遠位端片				1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	右距骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ウシ	左上顎第2後臼歯	破片				-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
ウマ / ウシ	腰椎	破片	○			-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
鳥類 / 小型獣類	中節骨	略完				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
小型獣類	不明	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	
	頭蓋骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	左右上顎骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	胸椎	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	
	椎骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	
	腰椎	破損				-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		破片				-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	左寛骨	破片				-	-	-	-	-	-	1+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	四肢骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	距骨?	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
小型獣類	基節骨	近位端				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	基節骨 / 中節骨	遠位端				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
小型獣類?	中手骨 / 中足骨?	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
大型獣類	上顎骨 / 下顎骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	
	歯牙	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	頸椎	破片				-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	左上腕骨	両端欠遠位端	○	○		-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	四肢骨	破片				-	-	-	-	-	-	100+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	末節骨	破片				1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	獣類	頭蓋骨	破片				-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-
		頭蓋骨?	破片	○			1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		下顎骨?	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
		門歯	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
歯牙		破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	
		破片	○			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
椎骨		破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	
		破片	○			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
椎骨 (加工品?)		破片				-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
仙骨?		破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
尾椎		略完				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	
肋骨		破片				-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10	-	
肋骨?		破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	
腕骨?		破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
腕骨?		近位端?				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
寛骨?		破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
四肢骨		破片				6	-	1	2	-	12	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	32		
		破片	○			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17+	-	
		破片	○			-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-
		破片	○			-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
肋骨 / 四肢骨	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	
指骨	遠位端破片	○			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	
不明	破片				98.3g	-	0.1g	4.5g	-	39.9g	3.2g	-	-	3.5g	0.5	-	-	1.6	0.7	-	-	-	-	5	54.6g	0.3			
	破片	○			29.5	-	-	-	-	1.4	0.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14.5	-		
	破片	○			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12.4	-	
大型獣類	不明 (加工品)	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
獣類?	歯牙?	破片				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
不明	不明																												

第8表 ヒメシラトリ・シラトリモドキ計測結果

ヒメシラトリ SI03											
左殻											
殻高	殻長	1.0以上～ 1.5未満	1.5以上～ 2.0未満	2.0以上～ 2.5未満	2.5以上～ 3.0未満	3.0以上～ 3.5未満	3.5以上～ 4.0未満	4.0以上～ 4.5未満	4.5以上～ 5.0未満	5.0以上	合計
0.5以上～1.0未満											0
1.0以上～1.5未満			1								1
1.5以上～2.0未満				48	2						50
2.0以上～2.5未満				18	229	9					256
2.5以上～3.0未満					69	122	1				192
3.0以上～3.5未満						1					1
3.5以上～4.0未満											0
合計		0	1	66	300	132	1	0	0	0	500
右殻											
殻高	殻長	1.0以上～ 1.5未満	1.5以上～ 2.0未満	2.0以上～ 2.5未満	2.5以上～ 3.0未満	3.0以上～ 3.5未満	3.5以上～ 4.0未満	4.0以上～ 4.5未満	4.5以上～ 5.0未満	5.0以上	合計
0.5以上～1.0未満											0
1.0以上～1.5未満			1								1
1.5以上～2.0未満			8	94	2						104
2.0以上～2.5未満				63	352	9					424
2.5以上～3.0未満					118	110	1				229
3.0以上～3.5未満						1					1
3.5以上～4.0未満											0
合計		0	9	157	472	120	1	0	0	0	759

ヒメシラトリ SK29											
左殻											
殻高	殻長	1.0以上～ 1.5未満	1.5以上～ 2.0未満	2.0以上～ 2.5未満	2.5以上～ 3.0未満	3.0以上～ 3.5未満	3.5以上～ 4.0未満	4.0以上～ 4.5未満	4.5以上～ 5.0未満	5.0以上	合計
0.5以上～1.0未満											0
1.0以上～1.5未満			7								7
1.5以上～2.0未満			9	120	19						148
2.0以上～2.5未満				9	113	24					146
2.5以上～3.0未満						15	3				18
3.0以上～3.5未満											0
3.5以上～4.0未満											0
合計		0	16	129	132	39	3	0	0	0	319
右殻											
殻高	殻長	1.0以上～ 1.5未満	1.5以上～ 2.0未満	2.0以上～ 2.5未満	2.5以上～ 3.0未満	3.0以上～ 3.5未満	3.5以上～ 4.0未満	4.0以上～ 4.5未満	4.5以上～ 5.0未満	5.0以上	合計
0.5以上～1.0未満											0
1.0以上～1.5未満			8								8
1.5以上～2.0未満			11	151	15						177
2.0以上～2.5未満				20	128	15					163
2.5以上～3.0未満				1	27	4					32
3.0以上～3.5未満											0
3.5以上～4.0未満											0
合計		0	19	172	170	19	0	0	0	0	380

シラトリモドキ SX07											
左殻											
殻高	殻長	1.0以上～ 1.5未満	1.5以上～ 2.0未満	2.0以上～ 2.5未満	2.5以上～ 3.0未満	3.0以上～ 3.5未満	3.5以上～ 4.0未満	4.0以上～ 4.5未満	4.5以上～ 5.0未満	5.0以上	合計
0.5以上～1.0未満											0
1.0以上～1.5未満											0
1.5以上～2.0未満											0
2.0以上～2.5未満					7	4					11
2.5以上～3.0未満					1	32	2				35
3.0以上～3.5未満							1				1
3.5以上～4.0未満											0
合計		0	0	0	8	36	3	0	0	0	47
右殻											
殻高	殻長	1.0以上～ 1.5未満	1.5以上～ 2.0未満	2.0以上～ 2.5未満	2.5以上～ 3.0未満	3.0以上～ 3.5未満	3.5以上～ 4.0未満	4.0以上～ 4.5未満	4.5以上～ 5.0未満	5.0以上	合計
0.5以上～1.0未満											0
1.0以上～1.5未満											0
1.5以上～2.0未満					2						2
2.0以上～2.5未満					16	20					36
2.5以上～3.0未満					2	54	6				62
3.0以上～3.5未満											0
3.5以上～4.0未満											0
合計		0	0	0	20	74	6	0	0	0	100

4 動物遺存体の分析

第9表 アサリ計測結果(1)

アサリ SI03											
左殻											
殻高	殻長	1.0以上～ 1.5未満	1.5以上～ 2.0未満	2.0以上～ 2.5未満	2.5以上～ 3.0未満	3.0以上～ 3.5未満	3.5以上～ 4.0未満	4.0以上～ 4.5未満	4.5以上～ 5.0未満	5.0以上	合計
0.5以上～1.0未満											0
1.0以上～1.5未満			16	15							31
1.5以上～2.0未満			9	461	456	1					927
2.0以上～2.5未満				5	534	453	23				1015
2.5以上～3.0未満					2	62	156	18			238
3.0以上～3.5未満							4	15	4		23
3.5以上～4.0未満											0
4.0以上											0
合計		0	25	481	992	516	183	33	4	0	2234
右殻											
殻高	殻長	1.0以上～ 1.5未満	1.5以上～ 2.0未満	2.0以上～ 2.5未満	2.5以上～ 3.0未満	3.0以上～ 3.5未満	3.5以上～ 4.0未満	4.0以上～ 4.5未満	4.5以上～ 5.0未満	5.0以上	合計
0.5以上～1.0未満											0
1.0以上～1.5未満			22	14							36
1.5以上～2.0未満			4	541	309	1					855
2.0以上～2.5未満			1	5	500	455	40				1001
2.5以上～3.0未満					2	55	159	13			229
3.0以上～3.5未満							2	8	1		11
3.5以上～4.0未満											0
4.0以上											0
合計		0	27	560	811	511	201	21	1	0	2132
アサリ SK29											
左殻											
殻高	殻長	1.0以上～ 1.5未満	1.5以上～ 2.0未満	2.0以上～ 2.5未満	2.5以上～ 3.0未満	3.0以上～ 3.5未満	3.5以上～ 4.0未満	4.0以上～ 4.5未満	4.5以上～ 5.0未満	5.0以上	合計
0.5以上～1.0未満											0
1.0以上～1.5未満				2							2
1.5以上～2.0未満				33	39						72
2.0以上～2.5未満					26	53	1				80
2.5以上～3.0未満						3	18	5			26
3.0以上～3.5未満									1		1
3.5以上～4.0未満											0
4.0以上											0
合計		0	0	35	65	56	19	5	1	0	181
右殻											
殻高	殻長	1.0以上～ 1.5未満	1.5以上～ 2.0未満	2.0以上～ 2.5未満	2.5以上～ 3.0未満	3.0以上～ 3.5未満	3.5以上～ 4.0未満	4.0以上～ 4.5未満	4.5以上～ 5.0未満	5.0以上	合計
0.5以上～1.0未満											0
1.0以上～1.5未満				2	0						2
1.5以上～2.0未満				20	37	1					58
2.0以上～2.5未満					13	36	2				51
2.5以上～3.0未満						1	11	7			19
3.0以上～3.5未満								2	1		3
3.5以上～4.0未満											0
4.0以上											0
合計		0	0	22	50	38	13	9	1	0	133
アサリ SK102											
左殻											
殻高	殻長	1.0以上～ 1.5未満	1.5以上～ 2.0未満	2.0以上～ 2.5未満	2.5以上～ 3.0未満	3.0以上～ 3.5未満	3.5以上～ 4.0未満	4.0以上～ 4.5未満	4.5以上～ 5.0未満	5.0以上	合計
0.5以上～1.0未満											0
1.0以上～1.5未満											0
1.5以上～2.0未満				3	5						8
2.0以上～2.5未満					11	23	2				36
2.5以上～3.0未満					1	7	9				17
3.0以上～3.5未満								2	2	1	5
3.5以上～4.0未満											0
4.0以上											0
合計		0	0	3	17	30	11	2	2	1	66
右殻											
殻高	殻長	1.0以上～ 1.5未満	1.5以上～ 2.0未満	2.0以上～ 2.5未満	2.5以上～ 3.0未満	3.0以上～ 3.5未満	3.5以上～ 4.0未満	4.0以上～ 4.5未満	4.5以上～ 5.0未満	5.0以上	合計
0.5以上～1.0未満											0
1.0以上～1.5未満											0
1.5以上～2.0未満				5	5						10
2.0以上～2.5未満					12	28					40
2.5以上～3.0未満						14	12				26
3.0以上～3.5未満							1	1			2
3.5以上～4.0未満									1		1
4.0以上											0
合計		0	0	5	17	42	13	1	1	0	79

第9表 アサリ計測結果(2)

アサリ SX10											
左殻											
殻高	殻長	1.0以上～ 1.5未満	1.5以上～ 2.0未満	2.0以上～ 2.5未満	2.5以上～ 3.0未満	3.0以上～ 3.5未満	3.5以上～ 4.0未満	4.0以上～ 4.5未満	4.5以上～ 5.0未満	5.0以上	合計
0.5以上～1.0未満											0
1.0以上～1.5未満			1	3							4
1.5以上～2.0未満				7	6						13
2.0以上～2.5未満					20	22					42
2.5以上～3.0未満						33	2				35
3.0以上～3.5未満						5					5
3.5以上～4.0未満											0
4.0以上											0
合計		0	1	10	26	60	2	0	0	0	99
右殻											
殻高	殻長	1.0以上～ 1.5未満	1.5以上～ 2.0未満	2.0以上～ 2.5未満	2.5以上～ 3.0未満	3.0以上～ 3.5未満	3.5以上～ 4.0未満	4.0以上～ 4.5未満	4.5以上～ 5.0未満	5.0以上	合計
0.5以上～1.0未満											0
1.0以上～1.5未満											0
1.5以上～2.0未満				7	8						15
2.0以上～2.5未満					32	11					43
2.5以上～3.0未満						28	12				40
3.0以上～3.5未満							2	4			6
3.5以上～4.0未満									1		1
4.0以上											0
合計		0	0	7	40	39	14	4	1	0	105
アサリ SX11											
左殻											
殻高	殻長	1.0以上～ 1.5未満	1.5以上～ 2.0未満	2.0以上～ 2.5未満	2.5以上～ 3.0未満	3.0以上～ 3.5未満	3.5以上～ 4.0未満	4.0以上～ 4.5未満	4.5以上～ 5.0未満	5.0以上	合計
0.5以上～1.0未満											0
1.0以上～1.5未満											0
1.5以上～2.0未満			1	10	1						12
2.0以上～2.5未満					11	19					30
2.5以上～3.0未満						8	6	2			16
3.0以上～3.5未満							2	7	1		10
3.5以上～4.0未満									2		2
4.0以上											0
合計		0	1	10	12	27	8	9	3	0	70
右殻											
殻高	殻長	1.0以上～ 1.5未満	1.5以上～ 2.0未満	2.0以上～ 2.5未満	2.5以上～ 3.0未満	3.0以上～ 3.5未満	3.5以上～ 4.0未満	4.0以上～ 4.5未満	4.5以上～ 5.0未満	5.0以上	合計
0.5以上～1.0未満											0
1.0以上～1.5未満											0
1.5以上～2.0未満				9	3						12
2.0以上～2.5未満					16	15					31
2.5以上～3.0未満						14	8				22
3.0以上～3.5未満							2	8	1		11
3.5以上～4.0未満								1			1
4.0以上											0
合計		0	0	9	19	29	10	9	1	0	77
アサリ SX07											
左殻											
殻高	殻長	1.0以上～ 1.5未満	1.5以上～ 2.0未満	2.0以上～ 2.5未満	2.5以上～ 3.0未満	3.0以上～ 3.5未満	3.5以上～ 4.0未満	4.0以上～ 4.5未満	4.5以上～ 5.0未満	5.0以上	合計
0.5以上～1.0未満		1									1
1.0以上～1.5未満		1	6	2							9
1.5以上～2.0未満			7	84	37						128
2.0以上～2.5未満				1	186	147	2	1			337
2.5以上～3.0未満					1	114	130	10			255
3.0以上～3.5未満							16	55	9		80
3.5以上～4.0未満								3	6	5	14
4.0以上										1	1
合計		2	13	87	224	261	148	69	15	6	825
右殻											
殻高	殻長	1.0以上～ 1.5未満	1.5以上～ 2.0未満	2.0以上～ 2.5未満	2.5以上～ 3.0未満	3.0以上～ 3.5未満	3.5以上～ 4.0未満	4.0以上～ 4.5未満	4.5以上～ 5.0未満	5.0以上	合計
0.5以上～1.0未満											0
1.0以上～1.5未満			9								9
1.5以上～2.0未満			2	74	49						125
2.0以上～2.5未満				3	193	112	1				309
2.5以上～3.0未満					1	123	115	4			243
3.0以上～3.5未満						3	26	39	3		71
3.5以上～4.0未満								2	8	1	11
4.0以上										2	2
合計		0	11	77	243	238	142	45	11	3	770



## 4 動物遺存体の分析

第10表 貝類計測値 (シラトリモドキ・アサリ以外)

単位 (mm)

番号	出土地点	種類	左右	殻長	殻高
貝 No.22	SX10	ツメタガイ	-	30.49	-
貝 No.46	SX11	ツメタガイ	-	42.49	-
貝 No.22	SX10	レイシガイ	-	37.99	-
貝 No.46	SX11	アカザラガイ	左右	48.92	57.61
貝 No.135	SX07	ホタテガイ	左	105.09	105.35
貝 No.155	SX07	ホタテガイ	左	97.40	98.96
貝 No.155	SX07	ホタテガイ	右	78.90	81.38
貝 No.187	SX07	ホタテガイ	右	111.18	109.35
貝 No.187	SX07	ホタテガイ	右	110.48	103.44
貝 No.346	SX07-4	ホタテガイ	左	140.90	134.64
貝 No.346	SX07-4	ホタテガイ	左	138.42	133.88
貝 No.346	SX07-4	ホタテガイ	左	101.44	95.89
貝 No.23	SX10	ホタテガイ	左	77.32	65.77
貝 No.32	SX10	ホタテガイ	右	-	>142
貝 No.34	SX10	ホタテガイ	左	-	>125
貝 No.38	SX10	ホタテガイ	左	-	>145
貝 No.135	SX07	イソシジミ類	左	46.56	36.78
貝 No.160	SX07	イソシジミ類	左	42.72	33.64
貝 No.160	SX07	イソシジミ類	左	40.88	34.08
貝 No.160	SX07	イソシジミ類	左	35.11	29.15
貝 No.160	SX07	イソシジミ類	右	43.71	31.82
貝 No.160	SX07	イソシジミ類	右	43.42	37.13
貝 No.281	SX07-2 ②	イソシジミ類	左	43.78	32.91
貝 No.281	SX07-2 ②	イソシジミ類	左	43.19	32.44
貝 No.316	SX07-3 ②	イソシジミ類	右	45.14	36.29
貝 No.316	SX07-3 ②	イソシジミ類	右	39.58	32.09
貝 No.29	SX10	イソシジミ類	左	40.24	31.83
貝 No.351	SX07-4 ②	ウチムラサキ	右	96.39	73.45
貝 No.318	SX07-3 ②	コタマガイ	右	56.19	43.25
貝 No.46	SX11	エゾヌノメアサリ	左右	37.95	30.99
貝 No.111	SX07	オオノガイ	右	90.56	58.47
貝 No.153	SX07	オオノガイ	左	100.74	64.12
貝 No.154	SX07	オオノガイ	左	33.76	26.95
貝 No.154	SX07	オオノガイ	左	30.95	25.68
貝 No.154	SX07	オオノガイ	左	30.88	23.51
貝 No.154	SX07	オオノガイ	右	32.69	26.53
貝 No.154	SX07	オオノガイ	右	30.30	23.88
貝 No.154	SX07	オオノガイ	右	30.22	23.65
貝 No.154	SX07	オオノガイ	右	26.31	21.69
貝 No.168	SX07	オオノガイ	左	106 ±	66.61
貝 No.254	SX07-2 ②	オオノガイ	左	93.00	59.61
貝 No.316	SX07-3 ②	オオノガイ	右	98.96	60.10
貝 No.318	SX07-3 ②	オオノガイ	右	103.67	63.01
貝 No.20	SX10	オオノガイ	右	95.15	61.56
貝 No.49	SX11	オオノガイ	左	99 ±	62.59
貝 No.56	SX11	オオノガイ	右	87 ±	57 ±
貝 No.56	SX11	オオノガイ	右	108 ±	65 ±

第11表 イヌ計測値

単位 (mm)

			SK29		IV C8e	
			貝ブロック b			
			骨試料 24		骨試料 139	
			左	右	左	右
脳頭蓋	46	吻幅犬歯部		-	35.22	
	64	吻長 1 (P-Oo)	-	-	-	85.28
	65	吻長 1 (P-If)	-	-	-	64.28
	146	後頭三角斜高 (I-Ot)	-	-	-	51.35
	147	後頭三角高 (I-O)	-	-	34.47	
	148	後頭三角最大高 (I-B)	-	-	51.01	
	149	後頭孔最大幅	-	-	19.57	
	150	後頭孔最大高	-	-	14.98	
上顎歯牙	59	上顎臼歯列全長	-	-	-	66.20
	60	上顎前臼歯列全長	-	-	-	30.73
	61	上顎後臼歯列全長	-	-	-	34.85
下顎骨	1	下顎骨全長 1 (id-goc)	-	-	131.74	-
	2	下顎骨全長 2 (id-Cm)	-	-	140.50	142.67
	4	下顎より P1 前縁までの距離 (goc-P1al 前)	-	-	110.87	-
	5	下顎体長 (M3al 後縁-id)	-	-	95.14	98.28
	6	下顎枝長 (Cm-M3al 後縁)	-	-	43.59	44.42
	7	下顎枝高 1 (gov-cr)	-	-	48.02	-
	8	下顎枝高 2 (gov- 筋肉突起広報突起端)	-	-	-	-
	9	髁高	-	-	23.50	-
	10	関節髁より筋突起頂点まで	-	-	29.81	29.27
	11	下顎枝幅 (最小幅)	-	-	32.43	30.88
	12	筋突起幅	-	-	29.66	27.39
	13	関節髁長	-	-	25.10	23.64
	14	関節髁厚	-	-	8.77	8.53
	17	下顎体高 (M1 中央)	-	-	24.57	22.62
	25	下顎体厚 (M1 中央下方)	-	-	11.48	12.54
		咬筋窩深	-	-	8.22	8.03
下顎歯牙	59	下顎臼歯列全長	-	-	74.18	73.49
	60	下顎前臼歯列全長	-	-	-	40.51
	61	下顎後臼歯列全長	-	-	33.56	33.66
橈骨	1	全長	116.00	-	169.00	169.00
	2	上端最大幅	14.63	-	15.11	15.47
	3	上端最大前後径	-	-	11.06	-
	5	頸部最小幅	-	-	11.73	11.54
	6	頸部厚	-	-	6.08	5.83
	7	体中央横幅	-	-	11.59	11.96
	8	体中央部厚	-	-	8.17	8.22
	9	下端最大幅	19.48	19.10	-	-
	10	下端厚	-	-	-	-
	尺骨	1	全長	-	-	-
		肘突起最小径	-	-	21.54	22.88
		切痕中央矢状径	-	-	13.51	14.12
大腿骨	1	全長	130.93	-	-	-
	2	上端最大横径	30.01	-	-	-
	8	体中央前後径	10.03	-	-	-
	9	体中央横径	11.16	-	-	-
	10	下端最大幅	25.10	23.64	-	-
	12	内髁前後幅	24.60	-	-	-
脛骨	1	全長	-	-	201.00	203.00
	4	上端最大前後径	-	-	33.30	33.81
	5	上端最大横径	27.24	-	-	30.51
	7	体中央前後径	-	-	12.29	13.33
	8	体中央横径	-	-	10.67	11.73
	9	下端最大幅	-	-	19.63	19.64
	10	下端最大前後径	-	-	16.37	16.26
第 2 中足骨		全長	-	-	66.03	-
第 3 中足骨		全長	-	-	75.20	76.29
第 4 中足骨		全長	-	-	77.97	-

4 動物遺存体の分析

第12表 哺乳綱計測値（イヌ以外）

単位 (mm)

出土地点	層位	試料	種類	部位	左右	計測値
SX10		骨試料 88	ウマ	上顎第 2 後臼歯	右	臼歯高 44.90mm
SX10	南西 1/4	骨試料 92	ウマ	上顎第 1 後臼歯	右	臼歯高 43.74mm
IV C5a	II 層	骨試料 136	ウマ	下顎第 2 後臼歯	左	臼歯高 38.16mm
IV C6f	I 層	骨試料 137	ウマ	下顎第 2 後臼歯	左	臼歯高 65.06mm
SX10	北西 1/4	骨試料 95	ウマ	中足骨	右	全長 257mm 近位端幅 41.28mm 遠位端幅 40.31mm
SX07	ベルト B-B'	骨試料 182	ウマ	橈骨	左	全長 336mm 近位端幅 78.11mm 近位端矢状径 46.79mm 遠位端幅 68.79mm 遠位端矢状径 44.08mm
				尺骨	左	肘突起前後径 59.99mm 半月状切痕中央前後径 38.21mm 半月状切痕最大厚 37.67mm
SX07	ベルト B-B'	骨試料 255	イノシシ	肩甲骨	左	頸部最小幅 33.88mm 下端幅 44.52mm 関節窩幅 34.73mm 関節窩厚 29.83mm
SX07	4 ③	骨試料 176	ニホンジカ	肩甲骨	右?	頸部最小幅 21.87mm 頸部厚 13.25mm 関節窩幅 28.12mm
SX07	ベルト B-B'	骨 No.249	ニホンジカ	肩甲骨	左	頸部最小幅 28.69mm 下端幅 48.94mm 関節窩幅 36.51mm 関節窩厚 45 ± mm
SI48		骨試料 20	ニホンジカ	大腿骨	左	近位端幅 65.17mm
SI48		骨試料 57	ニホンジカ	大腿骨	右	近位端幅 60.19mm
SI48	グリット E 地点	骨試料 6	ニホンジカ	脛骨	右	遠位端幅 38.17mm
SI48		骨試料 42	ニホンジカ	脛骨	右	近位端幅 64.07mm
SI48		骨試料 46	ニホンジカ	脛骨	左	遠位端幅 38.77mm
SI48		骨試料 48	ニホンジカ	脛骨	右	近位端幅 63.42mm
SI48		骨試料 59	ニホンジカ	脛骨	左	遠位端幅 41.22mm
SI48		骨試料 18	ニホンジカ	脛骨	左	遠位端幅 35.96mm
SI48		骨試料 52	ニホンジカ	距骨	左	全長 43.64mm
SI48		骨試料 59	ニホンジカ	距骨	左	全長 46.82mm
SI48		骨試料 14	ニホンジカ	中足骨		遠位端幅 33.31mm
SI48		骨試料 14	ニホンジカ	中手骨 / 中足骨		遠位端幅 31.38mm

第13表 貝類最小個体数

	SI03	SI93	SK29	SX06	III C9j	SI29	SI48	SK99	SX09	SX10	SX11	IVB4j	IVD2a	SKI02	SX07	SX07?	計
ユキノカサガイ	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
ヒメコザラ・同?	132	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	136
アオガイ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
ユキノカサガイ科	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
アワビ類・ミミガイ科	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4
クボガイ	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
コシダカガンガラ・同?	12	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	11	-	28
クボガイ/コシダカガンガラ類	341	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	2	-	345
イシダタミ	29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29
キサゴ	2	1	-	922	2643	-	-	-	1	1410	86	-	-	806	59669	-	65540
イボキサゴ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1
キサゴ類	5	-	-	110	530	-	-	-	-	1575	975	4	-	283	*149408	-	152890
サンショウガイ	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
エゾサンショウ	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	5
スガイ・同?	90	-	1	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	1	-	-	94
アマガイ?	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
ウミニナ・ホソウミニナ・ウミニナ類・同類?	5825	-	255	-	48	1	-	-	-	2	1	-	-	1	239	-	6372
タマキビ	9	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	57	-	68
クロタマキビ・同?	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2	-	5
カワザンショウガイ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	4
ムカデガイ類	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
ツメタガイ・同?	2	-	1	-	-	-	-	1	-	5	1	-	-	-	9	-	19
エゾタマガイ・同?	5	-	2	1	3	-	-	-	-	3	-	-	-	1	94	-	109
タマガイ科	36	-	6	-	-	-	-	-	-	4	3	2	-	-	85	-	136
ヒレガイ・同?	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	1	10	-	14
オウヨウウラク?	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
ヒレガイ類	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
エゾヨウラク	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	6
チヂミボラ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	1	-	-	-	109	-	130
エゾチヂミボラ・同?	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	41	-	41
レイシガイ・レイシガイ類・同類?	6	-	-	-	-	-	-	-	-	15	-	1	-	-	18	-	40
アカニシ	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
アッキガイ科・同科?	1	-	-	-	-	1	7	-	-	2	-	-	-	-	32	-	43
アラムシロ	5	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	15	-	21
ヒメムシロ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	5	-	10
クロスジムシロ	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3
ムシロガイ類	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	4
エゾバイ科?	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
キセルガイ類	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
カラマツガイ?	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
バツラマイマイ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	87	-	90
コハクガイ科	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3
ベッコウマイマイ類	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
マイマイ類	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2
腹足綱 計	6531	1	269	1033	3224	2	8	1	1	3053	1068	7	1	1100	209920	1	226220

	SI03	SI93	SK29	SK53	SX06	III C9j	SI29	SI33	SI48	SI105	SK93	SK99	SX08	SX09	SX10	SX11	III C8d	IVB4j	IVD2a	SKI02	SX07	SX07?	計	
コベルトフネガイ	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
ベンケイガイ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
タマキガイ・同科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
イガイ	11	-	-	-	-	-	34	1	26	2	-	18	-	1	183	31	-	2	-	27	654	7	997	
ムラサキインコ	117	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	121	
イガイ科	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	3	-	1	8	-	1	-	1	-	-	17	
アカザラガイ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	
ホタテガイ	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	31	2	-	-	-	-	-	59	96	
ホタテガイ?	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	2	-	-	-	-	-	-	4	
イタヤガイ類	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4	
マガキ・同?	24	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	30	
イワガキ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	
イタボガキ科・同科?	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	1	-	4	
ベッコウガキ?	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	
ウメノハナガイ	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	
チリハギガイ	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
トリガイ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	
ザルガイ科	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	5	7	
シオフキ?	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	
ミルクイ・同?	4	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	-	-	-	-	1	4	-	18	
バカガイ科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	2	71	-	75	
クチバガイ	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	63	-	73	
ヒメシラトリ	2827	-	882	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3711	
シラトリモドキ	50	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	*796	-	849	
ニッコウガイ科	95	-	241	-	-	-	-	2	1	-	5	-	-	8	4	-	-	-	-	-	*316	-	672	
イソシジミ類	304	-	31	-	-	1	-	-	-	-	1	4	10	302	410	-	5	-	-	133	*38487	101	39789	
マテガイ科	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	-	-	-	-	1	307	4	319	
エノメノメアサリ・同?	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	2	-	-	-	-	-	-	-	8	
ウネナシトマヤ	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
カガミガイ類・同類?	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	2	-	7	
アサリ・同?	30122	-	1194	1	26	12	-	-	6	1	-	2	-	8	1069	1010	-	5	-	317	*16659	79	50511	
マツカゼガイ	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
ウチムラサキ・同?	15	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	5	-	-	-	-	15	13	-	63	
コタマガイ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	5	
マルスダレガイ科	60	-	4	1	-	-	-	-	5	2	-	1	1	22	818	1290	-	13	-	3	*73761	243	76224	
チヂミイワホリガイ	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
オオノガイ・同?	487	-	249	3	-	-	-	-	21	2	-	17	4	-	258	174	-	6	-	78	*1877	10	3186	
二枚貝綱	19	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	25	
二枚貝綱 計	34157	0	2623	5	28	14	34	1	60	9	1	44	15	41	2708	2948	1	33	0	582	133085	444	176833	
貝類 合計	40688	1	2892	5	1061	3238	36	1	68	9	1	45	15	42	5761	4016	1	40	1	1682	343005	445	403053	

\*: 重量から個体数を推定

4 動物遺存体の分析

第14表 魚類最小個体数

	SI03	SI111	SK29	SX06	III C9j	SI48	SI87	SI105	SK93	SK99	SX08	SX09	SX10	SX11	IVB4j	IVD2a	SKI02	SX07	SX07?	合計	
トビエイ類	最小個体数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
	破片数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
サメ・エイ類	最小個体数	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	1	4
	破片数	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	1	5
アナゴ類	最小個体数	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2
	破片数	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	13
ウルメイワシ亜科	最小個体数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
	破片数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3
ニシン亜科	最小個体数	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2	-	6
	破片数	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	18	-	31
ニシン科	最小個体数	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1	-	4
	破片数	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	8	-	16
カタクチイワシ科	最小個体数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
	破片数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
イワナ属・同属?	最小個体数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1
	破片数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	2
サケ科	最小個体数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	3
	破片数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	5	-	7
タラ科・同科?	最小個体数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	2	1	5
	破片数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	8	1	10
ボラ	最小個体数	-	-	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	破片数	-	-	1	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
フサカサゴ科・同科?	最小個体数	1	-	1	-	-	-	-	-	1	2	1	-	7	2	1	1	-	7	3	1
	破片数	1	-	2	-	-	-	-	-	2	3	3	-	89	11	1	2	-	84	29	2
ホウボウ科	最小個体数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
	破片数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
コチ科・同科?	最小個体数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1
	破片数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	1
アイナメ属・同属?	最小個体数	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
	破片数	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	13
スズキ属・同属?	最小個体数	2	1	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2	1	6
	破片数	6	1	-	7	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	56	14	69
ハタ科・同科?	最小個体数	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2
	破片数	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	3
ブリ属・同属?	最小個体数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	1
	破片数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	2
アジ科	最小個体数	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	4
	破片数	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	5
クロダイ属	最小個体数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
	破片数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2
マダイ亜科・同科?	最小個体数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2	1	3
	破片数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	3	1	5
タイ科・同科?	最小個体数	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	1	1	3
	破片数	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	17	10	19
ウミタナゴ科・同科?	最小個体数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	56	4	1
	破片数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	678	31	3
ハゼ科	最小個体数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
	破片数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
サバ属・同属?	最小個体数	-	-	1	1	-	-	-	-	-	1	-	1	1	1	1	-	-	2	1	6
	破片数	-	-	29	1	-	-	-	-	-	1	-	1	1	8	1	-	-	56	10	95
ソウダガツオ属	最小個体数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
	破片数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	5
カツオ属・同属?	最小個体数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	2	1	4
	破片数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	2	-	-	-	-	21	12	27
マグロ属・同属?	最小個体数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	1	12	3	-	-	13	1	29
	破片数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	98	5	315	3	-	-	401	779	822
マグロ類/カツオ類	最小個体数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
	破片数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2
ヒラメ・同?	最小個体数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	2
	破片数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	3
カレイ科・同科?	最小個体数	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2
	破片数	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	4
フグ科	最小個体数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	3
	破片数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5	-	6
魚類	最小個体数	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	26	1	42
	破片数	15	1	364	2	10	49	-	1	24	1	59	4	1353	2399	4	1	1	18159	14	22461
総破片数		25	1	429	3	10	50	2	1	24	4	75	4	1568	2747	5	1	3	20464	22	25438

第15表 両生類・爬虫類・哺乳類最小個体破片数

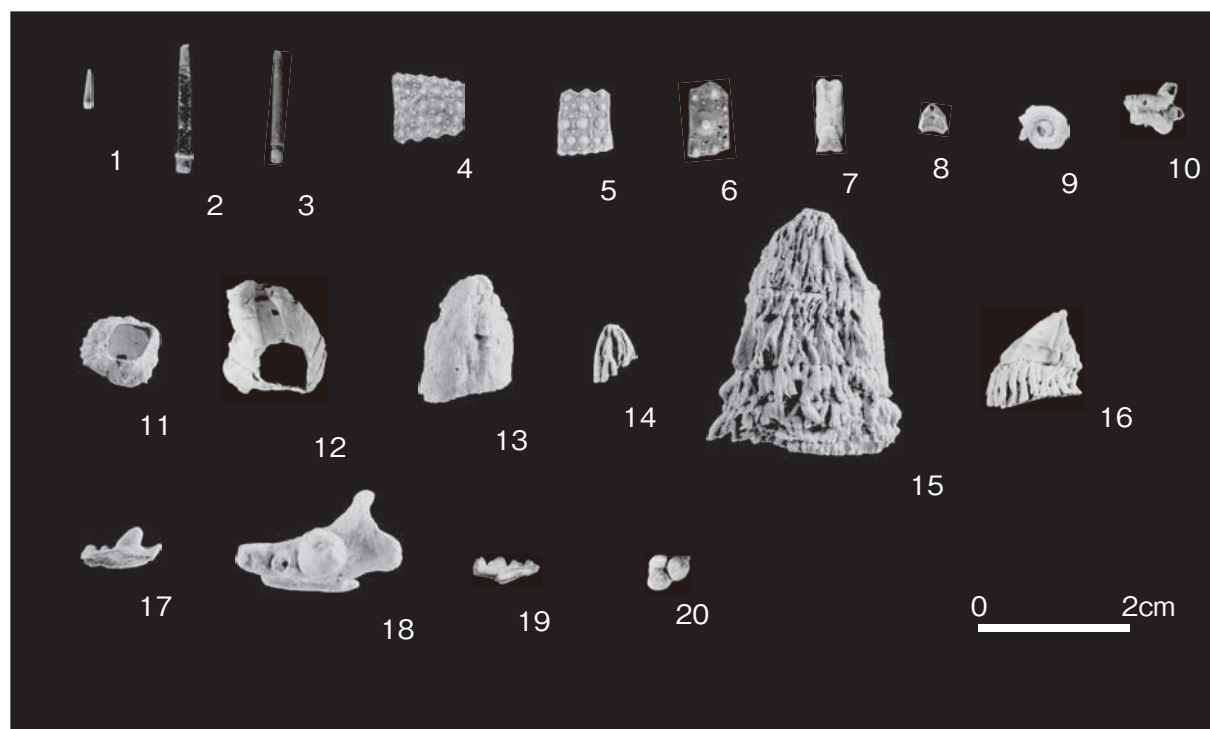
(1/2)

	SI03	SI40	SI58	SI72	SI75	SI84	SI85	SI102	SI103	SI104	SI115	SK29	SK147	SN29	SI29	SI33	SI48	SI74	SI87	
カエル類	最小個体数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
	破片数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	
鳥類	最小個体数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	
	破片数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	
イヌ	最小個体数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	
	破片数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	53	-	-	-	-	-	-	-	
アシカ類	最小個体数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	破片数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	
海獣類?	最小個体数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	破片数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
ウマ	最小個体数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	破片数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
イノシシ 属・同属?	最小個体数	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	破片数	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	
ニホンジカ	最小個体数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5	1	1	
	破片数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	35	1	3	
大型獣類	最小個体数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	破片数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	
獣類	最小個体数	1	1	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	-	1	1	1	1	-	
	破片数	3	30+	-	1+	1+	1+	1+	1+	3+	1+	1+	203	-	14+	1	2+	95+	1+	
総破片数		3	30+	1	1+	1+	1+	1+	1+	3+	1+	1+	259	1	14+	1	2+	142+	2	28+

(2/2)

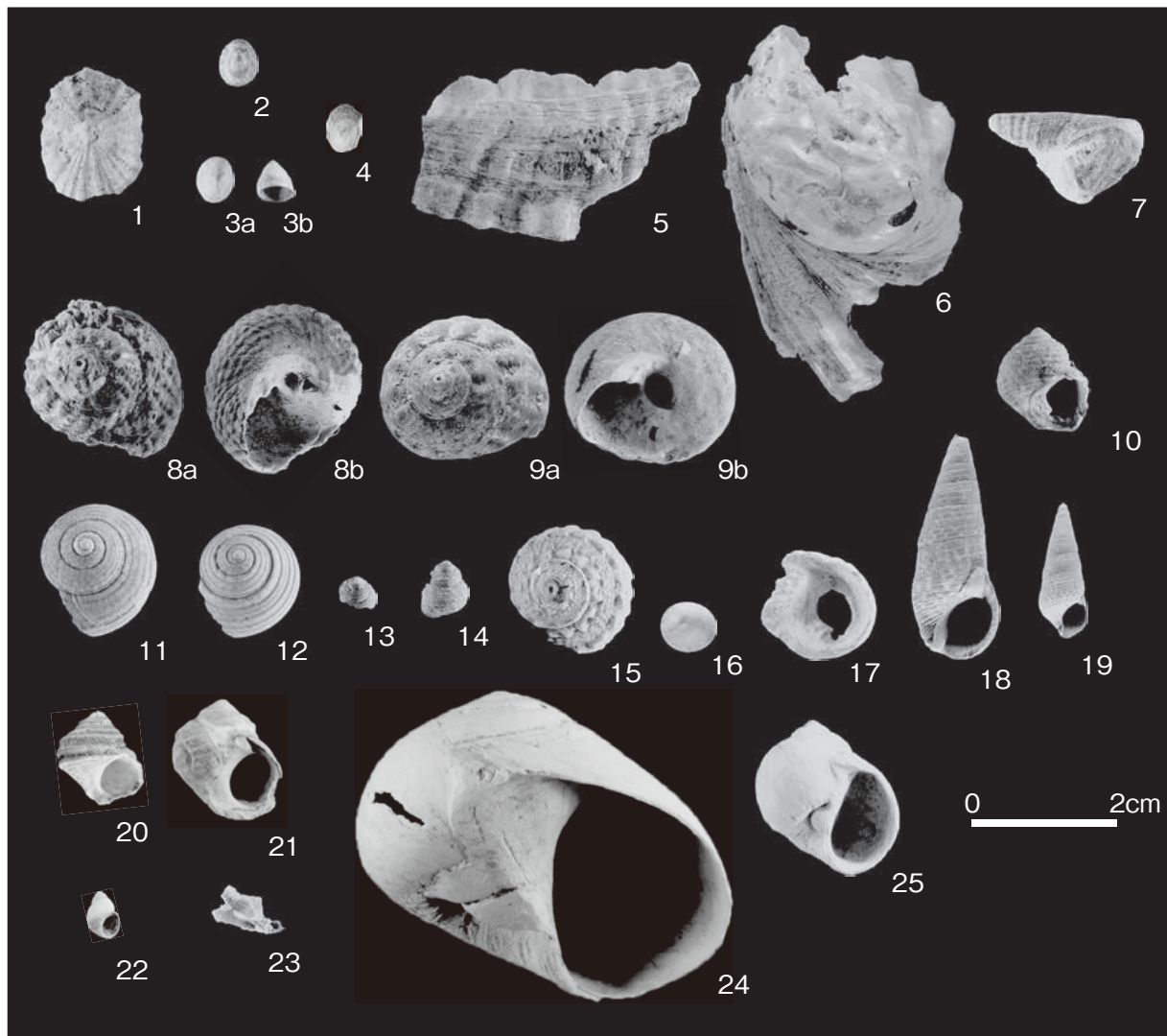
	SI105	SK99	SX08	SX09	SX10	SX11	IV B3j	IV B4j	IV C2f	IV C4a	IV C5a	IV C5b	IV C6f	IV C6g	IV C8e	SKI02	SX07	SX07?	合計	
カエル類	最小個体数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	7	
	破片数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	-	21	
ヘビ類	最小個体数	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	
	破片数	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	31	-	32	
カラス類・ 同類?	最小個体数	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	
	破片数	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	11	
キジ類	最小個体数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	
	破片数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	
鳥類・同類?	最小個体数	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	6	
	破片数	-	-	-	1	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	47	3	79	
ヒミズ・同?	最小個体数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	
	破片数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	
モグラ類	最小個体数	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4	
	破片数	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	5	
ノウサギ	最小個体数	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	
	破片数	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	4	
ネズミ亜科	最小個体数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4	
	破片数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	4	
ハタネズミ 亜科	最小個体数	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	
	破片数	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	
ネズミ類	最小個体数	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	4	
	破片数	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23	24	
イルカ類	最小個体数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	
	破片数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	
ネコ	最小個体数	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	破片数	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	
イタチ?	最小個体数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	
	破片数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	
イヌ	最小個体数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	
	破片数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	51	-	-	-	104	
タヌキ・同?	最小個体数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	
	破片数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	
ネコ目	最小個体数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	
	破片数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	
アシカ類	最小個体数	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
	破片数	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	
海獣類?	最小個体数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	破片数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
ウマ	最小個体数	-	-	-	1	1	-	-	-	1	1	-	1	1	-	-	-	1	8	
	破片数	-	-	-	3	2	-	-	-	1	1	-	1	1	-	-	-	6	16	
イノシシ 属・同属?	最小個体数	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	4	
	破片数	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10	1	25	
ニホンジ カ・同?	最小個体数	1	1	-	1	2	1	-	1	1	-	-	-	-	-	1	1	1	17	
	破片数	37	3	-	14	5	-	2	1	2	-	-	-	-	-	1	46	3	148	
ウシ	最小個体数	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	破片数	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
ウマ/ウシ	最小個体数	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	破片数	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
鳥類/小型 獣類	最小個体数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	
	破片数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	11	
小型獣類・ 同類?	最小個体数	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	
	破片数	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	13	
大型獣類	最小個体数	1	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	
	破片数	1	-	-	2	100	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	116	
獣類・同類?	最小個体数	1	1	1	-	1	1	-	1	1	-	1	1	-	-	1	1	1	28	
	破片数	9+	2+	4+	-	24+	5+	-	2+	1+	-	1+	1+	-	-	7	101+	1	517+	
総破片数		50+	2+	5+	1	58+	156+	1	5+	3+	1	1	1+	2+	1	51	9	342+	1	1183+

図版1 ウニ綱・多毛綱・顎脚綱・軟甲綱



- |                              |                              |
|------------------------------|------------------------------|
| 1. ウニ類棘 (SI03; 試料 9)         | 2. ウニ類棘 (SX10; 貝試料 29)       |
| 3. ウニ類棘 (SX07; ウニ試料 78)      | 4. ウニ類殻 (SX10; 貝試料 29)       |
| 5. ウニ類殻 (SI03; 試料 8)         | 6. ウニ類殻 (SX07; ウニ試料 78)      |
| 7. ウニ類中間骨 (SX07; 貝試料 1026)   | 8. ウニ類多孔板 (SX07; 貝試料 1024)   |
| 9. ゴカイ類殻 (SI29; 貝試料 3)       | 10. ゴカイ類殻 (SX07; 貝試料 1027)   |
| 11. アカフジツボ殻 (SI03; 貝試料 18)   | 12. アカフジツボ殻 (SX07; 貝試料 1037) |
| 13. アカフジツボ殻 (SX11; 貝試料 56)   | 14. チシマフジツボ殻 (SI03; 試料 18)   |
| 15. チシマフジツボ殻 (SX10; 貝試料 120) | 16. チシマフジツボ殻 (SX07; 貝試料 124) |
| 17. カニ類指節 (SK29; 貝試料 24)     | 18. カニ類可動指 (SI48; 貝試料 6)     |
| 19. カニ類指節骨 (SX07; 骨試料 261)   | 20. カニ類指節骨 (SX07; 貝試料 1027)  |

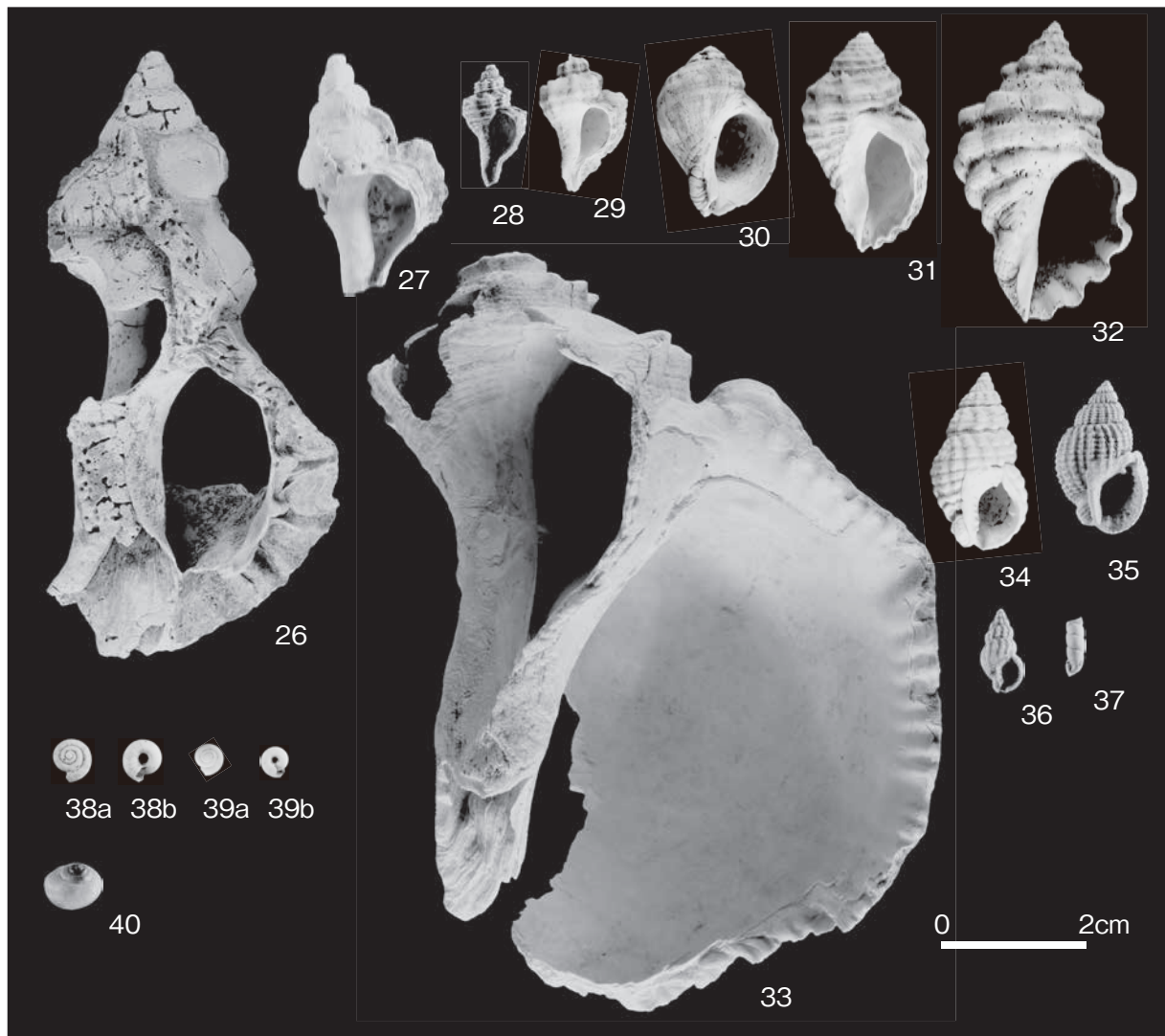
図版2 腹足綱 (1)



- |                                  |                                  |
|----------------------------------|----------------------------------|
| 1. ユキノカサガイ殻 (SI03; 試料 13)        | 2. ヒメコザラ殻 (ヒメコザラ型) (SI03; 試料 19) |
| 3. ヒメコザラ殻 (ツボミガイ型) (SI03; 試料 19) | 4. アオガイ殻 (SX07; 貝試料 287)         |
| 5. アワビ類殻 (SI03; 試料 17)           | 6. アワビ類殻 (IVD2a; 貝試料 63)         |
| 7. ミミガイ科殻 (SK29; 試料 22)          | 8. クボガイ殻 (SI03; 試料 13)           |
| 9. コシダカガンガラ殻 (SI03; 貝試料 7)       | 10. イシダタミ殻 (SI03; 試料 19)         |
| 11. キサゴ殻 (ⅢC9j-1; 試料 34)         | 12. イボキサゴ殻 (SK102; 試料 29)        |
| 13. サンショウガイ殻 (SI03; 試料 15)       | 14. エゾサンショウ殻 (SI03; 試料 12)       |
| 15. スガイ殻 (SI03; 試料 17)           | 16. スガイ蓋 (SI03; 試料 17)           |
| 17. アマガイ? 殻 (SX10; 貝試料 31)       | 18. ウミナナ殻 (SK29; 試料 23)          |
| 19. ホソウミナナ殻 (SK29; 試料 24)        | 20. タマキビ殻 (SX07; 貝試料 467)        |
| 21. クロタマキビ殻 (SX07; 貝試料 677)      | 22. カワザンショウガイ殻 (SX07; 貝試料 604)   |
| 23. ムカデガイ類殻 (SI03; 試料 37)        | 24. ツメタガイ殻 (SX07; 貝試料 530)       |
| 25. エゾタマガイ殻 (SX10; 貝試料 23)       |                                  |



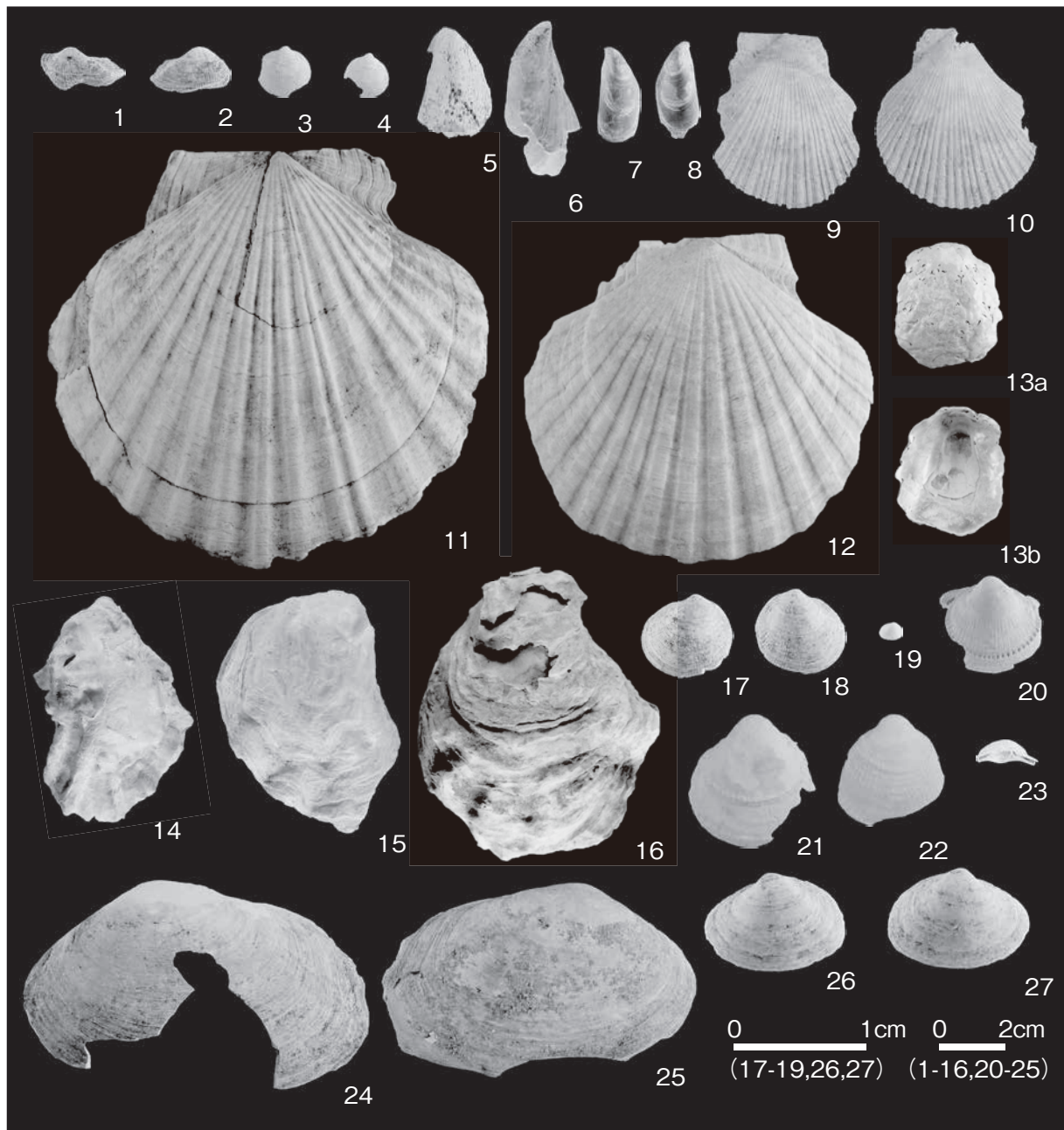
図版3 腹足綱 (2)



- 26. ヒレガイ殻 (SKI02; 試料 32)
- 28. オウヨウラク? 殻 (SI03; 試料 12)
- 30. チヂミボラ殻 (SX07; 貝試料 485)
- 32. レイシガイ殻 (SX07; 貝試料 485)
- 34. アラムシロ殻 (SX07; 貝試料 501)
- 36. クロスジムシロ殻 (SI03; 試料 6)
- 38. パツラマイマイ殻 (SX07; 貝試料 467)
- 40. ベッコウマイマイ類殻 (SI03; 試料 7)

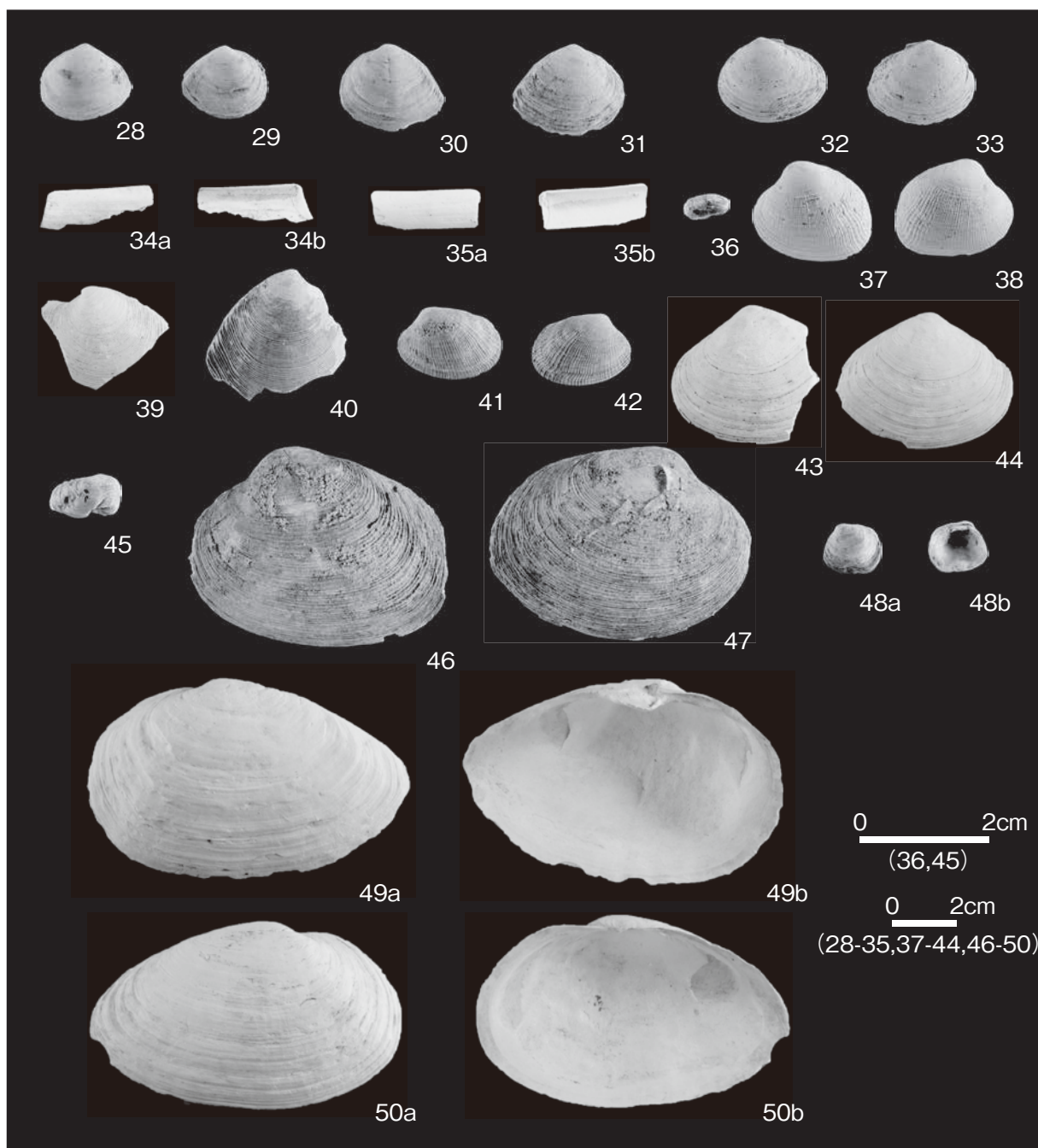
- 27. ヒレガイ殻 (SX11; 貝試料 49)
- 29. エゾヨウラク殻 (SX07; 貝試料 459)
- 31. エゾチヂミボラ殻 (SX07; 貝試料 603)
- 33. アカニシ殻 (SK29; 試料 22)
- 35. ヒメムシロ殻 (SKI02; 試料 32)
- 37. キセルガイ類殻 (SI03; 試料 6)
- 39. コハクガイ科殻 (SX07; 貝試料 626)

図版4 二枚貝綱(1)



- |                                |                              |
|--------------------------------|------------------------------|
| 1. コベルトフネガイ左殻 (SI03; 試料 6)     | 2. コベルトフネガイ右殻 (SI03; 試料 6)   |
| 3. ベンケイガイ右殻 (SX10; 貝試料 31)     | 4. タマキガイ右殻 (SX10; 貝試料 21)    |
| 5. イガイ左殻 (SX10; 貝試料 31)        | 6. イガイ右殻 (SI03; 試料 17)       |
| 7. ムラサキインコ左殻 (SI03; 試料 17)     | 8. ムラサキインコ右殻 (SI03; 試料 17)   |
| 9. アカザラガイ左右殻 (SX11; 貝試料 46)    | 10. アカザラガイ左右殻 (SX11; 貝試料 46) |
| 11. ホタテガイ左殻 (SX07; 貝試料 346)    | 12. ホタテガイ右殻 (SX07; 貝試料 187)  |
| 13. ベッコウガキ? 左殻 (SX07; 貝試料 355) | 14. マガキ左殻 (SI03; 試料 46)      |
| 15. マガキ右殻 (SI03; 試料 46)        | 16. イワガキ右殻 (SX07; 貝 281)     |
| 17. ウメノハナガイ左殻 (SI03; 試料 14)    | 18. ウメノハナガイ右殻 (SI03; 試料 14)  |
| 19. チリハギガイ左殻 (SI03; 試料 3)      | 20. トリガイ左殻 (SKI02; 貝試料 30)   |
| 21. ザルガイ科左殻 (SX11; 貝試料 52)     | 22. ザルガイ科右殻 (SX11; 貝試料 49)   |
| 23. シオフキ? 左殻 (SX11; 貝試料 49)    | 24. ミルクイ左殻 (SI03; 試料 12)     |
| 25. ミルクイ右殻 (SI03; 試料 12)       | 26. クチバガイ左殻 (SI03; 試料 19)    |
| 27. クチバガイ右殻 (SI03; 試料 19)      |                              |

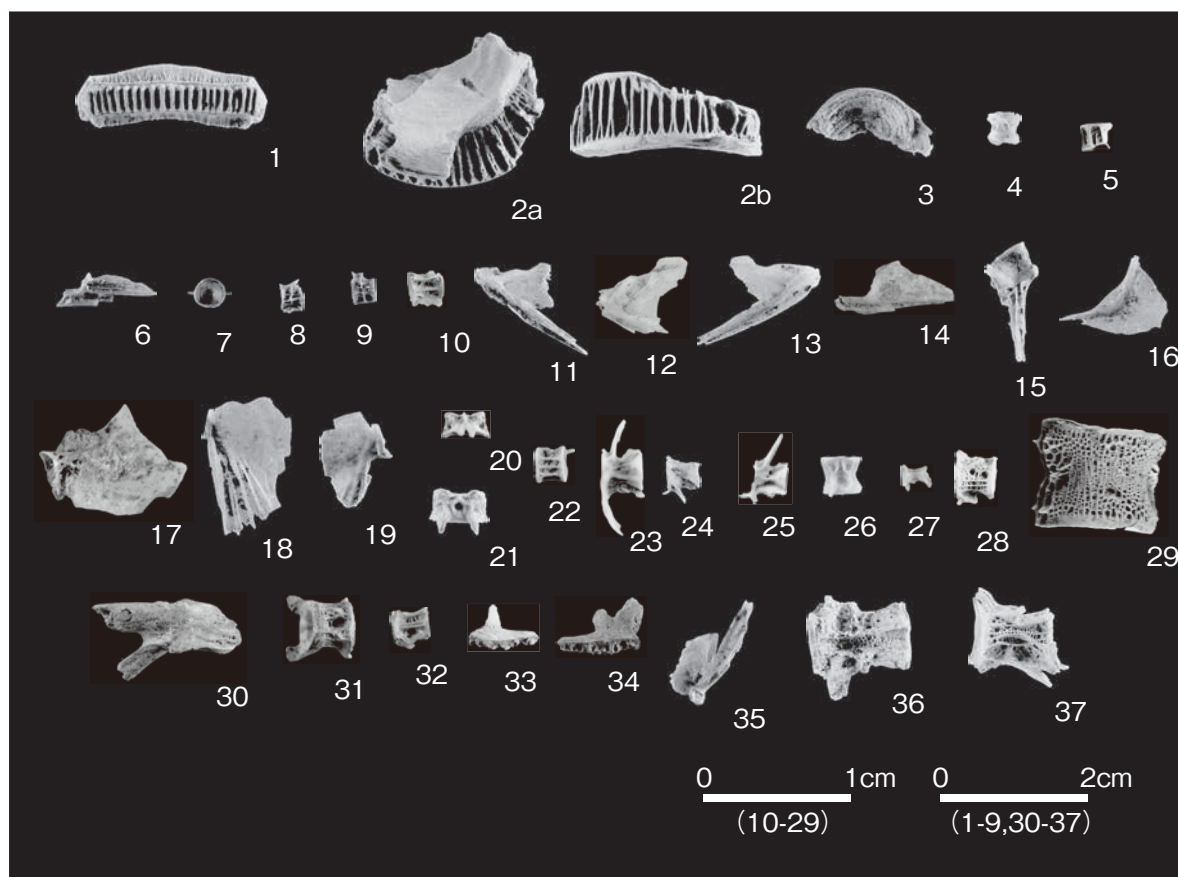
図版5 二枚貝綱(2)



- 28. ヒメシラトリ左殻 (SI03; 試料 37)
- 30. シラトリモドキ左殻 (SI03; 試料 37)
- 32. イソシジミ類左殻 (SKI02; 試料 29)
- 34. マテガイ科左殻 (SX07; 貝試料 263)
- 36. ウネナシトマヤ右殻 (SI03; 試料 7)
- 38. エゾヌノメアサリ右殻 (SX11; 貝試料 46)
- 40. カガミガイ類右殻 (SK29; 試料 22)
- 42. アサリ右殻 (SI03; 試料 37)
- 44. コタマガイ右殻 (SX07; 貝試料 318)
- 46. ウチムラサキ左殻 (SI03; 試料 13)
- 48. チヂミイワホリガイ左殻 (SI03; 試料 19)
- 50. オオノガイ右殻 (SX07; 貝試料 316)

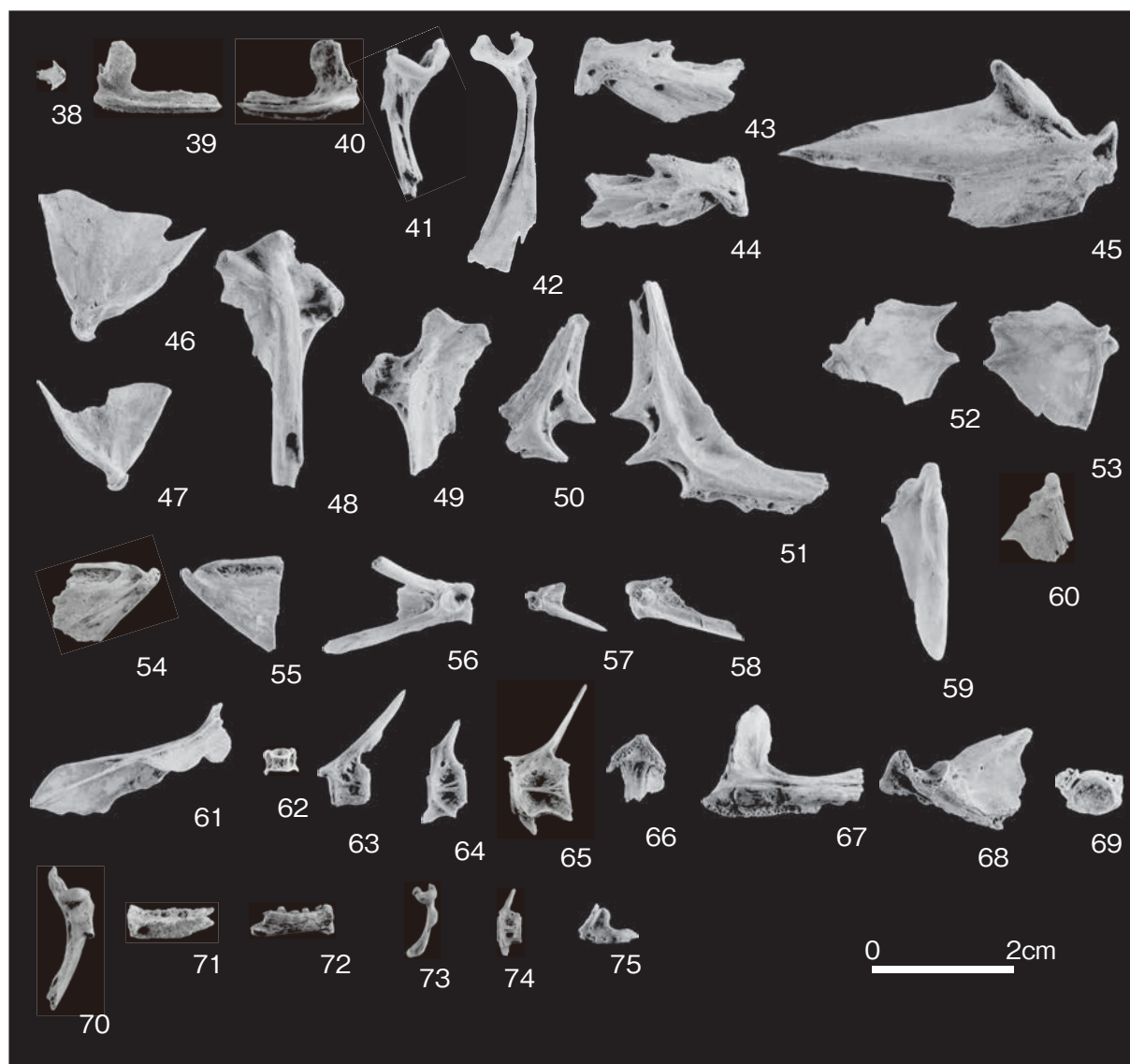
- 29. ヒメシラトリ右殻 (SI03; 試料 37)
- 31. シラトリモドキ右殻 (SI03; 試料 37)
- 33. イソシジミ類右殻 (SKI02; 試料 29)
- 35. マテガイ科右殻 (SX07; 貝試料 205)
- 37. エゾヌノメアサリ左殻 (SX11; 貝試料 46)
- 39. カガミガイ類左殻 (SX07; 貝試料 222)
- 41. アサリ左殻 (SI03; 試料 37)
- 43. コタマガイ左殻 (SX07; 貝試料 317)
- 45. マツカセガイ右殻 (SI03; 試料 8)
- 47. ウチムラサキ右殻 (SI03; 試料 13)
- 49. オオノガイ左殻 (SX07; 貝試料 153)

図版6 軟骨魚綱・硬骨魚綱 (1)



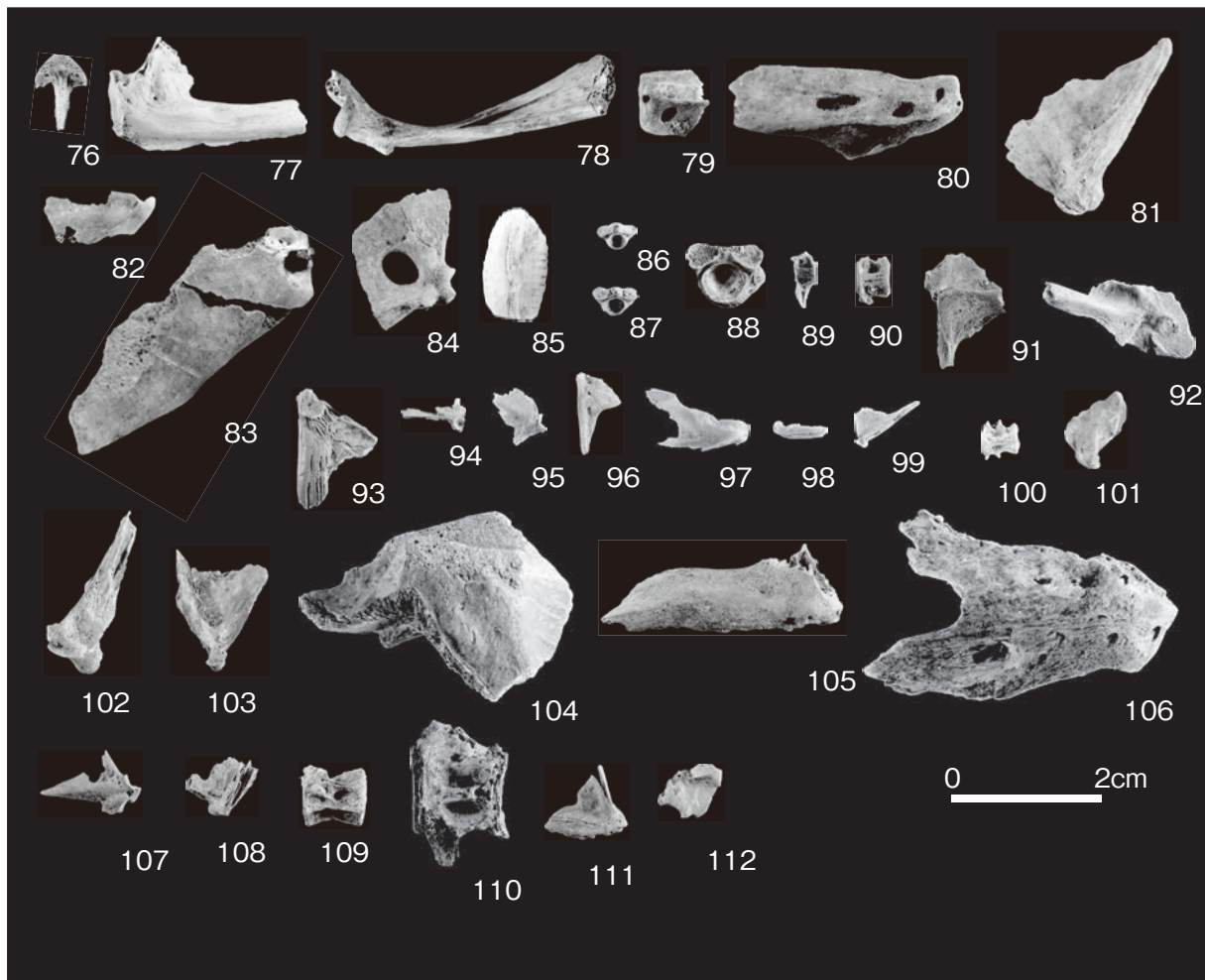
- |                                 |                                 |
|---------------------------------|---------------------------------|
| 1. トビエイ類歯板 (SX10; 骨試料 99)       | 2. エイ・サメ類椎骨 (SX10; 骨試料 100)     |
| 3. サメ・エイ類椎骨 (SK29; 試料 22)       | 4. サメ・エイ類椎骨 (SK29; 試料 23)       |
| 5. サメ・エイ類椎骨 (SX07; 骨試料 434)     | 6. アナゴ類右角骨 (SK29; 試料 24)        |
| 7. アナゴ類第 1 椎骨 (SK29; 試料 24)     | 8. アナゴ類腹椎 (SK29; 試料 24)         |
| 9. アナゴ類尾椎 (SK29; 試料 24)         | 10. ウルメイワシ亜科腹椎 (SX07; 骨試料 250)  |
| 11. ニシン亜科左歯骨 (SX11; 骨試料 120)    | 12. ニシン亜科左歯骨 (SX07; 骨試料 157)    |
| 13. ニシン亜科右歯骨 (SX11; 骨試料 120)    | 14. ニシン亜科右角骨 (SX07; 骨試料 209)    |
| 15. ニシン亜科左舌顎骨 (SX11; 骨試料 120)   | 16. ニシン科左前鰓蓋骨 (SX11; 貝試料 No.57) |
| 17. ニシン亜科左主鰓蓋骨 (SX07; 骨試料 226)  | 18. ニシン科左主鰓蓋骨 (SX11; 貝試料 58)    |
| 19. ニシン科右主鰓蓋骨 (SX11; 貝試料 No.57) | 20. ニシン亜科第 1 椎骨 (SX07; 骨試料 479) |
| 21. ニシン亜科第 2 椎骨 (SK29; 試料 27)   | 22. ニシン亜科腹椎 (SX07; 骨試料 485)     |
| 23. ニシン亜科腹椎 (SX07; 骨試料 236)     | 24. ニシン科尾椎 (SKI02; 試料 30)       |
| 25. ニシン亜科尾椎 (SX07; 骨試料 328)     | 26. ニシン科腹椎 (SK29; 試料 27)        |
| 27. カタクチイワシ亜科尾椎 (SX07; 骨試料 434) | 28. イワナ属尾椎 (SX07; 骨試料 217)      |
| 29. サケ属尾椎 (SX07; 骨試料 223)       | 30. タラ科左後側頭骨 (SX07; 骨試料 193)    |
| 31. タラ科第 1 椎骨 (SX07; 骨試料 195)   | 32. タラ科尾椎 (SX07; 骨試料 329)       |
| 33. タラ科? 左前上顎骨 (SX07; 骨試料 483)  | 34. タラ科? 右前上顎骨 (SX07; 骨試料 170)  |
| 35. ボラ左方骨 (SK29; 試料 24)         | 36. ボラ腹椎 (SI48; 骨試料 11)         |
| 37. ボラ尾椎 (SI87; 骨試料 66)         |                                 |

図版7 硬骨魚綱 (2)



- |                                 |                                  |
|---------------------------------|----------------------------------|
| 38. フサカサゴ科鋤骨 (SX07; 骨試料 479)    | 39. フサカサゴ科左前上顎骨 (SX07; 骨試料 330)  |
| 40. フサカサゴ科右上顎骨 (SX07; 骨試料 333)  | 41. フサカサゴ科左上顎骨 (SX10; 骨試料 100)   |
| 42. フサカサゴ科右上顎骨 (SX10; 骨試料 100)  | 43. フサカサゴ科左歯骨 (SX08; 骨試料 83)     |
| 44. フサカサゴ科右歯骨 (SX08; 骨試料 83)    | 45. フサカサゴ科左角骨 (SX10; 骨試料 100)    |
| 46. フサカサゴ科左方骨 (SX10; 骨試料 100)   | 47. フサカサゴ科右方骨 (SX10; 骨試料 100)    |
| 48. フサカサゴ科左舌顎骨 (SX10; 骨試料 100)  | 49. フサカサゴ科右舌顎骨 (SX10; 骨試料 100)   |
| 50. フサカサゴ科左前鰓蓋骨 (SX10; 骨試料 100) | 51. フサカサゴ科右前鰓蓋骨 (SX10; 骨試料 100)  |
| 52. フサカサゴ科左主鰓蓋骨 (SX10; 骨試料 89)  | 53. フサカサゴ科右主鰓蓋骨 (SX10; 骨試料 89)   |
| 54. フサカサゴ科左上舌骨 (SX07; 骨試料 199)  | 55. フサカサゴ科右上舌骨 (SX10; 骨試料 100)   |
| 56. フサカサゴ科左後側頭骨 (SX10; 骨試料 94)  | 57. フサカサゴ科右後側頭骨 (SX10; 骨試料 93)   |
| 58. フサカサゴ科右後側頭骨 (SX10; 骨試料 100) | 59. フサカサゴ科左上擬鎖骨 (SX10; 骨試料 89)   |
| 60. フサカサゴ科右上擬鎖骨 (SX07; 骨試料 423) | 61. フサカサゴ科左擬鎖骨 (SX10; 骨試料 24)    |
| 62. フサカサゴ科第1椎骨 (SX07; 骨試料 504)  | 63. フサカサゴ科腹椎 (SX10; 骨試料 89)      |
| 64. フサカサゴ科尾椎 (SX10; 骨試料 89)     | 65. フサカサゴ科尾椎 (SX07; 骨試料 236)     |
| 66. フサカサゴ科? 鋤骨 (SX10; 骨試料 93)   | 67. フサカサゴ科? 左前上顎骨 (SX10; 骨試料 89) |
| 68. フサカサゴ科? 右角骨 (SX10; 骨試料 100) | 69. フサカサゴ科? 第2椎骨 (SX08; 骨試料 83)  |
| 70. ホウボウ科右上顎骨 (SX07; 骨試料 331)   | 71. コチ科? 左歯骨 (SX07; 骨試料 442)     |
| 72. コチ科? 右歯骨 (SX07; 骨試料 445)    | 73. アイナメ属右上顎骨 (SX07; 骨試料 303)    |
| 74. アイナメ属尾椎 (SX07; 骨試料 472)     | 75. アイナメ属? 左前上顎骨 (SI03; 骨試料 20)  |

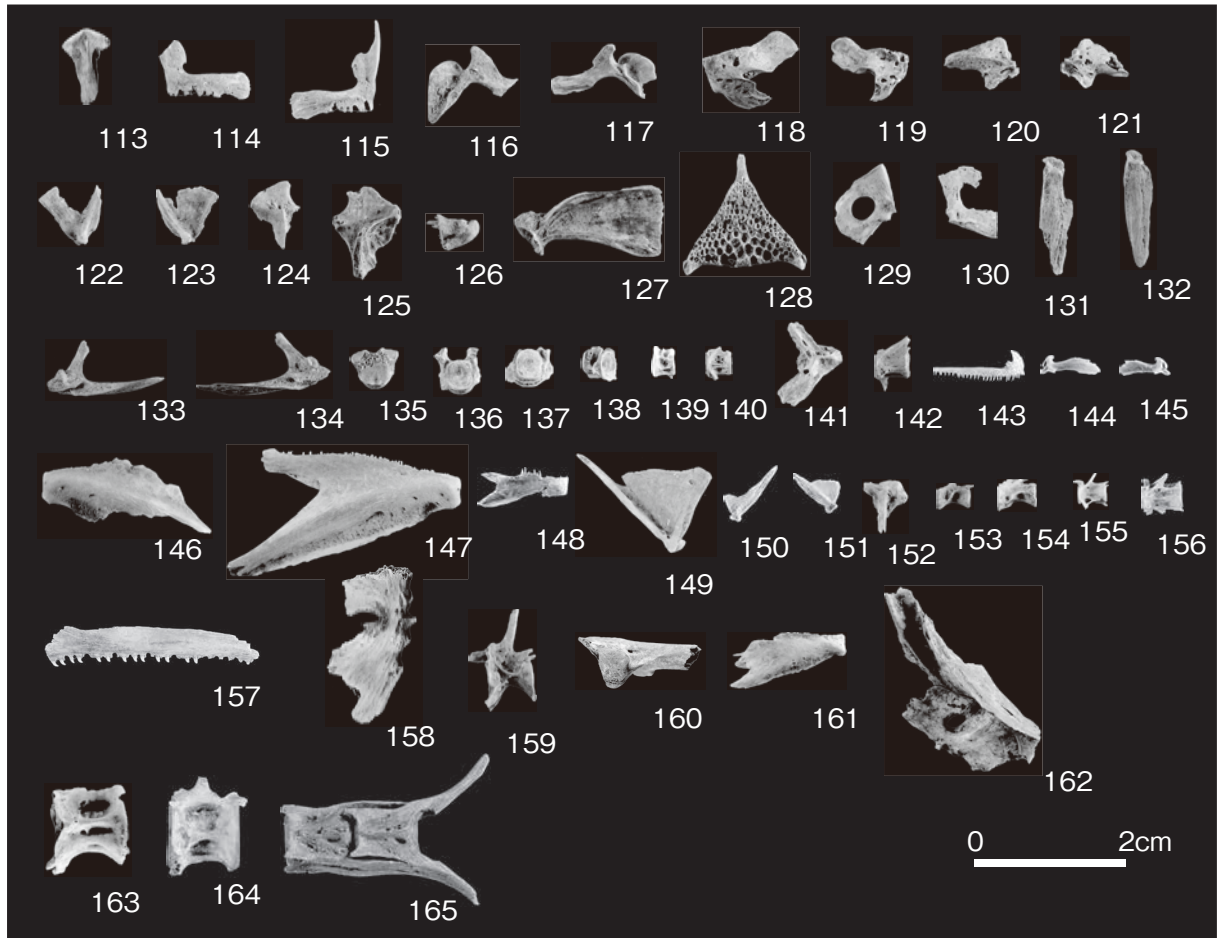
図版8 硬骨魚綱 (3)



76. スズキ属鋤骨 (SX07; 骨試料 494)  
 78. スズキ属左上上顎骨 (SX07; 骨試料 269)  
 80. スズキ属右歯骨 (SX07; 骨試料 405)  
 82. スズキ属左上舌骨 (SX07; 骨試料 318)  
 84. スズキ属左肩甲骨 (SX07; 骨試料 261)  
 86. スズキ属第 1 椎骨 (SK29; 試料 23)  
 88. スズキ属第 1 椎骨 (SX07; 骨試料 223)  
 90. スズキ属尾椎 (SX07; 骨試料 391)  
 92. スズキ属? 右後側頭骨 (SK29; 試料 22)  
 94. ハタ科? 主鰓蓋骨 (SX07; 骨試料 314)  
 96. ハタ科? 左上擬鎖骨 (SX07; 骨試料 209)  
 98. アジ科右角骨 (SK29; 試料 27)  
 100. ブリ属腹椎 (SX07; 骨試料 405)  
 102. クロダイ属左方骨 (SX07; 骨試料 468)  
 104. マダイ亜科上後頭骨 (SX10; 骨試料 88)  
 106. マダイ亜科右歯骨 (SX10; 骨試料 95)  
 108. マダイ亜科? 左方骨 (SX07; 骨試料 468)  
 110. タイ科尾椎 (SX10; 骨試料 96)  
 112. タイ科? 左舌顎骨 (SX07; 骨試料 260)

77. スズキ属左上上顎骨 (SX07; 骨試料 489)  
 79. スズキ属左歯骨 (SX07; 骨試料 280)  
 81. スズキ属左方骨 (SX07; 骨試料 460)  
 83. スズキ属左主鰓蓋骨 (SX07; 骨試料 246)  
 85. スズキ属耳石 (SX07; 貝試料 1037)  
 87. スズキ属第 1 椎骨 (SK29; 試料 24)  
 89. スズキ属腹椎 (SK29; 試料 24)  
 91. スズキ属? 右舌顎骨 (SX07; 骨試料 241)  
 93. ハタ科左上擬鎖骨 (SX07; 骨試料 293)  
 95. ハタ類? 右主鰓蓋骨 (SK29; 試料 22)  
 97. アジ科右歯骨 (SK29; 試料 27)  
 99. アジ類左方骨 (SX11; 骨試料 120)  
 101. ブリ属? 左方骨 (SX07; 骨試料 280)  
 103. クロダイ属右方骨 (SX07; 骨試料 511)  
 105. マダイ亜科右前上顎骨 (SX07; 骨試料 178)  
 107. マダイ亜科左角骨 (SX07; 骨試料 280)  
 109. タイ科腹椎 (SX07; 骨試料 371)  
 111. タイ科? 右前上顎骨 (SX07; 骨試料 464)

図版9 硬骨魚綱 (4)



- |                                    |                                   |
|------------------------------------|-----------------------------------|
| 113. ウミタナゴ科鋤骨 (SX07; 骨試料 194)      | 114. ウミタナゴ科左前上顎骨 (SX07; 骨試料 249)  |
| 115. ウミタナゴ科右前上顎骨 (SX07; 骨試料 223)   | 116. ウミタナゴ科左左上顎骨 (SX07; 骨試料 415)  |
| 117. ウミタナゴ科右左上顎骨 (SX07; 骨試料 236)   | 118. ウミタナゴ科左歯骨 (SX07; 骨試料 438)    |
| 119. ウミタナゴ科右歯骨 (SX07; 骨試料 484)     | 120. ウミタナゴ科左角骨 (SX07; 骨試料 468)    |
| 121. ウミタナゴ科右角骨 (SX07; 骨試料 491)     | 122. ウミタナゴ科左方骨 (SX07; 骨試料 410)    |
| 123. ウミタナゴ科右方骨 (SX07; 骨試料 413)     | 124. ウミタナゴ科左舌顎骨 (SX07; 骨試料 259)   |
| 125. ウミタナゴ科右舌顎骨 (SX07; 骨試料 454)    | 126. ウミタナゴ科左上舌骨 (SX07; 骨試料 415)   |
| 127. ウミタナゴ科尾舌骨 (SX07; 骨試料 164)     | 128. ウミタナゴ科下咽頭骨 (SX07; 骨試料 413)   |
| 129. ウミタナゴ科左肩甲骨 (SX07; 骨試料 170)    | 130. ウミタナゴ科右肩甲骨 (SX07; 骨試料 438)   |
| 131. ウミタナゴ科左上擬鎖骨 (SX07; 骨試料 170)   | 132. ウミタナゴ科右上擬鎖骨 (SX07; 骨試料 170)  |
| 133. ウミタナゴ科左後側頭骨 (SX07; 骨試料 235)   | 134. ウミタナゴ科右後側頭骨 (SX07; 骨試料 235)  |
| 135. ウミタナゴ科第 1 椎骨 (SX07; 骨試料 382)  | 136. ウミタナゴ科第 2 椎骨 (SX07; 骨試料 499) |
| 137. ウミタナゴ科第 3 椎骨 (SX07; 骨試料 499)  | 138. ウミタナゴ科腹椎 (SX07; 骨試料 499)     |
| 139. ウミタナゴ科腹椎 (SX07; 貝試料 659)      | 140. ウミタナゴ科尾椎 (SX07; 骨試料 499)     |
| 141. ウミタナゴ科? 左主鰓蓋骨 (SX07; 骨試料 290) | 142. ハゼ科腹椎 (SX07; 骨試料 201)        |
| 143. サバ属右前上顎骨 (SX11; 骨試料 120)      | 144. サバ属左左上顎骨 (SX11; 骨試料 120)     |
| 145. サバ属右左上顎骨 (SX11; 貝試料 57)       | 146. サバ属左歯骨 (SX07; 骨試料 367)       |
| 147. サバ属右歯骨 (SX07; 骨試料 421)        | 148. サバ属右歯骨 (SX11; 骨試料 120)       |
| 149. サバ属左方骨 (SX07; 骨試料 275)        | 150. サバ属左方骨 (SX11; 骨試料 121)       |
| 151. サバ属右方骨 (SX11; 骨試料 111)        | 152. サバ属左舌顎骨 (SX07; 骨試料 437)      |
| 153. サバ属腹椎 (SX07; 骨試料 159)         | 154. サバ属腹椎 (SX07; 骨試料 457)        |
| 155. サバ属尾椎 (SX07; 骨試料 317)         | 156. サバ属尾椎 (SX11; 骨試料 115)        |
| 157. サバ属? 左前上顎骨 (SX10; 骨試料 90)     | 158. サバ属? 右肩甲骨 (SX07; 骨試料 405)    |
| 159. ソウダガツオ属尾椎 (SX07; 骨試料 331)     | 160. カツオ属左上顎骨 (SX07; 骨試料 202)     |
| 161. カツオ属左歯骨 (SX07; 骨試料 313)       | 162. カツオ属右肩甲骨 (SX07; 骨試料 178)     |
| 163. カツオ属腹椎 (SX07; 骨試料 200)        | 164. カツオ尾椎 (SX10; 骨試料 100)        |
| 165. カツオ尾鰭椎前椎体 (SX10; 骨試料 93)      |                                   |

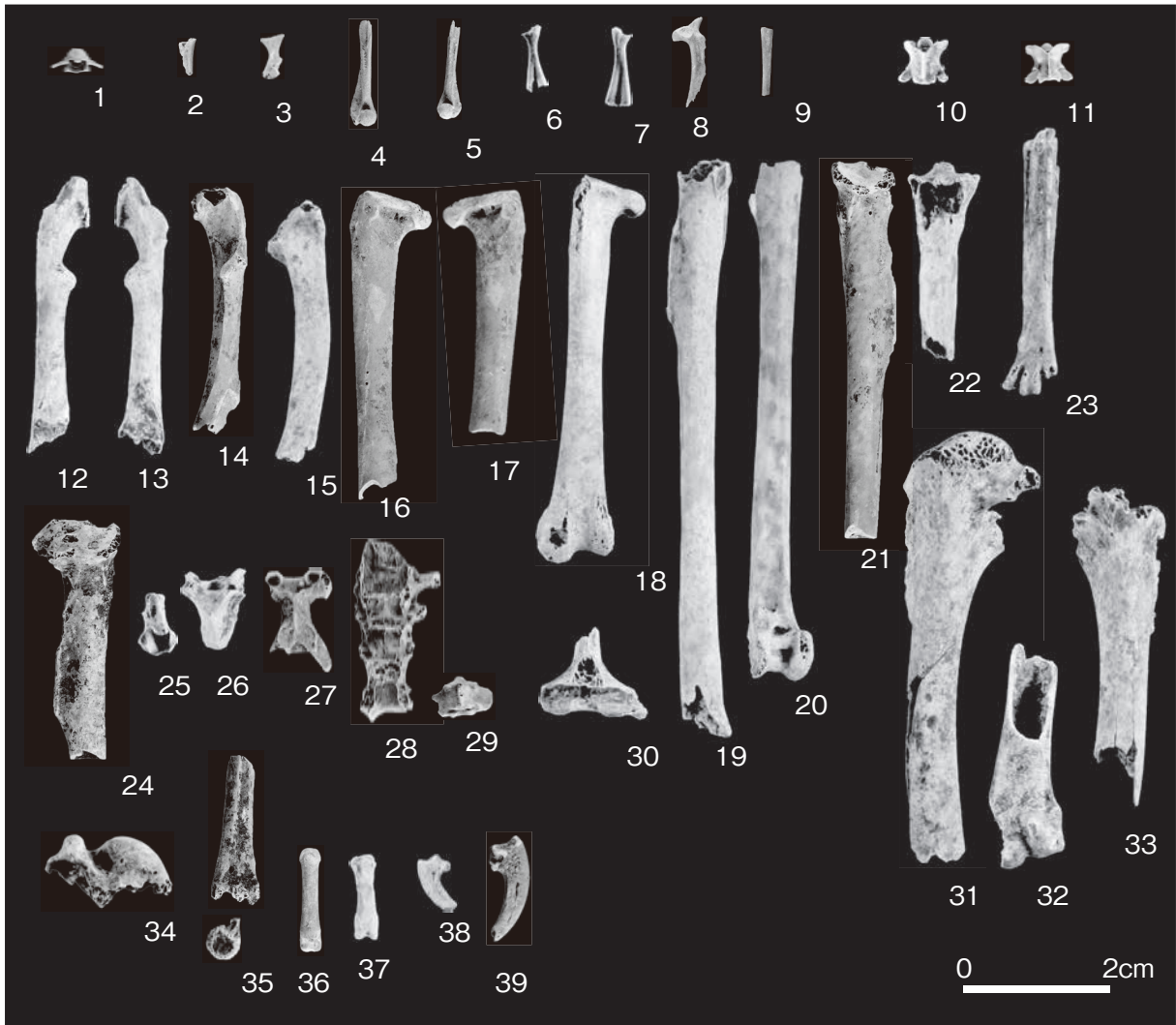
図版10 硬骨魚綱 (5)



- |                                 |                               |
|---------------------------------|-------------------------------|
| 166. マグロ類右主上顎骨 (SX07; 骨試料 388)  | 167. マグロ類左歯骨 (SX11; 骨試料 113)  |
| 168. マグロ類右歯骨 (SX11; 骨試料 113)    | 169. マグロ類左角骨 (SX11; 骨試料 113)  |
| 170. マグロ類左方骨 (SX10; 骨試料 99)     | 171. マグロ類右方骨 (SX11; 骨試料 117)  |
| 172. マグロ類右? 主鰓蓋骨 (SX10; 骨試料 93) | 173. マグロ類肩甲骨 (SX11; 骨試料 113)  |
| 174. マグロ類腹椎 (SX10; 骨試料 102)     | 175. マグロ類腹椎 (SX11; 骨試料 124)   |
| 176. マグロ類尾椎 (SX10; 骨試料 102)     | 177. マグロ類尾椎 (SX07; 骨試料 233)   |
| 178. マグロ類尾椎 (SX07; 骨試料 495)     | 179. マグロ類尾椎 (SX11; 骨試料 127)   |
| 180. マグロ類尾鰭椎前椎体 (SX11; 骨試料 113) | 181. マグロ類終尾椎 (SX10; 骨試料 100)  |
| 182. ヒラメ第1 椎骨 (SX07; 骨試料 160)   | 183. ヒラメ尾椎 (SX07; 骨試料 389)    |
| 184. カレイ科腹椎 (SX07; 骨試料 487)     | 185. カレイ類尾椎 (SI03; 試料 7)      |
| 186. フグ科右前上顎骨 (SX07; 骨試料 164)   | 187. フグ科右前上顎骨 (IVB4; 骨試料 133) |
| 188. フグ科左歯骨 (SX07; 骨試料 477)     | 189. フグ科右歯骨 (SX07; 骨試料 429)   |
| 190. 魚類歯牙 (SX07; 骨試料 277)       | 191. 魚類鱗 (SX07; 骨試料 279)      |
| 192. 魚類 (大型) 鰭棘 (SX07; 骨試料 330) |                               |

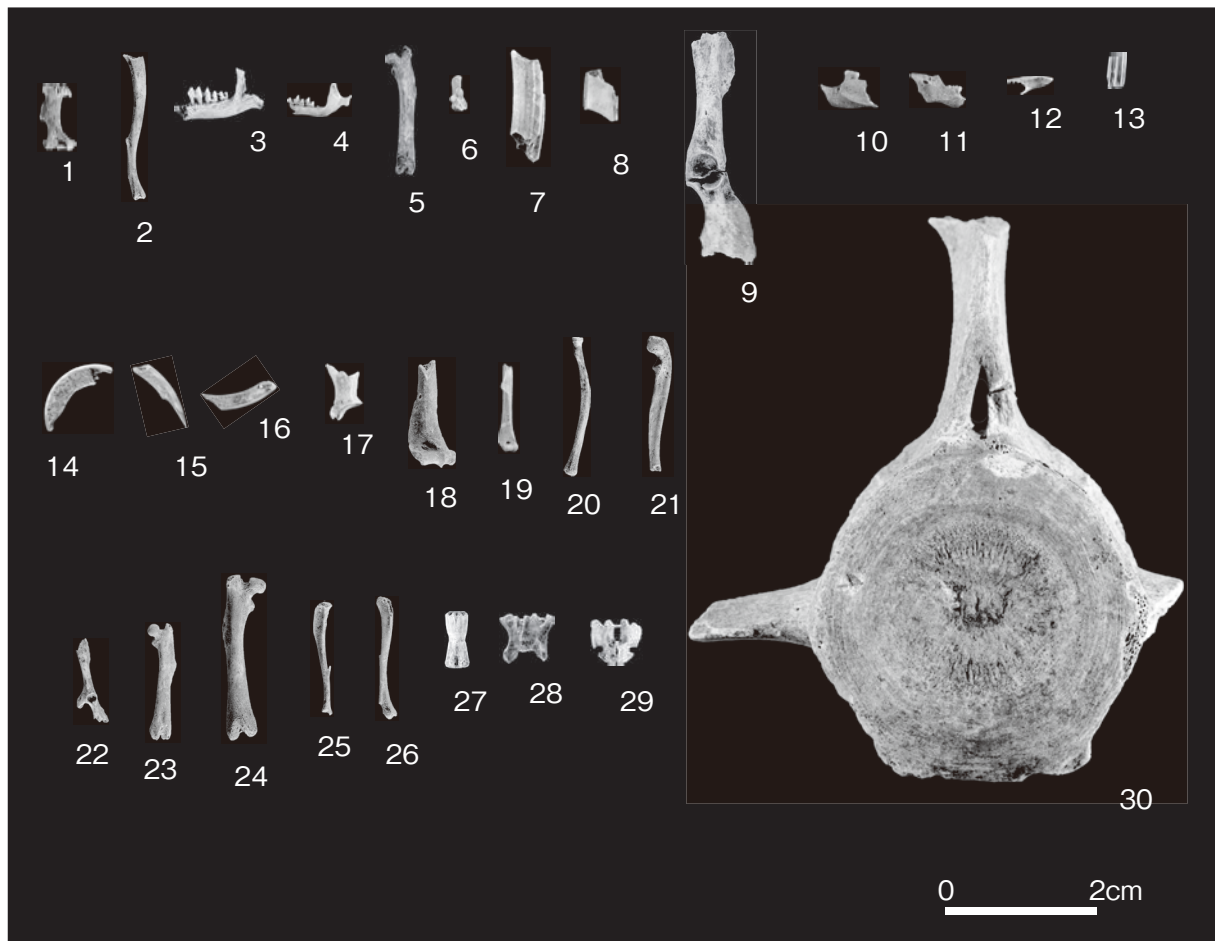


図版11 両生綱・爬虫類・鳥綱



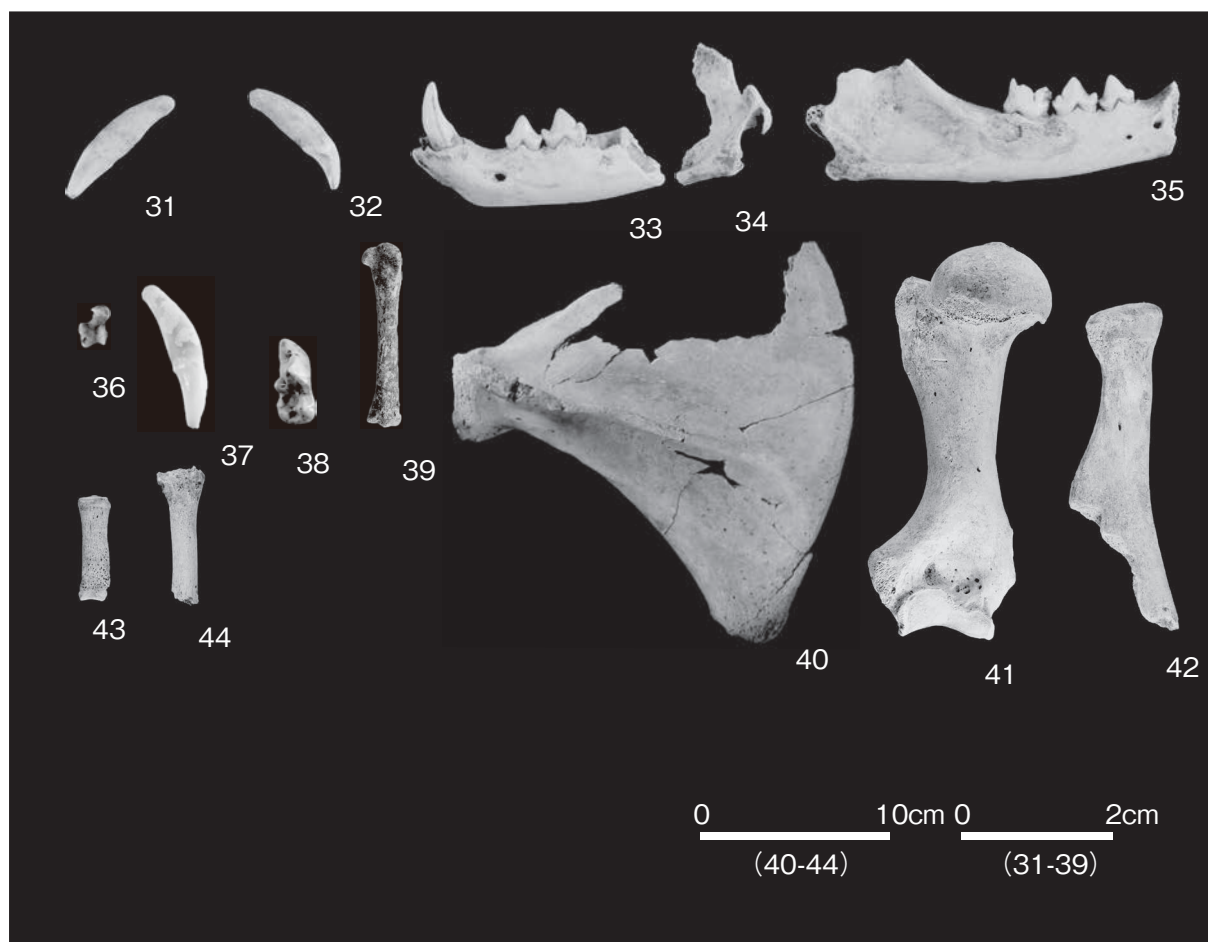
- |                                 |                                |
|---------------------------------|--------------------------------|
| 1. カエル類椎骨 (SX07; 骨試料 499)       | 2. カエル類尾骨 (SX07; 骨試料 218)      |
| 3. カエル類右肩甲骨 (SX07; 骨試料 221)     | 4. カエル類左上腕骨 (SX07; 骨試料 216)    |
| 5. カエル類右上腕骨 (SX07; 骨試料 221)     | 6. カエル類左橈尺骨 (SK29; 試料 24)      |
| 7. カエル類右橈尺骨 (SK29; 試料 24)       | 8. カエル類右腸骨 (SX07; 骨試料 482)     |
| 9. カエル類脛骨 + 腓骨 (SX07; 骨試料 456)  | 10. ヘビ類椎骨 (SX10; 骨試料 94)       |
| 11. ヘビ類椎骨 (SX07; 骨試料 320)       | 12. カラス類左烏口骨 (SX11; 骨試料 108)   |
| 13. カラス類右烏口骨 (SX11; 骨試料 108)    | 14. カラス類右烏口骨 (SX07; 骨試料 483)   |
| 15. カラス類右肩甲骨 (SX11; 骨試料 108)    | 16. カラス類左大腿骨 (SX07; 骨試料 384)   |
| 17. カラス類右大腿骨 (SX07; 骨試料 501)    | 18. カラス類右大腿骨 (SX11; 骨試料 108)   |
| 19. カラス類左脛足根骨 (SX11; 骨試料 108)   | 20. カラス類右脛足根骨 (SX11; 骨試料 108)  |
| 21. カラス類? 右脛足根骨 (SX07; 骨試料 483) | 22. カラス類左足根中足骨 (SX11; 骨試料 108) |
| 23. カラス類右足根中足骨 (SX11; 骨試料 145)  | 24. キジ類脛足根骨 (SX07; 骨試料 495)    |
| 25. 鳥綱頸椎 (SK29; 試料 24)          | 26. 鳥綱椎骨 (SX11; 骨試料 108)       |
| 27. 鳥類椎骨 (SX07; 骨試料 246)        | 28. 鳥類複合仙骨 (SX07; 骨試料 501)     |
| 29. 鳥類尾椎 (SX07; 骨試料 501)        | 30. 鳥綱胸骨 (SX11; 骨試料 145)       |
| 31. 鳥綱左上腕骨 (SI48; 骨試料 47)       | 32. 鳥綱左上腕骨 (SX11; 骨試料 145)     |
| 33. 鳥綱右上腕骨 (SX11; 骨試料 108)      | 34. 鳥類右上腕骨 (SX07; 骨試料 456)     |
| 35. 鳥類右足根中足骨 (SX07; 骨試料 495)    | 36. 鳥類基節骨 (SX07; 骨試料 501)      |
| 37. 鳥綱中節骨 (SX11; 骨試料 108)       | 38. 鳥綱末節骨 (SX11; 骨試料 108)      |
| 39. 鳥類末節骨 (SX07; 骨試料 456)       |                                |

図版12 哺乳綱 (1)



- |                                   |                                   |
|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 1. ヒミズ右上腕骨 (SX07; 骨試料 356)        | 2. ヒミズ? 左脛骨 (SX07; 骨試料 241)       |
| 3. モグラ科左下顎骨 (SX11; 骨試料 111)       | 4. モグラ類左下顎骨 (SX07; 骨試料 311)       |
| 5. モグラ科左大腿骨 (SX10; 骨試料 89)        | 6. モグラ類左踵骨 (SX07; 骨試料 289)        |
| 7. ノウサギ下顎歯牙 (SX07; 骨試料 170)       | 8. ノウサギ下顎歯牙 (SX07; 骨試料 192)       |
| 9. ノウサギ左寛骨 (SX11; 骨試料 115)        | 10. ネズミ亜科左下顎骨 (SX07; 骨試料 352)     |
| 11. ネズミ亜科右下顎骨 (SX07; 骨試料 242)     | 12. ハタネズミ亜科左下顎骨 (SX07; 骨試料 223)   |
| 13. ハタネズミ亜科歯牙 (SX11; 骨試料 120)     | 14. ネズミ類右上顎第 1 門歯 (SX07; 骨試料 223) |
| 15. ネズミ類右上顎第 1 門歯 (SX07; 骨試料 311) | 16. ネズミ類左下顎第 1 門歯 (SX07; 骨試料 311) |
| 17. ネズミ類右肩甲骨 (SX07; 骨試料 455)      | 18. ネズミ類左上腕骨 (SX07; 骨試料 246)      |
| 19. ネズミ類左上腕骨 (SX07; 骨試料 267)      | 20. ネズミ類左橈骨 (SX07; 骨試料 152)       |
| 21. ネズミ類右尺骨 (SX07; 骨試料 369)       | 22. ネズミ類左寛骨 (SX07; 骨試料 274)       |
| 23. ネズミ類左大腿骨 (SX07; 骨試料 291)      | 24. ネズミ類右大腿骨 (SX07; 骨試料 516)      |
| 25. ネズミ類左脛骨 (SX07; 骨試料 278)       | 26. ネズミ類右脛骨 (SX07; 骨試料 464)       |
| 27. ネズミ科尾椎 (SX11; 骨試料 115)        | 28. 小型獣類腰椎 (SX09; 骨試料 85)         |
| 29. 小型獣類腰椎 (SX11; 骨試料 115)        | 30. イルカ類椎骨 (SX07; 骨試料 301)        |

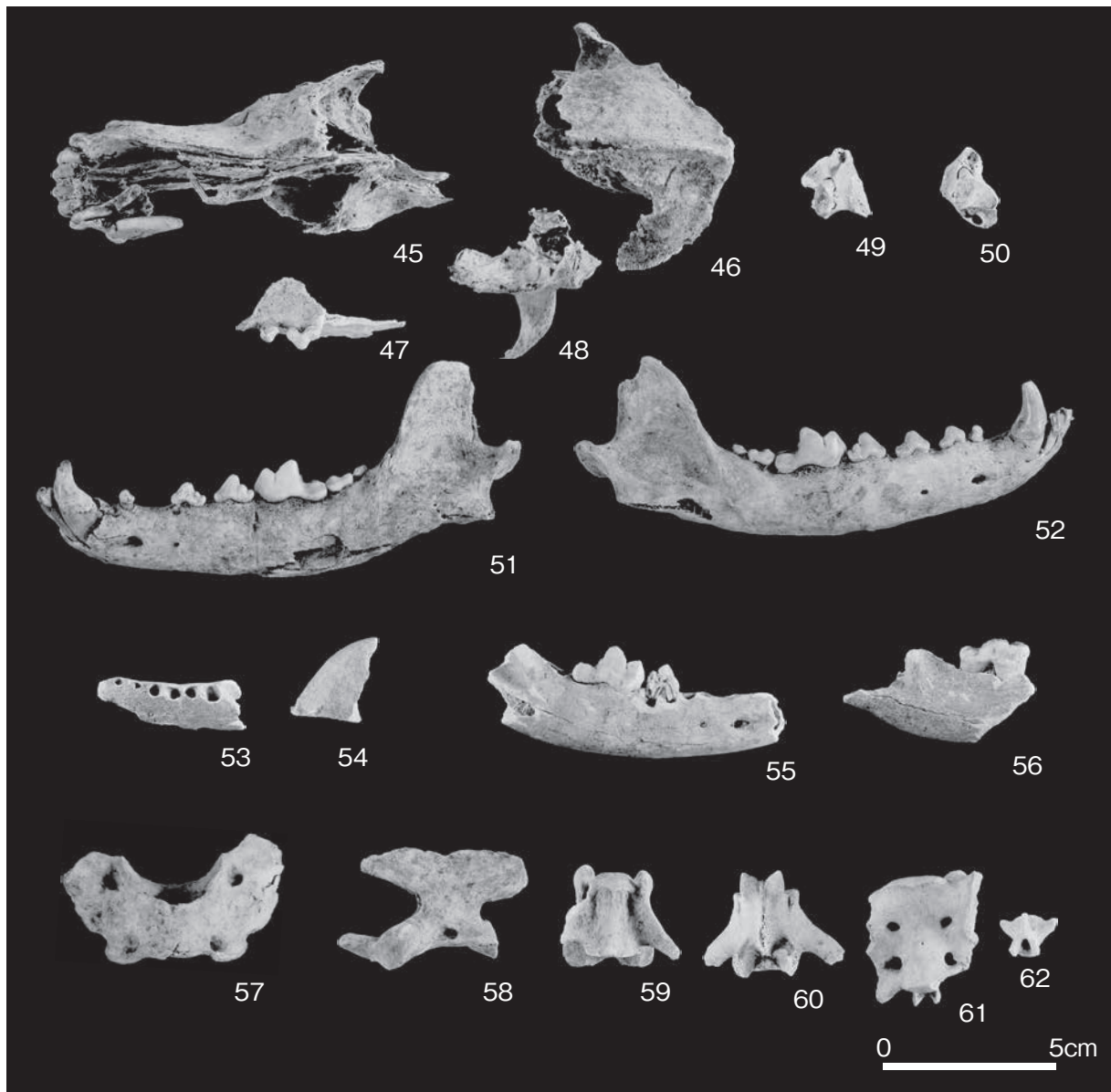
図版13 哺乳綱 (2)



- 31. ネコ左上顎犬歯 (SX10; 骨試料 99)
- 33. ネコ左下顎骨 (SX10; 骨試料 99)
- 35. ネコ右下顎骨 (SX10; 骨試料 100)
- 37. タヌキ右上顎犬歯 (SX07; 骨試料 212)
- 39. タヌキ? 右第 4 中足骨 (SX07; 骨試料 307)
- 41. アシカ類右上腕骨 (SI48; 骨試料 60)
- 43. アシカ類基節骨 (SX10; 骨試料 95)

- 32. ネコ右下顎犬歯 (SX10; 骨試料 99)
- 34. ネコ左下顎骨 (SX10; 骨試料 100)
- 36. イタチ? 左距骨 (SX07; 貝試料 1024)
- 38. タヌキ右下顎第 1 後臼歯 (SX07; 骨試料 444)
- 40. アシカ類左肩甲骨 (SX10; 骨試料 131)
- 42. アシカ類左橈骨 (SI48; 骨試料 25)
- 44. 海獣類? 不明 (SI48; 骨試料 12)

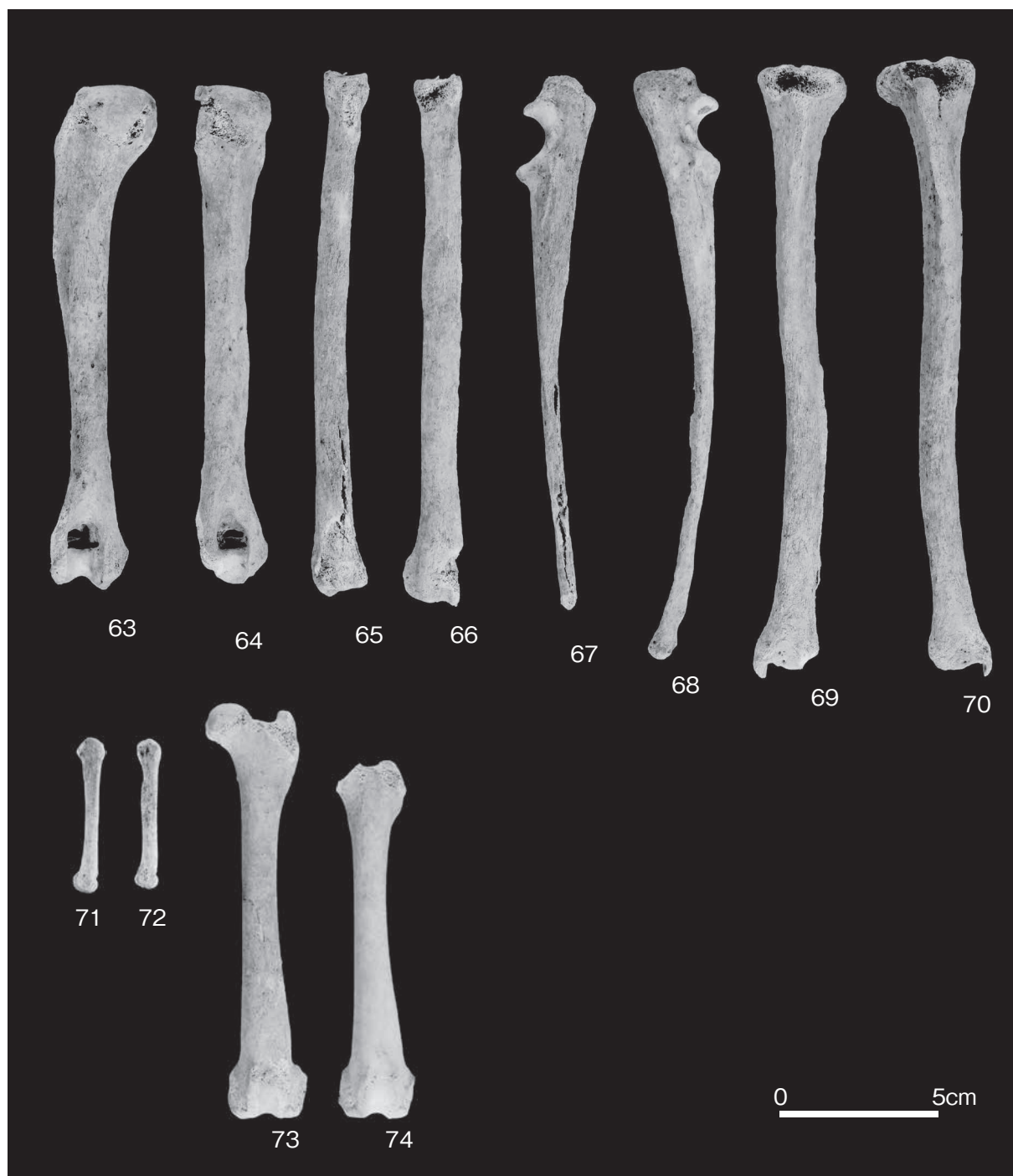
図版14 哺乳綱 (3)



45. イヌ頭蓋骨 (IVC8e; 骨試料 139)  
 47. イヌ左上顎骨 (IVC8e; 骨試料 139)  
 49. イヌ左上顎骨 (SK29; 試料 24)  
 51. イヌ左下顎骨 (IVC8e; 骨試料 139)  
 53. イヌ左下顎骨 (SK29; 試料 24)  
 55. イヌ右下顎骨 (SK29; 試料 24)  
 57. イヌ第 1 頸椎 (IVC8e; 骨試料 139)  
 59. イヌ頸椎 (SK29; 試料 24)  
 61. イヌ仙骨 (SK29; 試料 24)

46. イヌ頭蓋骨 (IVC8e; 骨試料 139)  
 48. イヌ左鱗状骨 (IVC8e; 骨試料 139)  
 50. イヌ右上顎骨 (SK29; 試料 24)  
 52. イヌ右下顎骨 (IVC8e; 骨試料 139)  
 54. イヌ左下顎骨 (SK29; 試料 24)  
 56. イヌ右下顎骨 (SK29; 試料 24)  
 58. イヌ第 2 頸椎 (IVC8e; 骨試料 139)  
 60. イヌ腰椎 (SK29; 試料 24)  
 62. イヌ尾椎 (SK29; 試料 24)

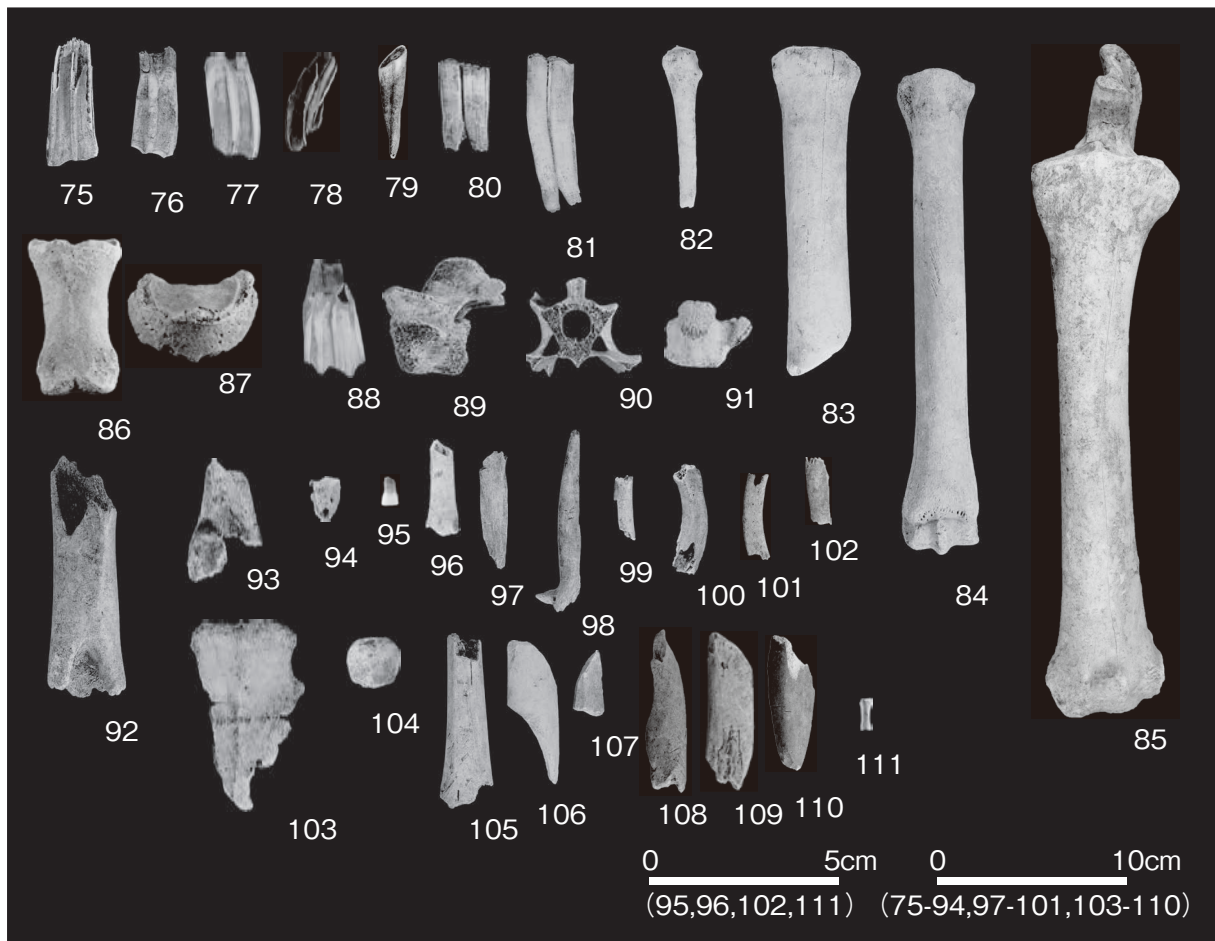
図版15 哺乳綱 (4)



- 63. イヌ左上腕骨 (IVC8e; 骨試料 139)
- 65. イヌ左橈骨 (IVC8e; 骨試料 139)
- 67. イヌ左尺骨 (IVC8e; 骨試料 139)
- 69. イヌ左脛骨 (IVC8e; 骨試料 139)
- 71. イヌ左第 3 中手骨 (SK29; 試料 24)
- 73. イヌ左大腿骨 (SK29; 試料 24)

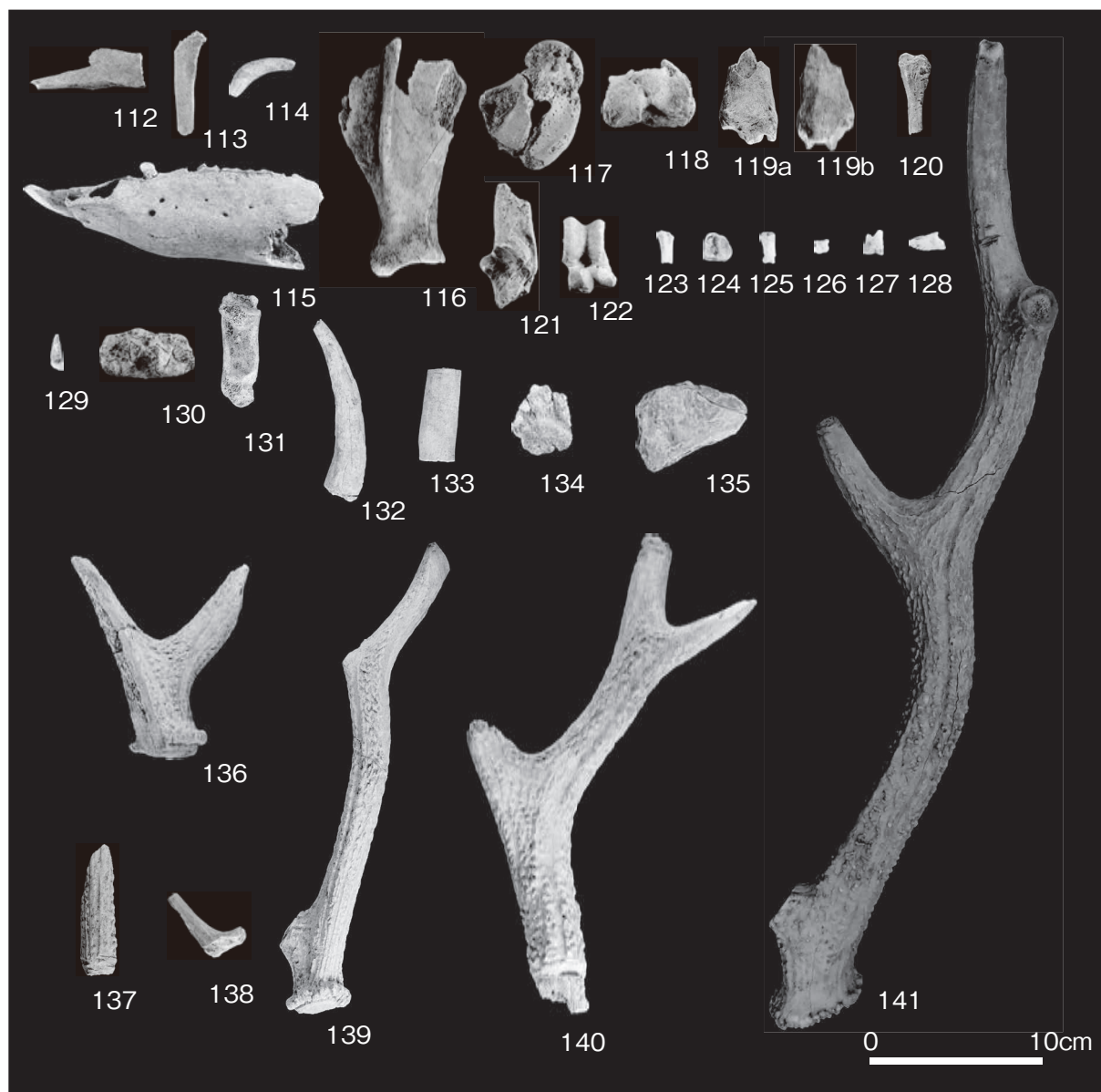
- 64. イヌ右上腕骨 (IVC8e; 骨試料 139)
- 66. イヌ右橈骨 (IVC8e; 骨試料 139)
- 68. イヌ右尺骨 (IVC8e; 骨試料 139)
- 70. イヌ右脛骨 (IVC8e; 骨試料 139)
- 72. イヌ左第 4 中手骨 (SK29; 試料 24)
- 74. イヌ左大腿骨 (SK29; 試料 24)

図版16 哺乳綱 (5)



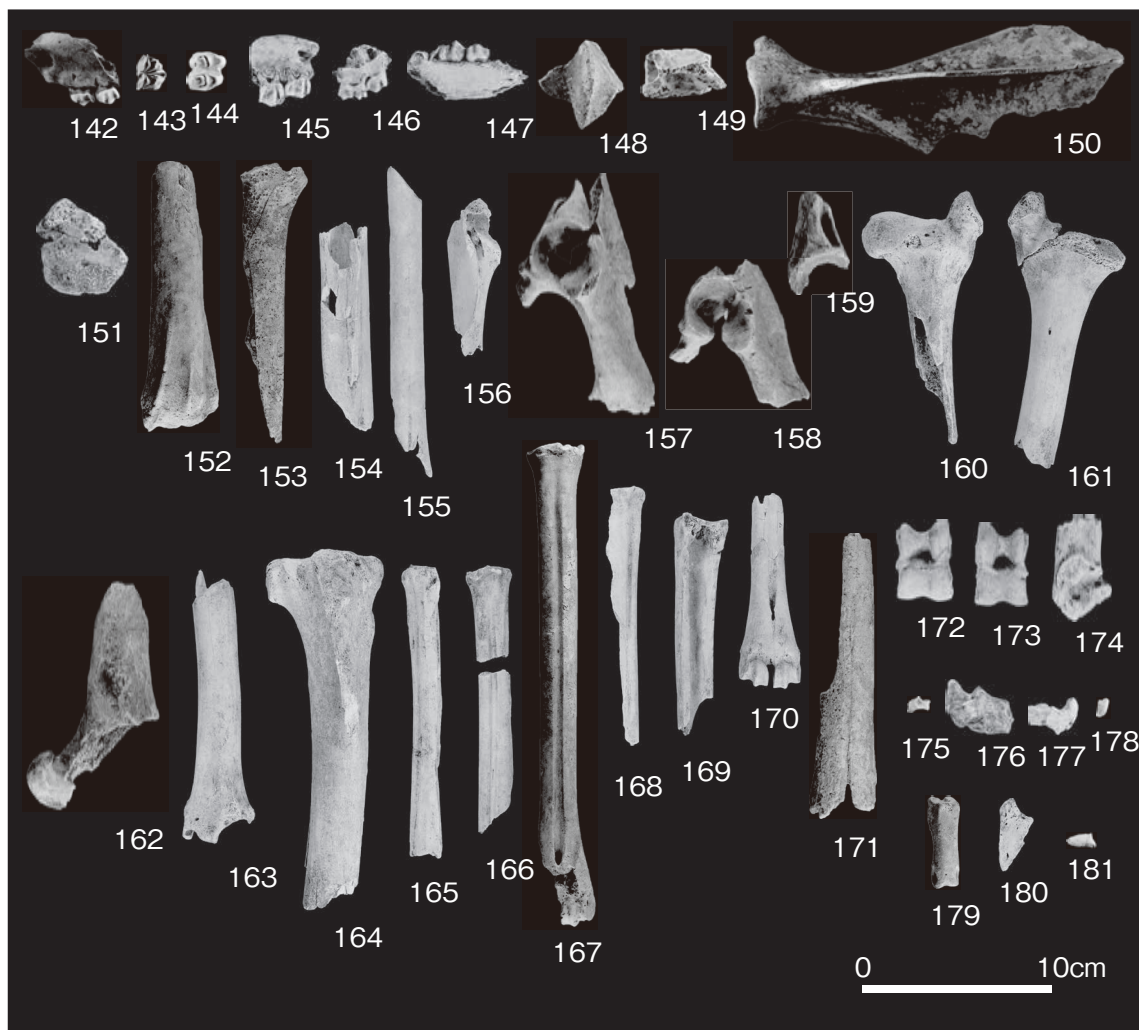
- |                                 |                                 |
|---------------------------------|---------------------------------|
| 75. ウマ左上顎第1後臼歯 (SI74; 骨試料 63)   | 76. ウマ右上顎第1後臼歯 (SX10; 骨試料 92)   |
| 77. ウマ右上顎第2後臼歯 (SX10; 骨試料 88)   | 78. ウマ上顎歯牙 (SX07; 骨試料 289)      |
| 79. ウマ左下顎第3門歯 (SX07; 骨試料 234)   | 80. ウマ左下顎第2後臼歯 (IVC5a; 骨試料 136) |
| 81. ウマ左下顎第2後臼歯 (IVC6f; 骨試料 137) | 82. ウマ左第4中手骨 (SX11; 骨試料 118)    |
| 83. ウマ左第3中手骨 (SX11; 骨試料 118)    | 84. ウマ右中足骨 (SX10; 骨試料 95)       |
| 85. ウマ左橈尺骨 (SX07; 骨試料 182)      | 86. ウマ基節骨 (SX07; 骨試料 骨 392)     |
| 87. ウマ末節骨 (SX07; 骨試料 295)       | 88. ウシ左上顎第2後臼歯 (SX10; 骨試料 89)   |
| 89. ウマ/ウシ腰椎 (SX10; 骨試料 95)      | 90. 大型獣類頸椎 (SX10; 骨試料 101)      |
| 91. 大型獣類椎骨 (SI48; 骨試料 44)       | 92. 大型獣類左上腕骨 (SX10; 骨試料 96)     |
| 93. 大型獣類左上腕骨 (IVB3; 骨試料 132)    | 94. 大型獣類末節骨 (SI105; 骨試料 73)     |
| 95. 獣類門歯 (SX07; 骨試料 346)        | 96. 獣類歯牙 (歯根部) (SI48; 骨試料 7)    |
| 97. 獣類椎骨 (SX09; 骨試料 85)         | 98. 獣類椎骨 (SX10; 骨試料 95)         |
| 99. 獣類肋骨 (SI48; 骨試料 29)         | 100. 獣類肋骨 (SX11; 骨試料 113)       |
| 101. 獣類肋骨 (SX07; 骨試料 413)       | 102. 獣類肋骨 (SX07; 骨試料 骨 317)     |
| 103. 獣類胸骨 (SI48; 骨試料 29)        | 104. 獣類大腿骨 (SI48; 骨試料 41)       |
| 105. 獣類四肢骨 (SX10; 骨試料 93)       | 106. 獣類四肢骨 (SX10; 骨試料 99)       |
| 107. 獣類四肢骨 (SX11; 骨試料 128)      | 108. 獣類四肢骨 (SX07; 骨試料 骨 325)    |
| 109. 獣類四肢骨 (SX07; 骨試料 333)      | 110. 獣類四肢骨 (SX07; 骨試料 骨 287)    |
| 111. 獣類中節骨 (SK29; 試料 24)        |                                 |

図版17 哺乳綱 (6)



- |                                    |                                    |
|------------------------------------|------------------------------------|
| 112. イノシシ属右頬骨 (SX07; 骨試料 397)      | 113. イノシシ属左頸静脈突起 (SX07; 骨試料 344)   |
| 114. イノシシ属左上顎犬歯 (SX10; 骨試料 101)    | 115. イノシシ属左下顎骨 (SX10; 骨試料 92)      |
| 116. イノシシ属左肩甲骨 (SX07; 骨試料 255)     | 117. イノシシ属右大腿骨 (SX07; 骨試料 325)     |
| 118. イノシシ属左脛骨 (SX07; 骨試料 190)      | 119. イノシシ属右脛骨 (SX07; 骨試料 243)      |
| 120. イノシシ属右腓骨 (SX07; 骨試料 243)      | 121. イノシシ属右踵骨 (SX07; 骨試料 243)      |
| 122. イノシシ属右距骨 (SX07; 骨試料 243)      | 123. イノシシ属中手骨 / 中足骨 (SI87; 骨試料 66) |
| 124. イノシシ属基節骨 (SI87; 骨試料 66)       | 125. イノシシ属中節骨 (SI87; 骨試料 66)       |
| 126. イノシシ属 2/5 中節骨 (SI87; 骨試料 66)  | 127. イノシシ属末節骨 (SI87; 骨試料 66)       |
| 128. イノシシ属基節骨 / 中節骨 (SI87; 骨試料 66) | 129. イノシシ属? 歯牙 (SX10; 骨試料 92)      |
| 130. イノシシ属? 右脛骨 (SX07; 骨試料 477)    | 131. イノシシ属? 右踵骨 (SX10; 骨試料 93)     |
| 132. ニホンジカ角 (SX11; 骨試料 126)        | 133. ニホンジカ角 (SX11; 骨試料 124)        |
| 134. ニホンジカ角 (SI105; 骨試料 75)        | 135. ニホンジカ角 (SK147; 骨試料 142)       |
| 136. ニホンジカ角 (SX11; 骨試料 129)        | 137. ニホンジカ角 (SX07; 骨試料 331)        |
| 138. ニホンジカ角 (SX07; 骨試料 384)        | 139. ニホンジカ角 (SX10; 骨試料 101)        |
| 140. ニホンジカ角 (SX11; 骨試料 128)        | 141. ニホンジカ角 (SX11; 骨試料 130)        |

図版18 哺乳綱 (7)



- |  |  |
|--|--|
| 142. ニホンジカ左上顎骨 (SX07; 骨試料 180)         | 143. ニホンジカ左上顎第 2 後臼歯 (SX07; 骨試料 333)   |
| 144. ニホンジカ右上顎第 2 後臼歯 (SX07; 骨試料 461)   | 145. ニホンジカ右上顎骨 (SX10; 骨試料 88)          |
| 146. ニホンジカ右上顎骨 (SX10; 骨試料 99)          | 147. ニホンジカ右下顎骨 (SI48; 骨試料 30)          |
| 148. ニホンジカ第 2 頸椎 (SX07; 骨試料 378)       | 149. ニホンジカ腰椎 (SX07; 骨試料 252)           |
| 150. ニホンジカ左肩甲骨 (SX07; 骨試料 249)         | 151. ニホンジカ左上腕骨 (SI48; 骨試料 40)          |
| 152. ニホンジカ右橈骨 (SX07; 骨試料 252)          | 153. ニホンジカ右橈骨 (SX07; 骨試料 392)          |
| 154. ニホンジカ右橈骨 (SI105; 骨試料 75)          | 155. ニホンジカ中手骨 (SI48; 骨試料 14)           |
| 156. ニホンジカ左寛骨 (SI105; 骨試料 75)          | 157. ニホンジカ左寛骨 (SX07; 骨試料 291)          |
| 158. ニホンジカ左寛骨 (SX07; 骨試料 397)          | 159. ニホンジカ右寛骨 (SX07; 骨試料 460)          |
| 160. ニホンジカ左大腿骨 (SI48; 骨試料 20)          | 161. ニホンジカ右大腿骨 (SI48; 骨試料 39・45)       |
| 162. ニホンジカ右大腿骨 (SX07; 骨試料 301)         | 163. ニホンジカ左脛骨 (SI48; 骨試料 18)           |
| 164. ニホンジカ右脛骨 (SI48; 骨試料 42)           | 165. ニホンジカ左中足骨 (SI48; 骨試料 21)          |
| 166. ニホンジカ左中足骨 (SI48; 骨試料 53・54)       | 167. ニホンジカ右中足骨 (SX07; 骨試料 398)         |
| 168. ニホンジカ右中足骨 (SI48; 骨試料 49)          | 169. ニホンジカ中足骨 (SX10; 骨試料 104)          |
| 170. ニホンジカ中足骨 (SI48; 骨試料 14)           | 171. ニホンジカ中手骨 / 中足骨 (SX07; 骨試料 357)    |
| 172. ニホンジカ左距骨 (SI48; 骨試料 52)           | 173. ニホンジカ右距骨 (IVB4j; 骨試料 133)         |
| 174. ニホンジカ左踵骨 (SI48; 骨試料 24)           | 175. ニホンジカ右果骨 (SX07; 骨試料 484)          |
| 176. ニホンジカ左中心 + 第 4 足根骨 (SI48; 骨試料 31) | 177. ニホンジカ右中心 + 第 4 足根骨 (SI48; 骨試料 10) |
| 178. ニホンジカ種子骨 (SX07; 骨試料 246)          | 179. ニホンジカ基節骨 (SX07; 骨試料 374)          |
| 180. ニホンジカ末節骨 (SI48; 骨試料 23)           | 181. ニホンジカ第 2/5 末節骨 (SX07; 骨試料 510)    |



## 5 植物遺存体の分析 (1)

吉川純子 (古代の森研究舎)

## (1) はじめに

沢田Ⅲ遺跡は下閉伊郡山田町山田の山田湾に向かって張り出す丘陵から低地にかけて広がる遺跡である。この丘陵尾根から南斜面にかけて詳細な時期は不明であるが縄文時代の竪穴住居跡やフラスコ状大型土坑が多数発見された。そのうち円形のSK12土坑は開口部径115cmの円形の底部が広いフラスコ状の貯蔵穴とされ、内部底面に炭化種実の集積層が確認された。そこで当時の植物質食料などの利用状況を把握する目的でこれら炭化種実の調査をおこなった。今回分析に供した試料は10試料で、平面に分割した試料(図1)から各約500ccずつを肉眼及び実体顕微鏡で選別同定し、完形と半分以上は個数と乾重を、半分以下の破片については乾重を計測した。

## (2) 同定結果

本遺跡のSK12土坑から出土した炭化種実同定結果を表1にまとめた。分類群はクリ、トチノキ、不明炭化種実、炭化材、礫を出土し、ほとんどの炭化物がトチノキ種子で、クリその他はわずかであった。

表1 SK12土坑出土炭化種実

実小数点以下2桁表示数値は乾重(g)、自然数は個数

分類群名	出土部位/試料番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	合計
トチノキ	炭化種子完形(一部欠損含む)	-	-	-	21.89	8.08	3.52	9.46	5.94	8.66	-	57.55
	個数	-	-	-	6	3	2	3	2	4	-	20
	炭化種子半分種皮付着	4.29	1.10	-	7.56	1.10	-	5.39	-	3.64	1.36	24.44
	個数	2	1	-	4	1	-	3	-	2	1	14
	炭化子葉半分種皮無し	-	-	5.79	-	1.92	1.04	-	-	-	-	8.75
	個数	-	-	4	-	1	1	-	-	-	-	6
	炭化子葉半分以下種皮付着	80.71	97.74	98.13	132.83	122.89	170.07	135.86	120.80	142.39	106.21	1207.63
	炭化子葉半分以下種皮無し	126.45	105.65	105.35	49.28	85.66	56.83	63.00	90.25	68.71	102.52	853.70
不明	炭化子葉の芽	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01
	炭化種皮破片	10.20	8.22	3.60	4.76	6.01	4.25	3.52	7.91	2.13	9.29	59.89
	炭化果皮破片	-	0.05	-	-	-	0.07	-	0.01	-	-	0.13
	炭化子葉破片	-	0.29	-	-	-	-	-	-	0.30	-	0.59
不明	炭化種実の一部	0.44	0.80	0.15	0.11	-	-	0.14	0.09	-	-	1.73
炭化材と小礫		2.95	4.84	1.11	0.96	0.74	1.09	0.75	0.89	0.32	3.19	16.84
	試料重量	225.05	218.69	214.13	217.39	226.40	236.87	218.12	225.89	226.15	222.57	2231.26

以下に出土した炭化種実の形態記載をおこなう。

・トチノキ：炭化した完形種子、種子破片、種皮破片、子葉破片を出土した。完形種子は完熟した種子ではやや扁平な球形で中央がへこんでいるが、果実内の複数個同時結実による偏成長で不規則な形の種子も多い。種皮は堅くやや薄く下半部は光沢がない木質のへそで上半部はやや光沢があり指紋状や流理状、微細な網状の模様がある。内部の子葉表面はざらついで小さい丘状突起があるかあるいは不規則でゆるやかな凹凸がある。また炭化した子葉表面に、クリには見られないタマネギ状構造ができやすい。若い子葉は乾燥炭化により細かい波状のしわが密に分布する。子葉は縦方向に2分割する構造でそれより細かい割れ面は中心から放射状に割れる。種皮は子葉との密着性が高く乾燥しても剥がれないが、炭化するとやや剥がれやすくなる。

・クリ：炭化した果皮破片、子葉破片を出土した。果皮は縦方向に規則的な筋があり、縦方向に割れやすい。また果実には2本の稜があり、稜部分は果皮が厚くなる。子葉は完形であれば頂部が細いまるみを帯びた三角形で表面に波状のやや細かいしわが縦方向にあり、子葉は広い面に平行方向に2分

割される。

・不明炭化種実：破片状で特徴がないが均質な構造をもつ。クリかトチノキいずれかの子葉破片と考えられるが特徴がない。

### (3) 考 察

本遺跡のSK12土坑底部から出土した炭化種実にはほとんどがトチノキ種子であり、種皮が付着した状態のものが半分以上であった。完形種子は少ないが、炭化した種実には割れやすくなっており、割れた破片にも種皮が付着しているため、完形種子の状態では炭化したと推測される。クリが含まれているが、500cc中に破片が0～2個程度と少ないため当時の混入と考えられる。種子はいずれも熱による破裂や焼け膨れがほぼ確認されないことから、乾燥種子を炭化させたことがわかる。

このような単一種の炭化種実が集積する状況は縄文時代の遺跡において比較的頻繁に確認されており、縄文中期後半の福島県飯野町和台遺跡では住居跡と見られる円形土坑底部に祭祀土器とともに集積した炭化クリが確認され、わずかにトチノキとオニグルミを含んでいた(吉川, 2003)。また、縄文晩期前葉の山形県小国町下叶水遺跡でも炭化クリ集積が確認され、ここではわずかにトチノキを含んでいた(吉川, 2009a)。

同じく縄文晩期前葉の新潟県胎内市野地遺跡では土坑ではないが墓域付近にトチノキ炭化種子の大量集積層が確認され、堅果類では少量のオニグルミとクリを含んでいた(吉川, 2009b)。祭祀土器が確認されたのは和台遺跡のみであるが、野地遺跡のトチ集積は墓坑に近接し祭祀利用などのなんらかの意図を感じさせる状況となっている。本遺跡でもほぼトチノキという単一の分類群で構成され他分類群をほとんど含んでいないことから、儀礼行為の可能性が考えられる。縄文時代の岩手県沿岸部においてもトチノキが重要な食料として認識されていたことを伺わせる貴重な資料である。

#### 引用文献

- 吉川純子. 2003. 183号住居跡出土炭化種実の同定分析. 「和台遺跡」. 飯野町教育委員会・福島県北建設事務所編. 733-741.
- 吉川純子. 2009a. VI 理化学的分析 2 土坑より出土した炭化物. 「下叶水遺跡発掘調査報告書」. 財団法人山形県埋蔵文化財センター編. 78-82.
- 吉川純子. 2009b. 第VI章 4 植物学的分析 A 出土種実による植物利用解析. 「日本海沿岸東北自動車道関係発掘調査報告書 XXXII 野地遺跡」. 新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団. 136-152.

図1 SK12採取試料位置図とクリ破片出土状況

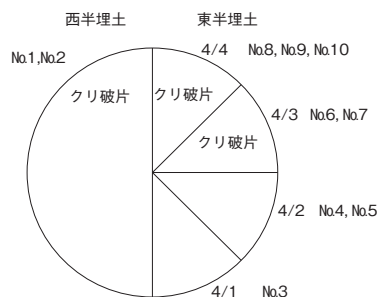
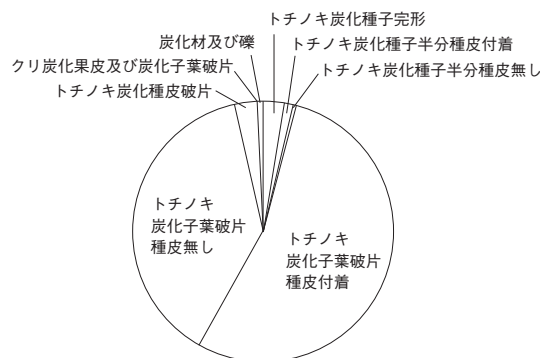
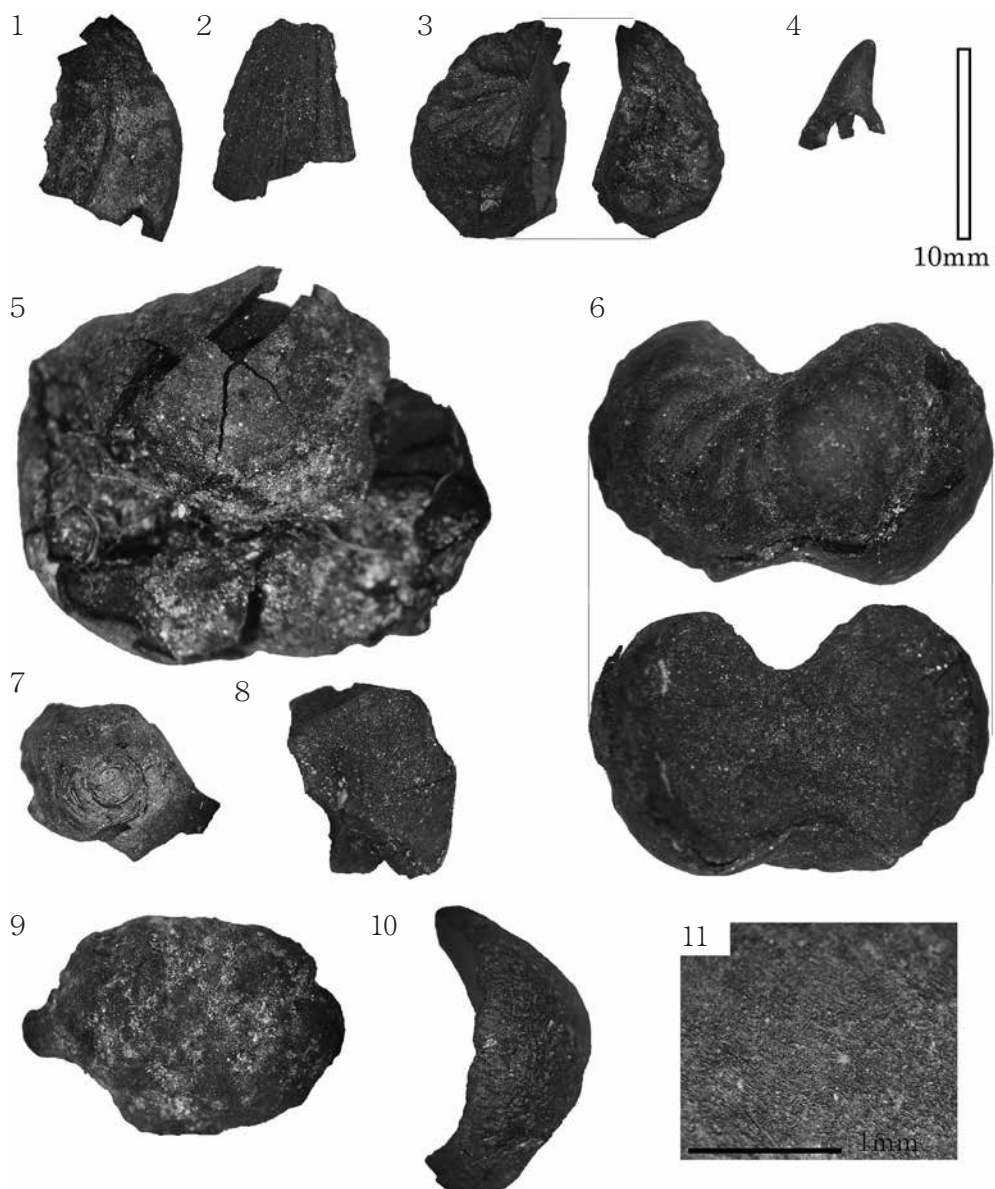


図2 SK12土坑出土炭化物の出土状況別乾重比率 (容積約5,000cc、乾重2,231.56g)



図版1 沢田Ⅲ遺跡出土の炭化種実

1-3: クリ: 1. 炭化果皮破片 (中央が稜部分) (No.2)、2. 炭化果皮破片内側 (No.2)、3. クリ、炭化子葉破片 (No.2)。4-11: トチノキ: 4. 炭化子葉内の芽 (No.1)、5. 炭化完形種子一部欠損 (No.1)、6. 炭化子葉半分 (No.2)、7. 炭化子葉表面のタマネギ状構造 (No.4)、8. 炭化子葉内部割れ面 (No.4)、9. 炭化子葉表面丘状突起 (No.4)、10. 若い子葉表面微細しわ (No.4)、11. 炭化種皮表面拡大 (スケールは10mm、11のみ1mm)



## 5 植物遺存体の分析（2）

パリノ・サーヴェイ株式会社

### （1）はじめに

沢田Ⅲ遺跡（岩手県下閉伊郡山田町山田第3地割）における発掘調査では、尾根の南斜面より縄文時代中期後半の断面フラスコ状の土坑S K12が検出され、多量の炭化種実（トチノキ）が出土している。

平成25年度の分析調査では、土坑S K12炭化種実試料全体の一部（約5%）を対象とした同定が実施され、トチノキの種皮が残る子葉（種子）を主体とし、クリがわずかに混じる組成が得られている（吉川，2014）。

本分析調査では、トチノキ以外の炭化種実の確認を主な目的として、残りの全試料を検鏡対象とした種実同定を実施し、当時の植物利用に関する資料を作成する。

### （2）試料

試料は、土坑S K12の最下層7層（厚さ10cm）黒色土より採取された炭化種実26点（No.1～26）（総量約40kg）で、全て乾燥した状態でポリ袋に入っている。なお、袋No.11、17は各2袋存在するため、便宜上枝番を付している。

発掘調査所見によれば、土坑S K12は、開口部径115cm、底部径190cm、深さ115cmを測る断面フラスコ状の土坑とされる。分析試料は、岩手県埋蔵文化財センターによって、土坑底面を東西に5分割して採取され、粒径5mm、3mm、1mmの篩を通した状態とされる。

各試料の内訳は、西半埋土が13点15袋（No.1、2、11～21）、東半1/4埋土が1点（No.3）、東半2/4埋土が2点（No.4、5）、東半3/4埋土が2点（No.6、7）、東半4/4埋土が3点（No.8～10）、東半埋土が5点（No.22～26）である。なお、10点（No.1～10）は、試料の一部（各500cc、合計2,231.26g）を対象に種実同定が実施されている（吉川，2014）。したがって、本分析で対象とする試料は2,231.26gを除いた量である。詳細は、同定結果とともに表1に示す。

### （3）分析方法

分析は以下の方法で実施する。試料は脆いため、その扱いに十分注意し実施した。

#### a 篩別・抽出

- 1) 試料を肉眼で観察し、トチノキの完形種子、（やや欠損する）完形未満の種子を手で拾い上げる。
- 2) 完形、完形未満種子を拾い上げた後の試料を粒径8mmの篩に通す。篩内の試料を双眼実体顕微鏡下で観察し、同定が可能な炭化種実（トチノキの種子・種皮、クリ）と種実以外（炭化材、岩片類、貝殻片、非炭化植物片）をピンセットで抽出する。
- 3) 8mmの篩を通り抜けた試料を4mmの篩に通す。篩内の試料を実体顕微鏡下で観察し、トチノキ以外を抽出する。抽出後の残試料は、トチノキ種子破片主体（8-4mm）とする。
- 4) 4mmの篩を通り抜けた試料を2mmの篩に通す。篩内の試料を実体顕微鏡下で観察し、トチノキ以外を抽出する。抽出後の残試料は、トチノキ種子破片主体（4-2mm）とする。
- 5) 2mmの篩を通り抜けた試料を1mmの篩に通す。篩内の試料を実体顕微鏡下で観察し、トチノキ以外の炭化種実を抽出する。抽出後の残試料は、トチノキ種子破片主体（2-1mm）とし、岩片類や植物片を含む。

6) 1mmの篩を通り抜けた試料を実体顕微鏡下で観察し、トチノキ以外の炭化種実を抽出する。抽出後の残試料は、トチノキ種子破片主体 (1mm未満) とし、岩片類や植物片を含む。

#### b 同定・計測

炭化種実の同定は、現生標本および中村・戸部訳 (2009)、吉川 (2014) を参考に実施する。同定結果は、トチノキは、完形、完形未満、半分、破片拾い上げ、8mmの篩に残った破片の種子・種皮、完形子葉については個数と重量を、8mmの篩を通り抜けた種子主体の破片については粒径別 (8-4mm、4-2mm、2-1mm、<1mm) の重量を、クリの子葉と果皮については個数と重量を、炭化材、岩片類、貝殻片、非炭化植物片については重量を計測し、一覧表で示す。

計測は、トチノキの完形種子と、クリの内、高さや幅が計測可能な子葉を対象とする。個別番号を付し、重量およびデジタルノギスで長さ、幅 (径)、厚さを計測し、結果を一覧表で示す。分析後は、炭化種実等を分類群・粒径別に容器に入れて返却する。

#### (4) 結 果

同定結果を表1に示す。炭化種実は今26試料を通じて、被子植物2分類群 (クリ、トチノキ) 29,784個 (38,810.2g) が同定された。炭化種実以外は、炭化材が21.3g、無機物 (岩片類、土粒等) が594.3g、二枚貝類の殻片が5個0.1g (No.6、14、15)、非炭化植物片が3.9gの、計619.6gが確認され、No.19、No.23で岩片類がやや多い。なお、非炭化植物片には、栽培のために中世以降に渡来したとされるトウガラシの種子が1個確認され (No.2)、後代の混入とみなされる。炭化種実と種実以外の合計重量は、39,429.8gで、試料全体の98.4%が炭化種実、残りの1.6%が種実以外から成る。

炭化種実は、全体 (38,810.2g) の99.99% (38,806.3g) が落葉広葉樹のトチノキ、残りの0.01% (3.9g) が落葉広葉樹のクリに同定された。

トチノキは全試料から確認され、種子の完形が30個 (91.1g)、完形未満が27個 (44.6g)、半分が115個 (145.3g)、拾い上げた破片が8,080個 (5,091.5g)、8mmの篩に残った破片が19,821個 (7,242.1g)、種皮の破片が1,526個 (93.9g)、子葉の完形が1個 (1.5g) の、合計29,600個 (12,710.1g) である。8mmの篩を通り抜けたトチノキ種子破片主体は、8-4mmが22,957.4g、4-2mmが1,883.8g、2-1mmが326.5g、<1mmが928.5gの、計26,096.2gを量る。

トチノキの炭化種子は、全体の0.4%が完形の状態をとどめ、残りの99.6%が半分以下の破片から成る。破片の大きさは、8-4mmが最多で (59%)、半分~8mm (32%) が次いで多く、4mmを通り抜けた破片はごく少量 (8%) となる。なお、No.25、26では、完形~8mmの大型破片が優占する。

クリは、子葉の完形未満が3個1.4g (No.6、12、17-1)、破片が6個0.7g (No.5、6、17-1)、果皮の破片が175個1.8g (No.2、4、6、8、9、12、13、16、23、24) の、計184個3.9gが確認され、No.8で果皮片がやや多産する (110個1.1g)。

本分析で同定された炭化種実各分類群の写真を図版1、2に、主な炭化種実の計測値を表2に示す。以下に、各分類群の形態的特徴等を述べる。

##### ・トチノキ (*Aesculus turbinata* Blume) トチノキ科トチノキ属

種子 (種皮、子葉) は炭化しており黒色、やや不規則な偏球体を呈す。種子は、ほぼ赤道面を蛇行して一周する曲線を境に表面が平滑で光沢があり、不規則な流理状、指紋状模様がある上半部と、表面が木質、粗面で光沢がない下半部のへそに別れる。上半部の曲線側にある幼根付近には、鈍稜状の凹凸がある。種皮は薄く硬く、へそ側がやや厚い。種皮断面組織はクリよりも不明瞭で、不規則に割



れた破片が多い (図版 1-2)。

種子内に入る子葉は、クリよりも粗面で柔らかく、表面は幼根付近が窪み (図版 1-9)、種皮が残る個体が多い。また、子葉表面のタマネギ状構造 (吉川, 2014) が 1 個体に複数みられるものも多い。破片は、子葉の合わせ目から半分に割れた個体 (図版 1-7、8) がクリよりも少なく、中心部より放射状に裂開し、やや不規則に割れている個体が多い (図版 1-1)。

炭化種子の大きさは、西半埋土 7 層 (No.11-1-2) より確認された完形種子が最も小型で、高さが 3.5mm、径 12.1mm、重量 0.2 g を測る (図版 1-6)。最小を除く完形 (一部完形未満含む) 種子 31 個 (図版 1-3 ~ 5 など) の計測値は、高さが最小 10.0 ~ 最大 19.8 (平均 14.8 ± 標準偏差 2.5) mm、径が 16.9 ~ 30.4 (平均 23.1 ± 3.1) mm、重量が 0.8 ~ 5.9 (平均 2.9 ± 1.1) g であった (表 2)。

・クリ (*Castanea crenata* Sieb. et Zucc.) ブナ科クリ属

果皮 (種皮含む)、子葉は炭化しており黒色、三角状広卵体を呈す。頂部は尖り、基部は切形、腹面は平らで背面は丸みがある個体が多い。

果皮は薄く、外面はやや平滑で微細な浅い縦筋があり、筋に沿って縦方向に割れる破片が多い (図版 2-10 ~ 16)。果皮断面は柵状組織が顕著で、内面には外面よりも縦筋が粗く繊維状の種皮 (渋皮) が残る。果実基部全面を占める着点部は、果皮が最も厚く、外面よりも粗く不規則な粒状紋様があり (図版 2-17)、接線は波状である (図版 2-16)。また、果実背腹両面の境界に 2 本 (総苞内に入る果実数により 3 本の場合もある) の縦稜があり、稜付近の果皮が厚くなる (図版 2-11 ~ 14)。果皮片は最大 1.5cm 程度である。

果皮内に 1 個入る子葉は、トチノキよりも緻密で硬く、表面には種皮 (渋皮) の圧痕である粗く深い波状縦皺模様がある。2 枚からなる子葉の合わせ目の線に沿って割れた半分以下の破片もみられ、半断面は平滑で正中線はやや窪み、頂部には小さな孔 (主根) がある (図版 2-20、21)。

子葉の大きさの計測値と、吉川 (2011) の定義をもとに果実の高さ (炭化子葉の高さ + 1.85) / 0.76、幅 (炭化子葉の幅 + 4.86) / 0.86 を復元し、「クリの大きさ指数」( $\sqrt{\text{高さ} \times \text{幅}}$ ) を求めた結果、最小 (図版 2-19) は、高さが 10.8mm、幅が 7.7mm、厚さが 6.5mm、重量が 0.2 g、大きさ指数が 15.6、最大 (図版 2-18) は、高さが 16.6mm、残存幅が 16.1mm、厚さが 7.5mm、重量が 0.9 g、大きさ指数が 24.3 超であった (表 2)。

## (5) 考 察

縄文時代中期後半とされる土坑 S K 12-7 層より採取された炭化種実 26 試料は、全体 (39,429.8 g) の 98.4% (38,810.2 g) が炭化種実 (トチノキ、クリ)、残りの 1.6% (619.6 g) が種実以外 (炭化材、岩片類・土粒等、二枚貝類の殻片、非炭化植物片) に分類され、炭化種実主体の組成を示した。炭化種実群は、全体の 99.99% (38,806.9 g) がトチノキ、0.01% (3.9 g) がクリに同定され、ほぼトチノキから成る組成を示した。

最も多く出土したトチノキは、高木になる河畔林要素の落葉広葉樹で、種皮内部の子葉があく抜きすることで食用可能となる。出土部位は、ほぼ大型の成熟種子から成り、食用に適さない小型種子が 1 個確認されるのみで、果実や幼果も全く確認されなかったことから、当時の遺跡周辺の河畔林から食用可能な成熟種子が選択的に採取され持ち込まれたと考えられる。また、出土種子の保存状態は比較的良好で、表面に種皮が残る大型破片を主体とし、小型破片が極めて少なく、完形をとどめる個体も確認されることから、食用前の種皮が付いた完形の状態で被熱・炭化し、炭化後に割れて破片となったと推測される。焼き膨れや発泡等も殆ど確認されないことから、種子に含まれる水分が少ない状

表2 主な炭化種実の計測値

種名	部位	出土地点	層位	No	番号	高さ (mm)	幅(径) (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	炭化子葉から復元した クリ果実の大きさ(*1)			備考
										高さ (mm)	幅 (mm)	大きさ 指数	
トチノキ	種子	SK12	東半2/4埋土7層	4	1	16.4	25.2	-	3.17	-	-	-	
トチノキ	種子	SK12	東半2/4埋土7層	4	2	14.4	23.7	-	3.12	-	-	-	
トチノキ	種子	SK12	東半2/4埋土7層	4	3	11.7	21.2	-	1.60	-	-	-	
トチノキ	種子	SK12	東半2/4埋土7層	4	4	10.2	19.9	-	1.50	-	-	-	
トチノキ	種子	SK12	東半2/4埋土7層	4	5	12.4	24.5	-	2.89	-	-	-	
トチノキ	種子	SK12	東半2/4埋土7層	4	6	11.7	18.5	-	1.32	-	-	-	
トチノキ	種子	SK12	東半2/4埋土7層	5	1	13.5	21.8	-	2.03	-	-	-	
トチノキ	種子	SK12	東半2/4埋土7層	5	2	12.9	22.1	-	2.24	-	-	-	
トチノキ	種子	SK12	東半3/4埋土7層	6	1	19.8	24.6	-	4.37	-	-	-	
トチノキ	種子	SK12	東半3/4埋土7層	6	2	14.6	22.1	-	2.85	-	-	-	
トチノキ	種子	SK12	東半3/4埋土7層	6	3	15.3	30.4	-	3.81	-	-	-	図版1-3
トチノキ	種子	SK12	東半3/4埋土7層	6	4	15.7	27.1	-	4.74	-	-	-	
トチノキ	種子	SK12	東半3/4埋土7層	6	5	15.0	29.4	-	5.89	-	-	-	図版1-4
トチノキ	種子	SK12	東半3/4埋土7層	6	6	12.0	19.1	-	1.38	-	-	-	
トチノキ	種子	SK12	東半3/4埋土7層	6	7	15.3	22.8	-	3.14	-	-	-	
トチノキ	種子	SK12	東半3/4埋土7層	6	8	16.5	25.1	-	3.33	-	-	-	図版1-5
トチノキ	種子	SK12	東半3/4埋土7層	6	9	16.1	23.8	-	3.14	-	-	-	
トチノキ	種子	SK12	東半3/4埋土7層	6	10	18.0	24.5	-	3.61	-	-	-	
トチノキ	種子	SK12	東半3/4埋土7層	6	11	15.0	24.6	-	3.11	-	-	-	一部欠損
トチノキ	種子	SK12	東半3/4埋土7層	6	12	16.1	23.2	-	2.88	-	-	-	一部欠損
トチノキ	種子	SK12	東半3/4埋土7層	7	1	17.5	24.7	-	3.57	-	-	-	一部欠損
トチノキ	種子	SK12	東半3/4埋土7層	7	2	15.0	21.8	-	2.35	-	-	-	一部欠損
トチノキ	種子	SK12	東半3/4埋土7層	7	3	10.0	19.3	-	0.83	-	-	-	一部欠損
トチノキ	種子	SK12	東半4/4埋土7層	9	-	16.5	17.9	-	1.69	-	-	-	
トチノキ	子葉	SK12	東半4/4埋土7層	9	-	10.4	16.9	-	1.49	-	-	-	図版1-9
トチノキ	種子	SK12	西半埋土7層	11-1	1	14.5	24.1	-	3.33	-	-	-	
トチノキ	種子	SK12	西半埋土7層	11-1	2	3.5	12.1	-	0.18	-	-	-	最小, 図版1-6
トチノキ	種子	SK12	西半埋土7層	11-2	1	14.1	21.1	-	2.67	-	-	-	
トチノキ	種子	SK12	東半埋土7層	26	1	17.9	22.8	-	2.85	-	-	-	
トチノキ	種子	SK12	東半埋土7層	26	2	14.7	24.5	-	2.65	-	-	-	
トチノキ	種子	SK12	東半埋土7層	26	3	17.9	23.9	-	3.92	-	-	-	
トチノキ	種子	SK12	東半埋土7層	26	4	16.9	27.0	-	3.85	-	-	-	
					最小	10.0	16.9	-	0.8	-	-	-	
					最大	19.8	30.4	-	5.9	-	-	-	
					平均	14.8	23.1	-	2.9	-	-	-	
					標準偏差	2.5	3.1	-	1.1	-	-	-	
					標本数	31	31	-	31	-	-	-	No11-1-2以外
クリ	子葉	SK12	東半3/4埋土7層	6	-	11.9	11.4	5.8	+ 0.23	18.1	18.9	18.5	図版2-21
クリ	子葉	SK12	西半埋土7層	12	-	10.8	7.7	6.5	0.18	16.6	14.6	15.6	図版2-19
クリ	子葉	SK12	西半埋土7層	17-1	-	16.6	16.1	+ 7.5	0.93	24.2	24.3 +	24.3 +	図版2-18

注) 計測はデジタルノギスを使用し、欠損部は残存値に「+」で示す。\*1:吉川(2011)による。

態で炭化した可能性があり、乾燥種子を炭化させた指摘(吉川, 2014)を支持する。

発掘調査所見によれば、土坑SK12-7層の上下や周囲には、火を受けた形跡(焼土等)が確認されなかったとされる。トチノキの炭化種子群が土坑内で火を受けたのか、別の場所で火を受けた残滓が土坑内に持ち込まれたかは不明であるが、炭化種子の保存状態から現地性の高さが示唆され、炭化後に移動しなかったか、移動してもその距離は極めて少なかったと推測される。

クリは、東半1/4埋土以外の位置より、子葉と果皮片が確認された。クリは、高木になる二次林要素の落葉広葉樹で、果皮内の子葉があく抜きせずに食用可能である。土坑SK12の南西低地部より検出された同時期の竪穴住居跡SI75からもクリの炭化子葉・果皮が多く出土し、利用が示唆されている。土坑SK12よりわずかに確認されたクリは、当時の遺跡周辺の森林より持ち込まれ利用された植物質食料の混入と示唆される。

今回の結果に、平成25年度に実施された試料の一部(5%)の同定結果(吉川, 2014)を含めた炭化種実出土状況を表3に示す。土坑SK12 7層より採取された炭化種実試料は、全体(41,661.1g)の98.5%(41,024.6g)が炭化種実、残りの1.5%(636.5g)が種実以外から成り、炭化種実全体の99.99%(41,020.0g)がトチノキ、0.01%(4.7g)がクリから成る。今回の結果とほぼ同様の組成である。

トチノキは、出土種子総量41,020.0gを完形種子1個あたりの重量0.8~5.9(平均2.9)gに換算すると、7000~51,000(平均14,000)個と推定される(ただし、表面の泥を含む等の不確定要素が多いた



5 植物遺存体の分析（2）

め、あくまで参考値である）。

試料採取位置別の出土量は、トチノキは、西半埋土が18,814.6 g、東半埋土（1/4が3,163.9 g、2/4が5,182.1 g、3/4が5,732.0 g、4/4が6,016.6 g、埋土が2,110.9 g）が合計22,205.4 gであった。クリは、西半埋土が2.1 g、東半埋土（1/4は検出されず、2/4が0.2 g、3/4が0.6 g、4/4が1.4 g、埋土が1.3 g）が合計2.6 gであった。トチノキ、クリともに西半埋土よりも東半埋土で多く、東半埋土では4/4が最多で、3/4、2/4と次いで多く、1/4で少ない（クリは確認されない）。東半埋土1/4、2/4でクリが殆ど出土しない傾向は、前回の結果でも得られている。

表3 炭化種実出土状況

遺構層位	試料採取位置	No.	炭化種実 (g)						種実以外 (g)					合計 (g)	割合 (%)						
			トチノキ			クリ			炭化材	炭化材岩片類	岩片類	二枚貝	非炭化種物片		トチノキ			トチノキ	クリ	種実以外	合計
			種皮破片	種子完形	種子破片	種子片主体	子葉	果皮							種皮破片	種子完形	種子破片				
SK127層	西半埋土	1,2,11-21	67.0	30.5	6,831.3	11,885.8	1.8	0.3	10.9	7.8	358.3	0.04	1.3	19,195.0	0.3%	0.2%	35.6%	61.9%	0.01	2.0%	100.0%
	東半1/4埋土	3	9.3	-	1,064.3	2,090.3	-	-	0.8	1.1	4.9	-	0.6	3,171.4	0.3%	-	33.6%	65.9%	-	0.2%	100.0%
	東半2/4埋土	4,5	20.5	54.0	2,221.0	2,886.6	0.2	<0.001	2.1	1.7	7.7	-	0.7	5,194.5	0.4%	1.0%	42.8%	55.6%	0.004	0.2%	100.0%
	東半3/4埋土	6,7	23.5	68.4	2,222.7	3,417.3	0.4	0.3	2.4	1.8	90.3	0.1	0.3	5,827.5	0.4%	1.2%	38.1%	58.6%	0.01	1.6%	100.0%
	東半4/4埋土	8-10	31.1	28.3	2,131.5	3,825.7	0.3	1.1	2.6	4.4	47.0	-	0.3	6,072.2	0.5%	0.5%	35.1%	63.0%	0.02	0.9%	100.0%
	東半埋土	22-26	2.4	13.5	102.7	1,992.4	-	0.3	2.5	-	86.1	-	0.7	2,200.5	0.1%	0.6%	4.7%	90.5%	0.01	4.1%	100.0%
	東半埋土合計	3-10,22-26	86.8	164.2	7,742.2	14,212.2	0.9	1.7	10.4	9.1	236.0	0.1	2.5	22,466.1	0.4%	0.7%	34.5%	63.3%	0.01	1.1%	100.0%
西半・東半埋土合計	1-26	153.8	194.8	14,573.5	26,098.0	2.7	2.0	21.3	16.8	594.3	0.1	3.9	41,661.1	0.4%	0.5%	35.0%	62.6%	0.01	1.5%	100.0%	
			41,020.0			4.7		636.5					98.5%			0.01	1.5%	100.0%			

注) 吉川（2014）による同定結果を含めている。

引用文献

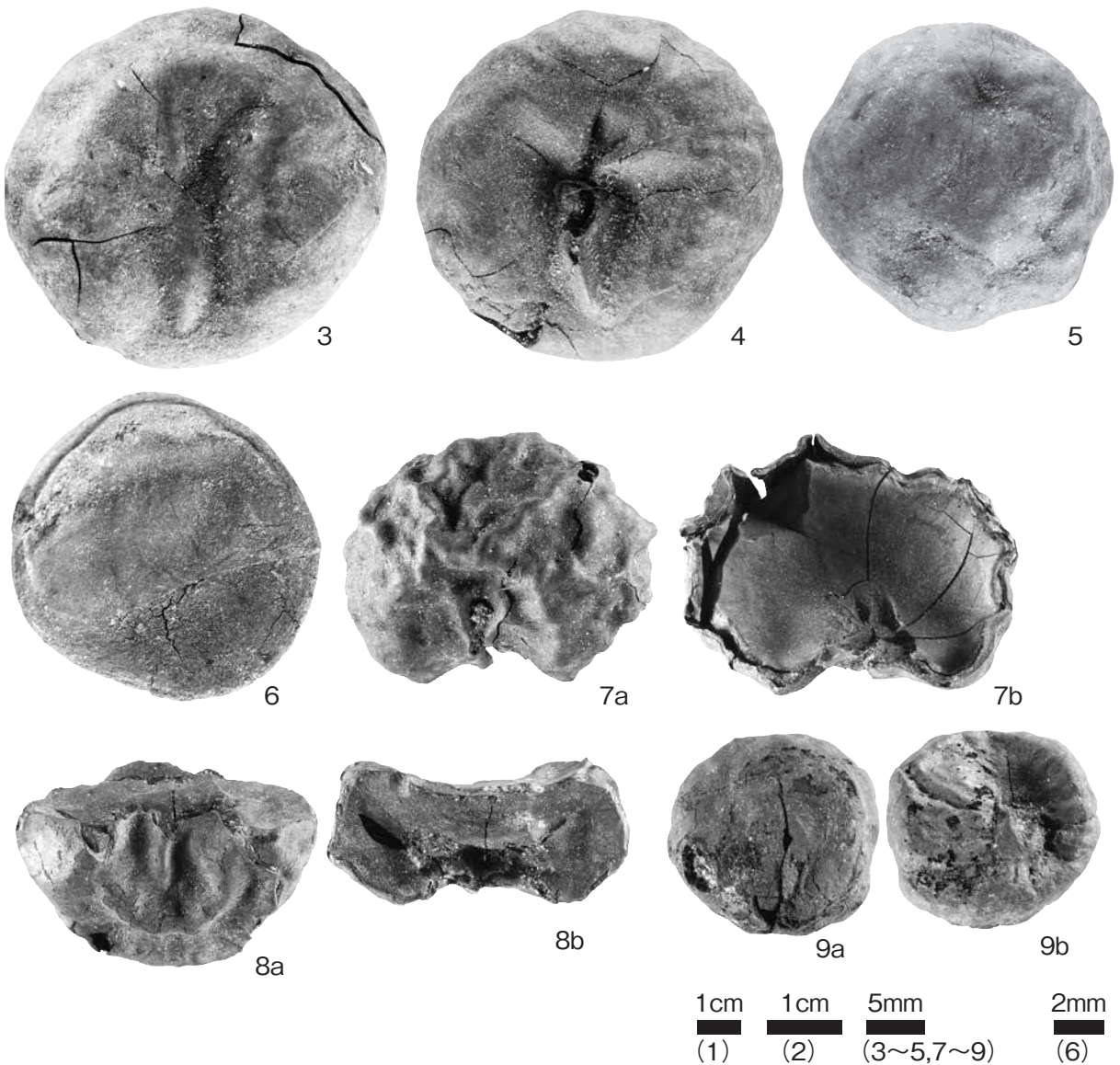
中村信一・戸部 博（訳），2009，植物形態の事典（新装版），ヴェルナー・ラウ（著），朝倉書店，340p.

名久井文明，2012，伝承された縄文技術－木の実・樹皮・木製品－，吉川弘文館，221p.

吉川純子，2011，縄文時代におけるクリ果実の大きさの変化，植生史研究，第18巻 第2号，57-63.

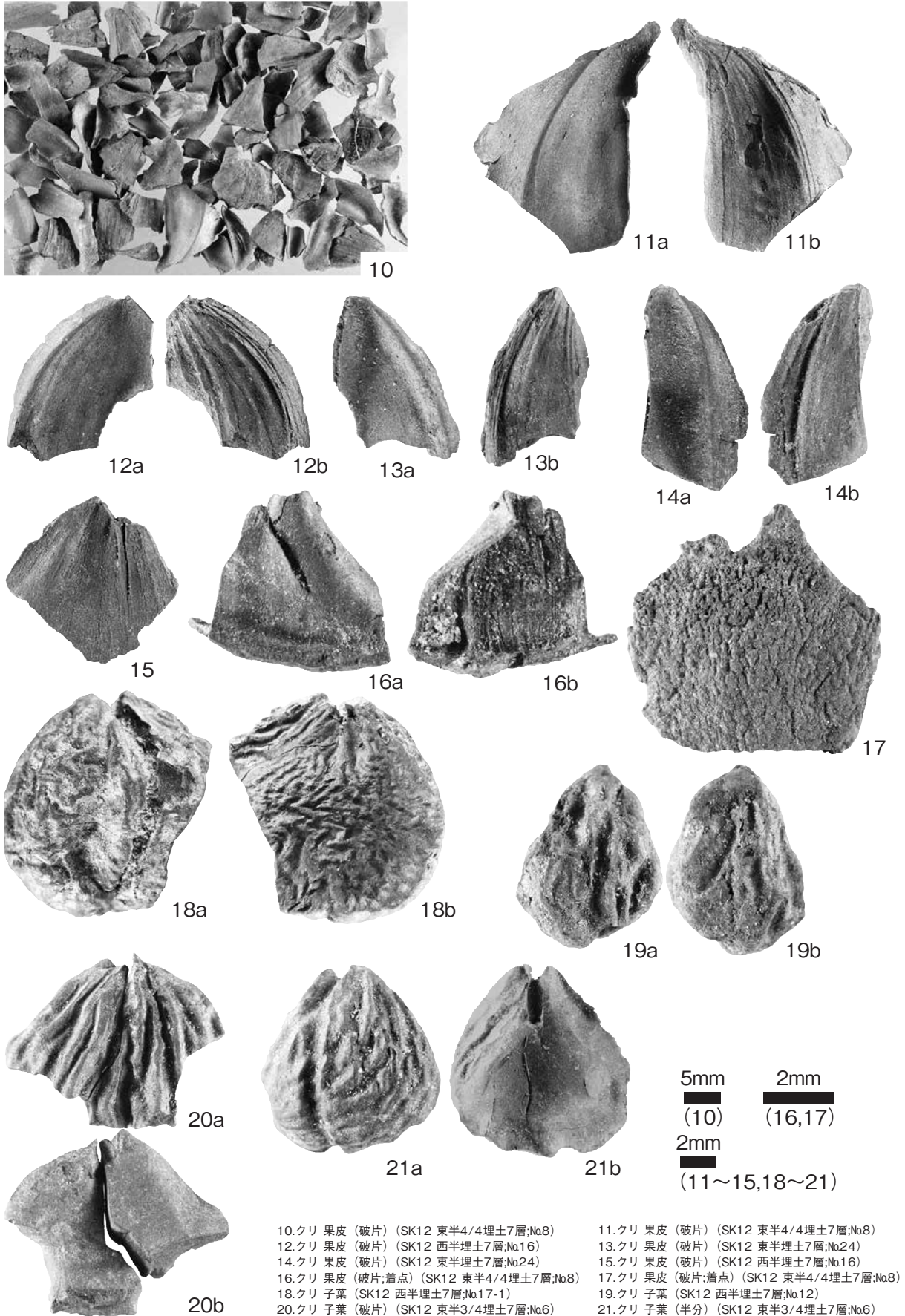
吉川純子，2014，沢田Ⅲ遺跡から出土した炭化種実，沢田Ⅲ遺跡分析鑑定業務委託報告書，古代の森研究舎，3p.

図版1 炭化種実(1)



1. トチノキ 種子 (破片) (SK12 東半3/4埋土7層;No6) 2. トチノキ 種皮 (破片) (SK12 東半3/4埋土7層;No6)  
 3. トチノキ 種子 (完形) (SK12 東半3/4埋土7層;No6) 4. トチノキ 種子 (完形) (SK12 東半3/4埋土7層;No6)  
 5. トチノキ 種子 (完形) (SK12 東半3/4埋土7層;No6) 6. トチノキ 種子 (完形,最小) (SK12 西半埋土7層;No.11-1)  
 7. トチノキ 種子 (半分) (SK12 東半3/4埋土7層;No6) 8. トチノキ 種子 (半分) (SK12 東半4/4埋土7層;No9)  
 9. トチノキ 子葉 (完形) (SK12 東半4/4埋土7層;No9)

図版2 炭化種実 (2)



- |  |  |
|--|--|
| 10. クリ 果皮 (破片) (SK12 東半4/4埋土7層;No8)    | 11. クリ 果皮 (破片) (SK12 東半4/4埋土7層;No8)    |
| 12. クリ 果皮 (破片) (SK12 西半埋土7層;No16)      | 13. クリ 果皮 (破片) (SK12 東半埋土7層;No24)      |
| 14. クリ 果皮 (破片) (SK12 東半埋土7層;No24)      | 15. クリ 果皮 (破片) (SK12 西半埋土7層;No16)      |
| 16. クリ 果皮 (破片;着点) (SK12 東半4/4埋土7層;No8) | 17. クリ 果皮 (破片;着点) (SK12 東半4/4埋土7層;No8) |
| 18. クリ 子葉 (SK12 西半埋土7層;No17-1)         | 19. クリ 子葉 (SK12 西半埋土7層;No12)           |
| 20. クリ 子葉 (破片) (SK12 東半3/4埋土7層;No6)    | 21. クリ 子葉 (半分) (SK12 東半3/4埋土7層;No6)    |

## 5 植物遺存体の分析（3）

パリノ・サーヴェイ株式会社

### （1）はじめに

沢田Ⅲ遺跡（岩手県下閉伊郡山田町山田第3地割）では、低地部より縄文時代中期末頃とされる竪穴住居跡S I 75が検出され、クリを主体とする多量の炭化種実が出土している。また、S I 75を切る古代の竪穴住居跡S I 52からもクリを主体とする炭化種実が出土した。

本分析調査では、出土クリの記録およびクリ以外の炭化種実の確認を主な目的として、全試料を検鏡対象とした種実同定と、一部のクリを対象とした計測を実施し、当時の植物利用に関する資料を作成する。

### （2）試料

試料は、S I 75（袋No.1～18）と、S I 52（袋No.19、20、22）より採取された炭化種実21点（総量約4.6kg）で、全て乾燥した状態でポリ袋に入っている。

発掘調査所見によれば、S I 75は、径7m程の円形基調の竪穴住居跡で、南側に複式炉をもつ縄文時代中期末頃の焼失住居跡と推測されている。炭化種実は、床上の埋土6層（最大厚5cm）黒色土中に含まれ、住居北側の径2m×3m程の範囲で広がって確認されている。

分析試料は、岩手県埋蔵文化財センターによって、北側①②③と、南側④⑤⑥の、全体で6分割して採取されている。各試料の内訳は、6層が1点（袋No.2）、6層北①が2点（袋No.3、4）、6層北②が3点（袋No.5～7）、6層北③が2点（袋No.8、9）、6層南④が2点（袋No.10、11）、6層南⑤が1点（袋No.12）、6層南⑥が3点（袋No.13～15）、北東埋土下位床上が1点（袋No.1）、北西埋土下位床上が1点（袋No.17）、床上が1点（袋No.18）、S I 75-PP 6の北半埋土2層が1点（袋No.16）である。なお、袋No.12の重量は、試料袋に1,138.36gと記されており、試料表に記載された1,138.86gと異なっていた。本報告では試料袋に記された1,138.36を採用する。

一方、S I 52は、S I 75を切る古代の竪穴住居跡とされ、S I 75に伴う炭化種実が確認されている。試料は、北西埋土5層が2点（袋No.19、22）、S I 52-PP 4の南半埋土が1点（袋No.20）である。各試料の詳細は、結果とともに表1に示す。

### （3）分析方法

分析は以下の方法で実施する。試料は脆いため、その扱いに注意し実施した。

#### a 篩別・抽出

- 1) 試料を肉眼で観察し、クリの完形子葉と、（やや欠損する）完形未満の子葉、高さや幅の計測が可能な半分～破片の子葉を手で拾い上げる。
- 2) 拾い上げ後の試料を粒径8mmの篩に通す。篩内の試料を双眼実体顕微鏡下で観察し、クリの子葉や果皮、トチノキ、炭化材、無機物（岩片、土粒等）、土器片、非炭化植物片等をピンセットで抽出する。
- 3) 8mmの篩を通り抜けた試料を4mmの篩に通す。篩内の試料を実体顕微鏡下で観察し、クリの子葉以外を抽出する。抽出後の残試料は、クリ子葉破片主体（8-4mm）とする。
- 4) 4mmの篩を通り抜けた試料を2mmの篩に通す。篩内の試料を実体顕微鏡下で観察し、クリ子葉以外を抽出する。抽出後の残試料は、クリ子葉破片主体（4-2mm）とする。

- 5) 2mmの篩を通り抜けた試料を1mmの篩に通す。篩内の試料を実体顕微鏡下で観察し、クリ以外の炭化種実を抽出する。抽出後の残試料は、クリ子葉破片主体(2-1mm)とし、岩片類や植物片を含む。
- 6) 1mmの篩を通り抜けた試料を実体顕微鏡下で観察し、クリ以外の炭化種実を抽出する。抽出後の残試料は、クリ子葉破片主体(1mm未満)とし、岩片類や植物片を含む。

#### b 同 定

炭化種実の同定は、現生標本および中村・戸部訳(2009)、吉川(2011)等を参考に実施する。クリの子葉は、完形、完形未満、半分、破片に分類後、高さ&幅が完全な完形、完形未満、半分を主な計測対象とし、果皮の付着や食痕の有無を精査する。

同定結果は、クリは、完形、完形未満、半分の子葉は状態別(食痕?、計測)の個数と重量を、8mmの篩に残った子葉の破片、2mmの篩に残った果皮片は個数と重量を、8mmの篩を通り抜けたクリの子葉主体の破片は粒径別(8-4mm、4-2mm、2-1mm、<1mm)の重量を、炭化材、無機物(岩片・土粒類)、非炭化植物片は重量を、土器片は個数と重量を計測し、一覧表で示す。

#### c 計 測

高さ&幅が完全な状態のクリの子葉を対象として、個別番号を付し、重量およびデジタルノギスで高さ、幅、厚さを計測し、結果は一覧表で示す。また、吉川(2011)の定義をもとに、果実の高さ((炭化子葉の高さ+1.85)/0.76)、幅((炭化子葉の幅+4.86)/0.86)を復元し、「クリの大きさ指数」( $\sqrt{\text{高さ} \times \text{幅}}$ )を求め、結果を一覧表&図で示す。分析後は、炭化種実等を分類群・粒径別に容器に入れて返却する。

### (4) 結 果

#### a 炭化種実出土状況

同定結果を表1に、地点別出土状況を表2に示す。全21試料を通じて、炭化種実は、クリ(果皮・子葉)が9,807個(3,829.6g)と、トチノキの子葉が1個1.5g(袋No.7)の、計9,808個(3,831.1g)が同定された。炭化種実以外では、炭化材が14.1g(袋No.17~22以外)、無機物(岩片、土粒等)が444.2g(袋No.17, 22以外)、土器片が7個(3.5g)(袋No.1, 6, 7, 9, 12)、非炭化植物片が0.001g未満(袋No.1)の、計461.8gが確認された。

炭化種実と種実以外の合計重量は4,292.9gである。試料全体の89.2%を炭化種実(クリ)が占め、無機物(岩片、土粒類、土器片)が10.4%と次ぎ、炭化材が0.3%、トチノキが0.03%と少量混じる。無機物は、S I 75の6層南⑤(袋No.12)で23%、S I 75床上(袋No.18)で19%と高率である(表2)。

炭化種実は、全体の99.96%が落葉広葉樹のクリ、残りの0.04%が落葉広葉樹のトチノキに同定された。トチノキは、6層北②(袋No.7)から、子葉の完形未満が1個(1.5g)同定された。クリは、全試料から確認され、果皮の破片(>2mm)が4,154個(34.5g)、子葉の完形が493個(365.3g)、完形未満が904個(559.4g)、半分が276個(111.2g)、8mmの篩に残った破片が3,980個(1,267.2g)の、合計9,807個(2,337.8g)を測る。8mmの篩を通り抜けたクリ子葉破片主体は、8-4mmが1,345.5g、4-2mmが100.5g、2-1mmが27.0g、<1mmが18.8gの、計1,491.9gを量る。地点別では、SI75の6層南⑥(袋No.13~15)が最も多く、6層南⑤(袋No.12)、6層北②(袋No.5~7)の順に次いで多い。

クリの炭化子葉の保存状態は、全体の24%(924.8g)が完形の状態をとどめ、残りの76%(2,904.8g)は半分以下の破片から成る。S I 52の北西埋土5層(袋No.19・22)、S I 75の6層(袋No.2)では完



形率が高く、4割を超える。破片の大きさは、半分～8mmが最多(1,378.4g;36%)で、8-4mmが次いで多く(35%)、4mmを通り抜けた破片はごく少量(4%)となる。

また、計数対象とした8mm以上(完形・破片含む)の子葉5,653個(2,303.2g)のうち、219個(103.3g)(4%)に果皮の付着が確認され、特に6層南⑤、⑥で果皮片の出現率・付着率が高い。その他に、精査対象とした半分以上の子葉1,673個(1,036.0g)のうち、152個105.0g(10%)には、虫類による食痕と考えられる痕跡が確認された。食痕率は、S I 52-PP 4の南半埋土(袋No.20)が最も高く(52%)、S I 75の北西埋土下位床上(袋No.17)(32%)、6層南⑤、⑥(各13%)の順に高い。

表2 炭化種実出土状況

出土地点	層位	袋No.	クリ										クリ主体		トチノキ	炭化材	無機物	土器片	合計 (個)
			果皮・子葉				子葉				子葉主体		子葉	炭化材	無機物	土器片			
			>2mm	完形	未完	半分	>8mm	完形	未完	半分	>8mm	8-2mm	<2mm	完形	>2mm	>2mm	>2mm		
SI75	北東埋土下位床上	1	80	1	1	1	7	20	60	34	527	+	+	-	-	-	2	733	
SI75	北西埋土下位床上	17	-	-	-	-	-	-	5	1	14	+	+	-	-	-	-	20	
SI75	床上	18	-	-	1	-	-	-	5	3	16	+	+	-	-	-	-	30	
SI75	6層	2	60	1	1	-	-	83	109	15	225	+	+	-	+	+	-	494	
SI75	6層北①	3-4	117	1	-	-	-	23	71	10	162	+	+	-	+	+	-	384	
SI75	6層北②	5-7	469	4	5	-	-	18	72	117	54	650	+	+	1	+	+	1392	
SI75	6層北③	8-9	94	3	-	-	-	5	19	48	20	233	+	+	-	+	+	423	
SI75	6層南④	10-11	77	1	1	-	-	1	6	22	9	112	+	+	-	+	+	229	
SI75	6層南⑤	12	1566	11	8	3	51	96	173	48	798	+	+	-	+	+	2	2756	
SI75	6層南⑥	13-15	1628	10	16	6	56	129	247	63	987	+	+	-	+	+	-	3142	
SI75-PP6	北半埋土2層	16	48	-	-	-	4	1	10	2	74	+	+	-	+	+	-	139	
SI52	北西埋土5層	19-22	15	1	-	-	-	1	6	5	3	20	+	+	-	-	+	51	
SI52-PP4	南半埋土	20	-	-	-	-	-	-	1	2	19	+	+	-	-	+	-	22	
合計	-	1~20-22	4154	33	33	10	143	460	871	266	3837	+	+	1	+	+	7	9815	
出土地点	層位	袋No.	クリ										クリ主体		トチノキ	炭化材	無機物	土器片	合計 (g)
			果皮・子葉				子葉				子葉主体		子葉	炭化材	無機物	土器片			
			>2mm	完形	未完	半分	>8mm	完形	未完	半分	>8mm	8-2mm	<2mm	完形	>2mm	>2mm	>2mm		
SI75	北東埋土下位床上	1	0.4	0.9	0.9	0.5	1.4	20.1	39.2	17.1	172.5	105.1	2.0	-	0.1	6.6	1.5	368.3	
SI75	北西埋土下位床上	17	-	-	-	-	-	-	3.3	0.3	4.1	1.9	0.04	-	-	-	-	9.7	
SI75	床上	18	-	-	0.5	-	-	2.9	3.0	2.6	6.0	6.9	1.0	-	-	5.5	-	28.4	
SI75	6層	2	0.5	0.9	0.7	-	-	33.4	60.6	7.2	80.5	52.6	1.5	-	1.3	17.6	-	256.8	
SI75	6層北①	3-4	1.0	0.7	-	-	-	17.4	41.8	5.4	56.5	113.7	1.8	-	0.1	14.9	-	253.4	
SI75	6層北②	5-7	5.2	3.1	2.8	-	-	4.9	51.1	75.9	19.7	201.8	266.6	4.5	1.5	2.8	36.8	0.6	677.4
SI75	6層北③	8-9	1.0	4.0	-	-	-	0.9	15.3	22.2	6.6	74.7	136.4	1.7	-	0.5	59.8	0.2	323.4
SI75	6層南④	10-11	0.7	0.5	1.2	-	-	0.2	2.8	11.2	3.4	35.3	76.4	0.7	-	0.9	1.2	-	134.6
SI75	6層南⑤	12	12.4	10.2	6.8	1.6	14.1	81.9	108.9	18.1	251.6	282.8	20.4	-	5.9	241.9	1.1	1057.7	
SI75	6層南⑥	13-15	12.8	9.0	14.7	3.8	17.3	102.0	157.8	22.6	307.8	349.3	9.5	-	1.7	58.4	-	1066.5	
SI75-PP6	北半埋土2層	16	0.4	-	-	-	-	0.9	0.9	4.4	0.8	22.2	49.5	2.4	-	0.9	1.3	-	83.7
SI52	北西埋土5層	19-22	0.2	0.5	-	-	-	0.2	7.5	3.1	0.8	7.5	3.3	0.2	-	-	0.2	-	23.4
SI52-PP4	南半埋土	20	-	-	-	-	-	-	0.6	0.5	6.7	1.6	0.1	-	-	0.1	-	-	9.6
合計	-	1~20-22	34.5	29.9	27.5	6.0	39.8	335.4	531.9	105.3	1227.4	1446.1	45.8	1.5	14.1	444.2	3.5	4292.9	
出土地点	層位	袋No.	クリ										クリ主体		トチノキ	炭化材	無機物	土器片	合計 (%)
			果皮・子葉				子葉				子葉主体		子葉	炭化材	無機物	土器片			
			>2mm	完形	未完	半分	>8mm	完形	破片	合計	果皮片	果皮着	子葉のみ	子葉主体	合計	個数	重量		
SI75	北東埋土下位床上	1	97.8%	-	0.01%	2.2%	100.0%	17.0%	83.0%	100.0%	0.1%	1.0%	69.1%	29.7%	100.0%	5.1%	6.4%		
SI75	北西埋土下位床上	17	100.0%	-	-	-	100.0%	33.9%	66.1%	100.0%	-	-	79.8%	20.2%	100.0%	16.7%	31.6%		
SI75	床上	18	80.6%	-	-	19.4%	100.0%	27.7%	72.3%	100.0%	-	2.1%	63.4%	34.5%	100.0%	-	-		
SI75	6層	2	92.6%	-	0.5%	6.8%	100.0%	40.2%	59.8%	100.0%	0.2%	0.6%	76.4%	22.7%	100.0%	5.3%	7.1%		
SI75	6層北①	3-4	94.1%	-	0.04%	5.9%	100.0%	25.2%	74.8%	100.0%	0.4%	0.3%	50.8%	48.5%	100.0%	6.7%	8.6%		
SI75	6層北②	5-7	93.8%	0.2%	0.4%	5.5%	100.0%	21.1%	78.9%	100.0%	0.8%	1.7%	54.8%	42.6%	100.0%	5.6%	7.0%		
SI75	6層北③	8-9	81.3%	-	0.2%	18.6%	100.0%	15.9%	84.1%	100.0%	0.4%	1.9%	45.2%	52.5%	100.0%	4.4%	4.8%		
SI75	6層南④	10-11	98.4%	-	0.7%	0.9%	100.0%	12.0%	88.0%	100.0%	0.5%	1.5%	39.8%	58.2%	100.0%	2.6%	6.4%		
SI75	6層南⑤	12	76.5%	-	0.6%	23.0%	100.0%	26.1%	73.9%	100.0%	1.5%	4.0%	56.9%	37.5%	100.0%	13.6%	12.7%		
SI75	6層南⑥	13-15	94.4%	-	0.2%	5.5%	100.0%	28.5%	71.5%	100.0%	1.3%	4.4%	58.6%	35.7%	100.0%	13.0%	13.6%		
SI75-PP6	北半埋土2層	16	97.4%	-	1.1%	1.5%	100.0%	6.6%	93.4%	100.0%	0.5%	1.1%	34.8%	63.6%	100.0%	-	-		
SI52	北西埋土5層	19-22	99.3%	-	-	0.7%	100.0%	48.4%	51.6%	100.0%	0.9%	3.0%	81.2%	14.9%	100.0%	-	-		
SI52-PP4	南半埋土	20	99.2%	-	-	0.8%	100.0%	6.1%	93.9%	100.0%	-	-	82.7%	17.3%	100.0%	33.3%	52.1%		
合計	-	1~20-22	89.2%	0.03%	0.3%	10.4%	100.0%	24.4%	75.6%	100.0%	0.9%	2.7%	57.4%	39.0%	100.0%	9.1%	10.1%		

b 炭化種実の記載

炭化種実各分類群の写真を図版1、2に、クリの炭化子葉の計測値を表3に、吉川(2011)の定義をもとに作成したクリの大きさを表4、図1に示す。以下に、各分類群の形態的特徴等を述べる。

・クリ(Castanea crenata Sieb. et Zucc.) ブナ科クリ属

果実(果皮、子葉)は炭化しており黒色、三角状広卵体を呈す。頂部は尖り、基部は切形で、腹面は平らで背面は丸みがある個体が多い。果皮(果皮含む)は薄く、外面はやや平滑で微細な浅い縦筋があり、筋に沿って縦方向に割れる破片が多い(図版2-17~20)。果皮断面は柵状組織が顕著で、内面には外面よりも縦筋が粗く繊維状の種皮(渋皮)が残る。果実基部全面を占める着点部は、果皮が最も厚く、外面よりも粗く不規則な粒状紋様があり(図版2-20)、接線は波状である。果実背腹両面の境界には2本(総苞内に入る果実数により3本の場合もある)の縦稜があり、稜付近の果皮が厚

くなる（図版2-19）。果皮片は最大1.7cm程度である。

果皮内に1個入る子葉は、トチノキよりも緻密で硬く、表面には種皮（渋皮）の圧痕である粗く深い波状縦皺模様がある（図版1-1～13、2-14～16）。子葉表面に果皮が残る状態も確認された（図版1-1、4、5、7～9）。2枚からなる子葉の合わせ目の線に沿って割れた半分以下の破片もみられ、半割面は平滑で正中線はやや窪み、頂部には小さな孔（主根）がある（図版1-10、12、13）。また、下記計測対象1,157個の子葉のうち、157個（14%）の表面に円～楕円形や蛇行する欠損が確認され（図版1-3、6、2-14、16）。一部の欠損内部には、排泄物と考えられる微細な粒状炭化物も確認された（図版2-14a）。これらの欠損は、虫類による食痕の可能性が高い。

炭化子葉の計測に関して、一部欠損を含む1,157個の計測値は、高さ（標本数1,152）は、最小8.8～最大24.1（平均14.3±標準偏差2.6）mm、幅（標本数1,150）は7.7～26.7（平均15.3±2.8）mm、厚さ（標本数681）は4.2～15.8（平均8.6±1.7）mm、重量（標本数450）は、0.2～2.3（平均0.8±0.4）gであった（表3）。

また、高さと幅が完全な炭化子葉の計測値を対象として、吉川（2011）の定義をもとに、果実の高さ（炭化子葉の高さ+1.85）/0.76、幅（炭化子葉の幅+4.86）/0.86を復元し、「クリの大きさ指数」 $(\sqrt{\text{高さ} \times \text{幅}})$ を求めた結果を表4と図1に示す。「クリの大きさ指数」は、試料全体（標本数1146）とS I 75全体（標本数1,132）は、ともに最小15.5～最大33.9（平均22.3±標準偏差3.1）で、S I 52全体（標本数14）は、最小17.3～最大30.9（平均23.1±標準偏差4.0）であった。最小値は6層北②で15.5、最大値は6層南⑥で33.9、平均値の最小はS I 52-PP 4の南半埋土で20.3、最大はS I 52の北西埋土5層で23.8であった。

・トチノキ (*Aesculus turbinata* Blume) トチノキ科トチノキ属

子葉は炭化しており黒色、大きさは20.52mm×18.54mm×13.04mm、重量1.5gの偏球体を呈し、一端が欠けている。子葉はクリよりも粗面で柔らかく、表面にはクリよりも緩やかな凹凸があり、幼根付近が窪む。表面にみられる亀裂は、子葉中心部よりやや不規則な放射状に裂開している（図版2-21）。

## （5）考 察

縄文時代中期末頃の焼失住居とされる竪穴住居跡S I 75と、S I 75を切る古代の竪穴住居跡S I 52から出土した炭化種実21試料は、全体（4,292.9g）の89.2%（3,831.1g）が炭化種実（クリ、トチノキ）、10.4%（447.7g）が無機物（岩片、土粒類、土器片）、0.3%（14.1g）が炭化材に分類され、炭化種実主体の組成を示した。炭化種実群は、全体の99.96%（3,829.6g）がクリ、0.04%（1.5g；1個）がトチノキに同定され、ほぼクリから成る組成を示し、地点別では、S I 75の6層南⑤、⑥が最も多く、6層北②が次いで多い傾向が得られた。

最も多く確認されたクリは、高木になる二次林要素の落葉広葉樹で、山地や丘陵の林内や、林縁等の明るく開けた場所に生育する。また、堅果類のクリは、子葉が生食・長期保存可能で栄養価も高く、収量も多い有用植物であることから、遺跡出土例も多く、縄文時代の重要な植物質食料であったと考えられている。

出土炭化子葉は、ほぼ成熟した個体のみから成り、不熟果や殻斗（いが）などの食用に適さない部位が確認されないことから、当時の遺跡周辺の森林から食用可能な成熟果実が選択的に住居内に持ち込まれ、利用された植物質食料と示唆される。

出土炭化子葉の保存状態は良好で、大型破片を主体とし、小型破片が極めて少なく、完形をとどめる個体や、表面に果皮が残る個体や果皮片も多く確認されることから、食用前の果皮が付いた完形の状態でも火を受けたと推測される。子葉表面には深い皺が刻まれ、食用にならない果皮が残り、焼き膨



れや発泡等が殆ど確認されない状況を考え合わせると、乾燥した完形果実の状態では火を受けたとみなされ、名久井 (2012) が民俗例に基づき指摘する「十分に乾燥させた皮つきのクリ」であった可能性が示唆される。

今回確認されたクリは、出土総量3,829.6 gを完形1個あたりの重量0.2～2.3(平均0.8) gに換算すると、完形1,650～23,000(平均4,700)個と推定される(ただし、表面の泥を含む等の不確定要素が多いため、あくまで参考値である)。

また、虫害と考えられる食痕個体が10%含まれていた点に関して、荒川(2014)によるクリ果実の保存実験によれば、自然乾燥による虫害率が75%、砂クリや河川内木箱貯蔵、湧水地貯蔵穴、加熱処理等の虫害率が5～10%とされ、収穫後急速にクリシギゾウムシによる被害を受けて食物としての価値を失うことが指摘されている。今回の虫害率と実験結果を考え合わせると、出土クリに自然乾燥の可能性は低く、果実収穫後速やかに何らかの殺虫処理・保存工程が行われ、乾燥させたと推測される。

クリの大きさに関して、出土子葉1,157個を計測し、高さと同幅が完全な1,146個を対象として、吉川(2011)の定義による「クリの大きさ指数」を求めて比較した結果、縄文時代前期の三内丸山遺跡や中期の大船C遺跡、晩期の下叶水遺跡の大きさに類似し、中期の和台遺跡や晩期の野地遺跡、青田遺跡よりも小型で、標準偏差も野地遺跡、青田遺跡よりも小さい傾向が得られた。今回の結果は、縄文時代中期以降におけるクリの増大傾向を積極的に支持するには至らないが、晩期の各遺跡で出土する4 cm強の大型のクリが確認されなかった点は調和的である。今回、本遺跡でまとまった計測数(標本数)が得られたことは重要な考古資料であり、今後のデータ蓄積が期待される。

一方、竪穴住居跡S I 75の6層北②より1個確認されたトチノキは、高木になる河畔林要素の落葉広葉樹で、種皮内部の子葉があく抜きすることで食用可能となることから、クリとともに縄文時代の重要な植物質食料と考えられている。竪穴住居跡S I 75の北東尾根南斜面より検出された同時期とされる土坑S K 12からも、多量の炭化種子が出土しており、当時の利用が示唆されている。竪穴住居跡S I 75より1個のみ確認されたトチノキは、当時の遺跡周辺の河畔林より持ち込まれた植物質食料の混入と示唆される。

#### 引用文献

- 荒川隆史, 2014, 堅果類の保存実験から見た新潟県青田遺跡の縄文時代晩期の貯蔵穴について. 新潟県立歴史博物館研究紀要 第15号, 1-12.
- 中村信一・戸部 博(訳), 2009, 植物形態の事典(新装版). ヴェルナー・ラウ(著), 朝倉書店, 340p.
- 名久井文明, 2012, 伝承された縄文技術-木の実・樹皮・木製品-, 吉川弘文館, 221p.
- 吉川純子, 2011, 縄文時代におけるクリ果実の大きさの変化. 植生史研究, 第18巻 第2号, 57-63.

表3 クリ炭化子葉の計測値(1)

出土地点	層位	袋No.	計測No.	状態	重量(g)	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	図版番号	備考
SI75	北東埋土下位床上	1	1	完形	1.86	18.9	22.7	12.4	-	
SI75	北東埋土下位床上	1	2	完形	1.18	16.7	20.1	11.6	-	
SI75	北東埋土下位床上	1	3	完形	1.21	18.2	18.1	11.0	-	側面僅かに欠損
SI75	北東埋土下位床上	1	4	完形	1.07	15.1	15.2	9.9	-	
SI75	北東埋土下位床上	1	5	完形	0.71	14.1	14.8	8.4	-	
SI75	北東埋土下位床上	1	6	完形未滿	1.02 +	16.6	19.8	10.7	-	腹面~側面欠損
SI75	北東埋土下位床上	1	7	完形	0.66	14.7	14.5	8.2	-	
SI75	北東埋土下位床上	1	8	完形	0.84	20.1	14.6	8.1	-	腹面頂部僅かに欠損
SI75	北東埋土下位床上	1	9	完形	1.21	17.5	18.9	9.0	-	腹面2箇所楕円状欠損(食痕?)
SI75	北東埋土下位床上	1	10	完形	0.84	16.8	15.5	8.3	-	腹面基部僅かに欠損
SI75	北東埋土下位床上	1	11	完形	1.00	18.1	18.0	9.9	-	頂部僅かに欠損
SI75	北東埋土下位床上	1	12	完形未滿	1.03 +	16.7	16.2	10.8	-	背面~側面欠損
SI75	北東埋土下位床上	1	13	完形	0.78	15.9	16.8	8.1	-	側面楕円状欠損(食痕?)
SI75	北東埋土下位床上	1	14	完形	0.63	13.1	13.6	8.3	-	腹面基部僅かに欠損
SI75	北東埋土下位床上	1	15	完形未滿	0.73 +	16.3	17.9	7.3	-	腹面~側面欠損
SI75	北東埋土下位床上	1	16	完形未滿	0.73 +	16.2	16.3	9.6 +	-	背面2/3欠損
SI75	北東埋土下位床上	1	17	完形未滿	0.46 +	14.3	16.6	5.3 +	-	背面3/4欠損
SI75	北東埋土下位床上	1	18	半分	0.45 +	14.6	17.1	6.3 +	-	腹面
SI75	北東埋土下位床上	1	19	半分	0.65 +	15.2	17.1	5.0 +	-	腹面
SI75	北東埋土下位床上	1	20	半分	0.78 +	17.0	19.7	8.4 +	-	背面
SI75	北東埋土下位床上	1	21	完形	2.32	23.1	23.3	15.4	2	
SI75	北東埋土下位床上	1	22	完形	0.92	16.3	15.6	9.5	-	
SI75	北東埋土下位床上	1	23	完形	0.75	13.8	16.0	8.5	-	
SI75	北東埋土下位床上	1	24	完形	1.82	20.3	21.7	10.3	-	背面僅かに欠損
SI75	北東埋土下位床上	1	25	完形未滿	0.65 +	15.6	17.2	9.0	-	腹面1/2欠損
SI75	北東埋土下位床上	1	26	完形	0.94	16.6	20.3	8.0	-	背面~側面僅かに欠損
SI75	北東埋土下位床上	1	27	完形未滿	0.82 +	14.6	17.4	8.9	-	頂部一部欠損
SI75	北東埋土下位床上	1	28	半分	0.91 +	19.7	22.7	7.5 +	-	腹面,頂部欠損
SI75	北東埋土下位床上	1	29	半分	0.74 +	20.0	21.4	6.3 +	-	腹面
SI75	北東埋土下位床上	1	30	半分	0.65 +	15.9	16.6	7.6 +	-	腹面
SI75	北東埋土下位床上	1	31	完形	0.53	13.8	13.3	7.6	-	背面楕円状欠損(食痕?)
SI75	北東埋土下位床上	1	32	完形	0.67	13.1	14.6	7.5	-	側面僅かに欠損
SI75	北東埋土下位床上	1	33	完形	0.27	10.7	10.8	5.8	-	
SI75	北東埋土下位床上	1	34	完形	0.82	12.7	15.0	8.1	-	背面僅かに欠損
SI75	北東埋土下位床上	1	35	完形未滿	0.91 +	17.2	17.0	9.8	-	頂部一部欠損
SI75	北東埋土下位床上	1	36	完形未滿	1.57 +	16.4	22.5	11.3	-	腹面楕円状欠損(食痕?),周囲欠損
SI75	北東埋土下位床上	1	37	完形未滿	1.09 +	16.4	19.6	10.2	-	背面・腹面欠損
SI75	北東埋土下位床上	1	38	完形未滿	0.62 +	12.9	14.9	9.0	-	腹面1/3欠損
SI75	北東埋土下位床上	1	39	完形未滿	0.41 +	12.0	11.3	6.7	-	基部欠損
SI75	北東埋土下位床上	1	40	完形未滿	0.73 +	13.6	15.7	8.7	-	頂部一部欠損
SI75	北東埋土下位床上	1	41	完形未滿	0.35 +	11.6	14.1	7.5 +	-	背面2/3欠損
SI75	北東埋土下位床上	1	42	完形未滿	0.31 +	12.4	14.8	4.4 +	-	背面3/4欠損
SI75	北東埋土下位床上	1	43	完形未滿	0.44 +	12.3	16.3	6.1 +	-	背面3/4欠損
SI75	北東埋土下位床上	1	44	完形未滿	0.64 +	17.3	18.8	6.8 +	-	背面4/5欠損
SI75	北東埋土下位床上	1	45	完形未滿	0.35 +	11.9	14.4	4.3 +	-	背面4/5欠損
SI75	北東埋土下位床上	1	46	完形未滿	0.46 +	13.3	17.8	5.8 +	-	背面4/5欠損
SI75	北東埋土下位床上	1	47	完形未滿	0.53 +	15.7	15.5	8.3 +	-	背面4/5欠損
SI75	北東埋土下位床上	1	48	完形未滿	0.60 +	11.4	16.9	9.7	-	背面~基部楕円状欠損(食痕?)
SI75	北東埋土下位床上	1	49	完形未滿	0.52 +	15.5	16.1	11.4 +	-	腹面4/5欠損
SI75	北東埋土下位床上	1	50	完形未滿	0.32 +	14.0	11.6	5.5 +	-	背面3/4欠損
SI75	北東埋土下位床上	1	51	完形未滿	0.60 +	14.1	17.8	8.2	-	腹面1/2欠損
SI75	北東埋土下位床上	1	52	半分	0.53 +	14.8	16.3	7.5 +	-	背面
SI75	北東埋土下位床上	1	53	半分	0.83 +	14.9	21.9	8.0 +	-	背面
SI75	北東埋土下位床上	1	54	半分	0.52 +	14.6	14.1	6.5 +	-	背面,砂泥付着
SI75	北東埋土下位床上	1	55	半分	0.65 +	16.3	16.6	7.6 +	-	背面
SI75	北東埋土下位床上	1	56	半分	0.27 +	13.4	13.2	4.1 +	-	腹面
SI75	北東埋土下位床上	1	57	半分	0.44 +	11.8	13.2	4.7 +	-	背面
SI75	北東埋土下位床上	1	58	半分	0.15 +	11.6	10.5	2.8 +	-	腹面
SI75	北東埋土下位床上	1	59	半分	0.35 +	14.0	14.7	4.1 +	-	腹面
SI75	北東埋土下位床上	1	60	半分	0.50 +	17.0	17.8	4.8 +	-	背面か腹面か不明
SI75	北東埋土下位床上	1	61	半分	0.28 +	12.7	12.4	4.6 +	-	腹面
SI75	北東埋土下位床上	1	62	半分	0.21 +	11.7	13.1	4.8 +	-	腹面,頂部一部欠損
SI75	北東埋土下位床上	1	63	半分	0.27 +	10.6	12.8	6.1 +	-	腹面
SI75	北東埋土下位床上	1	64	半分	0.30 +	11.4	15.3	4.2 +	-	腹面
SI75	北東埋土下位床上	1	65	半分	0.72 +	19.0	20.3	5.7 +	-	腹面,頂部一部欠損
SI75	北東埋土下位床上	1	66	半分	0.67 +	19.2	19.1	5.6 +	-	腹面,頂部一部欠損
SI75	北東埋土下位床上	1	67	半分	0.33 +	13.1	15.9	4.2 +	-	腹面,内面基部楕円状欠損(食痕?)
SI75	北東埋土下位床上	1	68	半分	0.47 +	14.9	17.4	5.4 +	-	背面?
SI75	北東埋土下位床上	1	69	半分	0.22 +	9.6	12.8	5.0 +	-	腹面
SI75	北東埋土下位床上	1	70	半分	0.35 +	13.3	15.5	4.4 +	-	腹面
SI75	北東埋土下位床上	1	71	半分	0.19 +	10.2	10.2	4.1 +	-	腹面
SI75	北東埋土下位床上	1	72	半分	0.31 +	17.0	12.3	3.6 +	-	腹面
SI75	北東埋土下位床上	1	73	半分	0.85 +	16.3	20.4	9.5 +	-	背面
SI75	北東埋土下位床上	1	74	半分	0.69 +	15.5	17.1	6.8 +	-	腹面,側面一部欠損
SI75	北東埋土下位床上	1	75	半分	0.68 +	17.8	14.6	10.1 +	-	背面
SI75	北東埋土下位床上	1	76	半分	0.75 +	17.8	18.7	6.3 +	-	腹面,基部欠損
SI75	北東埋土下位床上	1	77	半分	0.28 +	13.9	12.9	5.2 +	-	背面
SI75	北東埋土下位床上	1	78	半分	0.75 +	18.1	15.7	7.0 +	-	背面
SI75	北東埋土下位床上	1	79	半分	0.29 +	13.0	14.2	4.2 +	-	腹面,側面一部欠損
SI75	北東埋土下位床上	1	80	半分	0.58 +	13.6	17.2	7.3 +	-	背面
SI75	6層	2	1	完形	1.58	18.6	20.6	11.6	-	
SI75	6層	2	2	完形	0.75	12.8	14.9	9.9	-	
SI75	6層	2	3	完形	1.95	17.1	20.8	14.1	-	
SI75	6層	2	4	完形	1.04	17.1	17.2	9.4	-	
SI75	6層	2	5	完形	0.98	15.0	17.8	9.0	-	
SI75	6層	2	6	完形	1.21	17.1	16.3	7.8	-	
SI75	6層	2	7	完形	0.72	14.3	14.1	9.5	-	
SI75	6層	2	8	完形	0.76	14.8	14.1	8.5	-	
SI75	6層	2	9	完形	0.61	17.2	14.6	5.9	-	
SI75	6層	2	10	完形	1.29	18.8	16.4	8.9	-	
SI75	6層	2	11	完形	0.38	11.6	14.1	11.6	-	

5 植物遺存体の分析(3)

表3 クリ炭化子葉の計測値(2)

出土地点	層位	袋No.	計測No.	状態	重量(g)	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	図版番号	備考
SI75	6層	2	12	完形	0.67	13.7	15.8	7.5	-	
SI75	6層	2	13	完形	1.30	17.4	19.1	9.9	-	
SI75	6層	2	14	完形	0.89	16.2	16.6	8.0	-	背面果皮片残存
SI75	6層	2	15	完形	0.60	11.9	14.4	9.3	-	
SI75	6層	2	16	完形	0.61	14.7	14.4	6.8	-	
SI75	6層	2	17	完形	0.57	11.3	13.9	7.4	-	
SI75	6層	2	18	完形	0.52	13.4	12.5	6.8	-	
SI75	6層	2	19	完形	0.69	15.0	14.7	7.5	-	
SI75	6層	2	20	完形	0.72	13.5	14.9	9.4	-	
SI75	6層	2	21	完形	0.47	11.0	11.5	7.0	-	
SI75	6層	2	22	完形	1.45	17.2	17.7	13.4	-	
SI75	6層	2	23	完形	0.55	11.4	12.4	8.3	-	
SI75	6層	2	24	完形	0.76	13.8	13.7	7.1	-	
SI75	6層	2	25	完形	0.81	14.9	15.2	8.3	-	腹面基部僅かに欠損
SI75	6層	2	26	完形	0.80	15.1	14.9	9.2	-	基部僅かに欠損
SI75	6層	2	27	完形	1.23	15.1	17.5	11.9	-	基部僅かに摩耗
SI75	6層	2	28	完形未滿	1.16 +	15.9	15.9	11.2	-	背面一部欠損
SI75	6層	2	29	完形	0.63	12.1	14.4	9.2	-	
SI75	6層	2	30	完形	1.67	19.8	22.1	10.7	-	背面一部僅かに欠損
SI75	6層	2	31	完形未滿	1.28 +	21.5	20.7	10.3	-	腹面1/2欠損
SI75	6層	2	32	完形未滿	1.09 +	15.0	17.4	11.9	-	背面1/3欠損
SI75	6層	2	33	完形未滿	1.31 +	15.7	17.8	12.8	-	背面1/2欠損
SI75	6層	2	34	完形未滿	1.00 +	17.7	18.3	11.1	-	背面1/3欠損
SI75	6層	2	35	完形未滿	0.61 +	14.8	14.4	8.6	-	背面1/3欠損
SI75	6層	2	36	完形未滿	0.96 +	19.0	19.0	11.8 +	-	背面2/3欠損
SI75	6層	2	37	完形未滿	1.07 +	16.6	20.6	11.1 +	-	背面2/3欠損
SI75	6層	2	38	完形未滿	0.95 +	17.6	19.4	6.8 +	-	背面2/3欠損
SI75	6層	2	39	完形未滿	1.04 +	20.1	14.7	9.3	-	腹面1/6欠損
SI75	6層	2	40	完形未滿	0.98 +	15.4	19.4	9.5	-	基部橋円状欠損(食痕?)
SI75	6層	2	41	完形未滿	0.96 +	14.9	17.8	8.1	-	背面摩耗
SI75	6層	2	42	完形	0.94	16.0	18.3	8.3	-	周囲僅かに摩耗
SI75	6層	2	43	完形未滿	0.66 +	15.7	17.0	8.3	-	頂部一部欠損
SI75	6層	2	44	完形未滿	0.43 +	15.9	15.4	4.8 +	-	背面4/5欠損
SI75	6層	2	45	完形未滿	0.46 +	13.0	15.6	7.3 +	-	背面4/5欠損
SI75	6層	2	46	完形未滿	0.31 +	15.3	17.2	5.7 +	-	背面4/5欠損,腹面橋円状欠損(食痕?)
SI75	6層	2	47	半分	0.57 +	13.4	15.6	8.6 +	-	背面
SI75	6層	2	48	半分	0.65 +	15.1	17.0	7.0 +	-	背面
SI75	6層	2	49	完形未滿	0.54 +	13.6	15.7	6.4 +	-	背面4/5欠損
SI75	6層	2	50	半分	0.49 +	17.9	18.4	4.9 +	-	腹面,側面一部欠損
SI75	6層	2	51	半分	0.56 +	17.0	18.9	6.2 +	-	腹面,側面一部欠損
SI75	6層	2	52	半分	0.42 +	13.3	16.5	13.3 +	-	腹面
SI75	6層	2	53	完形	0.87	14.8	15.3	10.9	-	腹面稜状
SI75	6層	2	54	完形	0.60	12.4	15.6	8.9	-	側面僅かに欠損
SI75	6層	2	55	完形	0.64	12.5	14.6	8.0	-	
SI75	6層	2	56	完形	0.54	12.1	12.8	7.2	-	
SI75	6層	2	57	完形	0.61	13.7	13.1	7.4	-	
SI75	6層	2	58	完形	0.39	11.2	12.6	6.8	-	
SI75	6層	2	59	完形	0.62	13.2	12.4	7.4	-	
SI75	6層	2	60	完形	0.80	12.8	14.1	9.7	-	
SI75	6層	2	61	完形	0.59	13.0	13.2	7.1	-	
SI75	6層	2	62	完形	0.44	10.6	11.9	6.9	-	頂部,背面僅かに欠損
SI75	6層	2	63	完形	0.43	10.4	13.5	7.7	-	背面僅かに欠損,腹面円状欠損(食痕?)
SI75	6層	2	64	完形	0.28	14.0	9.6	6.6	-	
SI75	6層	2	65	完形	0.38	11.0	12.4	6.4	-	周囲摩耗
SI75	6層	2	66	完形未滿	0.66 +	16.4	13.8	7.9	-	側面~基部橋円状欠損(食痕?),砂泥付着
SI75	6層	2	67	完形未滿	0.55 +	12.6	13.3	8.0	-	背面橋円状欠損(食痕?)
SI75	6層	2	68	完形未滿	0.54 +	11.0	14.3	7.0	-	基部欠損,砂泥付着
SI75	6層	2	69	完形未滿	0.49 +	11.4	13.0	7.9	-	頂部~背面欠損
SI75	6層	2	70	完形未滿	1.28 +	17.1	18.0	7.6	-	状態不良,表面磨耗
SI75	6層	2	71	完形未滿	0.45 +	11.3	13.7	7.7	-	基部欠損
SI75	6層	2	72	完形未滿	1.12 +	18.0	17.8	7.8 +	-	背面橋円状欠損(食痕?),腹面周囲欠損
SI75	6層	2	73	完形未滿	0.66 +	11.7	14.9	9.7 +	-	腹面橋円状欠損(食痕?)
SI75	6層	2	74	完形未滿	0.57 +	13.0	17.0	7.3	-	背面1/2欠損
SI75	6層	2	75	完形未滿	0.57 +	12.9	15.0	8.0	-	側面橋円状欠損(食痕?)
SI75	6層	2	76	完形未滿	0.42 +	11.5	14.1	7.6 +	-	腹面2/3,背面僅かに欠損
SI75	6層	2	77	完形未滿	0.40 +	13.7	14.7	8.0 +	-	背面3/4欠損
SI75	6層	2	78	完形未滿	0.35 +	13.4	13.7	5.7 +	-	背面3/4欠損
SI75	6層	2	79	完形未滿	0.48 +	12.4	13.3	8.3	-	腹面橋円状欠損(食痕?)
SI75	6層	2	80	完形未滿	0.88 +	16.6	18.6	6.6	-	基部橋円状欠損(食痕?),頂部欠損
SI75	6層	2	81	半分	0.95 +	18.8	21.0	7.7 +	-	背面,周囲欠損
SI75	6層	2	82	半分	0.71 +	15.0	15.9	9.0 +	-	背面,基部円状欠損(食痕?)
SI75	6層	2	83	半分	0.38 +	12.9	14.5	5.1 +	-	背面
SI75	6層	2	84	半分	0.21 +	10.0	11.5	4.9 +	-	背面
SI75	6層	2	85	半分	0.27 +	12.9	14.5	5.5 +	-	腹面
SI75	6層	2	86	半分	0.29 +	13.1	13.5	4.7 +	-	腹面
SI75	6層	2	87	半分	0.43 +	14.5	16.3	6.2 +	-	腹面,基部一部欠損
SI75	6層	2	88	半分	0.56 +	18.4	16.8	6.0 +	-	腹面
SI75	6層	2	89	半分	0.43 +	14.7	15.8	4.0 +	-	腹面
SI75	6層	2	90	半分	0.34 +	14.3	12.7	4.4 +	-	腹面,頂部一部欠損
SI75	6層北①	3	1	完形	0.42	11.2	11.2	7.0	-	
SI75	6層北①	3	2	完形	0.45	11.2	11.7	7.0	-	
SI75	6層北①	3	3	完形	0.50	13.6	12.6	6.6	-	
SI75	6層北①	3	4	完形	0.50	10.4	11.9	6.1	-	
SI75	6層北①	3	5	完形	0.78	13.9	14.8	8.4	-	
SI75	6層北①	3	6	完形	0.50	12.6	13.4	7.4	-	
SI75	6層北①	3	7	完形	0.53	13.7	13.0	7.1	-	砂泥付着
SI75	6層北①	3	8	完形	0.31	11.8	11.6	6.7	-	側面僅かに欠損
SI75	6層北①	3	9	完形	0.99	15.9	17.5	10.3	-	頂部,側面僅かに欠損
SI75	6層北①	3	10	完形	1.18	18.1	19.1	10.8	-	頂部僅かに欠損
SI75	6層北①	3	11	完形	0.60	12.6	14.2	7.0	-	基部僅かに欠損
SI75	6層北①	3	12	完形	0.40	12.0	12.0	6.1	-	基部僅かに欠損

表3 クリ炭化子葉の計測値(3)

出土地点	層位	袋No.	計測No.	状態	重量(g)	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	図版番号	備考
S175	6層北①	3	13	完形未滿	1.71 +	18.6	18.5	11.4	-	表面摩耗
S175	6層北①	3	14	完形未滿	1.16 +	19.9	19.7	9.0	-	側面一部欠損
S175	6層北①	3	15	完形未滿	0.64 +	13.6	15.4	5.7	-	側面一部欠損
S175	6層北①	3	16	完形未滿	1.05 +	15.8	17.0	8.8	-	腹面楕円状欠損(食痕?)
S175	6層北①	3	17	完形未滿	0.41 +	11.2	13.5	7.3	-	背面楕円状欠損(食痕?)
S175	6層北①	3	18	完形未滿	1.50 +	19.4	19.9	10.0	-	背面2箇所楕円状欠損(食痕?)、砂泥付着
S175	6層北①	3	19	完形未滿	0.78 +	17.7	20.9	8.1 +	-	背面2/3欠損、楕円状欠損(食痕?)
S175	6層北①	3	20	完形未滿	0.35 +	12.2	13.9	6.9 +	-	背面4/5欠損
S175	6層北①	3	21	完形未滿	0.50 +	16.0	15.0	6.7 +	-	背面4/5欠損
S175	6層北①	3	22	半分	0.45 +	13.1	14.5	6.0 +	-	腹面
S175	6層北①	3	23	完形	0.35	10.6	10.5	7.4	-	
S175	6層北①	3	24	完形	0.42	12.0	11.7	6.0	-	腹面果皮残存
S175	6層北①	3	25	完形未滿	0.51 +	10.4	14.5	9.1	-	背面1/2欠損
S175	6層北①	3	26	完形未滿	0.40 +	13.4	15.5	7.4 +	-	背面4/5欠損
S175	6層北①	3	27	完形未滿	0.40 +	11.2	12.0	6.4	-	頂部欠損
S175	6層北①	3	28	完形未滿	0.33 +	10.6	11.7	5.3	-	頂部欠損
S175	6層北①	3	29	半分	0.59 +	16.3	18.2	8.3 +	-	背面
S175	6層北①	3	30	半分	0.41 +	15.7	14.1	8.2 +	-	背面
S175	6層北①	4	1	完形	2.04	19.3	24.1	12.0	-	
S175	6層北①	4	2	完形	0.95	16.9	18.7	7.4	-	
S175	6層北①	4	3	完形	0.94	14.0	16.7	9.3	-	
S175	6層北①	4	4	完形	1.05	15.5	17.7	9.8	-	
S175	6層北①	4	5	完形	0.77	13.9	15.1	7.0	-	
S175	6層北①	4	6	完形	0.70	13.9	14.1	8.4	-	
S175	6層北①	4	7	完形	0.74	13.1	14.8	8.1	-	
S175	6層北①	4	8	完形	0.87	16.0	14.5	6.8	-	頂部僅かに欠損
S175	6層北①	4	9	完形未滿	1.20 +	13.3	17.9	9.3	-	背面一部欠損
S175	6層北①	4	10	完形	0.45	12.1	12.4	8.3	-	頂部僅かに欠損
S175	6層北①	4	11	完形	1.41	16.2	17.8	10.1	-	腹面基部僅かに欠損
S175	6層北①	4	12	完形未滿	0.75 +	18.1	21.1	5.2 +	-	背面2/3欠損、腹面楕円状欠損(食痕?)
S175	6層北①	4	13	半分	0.94 +	16.6	20.7	6.8 +	-	背面
S175	6層北①	4	14	半分	0.58 +	15.1	17.4	6.0 +	-	背面
S175	6層北①	4	15	半分	0.39 +	13.7	15.8	5.0 +	-	背面、頂部一部欠損
S175	6層北①	4	16	半分	0.39 +	13.0	14.6	6.2 +	-	背面、頂部一部欠損
S175	6層北①	4	17	半分	0.53 +	14.3	17.1	6.4 +	-	腹面
S175	6層北①	4	18	半分	0.90 +	17.3	14.4	8.4 +	-	背面
S175	6層北①	4	19	完形未滿	0.56 +	15.0	14.4	7.8	-	背面腹面楕円状欠損(食痕?)
S175	6層北①	4	20	半分	0.27 +	15.1	10.4	5.1 +	-	背面、基部欠損
S175	6層北①	4	21	完形未滿	0.59 +	11.4	12.3	7.7	-	側面楕円状欠損(食痕?)、頂部欠損
S175	6層北①	4	22	完形未滿	0.19 +	9.5	10.0	4.4	11	頂部、側面欠損
S175	6層北①	4	23	完形未滿	0.58 +	12.4	13.4	7.2	-	側面欠損
S175	6層北①	4	24	完形未滿	0.44 +	11.4	12.5	7.2	-	基部欠損
S175	6層北①	4	25	完形未滿	0.29 +	11.5	13.3	5.7 +	-	背面4/5欠損
S175	6層北②	5	1	完形	1.20	16.7	17.5	10.9	-	
S175	6層北②	5	2	完形	1.15	15.7	17.9	9.3	-	
S175	6層北②	5	3	完形	1.12	18.4	18.0	8.8	-	
S175	6層北②	5	4	完形	0.85	14.4	15.7	8.6	-	
S175	6層北②	5	5	完形	0.82	11.3	14.3	12.0	-	
S175	6層北②	5	6	完形	0.85	15.3	16.8	7.7	-	
S175	6層北②	5	7	完形	0.56	13.1	15.5	8.8	-	
S175	6層北②	5	8	完形	0.40	11.3	13.5	7.1	-	
S175	6層北②	5	9	完形	0.82	13.9	13.3	9.6	-	
S175	6層北②	5	10	完形	0.52	12.8	13.8	7.6	-	
S175	6層北②	5	11	完形	0.62	12.3	14.5	7.8	-	
S175	6層北②	5	12	完形	0.50	13.3	12.2	6.4	-	
S175	6層北②	5	13	完形	0.70	12.8	15.6	8.3	-	
S175	6層北②	5	14	完形	0.56	12.9	12.7	7.4	-	
S175	6層北②	5	15	完形	0.84	12.6	13.4	10.5	-	
S175	6層北②	5	16	完形	0.78	12.4	15.3	9.2	-	
S175	6層北②	5	17	完形	0.35	11.1	11.7	6.7	-	
S175	6層北②	5	18	完形	0.39	13.3	13.8	7.5	-	背面基部僅かに欠損
S175	6層北②	5	19	完形	0.46	12.0	13.2	6.4	-	腹面頂部僅かに欠損
S175	6層北②	5	20	完形未滿	0.78 +	14.5	15.1	8.4	-	背面一部欠損
S175	6層北②	5	21	完形未滿	1.17 +	17.4	19.5	8.6	-	基部僅かに欠損
S175	6層北②	5	22	完形	0.41	13.1	14.1	6.8	-	腹面基部僅かに欠損
S175	6層北②	5	23	完形未滿	0.36 +	12.1	11.8	6.9	-	基部一部欠損
S175	6層北②	5	24	完形未滿	1.18 +	16.4	18.0	13.4	-	腹面楕円状欠損(食痕?)
S175	6層北②	5	25	完形未滿	0.52 +	13.7	15.4	7.7	-	頂部~側面一部欠損
S175	6層北②	5	26	完形未滿	0.40 +	12.8	14.5	7.4 +	-	背面2/3欠損、腹面基部楕円状欠損(食痕?)
S175	6層北②	5	27	完形未滿	0.36 +	12.0	12.4	6.7 +	-	背面2/3欠損
S175	6層北②	5	28	完形未滿	0.20 +	10.3	10.4	4.7 +	-	背面3/4欠損
S175	6層北②	5	29	完形未滿	0.43 +	15.9	15.1	5.5 +	-	背面4/5欠損
S175	6層北②	5	30	完形未滿	1.55 +	19.8	21.6	10.5	-	腹面1/2欠損
S175	6層北②	5	31	半分	0.83 +	15.0	18.9	10.5 +	-	背面
S175	6層北②	5	32	半分	0.25 +	11.8	11.6	4.1 +	-	背面
S175	6層北②	5	33	半分	0.67 +	18.3	16.6	8.0 +	-	背面
S175	6層北②	5	34	半分	0.48 +	15.1	15.7	7.8 +	-	背面
S175	6層北②	5	35	半分	0.43 +	14.9	16.8	5.8 +	-	背面
S175	6層北②	5	36	半分	0.35 +	11.6	13.5	6.1 +	-	背面
S175	6層北②	5	37	半分	0.51 +	12.3	15.9	5.5 +	-	腹面
S175	6層北②	5	38	半分	0.36 +	13.4	15.4	4.8 +	-	腹面
S175	6層北②	5	39	完形未滿	0.31 +	12.8	15.5	5.4 +	-	背面4/5欠損
S175	6層北②	5	40	半分	0.46 +	16.7	15.3	4.7 +	-	腹面
S175	6層北②	5	41	半分	0.18 +	11.5	11.6	3.8 +	-	腹面
S175	6層北②	5	42	完形未滿	1.23 +	19.8	22.7	10.5 +	-	背面4/5欠損
S175	6層北②	5	43	完形	0.40	10.8	12.3	5.9	-	基部楕円状欠損(食痕?)
S175	6層北②	5	44	完形	0.27	9.8	12.4	5.9	-	
S175	6層北②	5	45	完形未滿	0.88 +	20.2	16.7	7.2	-	両面果皮残存、背面側面楕円状欠損(食痕?)
S175	6層北②	5	46	完形未滿	0.55 +	15.1	20.4	5.5 +	-	背面4/5欠損
S175	6層北②	5	47	完形未滿	0.30 +	12.2	10.4	6.1	-	頂部一部欠損
S175	6層北②	5	48	完形	0.62	13.5	15.3	7.7	-	腹面楕円状欠損(食痕?)

5 植物遺存体の分析 (3)

表3 クリ炭化子葉の計測値 (4)

出土地点	層位	袋No.	計測No.	状態	重量(g)	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	図版番号	備考	
SI75	6層北②	5	49	完形未滿	0.47 +	12.4	13.2	7.4	-	頂部欠損	
SI75	6層北②	5	50	完形未滿	0.45 +	12.0	15.1	6.0 +	-	背面4/5欠損	
SI75	6層北②	5	51	完形未滿	0.47 +	16.0	17.1	7.3 +	-	背面4/5欠損	
SI75	6層北②	5	52	完形未滿	0.41 +	13.5	15.9	7.5 +	-	腹面4/5欠損	
SI75	6層北②	5	53	完形未滿	0.47 +	12.6	15.6	10.7 +	-	背面3/4欠損	
SI75	6層北②	5	54	半分	0.46 +	16.4	14.1	5.2 +	-	背面、頂部~側面欠損	
SI75	6層北②	5	55	完形未滿	0.61 +	13.7	18.1	7.7 +	-	腹面4/5欠損	
SI75	6層北②	5	56	完形未滿	0.33 +	13.3	13.8	5.8 +	-	腹面4/5欠損	
SI75	6層北②	5	57	半分	0.33 +	10.9	13.0	5.8 +	-	背面	
SI75	6層北②	5	58	半分	0.36 +	13.5	14.4	6.0 +	-	背面	
SI75	6層北②	5	59	半分	0.26 +	12.2	11.7	5.5 +	-	背面、側面一部欠損	
SI75	6層北②	5	60	半分	0.27 +	12.6	12.9	5.6 +	-	背面	
SI75	6層北②	5	61	半分	0.35 +	10.6	13.7	5.4 +	-	背面、基部一部欠損	
SI75	6層北②	5	62	半分	0.41 +	15.0	14.7	6.7 +	-	背面、側面一部欠損	
SI75	6層北②	5	63	半分	0.14 +	9.9	11.0	4.8 +	-	背面	
SI75	6層北②	5	64	半分	0.13 +	10.4	10.3	4.1 +	-	背面	
SI75	6層北②	5	65	半分	0.16 +	9.4	12.1	5.7 +	-	背面、一部欠損	
SI75	6層北②	5	66	半分	0.25 +	10.7	12.8	5.5 +	-	腹面	
SI75	6層北②	5	67	完形未滿	0.25 +	13.0	11.9	4.9 +	-	背面4/5欠損	
SI75	6層北②	5	68	完形未滿	食痕?	0.21 +	13.3	12.4	4.4 +	-	背面4/5欠損、腹面楕円状欠損(食痕?)
SI75	6層北②	5	69	完形未滿	0.16 +	10.7	11.1	3.6 +	-	背面4/5欠損	
SI75	6層北②	5	70	半分	0.26 +	13.3	15.0	4.0 +	-	腹面	
SI75	6層北②	5	71	半分	0.18 +	11.1	11.8	4.0 +	-	腹面	
SI75	6層北②	5	72	破片	0.15 +	13.2	10.1 +	3.8 +	-	腹面、側面欠損	
SI75	6層北②	5	73	半分	0.16 +	10.5	12.6	3.3 +	-	腹面	
SI75	6層北②	5	74	半分	0.22 +	11.6	11.9	3.5 +	-	腹面	
SI75	6層北②	5	75	半分	0.22 +	11.7	12.5	4.3 +	-	腹面	
SI75	6層北②	5	76	完形未滿	0.25 +	13.5	12.0	4.8 +	-	背面4/5欠損	
SI75	6層北②	6	1	完形	0.99	17.0	17.1	8.0	-		
SI75	6層北②	6	2	完形	1.24	16.3	18.0	10.4	-	頂部僅かに欠損	
SI75	6層北②	6	3	完形	食痕?	1.80	17.3	23.5	11.3	-	基部楕円状欠損(食痕?)
SI75	6層北②	6	4	完形	0.93	17.2	17.0	9.1	-		
SI75	6層北②	6	5	完形	果皮残存	1.03	17.0	16.8	9.2	-	背面果皮片残存、基部僅かに欠損
SI75	6層北②	6	6	完形	果皮残存	1.28	17.9	19.2	10.1	-	背面果皮片残存
SI75	6層北②	6	7	完形	0.83	14.6	17.1	9.0	-		
SI75	6層北②	6	8	完形	0.88	13.7	15.9	10.1	-		
SI75	6層北②	6	9	完形	0.49	12.3	15.3	8.5	-		
SI75	6層北②	6	10	完形	0.72	15.1	14.2	7.8	-		
SI75	6層北②	6	11	完形	0.78	15.6	15.0	8.6	-		
SI75	6層北②	6	12	完形	0.75	15.8	16.4	7.8	-	頂部僅かに欠損	
SI75	6層北②	6	13	完形	0.51	13.2	11.6	7.4	-		
SI75	6層北②	6	14	完形	0.69	12.6	13.4	7.8	-		
SI75	6層北②	6	15	完形	0.56	12.8	14.1	8.6	-		
SI75	6層北②	6	16	完形	0.76	14.6	14.9	8.7	-	背面僅かに欠損	
SI75	6層北②	6	17	完形	1.04	12.8	15.2	12.1	-		
SI75	6層北②	6	18	完形	0.64	12.3	15.7	7.5	-		
SI75	6層北②	6	19	完形	0.61	14.6	14.1	7.4	-	基部僅かに欠損	
SI75	6層北②	6	20	完形	0.43	10.9	11.1	6.8	-		
SI75	6層北②	6	21	完形	0.60	12.4	14.2	8.8	-	側面一部裂開	
SI75	6層北②	6	22	完形	食痕?	0.66	12.6	10.5	12.1	-	基部一部裂開、頂部付近楕円状欠損(食痕?)
SI75	6層北②	6	23	完形	0.63	15.7	14.0	8.9	-	腹面1/3摩耗	
SI75	6層北②	6	24	完形未滿	食痕?	0.81 +	14.8	16.9	10.2	-	側面楕円状欠損(食痕?)
SI75	6層北②	6	25	完形	0.61	11.9	13.7	8.8	-	背面僅かに摩耗	
SI75	6層北②	6	26	完形未滿	食痕?	0.84 +	12.7	14.4	9.9	-	背面一部欠損、腹面楕円状欠損(食痕?)
SI75	6層北②	6	27	完形未滿	食痕?	0.39 +	11.6	11.8	7.4	-	基部楕円状欠損(食痕?)
SI75	6層北②	6	28	完形未滿	0.44 +	12.4	13.4	6.3	-	頂部~背面一部欠損	
SI75	6層北②	6	29	完形未滿	0.37 +	9.3	12.6	7.6	-	基部欠損	
SI75	6層北②	6	30	半分	0.92 +	16.4	23.5	5.9 +	-	腹面	
SI75	6層北②	6	31	半分	0.39 +	15.0	16.2	4.0 +	-	腹面、側面僅かに欠損	
SI75	6層北②	6	32	完形	0.71	14.7	15.8	7.2	-	腹面稜状	
SI75	6層北②	6	33	完形	0.66	14.8	12.7	8.0	-	腹面稜状	
SI75	6層北②	6	34	完形	果皮残存	0.17	13.0	7.7	4.2	9	腹面果皮片残存
SI75	6層北②	6	35	完形未滿	0.73 +	16.1	13.9	11.5	-	腹面稜状、腹面側面欠損	
SI75	6層北②	6	36	完形未滿	0.70 +	18.6	11.2	9.8	-	腹面稜状、腹面欠損	
SI75	6層北②	6	37	完形未滿	0.57 +	12.9	13.0	7.6	-	状態不良、周囲・背面欠損	
SI75	6層北②	6	38	完形未滿	0.57 +	14.6	14.9	8.6	-	腹面2/3欠損	
SI75	6層北②	6	39	完形未滿	0.17 +	8.8	10.2	5.4 +	13	背面3/4欠損	
SI75	6層北②	6	40	完形未滿	0.22 +	11.3	11.2	4.7 +	-	背面1/2欠損	
SI75	6層北②	6	41	半分	0.30 +	11.1	13.6	5.2 +	-	背面	
SI75	6層北②	6	42	半分	0.58 +	13.7	17.0	6.8 +	-	背面	
SI75	6層北②	6	43	完形未滿	0.44 +	15.6	14.2	7.8 +	-	腹面4/5欠損	
SI75	6層北②	6	44	半分	食痕?	0.50 +	14.1	15.3	7.7 +	-	背面、内面楕円状欠損(食痕?)
SI75	6層北②	6	45	半分	0.44 +	11.5	15.5	7.5 +	-	背面	
SI75	6層北②	6	46	半分	0.21 +	11.7	12.2	4.9 +	-	背面	
SI75	6層北②	6	47	破片	0.39 +	13.4 +	15.0	7.0 +	-	背面、基部欠損	
SI75	6層北②	6	48	半分	0.08 +	10.8	10.4	2.8 +	-	背面	
SI75	6層北②	6	49	破片	0.20 +	9.3 *	14.3 +	6.5 +	-	垂直方向に圧密を受けている、側面欠損	
SI75	6層北②	6	50	半分	0.70 +	17.6	19.3	5.2 +	-	腹面	
SI75	6層北②	6	51	完形未滿	0.43 +	20.7	14.9	5.8 +	-	背面4/5欠損	
SI75	6層北②	6	52	完形未滿	0.47 +	12.5	16.4	6.7 +	-	背面3/4欠損、頂部欠損	
SI75	6層北②	6	53	半分	0.26 +	12.8	14.7	4.5 +	-	背面4/5欠損、側面欠損	
SI75	6層北②	6	54	半分	0.24 +	12.5	13.5	3.8 +	-	腹面	
SI75	6層北②	6	55	半分	0.16 +	9.9	12.4	3.6 +	-	腹面	
SI75	6層北②	7	1	完形	0.70	15.6	14.5	7.7	-		
SI75	6層北②	7	2	完形	1.12	17.1	18.5	9.4	-		
SI75	6層北②	7	3	完形	1.01	15.8	15.8	10.3	-		
SI75	6層北②	7	4	完形	0.88	14.6	16.8	8.2	-		
SI75	6層北②	7	5	完形	0.85	14.3	19.0	8.1	-		
SI75	6層北②	7	6	完形	1.03	15.6	18.0	8.2	-		
SI75	6層北②	7	7	完形	0.94	16.3	16.0	8.7	-		
SI75	6層北②	7	8	完形	0.73	11.4	15.2	9.0	-		

表3 クリ炭化子葉の計測値(5)

出土地点	層位	袋No.	計測No.	状態	重量(g)	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	図版番号	備考
SI75	6層北②	7	9	完形	0.48	11.4	12.2	7.1	-	
SI75	6層北②	7	10	完形	0.72	12.4	14.4	8.5	-	
SI75	6層北②	7	11	完形	0.43	11.3	13.1	7.1	-	
SI75	6層北②	7	12	完形	0.55	12.5	15.5	7.7	-	
SI75	6層北②	7	13	完形	0.46	13.5	13.4	7.3	-	
SI75	6層北②	7	14	完形	0.69	14.3	14.0	9.1	-	
SI75	6層北②	7	15	完形	0.56	10.7	13.3	7.5	-	
SI75	6層北②	7	16	完形	0.96	16.4	13.5	12.1	-	
SI75	6層北②	7	17	完形	0.65	16.1	15.0	7.8	-	腹面果皮片残存
SI75	6層北②	7	18	完形未滿	0.49 +	11.8	13.9	7.6	-	頂部僅かに欠損
SI75	6層北②	7	19	完形	1.22	18.8	19.9	10.0	-	腹面頂部、背面僅かに欠損
SI75	6層北②	7	20	完形	0.53	12.3	14.4	6.7	-	背面摩耗
SI75	6層北②	7	21	完形未滿	0.54 +	14.0	14.2	6.5	-	腹面頂部、側面僅かに欠損
SI75	6層北②	7	22	完形未滿	1.19 +	18.0	19.0	10.0	-	基部一部欠損
SI75	6層北②	7	23	完形未滿	0.43 +	11.2	13.5	7.9	-	腹面楕円状欠損(食痕?)
SI75	6層北②	7	24	完形	0.46	12.4	14.4	6.8	-	腹面僅かに欠損
SI75	6層北②	7	25	完形未滿	0.60 +	12.8	14.5	7.3	-	腹面僅かに欠損
SI75	6層北②	7	26	完形未滿	1.00 +	13.3	19.8	8.8	-	基部一部欠損
SI75	6層北②	7	27	完形未滿	0.94 +	14.7	16.4	9.6	-	頂部～背面一部欠損
SI75	6層北②	7	28	完形未滿	1.13 +	14.3	17.7	15.1	-	背面1/2欠損
SI75	6層北②	7	29	完形	0.65	13.5	15.2	9.8	-	腹面頂部僅かに欠損
SI75	6層北②	7	30	完形	0.50	12.2	13.4	8.9	-	
SI75	6層北②	7	31	完形未滿	0.63 +	15.2	15.9	7.4	-	頂部～背面一部欠損
SI75	6層北②	7	32	完形	0.41	12.6	12.6	7.1	-	頂部僅かに欠損
SI75	6層北②	7	33	完形未滿	1.47 +	20.8	26.7	10.6 +	3	背面9/10欠損、基部楕円状欠損(食痕?)
SI75	6層北②	7	34	完形未滿	0.73 +	17.6	19.0	6.1 +	-	背面9/10欠損
SI75	6層北②	7	35	完形未滿	0.93 +	16.4	22.1	8.3 +	-	背面4/5欠損、砂泥付着
SI75	6層北②	7	36	半分	0.33 +	13.1	14.8	6.6 +	-	腹面
SI75	6層北②	7	37	半分	0.53 +	15.4	16.5	4.6 +	-	腹面
SI75	6層北②	7	38	完形	0.59	13.1	13.9	7.7	-	頂部僅かに欠損
SI75	6層北②	7	39	完形	0.47	12.8	13.8	6.8	-	腹面基部楕円状欠損(食痕?)
SI75	6層北②	7	40	完形	0.48	12.0	13.3	8.1	-	
SI75	6層北②	7	41	完形未滿	0.73 +	19.2	15.6	10.0	-	腹面稜状、側面～腹面欠損
SI75	6層北②	7	42	完形未滿	0.72 +	15.0	15.9	8.1	-	側面一部欠損
SI75	6層北②	7	43	完形未滿	0.68 +	15.3	16.2	7.3 +	-	腹面2/3欠損、砂泥付着
SI75	6層北②	7	44	完形未滿	0.48 +	15.5	14.6	7.0	-	腹面2/3欠損
SI75	6層北②	7	45	完形未滿	0.57 +	15.2	15.6	9.6	-	腹面2/3欠損
SI75	6層北②	7	46	完形未滿	0.25 +	10.3	11.7	5.4 +	-	腹面4/5欠損
SI75	6層北②	7	47	半分	0.47 +	15.7	13.6	7.4 +	-	背面
SI75	6層北②	7	48	半分	0.60 +	17.2	16.2	6.8 +	-	背面
SI75	6層北②	7	49	半分	0.70 +	15.1	17.8	9.6 +	-	背面
SI75	6層北②	7	50	半分	0.40 +	16.3	14.3	6.8 +	-	背面
SI75	6層北②	7	51	半分	0.50 +	12.0	14.8	7.8 +	-	背面
SI75	6層北②	7	52	半分	0.23 +	9.5	12.2	5.5 +	-	背面
SI75	6層北②	7	53	半分	0.15 +	9.2	9.4	4.0 +	12	背面
SI75	6層北②	7	54	半分	0.22 +	12.5	11.0	4.4 +	-	背面
SI75	6層北②	7	55	半分	0.25 +	11.9	12.6	4.3 +	-	背面
SI75	6層北②	7	56	半分	0.51 +	16.0	17.0	6.0 +	-	腹面
SI75	6層北②	7	57	半分	0.36 +	16.0	16.2	6.4 +	-	腹面
SI75	6層北②	7	58	完形未滿	0.25 +	12.4	12.8	4.6 +	-	背面4/5欠損
SI75	6層北②	7	59	半分	0.32 +	15.0	13.6	6.0 +	-	腹面
SI75	6層北②	7	60	半分	0.55 +	16.0	18.2	5.1 +	-	腹面
SI75	6層北②	7	61	半分	0.18 +	11.9	12.7	3.7 +	-	腹面
SI75	6層北③	8	1	完形	0.95	15.6	16.6	9.9	-	
SI75	6層北③	8	2	完形	0.33	11.1	11.0	6.9	-	
SI75	6層北③	8	3	完形	0.51	12.8	12.4	8.2	-	
SI75	6層北③	8	4	完形	0.42	11.1	11.3	7.2	-	
SI75	6層北③	8	5	完形	0.65	11.8	14.2	9.6	-	
SI75	6層北③	8	6	完形	0.66	12.0	14.6	8.6	-	
SI75	6層北③	8	7	完形	1.53	20.4	23.8	10.8	5	背面果皮片残存
SI75	6層北③	8	8	完形未滿	0.55 +	11.9	13.8	7.9	-	腹面楕円状欠損(食痕?)
SI75	6層北③	8	9	完形未滿	0.48 +	13.3	14.2	6.4	-	腹面基部欠損
SI75	6層北③	8	10	完形未滿	0.54 +	14.9	13.9	8.2	-	腹面1/2欠損
SI75	6層北③	8	11	完形未滿	0.34 +	13.0	14.0	5.7 +	-	腹面2/3欠損
SI75	6層北③	8	12	完形未滿	0.69 +	16.8	21.9	8.0 +	-	腹面4/3欠損
SI75	6層北③	8	13	完形未滿	0.79 +	17.8	18.6	5.5 +	-	背面4/5欠損
SI75	6層北③	8	14	完形未滿	0.61 +	17.2	20.1	5.7 +	-	背面4/5欠損
SI75	6層北③	8	15	完形未滿	0.47 +	14.7	18.0	4.5 +	-	背面4/5欠損
SI75	6層北③	8	16	破片	0.65 +	16.2	19.9	6.0 +	-	腹面、頂部一部欠損
SI75	6層北③	8	17	完形未滿	0.18 +	10.7	10.3	5.0	-	腹面2/3欠損
SI75	6層北③	8	18	完形未滿	0.24 +	11.3	12.2	5.3 +	-	腹面2/3欠損
SI75	6層北③	8	19	半分	0.20 +	12.7	12.1	4.8 +	-	背面
SI75	6層北③	8	20	半分	0.27 +	12.1	11.8	5.0 +	-	背面
SI75	6層北③	8	21	半分	0.39 +	12.1	14.1	5.4 +	-	背面、頂部一部欠損
SI75	6層北③	8	22	半分	0.30 +	9.5	13.5	6.2 +	-	背面、背面一部欠損
SI75	6層北③	8	23	半分	0.31 +	14.3	13.3	5.7 +	-	腹面、頂部一部欠損
SI75	6層北③	8	24	半分	0.21 +	11.3	11.8	4.5 +	-	腹面、頂部一部欠損
SI75	6層北③	8	25	半分	0.21 +	10.9	12.7	3.6 +	-	腹面、頂部一部欠損
SI75	6層北③	9	1	完形	1.25	18.7	20.7	11.5	-	背面果皮片残存
SI75	6層北③	9	2	完形	0.89	15.1	16.7	9.3	-	
SI75	6層北③	9	3	完形	1.28	21.0	17.6	9.6	-	
SI75	6層北③	9	4	完形	1.95	18.6	22.6	13.1	-	
SI75	6層北③	9	5	完形	1.31	21.5	18.1	11.0	-	
SI75	6層北③	9	6	完形	0.71	13.6	16.4	7.8	-	
SI75	6層北③	9	7	完形	0.49	12.3	12.8	6.7	-	
SI75	6層北③	9	8	完形	1.03	19.0	17.0	9.2	-	
SI75	6層北③	9	9	完形	1.26	18.2	18.8	10.0	-	腹面果皮片残存
SI75	6層北③	9	10	完形	0.94	14.2	15.8	9.3	-	腹面楕円状欠損(食痕?)
SI75	6層北③	9	11	完形	0.58	13.1	13.4	7.3	-	
SI75	6層北③	9	12	完形	0.53	14.7	13.4	6.7	-	
SI75	6層北③	9	13	完形	0.65	13.9	14.7	7.1	-	

5 植物遺存体の分析 (3)

表3 クリ炭化子葉の計測値 (6)

出土地点	層位	袋No.	計測No.	状態	重量(g)	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	図版番号	備考
SI75	6層北③	9	14	完形	0.74	14.9	13.9	8.5	-	
SI75	6層北③	9	15	完形	0.73	12.4	13.5	9.8	-	側面僅かに欠損
SI75	6層北③	9	16	完形未満	0.81 +	14.3	15.3	7.9	-	腹面僅かに欠損
SI75	6層北③	9	17	完形未満	0.29 +	10.5	11.9	7.0	-	腹面一部欠損
SI75	6層北③	9	18	完形未満	0.74 +	12.9	16.5	8.3	-	腹面1/2欠損
SI75	6層北③	9	19	完形未満	0.36 +	10.7	11.7	9.0 +	-	背面2/3欠損
SI75	6層北③	9	20	完形未満	0.64 +	18.7	18.1	7.9 +	-	背面4/5欠損
SI75	6層北③	9	21	半分	0.51 +	12.7	16.8	6.4 +	-	背面
SI75	6層北③	9	22	半分	0.36 +	14.0	16.9	3.6 +	-	腹面
SI75	6層北③	9	23	半分	0.26 +	12.6	14.5	5.3 +	-	腹面
SI75	6層北③	9	24	半分	0.51 +	14.9	16.8	4.3 +	-	腹面
SI75	6層北③	9	25	完形未満	0.45 +	15.3	15.9	5.1 +	-	背面9/10欠損
SI75	6層北③	9	26	半分	0.31 +	13.2	13.3	5.3 +	-	腹面、頂部一部欠損
SI75	6層北③	9	27	完形未満	0.40 +	10.3	14.0	7.6	-	基部楕円状欠損(食痕?)
SI75	6層北③	9	28	完形未満	0.38 +	13.9	14.3	8.9	-	腹面1/2欠損
SI75	6層北③	9	29	完形未満	0.59 +	17.0	13.9 +	8.7 +	-	腹面2/3欠損
SI75	6層北③	9	30	半分	0.44 +	12.9	13.8	6.7 +	-	背面
SI75	6層北③	9	31	半分	0.49 +	16.1	17.4	6.2 +	-	背面
SI75	6層北③	9	32	半分	0.36 +	12.6	14.0	6.1 +	-	背面
SI75	6層北③	9	33	半分	0.23 +	12.0	12.6	4.9 +	-	背面
SI75	6層北③	9	34	半分	0.30 +	13.1	12.6	5.4 +	-	背面
SI75	6層北③	9	35	半分	0.41 +	10.7	14.7	10.5 +	-	背面、基部楕円状欠損(食痕?)
SI75	6層北③	9	36	半分	0.32 +	15.6	15.8	3.7 +	-	腹面
SI75	6層北③	9	37	半分	0.25 +	11.4	14.1	5.7 +	-	腹面
SI75	6層北③	9	38	完形未満	0.32 +	11.5	15.1	5.1 +	-	背面4/5欠損
SI75	6層北③	9	39	完形未満	0.25 +	11.8	12.2	5.6 +	-	背面4/5欠損
SI75	6層南④	10	1	完形	0.65	13.7	14.2	7.6	-	
SI75	6層南④	10	2	完形	0.55	12.9	12.8	7.1	-	腹面果皮片残存
SI75	6層南④	10	3	完形未満	0.65 +	12.1	14.0	9.1	-	基部一部欠損
SI75	6層南④	10	4	完形未満	1.23 +	20.6	18.6	10.6	-	背面果皮片残存、腹面楕円状欠損(食痕?)
SI75	6層南④	10	5	完形未満	0.45 +	14.1	15.4	7.0 +	-	背面2/3欠損
SI75	6層南④	10	6	完形未満	0.34 +	13.5	15.6	7.0 +	-	背面1/3欠損、腹面2/3欠損
SI75	6層南④	10	7	完形未満	0.39 +	15.0	14.3	5.5 +	-	背面9/10欠損
SI75	6層南④	10	8	半分	0.45 +	13.3	13.3	7.4 +	-	背面
SI75	6層南④	10	9	半分	0.30 +	12.2	12.7	5.4 +	-	背面
SI75	6層南④	10	10	半分	0.31 +	12.0	12.8	4.6 +	-	背面
SI75	6層南④	10	11	半分	0.30 +	11.1	14.4	4.5 +	-	腹面
SI75	6層南④	10	12	完形	0.51	12.8	14.6	7.1	-	腹面僅かに欠損
SI75	6層南④	10	13	完形	0.58	10.8	14.4	7.0	-	基部摩耗
SI75	6層南④	10	14	完形未満	0.25 +	13.8	12.5	6.1	-	腹面2/3欠損
SI75	6層南④	10	15	完形未満	0.29 +	12.3	12.5	6.3	-	背面1/3欠損、頂部一部欠損
SI75	6層南④	10	16	完形未満	0.43 +	13.8	13.5	8.7	-	背面1/3欠損
SI75	6層南④	10	17	完形未満	0.40 +	12.5	12.3	7.6 +	-	背面4/5欠損
SI75	6層南④	10	18	完形未満	0.25 +	10.4	11.9	6.0 +	-	背面3/4欠損
SI75	6層南④	10	19	半分	0.90 +	15.0	22.9	9.4 +	-	背面
SI75	6層南④	10	20	半分	0.38 +	12.3	14.6	6.0 +	-	背面
SI75	6層南④	10	21	半分	0.24 +	10.6	13.0	5.4 +	-	背面
SI75	6層南④	10	22	半分	0.34 +	15.3	14.2	6.0 +	-	腹面、側面一部欠損
SI75	6層南④	10	23	半分	0.24 +	10.2	11.3	4.2 +	-	腹面
SI75	6層南④	10	24	完形未満	0.24 +	10.6	12.7	4.9 +	-	背面4/5欠損
SI75	6層南④	11	1	完形	0.41	11.3	12.9	6.6	-	
SI75	6層南④	11	2	完形	0.24	9.7	12.2	6.4	-	
SI75	6層南④	11	3	完形未満	0.84 +	14.7	15.5	8.9	-	背面一部欠損
SI75	6層南④	11	4	完形	0.41	11.4	11.8	6.5	-	背面頂部僅かに欠損
SI75	6層南⑤	12	1	完形	1.67	19.2	22.5	10.6	7	腹面果皮片残存
SI75	6層南⑤	12	2	完形	1.49	18.3	20.0	9.3	4	全面果皮残存
SI75	6層南⑤	12	3	完形	1.16	19.2	18.3	9.2	-	
SI75	6層南⑤	12	4	完形	1.10	16.0	17.7	9.6	-	
SI75	6層南⑤	12	5	完形	1.00	17.3	17.5	8.2	-	
SI75	6層南⑤	12	6	完形	0.66	12.8	13.6	7.2	-	
SI75	6層南⑤	12	7	完形	0.84	15.8	16.2	9.1	-	
SI75	6層南⑤	12	8	完形	0.90	15.4	15.3	10.4	-	
SI75	6層南⑤	12	9	完形	1.94	19.3	20.0	11.9	-	
SI75	6層南⑤	12	10	完形	1.62	16.3	22.0	11.4	-	
SI75	6層南⑤	12	11	完形	0.75	15.8	14.5	7.7	-	
SI75	6層南⑤	12	12	完形	1.15	17.1	18.0	7.9	-	
SI75	6層南⑤	12	13	完形	0.83	14.5	16.0	10.1	-	
SI75	6層南⑤	12	14	完形	0.67	13.3	15.4	9.5	-	
SI75	6層南⑤	12	15	完形	1.13	16.1	15.7	10.2	-	
SI75	6層南⑤	12	16	完形	1.18	15.2	16.7	8.3	-	
SI75	6層南⑤	12	17	完形	1.31	15.2	15.9	10.4	-	
SI75	6層南⑤	12	18	完形	0.76	15.8	14.7	7.7	-	
SI75	6層南⑤	12	19	完形	0.99	15.5	16.2	10.1	-	背面僅かに欠損
SI75	6層南⑤	12	20	完形	1.12	19.1	18.9	10.0	-	
SI75	6層南⑤	12	21	完形	0.95	15.6	15.4	10.4	-	
SI75	6層南⑤	12	22	完形	0.73	14.0	14.1	7.6	-	
SI75	6層南⑤	12	23	完形	0.39	12.2	11.1	7.3	-	
SI75	6層南⑤	12	24	完形	0.68	11.7	14.7	7.4	-	
SI75	6層南⑤	12	25	完形	0.69	13.9	16.0	7.2	-	背面基部楕円状欠損(食痕?)
SI75	6層南⑤	12	26	完形	1.53	18.2	18.4	10.3	-	
SI75	6層南⑤	12	27	完形	1.28	17.1	18.4	8.9	-	
SI75	6層南⑤	12	28	完形	1.69	21.3	19.4	12.2	-	
SI75	6層南⑤	12	29	完形	0.72	16.2	14.6	7.0	-	
SI75	6層南⑤	12	30	完形	0.90	13.6	15.4	9.6	-	
SI75	6層南⑤	12	31	完形	0.93	18.0	17.7	7.8	-	全面果皮片残存
SI75	6層南⑤	12	32	完形	0.97	19.1	15.9	11.4	-	腹面稜状(90°)
SI75	6層南⑤	12	33	完形	0.76	14.3	15.1	7.9	-	
SI75	6層南⑤	12	34	完形	1.21	18.4	18.0	10.1	-	
SI75	6層南⑤	12	35	完形	0.79	13.4	17.1	9.5	-	
SI75	6層南⑤	12	36	完形	1.94	19.6	19.9	10.5	-	
SI75	6層南⑤	12	37	完形	0.91	15.0	15.8	9.7	-	側面焼き膨れ、腹面蛇行欠損(食痕?)

表3 クリ炭化子葉の計測値(7)

出土地点	層位	袋No.	計測No.	状態	重量(g)	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	図版番号	備考		
SI75	6層南⑤	12	38	完形	0.58	12.9	14.3	8.4	-	砂泥付着		
SI75	6層南⑤	12	39	完形	1.72	20.1	21.1	10.3	-			
SI75	6層南⑤	12	40	完形	0.58	13.1	13.4	8.0	-			
SI75	6層南⑤	12	41	完形	0.59	12.1	13.2	7.4	-	腹面蛇行欠損(食痕?)		
SI75	6層南⑤	12	42	完形	0.94	15.1	17.8	8.5	-			
SI75	6層南⑤	12	43	完形	1.07	15.6	19.9	9.3	-			
SI75	6層南⑤	12	44	完形	0.59	12.2	13.5	7.3	-			
SI75	6層南⑤	12	45	完形	0.67	13.3	14.5	8.5	-			
SI75	6層南⑤	12	46	完形	0.57	12.7	12.8	7.8	-	背面裂開		
SI75	6層南⑤	12	47	完形	0.60	12.8	16.5	6.1	-	基部僅かに欠損		
SI75	6層南⑤	12	48	完形	0.86	16.4	16.1	8.1	-	頂部僅かに欠損		
SI75	6層南⑤	12	49	完形	果皮残存	1.25	18.1	20.4	10.2	-	背面果皮片残存	
SI75	6層南⑤	12	50	完形	食痕?	0.60	14.4	14.0	6.8	-	腹面楕円状欠損(食痕?),砂泥付着	
SI75	6層南⑤	12	51	完形	0.88	16.7	15.8	8.7	-	頂部僅かに欠損		
SI75	6層南⑤	12	52	完形	食痕?	0.87	15.0	15.7	10.6	-	背面基部楕円状欠損(食痕?)	
SI75	6層南⑤	12	53	完形未済	1.08 +	16.6	17.0	10.1	-	腹面頂部僅かに欠損		
SI75	6層南⑤	12	54	完形	1.06	16.7	17.0	9.5	-			
SI75	6層南⑤	12	55	完形	1.27	14.9	18.0	10.1	-	頂部僅かに欠損		
SI75	6層南⑤	12	56	完形	1.50	20.0	19.6	10.1	-	腹面基部僅かに欠損		
SI75	6層南⑤	12	57	完形未済	1.04 +	16.7	18.8	9.8	-	基部一部欠損		
SI75	6層南⑤	12	58	完形	1.81	19.7	21.7	10.8	-	頂部僅かに欠損		
SI75	6層南⑤	12	59	完形	1.19	16.6	18.2	10.0	-	頂部側面僅かに欠損		
SI75	6層南⑤	12	60	完形	0.84	13.9	16.9	8.5	-	頂部僅かに欠損		
SI75	6層南⑤	12	61	完形	0.60	12.9	14.6	8.3	-	頂部僅かに欠損		
SI75	6層南⑤	12	62	完形	0.61	14.3	14.1	7.3	-	頂部僅かに欠損		
SI75	6層南⑤	12	63	完形	1.21	18.0	19.7	10.0	-	側面僅かに欠損		
SI75	6層南⑤	12	64	完形	0.77	14.1	13.9	8.7	-	頂部僅かに欠損		
SI75	6層南⑤	12	65	完形未済	0.77 +	14.9	19.9	7.7	-	頂部~背面一部欠損		
SI75	6層南⑤	12	66	完形	0.90	14.3	14.9	9.7	-	腹面頂部僅かに欠損		
SI75	6層南⑤	12	67	完形	0.83	15.5	15.9	8.7	-	背面僅かに欠損		
SI75	6層南⑤	12	68	完形未済	1.09 +	18.7	19.7	9.3	-	頂部~側面一部欠損		
SI75	6層南⑤	12	69	完形	0.72	14.7	14.5	8.1	-	頂部僅かに欠損		
SI75	6層南⑤	12	70	完形	0.55	12.0	13.5	8.9	-	腹面頂部僅かに欠損		
SI75	6層南⑤	12	71	完形	0.69	15.6	14.0	7.3	-	背面僅かに欠損		
SI75	6層南⑤	12	72	完形	食痕?	0.49	12.8	12.7	6.5	-	腹面基部2箇所円状欠損(食痕?)	
SI75	6層南⑤	12	73	完形未済	食痕?	0.76 +	13.1	15.5	9.2	-	側面楕円状欠損(食痕?)	
SI75	6層南⑤	12	74	完形	0.56	13.7	14.2	8.3	-	背面裂開		
SI75	6層南⑤	12	75	完形	0.76	13.4	14.0	11.2	-			
SI75	6層南⑤	12	76	完形	0.43	11.7	13.1	6.2	-			
SI75	6層南⑤	12	77	完形	1.36	16.7	21.6	11.2	-			
SI75	6層南⑤	12	78	完形未済	0.60 +	13.3	16.2	7.0	-	背面頂部欠損		
SI75	6層南⑤	12	79	完形未済	食痕?	1.24 +	16.0	17.6	9.9	-	腹面頂部欠損,腹面基部楕円状欠損(食痕?)	
SI75	6層南⑤	12	80	完形未済	食痕?	1.41 +	18.8	19.7	11.8	-	背面楕円状欠損(食痕?)	
SI75	6層南⑤	12	81	完形	食痕?	1.05	14.8	17.8	9.8	-	腹面蛇行欠損(食痕?)	
SI75	6層南⑤	12	82	完形	0.50	12.8	12.9	7.0	-			
SI75	6層南⑤	12	83	完形	0.43	10.3	12.8	7.6	-	頂部僅かに欠損		
SI75	6層南⑤	12	84	完形	0.53	12.0	13.0	9.1	-			
SI75	6層南⑤	12	85	完形	0.58	12.1	13.6	7.6	-			
SI75	6層南⑤	12	86	完形	0.60	13.7	12.6	6.2	-			
SI75	6層南⑤	12	87	完形	0.35	11.9	11.7	5.6	-			
SI75	6層南⑤	12	88	完形	0.56	14.8	13.1	8.2	-			
SI75	6層南⑤	12	89	完形	0.38	11.4	12.5	6.0	-			
SI75	6層南⑤	12	90	完形	0.86	12.1	16.8	8.7	-	腹面僅かに裂開		
SI75	6層南⑤	12	91	完形	0.38	10.0	11.4	7.0	-			
SI75	6層南⑤	12	92	完形	0.41	10.4	13.2	6.9	-			
SI75	6層南⑤	12	93	完形	0.62	12.1	13.2	7.7	-			
SI75	6層南⑤	12	94	完形	食痕?	0.63	11.8	14.3	7.8	-	背面楕円状欠損(食痕?)	
SI75	6層南⑤	12	95	完形	0.46	12.0	13.5	7.1	-			
SI75	6層南⑤	12	96	完形	0.43	13.0	13.4	6.8	-			
SI75	6層南⑤	12	97	完形	食痕?	0.29	12.0	12.5	7.1	-	背面腹面側面楕円状欠損(食痕?)	
SI75	6層南⑤	12	98	完形	0.41	9.9	11.3	8.6	-	基部僅かに欠損		
SI75	6層南⑤	12	99	完形	食痕?	0.28	9.4	10.8	6.0	-	基部楕円状欠損(食痕?)	
SI75	6層南⑤	12	100	完形	0.38	11.8	12.2	7.4	-	頂部僅かに欠損		
SI75	6層南⑤	12	101	完形	1.07	20.5	10.7	12.6	-	腹面稜状(180°)		
SI75	6層南⑤	12	102	完形	1.16	17.2	13.0	11.3	-	腹面稜状(45°)		
SI75	6層南⑤	12	103	完形	0.67	17.1	12.7	11.7	-	腹面稜状(72°)		
SI75	6層南⑤	12	104	完形	0.73	18.5	13.1	10.3	-	腹面稜状(72°)		
SI75	6層南⑤	12	105	完形	0.70	14.2	15.3	9.6	-	腹面稜状(120°)		
SI75	6層南⑤	12	106	完形	0.81	17.1	13.1	11.3	-	腹面稜状(180°)稜僅かに欠損		
SI75	6層南⑤	12	107	完形	0.48	15.1	12.2	8.6	-	腹面稜状(120°)腹面頂部僅かに欠損		
SI75	6層南⑤	12	108	完形	果皮残存	食痕?	0.74	13.0	18.2	10.3	-	背面果皮片残存,基部楕円状欠損(食痕?)
SI75	6層南⑤	12	109	完形	果皮残存	食痕?	0.74	18.1	17.2	9.8	-	背面果皮片残存,腹面基部楕円状欠損(食痕?)
SI75	6層南⑤	12	110	完形	果皮残存	0.60	13.3	14.9	8.8	-	背面果皮片残存,頂部僅かに欠損	
SI75	6層南⑤	12	111	完形	果皮残存	0.64	18.6	11.9	7.8	-	背面果皮片残存	
SI75	6層南⑤	12	112	完形	果皮残存	0.82	14.4	14.7	10.4	-	腹面果皮片残存	
SI75	6層南⑤	12	113	完形	果皮残存	0.59	13.6	13.0	7.9	-	腹面果皮片残存	
SI75	6層南⑤	12	114	完形	果皮残存	0.69	13.0	13.6	9.6	-	背面腹面果皮片残存	
SI75	6層南⑤	12	115	完形	1.65	16.7	21.4	10.8	-	腹面基部磨耗		
SI75	6層南⑤	12	116	完形未済	0.58 +	12.7	13.7	7.2	-	状態不良,表面欠損		
SI75	6層南⑤	12	117	完形未済	食痕?	0.85 +	14.3	15.2	9.7	-	側面~基部楕円状欠損(食痕?)	
SI75	6層南⑤	12	118	完形未済	0.70 +	13.2	17.7	8.0	-	基部欠損		
SI75	6層南⑤	12	119	完形未済	食痕?	0.47 +	13.3	14.2	6.7	-	側面楕円状欠損(食痕?)	
SI75	6層南⑤	12	120	完形未済	0.68 +	14.3	15.1	7.5	-	頂部~側面欠損		
SI75	6層南⑤	12	121	完形未済	0.51 +	12.0	12.8	7.1	-	頂部欠損		
SI75	6層南⑤	12	122	完形未済	食痕?	0.47 +	14.7	10.9	7.1	-	頂部欠損,腹面基部蛇行欠損(食痕?)	
SI75	6層南⑤	12	123	完形未済	0.57 +	11.7	13.9	8.4	-	基部欠損		
SI75	6層南⑤	12	124	完形未済	0.50 +	11.1	12.2	8.1	-	頂部欠損		
SI75	6層南⑤	12	125	完形未済	0.34 +	11.3	11.2	6.2	-	頂部僅かに欠損		
SI75	6層南⑤	12	126	完形未済	0.82 +	14.1	14.9	8.6	-	頂部欠損,側面欠損		
SI75	6層南⑤	12	127	完形未済	食痕?	0.33 +	10.8	11.6	6.7	-	背面蛇行-楕円状欠損(食痕?)	
SI75	6層南⑤	12	128	完形未済	食痕?	0.86 +	14.5	14.2	10.5	-	腹面蛇行欠損(食痕?)	



表3 クリ炭化子葉の計測値 (8)

出土地点	層位	袋No.	計測No.	状態	重量(g)	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	図版番号	備考
SI75	6層南⑤	12	129	完形未滿	1.25 +	16.3	19.2	9.7	-	頂部~側面欠損
SI75	6層南⑤	12	130	完形未滿	1.23 +	17.3	20.5	10.4	-	背面1/5欠損
SI75	6層南⑤	12	131	完形未滿	0.89 +	16.3	17.6	10.2	-	背面1/2欠損
SI75	6層南⑤	12	132	完形未滿	1.48 +	18.8	20.1	11.1 +	-	背面蛇行欠損(食痕?)
SI75	6層南⑤	12	133	完形未滿	0.81 +	14.6	18.2	9.2 +	-	背面蛇行欠損・糞?充填(食痕?)
SI75	6層南⑤	12	134	完形未滿	0.93 +	16.7	16.6	9.8	-	基部楕円状欠損(食痕?)
SI75	6層南⑤	12	135	完形未滿	1.00 +	18.2	19.3	11.8	-	背面1/4欠損
SI75	6層南⑤	12	136	完形未滿	1.24 +	17.4	19.5	11.8	-	背面~基部楕円状欠損(食痕?)
SI75	6層南⑤	12	137	完形未滿	0.65 +	16.9	14.8	8.2 +	-	背面1/2欠損
SI75	6層南⑤	12	138	完形未滿	0.77 +	15.1	17.0	8.4 +	-	背面2/3欠損
SI75	6層南⑤	12	139	完形未滿	1.45 +	19.2	15.5	15.8	-	腹面稜状(72°).頂部欠損
SI75	6層南⑤	12	140	完形未滿	1.19 +	18.0	19.0	10.6	-	側面欠損
SI75	6層南⑤	12	141	完形未滿	1.07 +	17.8	18.7	9.1	-	頂部~腹面~側面蛇行欠損(食痕?)
SI75	6層南⑤	12	142	完形未滿	0.36 +	11.1	12.7	5.9	-	腹面頂部欠損
SI75	6層南⑤	12	143	完形未滿	0.36 +	12.9	13.8	7.0	-	背面2/3欠損
SI75	6層南⑤	12	144	完形未滿	0.52 +	14.9	15.5	7.8	-	側面1/3欠損
SI75	6層南⑤	12	145	完形未滿	0.43 +	11.9	12.6	7.8	-	背面基部~側面蛇行欠損(食痕?)
SI75	6層南⑤	12	146	完形未滿	0.48 +	17.0	15.4	9.3	-	背面腹面欠損
SI75	6層南⑤	12	147	完形未滿	0.66 +	15.6	14.4	7.8	-	状態不良.表面欠損
SI75	6層南⑤	12	148	完形未滿	0.43 +	11.5	12.8	7.6	-	頂部欠損
SI75	6層南⑤	12	149	完形未滿	0.31 +	11.8	11.6	5.1	-	頂部欠損.基部欠損
SI75	6層南⑤	12	150	完形未滿	0.39 +	14.5	13.0	6.5 +	-	背面1/2欠損.腹面楕円状欠損(食痕?)
SI75	6層南⑤	12	151	完形未滿	0.78 +	15.8	15.8	9.1	-	側面欠損
SI75	6層南⑤	12	152	完形未滿	0.54 +	11.9	14.9	6.9 +	-	腹面1/4欠損
SI75	6層南⑤	12	153	完形未滿	1.06 +	17.9	19.6	11.1 +	-	背面1/2欠損
SI75	6層南⑤	12	154	完形未滿	0.89 +	16.4	17.0	10.1 +	-	背面1/3欠損
SI75	6層南⑤	12	155	完形未滿	0.79 +	15.4	18.1	6.9	-	腹面基部蛇行欠損(食痕?)
SI75	6層南⑤	12	156	完形未滿	0.39 +	13.9	12.6	6.5 +	-	背面2/3欠損
SI75	6層南⑤	12	157	完形未滿	0.44 +	10.1	13.1	6.8	-	腹面基部蛇行欠損(食痕?)
SI75	6層南⑤	12	158	完形未滿	0.73 +	18.1	18.3	8.4 +	-	背面1/2欠損
SI75	6層南⑤	12	159	完形未滿	0.70 +	14.0	14.8	9.9	-	腹面~基部蛇行欠損(食痕?)
SI75	6層南⑤	12	160	完形未滿	0.40 +	10.4	12.1	7.2	-	腹面~基部蛇行欠損(食痕?)
SI75	6層南⑤	12	161	完形未滿	0.34 +	13.3	14.1	7.4 +	-	背面1/2欠損.腹面1/5欠損
SI75	6層南⑤	12	162	完形未滿	1.27 +	17.9	17.9	13.4 +	-	腹面2/3欠損
SI75	6層南⑤	12	163	完形未滿	1.16 +	16.6	19.3	8.8	-	状態不良.背面欠損
SI75	6層南⑤	12	164	完形未滿	0.34 +	12.6	14.7	7.3 +	-	背面4/5欠損.腹面蛇行欠損(食痕?)
SI75	6層南⑤	12	165	完形未滿	0.88 +	14.7	18.1	8.4	-	背面果皮片残存.腹面基部楕円状欠損(食痕?)
SI75	6層南⑤	12	166	完形未滿	0.73 +	15.5	16.2	9.2	-	背面果皮片残存.腹面1/2欠損.背面楕円状欠損(食痕?)
SI75	6層南⑤	12	167	完形未滿	0.43 +	11.6	14.3	7.3	-	頂部~側面欠損.基部欠損
SI75	6層南⑤	12	168	完形未滿	0.68 +	19.0	17.1	10.6 +	-	背面1/2欠損
SI75	6層南⑤	12	169	完形未滿	1.06 +	18.3	18.0	9.7	-	側面1/5欠損
SI75	6層南⑤	12	170	完形未滿	0.31 +	12.0	11.7	8.4 +	-	背面果皮片残存.腹面3/4欠損(食痕?)
SI75	6層南⑤	12	171	完形未滿	1.59 +	16.9 +	21.1	11.8	-	頂部欠損
SI75	6層南⑤	12	172	完形未滿	0.61 +	16.6	17.6	8.6 +	-	腹面3/4欠損.内面楕円状欠損(食痕?)
SI75	6層南⑤	12	173	半分	0.79 +	17.6	23.3	8.1 +	-	腹面
SI75	6層南⑤	12	174	完形未滿	0.51 +	14.7	18.3	4.7 +	-	背面5/4欠損.腹面基部2箇所楕円状欠損(食痕?)
SI75	6層南⑤	12	175	半分	0.22 +	13.9	13.3	3.5 +	-	腹面
SI75	6層南⑤	12	176	半分	0.30 +	11.4	14.4	6.0 +	-	背面.側面一部欠損
SI75	6層南⑤	12	177	半分	0.63 +	14.1 *	20.4	8.9 +	-	背面.垂直方向の圧密を受けている
SI75	6層南⑤	12	178	半分	0.32 +	12.7	13.5	5.9 +	-	背面
SI75	6層南⑤	12	179	半分	0.45 +	11.8	14.9	6.1 +	-	背面
SI75	6層南⑤	12	180	半分	0.21 +	9.8	9.7	6.3 +	10	背面
SI75	6層南⑤	12	181	半分	0.73 +	16.2	19.0	9.0 +	-	背面
SI75	6層南⑤	12	182	半分	0.36 +	13.5	14.6	4.9 +	-	背面
SI75	6層南⑤	12	183	半分	0.34 +	14.7	12.3	6.4 +	-	背面
SI75	6層南⑤	12	184	半分	0.52 +	13.9	17.2	6.7 +	-	背面
SI75	6層南⑤	12	185	半分	0.52 +	15.6	18.7	7.1 +	-	背面
SI75	6層南⑤	12	186	半分	0.19 +	12.0	11.2	5.1 +	-	背面
SI75	6層南⑤	12	187	完形未滿	0.41 +	12.4	16.3	7.2 +	-	腹面9/10欠損
SI75	6層南⑤	12	188	半分	0.41 +	14.2	16.0	5.6 +	-	背面
SI75	6層南⑤	12	189	半分	0.63 +	16.3	16.6	8.5 +	-	背面
SI75	6層南⑤	12	190	半分	0.71 +	13.8	17.3	8.8 +	-	背面.側面一部欠損
SI75	6層南⑤	12	191	完形未滿	0.13 +	11.0	11.3	3.7 +	-	背面4/5欠損
SI75	6層南⑤	12	192	半分	0.28 +	11.3	10.5	6.0 +	-	背面
SI75	6層南⑤	12	193	半分	0.53 +	14.7	17.2	8.3 +	-	背面
SI75	6層南⑤	12	194	半分	0.58 +	17.3	16.3	7.0 +	-	背面
SI75	6層南⑤	12	195	半分	0.53 +	15.4	13.3	6.8 +	-	背面
SI75	6層南⑤	12	196	半分	0.41 +	13.6	13.2	6.9 +	-	背面
SI75	6層南⑤	12	197	半分	0.42 +	13.2	12.8	5.9 +	-	背面
SI75	6層南⑤	12	198	半分	0.49 +	14.7	15.4	6.8 +	-	背面.側面~基部一部欠損
SI75	6層南⑤	12	199	半分	0.35 +	15.1	14.5	5.2 +	-	背面
SI75	6層南⑤	12	200	半分	0.45 +	11.6	14.6	9.1 +	-	背面.基部一部欠損
SI75	6層南⑤	12	201	半分	0.40 +	14.4	13.1	8.2 +	-	背面.側面一部欠損
SI75	6層南⑤	12	202	完形未滿	0.60 +	15.3	15.5	6.4 +	-	腹面9/10欠損.側面~内面蛇行欠損(食痕?)
SI75	6層南⑤	12	203	半分	0.26 +	10.9	11.4	5.5 +	-	背面.頂部一部欠損
SI75	6層南⑤	12	204	半分	0.42 +	14.3	13.6	6.1 +	-	背面
SI75	6層南⑤	12	205	半分	0.24 +	13.1	11.5	6.1 +	-	背面.基部蛇行欠損(食痕?)
SI75	6層南⑤	12	206	半分	0.30 +	12.2	14.4	5.1 +	-	背面.頂部.側面一部欠損
SI75	6層南⑤	12	207	完形未滿	0.69 +	17.2	16.2	6.7 +	-	背面4/5欠損
SI75	6層南⑤	12	208	半分	0.35 +	12.2	14.1	5.6 +	-	背面
SI75	6層南⑤	12	209	半分	0.43 +	12.6	14.3	6.6 +	-	背面
SI75	6層南⑤	12	210	完形未滿	0.37 +	14.9	14.2	9.7 +	-	背面4/5欠損
SI75	6層南⑤	12	211	完形未滿	0.43 +	14.8	11.7	7.3 +	-	腹面3/4欠損
SI75	6層南⑤	12	212	半分	0.23 +	9.9	10.8	7.4 +	-	背面.基部楕円状欠損(食痕?)
SI75	6層南⑤	12	213	半分	0.24 +	12.1	12.1	4.1 +	-	背面
SI75	6層南⑤	12	214	半分	0.19 +	11.4	10.9	5.0 +	-	背面
SI75	6層南⑤	12	215	半分	0.51 +	13.7	18.1	6.0 +	-	背面
SI75	6層南⑤	12	216	完形未滿	0.41 +	13.0	14.3	8.4 +	-	背面3/4欠損
SI75	6層南⑤	12	217	完形未滿	0.68 +	15.1	16.4	6.4 +	-	背面4/5欠損
SI75	6層南⑤	12	218	完形未滿	0.27 +	13.2	13.8	4.7 +	-	背面3/4欠損
SI75	6層南⑤	12	219	完形未滿	0.54 +	15.6	15.9	6.1 +	-	背面4/5欠損

表3 クリ炭化子葉の計測値(9)

出土地点	層位	袋No.	計測No.	状態	重量(g)	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	図版番号	備考	
SI75	6層南⑤	12	220	完形未済	0.35 +	15.6	14.3	5.4 +	-	背面4/5欠損	
SI75	6層南⑤	12	221	完形未済	0.52 +	13.7	17.6	4.9 +	-	背面4/5欠損	
SI75	6層南⑤	12	222	半分	0.61 +	19.6	21.7	4.7 +	-	腹面・頂部一部欠損	
SI75	6層南⑤	12	223	完形未済	1.02 +	18.2	23.6	8.3 +	-	背面9/10欠損	
SI75	6層南⑤	12	224	完形未済	0.65 +	14.0	18.8	7.2 +	-	背面4/5欠損	
SI75	6層南⑤	12	225	半分	0.35 +	14.6	16.1	3.9 +	-	腹面・基部一部欠損	
SI75	6層南⑤	12	226	半分	0.37 +	14.3	15.0	4.9 +	-	腹面・基部楕円状欠損(食痕?)	
SI75	6層南⑤	12	227	完形未済	0.33 +	14.3	16.4	5.6 +	-	背面4/5欠損	
SI75	6層南⑤	12	228	半分	0.33 +	16.1	16.1	5.7 +	-	腹面稜状(120°)	
SI75	6層南⑤	12	229	半分	0.17 +	13.6	12.2	2.8 +	-	腹面・側面～基部欠損(食痕?)	
SI75	6層南⑤	12	230	完形未済	0.20 +	12.8	11.8	4.8 +	-	背面9/10欠損	
SI75	6層南⑤	12	231	完形未済	0.39 +	13.1	15.4	7.4 +	-	背面9/10欠損	
SI75	6層南⑤	12	232	完形未済	0.21 +	12.6	11.8	3.8 +	-	背面4/5欠損	
SI75	6層南⑤	12	233	半分	0.32 +	12.9	15.0	5.9 +	-	腹面	
SI75	6層南⑤	12	234	半分	0.17 +	10.8	12.2	3.7 +	-	腹面・基部欠損(食痕?)	
SI75	6層南⑤	12	235	半分	0.29 +	12.7	14.5	4.0 +	-	腹面	
SI75	6層南⑤	12	236	完形未済	0.25 +	12.0	12.1	6.1 +	-	背面4/5欠損・頂部～側面一部欠損	
SI75	6層南⑤	12	237	完形未済	0.33 +	14.2	15.5	5.0 +	-	背面4/5欠損・基部楕円状欠損(食痕?)	
SI75	6層南⑤	12	238	半分	0.50 +	16.8	17.6	4.3 +	-	腹面	
SI75	6層南⑤	12	239	半分	0.22 +	11.5	14.2	4.4 +	-	腹面	
SI75	6層南⑤	12	240	半分	0.39 +	11.5	15.0	6.7 +	-	腹面・頂部一部欠損	
SI75	6層南⑤	12	241	完形未済	0.24 +	11.5	12.6	6.0 +	-	背面4/5欠損	
SI75	6層南⑤	12	242	半分	0.34 +	14.7	14.6	4.5 +	-	腹面・基部楕円状欠損(食痕?)	
SI75	6層南⑤	12	243	半分	0.19 +	11.0	11.5	3.0 +	-	腹面	
SI75	6層南⑤	12	244	完形未済	0.16 +	10.0	11.5	4.7 +	-	背面4/5欠損・基部楕円状欠損(食痕?)	
SI75	6層南⑤	12	245	完形未済	0.55 +	12.2	15.8	8.4 +	-	背面3/4欠損	
SI75	6層南⑤	12	246	完形未済	0.41 +	12.7	17.3	5.3 +	-	背面4/5欠損	
SI75	6層南⑤	12	247	半分	0.31 +	15.9	14.8	3.6 +	-	腹面	
SI75	6層南⑤	12	248	完形未済	0.60 +	17.0	16.0	6.0 +	-	背面4/5欠損	
SI75	6層南⑤	12	249	完形未済	0.41 +	13.9	15.3	5.5 +	-	背面4/5欠損	
SI75	6層南⑤	12	250	完形未済	0.18 +	10.8	12.3	4.4 +	-	背面4/5欠損・頂部一部欠損	
SI75	6層南⑤	12	251	半分	0.25 +	10.0	12.2	5.3 +	-	腹面	
SI75	6層南⑤	12	252	完形未済	0.44 +	10.8	15.6	7.2 +	-	背面9/10欠損	
SI75	6層南⑤	12	253	完形未済	0.36 +	14.1	16.6	5.2 +	-	背面9/10欠損	
SI75	6層南⑤	12	254	完形未済	0.28 +	12.6	13.4	5.0 +	-	背面4/5欠損	
SI75	6層南⑤	12	255	完形未済	0.33 +	14.5	14.5	4.1 +	-	背面4/5欠損	
SI75	6層南⑥	13	1	完形	果皮残存	1.50	16.8	19.9	11.1	-	背面果皮片残存
SI75	6層南⑥	13	2	完形	果皮残存	1.34	20.4	17.8	12.1	-	腹面果皮片残存・背面僅かに欠損
SI75	6層南⑥	13	3	完形	果皮残存	0.78	15.7	14.4	7.6	-	背面腹面果皮片残存・側面楕円状欠損(食痕?)
SI75	6層南⑥	13	4	完形	果皮残存	0.63	13.6	14.1	6.7	-	背面腹面果皮片残存
SI75	6層南⑥	13	5	完形	果皮残存	1.01 +	15.8	20.7	7.6	-	背面果皮片残存・頂部僅かに欠損
SI75	6層南⑥	13	6	完形		1.80	19.2	21.1	11.8	-	
SI75	6層南⑥	13	7	完形		1.38	19.0	18.6	9.5	-	
SI75	6層南⑥	13	8	完形		1.37	18.6	19.3	9.3	-	
SI75	6層南⑥	13	9	完形		1.17	19.9	17.9	8.8	-	
SI75	6層南⑥	13	10	完形		1.24	16.2	16.3	9.8	-	
SI75	6層南⑥	13	11	完形		1.35	18.6	19.3	10.6	-	
SI75	6層南⑥	13	12	完形	食痕?	1.16	15.7	18.6	8.2	-	基部楕円状欠損(食痕?)
SI75	6層南⑥	13	13	完形		1.00	15.8	18.5	9.3	-	
SI75	6層南⑥	13	14	完形		1.60	19.7	21.3	9.9	-	
SI75	6層南⑥	13	15	完形		0.86	14.9	16.3	8.2	-	
SI75	6層南⑥	13	16	完形		1.17	16.4	18.8	10.1	-	
SI75	6層南⑥	13	17	完形		1.05	17.0	17.6	9.9	-	
SI75	6層南⑥	13	18	完形		1.21	15.7	17.7	10.4	-	
SI75	6層南⑥	13	19	完形		1.17	17.5	17.9	8.1	-	
SI75	6層南⑥	13	20	完形		1.22	16.0	19.2	9.2	-	
SI75	6層南⑥	13	21	完形		1.07	17.1	16.6	9.4	-	
SI75	6層南⑥	13	22	完形		1.01	15.1	16.5	9.7	-	
SI75	6層南⑥	13	23	完形		0.81	13.2	15.8	8.7	-	背面裂開
SI75	6層南⑥	13	24	完形		0.73	15.8	14.6	8.7	-	
SI75	6層南⑥	13	25	完形		0.84	16.6	15.1	7.8	-	
SI75	6層南⑥	13	26	完形		1.20	15.5	19.1	10.0	-	
SI75	6層南⑥	13	27	完形		0.87	16.3	15.3	8.0	-	
SI75	6層南⑥	13	28	完形		0.50	13.2	13.7	7.1	-	
SI75	6層南⑥	13	29	完形	食痕?	0.79	13.5	16.7	8.9	-	背面楕円状欠損(食痕?)
SI75	6層南⑥	13	30	完形		0.88	13.5	16.7	8.1	-	
SI75	6層南⑥	13	31	完形		0.74	14.1	16.5	8.1	-	
SI75	6層南⑥	13	32	完形		0.85	15.0	14.9	9.0	-	
SI75	6層南⑥	13	33	完形		0.71	13.7	16.8	6.7	-	
SI75	6層南⑥	13	34	完形		0.72	15.0	14.6	9.0	-	
SI75	6層南⑥	13	35	完形		1.03	14.3	15.8	10.0	-	
SI75	6層南⑥	13	36	完形	果皮残存	0.81	15.4	14.3	8.1	-	背面果皮片残存
SI75	6層南⑥	13	37	完形		0.56	13.1	16.1	8.5	-	
SI75	6層南⑥	13	38	完形		0.55	12.9	14.1	9.3	-	
SI75	6層南⑥	13	39	完形		0.54	13.2	15.7	8.7	-	
SI75	6層南⑥	13	40	完形		0.89	15.0	16.3	9.1	-	
SI75	6層南⑥	13	41	完形		0.73	12.4	15.7	9.3	-	
SI75	6層南⑥	13	42	完形		0.56	13.4	14.4	7.9	-	
SI75	6層南⑥	13	43	完形		0.59	13.7	13.1	7.2	-	
SI75	6層南⑥	13	44	完形		0.74	12.0	15.1	8.3	-	
SI75	6層南⑥	13	45	完形		0.60	14.0	13.1	6.9	-	
SI75	6層南⑥	13	46	完形		0.63	14.3	13.0	8.0	-	
SI75	6層南⑥	13	47	完形		0.68	12.4	12.9	9.1	-	
SI75	6層南⑥	13	48	完形		0.65	15.2	13.7	7.9	-	
SI75	6層南⑥	13	49	完形		0.55	13.1	13.3	8.1	-	
SI75	6層南⑥	13	50	完形		0.58	13.6	14.5	7.0	-	
SI75	6層南⑥	13	51	完形		0.55	13.5	13.0	7.4	-	
SI75	6層南⑥	13	52	完形		0.71	10.9	16.0	8.1	-	基部裂開
SI75	6層南⑥	13	53	完形		0.78	13.7	13.5	9.8	-	基部裂開
SI75	6層南⑥	13	54	完形	食痕?	0.75	15.9	14.9	6.7	-	腹面楕円状欠損(食痕?)
SI75	6層南⑥	13	55	完形	食痕?	0.46	11.9	13.9	7.4	-	背面楕円状欠損(食痕?)

5 植物遺存体の分析 (3)

表3 クリ炭化子葉の計測値 (10)

出土地点	層位	袋No.	計測No.	状態	重量(g)	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	図版番号	備考
SI75	6層南⑥	13	56	完形	0.62	12.0	12.8	8.7	-	
SI75	6層南⑥	13	57	完形	0.48	12.2	12.4	6.4	-	
SI75	6層南⑥	13	58	完形	0.47	12.4	12.9	7.5	-	
SI75	6層南⑥	13	59	完形	0.30	11.2	13.7	6.5	-	
SI75	6層南⑥	13	60	完形未満	食痕? 1.26 +	16.3	18.2	10.5	-	基部円状欠損(食痕?)
SI75	6層南⑥	13	61	完形未満	0.74 +	15.5	14.7	7.3	-	基部一部欠損
SI75	6層南⑥	13	62	完形未満	0.67 +	14.6	16.1	8.3	-	基部一部欠損
SI75	6層南⑥	13	63	完形	0.87	16.1	19.7	8.1	-	腹面基部僅かに欠損
SI75	6層南⑥	13	64	完形	1.01	16.8	16.8	8.2	-	腹面基部僅かに欠損
SI75	6層南⑥	13	65	完形	0.64	13.3	16.5	8.9	-	腹面基部僅かに欠損
SI75	6層南⑥	13	66	完形	食痕? 0.45	13.7	12.0	5.8	-	背面基部楕円状欠損(食痕?)
SI75	6層南⑥	13	67	完形	0.50	13.3	14.5	6.5	-	基部僅かに欠損
SI75	6層南⑥	13	68	完形	0.45	14.9	14.0	7.3	-	基部僅かに欠損
SI75	6層南⑥	13	69	完形	0.45	12.0	12.2	6.4	-	基部裂開
SI75	6層南⑥	13	70	完形未満	食痕? 0.79 +	14.8	16.7	8.3	-	頂部僅かに欠損,基部楕円状欠損(食痕?)
SI75	6層南⑥	13	71	完形	1.42	19.1	21.3	10.7	-	腹面裂開
SI75	6層南⑥	13	72	完形	1.42	21.1	17.0	10.9	-	腹面頂部僅かに欠損
SI75	6層南⑥	13	73	完形	1.37	18.5	17.8	12.0	-	頂部僅かに欠損
SI75	6層南⑥	13	74	完形未満	食痕? 1.68 +	18.5	20.9	11.0	-	頂部僅かに欠損,背面基部楕円状欠損(食痕?)
SI75	6層南⑥	13	75	完形未満	食痕? 1.29 +	19.6	17.7	9.8	-	頂部僅かに欠損,背面蛇行欠損(食痕?)
SI75	6層南⑥	13	76	完形	1.16	17.5	18.9	8.5	-	頂部僅かに欠損
SI75	6層南⑥	13	77	完形	0.80	14.4	15.1	9.3	-	頂部僅かに欠損
SI75	6層南⑥	13	78	完形	0.51	11.4	14.1	7.8	-	頂部僅かに欠損
SI75	6層南⑥	13	79	完形	果皮残存 1.00	17.2	16.6	8.7	-	背面果皮片残存,腹面基部僅かに欠損
SI75	6層南⑥	13	80	完形	1.13	14.6	17.4	11.1	-	頂部僅かに欠損
SI75	6層南⑥	13	81	完形	0.36	10.9	10.2	5.9	-	頂部僅かに欠損
SI75	6層南⑥	13	82	完形	1.51	18.6	19.2	11.2	-	背面裂開
SI75	6層南⑥	13	83	完形	1.00	16.3	16.4	8.2	-	頂部僅かに欠損
SI75	6層南⑥	13	84	完形	0.44	12.3	14.6	9.1	-	頂部・側面僅かに欠損
SI75	6層南⑥	13	85	完形	0.34	10.7	11.3	6.3	-	頂部僅かに欠損
SI75	6層南⑥	13	86	完形	0.61	12.7	15.1	7.7	-	腹面頂部僅かに欠損
SI75	6層南⑥	13	87	完形	0.46	12.7	12.8	6.8	-	基部僅かに欠損
SI75	6層南⑥	13	88	完形未満	食痕? 0.56 +	12.8	14.2	7.8	-	腹面~基部楕円状欠損(食痕?)
SI75	6層南⑥	13	89	完形未満	食痕? 1.02 +	16.5	18.3	8.2	-	腹面楕円状欠損(食痕?)
SI75	6層南⑥	13	90	完形	0.70	13.6	14.7	9.2	-	頂部僅かに欠損,背面僅かに欠損
SI75	6層南⑥	13	91	完形	0.75	14.3	14.3	10.2	-	腹面裂開
SI75	6層南⑥	13	92	完形	0.84	15.7	16.6	7.3	-	頂部僅かに欠損
SI75	6層南⑥	13	93	完形	0.49	11.6	13.2	7.4	-	頂部僅かに欠損
SI75	6層南⑥	13	94	完形未満	1.16 +	17.5	18.4	9.6	-	頂部欠損
SI75	6層南⑥	13	95	完形未満	1.11 +	15.1	18.9	9.9	-	頂部欠損
SI75	6層南⑥	13	96	完形未満	0.93 +	15.7	14.9	8.6	-	頂部欠損
SI75	6層南⑥	13	97	完形未満	0.82 +	14.8	16.5	7.5	-	頂部欠損
SI75	6層南⑥	13	98	完形未満	0.95 +	15.1	17.8	9.5	-	頂部欠損
SI75	6層南⑥	13	99	完形未満	0.71 +	13.4	15.8	8.4	-	頂部欠損
SI75	6層南⑥	13	100	完形未満	果皮残存 0.50 +	12.5	14.6	5.9	-	腹面果皮片残存,腹面頂部欠損
SI75	6層南⑥	13	101	完形未満	0.64 +	13.7	16.0	7.6	-	頂部・側面・基部欠損
SI75	6層南⑥	13	102	完形未満	0.74 +	16.3	16.0	8.3	-	頂部・背面・基部欠損
SI75	6層南⑥	13	103	完形未満	0.66 +	12.1	15.2	10.0	-	頂部欠損
SI75	6層南⑥	13	104	完形未満	0.50 +	14.6	13.7	7.1	-	頂部欠損
SI75	6層南⑥	13	105	完形未満	0.68 +	14.1	16.0	7.4	-	頂部僅かに欠損
SI75	6層南⑥	13	106	完形未満	食痕? 1.94 +	20.7	23.0	11.5	6	側面楕円状欠損(食痕?)
SI75	6層南⑥	13	107	完形未満	0.59 +	13.0	12.5	7.6	-	側面欠損
SI75	6層南⑥	13	108	完形未満	果皮残存 1.01 +	16.3	17.4	9.9	-	腹面果皮片残存,側面欠損
SI75	6層南⑥	13	109	完形未満	食痕? 1.22 +	16.5	20.1	11.1	-	側面長楕円状欠損(食痕?)
SI75	6層南⑥	13	110	完形	1.66	19.3	20.7	11.3	-	側面裂開
SI75	6層南⑥	13	111	完形未満	食痕? 0.75 +	16.4	17.2	7.1	-	側面欠損,背面蛇行欠損(食痕?)
SI75	6層南⑥	13	112	完形未満	0.89 +	15.6	16.5	10.9	-	腹面~側面欠損
SI75	6層南⑥	13	113	完形未満	0.70 +	13.9	17.4	8.4	-	腹面~側面欠損
SI75	6層南⑥	13	114	完形未満	0.66 +	14.1	14.5	7.7	-	腹面~側面欠損
SI75	6層南⑥	13	115	完形未満	0.69 +	14.8	14.8	9.1	-	側面欠損
SI75	6層南⑥	13	116	完形	1.08	15.8	19.7	8.7	-	側面僅かに欠損
SI75	6層南⑥	13	117	完形	0.79	14.8	15.5	9.3	-	側面僅かに欠損
SI75	6層南⑥	13	118	完形未満	1.17 +	20.8	17.5	8.5	-	頂部~側面欠損
SI75	6層南⑥	13	119	完形未満	1.60 +	19.0	20.8	10.7	-	頂部~側面欠損
SI75	6層南⑥	13	120	完形	0.79	13.7	17.1	8.7	-	
SI75	6層南⑥	13	121	完形未満	1.60 +	18.8	24.3	10.9	-	背面一部欠損
SI75	6層南⑥	13	122	完形	1.13	18.0	15.9	10.1	-	
SI75	6層南⑥	13	123	完形	1.00	18.0	17.6	9.0	-	
SI75	6層南⑥	13	124	完形	0.81	14.4	19.6	9.5	-	背面僅かに欠損
SI75	6層南⑥	13	125	完形	0.38	12.2	11.1	6.0	-	側面僅かに欠損
SI75	6層南⑥	13	126	完形	0.49	13.9	12.8	6.9	-	
SI75	6層南⑥	13	127	完形	0.42	11.6	13.0	6.5	-	
SI75	6層南⑥	13	128	完形	0.33	12.1	11.1	7.1	-	
SI75	6層南⑥	13	129	完形	0.74	13.3	14.0	8.5	-	
SI75	6層南⑥	13	130	完形	0.53	11.3	13.6	8.2	-	
SI75	6層南⑥	13	131	完形	0.63	12.4	14.7	8.7	-	
SI75	6層南⑥	13	132	完形	0.63	13.2	15.1	8.3	-	
SI75	6層南⑥	13	133	完形	0.64	13.0	13.6	8.5	14	
SI75	6層南⑥	13	134	完形	0.71	15.8	14.4	8.5	-	
SI75	6層南⑥	13	135	完形	0.71	11.1	15.7	10.8	-	
SI75	6層南⑥	13	136	完形	0.42	14.0	11.8	7.6	-	
SI75	6層南⑥	13	137	完形	0.58	13.7	14.6	8.3	-	
SI75	6層南⑥	13	138	完形	食痕? 0.50	11.3	13.5	7.6	-	背面円状欠損(食痕?)
SI75	6層南⑥	13	139	完形	0.46	13.3	12.6	7.5	-	
SI75	6層南⑥	13	140	完形	0.43	11.8	12.2	6.7	-	
SI75	6層南⑥	13	141	完形未満	0.37 +	11.5	11.3	6.3	-	側面欠損
SI75	6層南⑥	13	142	完形	0.37	12.0	10.9	6.8	-	
SI75	6層南⑥	13	143	完形	0.40	11.0	12.7	5.9	-	
SI75	6層南⑥	13	144	完形	0.28	9.9	11.1	6.9	-	
SI75	6層南⑥	13	145	完形	0.42	9.9	12.7	7.9	-	腹面頂部僅かに欠損
SI75	6層南⑥	13	146	完形	0.73	11.6	14.9	10.0	-	

表3 クリ炭化子葉の計測値(11)

出土地点	層位	袋No.	計測No.	状態	重量(g)	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	図版番号	備考	
SI75	6層南⑥	13	147	完形		0.32	11.9	12.2	6.1	-	
SI75	6層南⑥	13	148	完形未滿		0.67 +	12.4	15.1	10.6	-	
SI75	6層南⑥	13	149	完形	食痕?	0.50	13.2	12.2	8.1	-	
SI75	6層南⑥	13	150	完形	食痕?	0.29	10.7	10.2	5.9	-	
SI75	6層南⑥	13	151	完形未滿		0.62 +	12.0	14.0	8.0	-	
SI75	6層南⑥	13	152	完形		0.87	13.8	14.2	10.4	-	
SI75	6層南⑥	13	153	完形		0.52	13.6	12.8	6.8	-	
SI75	6層南⑥	13	154	完形		0.51	12.4	13.1	7.8	-	
SI75	6層南⑥	13	155	完形未滿		1.38 +	18.3	20.4	10.7	-	
SI75	6層南⑥	13	156	完形		0.57	13.1	14.8	8.9	-	
SI75	6層南⑥	13	157	完形	果皮残存	0.51	13.3	12.7	6.9	-	
SI75	6層南⑥	13	158	完形		1.55	19.0	17.7	15.6	-	
SI75	6層南⑥	13	159	完形未滿	果皮残存	0.69 +	14.4	14.4	7.6	-	
SI75	6層南⑥	13	160	完形未滿	果皮残存	食痕?	1.03 +	14.5	15.3	12.4	-
SI75	6層南⑥	13	161	完形未滿	果皮残存	1.20 +	15.9	16.5	7.2	-	
SI75	6層南⑥	13	162	完形未滿		1.12 +	16.0	15.2 +	8.8	-	
SI75	6層南⑥	13	163	完形未滿		1.04 +	14.0	15.2	8.4 +	-	
SI75	6層南⑥	13	164	完形未滿	果皮残存	食痕?	1.77 +	19.4	16.7	14.0	-
SI75	6層南⑥	13	165	完形未滿		食痕?	0.91 +	17.3	10.6	8.8	-
SI75	6層南⑥	13	166	完形未滿		1.08 +	15.4	14.1	8.2	-	
SI75	6層南⑥	13	167	完形未滿		1.40 +	18.1	17.7	10.1	-	
SI75	6層南⑥	13	168	完形未滿		1.51 +	16.9	18.1	10.8	-	
SI75	6層南⑥	13	169	完形未滿	食痕?	0.75 +	11.5	11.5	5.6	-	
SI75	6層南⑥	13	170	完形未滿		1.75 +	21.0	22.1	11.5 +	-	
SI75	6層南⑥	13	171	完形未滿	食痕?	0.84 +	15.7	10.9	8.4	-	
SI75	6層南⑥	13	172	完形		1.38	17.3	17.0	11.6	-	
SI75	6層南⑥	13	173	完形未滿	食痕?	1.13 +	14.6	16.8	8.2	-	
SI75	6層南⑥	13	174	完形未滿		1.33 +	13.5	16.9	9.8	-	
SI75	6層南⑥	13	175	完形未滿	果皮残存	食痕?	1.21 +	13.5	14.4	9.5	-
SI75	6層南⑥	13	176	完形未滿	食痕?	1.23 +	17.4	20.3	8.5 +	-	
SI75	6層南⑥	13	177	完形未滿	食痕?	0.89 +	12.1	14.6	8.1	-	
SI75	6層南⑥	13	178	完形未滿		0.95 +	11.2	13.8	7.4	-	
SI75	6層南⑥	13	179	完形未滿	食痕?	1.09 +	14.2	15.5	9.8	-	
SI75	6層南⑥	13	180	完形未滿	食痕?	0.94 +	15.9	15.2	9.0	-	
SI75	6層南⑥	13	181	完形未滿		1.06 +	17.8	14.5	8.3	-	
SI75	6層南⑥	13	182	完形未滿	食痕?	0.84 +	10.0	14.0	7.0	-	
SI75	6層南⑥	13	183	完形未滿		0.94 +	13.9	12.4	6.6	-	
SI75	6層南⑥	13	184	完形未滿	食痕?	1.06 +	14.9	15.8	12.1	-	
SI75	6層南⑥	13	185	完形未滿	食痕?	0.30 +	11.4	11.3	5.8 +	-	
SI75	6層南⑥	13	186	完形未滿		0.62 +	14.1	14.5	9.1	-	
SI75	6層南⑥	13	187	完形未滿		0.55 +	15.1	17.8	7.6 +	-	
SI75	6層南⑥	13	188	完形未滿		0.52 +	14.9	14.5	6.9 +	-	
SI75	6層南⑥	13	189	完形未滿		0.56 +	17.8	17.4	5.3 +	-	
SI75	6層南⑥	13	190	完形未滿		0.58 +	15.3	17.9 +	9.0 +	-	
SI75	6層南⑥	13	191	完形未滿		0.71 +	20.3	16.8	7.7 +	-	
SI75	6層南⑥	13	192	完形未滿		1.01 +	20.7	18.6	10.6 +	-	
SI75	6層南⑥	13	193	完形未滿		0.68 +	16.7	18.5	10.0 +	-	
SI75	6層南⑥	13	194	完形未滿		0.28 +	10.9	12.7	7.9 +	-	
SI75	6層南⑥	13	195	完形未滿		0.33 +	13.1	11.9	7.7 +	-	
SI75	6層南⑥	13	196	完形未滿	食痕?	0.82 +	15.2	18.2	9.8	-	
SI75	6層南⑥	13	197	完形未滿		0.54 +	14.4	14.0	8.8 +	-	
SI75	6層南⑥	13	198	完形未滿	食痕?	0.23 +	10.4	10.8	6.6 +	16	
SI75	6層南⑥	13	199	完形未滿		0.54 +	13.3	14.0	8.3	-	
SI75	6層南⑥	13	200	完形未滿		0.71 +	16.1	19.2	6.6 +	-	
SI75	6層南⑥	13	201	完形未滿		0.22 +	10.0	12.0	4.9 +	-	
SI75	6層南⑥	13	202	完形未滿		0.41 +	14.3	15.3	7.7 +	-	
SI75	6層南⑥	13	203	完形未滿		0.24 +	9.5	12.5	7.3 +	-	
SI75	6層南⑥	13	204	完形未滿		1.10 +	16.7	16.9	15.0	-	
SI75	6層南⑥	13	205	完形未滿	食痕?	0.39 +	11.2	14.3	10.2 +	-	
SI75	6層南⑥	13	206	完形未滿	食痕?	0.37 +	8.8	13.0	6.1	-	
SI75	6層南⑥	13	207	完形未滿		0.30 +	11.4	13.2	6.7 +	-	
SI75	6層南⑥	13	208	完形未滿		0.32 +	9.8	11.1	8.0 +	-	
SI75	6層南⑥	13	209	完形未滿		0.63 +	15.6	20.3	7.8 +	-	
SI75	6層南⑥	13	210	完形未滿		0.81 +	17.2	22.3	5.5 +	-	
SI75	6層南⑥	13	211	完形未滿	食痕?	0.27 +	12.0	12.5	6.5	15	
SI75	6層南⑥	13	212	完形未滿		1.33 +	19.4	20.5	10.3	-	
SI75	6層南⑥	13	213	完形未滿	食痕?	0.21 +	10.6	13.4	4.6 +	-	
SI75	6層南⑥	13	214	完形未滿		0.48 +	15.7	15.3	8.0 +	-	
SI75	6層南⑥	13	215	完形未滿		0.42 +	13.6	15.7	7.6 +	-	
SI75	6層南⑥	13	216	完形未滿	食痕?	0.46 +	13.4	14.3	6.8 +	-	
SI75	6層南⑥	13	217	完形未滿		0.55 +	14.9	15.8	8.8 +	-	
SI75	6層南⑥	13	218	完形未滿	食痕?	0.66 +	13.2	14.8	8.3	-	
SI75	6層南⑥	13	219	完形未滿		0.26 +	9.7	10.8	8.1 +	-	
SI75	6層南⑥	13	220	完形未滿		0.40 +	13.9	12.9	7.9 +	-	
SI75	6層南⑥	13	221	半分	果皮残存	1.04 +	18.7	22.1	9.6 +	-	
SI75	6層南⑥	13	222	半分	果皮残存	0.58 +	14.1	18.1	7.1 +	-	
SI75	6層南⑥	13	223	半分	果皮残存	食痕?	0.48 +	15.6	18.5	7.4 +	-
SI75	6層南⑥	13	224	半分		0.42 +	14.5	17.5	7.8 +	-	
SI75	6層南⑥	13	225	半分		0.53 +	13.2	14.7 +	9.7 +	-	
SI75	6層南⑥	13	226	完形未滿		0.58 +	15.0	18.8	7.7 +	-	
SI75	6層南⑥	13	227	半分		0.36 +	11.7	16.3	7.1 +	-	
SI75	6層南⑥	13	228	完形未滿		0.33 +	11.9	12.0	6.0	-	
SI75	6層南⑥	13	229	半分		0.33 +	12.2	13.2	6.4 +	-	
SI75	6層南⑥	13	230	半分		0.66 +	20.3	18.1	11.4 +	-	
SI75	6層南⑥	13	231	完形未滿		0.53 +	14.3	20.0	10.0 +	-	
SI75	6層南⑥	13	232	完形未滿		0.55 +	13.6	15.8	9.5 +	-	
SI75	6層南⑥	13	233	半分		0.42 +	11.9	16.2	7.3 +	-	
SI75	6層南⑥	13	234	半分		0.47 +	15.2	18.6	5.8 +	-	
SI75	6層南⑥	13	235	半分		0.23 +	10.7	11.5	4.7 +	-	
SI75	6層南⑥	13	236	半分		0.33 +	11.3	15.3	6.2 +	-	
SI75	6層南⑥	13	237	半分		0.41 +	14.0	15.0	7.1 +	-	

5 植物遺存体の分析 (3)

表3 クリ炭化子葉の計測値 (12)

出土地点	層位	袋No.	計測No.	状態	重量(g)	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	図版番号	備考	
SI75	6層南⑥	13	238	完形未滿	0.38 +	13.6	11.6	6.0 +	-	腹面9/10欠損	
SI75	6層南⑥	13	239	半分	0.56 +	13.2	15.6	6.9 +	-	背面	
SI75	6層南⑥	13	240	半分	0.35 +	12.7	15.1	5.2 +	-	背面	
SI75	6層南⑥	13	241	完形未滿	0.44 +	12.6	15.5	7.9 +	-	背面4/5欠損	
SI75	6層南⑥	13	242	半分	0.43 +	13.9	14.7	8.1 +	-	背面,頂部一部欠損	
SI75	6層南⑥	13	243	半分	0.45 +	15.2	15.5	6.6 +	-	背面,基部一部欠損	
SI75	6層南⑥	13	244	完形未滿	0.46 +	16.0	16.4	6.8 +	-	腹面9/10欠損	
SI75	6層南⑥	13	245	完形未滿	0.54 +	16.9	15.9	8.5 +	-	腹面4/5欠損,頂部~側面欠損	
SI75	6層南⑥	13	246	半分	0.33 +	10.2	12.0	6.0 +	-	背面	
SI75	6層南⑥	13	247	半分	0.23 +	10.8	12.0	6.7 +	-	背面	
SI75	6層南⑥	13	248	半分	0.47 +	14.9	13.6	6.5 +	-	背面	
SI75	6層南⑥	13	249	半分	0.25 +	12.5	12.0	6.4 +	-	背面,頂部~側面欠損	
SI75	6層南⑥	13	250	半分	0.22 +	11.4	12.0	5.9 +	-	背面,頂部~側面欠損	
SI75	6層南⑥	13	251	半分	0.31 +	12.2	12.0	4.7 +	-	背面	
SI75	6層南⑥	13	252	半分	0.25 +	10.5	11.2	5.4 +	-	背面	
SI75	6層南⑥	13	253	半分	0.45 +	9.7 *	17.8	8.7 +	-	背面,垂直方向に圧密を受けている	
SI75	6層南⑥	13	254	完形未滿	0.70 +	16.7	17.1	12.6 +	-	腹面4/5欠損	
SI75	6層南⑥	13	255	半分	0.23 +	11.4	11.3	4.6 +	-	背面	
SI75	6層南⑥	13	256	半分	食痕?	0.39 +	11.4	12.9	6.4 +	-	背面,楕円状欠損(食痕?)
SI75	6層南⑥	13	257	半分	0.33 +	9.6	13.0	6.8 +	-	背面	
SI75	6層南⑥	13	258	半分	0.20 +	11.6	11.4	5.3 +	-	背面	
SI75	6層南⑥	13	259	半分	0.28 +	10.8	13.3	5.5 +	-	背面,側面僅かに欠損	
SI75	6層南⑥	13	260	完形未滿	0.40 +	14.8	15.0	6.1 +	-	背面4/5欠損,頂部一部欠損	
SI75	6層南⑥	13	261	半分	0.51 +	17.1	16.4	4.6 +	-	腹面,頂部僅かに欠損	
SI75	6層南⑥	13	262	半分	0.17 +	11.6	11.6	3.5 +	-	腹面	
SI75	6層南⑥	13	263	半分	0.29 +	13.2	14.0	4.7 +	-	腹面	
SI75	6層南⑥	13	264	半分	食痕?	0.28 +	11.6	14.2	6.0 +	-	腹面,頂部僅かに欠損,基部楕円状欠損(食痕?)
SI75	6層南⑥	13	265	半分	0.17 +	10.7	11.6	3.7 +	-	腹面,頂部僅かに欠損	
SI75	6層南⑥	13	266	完形未滿	0.20 +	12.4	12.2	4.3 +	-	背面9/10欠損,頂部~側面欠損	
SI75	6層南⑥	13	267	完形未滿	食痕?	0.32 +	14.4	13.2	4.9 +	-	腹面4/5欠損,背面基部楕円状欠損(食痕?)
SI75	6層南⑥	13	268	完形未滿	0.50 +	14.4	15.8	6.8 +	-	背面4/5欠損,頂部~側面欠損	
SI75	6層南⑥	13	269	完形未滿	0.38 +	13.6	14.7	5.2 +	-	背面4/5欠損,頂部~側面欠損	
SI75	6層南⑥	13	270	半分	0.40 +	13.6	13.0	6.6 +	-	背面4/5欠損,頂部僅かに欠損	
SI75	6層南⑥	13	271	半分	0.22 +	10.4	13.2	3.5 +	-	腹面	
SI75	6層南⑥	13	272	半分	0.42 +	13.0	15.8	4.9 +	-	腹面,頂部僅かに欠損	
SI75	6層南⑥	13	273	半分	食痕?	0.29 +	12.1	14.9	5.1 +	-	腹面,頂部僅かに欠損,腹面1/2欠損(食痕?)
SI75	6層南⑥	13	274	半分	0.29 +	13.7	10.8	3.7 +	-	腹面	
SI75	6層南⑥	13	275	完形未滿	0.34 +	13.2	14.1	5.7 +	-	背面4/5欠損,頂部~側面欠損	
SI75	6層南⑥	13	276	半分	0.19 +	10.2	10.2	4.6 +	-	腹面	
SI75	6層南⑥	13	277	完形未滿	0.29 +	13.2	14.5	5.8 +	-	背面4/5欠損,頂部~側面欠損	
SI75	6層南⑥	13	278	完形未滿	0.20 +	13.6	13.1	3.1 +	-	背面9/10欠損,頂部~側面欠損	
SI75	6層南⑥	13	279	半分	0.47 +	15.9	15.1	9.6 +	-	背面	
SI75	6層南⑥	13	280	完形未滿	食痕?	0.60 +	13.6	15.5	12.1 +	-	腹面4/5蛇行欠損(食痕?)
SI75	6層南⑥	13	281	完形未滿	0.31 +	15.3	16.1	4.8 +	-	背面9/10欠損,側面僅かに欠損	
SI75	6層南⑥	13	282	完形未滿	0.33 +	13.9	14.0	4.4 +	-	背面4/5欠損,頂部一部欠損	
SI75	6層南⑥	13	283	半分	食痕?	0.37 +	11.7	17.6	4.2 +	-	腹面,基部楕円状欠損(食痕?)
SI75	6層南⑥	13	284	半分	0.38 +	12.9	16.2	4.9 +	-	腹面,頂部僅かに欠損	
SI75	6層南⑥	13	285	半分	0.33 +	13.3	14.5	5.7 +	-	腹面,頂部僅かに欠損	
SI75	6層南⑥	13	286	完形未滿	0.57 +	13.8	16.7	5.9 +	-	背面4/5欠損	
SI75	6層南⑥	13	287	半分	0.39 +	16.4	16.2	4.6 +	-	腹面,頂部~側面欠損	
SI75	6層南⑥	13	288	完形未滿	0.35 +	12.1	14.1	5.8 +	-	背面9/10欠損	
SI75	6層南⑥	13	289	半分	0.43 +	16.0	17.9	4.1 +	-	腹面,頂部僅かに欠損	
SI75	6層南⑥	13	290	半分	0.47 +	16.3	16.1	5.2 +	-	腹面,頂部僅かに欠損	
SI75	6層南⑥	13	291	完形未滿	0.16 +	12.4	11.8	3.7 +	-	背面9/10欠損	
SI75	6層南⑥	13	292	完形未滿	0.66 +	15.0	17.0	8.3 +	-	背面4/5欠損	
SI75	6層南⑥	13	293	完形未滿	0.51 +	14.3	17.7	5.7 +	-	背面9/10欠損	
SI75	6層南⑥	13	294	半分	0.44 +	13.7	18.0	4.4 +	-	腹面,頂部~側面欠損	
SI75	6層南⑥	13	295	半分	食痕?	0.27 +	12.1	12.9	4.8 +	-	背面4/5欠損,基部楕円状欠損(食痕?)
SI75	6層南⑥	13	296	半分	0.23 +	12.6	12.3	5.6 +	-	背面	
SI75	6層南⑥	13	297	半分	食痕?	0.74 +	17.2	20.5	6.6 +	-	背面9/10欠損,腹面楕円状欠損(食痕?)
SI75	6層南⑥	13	298	半分	0.82 +	17.7	20.4	7.3 +	-	背面4/5欠損,頂部~側面欠損	
SI75	6層南⑥	13	299	半分	0.52 +	13.8	16.5	6.4 +	-	背面9/10欠損	
SI75	6層南⑥	13	300	半分	0.27 +	9.3	13.3	5.4 +	-	腹面	
SI75	6層南⑥	13	301	半分	果皮残存	0.72 +	21.1	19.5	5.9 +	-	腹面,側面僅かに欠損
SI75	6層南⑥	14	1	完形	果皮残存	1.21	18.1	18.4	9.7	8	3/4果皮残存
SI75	6層南⑥	14	2	完形未滿	0.69 +	13.1	14.6	8.0	-	-	腹面~基部欠損
SI75	6層南⑥	14	3	完形未滿	食痕?	0.45 +	11.6	14.5	7.9	-	側面楕円状欠損(食痕?)
SI75	6層南⑥	14	4	完形未滿	食痕?	0.22 +	10.1	10.6	5.6	-	側面欠損,基部楕円状欠損(食痕?)
SI75	6層南⑥	14	5	完形未滿	0.33 +	12.9	12.9	8.1 +	-	-	背面3/4欠損
SI75	6層南⑥	14	6	完形未滿	果皮残存	0.22 +	10.1	10.6	7.4 +	-	背面腹面果皮残存,頂部~背面欠損
SI75	6層南⑥	14	7	完形未滿	0.44 +	12.5	13.0	8.4 +	-	-	側面一部欠損
SI75	6層南⑥	14	8	完形未滿	0.30 +	12.4	12.0	6.8 +	-	-	腹面4/5欠損
SI75	6層南⑥	14	9	半分	0.20 +	11.3	11.3	4.2 +	-	-	背面
SI75	6層南⑥	14	10	半分	0.39 +	12.1	13.4	6.3 +	-	-	背面
SI75	6層南⑥	14	11	半分	0.23 +	12.6	11.9	4.4 +	-	-	背面
SI75	6層南⑥	14	12	半分	0.38 +	19.2	15.4	4.0 +	-	-	腹面
SI75	6層南⑥	14	13	完形未滿	0.33 +	12.5	13.6	6.2 +	-	-	背面4/5欠損
SI75	6層南⑥	14	14	完形未滿	0.37 +	13.8	15.0	4.8 +	-	-	背面4/5欠損
SI75	6層南⑥	14	15	完形未滿	0.46 +	15.9	14.7	6.2 +	-	-	背面9/10欠損
SI75	6層南⑥	14	16	半分	0.31 +	13.5	13.5	4.6 +	-	-	腹面
SI75	6層南⑥	14	17	半分	0.17 +	10.5	11.8	3.9 +	-	-	腹面
SI75	6層南⑥	15	1	完形未滿	果皮残存	1.71 +	24.1	24.1	11.9	1	4/5果皮残存,頂部~側面欠損
SI75	6層南⑥	15	2	完形	1.35	18.9	20.8	7.9	-	-	-
SI75	6層南⑥	15	3	完形	1.13	19.5	17.9	8.3	-	-	頂部僅かに欠損
SI75	6層南⑥	15	4	完形	1.07	16.0	19.4	8.8	-	-	-
SI75	6層南⑥	15	5	完形	1.08	18.1	17.9	10.1	-	-	-
SI75	6層南⑥	15	6	完形	1.29	16.6	19.4	10.6	-	-	-
SI75	6層南⑥	15	7	完形	1.09	15.0	19.9	11.0	-	-	-
SI75	6層南⑥	15	8	完形	0.95	17.6	17.5	8.8	-	-	-
SI75	6層南⑥	15	9	完形	0.94	15.6	16.9	8.6	-	-	-
SI75	6層南⑥	15	10	完形	0.71	16.3	16.7	8.1	-	-	-

表3 クリ炭化子葉の計測値 (13)

出土地点	層位	袋No.	計測No.	状態	重量(g)	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	図版番号	備考
SI75	6層南⑥	15	11	完形	0.67	14.3	15.3	7.8	-	
SI75	6層南⑥	15	12	完形	0.48	13.0	14.9	6.7	-	
SI75	6層南⑥	15	13	完形	0.76	13.9	15.1	7.3	-	
SI75	6層南⑥	15	14	完形	0.53	12.1	13.9	6.7	-	腹面基部橋円状欠損(食痕?)
SI75	6層南⑥	15	15	完形	0.27	10.2	10.1	5.8	-	
SI75	6層南⑥	15	16	完形未満	0.90 +	14.7	19.9	8.9 +	-	背面果皮残存,背面1/3欠損
SI75	6層南⑥	15	17	完形未満	2.07 +	18.6	22.0	12.7	-	頂部欠損
SI75	6層南⑥	15	18	完形未満	1.39 +	16.4	19.6	11.7	-	頂部欠損
SI75	6層南⑥	15	19	完形未満	0.79 +	13.8	15.3	8.4	-	基部橋円状欠損(欠損?)
SI75	6層南⑥	15	20	完形未満	0.96 +	17.0	18.1	10.3	-	腹面稜状,側面一部欠損
SI75	6層南⑥	15	21	完形未満	0.83 +	14.2	16.7	10.0	-	頂部欠損,背面橋円状欠損(食痕?)
SI75	6層南⑥	15	22	完形未満	0.48 +	14.5	14.2	8.0	-	背面1/3欠損
SI75	6層南⑥	15	23	完形未満	0.43 +	12.3	12.1	8.3 +	-	背面2/3欠損,砂泥付着
SI75	6層南⑥	15	24	完形未満	0.46 +	12.4	13.4	8.1	-	頂部~側面欠損
SI75	6層南⑥	15	25	完形未満	0.39 +	11.5	14.4	7.8 +	-	背面2/3欠損
SI75	6層南⑥	15	26	完形未満	0.59 +	14.6	18.9	9.0 +	-	背面4/5欠損
SI75	6層南⑥	15	27	完形未満	0.75 +	16.9	15.8	9.3	-	腹面1/3欠損
SI75	6層南⑥	15	28	半分	0.50 +	13.5	14.3	7.0 +	-	背面
SI75	6層南⑥	15	29	半分	0.49 +	16.3	19.5	6.0 +	-	腹面,側面一部欠損
SI75	6層南⑥	15	30	半分	0.23 +	10.7	10.5	6.1 +	-	背面
SI75	6層南⑥	15	31	半分	0.15 +	10.8	9.1 +	3.7 +	-	背面,側面窪む
SI75	6層南⑥	15	32	半分	0.64 +	14.7	17.9	5.2 +	-	腹面
SI75	6層南⑥	15	33	半分	0.43 +	13.9	16.3	5.0 +	-	腹面,頂部一部欠損
SI75	6層南⑥	15	34	半分	0.20 +	11.9	13.1	3.3 +	-	腹面
SI75	6層南⑥	15	35	完形未満	0.63 +	12.3	16.9	9.0 +	-	腹面9/10欠損
SI75	6層南⑥	15	36	完形未満	0.59 +	12.0	15.8	11.3 +	-	背面2/3欠損
SI75-PP6	北半埋土2層	16	1	完形未満	0.54 +	13.9	15.5	7.1	-	背面1/2欠損
SI75-PP6	北半埋土2層	16	2	完形未満	0.45 +	20.0	15.5	6.4	-	腹面1/3欠損,背面3/4欠損
SI75-PP6	北半埋土2層	16	3	半分	0.56 +	14.4	19.0	7.4 +	-	背面,一部欠損
SI75-PP6	北半埋土2層	16	4	完形未満	0.62 +	13.8	19.9	6.2 +	-	背面4/5欠損
SI75-PP6	北半埋土2層	16	5	完形未満	0.24 +	15.1	13.9	3.0 +	-	背面4/5欠損
SI75-PP6	北半埋土2層	16	6	完形未満	0.28 +	16.5	14.5	3.5 +	-	背面4/5欠損
SI75-PP6	北半埋土2層	16	7	半分	0.25 +	14.3	12.8	3.3 +	-	腹面
SI75-PP6	北半埋土2層	16	8	完形	0.94	14.9	14.1	11.1	-	基部僅かに欠損
SI75	北西埋土下位床土	17	1	完形未満	1.13 +	16.3	19.7	10.9	-	背面橋円状欠損(食痕?)
SI75	北西埋土下位床土	17	2	完形未満	0.43 +	15.4	15.7	4.8 +	-	背面4/5欠損
SI75	北西埋土下位床土	17	3	完形未満	0.32 +	13.5	15.8	5.1 +	-	背面9/10欠損
SI75	北西埋土下位床土	17	4	半分	0.30 +	15.5	14.6	7.0 +	-	背面,状態不良
SI75	床上	18	1	完形未満	1.62 +	20.0	19.5	10.7	-	背面欠損
SI75	床上	18	2	完形未満	0.81 +	17.3	16.4	9.0	-	背面欠損
SI75	床上	18	3	半分	0.53 +	16.4	17.5	5.9 +	-	腹面
SI75	床上	18	4	半分	0.55 +	13.5	15.6	8.2 +	-	背面
SI75	床上	18	5	半分	0.50 +	12.9	15.5	8.1 +	-	背面
SI75	床上	18	6	半分	0.51 +	17.1	13.2	7.5 +	-	背面
SI75	床上	18	7	半分	0.55 +	16.7	16.3	8.4 +	-	背面
SI75	床上	18	8	完形	1.12	16.5	19.7	9.3	-	
SI75	床上	18	9	完形	0.42	12.6	12.9	6.9	-	
SI75	床上	18	10	完形	0.46	11.8	14.2	6.8	-	
SI75	床上	18	11	完形	0.43	10.7	12.8	7.1	-	
SI75	床上	18	12	完形	0.47	12.6	12.2	7.1	-	
SI75	床上	18	13	完形未満	0.47 +	13.6	15.0	8.9	-	背面果皮残存,側面1/3欠損
SI52	北西埋土5層	19	1	半分	0.29 +	18.6	11.6	4.6 +	-	腹面
SI52	北西埋土5層	19	2	半分	0.26 +	13.8	15.7	3.6 +	-	腹面
SI52	北西埋土5層	19	3	半分	0.26 +	10.5	11.0	5.0 +	-	背面
SI52	北西埋土5層	19	4	完形	0.55	14.1	15.0	7.2	-	背面果皮残存
SI52	北西埋土5層	19	5	完形	1.19	18.0	18.9	10.4	-	
SI52	北西埋土5層	19	6	完形	0.90	11.4	15.7	9.7	-	
SI52	北西埋土5層	19	7	完形	0.46	12.1	11.7	8.4	-	
SI52-PP4	南半埋土	20	1	半分	0.24 +	12.2	13.1	2.6 +	-	破片2個接合,腹面
SI52-PP4	南半埋土	20	2	半分	0.30 +	12.8	13.1	5.8 +	-	背面
SI52-PP4	南半埋土	20	3	完形未満	0.58 +	12.7	15.5	7.9	-	腹面~側面橋円状欠損(食痕?)
SI52	北西埋土5層	22	1	完形	2.07	20.4	23.2	13.5	-	2個を接合して計測
SI52	北西埋土5層	22	2	完形未満	1.56 +	17.5	22.1	13.1	-	2個を接合して計測,基部一部欠損
SI52	北西埋土5層	22	3	完形	1.56	17.3	18.9	12.5	-	4個を接合して計測
SI52	北西埋土5層	22	4	完形	1.32	16.8	19.7	9.0	-	
				標本数	450	1152	1150	681		
				平均	0.8	14.3	15.3	8.6		
				標準偏差	0.4	2.6	2.8	1.7		
				最小	0.2	8.8	7.7	4.2		
				最大	2.3	24.1	26.7	15.8		

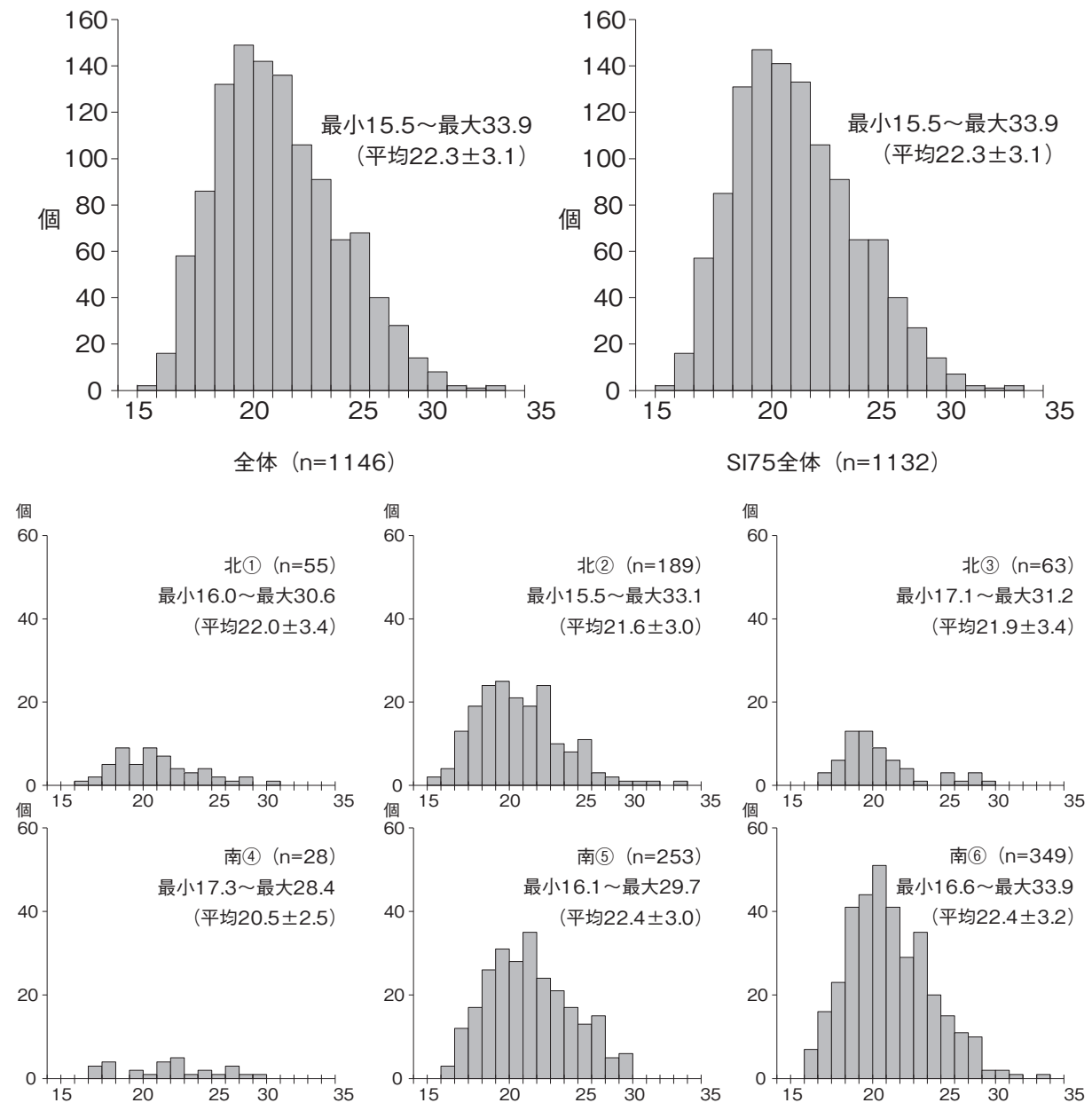
注) 計測はデジタルノギスを使用し、欠損は残存値に「+」、焼き膨れ等は計測値に「\*」で示す。

表4 クリの大きさ

出土地点	層位	袋No.	標本数 (n)	高さが完全な炭化子葉				炭化子葉から復元した果実の大きさ(*1)															
				高さ(mm)		幅(mm)		高さ(mm)		幅(mm)		大きさ指数(√(高さ×幅))											
				最小	最大	平均	標準偏差	最小	最大	平均	標準偏差	最小	最大	平均	標準偏差								
SI75	北東埋土下位床上	1	80	9.6	23.1	15.1	± 2.7	10.2	23.3	16.4	± 3.0	15.1	32.8	22.3	± 3.5	17.5	32.8	24.7	± 3.5	16.6	32.8	23.4	± 3.3
SI75	北西埋土下位床上	17	4	10.5	16.3	15.1	± 1.2	14.6	19.7	16.5	± 2.2	20.2	23.8	22.3	± 1.5	22.7	28.5	24.8	± 2.6	22.0	26.1	23.5	± 1.8
SI75	床上	18	13	10.7	20.0	14.7	± 2.7	12.2	19.7	15.4	± 2.4	16.6	28.7	21.8	± 3.6	19.8	28.5	23.6	± 2.8	18.5	28.5	22.7	± 3.0
SI75	6層	2	90	10.0	21.5	14.6	± 2.5	9.6	22.1	15.6	± 2.5	15.5	30.7	21.6	± 3.3	16.8	31.4	23.8	± 2.9	17.2	30.2	22.7	± 2.9
SI75	6層北①	3-4	55	9.5	19.9	14.1	± 2.8	10.0	24.1	15.1	± 3.1	14.9	28.6	20.9	± 3.4	17.3	33.7	23.2	± 3.6	16.0	30.6	22.0	± 3.4
SI75	6層北②	5~7	189	8.8	20.8	13.8	± 2.4	7.7	26.7	14.8	± 2.8	14.1	29.8	20.6	± 3.2	14.6	36.7	22.8	± 3.2	15.5	33.1	21.6	± 3.0
SI75	6層北③	8-9	63	9.5	21.5	13.9	± 2.8	10.3	23.8	15.1	± 2.9	15.0	30.7	20.8	± 3.7	17.6	33.3	23.2	± 3.4	17.1	31.2	21.9	± 3.4
SI75	6層南④	10-11	28	9.7	20.6	12.8	± 2.2	11.3	22.9	14.0	± 2.3	15.2	29.6	19.2	± 2.9	16.7	32.3	21.9	± 2.7	17.3	28.4	20.5	± 2.5
SI75	6層南⑤	12	253	9.4	21.3	14.5	± 2.5	9.7	23.6	15.3	± 2.8	14.8	30.4	21.5	± 3.3	16.9	33.1	23.5	± 3.2	16.1	29.7	22.4	± 3.0
SI75	6層南⑥	13~15	349	8.8	24.1	14.3	± 2.6	10.1	24.3	15.4	± 2.8	14.0	34.1	21.3	± 3.5	17.3	33.9	23.6	± 3.2	16.6	33.9	22.4	± 3.2
SI75-PP6	北半埋土2層	16	8	13.8	20.0	15.4	± 2.0	12.8	19.9	15.6	± 2.5	20.6	28.7	22.6	± 2.7	20.5	28.8	23.8	± 2.9	20.9	26.1	23.1	± 1.7
SI52	北西埋土5層	19-22	11	10.5	20.4	15.5	± 3.3	11.0	23.2	16.7	± 4.2	16.2	29.3	22.8	± 4.3	18.4	32.7	25.0	± 4.9	17.3	30.9	23.8	± 4.2
SI52-PP4	南半埋土	20	3	12.2	12.8	12.6	± 0.3	13.1	15.5	13.9	± 1.4	18.5	19.3	19.0	± 0.4	20.8	23.6	21.8	± 1.6	19.6	21.3	20.3	± 0.9
SI75全体		1~18	1132	8.8	24.1	14.3	± 2.6	7.7	26.7	15.3	± 2.8	14.0	34.1	21.2	± 3.4	14.6	36.7	23.5	± 3.3	15.5	33.9	22.3	± 3.1
SI52全体		19-20-22	14	10.5	20.4	14.9	± 3.1	11.0	23.2	16.1	± 3.9	16.2	29.3	22.0	± 4.1	18.4	32.7	24.3	± 4.6	17.3	30.9	23.1	± 4.0
試料全体		1~20-22	1146	8.8	24.1	14.3	± 2.6	7.7	26.7	15.3	± 2.8	14.0	34.1	21.2	± 3.4	14.6	36.7	23.5	± 3.3	15.5	33.9	22.3	± 3.1

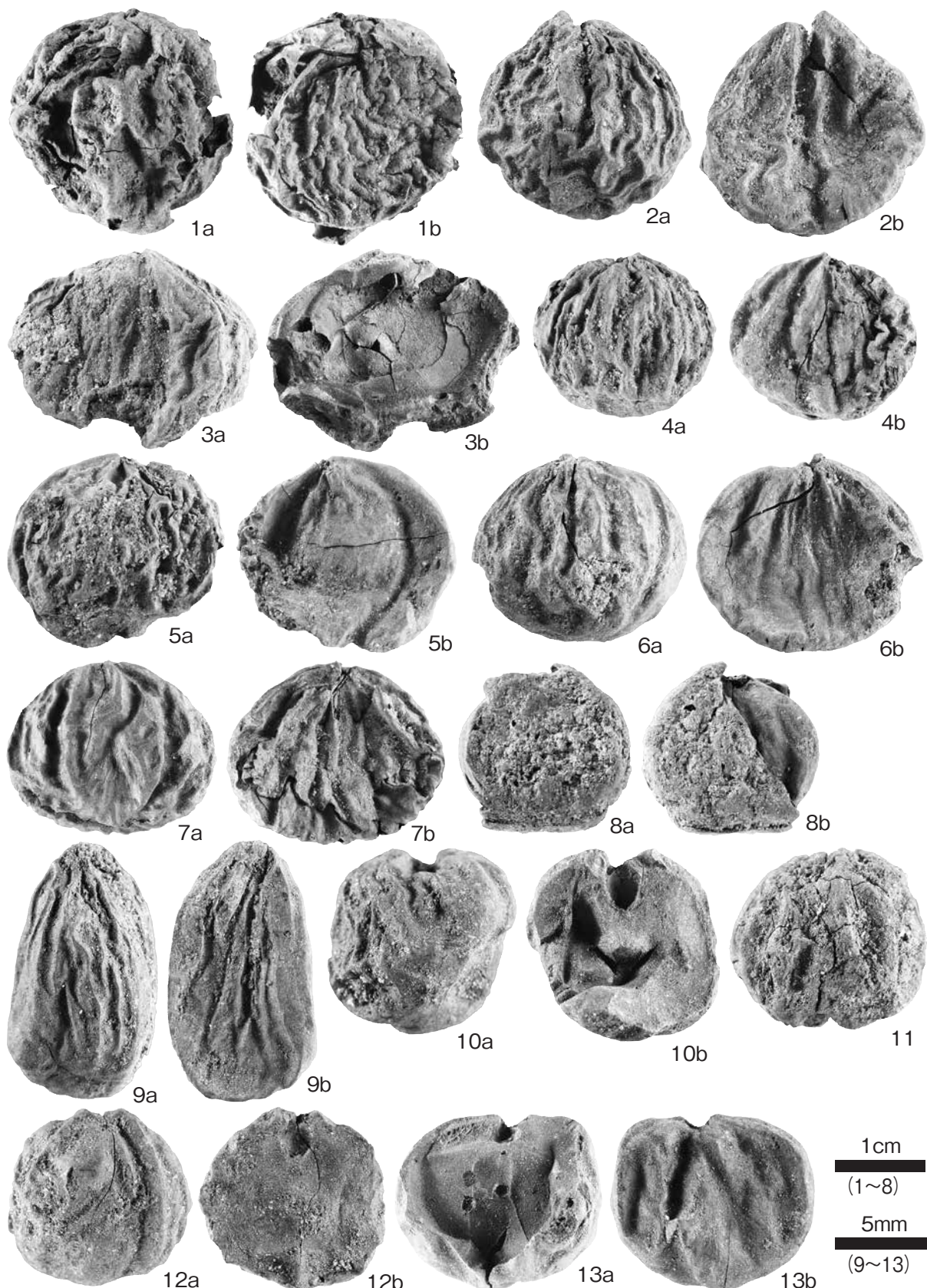
注) \* 1 : 吉川 (2011) の定義による。

図1 クリの大きさ SI75 (6層北①~③、南④~⑥)



クリの大きさ指数 (√(高さ×幅)) (吉川,2011をもとに作成)

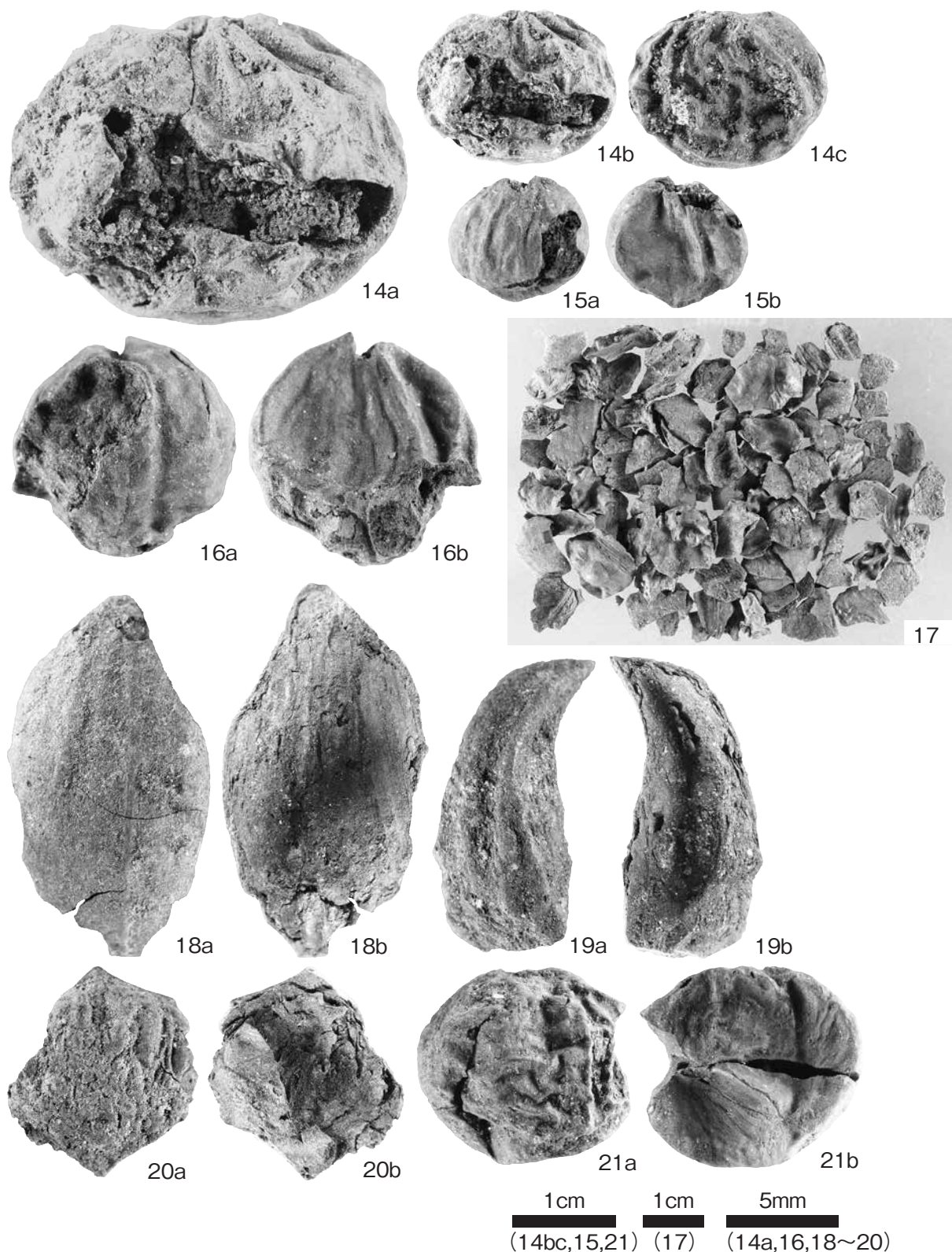
図版1 SI75出土炭化種実(1)



- |                                   |                            |                                    |
|-----------------------------------|----------------------------|------------------------------------|
| 1.クリ 果皮・子葉 (試料中最大) (No.15-1;6層南⑥) | 2.クリ 子葉 (No.1-21;北東埋土下位床上) | 3.クリ 子葉 (食痕?) (No.7-33;6層北②)       |
| 4.クリ 果皮・子葉 (No.12-2;6層南⑤)         | 5.クリ 果皮・子葉 (No.8-7;6層北③)   | 6.クリ 子葉 (食痕?) (No.13-106;6層南⑥)     |
| 7.クリ 果皮・子葉 (No.12-1;6層南⑤)         | 8.クリ 果皮・子葉 (No.14-1;6層南⑥)  | 9.クリ 果皮・子葉 (No.6-34;6層北②)          |
| 10.クリ 子葉 (No.12-180;6層南⑤)         | 11.クリ 子葉 (No.4-22;6層北①)    | 12.クリ 子葉 (半分,試料中最小) (No.7-53;6層北②) |
| 13.クリ 子葉 (No.6-39;6層北②)           |                            |                                    |



図版2 SI75出土炭化種実 (2)



- 14. クリ 子葉(食痕?) (No.13-133;6 層南⑥)
- 16. クリ 子葉(食痕?) (No.13-198;6 層南⑥)
- 18. クリ 果皮(No.12;6 層南⑤)
- 20. クリ 果皮(基部) (No.12;6 層南⑤)

- 15. クリ 子葉(食痕?) (No.13-211;6 層南⑥)
- 17. クリ 果皮(No.12;6 層南⑤)
- 19. クリ 果皮(稜) (No.12;6 層南⑤)
- 21. トチノキ 子葉(No.7;6 層北②)

## 6 炭化材の樹種分析 (1)

吉川純子 (古代の森研究舎)

## (1) はじめに

沢田Ⅲ遺跡は山田町の山田湾に向かって張り出す丘陵地から低地にかけて立地しており、縄文時代から古代にかけて住居跡が広がっている。本遺跡の古代においては竪穴住居跡の他に鉄生産関連遺構が複数確認されている。これらの鉄生産関連遺構の炉跡や炭窯跡から炭化材が出土していることから、当時の燃料材利用状況を調査するため炭化材10点の樹種同定をおこなった。同定試料は炉跡と推定されるSXW05・06、SXW09・17 (SXW17)、SXW16、SXW21、SXW22の5遺構の基礎構造に敷き詰められたものから各1点ずつ、炭窯跡と推定されるSW01、SW03、SW05、SW07、SW08の5遺構内に堆積していた炭化材から各1点ずつである。なお、炭窯跡は簡易な伏せ焼き構造であったと推測されている。炭化材は乾燥後、剃刀で横断面、放射断面、接線断面の3断面を割り取り、プレパラートに固定して反射光式顕微鏡で観察・同定を行った。

## (2) 同定結果と考察

表1に炭化材の樹種同定結果を示す。10試料すべてがクリと同定された。以下に同定された分類群の細胞構造学的記載をおこなう。

・クリ (*Castanea crenata* Sieb. et Zucc.) : 年輪のはじめに大きな道管が2-3列集合し、その後径が急減して火炎状に小管孔が配列する環孔材。道管の穿孔板は単一で放射組織は単列で同性である。

表1 沢田Ⅲ遺跡出土炭化材の樹種

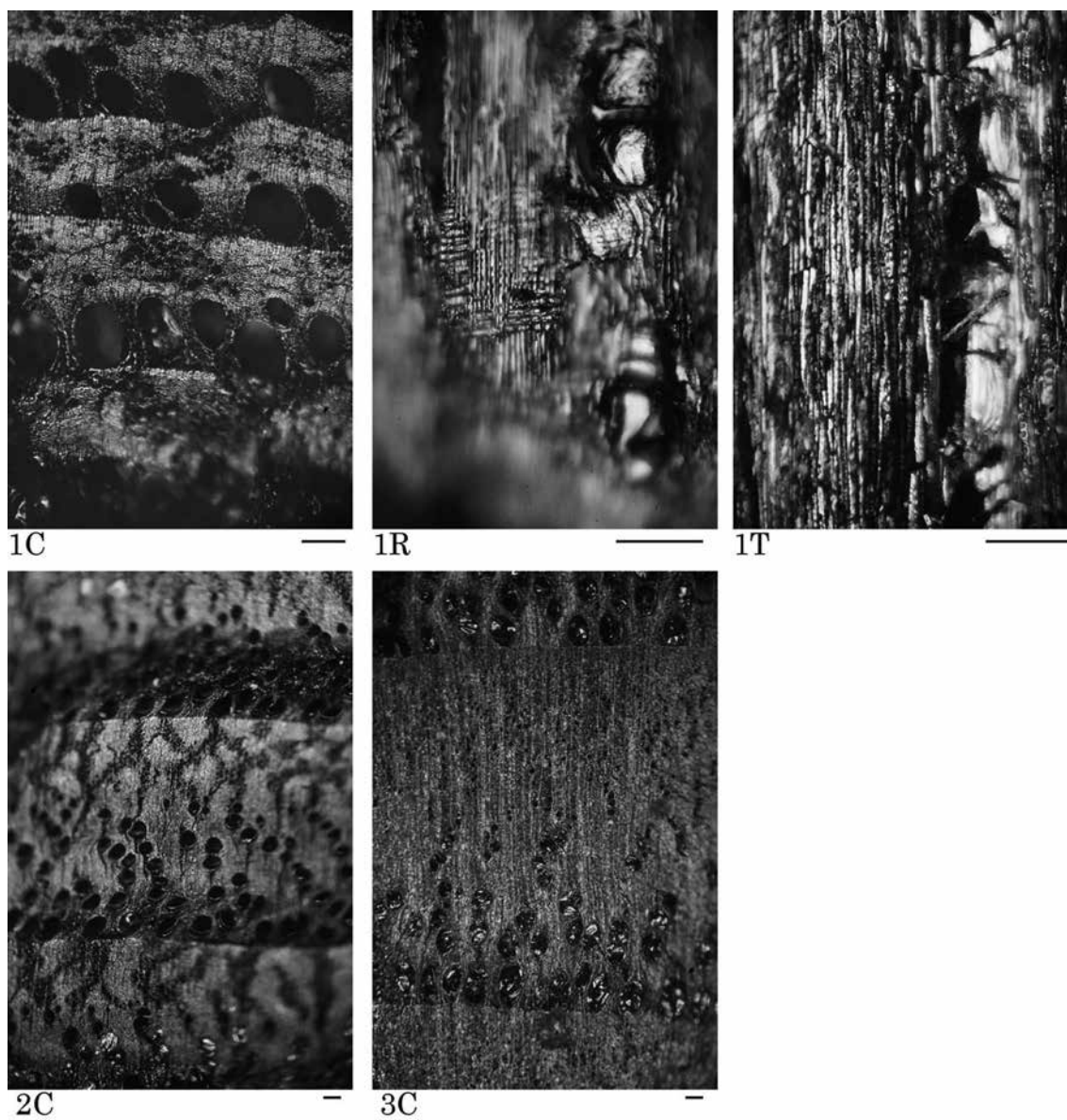
試料番号	遺構	層位	樹種	備考
1	SXW05・06	炉底部分	クリ	
2	SXW17	基礎構造	クリ	
3	SXW16	-	クリ	芯持ち細材
4	SXW21	下層 (基礎構造)	クリ	
5	SXW22	基礎構造内	クリ	
6	SW01	2次第2層	クリ	
7	SW03	2次第4~6層	クリ	
8	SW05	第3層	クリ	
9	SW07	第1~2層	クリ	
10	SW08	第1層	クリ	

本遺跡で炭化材が出土した遺構は製鉄関連の炉跡および炭窯跡で、いずれからもクリが出土した。燃料材調達の利便性から周囲の林分を伐採して製鉄用の炭を作っていたとすると、周囲にある程度の規模のクリ林が広がっており製鉄用適材としてクリを選別して利用していたと考えられる。クリは燃焼時に火跳ねが激しく住居用燃料には向いていないとされるが、有酸素状態で高火力が得られることからマツとともに鍛冶燃料材に適するとされている (窪田, 1987)。今回の調査ではクリ以外の樹種は確認されなかったが、同定した試料はいずれもそれほど大径木ではなくかなり細い芯持ち材も利用していることから、伐採したクリを枝材も含め余すことなく利用していたと考えられる。

## 引用文献

窪田蔵郎. 1987. 鉄の考古学 (改訂). 雄山閣. 308p.

図版1 沢田Ⅲ遺跡から出土した炭化材の顕微鏡写真



1-3. クリ (1. No.2 S X W17基礎構造, 2. No.6 S W01-2次第2層, 3. No.7 S W03-2次第4~6層)  
C: 横断面, R: 放射断面, T: 接線断面, スケールは0.05mm

## 6 炭化材の樹種分析 (2)

吉川純子 (古代の森研究舎)

## (1) はじめに

沢田Ⅲ遺跡は山田町の山田湾に向かって張り出す丘陵地から低地にかけて立地しており、縄文時代から古代にかけて住居跡が広がっている。本遺跡では縄文時代中期後半の焼失跡とみられる竪穴住居跡から複数の炭化材が確認された。また古代においては竪穴住居跡の床面及び鉄生産関連と考えられる竪穴状遺構の床上から炭化材が確認された。そこでそれぞれの時期の住居構築材や燃料材といった木材の利用状況を調査するため炭化材10点の樹種同定をおこなった。炭化材は乾燥後、剃刀で横断面、放射断面、接線断面の3断面を割り取り、プレパラートに固定して反射光式顕微鏡で観察・同定を行った。

## (2) 同定結果と考察

表1に炭化材の樹種同定結果を示す。10試料すべてがクリと同定された。以下に同定された分類群の細胞構造学的記載をおこなう。

・クリ (*Castanea crenata* Sieb. et Zucc.) : 年輪のはじめに大きな道管が2-3列集合し、その後径が急減して火炎状に小管孔が配列する環孔材。道管の穿孔板は単一で放射組織は単列で同性である。

表1 沢田Ⅲ遺跡出土炭化材の樹種

試料番号	遺構	時期	層位	整理No.	樹種	備考
1	SI35	縄文中期後半	ベルトA-A'埋土5b層	12	クリ	
2	SI52	古代	3層炭化材No.5	20	クリ	
3	SI103	縄文中期後半	炭化材1	27	クリ	小破片
4	SI103	縄文中期後半	炭化材2	28	クリ	小破片
5	SI103	縄文中期後半	炭化材4	29	クリ	芯持ちねじれ
6	SI103	縄文中期後半	炭化材9	32	クリ	
7	SI103	縄文中期後半	炭化材14	33	クリ	
8	SI103	縄文中期後半	炭化材16	35	クリ	
9	SI103	縄文中期後半	炭化材17	36	クリ	
10	SXI05	古代	ベルトB-B'埋土2層	56	クリ	

本遺跡の縄文時代中期後半の焼失住居跡から出土した住居構築材とみられる炭化材はいずれもクリで、建築材としてクリを優先的に利用している可能性が高い。ただしこのうち炭化材4は芯を中心にした小片で周囲がねじれていることから節の部分か枝の基部と考えられる。東北地方の縄文時代における柱材は青森・秋田・福島で集約されたデータがあり、「クリが87% (62点) であり、際立っている。」(伊東ほか, 2012) とされ、本結果から岩手県沿岸部の縄文時代中期においてもクリの優先利用の傾向が高いことが確認された。

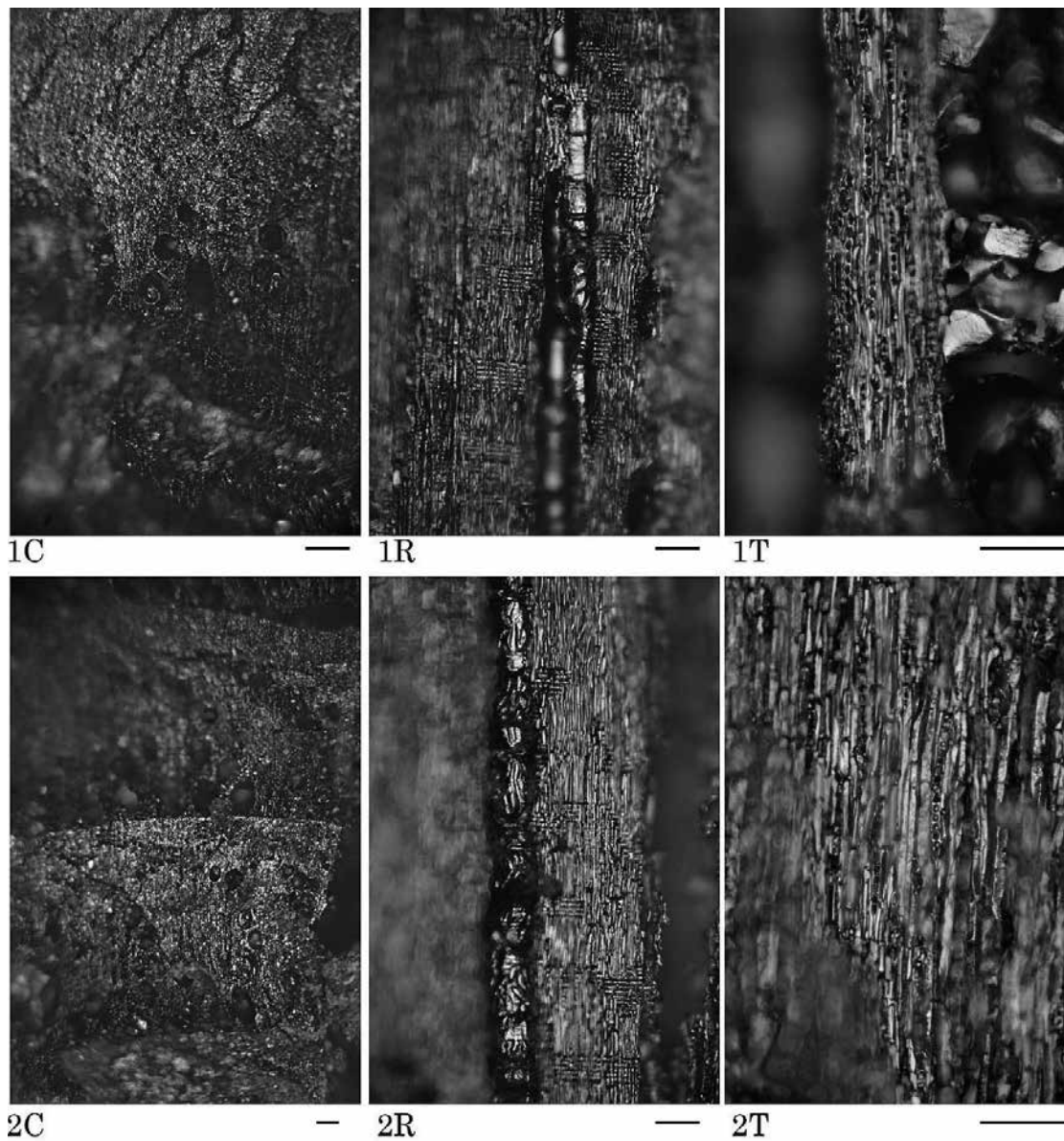
また、古代の竪穴住居床面と製鉄関連の工房跡のいずれからもクリが出土した。沢田Ⅲ遺跡では2014年の調査においても古代の製鉄関連遺構からクリが出土しており、周囲にある程度の規模のクリ林が広がっており製鉄用適材としてクリを頻繁に利用していたと考えられる。クリは有酸素状態で高火力が得られることからマツとともに鍛冶燃料材に適するとされている(窪田, 1987)。今回の調査においてもクリ以外の樹種は確認されず、本遺跡の位置する地域では縄文時代と古代においてクリを優先的に利用していたと考えられる。

引用文献

伊東隆夫・山田昌久, 2012. 木の考古学. 海青社. 449p.

窪田蔵郎, 1987. 鉄の考古学 (改訂). 雄山閣. 308p.

図版1 沢田Ⅲ遺跡から出土した炭化材の顕微鏡写真



1-2. クリ (1. No.1 S I 35, 2. No.10 S X 105)

C: 横断面, R: 放射断面, T: 接線断面, スケールは0.05mm

## 7 琥珀の分析

(財)元興寺文化財研究所

### (1) はじめに

琥珀と思われる資料は古代の竪穴住居跡から出土し、形状から原石であったと思われる。総重量は4.56gで現状は写真1に示したような多くの破片が確認された。資料の表面は比較的状态の良い所と白色に粉状化した部分の確認されたが内部は比較的透明度も高く劣化の進行は少ないことが観察された。この遺物が琥珀かどうかの確認をフーリエ変換赤外分光により行った。琥珀であることがわかれば琥珀の主な産出地から採取した地質学的標準資料（標準琥珀）の分析結果と比較することによって産地推定を行うことが可能となる。また、資料を加熱することにより得られる重量や熱量の変化を標準琥珀と比較することにより産地推定を行う熱分析も同時に実施した。今回、フーリエ変換赤外分光と熱分析によりこれらの資料の科学分析を行い、産地推定を試みたのでその結果を報告する。

### (2) 分析資料

今回の分析に使用した資料を写真1に示した。多くの破片の中から出来るだけ健全な部分を選び分析試料とした。

同時に標準資料として、久慈市、いわき市、銚子市から産出した資料を同様の方法・条件で分析し比較した。

写真1 分析資料



### (3) 分析方法および条件

分析装置は全反射フーリエ変換赤外分光（以下ATR-FTIR）光度計（SENSIR TECHNOLOGIES 製 TravelIR）と熱分析装置（以下TG・DTA）（株島津製作所製 DTG-60）を使用した。

ATR-FTIRでは、試料に赤外線を照射することにより得られる分子の構造に応じた固有の周波数の吸収を解析し、化合物の種類を同定することができる。主に有機物の構造を解析する手段として用いられることが多く、琥珀を形成する樹脂の種類すなわち植物の種類および生成年代に由来する高分子化の度合いによって分子構造が異なると考えられる。そのため、産地によってスペクトルに差が生じ、それを利用して産地推定に応用されてきた<sup>1) 2) 3)</sup>。

熱分析は試料に熱を加え、得られる質量変化から気化温度、また熱分解などの化学変化を知ることができる熱重量測定（TG）と、試料の融解などの状態の変化や化学反応の温度を知ることができる示差熱分析（DTA）があり、これらから試料の熱に対する挙動を調べることができる。

測定はATR-FTIRは極微量（約0.1mg）の試料をそのまま測定部に置き検出器にTGSを用い、分解能 $4\text{ cm}^{-1}$ で測定した。また、TG・DTAは試料のごく一部（約1mg）をサンプリングシアルミニウムセルに入れ、200ml/分の流量の窒素ガスを流しながら $10^\circ\text{C}/\text{分}$ で昇温させ、その時の重量変化と熱量変化を測定した。

図1 沢田Ⅲ遺跡出土資料の赤外吸収スペクトル

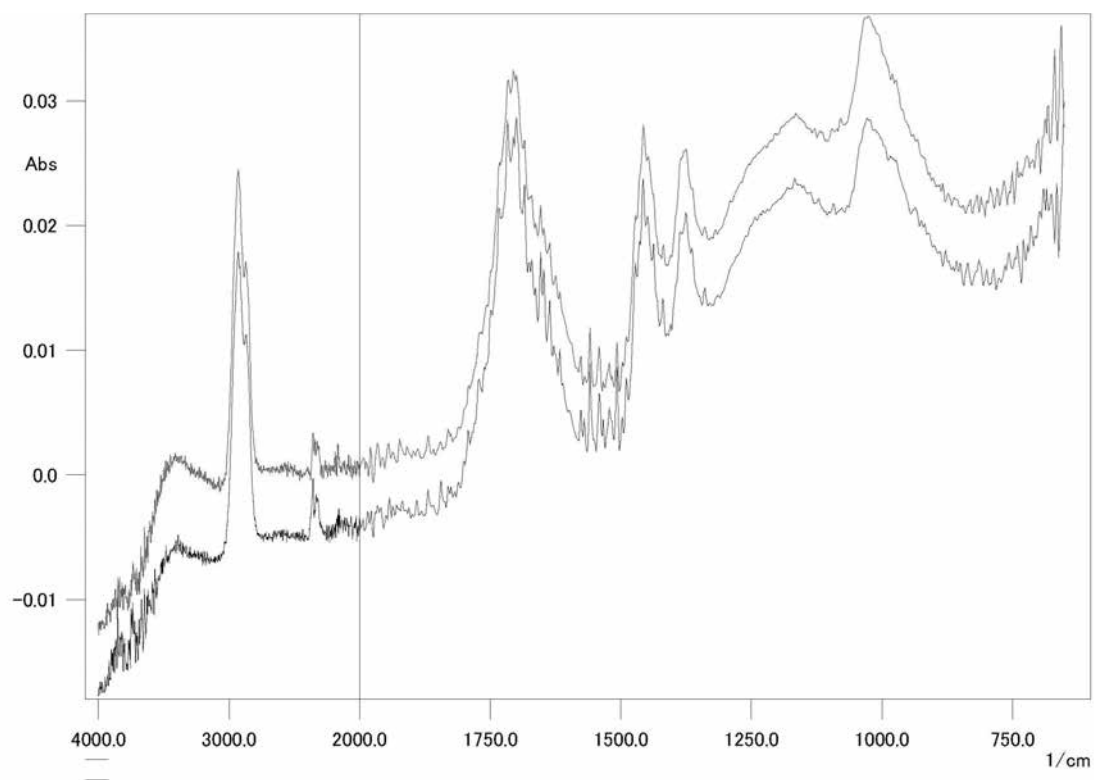


図2-1 久慈市産琥珀の赤外吸収スペクトル

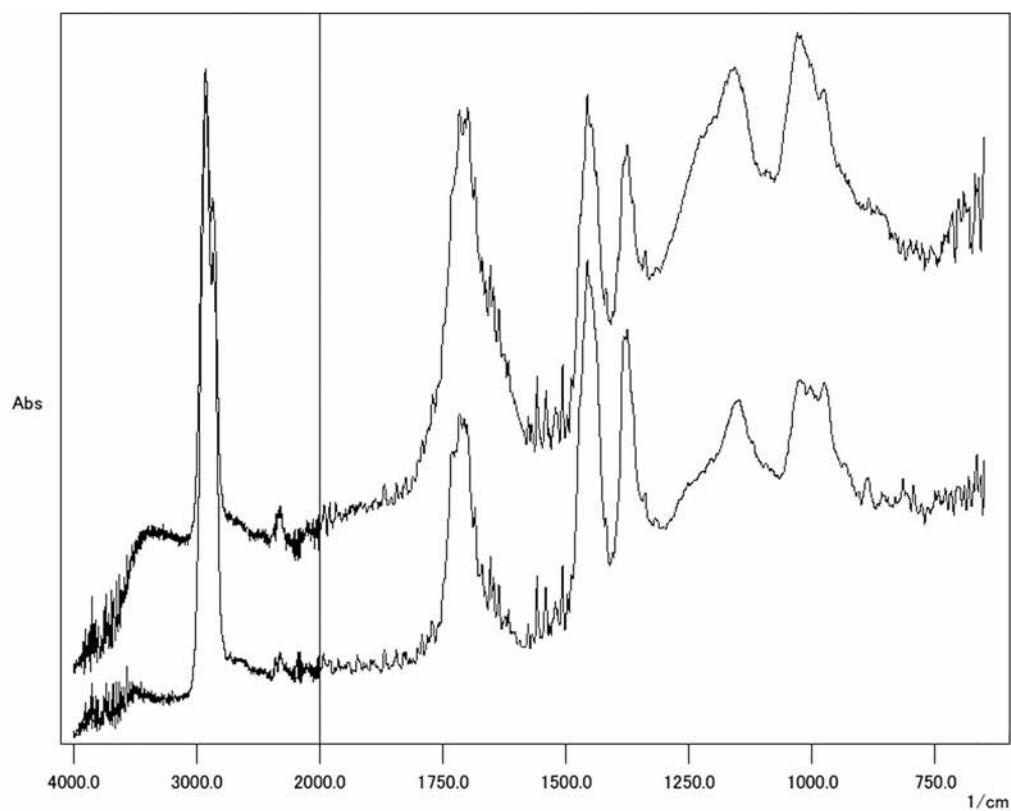


図2-2 いわき市産琥珀の赤外吸収スペクトル

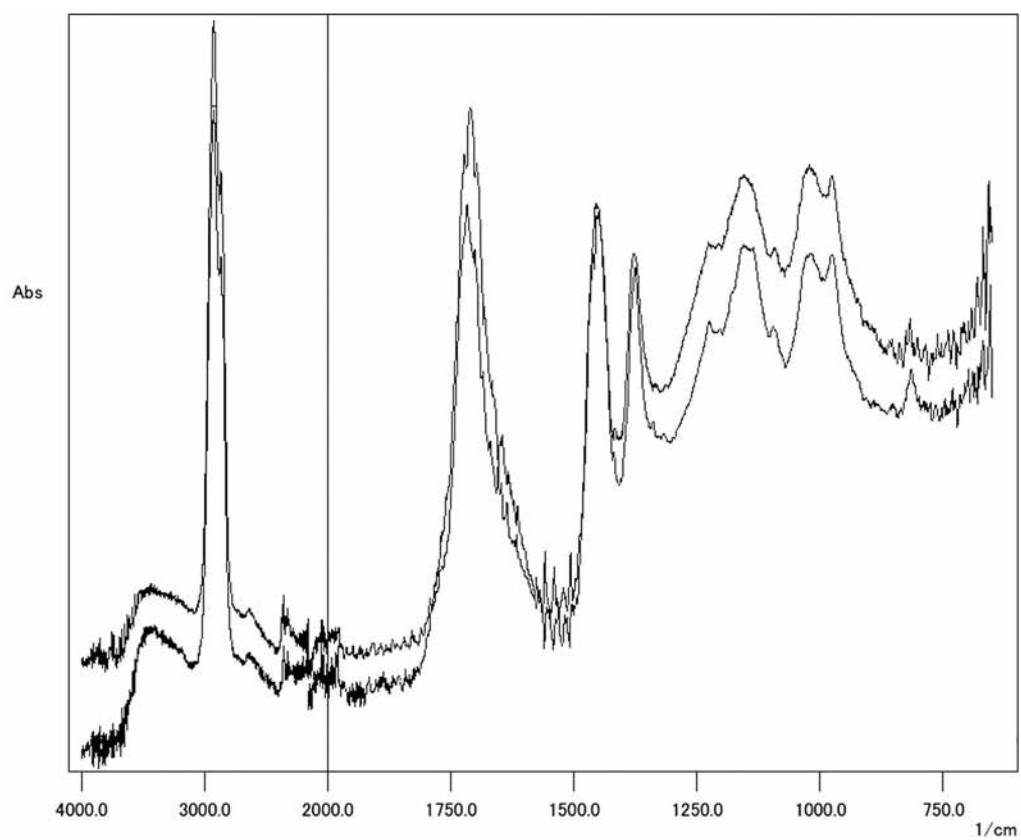
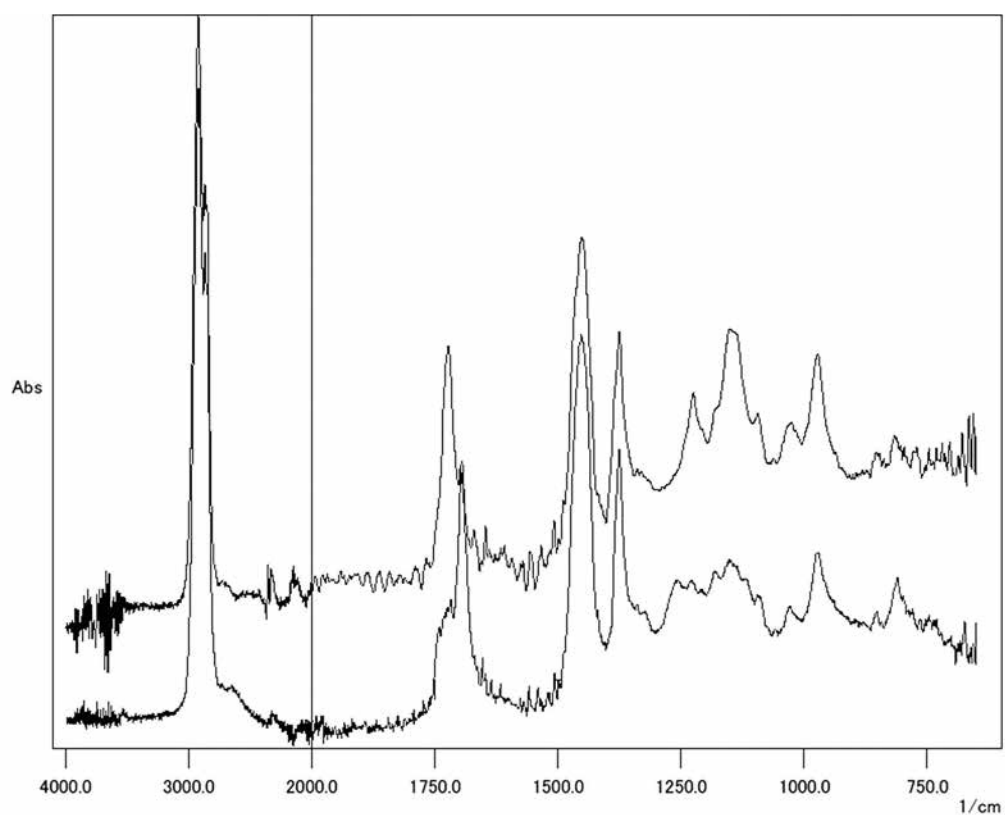


図2-3 銚子市産琥珀の赤外吸収スペクトル





#### (4) 結果および考察

ATR-FTIRとTG・DTAは有機化合物の分子構造を反映するため、劣化によりその構造が変化すると、本来のスペクトルや挙動とは異なる結果となる場合もある。特に劣化が激しいと、ATR-FTIRでは全体的に吸収はブロードとなり特徴的な吸収が消失し、新たに異なった位置にピークが表れることがある。そのため琥珀であるかどうかの判断および産地推定は、できるだけ健全な部分を選んで分析を行うことが必要であり、今回も破片の中からできるだけ健全な部分を採取して分析を実施した。

その結果、2回の測定結果はほぼ同じ吸収スペクトルを示し、 $3,500 \sim 2,800\text{cm}^{-1}$ 、 $1,500 \sim 800\text{cm}^{-1}$ 付近の吸収位置や強度より琥珀であることが確認できた(図1)。さらに $3,500\text{cm}^{-1}$ および $1,710\text{cm}^{-1}$ 付近の吸収強度から劣化の程度は比較的lowく、健全な状態に近いことも確認できた。次に指紋領域と呼ばれる有機化合物を同定する際の目安となる $1,300 \sim 750\text{cm}^{-1}$ 付近のスペクトルの吸収位置および強度と、産地の判明している標準琥珀から得られたスペクトルと比較し、産地推定を試みた(図1、図2-1~2-3)。国内の主産地である久慈市、いわき市、銚子市のスペクトルと比較した結果、今回の試料は $1,250 \sim 850\text{cm}^{-1}$ 付近の吸収位置と強度が久慈市といわき市に非常に近いスペクトルであることがわかった。

次に熱分析の結果ではTGは低温度から減少が始まり、徐々に減少するといった結果となった(図3)。低温度での現象は標準資料に比べると低い温度で重量減少が見られたが、完全に分解・消失する温度は久慈市、いわき市、銚子市産( $470 \sim 480^\circ\text{C}$ )と近い結果となった(図4-1)。このことから出土資料は一部に劣化の影響が見られ、それに伴って生成した成分が低温度側で分解が始まったと考えられる。一方、DTAは高温度での曲線の変化と $410^\circ\text{C}$ と $430^\circ\text{C}$ 付近に分解によると考えられる2つのピークを持つ曲線となり、これは久慈市、いわき市産琥珀とよく似た曲線であり、ピーク値もほぼ同じであることがわかった(図4-2)。

以上のことより分析が実施されていない産地および現在では消滅し確認できない産地の可能性は否定できないが、現時点ではATR-FTIRおよびTG・DTAの結果とも久慈市およびいわき市の可能性が高い結果となった。なお、久慈市といわき市産の琥珀はその生成年代および由来する植物が同じであることがわかっており、有機物を分析する方法では区別がつかない。しかし、今回の出土地の地理的および時代的な要素を考慮すると久慈市である可能性が高いと考える。自然科学的な分析では両者を区別することはできないが、考古学的な観点からの考察を加味することで、今回の分析資料は久慈市産である可能性は高いと思われた。

#### (5) さ い ご に

出土琥珀は劣化状態が様々でそれによってATR-FTIRおよびTG・DTAの結果が変わることが多い。しかし、今回は劣化の進行は幾分進行しているものの、その影響をほとんど受けていなかったため、久慈市およびいわき市であることが確認でき、かなり信頼性の高い結果を導くことができた。

琥珀の産地は国内でも、少量の産出地も含めると10ヶ所以上もある。また国外でも各地で産出する。その中で、主産地の標準琥珀については様々な分析方法による多くの基礎データが揃っており、比較検討できる環境は整ってきている。一方、少量産地は科学分析がほとんど行われていないことも多く、今回の資料もそういった地域やまだ発見されていない琥珀産地、あるいはすでに消滅した産地である可能性は否定できない。今後、分析が実施されていない産地の琥珀についても今回のように分析を行い、基礎データを収集することでより精度の高い産地推定が可能になると考える。

参考文献

- 1) 室賀照子、赤外吸収スペクトルによる琥珀の産地分析、考古学と自然科学、第9号、59、(1976)
- 2) 植田直見、銚子産琥珀の赤外分光分析、こはく、第4号、15 (2002)
- 3) 植田直見、いわき地方産琥珀の科学分析、こはく、第5号、13 (2004)

(文責：植田直見)

図3 沢田Ⅲ遺跡出土琥珀のTG・DTAによる分析結果

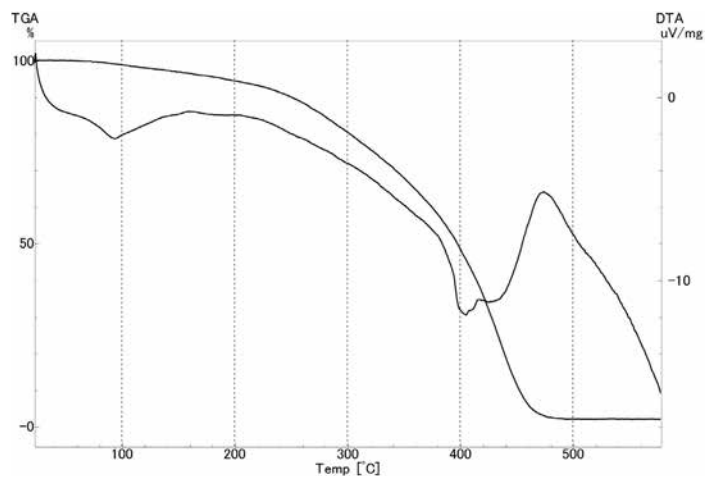


図4-1 沢田Ⅲ遺跡出土琥珀と標準琥珀のTGによる分析結果

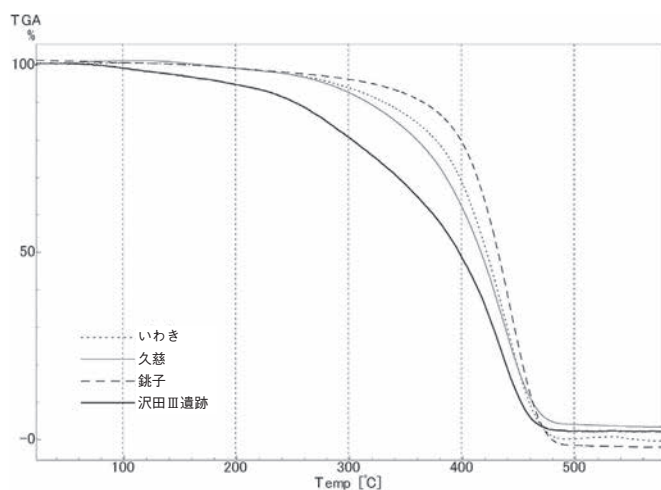
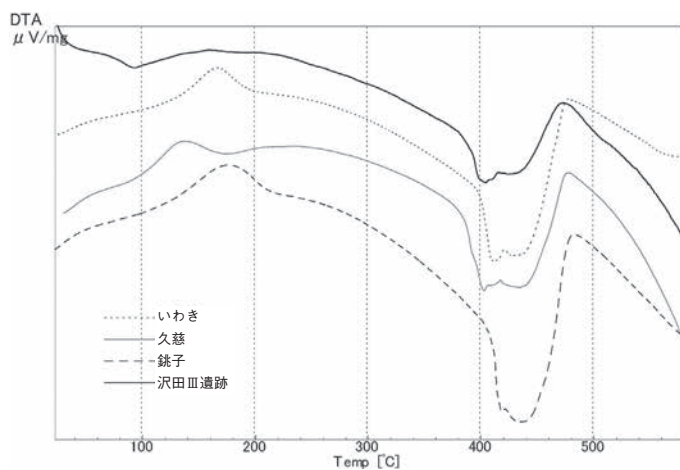


図4-2 沢田Ⅲ遺跡出土琥珀と標準琥珀のDTAによる分析結果



## 8 黒曜石の分析

パリノ・サーヴェイ株式会社

### (1) はじめに

岩手県下閉伊郡山田町に所在する沢田Ⅲ遺跡では、縄文時代中期後葉～末葉の集落跡、古代（7世紀～8世紀）の集落跡、古代～中世の製鉄関連遺構が検出されている。本分析調査では、古代の竪穴住居跡から出土した黒曜石製遺物の石材産地に関わる情報を得ることを目的とし、蛍光X線分析装置による測定を行った。

### (2) 試料

分析に供された試料は、沢田Ⅲ遺跡より出土した黒曜石製石器5点である。各試料の詳細は判定結果を示した表3に記したので参照されたい。

### (3) 分析方法

#### 1) エネルギー分散型蛍光X線分析装置 (EDX) による測定

本分析の特徴は、試料の非破壊による測定が可能であり、かつ多元素を同時に分析できることが利点として挙げられる。一方、非破壊分析である以上、測定は試料表面のみが対象となることから、表面が汚れた試料や風化してしまっている試料については試料の洗浄あるいは測定面の選択が必要となる。本分析では試料が貴重な遺物であることから、汚れが少なく、風化が進んでいない面を選択して測定を行っている。ただし、表面の風化、汚れが目立つ場合は、メラミンスポンジを用いて洗浄したあと分析を実施している。

本分析で使用した装置は、セイコーインスツルメンツ製エネルギー分散型蛍光X線分析装置 (SEA2120L) であり、X線管球はロジウム (Rh)、検出器はSi (Li) 半導体検出器である。測定条件は、励起電圧50kV、管電流自動設定 ( $\mu\text{A}$ )、測定時間300秒、コリメータ (照射径)  $\phi 10.0\text{mm}$ 、フィルターなし、測定室雰囲気は真空である。測定元素は、Al (アルミニウム)、Si (ケイ素)、K (カリウム)、Ca (カルシウム)、Ti (チタン)、Mn (マンガン)、Fe (鉄)、Rb (ルビジウム)、Sr (ストロンチウム)、Y (イットリウム)、Zr (ジルコニウム) の11元素であり、測定試料全てにおいてマイラー膜 (PE、 $2.5\ \mu\text{m}$ ; ケンプレックス製CatNo107) を介して元素X線強度 (cps) を測定した。

#### 2) 産地推定方法

産地推定は、望月 (2004など) による方法に従い、測定結果 (元素X線強度 (cps)) から、5つの判別指標値を求める。5つの判別指標値は、Rb分率  $\{Rb \times 100 / (Rb + Sr + Y + Zr)\}$ 、Sr分率  $\{Sr \times 100 / (Rb + Sr + Y + Zr)\}$ 、Zr分率  $\{Zr \times 100 / (Rb + Sr + Y + Zr)\}$ 、 $Mn \times 100 / Fe$ 、 $\text{Log}(Fe/K)$  である。

一方、産地推定に必要な原産地の資料に関しては、望月 (2004) で用いられている原産地試料の分析データを使い、原産地判定用資料を作成する。産地推定に用いた黒曜石原産地を図1に示す。

原産地試料の各分析データを、Rb分率と  $Mn \times 100 / Fe$ 、Sr分率 -  $\text{Log}(Fe/K)$  についてグラフ化する。グラフの産状ならびに二次元正規分布密度関数の結果から、原産地を元にした判別群を設定する。その名称ならびに判別群と原産地との関係を表1に示す。

各判別群について、二次元正規分布密度関数から計算した、重心より  $2\sigma$  (約95%) の範囲を示す楕円を上記のグラフに書く (原産地試料の各分析データは図が煩雑になるため割愛する)。これに、



表1 黒曜石原産地試料一覧

大分類	中分類	判別群	記号	該当する原産地
北海道	白滝	白滝1群	白滝1	明石山頂、八号沢、白滝山頂、明石山頂
北海道	白滝	白滝2群	白滝2	八号沢、ホロカ、黒曜の沢、でんぶん沢、あじさいの滝
北海道	赤井川	赤井川	赤井川	赤井川、土木川、曲川
北海道	豊浦	豊浦	豊浦	豊泉
北海道	置戸	置戸1群、2群	置戸1、置戸2	置戸山系
北海道	十勝	三股	三股	十勝三股、十三の沢、タウシユベツ川、中阿寒
北海道	名寄	名寄	名寄	名寄布川
北海道	旭川	旭川	旭川	高砂台・雨粉台・春光台
北海道	ケシヨマップ	ケシヨマップ	ケシヨ	ケシヨマップ川
東北	深浦	深浦	深浦	岡崎浜、深浦公園、日和見、六角沢、八森山
東北	岩木山	出来島	出来島	出来島
東北	男鹿	男鹿1群	男鹿1	金ヶ崎、脇本
東北	男鹿	男鹿2群	男鹿2	脇本
東北	月山	月山1群	月山1	西川町志津、朝日町田代沢など
東北	月山	月山2群	月山2	鶴岡市今野川、鶴岡市大綱川
東北	北上	北上1群	北上1	水沢折居、花泉日形田ノ沢、雫石小赤沢
東北	北上	北上2群	北上2	水沢折居、花泉日形田ノ沢、雫石小赤沢
東北	北上	北上3群	北上3	水沢折居
東北	湯ノ倉	湯ノ倉	湯ノ倉	湯ノ倉
東北	秋保	秋保1群	秋保1	秋保土蔵
東北	秋保	秋保2群	秋保2	秋保土蔵
東北	色麻	色麻	色麻	色麻町根岸
東北	塩竈	塩竈港群	塩竈	塩竈市塩竈漁港
東北	小泊	小泊	小泊	青森小泊村折腰内
関東	天城	柏峠1群、2群	柏峠1、柏峠2	天城柏峠
関東	箱根	畑宿	畑宿	箱根畑宿
関東	箱根	鍛冶屋	鍛冶屋	箱根鍛冶屋
関東	箱根	黒岩橋	黒岩橋	箱根黒岩橋
関東	箱根	上多賀	上多賀	箱根上多賀
関東	箱根	芦ノ湯	芦ノ湯	箱根芦ノ湯
関東	神津島	恩馳島	恩馳島	恩馳島、長浜
関東	神津島	砂糠崎	砂糠崎	砂糠崎、長浜
関東	高原山	高原1群	高原1	甘湯沢、桜沢
関東	高原山	高原2群	高原2	七尋沢
信州	霧ヶ峰	男女倉1群	男女1	ぶどう沢、牧ヶ沢、高松沢、本沢下
信州	霧ヶ峰	男女倉2群	男女2	ぶどう沢、牧ヶ沢
信州	霧ヶ峰	男女倉3群	男女3	ぶどう沢、牧ヶ沢、高松沢、本沢下
信州	霧ヶ峰	鷹山系	鷹山	星糞峠、鷹山
信州	霧ヶ峰	西霧ヶ峰系	星ヶ塔	星ヶ塔、星ヶ台
信州	霧ヶ峰	和田峠1群	和田1	古峠、土屋橋北
信州	霧ヶ峰	和田峠2群	和田2	丁子御領、芙蓉パーライト、鷲ヶ峰
信州	霧ヶ峰	和田峠3群	和田3	小深沢、芙蓉パーライト、新和田トンネル、土屋橋北、土屋橋東、18地点、24地点、26地点、丁子御領、鷲ヶ峰
信州	霧ヶ峰	和田峠4群	和田4	小深沢、芙蓉パーライト、新和田トンネル、土屋橋北、土屋橋西、土屋橋東、18地点、24地点、26地点、丁子御領、鷲ヶ峰
信州	霧ヶ峰	和田峠5群	和田5	24地点、25地点、26地点、小深沢
信州	霧ヶ峰	和田峠6群	和田6	小深沢、芙蓉パーライト、24地点、25地点、26地点、土屋橋西、土屋橋東
信州	霧ヶ峰	和田峠7群	和田7	東餅屋、芙蓉パーライト、古峠、丁子御領、鷲ヶ峰、土屋橋北
信州	霧ヶ峰	和田峠8群	和田8	25地点、26地点、土屋橋東
信州	北八ヶ岳	横岳系双子池	双子池	双子池
信州	北八ヶ岳	横岳系亀甲池	亀甲池	亀甲池、播鉢池
信州	北八ヶ岳	冷山・麦草系	麦草系	冷山、麦草峠、双子池、渋ノ湯、八ヶ岳7、八ヶ岳9、長門美しの森
信州	北八ヶ岳	中ツ原	中ツ原	中ツ原（遺跡試料）
東海・北陸	新潟	新発田	新発田	新発田板山
東海・北陸	新潟	新津	新津	新津金津

## (4) 結果および考察

元素 X 線強度 (cps) および判別指標値を表 2 に示す。また、Rb 分率と  $Mn \times 100 / Fe$ 、Sr 分率と  $\log (Fe/K)$  について、原産地試料の重心から  $2\sigma$  (95%) の範囲を記したグラフに、各試料の結果を重ね合わせた図を、図 2、3 に記す。表 3 には、測定試料に近いものから 3 原産地分のマハラノビス平方距離を示し、これらについてカイ二乗検定を行なった結果を示す。

分析の結果、試料番号 1329、1330、1338 は判別指標値が似ており、判定図ならびにマハラノビス平方距離による判別結果から、いずれも北上山地に由来すると考えられる。また試料番号 1335 は北海道の豊浦地区、また試料番号 1343 は北海道の赤井川地区にそれぞれ由来すると考えられる。

## 引用文献

- 明治大学古文化財研究所, 2009, 蛍光 X 線分析装置による黒曜石製遺物の原産地推定 —基礎データ集 1—, 明治大学古文化財研究所, 294p.
- 明治大学古文化財研究所, 2011, 蛍光 X 線分析装置による黒曜石製遺物の原産地推定 —基礎データ集 2—, 明治大学古文化財研究所, 294p.
- 望月明彦, 2004, 第 5 節 和野 I 遺跡出土黒曜石製石鏃の石材原産地分析, 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書 452 集 和野 I 遺跡発掘調査報告書, 476-480.

表 2 スペクトル強度と判別指標値

No.	強度 (cps)											判別指標					注記等
	Al	Si	K	Ca	Ti	Mn	Fe	Rb	Sr	Y	Zr	Rb 分率	Sr 分率	Zr 分率	$Mn \times 100 / Fe$	$\log (Fe/K)$	
1329	56.41	474.37	35.47	25.78	4.90	6.72	153.59	7.21	9.87	5.40	19.92	17.01	23.28	46.99	4.37	0.636	SI33 ベルト A-A'2層 黒曜石剥片
1330	59.16	491.45	36.05	26.64	5.14	7.01	160.16	7.15	9.89	5.97	19.17	16.94	23.45	45.46	4.38	0.648	SI33 ベルト B-B'2層 黒曜石剥片
1335	61.18	512.40	50.48	28.31	5.54	6.91	144.23	8.51	11.22	4.45	17.95	20.19	26.63	42.62	4.79	0.456	SI52 ベルト B-B'1層 黒曜石剥片
1338	58.17	504.40	36.27	25.68	4.71	6.67	148.28	7.06	8.59	5.32	18.38	17.94	21.83	46.70	4.50	0.612	SI105 埋土上位 黒曜石剥片
1343	62.15	516.05	65.59	22.65	3.02	6.94	120.67	12.16	5.30	5.33	11.41	35.55	15.51	33.35	5.75	0.265	IVC1e II層 黒曜石剥片

表 3 黒曜石判定結果

No.	出土地点	層位	重量	4 成分									5 成分								
				第 1 候補			第 2 候補			第 3 候補			第 1 候補			第 2 候補			第 3 候補		
				原産地	距離	判定	原産地	距離	判定	原産地	距離	判定	原産地	距離	判定	原産地	距離	判定	原産地	距離	判定
1329	SI33	ベルト A-A'2層	0.99	北上 1	1.0	True	北上 2	45.2	False	高原 1	88.5	False	北上 1	2.1	True	北上 2	52.5	False	高原 1	92.6	False
1330	SI33	ベルト B-B'2層	7.32	北上 1	1.2	True	北上 2	62.7	False	高原 1	87.8	False	北上 1	1.8	True	北上 2	62.9	False	高原 1	87.8	False
1335	SI52	ベルト B-B'1層	1.15	豊浦	9.8	True	置戸 2	184.5	False	北上 1	224.8	False	豊浦	10.4	True	置戸 2	190.4	False	北上 1	226.5	False
1338	SI105	埋土上位	3.54	北上 1	9.5	True	北上 2	10.9	True	高原 1	103.9	False	北上 1	9.9	True	北上 2	15.5	False	高原 1	106.5	False
1343	IVC1e	II層	14.61	赤井川	1.8	True	三股	46.7	False	置戸 1	77.0	False	赤井川	2.9	True	三股	78.2	False	置戸 1	90.7	False

距離：マハラノビス平方距離 判定は  $\chi^2$  検定 ( $3\sigma$ ) の結果

図2 黒曜石産地推定結果 (1)

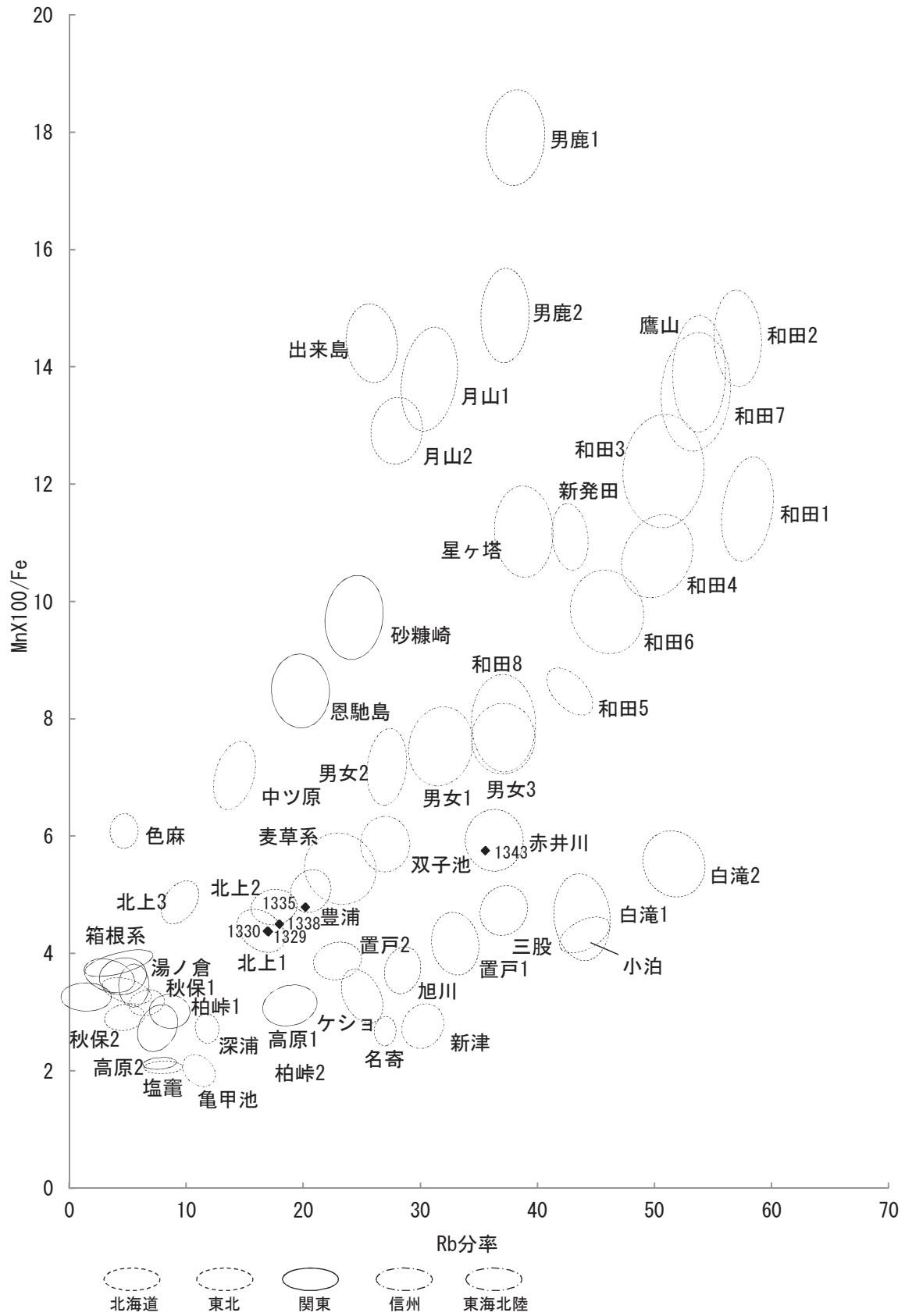
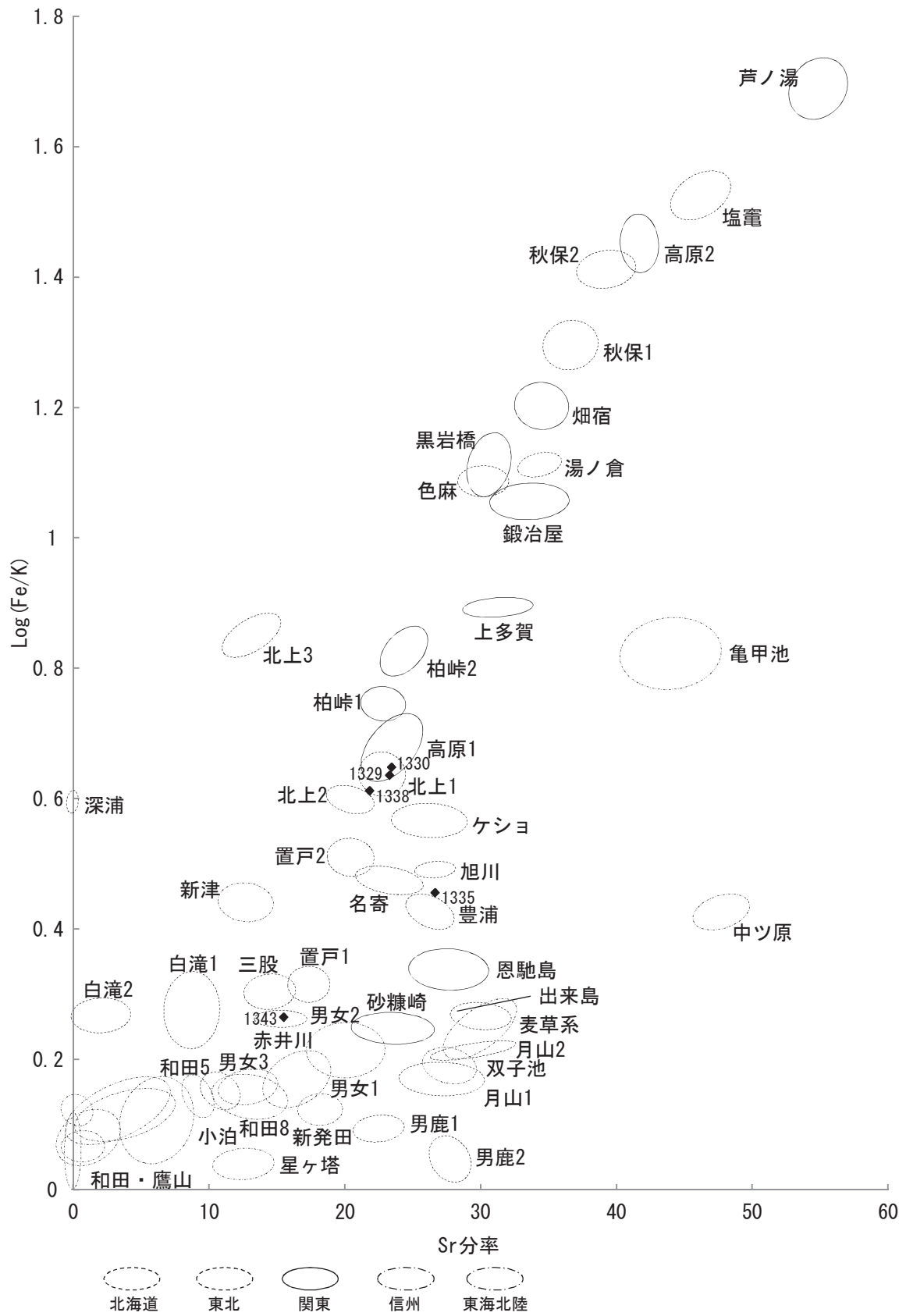


図3 黒曜石産地推定結果 (2)





## 9 アスファルトの分析

株式会社古環境研究所

### (1) はじめに

沢田Ⅲ遺跡は、岩手県下閉伊郡山田町山田第3地割に所在する。発掘調査において、アスファルト塊とみられる黒色物質が2点検出されている。アスファルトは、高い粘性と撥水性を有し、熱を加えると容易に融解する性質を持つため、縄文時代には接着剤、防腐剤、防水剤などに使用されてきた。本試料がアスファルトであれば、その採取地は、油田がある日本海沿岸域と推定され、アスファルトの産地と交易ルートを知るうえで重要な知見をもたらす。そこで本遺跡出土の試料について、観察および成分分析を行い、黒色物質の正体を明らかにするとともに、その産地推定を試みたい。

### (2) 試料

試料は、No.9001：IV C 5 f・II層（39.56 g）とNo.9002：IV C 3 b・II層（30.00 g）の2点である。No.9001は1つの塊として袋に入っていたとみられ、皺の痕跡が残る。No.9002は土器に納められていたものである。いずれも塊状で、劣化により多数の小塊に割れている。

### (3) 分析方法

#### 1) フーリエ変換赤外分光分析

試料から剥離した小片について、表面土砂を取り除いた後に分析に供した。分析は、フーリエ変換赤外分光分析法（Fourier Transform Infrared Spectroscopy, FT-IR）により、顕微FT-IRのATR法による赤外吸収スペクトルから同定を試みた。測定条件は分解能  $4\text{ cm}^{-1}$ 、積算回数64回とした。測定波数範囲は  $4,000\sim 700\text{ cm}^{-1}$  である。

#### 2) 元素分析

試料を加熱分解して発生させたガス中の炭素（C）、水素（H）、窒素（N）、硫黄（S）各元素の含有率を算出する。元素分析はElementar社製 vario EL cubeを使用し、分析装置の標準的な手順に従って行った。粉体にした試料2mgを3回測定した。得られたデータについてはDaily Factorの計算および計算値による各測定データを補正し、その平均値を示した。

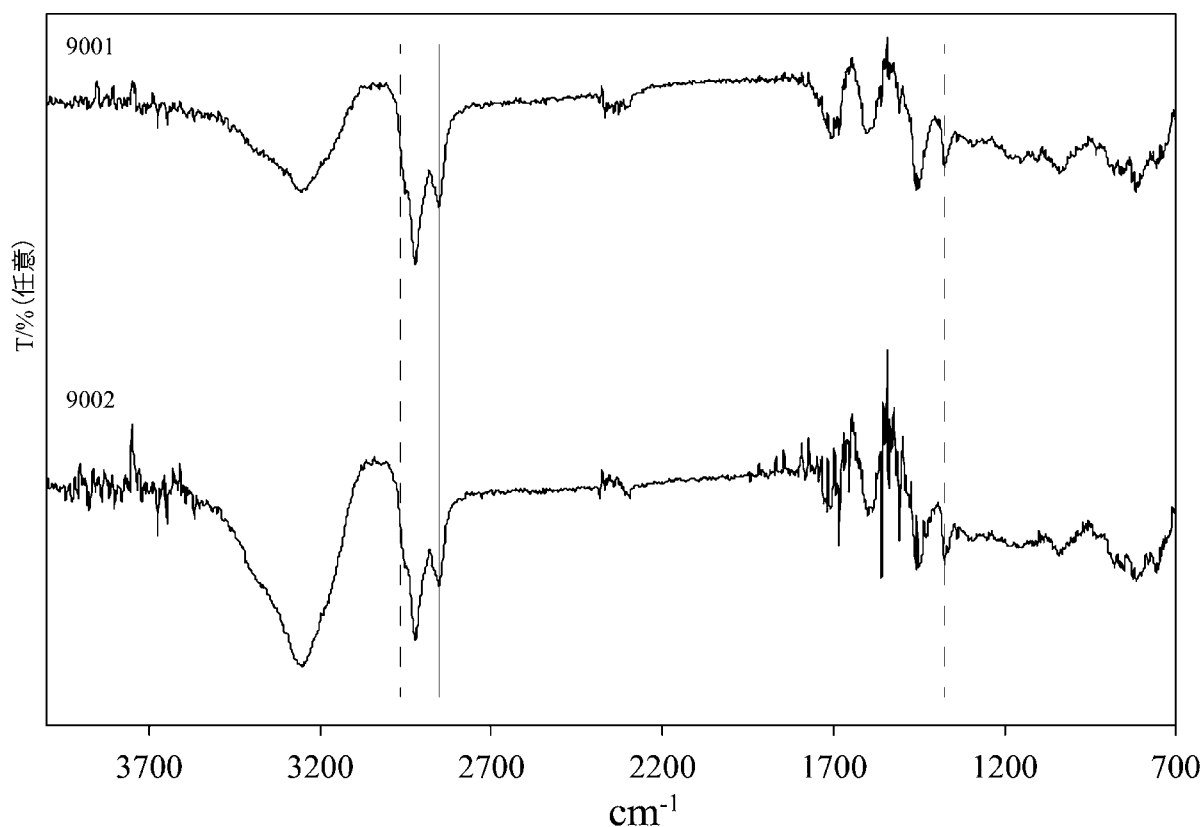
### (4) 分析結果と考察

#### 1) フーリエ変換赤外分光分析

図1に9001と9002の赤外分光スペクトルを示す。いずれの赤外分光スペクトルに共通してみられた特徴として、①  $2,920\text{ cm}^{-1}$  と  $2,856\text{ cm}^{-1}$  のCH基に由来する吸収（図中実線）、②  $1,460\text{ cm}^{-1}$  及び  $1,375\text{ cm}^{-1}$  の強く鋭い吸収と  $2,952\text{ cm}^{-1}$  のショルダーピークが認められた（図中破線）。①は、アスファルトと漆に共通してみられるピークであるが、②はアスファルトに特徴的にみられるピークである。

以上から9001と9002は、いずれもアスファルトであると考えられる。また、ピークの状況から、漆の混入は認められない。

図1 フーリエ変換赤外分光分析の結果



## 2) 元素分析

本遺跡出土黒色物質の元素分析の結果を表1に示す。2点の試料は双方ともおよそCが74%、Hが7.9%、Nが1.1%、Sが0.74%、H/C原子比は1.28とほとんど同じ元素組成である。元素組成の状況から、2点ともアスファルトと判断される。さらに2点の組成はかなり近似していることから、その産地も同じである可能性が高い。

表1 元素分析結果

試料	条件	各元素の重量 (wt%)				H/C
		H	C	N	S	
沢田ⅢNo.9001	2 mg70s	7.944176	74.621536	1.109578	0.741788	1.277519
沢田ⅢNo.9002	2 mg70s	7.863852	73.279259	1.082595	0.732014	1.287654

## (5) まとめと産地の推定

以上の分析より2点の黒色物質はアスファルトと判断される。なお、元素組成の結果を分析手法は異なるがこれまでの分析結果（氏家ほか2015, 表2）と比較すると、現在の原油試料では豊川油田（秋田県）、二ツ井油田（秋田県）、蟹田油田（青森県）のデータに類似する。また、出土アスファルトの分析の結果と比較すると、青森県八戸市丹後谷地遺跡、同・風張（1）遺跡、岩手県軽米町板子屋敷3遺跡に類似する。これらのデータより津軽半島から秋田県北部の産油域のアスファルトが、青森県から岩手県北部の沿岸域までもたらされていた可能性が高い。

表2 主な産油地

地 域	試料名 (産油地名)	アスファルト 生成条件	元素の重量 (wt%)			原子比 H/C
			H	C	N	
サハリン	オハ	200℃ (12h)	10.26	84.91	0.90	1.45
サハリン	ストウ	200℃ (20h)	9.69	84.18	0.42	1.38
サハリン	タカングリ	200℃ (16h)	10.14	82.96	0.68	1.47
北海道	石狩	200℃ (3h)	9.47	85.41	0.83	1.33
北海道	釜谷	200℃ (14h)	9.90	83.33	1.00	1.43
青森	蟹田	200℃ (4h)	8.60	76.60	1.50	1.35
青森	前田野目	250℃ (4h)	9.87	85.56	0.61	1.38
秋田	船越	200℃ (4h)	10.00	83.88	0.91	1.43
秋田	豊川	200℃ (4h)	8.95	73.48	1.06	1.46
秋田	駒形	200℃ (4h)	4.95	34.70	0.57	1.71
秋田	二ツ井	200℃ (17h)	8.21	80.01	1.06	1.23
秋田	申川	200℃ (14h)	9.98	83.72	1.12	1.43
秋田	福米沢	200℃ (17h)	8.65	84.02	1.01	1.24
秋田	桂坂	200℃ (14h)	8.35	84.86	1.01	1.18
秋田	上浜	200℃ (11h)	9.16	85.70	1.18	1.28
山形	吹浦	200℃ (6h)	10.37	84.51	0.89	1.47
山形	余目	200℃ (11h)	10.55	86.25	0.49	1.47
新潟	新津(天ヶ沢)	200℃ (4h)	10.32	86.56	0.90	1.43
新潟	新津(鎌倉新田)	200℃ (4h)	9.82	87.76	0.88	1.34
新潟	頸城	200℃ (4h)	6.37	57.27	1.05	1.34
新潟	黒川	200℃ (6h)	11.03	85.84	0.69	1.54

h：時間

氏家ほか2015

## 引用文献

氏家良博, 相澤武宏, 川村啓一郎, 安田創, 上條信彦2015「石油地質学からみた遺跡出土アスファルトの原産地推定」『考古学と自然科学』67号. 47-56頁



試料No.9001：IVC5f・II層



試料No.9002：IVC3b・II層

## 10 土器の胎土観察

河本純一

## (1) 胎土観察の目的

土器胎土には、その材料が採取された場所という地質的背景とその材料を選択したという当時の土器製作流儀の両者が反映されている。それゆえ、土器胎土の様相を明らかにすることによって、人や土器の移動および土器作りの実態といった、その土器を出土した遺跡にかかわる過去の社会の様相を探ることができる。今回の沢田Ⅲ遺跡の調査では、縄文時代前期・中期および古代の土器がまとまって出土しており、当時の岩手県沿岸部の様相を探る上で貴重な資料を提供している。

## (2) 観察資料

当報告書に実測図が掲載されている土器のうち、86点を観察した。観察した土器は第4・5表に示している。なお、胎土を観察し評価する上での作業内容の詳細、および土器胎土観察表とした第4・5表の記載内容については、旧稿（河本 2011）を参照されたい。

## (3) 観察方法および胎土分類

## ①観察方法

ニコン社の携帯型実体顕微鏡ファープル（倍率20倍）を用いて土器胎土を観察した。観察の際には、土器の断面だけでなく、器表面も観察し、総合的に土器の胎土を評価している。断面だけでは、観察面積が少なく、含まれる砂粒・混和材の種類・大きさ・量を評価するのが難しいからである。

## ②胎土分類（第1・2表）

第1・2表に示したような、土器に含まれる砂粒・混和材の種類および大きさによる分類を設けた。

第1表 砂粒・混和材の種類による胎土分類

分類	特徴
A類	黒色光沢粒（角閃石または輝石）を一定量含む土器。
B類	雲母を一定量含む土器。
C類	頁岩・チャートを一定量含む土器。
D類	結晶片岩を一定量含む土器。
E類	上記以外の有色砂粒を一定量含む土器。
F類	土器片を一定量含む土器。
G類	植物質を一定量含む土器。
H類	海綿骨針を一定量含む土器。
I類	上記のような特徴的な砂粒・混和材を含まず、ほぼ無色鉱物（石英・長石）だけからなる土器。

※ 黒色光沢粒と雲母をともに含めばAB類、頁岩と結晶片岩をともに一定量含めばCD類と、上記の分類記号を足し合わせた分類を適宜設定し、土器胎土観察表に記載している。なお、一定量とは、観察した土器片中にその砂粒・混和材が不偏的に含有されており、少なくとも2cm<sup>2</sup>中に1粒は0.5mm以上でその存在が認められる量を指す。

第2表 砂粒・混和材の大きさによる胎土分類

分類	特徴
2-1類	2.0mm～2.5mmの砂粒・混和材を一定量有する土器。2.5mm以上のものはほとんど含まれていない。
1+類	1.5mm～2.0mmの砂粒・混和材を一定量有する土器。2.0mm以上のものはほとんど含まれていない。
1-1類	1.0mm～1.5mmの砂粒・混和材を一定量有する土器。1.5mm以上のものはほとんど含まれていない。
0類	1.0mm未満の砂粒・混和材で構成されている、および肉眼ではそれらを確認できない土器。

※ 今回観察した資料中には、2.5mm以上の砂粒・混和材を一定量含む土器は認められなかったため、上記の基準で全ての土器を分類できた。

第3表 土器胎土の様相

時期・器種	胎土									
	A類 黒色光沢粒を含む	B類 雲母を含む	C類 頁岩・チャートを含む	D類 結晶片岩を含む	E類 その他有色砂粒を含む	F類 土器片を含む	G類 植物質を含む	H類 海綿骨針を含む	I類 石英・長石のみ	
縄文前期 大木2 深鉢	7/10	—	1/10	1/10	—	—	8/10	1/10	—	
縄文前期 大木5 深鉢	8/9	6/9	—	4/9	3/9	—	1/9	—	—	
縄文中期 大木9 深鉢	9/12	4/12	—	3/12	1/12	2/12	—	—	1/12	
縄文中期 大木10 深鉢	10/11	6/11	1/11	—	4/11	—	—	—	—	
古代 赤彩 壺	11/12	—	—	—	—	—	—	—	1/12	
古代 赤彩 坏	9/12	—	—	—	—	—	—	—	3/12	
古代 赤彩 その他器種	4/5	—	—	—	—	—	—	—	1/5	
古代 非赤彩 土師器一括	6/6	1/6	—	1/6	—	—	—	—	—	

※たとえば1つの資料中に黒色光沢粒と雲母をともに含めば、それぞれで1点ずつ集計しているため、横列の合計は総観察点数より多くなる。

#### (4) 観察結果および考察 (第3表、写真1・2)

第3表に土器胎土の観察結果を示した。土器胎土には時期による違いが見られ、以下にその詳細を記すとともに、若干の検討も行う。

縄文時代前期前葉、大木2式期では植物質を含むG類(写真1-1)の存在が顕著である。他の縄文時代の土器とは異なり、雲母を含むB類が存在せず、結晶片岩を含むD類の割合も少ないという特徴が見られる。なお、海綿骨針を含むH類(写真1-2)が1点確認された。

縄文時代前期後葉、大木5式期になるとG類は減少し、B類やD類の存在が顕著になる(写真1-4)。観察した資料数が少ないために不確かではあるが、大木4式期にはB類・D類が少なく、無色透明の石英が主体となる土器(写真1-3)が比較的多く存在することから、大木4式から大木5式の間で、使用される材料に変化が生じた可能性が考えられる。

また、縄文時代前期で、大木式に属さない円筒下層式などの異系統土器については、その胎土に大木式土器との明確な違いを認められなかったことから(写真1-5・6)、搬入品とは断定できず、当遺跡か近辺にて製作された可能性を考えさせる。

縄文時代中期後葉、大木9式期にはB類・D類だけでなく、土器片を含むF類(写真2-7)も確認できた。そして、縄文時代中期末葉、大木10式期ではB類が多いという傾向は同様だが、D類が減少し、その他の有色砂粒を含むE類(写真2-8)が多くなっている。

古代の土師器については、赤彩土器を中心に胎土観察を行った。壺・坏いずれの器種についても、赤彩土器の胎土に認められた砂粒は、ほぼ黒色光沢粒・石英・長石に限られており(写真2-9・10)、縄文土器と比べて含まれる砂粒のバリエーションが少ない。

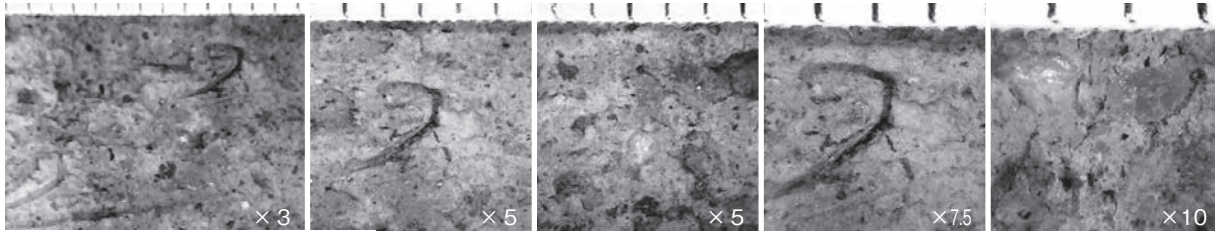
非赤彩の土師器については、B類(写真2-11)やD類(写真2-12)が確認され、観察した資料数が少ないために不確かではあるが、赤彩土器とは材料を違えていた可能性が考えられる。

#### (5) ま と め

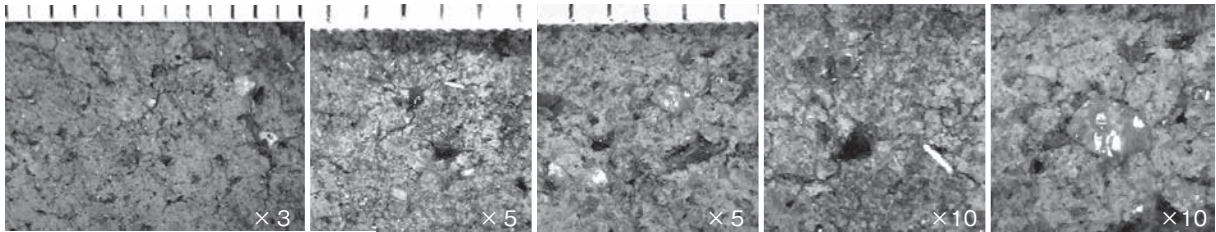
以上、沢田Ⅲ遺跡で出土した一部の土器について肉眼による胎土観察を行い、材料という視点から過去の社会を復元する貴重なデータとして資料化することができた。他の遺跡での胎土観察結果と比較検討することにより、さらに当時の社会を具体的に追究できると思われる。今後の課題としたい。

#### 参考文献

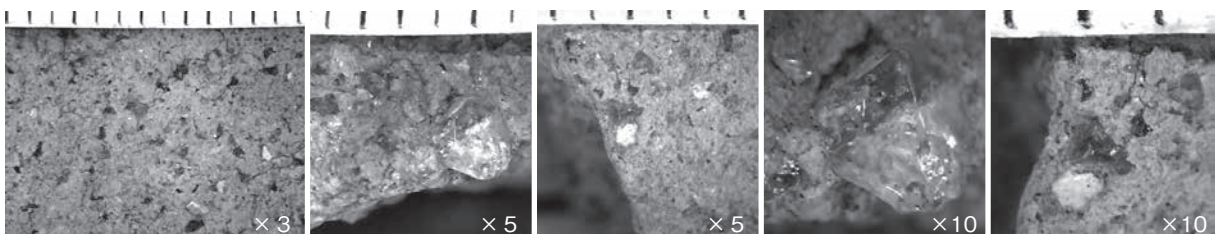
河本純一 2011「泉南地域における縄文土器胎土の時期的変化」『大阪文化財研究』38 財団法人大阪府文化財センター



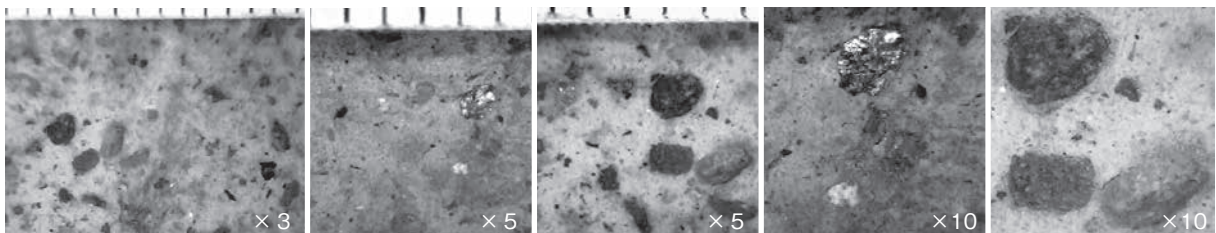
1. 観察 No.6 (掲載番号 130 縄文前期 大木 2a 式 深鉢 胎土 AG1-類)



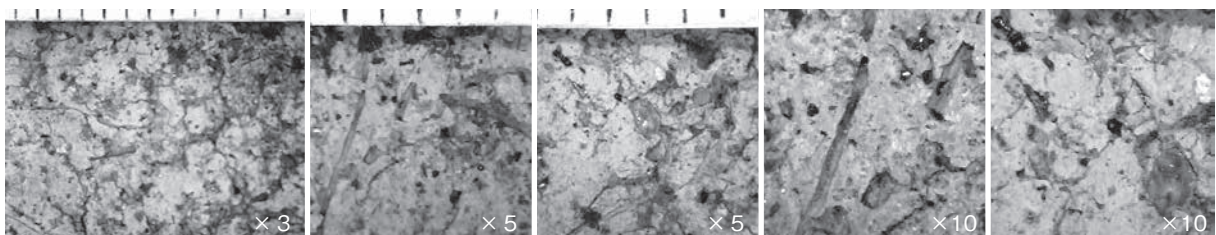
2. 観察 No.9 (掲載番号 134 縄文前期 大木 2b 式 深鉢 胎土 H1-類)



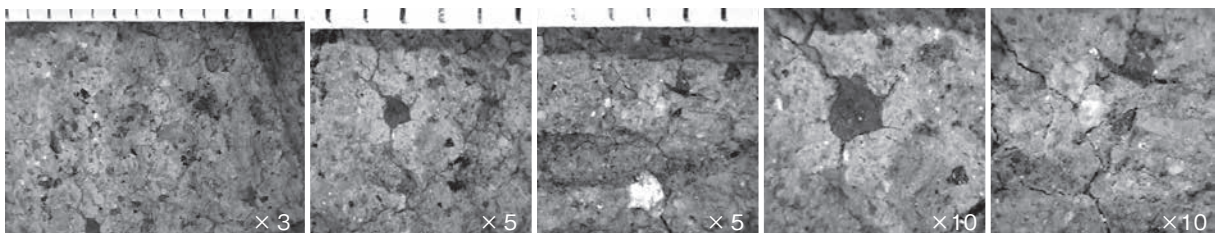
3. 観察 No.11 (掲載番号 127 縄文前期 大木 4 式 深鉢 胎土 A1-類)



4. 観察 No.21 (掲載番号 453 縄文前期 大木 5 式 深鉢 胎土 ABD1-類)

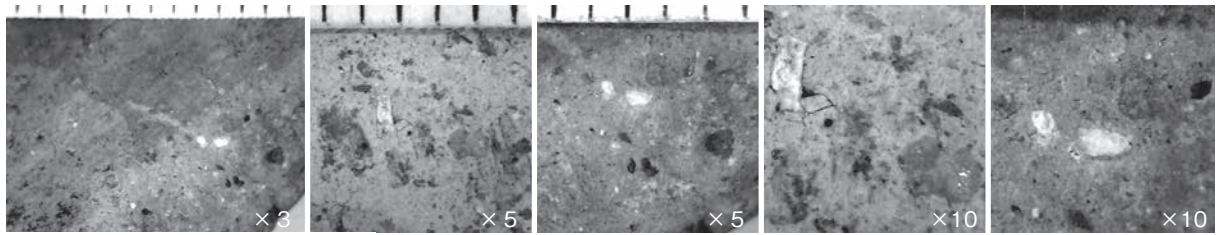


5. 観察 No.25 (掲載番号 440 縄文前期 円筒下層 d1 深鉢 胎土 ADG0 類)

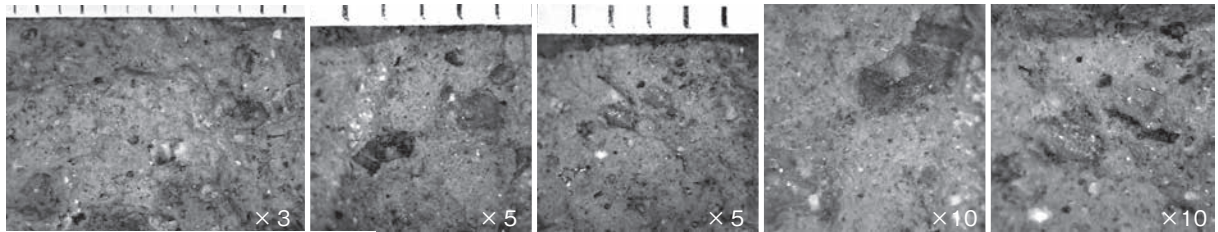


6. 観察 No.26 (掲載番号 384 縄文中期 異系統 深鉢 胎土 AEO 類)

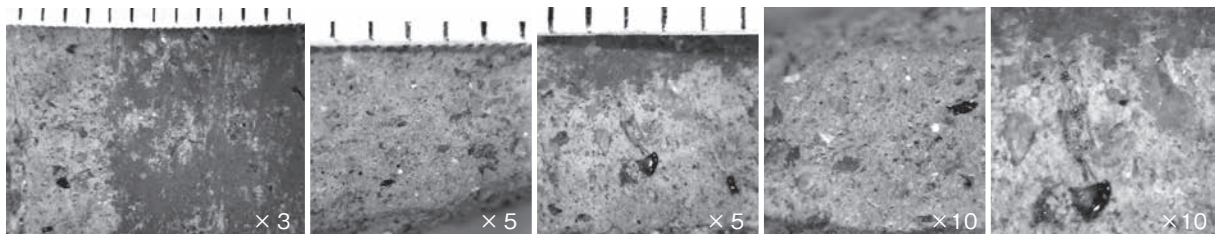
写真1 土器の胎土写真(1)



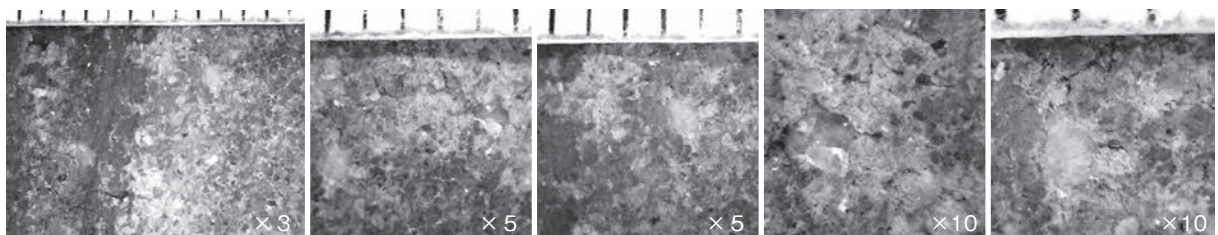
7. 観察 No.29 (掲載番号 3 縄文中期 大木 9b 式 深鉢 胎土 ABF1- 類)



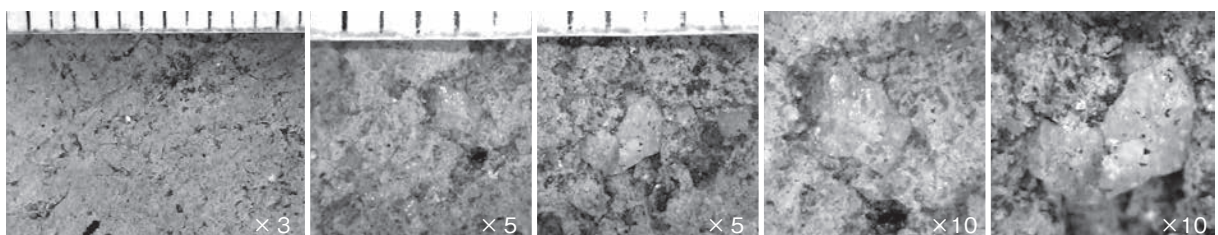
8. 観察 No.47 (掲載番号 104 縄文中期 大木 10b 式 深鉢 胎土 AE1- 類)



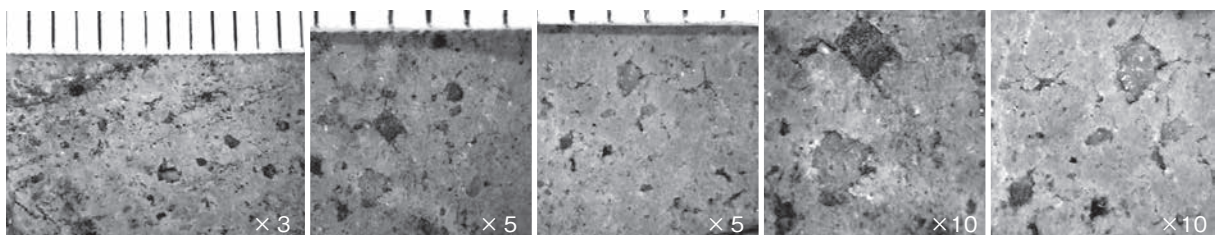
9. 観察 No.52 (掲載番号 1821 古代 赤彩 壺 胎土 A1- 類)



10. 観察 No.71 (掲載番号 1887 古代 赤彩 坏 胎土 A1- 類)



11. 観察 No.81 (掲載番号 1909 古代 非赤彩 壺 胎土 AB1- 類)



12. 観察 No.83 (掲載番号 1839 古代 非赤彩 甕 胎土 AD1- 類)

写真2 土器の胎土写真(2)





第5表 土器胎土観察表(2)

観覧 No.	掲載 番号	時期・ 器種	胎土 分類	名産 (G表産)				高岩砂泥・源相材 胎方塊 白色砂質	石英	長石	土器片	植物質	海綿骨片
				(G表産) 胎方塊	(G表産) 胎方塊	(G表産) 胎方塊	(G表産) 胎方塊						
76	1890	古代 赤彩 甕	A1+	10787/4 胎方塊 に多い	10786/4 胎方塊 に多い	10787/4 胎方塊 に多い	0.5少	(1.0) 0.5	(2.0) 1.0×0.1 0.5多				
77	1914	古代 赤彩 甕	A1-	10786/4 胎方塊 に多い	10786/4 胎方塊 に多い	10786/4 胎方塊 に多い	0.5多	(2.0) 0.5	(2.0) 1.0×0.1 0.5				
78	1915	古代 赤彩 甕	A1-	10787/4 胎方塊 に多い	10787/4 胎方塊 に多い	10787/4 胎方塊 に多い	0.5多	(2.0) 0.5	(2.0) 1.0×0.1 0.5				
79	1884	古代 赤彩 甕?	I0	10786/4 胎方塊 に多い	10786/4 胎方塊 に多い	10786/4 胎方塊 に多い	0.5少	(2.0) 0.5	(2.0) 1.0×0.1 0.5				
80	1905	古代 赤彩 甕?	A1-	10786/4 胎方塊 に多い	10786/4 胎方塊 に多い	10786/4 胎方塊 に多い	0.5	(1.0) 0.5	(2.0) 1.0×0.1 0.5				
81	1909	古代 甕	A1-	10787/4 胎方塊 に多い	10786/4 胎方塊 に多い	10786/4 胎方塊 に多い	0.5	(2.0) 0.5	(2.0) 1.0×0.1 0.5				
82	1911	古代 甕	A1+	10786/4 胎方塊 に多い	10786/4 胎方塊 に多い	10786/4 胎方塊 に多い	0.5少	(4.0) 0.5	(2.0) 1.0×0.1 0.5				
83	1889	古代 甕	A0+	10786/4 胎方塊 に多い	10786/4 胎方塊 に多い	10786/4 胎方塊 に多い	0.5少	(1.0) 0.5	(2.0) 1.0×0.1 0.5				
84	1913	古代 甕	A1-	10786/4 胎方塊 に多い	10786/4 胎方塊 に多い	10786/4 胎方塊 に多い	0.5	(1.0) 0.5	(2.0) 1.0×0.1 0.5				
85	1917	古代 甕	A2-	10786/4 胎方塊 に多い	10786/4 胎方塊 に多い	10786/4 胎方塊 に多い	0.5	(1.0) 0.5	(2.0) 1.0×0.1 0.5				
86	1916	古代 ミゾフス部	A2-	10786/4 胎方塊 に多い	10786/4 胎方塊 に多い	10786/4 胎方塊 に多い	0.5少	(1.0) 0.5	(2.0) 1.0×0.1 0.5				

※1912の巻は、報告書では胎土を赤土に変更している。

観覧 No.	掲載 番号	時期・ 器種	胎土 分類	名産 (G表産)				高岩砂泥・源相材 胎方塊 白色砂質	石英	長石	土器片	植物質	海綿骨片
				(G表産) 胎方塊	(G表産) 胎方塊	(G表産) 胎方塊	(G表産) 胎方塊						
52	1821	古代 赤彩 甕	A1-	10787/4 胎方塊 に多い	10787/4 胎方塊 に多い	10787/4 胎方塊 に多い	0.5	(1.0) 0.5	(2.0) 1.0×0.1 0.5多				
53	1840	古代 赤彩 甕?	A1-	10786/4 胎方塊 に多い	10786/4 胎方塊 に多い	10786/4 胎方塊 に多い	0.5	(2.0) 0.5	(2.0) 1.0×0.1 0.5				
54	1844	古代 赤彩 甕	A1-	10786/4 胎方塊 に多い	10787/4 胎方塊 に多い	10786/4 胎方塊 に多い	0.5少	(4.0) 0.5	(2.0) 1.0×0.1 0.5				
55	1846	古代 赤彩 甕	A1-	2.534/2 胎方塊 に多い	10786/4 胎方塊 に多い	10786/4 胎方塊 に多い	0.5	(1.0) 0.5	(2.0) 1.0×0.1 0.5				
56	1848	古代 赤彩 甕	A1-	2.534/2 胎方塊 に多い	10786/4 胎方塊 に多い	10786/4 胎方塊 に多い	0.5少	(2.0) 0.5	(2.0) 1.0×0.1 0.5				
57	1850	古代 赤彩 甕	A1-	10786/4 胎方塊 に多い	10786/4 胎方塊 に多い	10786/4 胎方塊 に多い	0.5	(2.0) 0.5	(2.0) 1.0×0.1 0.5				
58	1859	古代 赤彩 甕	I0	10786/4 胎方塊 に多い	10786/4 胎方塊 に多い	10786/4 胎方塊 に多い	0.5	(2.0) 0.5	(2.0) 1.0×0.1 0.5				
59	1903	古代 赤彩 甕	A0	2.537/3 胎方塊 に多い	10787/4 胎方塊 に多い	10787/4 胎方塊 に多い	0.5	(1.0) 0.5	(2.0) 1.0×0.1 0.5				
60	1912	古代 赤彩 甕	A1-	2.537/2 胎方塊 に多い	10787/4 胎方塊 に多い	10787/4 胎方塊 に多い	0.5	(2.0) 0.5	(2.0) 1.0×0.1 0.5				
61	1930	古代 赤彩 甕	A0	10786/4 胎方塊 に多い	10786/4 胎方塊 に多い	10786/4 胎方塊 に多い	0.5	(2.0) 0.5	(2.0) 1.0×0.1 0.5				
62	1934	古代 赤彩 甕?	A1-	10786/4 胎方塊 に多い	10786/4 胎方塊 に多い	10786/4 胎方塊 に多い	0.5	(2.0) 0.5	(2.0) 1.0×0.1 0.5				
63	1937	古代 赤彩 甕	A0	10786/4 胎方塊 に多い	10787/4 胎方塊 に多い	10787/4 胎方塊 に多い	0.5少	(1.0) 0.5	(2.0) 1.0×0.1 0.5				
64	1851	古代 赤彩 甕	A0	10787/4 胎方塊 に多い	10787/4 胎方塊 に多い	10787/4 胎方塊 に多い	0.5	(2.0) 0.5	(2.0) 1.0×0.1 0.5				
65	1852	古代 赤彩 甕	I0	10787/4 胎方塊 に多い	10787/4 胎方塊 に多い	10787/4 胎方塊 に多い	0.5	(2.0) 0.5	(2.0) 1.0×0.1 0.5				
66	1866	古代 赤彩 甕	A0	10787/4 胎方塊 に多い	10787/4 胎方塊 に多い	10787/4 胎方塊 に多い	0.5少	(1.0) 0.5	(2.0) 1.0×0.1 0.5				
67	1867	古代 赤彩 甕	A1-	10786/4 胎方塊 に多い	10786/4 胎方塊 に多い	10786/4 胎方塊 に多い	0.5少	(1.0) 0.5	(2.0) 1.0×0.1 0.5				
68	1876	古代 赤彩 甕	I1-	10786/4 胎方塊 に多い	10786/4 胎方塊 に多い	10786/4 胎方塊 に多い	0.5少	(1.0) 0.5	(2.0) 1.0×0.1 0.5				
69	1885	古代 赤彩 甕	A0	10786/4 胎方塊 に多い	10786/4 胎方塊 に多い	10786/4 胎方塊 に多い	0.5少	(2.0) 0.5	(2.0) 1.0×0.1 0.5				
70	1886	古代 赤彩 甕	A1-	2.534/1 胎方塊 に多い	10786/4 胎方塊 に多い	10786/4 胎方塊 に多い	0.5	(2.0) 0.5	(2.0) 1.0×0.1 0.5				
71	1887	古代 赤彩 甕	A1-	10786/4 胎方塊 に多い	10786/4 胎方塊 に多い	10786/4 胎方塊 に多い	0.5	(1.0) 0.5	(2.0) 1.0×0.1 0.5				
72	1910	古代 赤彩 甕	I1-	10786/4 胎方塊 に多い	10786/4 胎方塊 に多い	10786/4 胎方塊 に多い	0.5	(2.0) 0.5	(2.0) 1.0×0.1 0.5				
73	1929	古代 赤彩 甕	A1-	10786/4 胎方塊 に多い	10786/4 胎方塊 に多い	10786/4 胎方塊 に多い	0.5	(1.0) 0.5	(2.0) 1.0×0.1 0.5				
74	1936	古代 赤彩 甕	A0	10787/4 胎方塊 に多い	10787/4 胎方塊 に多い	10787/4 胎方塊 に多い	0.5	(2.0) 0.5	(2.0) 1.0×0.1 0.5				
75	1941	古代 赤彩 甕	A1+	10786/4 胎方塊 に多い	10786/4 胎方塊 に多い	10786/4 胎方塊 に多い	0.5少	(2.0) 0.5	(2.0) 1.0×0.1 0.5				